

上武道路・旧石器時代遺跡群（3）

上泉唐ノ堀遺跡

上泉新田塚遺跡群

上泉武田遺跡

五代砂留遺跡群

芳賀東部団地遺跡

胴城遺跡

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

2012.3

国 土 交 通 省
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

上武道路・旧石器時代遺跡群（3）

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

二〇一二

国 土 交 通 省
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



上武道路・旧石器時代遺跡群（3）

上泉唐ノ堀遺跡

上泉新田塚遺跡群

上泉武田遺跡

五代砂留遺跡群

芳賀東部団地遺跡

洞城遺跡

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

2012.3

国 土 交 通 省

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



上武道路（8—2工区）予定路線地 東側



上武道路（8—2工区）予定路線地 西側（前橋市北部：南から）



上泉唐ノ堀遺跡 第3文化層



上泉新田塚遺跡群 左上2点：第1文化層、左下2点：第2文化層、右4点：第3文化層



上泉武田遺跡 左上1点：第1文化層、右上2点：第2文化層、下段3点：第3文化層



五代砂留遺跡群 左上1点：第1文化層、左下4点：第2文化層、右11点：第3文化層



芳賀東部団地遺跡 上段8点：第1文化層、下段10点：第2文化層



洞城遺跡 第1文化層

序

一般国道17号は関東と北陸を結ぶ大動脈ですが、そのバイパスとして計画された上武道路は、群馬県と東京圏とを結ぶ重要な広域ネットワークの一つとして、平成20年6月には主要地方道路前橋大間々桐生線までが供用開始されています。

上武道路の埋蔵文化財調査は、昭和49年1月から群馬県教育委員会によって開始され、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が設立された昭和53年度以降は、当事業団に引き継がれました。上武道路関連の発掘調査は、現在も続けられていますが、これまでに70遺跡の発掘調査が終了し、45冊の発掘調査報告書を刊行してまいりました。

このたび、前橋市上泉町から前橋市鳥取町までの間で発掘調査された、上泉唐ノ堀遺跡、上泉新田塚遺跡群、上泉武田遺跡、五代砂留遺跡群、芳賀東部団地遺跡、胴城遺跡の6遺跡の旧石器時代の発掘調査成果がまとまり、上武道路関連の旧石器時代遺跡群第3冊として刊行する運びとなりました。

本報告書では、上泉唐ノ堀遺跡で発見された今から3万年以上前の局部磨製石斧や環状ブロックを始めとして、出土した石器群から判明した旧石器人の生活技術など、地域の歴史解明に寄与する貴重な資料を報告しております。

本報告書刊行に至るまでには、国土交通省関東地方整備局、同高崎河川国道事務所、群馬県教育委員会、前橋市教育委員会、地元関係者の皆様には、格別の御尽力を賜りました。銘記して心から感謝申し上げますとともに、本報告書が基本的な歴史資料として広く活用されることを念願し、序といたします。

平成24年3月

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 須田 栄 一

例 言

1 本書は一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その3)による、上泉唐ノ堀遺跡・上泉新田塚遺跡群・上泉武田遺跡・五代砂留遺跡群・芳賀東部団地遺跡・胴城遺跡の旧石器時代を対象として収録した。

2 遺跡の所在地

上泉唐ノ堀遺跡—前橋市上泉町2470番地ほか
上泉武田遺跡—前橋市上泉町2017-1番地ほか
芳賀東部団地遺跡(鳥取松合下遺跡含む)—鳥取町2470番地ほか
胴城遺跡—前橋市勝沢町2062-1番地ほか
上泉新田塚遺跡群—前橋市上泉町2062-1番地ほか
五代砂留遺跡群—前橋市五代町805-14番地ほか

3 事業主体 国土交通省

4 調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

5 調査期間・調査体制

上泉唐ノ堀遺跡

平成18年7月1日～平成19年3月31日 担当 木津博明主任専門員(総括)、長澤典子調査研究員

掘削請負 須賀工業株式会社 測量委託 技研測量設計株式会社

平成20年4月1日～平成20年6月30日 担当 木津博明主任専門員(総括)、斉藤 聡主任調査研究員

掘削請負 須賀工業株式会社 測量委託 技研測量設計株式会社

上泉新田塚遺跡群

平成18年7月1日～平成19年3月31日 担当 木津博明主任専門員(総括)、桜岡正信専門員(総括)、長澤典子調査研究員

掘削請負 技研測量設計株式会社、測量委託 技研測量設計株式会社

平成19年4月1日～平成19年5月31日 担当 木津博明主任専門員(総括)、山田精一主任調査研究員

掘削請負 技研測量設計株式会社、測量委託 技研測量設計株式会社

平成20年4月1日～平成20年6月30日 担当 木津博明主任専門員(総括)、齋藤 聡主任調査研究員

掘削請負 技研測量設計株式会社、測量委託 技研測量設計株式会社

上泉武田遺跡

平成19年6月1日～平成19年12月31日 桜岡正信主任専門員(総括)、洞口正史主任専門員(総括)、友廣哲也主席専門員、新倉明彦主任専門員(総括)、弥城 淳調査研究員

掘削請負 技研測量設計株式会社、測量委託 株式会社シン技術コンサル

五代砂留遺跡群

平成19年2月1日～平成19年3月31日 担当 木津博明主任専門員(総括)、山田精一主任調査研究員

掘削請負 株式会社シン技術コンサル、測量委託 技研測量設計株式会社

平成19年5月1日～平成20年3月31日 担当 木津博明主任専門員(総括)、新倉明彦主任専門員(総括)、山田精一主任調査研究員

掘削請負 技研測量設計株式会社、測量委託 技研測量設計株式会社

芳賀東部団地遺跡

平成19年5月22日～平成20年3月31日 担当 関 晴彦上席専門員、菊池 実主席専門員、新井 仁主任調査研究員

掘削請負 技研測量設計株式会社、測量委託 技研測量設計株式会社

胴城遺跡

平成20年2月1日～平成20年3月31日 担当 高井佳弘主任調査研究員、宮下 寛調査研究員

掘削請負 技研測量設計株式会社、測量委託 技研測量設計株式会社

平成20年4月1日～平成20年10月7日 担当 女屋和志雄上席専門員、平井 敦主任調査研究員

掘削請負 株式会社シン技術コンサル、測量委託 技研測量設計株式会社

6 調査組織 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

- 7 整理主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 8 整理期間 平成22年10月1日～平成23年11月30日
- 9 本報告作成の担当者は次のとおりである。
- 編集 関口博幸主任調査研究員(平成22年10月1日～平成23年3月31日：石器・接合資料観察)
麻生敏隆上席専門員(平成23年4月1日～平成23年11月30日：原稿・編集)
- 執筆 麻生敏隆上席専門員(第1章、第2章、第3章、第4章、第6章第1節)
岩崎泰一上席専門員(第6章第1節：共同執筆)
- 遺構写真 各遺跡・各担当者 遺物写真 佐藤元彦主幹
遺物観察 岩崎泰一上席専門員、関口博幸主任調査研究員
- 10 テフラ分析は、株式会社古環境研究所に委託した。(第5章第1節)
- 11 黒曜石分析は、二宮修治氏(東京学芸大学)、建石徹氏(文化庁)、三浦麻衣子氏(東京学芸大学)に依頼した。(第5章第2節)
- 12 結晶片岩に関する論考は、中島啓治氏(群馬大学非常勤講師)、中村庄八氏(群馬県立渋川清翠高等学校非常勤教諭)、保科裕氏(埼玉県立川越初雁高等学校教諭)に依頼した。(第6章第2節・第1項・第2項・第3項)
- 13 石器石材の鑑定は、飯島静男氏(群馬地質研究会)に依頼した。
- 14 出土遺物および遺構・遺物の図面・写真類は、一括して群馬県埋蔵文化財センターで保管している。
- 15 それぞれの遺跡名称は、調査時点では「上泉新田塚遺跡群」、「上泉武田遺跡群」、「五代砂泊遺跡群」、「芳賀東部工業団地遺跡群」などと呼称されていた。
- 16 本書の作成にあたっては、次の方に有益な指導と助言を賜った。記して感謝の意を表す次第である。
小菅将夫(岩宿博物館館長)、大工原 豊(國學院大学)

凡 例

- 1 グリッドの設定、座標値の表記は、国家座標第IX系(世界測地系)を用いた。図中のグリッド番号は、Xグリッド、Yグリッドの交点を示したもので、グリッド番号は南東交点を基準とする。
- 2 個々の石器にはそれぞれ固有の番号がついている。文章中、石器実測図、各種図表に記載されている石器番号は、石器に付けられたその固有の番号である。
- 3 石器の実測図は原則として、主要石器の大部分が4/5、大型石器や接合資料が1/2の縮尺である。
- 4 各遺跡・各文化層の石器・石材組成では、観察表に記載されている自然石については、人工物ではないということで、集計から除外している。
- 5 本報告の中で使用した地図は、以下の通りである。
国土地理院 200,000分の1『宇都宮』平成18年9月1日発行
前橋市 2,500分の1『現形図』(42-2、43-1、43-2、44-3)
- 6 本文中において記述されたテフラの名称は、以下による。

| テフラ名 | 略号 | 給源 | 年代 | テフラ名 | 略号 | 給源 | 年代 |
|-----------|--------|----|--|---------|-------|----|----------|
| 浅間板鼻黄色軽石 | As-YP | 浅間 | 15,000～16,000年前 | | | | |
| 浅間大窪沢第1軽石 | As-Ok1 | 浅間 | 17,000年前 | 浅間白糸軽石 | As-Sr | 浅間 | 19,000年前 |
| 浅間板鼻褐色軽石群 | As-BP | 浅間 | 23,000～27,000年前(浅間室田軽石：As-MP：浅間を下位に含む) | | | | |
| 始良Tn火山灰 | AT | 始良 | 29,000年前 | 榛名八崎火山灰 | Hr-HA | 榛名 | 32,000年前 |
| 赤城鹿沼軽石 | Ag-KP | 赤城 | 34,000年前 | 榛名八崎軽石 | Hr-HP | 榛名 | 40,000年前 |
| 榛名湯の口軽石 | Hr-UP | 榛名 | 50,000年前 | | | | |

目次

口絵

序
例言
凡例
目次
図版目次
表目次
写真目次

第1章 発掘調査の概要

- 第1節 発掘調査に至る経緯…………… 1
- 第2節 調査の方法と経過…………… 2
- 第3節 グリッドの設定…………… 6
- 第4節 旧石器時代の文化層…………… 6
- 第5節 石器の器種分類…………… 9

第2章 遺跡周辺の環境

- 第1節 地理的環境…………… 11
- 第2節 基本土層…………… 12
- 第3節 歴史的環境…………… 15

第3章 各遺跡の遺構・遺物

- 第1節 上泉唐ノ堀遺跡…………… 19
- 第2節 上泉新田塚遺跡群…………… 47
- 第3節 上泉武田遺跡…………… 75
- 第4節 五代砂留遺跡群…………… 115
- 第5節 芳賀東部団地遺跡…………… 175
- 第6節 胴城遺跡…………… 245
- 遺物一覧表…………… 261

第4章 まとめと考察

- 第1節 各遺跡の様相…………… 293
- 第2節 環状ブロック群の様相…………… 314
- 第3節 土坑…………… 320
- 第4節 礫群の様相…………… 322
- 第5節 母岩分類…………… 326

第5章 自然科学分析

- 第1節 テフラ分析…………… 328
- 第2節 群馬県上武道路関連遺跡出土旧石器時代
黒曜石資料の産地分析…………… 341

第6章 結晶片岩について

- 第1節 考古学からみた結晶片岩…………… 347
- 第2節 地質からみた結晶片岩…………… 353
 - 第1項 赤城山南東麓の旧石器時代遺跡の結晶片岩礫…………… 353
 - 第2項 赤城火山形成史とその地下構造…………… 358
 - 第3項 旧石器時代遺跡にみいだされる
結晶片岩礫の供給源…………… 362

写真図版(P L)

- 8工区全景…………… 2
- 上泉唐ノ堀遺跡…………… 4
- 上泉新田塚遺跡…………… 13
- 上泉武田遺跡…………… 17
- 五代砂留遺跡群…………… 30
- 芳賀東部団地遺跡…………… 47
- 胴城遺跡…………… 68
- 片岩…………… 71
- 抄録
- 奥付

図版目次

- 第1図 遺跡群位置図
- 第2図 上武道路旧石器調査区
- 第3図 大クグリット・中クグリット設定図
- 第4図 基本土層図
- 第5図 遺跡群周辺地質図
- 第6図 遺跡群地形図
- 第7図 周辺の旧石器時代遺跡分布図
- 第8図 上泉唐ノ堀遺跡の文化層
- 第9図 上泉唐ノ堀遺跡 石器分布状況
- 第10図 上泉唐ノ堀遺跡 土層堆積状況
- 第11図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張6・7区石材別分布状況、拡張7区出土遺物
- 第12図 上泉唐ノ堀遺跡 1～4号落ち込み

- 第13図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(1)
- 第14図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(2)
- 第15図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(3)
- 第16図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(4)
- 第17図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(5)
- 第18図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(1)
- 第19図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(2)
- 第20図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(3)
- 第21図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(4)
- 第22図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(5)
- 第23図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(6)
- 第24図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 石器分布・垂直分布状況

| | | | | | | | |
|------|----------|-----------|--------------------|-------|----------|------|-------------------|
| 第25図 | 上泉唐ノ堀遺跡 | 拡張1・5区 | 器種別分布状況 | 第92図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張6区 | 石器分布・垂直分布・器種別分布状況 |
| 第26図 | 上泉唐ノ堀遺跡 | 拡張1・5区 | 石材別分布状況 | 第93図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張3区 | 落ち込み |
| 第27図 | 上泉唐ノ堀遺跡 | 拡張5区 | 接合資料の分布状況 | 第94図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張3区 | 出土遺物 |
| 第28図 | 上泉唐ノ堀遺跡 | 拡張1・5区 | 接合資料の分布状況 | 第95図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張3区 | 石器分布・垂直分布状況 |
| 第29図 | 上泉唐ノ堀遺跡 | 結晶片岩の分布状況 | | 第96図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張3区 | 器種別分布状況 |
| 第30図 | 上泉新田塚遺跡群 | の文化層 | | 第97図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張3区 | 石材別分布状況 |
| 第31図 | 上泉新田塚遺跡群 | | 石器分布状況 | 第98図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張3区 | 接合資料の分布状況 |
| 第32図 | 上泉新田塚遺跡群 | | 土層堆積状況 | 第99図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張1区 | 石器分布・垂直分布状況 |
| 第33図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第1文化層 | 出土遺物 | 第100図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張5区 | 出土遺物 |
| 第34図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第1文化層 | 拡張2区 器種別分布・石材別分布状況 | 第101図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張5区 | 母岩別資料・接合資料(1) |
| 第35図 | 上泉新田塚遺跡群 | 1号・2号 | 落ち込み | 第102図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張5区 | 母岩別資料・接合資料(2) |
| 第36図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第2文化層 | 出土遺物 | 第103図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張5区 | 母岩別資料・接合資料(3) |
| 第37図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第2文化層 | 石器分布・垂直分布状況 | 第104図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張5区 | 石器分布・垂直分布状況 |
| 第38図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第2文化層 | 拡張3区 器種別分布・石材別分布状況 | 第105図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張5区 | 器種別分布・石材別分布状況 |
| 第39図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第2文化層 | 拡張4区 石材別分布状況 | 第106図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張5区 | 接合資料の分布状況 |
| 第40図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 出土遺物(1) | 第107図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(1) |
| 第41図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 出土遺物(2) | 第108図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(2) |
| 第42図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 出土遺物(3) | 第109図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(3) |
| 第43図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(1) | 第110図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(4) |
| 第44図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(2) | 第111図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(5) |
| 第45図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(3) | 第112図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(6) |
| 第46図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 石器分布・垂直分布状況 | 第113図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(7) |
| 第47図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 拡張3区 器種別分布・石材別分布状況 | 第114図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(8) |
| 第48図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 拡張4区 器種別分布状況 | 第115図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(9) |
| 第49図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 拡張4区 石材別分布状況 | 第116図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(10) |
| 第50図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 拡張3区 接合資料の分布状況 | 第117図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(11) |
| 第51図 | 上泉新田塚遺跡群 | 第3文化層 | 拡張4区 接合資料の分布状況 | 第118図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(12) |
| 第52図 | 上泉新田塚遺跡群 | 結晶片岩の分布状況 | | 第119図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(13) |
| 第53図 | 上泉武田遺跡 | の文化層 | | 第120図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(14) |
| 第54図 | 上泉武田遺跡 | | 石器分布状況 | 第121図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(15) |
| 第55図 | 上泉武田遺跡 | | 土層堆積状況 | 第122図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 出土遺物(16) |
| 第56図 | 上泉武田遺跡 | 第1文化層 | 出土遺物 | 第123図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 母岩別資料・接合資料(1) |
| 第57図 | 上泉武田遺跡 | 第2文化層 | 出土遺物 | 第124図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 母岩別資料・接合資料(2) |
| 第58図 | 上泉武田遺跡 | 第2文化層 | 母岩別資料・接合資料 | 第125図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 母岩別資料・接合資料(3) |
| 第59図 | 上泉武田遺跡 | 第2文化層 | 石器分布・垂直分布状況 | 第126図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 母岩別資料・接合資料(4) |
| 第60図 | 上泉武田遺跡 | 第2文化層 | 器種別分布状況 | 第127図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 母岩別資料・接合資料(5) |
| 第61図 | 上泉武田遺跡 | 第2文化層 | 石材別分布・接合資料の分布状況 | 第128図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 母岩別資料・接合資料(6) |
| 第62図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 出土遺物(1) | 第129図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 母岩別資料・接合資料(7) |
| 第63図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 出土遺物(2) | 第130図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 石器分布・垂直分布状況 |
| 第64図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 出土遺物(3) | 第131図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 器種別分布状況(1) |
| 第65図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 出土遺物(4) | 第132図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 器種別分布状況(2) |
| 第66図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 出土遺物(5) | 第133図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 器種別分布状況(3) |
| 第67図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 出土遺物(6) | 第134図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 器種別分布状況(4) |
| 第68図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 出土遺物(7) | 第135図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 石材別分布状況 |
| 第69図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(1) | 第136図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 接合資料の分布状況(1) |
| 第70図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(2) | 第137図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 接合資料の分布状況(2) |
| 第71図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(3) | 第138図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 接合資料の分布状況(3) |
| 第72図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(4) | 第139図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張7区 | 結晶片岩の分布状況 |
| 第73図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(5) | 第140図 | 芳賀東部団地遺跡 | の文化層 | |
| 第74図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(6) | 第141図 | 芳賀東部団地遺跡 | | 石器分布状況 |
| 第75図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(7) | 第142図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 土層堆積状況 |
| 第76図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(8) | 第143図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 土層堆積状況 |
| 第77図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(9) | 第144図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 土層堆積状況 |
| 第78図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(10) | 第145図 | 芳賀東部団地遺跡 | D区 | 礫分布・垂直分布状況 |
| 第79図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 母岩別資料・接合資料(11) | 第146図 | 芳賀東部団地遺跡 | D区 | 集石・集石土坑 |
| 第80図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 石器分布・垂直分布状況 | 第147図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 礫分布状況 |
| 第81図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 器種別分布状況(1) | 第148図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 出土遺物(1) |
| 第82図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 器種別分布状況(2) | 第149図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 出土遺物(2) |
| 第83図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 石材別分布・配石状況 | 第150図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 出土遺物(3) |
| 第84図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 接合資料の分布状況(1) | 第151図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 出土遺物(4) |
| 第85図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 接合資料の分布状況(2) | 第152図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 出土遺物(5) |
| 第86図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 接合資料の分布状況(3) | 第153図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 母岩別資料・接合資料(1) |
| 第87図 | 上泉武田遺跡 | 第3文化層 | 結晶片岩の分布状況 | 第154図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 母岩別資料・接合資料(2) |
| 第88図 | 五代砂留遺跡群 | の文化層 | | 第155図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 母岩別資料・接合資料(3) |
| 第89図 | 五代砂留遺跡群 | | 石器分布状況 | 第156図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 母岩別資料・接合資料(4) |
| 第90図 | 五代砂留遺跡群 | | 土層堆積状況 | 第157図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 石器分布・垂直分布状況 |
| 第91図 | 五代砂留遺跡群 | 拡張6区 | 出土遺物 | 第158図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 器種別分布状況 |
| | | | | 第159図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 石材別分布状況 |
| | | | | 第160図 | 芳賀東部団地遺跡 | I区 | 接合資料の分布状況 |
| | | | | 第161図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 出土遺物(1) |

| | | | | | | |
|-------|----------|----|----------------|-------|--|-------------|
| 第162図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 出土遺物(2) | 第210図 | 胴城遺跡 | 接合資料の分布状況 |
| 第163図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 出土遺物(3) | 第211図 | 胴城遺跡 | 礫分布・石材別分布状況 |
| 第164図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 母岩別資料・接合資料(1) | 第212図 | 群馬の旧石器編年(関口2010より引用) | |
| 第165図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 母岩別資料・接合資料(2) | 第213図 | 群馬の旧石器時代石器群の変遷(関口2010より引用) | |
| 第166図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 母岩別資料・接合資料(3) | 第214図 | 上泉唐ノ堀遺跡拡張1・5区のブロック別分布図 | |
| 第167図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 母岩別資料・接合資料(4) | 第215図 | 上泉新田塚遺跡群第2文化層のブロック別分布図 | |
| 第168図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 石器分布・垂直分布状況 | 第216図 | 上泉新田塚遺跡群第3文化層のブロック別分布図 | |
| 第169図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 器種別分布状況 | 第217図 | 上泉武田遺跡第2文化層のブロック別分布図 | |
| 第170図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 石材別分布状況 | 第218図 | 上泉武田遺跡第3文化層のブロック別分布図 | |
| 第171図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 接合資料の分布状況 | 第219図 | 五代砂留遺跡群拡張7区のブロック別分布図 | |
| 第172図 | 芳賀東部団地遺跡 | B区 | 結晶片岩の分布状況 | 第220図 | 芳賀東部団地遺跡I区のブロック別分布図 | |
| 第173図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 出土遺物(1) | 第221図 | 芳賀東部団地遺跡B区のブロック別分布図 | |
| 第174図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 出土遺物(2) | 第222図 | 芳賀東部団地遺跡E区のブロック別分布図 | |
| 第175図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 出土遺物(3) | 第223図 | 遺跡内変遷図(1) | |
| 第176図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 出土遺物(4) | 第224図 | 遺跡内変遷図(2) | |
| 第177図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 出土遺物(5) | 第225図 | 自然科学分析試料採取位置図 | |
| 第178図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 出土遺物(6) | 第226図 | J-19トレンチの土層柱状図 | |
| 第179図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(1) | 第227図 | I区第2トレンチ上方地点の土層柱状図 | |
| 第180図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(2) | 第228図 | I区第2トレンチ下方地点の土層柱状図 | |
| 第181図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(3) | 第229図 | プレハブ東調査区北壁の土層柱状図 | |
| 第182図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(4) | 第230図 | 北西部調査区深堀トレンチの土層柱状図 | |
| 第183図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(5) | 第231図 | J-19トレンチの火山ガラス比ダイヤグラム | |
| 第184図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(6) | 第232図 | I区第2トレンチ上方地点の火山ガラス比ダイヤグラム | |
| 第185図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(7) | 第233図 | I区第2トレンチ下方地点の火山ガラス比ダイヤグラム | |
| 第186図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(8) | 第234図 | B区1トレンチの土層柱状図 | |
| 第187図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(9) | 第235図 | B区2トレンチの土層柱状図 | |
| 第188図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(10) | 第236図 | B区7トレンチの土層柱状図 | |
| 第189図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(11) | 第237図 | C区南北ベルトの土層柱状図 | |
| 第190図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(12) | 第238図 | C区2トレンチ南壁の土層柱状図 | |
| 第191図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(13) | 第239図 | C区17トレンチ南壁の土層柱状図 | |
| 第192図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 母岩別資料・接合資料(14) | 第240図 | D区2トレンチ東壁の土層柱状図 | |
| 第193図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 石器分布・垂直分布状況 | 第241図 | D区2トレンチ東壁南部の土層柱状図 | |
| 第194図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 器種別分布状況 | 第242図 | C区17トレンチの火山ガラス比ダイヤグラム | |
| 第195図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 石材別分布状況 | 第243図 | D区2トレンチ東壁試料1(Hg-9)の火山ガラス比ダイヤグラム(重鉱物組成を含む) | |
| 第196図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 接合資料の分布状況(1) | 第244図 | 関東周辺の黒曜石原産地位置図 | |
| 第197図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 接合資料の分布状況(2) | 第245図 | クラスター分析の結果(平方ユークリッド距離・最遠距離法) | |
| 第198図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 接合資料の分布状況(3) | 第246図 | 富田宮下遺跡の結晶片岩分布・垂直分布状況 | |
| 第199図 | 芳賀東部団地遺跡 | E区 | 接合資料の分布状況(4) | 第247図 | 群馬県の地質概図 | |
| 第200図 | 胴城遺跡の文化層 | | | 第248図 | 本州中央部の地質構造図 | |
| 第201図 | 胴城遺跡 | | 石器分布状況 | 第249図 | 赤城火山周辺域の地質概図 | |
| 第202図 | 胴城遺跡 | | 土層堆積状況 | 第250図 | 赤城火山直下の基盤面等高線と地質断面図 | |
| 第203図 | 胴城遺跡 | | 出土遺物(1) | 第251図 | 赤城火山発生直後の復元鳥瞰図 | |
| 第204図 | 胴城遺跡 | | 出土遺物(2) | 第252図 | ボーリングおよび物理探査データにより暫定的に推定された関東平野地下における先新第三系地体構造区分 | |
| 第205図 | 胴城遺跡 | | 母岩別資料・接合資料(1) | 第253図 | Geological map of the Ayukawa-Sanbagawa area. S-s;Shibadaira synform.A-a;Ayukawa antiform.4 D-s;Dosojin synform.Sn-a;Sanbagawa antifom. 矢野・田切 1998のFig2を引用 | |
| 第206図 | 胴城遺跡 | | 母岩別資料・接合資料(2) | | | |
| 第207図 | 胴城遺跡 | | 石器分布・垂直分布状況 | | | |
| 第208図 | 胴城遺跡 | | 器種別分布状況 | | | |
| 第209図 | 胴城遺跡 | | 石材別分布状況 | | | |

表 目 次

| | | | |
|------|-------------------------|------|------------------------|
| 第1表 | 各遺跡に認められる文化層 | 第19表 | 芳賀東部団地遺跡 第2文化層 B区組成表 |
| 第2表 | 周辺遺跡 | 第20表 | 芳賀東部団地遺跡 第2文化層 E区組成表 |
| 第3表 | 上泉唐ノ堀遺跡 第1文化層 組成表 | 第21表 | 胴城遺跡 第1文化層 組成表 |
| 第4表 | 上泉唐ノ堀遺跡 第3文化層 組成表 | 第22表 | 胴城遺跡 礫類・自然石組成表 |
| 第5表 | 上泉新田塚遺跡群 第1文化層 組成表 | 第23表 | 出土石器一覧表 |
| 第6表 | 上泉新田塚遺跡群 第2文化層 拡張3区組成表 | 第24表 | 群馬県内「環状ブロック群」検出遺跡一覧表 |
| 第7表 | 上泉新田塚遺跡群 第2文化層 拡張4区組成表 | 第25表 | 群馬県内旧石器時代遺跡礫群等一覧表 |
| 第8表 | 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 拡張3区組成表 | 第26表 | 上泉武田遺跡火山ガラス比分析結果 |
| 第9表 | 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 拡張4区組成表 | 第27表 | 上泉武田遺跡屈折率測定結果 |
| 第10表 | 上泉武田遺跡 第1文化層 組成表 | 第28表 | 芳賀東部団地遺跡火山ガラス比分析結果 |
| 第11表 | 上泉武田遺跡 第2文化層 組成表 | 第29表 | 芳賀東部団地遺跡重鉱物組成分析結果 |
| 第12表 | 上泉武田遺跡 第3文化層 組成表 | 第30表 | 芳賀東部団地遺跡テフラ検出分析結果 |
| 第13表 | 五代砂留遺跡群 第1文化層 拡張3・6区組成表 | 第31表 | 芳賀東部団地遺跡屈折率測定結果 |
| 第14表 | 五代砂留遺跡群 第2文化層 拡張1区組成表 | 第32表 | 蛍光X線分析の測定条件 |
| 第15表 | 五代砂留遺跡群 第3文化層 拡張5区組成表 | 第33表 | 東日本の主な産地黒曜石の6元素組成 |
| 第16表 | 五代砂留遺跡群 第3文化層 拡張7区組成表 | 第34表 | 産地分析の結果 |
| 第17表 | 芳賀東部団地遺跡 第1文化層 D区組成表 | 第35表 | 上武道路旧石器時代遺跡群馬黒曜石原産地一覧表 |
| 第18表 | 芳賀東部団地遺跡 第1文化層 I区組成表 | 第36表 | 上武旧石器(1)(2)、片岩類総括表 |

写真目次

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------|--------|----------|---|--------------------------------|
| P L 1 | 芳賀東部団地遺跡現況(東から榛名山を望む。 (平成23年12月撮影) | P L 31 | 五代砂留遺跡群 | 1 | 拡張6区炭化物検出状況(北から) |
| P L 2 | 1 遺跡群遠景西側(南から) | | | 2 | 拡張6区落ち込み(北から) |
| | 2 遺跡群遠景(西から) | | | 3 | 拡張3区落ち込み(北から) |
| P L 3 | 1 遺跡群遠景東側(南から) | | | 4 | 拡張3区遺物出土状況(北から) |
| | 2 遺跡群遠景(東から) | | | 5 | 拡張5区1面遺物出土状況(北東から) |
| P L 4 | 上泉唐ノ堀遺跡 | | | 6 | 拡張5区2面遺物出土状況(北東から) |
| | 1 南壁セクション(北から) | | | 7 | 拡張7区遺物出土状況(東から) |
| | 2 北壁セクション(南東から) | | | 8 | 拡張7区遺物出土状況(南東から) |
| | 3 遺跡遠景(南東から) | P L 32 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(1) |
| P L 5 | 上泉唐ノ堀遺跡 | P L 33 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(2) |
| | 1 1号落ち込みセクション(東から) | P L 34 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(3) |
| | 2 1号落ち込み調査状況(東から) | P L 35 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(4) |
| | 3 2号落ち込みセクション(東から) | P L 36 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(5) |
| | 4 1号・2号落ち込み調査状況(東から) | P L 37 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(6) |
| | 5 3号落ち込みセクション(東から) | P L 38 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(7) |
| | 6 3号落ち込み調査状況(東から) | P L 39 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(8) |
| | 7 4号落ち込み全景(西から) | P L 40 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(9) |
| | 8 第1文化層遺物出土状況(北から) | P L 41 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(10) |
| P L 6 | 上泉唐ノ堀遺跡 | P L 42 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(11) |
| | 1 遺物出土状況(南から) | P L 43 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(12) |
| | 2 遺物出土状況(西から) | P L 44 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(13) |
| | 3 遺物出土状況(南東から) | P L 45 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(14) |
| | 4 遺物出土状況(東から) | P L 46 | 五代砂留遺跡群 | | 出土遺物(15) |
| | 5 遺物出土状況(北東から) | P L 47 | 芳賀東部団地遺跡 | 1 | B区試掘トレンチ5西壁セクション (東から) |
| | 6 遺物出土状況(東から) | | | 2 | E区南壁セクション(東から) |
| | 7 局部磨製石斧出土状況(北から) | | | 3 | I区試掘トレンチ6南壁セクション (北から) |
| | 8 結晶片岩類出土状況(北から) | | | 4 | D区集石確認状況(西から) |
| P L 7 | 上泉唐ノ堀遺跡 | | | 5 | D区集石検出状況(南東から) |
| P L 8 | 上泉唐ノ堀遺跡 | | | 6 | D区炭化物検出状況(北から) |
| P L 9 | 上泉唐ノ堀遺跡 | | | 7 | D区集石土坑(北から) |
| P L 10 | 上泉唐ノ堀遺跡 | | | 8 | B区南壁遺物出土状況(東から) |
| P L 11 | 上泉唐ノ堀遺跡 | | | 1 | B区全景(西から) |
| P L 12 | 上泉唐ノ堀遺跡 | | | 2 | E区遺物出土状況(北から) |
| P L 13 | 上泉新田塚遺跡群 | | | 3 | E区全景遺物出土状況(北から) |
| | 1 試掘トレンチ68-G-4南壁セクション (北から) | P L 48 | 芳賀東部団地遺跡 | 4 | I区試掘トレンチ6遺物出土状況 (北から) |
| | 2 2号落ち込み(北から) | | | 5 | I区試掘トレンチ6拡張遺物出土状況 (北から) |
| | 3 1号落ち込み炭化物検出状況(北から) | | | | 出土遺物(1) |
| | 4 1号落ち込み(北から) | P L 49 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(2) |
| | 5 拡張3区第2文化層遺物出土状況 (北西から) | P L 50 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(3) |
| | 6 拡張3区第3文化層遺物出土状況 (北西から) | P L 51 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(4) |
| | 7 78-T-17遺物出土状況(東から) | P L 52 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(5) |
| | 8 拡張4区遺物出土状況(南から) | P L 53 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(6) |
| P L 14 | 上泉新田塚遺跡群 | P L 54 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(7) |
| P L 15 | 上泉新田塚遺跡群 | P L 55 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(8) |
| P L 16 | 上泉新田塚遺跡群 | P L 56 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(9) |
| P L 17 | 上泉武田遺跡 | P L 57 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(10) |
| | 1 遺跡遠景(南から) | P L 58 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(11) |
| | 2 遺跡遠景(南東から) | P L 59 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(12) |
| P L 18 | 上泉武田遺跡 | P L 60 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(13) |
| | 1 2区西壁セクション(東から) | P L 61 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(14) |
| | 2 第2文化層遺物出土状況(南から) | P L 62 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(15) |
| | 3 第2文化層遺物出土状況(西から) | P L 63 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(16) |
| | 4 第3文化層遺物出土状況(北西から) | P L 64 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(17) |
| | 5 第3文化層遺物出土状況(北西から) | P L 65 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(18) |
| P L 19 | 上泉武田遺跡 | P L 66 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(19) |
| | 1 試掘トレンチ全景(北西から) | P L 67 | 芳賀東部団地遺跡 | | 出土遺物(19) |
| | 2 第3文化層G19遺物出土状況(南から) | P L 68 | 胴城遺跡 | 1 | 試掘トレンチ84-O-13北壁セクション (南から) |
| | 3 第3文化層H1遺物出土状況(南から) | | | 2 | 遺物出土状況(南から) |
| | 4 第3文化層I1遺物出土状況(南から) | | | 3 | 遺物出土状況(南東から) |
| | 5 第3文化層遺物出土状況(南から) | | | 4 | 結晶片岩類出土状況(北から) |
| | 6 第3文化層遺物出土状況(北東から) | | | | 出土遺物(1) |
| | 7 第3文化層遺物出土状況(南から) | | | | 出土遺物(2) |
| | 8 作業風景(南から) | P L 69 | 胴城遺跡 | | 結晶片岩(1)上泉唐ノ堀・上泉新田塚 |
| P L 20 | 上泉武田遺跡 | P L 70 | 胴城遺跡 | | 結晶片岩(2)上泉武田 |
| P L 21 | 上泉武田遺跡 | P L 71 | | | 結晶片岩(3)上泉武田・五代砂留・芳賀東部 団地・胴城 |
| P L 22 | 上泉武田遺跡 | P L 72 | | | 結晶片岩(4)胴城 |
| P L 23 | 上泉武田遺跡 | P L 73 | | | |
| P L 24 | 上泉武田遺跡 | | | | |
| P L 25 | 上泉武田遺跡 | | | | |
| P L 26 | 上泉武田遺跡 | | | | |
| P L 27 | 上泉武田遺跡 | | | | |
| P L 28 | 上泉武田遺跡 | | | | |
| P L 29 | 上泉武田遺跡 | | | | |
| P L 30 | 五代砂留遺跡群 | | | | |
| | 1 遺跡遠景(南から) | | | | |
| | 2 試掘トレンチ33-M-15南壁セクション (北から) | | | | |

第1章 発掘調査の概要

第1節 発掘調査に至る経緯

上武道路は、東京圏と群馬県を結ぶ広域ネットワークを形成しており、前橋市や太田市、伊勢崎市などの市街地の渋滞緩和と地域活性化を図るために計画されたものである。地域高規格道路「熊谷渋川連絡道路」に位置付けられており、埼玉県熊谷市で深谷バイパスから分岐して北上し、群馬県太田市、伊勢崎市を経て前橋市田口町で再び国道17号に接続する総延長40.5kmに及ぶ一般国道17号の大規模バイパスである。現国道17号より以西は、前橋市田口町から渋川市半田までの5.7kmが前橋渋川バイパス、さらに渋川市東町関下から同市上白井までの5.5kmは鯉沢バイパスとして供用が開始されている。

上武道路の建設が計画された地域は、関東平野の北西部から赤城山南面の山麓縁辺にかけてであり、埋蔵文化財の最も濃密に分布する地域の一つである。上武道路の建設計画が出された段階で群馬県教育委員会は、計画路線に沿った幅2kmの範囲の遺跡分布調査を行い472カ所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。この結果をもとに建設省と群馬県教育委員会の間で協議が重ねられ、重要遺跡を路線からはずして現状保存をはかることとし、埋蔵文化財包蔵地57地点について、工事着工前に埋蔵文化財の発掘調査が必要であることを確認し、全路線が発表されたのが昭和46年11月のことである。昭和47年度には、開通が急がされた第Ⅰ期工事区間である新田郡尾島町(現太田市尾島町)から前橋市二之宮町の国道50号までの発掘調査の実施に関して、建設省関東地方建設局高崎工事事務所、群馬県企画部幹線交通課上武対策係、群馬県教育委員会文化財保護課の三者で協議が行われた。その結果、路線内の発掘調査が実施されることになり、昭和48年4月1日付けで建設省関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長の間で「一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定書」が締結され、この協定書にもとづき建設省と群馬県教育委員会の間で発掘調査の委託契約が締結し、昭和49年1月から、群馬県教育委員会によって伊勢崎市三和町、新田郡新田町下江田前(現太田市新田町下江田)から順次発掘調査が進められた。その後、昭和53年度には財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団(以下、事業団と呼ぶ)が設立され、発掘調査は事業団に引き継がれた。第Ⅰ期工事区の調査は、昭和63年度には調査対象となった35遺跡、534,000㎡の発掘調査がすべて終了し、平成7年度末までに26冊の発掘調査報告書が刊行された。

続いて、国道50号(前橋市今井町)から主要地方道前橋大間々桐生線(前橋市上泉町)までの4.9km区間がⅡ期工事区(7工区)として事業化された。7工区の発掘調査は、平成11年4月1日付けで国土交通省関東地方整備局(以下、国土交通省と呼ぶ)、群馬県教育委員会(以下、県教育委員会と呼ぶ)、事業団の三者間で締結された「一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その1)の実施に関する協定書」にもとづき、平成11年度から事業団によって着手された。平成14年度には、国土交通省、県教育委員会、事業団の三者は、平成14年4月1日付けで「一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その2)の実施に関する協定書(以下、「協定書その2」と呼ぶ)」を締結し、これにより萱野Ⅱ遺跡以北の発掘調査が開始された。こうして7工区の発掘調査が順調に進捗していく一方、平成17年度には、国土交通省から主要地方道前橋西久保線までの区間暫定供用を開始する旨の提示があり、「協定書その2」の変更契約を結んでこれに対応した。最終的にⅡ期工事区では、平成11年度から平成16年度にわたって17遺跡、288,873.3㎡が発掘調査され、平成21年度末までに16冊の発掘調査報告書としてまとめられた。

平成18年度には、最終工区となる前橋市上泉町から現国道17号(前橋市田口町)の第Ⅲ期工事区(8工区)が事業化された。平成18年2月16日付けで、「一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その3)の実施に関する協定書」が、国土交通省、県教育委員会、事業団の三者間で締結され、埋蔵文化財発掘調査を実施することが正式決定された。31遺跡、400,000㎡を対象として、平成18年7月から上泉唐ノ堀遺跡、上泉新田塚遺跡群から西に向かって順次発掘調査が開始され、現在(平成24年3月)に至っている。

第2節 調査の方法と経過

1 調査の方法

本報告書に掲載した上泉唐ノ堀遺跡、上泉新田塚遺跡群、上泉武田遺跡、五代砂留遺跡群、芳賀東部団地遺跡、胴城遺跡の6遺跡は、平成18年度から平成20年度にかけて発掘調査が行われた。

発掘調査はいずれの遺跡においても、掘削重機によって表土を全面的に除去した後に縄文時代以降の遺構確認を行い、調査が終了した地点から旧石器時代を対象とした試掘調査を行った。

試掘調査は、原則として10m×10mの小グリッド内に2m×4mのトレンチを10mピッチで設定し、対象となる遺跡全体に均等になるように配置し、しかも試掘対象面積の少なくとも8%の確認に努めた。試掘のための掘削は、ローム層への漸移層またはローム層最上層から暫時掘り下げ、基本的にHr-HPを面的に確認するまでに行い、石器の出土層位と出土範囲を把握することに努めた。

旧石器時代の本調査は、試掘調査において石器が出土したトレンチを中心として石器の分布状況を把握することに留意しながら、石器の広がりや途切れる地点までトレンチを拡張し、石器出土範囲を確定した。また、石器出土層位がローム層上面から深い場合は、石器を含まないことが判明した上位の層を掘削重機によって除去し、作業の効率化を図った。

出土した石器については、基本的に全点番号を付し、出土地点、出土標高、出土層位を記録して取り上げた。ただし、文化層の把握については、各遺跡における出土状況に応じて個々に設定をしたために、基本土層における文化層の認定が異なってしまったものがある。また、炭化物等の分布が確認された場合には、石器と同様に出土地点などに関する情報を記録し、一部をサンプリングした。さらに、一部の遺跡においては微細な遺物の存在が予想されたため、石器分布の中心部分の土壌を採取し水洗選別を行うことで、多量の剥片や石片を回収した。

2 調査の経過

旧石器時代の調査は、いずれの遺跡においても基本的に上述のような経過で推移したが、遺跡ごとに簡潔に進行状況について記述する。

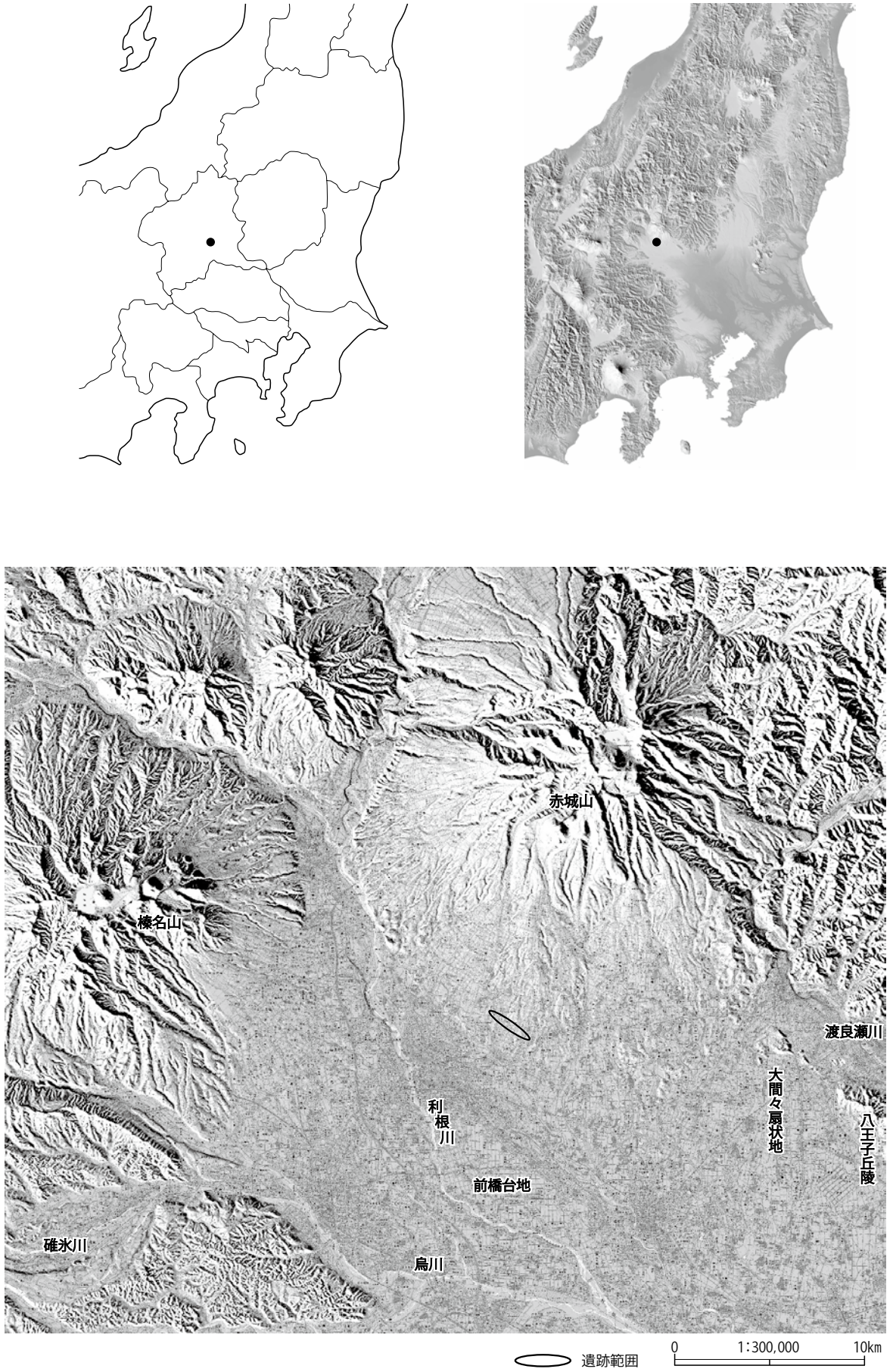
上泉唐ノ堀遺跡

平成18年度

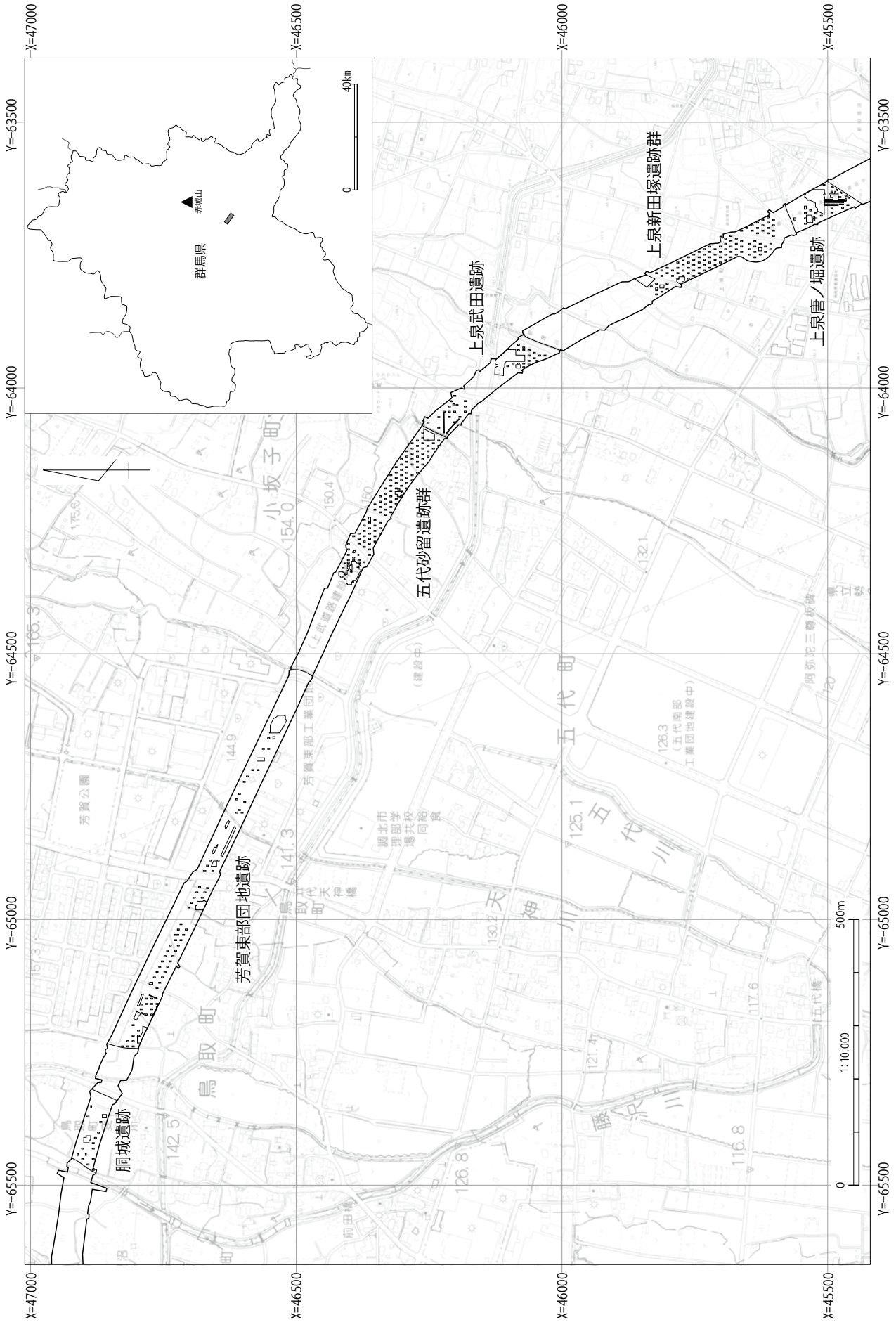
- 7月 土地番号1・8・9の範囲の調査開始。
- 8月 同範囲について、縄文時代の遺構調査を終了。旧石器時代確認のための試掘トレンチを設定し、調査を開始。
47-G-17～47-L-15グリッドにおいて、As-BP上層で炭化物を検出した。
- 9月 47-H-17グリッドにおいて暗色帯から石器が出土し、周辺部へと拡張して調査を進めた。その結果、XI層上面で土坑とされたものが3基検出された。
- 10月 拡張4区と拡張2区で石器が出土。
- 11月 暗色帯中から局部磨製石斧が出土。
- 12月 88-T-11グリッドにおいて、As-SP下位から石器出土。
- 2月 88-S-9グリッドのIV～VI層下部から石器出土。
- 3月 第3拡張区の調査を行う。

平成20年度

- 5月 土地番号5・6・7において試掘調査を行った結果、石器の出土はみられなかった。



第1図 遺跡群位置図



第2図 上武道路旧石器調査区

上泉新田塚遺跡群

平成18年度

- 7月 土地番号12・18について11月までの調査で、石器1点を検出した。土地番号14・17・19について10月まで調査を行った結果、石器1点を検出した。
- 11月 土地番号20・23・24・25・28・30～33・36・37について調査を開始し、異なる3時期の石器群を検出した。
- 2月 調査区西側を中心に遺物出土地点周辺の拡張を行った。
- 3月 拡張調査を継続。

平成19年度

- 4月 土地番号10・11・26・29・34・38について5月まで調査し、石器出土は確認されなかった。

上泉武田遺跡

平成19年度

- 6月 土地番号56～68について調査開始。I区でAs-BP層下位から石器が多数出土。
- 9月 II区でAs-BP層上位から石器の出土を確認。
- 10月 II区でもI区と同様にAs-BP層下位から石器が出土。III・IV区では石器出土は確認されなかった。

五代砂留遺跡群

平成19年度

- 5月 土地番号69～98・100～104・109～117の調査を開始。
- 7月 1区の旧石器時代調査を開始。
- 8月 2区の旧石器時代調査を開始。
- 11月 台地中央部でAs-BP層上位から石器が出土。
- 2月 西側調査区台地部分の調査で、暗色帯上層から石器が出土。
- 3月 東側調査区東端部で、As-BP層下位で石器が出土し、グリッドの拡張を行った。

芳賀東部団地遺跡(鳥取松合下遺跡を含む)

平成19年度

- 5月 土地番号118・119・122～129・133～139・141～144・146・147・149～157の調査を開始。
- 9月 C区とD区の旧石器時代調査を開始。D区においてAs-BP層直下から礫群が出土。
- 10月 B区の調査において石器が多数出土し、11月にかけて調査を進めた。併せてE区とI区の調査を進め、石器が多数出土したため拡張を行った。

胴城遺跡

平成19年度

- 2月 土地番号178・180・181・183の調査開始。当該年度においては旧石器の確認はなし。

平成20年度

- 5月 土地番号177～183について調査を再開。
- 6月 暗色帯下部から結晶片岩類が出土。
- 8月 As-YP層下位からナイフ形石器などが出土し、グリッドの拡張を行った。

第3節 グリッドの設定

グリッドの設定は、国家座標第Ⅸ系(世界測地系)を利用した。大グリッド—中グリッド—小グリッドという方式で設定した。この方式は上武道路調査遺跡の統一仕様であり、各遺跡ともにこれに従った。

まず、8工区の起点となる上泉唐ノ堀遺跡の国家座標Ⅸ系(世界測地系)X=45.000、Y=-63.000を基点としてこれより以西の上武道路調査遺跡をすべて網羅する大グリッドを設定した。大グリッドは、1区画が東西1,000m×1,000mの大きさとした。大グリッドには、南から北へ順次No 1・2・3というかたちで番号を付けた。各遺跡を包括する大グリッドは、上泉唐ノ堀遺跡はNo 1、上泉新田塚遺跡群はNo 1、上泉武田遺跡はNo 2・3、五代砂留遺跡群はNo 3、芳賀東部団地遺跡はNo 3・4、胴城遺跡はNo 4である。

次に、大グリッドの中に1区画100m×100mの大きさとなる中グリッドを設定した。大グリッドの中は計100個の中グリッドに分割した。また、中グリッドには南東隅の中グリッドを基点(No 1)として、東側から西側へ番号を付けた。南側の最下段がNo 1～10、次に北側に移りNo11～20、そして北側の最上段がNo91～100というかたちで、合計100個の番号を付けた。各大グリッドには同じ番号の中グリッドが繰り返し存在するため、中グリッドの表記は8-93、8-4などのように大グリッド—中グリッドの組み合わせとした。

さらに、100m四方の中グリッドの中に、1区画5m×5mの大きさとなる小グリッドを設定した。一つの中グリッドは計400個の小グリッドに分割され、この小グリッドが、実際の発掘調査において最小単位となるグリッドである。

グリッドは、中グリッドの南東隅のXY座標交点を基点とし、X座標をYグリッド軸、Y座標をXグリッド軸とした。

X座標(Yグリッド軸)には、5m間隔で南側から北側へ1・2・3というかたちで20までの計20個の算用数字を付けた。(例:X=44900には1、X=44905には2、X=44910には3)。

Y座標(Xグリッド軸)には、5m間隔で東側から西側へA・B・CというかたちでTまでの計20個のアルファベットを付けた。(例:Y=-63300にはA、Y=-63305にはB、Y=-63310にはC)。

グリッド番号は、Xグリッド軸とYグリッド軸の南東交点を基準として(Xグリッド—Yグリッド)とし、アルファベットと算用数字を組み合わせて行った。(例:A-1、B-2、C-3)。

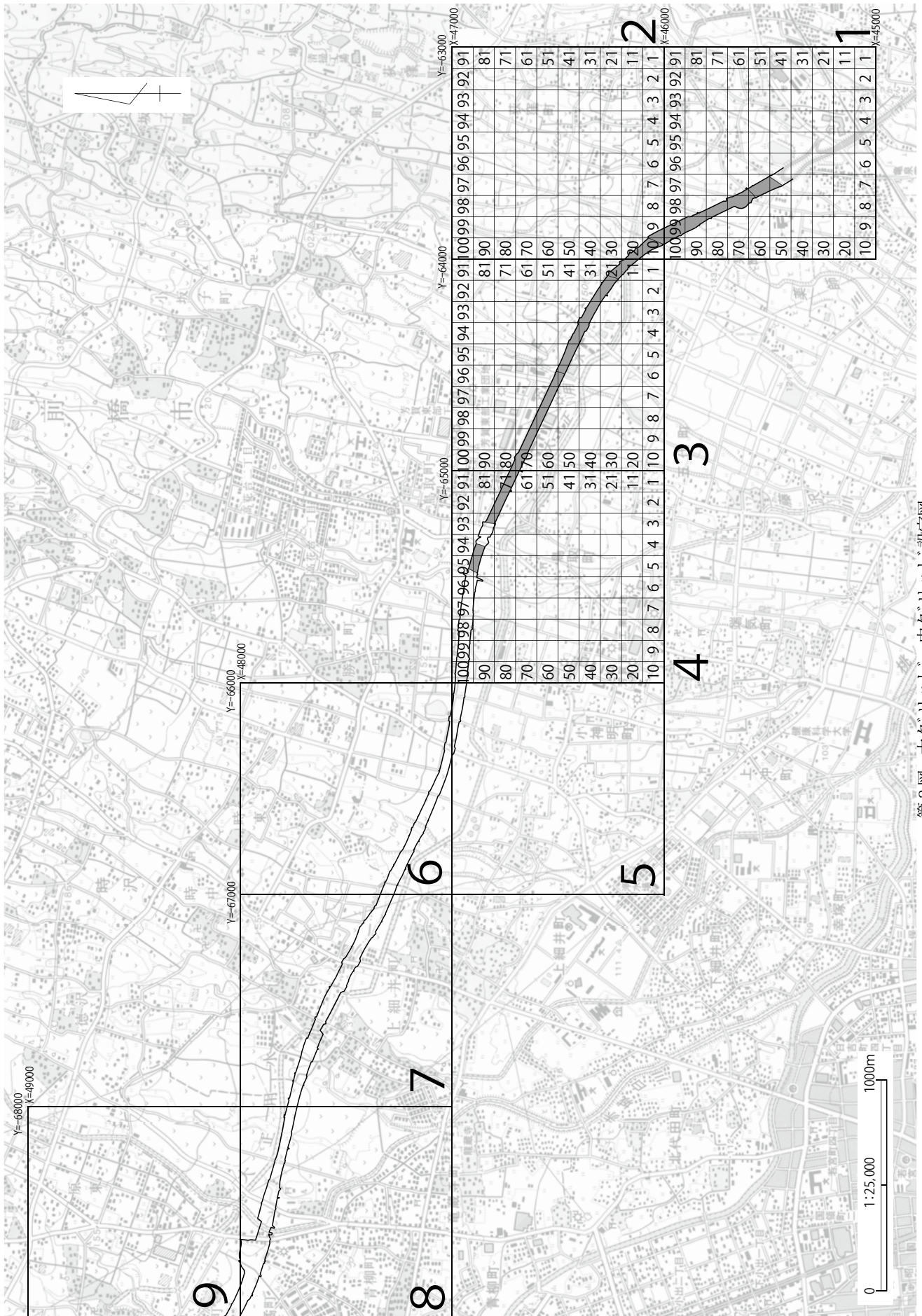
以上のようにして設定したグリッド番号の表記方式は、4-A-1、14-A-1のように中グリッド番号—グリッド番号の組み合わせとした。各中グリッドには同じグリッド番号が存在し、グリッド番号だけの表記では図面や遺物取り上げに混乱が発生するため、グリッド番号の前に必ず中グリッド番号を付けて表記し混乱防止を図った。なお、大グリッド番号の表記は、影響が小さいことから省略した。

ただし、地区については、諸記録の管理上の扱いが煩雑となるため遺物や図面等の記録類への記入は省略した。これに代わり、上武道路のこれまでの仕様にならって、遺跡略称である「JK」を使用した。Jは上武、Kは国道の略である。本報告に掲載した上泉唐ノ堀遺跡はJK52であるが、8工区にあたる部分はJK52bとし、上泉新田塚遺跡群はJK53である。

第4節 旧石器時代の文化層

文化層を設定するにあたっては、石器の出土層位を最大限に考慮した。このような層位的な事実と、剥片剥離技術の特徴や主要器種の技術形態的な特徴が整合関係にあるかどうか吟味したうえで、石器群の文化層を設定した。各遺跡から発見された石器群は、その帰属層位から判断すると、大きくみて五つの段階に分類することが可能である。

第1表に、各遺跡の文化層の分類とその帰属層位について表した。この表は、特に帰属層位を根拠として各文化層のおおまかな形成時期を示したものであり、大筋で『上武道路・旧石器時代遺跡群(1)』『上武道路・旧石器時代遺跡群(2)』



第3図 大ケリット・中ケリット設定図

第1章 発掘調査の概要

に準拠した。従って、同じ帰属層位にある文化層同士が、編年的に同一段階にあるという事を意味している訳ではない。例えば、帰属層位がVI～VII層(AT下暗色帯)にある文化層同士を比較すると、剥片剥離技術の特徴や主要器種の技術形態的特徴が異なる様相を示すものが認められるケースがある。この場合は、層的根拠によって時間差が認定することが出来ない石器群同士であっても、考古学的に見ると形成時期の異なる段階に分別される可能性が高いということになる。

ここでの取扱いで大きく異なるのは、基本土層のVIII層からIX層にかけての暗色帯下位から榛名八崎軽石層上位までの間で検出された結晶片岩の解釈である。これについては、『上武道路・旧石器時代遺跡群(1)』『上武道路・旧石器時代遺跡群(2)』の報告では人がかかわったとして「文化層」と認定されているが、解釈上いくつかの問題点もあることから下記の表では文化層としての扱いをしていない。これについては、第6章で詳しく検討することとする。

第1表 各遺跡に認められる文化層

| 上武道路 | 遺跡名 | 胴城 | 芳賀東部 | 五代砂留 | 上泉武田 | 上泉新田塚 | 上泉唐ノ堀 8工区 | 上泉唐ノ堀 7工区 | 上泉坂上 | 堤沼上 |
|---------|--------------------|-------|-------|-------|----------------|-------|--------------|--------------|-------|-------|
| 層位 | テフラ | | | | | | | | | |
| II | As-YP | | | | | | | | | |
| III | As-Ok1・2、 As-Sr | 第1文化層 | | 第1文化層 | 第1文化層 第2文化層 | 第1文化層 | 第1文化層 | 第1文化層 | 第1文化層 | 第1文化層 |
| IV・V | As-BP | | 第1文化層 | 第2文化層 | | 第2文化層 | | | | |
| VI | AT | | | 第3文化層 | 第3文化層 | 第3文化層 | 第2文化層 | | 第2文化層 | 第2文化層 |
| VII | | | 第2文化層 | | | | 第3文化層 | 第2文化層 | | 第2文化層 |
| VIII・IX | | | | | | | 第3文化層 | 第3文化層 | 第3文化層 | |
| X | Hr-HP | | | | | | | | | |

| 萱野II | 江木下大目 | 富田下大目 | 富田漆田 | 富田高石 | 富田西原 | 富田宮下 | 荒砥北三木堂II | 今井道上II | |
|-------|-------|-------|------|------|------|-------|----------|--------|--------|
| | | | | | | | 第1文化層 | | 群馬V期 |
| 第1文化層 | | 第1文化層 | | | | | | | 群馬IV期 |
| 第2文化層 | | | | | | 第1文化層 | 第2文化層 | | 群馬III期 |
| 第3文化層 | | | | | | | | 第1文化層 | 群馬II期 |
| 第4文化層 | | 第2文化層 | | | | 第2文化層 | 第3文化層 | 第2文化層 | 群馬I期 |
| | | | | | | | 第4文化層 | 第3文化層 | |

第5節 石器の器種分類

本書で行った石器の器種分類の基準を以下に示す。

槍先形尖頭器(ポイント) 主として平坦な加工により先端および周縁が作り出されている石器。柳葉形、木葉形、広葉形をしているものが多い。加工は先端部のみではなく、器体全体に及ぶ。平坦な剥離により面的に加工されるものと、ブランディングにより周縁が加工されるものがある。縄文時代には「石槍」と呼ばれる。

角錐状石器 断面形が三角形を呈し、素材の腹面側から平坦な加工が施され、背面中央に1条の稜が作り出されている石器。断面形が三角形を呈し、素材の腹面側から平坦な加工が施され、背面中央に1条の稜が作り出されている石器で、尖頭器の祖形との考えもある。「ゴロゴロ石器」や「関型石器」などと呼称されたこともある。

ナイフ形石器(ナイフ・ブレイド) 石刃や縦長剥片などの鋭い縁辺を一部に残し、他の縁辺を細部加工した石器。代表的なのは、石刃などの両側辺に細部加工した「茂呂型ナイフ形石器」、一側辺のみを細部加工した「杉久保型ナイフ形石器」、基部部分のみを細部加工した「東山型ナイフ形石器」、それに『瀬戸内技法』による横長の翼状剥片を素材とし、一側辺のみを細部加工した「国府型ナイフ形石器」など、地域や時期の違いによって区分されるものもある。一方、剥片素材の尖刃や斜刃、それに台形石器もナイフ形石器に含めることもあり、その場合は全体の形状で先端を尖らせているものを小形ナイフ形石器とした。さらに「藪塚系ナイフ形石器」と呼称する意見もある。だが、筆者らのように「切出形石器」や「台形石器(トラピーズ)」、「台形様石器(トラピゾイド)」などの、剥片の鋭い縁辺を一部に残し、他の縁辺を細部加工した石器のうち、石器長軸(主軸)に直交もしくは斜交する刃部をもつ石器を基本的にはナイフ形石器の1種とする考え方もあるが、AT降灰以前の時期を代表する器種の「台形様石器」の一部や、AT降灰以降の「切出形石器」や「台形石器」と呼称されていた石器など、時期的に特徴的に存在しているため、あえてナイフ形石器とは分離させる考え方もある。ここでは便宜的に含めておくこととする。

石斧(アックス、ハンド・アックス) 主として平坦な加工が施され、石器の長軸に直交するような刃部を持つ石器。打製もあるが、磨製、その中でも刃部には研磨が施されるものが多い。従来、「局部磨製石斧」と呼ばれているものもこれに含まれるが、研磨の認められないものや、用途が木材の伐採以外にもあったと考えられる点から「斧形石器」という呼称を用いる場合もある。欠損しているものについても、接合がなく素材からの両側縁への加工が認められる場合は1点として認定している。剥離後に加工が認められないものは調整剥片、そこに研磨面が認められるものについては刃部剥片として捉えている。

彫器(グレイバー) 槌状剥離によって作り出された彫刻刀面を持つ石器。「彫刻刀形石器」とも呼ぶ。

搔器(エンド・スクレイパー) 連続する加工により、厚い刃部が作り出されている石器。平面形は円形、拇指状を呈するものが多い。刃部の角度が45度以上のものを搔器、以下のものを削器とし分別することとする。

削器(サイド・スクレイパー) 連続する加工による刃部を持つ石器。形態や加工は様々である。刃部がノッチ状になる「挟入削器(ノッチド・スクレイパー)」や、連続する強い加工や平坦な加工により、鋸歯縁状の刃部が作り出されている「鋸歯縁状削器(デンキュレット・スクレイパー)」、それに複数のノッチ部によるベックと呼ばれている石器などもここに含む。

石錐(ドリル) 2側縁もしくは1側縁の加工により錐状の先端部が作り出されている石器。「錐器」とも呼ばれる。

楔形石器(ピースエスキュー) 相対する両端に対向からの剥離が認められる石器。定義に合わない呼称のされ方が多い石器でもある。

細石刃(マイクロブレイド) 目的を持って連続的に剥離された長さ3cm前後・幅数ミリの小石刃小形の石刃。石器自体にはほとんど加工が施されないが、組み合わせ道具として用いられたと考えられている。

細石核(マイクロコア) 細石刃が剥離された石核。北方系・削片系と稜柱系とに大きく分けられる。

第1章 発掘調査の概要

削片(スポール) 槌状剥離によって剥がされた剥片。彫器や削片系細石核に伴う。

加工痕ある剥片(リタッチド・フレイク) 器種としての認定ができなかったが、2次加工が認められる剥片。「2次加工ある剥片」ともいう。

使用痕ある剥片(ユースド・フレイク) 使用痕の可能性の高い微細な剥離が認められる剥片。「微細剥離のある剥片」ともいう。

石刃(ブレイド) 石刃技法により連続して剥離された両側縁が平行する縦に長い石器。平面形は似ていても偶発的に剥離されたものや、剥離に連続性が認められないものは縦長剥片としこれと区別する。また、組成表中の石刃には稜付き剥片も含まれる。

剥片(フレイク) 石核などから打ち剥がされた石片。打面や打点との関係で長さとの幅の比によって、縦長剥片と横長剥片に区分されることが多い。

碎片(チップ) 剥片剥離や加工時に出る細かい石屑。剥片との厳密な区別が難しいために、本報告では約1cmの長さを基準とし、それより小さいものを碎片とした。

石核(コア) 剥片を剥ぐための母体、または剥いだあとの石塊。

礫器(チョッパー、チョッピングツール) 礫を素材とし、粗い加工によって刃部が作り出されている石器。

敲石(ハンマーストーン) 石器製作時の敲打痕が認められる石器。

磨石(ローリングストーン) 磨面のある石器。

砥石(グラインダー) 局部磨製石斧などの研磨に利用された、砥ぎ面のある石器。

台石(アンビルストーン) 石器製作時、あるいは食物加工などの際の工作台。

引用・参考文献

麻生敏隆・大工原豊 1994 「I期-AT降灰以前のナイフ形石器文化」『第2回岩宿フォーラム/シンポジウム予稿集』岩宿文化資料館・岩宿フォーラム実行委員会

小菅将夫 2003 「北関東地方との対比」『第15回長野県旧石器文化交流会シンポジウム「野尻湖遺跡群の旧石器時代編年」』長野県旧石器文化交流会

関口博幸 2010 「群馬における旧石器時代石器群の変遷」『岩宿フォーラム2010/シンポジウム 北関東地方の石器文化の特色 予稿集』岩宿博物館・岩宿フォーラム実行委員会

津島秀章 2008 「第2章3.石器の分類」『上武道路・旧石器時代遺跡群(1)』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

佐藤宏之 1988 「台形様石器研究序説」『考古学雑誌』第73巻第3号 日本考古学会

須藤隆司 1986 「群馬県藪塚遺跡の石器文化-ナイフ形石器の形式学的考察-」『明治大学考古学博物館館報』No.2 明治大学考古学博物館

麻柄一志 1986 「いわゆる立野ヶ原型ナイフ形石器の基礎的整理」『旧石器考古学』33 旧石器文化談話会

旧石器文化談話会編 2000 『旧石器考古学辞典』(200 改訂版)旧石器文化談話会

第2章 遺跡周辺の環境

第1節 地理的環境

上武道路第8工区は、赤城山南西麓と広瀬川流域の低地部分を南東方向から北西方向に路線が設計されている。今次の報告対象になる上泉唐ノ堀遺跡、上泉新田塚遺跡群、上泉武田遺跡、五代砂留遺跡群、芳賀東部団地遺跡、胴城遺跡は、赤城山南西麓の末端側に当たる遺跡である。

赤城山麓端部には広大な裾野が広がっているが、これは火山活動に伴い発生した火砕流が山麓端部に堆積したものであり、4・50万年に及ぶ火山活動を経て現在の地形が形成されたことが判明している。

現在の赤城山は、黒檜山(1,828m)を最高峰として、駒ヶ岳(1,685m)・地蔵岳(1,674m)・長七郎山(1,579m)・小地藏岳(1,574m)・鍋割山(1,332m)・荒山(1,572m)・鈴が岳(1,565m)からなる成層火山であり、裾野が長い秀麗な山として知られている。

赤城山の火山活動は、40～50万年前に活動が始まったと考えられている。その形成過程は古期成層火山形成期(40～50万年前から13万年前)、新期成層火山形成期(13～15万年前から4～5万年前)、中央火口丘形成期の三つの時期に区分されている。

古期成層火山形成期は、50万年前に活動を始め、成層火山を形成した。さらに20万年前に爆発的噴火を多発させ、火砕流や山体崩壊による岩屑なだれを起こし、それが山麓に流下した。山麓西側では、赤城・橘山岩屑なだれにより橘山・箱田山・十二山を形成し、同東側では大間々で古渡良瀬湖を形成させ、権現山等の伊勢崎市北部の独立丘(流れ山)を形成させたとされている。

新期成層火山形成期には、休止期から再び活動期に入り山頂部に溶岩ドームを形成し、これが現在の駒ヶ岳の基になっている。また、側火山としての小黒檜山・荒山・鍋割山・鈴が岳が形成され、鈴が岳の噴火により棚下火砕流が発生した。一方、荒山・鍋割山の活動は、7万5千年前に大胡火砕流を発生させている。これらの火砕流・岩屑なだれにより赤城山南麓の基本的な地形が形成されたようである。

中央火口丘形成期は山頂部が大きく陥没し、カルデラを形成している。約5.5万年前にはAg-UP(湯の口軽石)を降下させている。そして、約4.2万年前には、後期旧石器時代初頭の広域テフラになるAg-KP(鹿沼軽石)を降下させている。さらに、その後の活動で中央火口丘が形成され、カルデラ湖が3つに分断され小大沼・新坂平湖・オトギの森湖が形成されたが、沼尾川の浸食より新坂平湖は消滅、小大沼は縮小し、粕川の浸食によりオトギの森湖も消滅している。赤城山は、この3つの活動期を経て休止した。

火山活動が休止したのち、山頂付近では浸食が進み現地形の祖形が形成され、その後も浸食は進んだことが明らかにされている。更新世に至り、山麓には再堆積した土砂により扇状地が形成されたことが明らかにされており、代表的なものとして、赤城白川扇状地(約2万年前)や荒砥川扇状地、粕川扇状地(縄文時代中期)がある。

本書で報告する上記6遺跡は、これら一連の火山性活動により生じた火砕流―大胡火砕流―を基盤とする火山性扇状地の末端に立地している。上泉新田塚遺跡群・五代砂留遺跡群においては、大胡火砕流がローム層下、約5mに堆積することが確認された。これら火山性扇状地の上部層にはローム層が堆積、各遺跡周辺では上部ローム層、中部ローム層が厚く堆積しており、このローム層中には赤城山・榛名山・浅間山から噴出された火山灰層が確認されている。

赤城山南麓には扇状地を形成する幾多の河川が放射状に流下しており、これらの河川により上記6遺跡の立地する台地も区切られている。6遺跡の東端に当たる上泉唐ノ堀遺跡・上泉新田塚遺跡群は東を寺沢川に、西を荻窪川が流れ、南北に長い丘陵性台地に遺跡が立地していた。上泉武田遺跡・五代砂留遺跡群・芳賀東部団地遺跡も赤城山南麓を流れ

る天神川や金丸川その他の小河川や埋没支谷により区切られており、6遺跡の西端にある胴城遺跡も同様に遺跡地の西側を金丸川により、東側を藤沢川により区切られている。これらはいずれも古期火山性扇状地に刻まれた丘陵性台地に立地する遺跡である。藤沢川より西側は赤城白川による赤城白川扇状地が広がっているが、この扇状地は約2万年前に形成されたものであり、河川浸食の若い台地となっている。こうした地形発達が発達の遺跡の立地に影響していることは確実に、旧石器遺跡や縄文遺跡の動向を左右している。

第2節 基本土層

今次報告対象になる6遺跡の基本土層は、前述した赤城山南麓の地形発達に密接にかかわっている。これら6遺跡のローム層中の基本土層は層厚の厚薄は認められるものの、層位の矛盾はなく整合的である。また、これまでに既刊した『上武道路・旧石器時代遺跡群(1)』・『上武道路・旧石器時代遺跡群(2)』との整合性を確認した結果、一部で地形による堆積条件が異なる以外、ローム土層の層序すべてにおいて整合することが確認できている。

また、土層分層の観察要件は、色調・粒度・粘性等に観察視点を置き、テフラの堆積とローム層の関係を捉えることを主眼に置いた。また、各遺跡の立地する台地上では、層厚の厚いローム層が確認されているが、ローム層の堆積状態はテフラの堆積状況により異なるが、異種のテフラではなく、残存状態の異なりによる相違が確認できた。以下に示すローム層には、榛名山・浅間山を給源とするローカルテフラと、広域火山灰であるATが確認されているが、台地上に堆積したテフラの多くは、ローム層中に攪拌された状態で存在している。以下に各ローム層の層序および内容を記す。

表土層 現代の耕作土

I a 層 黒褐色土

I b 層 暗褐色土 ローム層への漸移層

II 層 黄褐色ローム層 As-YPを含む。地点によってはAs-YPの含有量に差がある。残存状況が良好な地点では、ブロック状に残存・攪拌して堆積がしていたが、As-YPの観察が全く観察できない地点も認められる。

III a 層 黄褐色ローム層 As-Sr及びAs-0k1を含有する。双方のテフラは、土層全体に攪拌状態で認められる。本層は、やや暗い色調を呈し硬質である。地点によっては、As-0k2の可能性のあるテフラも含まれている。

III b 層 黄褐色ローム層 本層では特にテフラの含有は認められない。標高の低い赤城山南麓の遺跡では、本層が確認されたことが多い。

IV a 層 黄褐色ローム層 As-BPを含有する。As-BPの残存状況は遺跡・地点により若干の相違が確認できる。給源火山に近づくほど堆積状態は良好となり、間層を挟み3層が確認されるようになる。As-BPグループの中・上部に同定されている。

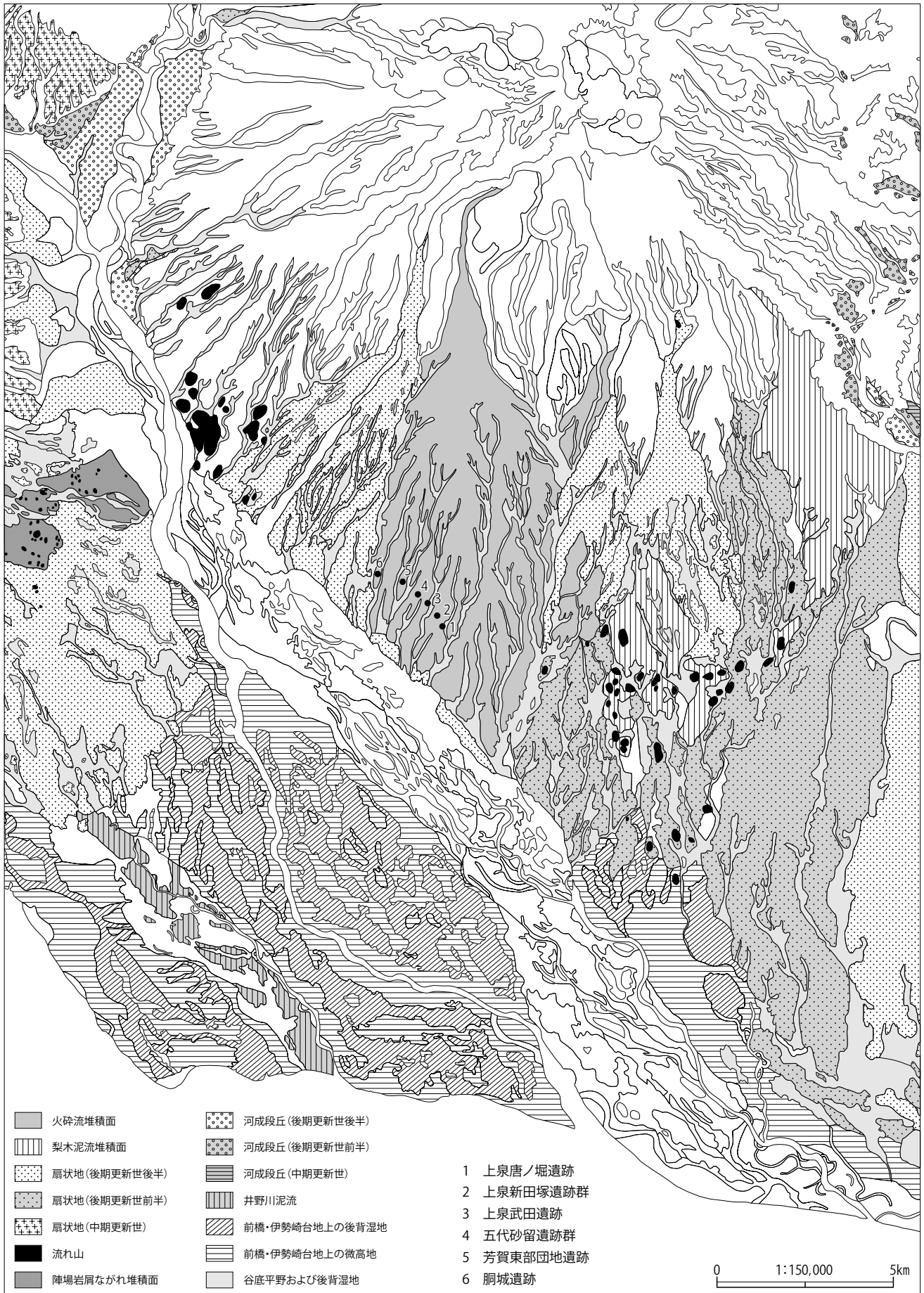
IV b 層 黄褐色ローム層 As-BPを少量含有する。As-BPの残存状況は不良で、ローム層中に粒子が散在する程度である。

V 層 褐色ローム層 AT極大層。遺跡・地点により相違は認められるが、残存状況は比較的良好である。特に、残存状況が良好な場合は、ATの上位部分に薄層を挟みAs-MPが観察される。

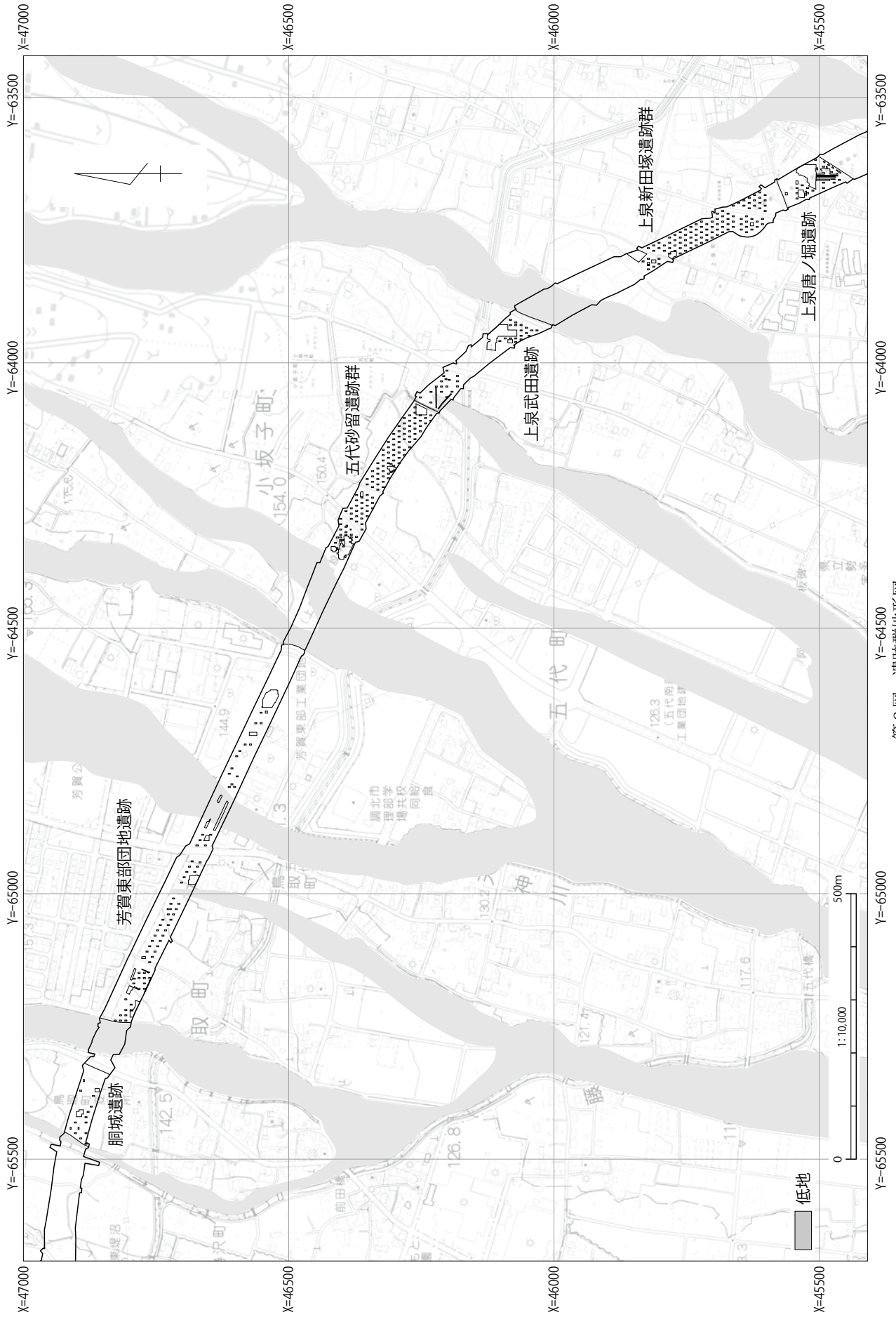


上武道路遺跡群 基本層序(ローム台地)

第4図 基本土層図



第5図 遺跡群周辺地質図 早田 勉 1990「群馬県の自然と風土」『群馬県史通史編』付図1を加筆



第6図 遺跡群地形図

- VI層 暗褐色ローム層 暗色帯。下層に比べてやや明るい色調を呈す。
- VII層 暗褐色ローム層 暗色帯。上層に比べてやや暗く、硬質である。
- VIII層 黄褐色ローム層 本層中、亀泉坂上遺跡では本層上部でHr-HAが確認されており(既刊『上武道路・旧石器時代遺跡群(2)』第7章自然科学分析参照)、富田漆田遺跡では詳細は不明な褐色スコリア(仮称、富田スコリア)が発見されている(既刊『上武道路・旧石器時代遺跡群(1)』第11章自然科学分析参照)。
- IX層 黄褐色ローム層 VIII層土より明るい発色でより硬質。
- X層 Hr-HP層 遺跡間で層厚に若干の相違が認められている。層厚20～40cm程で一次堆積の状態。
- XI層 暗褐色ローム層 暗く硬質である。
- XII層 暗褐色ローム層 XI層の色調よりやや明るい発色をする。
- XIII層 黄褐色ローム層 北橘スコリアを少量含有する。
- XIV層 黄褐色ローム層 XIII層のブロック化が認められ、硬質である。
- XV層 大胡火砕流堆積物 赤城山の新时期成層火山形成期に、発生した火砕流。上泉新田塚遺跡群・五代砂留遺跡群では、ローム層下5m程で確認されている。富田漆田遺跡では、火砕流上位のローム層中から大山倉吉軽石(DKP)が確認されている。

第3節 歴史的環境

本遺跡が位置する赤城山南麓は、多くの旧石器時代遺跡が分布する地域として知られている。特に、昭和21(1946)年の相沢忠洋氏によるみどり市笠懸町(旧新田郡笠懸町)の岩宿遺跡の発見をはじめとする一連の調査・研究や、昭和29(1954)年の明治大学による桐生市(旧勢多郡新里村)の武井遺跡の調査など、学史上著名な遺跡が発見されており、旧石器時代研究では、その初期段階から極めて重要な地域であった。昭和40年代末以降、この赤城山南麓の末端部では、上武道路や北関東自動車道の建設や三和工業団地の造成などの大規模な開発が次々と行われた。特にこれらの開発が集中した大間々扇状地I面とその西側の赤城山斜面台地末端部では、小河川や湧水地点に隣接した地域から多数の遺跡が発見されている(第7図参照)。

縄文時代の遺跡も同様な立地を選んで数多く分布しているが、藤沢川以西の赤城白川扇状地では開析が若く、全体として縄文時代の遺跡が希薄になる傾向がある。

旧石器時代 旧石器時代後半では最も古い段階であるAT下位の遺跡が挙げられる。打製や局部磨製の石斧と石刃素材の基部調整・二側縁調整・一側縁調整の大形ナイフ形石器と、幅広剥片素材の斜刃・平刃・尖刃の小形ナイフ形石器を主体とする石器群(群馬I期)が多数発見されている(第7図参照)。前述した岩宿遺跡、武井遺跡の他に和田遺跡、十二社遺跡、下触牛伏遺跡、書上本山遺跡、書上遺跡、堀下八幡遺跡、今井三騎堂遺跡、今井見切塚遺跡、三和工業団地I遺跡、波志江中宿遺跡、富田下大日遺跡、熊の穴II遺跡、内堀遺跡、堀越甲真木B地点遺跡などが挙げられる。特に、20～50mの円～楕円形の範囲で中央部が空白な石器の出土状況から、「環状ブロック群」と呼ばれる特徴的な分布が確認されている下触牛伏遺跡などは、石器を残した集団が形成した「ムラ」の様子を示すものとして注目されている。これについては、第4章第1節で詳しく記述することとする。

群馬II期の遺跡としては、書上本山遺跡、書上遺跡、堀下八幡遺跡、今井三騎堂遺跡、今井見切塚遺跡、三和工業団地I遺跡、波志江中宿遺跡、富田下大日遺跡、熊の穴II遺跡、内堀遺跡、堀越甲真木B地点遺跡などが挙げられる。

群馬III期の遺跡として切出形ナイフ形石器と角錐状石器を主体とする石器群(群馬III期)があるが、県内全体でのこの時期の遺跡数は極端に少ない。武井遺跡、十二社遺跡、岩宿遺跡、波志江中宿遺跡、三和工業団地I遺跡、今井三騎堂遺跡、今井見切塚遺跡、見立溜井遺跡、多胡蛇黒遺跡などが挙げられる。

下原遺跡、大雄院前遺跡、八ヶ入遺跡からなどが挙げられる。特に、矢出川・休場系統の円柱形(稜柱形)の細石核が三和工業団地Ⅳ遺跡、舞台遺跡、峯岸遺跡、市之関前田遺跡から、削片系統の細石核が柏倉芳見沢遺跡、頭無遺跡、鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡、下原遺跡、大雄院前遺跡、八ヶ入遺跡から出土しており、日本列島内での南方系からと北方系からのそれぞれの文化の流れが伺える。特に鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡は、芳賀東部団地遺跡のすぐ南側に近接しており、前述したように、同様の時期の遺跡がこの周辺にさらに存在する可能性は高い。

また、馬見岡遺跡では北方系の削片系統と南方系の矢出川・休場系統が同時に存在するといわれているが、分布状況からその同時性に疑問を投げかける意見もある。

終末期は大形の尖頭器が主体となる時期で、前橋市石山遺跡、荒砥北三木堂遺跡などが挙げられる。この時期は日本における土器の出現時期に相当し、荒砥北三木堂遺跡からは無文土器と有舌尖頭器が出土している。

縄文時代 草創期前半の遺跡として、隆起線文土器や尖頭器、有舌尖頭器などが出土した小島田八日市遺跡、徳丸仲田遺跡、白井北中道遺跡が挙げられる。後半では爪形文や多縄文の五目牛新田遺跡、西鹿田中島遺跡、下宿遺跡が挙げられる。特に、徳丸仲田遺跡や白井北中道遺跡の窪み状の部分での遺物分布状況や、五目牛新田遺跡で竪穴住居が検出されたほか、徳丸仲田遺跡でも遺物分布に重なるよう竪穴状遺構が確認されており、定住化の傾向が明らかに窺える資料

第2表 周辺遺跡

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | I期 | II期 | III期 | IV期 | V期 | VI期 | 文献 |
|----|---------|------|----|-----|------|-----|----|-----|-----|
| 1 | 胴城 | 前橋市 | | | | | | | 本報告 |
| 2 | 芳賀東部団地 | 前橋市 | 1 | | | | | | 本報告 |
| 3 | 五代砂留 | 前橋市 | | | | | | | 本報告 |
| 4 | 上泉武田 | 前橋市 | | | | | | | 本報告 |
| 5 | 上泉新田塚 | 前橋市 | | | | | | | 本報告 |
| 6 | 上泉唐ノ堀 | 前橋市 | 1 | | | 1 | | | 本報告 |
| 6 | 上泉唐ノ堀 | 前橋市 | 1 | | | | | | 1 |
| 7 | 亀泉坂上 | 前橋市 | | 1 | | 1 | | | 1 |
| 8 | 堤沼上 | 前橋市 | 1 | | | | | | 1 |
| 9 | 萱野Ⅱ | 前橋市 | | 1 | 1 | | | | 1 |
| 10 | 江木下大日 | 前橋市 | | | | | | | 2 |
| 11 | 富田下大日 | 前橋市 | | 1 | | 1 | | | 2 |
| 12 | 富田漆田 | 前橋市 | | | | | | | 2 |
| 13 | 富田高石 | 前橋市 | 1 | | | | | | 2 |
| 14 | 富田西原 | 前橋市 | | | | | | | 2 |
| 15 | 富田宮下 | 前橋市 | 1 | | 1 | | | | 2 |
| 16 | 荒砥北三木堂Ⅱ | 前橋市 | 1 | | 1 | | | | 2 |
| 17 | 今井道上Ⅱ | 前橋市 | | | | | | | 2 |
| 18 | 今井道上・道下 | 前橋市 | | 1 | | 1 | | | 3 |
| 19 | 二之宮谷地 | 前橋市 | | | | | | | 4 |
| 20 | 二之宮千足 | 前橋市 | | | | | | | 5 |
| 21 | 飯土井中央 | 前橋市 | | | | | | | 6 |
| 22 | 飯土井二本松 | 前橋市 | | | | | | | 7 |
| 23 | 鳥取福蔵寺Ⅱ | 前橋市 | | | | | 1 | | 8 |
| 24 | 柏倉吉見沢 | 前橋市 | | | | | 1 | | 9 |
| 25 | 市之関前田 | 前橋市 | | | | | 1 | | 10 |
| 26 | 枅形 | 前橋市 | | | | | 1 | | 11 |
| 27 | 砂押 | 前橋市 | | 1 | | | | | 12 |
| 28 | 日光道東 | 前橋市 | | | | | | | 13 |
| 29 | 堀越甲真木B | 前橋市 | | 1 | | | | | 14 |
| 30 | 三ッ屋 | 前橋市 | | | | 1 | | | 15 |
| 31 | 熊の穴Ⅱ | 前橋市 | | 1 | | | | | 16 |
| 32 | 柳久保 | 前橋市 | | | | | 1 | | 17 |
| 33 | 頭無 | 前橋市 | 1 | | | | 1 | | 18 |
| 34 | 荒砥北三木堂 | 前橋市 | | | | | | 1 | 19 |
| 35 | 内堀 | 前橋市 | 1 | | | | | | 20 |
| 36 | 今井見切塚 | 前橋市 | | 1 | 1 | 1 | | | 21 |
| 37 | 今井三騎堂 | 前橋市 | | 1 | 1 | 1 | | | 22 |
| 38 | 石山 | 前橋市 | | | | | | 1 | 23 |
| 39 | 吾妻 | 前橋市 | | | | | | | 24 |
| 40 | 下触牛伏 | 伊勢崎市 | 1 | | | 1 | | | 25 |
| 41 | 岡屋敷 | 伊勢崎市 | | | | | | | 26 |
| 42 | 波志江西宿 | 伊勢崎市 | 1 | | 1 | 1 | | | 27 |
| 43 | 波志江中宿 | 伊勢崎市 | | | | | | | 28 |
| 44 | 波志江六反田 | 伊勢崎市 | | | | | | | 29 |

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | I期 | II期 | III期 | IV期 | V期 | VI期 | 文献 |
|----|---------|------|----|-----|------|-----|----|-----|----|
| 45 | 堀下八幡 | 伊勢崎市 | 1 | 1 | | | | | 30 |
| 46 | 本関町古墳群 | 伊勢崎市 | | | | 1 | | | 31 |
| 47 | 上植木光仙房 | 伊勢崎市 | | | | | 1 | | 32 |
| 48 | 光仙房 | 伊勢崎市 | | | | | 1 | | 33 |
| 49 | 三和工業団地 | 伊勢崎市 | 1 | | | 1 | | | 34 |
| 50 | 三和工業団地Ⅳ | 伊勢崎市 | | | | | 1 | | 35 |
| 51 | 舞台 | 伊勢崎市 | 1 | | | | 1 | | 36 |
| 52 | 書上 | 伊勢崎市 | | 1 | | 1 | | | 37 |
| 53 | 大上 | 伊勢崎市 | 1 | 1 | | | | | 38 |
| 54 | 天ヶ堤 | 伊勢崎市 | 1 | | | 1 | 1 | | 39 |
| 55 | 前道下 | 伊勢崎市 | | | | | | | 40 |
| 56 | 塚下 | 伊勢崎市 | | | | | | | 41 |
| 57 | 下田 | 伊勢崎市 | | | | | | | 42 |
| 58 | 書上本山 | 伊勢崎市 | | 1 | | | | | 43 |
| 59 | 八寸長溝 | 伊勢崎市 | | | | | | | 44 |
| 60 | 下洲名塚越 | 伊勢崎市 | | | | | | | 45 |
| 61 | 峯岸山 | 伊勢崎市 | | | 1 | | | | 46 |
| 62 | 十二社 | 桐生市 | 1 | | | | | | 47 |
| 63 | 武井 | 桐生市 | 1 | | | 1 | | | 48 |
| 64 | 峯岸 | 桐生市 | | | | 1 | | | 49 |
| 65 | 山上城 | 桐生市 | 1 | | | | | | 50 |
| 66 | 元宿 | 桐生市 | | | | 1 | | | 51 |
| 67 | 広間地西 | 桐生市 | | | | 1 | | | 52 |
| 68 | 梨子ノ木J | 桐生市 | | | | 1 | | | 53 |
| 69 | 大雄院前 | 桐生市 | | | | | 1 | | 54 |
| 70 | 和田 | みどり市 | 1 | | | | 1 | | 55 |
| 71 | 馬見岡 | みどり市 | | | | | 1 | | 56 |
| 72 | 神社裏 | みどり市 | | | | | | | 57 |
| 73 | 清水 | みどり市 | | | | | | | 58 |
| 74 | 岩宿 | みどり市 | 1 | | 1 | 1 | | | 59 |
| 75 | 笠懸北山 | みどり市 | | | | | | | 60 |
| 76 | 藪塚台地点 | 太田市 | 1 | | | | | | 61 |
| 77 | 藪塚 | 太田市 | 1 | | | | | | 62 |
| 78 | 花園 | 太田市 | | | 1 | | | | 63 |
| 79 | 中江田AⅡ | 太田市 | | | | | | | 64 |
| 80 | 中江田B | 太田市 | | | | | | | 65 |
| 81 | 峯山 | 太田市 | 1 | | 1 | | | | 66 |
| 82 | 八ヶ入 | 太田市 | | | | | 1 | | 67 |
| 83 | 東長岡戸井口 | 太田市 | | | 1 | 1 | | | 68 |
| 84 | 高林三入 | 太田市 | | | 1 | | | | 69 |
| 85 | 高林西原古墳群 | 太田市 | | | 1 | | | | 70 |
| 86 | 間之原 | 大泉町 | | | | | | | 71 |
| 87 | 御正作 | 大泉町 | | | | | 1 | | 72 |
| | | | 24 | 13 | 13 | 21 | 15 | 2 | |

である。

次の早期では、前半の撚糸文と押型文の時期の波志江中屋敷遺跡、吾妻遺跡、今井三騎堂遺跡、今井見切塚遺跡、波志江中屋敷東遺跡、五目牛新田遺跡、条痕文段階としての飯土井二本松遺跡が挙げられる。特に多田山丘陵に位置する今井三騎堂遺跡と今井見切塚遺跡では多数の撚糸文段階としての竪穴住居が検出されており、長期間にわたる居住の実態が明らかになりつつある。

前期では、波志江天神山遺跡、五目牛新田遺跡、五目牛南組遺跡、五目牛清水田遺跡、五目牛東遺跡群、舞台遺跡、三和工業団地 I 遺跡、飯土井二本松遺跡、荒砥二之堰遺跡、荒砥上ノ坊遺跡、下触牛伏遺跡、堀下八幡遺跡、多田山東遺跡、今井三騎堂遺跡、今井見切塚遺跡、鷹巣遺跡、今井南原遺跡、寺回遺跡、柳田遺跡が挙げられる。この時期には遺跡数が飛躍的に増加し、後半の諸磯式期を中心に沖積地や湧水を望む台地上に営まれた小規模な集落が形成される過程が明らかになりつつある。

中期では、波志江中野面遺跡、五目牛清水田遺跡、飯土井二本松遺跡、荒砥二之堰遺跡、多田山東遺跡、今井三騎堂遺跡、今井見切塚遺跡、田向遺跡、柳田遺跡、天ヶ堤遺跡が挙げられる。特に、荒砥二之堰遺跡や天ヶ堤遺跡では、中期後半から後期前半にかけての住居が多数検出されており、集落の動向や社会構造を考える上で注目される。また、中期後半に遺跡数が再び増加する傾向が認められている。

後期では、五目牛清水田遺跡、五目牛洞山遺跡、飯土井二本松遺跡、荒砥二之堰遺跡、柳田遺跡、天ヶ堤遺跡が挙げられる。後期後葉から晩期にかけては遺跡数が減少、晩期にはこの周囲で遺跡がほとんど発見されていない。他の地域に移動しなければならないような環境や居住域の変化があったのであろうか。その解明が今後の課題でもある。

主要文献

※「教委」は教育委員会

「群埋文」は財団法人群馬県埋蔵文化財教育委員会

「町誌」は町誌編さん委員会

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------|------|------|----|--------|------|------|----|--------|------|------|----|-------|-----------|
| 1 | 群埋文 | 2010 | 478集 | 22 | 群埋文 | 2004 | 325集 | 43 | 群埋文 | 1992 | 140集 | 64 | 新田町教委 | 1997 |
| 2 | 群埋文 | 2008 | 418集 | 23 | 相澤忠洋 | 1967 | | 44 | 群埋文 | 2001 | 227集 | 65 | 新田町誌 | 1987 |
| 3 | 群埋文 | 2008 | 418集 | 24 | 前橋市教委 | | | 45 | 群埋文 | 1991 | 114集 | 66 | 群埋文 | 2009 460集 |
| 4 | 群埋文 | 1994 | 162集 | 25 | 群埋文 | 1986 | 51集 | 46 | 伊勢崎市教委 | | | 67 | 群埋文 | 2010 491集 |
| 5 | 群埋文 | 1992 | 125集 | 26 | 群埋文 | 2005 | 344集 | 47 | 新里村教委 | | | 68 | 群埋文 | 1999 257集 |
| 6 | 群埋文 | 1991 | 123集 | 27 | 群埋文 | 2004 | 330集 | 48 | 明治大学 | 1977 | | 69 | 群埋文 | 2005 357集 |
| 7 | 群埋文 | 1991 | 113集 | 28 | 群埋文 | 2001 | 283集 | 49 | 新里村教委 | 1975 | | 70 | 群埋文 | 2006 371集 |
| 8 | 前橋市教委 | 1998 | | 29 | 群埋文 | 1992 | 140集 | 50 | 新里村教委 | 2005 | | 71 | 群埋文 | 2008 449集 |
| 9 | 前橋市教委 | 2005 | | 30 | 群埋文 | 1990 | 111集 | 51 | 新里村教委 | 2008 | | 72 | 大泉町教委 | 1984 |
| 10 | 宮城村教委 | 1991 | | 31 | 群埋文 | 2008 | 452集 | 52 | 新里村教委 | | | | | |
| 11 | 宮城村教委 | 1981 | | 32 | 群埋文 | 1988 | 80集 | 53 | 新里村教委 | | | | | |
| 12 | 群埋文 | 2007 | 391集 | 33 | 群埋文 | 2002 | 308集 | 54 | 桐生市教委 | | | | | |
| 13 | 大胡町教委 | 1994 | | 34 | 群埋文 | 1999 | 246集 | 55 | 笠懸町誌 | 1983 | | | | |
| 14 | 大胡町教委 | | | 35 | 伊勢崎市教委 | 2004 | | 56 | 笠懸町教委 | | | | | |
| 15 | 相澤忠洋 | 1998 | | 36 | 群埋文 | 2005 | 345集 | 57 | 笠懸町教委 | 1995 | | | | |
| 16 | 前橋市調査団 | 1991 | | 37 | 群埋文 | 2008 | 428集 | 58 | 笠懸町教委 | | | | | |
| 17 | 前橋市教委 | | | 38 | 群埋文 | 2008 | 434集 | 59 | 明治大学 | 1956 | | | | |
| 18 | 前橋市教委 | | | 39 | 群埋文 | 2008 | 390集 | 60 | 笠懸町誌 | 1983 | | | | |
| 19 | 群埋文 | 1992 | 136集 | 40 | 群埋文 | 2008 | 437集 | 61 | 調査団 | 1990 | | | | |
| 20 | 前橋市教委 | | | 41 | 群埋文 | 2007 | 414集 | 62 | 明治大学 | 1955 | | | | |
| 21 | 群埋文 | 2007 | 382集 | 42 | 群埋文 | 2008 | 444集 | 63 | 新田町誌 | 1987 | | | | |

第3章 各遺跡の遺構・遺跡

第1節 上泉唐ノ堀遺跡

1 遺跡の概要

上泉唐ノ堀遺跡(JK57)は、一般国道17号(上武道路)第2期工事8工区の最南端に位置し、赤城山南麓を北から南に流れる寺沢川と荻窪川に挟まれた南北に細長い台地上の東側に立地する。標高は約142～145mである。

なお、上泉唐ノ堀遺跡の東側部分は7工区(JK57)の発掘調査の成果として、既に『上武道路・旧石器時代遺跡群(2)』に収録・報告されている。

2 調査の経過

今回の報告は上泉唐ノ堀遺跡の西側部分の8工区(JK57b)部分の発掘調査の成果である。

平成18年度の発掘調査で、4ヶ所の試掘トレンチで石器の出土が認められたため、周縁部を拡張した結果、浅間板鼻褐色軽石(As-BP)層上位から2点(第1文化層：群馬Ⅳ期)、浅間板鼻褐色軽石(As-BP)層下位から19点(第2文化層：群馬Ⅱ期)、AT下位の暗色帯中で2箇所の石器集中から局部磨製石斧をはじめ241点(第3文化層：群馬Ⅰ期)が出土した。第3文化層では径約25mの環状ブロック群が検出されている。

試掘トレンチで遺物の存在が確認された地点を順次拡張して、最終的には拡張1～9区まで設定して発掘調査が実施され調査地点が多いことから、拡張区ごとに石器番号が付され、石器には「拡張」を「K」と略して注記されている。

その他、調査日誌などには落ち込みが5ヶ所検出されているとあったが、実際に図面や写真で記録が残されているのは4ヶ所だけであった。確認面は拡張1区のものⅧ層上面で拡張9区のものⅦ層上面であった。底面の凹凸が激しく、人為的な遺構とは考えにくいと判断した。

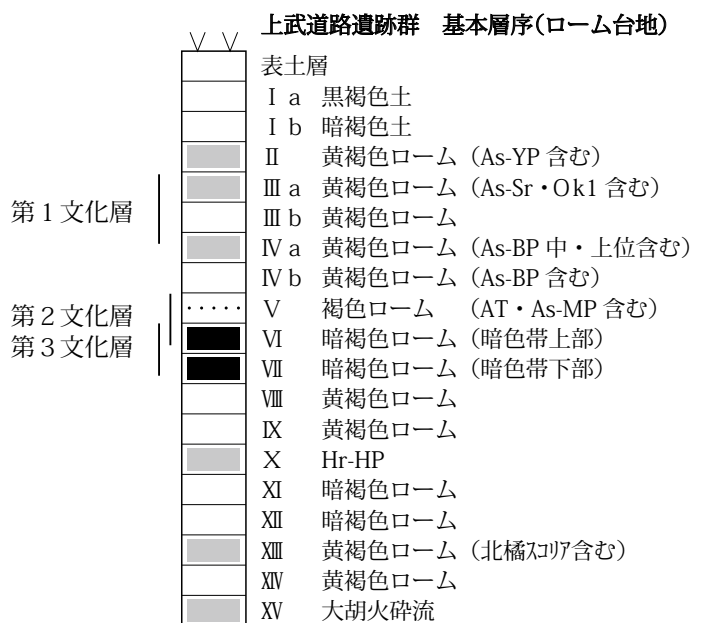
平成20年度の発掘調査では残りの部分を調査、旧石器時代の遺構・遺物は確認されなかったが、暗色帯の下位から榛名八崎軽石(Hr-HP)の間で結晶片岩の礫片など27点が出土した。これまでの『上武道路・旧石器時代遺跡群(1)』・『上武道路・旧石器時代遺跡群(2)』の調査報告との関連で、調査時点では第4文化層とされていたが、今回の整理作業では考資料として収録している。その点については、第6章でその是非について詳細な検討を行っており、参照していただきたい。

なお、本遺跡の旧石器時代の遺構・遺物に関する記載は下記に報告されているが、本報告を最終内容とする。

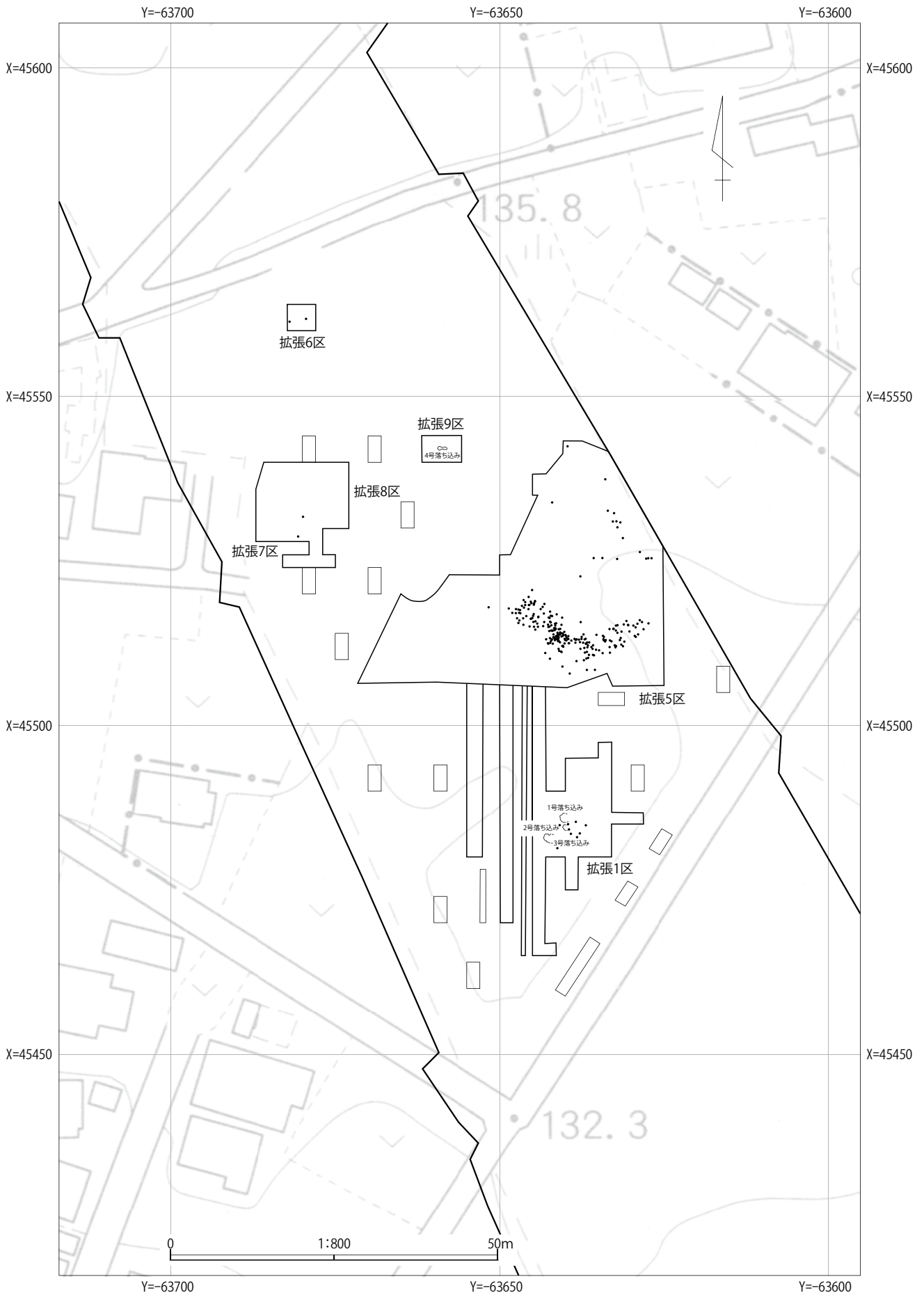
①『年報』27(平成19年度事業概要) 2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

②『財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団』WEB 18年9月、10月、11月 19年2月

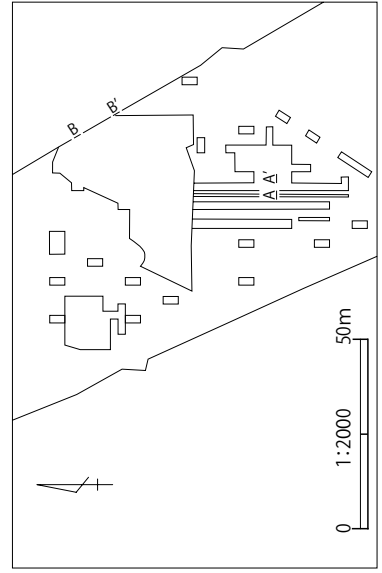
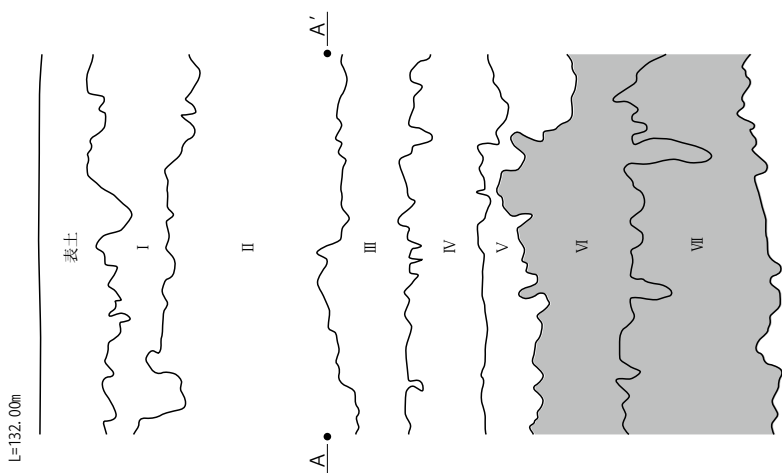
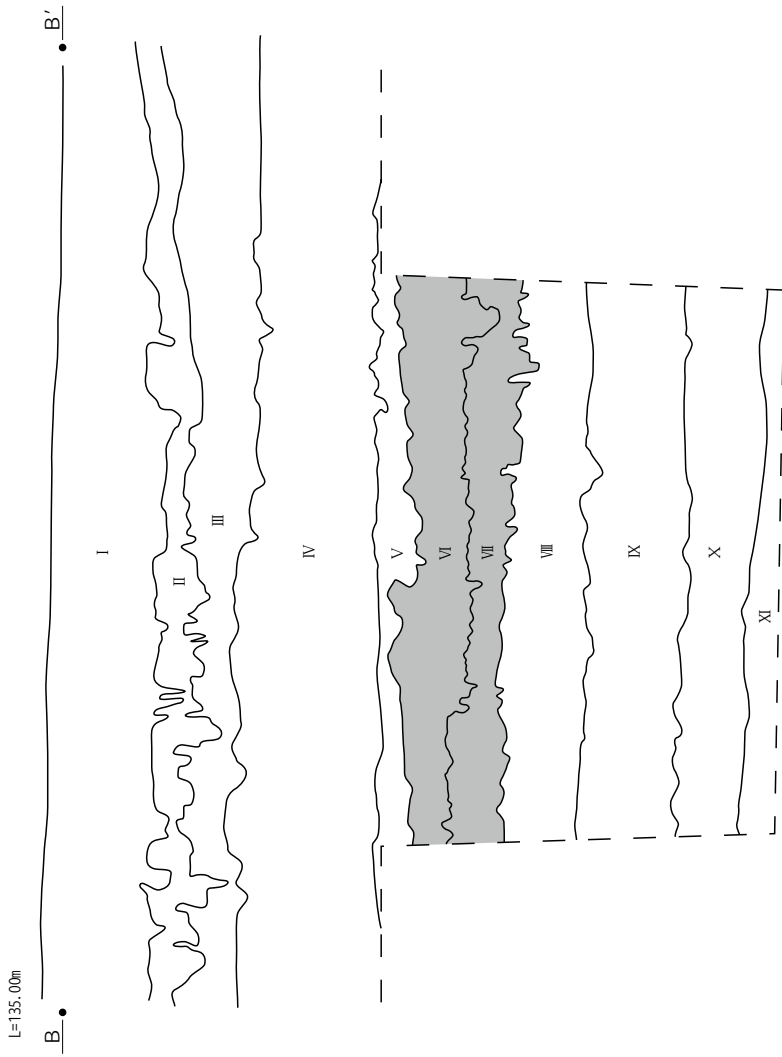
第8図は、上武道路が通過する赤城山南東麓のローム台地の基本土層であるが、本遺跡で確認されているのは、このうちのⅠ層～Ⅻ層までであり、それ以下については確認されていない。



第8図 上泉唐ノ堀遺跡の文化層



第9図 上泉唐ノ堀遺跡 石器分布状況



第10図 上泉唐ノ堀遺跡 土層堆積状況

3 第1文化層

第1文化層は拡張6区(第3地点：4号ブロック)と拡張7区(第4地点：5号ブロック)、それに拡張8区から出土している。

(1)出土層位

基本土層のⅢ層を中心にⅡ層からⅣ層にかけて出土している。テフラとの関係では浅間板鼻黄色軽石(As-YP、約13,000年前)より下位で、浅間大窪沢第1軽石(As-0k1、約17,000年前)の前後から、浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)までの間である。出土層位からは群馬編年のⅣ期におそらくは相当すると考えられるものの、明確な時期を特定できる主要な石器がなく、時期の断定は難しい。

(2)検出遺構

拡張6・7・8区では、明確な遺構は検出されなかった。

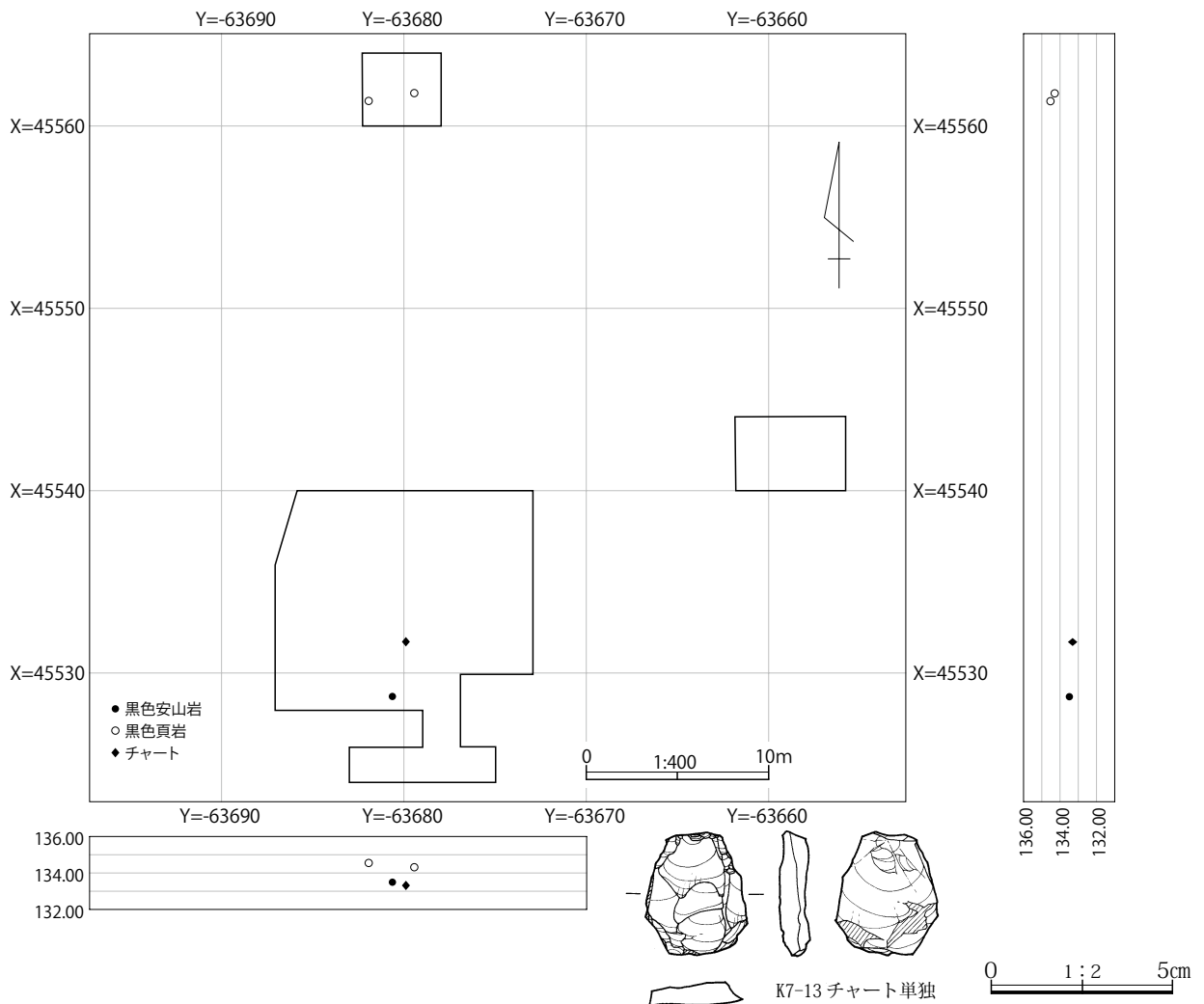
(3)出土遺物

拡張6・7・8区から、点数の差はあるものの、それぞれ石器が数点出土している。

<拡張6区>(第9・11図、PL. 5-8) 出土遺物の総点数は13点で、そのうちの石器が黒色頁岩の剥片2点(15.4%)である。残りの11点(84.6%)は自然石・自然石(岩片)・礫であり、その石材は、デイサイトガラス6点(54.5%)、粗粒

第3表
上泉唐ノ堀遺跡 第1文化層組成表

| | 剥片 | 砕片 | 礫類 | 総計 |
|--------|----|----|----|----|
| 黒色安山岩 | | 1 | | 1 |
| 黒色頁岩 | 2 | | | 2 |
| チャート | 1 | | | 1 |
| 雲母石英片岩 | | | 2 | 2 |
| 総計 | 3 | 3 | 2 | 6 |



第11図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張6・7区石材別分布状況、拡張7区出土遺物

輝石安山岩5点(45.5%)である。石器は縦長剥片で、ほぼ中央で折断されており、打点側が残っている。石材は黑色頁岩である。図化はしていない。

遺物として剥片2点が出土した。

黑色頁岩 母岩が異なる剥片2点だけの出土である。K6-1(剥片)、K6-9(剥片)非実測

<拡張7区>(第9・11図) 出土遺物の総点数は16点で、そのうちの石器が剥片1点(7.7%)と碎片1点(7.7%)であり、その石材はチャートと黑色安山岩である。残りの14点(92.3%)は自然石・自然石(岩片)・礫であり、その石材は、粗粒輝石安山岩10点(71.4%)、デイサイトガラス2点(16.7%)、安山岩1点(8.3%)、輝緑凝灰岩1点(8.3%)である。

遺物として剥片1点と碎片1点が出土した。

チャート(第11図、PL. 7) 剥片1点のみ出土した。。K7-13(剥片)

黑色安山岩 剥片1点のみ出土した。K7-7(碎片)非実測

<拡張8区>(第9・29図、PL. 6-8) ここからは、雲母石英片岩の自然石が2点出土している。

(4)母岩別資料・接合資料

拡張6区・拡張7区・拡張8区からは、ともに確認されなかった。

(5)分布状況

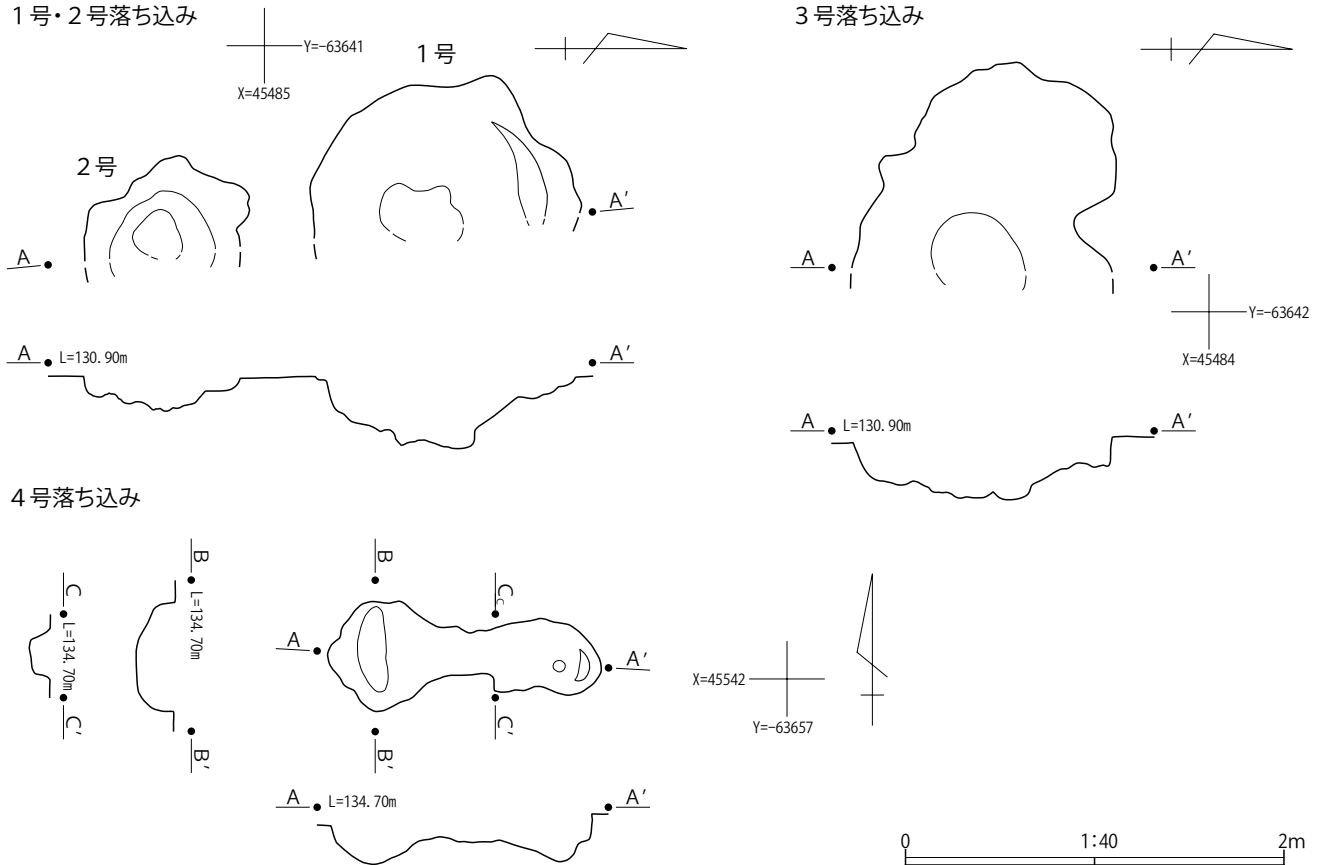
拡張6区・拡張7区・拡張8区とも、石器、自然石・礫のそれぞれが単独に近い状況で分布した。

4 第2文化層

第2文化層は拡張1区(第2地点)と拡張9区から出土している。

(1)検出層位

ローム層中で落ち込み4ヶ所が確認されている。1～3号落ち込みは暗色帯中の石器群調査中に、4号落ち込みは試



掘トレンチの断面で確認されたものである。1～3号落ち込みの確認面はⅧ層上面、4号落ち込みは暗色帯中位(Ⅶ層)であった。

(2) 検出遺構

1区で1・2・3号、9区で4号の4ヶ所の落ち込みが確認されている(第9・12図)。As-BPを主体とする埋没土であることから、この時期と判断された。ただし、1～3号落ち込みについてはトレンチ掘削で半分が失われており、4号も含め完掘状態とエレベーションの図化にとどめた。

1号落ち込み(第12図、PL. 5-1・2) 主軸が東西方向で、推定規模が長軸約1.8m、短軸約1.4m、深さ約0.4mのやや楕円形である。土層は暗色帯が乱れた状態で堆積していた。

2号落ち込み(第12図、PL. 5-3・4) 主軸が東西方向で、推定規模が長軸約1.2m、短軸約0.9m、深さ約0.2mのやや楕円形である。土層は暗色帯が乱れた状態で堆積していた。

3号落ち込み(第12図、PL. 5-5・6) 主軸が東西方向で、推定規模が長軸約2.3m、短軸約1.4m、深さ約0.3mのやや楕円形である。土層は暗色帯が乱れた状態で堆積していた。

4号落ち込み(第12図、PL. 5-7) 主軸が東西方向で、推定規模が長軸約1.45m、短軸約0.6m、深さ約0.4mのカギのような形態である。土層は炭化物を多く含み、As-BPを多く含む基本土層のⅣ層が主体である。

いずれも、東西方向が長い形態ではあるが、前述したように土層や底部の凹凸が激しいことから、人為的な掘り込みとは考えにくいと考え、最終的に自然の産物と判断した。

(3) 出土遺物

第2文化層に相当する石器の出土はない。

5 第3文化層

第3文化層に相当する石器群が、拡張1区(第2地点：3号ブロック)と拡張5区(第1地点：1・2号ブロック)の2ヶ所の地点から出土している。主体となるのは拡張5区であるが、ここでは各区の概要を先に記して、石器についてはまとめて記述することとする。なお、拡張5区には拡張2区・拡張3区・拡張4区が含まれている。

(1) 出土層位

基本土層のⅥ層を中心にⅤ層下部からⅦ層上部にかけて出土している。テフラとの関係では浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)より下位で、榛名八崎軽石(Hr-HP、約4,000年前)よりも上位である。

(2) 検出遺構

石器の出土以外に、明確な遺構は検出されなかった。

(3) 出土遺物

拡張1区と拡張5区からそれぞれ集中して出土している。

<拡張1区>(第2地点：3号ブロック)(第9・24～26・28図)

出土遺物の総点数は11点で、内訳は石器が4点(36.4%)、剥片1点(9.1%)、礫・礫片類6点(54.5%)である。石器の器種は、局部磨製石斧2点(40.0%)、石刃2点(40.0%)、剥片1点(20.0%)である。石器の石材は、黒色頁岩2点(40.0%)、黒曜石1点(20.0%)、碧玉2点(40.0%)である。礫・礫片類の石材は、粗粒輝石安山岩3点(50.0%)、溶結凝灰岩1点(16.7%)、雲母石英片岩2点(33.3%)である(第4表参照)。ここでの特徴は、主要な石器の数は少ないものの、群馬1期の特徴である局部磨製石斧が出土していることである。

<拡張5区>(第9・24～28図、PL. 4-3・6-1～6)

出土遺物の総点数は255点で、内訳は、石器が24点(9.4%)、剥片178点(69.8%)、碎片34点(13.3%)、礫・礫片類19点(7.5%)である。石器の器種は、ナイフ形石器6点(2.6%)、削器1点(0.4%)、加工痕ある剥片1点(0.4%)、石刃5点(2.1%)、局部磨製石斧1点(0.4%)、石核7点(3.0%)、敲石3点(1.3%)、剥片178点(75.4%)、碎片34点(14.4%)

である。石器の石材は、黒色安山岩193点(81.8%)、黒色頁岩5点(2.1%)、珪質頁岩1点(0.4%)、黒曜石29点(12.3%)、碧玉3点(1.3%)、デイサイト2点(0.8%)、粗粒輝石安山岩3点(1.3%)である。礫・礫片類の石材は、粗粒輝石安山岩6点(31.6%)、溶結凝灰岩3点(15.8%)、雲母石英片岩4点(21.0%)、黒色片岩6点(31.6%)である(第4表参照)。

第3文化層の内容を把握するには、拡張1区と拡張5区の両方を合わせて考える必要がある。全体では、総数266点で、内訳は石器28点(10.5%)、剥片179点(67.3%)、碎片34点(12.8%)、礫・礫片類25点(9.4%)である。石器の器種は、ナイフ形石器6点(2.5%)、削器1点(0.4%)、加工痕ある剥片1点(0.4%)、石刃7点(2.9%)、局部磨製石斧3点(1.2%)、石核7点(2.9%)、敲石3点(1.2%)、剥片179点(74.3%)、碎片34点(14.1%)である。石器の石材は、黒色安山岩193点(80.1%)、黒色頁岩7点(2.9%)、珪質頁岩1点(0.4%)、黒曜石30点(12.4%)、碧玉5点(2.1%)、デイサイト2点(0.8%)、粗粒輝石安山岩3点(1.2%)である。礫・礫片類の石材は、溶結凝灰岩4点(16.0%)、粗粒輝石安山岩9点(36.0%)、雲母石英片岩6点(24.0%)、黒色片岩6点(24.0%)である(第4表参照)。石器群はVI～VII層に帰属すると考えられ、黒色安山岩や黒曜石を石材とする小型のナイフ形石器と、局部磨製石斧を主体としており、群馬編年のI期である。

黒曜石の石器は原産地分析の結果、星ヶ塔産が最も多く、次に小深沢産で、僅かに柏峠産が同定された(第5章第3節参照)。特徴としていえるのが、この時期だけでなく、群馬県内の旧石器時代全般でも柏峠産の検出は珍しい。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

ナイフ形石器(第13図、K2-27・K2-39・K2-45・K4-74・K4-114・K4-120、PL.7)総数6点が出土している。K2-39は横長剥片が素材で、一側縁の表裏に平坦剥離調整を施している。石材は黒色安山岩である。K2-45は横長剥片を素材とし、側縁の一部に平坦剥離を施している。いわゆるペン先形、あるいは斜刃状を意図している。石材は黒色安山岩である。K2-27は表面にほぼ原石面が残る縦長剥片が素材で、基部側の両側縁に平坦剥離を施している。石材は黒曜石である。K4-120はおそらくは縦長剥片を素材として、打面部分を折断して寸詰まりした先端部分を利用しており、裏面の基部寄りの一側縁に平坦剥離を施し、いわゆるペン先形を意図している。石材は黒色安山岩である。K4-74は縦長剥片、あるいは石刃を素材とし、その両端を折断した中央部を用いて、台形を意図している。一方の折断面に加工調整を加えており、表面の一部に原石面を残している。石材は黒曜石である。K4-114は原石面を打面とする肉厚な縦長剥片を素材とし、表面の両側縁や裏面の基部に大きな調整加工を施して、肉厚だがペン先形を意図している。石材は黒色安山岩である。いずれの資料も、一般的な鋭角な刃潰し(ブランディング)ではなく、平坦剥離などを多用することで、いわゆるペン先形や斜刃状、あるいは台形状を作り出すのが主体で、台形様石器などと呼称されるタイプであり、群馬I期に特徴的な石器である。

削器(第13図、K4-28、PL.7)表面の打点寄りに僅かに原石面を残した打面が小さい幅広の剥片で、表面の先端付近と裏面の両側縁に平坦剥離を施している。表面の剥離面から両設打面が推定される。石材は黒曜石である。

加工痕ある剥片(第13図、K2-14、PL.7)1点出土している。K2-14はおそらくは縦長剥片を素材とし、一側縁に加工を加えている。もう一側縁は折断を加えている。石材は黒色安山岩である。

石刃(第13・14図、K1-4・K1-5・K2-28・K4-32・K4-11・K4-111、PL.7)総数7点が出土している。K1-4は大きな打面部分で頭部調整が顕著であり、一側縁の裏面に微細な使用痕が認められる。石材は碧玉である。K4-11は打面部分と両側縁の大部分に原石面を残すことから、垂角礫から石刃を剥離し始めた段階での資料である。石材は黒色頁岩である。K4-111は表面すべてに原石面を残していることから、いわゆるファーストフレイクである。おそらくは垂角礫か立方体に近い形の原石と考えられる。石材は黒曜石である。K2-28は頭部調整が顕著だが、あるいは杉久保系のナイフ形石器かもしれない。石材は碧玉である。K1-5は原石面を打面とし、表面の一部にも原石面を残している。石材は黒曜石である。K4-32は打面部分を折断している。先端部分に残る逆方向からの剥離面の存在から、両極打面が推定される。石材は珪質頁岩である。K4-3は横長剥片を素材とし、一側縁に僅かに加工を加えている。石材は黒色安山岩である。この他に、多数の剥片や碎片が出土しているが、図化・資料化しているのは主に接合資料に含まれる資料だけである。(第18図～第23図、PL.10～12)

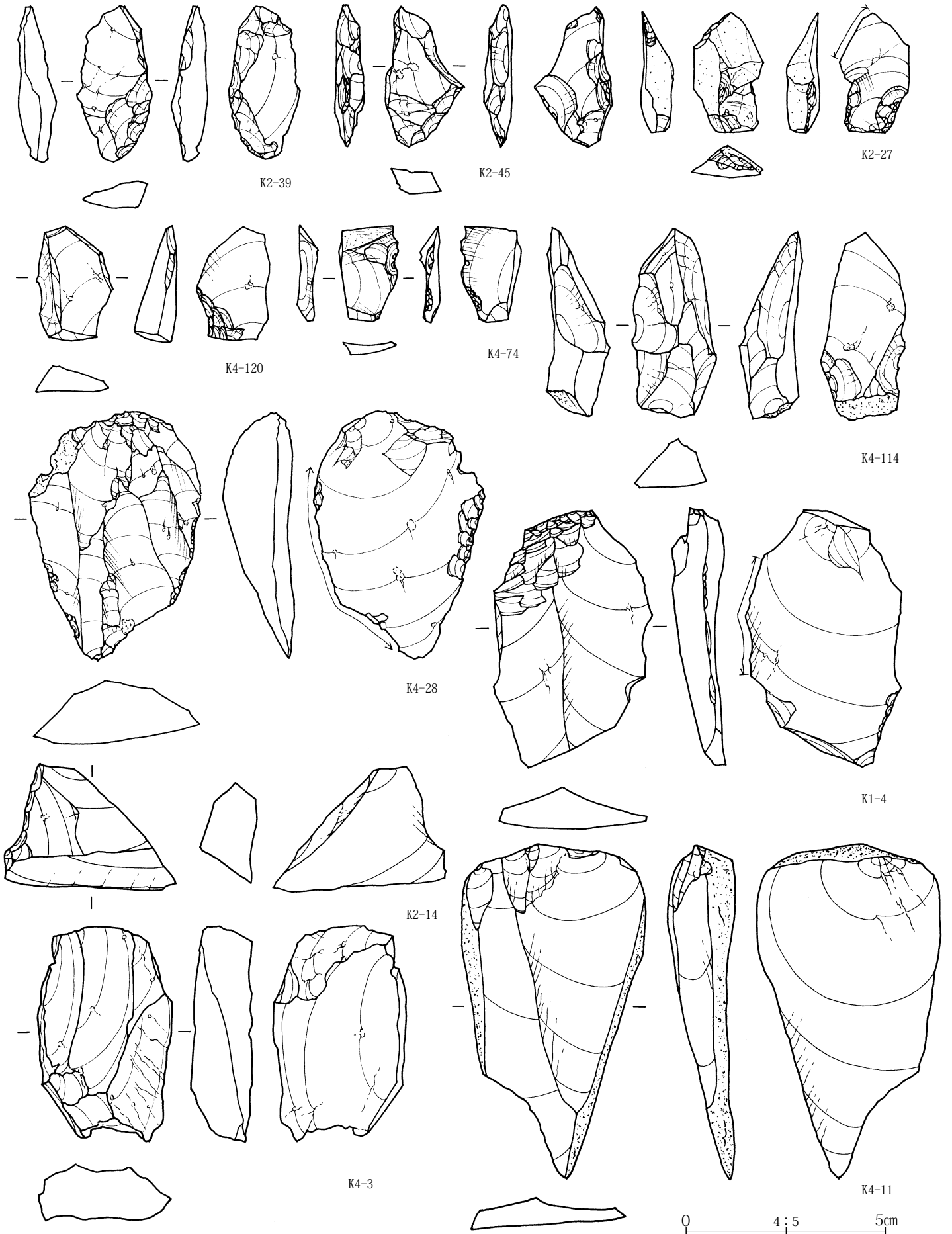
局部磨製石斧(第14・15図、K1-1・K1-2・K4-90、PL. 8)器体上半部から二つに折れた資料1点などの3点が出土している。K1-1+K1-2は頭部寄りの部分で、裏面側から二つに割れた資料である。表面の刃部寄りに原石面を残すことから、礫から剥離した大形の横長剥片を素材とし、裏面には分割時の剥離面が大きく残っている。刃部から体部にかけての広い範囲で、直交する方向に激しい研磨痕が残されている。また、折れた部分の一部に調整を施していることから、リダクションを試みたと考えられる。石材は黒色頁岩である。K4-90は表面の頭部寄りに原石面を残すことから、礫から剥離した大形の横長剥片を素材とし、裏面には加工前の剥離面が大きく残っている。K1-1+K1-2と同様に、刃部周辺には直交する方向に激しい研磨痕が残されている。石材は同じく黒色頁岩である。

石核(第15・16・17図、K2-65・K4-4・K4-6・K4-15・K4-40・K4-164・K4-168、PL. 9)7点出土している。K4-40は原石を分割した大形の剥片で、周縁から表・裏面に剥片を剥離している。裏面に原石面を残す。石材は黒色安山岩である。K4-15は原石を分割した剥片で、周縁から表・裏面に主に横長剥片を連続して剥離している。裏面に原石面を残す。石材は黒色安山岩である。K4-168は裏面の一部に原石面を残し、周縁から裏面に剥片を数枚だけ剥離し、最後に表面から1枚の縦長剥片を剥離している。石材は黒曜石である。K4-6は原石を分割した剥片で、裏面すべてに原石面が残り、表面から横長剥片を1枚だけ剥離している。石材は黒色安山岩である。K4-164は原石を小割りに分割した原石面が残る厚みのある剥片を素材に、原石面や周縁から表面側に剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K4-4は原石を分割した大形の剥片で、周縁から表・裏面に剥片を剥離しているが、特に表面で中心部に向かって大小の剥片を剥離している。裏面に原石面を残す。石材は黒色安山岩である。K2-65は4～5cmの大きさの原石からおそらくは半裁した形で作り出した部分を素材とし、原石面や分割面など複数の打面を設定して、小形の剥片を何枚か剥離している。石材は黒曜石である。

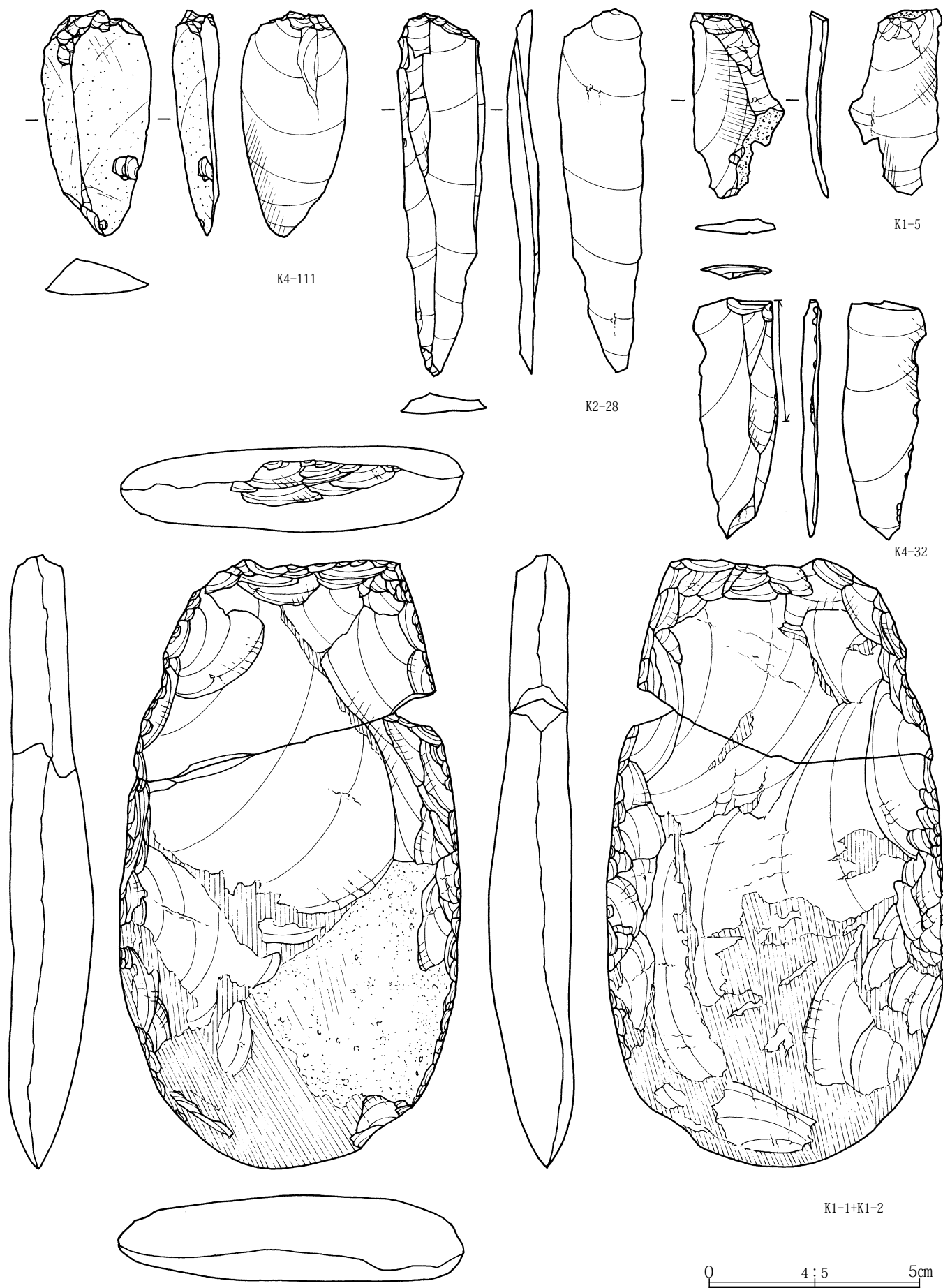
敲石(第17図、K4-47・K4-88・57-07-36、PL.10)3点が出土している。57-07-36はやや厚みのある楕円礫を素材に、長軸の両端と両側縁に多くの敲打痕が認められる。石材は粗粒輝石安山岩である。K4-47は楕円礫を素材に、長軸の両端に敲打痕が少量認められる。また、一面に磨痕が認められる。石材は粗粒輝石安山岩である。K4-88はやや厚みのある楕円礫を素材に、長軸の一端に多くの敲打痕が認められる。石材は粗粒輝石安山岩である。

第4表 上泉唐ノ堀遺跡 第3文化層 組成表

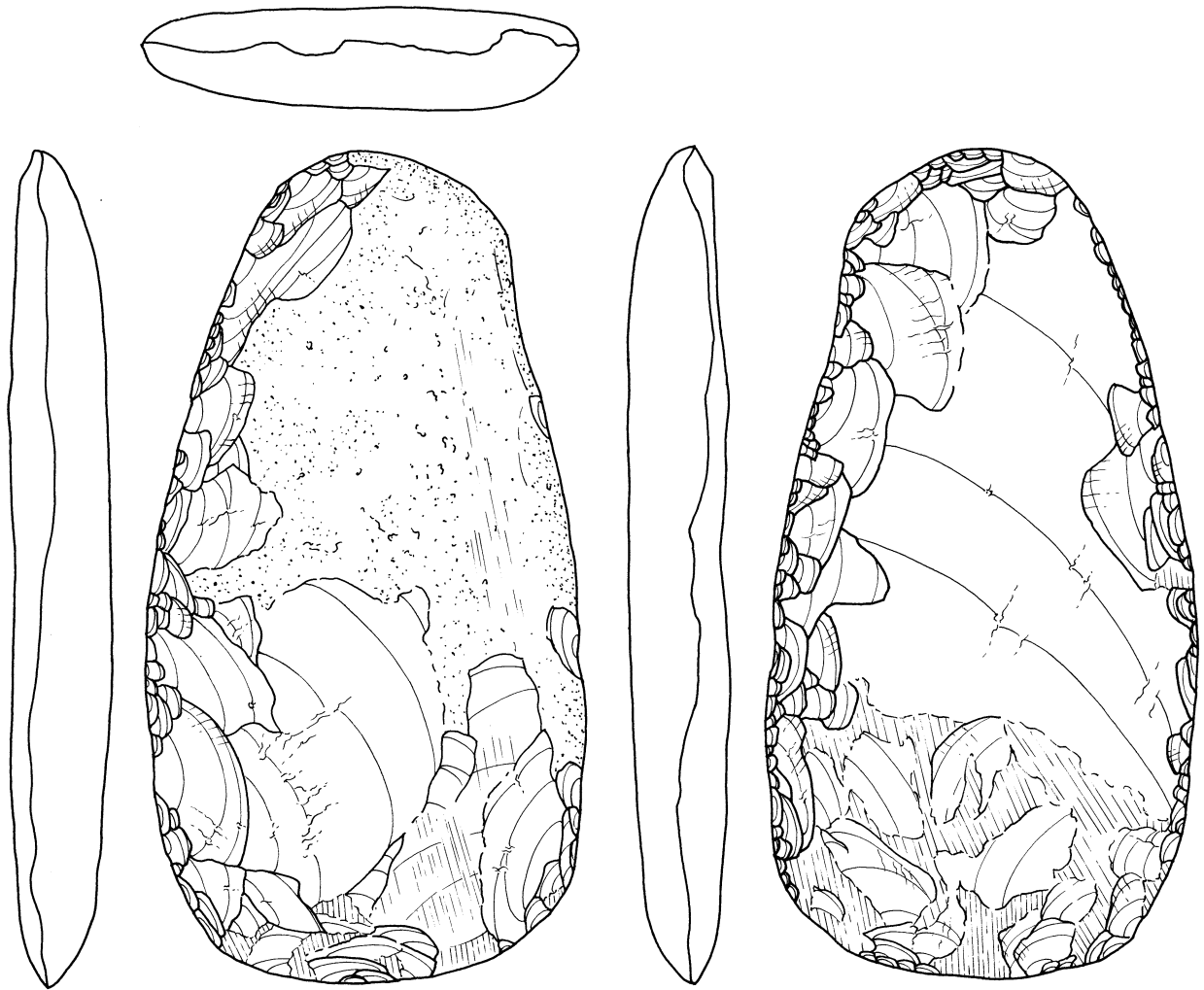
| | ナイフ | 削器 | 加工痕 | 石刃 | 局部磨製石斧 | 石核 | 敲石 | 剥片 | 碎片 | 礫 | 礫片 | 礫類 | 総計 |
|---------|-----|----|-----|----|--------|----|----|-----|----|---|----|----|-----|
| 黒色安山岩 | 4 | | 1 | 1 | | 5 | | 151 | 31 | | | | 193 |
| 黒色頁岩 | | | | 1 | 3 | | | 3 | | | | | 7 |
| 珪質頁岩 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 黒曜石 | 2 | 1 | | 2 | | 2 | | 20 | 3 | | | | 30 |
| 碧玉 | | | | 2 | | | | 3 | | | | | 5 |
| デイサイト | | | | | | | | 2 | | | | | 2 |
| 溶結凝灰岩 | | | | | | | | | | 1 | 3 | | 4 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | | 3 | | | 3 | 6 | | 12 |
| 雲母石英片岩 | | | | | | | | | | | | 6 | 6 |
| 黒色片岩 | | | | | | | | | | | | 6 | 6 |
| 総計 | 6 | 1 | 1 | 7 | 3 | 7 | 3 | 179 | 34 | 4 | 9 | 12 | 266 |



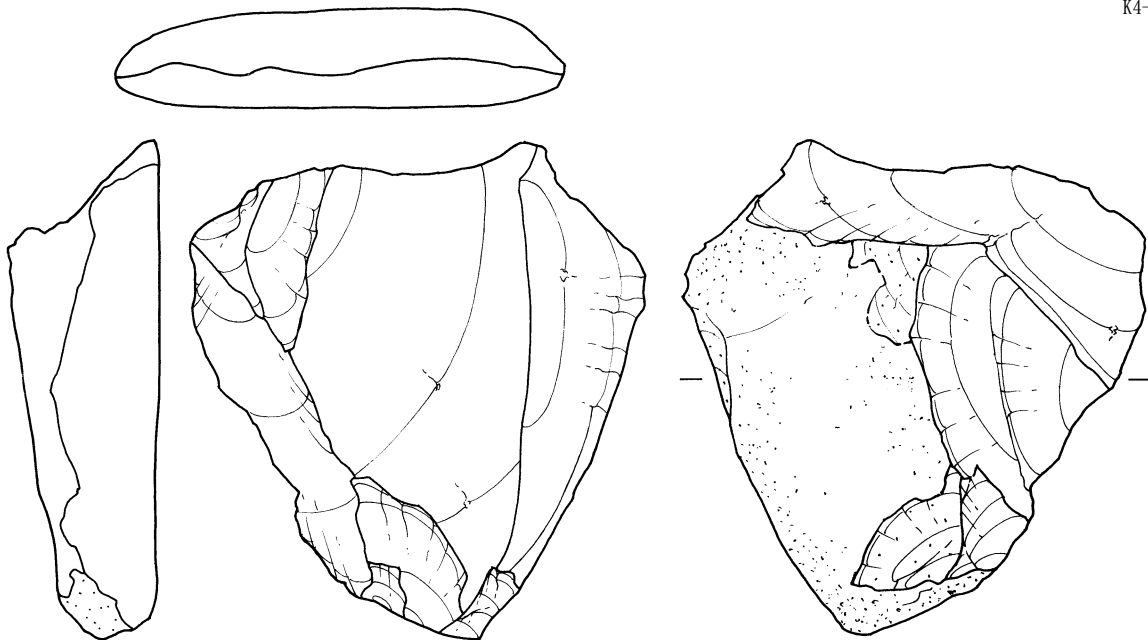
第13図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(1)



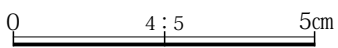
第14図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(2)



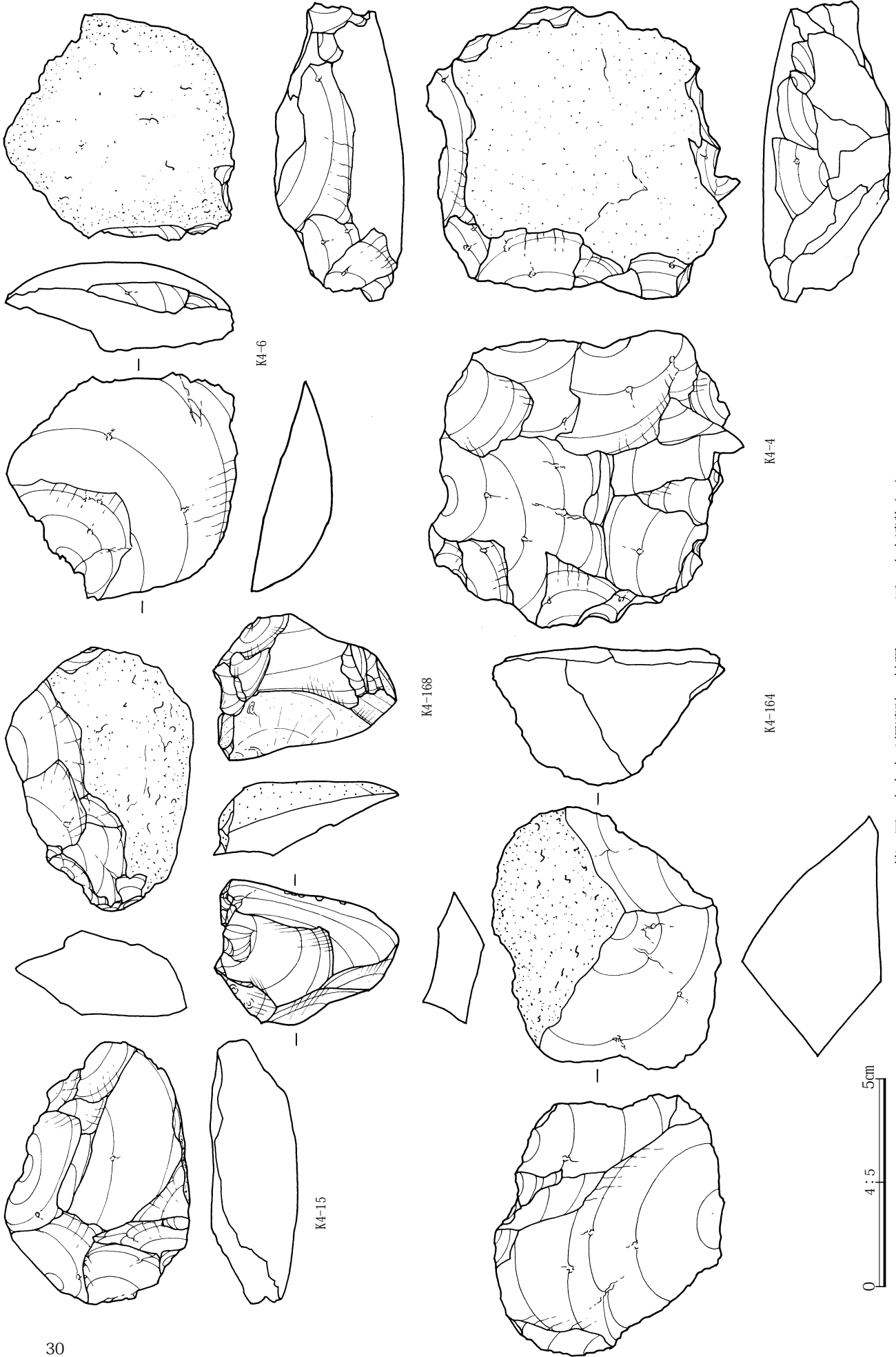
K4-90



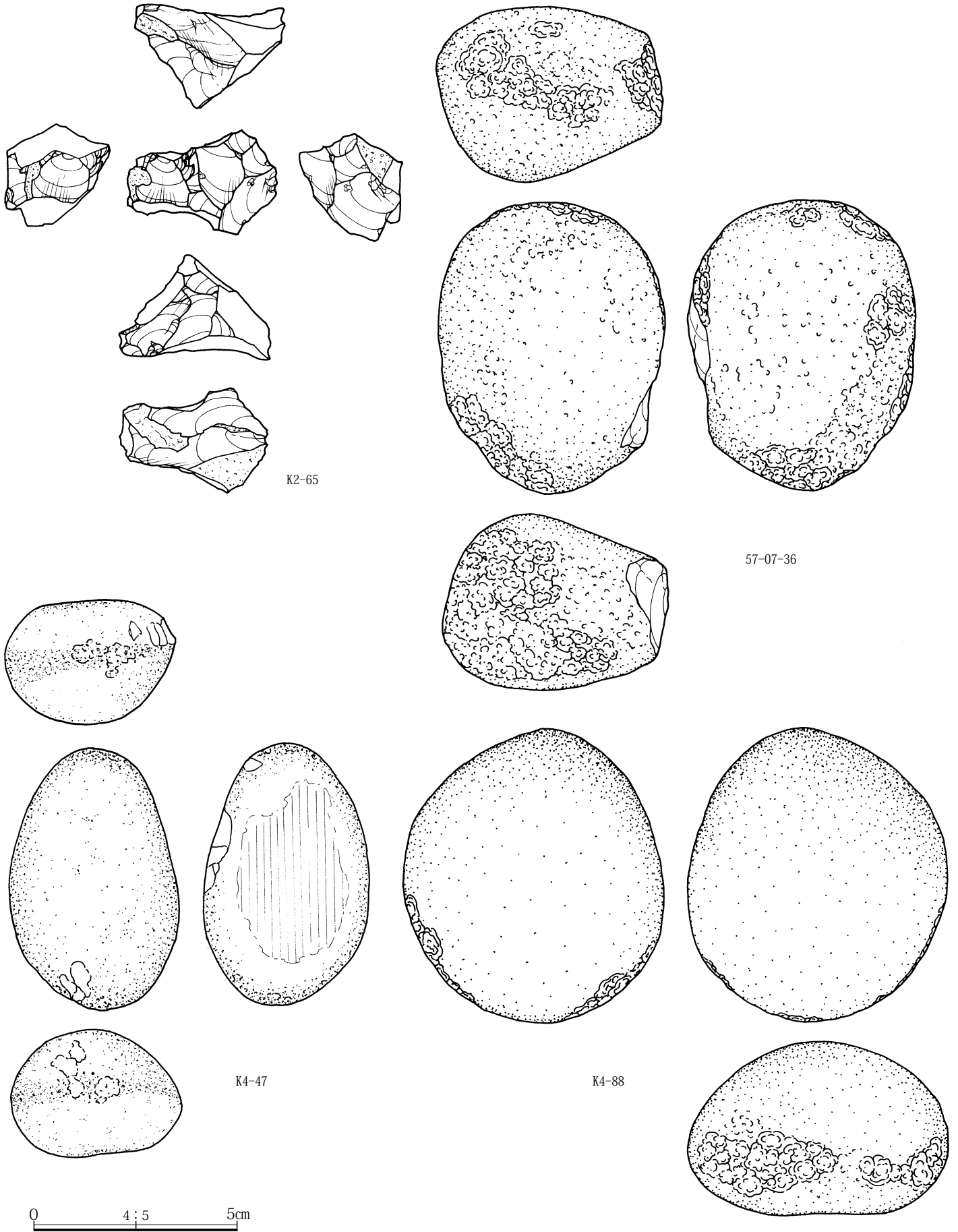
K4-40



第15図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(3)



第16図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(4)



第17図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 出土遺物(5)

(4)母岩別資料・接合資料(第18～23図、PL.10～12)

拡張5区の接合資料では、黒色安山岩が最も多く、次に黒曜石、黒色頁岩などである。自然石・礫を除く石器の総点数255点のうち、接合資料が63点(26.1%)であるが、重量は2,704.17gのうちの1,363.64g(50.4%)である。

黒色安山岩は、出土点数193点のうち、接合資料は16例52点である。

黒色安山岩1(第18・19図、PL.10・11)皺が激しく、爪状痕も多い。色調は灰6/1(Hve7.5Y)。

出土点数27点のうち、接合資料は4例18点である。

黒色安山岩1-①(第18図、PL.10)剥片10点の接合資料である。分割礫の原石面を打面として、数枚の剥片を剥離した後、打面を90°転位して石核の周縁から裏面側に剥離を加える。石核は遺構外に持ち出されている。

K2-32(剥片)→K4-56(剥片)→K2-37(剥片)→K4-29(剥片)→打面転位K2-29(剥片)→K4-53(剥片)→K4-69(剥片)+K4-59(剥片)+K4-92(剥片)→K4-93(剥片)

黒色安山岩1-②(第18図、PL.10)原石面を持ち、打面を180°転位させる石核1点と、剥片3点の計4点の接合資料である。K4-67(剥片)→K4-64(剥片)→K4-183(剥片)→K4-164(石核)

黒色安山岩1-③(第19図、PL.11)連続して剥離された剥片を素材としたナイフ形石器1点と剥片1点の計2点の接合資料である。K4-120(ナイフ形石器)→K4-117(剥片)

黒色安山岩1-④(第19図、PL.11)剥片2点の接合資料である。K4-54(剥片)→K4-95(剥片)

黒色安山岩1(第13図、PL.7)の同一母岩と考えられる非接合資料は、以下の9点である。K2-39(ナイフ)、K2-41(剥片)、K2-43(剥片)、K2-51(剥片)、K2-53(剥片)、K4-66(剥片)、K4-70(剥片)、K4-91(剥片)、K4-118(剥片)

黒色安山岩2(第19・20・22図、PL.11・12)皺が激しく、爪状痕も多い。

出土点数55点のうち、接合資料は10例27点である。

黒色安山岩2-①(第19図、PL.11)分割した礫の分割面を打面として幅広剥片を剥離し、90°打面転位して剥離作業面を打面として数枚の剥片を剥離し、再び90°打面転位して剥離作業面を打面として大形の剥片を剥離する。折断した剥片2例4点を含む剥片6点の接合資料である。K4-101(剥片)+K4-106(剥片)→K4-115(剥片)→K4-105(剥片)→K4-103(剥片)+K4-100(剥片)

黒色安山岩2-②(第19図、PL.11)原石面を打面とし、連続して剥離された剥片4点の接合資料である。K4-124(剥片)→K4-132(剥片)→K4-135(剥片)→K4-130(剥片)

黒色安山岩2-③(第20図、PL.11)原石面を打面とし、連続して剥離された剥片3点の接合資料である。K4-145(剥片)→K4-119(剥片)→K4-143(剥片)

黒色安山岩2-④(第20図、PL.11)原石面を裏面に持つ大型剥片を素材とする石核と剥片の各1点の計2点の接合資料である。K2-1(剥片)→K4-6(石核)

黒色安山岩2-⑤(第20図、PL.11)剥片2点の折断資料である。K4-16(剥片)+K2-14(剥片)

黒色安山岩2-⑥(第20図、PL.11)原石面を打面とする剥片2点の接合資料である。K2-56(剥片)→○→K4-136(剥片)

黒色安山岩2-⑦(第20図、PL.11)剥片2点の折断資料である。K2-4(剥片)+K2-2(剥片)

黒色安山岩2-⑧(第20図、PL.12)黒色安山岩2-⑧と同様に、原石面を打面とし、連続して剥離された剥片2点の接合資料である。K4-141(剥片)→K2-61(剥片)

黒色安山岩2-⑨(第20図、PL.11)縦長の剥片2点の折断資料である。K2-19(剥片)+K2-6(剥片)

黒色安山岩2-⑩ 剥片2点の接合資料である。K2-68(剥片)→K2-67(剥片)非実測

黒色安山岩2(第22図、PL.12)の同一母岩と考えられる非接合資料は、以下の28点であり、すべて剥片である。

K2-8(剥片)、K2-12(剥片)、K2-13(剥片)、K2-26(剥片)、K2-30(剥片)、K2-50(剥片)、K2-55(剥片)、K2-60(剥片)、K2-66(剥片)、K2-69(剥片)、K4-3(石刃)、K4-5(剥片)、K4-12(剥片)、K4-13(剥片)、K4-15(剥片)、K4-20(剥片)、K4-37(剥片)、K4-40(剥片)、K4-42(剥片)、K4-43(剥片)、K4-80(剥片)、K4-125(剥片)、

K4-138 (剥片)、K4-140 (剥片)、K4-144 (剥片)、K4-166 (剥片)、K4-174 (剥片)、K4-179 (剥片)

黒色安山岩3 (第21図、PL.12)出土点数6点のうち、接合資料は1例5点である。

黒色安山岩3-①(第21図、PL.12)約8cmの大きさの原石を素材に、分割面を打面として剥片を剥離し、その剥離作業面を打面として90°打面転位して剥片を剥離し、さらに剥離作業面を打面として90°打面転位して剥片を剥離する。大部分に原石面が残る幅広の剥片5点の接合資料である。K4-102 (剥片)→K2-46 (剥片)→K4-104 (剥片)→K4-169 (剥片)→K4-108 (剥片)

黒色安山岩3の同一母岩と考えられる非接合資料は、以下の剥片1点である。K4-197 (剥片)

黒色安山岩4 (第21・22図、PL.12)出土点数18点のうち、接合資料は1例2点である。

黒色安山岩4-①(第21図、PL.12)ナイフ形石器1点と側面の調整のための剥片1点の計2点の接合資料である。

K4-113 (剥片)→K4-114 (ナイフ形石器)

黒色安山岩4 (第22図、PL.12)の同一母岩と考えられる非接合資料は、以下の16点であり、すべて剥片である。

K2-18 (剥片)、K2-22 (剥片)、K2-24 (剥片)、K2-35 (剥片)、K2-45 (剥片)、K2-59 (剥片)、K263 (剥片)、K2-64 (剥片)、K2-70 (剥片)、K4-19 (剥片)、K4-34 (剥片)、K4-52 (剥片)、K4-57 (剥片)、K4-128 (剥片)、K4-160 (剥片)、K4-175 (剥片)

黒色安山岩5 (第22図、PL.12)の同一母岩と考えられる非接合資料は、以下の4点であり、すべて剥片である。K2-20 (剥片)、K2-21 (剥片)、K3-1 (剥片)、K4-172 (剥片)

黒色安山岩で、単独の母岩と考えられる資料(第16図、PL.9)は、以下の2点である。K4-4 (石核)、K4-158 (剥片)

黒色安山岩で、母岩分類が出来ない資料は、剥片50点と碎片31点の計81点である。

黒曜石は、出土点数30点のうち、接合資料は3例7点である。

黒曜石1 (第22・23図、PL.12)黒色で、斑晶をやや含む。原石の形状や大きさは不明である。出土点数7点のうち、接合資料は2例5点である。

黒曜石1-①(第22図、PL.12)立方体ではほぼすべての面に剥離面を残す石核1点と剥片2点の計3点の接合資料である。

K2-52 (剥片)+K4-147 (剥片)→K2-65 (石核)

黒曜石1-②(第22図、PL.12)剥片2点の折断資料である。K4-188 (剥片)+K4-122 (剥片)

黒曜石1の同一母岩と考えられる非接合資料は、以下の2点である。K2-47 (剥片)、K2-62 (剥片)

黒曜石2 (第23図、PL.12)出土点数4点のうち、接合資料は1例2点である。

黒曜石2-①(第23図、PL.12)折断剥片と打面を90°転位して剥離した剥片の2点の接合資料である。K4-26 (剥片)→K4-31 (剥片)

黒曜石2の同一母岩と考えられる非接合資料は、以下の2点である。K4-46 (剥片)、K4-50 (剥片)

黒曜石3 (第23図、PL.12)での同一母岩と考えられる非接合資料は、以下の11点であり、すべて剥片である。K2-27 (剥片)、K4-25 (剥片)、K4-27 (剥片)、K4-31 (剥片)、K4-41 (剥片)、K4-48 (剥片)、K4-74 (剥片)、K4-111 (剥片)、K4-159 (剥片)、K4-168 (剥片)、K4-181 (剥片)

黒曜石(第13・23図、PL.7・12)で母岩分類が出来ない資料は、以下の7点である。K4-28 (削器)、K4-33 (剥片)、K4-153 (剥片)、K4-167 (剥片)、K4-30 (碎片)、K4-49 (碎片)、K4-60 (碎片)

デイサイトは、同じ母岩別資料である2点だけの出土である。

デイサイト1-①(第23図、PL.12)剥片2点の折断資料である。K4-161 (剥片)+K4-163 (剥片)

黒色頁岩(第13・15・23図、PL.7・8・12)黒色頁岩で母岩分類が出来ない資料は、以下の5点である。K2-17 (剥片)、K3-2 (剥片)、K4-11 (石刃)、K4-90 (局部磨製石斧)、K4-171 (剥片)

碧玉(第13・23図、PL.7・12)単独での出土である。K2-28 (石刃)、K4-177 (剥片)、K5-27 (剥片)

珪質頁岩(第14図、PL.7) 単独での出土である。K4-32 (石刃)

第3章 各遺跡の遺構・遺物

拡張1区(第2地点:3号ブロック)は局部磨製石斧2点と石刃2点、剥片1点の総数5点での出土である。

黒色頁岩1(第14図、PL.8)出土点数2点のうち、接合資料は1例2点である。

黒色頁岩1-①(第14図、PL.8) K1-2(局部磨製石斧)+K1-1(局部磨製石斧)

黒曜石(第14図、PL.7) 単独での出土である。K1-5(石刃)

碧玉(第13・23図、PL.7・12)単独の母岩で、出土点数は2点である。K1-4(石刃)、K1-6(剥片)

(5)剥片剥離技術

まず、大形の原石を分割し、背面に原石面を残す分割礫の周縁から表裏面の中心に向かって、主に横長の剥片を剥離して、円盤状の石核を作り出す。これは群馬I期に多い剥片剥離技術であり、黒色安山岩1-①が典型例であり、K4-4やK4-15などの石核がそうである。一方、原石の一端を打ち欠いて打面を作り出し、主に縦長の剥片を剥離する手法も群馬I期からII期にかけて多い剥片剥離技術である。黒色安山岩2-①がそれに近いが、一般には前者に黒色安山岩が多く用いられるのに対して、後者は黒色頁岩が多い。また、90°の打面転位だけでなく、180°転位する両極打面が認められる。

(6)分布状況(第9・24・214図、PL.4-3、6-1~6)

前記したように、拡張1区・第2地点を3号ブロック、拡張5区・第1地点を1号ブロックと2号ブロックの2ヶ所のブロックとに区分したが、石器分布が密なのは1号ブロックであり、その分布状況はいわゆる「環状ブロック群」のようでもあるが、北側半分の分布が希薄であることから、はたして環状と言い切ってよいのか問題はある。だが、石器組成や剥片剥離技術などからみても、群馬I期の時期の石器群そのものであり、やはりこの時期に特徴的な「環状ブロック群」と認定するのが妥当であろう。また、1号ブロックについては、さらに4~5群に細分が可能かもしれない。

(7)石器の分布(第25図、PL.6)

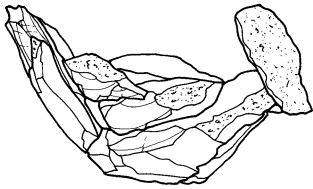
ナイフ形石器などの主要な石器は、やはり1号ブロックに集中しているが、局部磨製石斧は1号ブロックの南側と、分布密度が薄い北側の3号ブロックにも分布する。また、敲石や石核も前者から出土していることから、この部分が石器製作址である可能性が高い。一方、後者は局部磨製石斧だけでなく、石刃なども存在することから、利器を保管している居住空間の可能性もある。だが、1号ブロックとの間に僅かな接合関係のある2号ブロックは点数も少なく、性格がつかめない。

(8)石材の分布(第26図)

主要な石材である黒色安山岩は分布全体に万遍なくあるものの、それに対して特徴的な分布をしているのが黒曜石である。主に1号ブロックの中央部から西側半分を中心に分布しており、東側と西側で何らかの違いがあるのかもしれない。

(9)接合資料の分布(第26・27・28図)

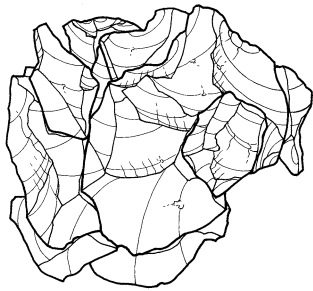
やはり主要な石材である黒色安山岩を中心に多数の接合資料がみられるが、特に1号ブロックの西側に分布する黒色安山岩は原石、あるいは大形の分割礫であり、剥片剥離工程の初期からの展開を示している。また、前記したように、1号ブロックについては、接合資料の分布状況からも細分が可能かもしれない。その場合は、4~5ヶ所ぐらいであろう。



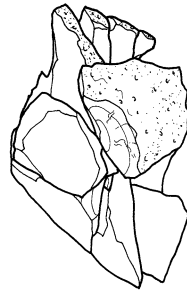
黑色安山岩 1 ①



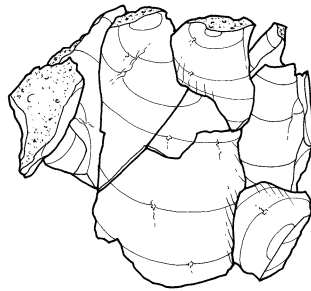
K2-32



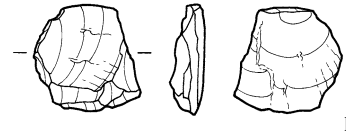
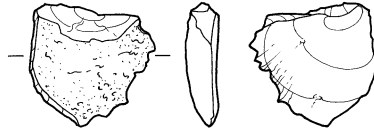
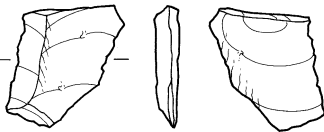
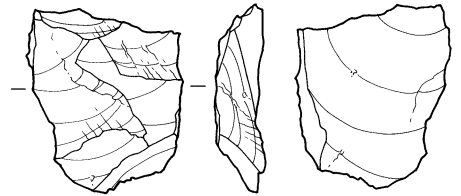
K2-37



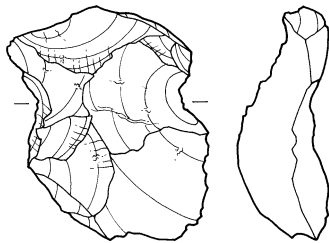
K4-29



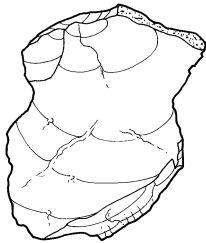
K4-56



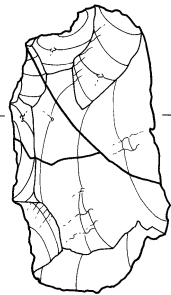
K2-29



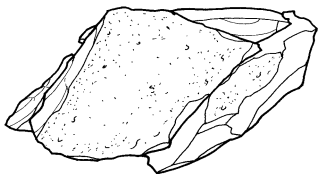
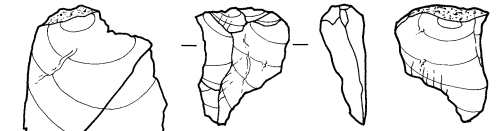
K4-53



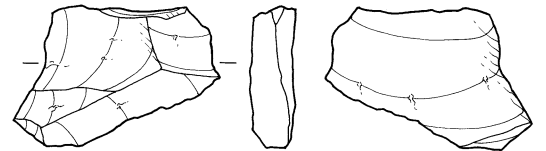
K4-93



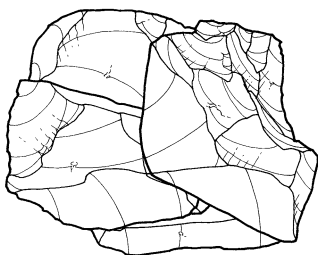
K4-59+K4-69+K4-92



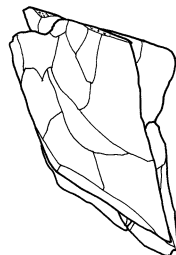
黑色安山岩 1 ②



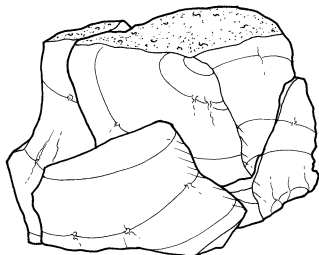
K4-64



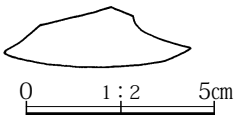
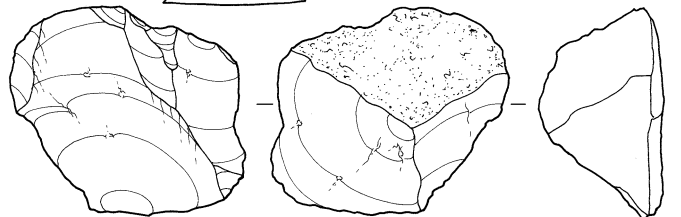
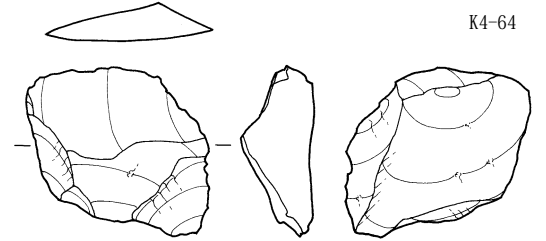
K4-183



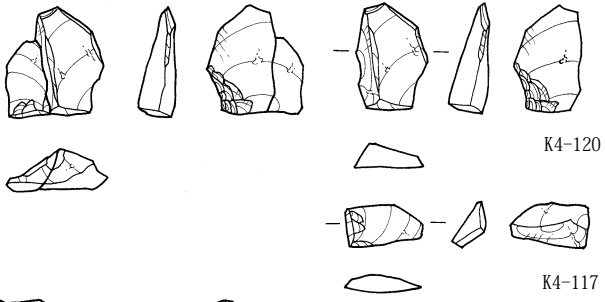
K4-67



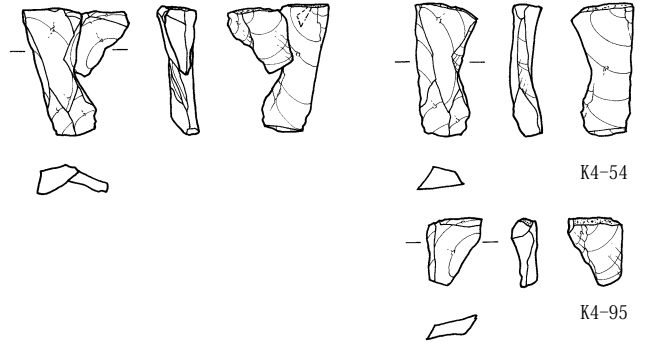
K4-164



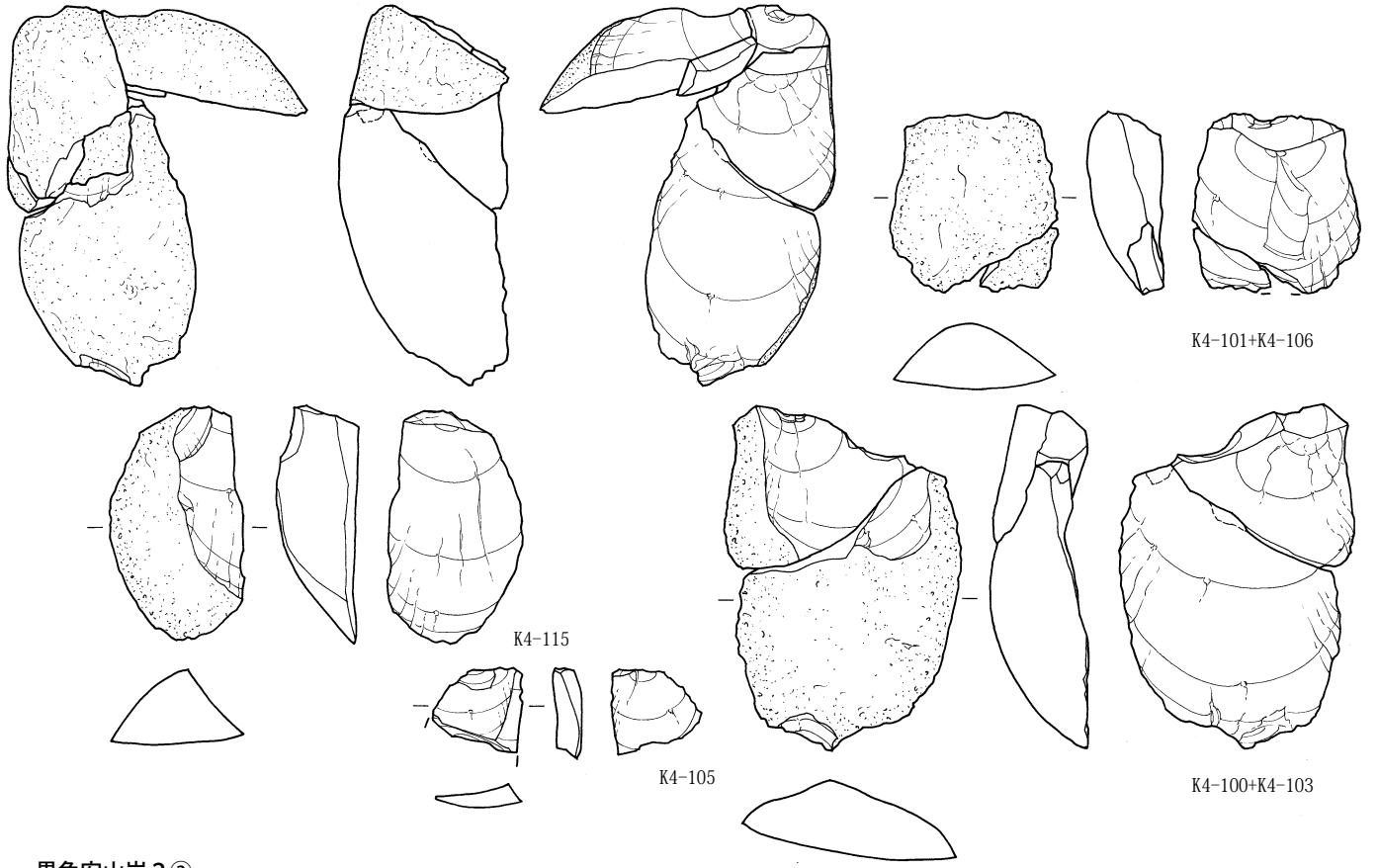
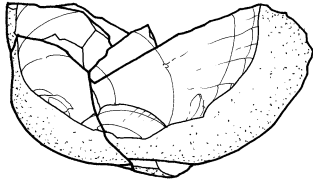
黑色安山岩 1③



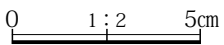
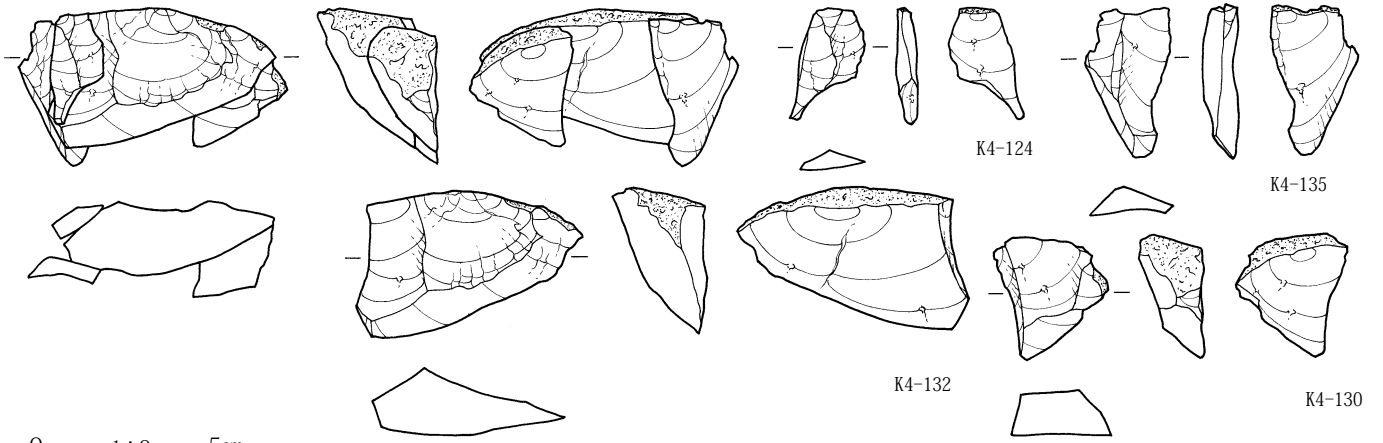
黑色安山岩 1④



黑色安山岩 2①

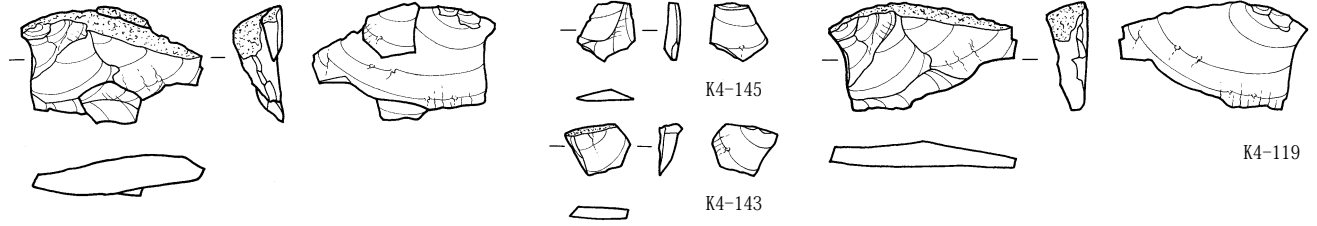


黑色安山岩 2②

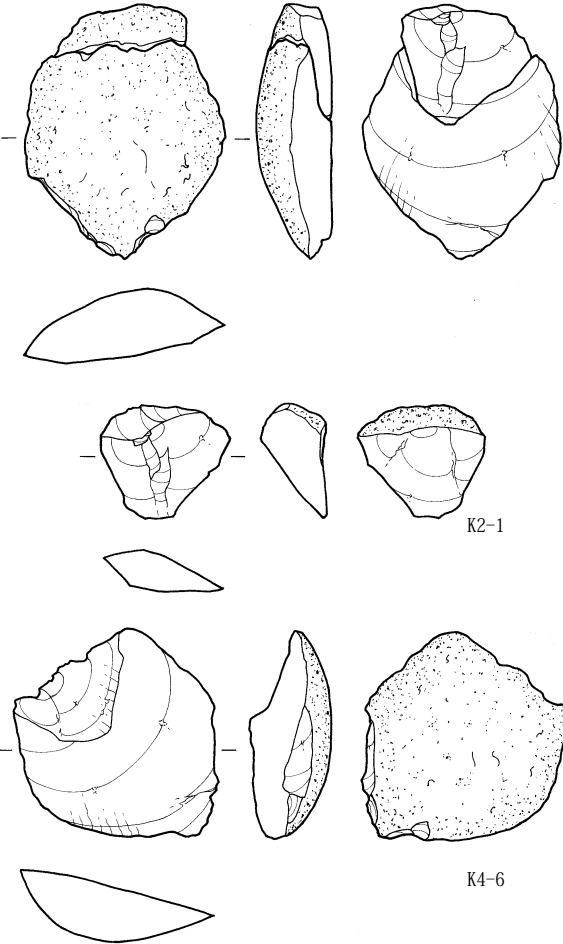


第19図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(2)

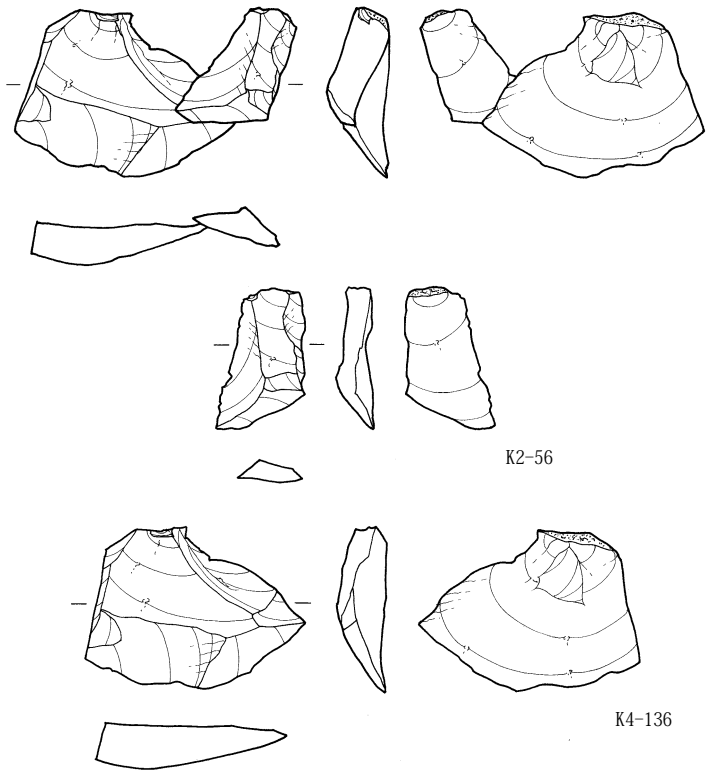
黑色安山岩 2③



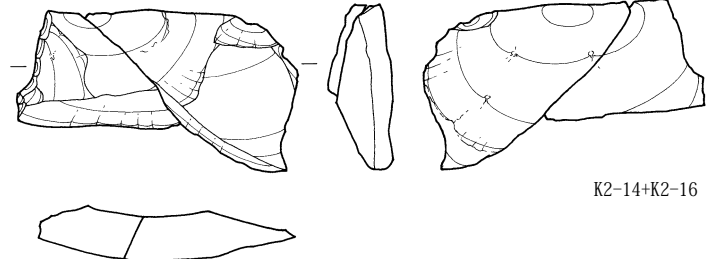
黑色安山岩 2④



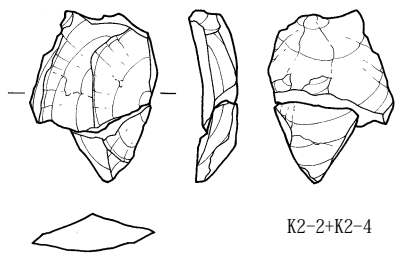
黑色安山岩 2⑥



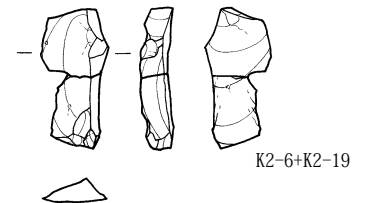
黑色安山岩 2⑤



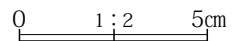
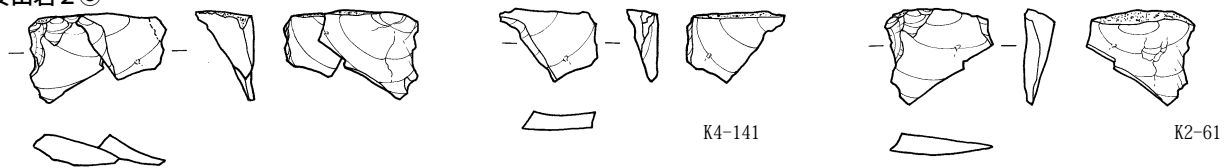
黑色安山岩 2⑦



黑色安山岩 2⑨

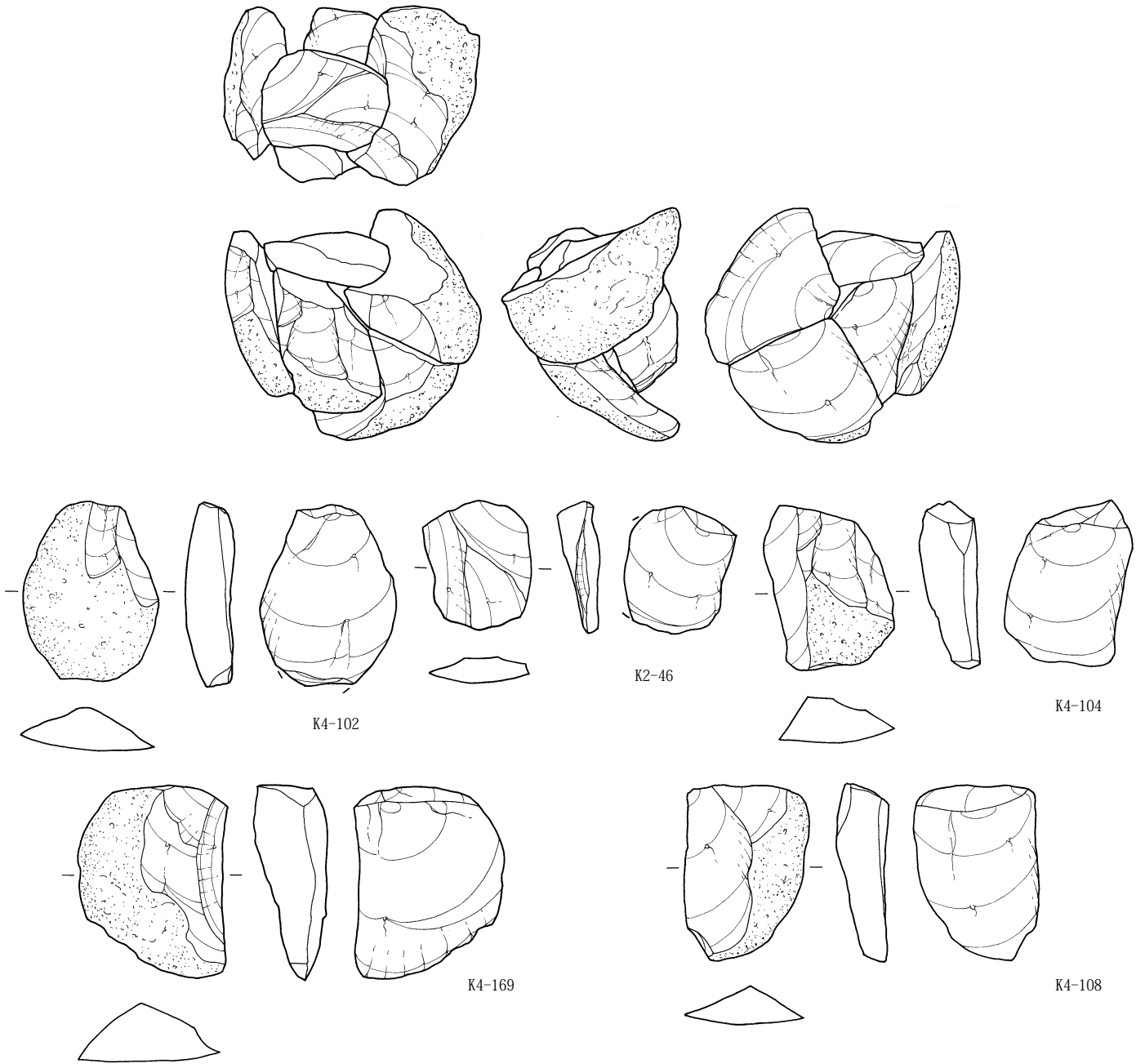


黑色安山岩 2⑧

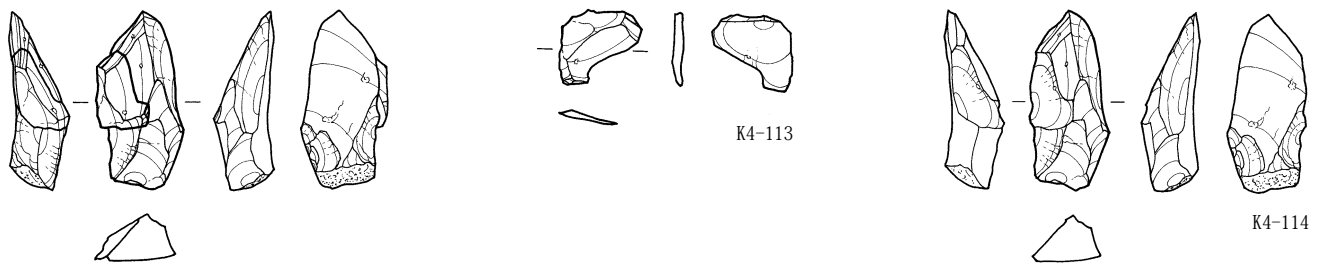


第20図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(3)

黒色安山岩 3①

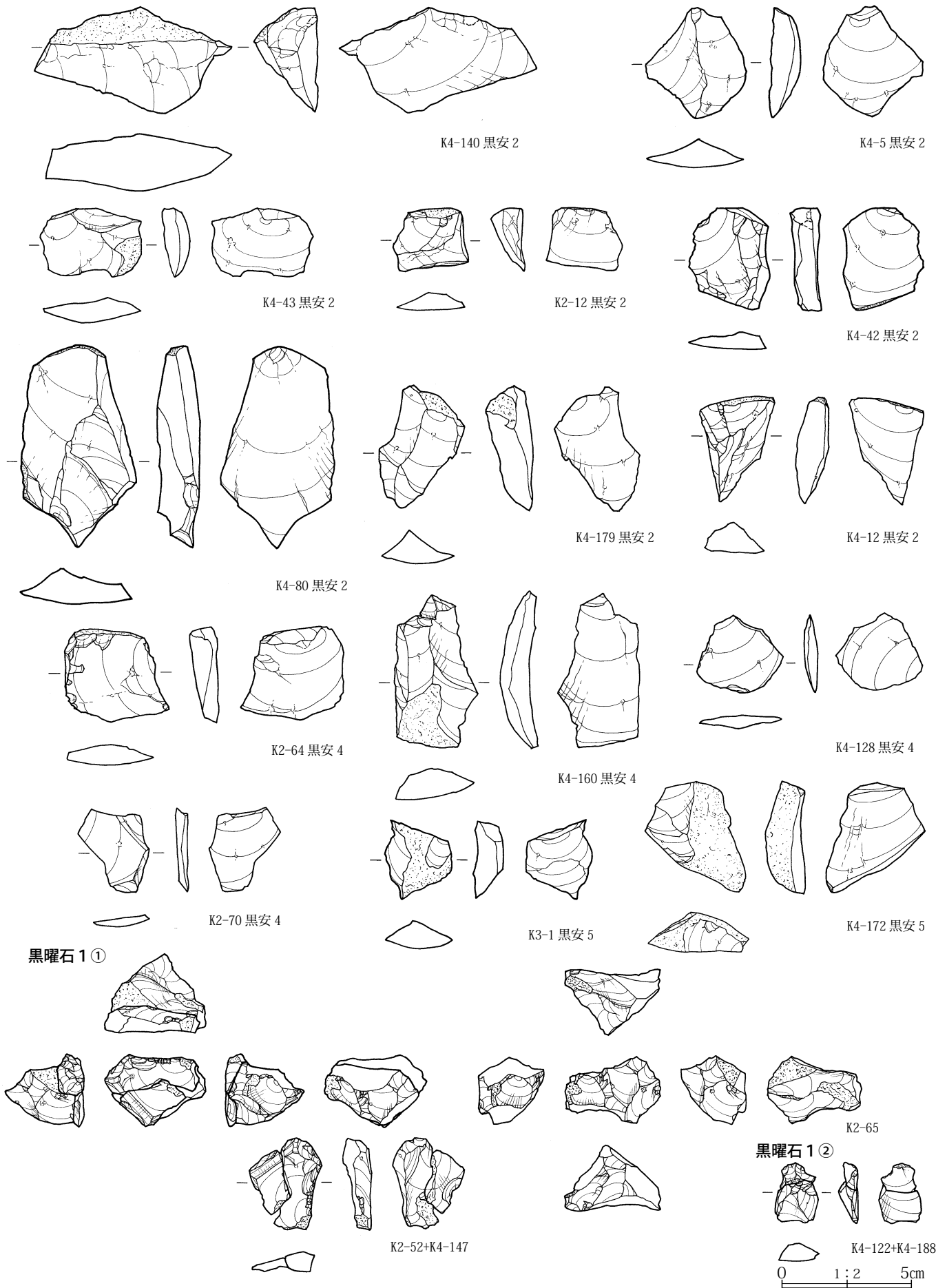


黒色安山岩 4①

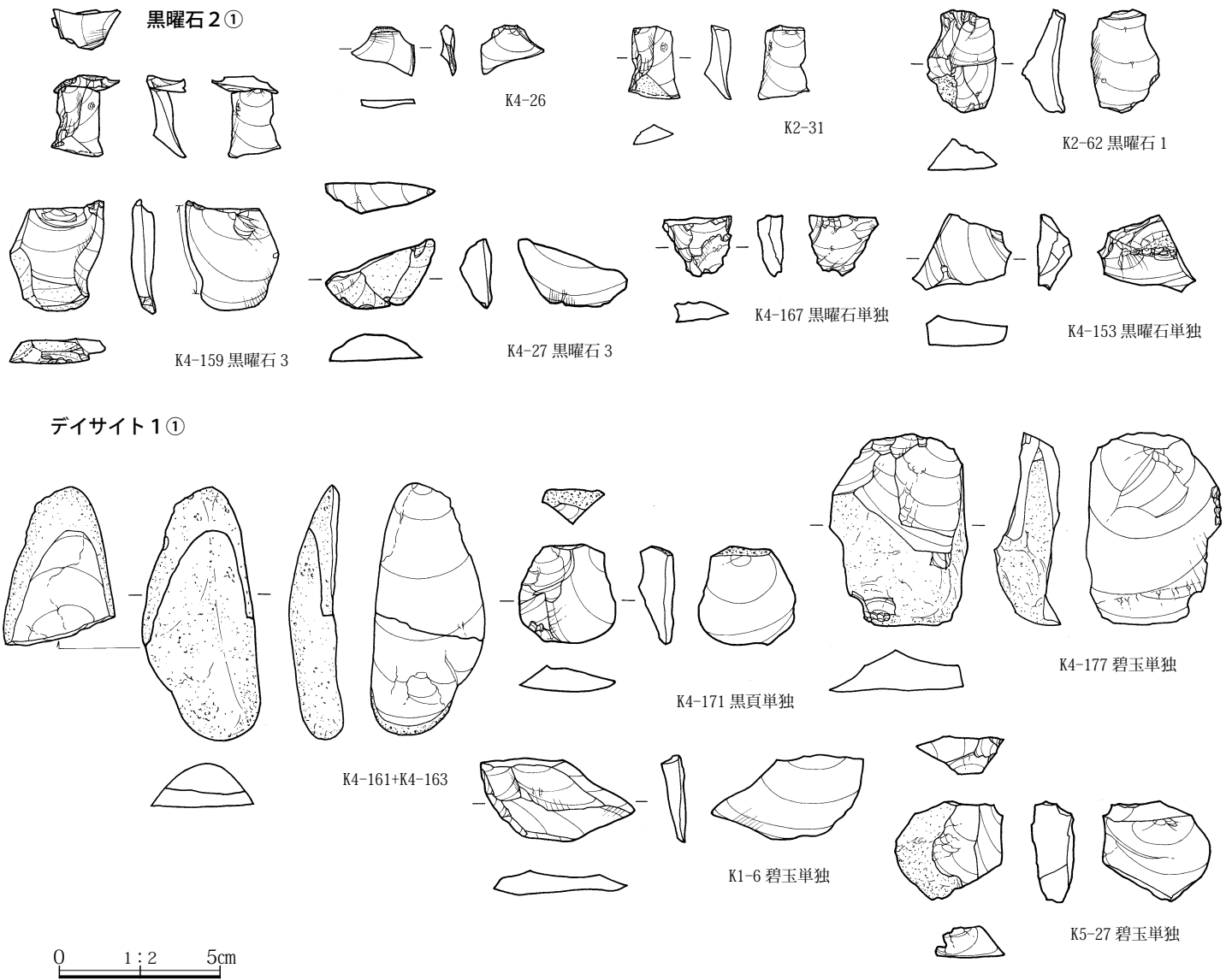


0 1:2 5cm

第21図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(4)



第22図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(5)

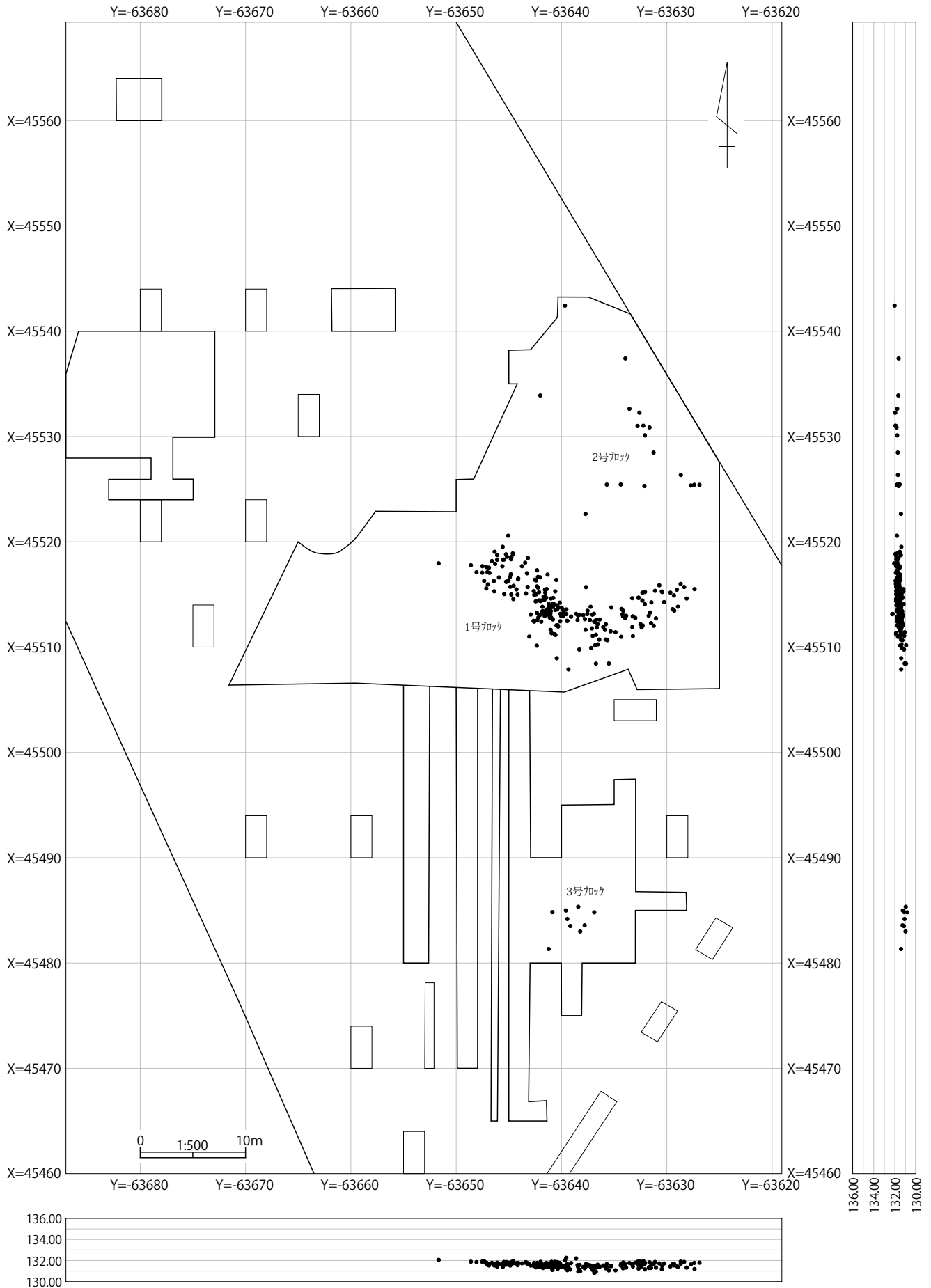


第23図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 母岩別試料・接合資料(6)

6 その他(第29図、PL. 5-8・71)

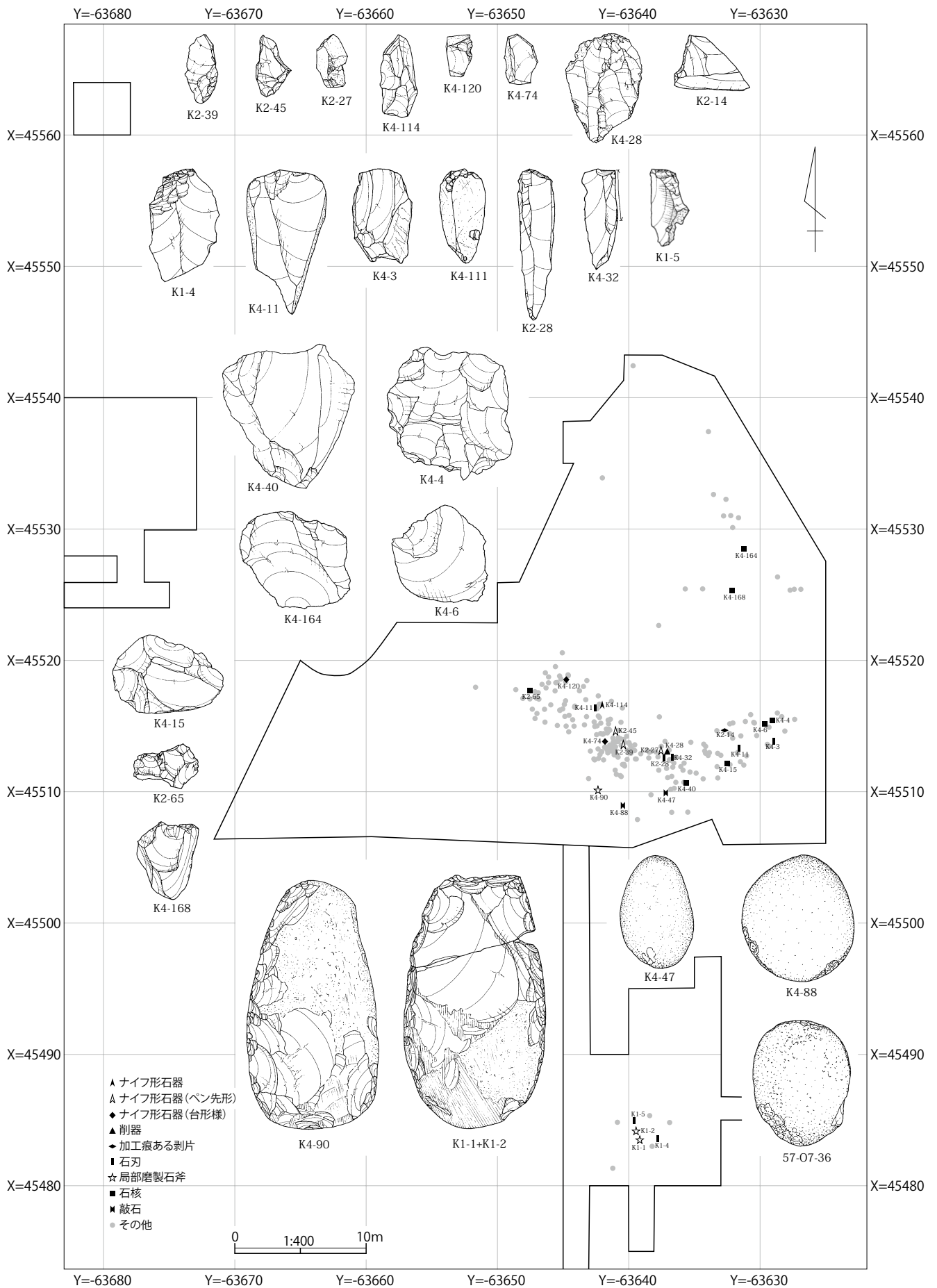
この他に、拡張6区・第3地点からは剥片と自然礫がそれぞれ1点出土している。石材はともに黒色頁岩である。拡張8区、及びトレンチ出土の資料は出土層位がはっきりとは把握されていない。おそらくは群馬編年のIV期の時期と想定される。

また、拡張5区・第1地点と拡張1区・第2地点で自然石が暗色帯下部から検出された。結晶片岩類を中心とした12点である。出土層位は暗色帯下部から榛名八崎軽石にかけてであり、グリッド内で集中しているように見える。上武道路関係の遺跡での旧石器時代で、前記したように上泉唐ノ堀遺跡(7工区)などでもこのような同様の出土事例が多いことから、それぞれの発掘調査の時点では遺物として取り上げていた。だが、端部が丸みを帯びた小形の棒状でいずれも剥片剥離の痕跡が認められないことなどから、考古学的にこれらを石器と認定しないこととし、遺物としての取り扱いをしないものの、地学サイドの意見も聴取しながら、あくまで参考資料として紹介することとした。石材は、雲母石英片岩6点(50.0%)、黒色片岩6点(50.0%)である。分布状況は、第2文化層の他の石器と同一である。さらに、それぞれの個体の大きさからも、利器的なとらえ方がまったくできない。こうした点からもやはり、石器とは認定できない。

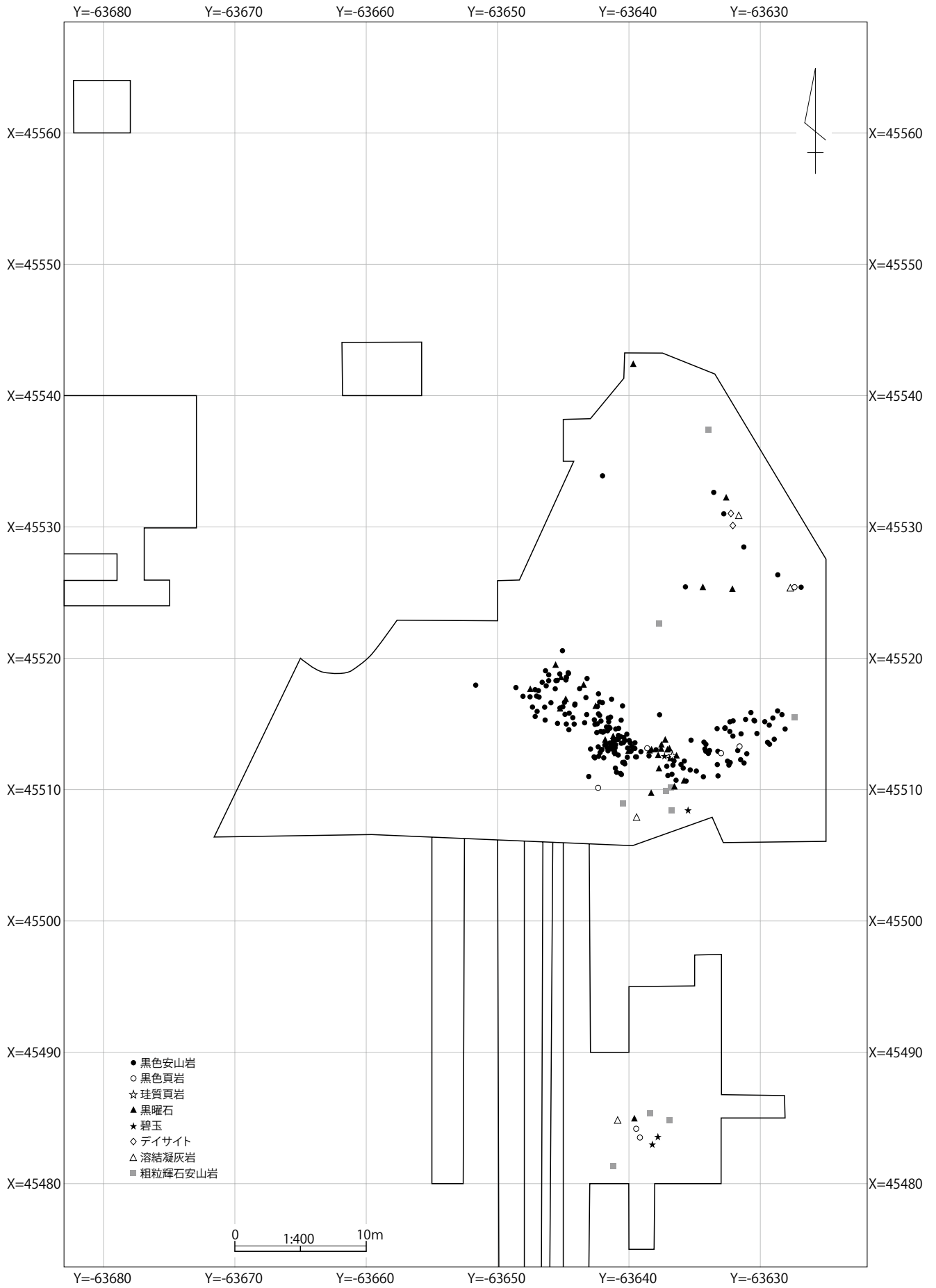


第24図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 石器分布・垂直分布状況

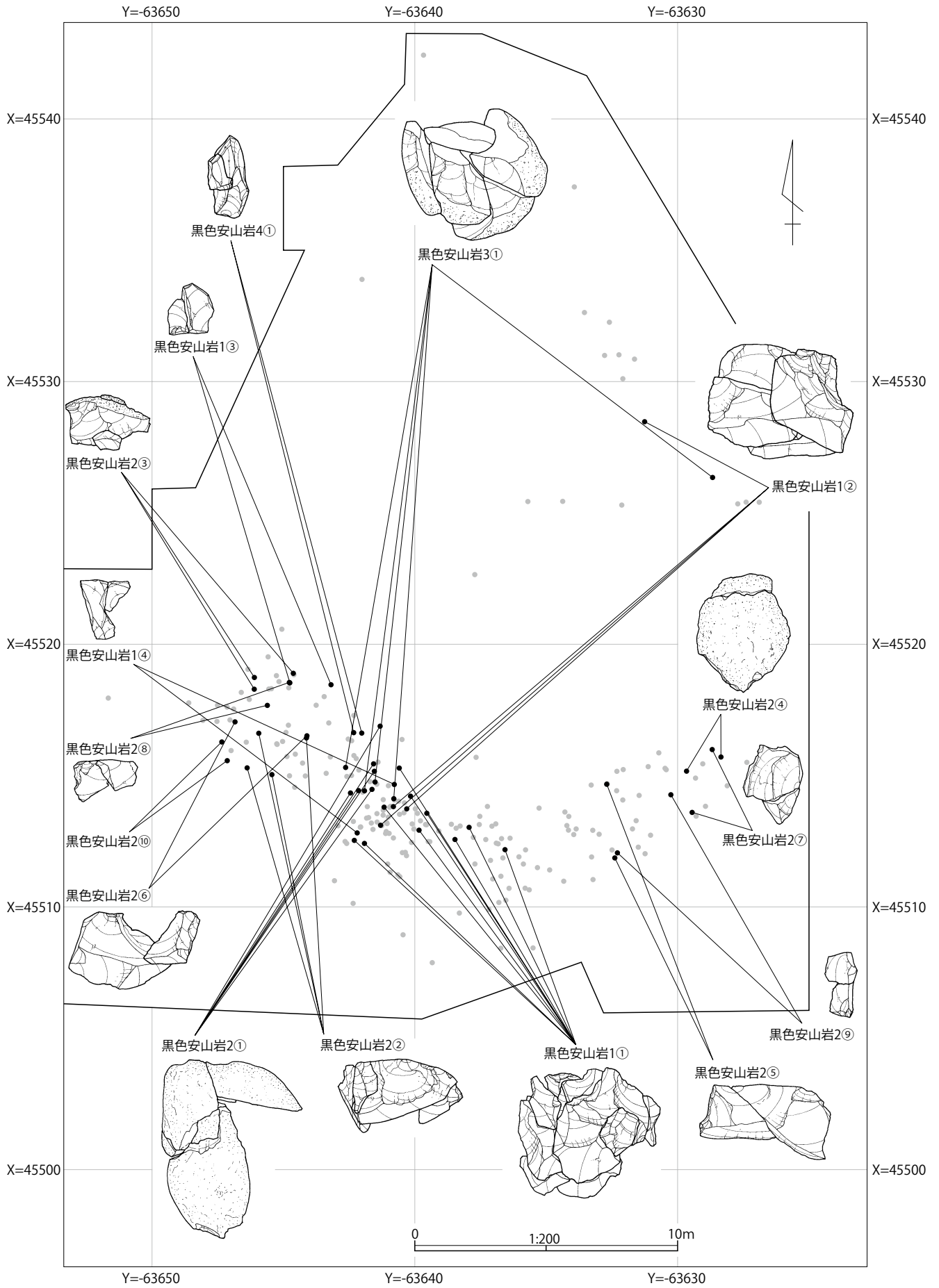
第3章 各遺跡の遺構・遺物



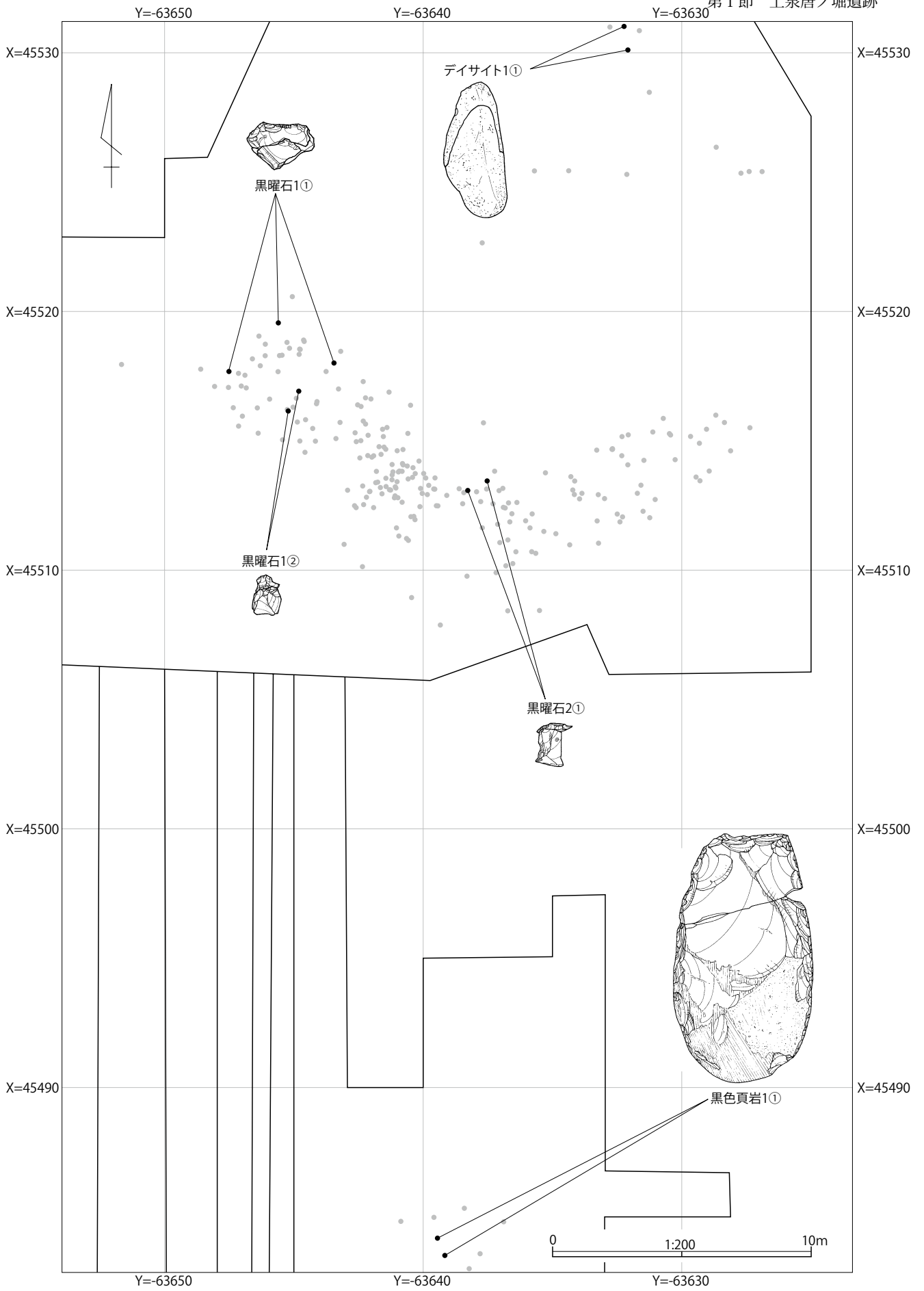
第25図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 器種別分布状況



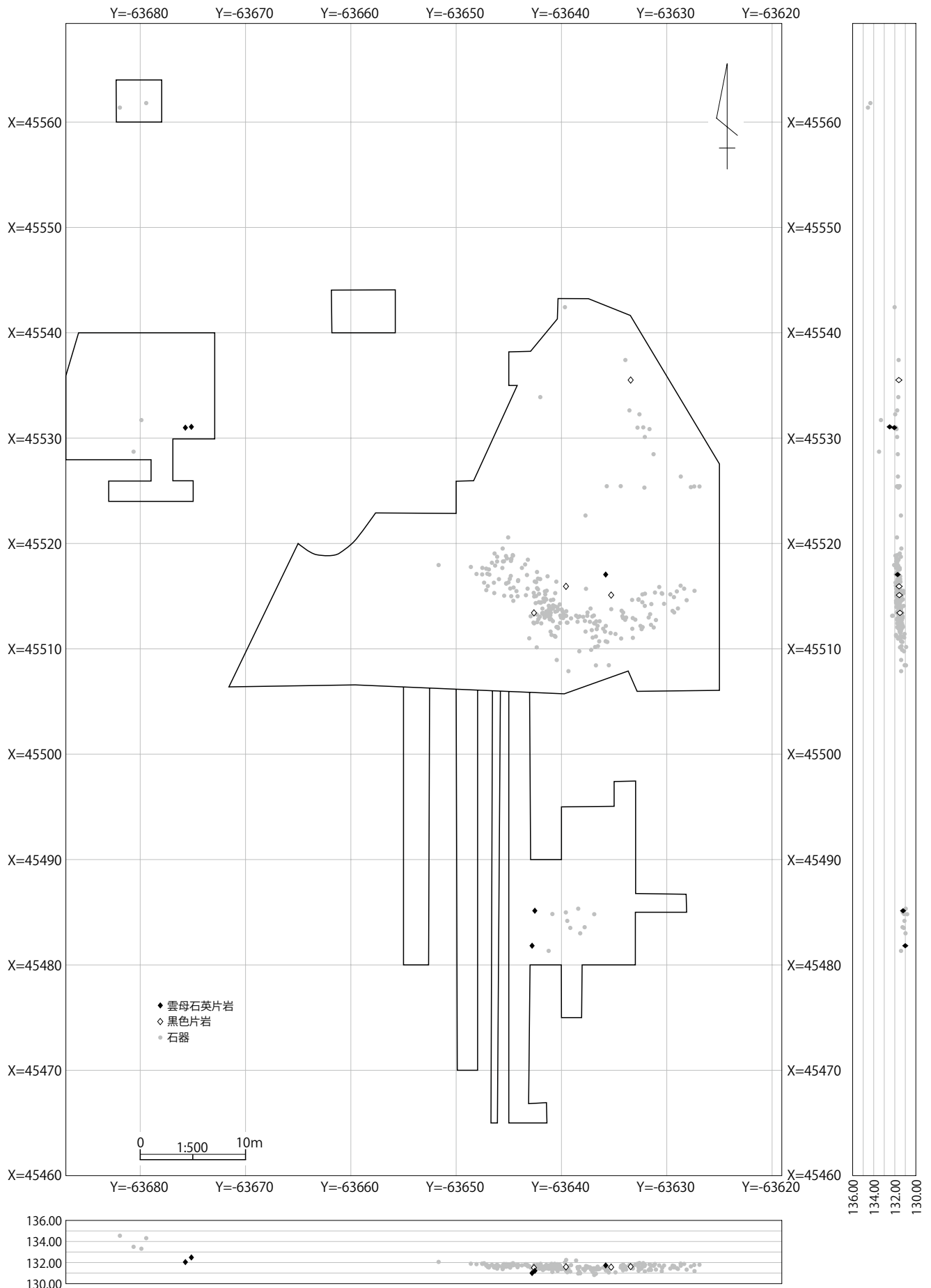
第26図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 石材別分布状況



第27図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張5区 接合資料の分布状況



第28図 上泉唐ノ堀遺跡 拡張1・5区 接合資料の分布状況



第29図 上泉唐ノ堀遺跡 結晶片岩の分布状況

第2節 上泉新田塚遺跡群

1 遺跡の概要

上泉新田塚遺跡群(JK54)は、寺沢川と荻窪川に挟まれた南北に長い台地上の西側に位置する。遺構・遺物の出土地点は荻窪川寄りの西の台地で、南西に緩やかに傾斜しており、標高は約135～141mである。

2 調査の経過

平成18年度の発掘調査で、1ヶ所の試掘トレンチで暗色帯中から1点の石器が出土したため周辺部を拡張したが、他に石器の出土はなかった。

平成19年度の発掘調査では、数ヶ所の地点から石器が出土したために周囲を拡張して調査を継続した。それぞれを拡張2区、拡張3区、拡張4区と呼称した。このように調査地点が多いことから、出土した石器の登録番号で「拡張」を「K」と表記した。つまり、「拡張2区」は「K2」となり、注記も同様である。さらに複数の遺物が出土した拡張4区を第1地点、拡張3区を第2地点、拡張2区を第3地点と呼称した。第1地点と第2地点では2つの文化層がそれぞれ確認されている。なお、拡張1区については図に記載していないが、拡張2区の北側に位置している。

石器ブロックは5ヶ所があり、それぞれの石器の出土層位は、第3地点が浅間大窪沢第1軽石(As-0k1)下位から浅間板鼻褐色軽石(As-BP)層上位にかけての槍先形尖頭器の時期(群馬IV期)、第2文化層の第1地点と第2地点が浅間板鼻褐色軽石(As-BP)層下位から暗色帯までの間、第3文化層の第1地点と第2地点が暗色帯中である。

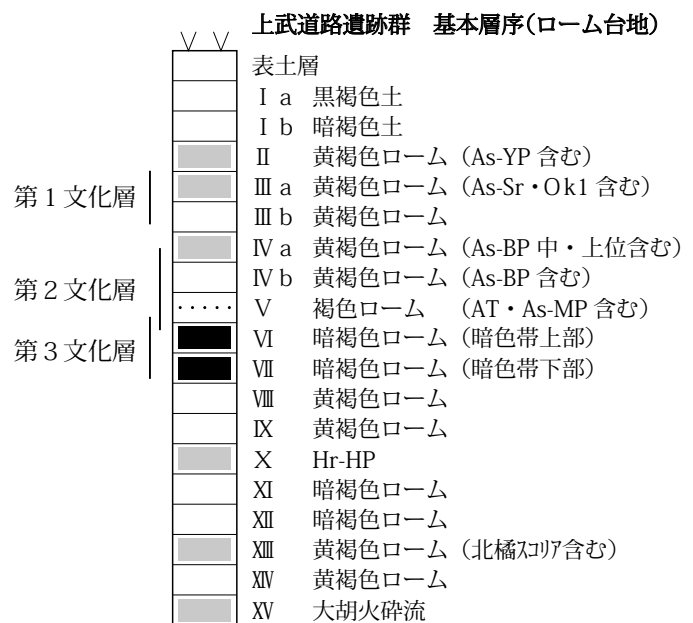
また、落ち込み2基を検出したが、その確認面はIV層である浅間板鼻褐色軽石(As-BP)層上位で、埋没土もAs-BPを主体としていたが、土層や底部の様子から、人為的な遺構とは考えにくいと判断した。平面図と写真を参考資料として記載してある。おそらく、2基ともに上泉唐ノ堀遺跡の事例と同様に木の根などの自然に起因するものと考えられる。

なお、本遺跡の旧石器時代の遺構・遺物に関する記載は下記に報告されているが、本報告を最終内容とする。

①『年報』27(平成19年度事業概要) 2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

②『財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団』WEB 19年1月、2月、3月

第30図は、上武道路が通過する赤城山南東麓のローム台地の基本土層であるが、本遺跡で確認されているのは、このうちのI層～XII層である。



第30図 上泉新田塚遺跡群の文化層

X=45900

X=45900

X=45850

X=45850

X=45800

X=45800

X=45750

X=45750

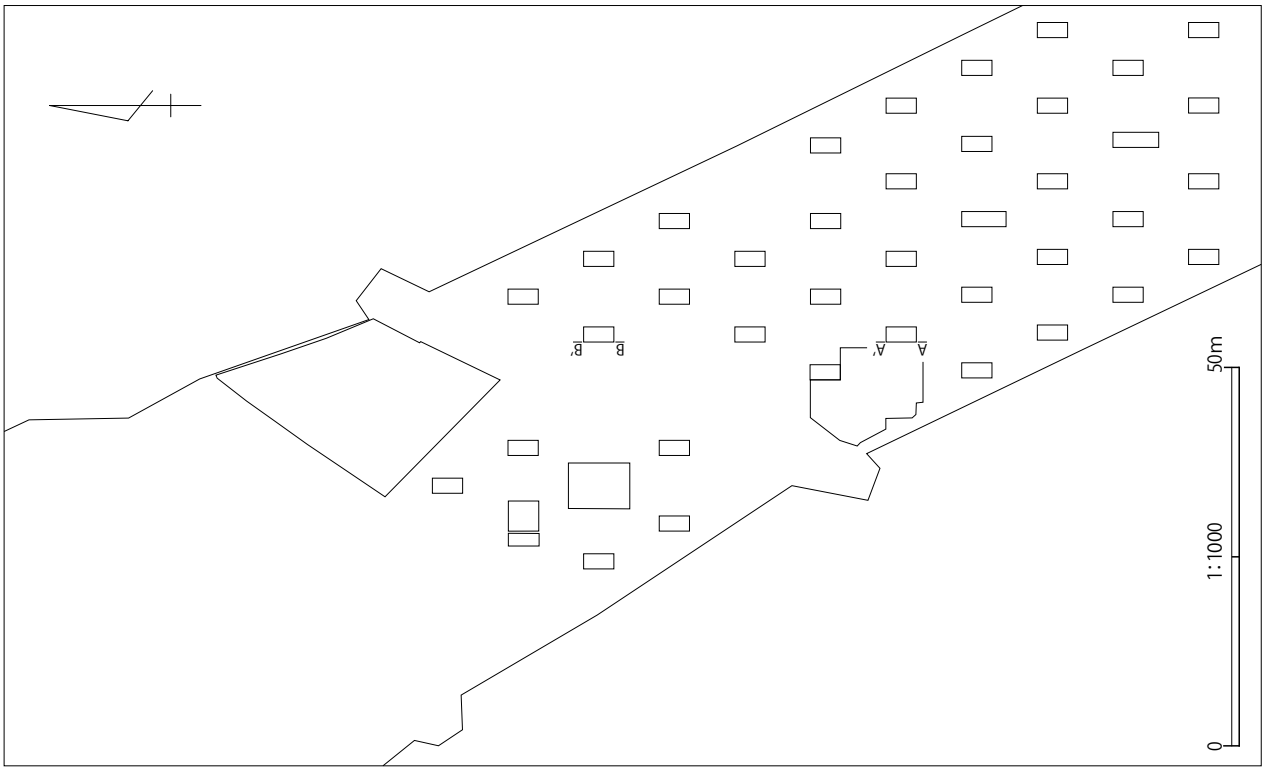


Y=-63850

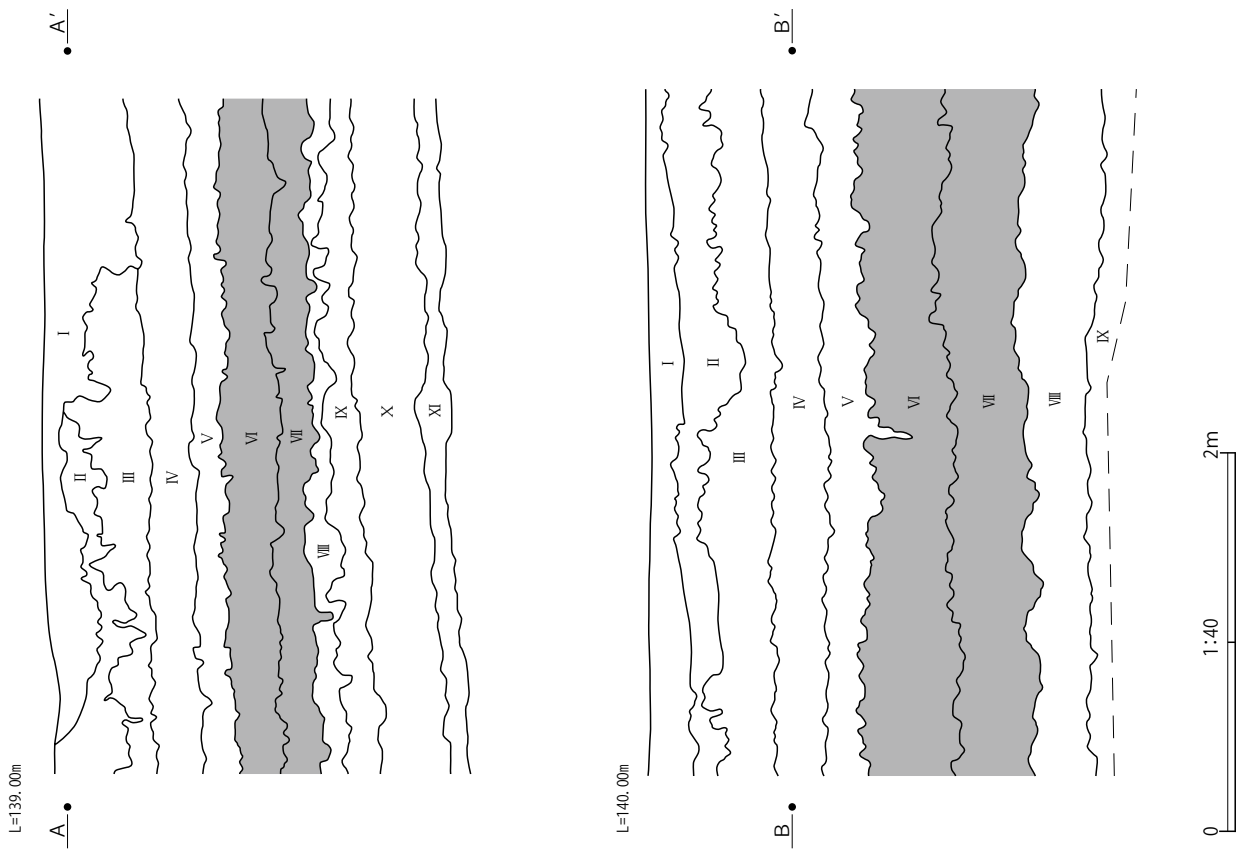
Y=-63800

Y=-63750

第31図 上泉新田塚遺跡群 石器分布状況



第32図 上泉新田塚遺跡群 土層堆積状況



3 第1文化層

第1文化層は、後世の時代の遺構と、拡張2区(第3地点)から出土している。

(1)出土層位

基本土層のⅢ層が中心で、テフラとの関係では浅間板鼻黄色軽石(As-YP、約13,000年前)より下位で、浅間大窪沢第1軽石(As-0k1、約17,000年前)までの間である。

(2)検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3)出土遺物

<表採> 1号道から1点の槍先形尖頭器が出土した(第33図、1号道-1、PL.14)。裏面側からの折断で、基部側を欠損しており、全体のほぼ半分残存している。石材はチャートである。本来の位置ではない地点からの出土であるが、第1文化層の石器として槍先形尖頭器を認定した。この文化層は槍先形尖頭器を主体とするもので、群馬編年のIV期後半に相当する。

<拡張2区>(第3地点)(第31・34図) 表面の先端部分に原石面を残す石刃が出土している。石材は黒曜石である。原産地分析の結果、産地不明と同定された(第5章第3節参照)。出土点数は石刃1点(50.0%)、剥片1点(50.0%)である。石器の石材は、黒曜石1点(50%)、黒色頁岩1点(50%)である(第5表参照)。

石刃(第33図、K2-1、PL.14)細かい打面を残し、剥離面の頭部調整も多い。長さは4.9cmにしては湾曲が激しく、表面の一部に原石面を残す。石材は黒曜石である。

(4)母岩別資料・接合資料

黒曜石(第33図、PL.14)単独出土の石刃1点である。K2-1

黒色頁岩 単独出土である。色調は灰6/1 (Hue7.5Y)、自然面は皺が顕著。剥片1点である。K2-2(非実測)

(5)剥片剥離技術

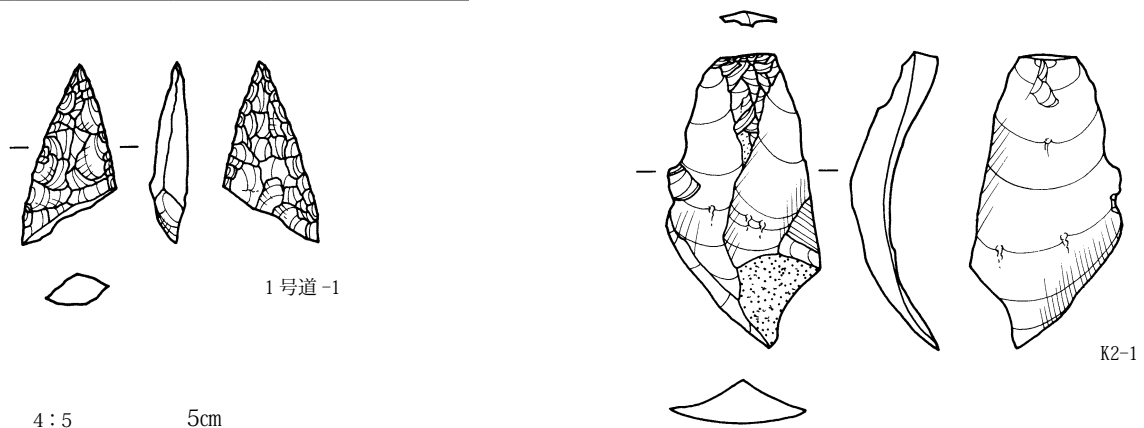
小さな面を打面とし、剥離作業面の頭部調整が顕著など、IV期の特徴がしっかり出ている。

(6)分布状況(第34図)

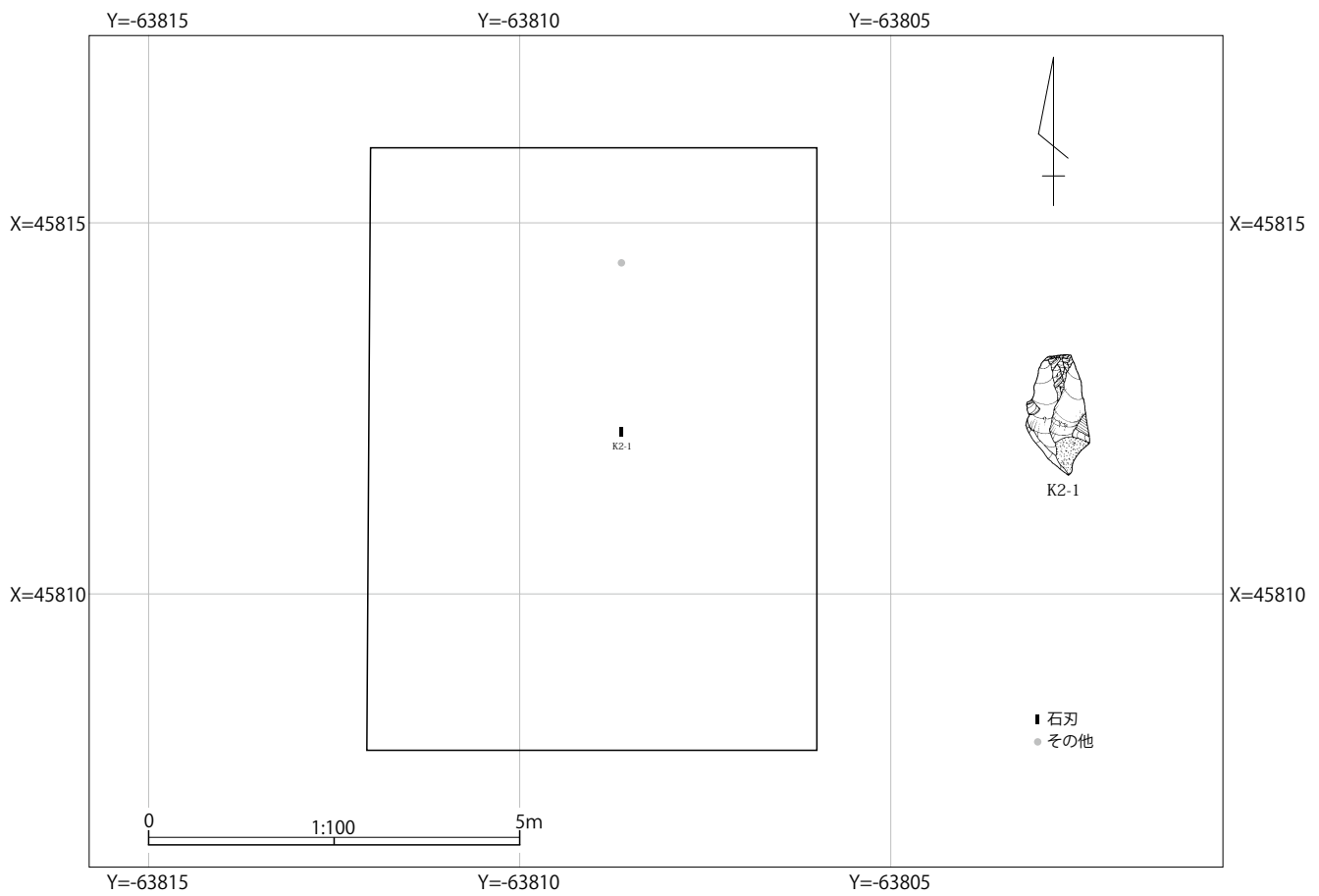
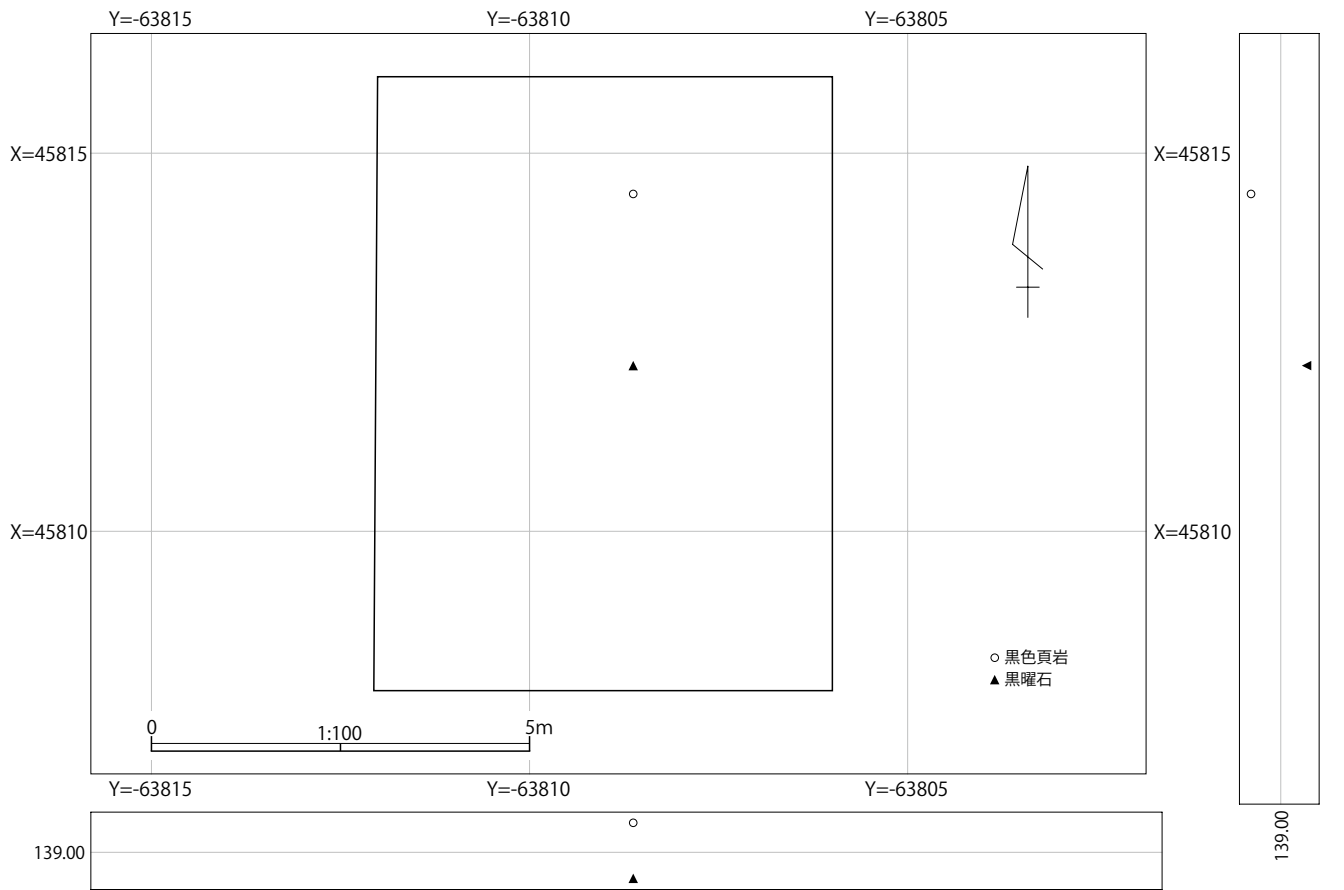
石器・自然石共に、単独に近い出土状態であり、特に石器は石刃と剥片の各1点ずつの単発の散布である。

第5表 上泉新田塚遺跡群 第1文化層 組成表

| | 槍先形尖頭器 | 石刃 | 剥片 | 総計 |
|------|--------|----|----|----|
| 黒色頁岩 | | | 1 | 1 |
| 黒曜石 | | 1 | | 1 |
| チャート | 1 | | | 1 |
| 総計 | 1 | 1 | 1 | 3 |



第33図 上泉新田塚遺跡群 第1文化層 出土遺物



第34図 上泉新田塚遺跡群 第1文化層拡張2区 器種別分布・石材別分布状況

4 第2文化層

第2文化層の出土地点は、拡張3区(第2地点)、拡張4区(第1地点)の両地点である。

(1)出土層位

基本土層のV層を中心にIV層からVI層にかけて出土している。テフラとの関係では浅間板鼻黄色軽石(As-YP、約13,000年前)より下位で、浅間大窪沢第1軽石(As-0k1、約17,000年前)から浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)までの間である。

(2)検出遺構

石器の出土以外で、前述した2基の落ち込みを検出した。

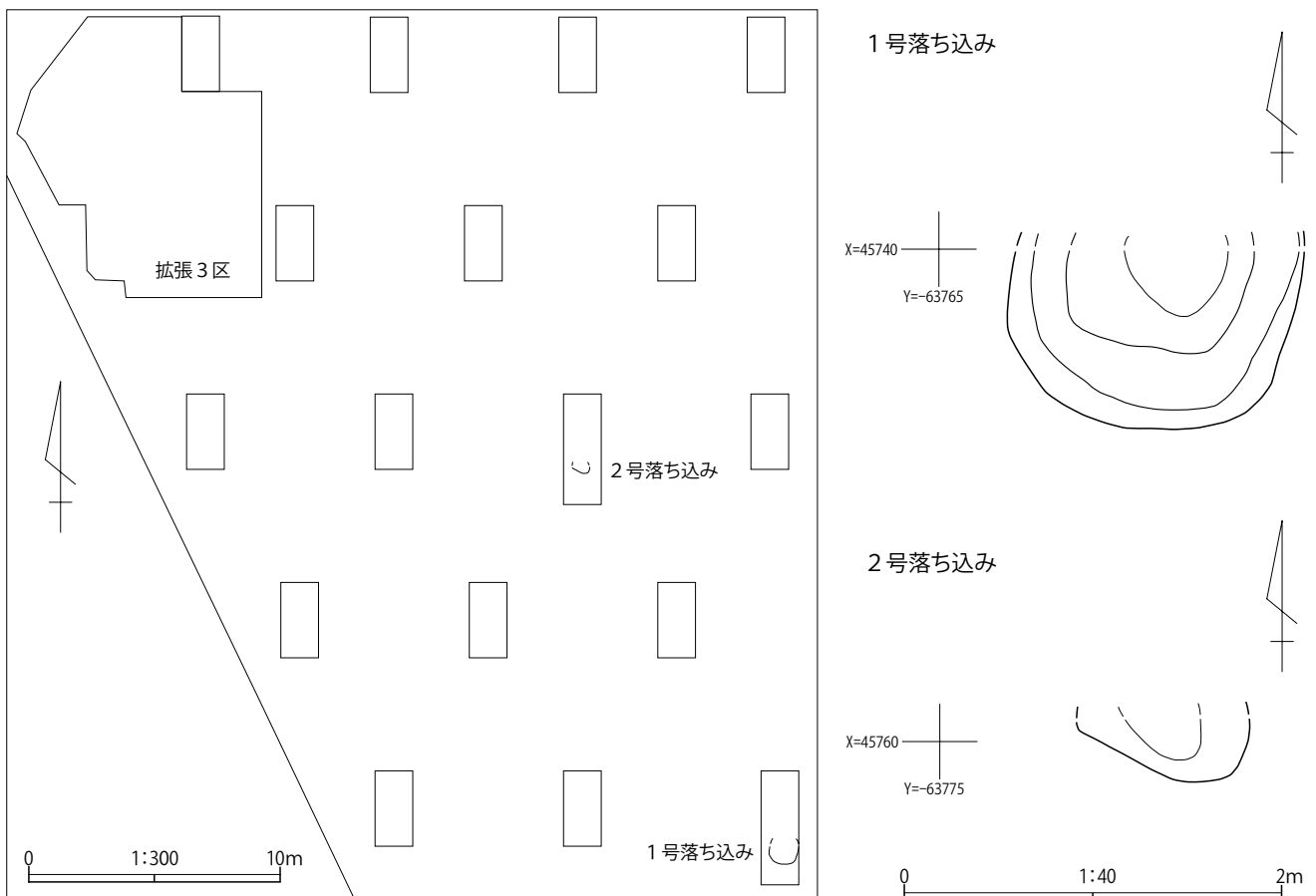
1号落ち込み(第35図、PL.13-3・4)

確認面は基本土層IV層の浅間板鼻褐色軽石(As-BP)層上位であり、埋没土もAs-BPを主体とし、多数の細かな炭化物が認められた。炭化物の位置に刺してある竹串の数でその集中の度合いが判断できる。

2号落ち込み(第35図、PL.13-2)

確認面は基本土層IV層の浅間板鼻褐色軽石(As-BP)層上位であり、埋没土もAs-BPを主体としていた。

2基ともに、試掘トレンチの断面で確認されたために、全景も南側半分だけが残っている状態で検出されたが、土層の堆積や底部の様子などから、人為的な遺構とは考えにくいと判断した。



第35図 上泉新田塚遺跡群 1号・2号落ち込み

(3)出土遺物

拡張3区(第1地点)、拡張4区(第2地点)の両地点からで、共に多数の石器が出土している。

<拡張3区(第2地点)>(第31・37・38図、PL.13-5)

出土遺物の総点数は30点で、内訳は石器6点(20.0%)、剥片20点(66.7%)、碎片3点(10.0%)、礫類1点(3.3%)である。石器の器種は、削器1点(3.4%)、石刃1点(3.4%)、加工痕ある剥片2点(6.9%)、使用痕ある剥片2点(6.9%)、剥片20点(69.0%)、碎片3点(10.4%)である。石器の主な石材は黒色頁岩24点(82.8%)、チャートが3点(10.3%)、黒色安山岩2点(6.9%)である。礫類は黒色片岩1点のみである(第6表参照)。

<拡張4区(第1地点)>(第31・37・39図、PL.13-8)

出土遺物の総点数は10点で、内訳は、剥片9点(90.0%)、碎片1点(10.0%)、である。石器の主な石材は黒色頁岩6点(60.0%)、チャート2点(20.0%)、黒色安山岩2点(20.0%)である(第7表参照)。

拡張3・4区の出土遺物の総点数は40点で、内訳は石器6点(15.0%)、剥片29点(72.5%)、碎片4点(10.0%)、礫類1点(2.5%)である。石器の器種は、削器1点(2.6%)、石刃1点(2.6%)、加工痕ある剥片2点(5.1%)、使用痕ある剥片2点(5.1%)、剥片29点(74.4%)、碎片4点(10.2%)である。主な石材は、黒色頁岩30点(75.0%)、黒色安山岩4点(10.0%)、チャート5点(12.5%)、黒色片岩1点(2.5%)である。石器群はⅢ層に帰属すると考えられ、群馬編年Ⅳ期前半と考えられる。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

削器(第36図、K3-9、PL.14)1点が出土している。広めの原石面を打面とする、やや幅広の縦長剥片を素材とし、一側辺のほぼすべてに大小の調整痕が施されている。石材は黒色頁岩である。

加工痕ある剥片(第36図、K3-17・K3-26、PL.14)2点が出土している。K3-17は両極剥離された小形剥片の一側辺に調整を施している。石材はチャートである。K3-26は表面に原石面を残す横長剥片を素材とし、打面部の両面縁に調整を施している、石材は黒色頁岩である。

使用痕ある剥片(第36図、K3-6・K3-18、PL.14)2点が出土している。K3-6は原石面を打面とする縦長剥片を素材とし、一側辺の一部に細かな使用痕が残されている。石材は黒色頁岩である。K3-18は原石面を打面とするやや幅広の縦長剥片を素材とし、両側辺の一部に細かな使用痕が残されている。石材は黒色頁岩である。

石刃(第36図、K3-32、PL.14)1点が出土している。原石面を大きく打面とし、やや幅広で、石材は黒色頁岩である。

(4)母岩別資料・接合資料(第36図、PL.14)

<拡張3区(第2地点)>

黒色頁岩6(第36図、PL.14)色調は灰6/1(Hue7.5Y)、縞状の節理が顕著。単独の非接合資料として使用痕ある剥片1点、剥片2点の計3点がある。K3-6(使用痕ある剥片)、K3-7(剥片)、K3-10(剥片)

黒色頁岩7(第36図、PL.14)色調は灰5/1(Hue7.5Y)、やや風化している。単独の非接合資料として加工痕ある剥片1点と剥片3点の計4点がある。K3-2(剥片)、K3-26(加工痕ある剥片)、K3-29(剥片)、K3-33(剥片)

黒色頁岩8(第36図、PL.14)色調は灰8/2(Hue7.5Y)、自然面は円滑でやや珪化している。単独の非接合資料3点がある。K3-5(剥片)、K3-8(剥片)、K3-18(使用痕ある剥片)

黒色頁岩(第36図、PL.14)単独の母岩の非接合資料として、削器1点、石刃1点、剥片3点の計5点がある。K3-4(剥片)、K3-9(削器)、K3-16(剥片)、K3-28(剥片)、K3-32(石刃)

黒色頁岩の分類不能の非接合資料は9点がある。K3-3(剥片)、K3-12(碎片)、K3-13(剥片)、K3-14(剥片)、K3-15(剥片)、K3-25(剥片)、K3-27(剥片)、K3-30(剥片)、K3-34(剥片)

黒色安山岩の分類不能の非接合資料は2点がある。K3-20(碎片)、K3-22(碎片)

チャート(第36図、PL.14)単独の母岩の非接合資料として3点がある。K3-11(剥片)、K3-17(加工痕ある剥片)、K3-19(剥片)

<拡張4区(第1地点)>

黒色頁岩の分類不能の非接合資料として6点がある。K4-4(剥片)、K4-5(碎片)、K4-6(剥片)、K4-8(剥片)、K4-12(剥片)、K4-15(剥片)

黒色安山岩の分類不能の非接合資料として2点がある。K4-2(剥片)、K4-16(剥片)

チャートの分類不能の非接合資料として2点がある。K4-9(剥片)、K4-11(剥片)

(5)剥片剥離技術

原石面を打面にしている資料が5点もあることから、原石を直接持ち込んで原石面や分割面を打面として、剥片を剥離する工程と考えられるが、やや資料不足で説明が及ばない。

(6)分布状況(第37・215図)

石器の分布は、拡張4区の僅かな分布を北から1～3号ブロックとする。拡張3区の北側の6点と南側が東西にそれぞれ縦並びのように別れて見えるが、大きくは南北の2ヶ所の分布と判断し、4号ブロック、5号ブロックと呼称する。共にやや散漫な分布である。

(7)石器の分布(第38図)

拡張4区の1～3号ブロックには主要な石器がないものの、4号ブロックに加工痕ある剥片が集中しており、生産活動の場と想定される。

(8)石材の分布(第38・39図)

4号ブロックには黒色頁岩だけが分布しており、2号ブロックは黒色頁岩が多く、チャート、黒色安山岩は僅かである。

(9)接合資料の分布

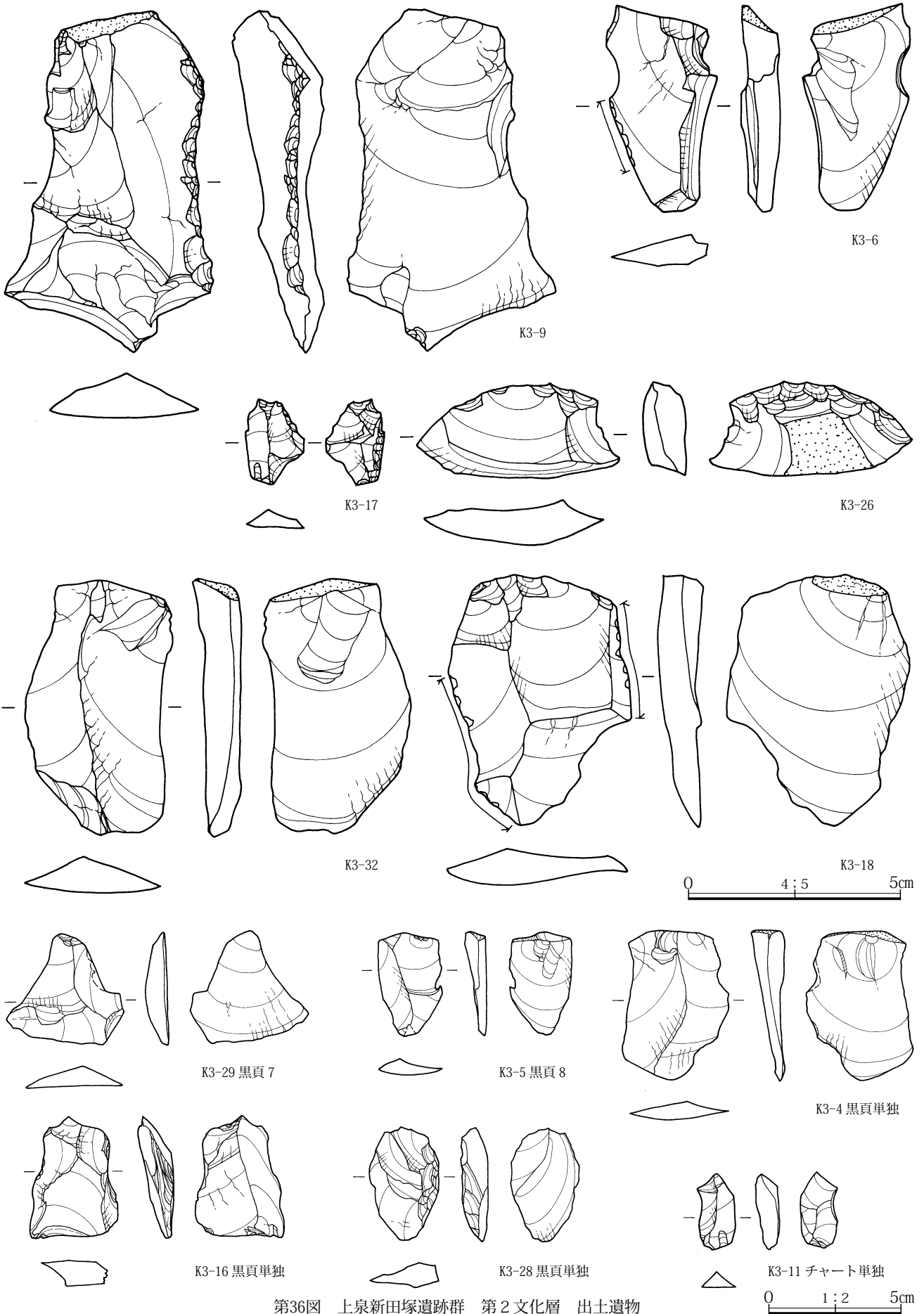
接合資料は確認されていない。

第6表 上泉新田塚遺跡群 第2文化層 拡張3区組成表

| | 削器 | 加工痕 | 使用痕 | 石刃 | 剥片 | 碎片 | 礫類 | 総計 |
|-------|----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| 黒色安山岩 | | | | | | 2 | | 2 |
| 黒色頁岩 | 1 | 1 | 2 | 1 | 18 | 1 | | 24 |
| チャート | | 1 | | | 2 | | | 3 |
| 黒色片岩 | | | | | | | 1 | 1 |
| 総計 | 1 | 2 | 2 | 1 | 20 | 3 | 1 | 30 |

第7表 上泉新田塚遺跡群 第2文化層 拡張4区組成表

| | 剥片 | 碎片 | 総計 |
|-------|----|----|----|
| 黒色安山岩 | 2 | | 2 |
| 黒色頁岩 | 5 | 1 | 6 |
| チャート | 2 | | 2 |
| 総計 | 9 | 1 | 10 |

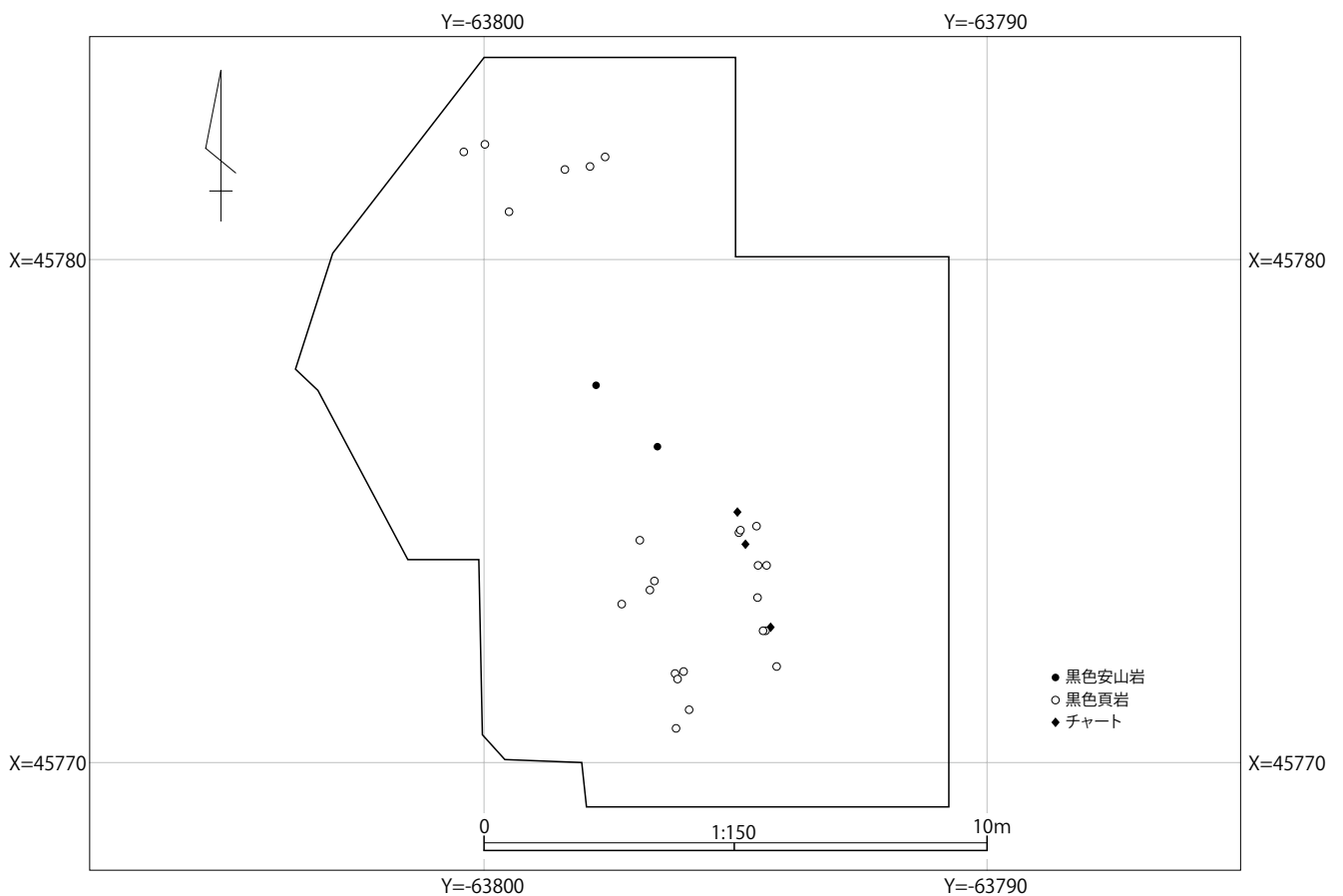
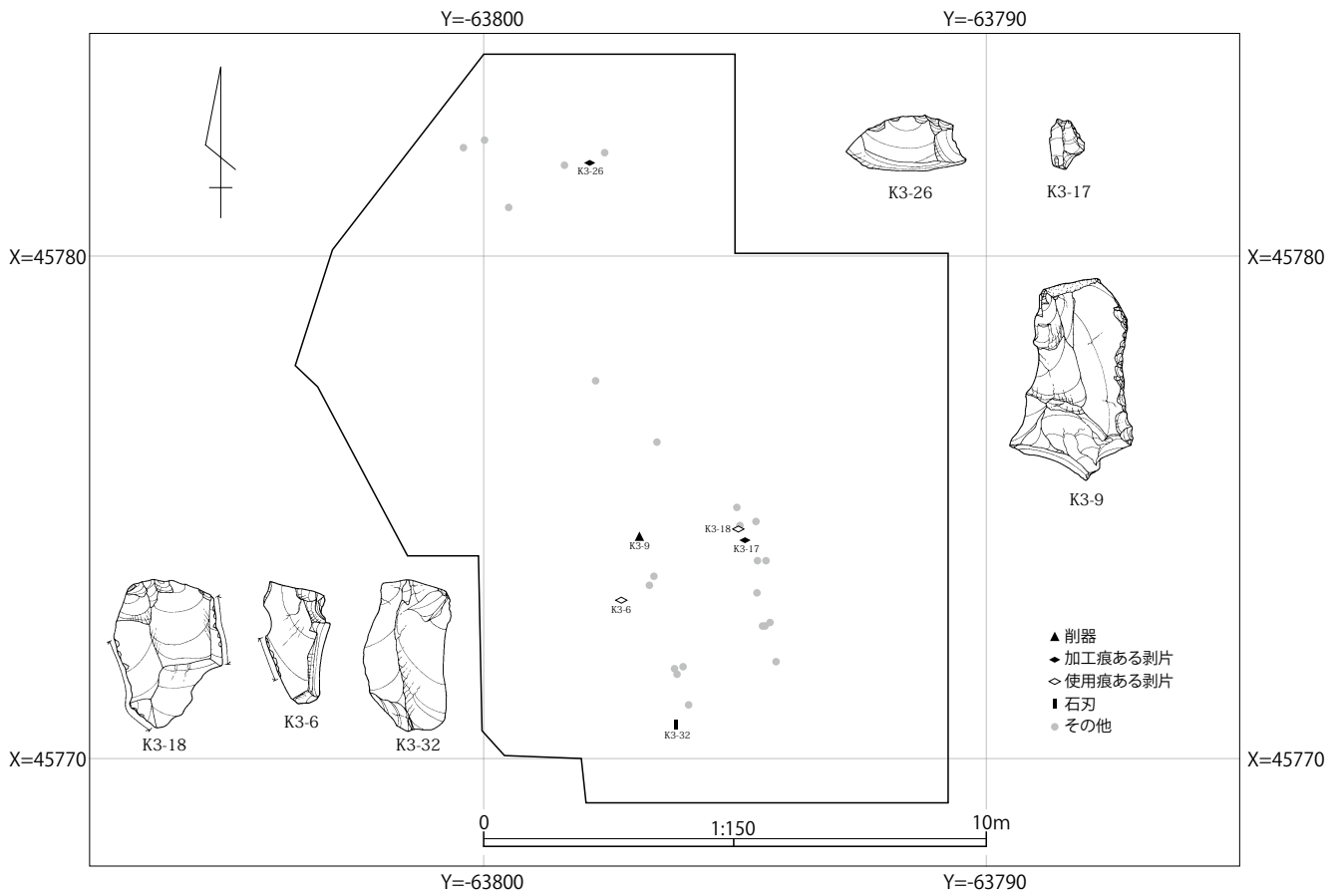


第36図 上泉新田塚遺跡群 第2文化層 出土遺物

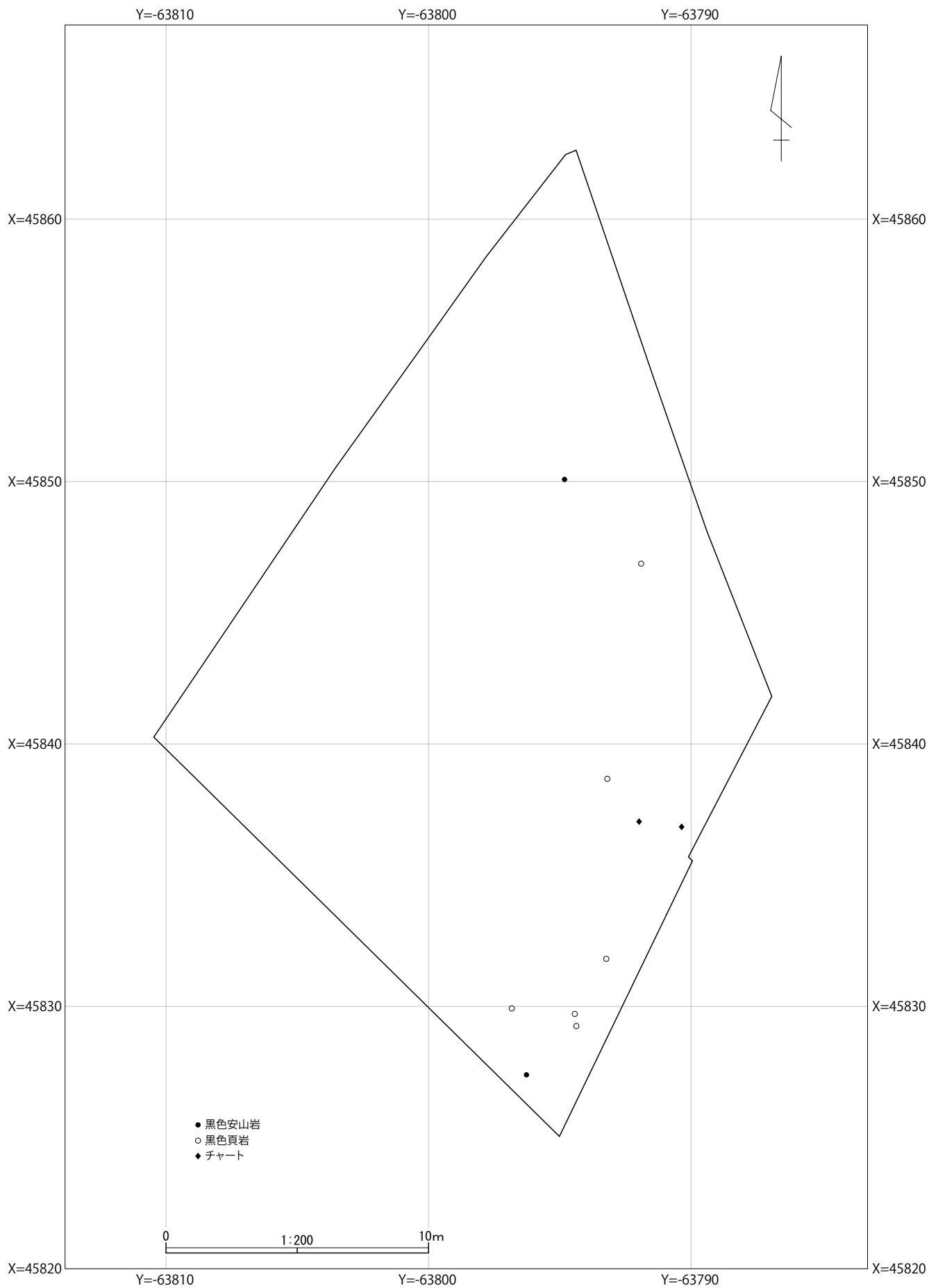
第3章 各遺跡の遺構・遺物



第37図 上泉新田塚遺跡群 第2文化層 石器分布・垂直分布状況



第38図 上泉新田塚遺跡群 第2文化層拡張3区 器種別分布・石材別分布状況



第39図 上泉新田塚遺跡群 第2文化層拡張4区 石材別分布状況

5 第3文化層

第3文化層の出土地点は、第2文化層と同様に、拡張3区(第2地点)と拡張4区(第1地点)の両地点からであるが、出土層位が異なることから、発掘調査段階では分離していたが、ここでは同一文化層として扱う。

(1) 出土層位

基本土層のVI層を中心にV層の浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)を含む黄褐色ローム層からVII層の暗色帯に相当する暗褐色ローム層にかけて出土した。テフラとの関係ではVI層の始良Tn火山灰(AT、約28,000年)よりも下位で、X層の榛名八崎軽石(Hr-HP、40,000年)よりも上位である。

(2) 検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3) 出土遺物

出土地点は、拡張3区(第1地点)、拡張4区(第2地点)の両地点である。

<拡張3区(第1地点)>(第31・46・47・50図、PL.13-6)

出土遺物の総点数は27点で、内訳は石器5点(18.5%)、剥片17点(63.0%)、碎片3点(11.1%)、礫・礫片2点(7.4%)である。石器の器種は、削器1点(4.0%)、加工痕ある剥片2点(8.0%)、石核1点(4.0%)、敲石1点(4.0%)、剥片17点(68.0%)、碎片3点(12.0%)である。主な石材はチャートが21点(77.8%)と多く、黒色頁岩2点(7.4%)、珪質頁岩2点(7.4%)、粗粒輝石安山岩1点(3.7%)、珪質変質岩1点(3.7%)などである(第8表参照)。

<拡張4区(第2地点)>(第31・46・48・49・51図、PL.13-8)

出土遺物の総点数は62点で、内訳は石器13点(21.0%)、剥片42点(67.7%)、碎片1点(1.6%)、礫・礫片類6点(9.7%)である。石器の器種は、加工痕ある剥片1点(1.8%)、石刃6点(10.7%)、石核6点(10.7%)、剥片42点(75.0%)、碎片1点(1.8%)である。石器の主な石材は、黒色安山岩30点(53.6%)、黒色頁岩25点(44.6%)、チャート1点(1.8%)である。礫の石材は、粗粒輝石安山岩1点(16.7%)、ホルンフェルス1点(16.7%)、雲母石英片岩2点(33.3%)、黒色片岩2点(33.3%)などである(第9表参照)。

拡張3・4区を合わせた出土遺物の総点数は89点で、内訳は石器18点(20.2%)、剥片59点(66.3%)、碎片4点(4.5%)、礫・礫片・礫類8点(9.0%)である。石器の器種は、削器1点(1.2%)、石刃6点(7.4%)、加工痕ある剥片3点(3.7%)、石核7点(8.7%)、敲石1点(1.2%)、剥片59点(72.9%)、碎片4点(4.9%)である。主な石材は黒色安山岩30点(37.0%)、黒色頁岩27点(33.3%)、チャート22点(27.2%)、珪質頁岩2点(2.5%)である。礫の石材は、粗粒輝石安山岩2点(25.0%)、ホルンフェルス1点(12.5%)、珪質変質岩1点(12.5%)、雲母石英片岩2点(25.0%)、黒色片岩2点(25.0%)などである。石器群はVII層に出土量のピークがあり、石器組成などから群馬編年のI期前半と考えられる。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

削器(第40図、K3-2-4、PL.14)1点が出土している。K3-2-4はやや幅広の縦長剥片を素材とし、一側縁に連続して加工を施している。石材はチャートである。

加工痕ある剥片(第40図、K3-2-10・K3-2-29・K4-2-34、PL.14)3点が出土している。K4-2-34は打面の一部と先端部に原石面を残したやや幅広の剥片を素材とし、打面部分に僅かに加工が認められる。石材は黒色頁岩である。K3-2-10はやや厚めの縦長の剥片の裏面側の一縁の連続した加工が認められ、石材はチャートである。K3-2-29は節理によって打点部分が剥がれた小形の剥片を素材とし、石材はチャートである。

石刃(第40図、K4-2-5・K4-2-11・K4-2-15・K4-2-54・K4-2-55・K4-2-58、PL.14・15)6点が出土しているが、うちの2点は折断による接合資料である。K4-2-5は一側縁と先端部に原石面を残す、やや幅広の資料で、石材は黒色頁岩である。K4-2-55は打点がほとんど点のように細かく、幅も狭い石刃で、石材は黒色頁岩である。K4-2-58は打面が小さく、断面が台形状を呈する幅が狭い石刃で、石材は黒色頁岩である。K4-2-54は先端部が尖る資料で、打痕部分が節理で剥がれ

第3章 各遺跡の遺構・遺物

ている。石材はチャートである。K4-2-11+K4-2-15はほぼ中央で裏面側から折り取られた資料で、石材は黒色頁岩である。この他に、多数の剥片や破片が出土しているが、図化・資料化しているのは主に接合資料に含まれる資料だけである。(第43図～第45図、PL.16)

石核(第41図、K3-2-5・K4-2-7K4-2-12・K4-2-16・K4-2-38・K4-2-41・K4-2-47・K4-2-48、PL.15)総計8点が出土しているが、うち4点は折断による接合資料2例である。K4-2-12+K4-2-16は、側面に原石面を残す断面三角の厚みのある大形の剥片を素材に、裏面を打面に表面の一側縁から2枚の横長剥片を剥離した後に、ほぼ真ん中で折断して、頭部側の断面を作業面として2枚の剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K3-2-5は小形の剥片を素材に、表裏面で1枚ずつの小形の剥片を剥離している。石材はチャートである。K4-2-47は底面に原石面を残す分割礫、あるいは大形の厚みのある剥片を素材に、表面や側面で数枚の小形の剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K4-2-7は長方体に近い剥片を素材に、表面の周縁から中央に向かって小形の横長剥片を5枚前後剥離している。石材は黒色頁岩である。K4-2-38+K4-2-48は、分割による板状の形状で原石面を一部に残し、表裏面の周縁から中央に向かって数回の剥離を加えている。石材は黒色安山岩である。K4-2-41は分割面を打面とする舟底形を呈する石核で、打面を90° 転位して小形の剥片を剥離している。石材は黒色頁岩である。

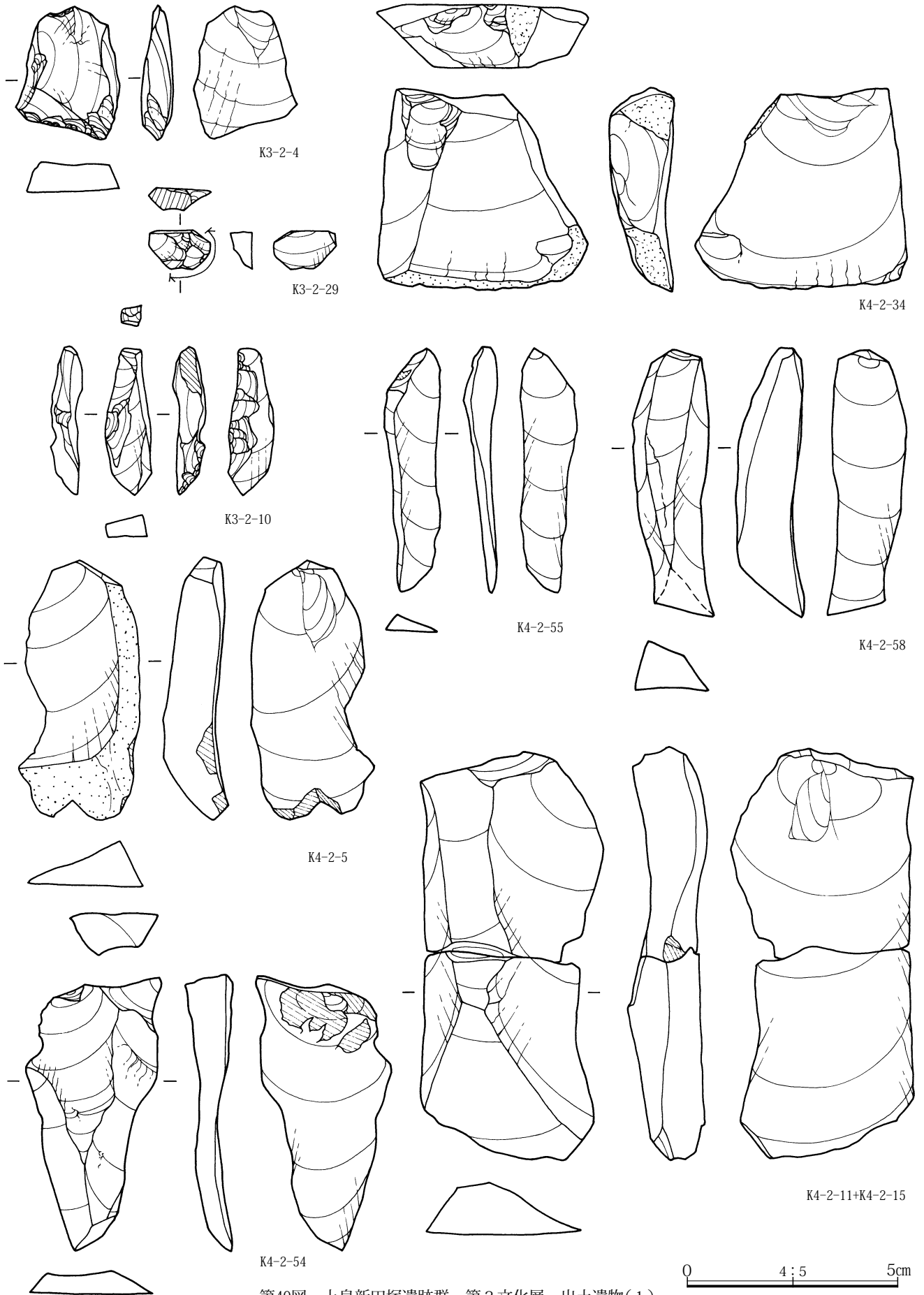
敲石(第42図、K3-2-26、PL.15) K3-2-26は棒状の垂角礫で、一端に数個の敲打痕と叩打による1枚の剥離面を残している。石材は珪質頁岩である。

第8表 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 拡張3区組成表

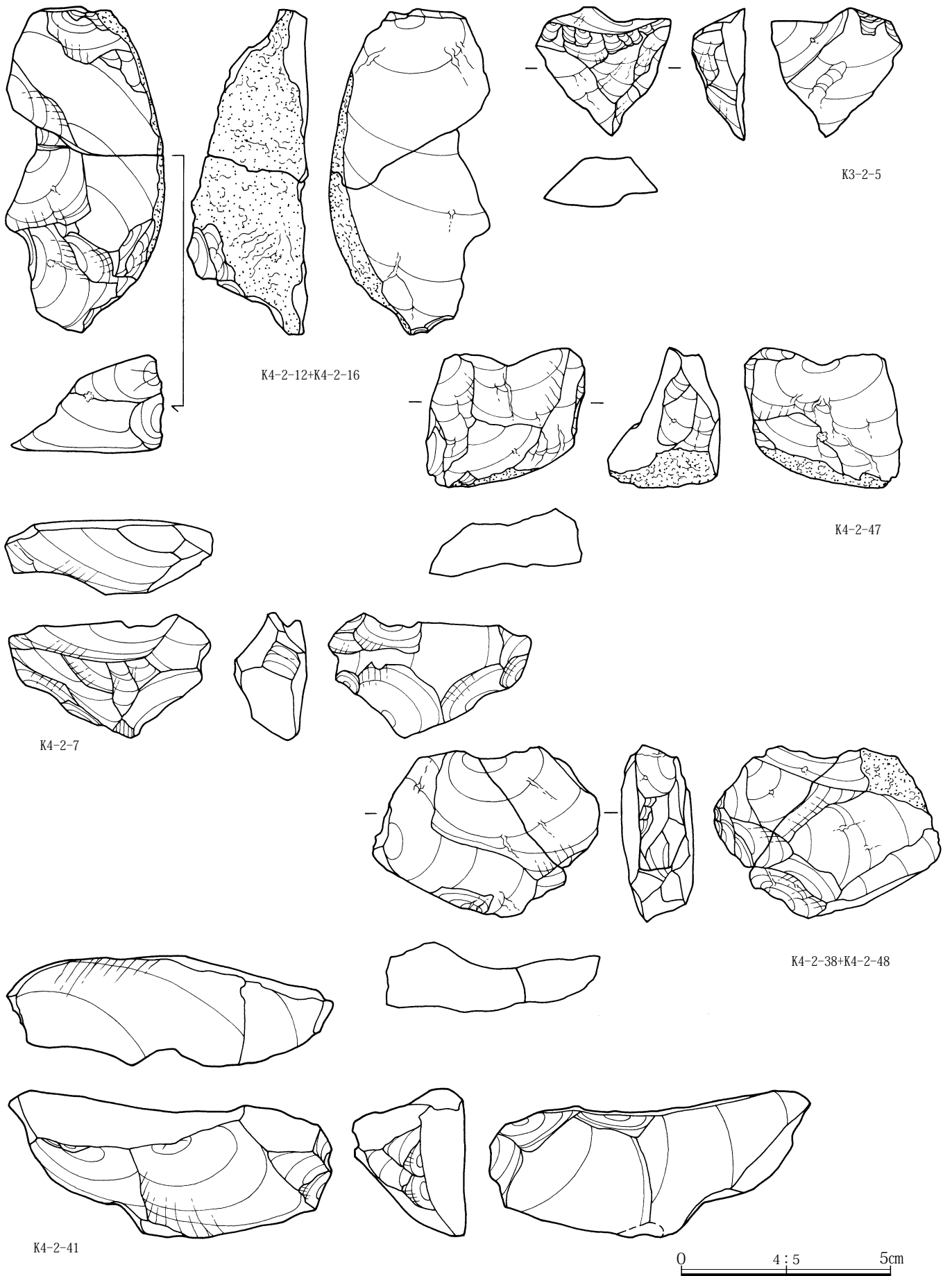
| | 削器 | 加工痕 | 石核 | 敲石 | 剥片 | 破片 | 礫 | 礫片 | 総計 |
|---------|----|-----|----|----|----|----|---|----|----|
| 黒色頁岩 | | | | | 1 | 1 | | | 2 |
| 珪質頁岩 | | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| チャート | 1 | 2 | 1 | | 15 | 2 | | | 21 |
| 珪質変質岩 | | | | | | | 1 | | 1 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 総計 | 1 | 2 | 1 | 1 | 17 | 3 | 1 | 1 | 27 |

第9表 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 拡張4区組成表

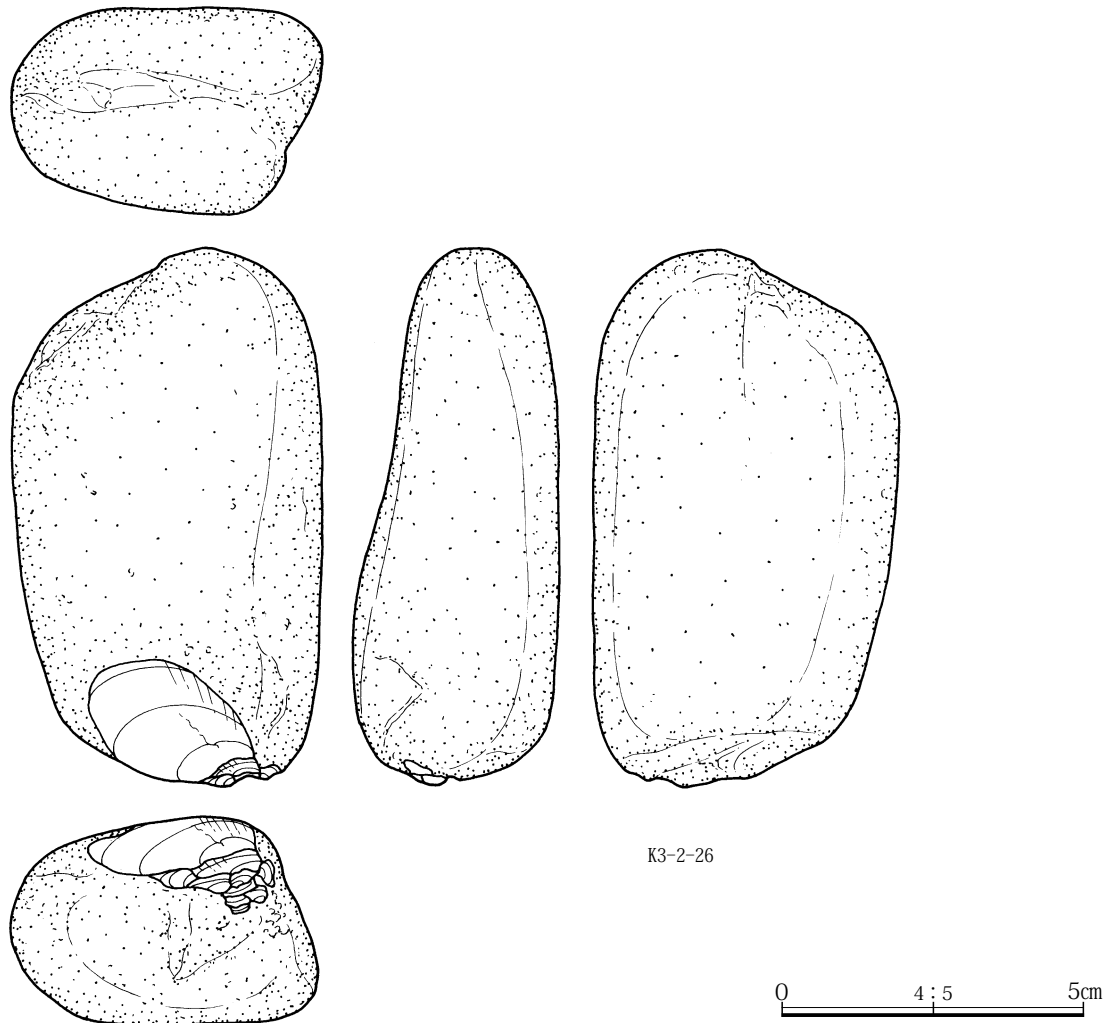
| | 加工痕 | 石刃 | 石核 | 剥片 | 破片 | 礫 | 礫類 | 総計 |
|---------|-----|----|----|----|----|---|----|----|
| 黒色安山岩 | | | 4 | 25 | 1 | | | 30 |
| 黒色頁岩 | 1 | 5 | 2 | 17 | | | | 25 |
| チャート | | 1 | | | | | | 1 |
| ホルンフェルス | | | | | | 1 | | 1 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | 1 | | 1 |
| 雲母石英片岩 | | | | | | | 2 | 2 |
| 黒色片岩 | | | | | | | 2 | 2 |
| 総計 | 1 | 6 | 6 | 42 | 1 | 2 | 4 | 62 |
| 総計 | 40 | 21 | 61 | | | | | |



第40図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 出土遺物(1)



第41図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 出土遺物(2)



第42図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 出土遺物(3)

(4)母岩別資料・接合資料(第43・44・45図、PL.15)

<拡張3区(第2地点)>

チャートの出土点数21点のうち、接合資料は2例4点である。

チャート1(第45図、PL.16)黒色部分と灰色部分からなる縞状構造がある。総点数は16点、うち接合資料は2例4点である。

チャート1-①(第45図、PL.16)剥片2点がある。K3-2-11(剥片)→K3-2-1(剥片)

チャート1-②(第45図、PL.16)剥片2点がある。K3-2-3(剥片)→K3-2-21(剥片)

チャート1(第40・41・45図、PL.14・15・16)の非接合資料は、削器1点、加工痕ある剥片1点、石核1点、剥片9点の計12点である。K3-2-4(削器)、K3-2-5(石核)、K3-2-8(剥片)、K3-2-10(加工痕ある剥片)、K3-2-12(剥片)、K3-2-17(剥片)、K3-2-18(剥片)、K3-2-22(剥片)、K3-2-23(剥片)、K3-2-25(剥片)、K3-2-28(剥片)、K3-2-29(剥片)

珪質頁岩単独(第45図、PL.16)色調は灰5/1(Hue10Y)、自然面は皺が顕著。非接合資料1点がある。K3-2-2(剥片)

<拡張4区(第1地点)>

黒色安山岩の出土点数30点のうち接合資料は2例21点である。

黒色安山岩1(第43図、PL.16)原石面が1/8程残る、直径約10cmの円礫と推定される。出土点数17点のうち、接合資料は1例16点である。

黒色安山岩 1 - ①(第43図、PL.16)石核 2点と剥片14点の計16点がある。K4-2-29(剥片)→K4-2-26(剥片)→K4-2-36(剥片)→K4-2-42(剥片)→K4-2-38(石核)+K4-2-48(剥片)→K4-2-43(剥片)+K4-2-30(剥片)→K4-2-44(剥片)→K4-2-25(剥片)+K4-2-31(剥片)→K4-2-33(剥片)→K4-2-28(剥片)→K4-2-49(剥片)→K4-2-51(剥片)→K4-2-47(石核)
黒色安山岩 1 の非接合資料は剥片 1 点がある。K4-2-22(剥片)

黒色安山岩 2 (第43・44図、PL.16)残る原石面から推定される規模は、直径約10cmの円礫である。総点数は 6 点で、うち接合資料は 1 例 5 点である。

黒色安山岩 2 - ①(第43図、PL.16)石核 1 点、剥片 4 点の計 5 点がある。K4-2-14(剥片)→K4-2-18(剥片)+K4-2-13(剥片)→K4-2-16(剥片)+K4-2-12(石核)

黒色安山岩 2 (第44図、PL.16)の非接合資料は剥片 1 点がある。K4-2-53(剥片)

黒色安山岩 3 (第44図、PL.16)接合資料は無い。非接合資料 3 点がある。K4-2-1a(剥片)、K4-2-21(剥片)、K4-2-24(剥片)

黒色安山岩単独の母岩は剥片 1 点がある。K4-2-16

黒色安山岩の分類不能は 4 点がある。K4-2-1b(剥片)、K4-2-40(剥片)、K4-2-46(碎片)、K4-2-65(剥片)

黒色頁岩の出土点数25点のうち、接合資料は 2 例 4 点がある。

黒色頁岩 1 (第44図、PL.16)風化が激しく剥離面の一部が剥げ落ちて、リング・フィッシャーが分かり難い。出土点数 10 点のうち、接合資料は 1 例 2 点である。

黒色頁岩 1 - ①(第44図、PL.16)剥片と石核の計 2 点の接合資料である。K4-2-8(剥片)→K4-2-7(石核)

黒色頁岩 1 (40・41、PL.14・15)の非接合資料は、石刃 3 点、石核 1 点、剥片 4 点の計 8 点がある。K4-2-5(石刃)、K4-2-6(剥片)、K4-2-37(剥片)、K4-2-41(石核)、K4-2-45(剥片)、K4-2-55(石刃)、K4-2-58(石刃)、K4-2-60(剥片)

黒色頁岩 2 - ①(第40図、PL.15)剥片の折断資料である。K4-2-15(剥片)+K4-2-11(剥片)

黒色頁岩 3 - ①(第44図、PL.16)大形の剥片の折断資料である。K4-2-17(剥片)+K4-2-19(剥片)

黒色頁岩 4 (第44図、PL.16)非接合資料は剥片 2 点がある。K4-2-57(剥片)、K4-2-61(剥片)

黒色頁岩 5 (第44図、PL.16)原石面は爪状が顕著で、珪化が強い。非接合資料として剥片 2 点がある。K4-2-3(剥片)、K4-2-9(剥片)

黒色頁岩単独(第40・44図、PL.14・16)の母岩は、加工痕ある剥片 1 点、剥片 3 点の計 4 点がある。K4-2-20(剥片)、K4-2-34(加工痕ある剥片)、K4-2-35(剥片)、K4-2-56(剥片)

黒色頁岩には分類不能とした剥片 3 点がある。K4-2-23(剥片)、K4-2-32(剥片)、K4-2-59(剥片)

(5)剥片剥離技術

黒色安山岩 1 - ①にみられるような、大形の原石の一端を打ち欠いて打面を作り出し、主に縦長の剥片を剥離する手法は群馬 I 期から II 期にかけて多い剥片剥離技術である。さらに、打面の再生や剥離面への打面の90° 転位もよく用いられている。こうした点からも、群馬 II 期相当と考えられる。

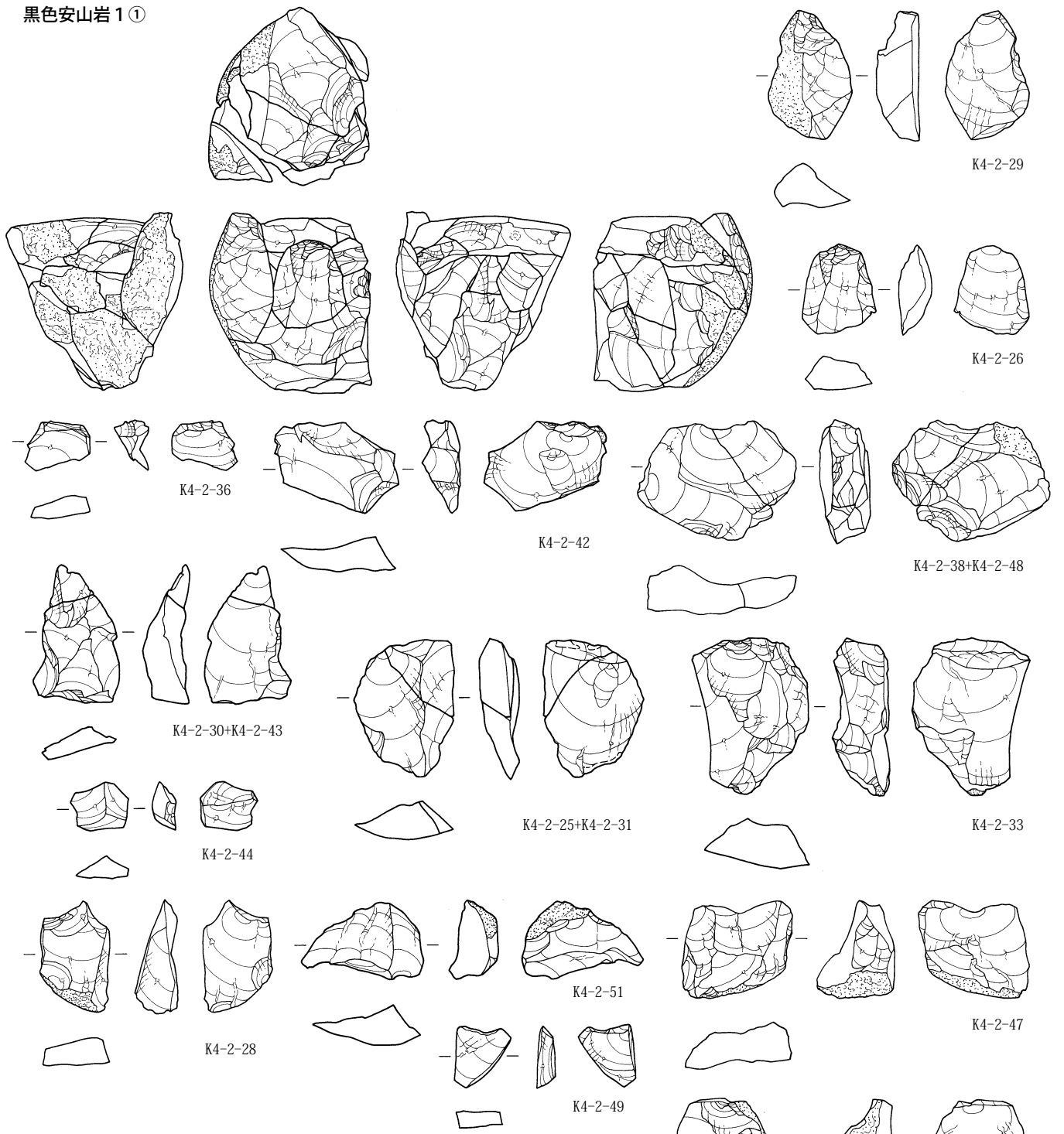
(6)分布状況(第31・46・216図)

上泉新田塚遺跡群では、トレンチで遺物の存在が確認された地点を順次拡張し、拡張 1 区、拡張 2 区・第 3 地点、拡張 3 区・第 2 地点、拡張 4 区・第 1 地点と呼称した。また、第 1 地点には 1 号ブロックから 6 号ブロックまでの 6 ケ所のブロック、第 2 地点は 7 号ブロックから 9 号ブロックまでの 3 ケ所のブロック、第 3 地点は 10 号ブロックに分離された。この中で特徴的なのは、2 号ブロックと 3 号ブロックであり、石刃と石核が集中しており、接合関係から見ても石器製作址と考えられる。

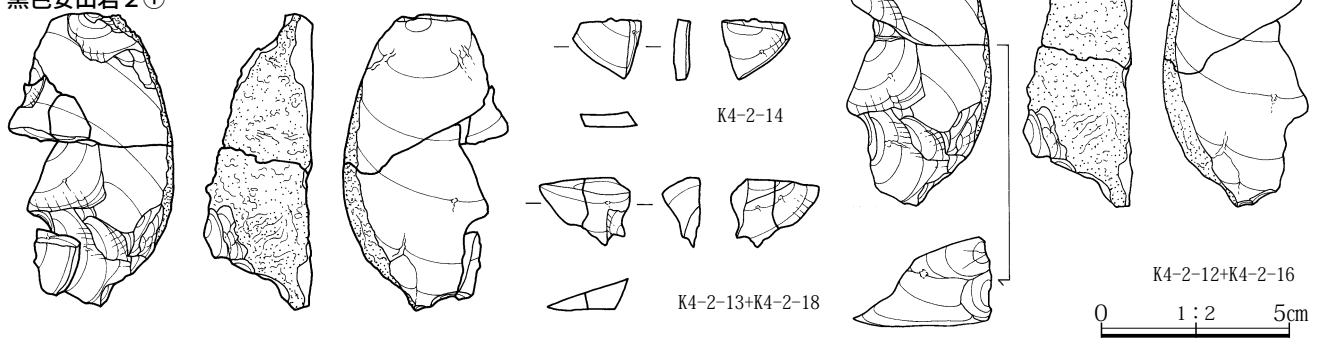
(7)石器の分布(第47・48図)

主要な石器の分布をみると、利器はほとんどなく、前記した接合資料の石刃と石核が多いこと、それに、石器製作に関係する台石が北側の分布のほぼ中心に位置することからも、石器製作の場を示している。

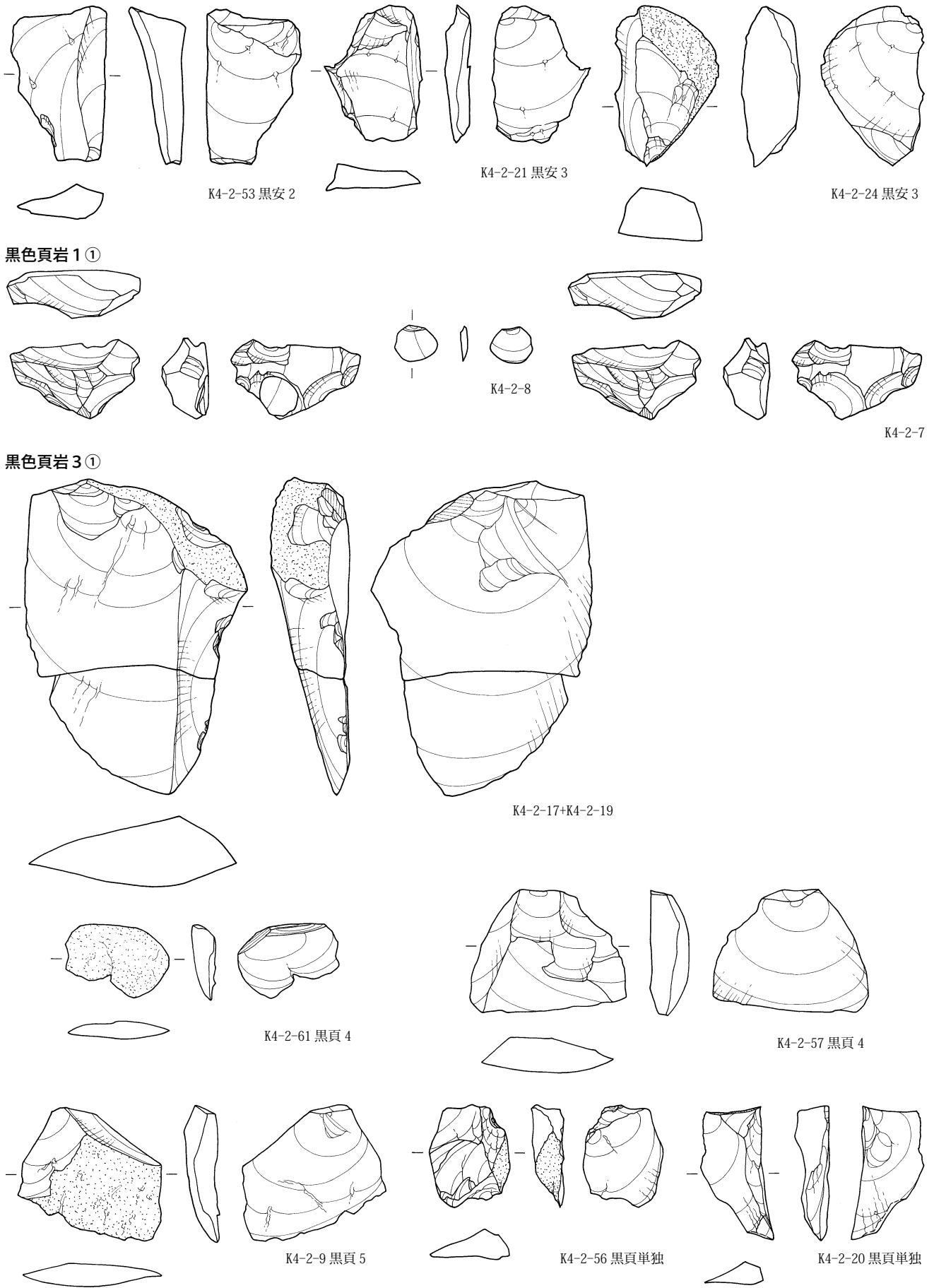
黑色安山岩 1①



黑色安山岩 2①



第43図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 母岩別資料・接合資料(1)



第44図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 母岩別資料・接合資料(2)

0 1:2 5cm

チャート1①

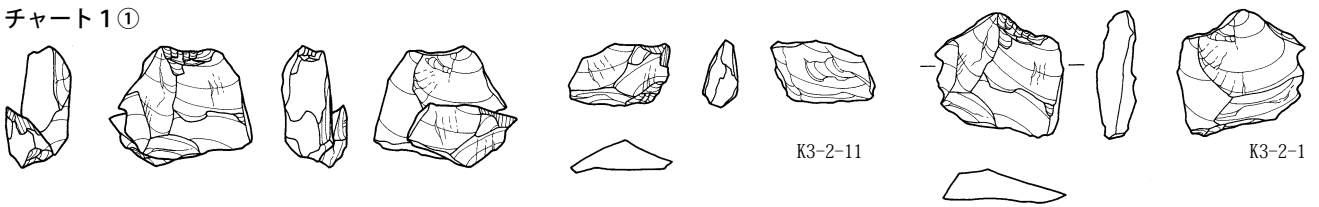
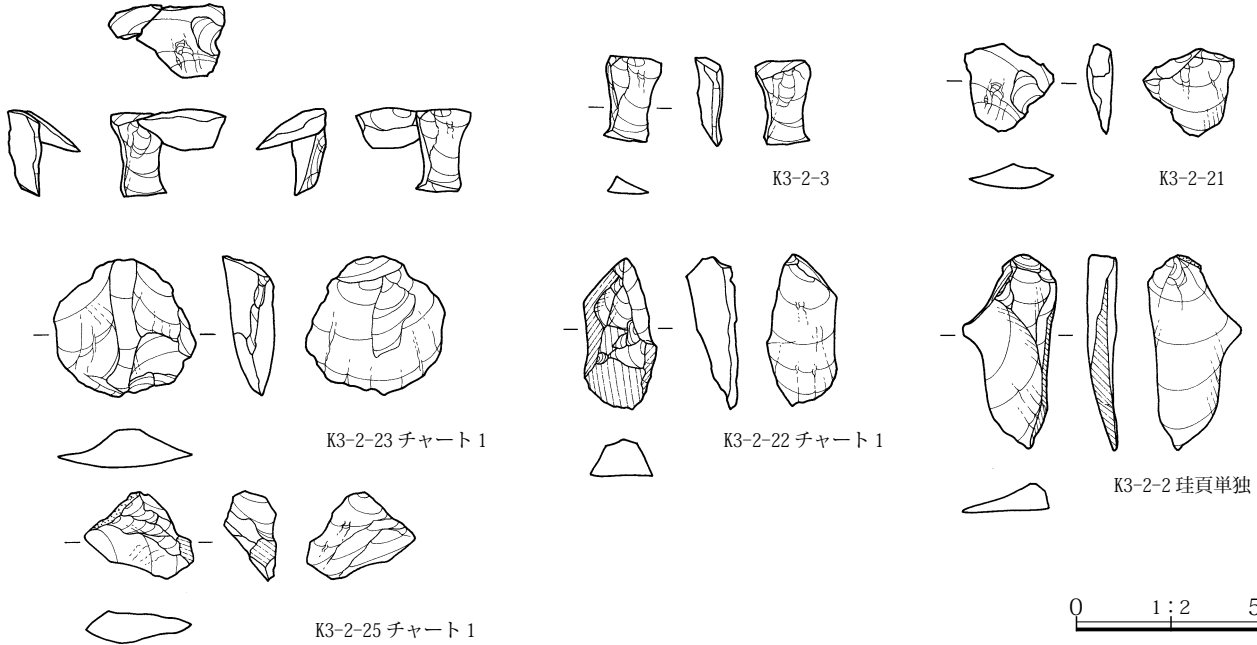


チャート1②



第45図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 母岩別資料・接合資料(3)

(8) 石材の分布(第47・49図)

黒色安山岩と黒色頁岩がほぼ主体を占める。また、拡張4区から雲母石英片岩2点と黒色片岩2点が出土したが、石器としなかった。

(9) 接合資料の分布(第50・51図)

最も注目すべきは、拡張4区の2号ブロックと3号ブロックで、黒色安山岩の接合資料がほとんどこの2ヶ所に集中している。それに対して、拡張3区にはチャートの接合資料が僅かに存在するだけである。

6 その他(第52図、PL.71)

第1・2・3文化層に含まれる石器以外で、主に出土層位や座標値が把握されていない資料がある。珪質頁岩(非実測)の剥片が1点 78-G-1、珪質頁岩(非実測)の碎片が1点 78-G-2が出土している。

この他に、結晶片岩類が数点出土しているが、すべて自然石である。

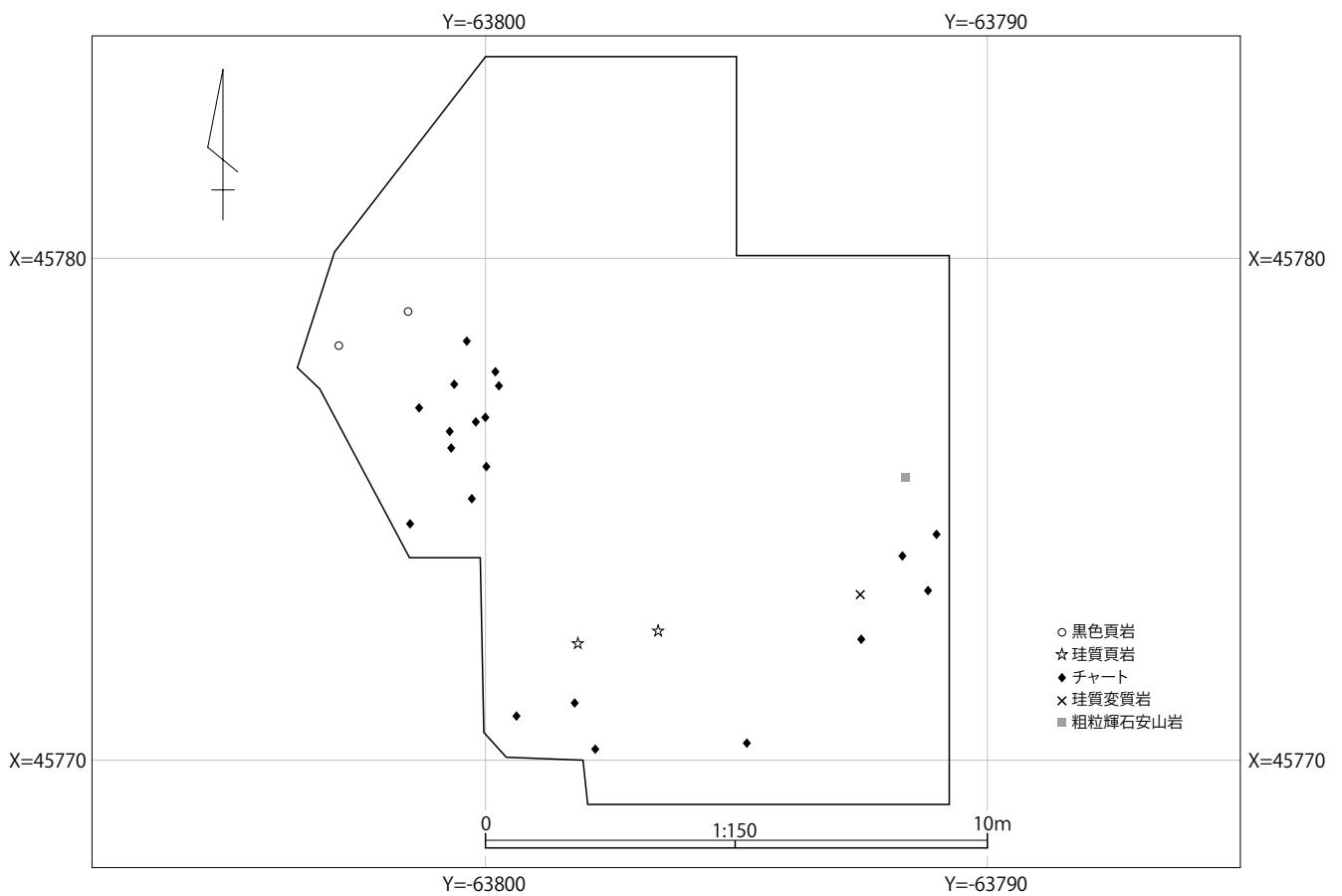
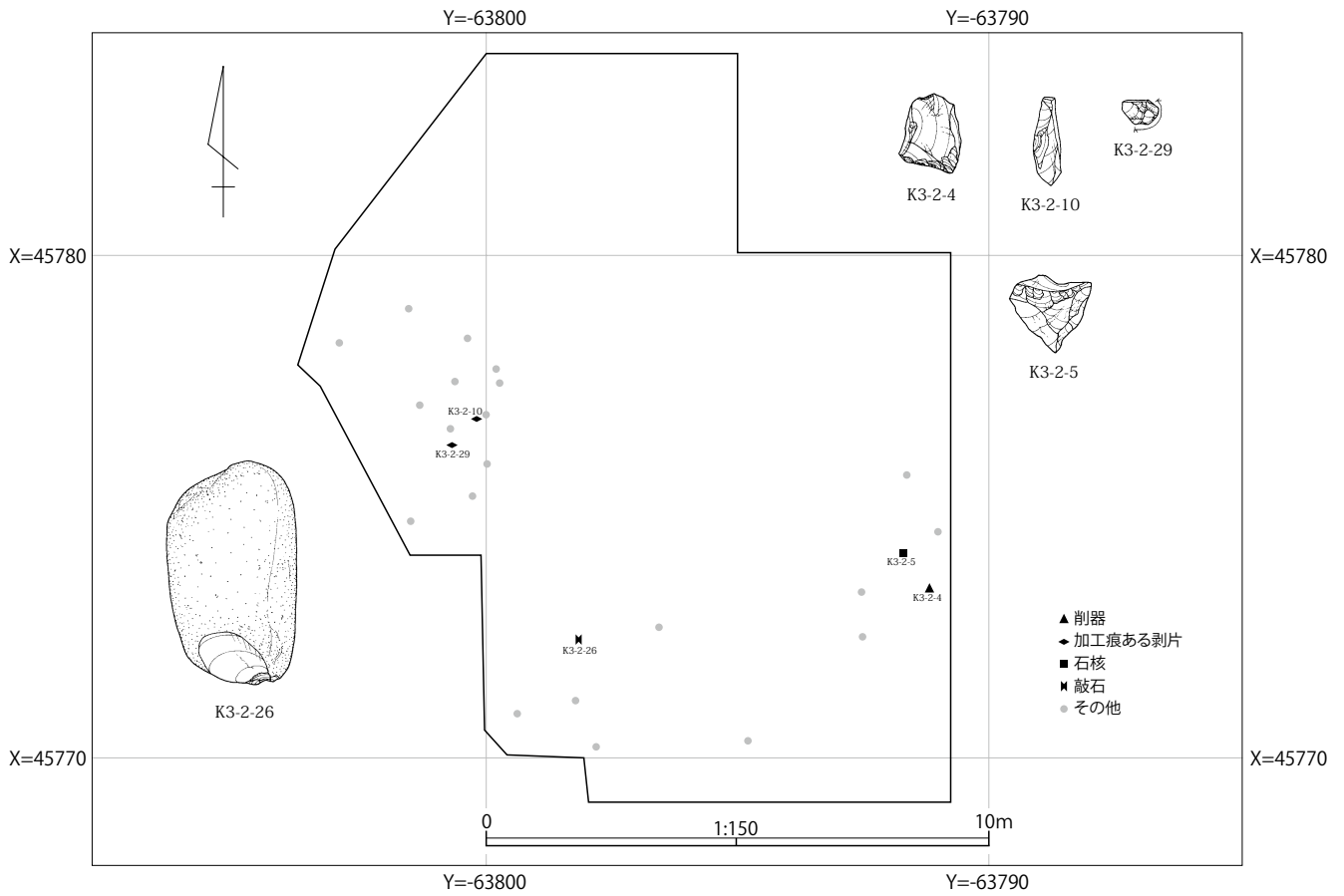
第2文化層 黒色片岩1点が拡張4区(K4-3)から出土している。

第3文化層 雲母石英片岩2点 K4-2-52、K4-2-64、黒色片岩2点 K4-2-10、K4-2-50が拡張4区から出土している。

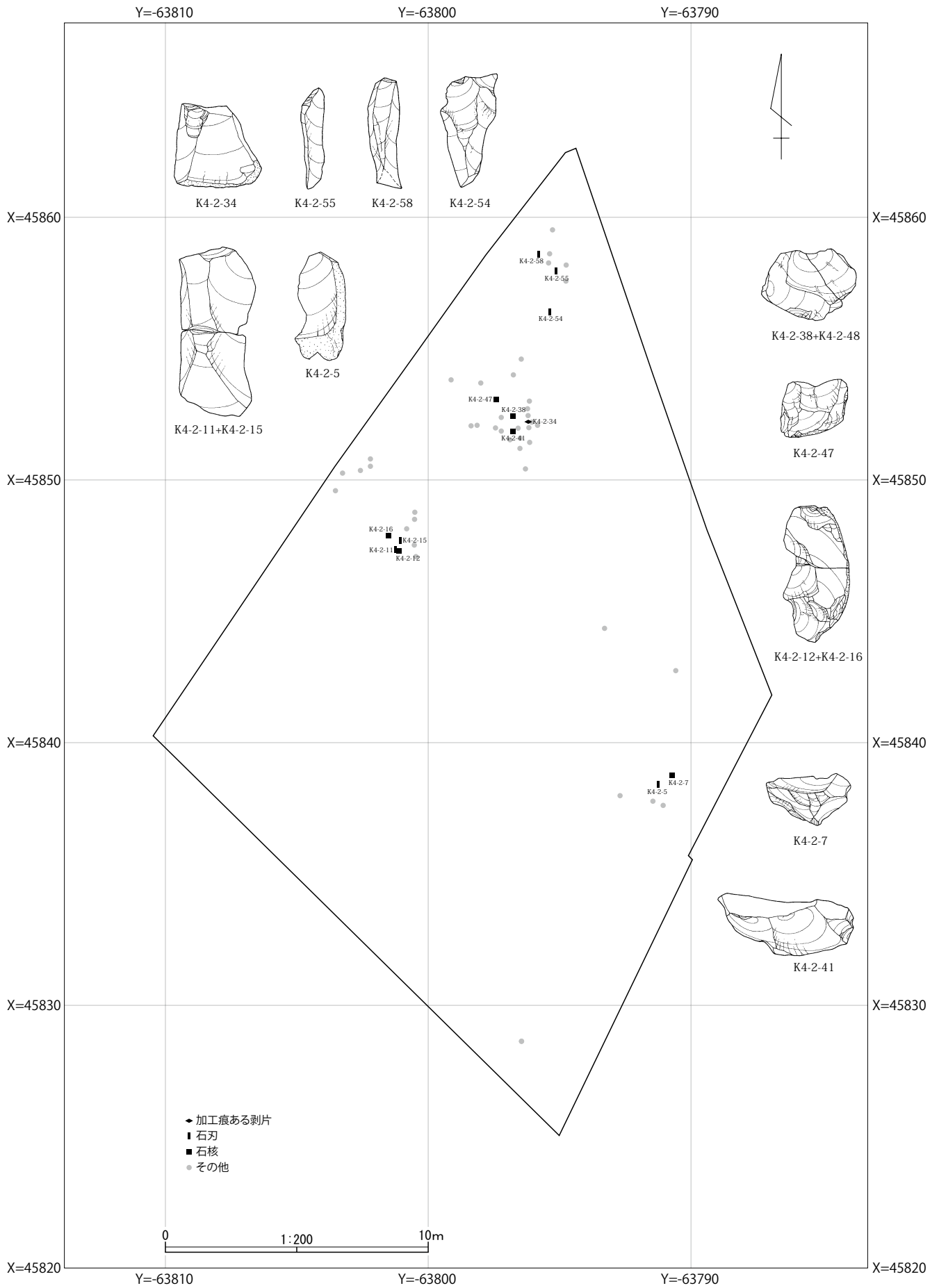
第3章 各遺跡の遺構・遺物



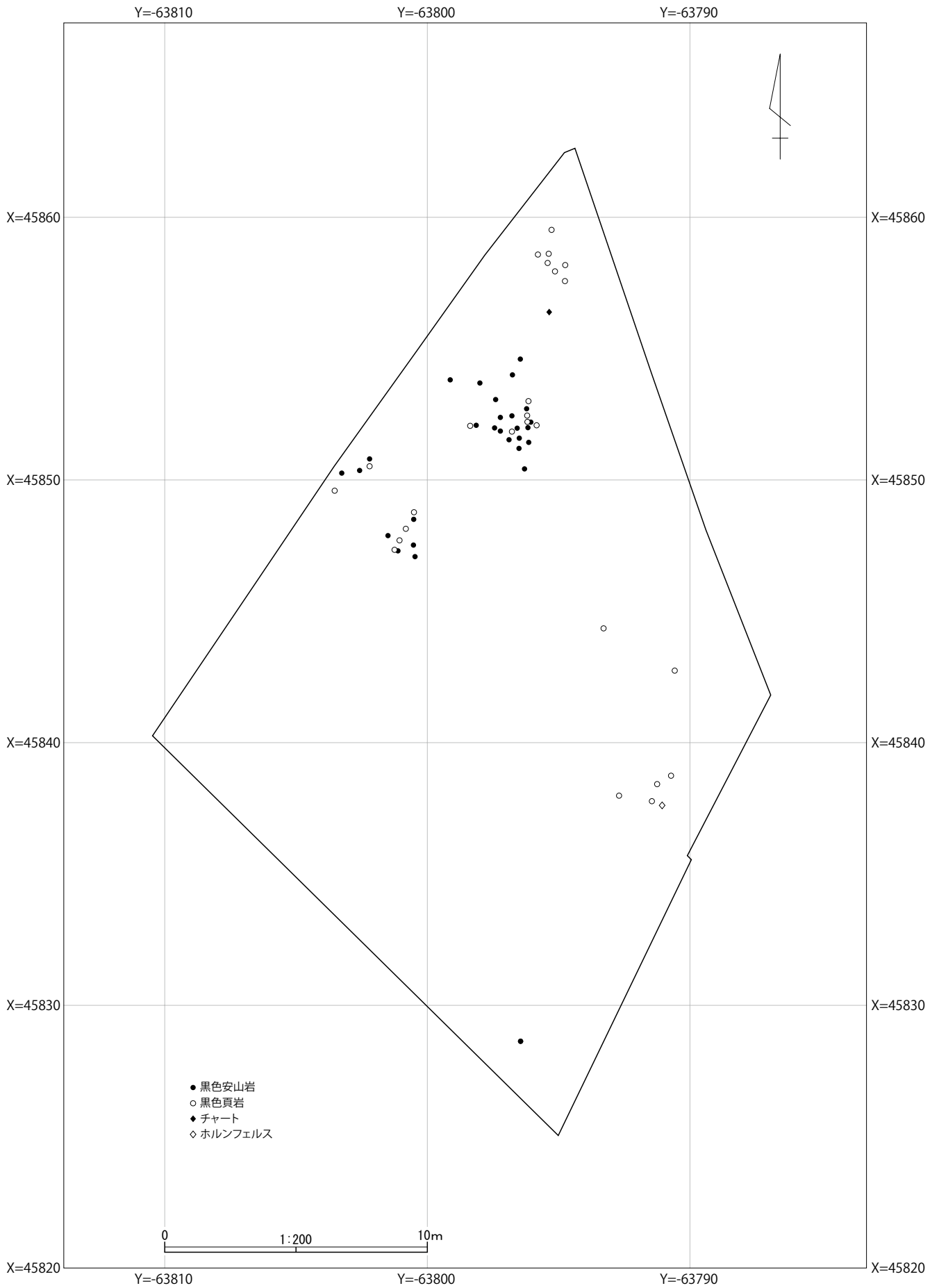
第46図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層 石器分布・垂直分布状況



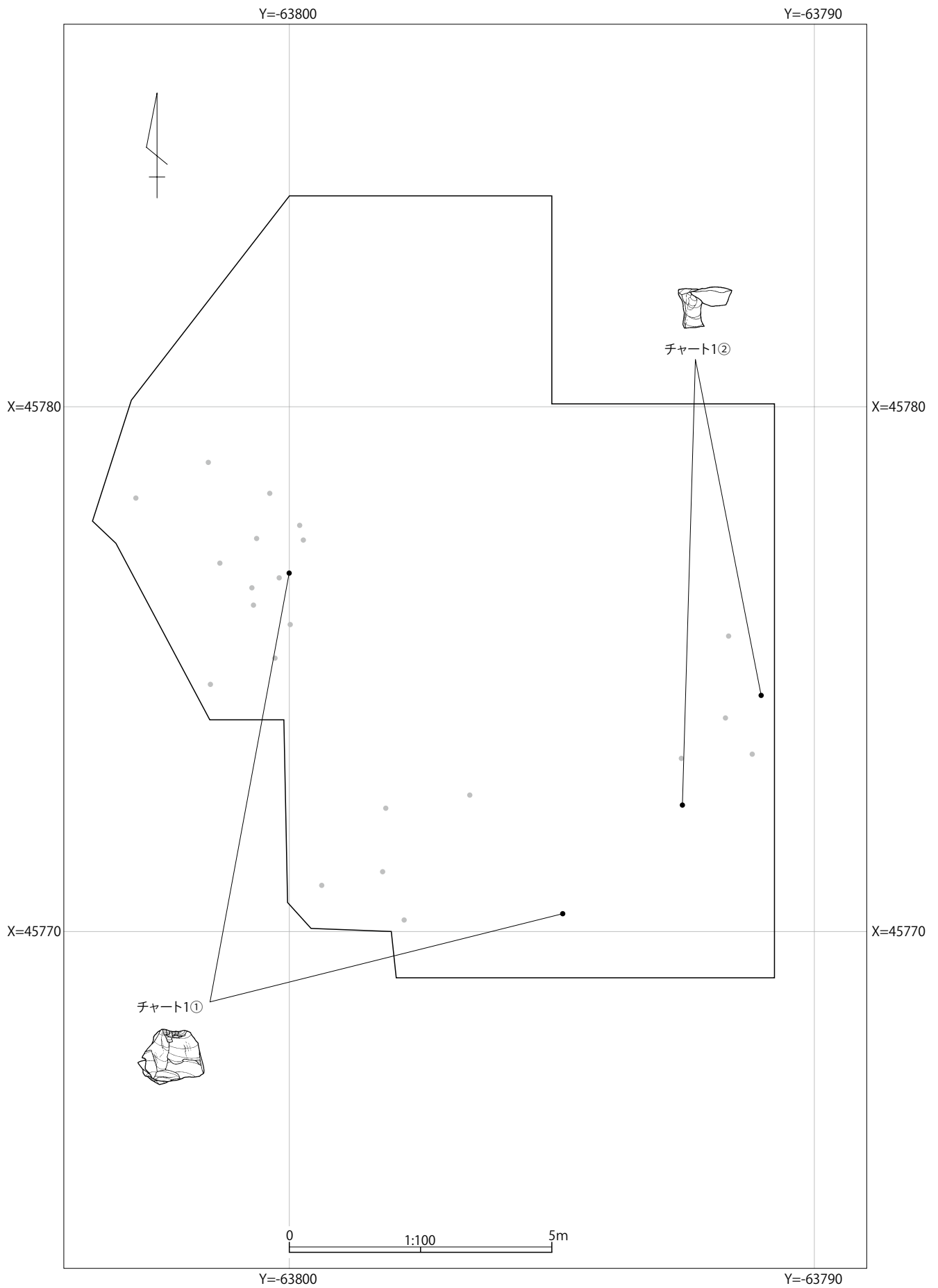
第47図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層拡張3区 器種別分布・石材別分布状況



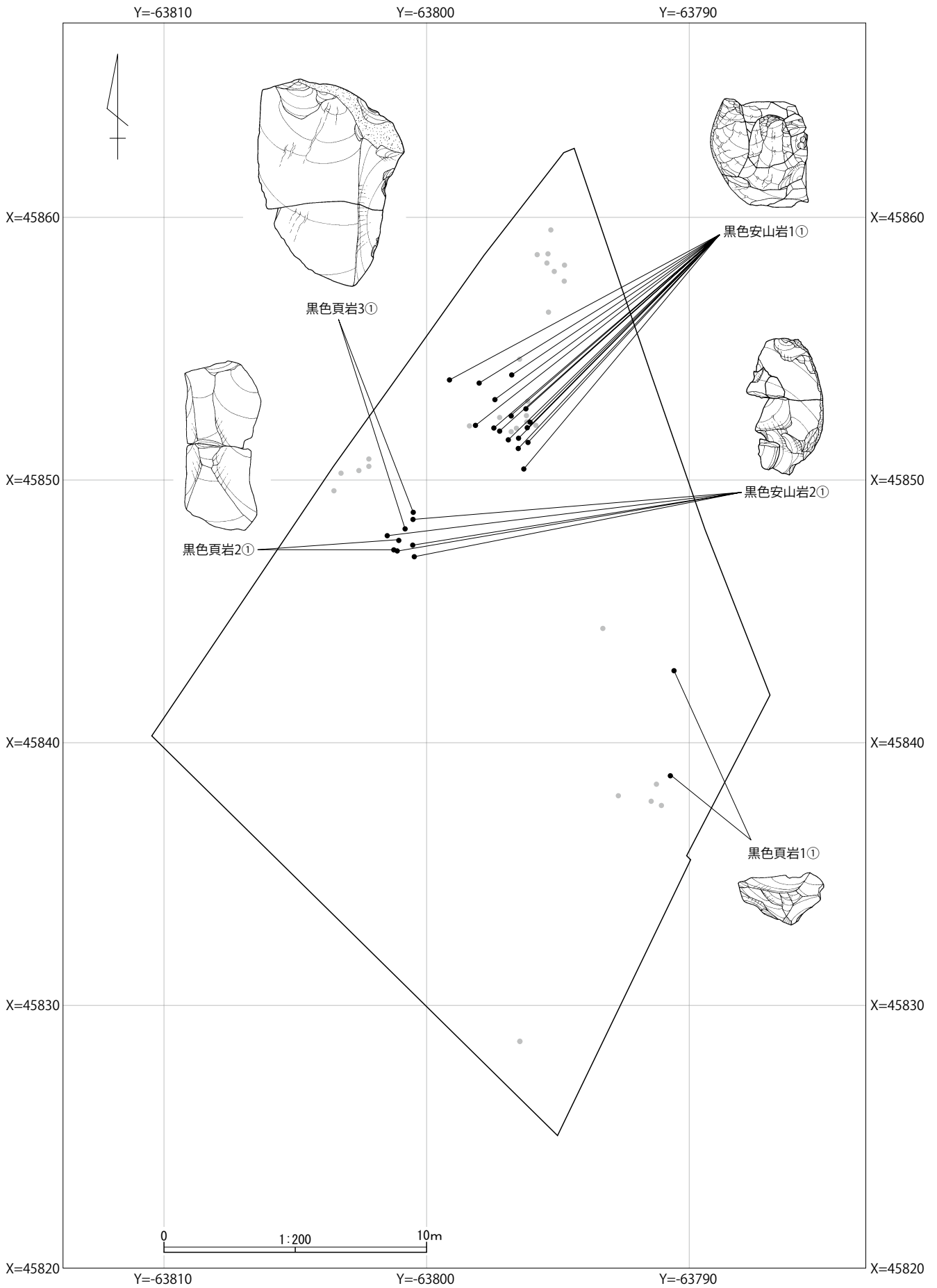
第48図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層拡張4区 器種別分布状況



第49図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層拡張4区 石材別分布状況

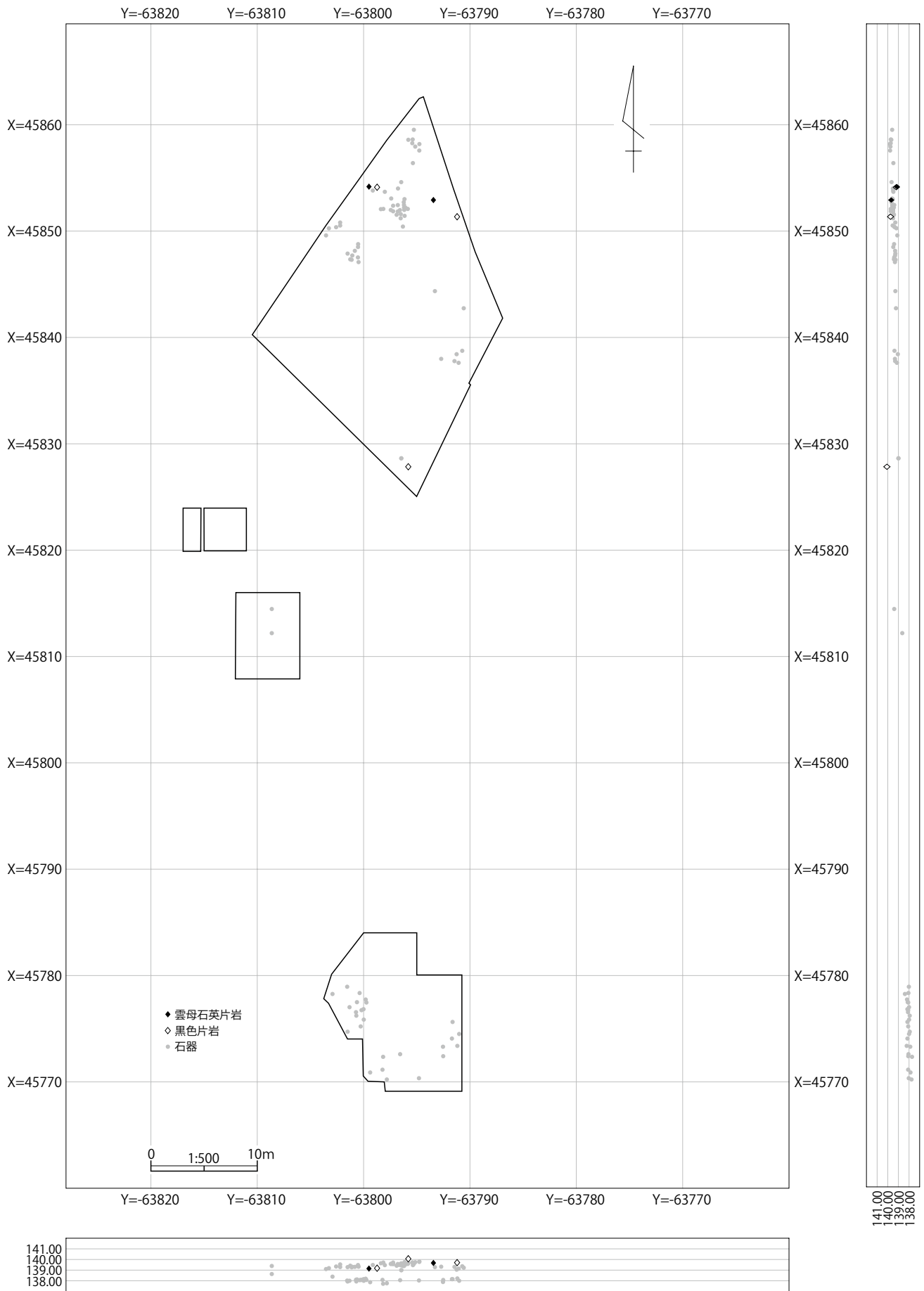


第50図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層拡張3区 接合資料の分布状況



第51図 上泉新田塚遺跡群 第3文化層拡張4区 接合資料の分布状況

第3章 各遺跡の遺構・遺物



第52図 上泉新田塚遺跡群 結晶片岩の分布状況

第3節 上泉武田遺跡

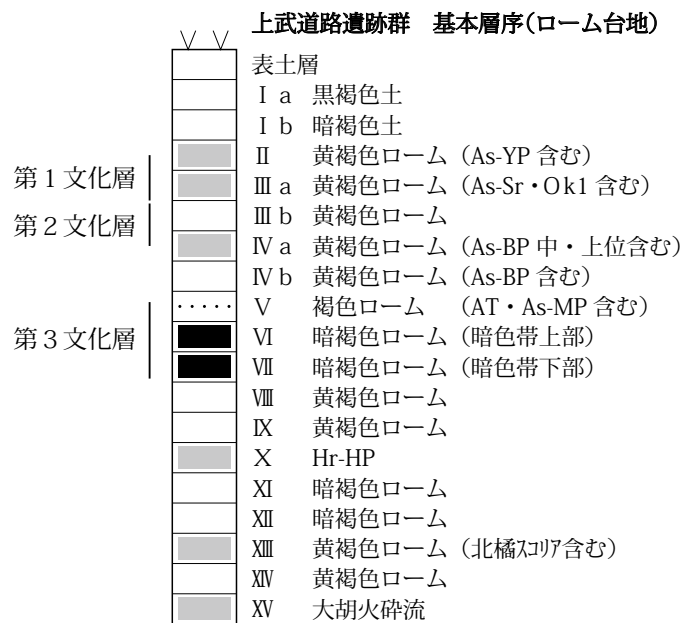
1 遺跡の概要

上泉武田遺跡(JK54)は赤城山南麓に広がる火山性扇状地上にあり、荻窪川右岸に立地する。本遺跡出土の石器群は荻窪川を臨む台地東側に分布した。石器群が出土した地点は南東方向に傾斜(第54図)する緩斜面にあり、荻窪川が流れる低地から入り込んだ支谷が石器分布域の北側に入り込んでいる。台地縁辺は荻窪川により深く浸食され、比高差は約10mを測る。

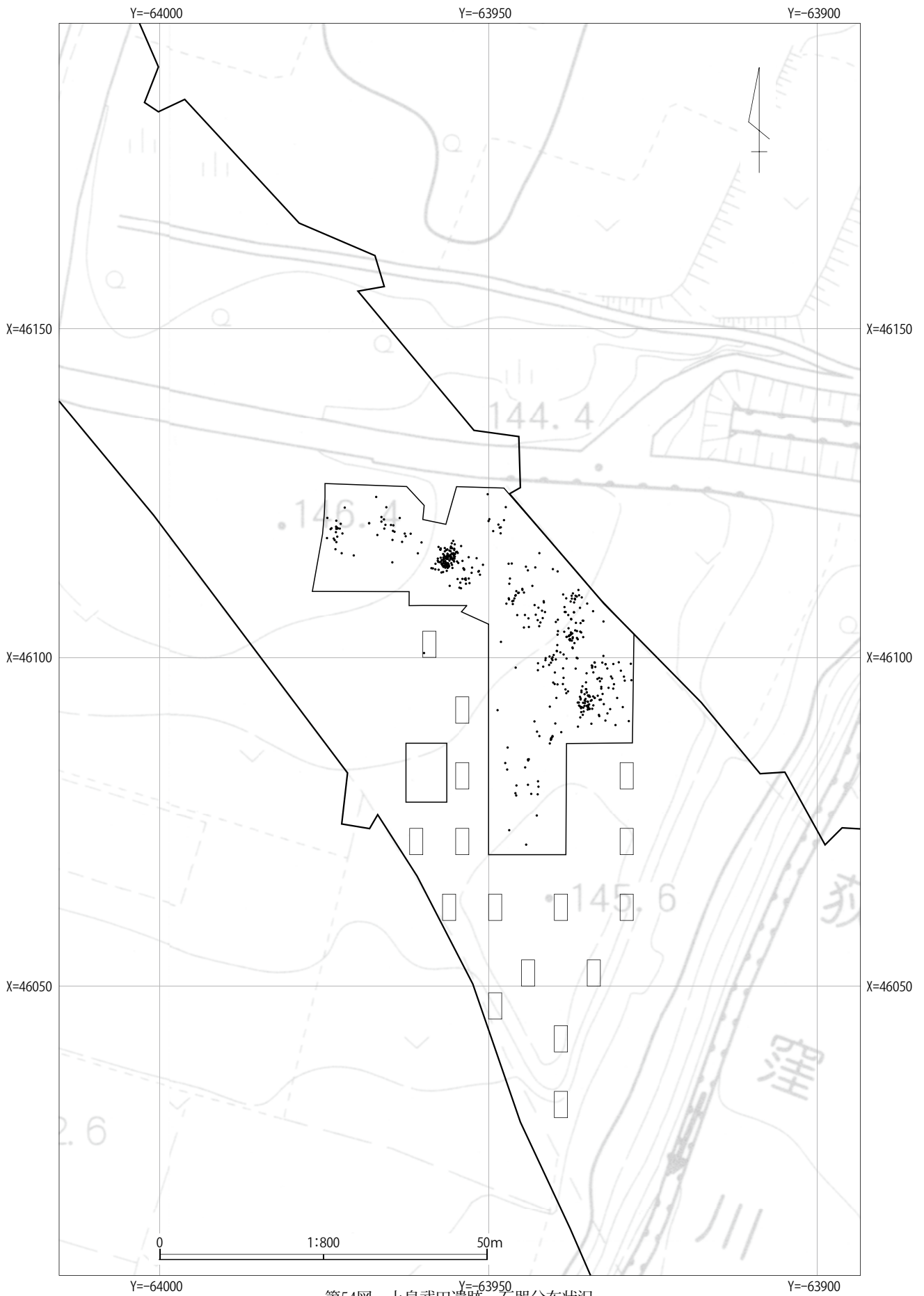
2 調査の経過

平成19年度の調査は台地東側Ⅰ区から開始されている。この地点は暗色帯上面まで削平されており、遺構精査の段階で旧石器遺跡の存在が判明したため、当初から石器の出土層位について注意が払われていた。削平地点において暗色帯中に石器が出土していたが、周辺域に調査を進めたところ、石器がⅣ層(As-BPをブロック状に含む)中からも出土することが明らかとなった。これにより文化層が上下2層に分離されることが予想されたため、上層から出土する石器群を第Ⅰ文化層として、下層から出土する石器群を第Ⅱ文化層として石器を取り上げた。

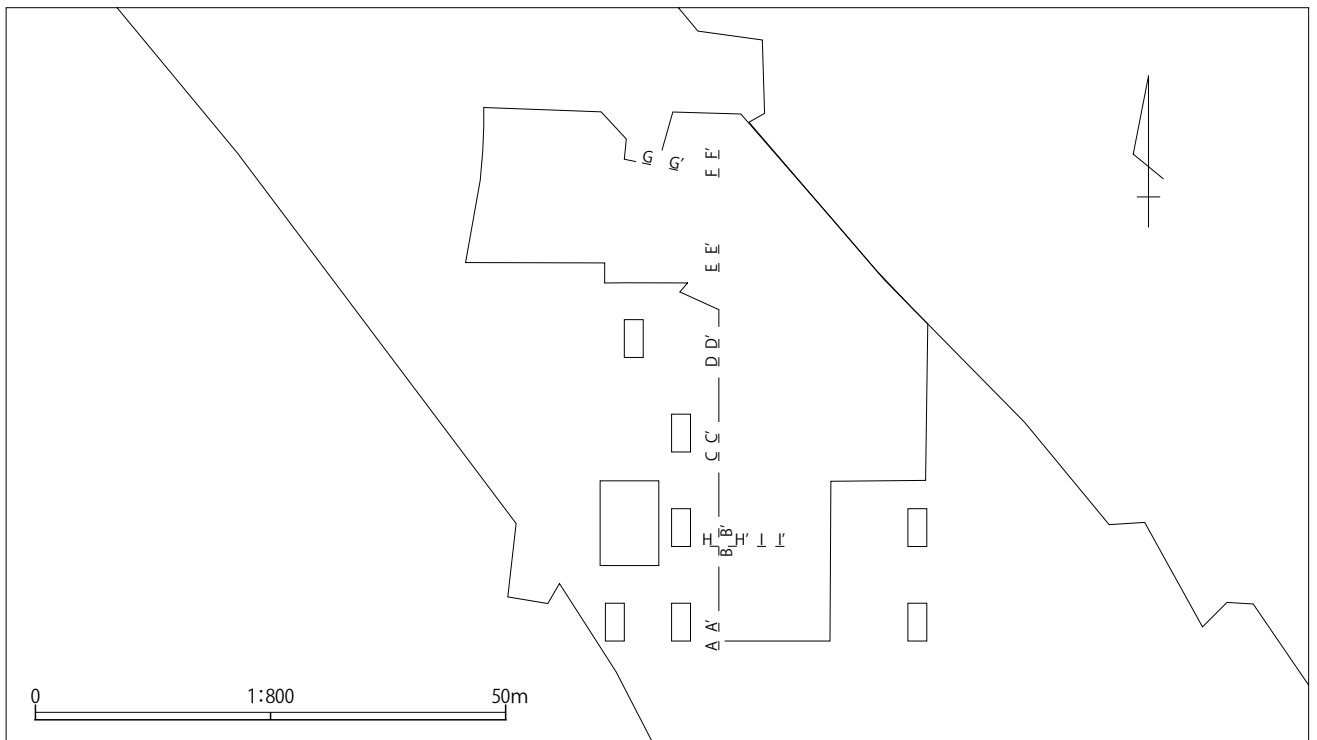
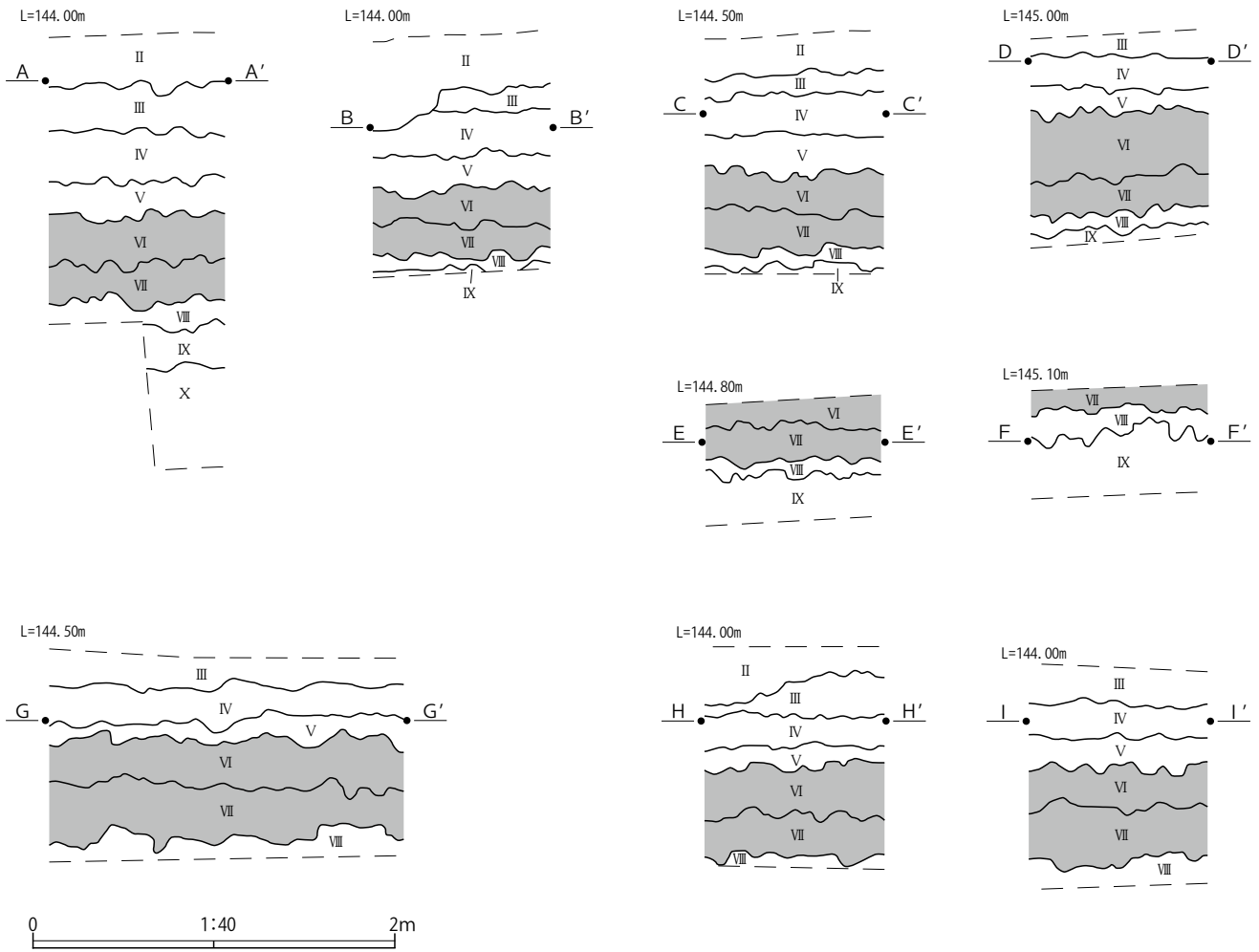
石器群のある台地は火山麓扇状地特有の丘陵性台地となっており、丘陵の両端に河川が流れ、南北方向の浸食谷を形成しているが、石器群が分布した地点の地形を微視的にみると、南東方向から遺跡北に入り込んだ谷の台地縁辺に石器群が分布したものと判断された。調査中、台地地形を明らかにするため、座標軸に合せて柱状図を作成していたが、先にも述べたとおり、文化層が二分される可能性が想定されたので、調査区南で検出された配石の北側(X=46090)にトレンチを設定し掘り下げたところ、調査区東端で榛名八崎軽石が浸食され、その上位に暗色帯が堆積することが明らかになった。旧石器調査が終了した時点で重機により掘削、暗色帯の傾斜方向とは逆に、榛名八崎軽石が西側に向かい傾斜堆積することが明らかになった。Ⅰ区旧石器調査は平成19年8月をもって終了した。市道東のⅡ区についてはその東側で石器が出土、その出土層位が暗色帯より上位であることが確認された。市道西については谷頭の臨んだ台地の西側斜面に当たり、旧石器時代の石器群が存在する可能性が大とされていたが、試掘調査の結果、石器群を確認することはできなかった。



第53図 上泉武田遺跡の文化層



第3節 上泉武田遺跡



第55図 上泉武田遺跡 土層堆積狀況

3 第1文化層

(1) 出土層位

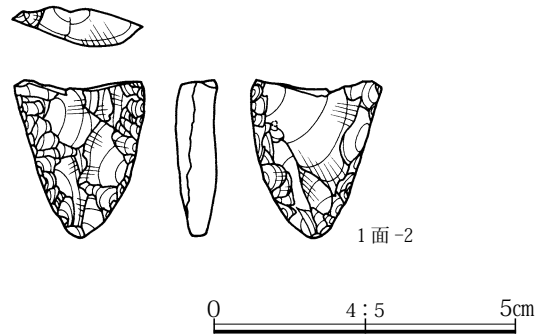
I区の1面から出土したが、本来の位置ではないので表採といえる。本来はⅢ層と考えられる。

(2) 検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3) 出土遺物

第1文化層の石器は、I区の1面から出土した槍先形尖頭器1点のみであり、個体の先端部側をほぼ半分欠損している(第56図、1面-2、PL.20)。表採資料であり、本来的な出土地点等は不明だが、槍先形尖頭器の形態的特徴から、石器の文化段階としては基本土層のⅢ層に帰属すると考えられ、群馬編年のIV期後半に位置付けることができる。石材は黒味が強い質の良い黒曜石であり、肉眼観察では信州と考えられたが、原産地分析の結果は産地不明と同定された(第5章第3節参照)。



第56図 上泉武田遺跡 第1文化層 出土遺物

第10表 上泉武田遺跡 第1文化層 組成表

| | 槍先形尖頭器 | 総計 |
|-----|--------|----|
| 黒曜石 | 1 | 1 |
| 総計 | 1 | 1 |

4 第2文化層

(1) 出土層位

基本土層のⅢ層下部からIV層上部にかけて出土した。テフラとの関係では浅間板鼻黄色軽石(As-YP、約13,000年前)より下位で、浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)までの間である。

(2) 検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3) 出土遺物

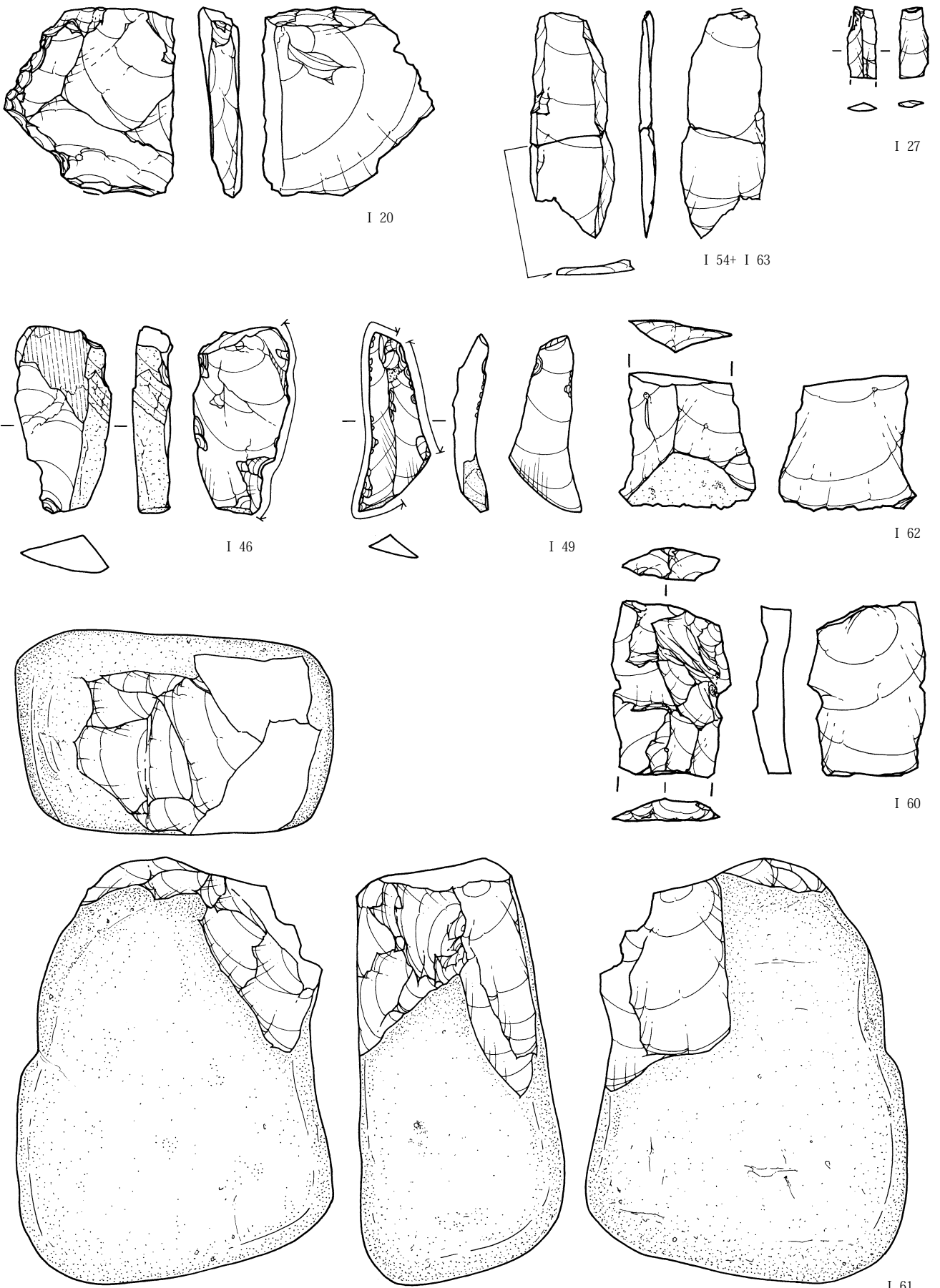
出土遺物の総点数は37点で、内訳は石器9点(24.3%)、剥片17点(46.0%)、碎片6点(16.2%)、礫・礫片5点(13.5%)である。石器の器種は、削器1点(3.1%)、石刃7点(21.9%)、石核1点(3.1%)、剥片17点(53.1%)、碎片6点(18.8%)である。石器の石材は黒色安山岩25点(78.1%)、黒色頁岩4点(12.5%)、黒曜石2点(6.3%)、チャート1点(3.1%)である。礫・礫片では、粗粒輝石安山岩3点(60.0%)、黒色頁岩1点(20.0%)、溶結凝灰岩1点(20.0%)である(第11表参照)。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

削器(第57図、I 20、PL.20) 1点が出土している。ほぼ中央で折断された大形の横長の剥片を素材とし、残る一縁に加工を加えている。石材は黒色安山岩である。

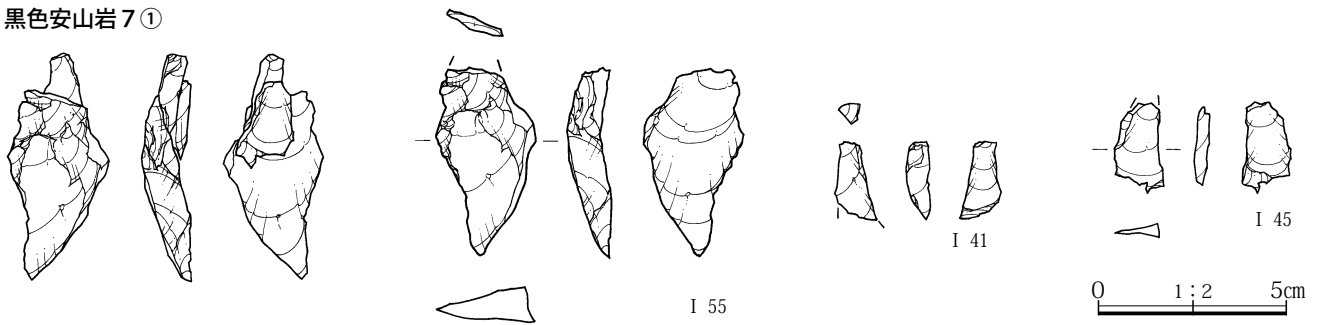
石刃(第57図、I 27・I 46・I 49・I 54・I 60・I 62・I 63、PL.20) 7点が出土している。I 54+I 63は小さい打点をもつ薄手の折断剥片同士で、先端部を欠損している。石材は黒色安山岩である。I 27は頭部と先端部を欠損する中間部のみで、幅はとても狭く、まるで細石刃の様である。石材は黒色頁岩である。I 46は表面の大部分に原石面が残り、180°の打面転位による剥離面が1面残されている。石材はチャートである。I 49は小さな打面で、先端部に原石面が残り、両側縁に細かな使用痕が多数認められる。石材は黒曜石である。I 62は幅広で先端部に原石面が残る。折断で頭部側を欠損している。石材は黒色安山岩である。I 60は幅広で、折断で先端部側を失っている。石材は黒色安山岩である。

石核(第57図、I 61、PL.20) 1点が出土している。垂角礫の一端を数回打ち欠いて剥片を剥離し、その剥離作業面を打面として90°転位をして2枚程縦長剥片を剥離し、さらにその剥離作業面を打面として90°転位をして2～3枚の剥片を剥離している。いずれの剥片も原石面を打面や表面に残していることが多い。石材は黒色頁岩である。



第57図 上泉武田遺跡 第2文化層 出土遺物

黒色安山岩7①



第58図 上泉武田遺跡 第2文化層 母岩別資料・接合資料

第11表 上泉武田遺跡 第2文化層 組成表

| | 削器 | 石刃 | 石核 | 剥片 | 碎片 | 礫 | 礫片 | 総計 |
|---------|----|----|----|----|----|---|----|----|
| 黒色安山岩 | 1 | 4 | | 15 | 5 | | | 25 |
| 黒色頁岩 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 5 |
| 黒曜石 | | 1 | | 1 | | | | 2 |
| チャート | | 1 | | | | | | 1 |
| 溶結凝灰岩 | | | | | | 1 | | 1 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | | 3 | 3 |
| 総計 | 1 | 7 | 1 | 17 | 6 | 1 | 4 | 37 |

(4)母岩別資料・接合資料(第57・58図、PL.20)

黒色安山岩は総数25点が出土しており、そのうちの接合資料は2例5点である。

黒色安山岩7(第58図、PL.20)風化が激しく、リング・フィッシャーなど剥片剥離が見づらく、自然面もトロトロしている。点数5点のうち、接合資料は1例3点である。

黒色安山岩7-①(第58図、PL.20)同一打面から連続して剥離された剥片3点の接合資料である。I 55とI45の打面部分は、剥離の打撃の際の衝撃で欠損している。 I 55(剥片)→I 41(剥片)→I 45(剥片)

黒色安山岩7(第57図、PL.20)非接合資料として石刃2点がある。I 60(石刃)、I 62(石刃)

黒色安山岩8-①(第57図、PL.20)石刃の折断資料である。I 54(石刃)+I 63(石刃)

黒色安山岩には単独母岩として非接合資料4点(第57図、PL.20)がある。I 18(剥片)、I 20(削器)、I 29(剥片)、I 38(剥片)

黒色安山岩には分類不能な剥片9点、碎片5点の計14点がある。

黒色頁岩には単独母岩として非接合資料5点(第57図、PL.20)がある。I 7(剥片)、I 17(碎片)、I 26(剥片)、I 27(石刃)、I 61(石核)

黒曜石には同一母岩と見られる石刃(第57図、PL.20)と剥片がある。I 49(石刃)、I 51(剥片)

チャート(第57図、PL.20)単独の非接合資料として石刃1点がある。I 46(石刃)

(5)剥片剥離技術

数少ない接合資料や石核などの様子から、石刃や縦長剥片を主として剥離し、180°打面転位の両設打面が認められる。出土層位との関係からも、群馬編年のIV期前半と推定される。

(6)分布状況(第59図、PL.18)

第3文化層とほぼ分布域が同じであるが、遺物の標高値や内容などで分離することとした。西側の1号ブロックと東側の2号ブロックとしたが、内容的に1号ブロックが石器製作跡的、2号ブロックが居住空間的様相を示す。

(7)石器の分布(第60図)

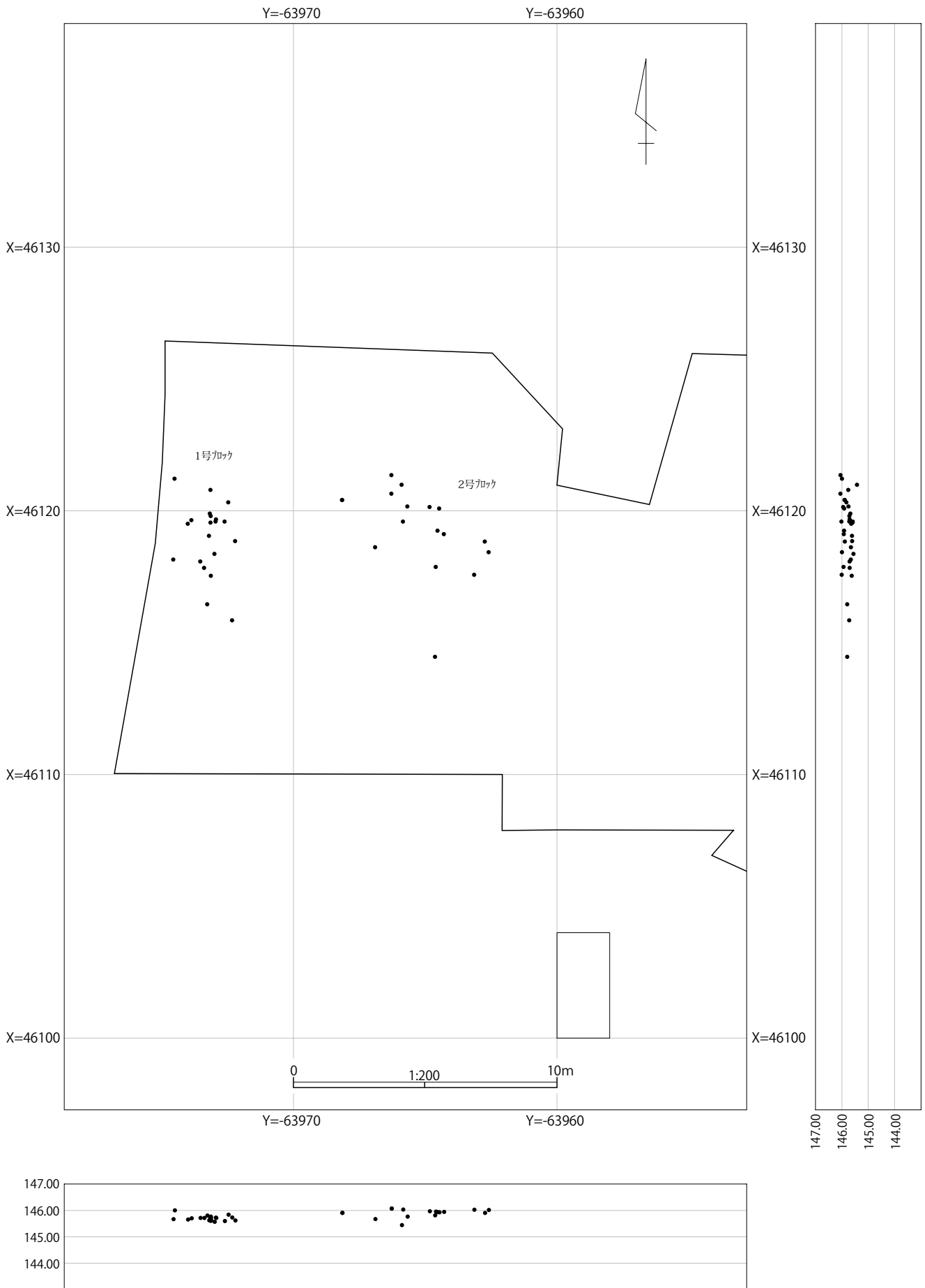
削器や石刃、石核が存在し、居住空間と石器製作の両方の機能を有すると考えられる。

(8)石材の分布(第61図)

1号ブロックが黒色安山岩を主体に、黒曜石やチャートが僅かに含まれるのに対して、2号ブロックは黒色安山岩が主で、黒色頁岩が従の形で分布する。

(9)接合資料の分布(第61図)

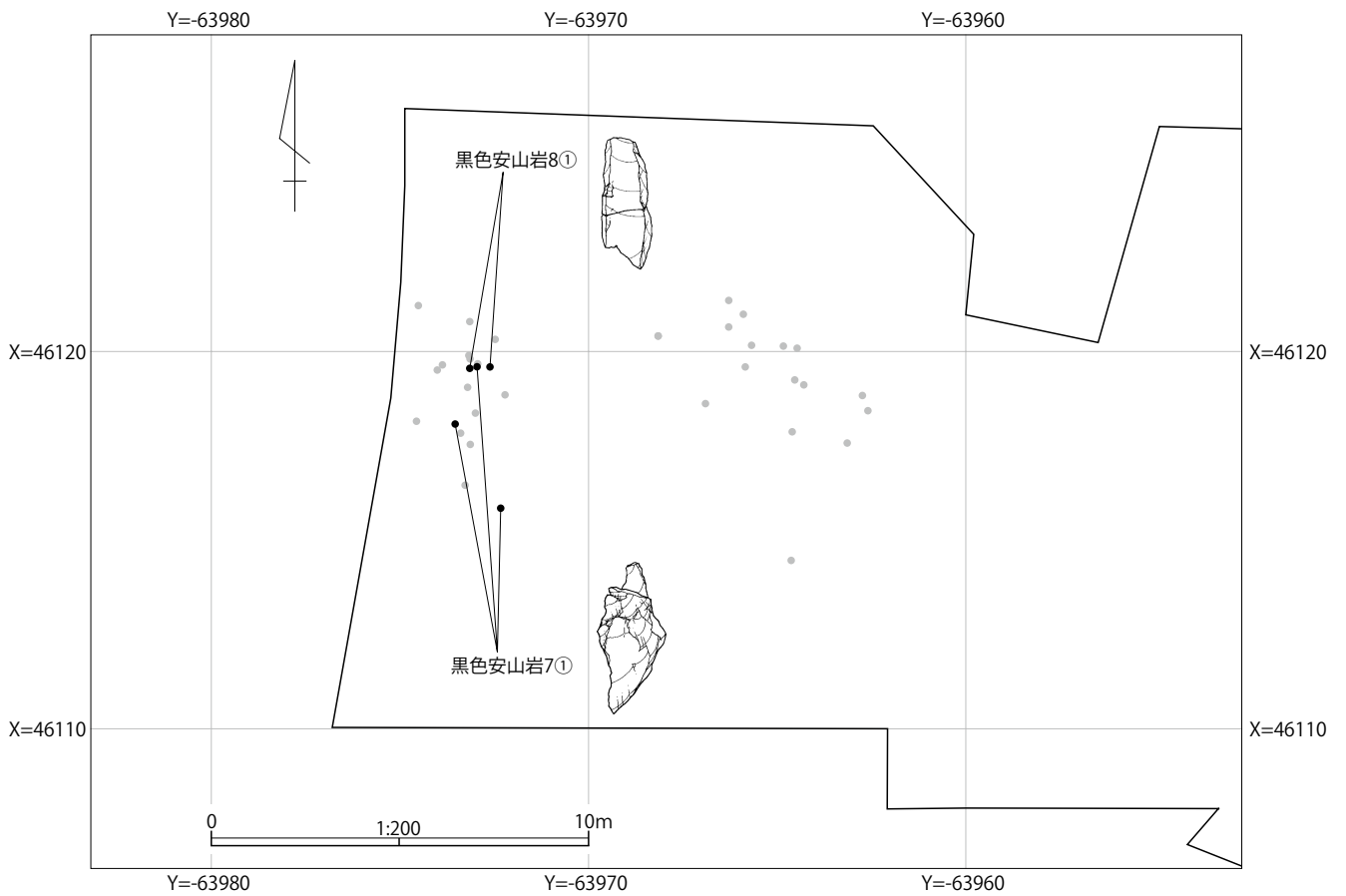
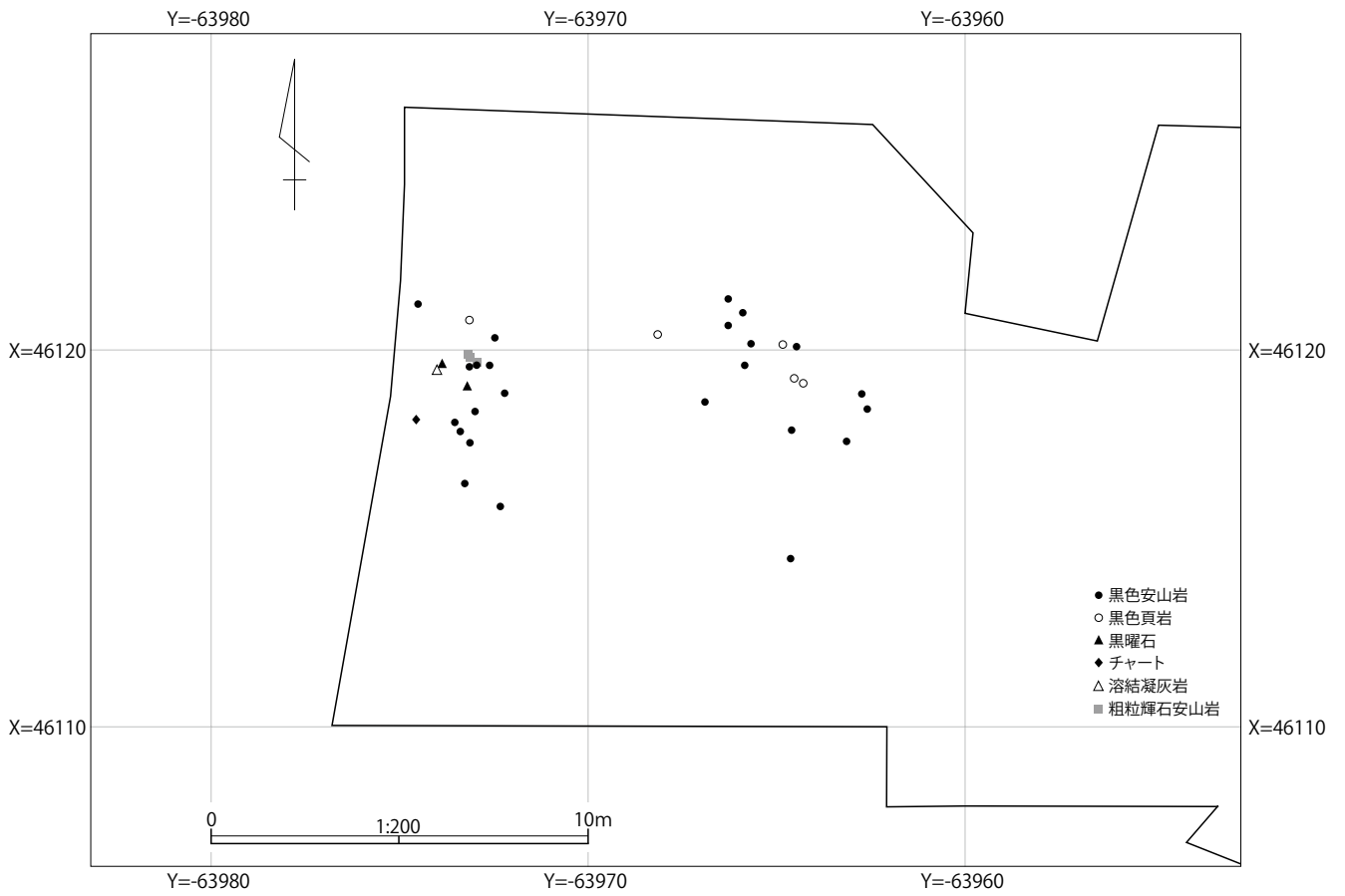
黒色安山岩の接合資料が1号ブロックのみに存在する。



第59図 上泉武田遺跡 第2文化層 石器分布・垂直分布状況



第60図 上泉武田遺跡 第2文化層 器種別分布状況



第61図 上泉武田遺跡 第2文化層 石材別分布・接合資料の分布状況

5 第3文化層

(1) 出土層位

基本土層のⅥ層を中心にⅤ層からⅦ層にかけてで、テフラとの関係では浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)より下位で、暗色帯上位までの間である。

(2) 検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3) 出土遺物

第3文化層の石器群は、出土遺物の総点数は466点で、内訳は石器45点(9.7%)、剥片311点(66.7%)、碎片64点(13.7%)、礫・礫片・礫類46点(9.9%)である。石器の器種は、ナイフ形石器4点(1.0%)、彫器2点(0.5%)、削器1点(0.2%)、加工痕ある剥片1点(0.2%)、石刃21点(5.0%)、石核14点(3.3%)、敲石2点(0.5%)、剥片311点(74.1%)、碎片64点(15.2%)である。石器の石材は黒色安山岩が314点(74.8%)、黒色頁岩が94点(22.4%)と多く、珪質頁岩3点(0.7%)、黒曜石6点(1.4%)、チャート2点(0.5%)、細粒輝石安山岩1点(0.2%)などである。礫・礫片・礫類の石材は粗粒輝石安山岩18点(39.1%)、珪質変質岩2点(4.4%)、雲母石英片岩19点(41.3%)、黒色片岩7点(15.2%)などである(第12表参照)。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

ナイフ形石器(第62図、Ⅱ27・Ⅱ266・Ⅱ327・Ⅱ328、PL.20)総数4点が出土している。Ⅱ27は石刃を素材として、一側縁に調整を施している。石材は黒色頁岩である。Ⅱ327は横長剥片を素材に、両側縁に鋭角な調整を施し、裏面側に両側縁から平坦剥離を加えている。形状は小形の斜刃を作り出している。石材は黒曜石である。Ⅱ328は縦長剥片の一側縁のほぼすべてに裏面側から鋭角な調整を加えている。もう一側縁の基部寄りの一部に細かな調整を加えて、鋭い尖頭状を作り出している。石材は珪質頁岩である。Ⅱ266は大形の剥片を素材に、一側縁の一部に調整を加えて、もう一側縁は折断している。やや尖刃な、いわゆるペン先形を作り出している。石材は黒色安山岩である。

彫器(第62図、Ⅲ107・Ⅲ123、PL.20)2点が出土している。Ⅲ123は縦長剥片、あるいは石刃を素材とし、打面の一端に大き目の長い槌状剥離を加えている、石材は黒色頁岩である。Ⅲ107は側面に原石面を残す剥片を素材とし、打面の一端に長い槌状剥離を加えている。石材は黒色安山岩である。

削器(第62図、Ⅱ176、PL.21)1点が出土している。打面側の一部に原石面を残す大形の横長剥片を素材として、先端部分に大きな加工を加えている。石材は黒色安山岩である。

加工痕ある剥片(第62図、Ⅱ71、PL.20)1点が出土している。表面に原石面を残すやや大形の剥片を素材とし、裏面の両側縁の打点寄りに加工が加えられている。石材は黒色安山岩である。

石刃(第63・64・65図、Ⅱ34・Ⅱ38・Ⅱ45・Ⅱ84・Ⅱ102・Ⅱ106・Ⅱ107・Ⅱ128・Ⅱ131・Ⅱ148・Ⅱ158・Ⅱ159・Ⅱ196・Ⅱ206・Ⅱ248・Ⅱ250・Ⅱ291・Ⅱ297・Ⅱ308・Ⅲ109・Ⅲ113、PL.21・22)総数21点が出土している。Ⅱ38は打面が小さく、石材は黒色頁岩である。Ⅱ131は表面の大部分に原石面が残り、石材は黒色頁岩である。Ⅱ102は両縁が整っておらず、石材は黒色安山岩である。Ⅲ109は幅の広い先端部に原石面が残り、石材は黒色安山岩である。Ⅱ206は、石材は黒色安山岩である。Ⅱ148+Ⅱ248は先端付近で折断した資料で、石材は黒色頁岩である。Ⅱ297は一側縁の一部に使用痕があり、石材は黒色頁岩である。Ⅱ158は一側縁に調査時の欠損が顕著で、石材は黒色頁岩である。Ⅱ128は表面の大部分に原石面が残り、石材は黒色頁岩である。Ⅱ84は断面が幅広の台形で、石材は黒色安山岩である。Ⅱ106は表面の一部に原石面が残り、剥離作業面調整の痕跡が残り、一側縁に使用痕が残る。石材は黒色頁岩である。Ⅱ250は90°打面転位の剥離面が残されており、石材は黒色頁岩である。Ⅱ159は打点側を欠損し、石材は黒色頁岩である。Ⅲ113は表面の半分に原石面が残り、石材は黒色安山岩である。Ⅱ107は肉厚で、石材は黒色安山岩である。Ⅱ34は90°や180°打面転位の剥離面が残されており、石材は黒色頁岩である。Ⅱ291は打面が小さく、石材は黒色頁岩である。Ⅱ45は打点側を欠損し、

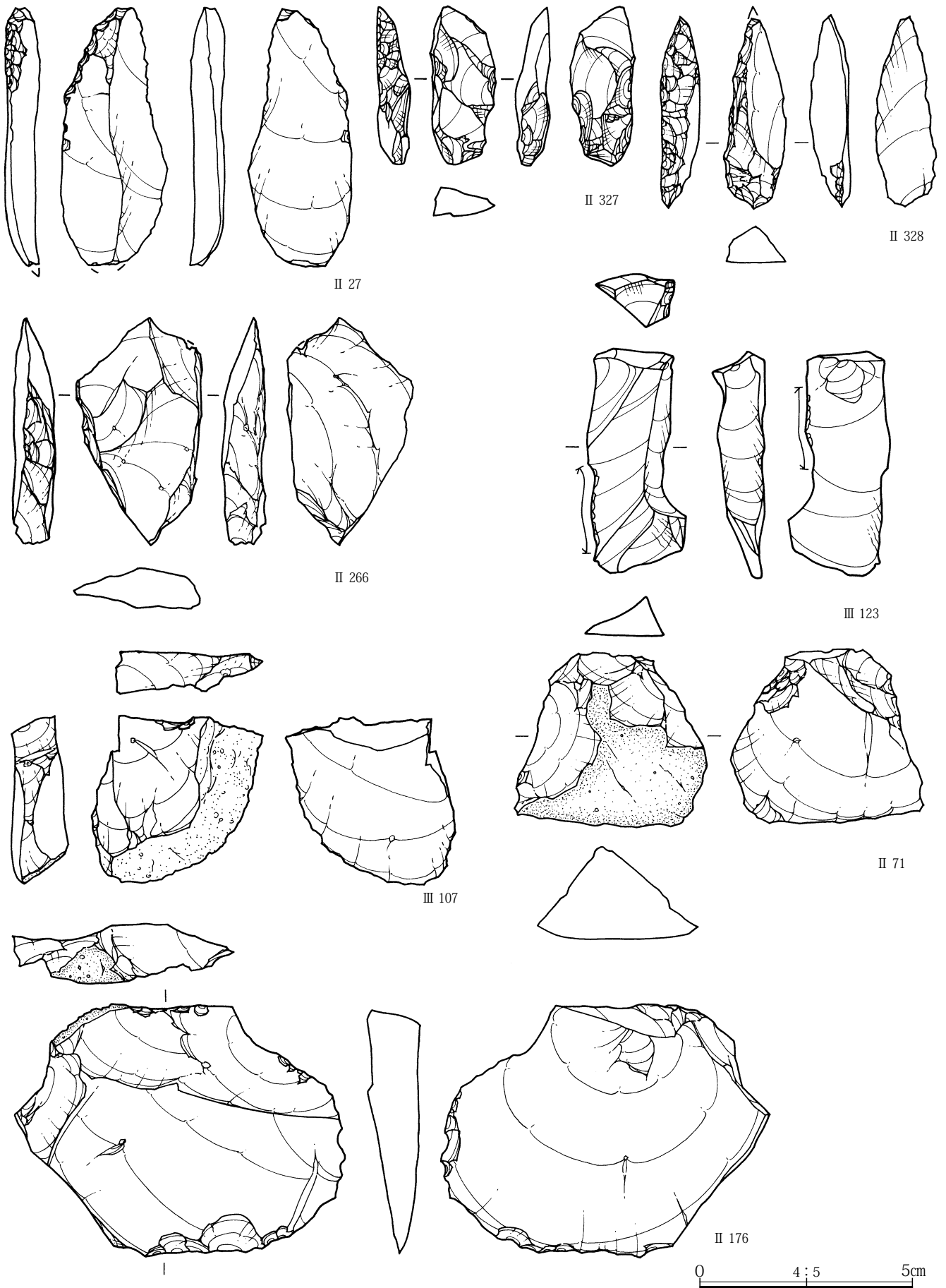
石材は黒色頁岩である。Ⅱ308は一側縁に僅かに使用痕が残る。石材は黒色頁岩である。Ⅱ196は打面が大きく、石材は黒色安山岩である。この他に、多数の剥片や碎片が出土しているが、図化・資料化しているのは主に接合資料に含まれる資料だけである。(第69図～第79図、PL.25～29)

石核(第65～68図、Ⅱ3・Ⅱ108・Ⅱ129・Ⅱ134・Ⅱ150・Ⅱ166・Ⅱ189・Ⅱ211・Ⅱ215・Ⅱ298・Ⅱ305・Ⅲ121・カクラン151・カクラン152、PL.22～24)総数14点が出土している。Ⅱ129は原石面を一部に残す厚手の剥片を素材に、打面を数か所に転位して小形の剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。Ⅱ134は裏面に原石面を残す分割礫の周縁から表裏両面の中心に向かって剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。Ⅱ189は厚手の剥片の一側面で裏面から小形の剥片を剥離している。石材は珪質頁岩である。カクラン152は厚手の剥片の周縁から表裏両面の中心に向かって剥片を剥離することで、両面体に近い形状を作り出している。石材は黒色安山岩である。カクラン151はⅡ134と同様に、裏面に原石面を残す分割礫の周縁から表裏両面の中心に向かって剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。Ⅱ298は船底形に近い形状の甲板面を打面として、小形の剥片を剥離している。石材は黒曜石である。Ⅱ108は長軸の大きさが約10cmの亜角礫を半分に打ち割った分割礫を素材に、礫の一端を打ち欠いて打面を作り出し、そこから長軸方向に数枚の縦長剥片を剥離している。石材は黒色頁岩である。Ⅱ3は立方体に近い剥片のあちらこちらを打面として、小形の剥片を1、2枚ずつ剥離している。石材は黒色頁岩である。Ⅱ150は薄手の長方体の剥片を素材に、周縁から表裏両面の中心に向かって剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。Ⅱ215は小形の剥片を素材に、左辺から一、二枚の小形の剥片を剥離している。石材は黒色頁岩である。Ⅱ305は原石面を一部に残す厚手の分割礫を素材に、一端を打ち欠いて打面を作り出し、表裏面の長軸方向にそれぞれ数枚の剥片を剥離した後、周縁から小形の剥片を数枚剥離している。石材は黒色頁岩である。Ⅱ121は長軸約16cm、短軸約13cmの長方体に近い亜角礫の一端から原石面をそのまま打面として、表面に原石面が残る大形の剥片を2枚ほど剥離している。あるいは、この剥離された剥片そのものも石核に利用されているのかもしてない。石材は黒色頁岩である。Ⅱ211は大形の剥片、あるいは分割礫を素材とし、180°打面転位をして両端から剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。なお、Ⅱ166は石核の破損品であり、未実測とした。

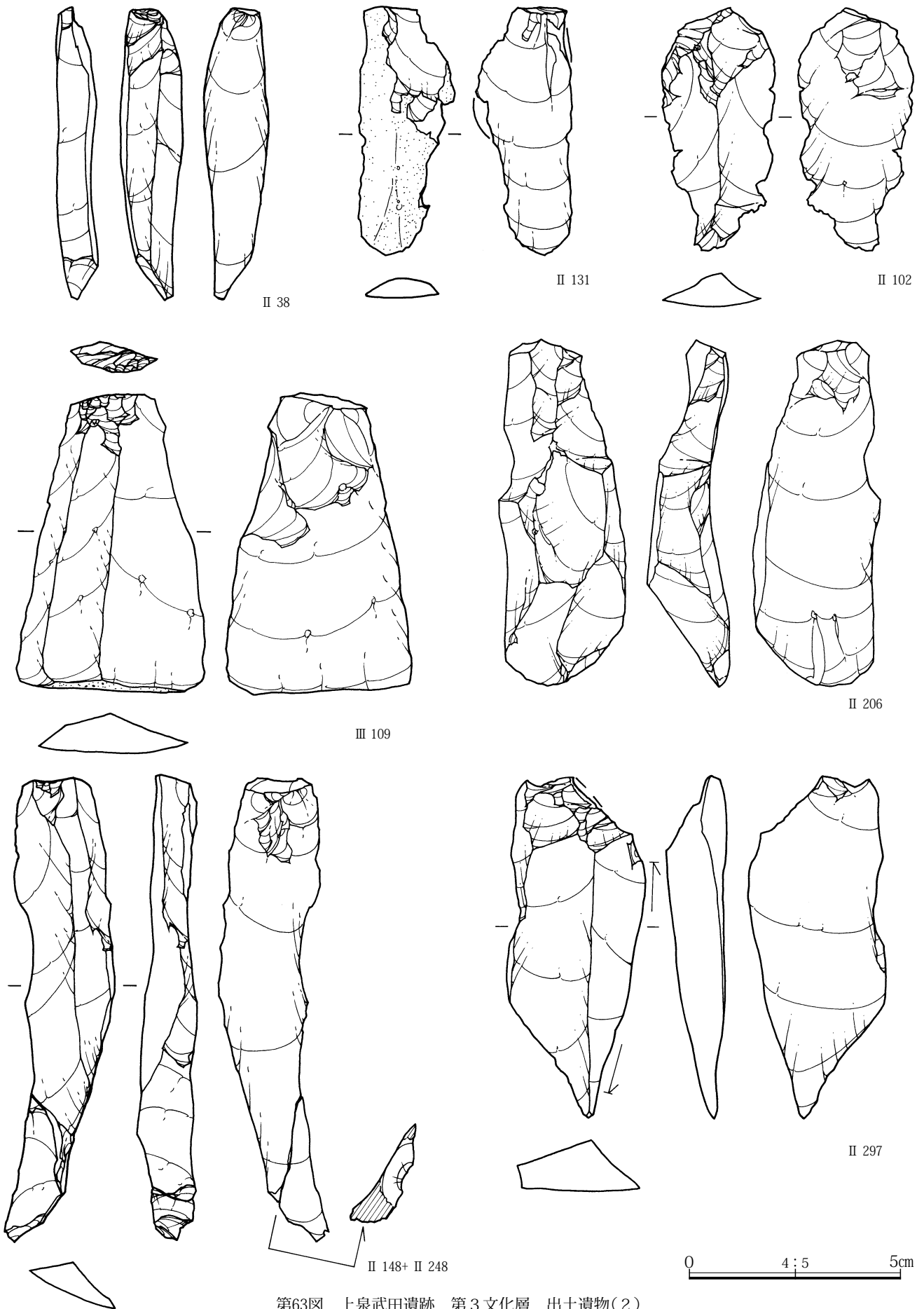
敲石(第68図、Ⅱ37・Ⅱ130、PL.24)2点が出土している。Ⅱ130は棒状の礫の両端を何度も使用したために、多数の敲打痕と共に衝撃による剥離痕をいくつも残している。石材は黒色頁岩である。Ⅱ37はやや扁平な礫を素材に、両端と一側縁に剥離痕を残している。石材は黒色頁岩である。

第12表 上泉武田遺跡 第3文化層 組成表

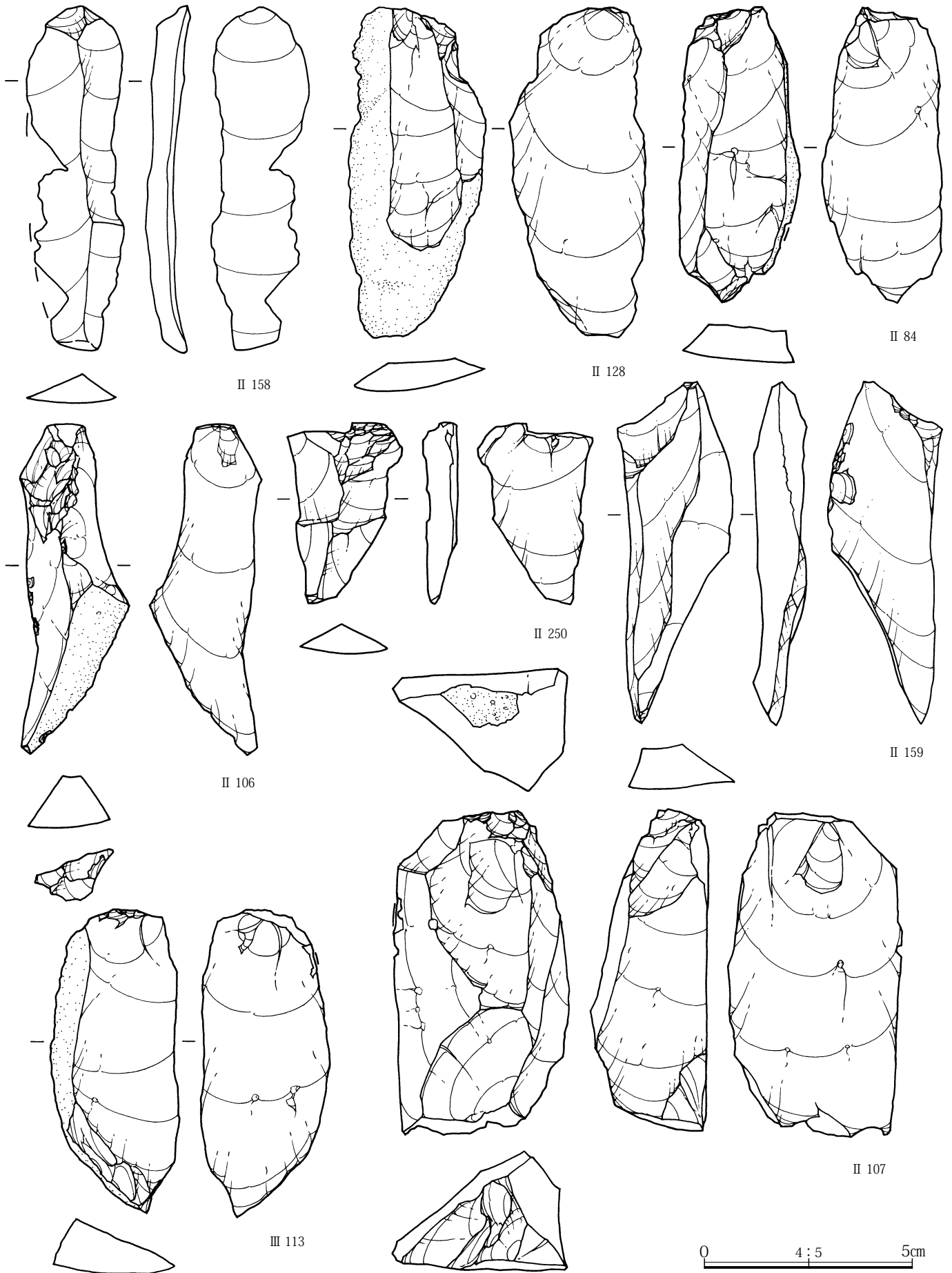
| | ナイフ | 彫器 | 削器 | 加工痕 | 石刃 | 石核 | 敲石 | 剥片 | 碎片 | 礫 | 礫片 | 礫類 | 総計 |
|---------|-----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|
| 黒色安山岩 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 | 7 | | 231 | 64 | | | | 314 |
| 黒色頁岩 | 1 | 1 | | | 13 | 5 | 1 | 73 | | | | | 94 |
| 珪質頁岩 | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | | | 3 |
| 黒曜石 | 1 | | | | | 1 | | 4 | | | | | 6 |
| チャート | | | | | | | | 2 | | | | | 2 |
| 珪質変質岩 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 |
| 細粒輝石安山岩 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | | | | | 9 | 9 | | 18 |
| 雲母石英片岩 | | | | | | | | | | | | 19 | 19 |
| 黒色片岩 | | | | | | | | | | | | 7 | 7 |
| 総計 | 4 | 2 | 1 | 1 | 21 | 14 | 2 | 311 | 64 | 10 | 10 | 26 | 466 |



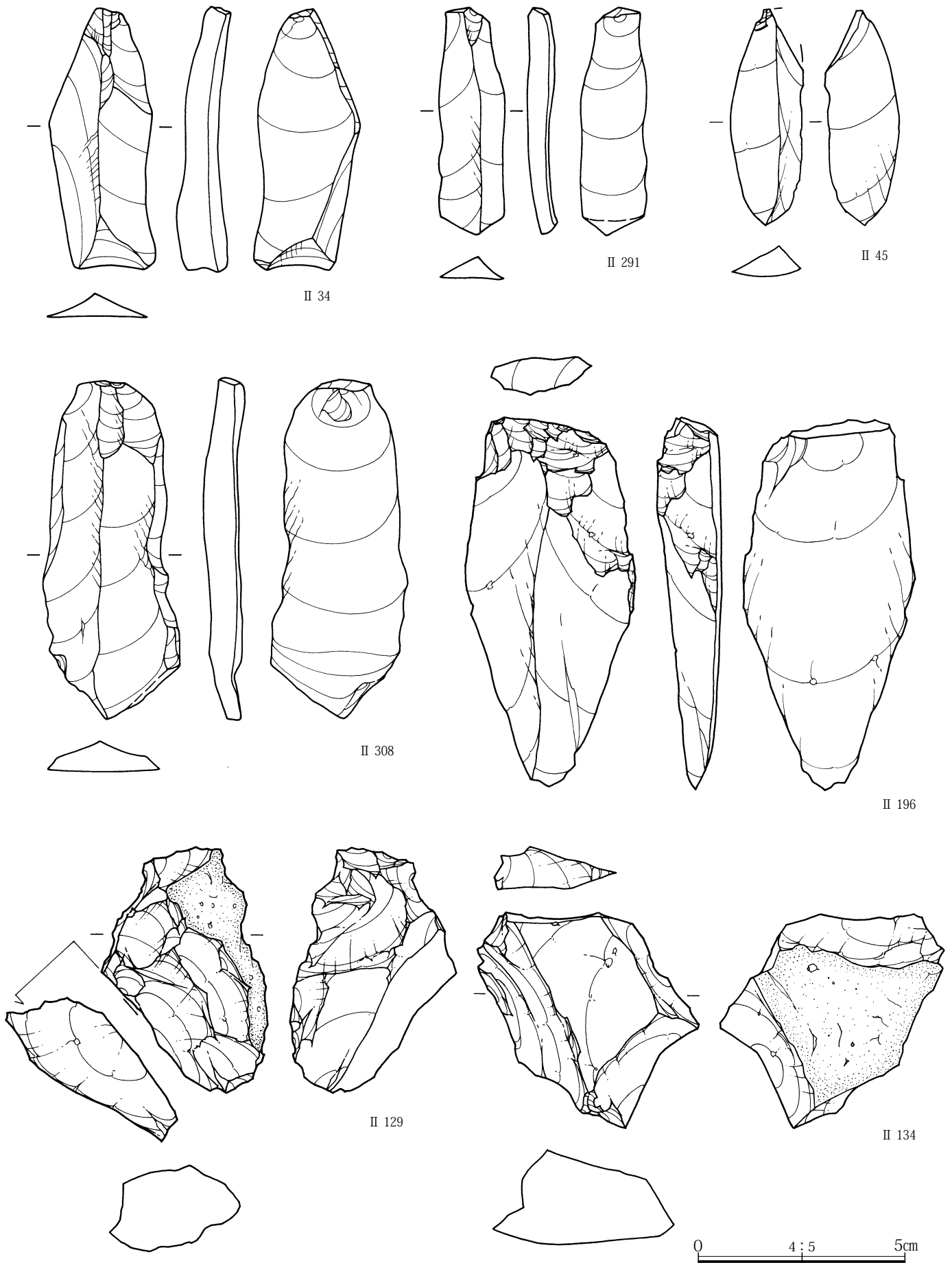
第62図 上泉武田遺跡 第3文化層 出土遺物(1)



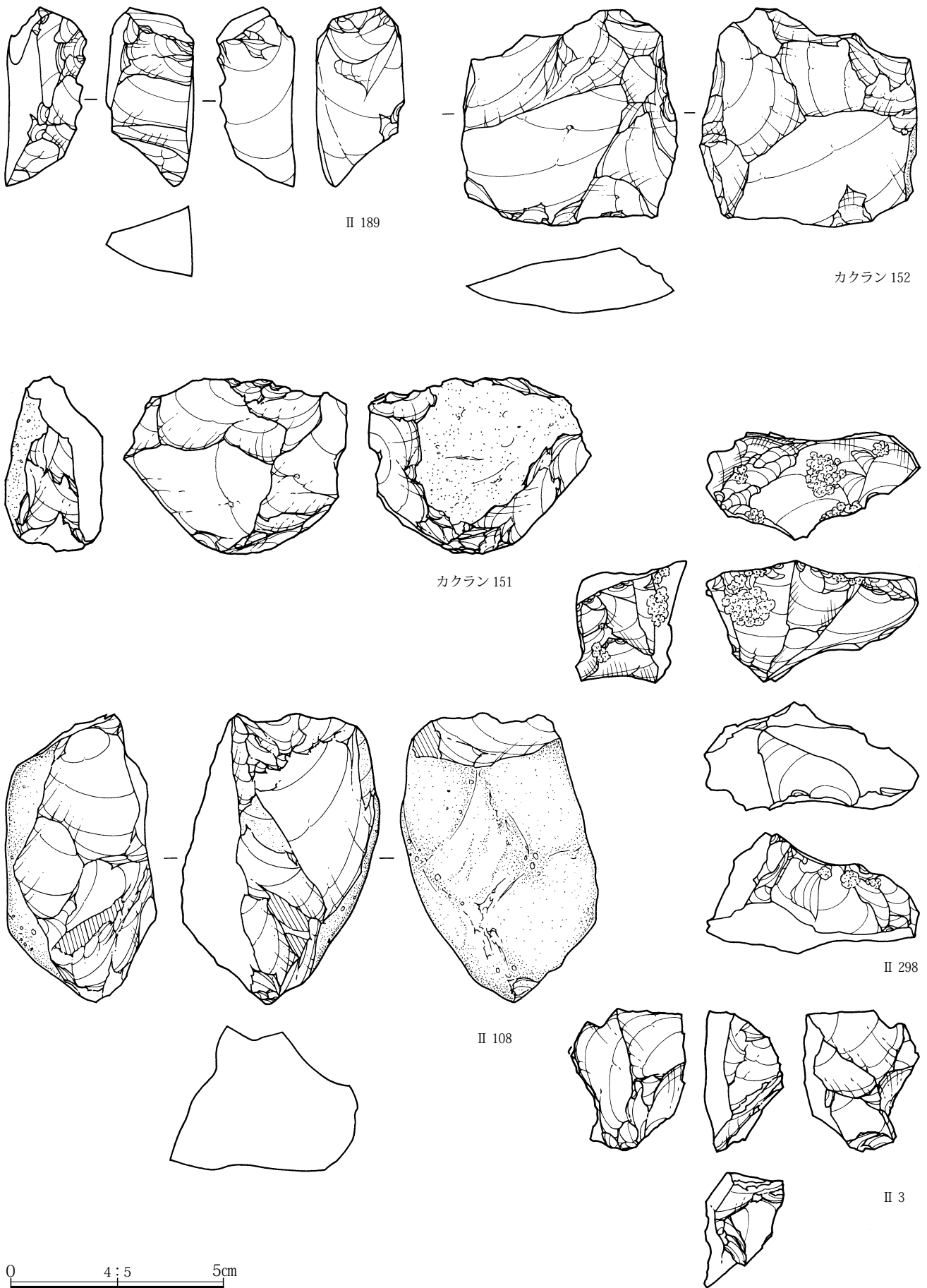
第63図 上泉武田遺跡 第3文化層 出土遺物(2)



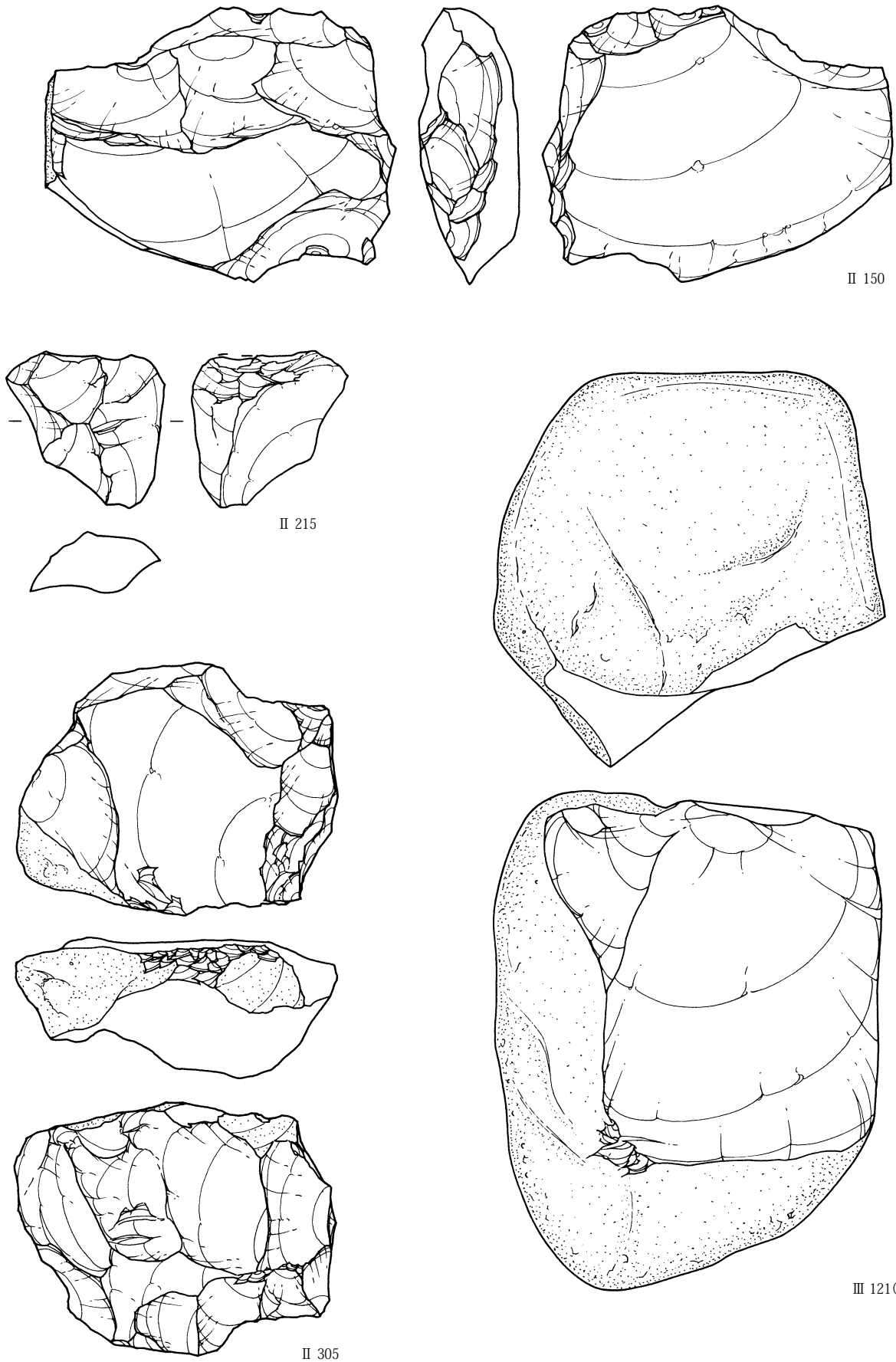
第64図 上泉武田遺跡 第3文化層 出土遺物(3)



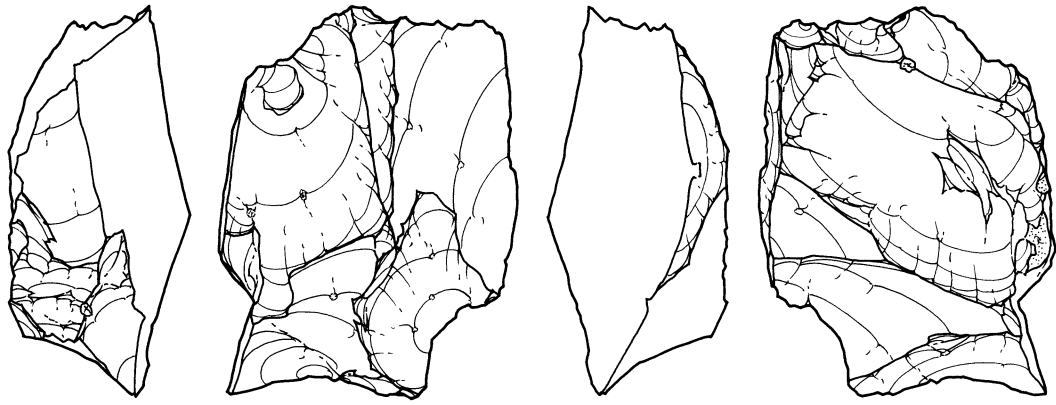
第65図 上泉武田遺跡 第3文化層 出土遺物(4)



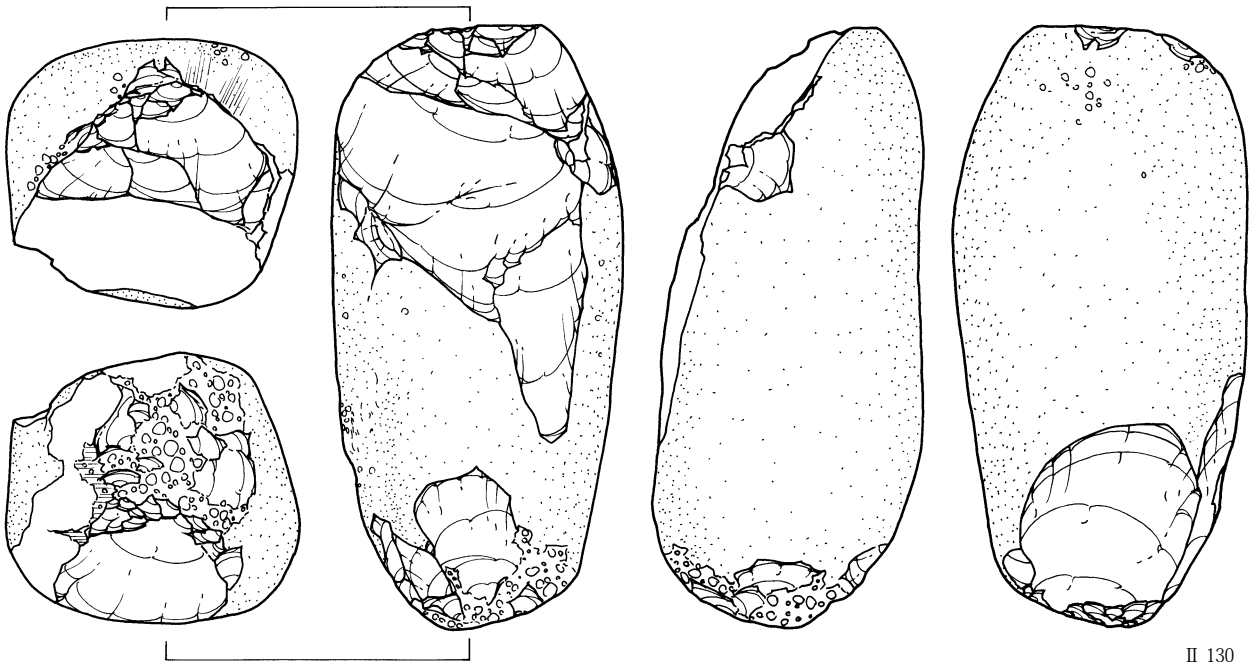
第66図 上泉武田遺跡 第3文化層 出土遺物(5)



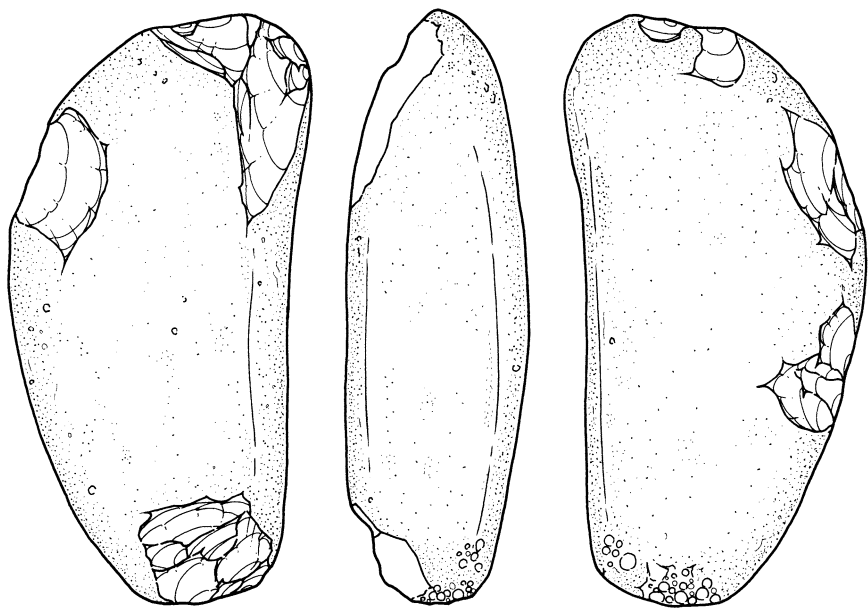
第67図 上泉武田遺跡 第3文化層 出土遺物(6)



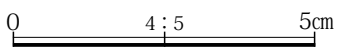
II 211



II 130



II 37



第68図 上泉武田遺跡 第3文化層 出土遺物(7)

(4)母岩別資料・接合資料(第69～79図、PL.25～29)

黒色安山岩の出土点数314点のうち、接合資料は27例91点である。

黒色安山岩1(第69～72図、PL.25～26)色調は灰6/1(Hue7.5Y)、自然面は皺が顕著。接合資料16例57点、非接合資料42点の計99点からなる。

黒色安山岩1-①(第69図、PL.25)分割礫の一端を打ち欠いて打面を作り出し、彫器や石刃や剥片を連続して剥離する。彫器1点、石刃3点、折断を含む剥片6点の計11点の接合資料である。Ⅲ107(彫器)→Ⅲ108(剥片)→Ⅲ118(剥片)→Ⅲ113(石刃)→Ⅲ109(石刃)→Ⅲ89(剥片)+Ⅲ41(石刃)→Ⅲ116(剥片)+Ⅱ316(剥片)+Ⅲ43(剥片)

黒色安山岩1-②(第69図、PL.25)分割礫の一端を打ち欠いて打面を作り出し、表裏面で180°転位しながら縦長の剥片を剥離し、その後、さらに90°転位して表裏面で剥片を剥離している。剥片4点と石核1点の計5点の接合資料である。Ⅱ202(剥片)→Ⅱ200(剥片)→Ⅱ204(剥片)→Ⅱ251(剥片)→Ⅱ211(石核)

黒色安山岩1-③(第70図、PL.25)同一打面から横長の剥片を連続して剥離している。削器1点と剥片4点の計5点の接合資料である。Ⅱ260(剥片)→Ⅱ174(剥片)→Ⅱ172(剥片)→Ⅱ177(剥片)→Ⅱ176(削器)

黒色安山岩1-④(第70図、PL.25)折断された2点を含む剥片4点の接合資料である。Ⅱ242(剥片)→Ⅱ147(剥片)+Ⅱ265(剥片)→カクラン155(剥片)

黒色安山岩1-⑤(第70図、PL.25)原石面を打面に、連続して横長の剥片を剥離している。剥片4点の接合資料である。Ⅲ93(剥片)+Ⅲ86(剥片)+Ⅲ119(剥片)→Ⅱ165(剥片)

黒色安山岩1-⑥(第70図、PL.25)石核1点、剥片2点の接合資料である。Ⅱ238(剥片)→カクラン154(剥片)→カクラン152(石核)

黒色安山岩1-⑦(第71図、PL.26)剥片3点の接合資料である。Ⅱ273(剥片)→Ⅱ267(剥片)+Ⅱ275(剥片)

黒色安山岩1-⑧ 剥片3点の接合資料である。Ⅲ48(剥片)→Ⅲ96(剥片)+Ⅲ30(剥片)非実測

黒色安山岩1-⑨ 剥片3点の接合資料である。Ⅲ110(剥片)→Ⅲ105(剥片)→Ⅱ326(剥片)非実測

黒色安山岩1-⑩(第71図、PL.26)剥片3点の接合資料である。Ⅱ241(剥片)→Ⅱ117(剥片)→Ⅱ240(剥片)

黒色安山岩1-⑪ 剥片3点の接合資料である。Ⅱ164a(剥片)+Ⅱ164b(剥片)→Ⅱ162(剥片)非実測

黒色安山岩1-⑫(第71図、PL.26)剥片2点の接合資料である。Ⅱ262(剥片)→Ⅱ206(剥片)

黒色安山岩1-⑬ 石核1点、剥片1点の接合資料である。Ⅱ249(剥片)→Ⅱ166(石核)非実測

黒色安山岩1-⑭(第71図、PL.26)加工痕ある剥片1点と剥片1点の接合資料である。Ⅱ114(剥片)→Ⅱ71(加工痕ある剥片)

黒色安山岩1-⑮ 剥片2点の接合資料である。Ⅱ276(剥片)→Ⅱ277(剥片)非実測

黒色安山岩1-⑯ 剥片2点の接合資料である。Ⅲ49(剥片)→Ⅲ62(剥片)非実測

黒色安山岩1(第64・66・71・72図、PL.21・23・26)と同一母岩と見られる非接合資料として、石刃1点、石核1点、剥片41点の計43点がある。Ⅱ84(石刃)、Ⅱ97、Ⅱ109、Ⅱ110、Ⅱ111、Ⅱ112、Ⅱ113、Ⅱ116、Ⅱ119、Ⅱ120、Ⅱ123、Ⅱ145、Ⅱ151、Ⅱ157、Ⅱ168、Ⅱ169、Ⅱ170、Ⅱ194、Ⅱ195、Ⅱ213、Ⅱ217、Ⅱ256、Ⅱ257、Ⅱ258、Ⅱ261、Ⅱ268、Ⅱ281、Ⅱ284、Ⅱ312、Ⅱ315、Ⅱ317、Ⅱ319、Ⅱ320、Ⅱ321、Ⅱ322、Ⅲ24、Ⅲ65、Ⅲ77、Ⅲ83、Ⅲ115、Ⅲ120、カクラン151(石核)、カクラン157

黒色安山岩2(第72・73図、PL.26・27)色調は灰5/1(Hue7.5Y)、自然面は爪状痕が顕著だが、皺がやや少なめである。接合資料5例21点、非接合資料7点の計28点からなる。

黒色安山岩2-①(第72図、PL.26)剥片10点の接合資料である。Ⅱ59(剥片)→Ⅱ21(剥片)+Ⅱ2(剥片)→Ⅱ20(剥片)+Ⅱ56(剥片)→Ⅱ96(剥片)→Ⅱ36(剥片)→Ⅱ107(剥片)→Ⅱ29(剥片)+Ⅱ26(剥片)

黒色安山岩2-②(第73図、PL.27)剥片5点の接合資料である。Ⅱ1(剥片)→Ⅱ223(剥片)+Ⅱ35(剥片)→Ⅱ17(剥片)→Ⅱ22(剥片)

- 黒色安山岩2-③(第73図、PL.27)剥片2点の折断資料である。Ⅱ32(剥片)+Ⅱ64(剥片)
- 黒色安山岩2-④ 剥片2点の折断資料である。Ⅱ25(剥片)+Ⅱ13(剥片)非実測
- 黒色安山岩2-⑤ 剥片2点の折断資料である。Ⅱ252(剥片)+Ⅱ197(剥片)非実測
- 黒色安山岩2の同一母岩として、非接合の剥片7点がある。Ⅱ9、Ⅱ15、Ⅱ16、Ⅱ19、Ⅱ44、Ⅱ54、Ⅱ93、
- 黒色安山岩3(第73図、PL.27)出土点数35点のうち、接合資料は4例8点である。
- 黒色安山岩3-①(第73図、PL.27)石核の折断資料である。Ⅱ129(石核)→Ⅱ134(石核)
- 黒色安山岩3-②(第73図、PL.27)剥片2点の折断資料である。Ⅱ80(剥片)+Ⅱ78(剥片)
- 黒色安山岩3-③ 剥片2点の折断資料である。カクラン153(剥片)+Ⅱ75(剥片)非実測
- 黒色安山岩3-④(第73図、PL.27)剥片の折断資料である。Ⅱ208(剥片)+Ⅱ209(剥片)
- 黒色安山岩3(第65・67・73図、PL.22・23・27)非接合資料は、石核1点、石刃I点、剥片25点の計27点がある。Ⅱ6、Ⅱ47、Ⅱ60、Ⅱ66、Ⅱ68、Ⅱ72、Ⅱ83、Ⅱ85、Ⅱ95、Ⅱ125、Ⅱ127、Ⅱ132、Ⅱ133、Ⅱ135、Ⅱ136、Ⅱ141、Ⅱ142、Ⅱ150(石核)、Ⅱ155、Ⅱ196(石刃)、Ⅱ198、Ⅱ254、Ⅱ303、Ⅱ306、Ⅱ309、Ⅱ313、Ⅲ35
- 黒色安山岩4(第74図、PL.27)色調は灰オリーブ6/2(Hue7.5Y)。1例3点の接合資料と1点の非接合資料の計4点がある。
- 黒色安山岩4-①(第74図、PL.27)剥片3点の接合資料である。Ⅱ193(剥片)→Ⅱ192(剥片)→Ⅱ191(剥片)
- 黒色安山岩4(第74図、PL.27)非接合の剥片1点がある。Ⅱ253
- 黒色安山岩5(第74図、PL.27)色調は灰5/1(Hue10Y)でかなり黒い。自然面はやや平滑で、爪状痕は少ない。接合資料1例2点、非接合資料2点の計4点である。
- 黒色安山岩5-①(第74図、PL.27)石刃1点、剥片1点の接合資料である。Ⅱ104(剥片)→Ⅱ102(石刃)
- 黒色安山岩5(第74図、PL.27)非接合の剥片2点がある。Ⅱ210、Ⅱ304
- 黒色安山岩6 非接合資料の剥片2点である。Ⅰ8(剥片)、Ⅰ11(剥片)
- 黒色安山岩には単独母岩として4点(第62・74図、PL.20・27)がある。Ⅱ98(剥片)、Ⅱ266(ナイフ形石器)、Ⅱ219(剥片)、Ⅱ307(剥片)
- 黒色安山岩には分類不能な剥片74点、碎片64点の計138点がある。
- 黒色頁岩は出土点数94点のうち、接合資料は12例41点である。
- 黒色頁岩1(第75・76図、PL.28・29)接合資料7例26点、非接合資料25点の計51点からなる。
- 黒色頁岩1-①(第75図、PL.27)ナイフ形石器1点、石刃1点、石核1点、剥片7点の計10点の接合資料である。Ⅱ49(剥片)→Ⅱ225(剥片)→Ⅱ48(剥片)→Ⅱ55(剥片)→Ⅱ62(剥片)→Ⅱ65(剥片)→Ⅱ106(石刃)→Ⅱ27(ナイフ形石器)→Ⅱ58(剥片)→Ⅱ3(石核)
- 黒色頁岩1-②(第75図、PL.28)石刃1点、石核1点、剥片3点の計5点からなる接合資料である。Ⅱ105(剥片)→Ⅱ38(石刃)→Ⅱ14(剥片)→Ⅱ103(剥片)→Ⅱ305(石核)
- 黒色頁岩1-③(第76図、PL.28)剥片3点の接合資料である。Ⅱ57(剥片)→Ⅱ50(剥片)→Ⅱ7(剥片)
- 黒色頁岩1-④(第76図、PL.28)石刃の折断資料である。Ⅱ148(石刃)+Ⅱ248(剥片)
- 黒色頁岩1-⑤(第76図、PL.28)石刃2点の接合資料である。Ⅱ131(石刃)→Ⅱ128(石刃)
- 黒色頁岩1-⑥(第76図、PL.28)剥片2点の接合資料である。Ⅱ99(剥片)+Ⅱ30(剥片)
- 黒色頁岩1-⑦ 剥片2点の折断資料である。Ⅱ222(剥片)+Ⅱ18(剥片)非実測
- 黒色頁岩1(第63～65・76図、PL.21・22・28・29)非接合資料の石刃3点と剥片22点の計25点がある。Ⅱ8、Ⅱ31、Ⅱ39、Ⅱ40、Ⅱ43、Ⅱ45(石刃)、Ⅱ51、Ⅱ53、Ⅱ69、Ⅱ86、Ⅱ90、Ⅱ92、Ⅱ140、Ⅱ154、Ⅱ159(石刃)、Ⅱ160、Ⅱ182、Ⅱ199、Ⅱ226、Ⅱ227、Ⅱ233、Ⅱ234、Ⅱ271、Ⅱ297(石刃)、Ⅲ101
- 黒色頁岩2(第77図、PL.29)接合資料が1例4点、非接合資料が3点、計7点からなる。
- 黒色頁岩2-①(第77図、PL.29)剥片4点の接合資料である。Ⅱ28(剥片)→Ⅱ23(剥片)→Ⅱ42(剥片)→Ⅱ41(剥片)

黒色頁岩2(第66図、PL.23)非接合資料として、石核1点、剥片2点の計3点がある。Ⅱ91、Ⅱ108(石核)、Ⅱ231

黒色頁岩3(第77図、PL.29)1例4点の接合資料である。

黒色頁岩3-①(第77図、PL.29)敲石の4点の接合資料である。Ⅱ282(剥片)→Ⅱ221(剥片)→Ⅱ130(敲石)←Ⅱ279(剥片)

黒色頁岩4(第78図、PL.29)2例5点の接合資料と石刃1点、剥片2点の計8点がある

黒色頁岩4-①(第78図、PL.29)剥片3点の折断資料である。表土146(剥片)+Ⅱ207(剥片)+Ⅱ152(剥片)

黒色頁岩4-②(第78図、PL.29)剥片2点の接合資料である。Ⅱ153(剥片)→Ⅱ175(剥片)

黒色頁岩4(第64・78図、PL.22・29)非接合資料として石刃1点と剥片2点がある。Ⅱ250(石刃)、Ⅱ310、Ⅲ45

黒色頁岩5(第78図、PL.29)1例2点の接合資料である。

黒色頁岩5-①(第78図、PL.29)剥片2点の接合資料である。Ⅱ287(剥片)→Ⅲ46(剥片)

黒色頁岩5非接合資料はなし。

黒色頁岩6(第67・78図、PL.23・29)石核1点、剥片7点の計8点がある。Ⅱ178、Ⅱ215(石核)、Ⅱ263、Ⅱ264、Ⅱ270、Ⅱ285、Ⅱ311、Ⅲ63

黒色頁岩(第62・64・65・67図、PL.20～22・24)単独の母岩として彫器1点、石刃4点、石核1点、剥片1点の計7点がある。Ⅰ7(剥片)、Ⅱ34(石刃)、Ⅱ158(石刃)、Ⅱ291(石刃)、Ⅱ308(石刃)、Ⅲ121(石核)、Ⅲ123(彫器)

黒色頁岩には分類不能な剥片7点がある。Ⅱ61、Ⅱ101、Ⅱ122、Ⅱ190、Ⅱ224、Ⅱ230、Ⅱ278

黒曜石は接合資料1例3点、非接合資料3点の計6点からなる。

黒曜石1(第79図、PL.29)半透明だが、透明度は高い。斑状・筋状の模様を含む。接合資料は1例3点である。

黒曜石1-①(第79図、PL.29)剥片2点と石核1点の計3点の接合資料である。Ⅱ292(剥片)→Ⅱ298(石核)→Ⅱ295(剥片)

黒曜石1(第79図、PL.29)同じ母岩別資料で、剥片2点の非接合資料である。Ⅰ10(剥片)、Ⅱ293(剥片)

黒曜石の分類不能資料(第62図、PL.20)ナイフ形石器1点である。Ⅱ327(ナイフ形石器)

チャート単独母岩とし剥片2点がある。Ⅰ13(剥片)、Ⅱ77(剥片)

珪質頁岩(第62・66・78図、PL.20・23・29)単独母岩として3点がある。Ⅱ189(石核)、Ⅱ328(ナイフ形石器)、Ⅱ302(剥片)

(5)剥片剥離技術

裏面に原石面を残す分割礫の周縁から表裏両面の中心に向かって剥片を剥離している資料も存在するが、礫の一端を打ち欠いて打面を作り出し、そこから主に縦長の剥片を剥離する事例も多い。石材も黒色安山岩と黒色頁岩のどちらも選択しており、両側に打面を設定する場合もある。

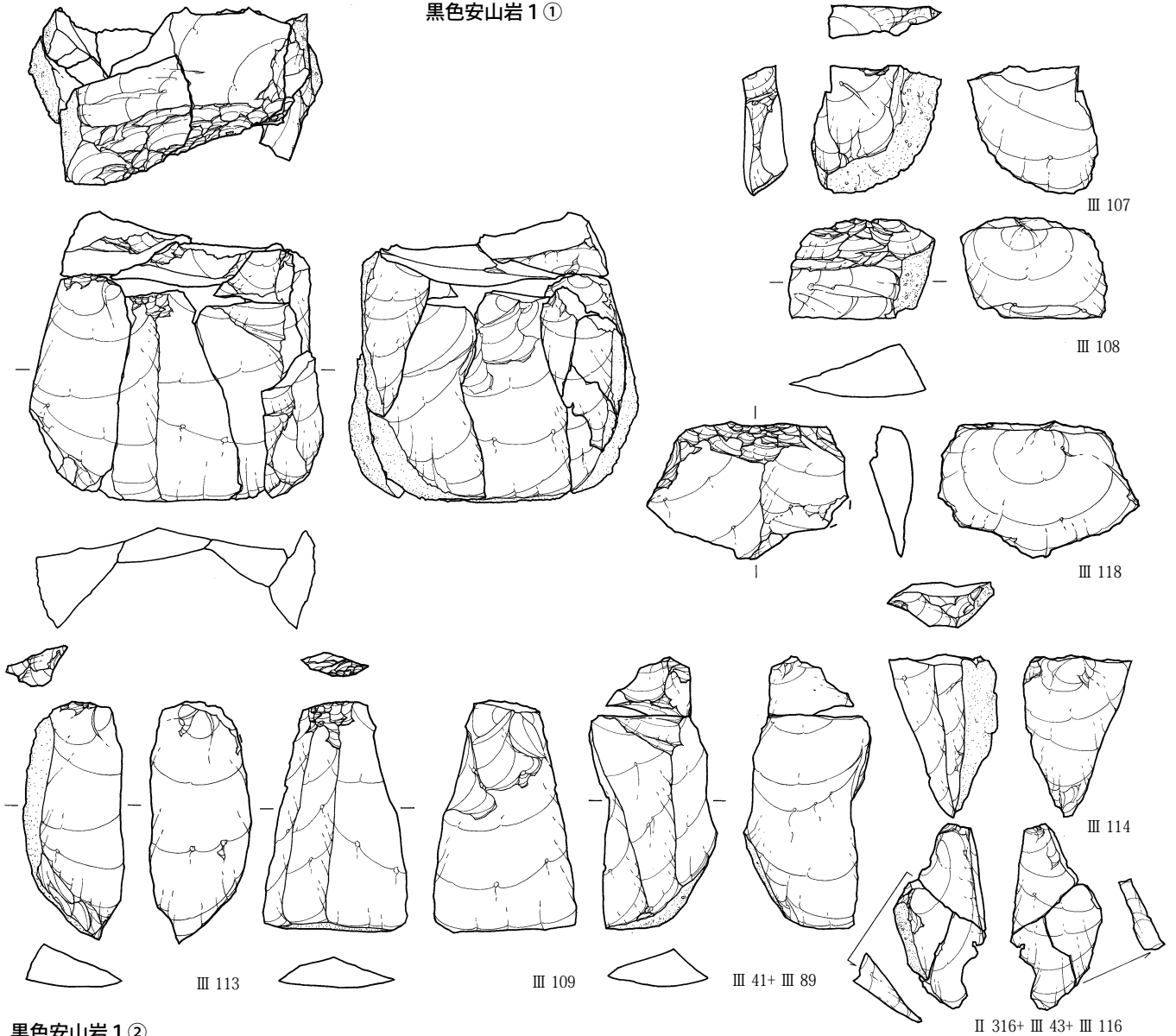
(6)分布状況(第80・218図、PL.18-4・5、19)

ここで第3文化層とした石器群は、調査時に2時期あるものとされていたが、接合資料や母岩分類の結果を踏まえ、整理段階で同一文化層としたものである。調査区西の試掘が粗く若干不安だが、台地東側から遺跡地の北側に入り込んだ開析谷に沿って、石器ブロックは弧状分布したとすることができる。2号ブロックに最も密に石器が分布したほか、5号・7号ブロックの分布も比較的密度が濃い。第3文化層は南北方向に約60m・東西方向に約16mに弧状分布しており、このような分布状況は利根郡みなかみ町の後田遺跡や同町善上遺跡など、群馬Ⅰ期後半期からⅡ期前半期の石器群に特徴的である。

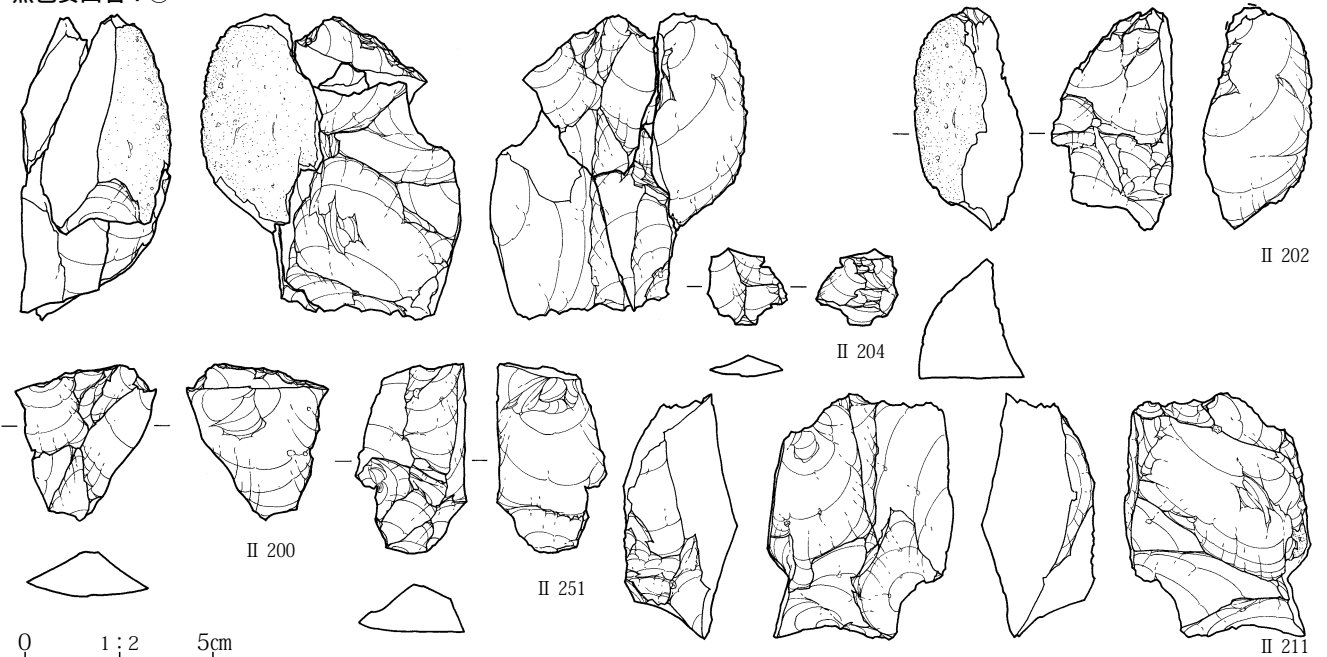
(7)石器の分布(第81・82図)

ナイフ形石器は、1点(Ⅱ-27)を除いて4点中3点がブロック外にある。これに対して、石刃とされたものはブロック内の大半は出土しているが、母岩レベルで単独とされたもの4点は半数がブロック内、半数がブロック外の出土である。彫器として器種認定されたもの2点が2号ブロックに出土しているが、これ以外の削器類についても石器ブロックの周辺部にあり、特徴的である。なお、8号ブロックには粗粒輝石安山岩製の垂円礫・角礫が直線的に並んだ(第80図を参照)地点が確認されている。被熱剥落した礫片や黒く変色している礫があり、礫群に似た特徴がある。礫は大型で平均重量1720gを測る。

黒色安山岩 1 ①

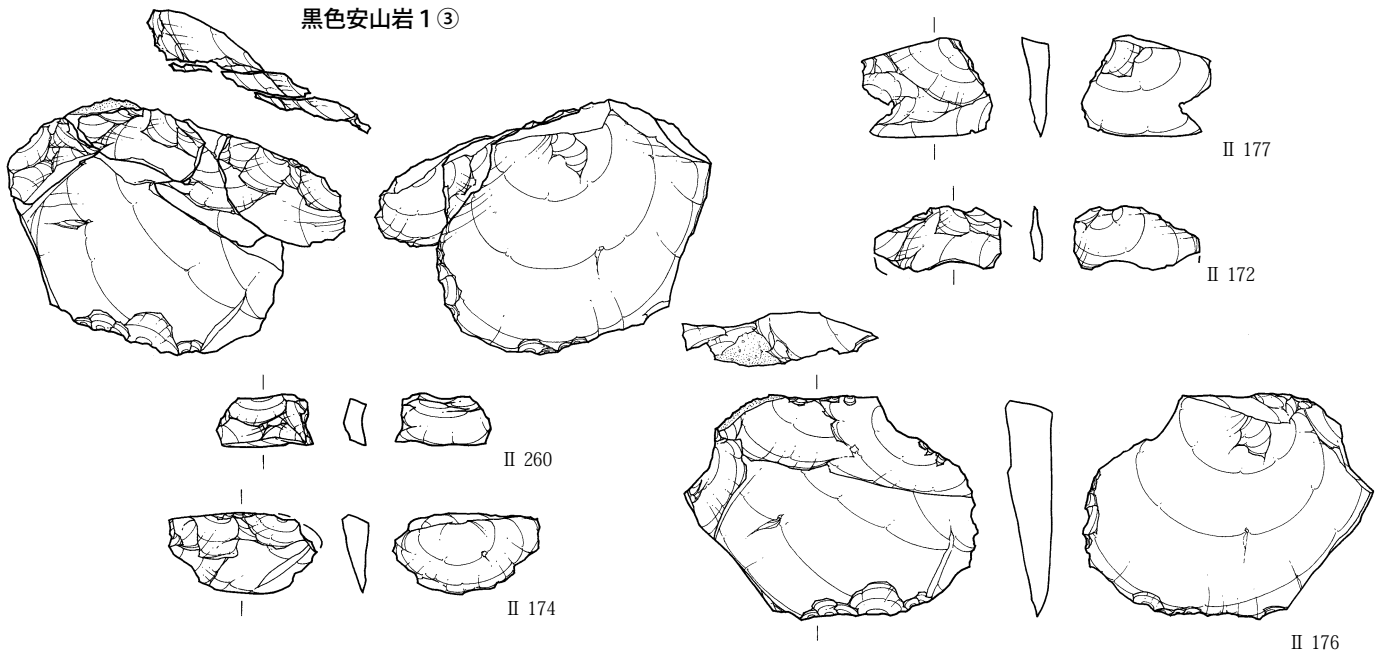


黒色安山岩 1 ②

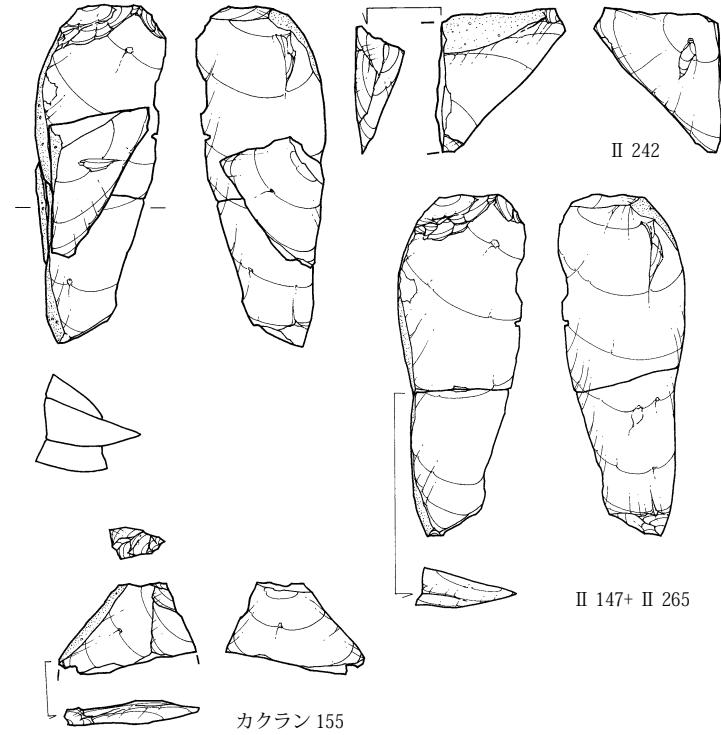


第69図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(1)

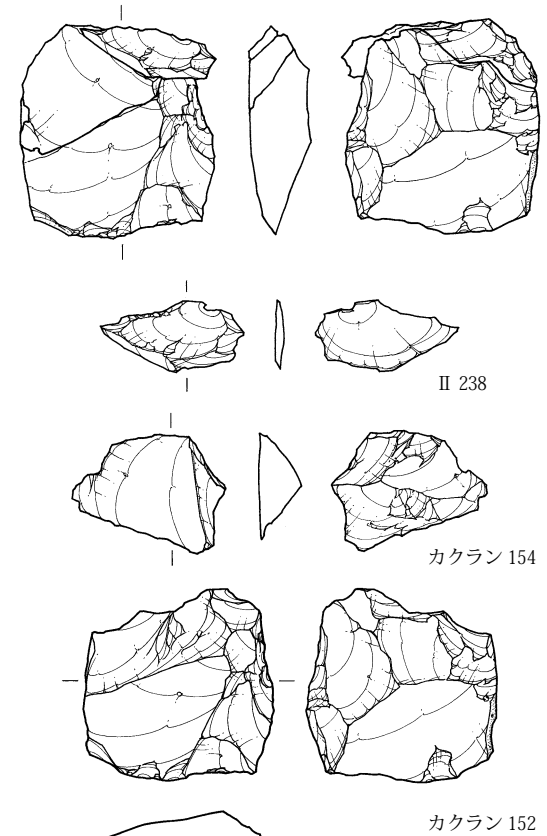
黑色安山岩 1 ③



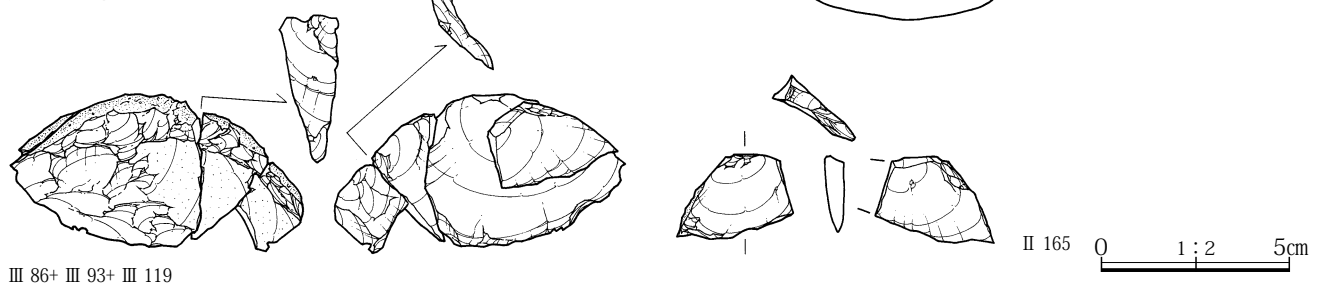
黑色安山岩 1 ④



黑色安山岩 1 ⑥

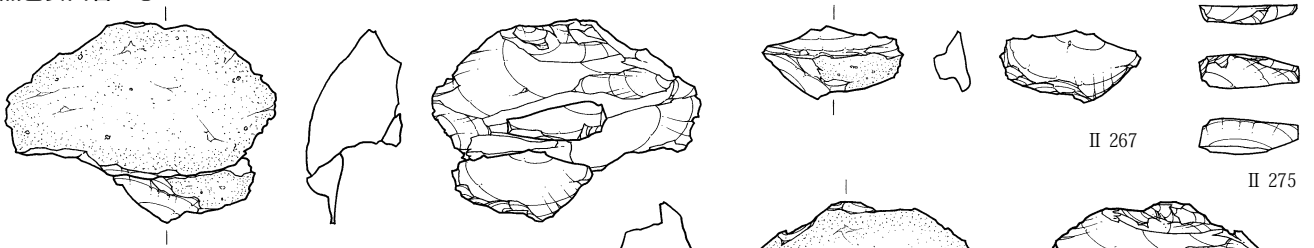


黑色安山岩 1 ⑤



第70図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(2)

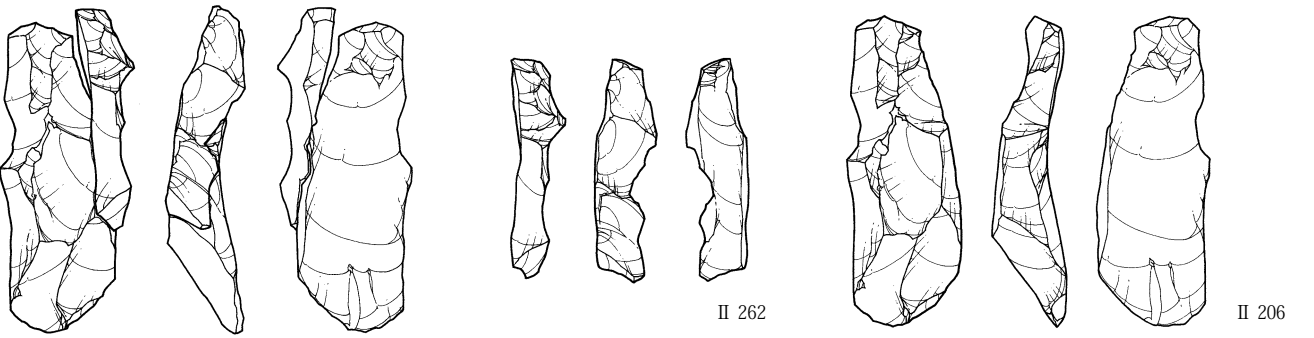
黑色安山岩 1 ⑦



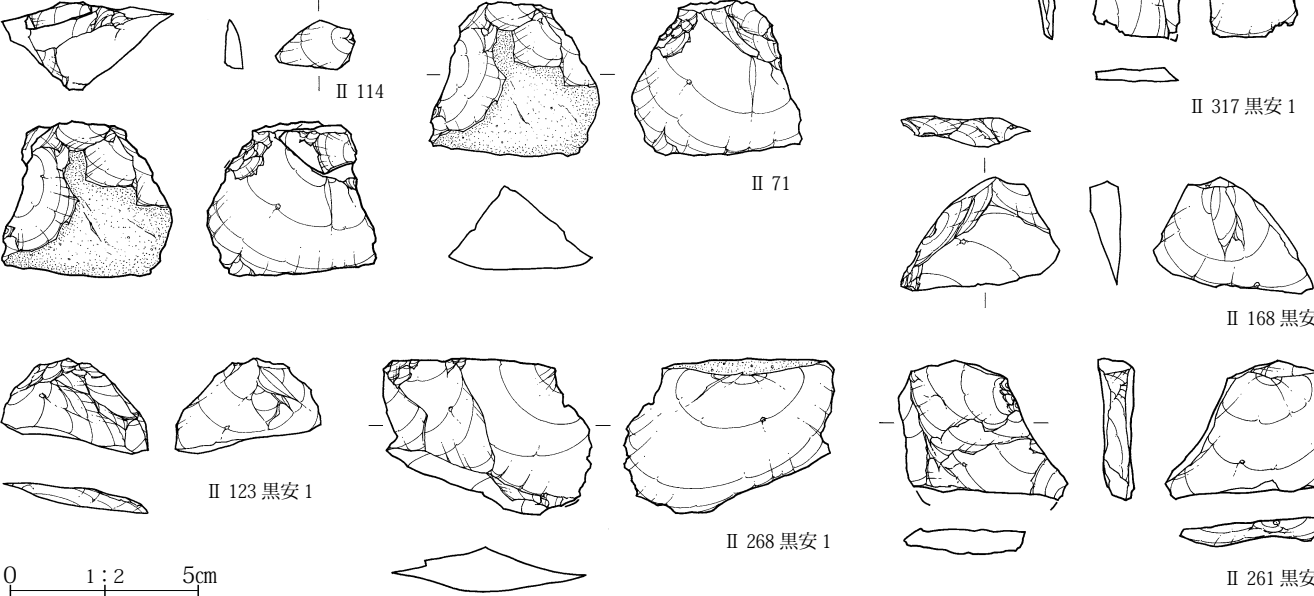
黑色安山岩 1 ⑩



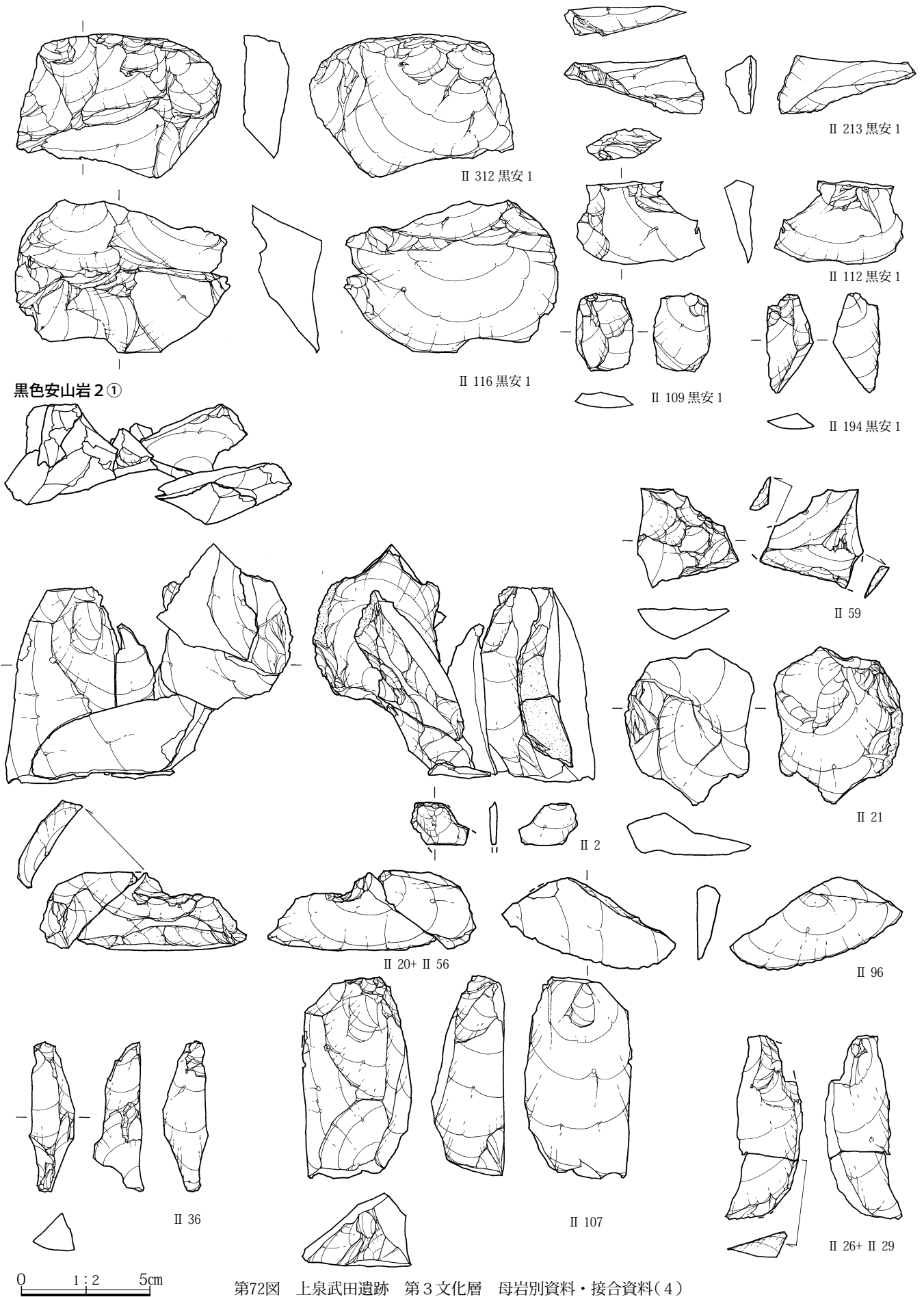
黑色安山岩 1 ⑫



黑色安山岩 1 ⑭

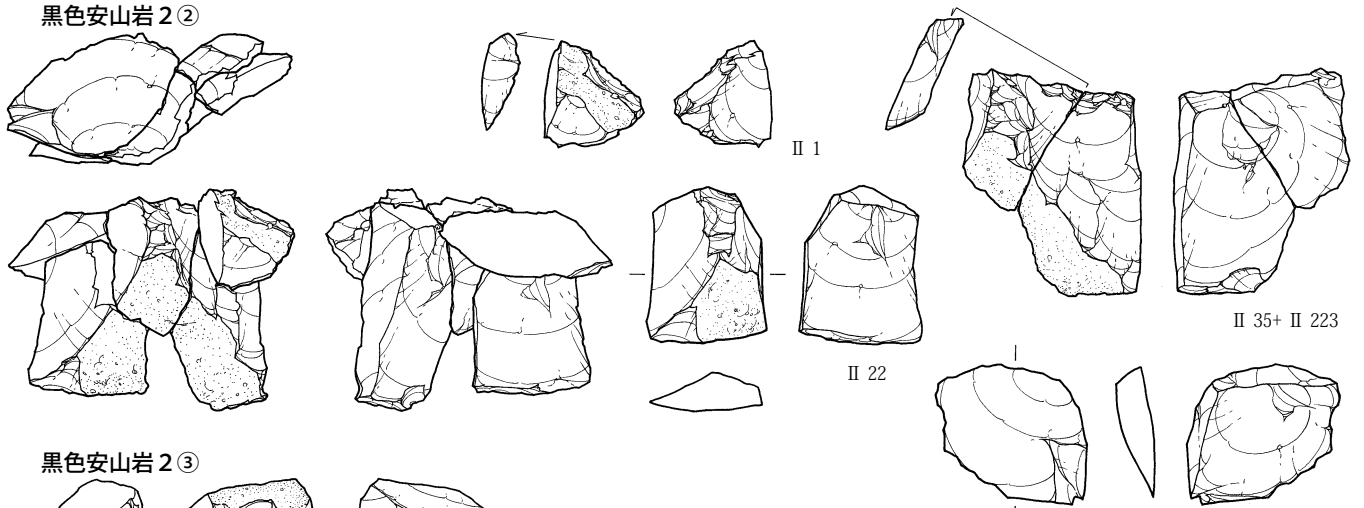


第71図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(3)

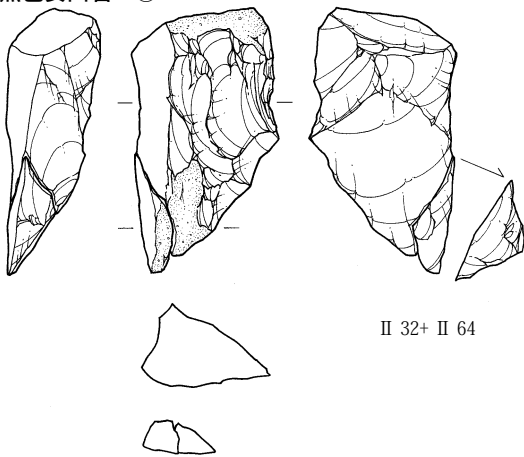


第72図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(4)

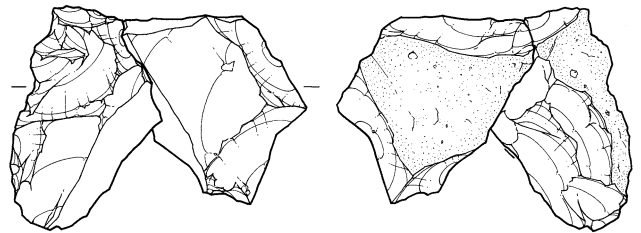
黑色安山岩 2②



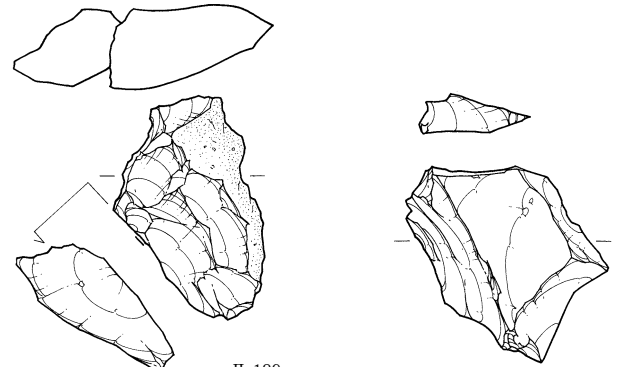
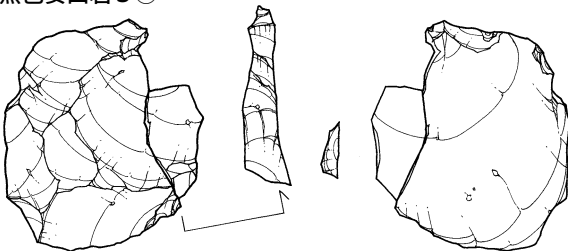
黑色安山岩 2③



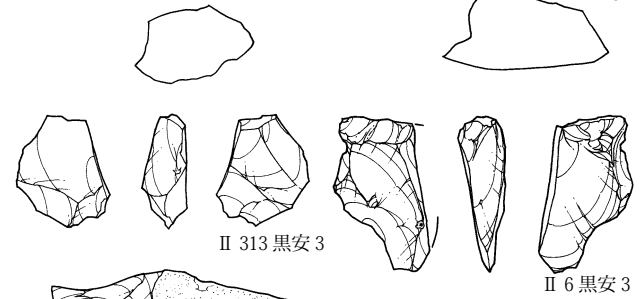
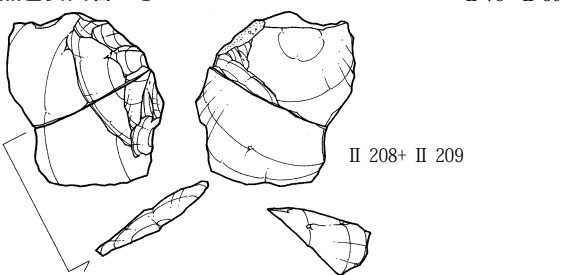
黑色安山岩 3①



黑色安山岩 3②



黑色安山岩 3④



II 303 黒安 3

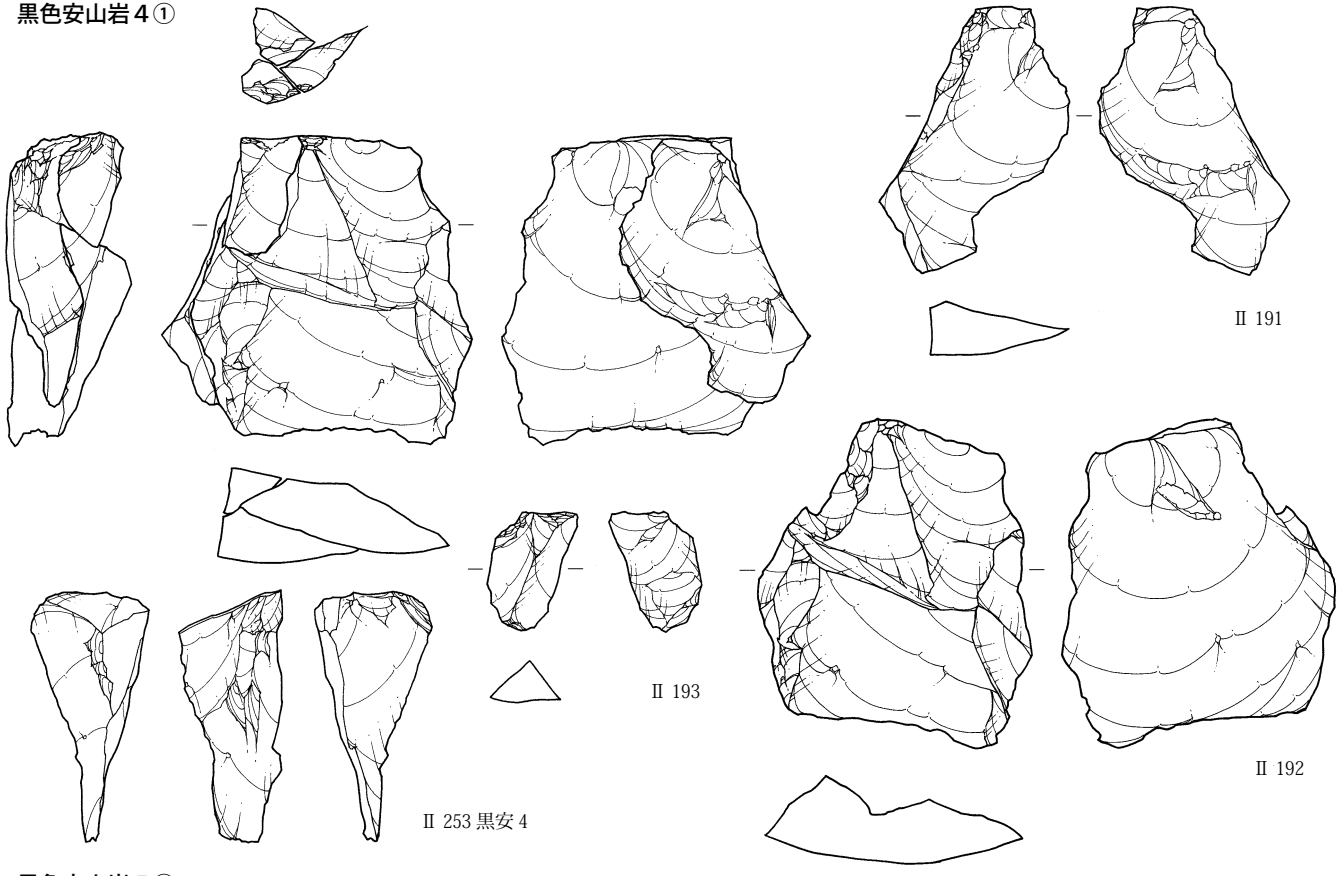
II 309 黒安 3

II 306 黒安 3

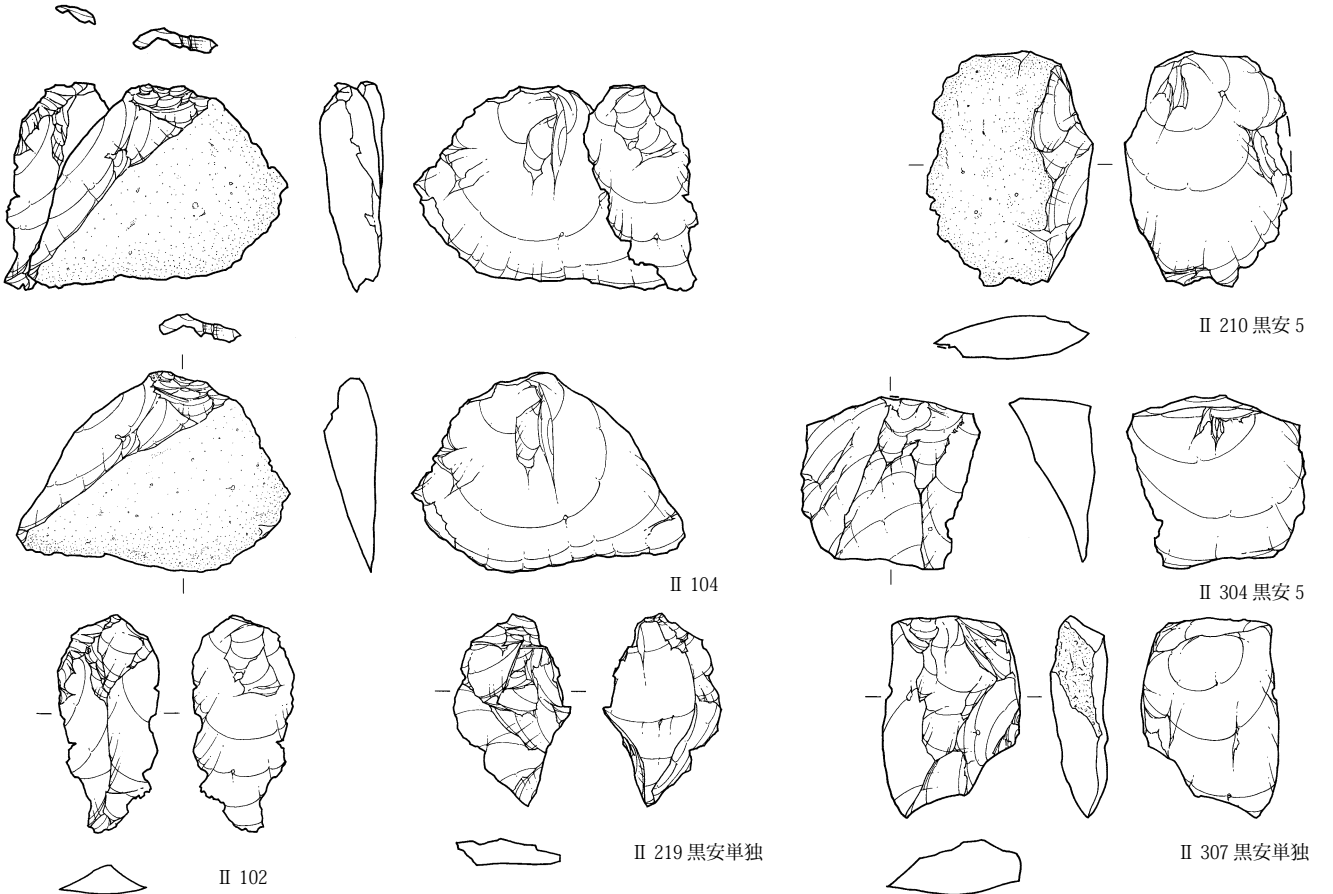
0 1:2 5cm

第73図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(5)

黑色安山岩 4①



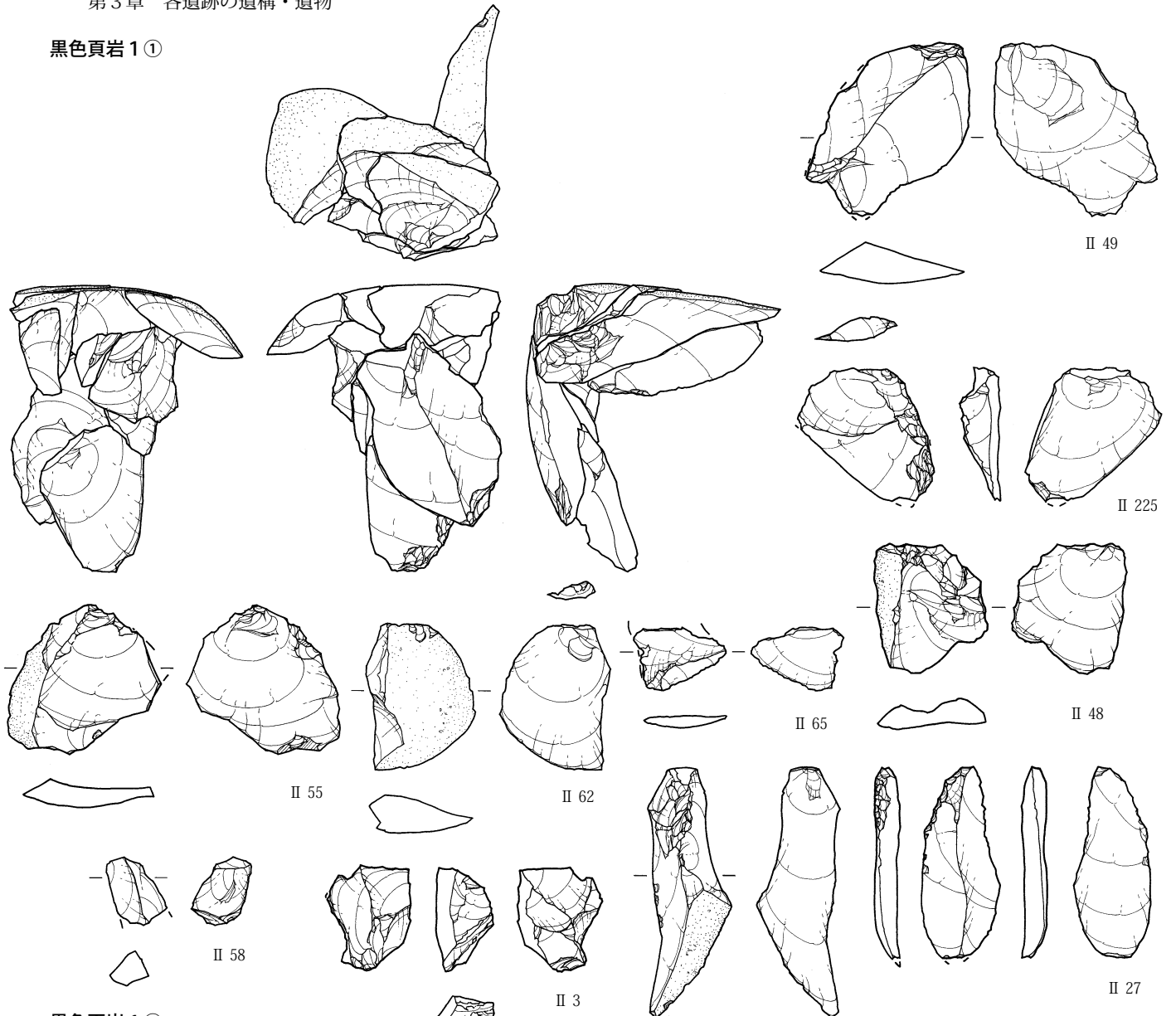
黑色安山岩 5①



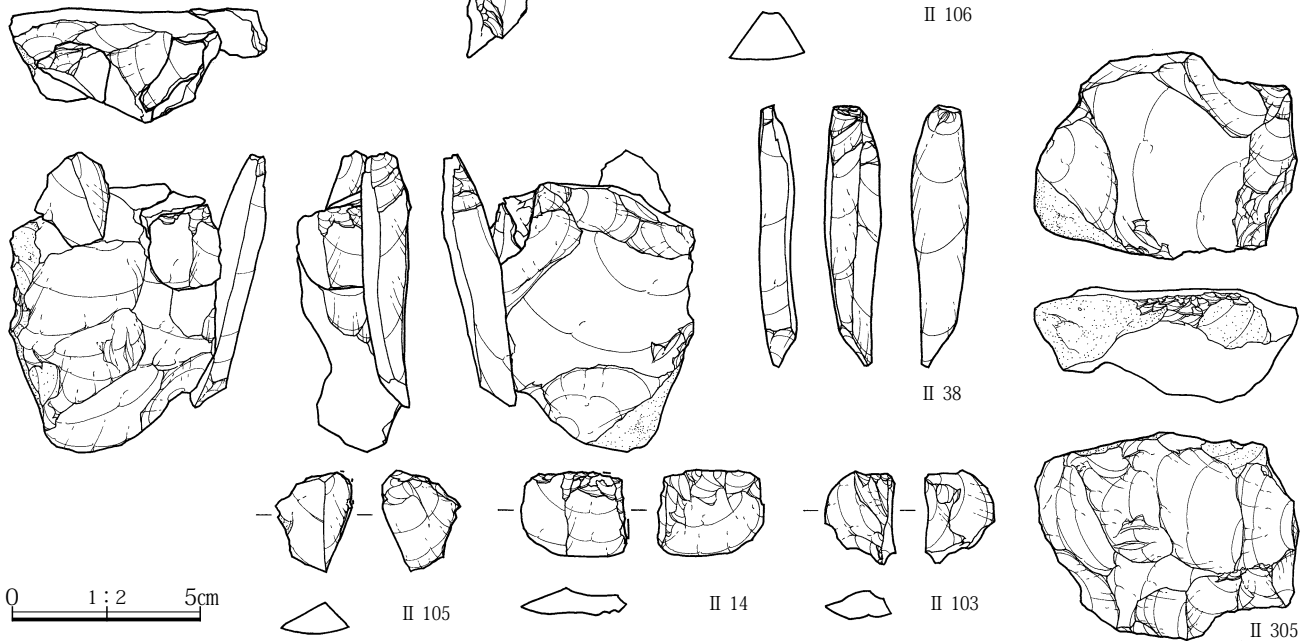
第74図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(6)

0 1:2 5cm

黒色頁岩 1①



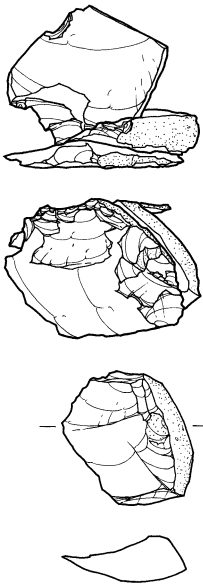
黒色頁岩 1②



0 1:2 5cm

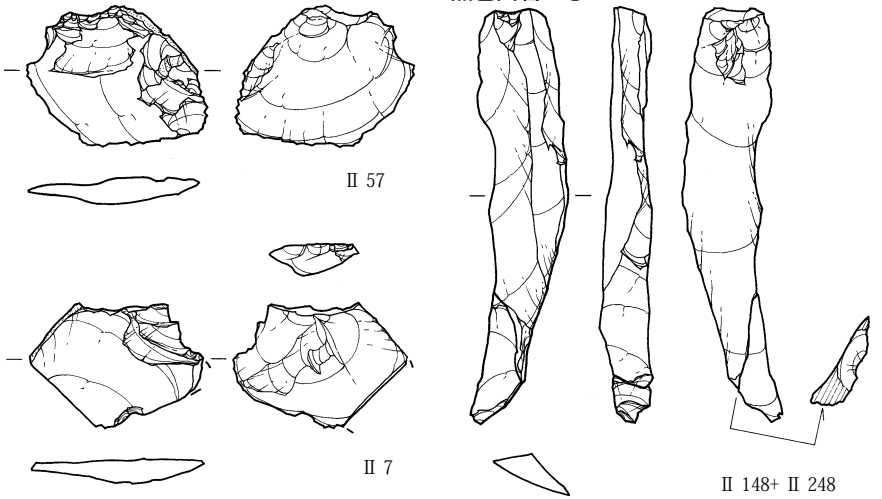
第75図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(7)

黑色頁岩 1 ③



II 50

黑色頁岩 1 ④

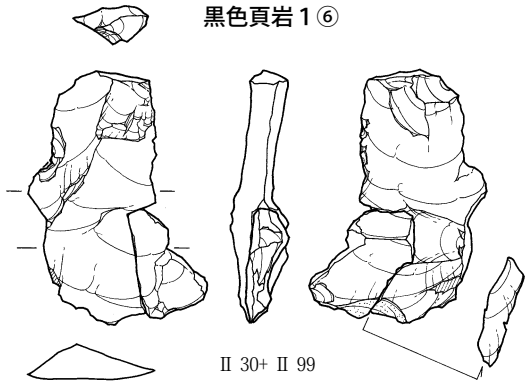


II 57

II 7

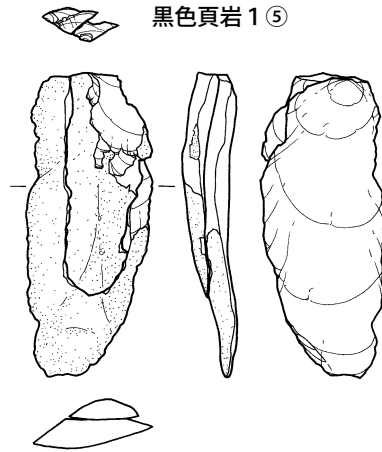
II 148+ II 248

黑色頁岩 1 ⑥



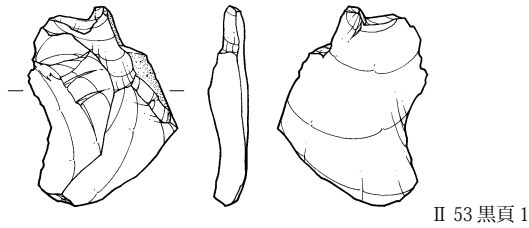
II 30+ II 99

黑色頁岩 1 ⑤

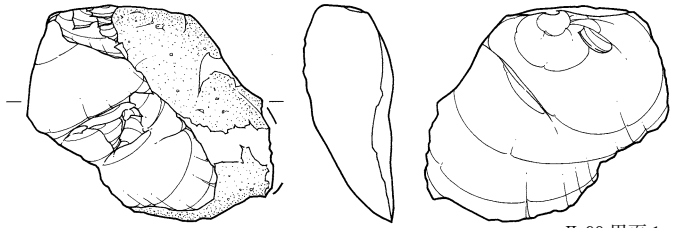


II 131

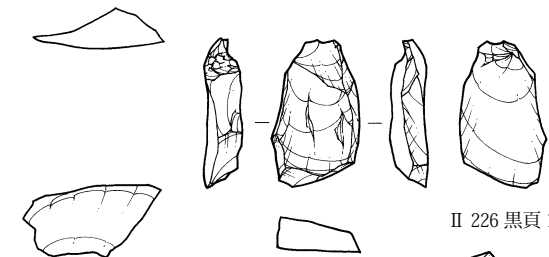
II 128



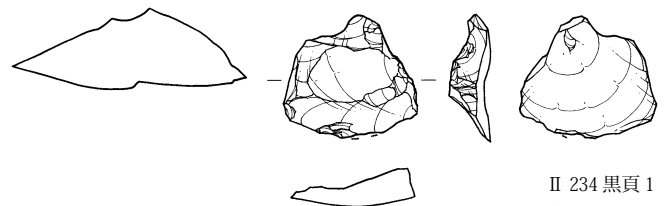
II 53 黒頁 1



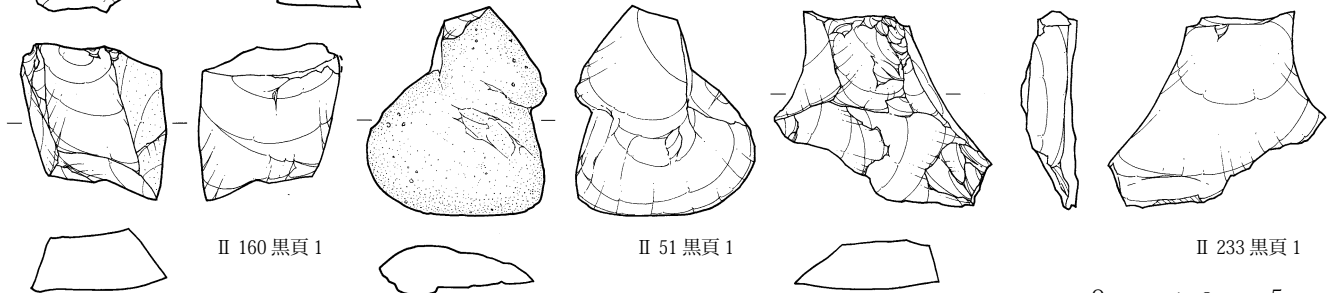
II 90 黒頁 1



II 226 黒頁 1



II 234 黒頁 1

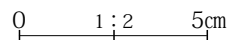


II 160 黒頁 1

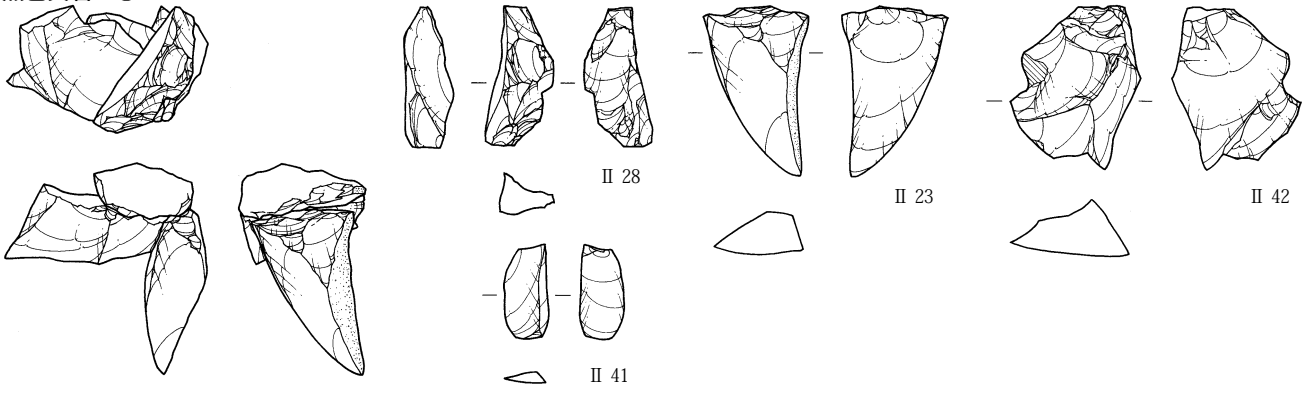
II 51 黒頁 1

II 233 黒頁 1

第76図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(8)



黒色頁岩2①

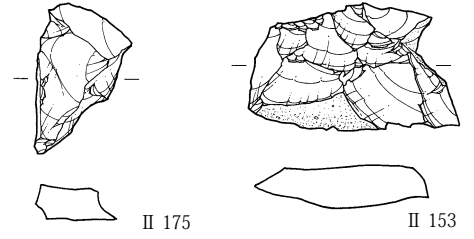
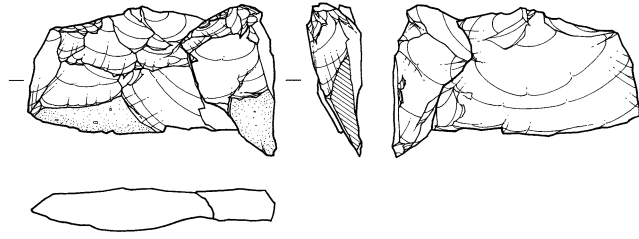


黒色頁岩3①

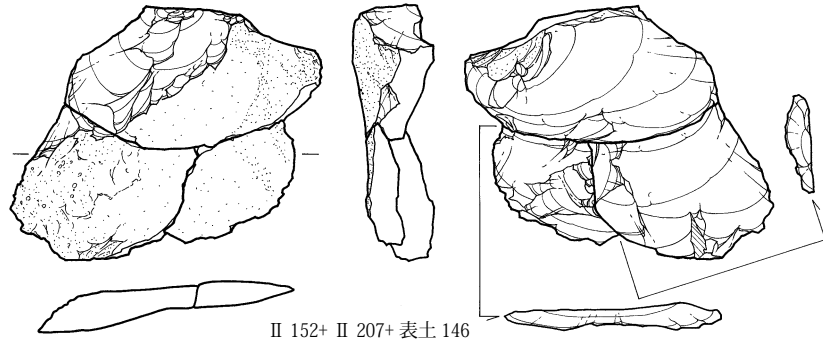


第77図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(9)

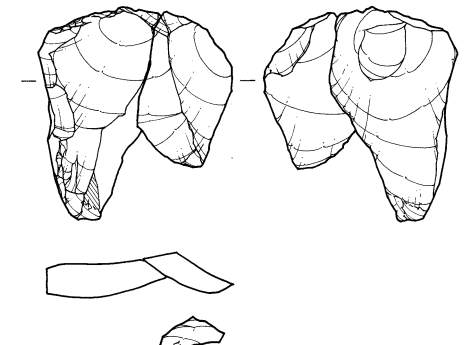
黑色頁岩4②



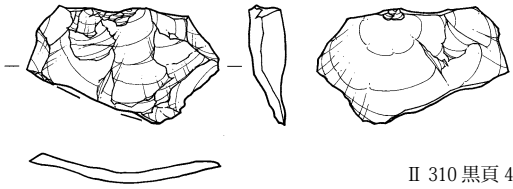
黑色頁岩4①



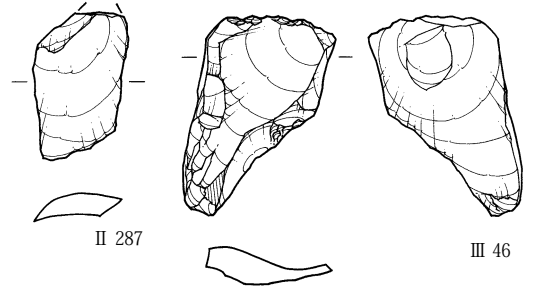
黑色頁岩5①



II 152+ II 207+ 表土 146

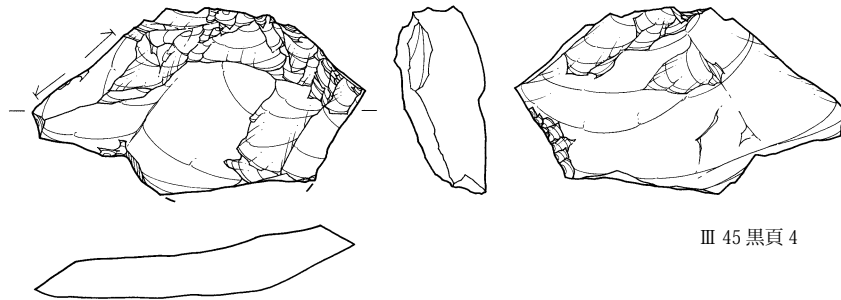


II 310 黒頁4

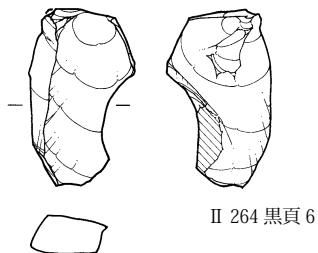


II 287

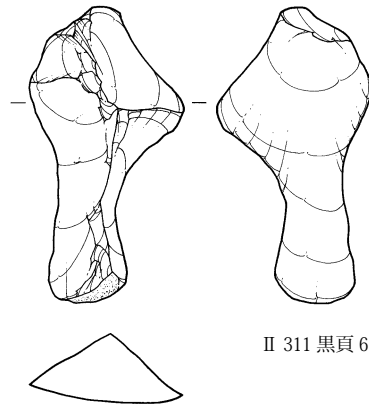
III 46



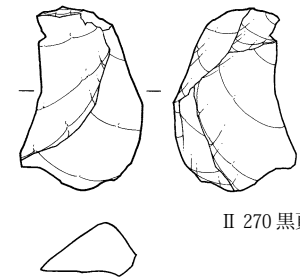
III 45 黒頁4



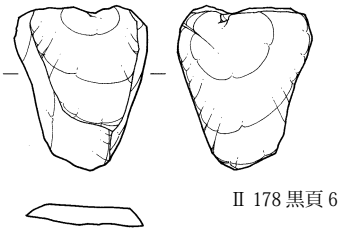
II 264 黒頁6



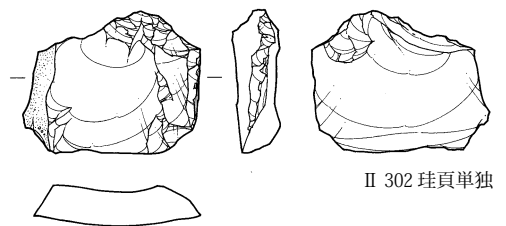
II 311 黒頁6



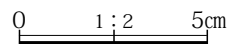
II 270 黒頁6



II 178 黒頁6

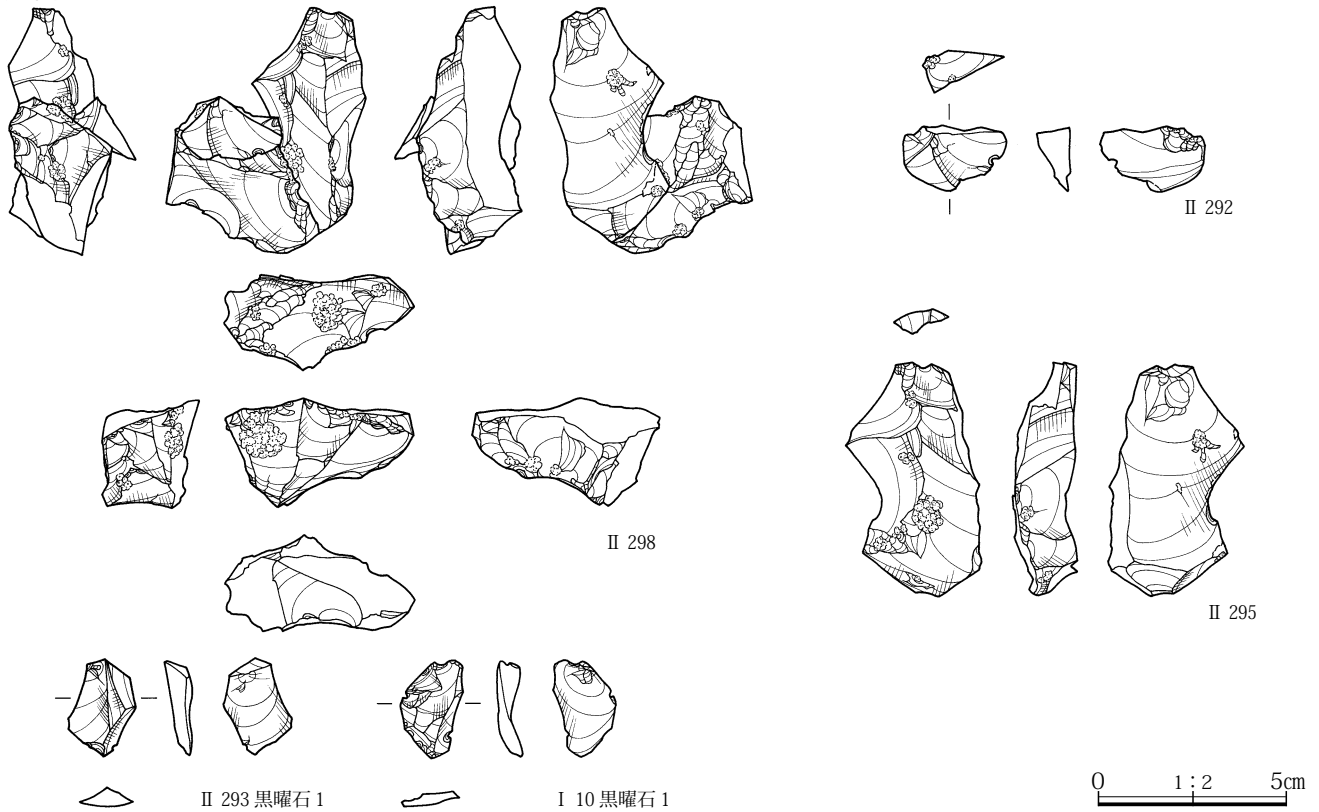


II 302 珪頁単独



第78図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(10)

黒曜石 ①



第79図 上泉武田遺跡 第3文化層 母岩別資料・接合資料(11)

(8) 石材の分布(第83図)

黒色安山岩については2号ブロックに集中、同一母岩が他のブロックに分布する。同様な傾向は黒色頁岩にもあり、7号ブロックに密に分布、周辺ブロックに少量が分布した。このほか、黒曜石が9号ブロックに集中した。

(9) 接合資料の分布(第84～86図)

接合資料が多いのは2号ブロックと7号ブロックである。接合資料は同一ブロック内で完結している事例が多いものの、ブロック間をまたぐ資料が、2号ブロックと3号ブロック、2号ブロックと5号ブロック、3号ブロックと5号ブロックと6号ブロック、4号ブロックと5号ブロック、6号ブロックと7号ブロックと8号ブロックのそれぞれの間で接合する。

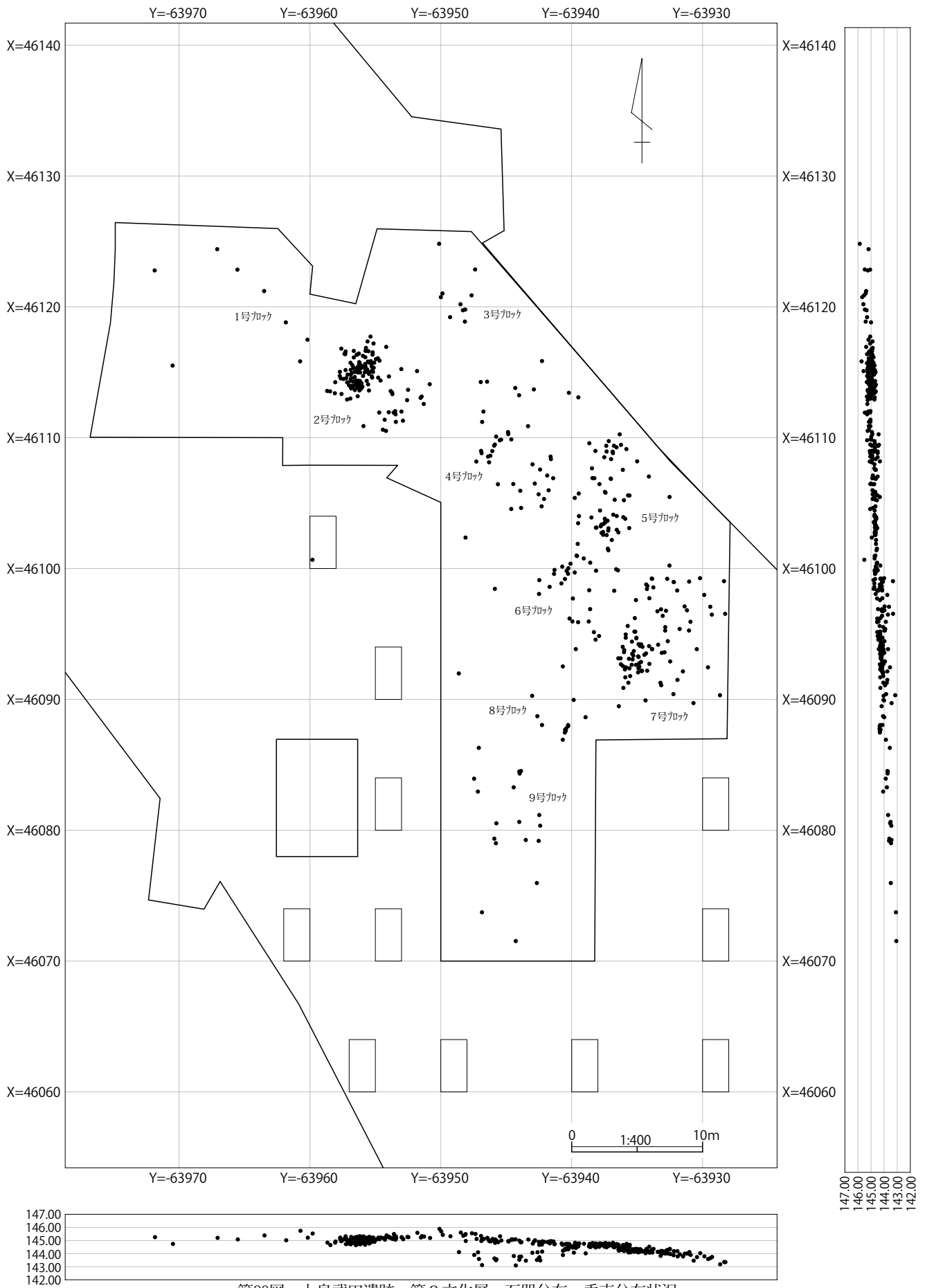
出土層位や石器組成、主要な石器の様子から、群馬Ⅱ期前半期と考えられる。

6 その他(第87図、PL.72・73)

結晶片岩類は、第3文化層で26点確認されている。第6ブロックのすぐ北西に位置する雲母石英片岩1点を除いて、雲母石英片岩18点と黒色片岩7点は、第6ブロックの南西、第8ブロックの北西に集中して分布する。

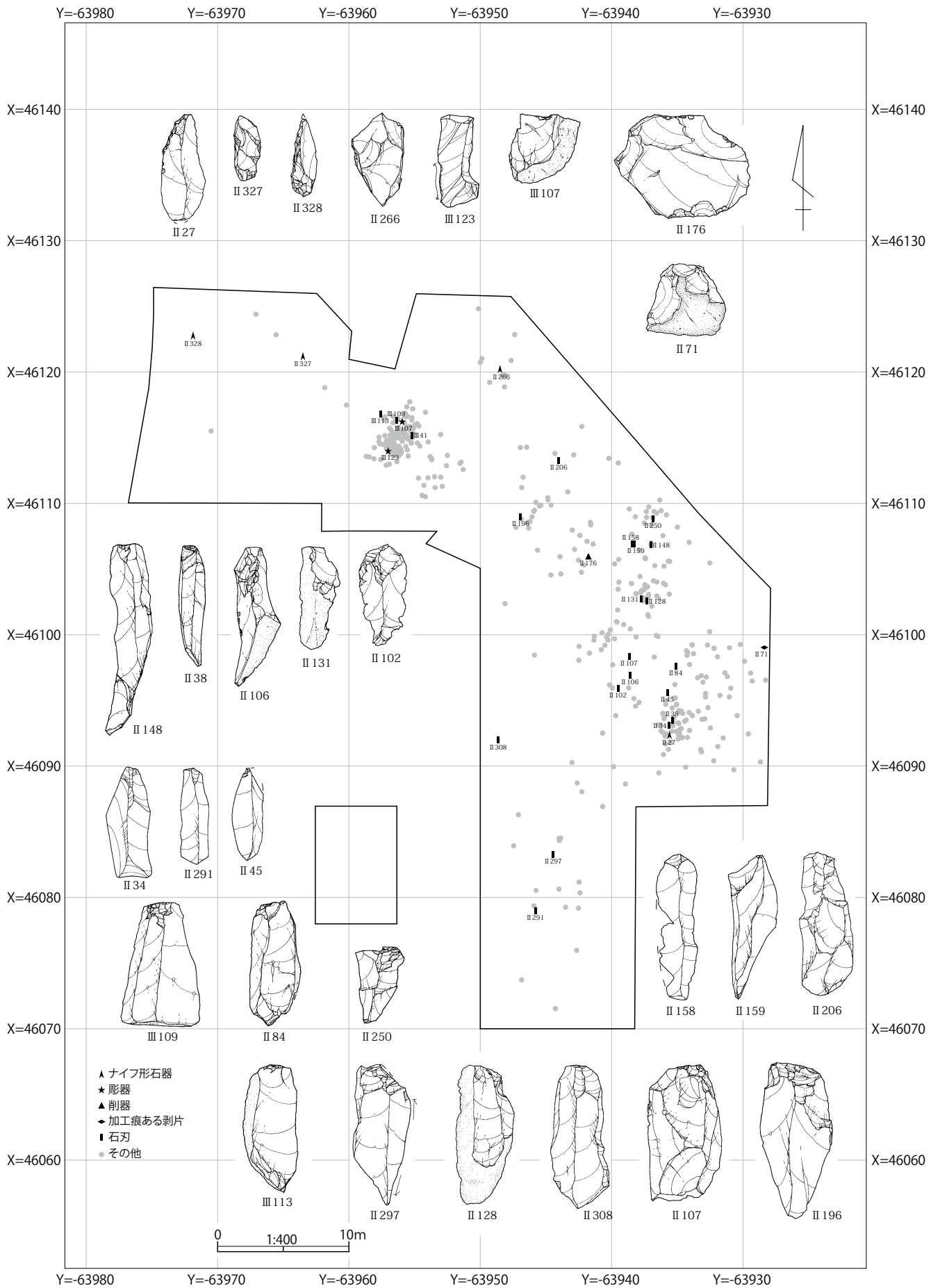
雲母石英片岩 II 171、Ⅲ2、Ⅲ6、Ⅲ7、Ⅲ8、Ⅲ9、Ⅲ10、Ⅲ11、Ⅲ12、Ⅲ13、Ⅲ16、Ⅲ17、Ⅲ122、J17-128、I19-129、J1-130、1サン4、1サン7、1サン8、

黒色片岩 Ⅲ3、Ⅲ5、Ⅲ14、Ⅲ15、1サン3、1サン5、1サン6

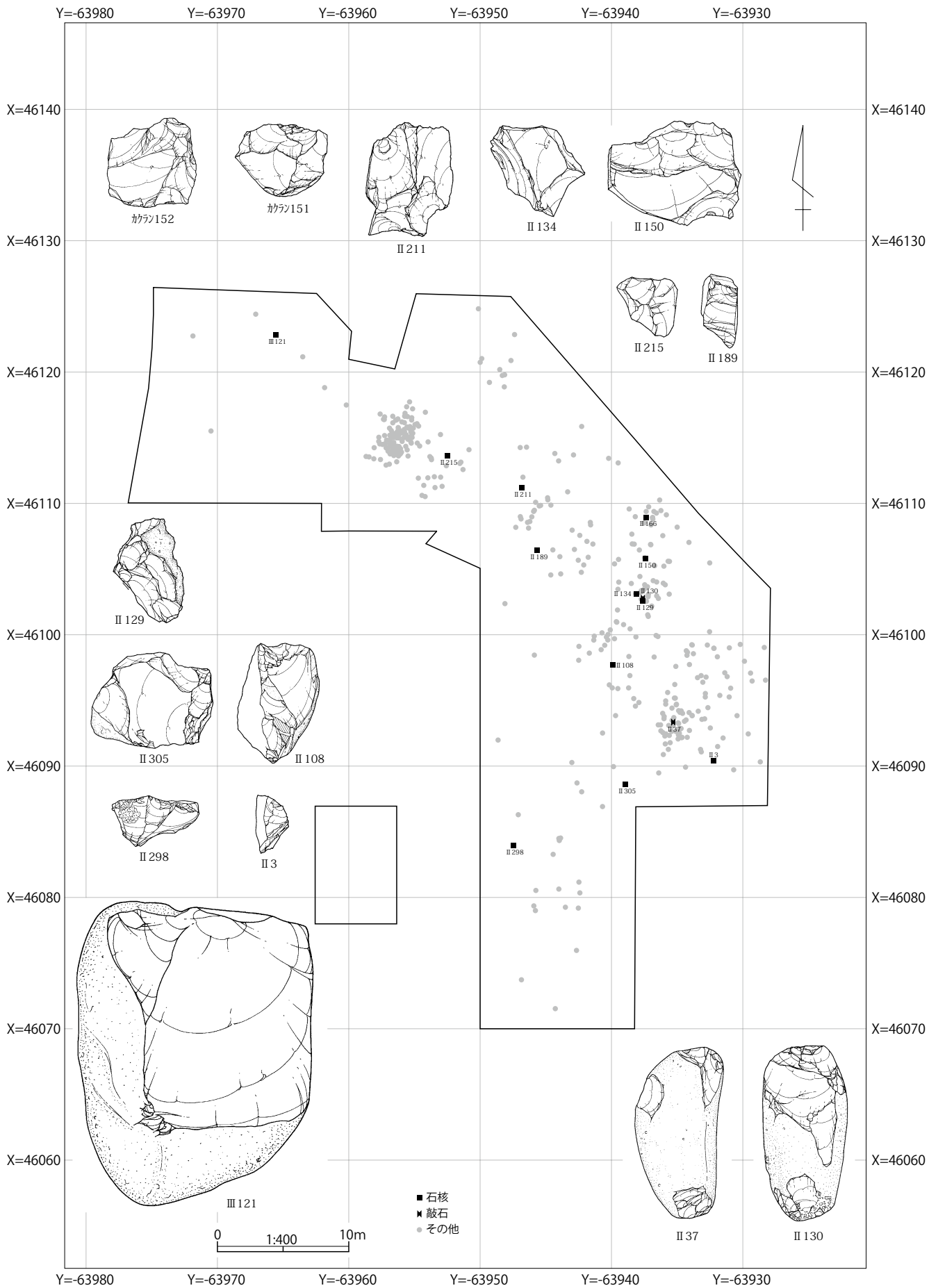


第80図 上泉武田遺跡 第3文化層 石器分布・垂直分布状況

第3章 各遺跡の遺構・遺物

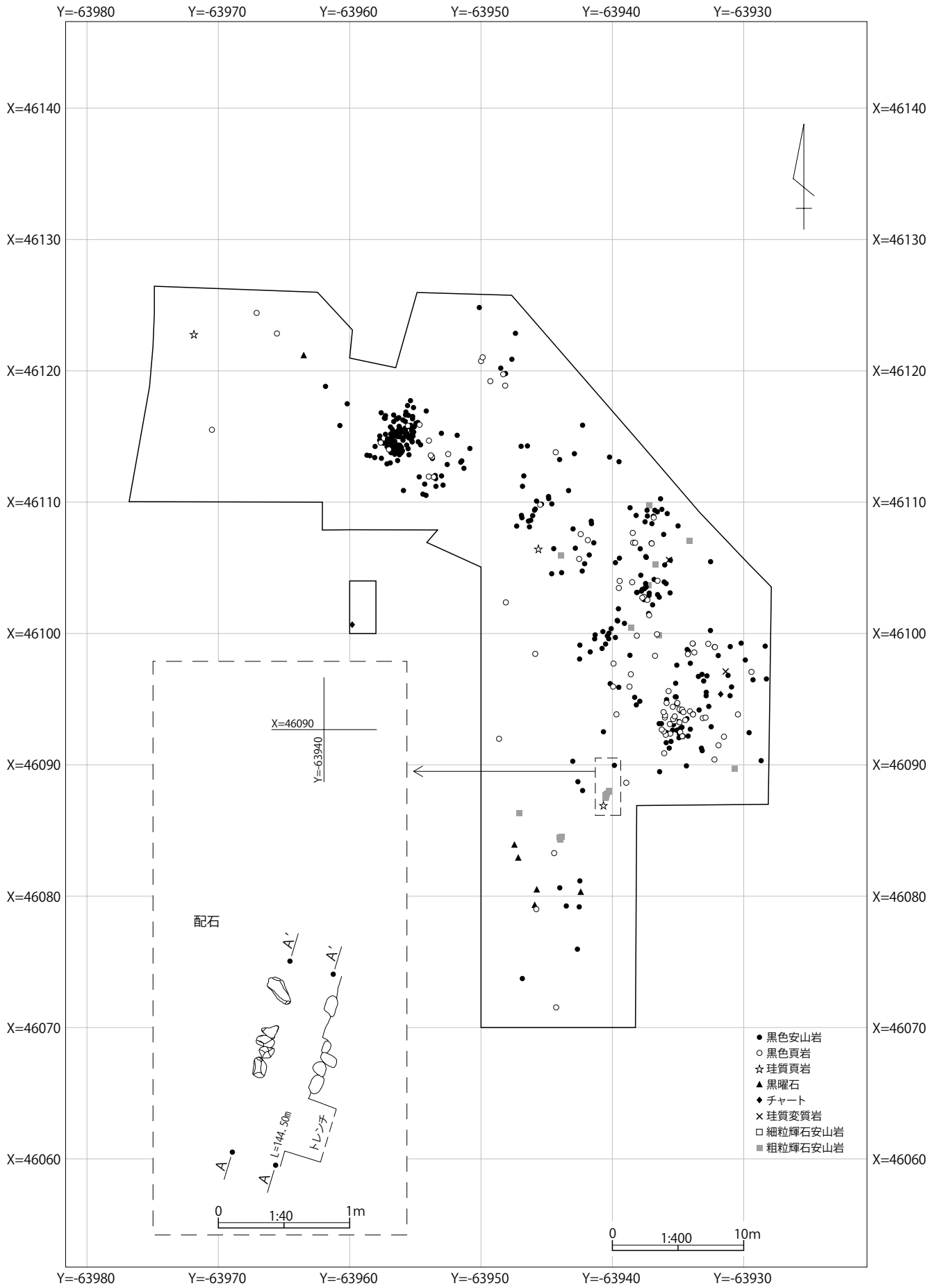


第81図 上泉武田遺跡 第3文化層 器種別分布状況(1)

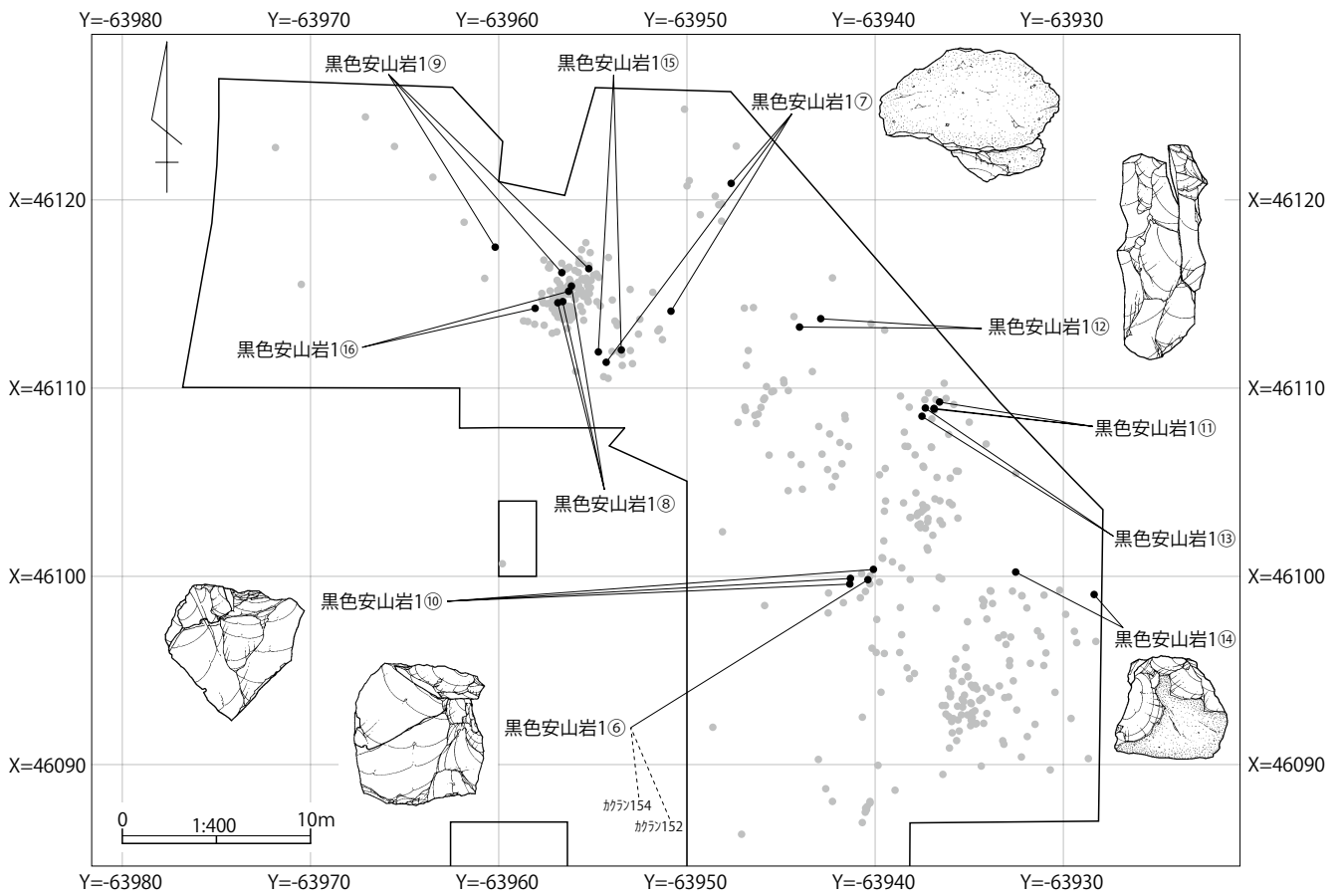
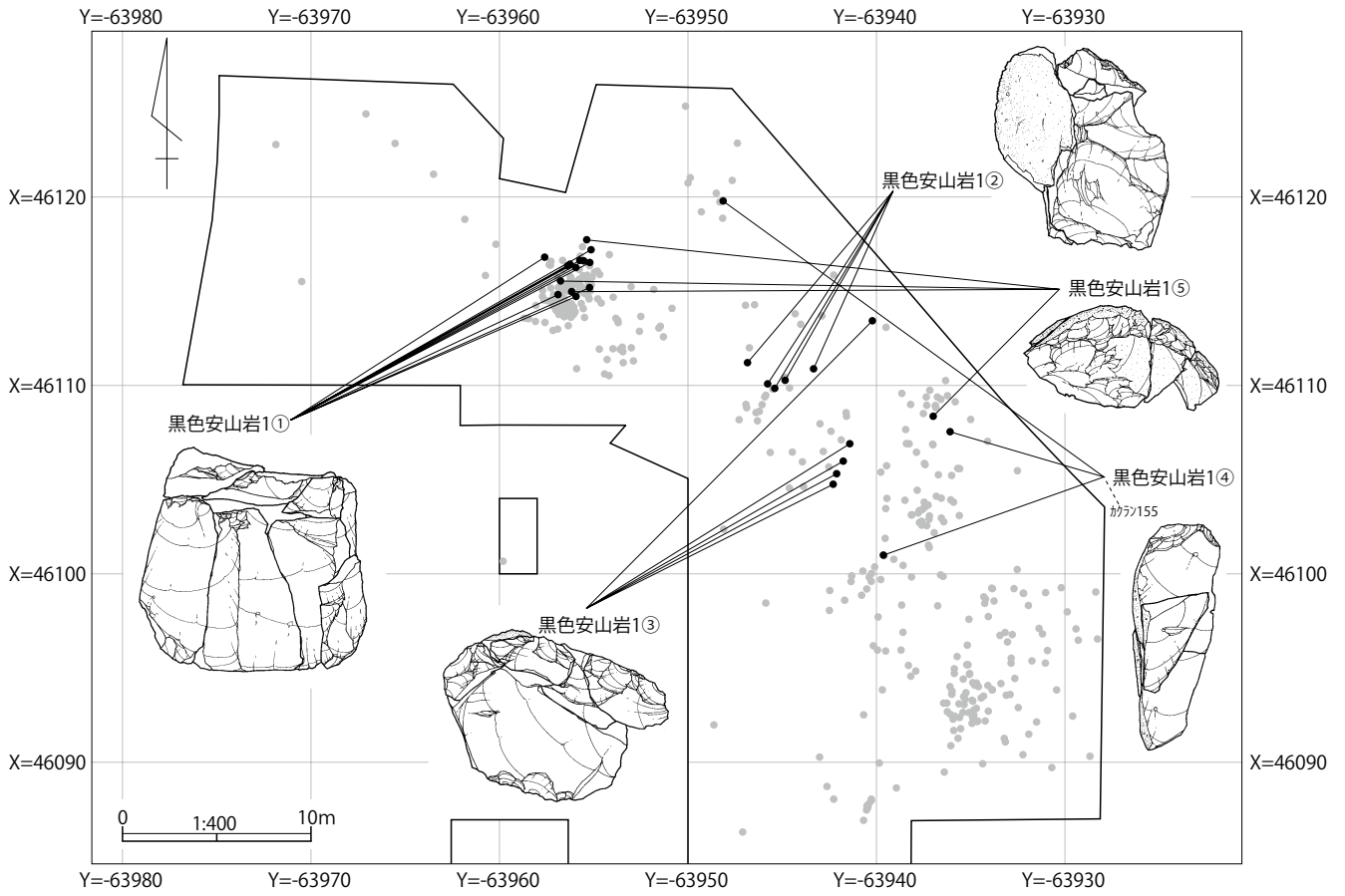


第82図 上泉武田遺跡 第3文化層 器種別分布状況(2)

第3章 各遺跡の遺構・遺物

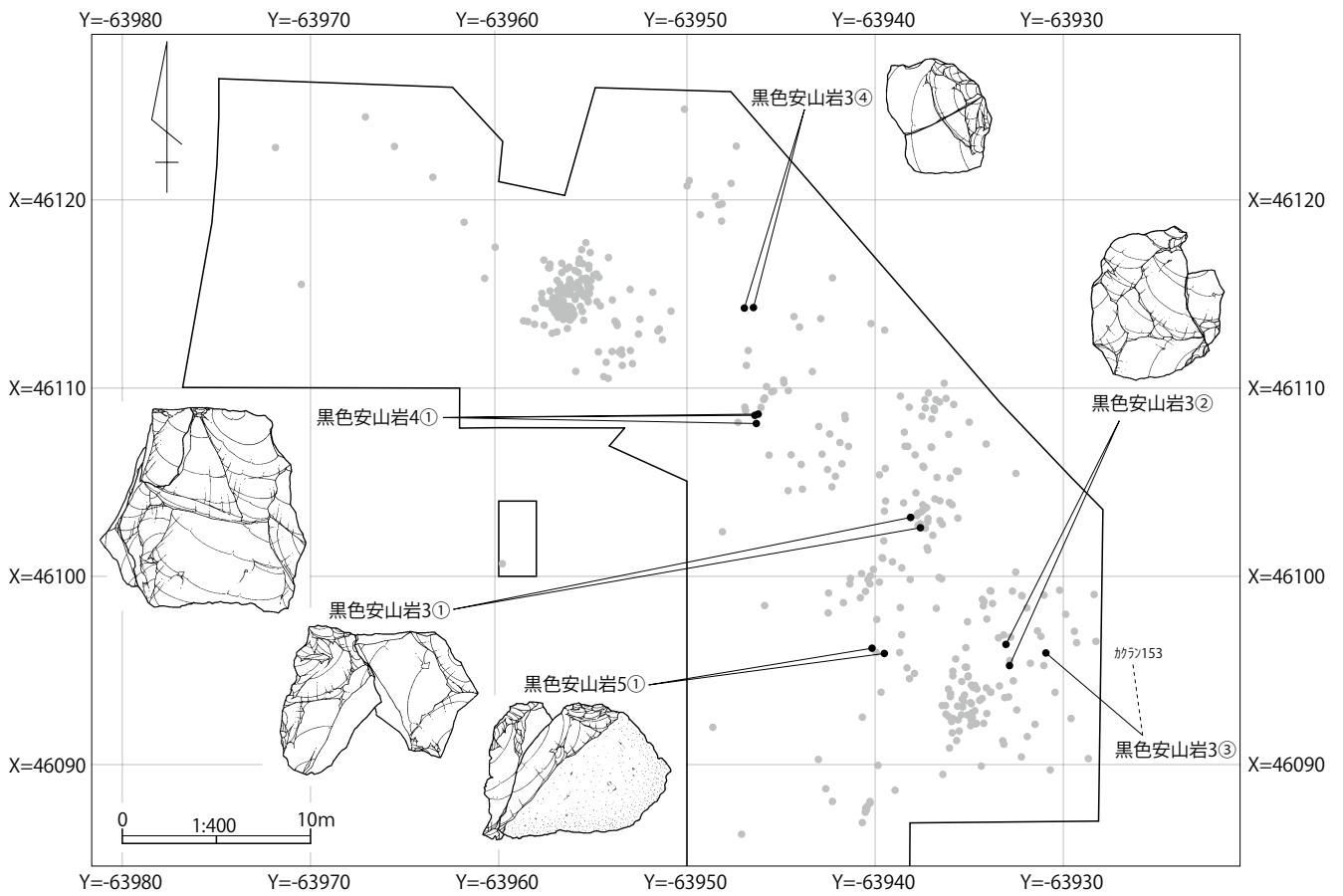
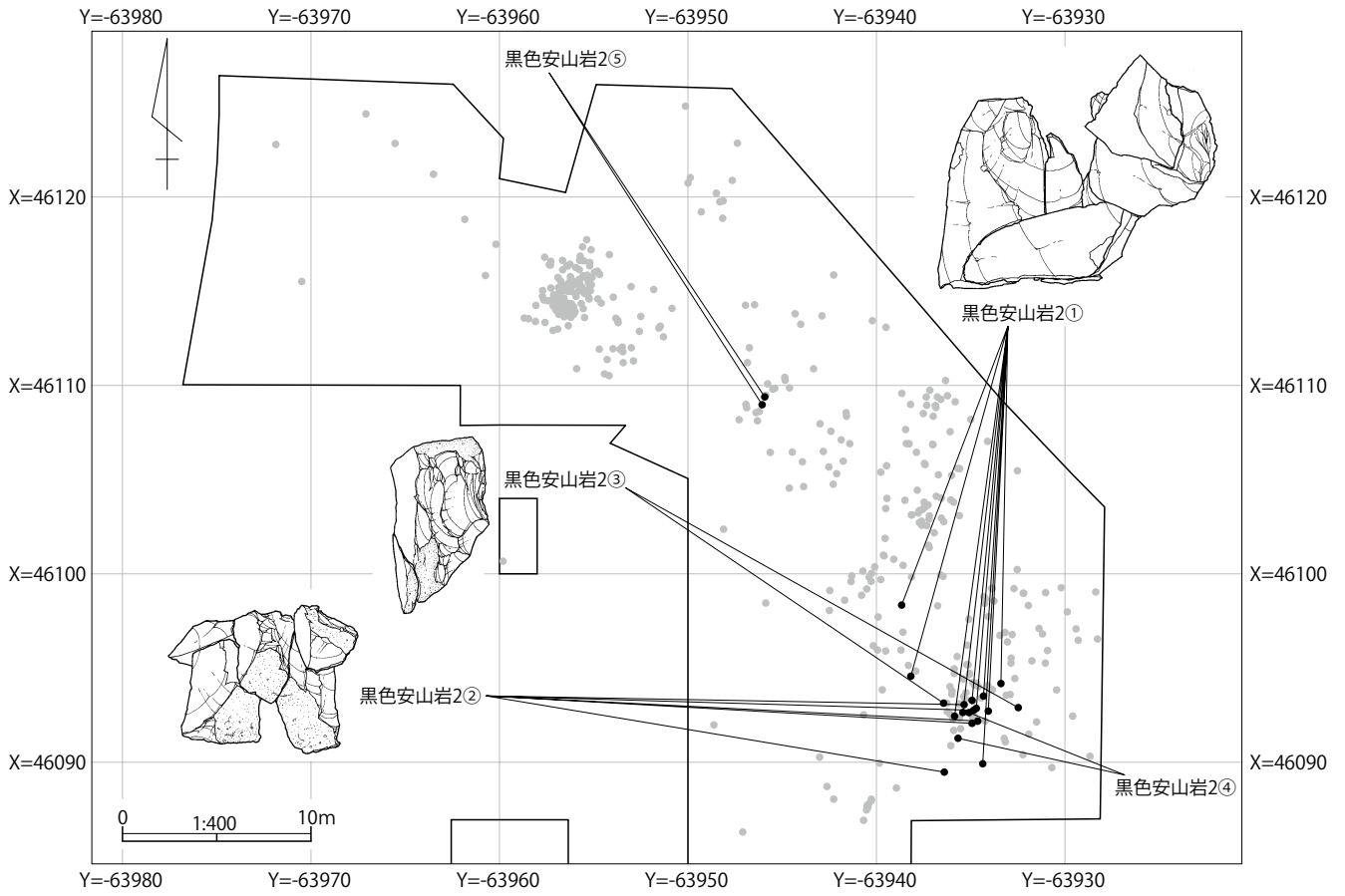


第83図 上泉武田遺跡 第3文化層 石材別分布・配石状況

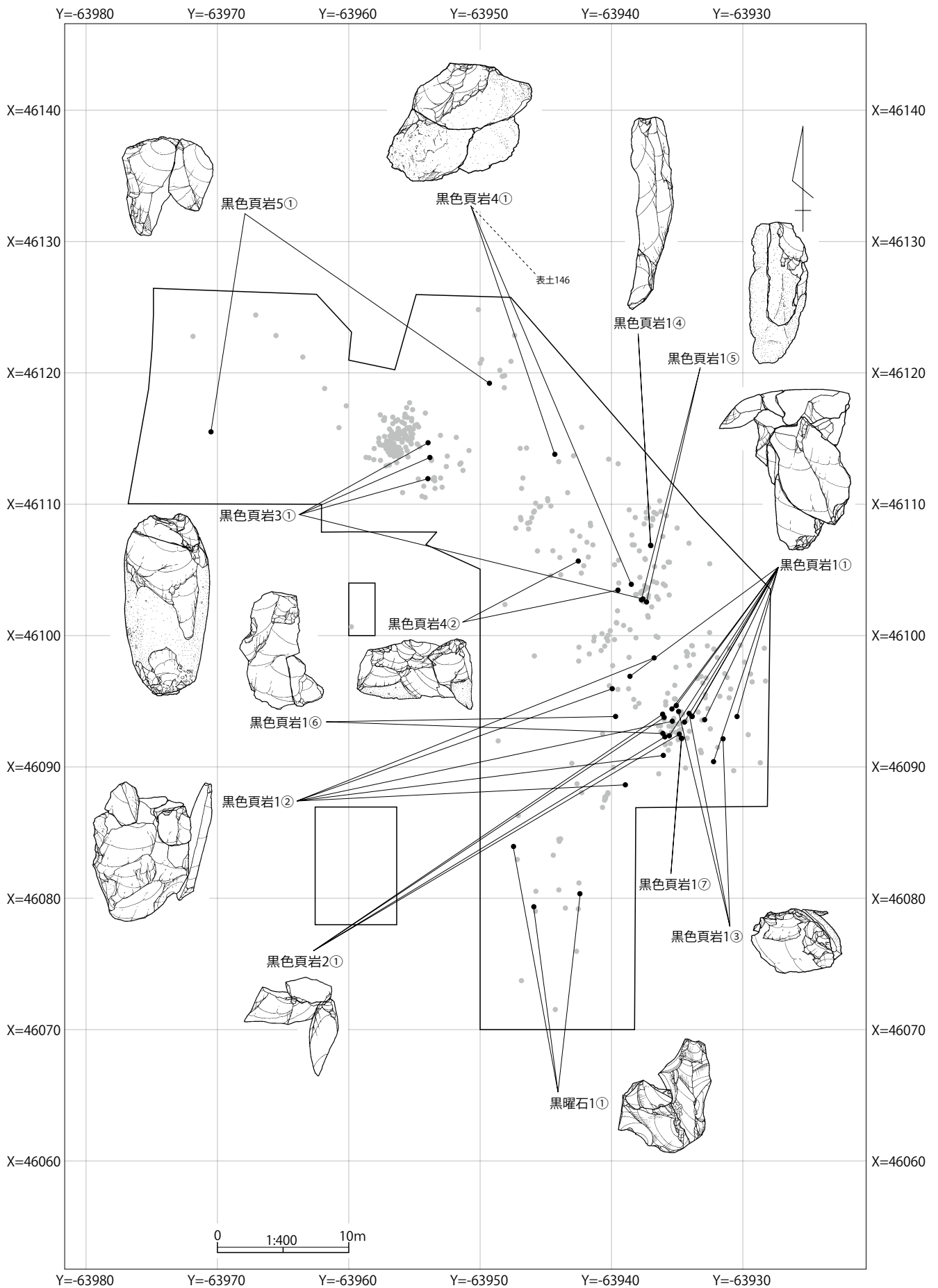


第84図 上泉武田遺跡 第3文化層 接合資料の分布状況(1)

第3章 各遺跡の遺構・遺物

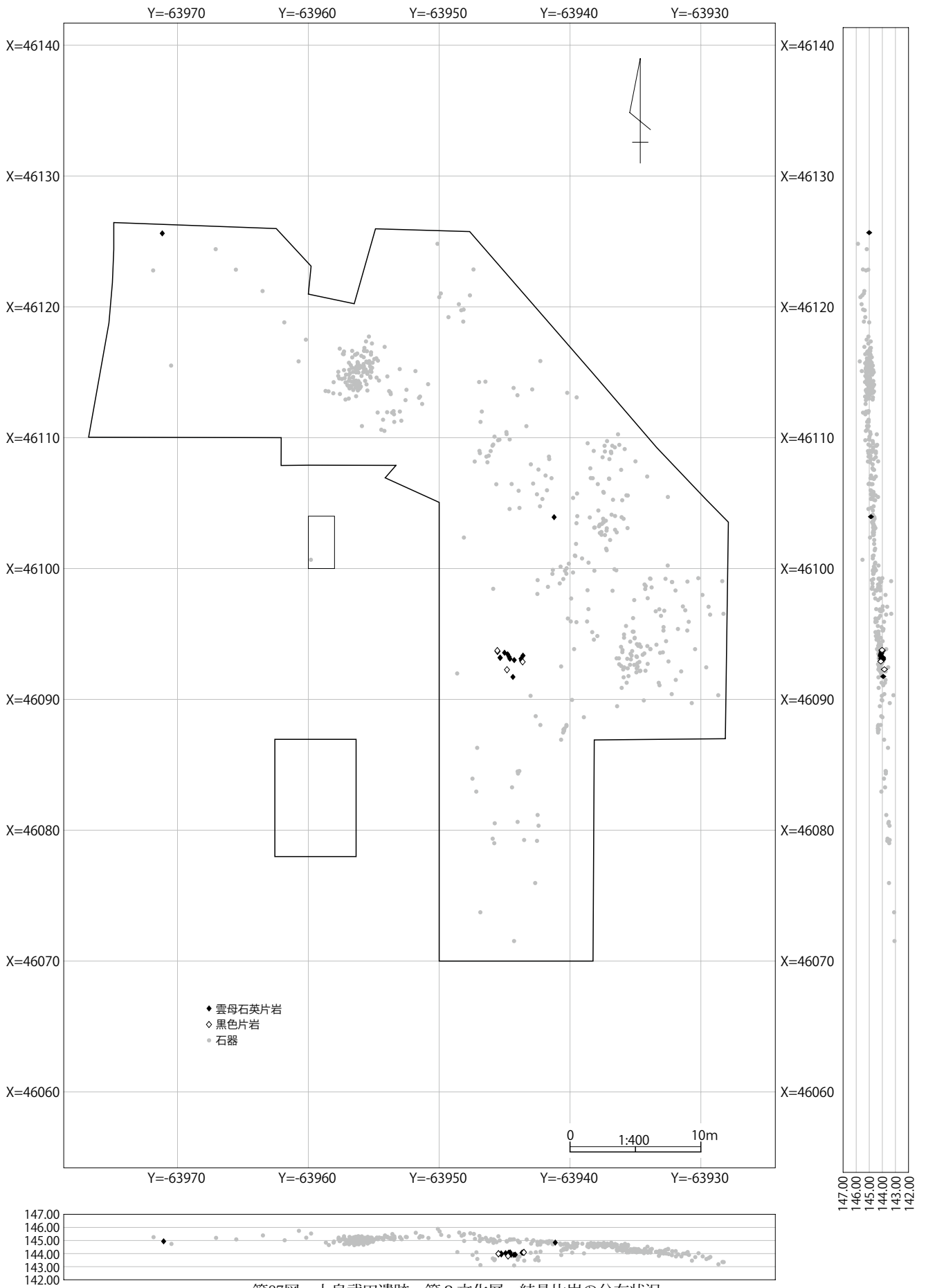


第85図 上泉武田遺跡 第3文化層 接合資料の分布状況(2)



第86図 上泉武田遺跡 第3文化層 接合資料の分布状況(3)

第3章 各遺跡の遺構・遺物



第87図 上泉武田遺跡 第3文化層 結晶片岩の分布状況

第4節 五代砂留遺跡群

1 遺跡の概要

五代砂留遺跡群(JK55)は、五代川と天神川に挟まれた南北に細長い台地上に位置する。石器群は6地点で確認されている。このうち集中度の高い地点が3ヶ所にあり、特に調査区西の台地縁辺(拡張5区)に集中分布した。残る2地点は調査区東の台地縁辺(拡張5区)と台地中央付近(拡張3区)にあり、それぞれ単独の石器ブロックとして確認されている。

2 調査の経過

五代砂留遺跡群では、平成19年度の発掘調査でトレンチから遺物の存在が確認された地点を順次拡張したために、拡張1区(33区)、拡張3区(32区)、拡張5区(21区)、拡張6区(34区)、拡張7区(33・34区)と呼称し、さらに複数の遺物が出土した拡張7区を第1地点、拡張3区を第2地点、拡張5区を第3地点と呼称した。調査地点が多いことから、出土した石器の登録番号で「拡張」を「K」と表記した。つまり、「拡張1区」は「K1」となり、注記も同様である。

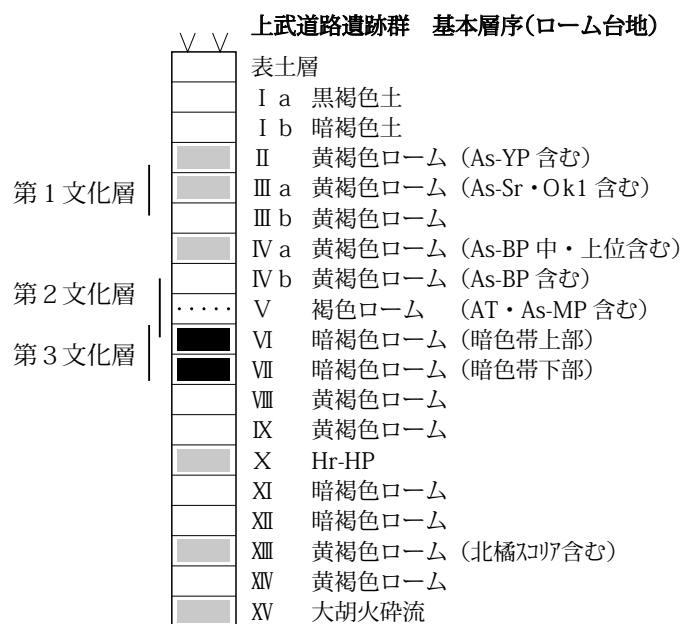
このうちの5ヶ所に遺物の出土地点があり、それぞれの遺物の出土層位は拡張6区と拡張3区が浅間大窪沢第1軽石(As-0k1)下位、拡張1区が浅間板鼻褐色軽石(As-BP)の下位、拡張5区と拡張7区が暗色帯中であった。

なお、本遺跡の旧石器時代の遺構・遺物に関する記載は下記に報告されているが、本報告を最終内容とする。

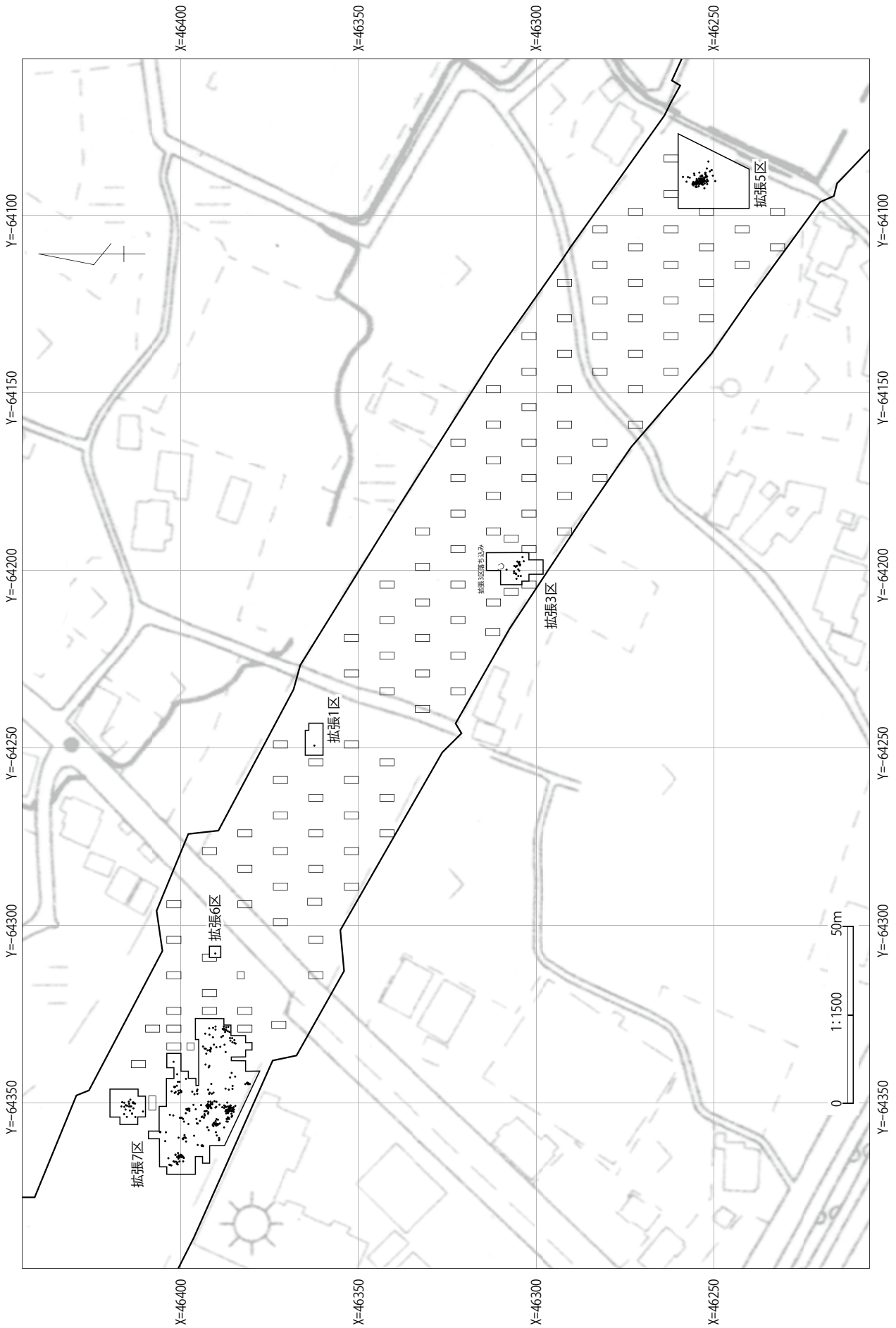
①『年報』27(平成19年度事業概要)2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

②『財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団』WEB 19年11月 20年2月、3月

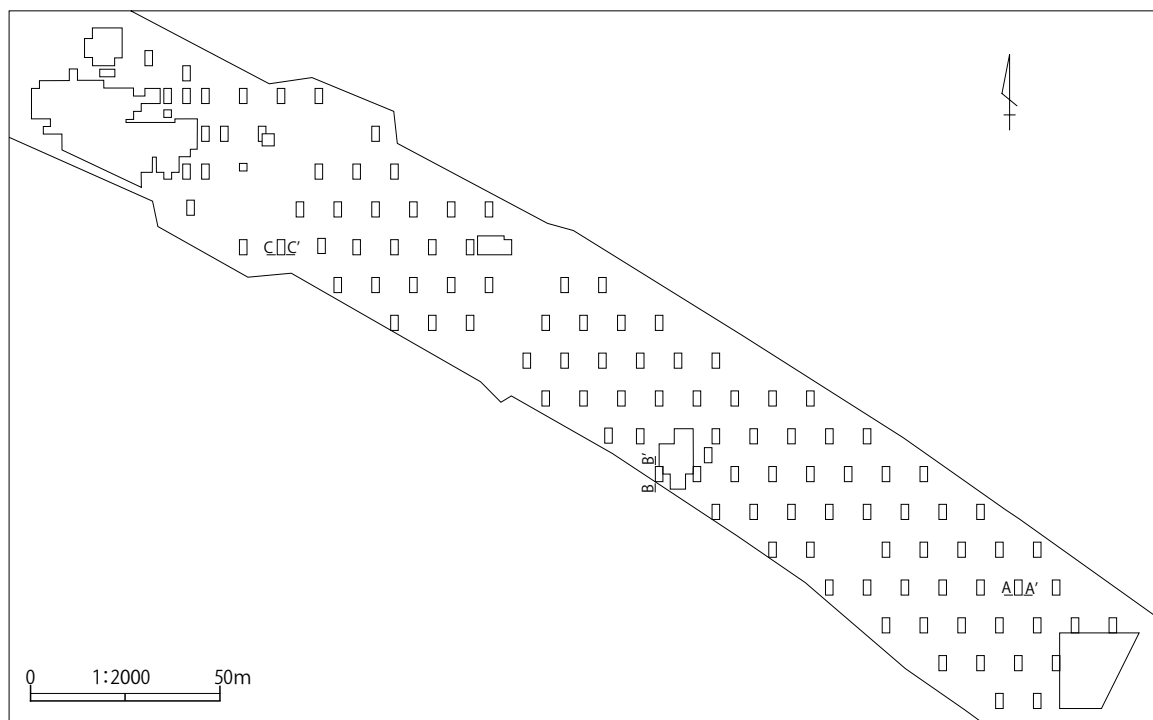
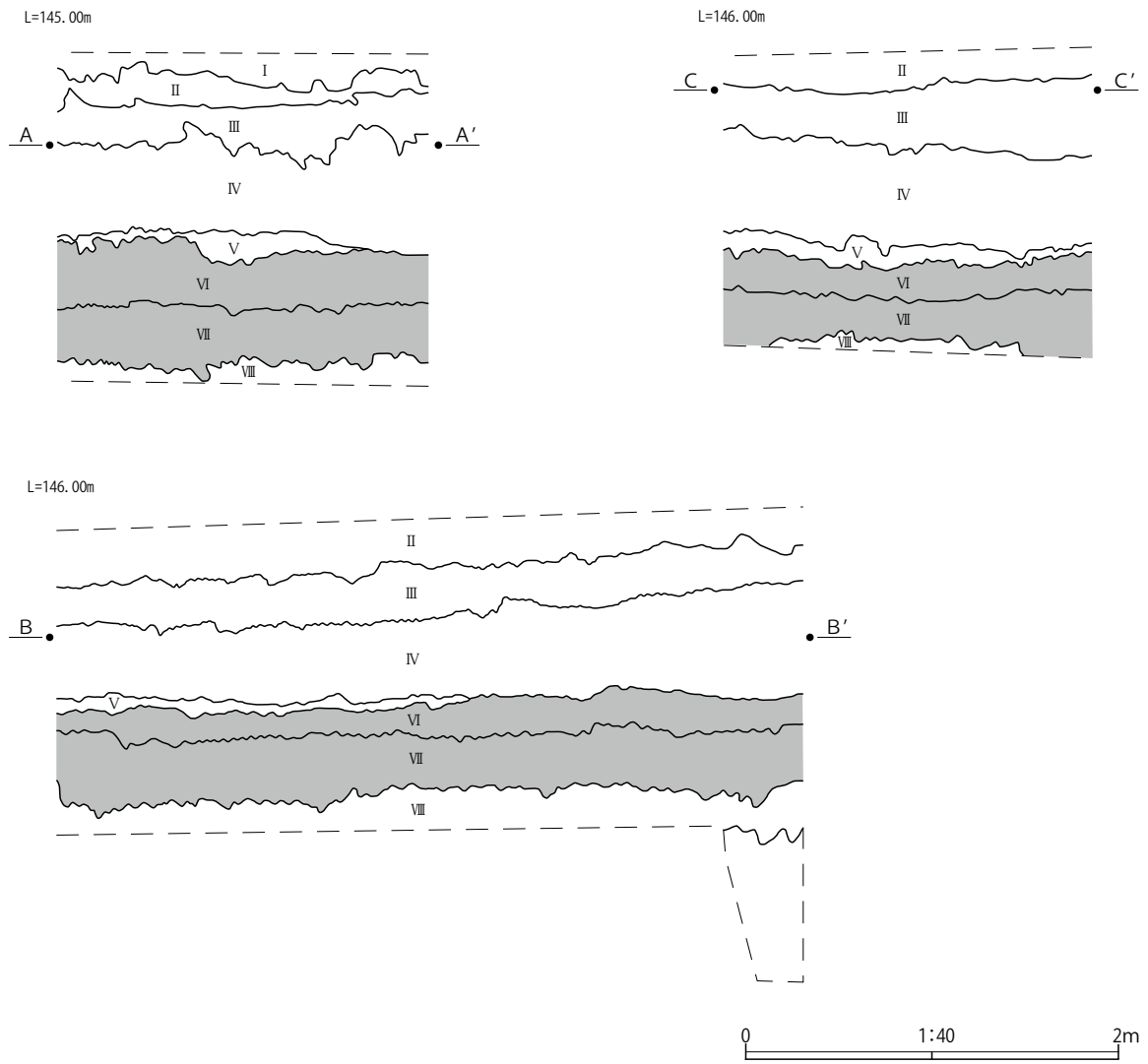
第88図は、上武道路が通過する赤城山南東麓のローム台地の基本土層であるが、本遺跡で確認されているのは、このうちのI層~XII層である。



第88図 五代砂留遺跡群の文化層



第89図 五代砂留遺跡群 石器分布状況



第90圖 五代砂留遺跡群 土層堆積狀況

3 第1文化層

第1文化層は、拡張6区と拡張3区で検出された。

<第6拡張区>(第89・92図)

(1)出土層位

基本土層のⅢ層を中心にⅣ層にかけて出土した。テフラとの関係では浅間板鼻黄色軽石(As-YP、約13,000年前)より下位で、浅間大窪沢第1軽石(As-0k1、約17,000年前)までの間である。

(2)検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3)出土遺物

第1文化層の石器は、槍先形尖頭器1点のみである。

槍先形尖頭器(第91図、K6-1、PL.32)先端側両辺に素材面を残す他、平坦剥離を加えて石器を作出する。縦長剥片の打面側を尖頭器基部側に用い、周辺加工して器体を完成させている。先端側右辺は表裏面ともそのまま素材のエッジが残されているように図示されているが、背面側のエッジにはトリミング様の薄い剥離痕が連続している。尖頭器基部側の右辺は加工途中の破損であり、石器先端中央に縦位の衝撃剥離痕がある。この石器は原産地分析の結果、星ヶ塔産と想定された(第5章第3節参照)。

<第3拡張区>(第89・95～98図、PL.31-4)

(1)出土層位

基本土層のⅢ層を中心にⅣ層にかけて出土している。テフラとの関係では浅間板鼻黄色軽石(As-YP、約13,000年前)より下位で、浅間大窪沢第1軽石(As-0k1、約17,000年前)から浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)までの間である。

(2)検出遺構

石器の集中地点のすぐ北側で、落ち込みを1ヶ所検出した。(第93図、PL.31-3)残念ながら、存在を確認できた時点で、深堀トレンチによって北側半分が掘削されてしまっていた。本来の掘り込み面ははっきりしないが、実際に確認できたのはⅣ層上面であることから、群馬Ⅳ期に想定される。

(3)出土遺物

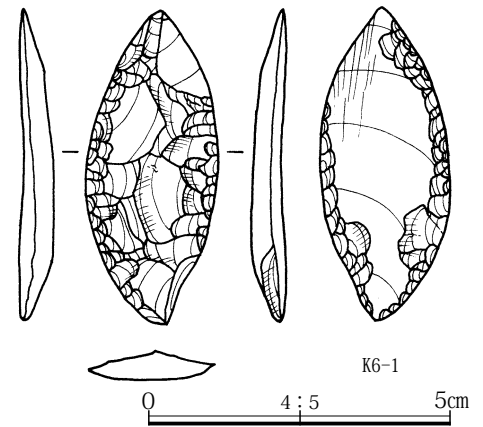
出土した石器の総点数は22点で、内訳はナイフ形石器2点(9.1%)、楔形石器1点(4.5%)、加工痕ある剥片1点(4.5%)、剥片15点(68.3%)、碎片2点(9.1%)、石核1点(4.5%)である。石器の主な石材は黒曜石が14点(63.6%)と多く、残りは黒色安山岩8点(36.4%)である(第13表参照)。黒曜石は原産地分析の結果、小深沢産と想定された(第5章第3節参照)。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

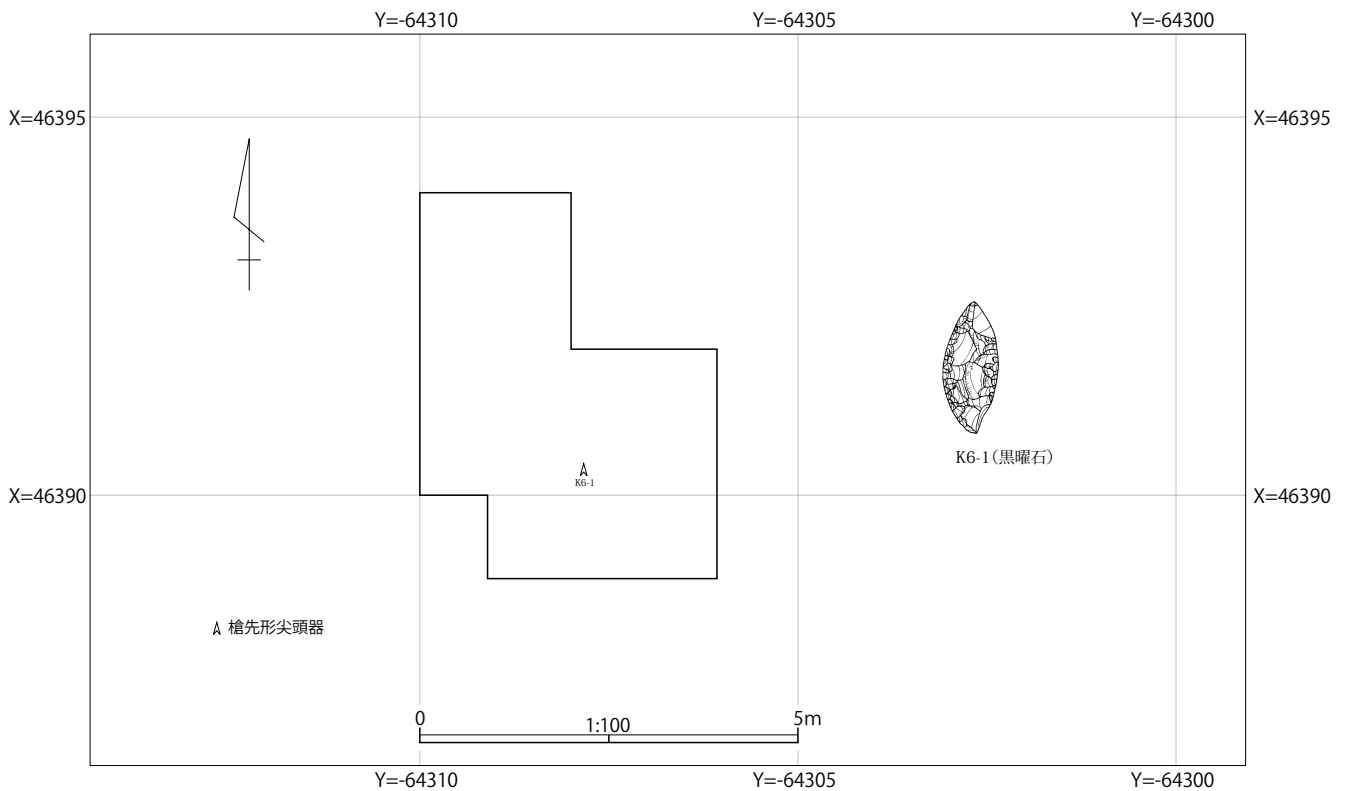
ナイフ形石器(第95図、K3-7・K3-6、PL.32)総数2点が出土している。K3-7は横長剥片を素材とし、一側縁の先端部寄りと、もう一側縁の基部寄りに裏面からそれぞれ鋭角な調整を施している。形状は斜刃状である。石材は黒曜石である。K3-6は横長剥片を素材とし、一側縁の先端部寄りと、もう一側縁の基部寄りに裏面からそれぞれ鋭角な調整を施している。形状は斜刃状である。石材は黒曜石である。

楔形石器(第95図、K3-28、PL.32)1点が出土している。原石面を打面とする石刃、あるいは縦長剥片を折断した頭部部分であり、その両側縁に細かな調整を表裏面に加えている。石材は黒曜石である。

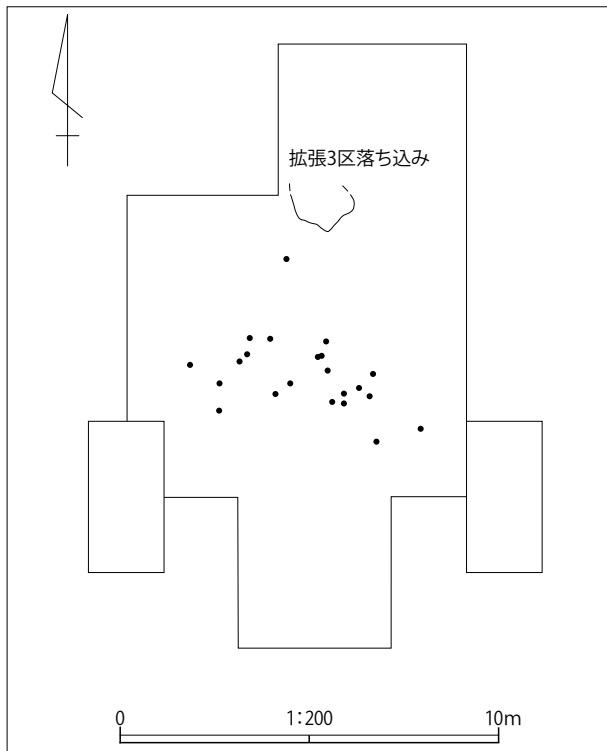
加工痕ある剥片(第94図、K3-15、PL.32)1点が出土している。肉厚な縦長剥片を素材とし、一側縁に加工を加えている。石材は黒色安山岩である。



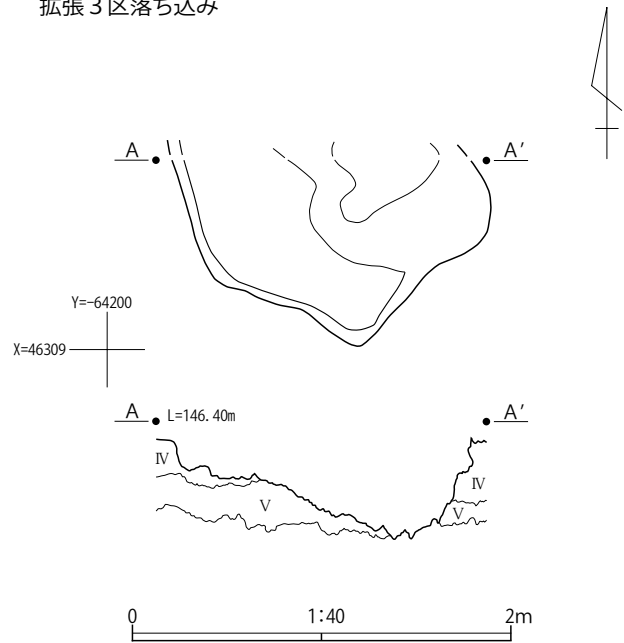
第91図 五代砂留遺跡群 拡張6区 出土遺物



第92図 五代砂留遺跡群 拡張6区 石器分布・垂直分布・器種別分布状況



拡張3区落ち込み



第93図 五代砂留遺跡群 拡張3区落ち込み

石核(第94図、K3-19、PL.32) 1点が出土している。ほぼ立方体の全面に剥離痕が残されており、小形の剥片類を剥ぎ取った最終形態と考えられる。石材は黒曜石である。

この他に、多数の剥片や碎片が出土しているが、図化・資料化しているのは主に接合資料に含まれる資料だけである(第94図)。石材は黒曜石を中心に、黒色安山岩である。

(4)母岩別資料・接合資料(第94図、PL.32)

23点中、接合資料が3例9点を占める。

黒曜石 1 (第94図、PL.32)出土点数14点のうち、接合資料は3例9点(64.3%)が確認されている。

黒曜石 1-①(第94図、PL.32)原石面を打面とする。柱状礫・角稜部の接合資料。楔形石器1点と石核1点、剥片3点の計5点からなる。K3-28 (楔形石器)→K3-26 (剥片)→K3-17 (剥片)+K3-22 (剥片)→K3-19 (石核)

黒曜石 1-②(第94図、PL.32)横長剥片を素材とし、剥離の際、打点への衝撃で縦方向に折断した剥片の資料である。K3-2 (剥片)+K3-12 (剥片)

黒曜石 1-③(第94図、PL.32)原石面を打面とし、剥離の際、打点への衝撃で縦方向に折断した剥片の資料である。K3-21 (剥片)→K3- 8 (剥片)

黒曜石 1 (第94図、PL.32)単独資料では、ナイフ形石器2点、剥片2点、碎片1点の計5点である。K3-6 (ナイフ形石器)、K3-7 (ナイフ形石器)、K3-13 (剥片)、K3-20 (剥片)、K3-14 (碎片)

黒色安山岩(第94図、PL.32)加工痕ある剥片1点、剥片7点の計8点がある。

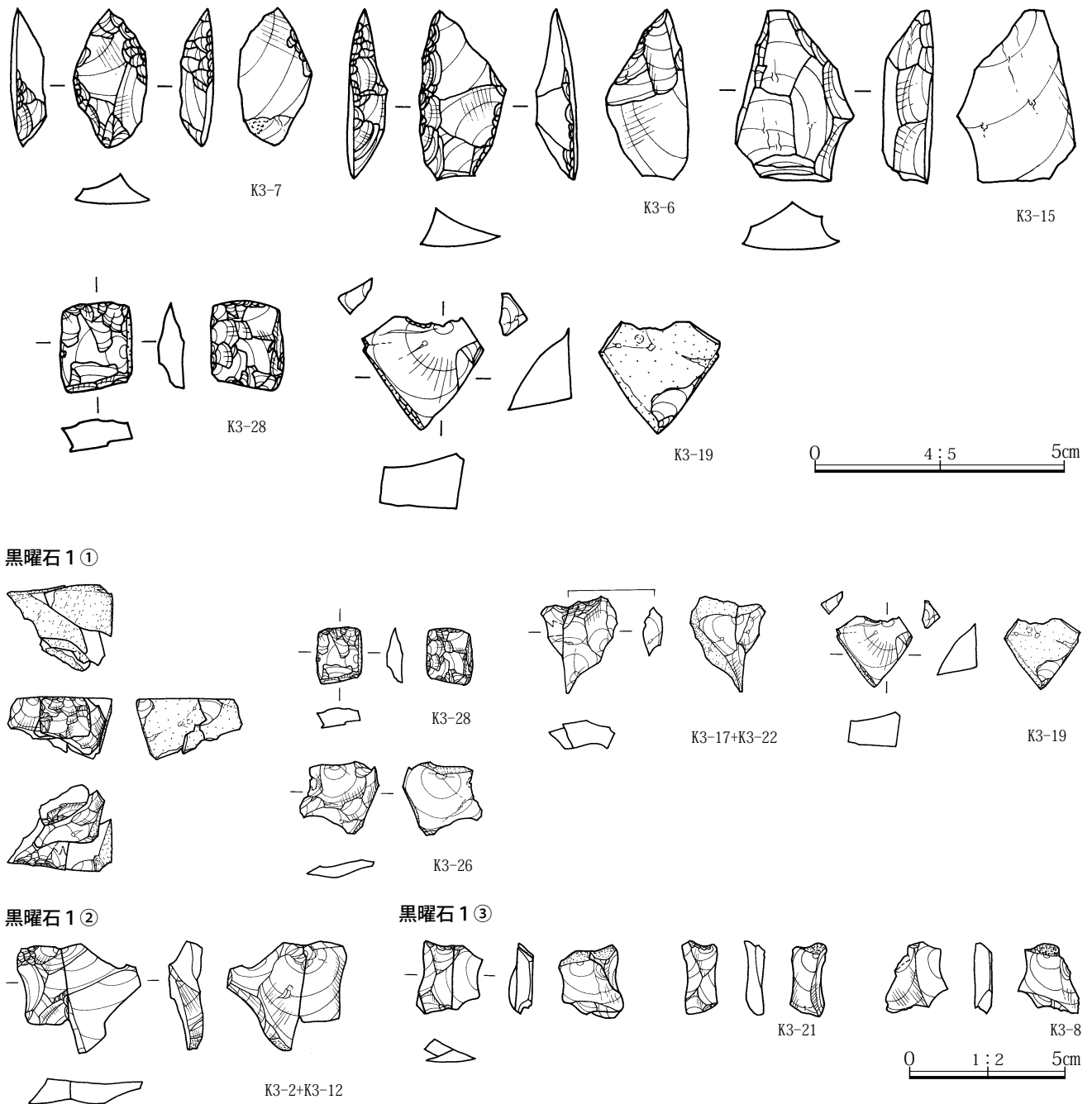
黒色安山岩 7 (第94図、PL.32)加工痕ある剥片1点、剥片2点がある。K3-10 (剥片)、K3-15 (加工痕ある剥片)、K3-18 (剥片)

黒色安山岩 8 剥片2点がある。K3-16 (剥片)、K3-24 (剥片)

黒色安山岩には分類不能な剥片3点がある。K3-11 (剥片)、K3-23 (剥片)、K3-25 (剥片)

第13表 五代砂留遺跡群 第1文化層 拡張3・6区組成表

| | 槍先形尖頭器 | ナイフ | 楔形石器 | 加工痕 | 石核 | 剥片 | 碎片 | 総計 |
|-------|--------|-----|------|-----|----|----|----|----|
| 黒色安山岩 | | | | 1 | | 6 | 1 | 8 |
| 黒曜石 | 1 | 2 | 1 | | 1 | 9 | 1 | 15 |
| 総計 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 15 | 2 | 23 |



第94図 五代砂留遺跡群 拡張3区 出土遺物

(5) 剥片剥離技術

柱状礫を素材とする石核を用い、原石面から小型剥片を連続剥離する。石核消費の最終段階に相当する接合資料である。

(6) 分布状況(第95図)

長軸約6m、短軸約4mの範囲に、やや疎らに分布する。

(7) 石器の分布(第96図)

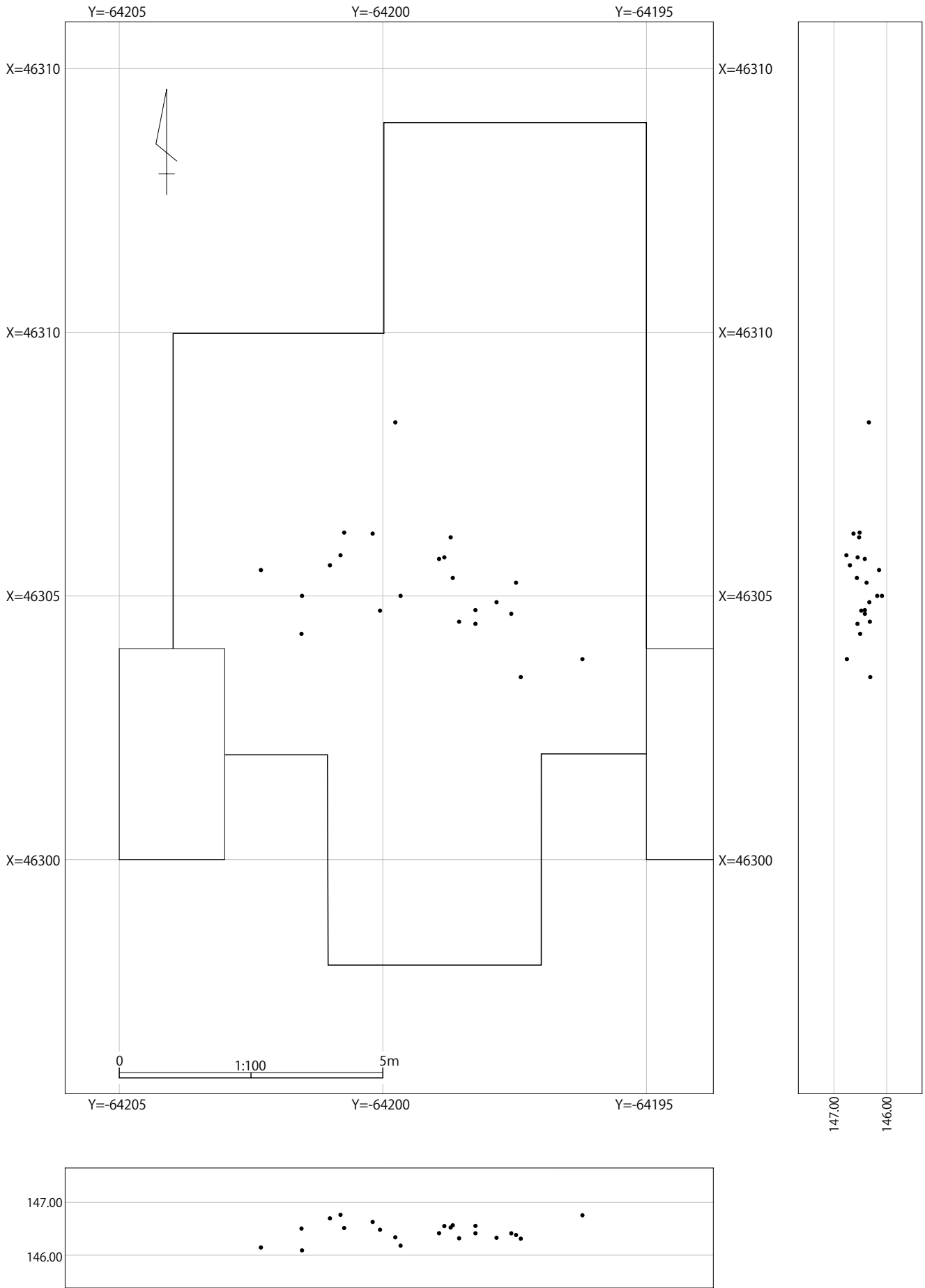
ナイフ形石器や楔形石器などの主要な利器が多く、分布も周縁に偏在する。

(8) 石材の分布(第97図)

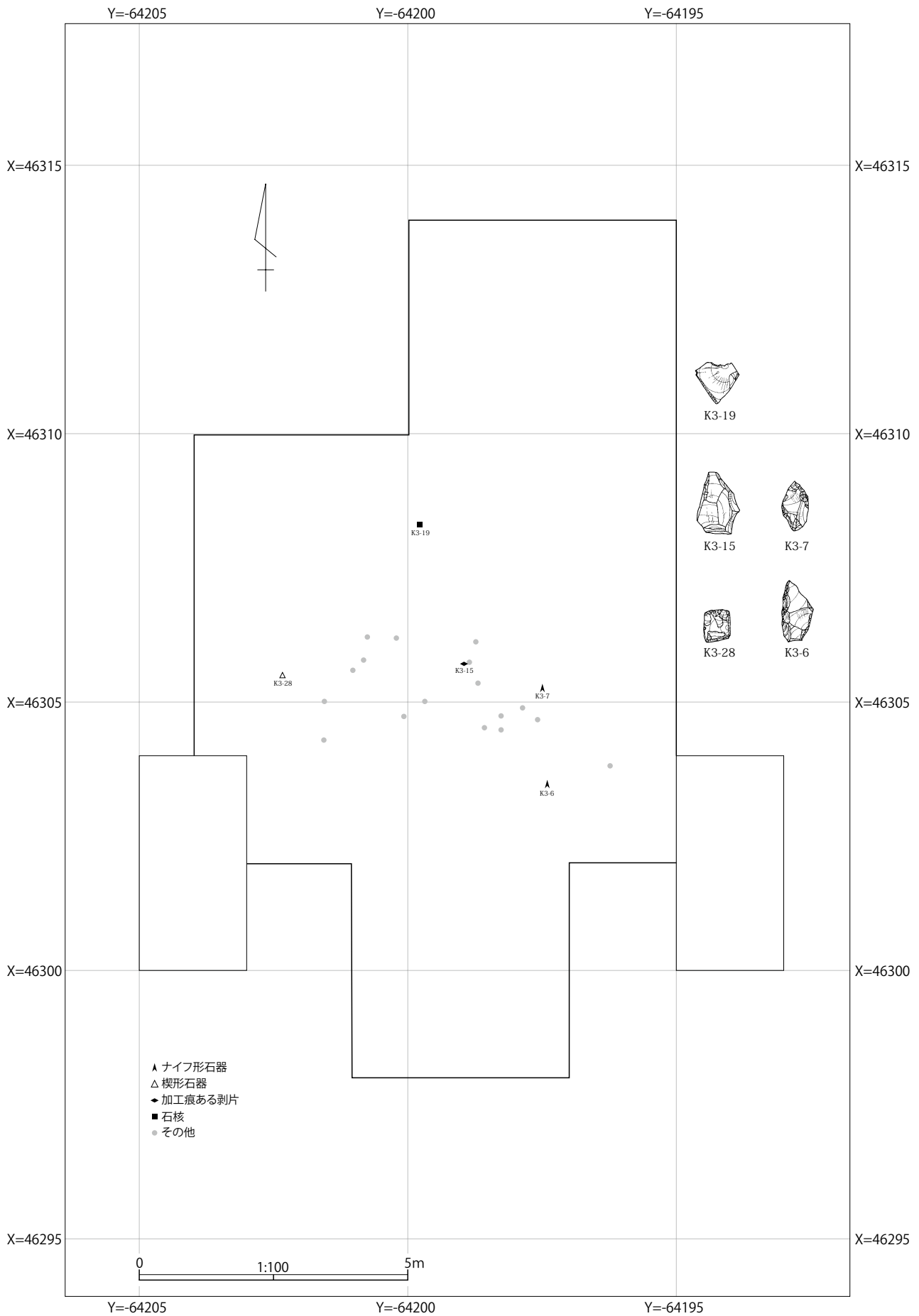
黒曜石・黒色安山岩とも散漫に分布しており、特に分布傾向は指摘できない。

(9) 接合資料の分布(第98図)

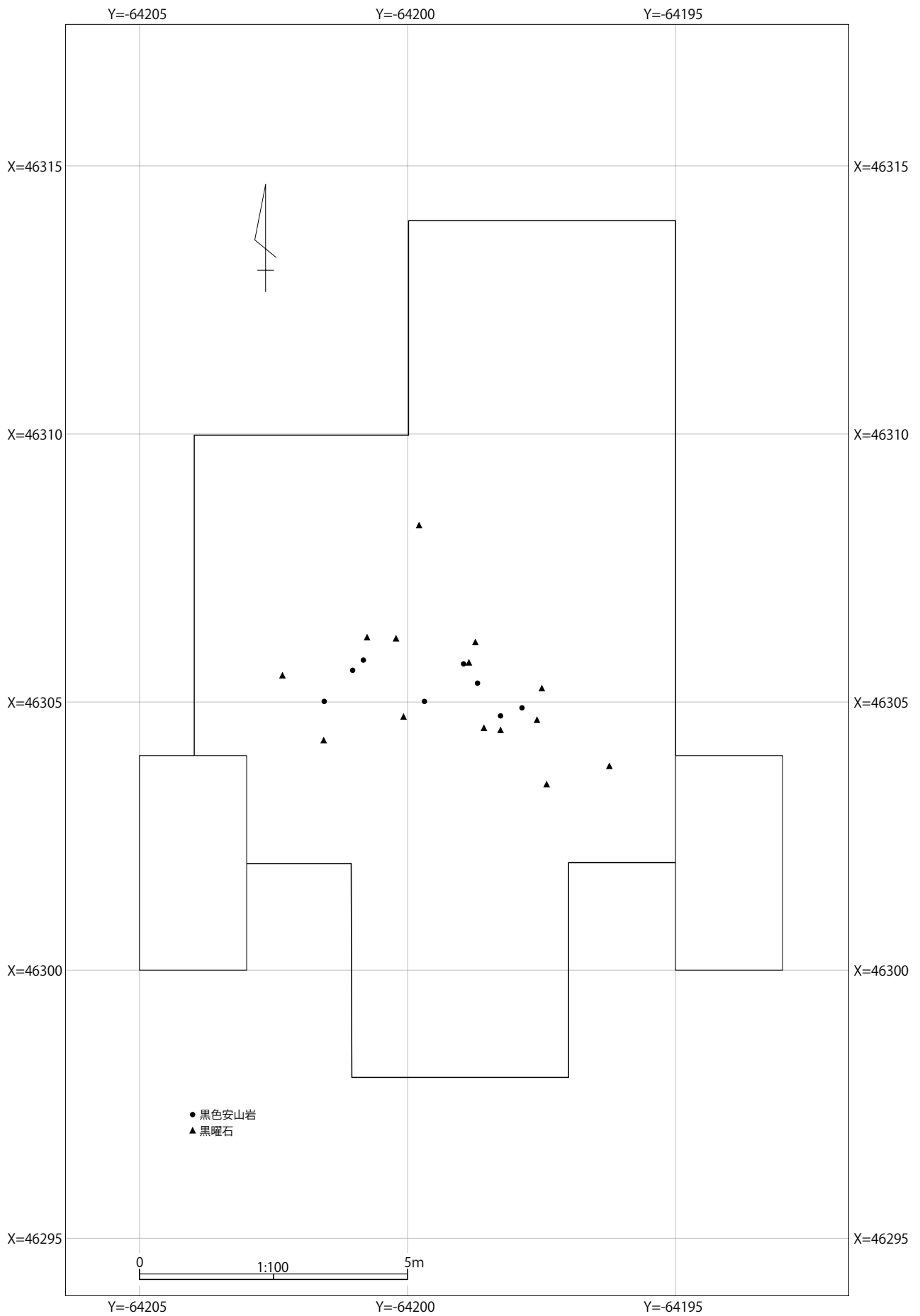
接合剥片類の分布は散漫で、現状で特に剥離地点等を想定することはできない。出土層位や石器組成などから、群馬IV期と想定される。



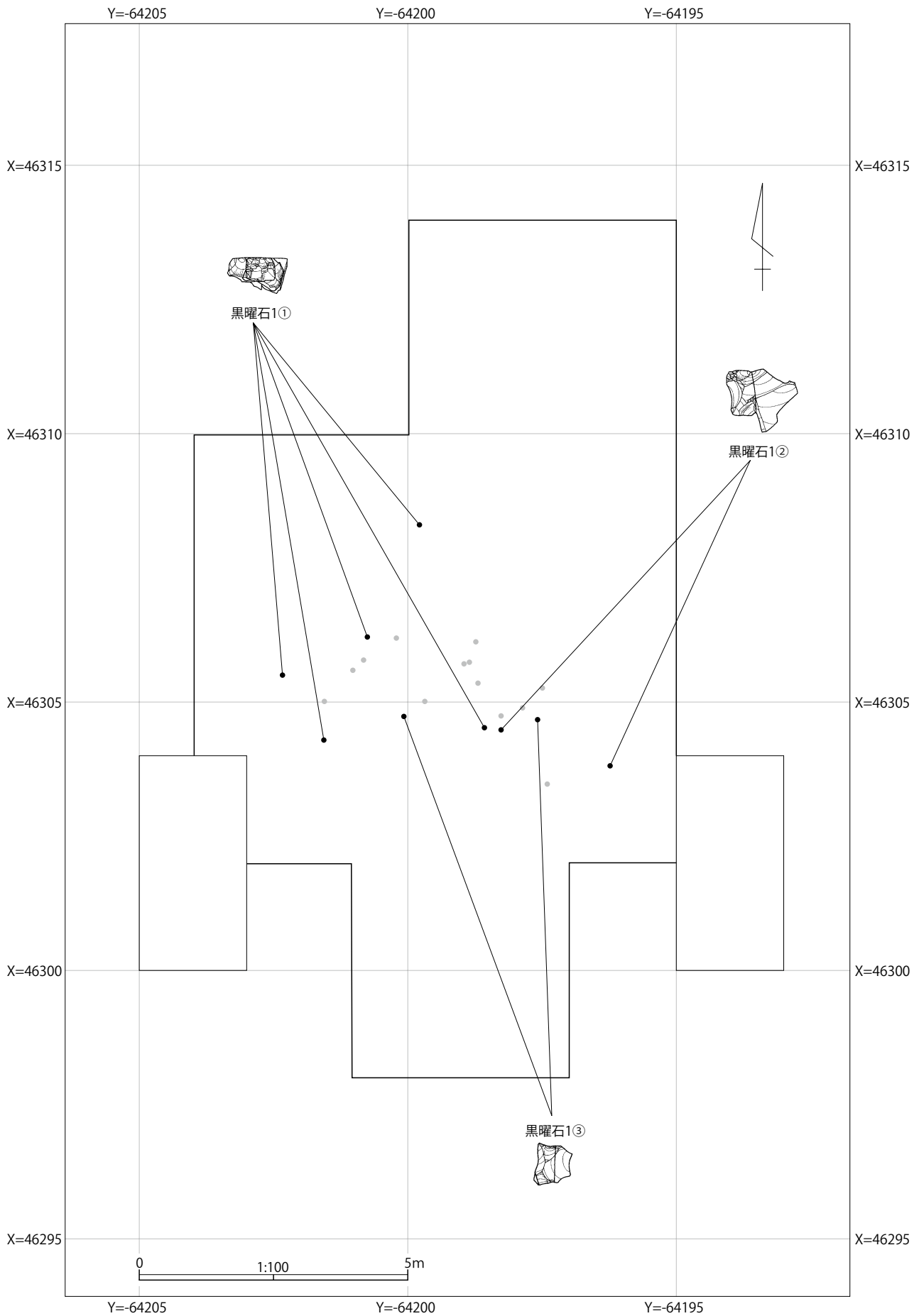
第95図 五代砂留遺跡群 拡張3区 石器分布・垂直分布状況



第96図 五代砂留遺跡群 拡張3区 器種別分布状況



第97図 五代砂留遺跡群 拡張3区 石材別分布状況



第98図 五代砂留遺跡群 拡張3区 接合資料の分布状況

4 第2文化層

<拡張1区(33区)>(第89・99図)

(1)出土層位

基本土層のV層を中心にIV層からVI層にかけて出土している。テフラとの関係では浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)より下位で、暗色帯(AT、約28,000年前)までの間である。

(2)検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3)出土遺物

出土した石器の総点数は1点である。内訳は剥片1点(100%)で、石材は黒色安山岩である(第14表参照)。

(4)母岩別資料・接合資料

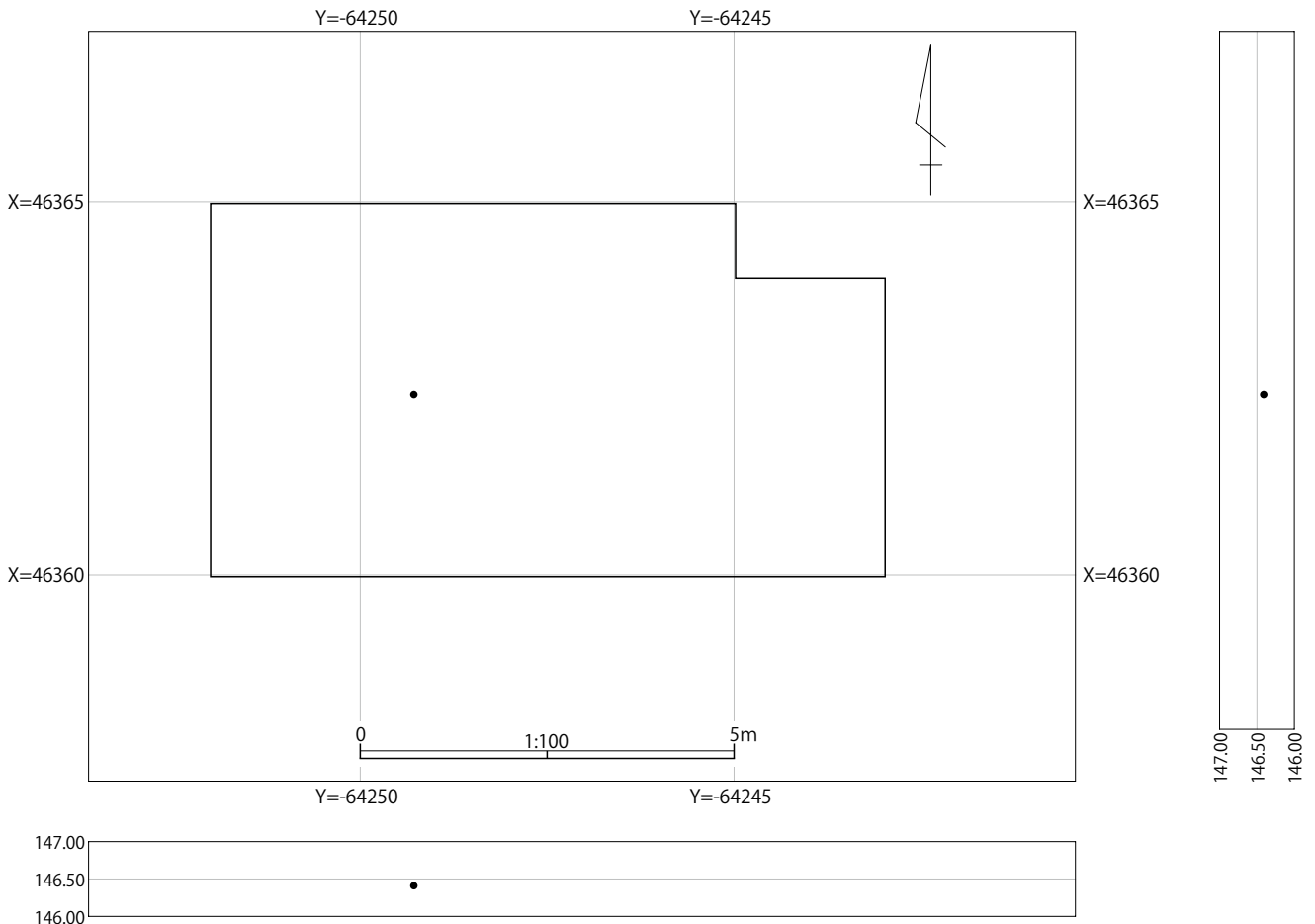
拡張1区からは確認されなかった。

(5)分布状況(第99図)

剥片のみ1点(K1-1)の単独出土である。図化はしていない。出土層位から、群馬Ⅲ期に位置付けられる。

第14表 五代砂留遺跡群 第2文化層 拡張1区組成表

| | 剥片 | 総計 |
|-------|----|----|
| 黒色安山岩 | 1 | 1 |
| 総計 | 1 | 1 |
| 総計 | 1 | 4 |



第99図 五代砂留遺跡群 拡張1区 石器分布・垂直分布状況

5 第3文化層

拡張5区(第1地点)と拡張7区(第3地点)の2ヶ所からの出土している。

<拡張5区>(第89・104～106図、PL.31-5・6)

(1)出土層位

基本土層のⅥ層を中心にⅦ層にかけて出土している。テフラとの関係ではAT下位で、暗色帯中である。時期は群馬編年のⅡ期が想定される。

(2)検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3)出土遺物

第3文化層の石器群は総計124点があり、内訳は石器5点(4.1%)、剥片99点(79.8%)、碎片19点(15.3%)、礫片1点(0.8%)である。石器の器種は、加工痕ある剥片1点(0.8%)、石核4点(3.3%)、剥片99点(80.5%)、碎片19点(15.4%)である。石器の石材は全て黒色安山岩123点(100%)であり、礫片の石材は砂岩1点(100%)である(第15表参照)。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

加工痕ある剥片(第100図、K5-94、PL.32)やや大型の不定形な剥片の一縁の一部にやや大きな加工痕が認められる。

石材は黒色安山岩である。

石核(第100図、K5-87・K5-93・K5-96・K5-108、PL.32)4点が出土している。K5-87は裏面の一部に原石面を残す分割礫を素材とし、表面の周縁から中心に向かって連続して剥片剥離する。石材は黒色安山岩である。K5-93は裏面に原石面を残す分割礫を素材とし、表面の周縁から中心に向かって連続して剥片剥離する。石材は黒色安山岩である。K5-96は分割礫、あるいは大形の剥片を素材とし、表裏面の周縁から中心に向かって連続して剥片剥離する。

石材は黒色安山岩である。K5-108はK5-93と同様に裏面に原石面を残す分割礫を素材とし、表面の周縁から中心に向かって連続して剥片剥離する。石材は黒色安山岩である。

この他に、多数の剥片や碎片が出土しているが、図化・資料化しているのは主に接合資料に含まれる資料だけである。(第101～103図、PL.33・34)

第15表 五代砂留遺跡群 第3文化層 拡張5区組成表

| | 加工痕 | 石核 | 剥片 | 碎片 | 礫片 | 総計 |
|-------|-----|----|----|----|----|-----|
| 黒色安山岩 | 1 | 4 | 99 | 19 | | 123 |
| 砂岩 | | | | | 1 | 1 |
| 総計 | 1 | 4 | 99 | 19 | 1 | 124 |

(4)母岩別資料・接合資料(第101～103図、PL.33・34)

黒色安山岩は、出土点数123点があり、このうち接合資料は8例60点が確認されている。

黒色安山岩9(第101・102図、PL.33)出土点数35点のうち、接合資料は3例29点である。

黒色安山岩9-①(第101図、PL.33)計25点が接合した。個体BK5-91(剥片)→K5-88(剥片)→

個体AK5-25(剥片)→K5-37(剥片)→K5-28(剥片)→K5-65(剥片)→K5-34(剥片)→K5-10(剥片)→K5-120(剥片)→K5-70(剥片)→K5-93(石核)→K5-108(石核)→K5-62(剥片)+K5-95(剥片)

K5-69(剥片)→K5-86(剥片)+K5-122(剥片)→(K5-93石核) K5-110(剥片)→K5-26(剥片)→K5-20(剥片)→(K5-93石核) K5-77(剥片)+K5-64(剥片)→K5-58(剥片)+K5-23(剥片)→K5-63(剥片)→(K5-108石核)

黒色安山岩9-②(第102図、PL.33)剥片の折断資料である。K5-45a(剥片)+K5-38(剥片)

黒色安山岩9-③(第102図、PL.33)剥片の折断資料である。K5-17(剥片)+K5-39(剥片)

黒色安山岩9の非接合資料には剥片6点がある。K5-3、K5-40、K5-44、K5-48、K5-85、K5-106

黒色安山岩10(第102・103図、PL.33・34)出土点数25点のうち、接合資料は3例16点である。

黒色安山岩10-①(第102図、PL.33)石核1点と剥片10点の計11点が接合した。K5-18(剥片)→K5-24(剥片)→K5-87(石核)→K5-13(剥片)→K5-19(剥片)→K5-31(剥片)→K5-46(剥片)→K5-112(剥片)→K5-29(剥片)→K5-53(剥片)+K5-79(剥片)

黒色安山岩10-②(第103図、PL.34)剥片の折断資料である。K5-6(剥片)+K5-8(剥片)+K5-90(剥片)

黒色安山岩10-③(第103図、PL.34)剥片の折断資料である。K5-100(剥片)+K5-119(剥片)

黒色安山岩10の非接合資料には剥片9点がある。K5-11、K5-12、K5-50、K5-51、K5-52、K5-102、K5-109、K5-116、K5-117

黒色安山岩11(第103図、PL.34)出土点数22点のうち、接合資料は2例15点がある。

黒色安山岩11-①(第103図、PL.34)石核1点と剥片12点の計13点からなる接合資料。

K5-61→K5-113

↓

K5-4→K5-59→K5-30→K5-27→K5-5→K5-16→K5-32→K5-96(石核)

↑

K5-76→K5-41→K5-1

黒色安山岩11-②(第103図、PL.34)剥片2点接合した。K5-14→K5-21

黒色安山岩11(第100図、PL.32)の非接合資料には、加工痕ある剥片1点、剥片6点の計7点がある。K5-15、K5-35、K5-67、K5-75、K5-82、K5-94(加工痕ある剥片)、K5-111

(5)剥片剥離技術

接合資料や石核の数は少ないものの、裏面に原石面を残す分割礫を素材とし、表裏面の周縁から中心に向かって連続して剥片剥離する技術が中心であり、主要な石材は黒色安山岩である。これは群馬Ⅰ期からⅡ期にかけての特徴的な剥片剥離技術であり、石器組成などからみてもおそらくは群馬Ⅱ期に相当すると考えられる。

(6)分布状況(第104図)

拡張5区の文化層は80点の石器からなる。石器分布は長軸9m・短軸6mの範囲に収まる。集中性の高い範囲は長軸5m・短軸3mほどで、東側に散漫に分布する傾向がある。石核類が集中部の中央付近に分布している。

(7)石器の分布(第105図)

利器としての主要な石器は少なく、数少ない加工痕ある剥片(第100図、K5-94)が中心からやや北寄りにまとまって位置する。

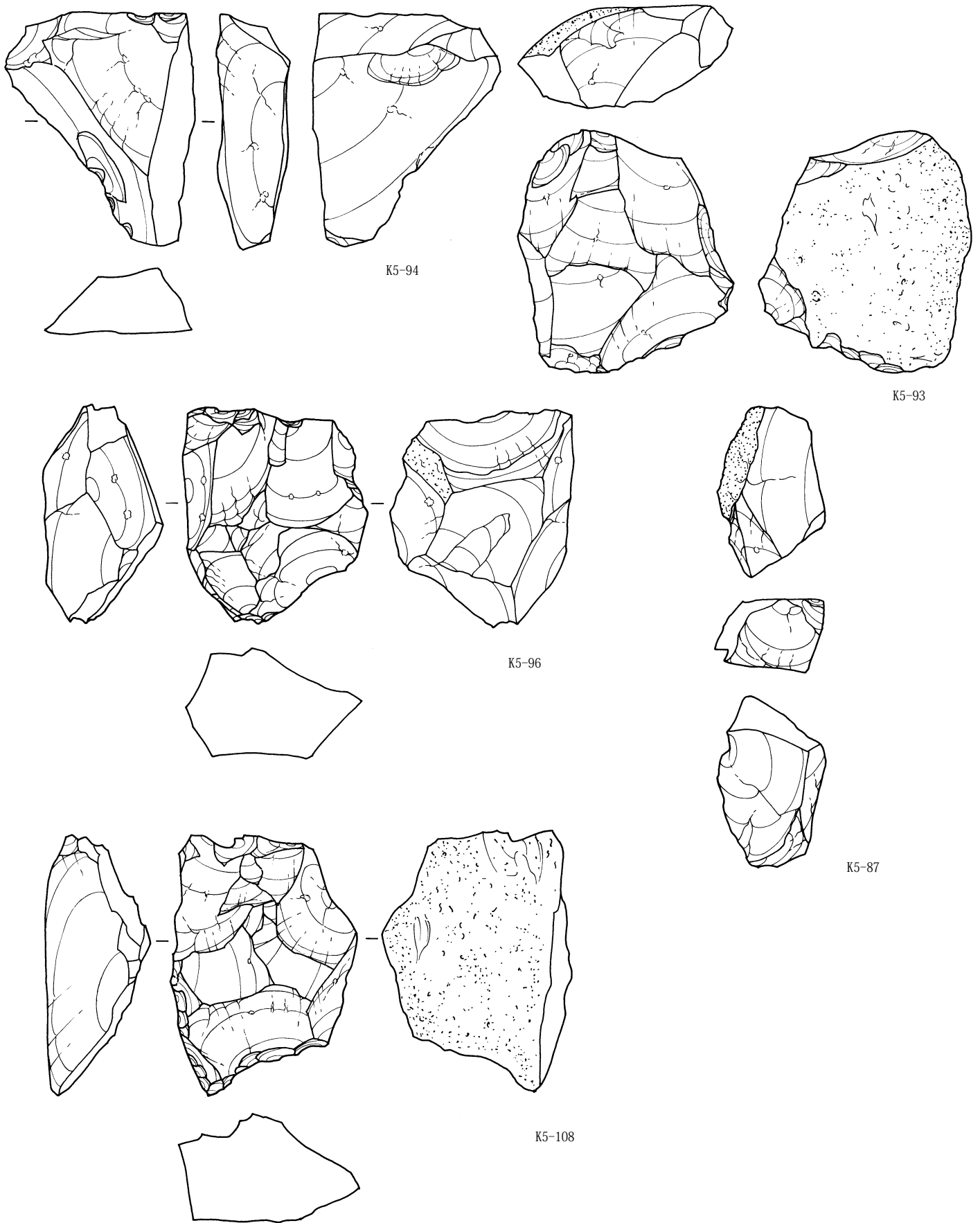
(8)石材の分布(第105図)

黒色安山岩が主体に全域に広がっており、砂岩が北端に位置する。

(9)接合資料の分布(第106図)

同一母岩と考えられる黒色安山岩の接合資料の8例60点を中心に、ブロック全体にほぼ分布している。

出土層位や石器組成などから、群馬Ⅱ期に位置付けられる。



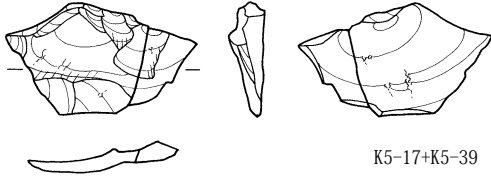
第100図 五代砂留遺跡群 拡張5区 出土遺物

第3章 各遺跡の遺構・遺物
 黑色安山岩 9①

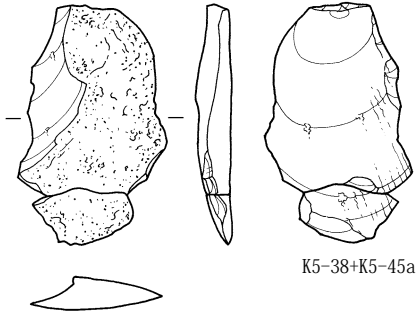


第101図 五代砂留遺跡群 拡張5区 母岩別資料・接合資料(1)

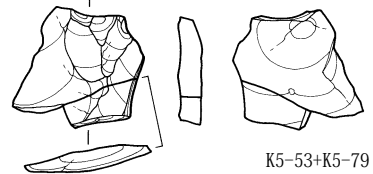
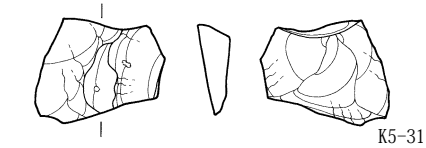
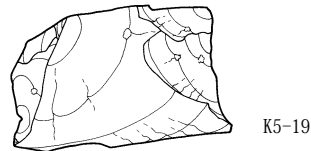
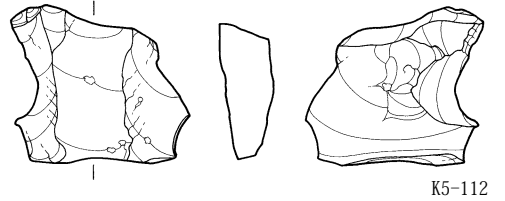
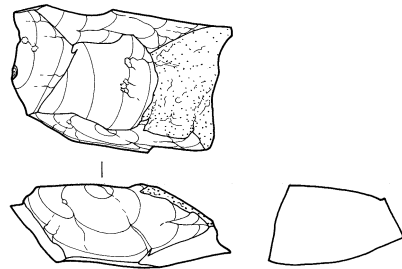
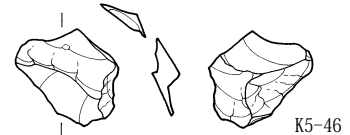
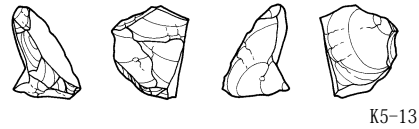
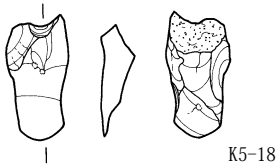
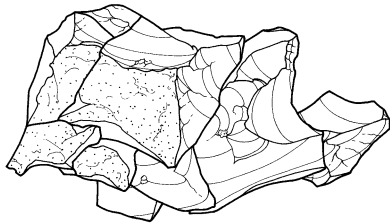
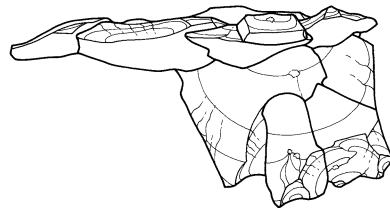
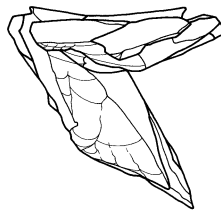
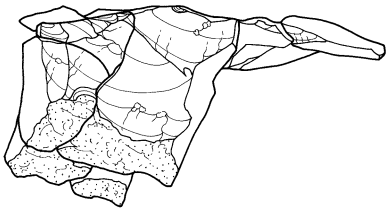
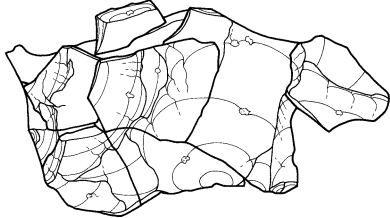
黑色安山岩9③



黑色安山岩9②



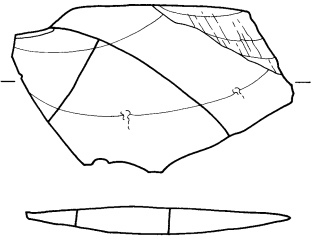
黑色安山岩10①



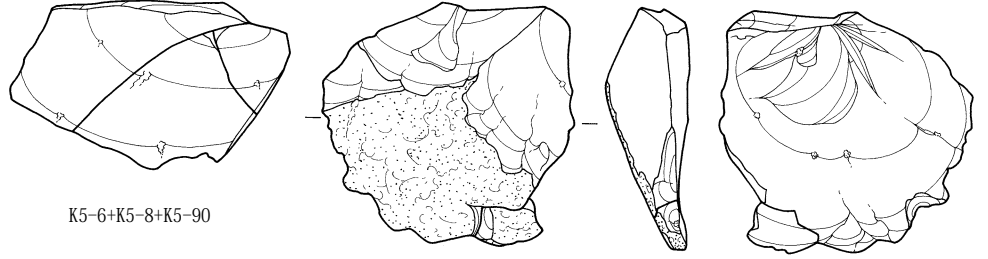
0 1:2 5cm

第102図 五代砂留遺跡群 拡張5区 母岩別資料・接合資料(2)

黑色安山岩10②



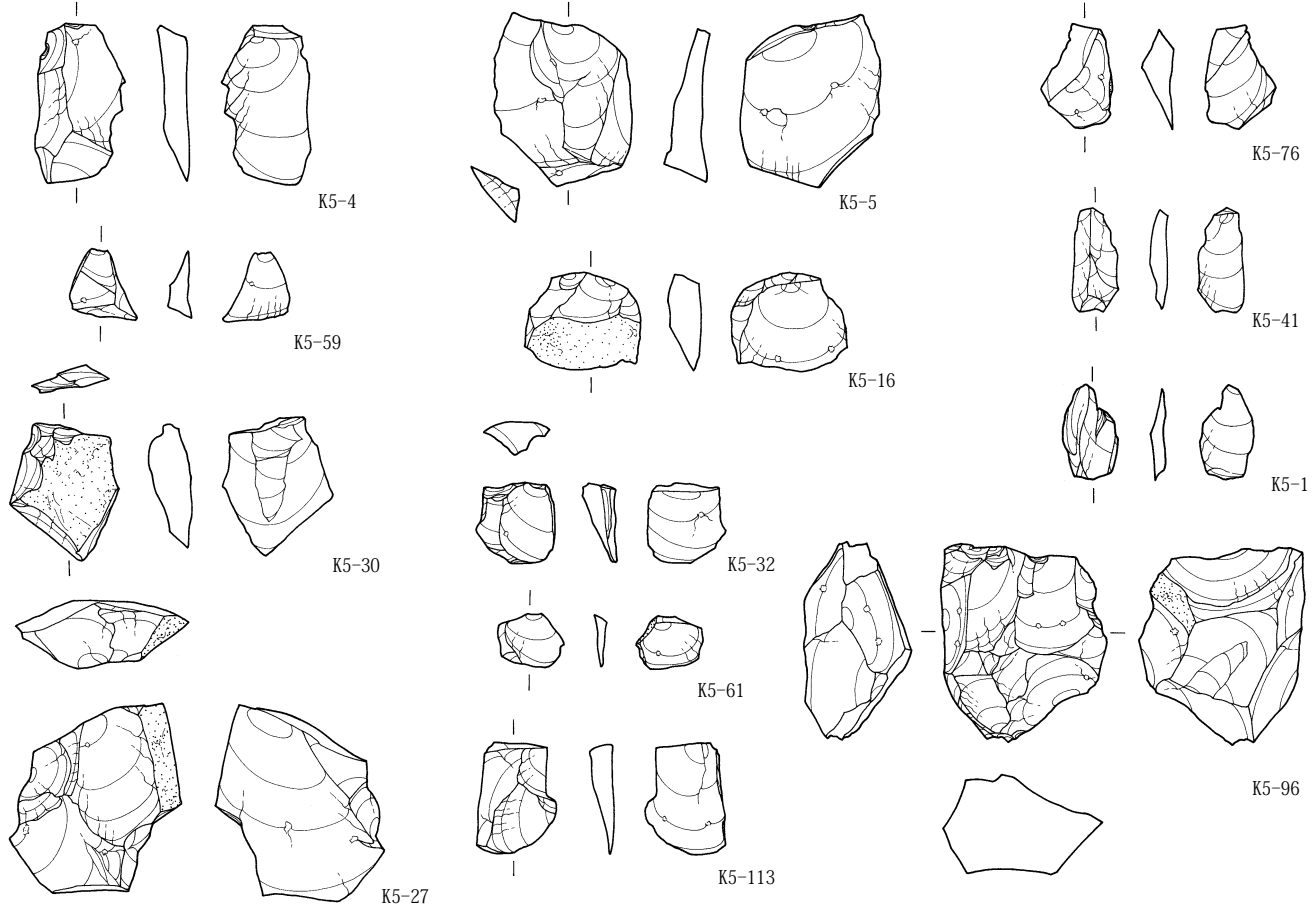
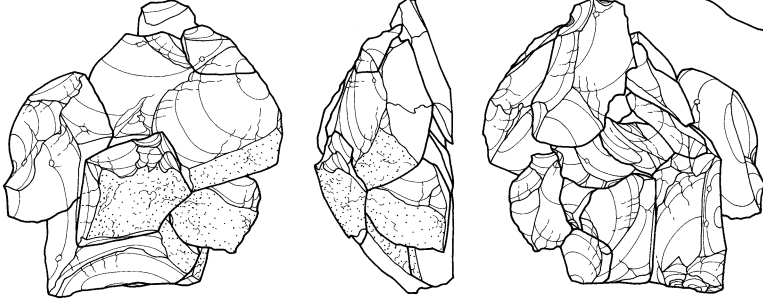
黑色安山岩10③



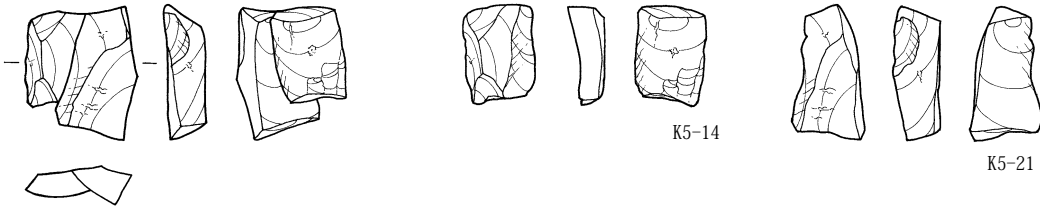
K5-6+K5-8+K5-90

K5-100+K5-119

黑色安山岩11①

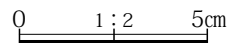


黑色安山岩11②

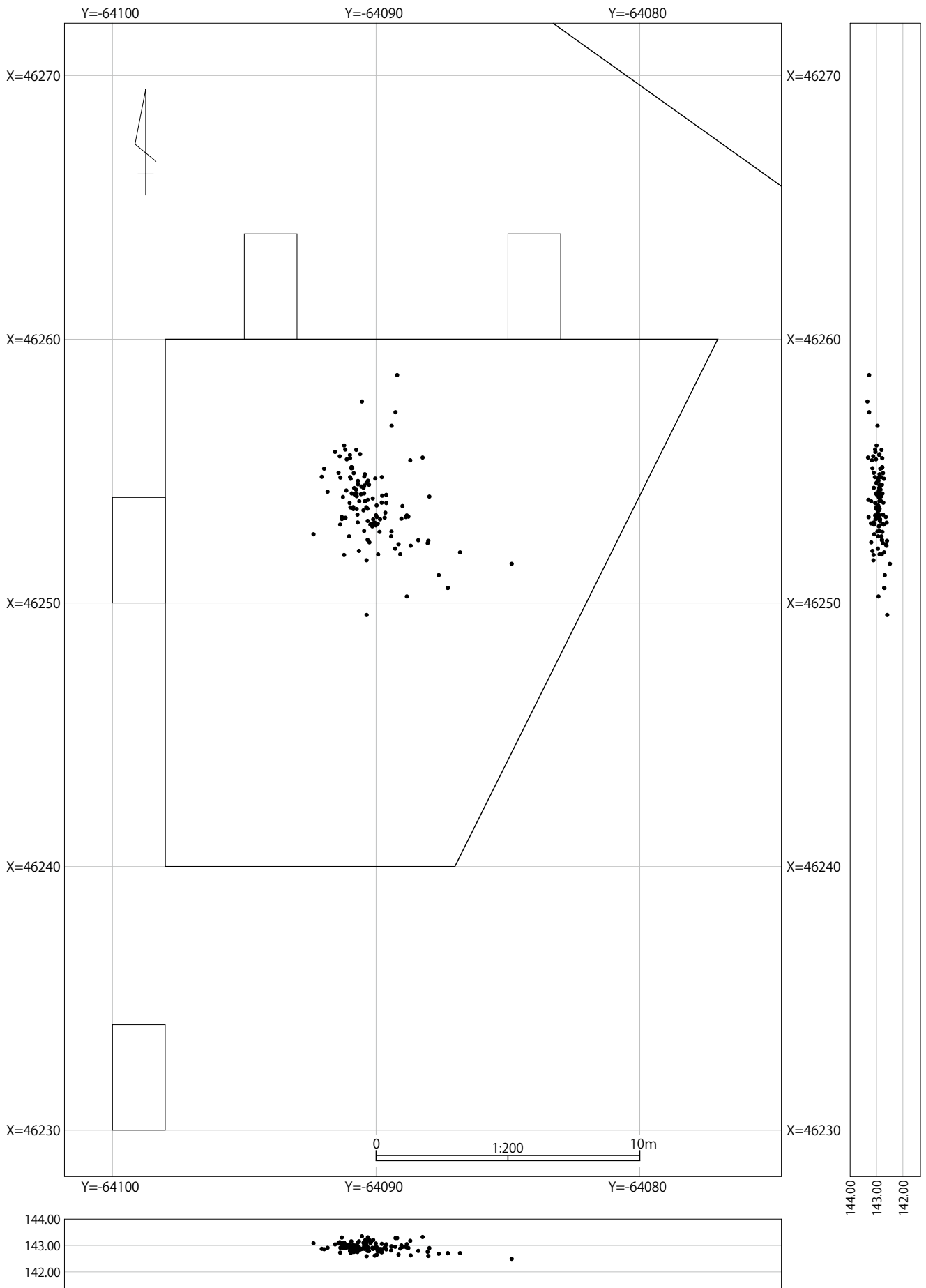


K5-14

K5-21

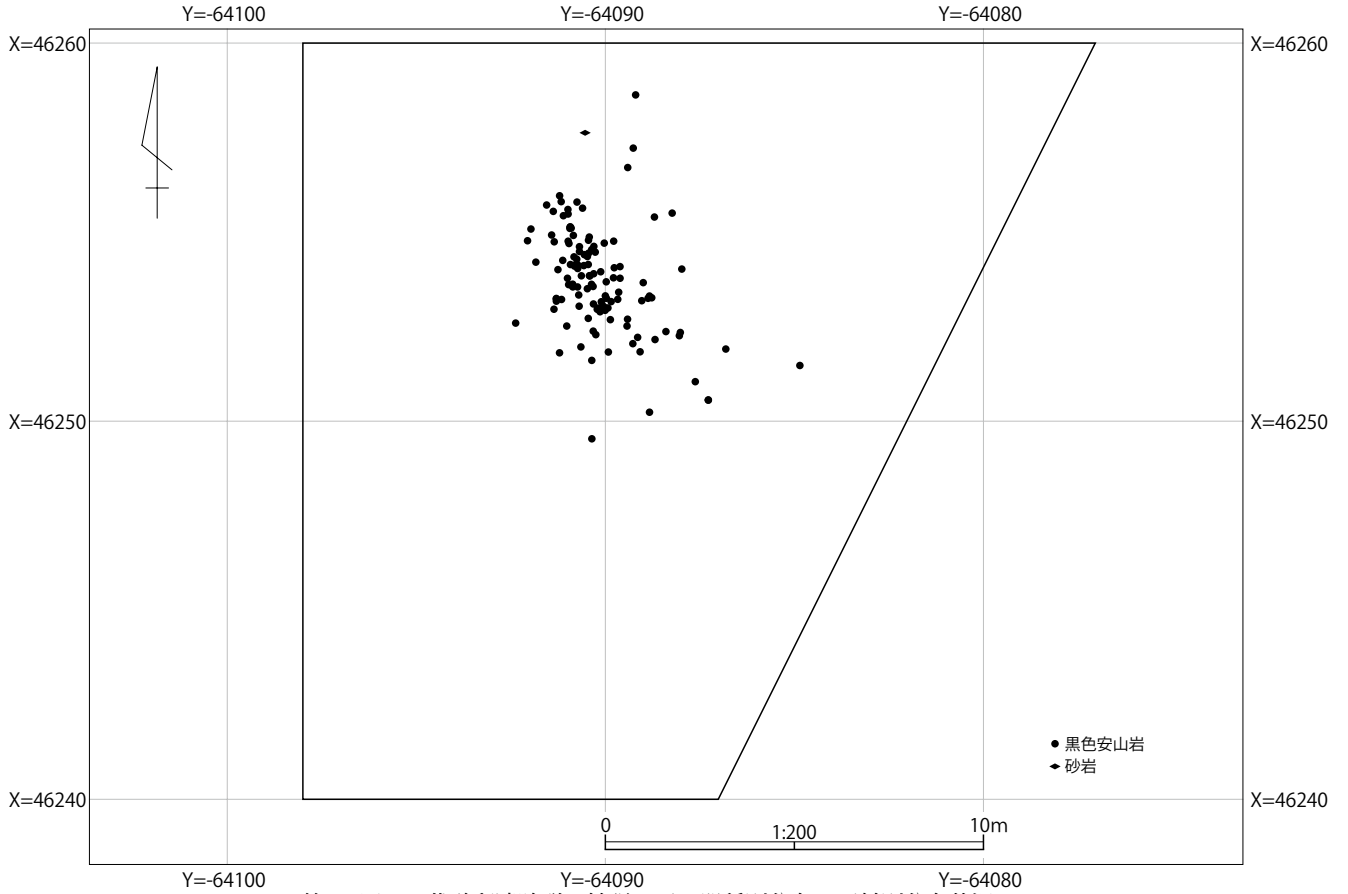
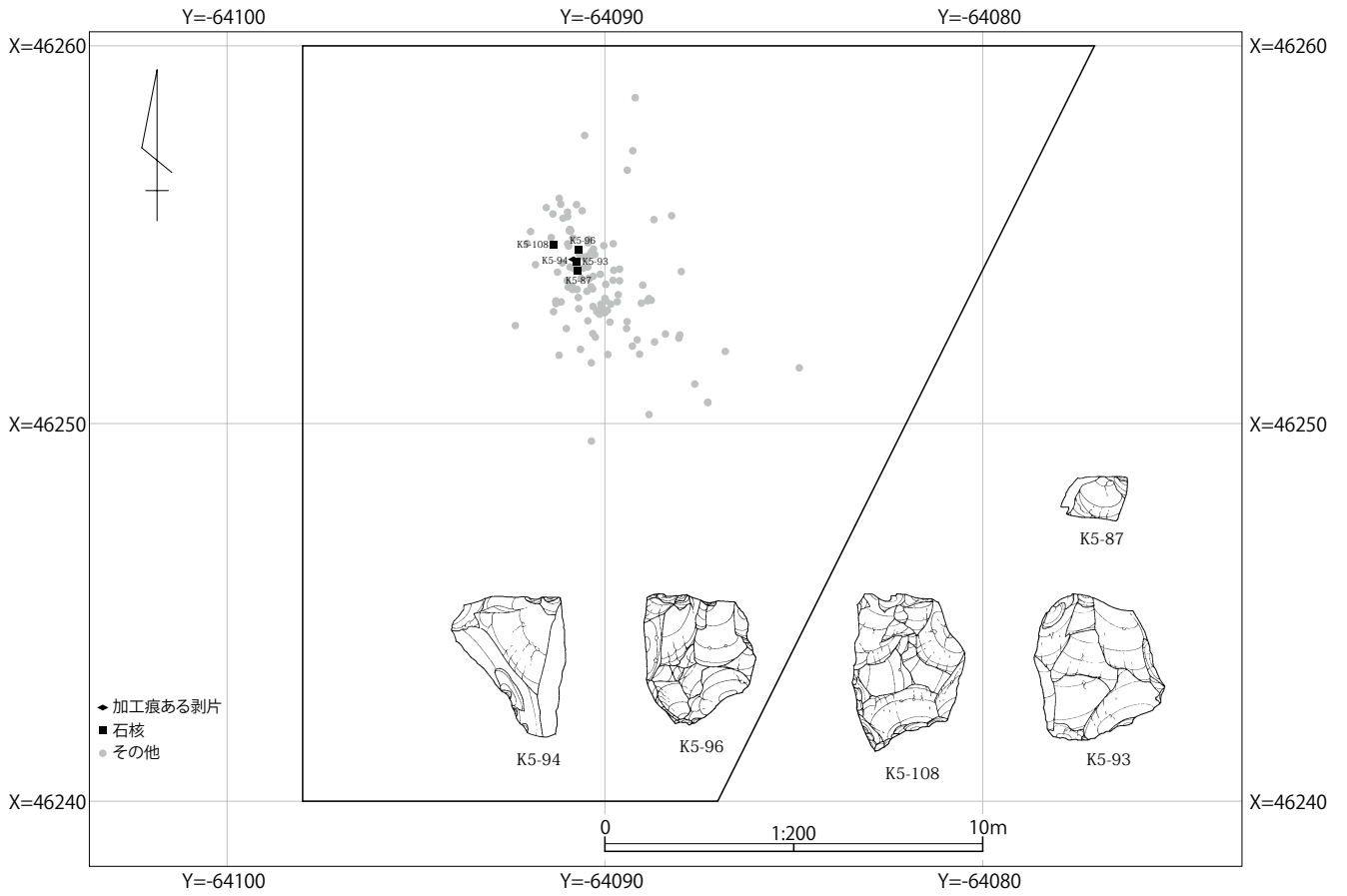


第103図 五代砂留遺跡群 拡張5区 母岩別資料・接合資料(3)

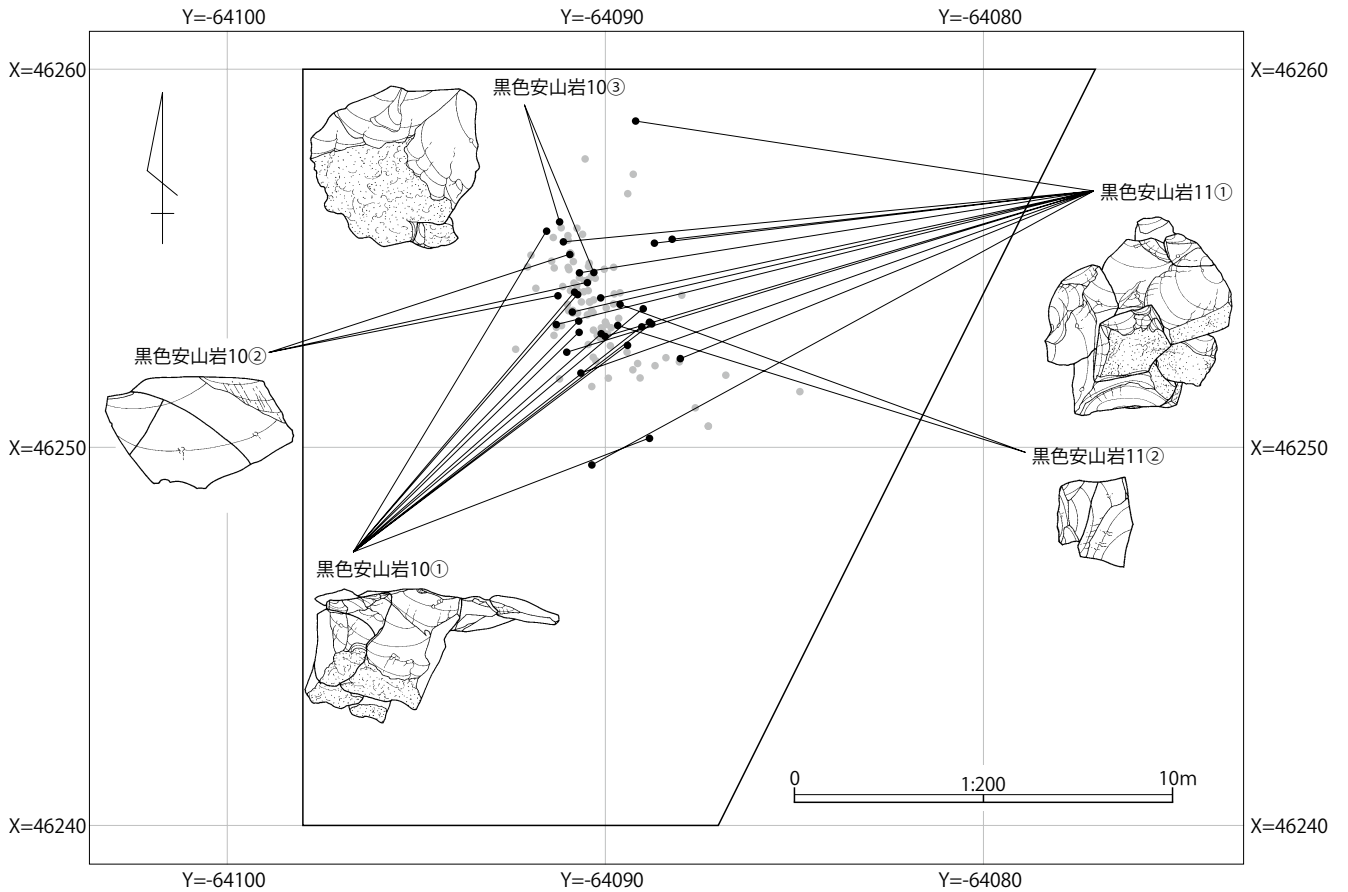
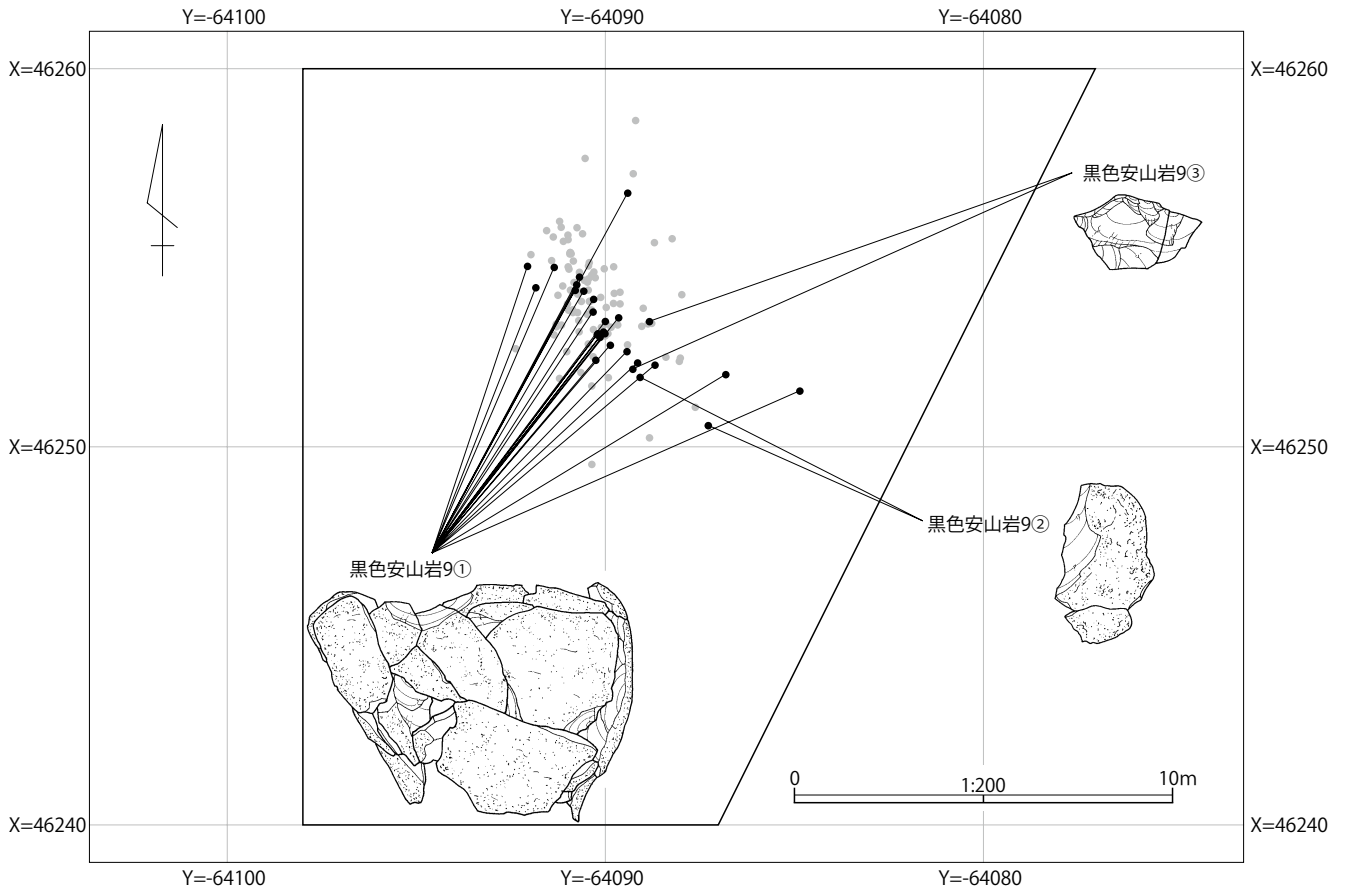


第104図 五代砂留遺跡群 拡張5区 石器分布・垂直分布状況

第3章 各遺跡の遺構・遺物



第105図 五代砂留遺跡群 拡張5区 器種別分布・石材別分布状況



第106図 五代砂留遺跡群 拡張5区 接合資料の分布状況

<7拡張区>(第89・130～138図、PL.31-7・8)

(1)出土層位

基本土層のⅥ層を中心にⅦ層にかけて出土している。テフラとの関係ではAT下位で、暗色帯中である。

(2)検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3)出土遺物

第3文化層の石器群として329点の石器石片類が出土した。内訳は石器88点(26.8%)、剥片174点(52.9%)、碎片8点(2.4%)、礫・礫片・礫類59点(17.9%)である。石器の器種は、彫器1点(0.4%)、削器4点(1.5%)、楔形石器2点(0.7%)、石刃5点(1.9%)、加工痕ある剥片14点(5.2%)、使用痕ある剥片9点(3.3%)、石核36点(13.3%)、敲石7点(2.6%)、台石9点(3.3%)、礫器1点(0.4%)、剥片174点(64.4%)、碎片8点(3.0%)である。主な石器の石材は、チャートが73点(26.9%)、黒色安山岩が116点(42.8%)と多く、黒色頁岩26点(9.6%)、珪質頁岩24点(8.9%)、碧玉6点(2.2%)、ホルンフェルス23点(8.4%)、溶結凝灰岩1点(0.4%)、粗粒輝石安山岩1点(0.4%)、砂岩1点(0.4%)などである。礫・礫片・礫類の石材は、黒色頁岩1点(1.7%)、珪質頁岩5点(8.6%)、ホルンフェルス10点(17.2%)、デイサイト1点(1.7%)、溶結凝灰岩2点(3.5%)、輝緑凝灰岩1点(1.7%)、珪質変質岩2点(3.5%)、砂岩12点(20.7%)、粗粒輝石安山岩19点(32.7%)、雲母石英片岩3点(5.2%)、黒色片岩2点(3.5%)である(第16表参照)。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

彫器(第107図、K7-4、PL.34)やや幅広の石刃を素材に、一側縁の打面の端から槌状剥離を加えて彫刻刀面を作り出している。石材はチャートである。

削器(第107図、K7-13・K7-42・K7-45・K7-254、PL.34)総数4点が出土している。K7-45は石刃を素材とし、ほぼ真ん中で表面側から折断して基部側を利用し、一側縁に加工を加えている。石材は珪質頁岩である。K7-13は石刃を素材として、一側縁の表面の一部と裏面の打点寄りの部分に加工を加えている。石材は黒色安山岩である。K7-42は縦長剥片を素材に、一側縁の裏面に加工を加えている。石材は黒色安山岩である。K7-254は原石面を打面とする幅広の剥片の裏面の打点寄りの部分に加工を加えている。石材はチャートである。

楔形石器(第107図、K7-75・K7-203、PL.34)2点が出土している。K7-203はほぼ真ん中で折断した石刃の基部側の両端に調整を加えている。石材は珪質頁岩である。K7-75は縦長剥片、あるいは石刃の先端部分に加工を加えている。あるいは、剥片を1枚だけ剥離しただけの石核かもしれない。石材は黒色安山岩である。

加工痕ある剥片(第107～109図、K7-12・K7-22・K7-44・K7-62・K7-126・K7-149・K7-151・K7-163・K7-236・K7-283・K7-285・K7-288・K7-289、PL.34・35)14点が出土している。K7-236は剥片の裏面の周縁に加工を施している。石材は黒色安山岩である。K7-149+K7-151は剥離時の衝撃で折断したと考えられる剥片先端の裏面側両側縁から粗く加工している。石材は黒色安山岩である。K7-288は先端部分に原石面を残す剥片の一側縁に裏面側から加工を加えている。石材はチャートである。K7-126は表面の一部に原石面を残す剥片の一側縁に裏面側から加工を僅かに加えている。石材は珪質頁岩である。K7-44は表面に原石面を残す横長剥片の一側縁に裏面側から加工を加えている。石材はチャートである。K7-163は小形の剥片の先端部に加工を僅かに加えている。石材は黒色頁岩である。K7-289は先端部分と打面部寄りの一側縁と原石面を残す剥片の一側縁に裏面側から加工を加えている。石材はチャートである。K7-285はやや大形の剥片の両側縁の一部に部分的に加工を加えている。石材はホルンフェルスである。K7-62は先端部分に原石面を残す縦長の剥片の一側縁の一部に部分的に加工を加えている。石材はチャートである。K7-12は一側縁に原石面を残す剥片の裏面側から加工を加えている。石材はチャートである。K7-48は表面の一部に原石面を残す剥片を素材とし、両側縁に加工を加えている。石材はチャートである。K7-22は表面に原石面を残す大形の剥片を素材とし、一側縁に裏面側から加工を僅かに加えている。石材は黒色安山岩である。K7-283は表面に原石面を残すやや大形の剥片の両側縁の一部に加工を加えている。石材はホルンフェルスである。

使用痕ある剥片(第110図、K7-2・K7-23・K7-33・K7-38・K7-146・K7-182・K7-201・K7-269・K7-287、PL.36) 9点が出土している。K7-287は横長の剥片の一侧縁に僅かに使用痕が認められる。石材はチャートである。K7-146は石刃の一侧縁に使用痕が認められる。石材はチャートである。K7-2は表面の一部に原石面が残る縦長の剥片で、一侧縁に僅かに使用痕が認められる。石材はチャートである。K7-182+K7-201は表面の一縁に原石面が残る石刃で、一侧縁に使用痕が認められる。石材は珪質頁岩である。K7-269は小形の剥片で、一侧縁に使用痕が認められる。石材は碧玉である。K7-23は縦長の剥片で、裏面の両側縁に使用痕が認められる。石材は珪質頁岩である。K7-33は表面に原石面が残る縦長の剥片で、一侧縁に使用痕が認められる。石材はチャートである。K7-38は表面の一部に原石面を残す剥片の一侧縁に細かな使用痕が認められる。石材は珪質頁岩である。

石刃(第111図、K7-194・K7-196・K7-220・K7-234・K7-247、PL.36・37) 5点が出土している。K7-247+K7-234は折断で3つに分かれた細長い石刃である。石材はチャートである。K7-220は表面の一部に原石面が残る。石材は碧玉である。K7-196は小さな打面で、石材はチャートである。K7-247は打面が小さく表面の一部に原石面が残る。石材は黒色頁岩である。

石核(第111～119・124図、K7-34・K7-47・K7-49・K7-55・K7-56・K7-58・K7-63・K7-79・K7-84・K7-97・K7-109・K7-127・K7-128・K7-131・K7-135・K7-145・K7-172・K7-187・K7-190・K7-199・K7-217・K7-246・K7-248・K7-250・K7-251・K7-255・K7-259・K7-272・K7-274・K7-282・K7-284・K7-291・K7-292・K7-316・K7-327・K7-335、PL.37～41・44) 36点が出土している。K7-84は裏面に原石面が残る分割礫を素材に、裏面側の周縁から中心に向けて剥片を剥離し、次に表面でも同様の作業を行うことで円盤状の形状となる。石材は黒色安山岩である。K7-58は立方体に近く、石材はチャートである。K7-274は表面に原石面が残る分割礫を素材に、表裏面側の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-190は側面に原石面が残る剥片を素材に、原石面を打面として剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-335は分割礫を素材に、表裏面の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-259は側面に原石面が残る剥片を素材に、両端を打面として剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-109は側面に原石面が残る剥片を素材に、両端から剥片を剥離している。石材は珪質頁岩である。K7-97は裏面に原石面が残る分割礫を素材に、原石面を打面に剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-79は裏面に原石面を残す剥片の側縁から剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-272は側面に原石面が残る分割礫を素材に、表裏面の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-187は剥片の剥離面を打面として、90°打面転位を繰り返しながら剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-63は側面に原石面が残る剥片を素材に、一端から剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-56は側面に原石面が残る剥片を素材に、両端から剥片を剥離している。石材は碧玉である。K7-282は裏面に原石面が残る分割礫を素材に、原石面を打面に剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-255は側面に原石面を残す分割礫の分割面や剥離面を打面として、打面転位をしながら剥片を剥離している。石材は珪質頁岩である。K7-34は裏面に原石面を残す分割礫の周縁から中心に向かって剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-217は原石面が残る分割礫を素材に、原石面を打面にして連続して剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-145は裏面に原石面が残る分割礫を素材に、表裏面の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-248は分割礫を素材に、表裏面の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-47は裏面の一部に原石面を残す大形の剥片の一縁から剥片を剥離している。石材は黒色頁岩である。K7-131は分割礫を素材に、表裏面の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-284は分割礫を素材に表裏面の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-128は裏面に原石面が残る分割礫を素材に、裏面側の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-291は分割礫、あるいは剥片の両端から剥片を剥離している。石材は珪質頁岩である。K7-55は側面に原石面が残る剥片を素材に両端から剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-246は裏面に原石面が残る分割礫を素材に、表面の一縁から剥片を剥離している。石材はホルンフェルスである。K7-127は裏面に原石面を残す分割礫で、原石面を打面に表面の中央に向かって周縁から剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-292は剥片の表裏面の周縁から中央

に向かって周縁から剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-49は立方体の剥片の剥離面を打面にして、90°の打面転位を数回繰り返して、剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-250は垂角礫の一端に剥離を加えて打面を作り出し、剥片を剥離している。石材はホルンフェルスである。K7-172は側面に原石面を残し、表裏面の周縁から中心に向けて剥片を剥離している。石材は黒色頁岩である。K7-199は底面に原石面が残る分割礫を素材に、分割面を打面に剥片を剥離し、さらに90°打面転位している。石材は黒色安山岩である。K7-327は長方体の垂角礫を素材に、原石面を打面に一端から連続して剥片を剥離している。石材はチャートである。K7-251は長方体の垂角礫を素材に、原石面を打面に一端から連続して剥片を剥離している。石材は珪質頁岩である。K7-135は剥片を素材に、表面から数枚の剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。K7-316（非実測）は分割礫を素材に、原石面を打面に小さな剥片を数枚剥離している。石材は珪質頁岩である。

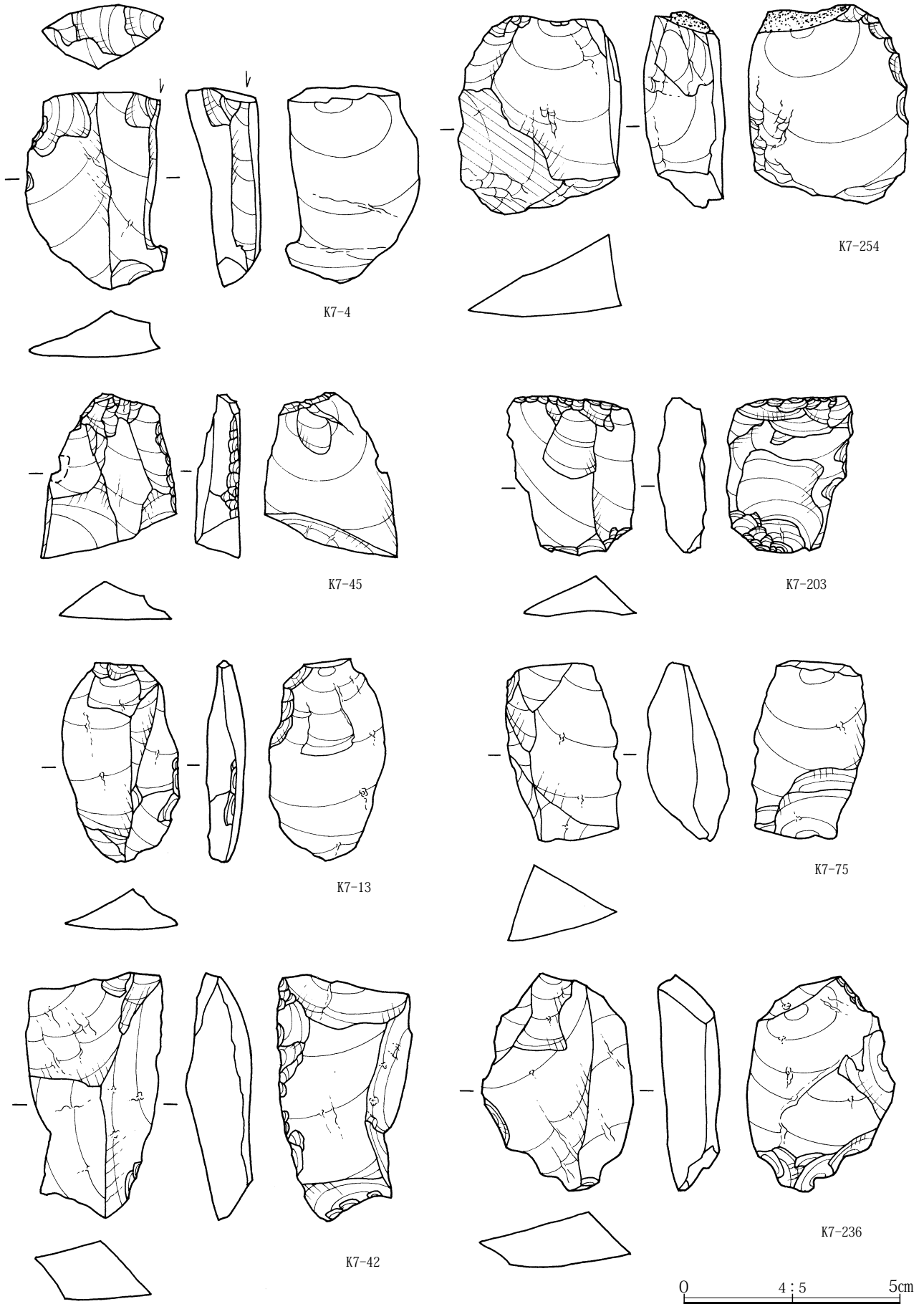
敲石(第120・121図、K7-24・K7-39・K7-59・K7-173・K7-200・K7-204・K7-239、PL.41・42) 7点が出土している。K7-200は小形の垂角礫で、一端に敲打痕が残る。石材はホルンフェルスである。K7-59は小形の垂角礫で、一端に僅かに敲打痕と剥離痕が残る。石材は溶結凝灰岩である。K7-204は垂角礫で、両端に敲打痕が残る。石材はホルンフェルスである。K7-39は垂角礫で、一端に僅かな敲打痕と剥離痕が残る。石材は黒色頁岩である。K7-173は垂角礫で、一端に敲打痕と剥離痕が残る。石材は黒色頁岩である。K7-239は断面が三角の垂角礫で、一端に敲打痕と剥離痕が残る。石材はホルンフェルスである。K7-24は垂角礫で、一端に敲打痕と剥離痕、側縁に剥離痕が残る。石材はホルンフェルスである。

台石(第120・121図、K7-43・K7-65・K7-90・K7-119・K7-211・K7-260・K7-261・K7-262・K7-328、PL.41・42) 9点が出土しているが、その内の4点を資料化した。K7-65は扁平な楕円礫で、一端と側縁に敲打痕と剥離痕が残ることから敲石の可能性もあるが、その形状から台石とした。石材はホルンフェルスである。K7-211は楕円礫で表面に線状痕が残る。石材は粗粒輝石安山岩である。K7-262は楕円礫で、表面のほぼ中央に敲打痕が残る。石材はホルンフェルスである。K7-328は五角形の垂角礫の一端に敲打痕と剥離痕が残ることから敲石の可能性もあるが、その形状から台石とした。石材はホルンフェルスである。残りの4点は記載だけとする。K7-43は扁平な楕円礫で、原石面の風化による劣化が激しく、一部で表面が剥がれている。石材はホルンフェルスである。K7-90は垂角礫で、原石面の風化による劣化が激しく、一部で表面が剥がれているうえに、いくつにも細かく破碎している。石材はホルンフェルスである。K7-119は扁平な円礫で、原石面の風化による劣化が激しく、一部で表面が剥がれているうえに、いくつにも細かく破碎している。石材はホルンフェルスである。K7-260+K7-261は棒状の垂角礫であるが、二つに折れているうえに、原石面の風化による劣化が激しい。一部に剥離痕が残る。石材はホルンフェルスである。

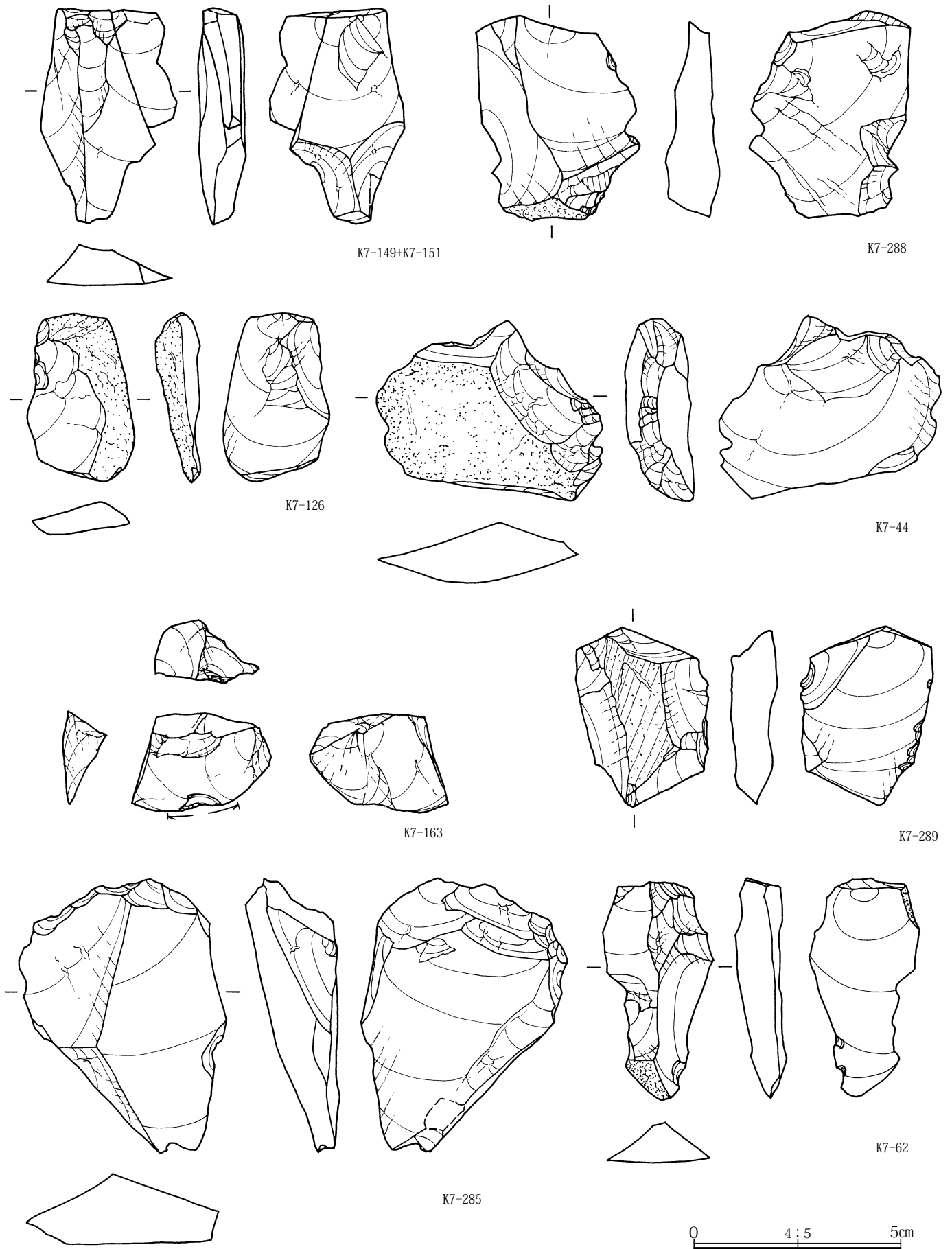
礫器(第122図、K7-35、PL.43) 1点出土している。ほぼ正方体の垂角礫を素材に、一端の角に表裏面への剥離痕が多数、もう一方の角には敲打痕が多数残ることから敲石の可能性もあるが、その大きさから礫器とした。石材は砂岩である。この他に、多数の剥片や碎片が出土しているが、図化・資料化しているのは主に接合資料に含まれる資料だけである。(第123～129図、PL.43～46)

第16表 五代砂留遺跡群 第3文化層 拡張7区組成表

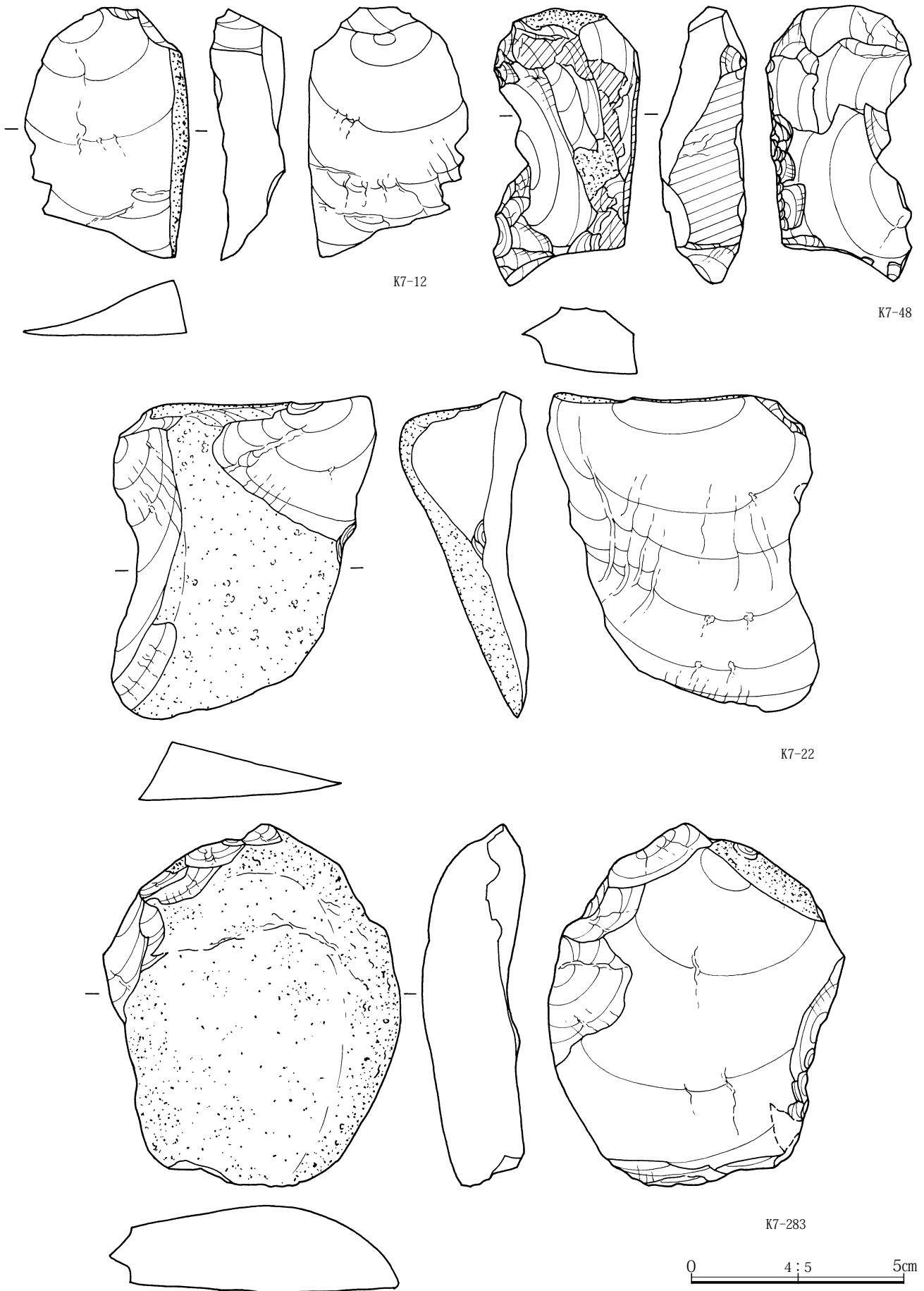
| | 彫器 | 削器 | 楔形石器 | 加工痕 | 使用痕 | 石刃 | 石核 | 敲石 | 台石 | 剥片 | 碎片 | 礫器 | 礫 | 礫片 | 礫類 | 総計 |
|---------|----|----|------|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|
| 黒色安山岩 | | 2 | 1 | 4 | | | 14 | | | 88 | 7 | | | | | 116 |
| 黒色頁岩 | | | | 1 | | 1 | 2 | 2 | | 20 | | | 1 | | | 27 |
| 珪質頁岩 | | 1 | 1 | 1 | 4 | | 5 | | | 13 | 1 | | 2 | 3 | | 31 |
| チャート | 1 | 1 | | 6 | 4 | 3 | 12 | | | 44 | | | | | | 71 |
| 碧玉 | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 3 | | | | | | 6 |
| ホルンフェルス | | | | 2 | | | 2 | 4 | 8 | 6 | | | 8 | 3 | | 33 |
| デイサイト | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 溶結凝灰岩 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | | 3 |
| 輝緑凝灰岩 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 珪質変質岩 | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| 砂岩 | | | | | | | | | | | | 1 | 8 | 4 | | 13 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | | | | 1 | | | | 6 | 13 | | 20 |
| 雲母石英片岩 | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 |
| 黒色片岩 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 |
| 総計 | 1 | 4 | 2 | 14 | 9 | 5 | 36 | 7 | 9 | 174 | 8 | 1 | 26 | 28 | 5 | 329 |



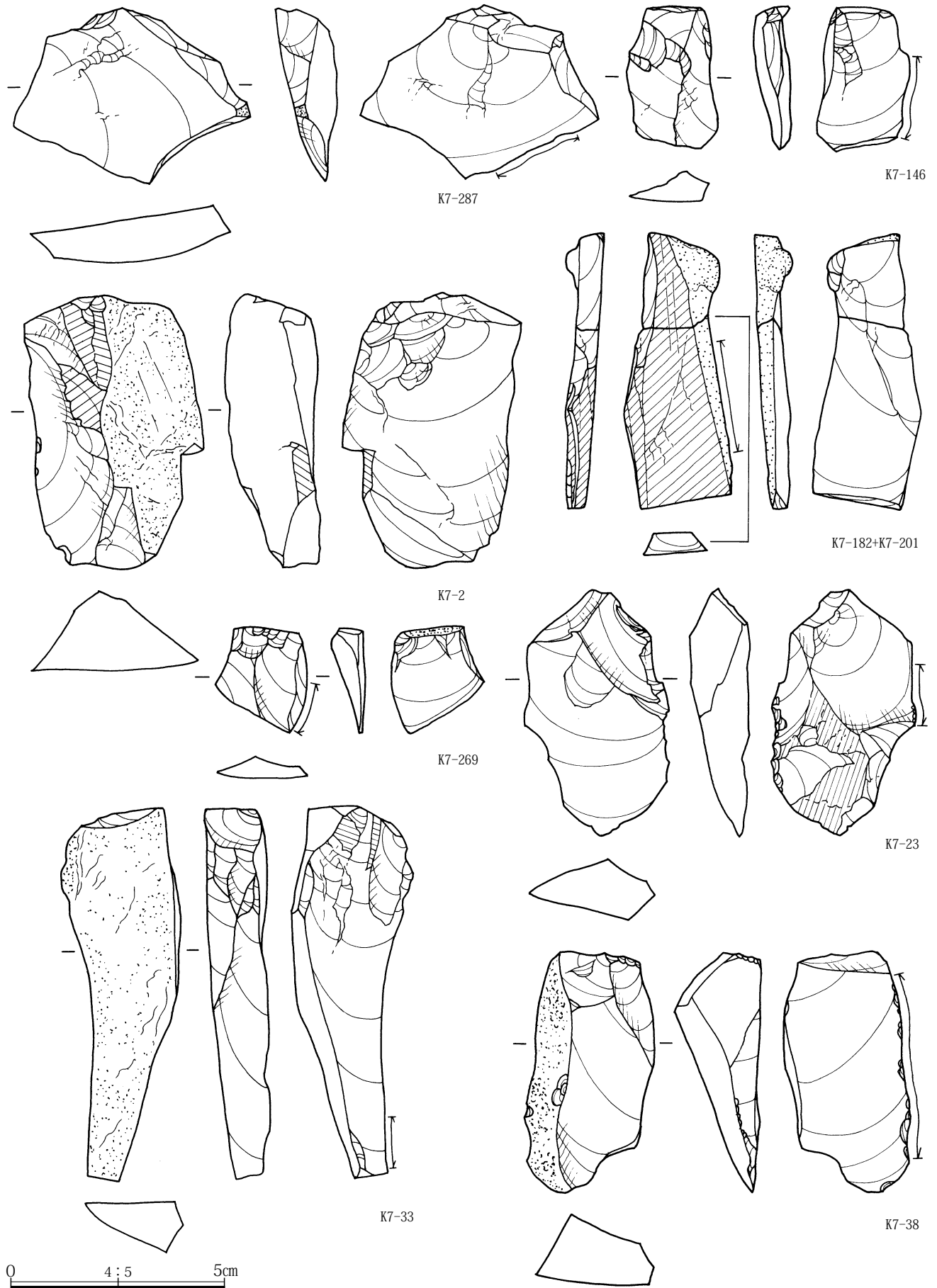
第107図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(1)



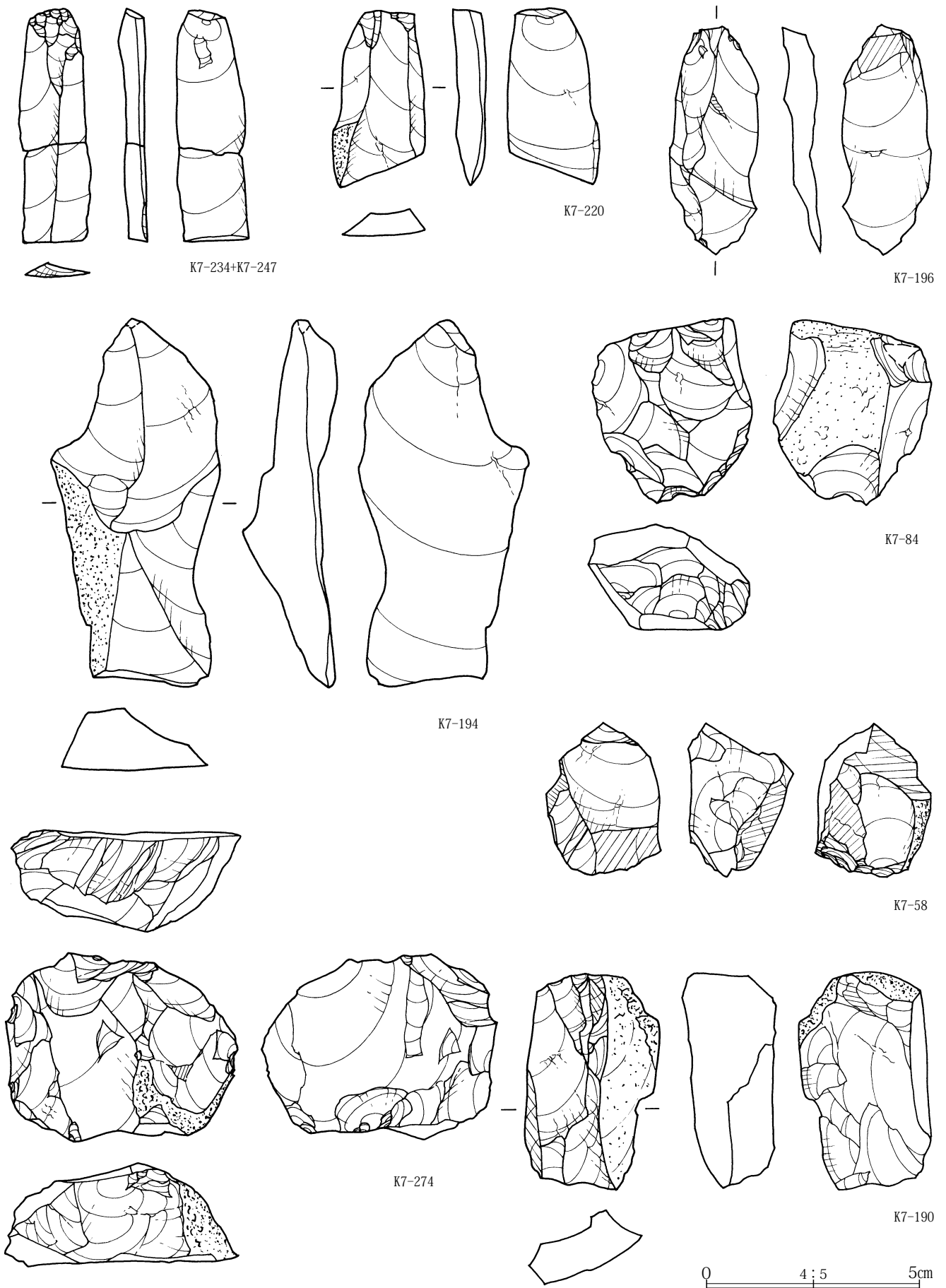
第108図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(2)



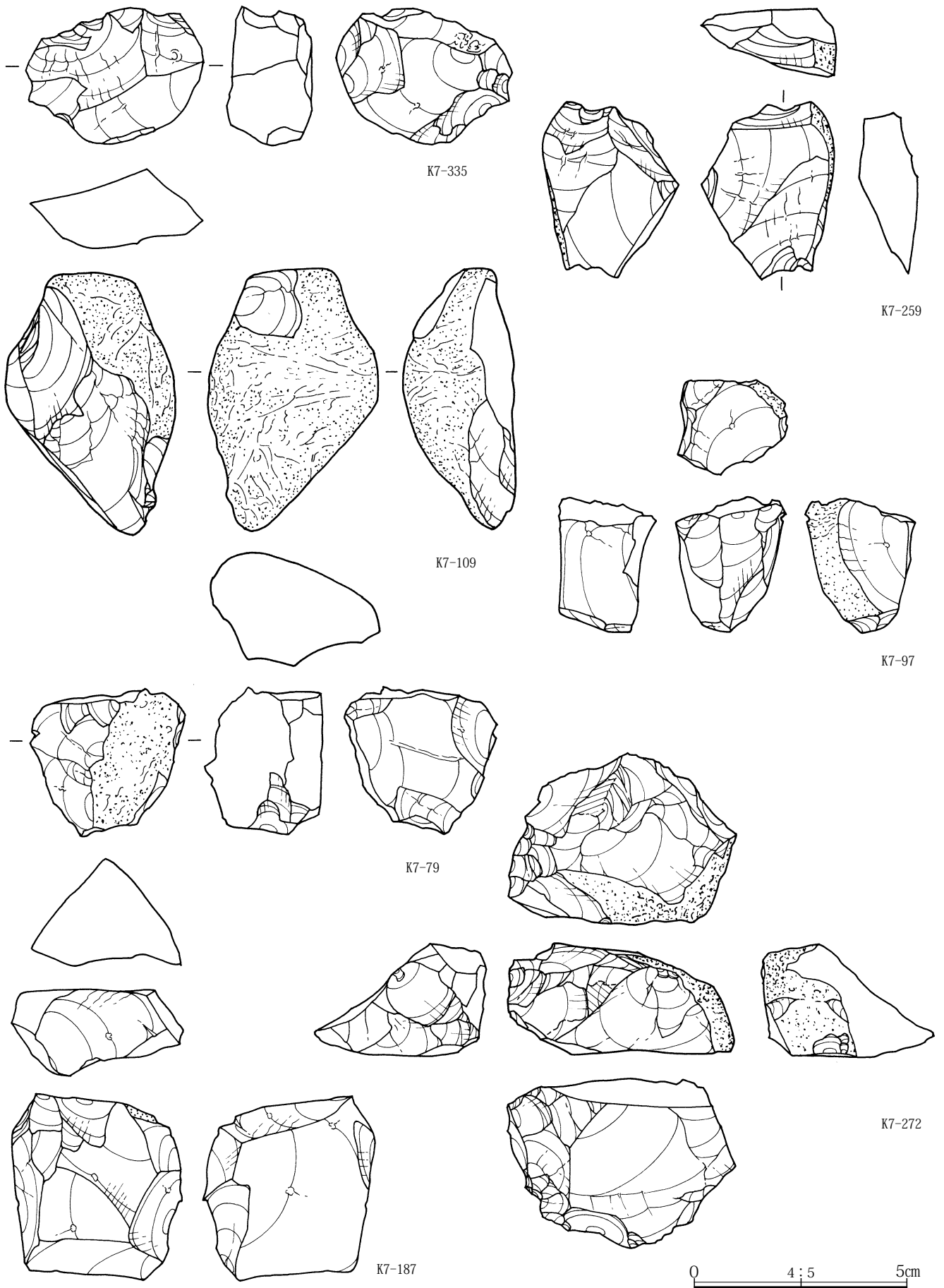
第109図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(3)



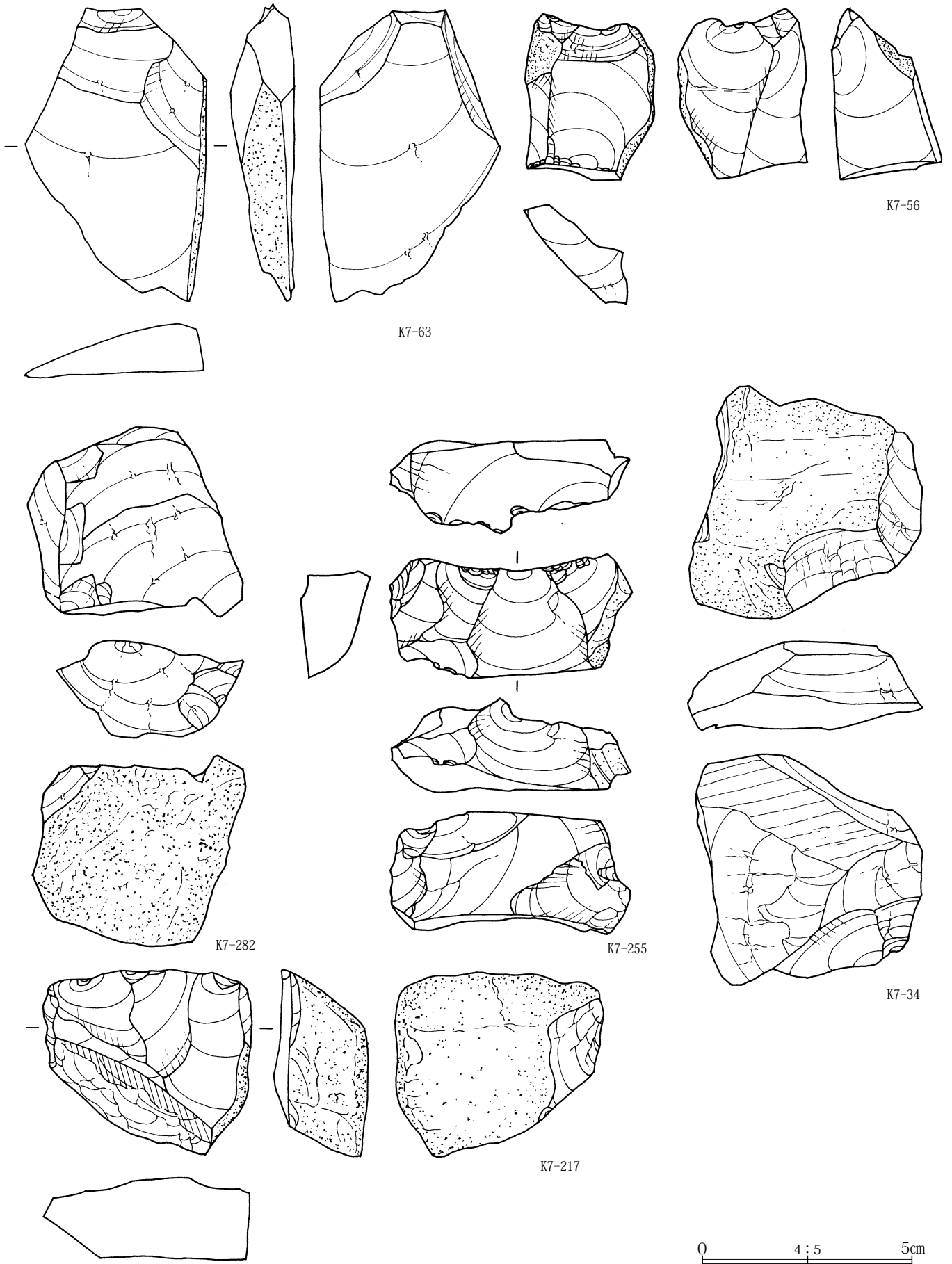
第110図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(4)



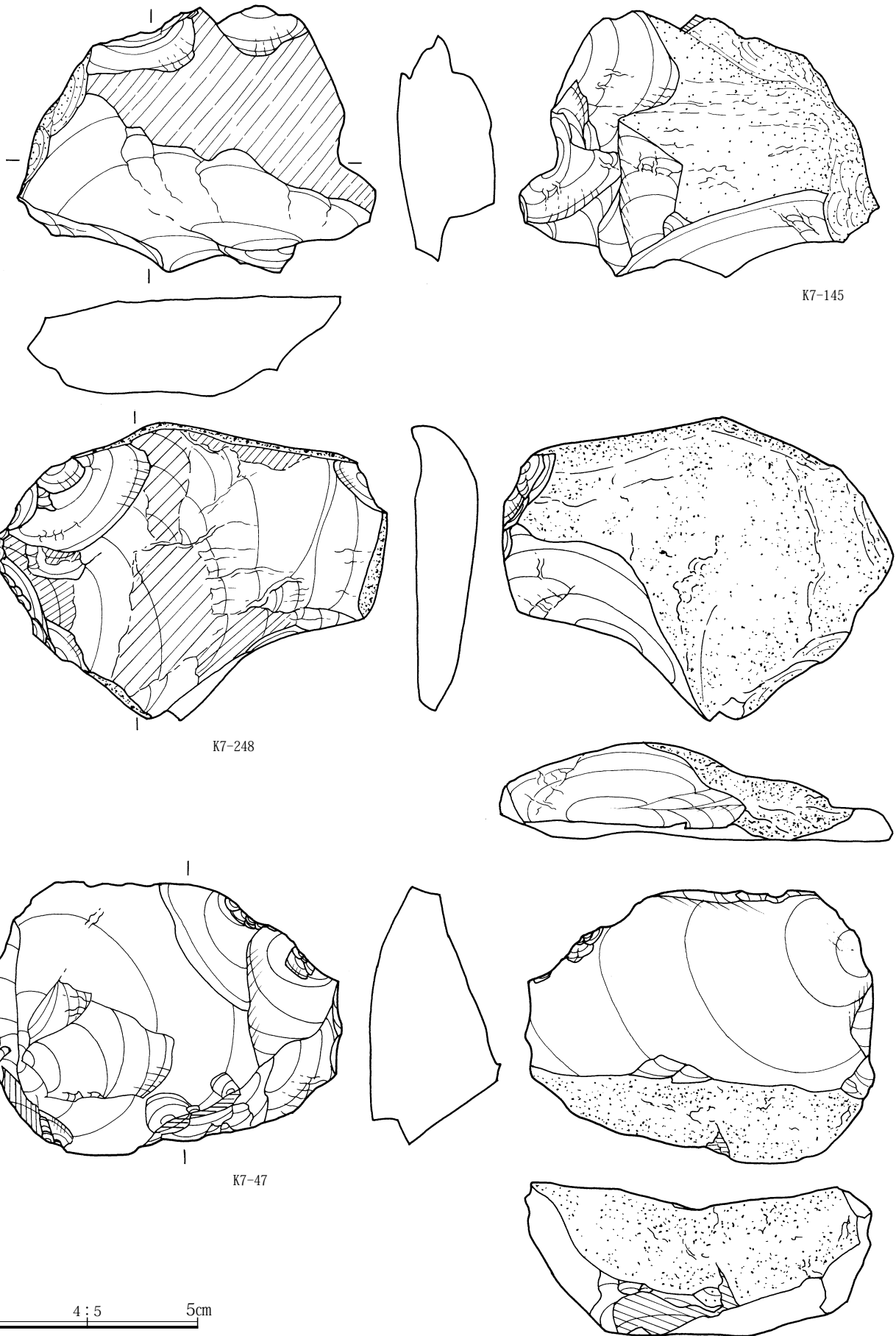
第111図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(5)



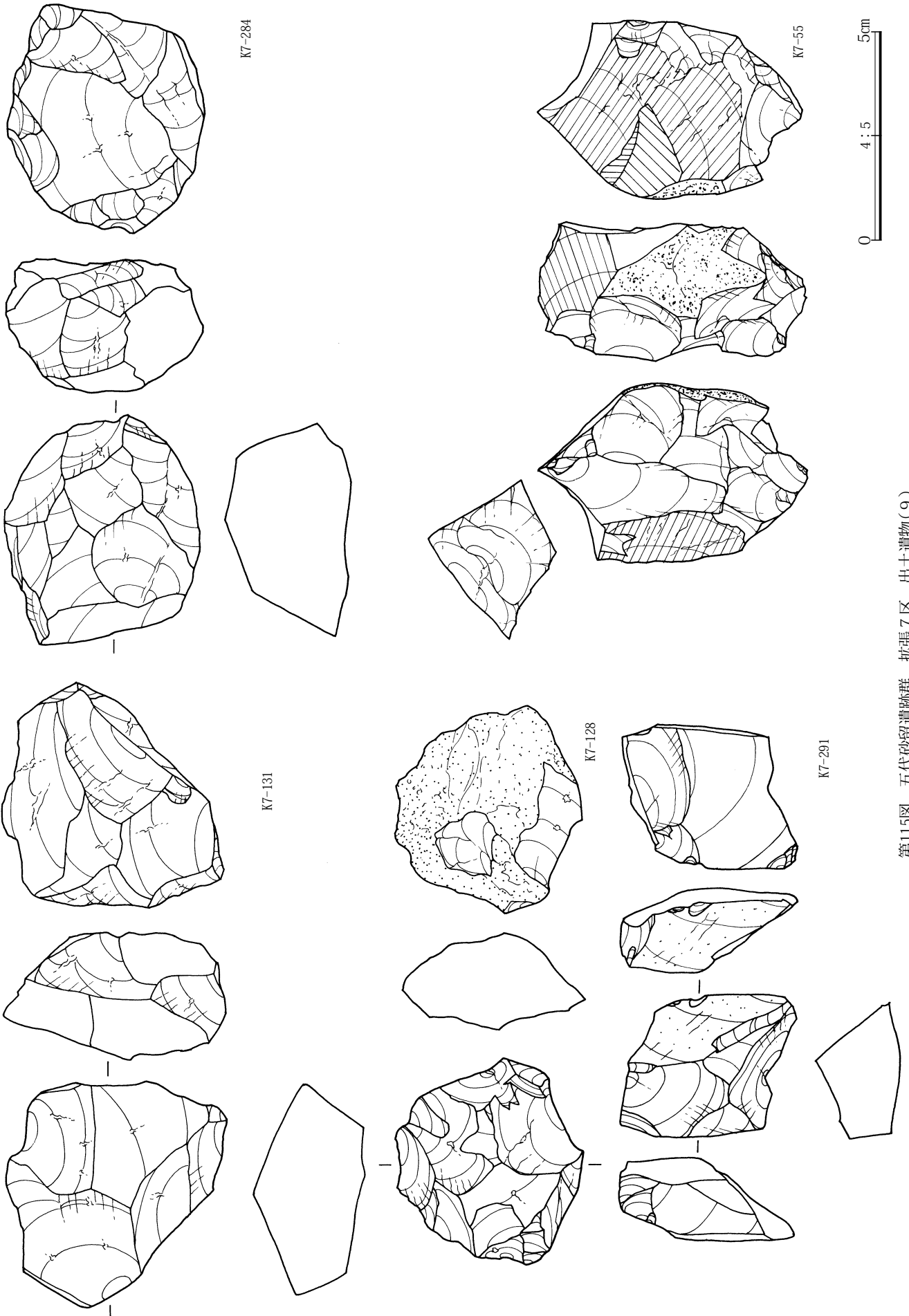
第112図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(6)



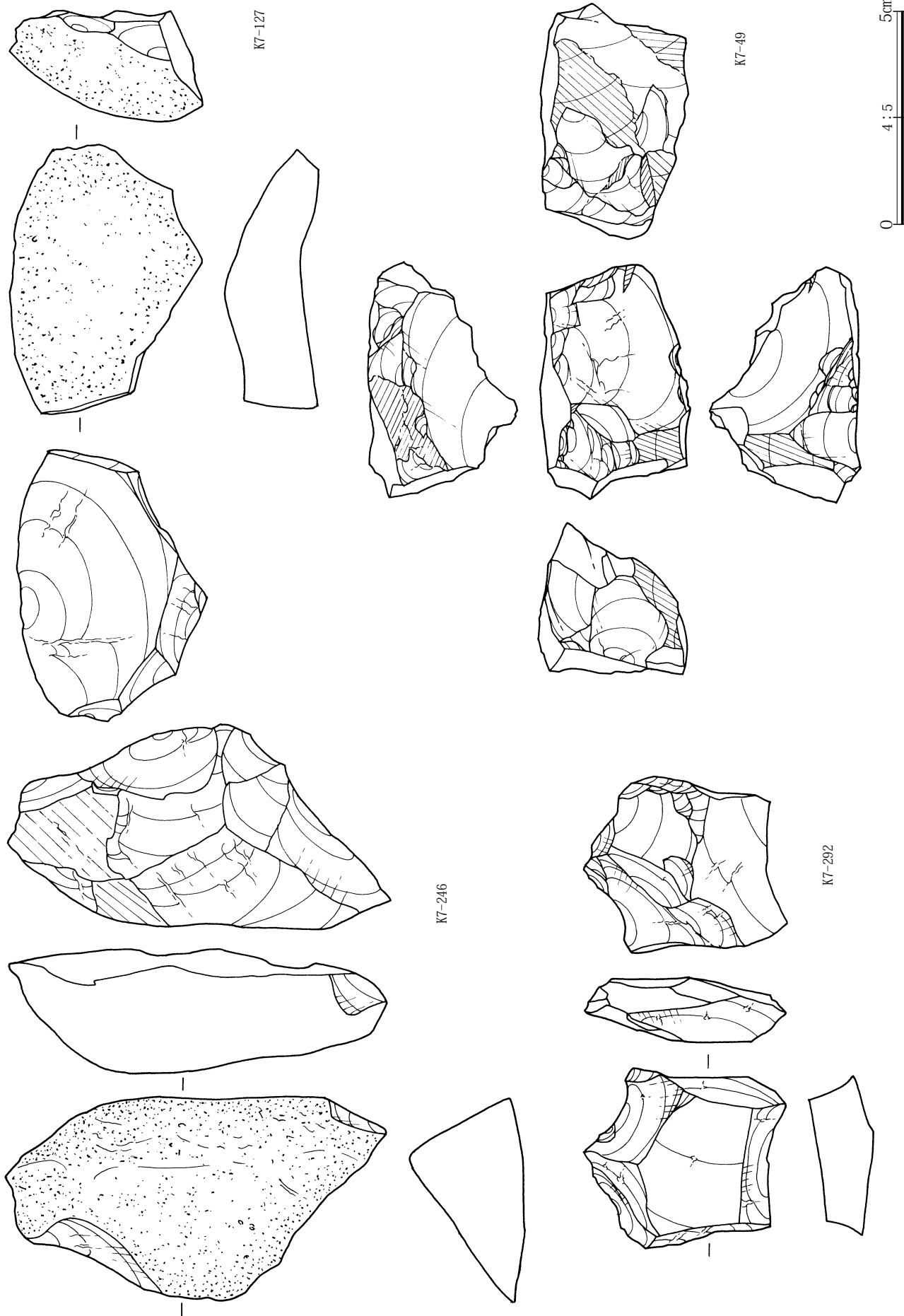
第113図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(7)



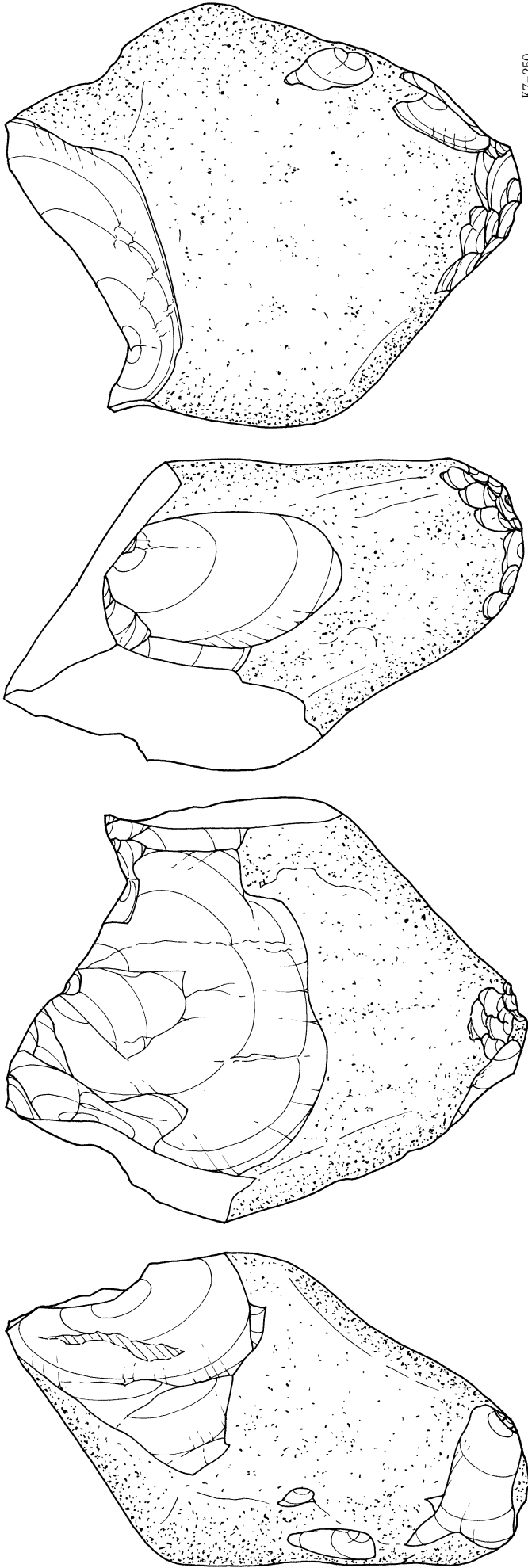
第114図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(8)



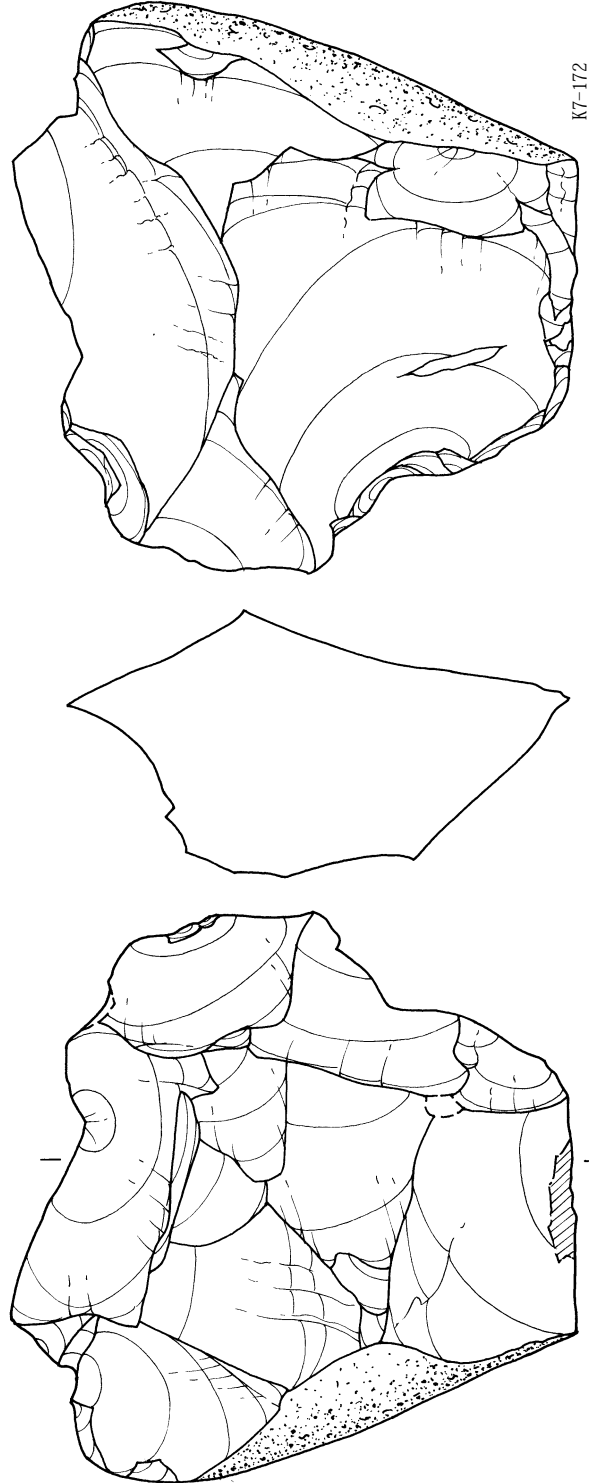
第115図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(9)



第116図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(10)



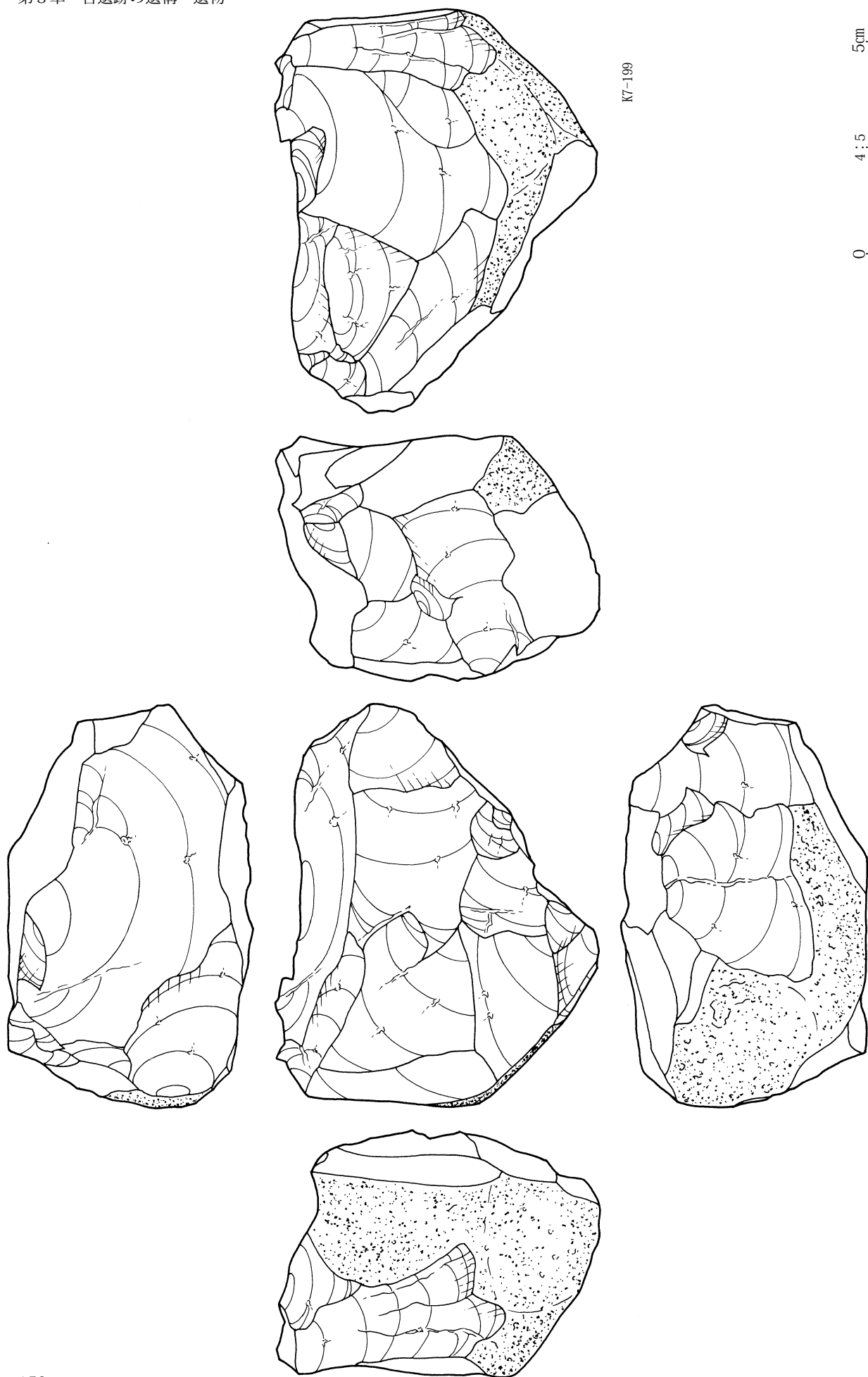
K7-250



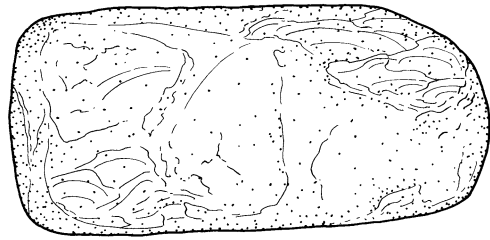
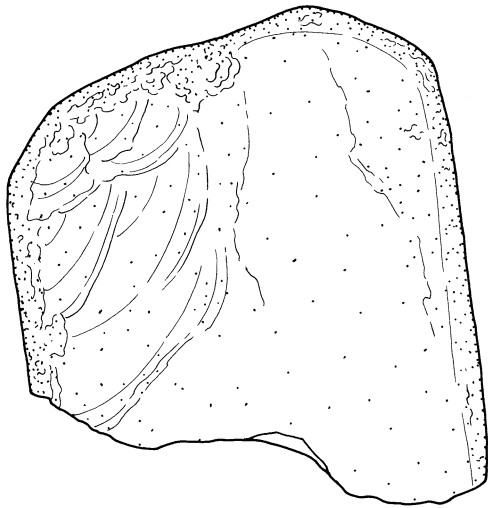
0 4:5 5cm

K7-172

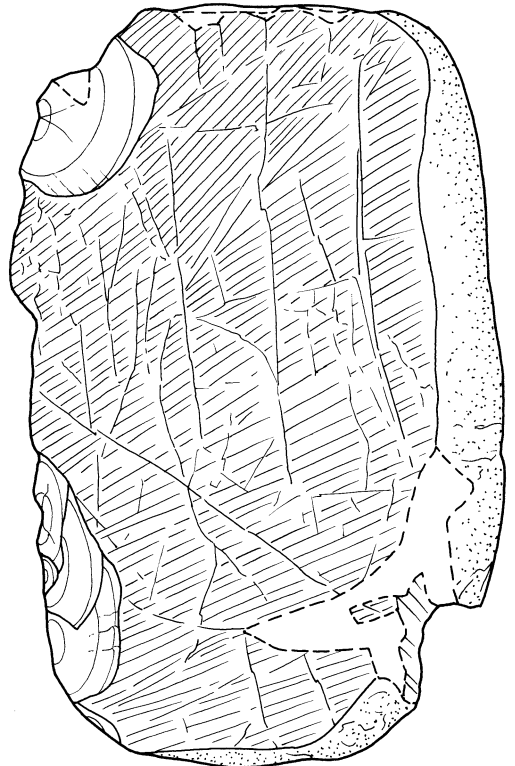
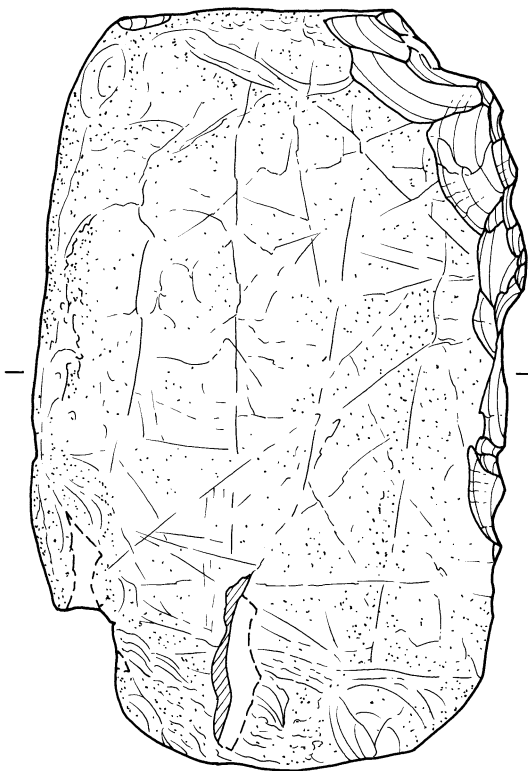
第117図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(11)



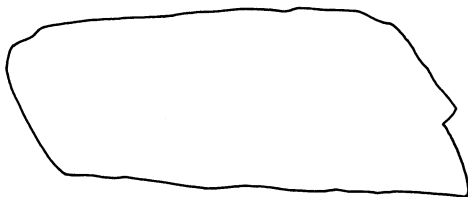
第118図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(12)



K7-327

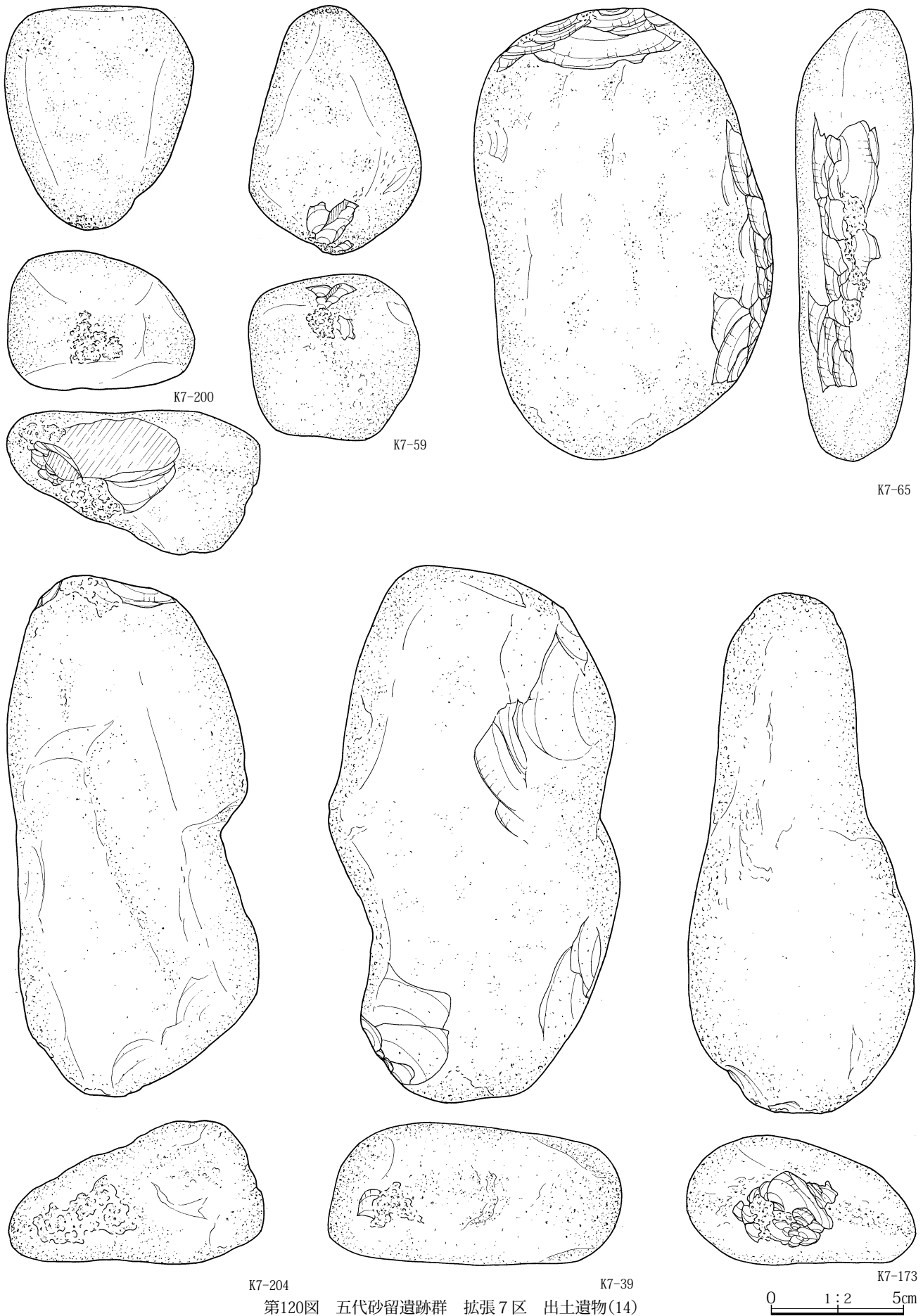


K7-251



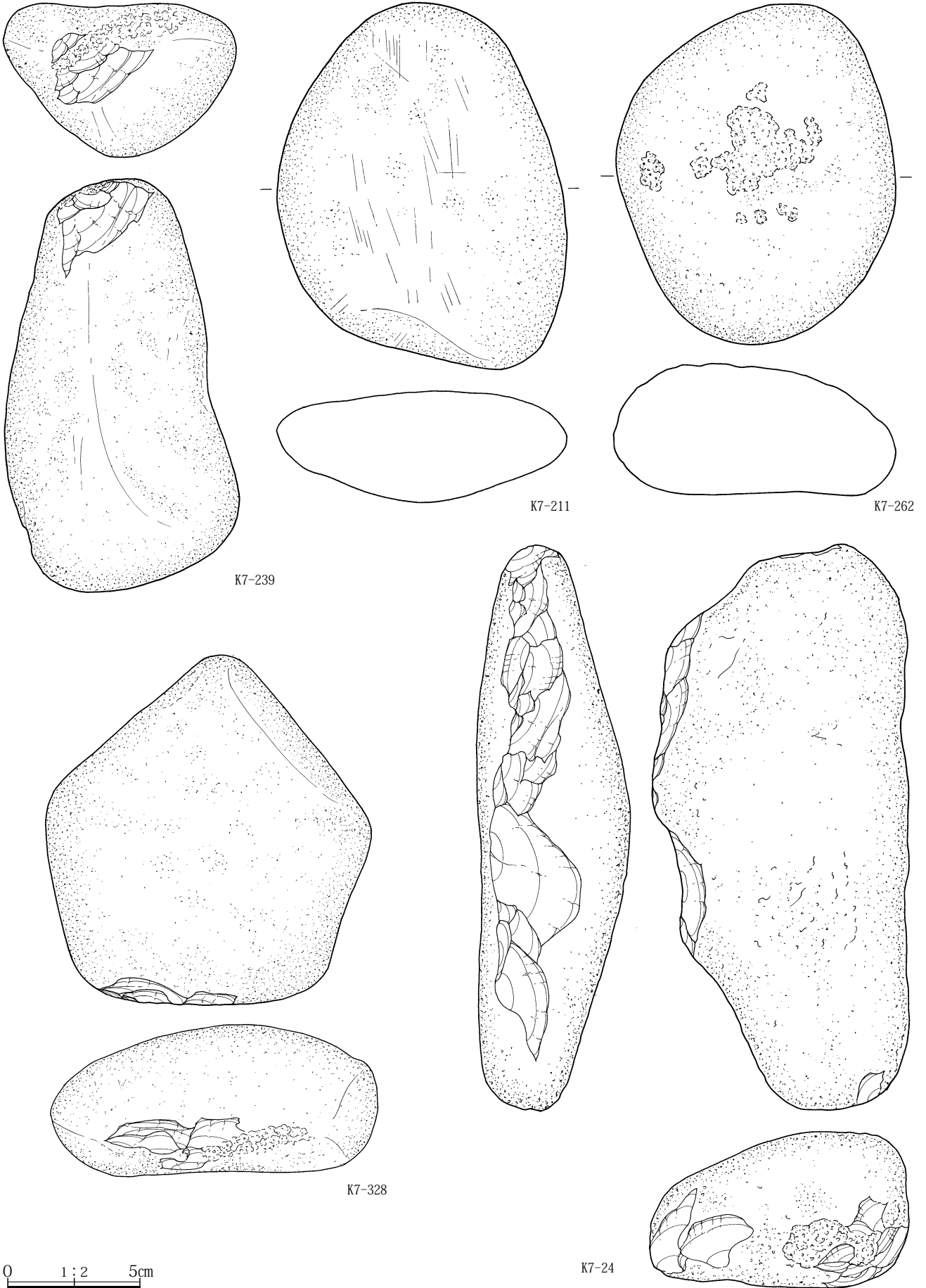
0 4:5 5cm

第119図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(13)



K7-204 K7-39
第120図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(14)

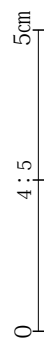
0 1:2 5cm



第121図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(15)



K7-35



第122図 五代砂留遺跡群 拡張7区 出土遺物(16)

(4)母岩別資料・接合資料(第123～129図、PL.43～46)

黒色安山岩は116点が出土した。このうち、接合資料は13例40点がある。

黒色安山岩1－①(第123図、PL.43)折断資料1例を含む剥片8点の接合資料である。K7-237+K7-241→K7-219→K7-240→K7-222→K7-216→K7-224→K7-221

黒色安山岩1－②(第123図、PL.43)石核1点と剥片5点の計6点が接合した。K7-110(剥片)→K7-100(剥片)→K7-92(剥片)→K7-124(剥片)→K7-93(剥片)→K7-97(石核)

黒色安山岩1－③(第123図、PL.43)石核1点と剥片3点の計4点が接合した。K7-102(剥片)→K7-108(剥片)→K7-99(剥片)→K7-128(石核)

黒色安山岩1－④(第124図、PL.43)石核1点と剥片2点の計3点が接合した。K7-191(剥片)→K7-186(剥片)→K7-187(石核)

黒色安山岩1－⑤(第124図、PL.43)石核1点と剥片1点の計2点が接合した。K7-105(剥片)→K7-84(石核)

黒色安山岩1－⑥(第124図、PL.44)加工痕ある剥片の折断資料である。K7-149+K7-151

黒色安山岩1－⑦(第124図、PL.43)剥片2点の接合資料である。K7-74→K7-111

黒色安山岩1－⑧(第124図、PL.44)剥片の折断資料である。K7-121+K7-115

黒色安山岩1(第107・112・113・116図、PL.34・37・39)には非接合資料として、石核3点、加工痕ある剥片1点、剥片21点の計25点がある。K7-57、K7-63(石核)、K7-73、K7-80、K7-83、K7-87、K7-88、K7-95、K7-114、K7-116、K7-118、K7-123、K7-125、K7-127(石核)、K7-153、K7-164、K7-183、K7-185、K7-188、K7-227、K7-229、K7-230、K7-235、K7-236(加工痕ある剥片)、K7-335(石核)

黒色安山岩2－①(第124図、PL.44)剥片の折断資料である。K7-154+K7-67

黒色安山岩2－②(第124図、PL.44)楔形石器と剥片の接合資料。K7-101(剥片)→K7-75(楔形石器)

黒色安山岩2(第112図、PL.37)には非接合資料として、石核1点がある。K7-79(石核)

黒色安山岩3－①(第124図、PL.44)石核と剥片の計2点が接合した。K7-281(剥片)→K7-282(石核)

黒色安山岩3－②(第124図、PL.44)剥片の折断資料である。K7-342+K7-311

黒色安山岩3(第118図、PL.40)には非接合資料として、石核1点、剥片6点がある。K7-11、K7-130、K7-133、K7-134、K7-199(石核)、K7-205、K7-326

黒色安山岩4－①(第124図、PL.44)石核1点と剥片2点の計3点からなる接合資料である。K7-135(石核)+K7-142(剥片)+K7-141(剥片)

黒色安山岩5(第107・116図、PL.34・39)には非接合資料として、削器1点、石核1点、剥片6点の計8点がある。K7-42(削器)、K7-52、K7-76、K7-85、K7-150、K7-275、K7-292(石核)、K7-307

黒色安山岩6(第115図、PL.39)には非接合資料として、石核2点、剥片4点の計6点がある。K7-131(石核)、K7-136、K7-223、K7-232、K7-284(石核)、K7-309

黒色安山岩(第107・109図、PL.34・35)単独母岩として、削器1点、加工痕ある剥片1点、剥片2点の計4点がある。K7-13(削器)、K7-22(加工痕ある剥片)、K7-158、K7-233

黒色安山岩には分類不能な剥片18点、碎片7点、計25点がある。

黒色頁岩には、接合資料3例12点、非接合資料12点がある。黒色頁岩1の色調は灰白7/1(Hue10Y)。やや風化している。

黒色頁岩1－①(第125・126図、PL.44)礫の分割面か、あるいは打面作出面を打面として、連続して縦志向の剥片を数枚剥離し、その剥片剥離面を打面として90°転位して、さらに連続剥離する。石核1点と剥片7点の計8点からなる接合資料である。K7-180(剥片)→K7-245(剥片)+K7-168(剥片)―↓

K7-174(剥片)→K7-171(剥片)→K7-172(石核)

K7-176(剥片)→K7-178(剥片)―↑

黒色頁岩 1-② 剥片 2 点の接合資料である。K7-175→K7-179 非実測

黒色頁岩 1-③ 剥片 2 点の接合資料である。K7-155→K7-161 非実測

黒色頁岩 1 (第108図、PL.35)には非接合資料として、加工痕ある剥片 1 点と剥片 3 点がある。K7-163 (加工痕ある剥片)、K7-165、K7-167、K7-181

黒色頁岩(第111・114・126図、PL.37・38・44)単独母岩として、石刃 1 点、石核 1 点、剥片 2 点がある。K7-20、K7-47 (石核)、K7-194 (石刃)、K7-207

黒色頁岩には分類不能な剥片 4 点がある。

珪質頁岩は、24点が出土した。このうち、接合資料は 2 例 4 点である。

珪質頁岩 1-①(第110図、PL.36)使用痕ある剥片の折断資料である。K7-182+K7-201

珪質頁岩 2-①(第126図、PL.44)剥片 2 点の接合資料である。K7-159→K7-202

珪質頁岩 3 の非接合資料には、剥片 2 点がある。K7-25、K7-28

珪質頁岩 4 の非接合資料は、石核 2 点、加工痕ある剥片 1 点、剥片 6 点の計 9 点がある。K7-5、K7-77、K7-78、K7-96、K7-98、K7-109 (石核)、K7-117、K7-126 (加工痕ある剥片)、K7-251 (石核)

珪質頁岩(第110・107・113・115図、PL.36・34・38・39)単独母岩として、削器 1 点、楔形石器 1 点、使用痕ある剥片 2 点、石核 2 点、剥片 1 点の計 7 点がある。K7-23 (使用痕ある剥片)、K7-38 (使用痕ある剥片)、K7-45 (削器)、K7-203 (楔形石器)、K7-255 (石核)、K7-291 (石核)、K7-303 (剥片)

珪質頁岩には分類不能とした石核 1 点、碎片 1 点がある。K7-316 (石核)、K7-331 (碎片)

碧玉 1 (第113図、PL.38)非接合資料として、石核 1 点と剥片 2 点がある。K7-56 (石核)、K7-60、K7-258

碧玉 2 (第110図、PL.36)非接合資料として、使用痕ある剥片 1 点と剥片 1 点がある。K7-267、K7-269 (使用痕ある剥片)

碧玉(第111図、PL.36)単独母岩として石刃 1 点がある。K7-220

チャートは、計73点があり、接合資料10例41点と非接合資料32点からなる。

チャート 1-①(第126図、PL.45)石核 1 点と剥片 10 点の計 11 点からなる接合資料である。K7-343 (剥片)→K7-324 (剥片)→K7-317 (剥片)→K7-312 (剥片)→K7-330 (剥片)→K7-313 (剥片)+K7-322 (剥片)→K7-329 (剥片)→K7-323 (剥片)→K7-314 (剥片)→K7-327 (石核)

チャート 1 には非接合資料として剥片 2 点がある。K7-319、K7-324

チャート 2-①(第127図、PL.45)石核 1 点と剥片 6 点の計 7 点からなる接合資料である。K7-143 (剥片)→K7-132 (剥片)→K7-129 (剥片)→K7-144 (剥片)→K7-137 (剥片)→K7-166 (剥片)→K7-145 (石核)

チャート 3-①(第127図、PL.45)石核 1 点と剥片 3 点からなる接合資料である。K7-69 (剥片)→K7-16 (剥片)→K7-27 (剥片)→K7-49 (石核)

チャート 3-②(第128図、PL.45)石核 2 点と剥片 2 点からなる接合資料である。K7-58 (石核)→K7-156 (剥片)→K7-19 (剥片)→K7-55 (石核)

チャート 3 (第107・108・110図、PL.34～36)には非接合資料として、削器 1 点、加工痕ある剥片 1 点、使用痕ある剥片 3 点、剥片 2 点の計 7 点がある。K7-2 (使用痕ある剥片)、K7-15 (剥片)、K7-33 (使用痕ある剥片)、K7-44 (加工痕ある剥片)、K7-254 (削器)、K7-264 (剥片)、K7-287 (使用痕ある剥片)

チャート 4-①(第128図、PL.46)石核 2 点と剥片 3 点の計 5 点からなる接合資料である。K7-272 (石核)→K7-271 (剥片)→K7-273 (剥片)→K7-270 (剥片)→K7-274 (石核)

チャート 4 (第111・113図、PL.36・38)には非接合資料として、石刃 1 点、石核 1 点、剥片 2 点がある。K7-37 (剥片)、K7-196 (石刃)、K7-217 (石核)、K7-276 (剥片)

チャート 5-①(第129図、PL.46)剥片 2 点の接合資料である。K7-71+K7-70

チャート 5 (第107・109図、PL.34・35)には非接合資料として、彫器 1 点(K7-4)と加工痕ある剥片 1 点(K7-12)がある。

チャート6-①(第129図、PL.46)石核1点と剥片1点からなる接合資料である。K7-34(石核)+K7-41(剥片)

チャート6(第108図、PL.35)には非接合資料として、加工痕ある剥片1点と剥片3点の計4点がある。K7-8(剥片)、K7-62(加工痕ある剥片)、K7-148(剥片)、K7-160(剥片)

チャート7-①(第128図、PL.46)剥片2点の接合資料である。K7-6→K7-10

チャート7には非接合資料として、剥片1点がある。K7-9

チャート8-①(第128図、PL.46)加工痕ある剥片2点の接合資料である。K7-289→K7-288

チャート9-①(第111図、PL.36)石刃の折断資料である。K7-247+K7-234

チャート10(第109・114図、PL.35・38)には非接合資料として、加工痕ある剥片1点、石核1点、剥片4点である。K7-21(剥片)、K7-26(剥片)、K7-29(剥片)、K7-40(剥片)、K7-48(加工痕ある剥片)、K7-248(石核)

チャート11には非接合資料として剥片2点がある。K7-31、K7-32

チャート(第110～112図、PL.36・37)単独母岩として、使用痕ある剥片1点、石核2点がある。K7-146(使用痕ある剥片)、K7-190(石核)、K7-259(石核)

ホルンフェルス1-①(第129図、PL.46)石核1点、剥片2点からなる接合資料である。K7-206(剥片)→K7-249(剥片)→K7-250(石核)

ホルンフェルス(第108・109・116・117図、PL.35・36・39・40)には単独資料として、石核2点、加工痕ある剥片2点、剥片6点の計10点がある。K7-206(剥片)、K7-246(石核)、K7-249(剥片)、K7-250(石核)、K7-277(剥片)、K7-278(剥片)、K7-280(剥片)、K7-283(加工痕ある剥片)、K7-285(加工痕ある剥片)、K7-305(剥片)

(5)剥片剥離技術

分割礫を素材に、裏面側原石面の周辺から中心に向けて幅広剥片を剥離する。この技法では、剥離される石刃や剥片の表面や側面の一部に原石面が残る割合が高い。また、石核も裏面に原石面が残る分割礫を素材とすることから、原石面がしっかりと残り、表裏面の周縁から中心に向かう剥片剥離が多く認められる。この傾向は出土している石核や剥片などの石器からも窺える。

(6)分布状況(第130・219図)

拡張7区の西には北東-南西方向に延びる浅い谷があり、石器群の分布域は北西側で弱く傾斜(第165図の垂直分布を参照)していた。現状で、石器分布は東西約40m・南北約30mに分布しているが、実際は掘削深度の関係で段掘り調査されており、さらに南側に広がることが確実である。石器ブロック16が認定されているが、ブロック間の境界は明瞭ではない。2・3号ブロック間および9・12号ブロック間に空白域があるように見える。

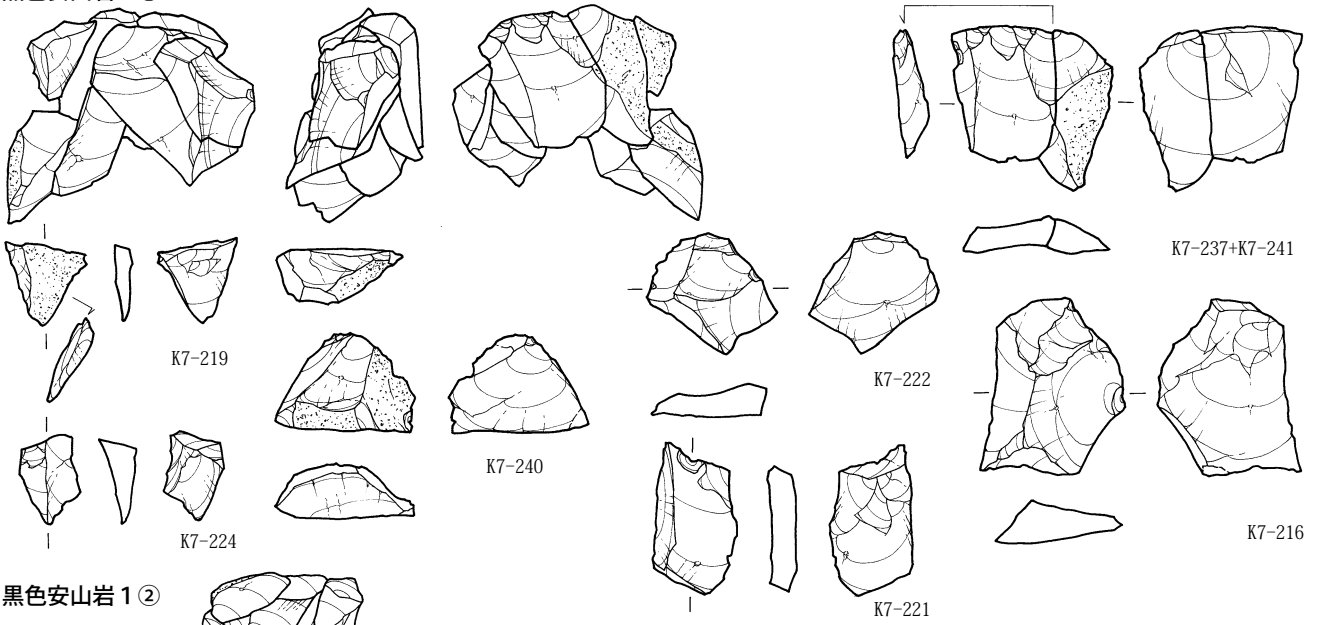
(7)石器の分布(第131～134図)

ナイフ形石器などの主要な石器はあまりないものの、器種別にみると彫器が14号ブロックから、削器が13号ブロックと14号ブロックと15号ブロック、加工痕ある剥片や石刃などは大部分のブロックから出土している。石器製作に関係する石核については9点も分布する7号ブロックをはじめとして、1・2・3・4・5・6・8・10・11・12・13・15・16号の大部分のブロックで出土している。また、敲石は15号ブロックの2点を筆頭に、2・5・6・8・13号の各ブロックに分布する。台石も4号ブロックの3点を筆頭に、7号ブロックの2点、13号ブロックに分布する。

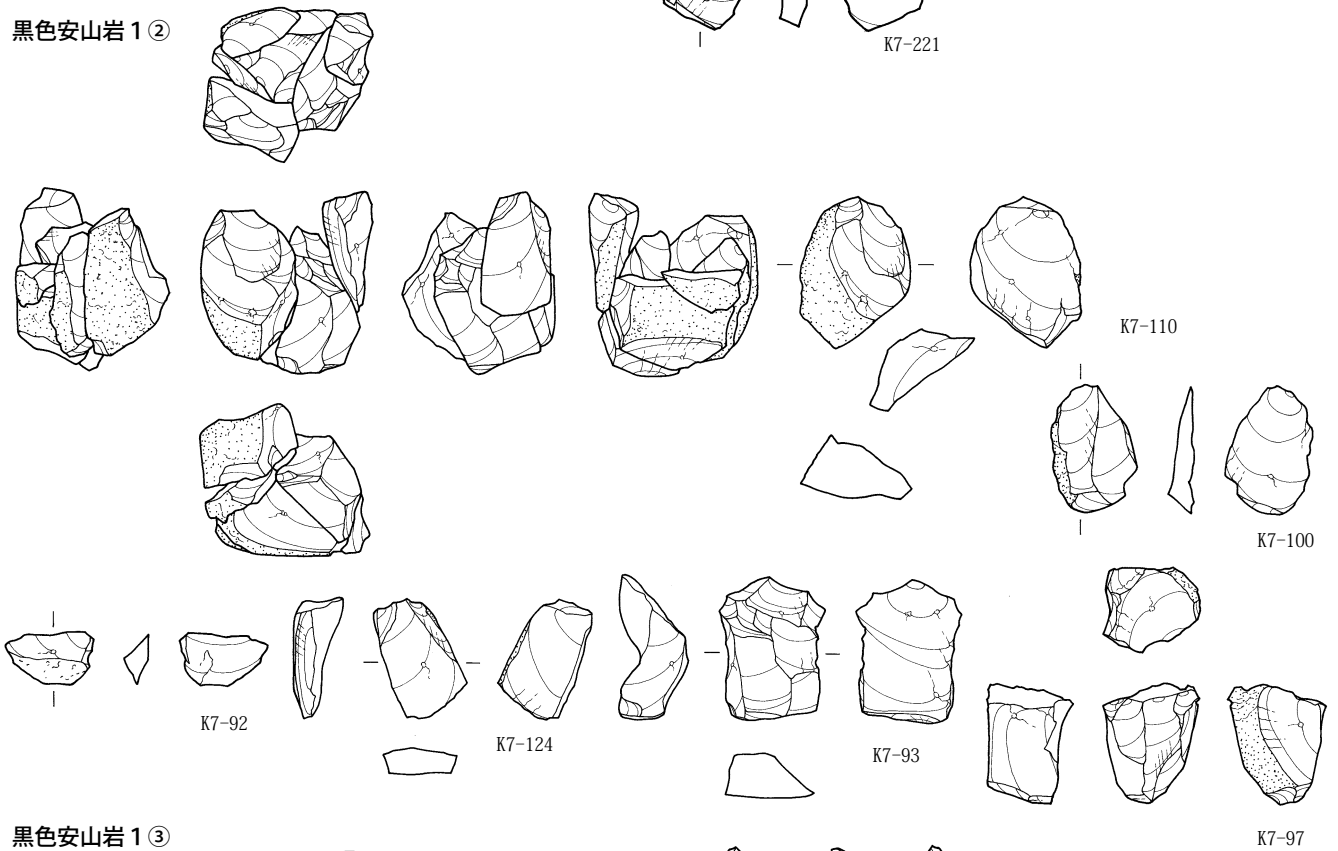
(8)石材の分布(第135図)

石材構成が多様で、遍在性の指摘は難しい。黒色安山岩が7・8号ブロックに、黒色頁岩が6号ブロックに、チャートは1・8号ブロックに集中する傾向が指摘できる程度である。その他、珪質頁岩が1号ブロックにあるほか、7号ブロックの北側と14ブロック周辺に偏在するようである。

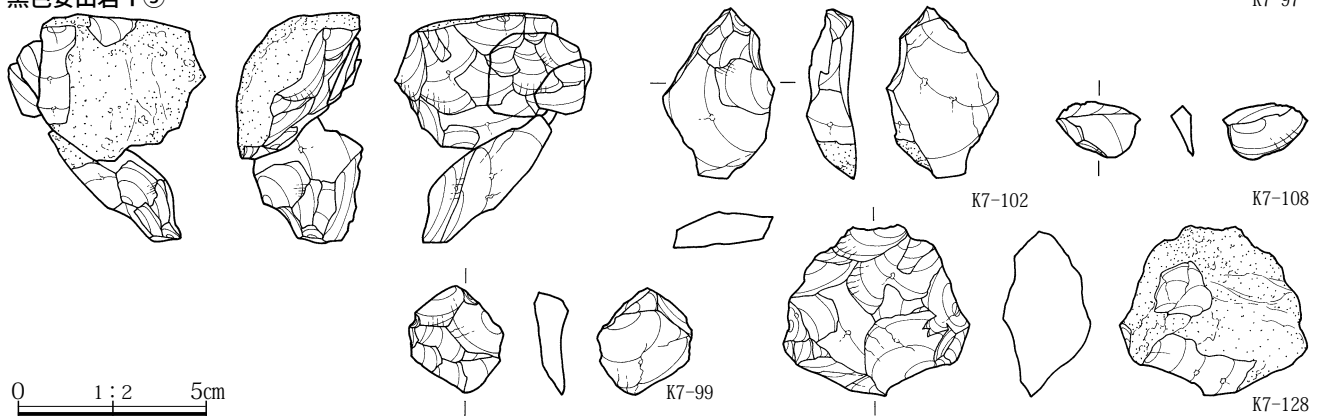
黒色安山岩 1①



黒色安山岩 1②

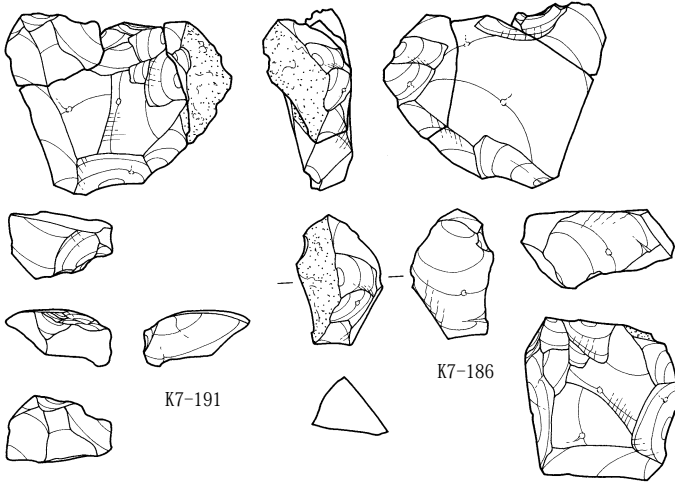


黒色安山岩 1③

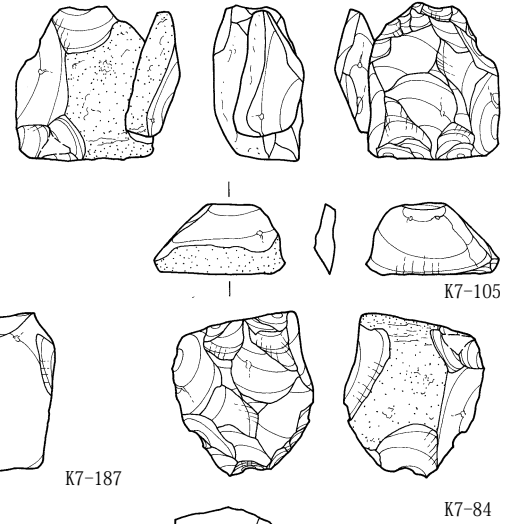


第123図 五代砂留遺跡群 拡張7区 母岩別資料・接合資料(1)

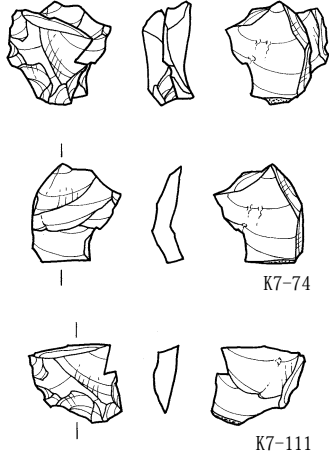
黑色安山岩 1 ④



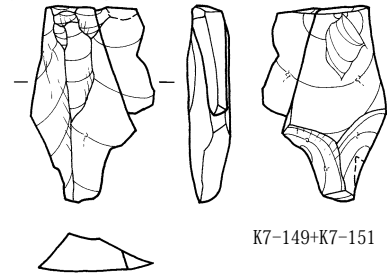
黑色安山岩 1 ⑤



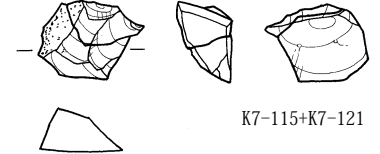
黑色安山岩 1 ⑦



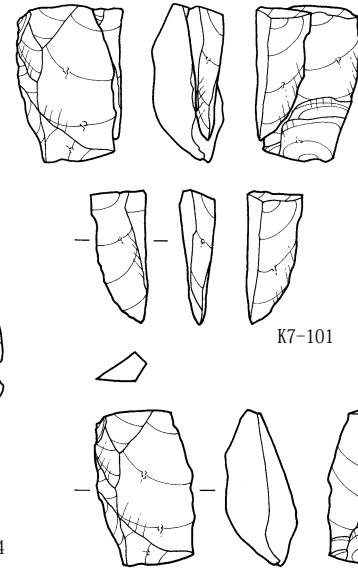
黑色安山岩 1 ⑥



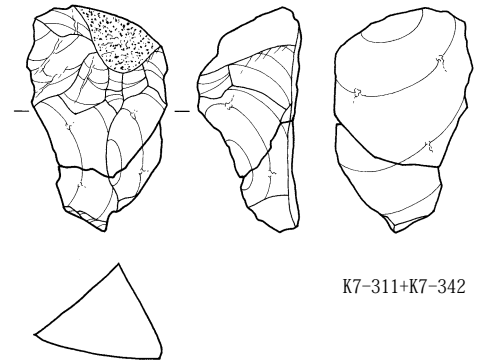
黑色安山岩 1 ⑧



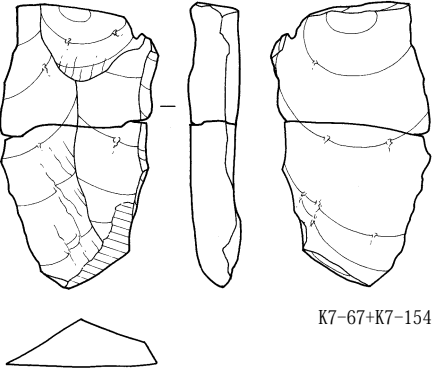
黑色安山岩 2 ②



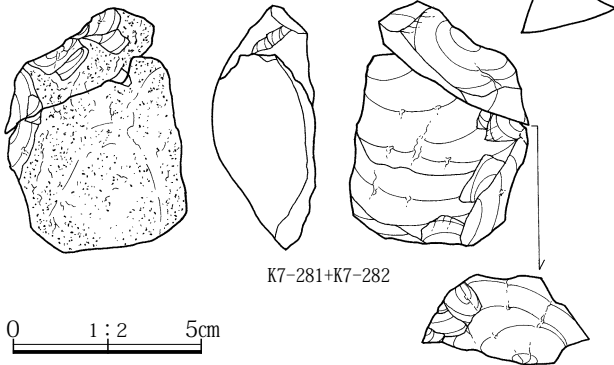
黑色安山岩 3 ②



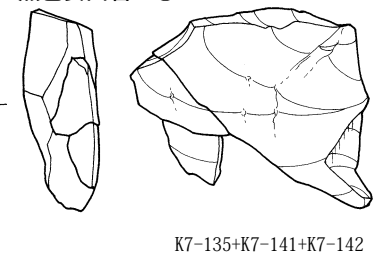
黑色安山岩 2 ①



黑色安山岩 3 ①



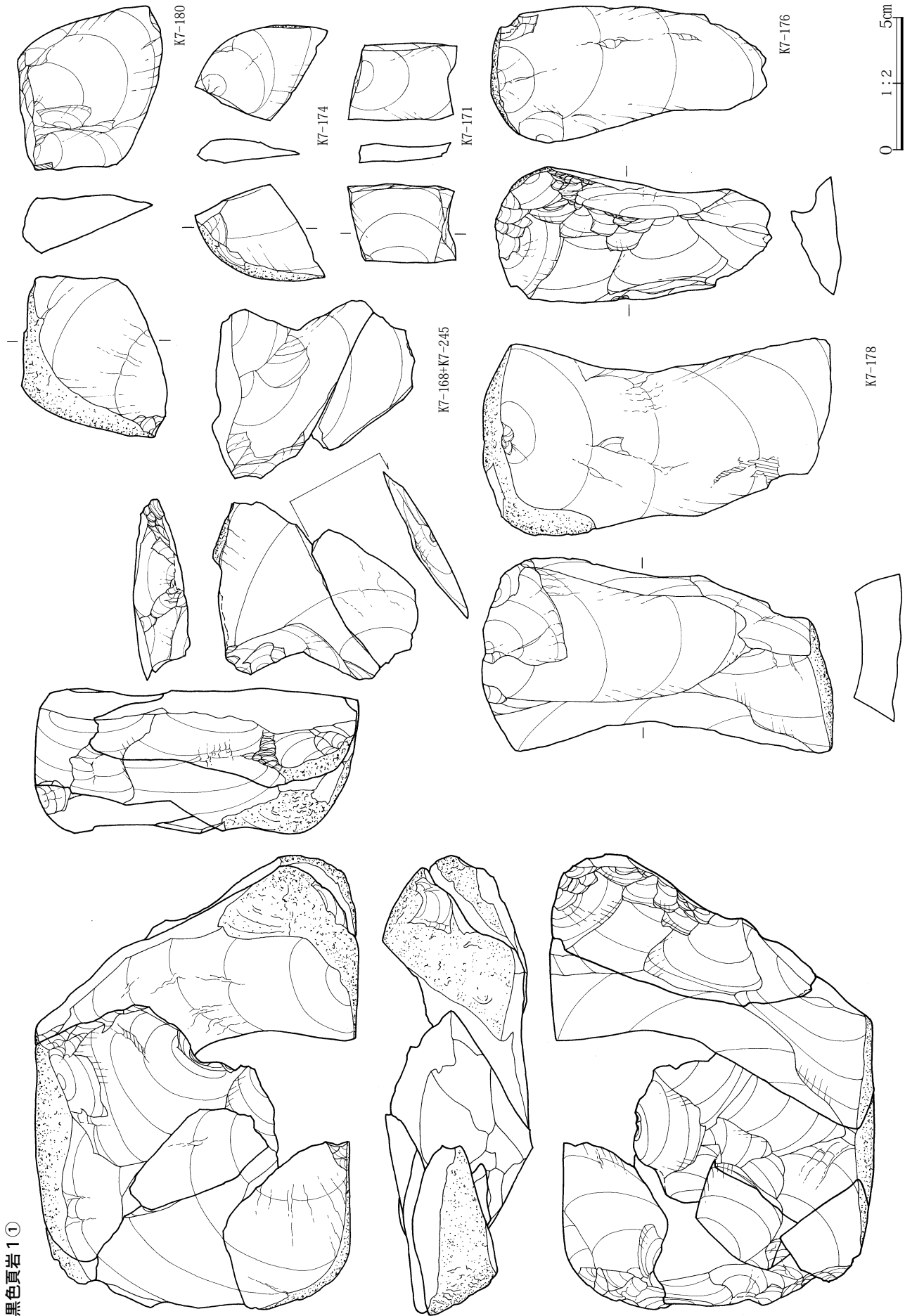
黑色安山岩 4 ①



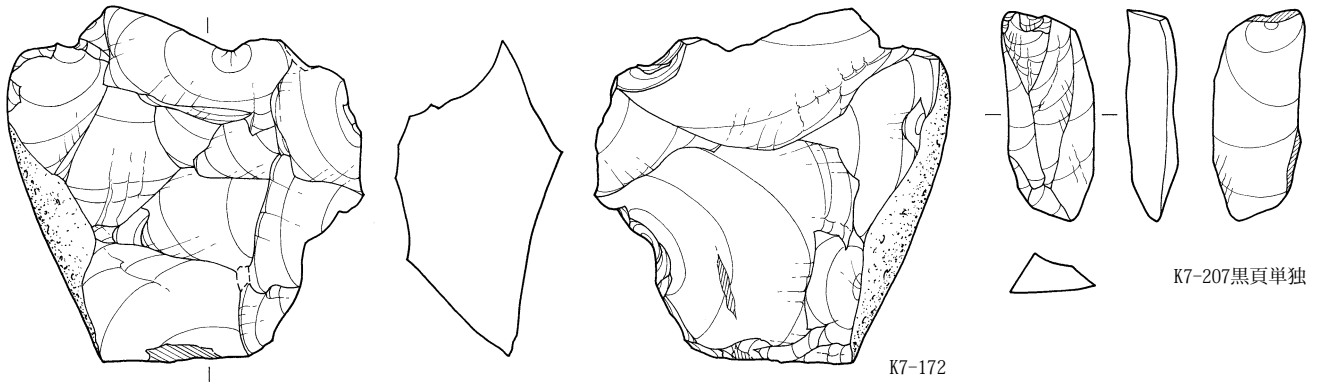
0 1:2 5cm

第124図 五代砂留遺跡群 拡張7区 母岩別資料・接合資料(2)

黒色頁岩 1①



第125図 五代砂留遺跡群 拡張7区 母岩別資料・接合資料(3)



K7-207黒頁単独

珪質頁岩 2①

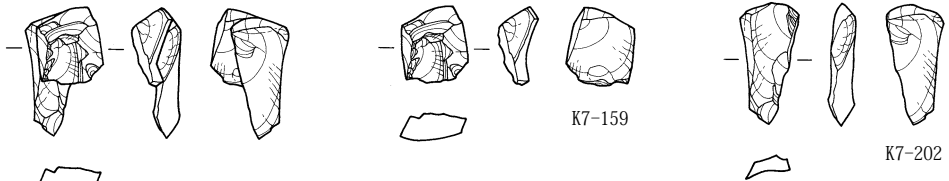
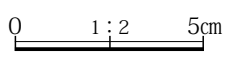
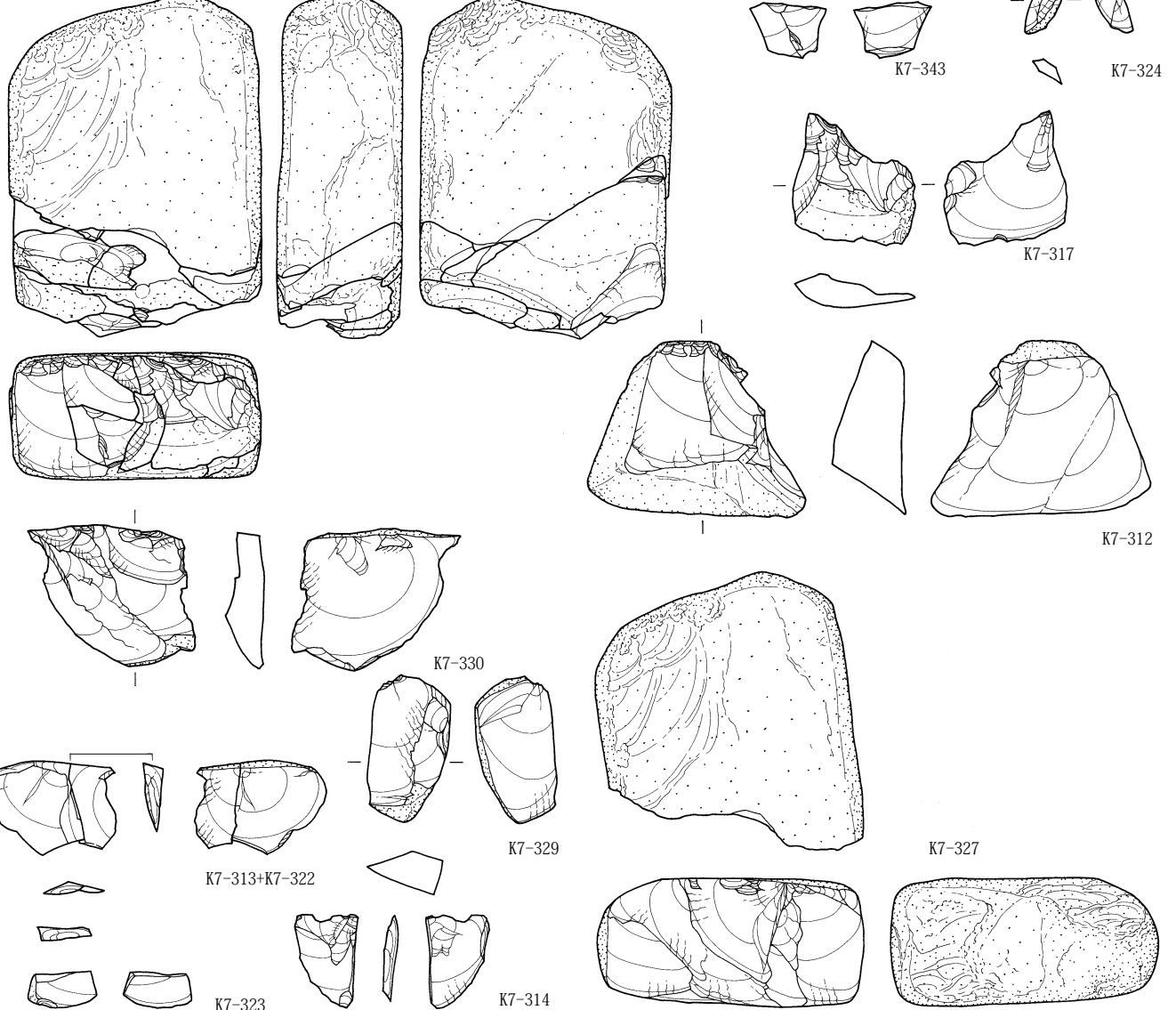


チャート 1①



第126図 五代砂留遺跡群 拡張7区 母岩別資料・接合資料(4)

チャート2①

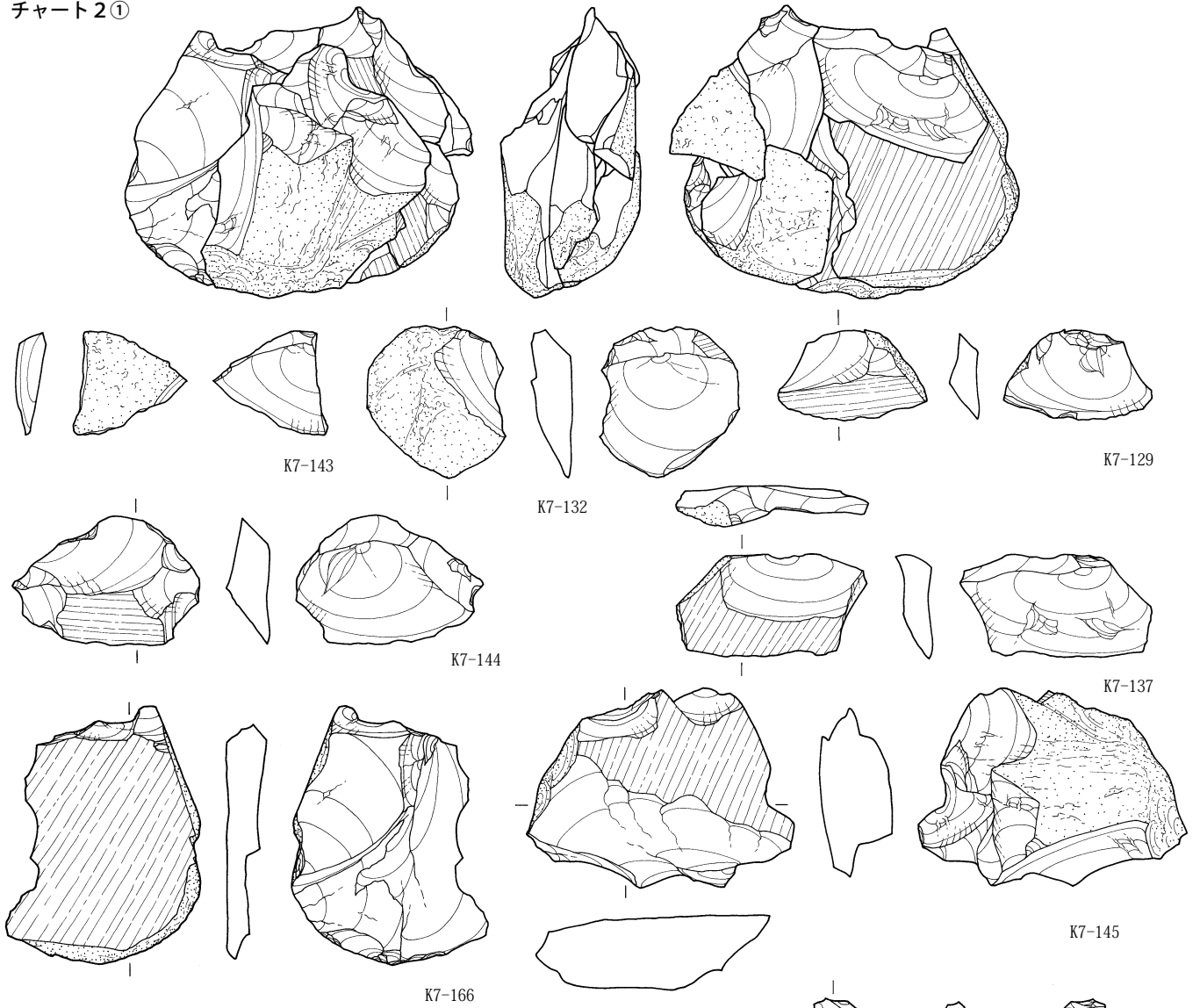
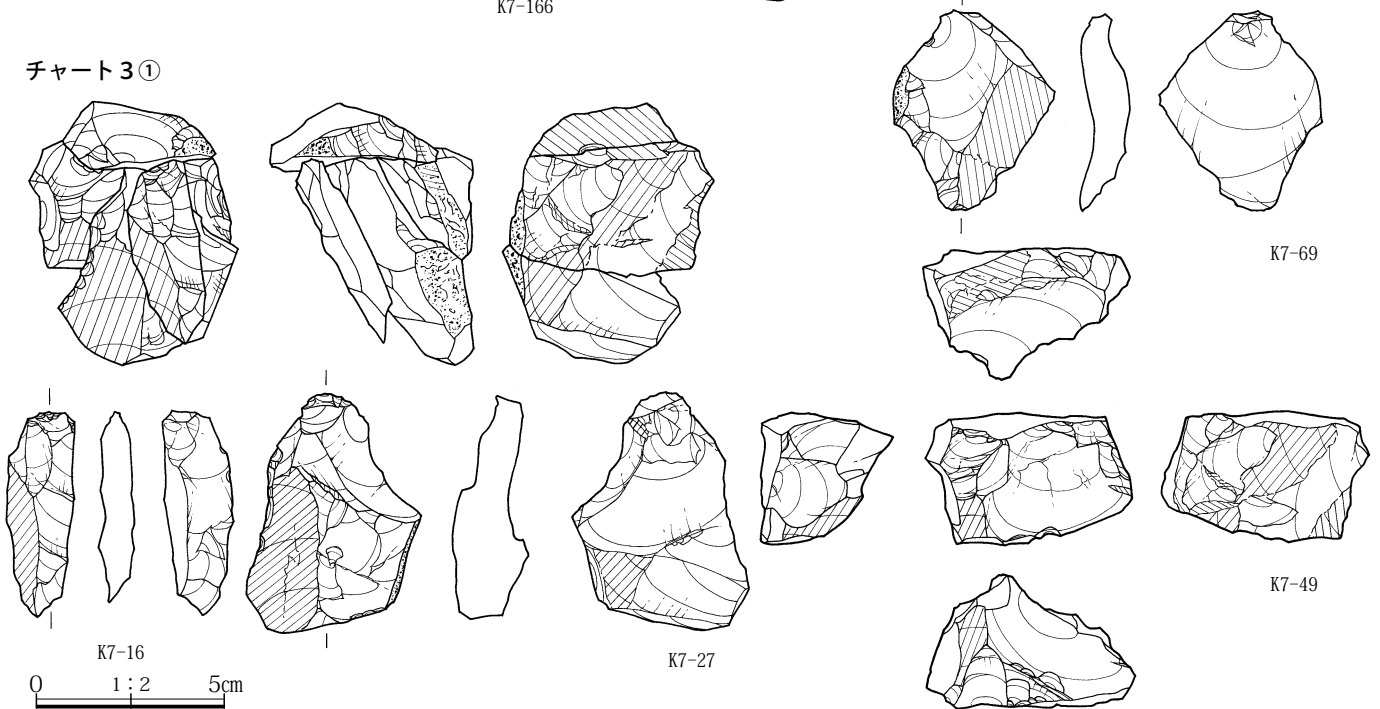


チャート3①



第127図 五代砂留遺跡群 拡張7区 母岩別資料・接合資料(5)

チャート3②

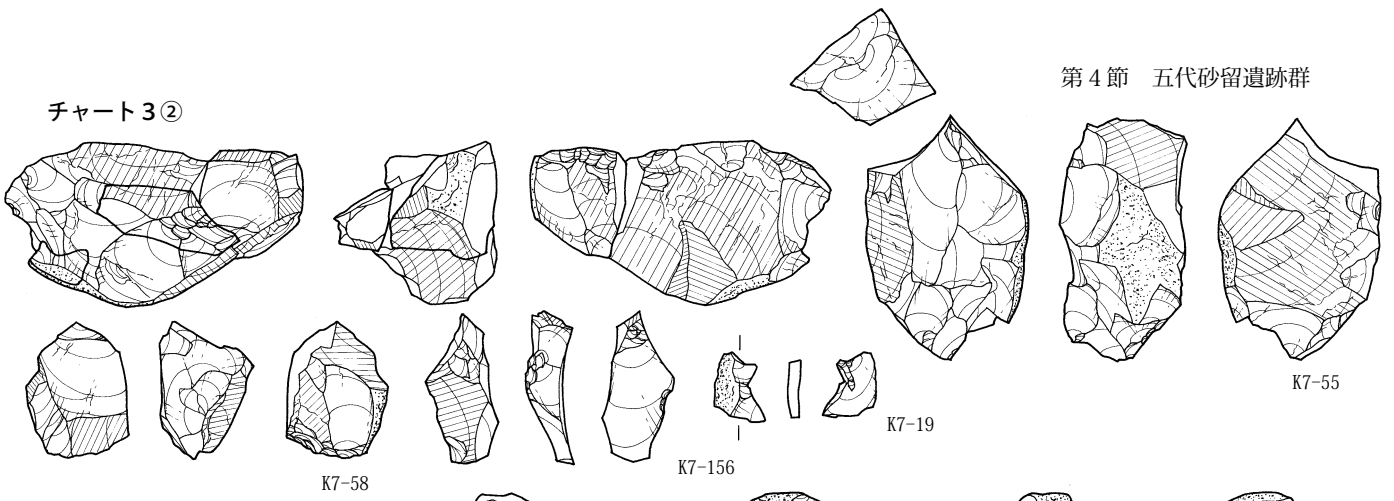


チャート4①

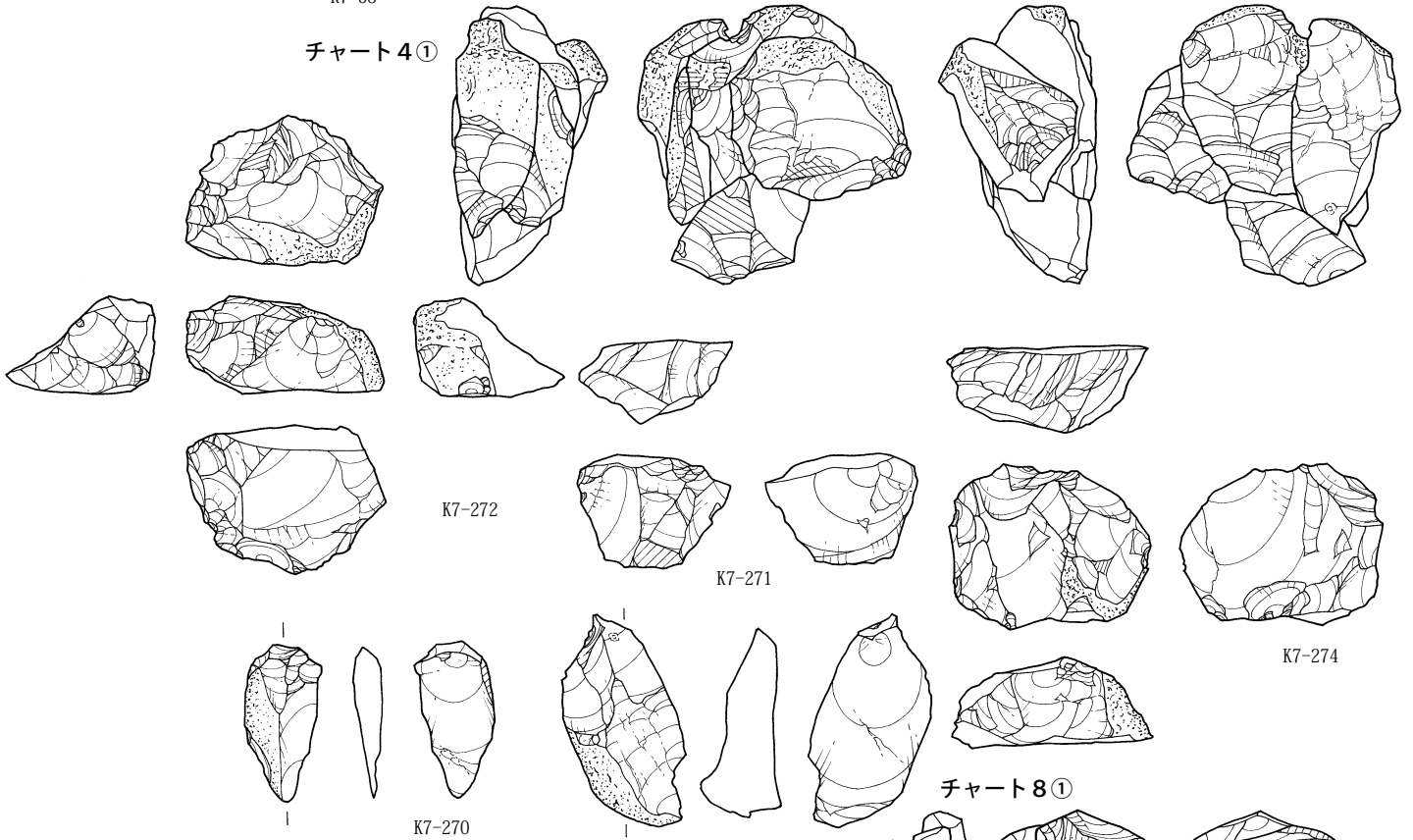


チャート8①

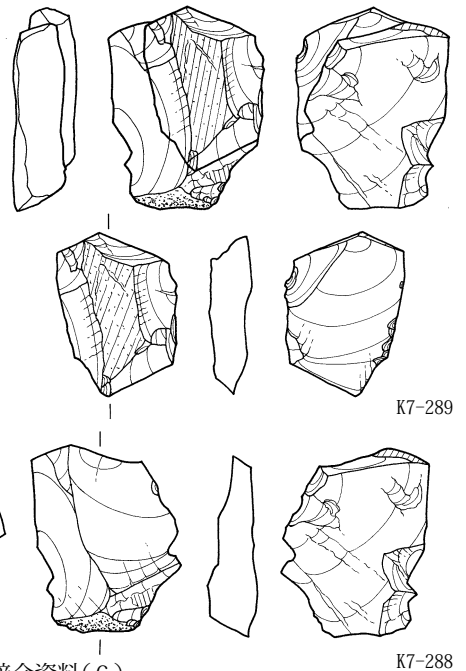
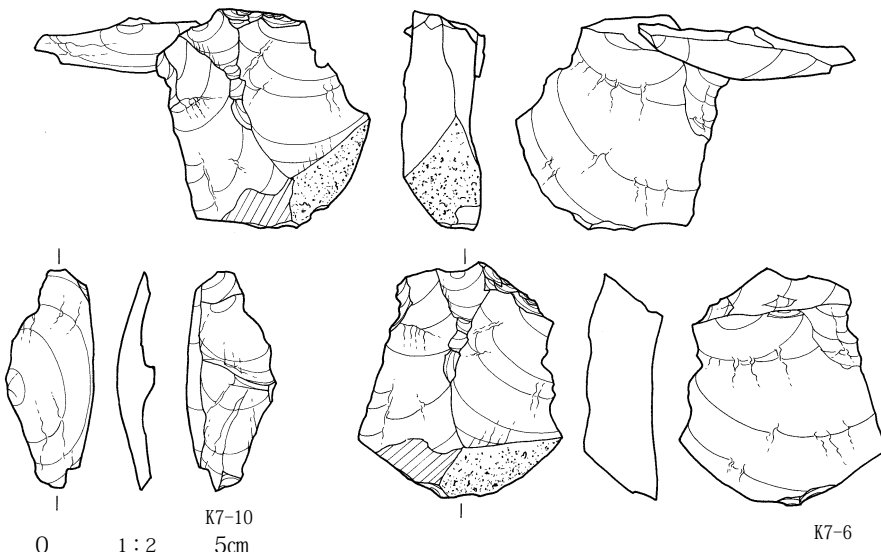


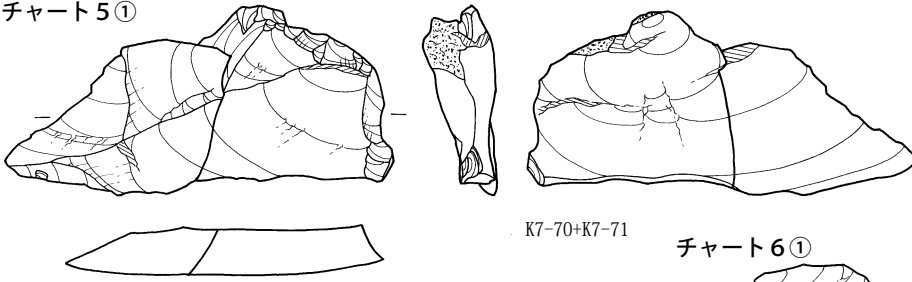
チャート7①



0 1:2 5cm

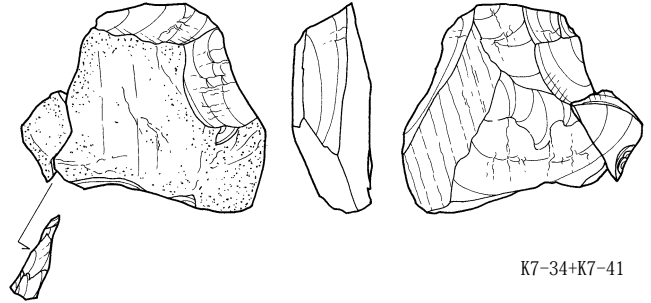
第128図 五代砂留遺跡群 拡張7区 母岩別資料・接合資料(6)

チャート5①



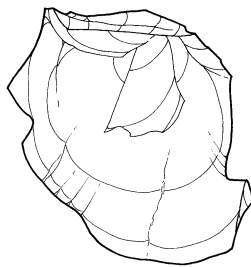
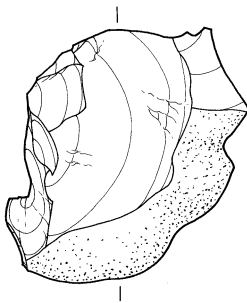
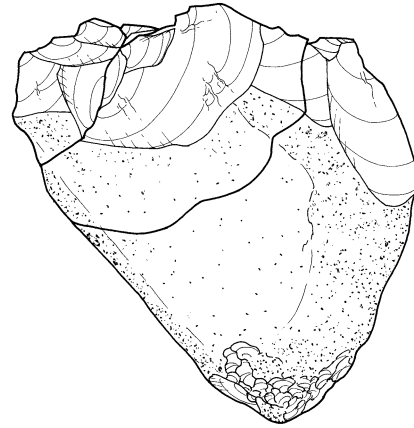
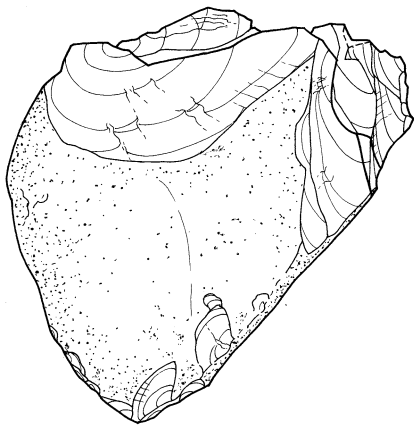
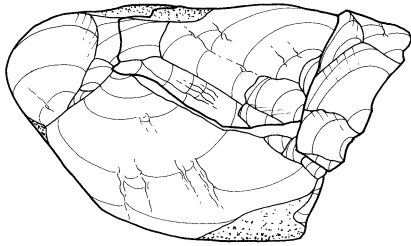
K7-70+K7-71

チャート6①

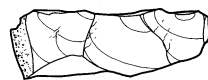


K7-34+K7-41

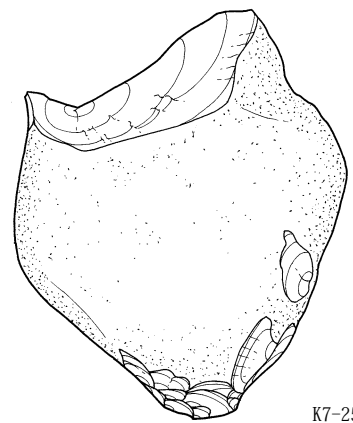
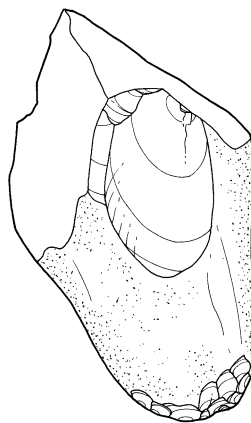
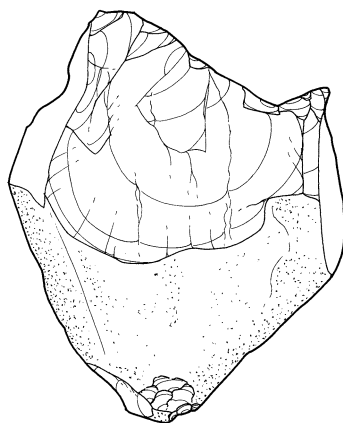
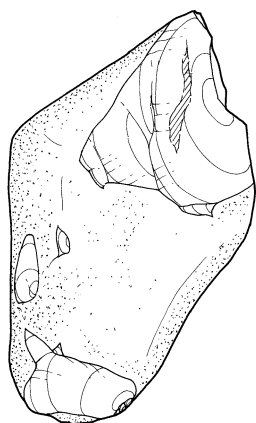
ホルンフェルス1①



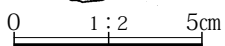
K7-249



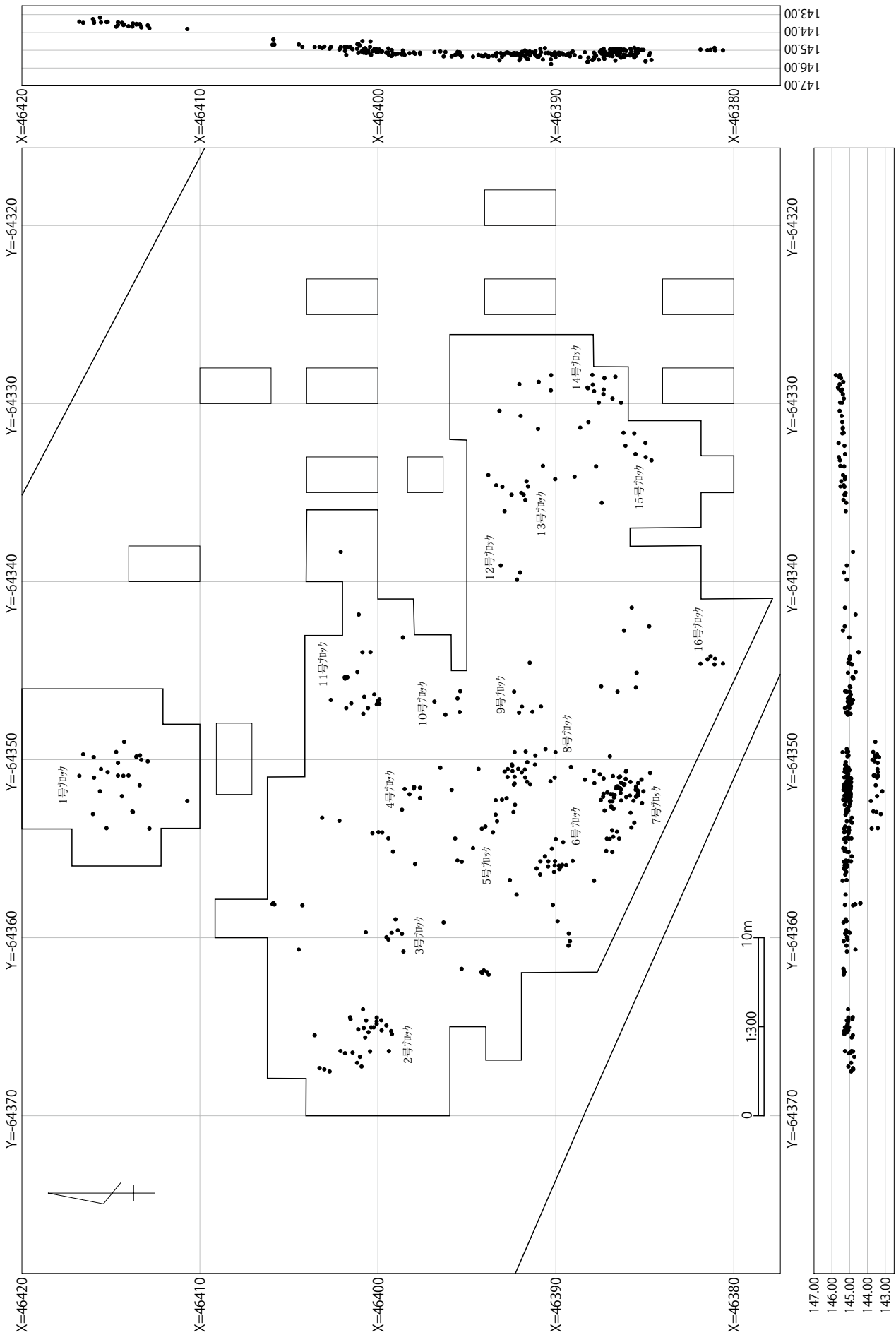
K7-206



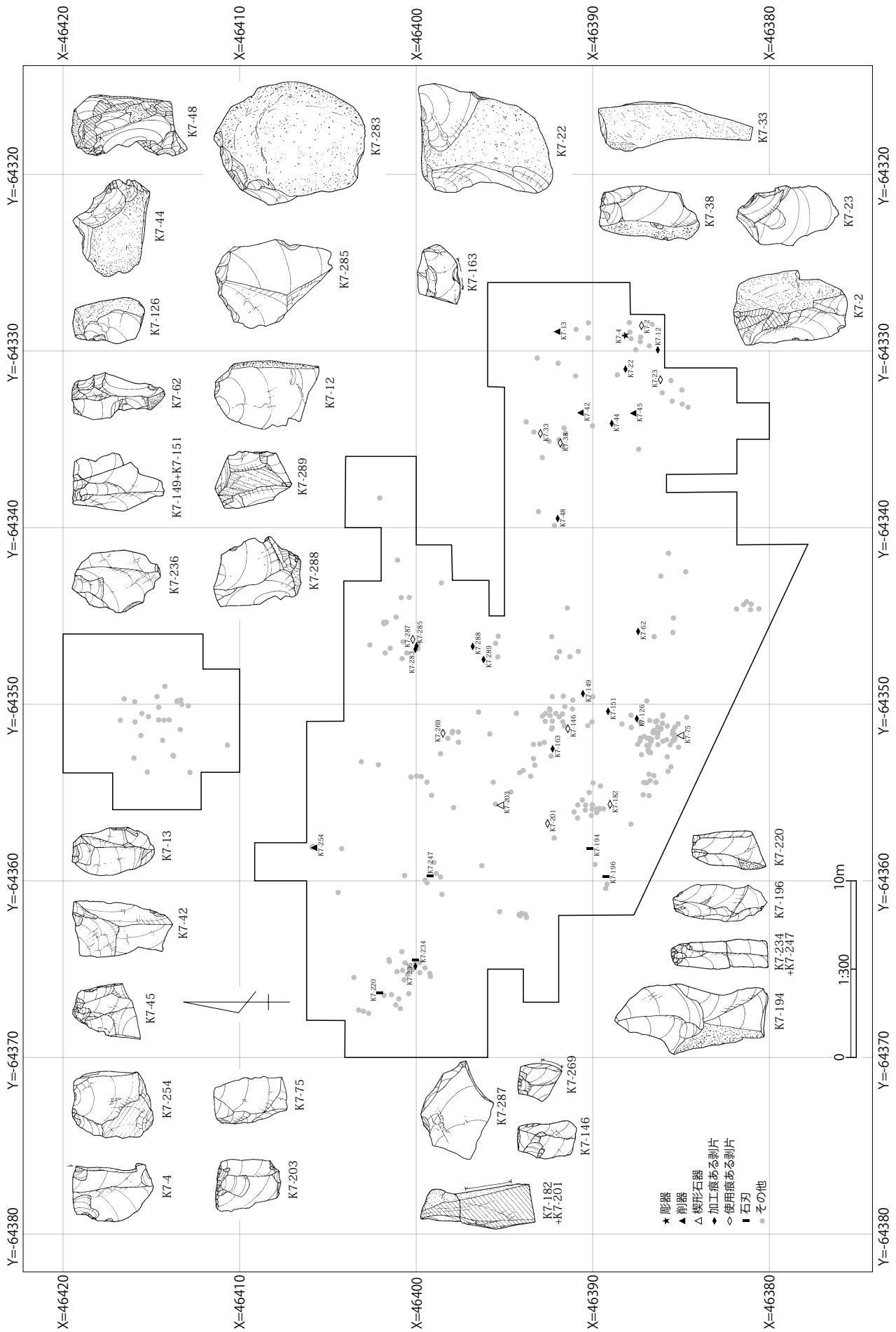
K7-250



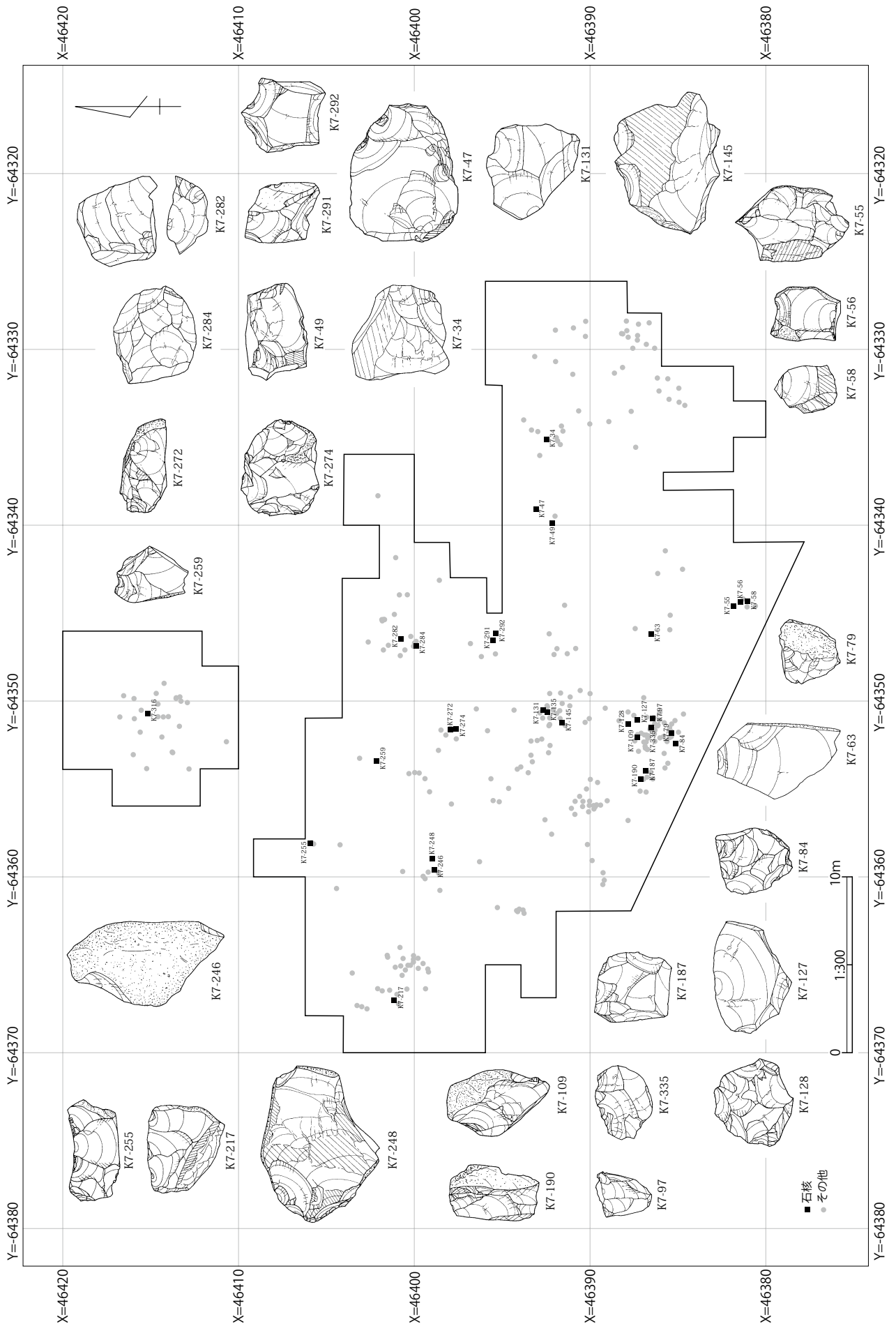
第129図 五代砂留遺跡群 拡張7区 母岩別資料・接合資料(7)



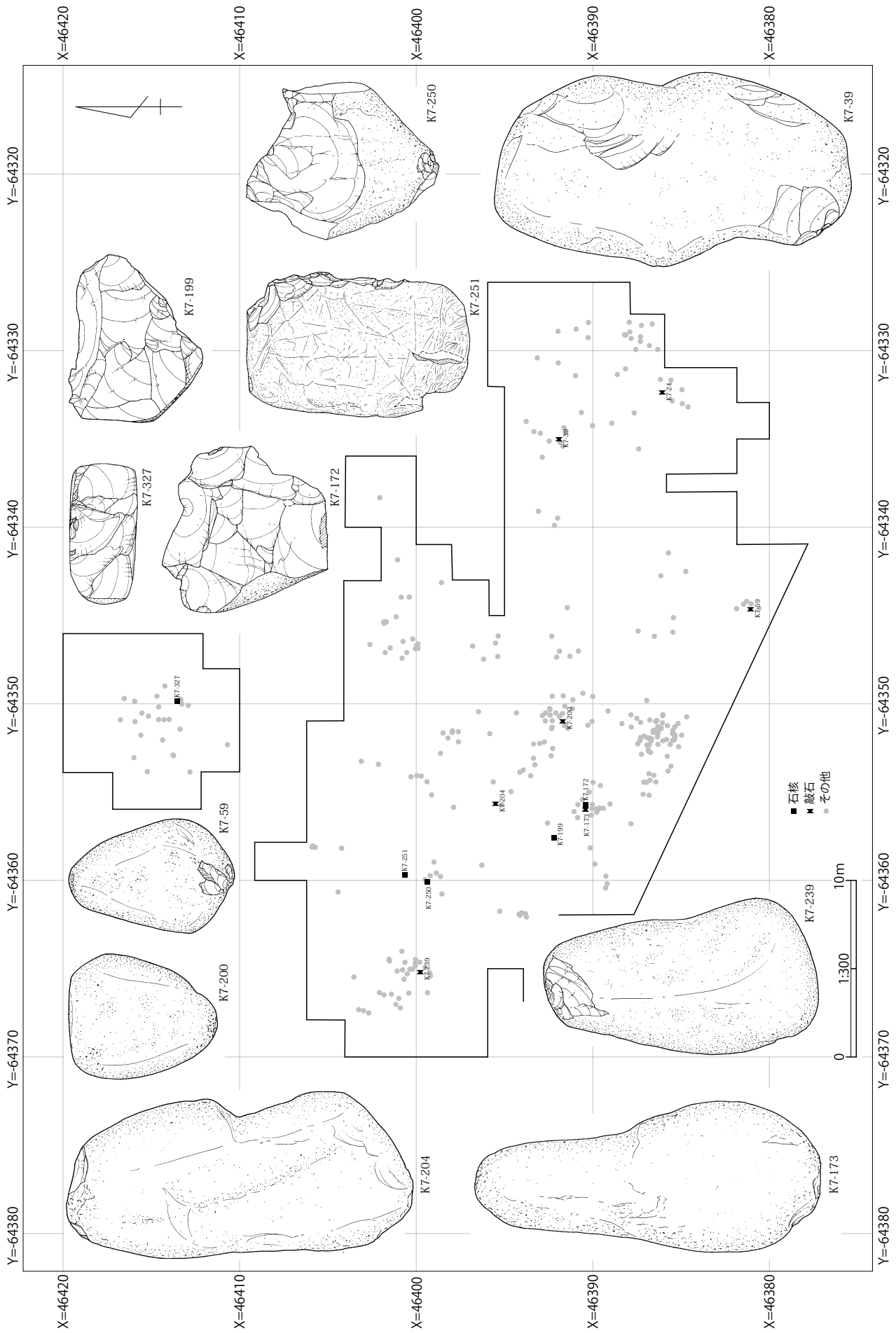
第130図 五代砂留遺跡群 拡張7区 石器分布・垂直分布状況



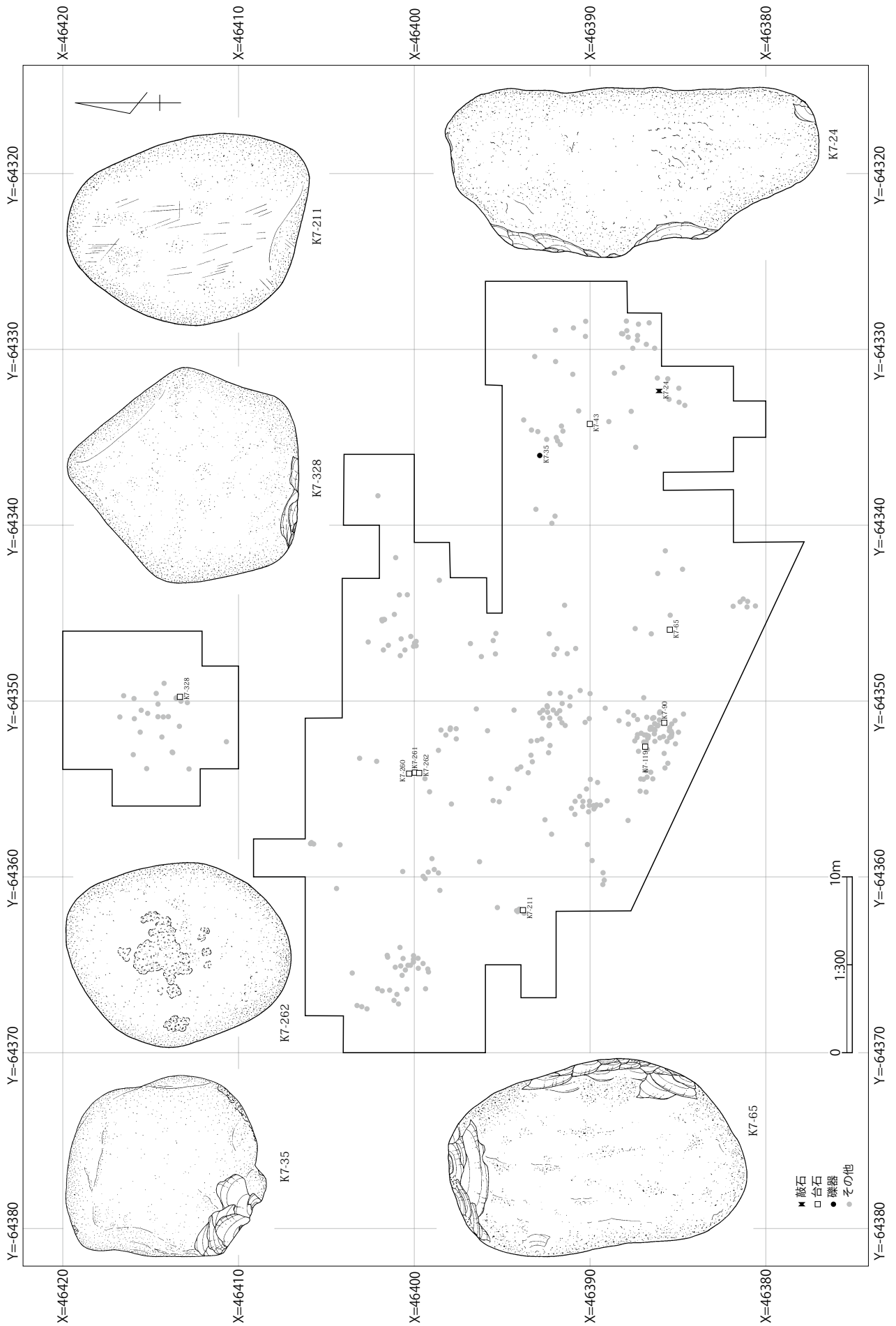
第131図 五代砂留遺跡群 拡張7区 器種別分布状況(1)



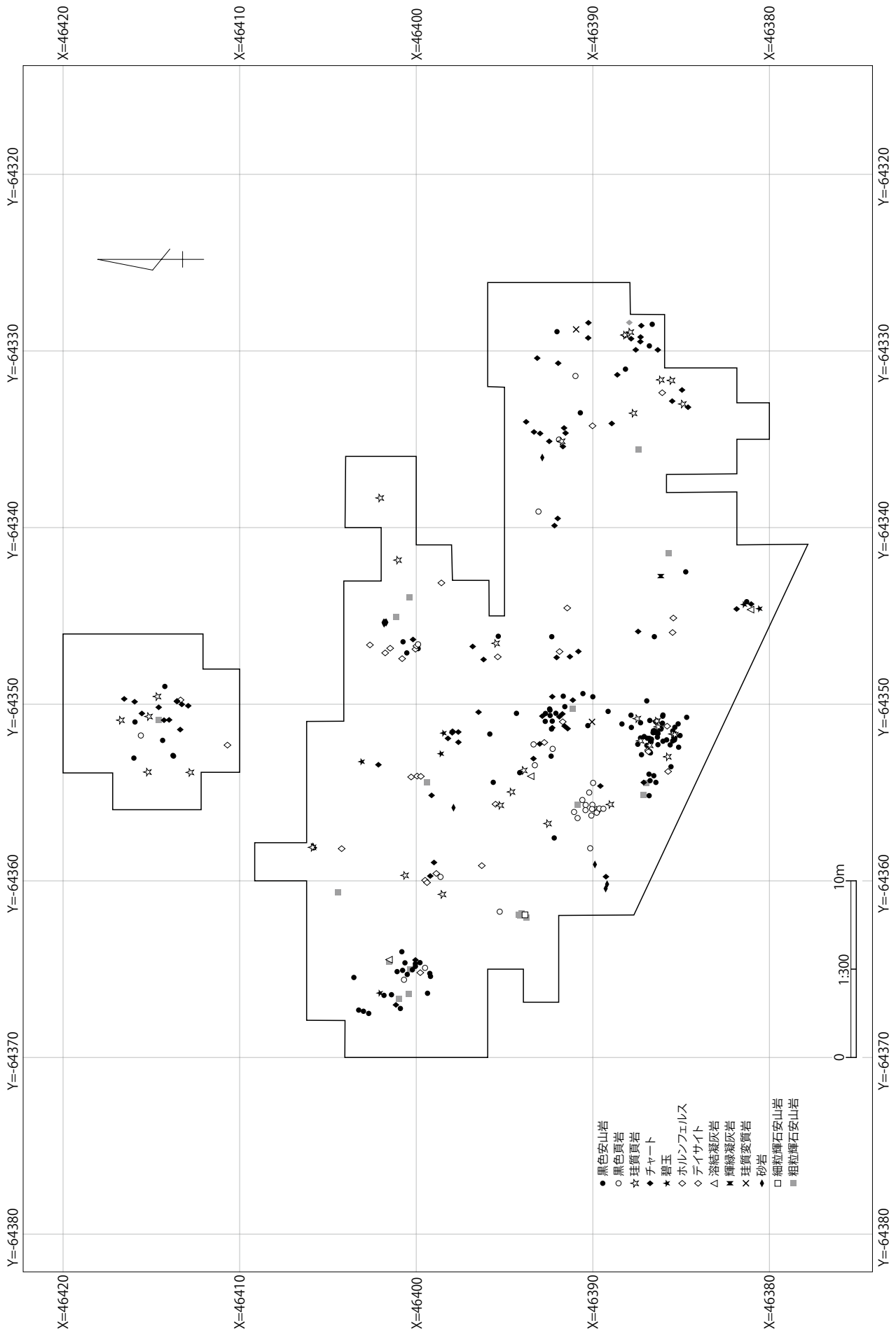
第132図 五代砂留遺跡群 拡張7区 器種別分布状況(2)



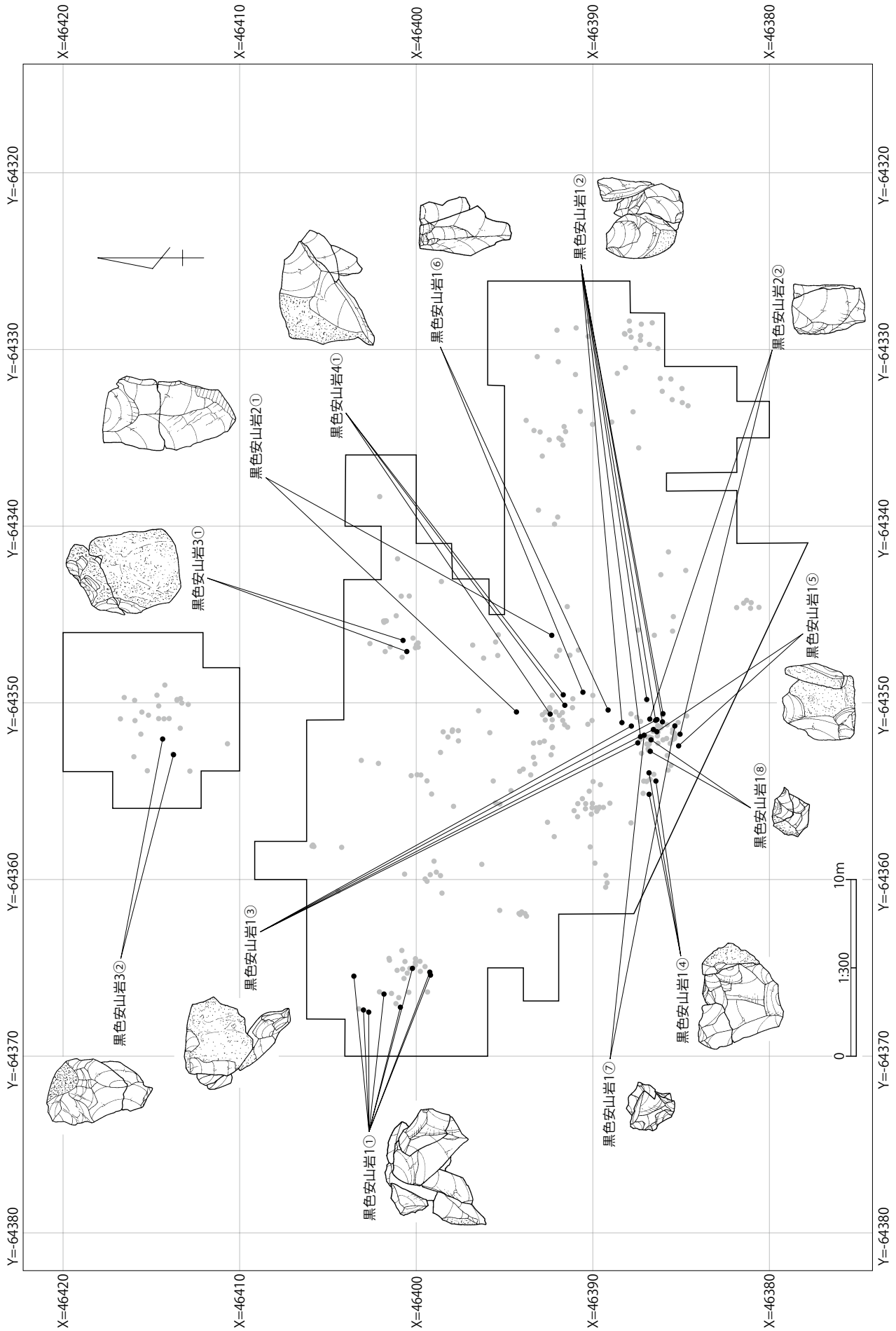
第133図 五代砂留遺跡群 拡張7区 器種別分布状況(3)



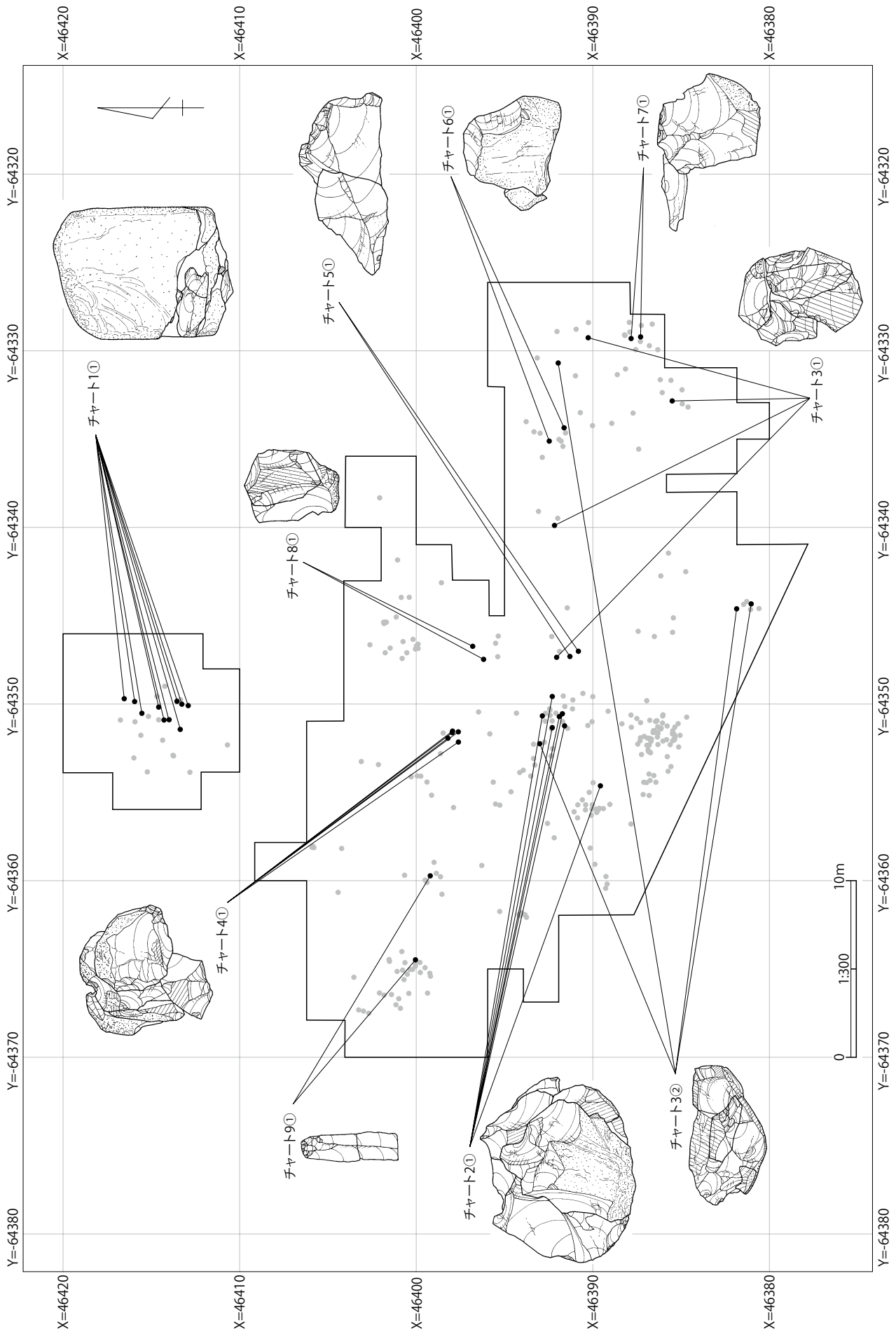
第134図 五代砂留遺跡群 拡張7区 器種別分布状況(4)



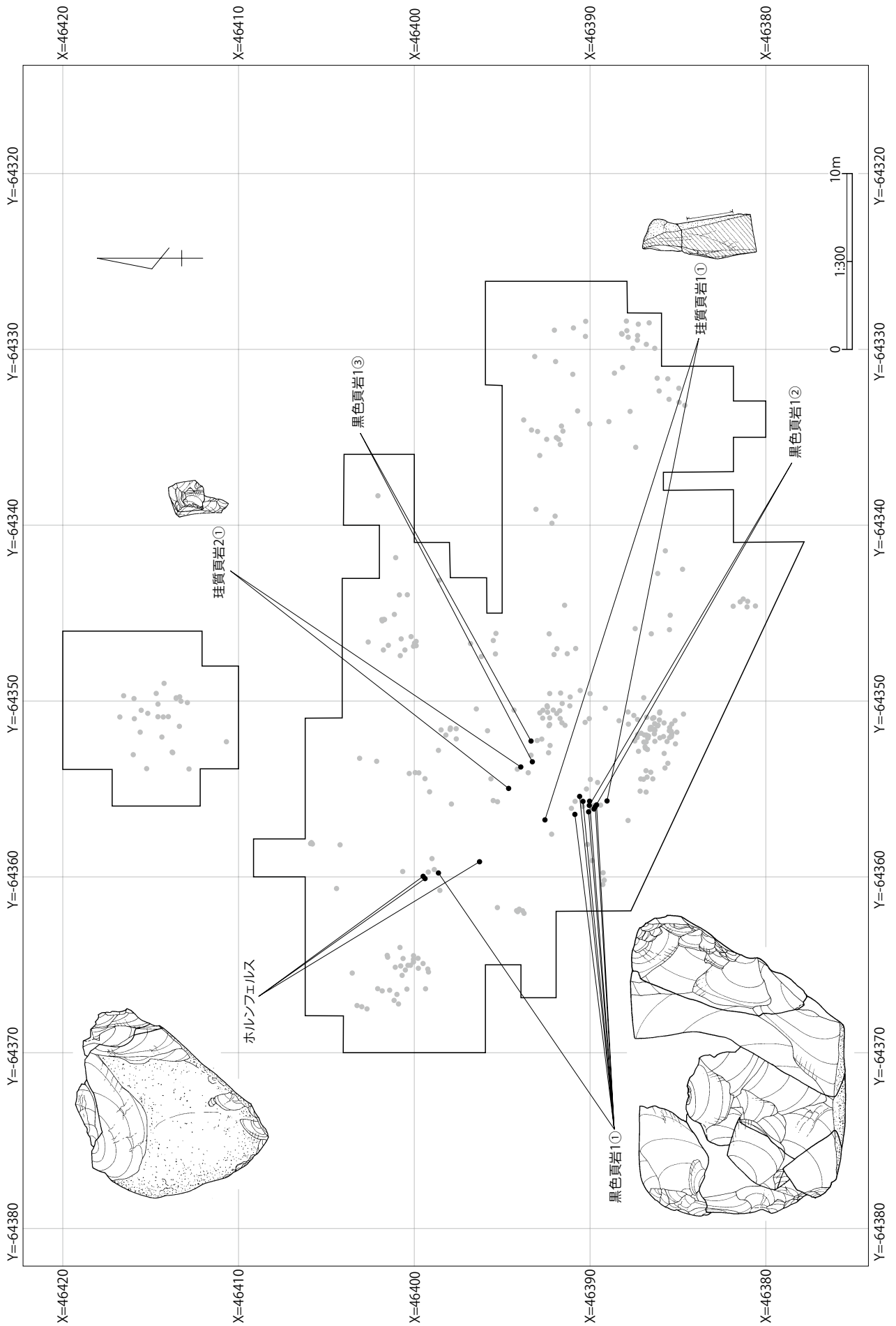
第135図 五代砂留遺跡群 拡張7区 石材別分布状況



第136図 五代砂留遺跡群 拡張7区 接合資料の分布状況(1)



第137図 五代砂留遺跡群 拡張7区 接合資料の分布状況(2)



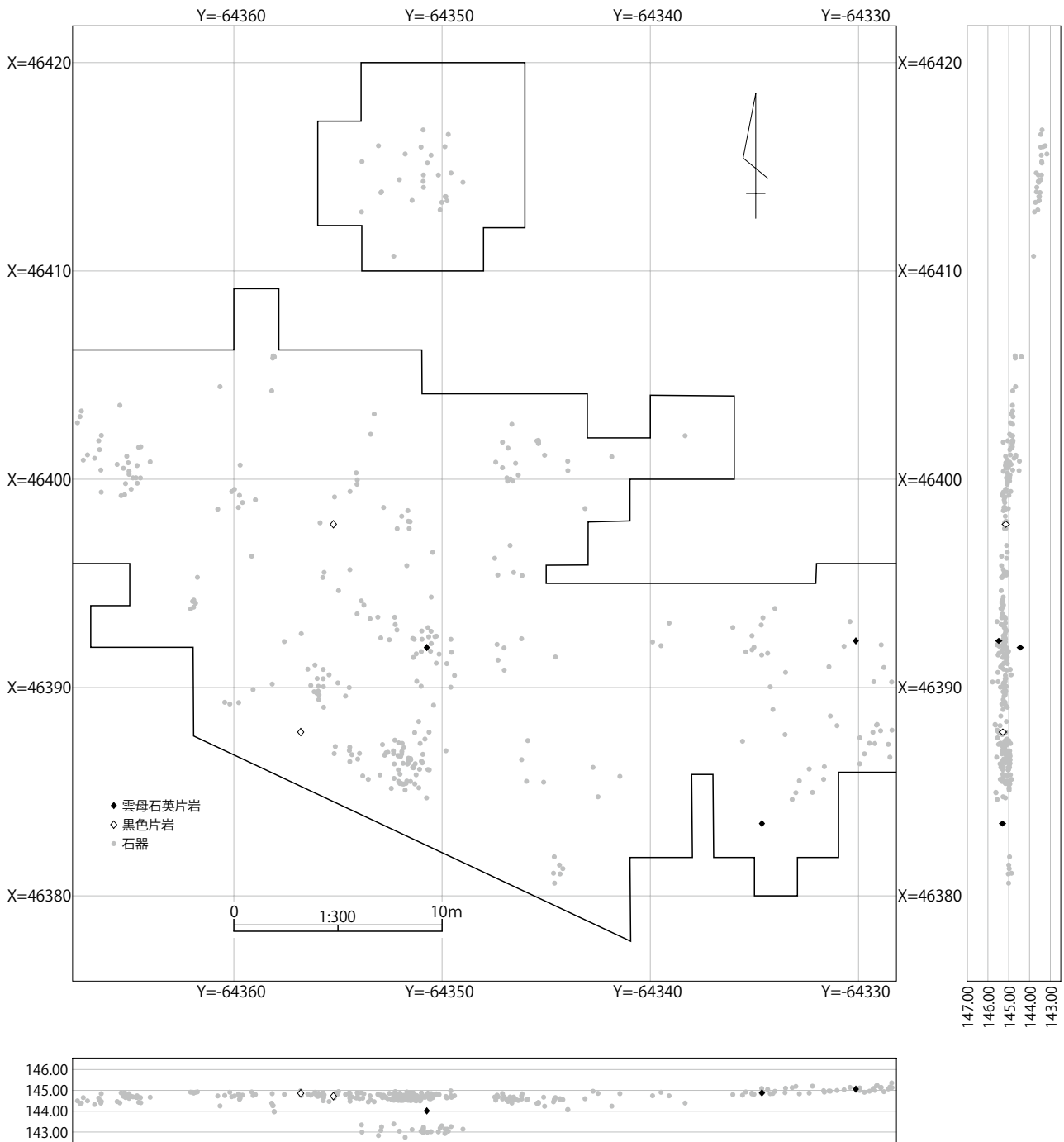
第138図 五代砂留遺跡群 拡張7区 接合資料の分布状況(3)

(9)接合資料の分布(第136～138図)

接合資料は事例も点数もあまり多くはなく、大部分の資料が個々のブロック内で完結する。チャートだけが唯一、ブロック間をまたぐ形で分布しており、2号ブロックと3号ブロック、6号ブロックと8号ブロック、8号ブロックと13号ブロックと16号ブロック、9号ブロックと12号ブロックと15号ブロックの各1例ずつである。出土層位や石器組成などから、群馬Ⅱ期と想定される。

その他(第139図)

結晶片岩類は、雲母石英片岩3点(K7-18、K7-30、K7-300)、黒色片岩2点(K7-266、K7-340)だけの分布である。



第139図 五代砂留遺跡群 拡張7区 結晶片岩の分布状況

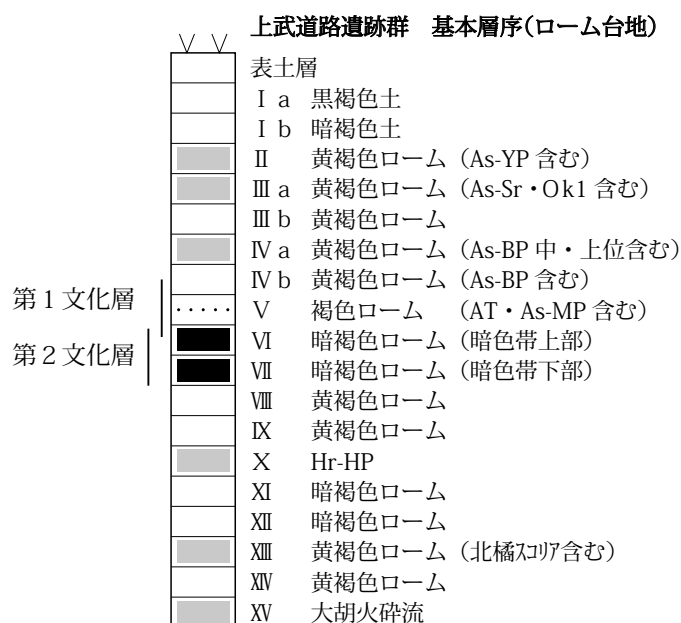
第5節 芳賀東部団地遺跡

1 遺跡の概要

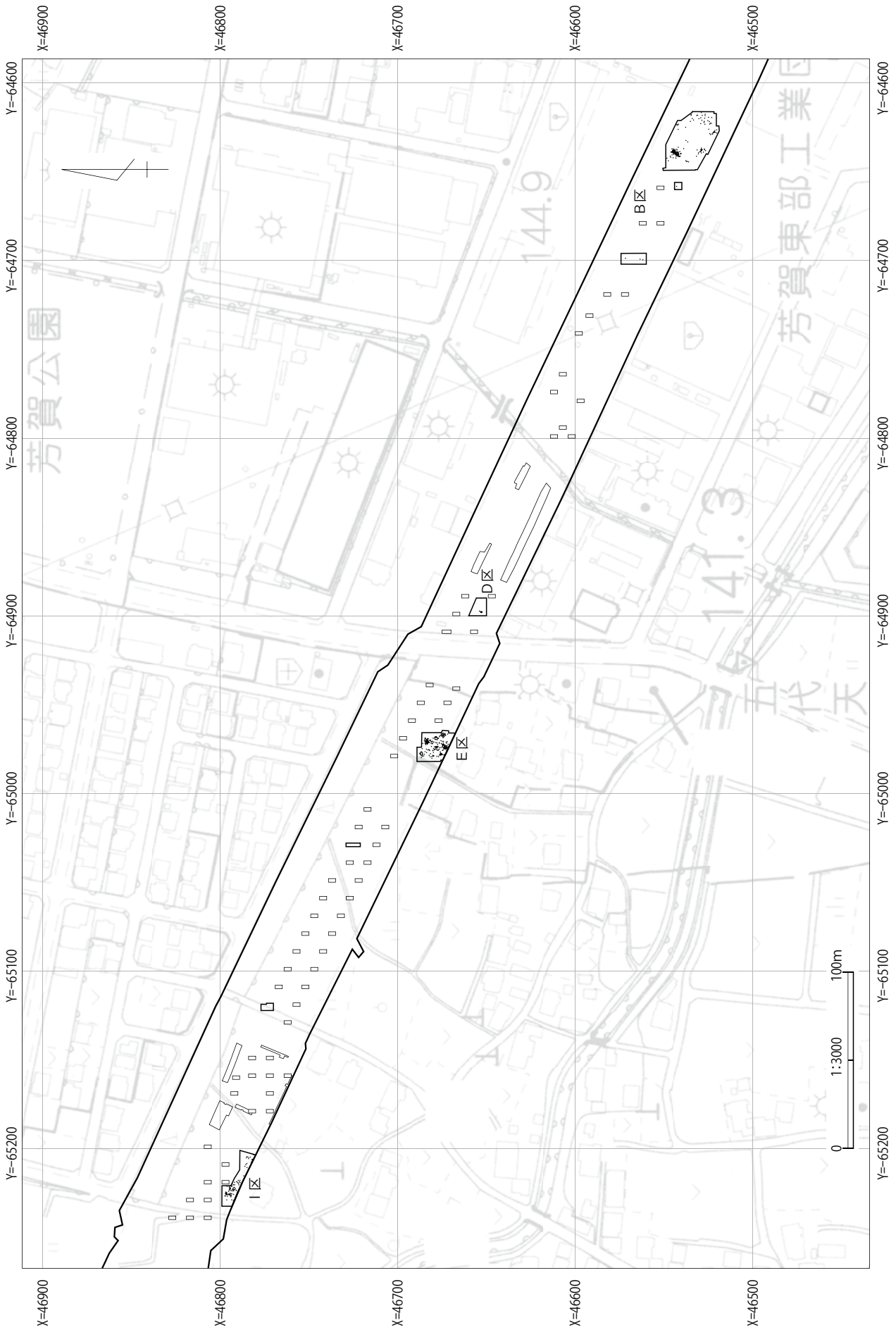
芳賀東部団地遺跡（JK56）は、赤城山南麓の小河川により開析されたローム台地上（標高145～147m）に立地する。旧石器時代の石器分布は6地点（B・D・E・F・G・I区）で確認されているが、本遺跡東側を五代川が、西側を金丸川が南流するほか、遺跡内のC・D区の境には天神川が流れる開析谷があり、本来的には2遺跡として理解すべきものと考えている。また、五代川―天神川間（A～C区）の台地には鉄塔があり、この鉄塔の両側には若干の起伏があり、B区環状ブロック群として一括報告されている西側の石器分布（Y=64700）は50mほど離れた、浅い凹部の対岸にあることから、別地点の文化層としてとらえるべきかもしれない。これと似た地形がE・F区の間であり、この浅い凹部の東にE区石器群は分布したことになる。現状で、この浅い谷には湧水等は見られないが、藤沢川から延びる谷に続いている。

2 調査の経過

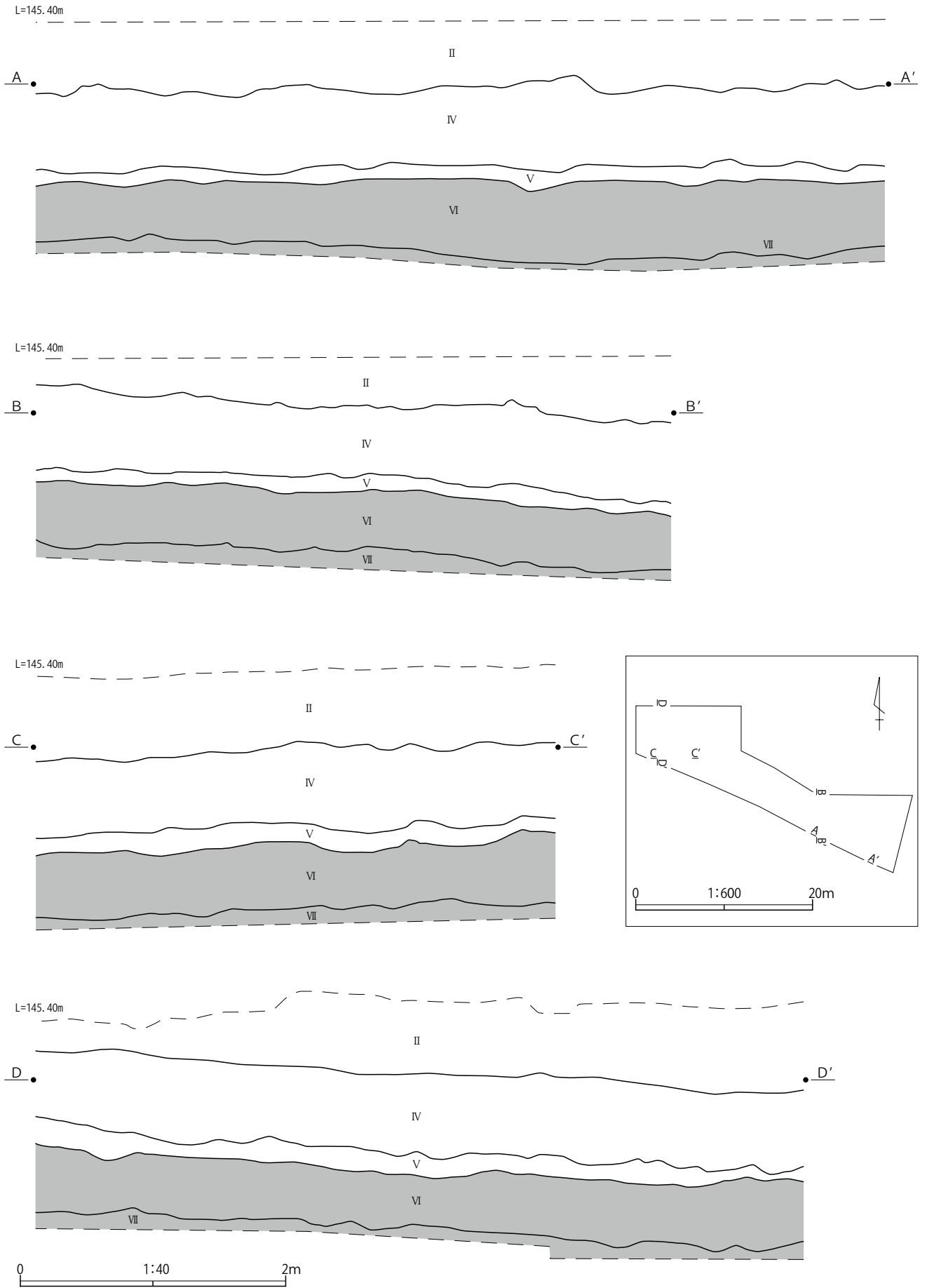
遺跡地の両側は造成が済んでおり、遺跡地だけが高く掘り残されていた。また、遺跡地は工業団地の駐車スペースとして利用、A区では厚さ4mを超える盛り土が、鉄塔東のC区でも2mを超える盛り土があり、また、D区西側の天神川による開析る谷も盛り土されていることが判明した。加えて、削平地点も多く、B区では駐車スペースにロームが直接露出するほどであった。このため、厚く盛り土されていたA区では沖積地の水田跡の存在確認も困難であった。こうしたローム層の削平地点はB区以外にもあり、礫群が確認されたD区でも未調査区域が生じる結果となった。上述したとおり、遺跡地は工業団地造成により高く掘り残された結果、掘削面が下がる旧石器調査では両側の安全勾配を見る必要上、未調査区域が拡大することによって石器分布が明らかにできない地点（B区環状ブロック群の南北両端）もあった。発掘調査は遺跡東端のA区から開始、途中2地点に調査が分かれ、天神川以東のA～C区とそれより西（E～I区）を並行させ、調査を終えた。



第140図 芳賀東部団地遺跡の文化層

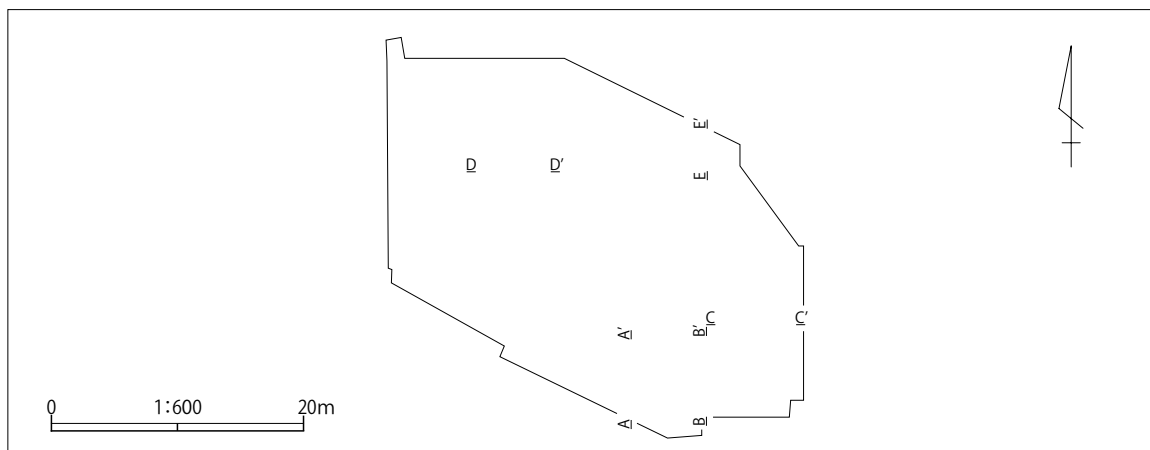
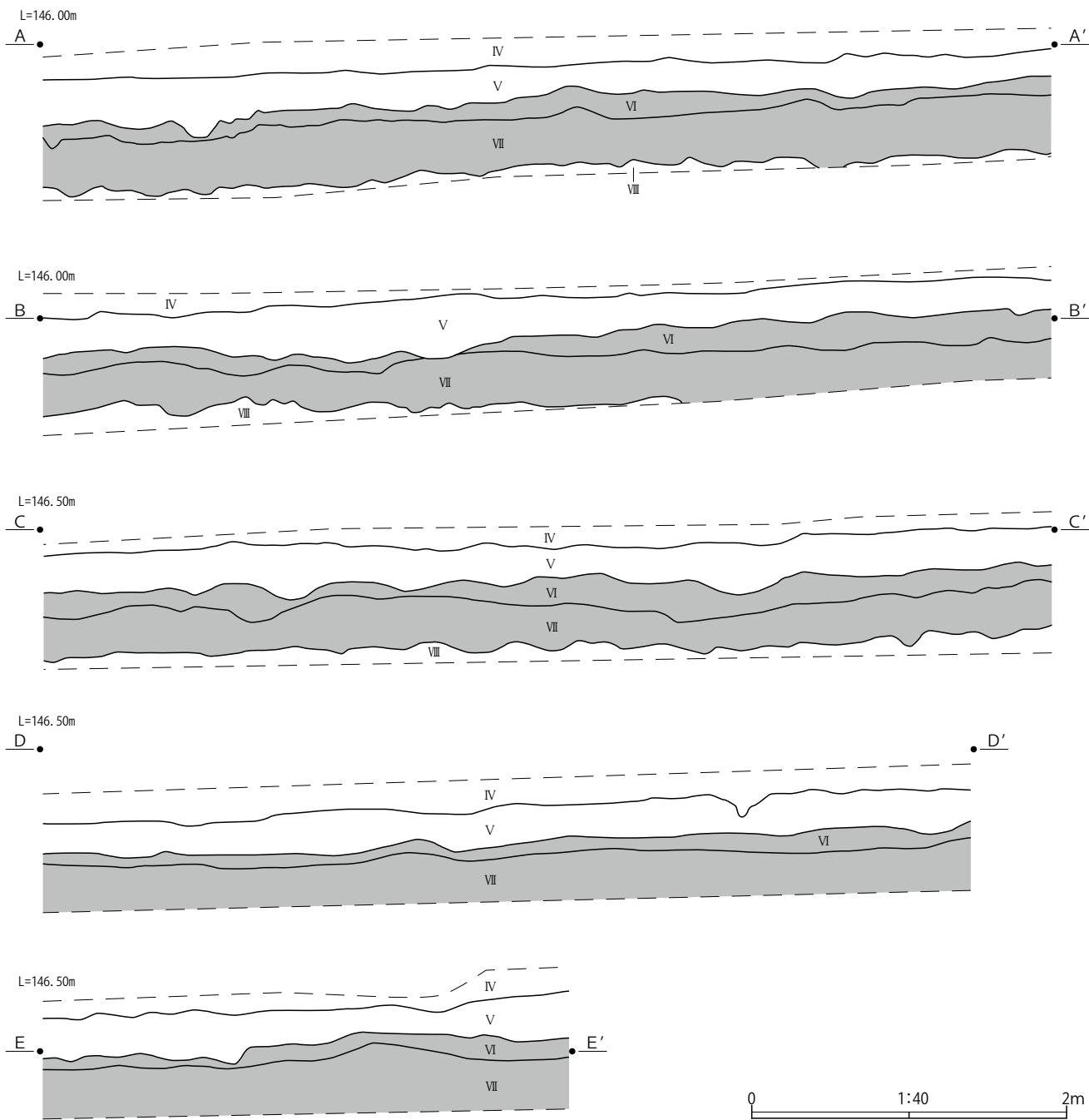


第141図 芳賀東部団地遺跡 石器分布状況

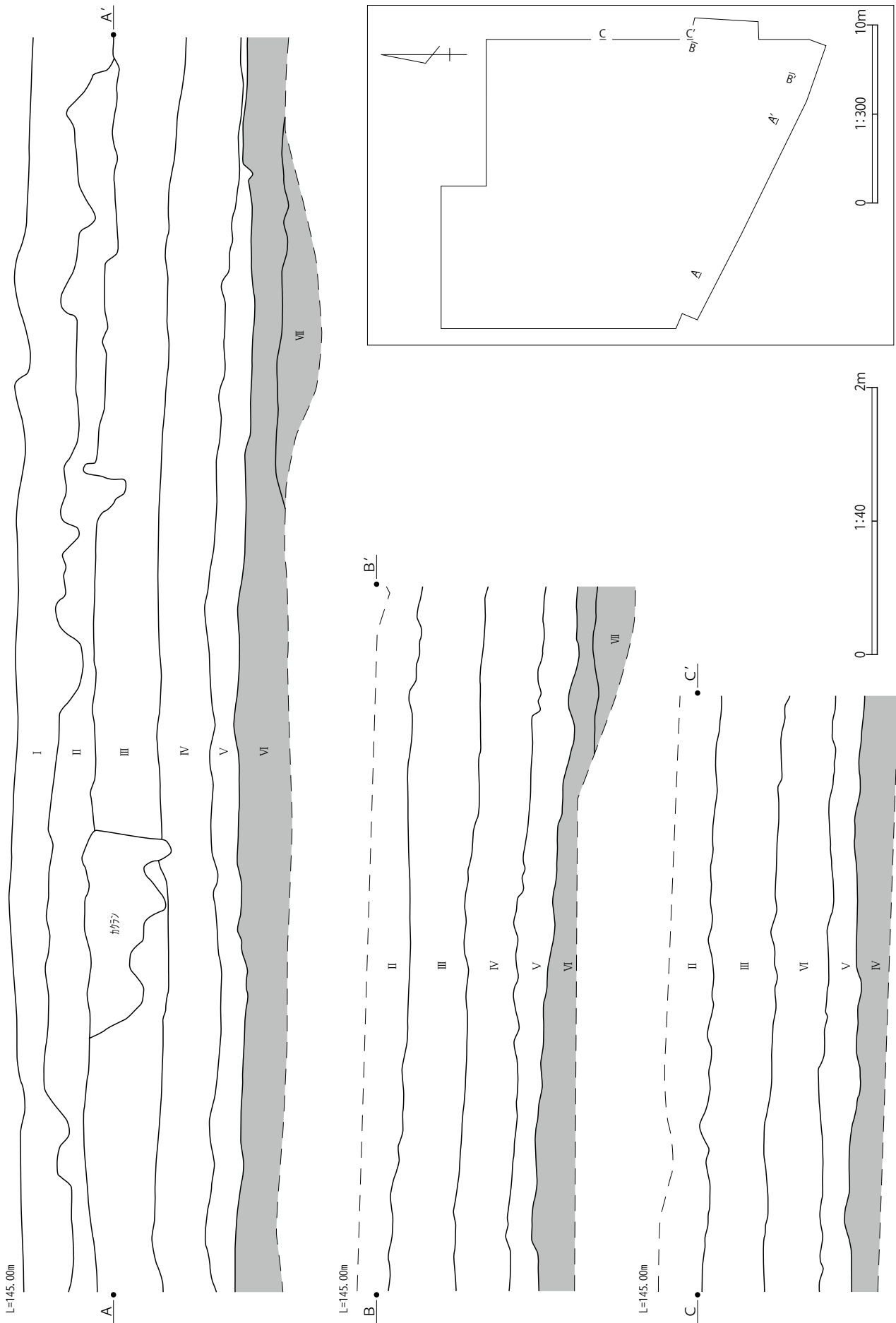


第142図 芳賀東部団地遺跡 I区 土層堆積状況

第3章 各遺跡の遺構・遺物



第143図 芳賀東部団地遺跡 B区 土層堆積状況



第144図 芳賀東部団地遺跡 E区 土層堆積状況

本遺跡で最初に旧石器が確認されたのは、第1文化層としたD区の礫群である。台地東端B区の環状ブロック群である。これと並行して台地西側のC区でも試掘調査がおこなわれたが、C区では旧石器分布は確認されなかった。B地点とした調査区は東西150mと広域に及んだため、環状ブロックの確認された地点以外に石器が分布するの否か、これを確認した。遺跡の概要として述べたとおり、台地内部には微妙な起伏があり、微高地状の地点に試掘トレンチを設定して、その確認に努めたところ、環状ブロック群の西側50mの地点で暗色帯中から石刃類が出土することが明らかになった。この地点を拡張してその分布広がりをおかめることとした。この地点では剥片類数点を確認して調査を終えた。B区環状ブロック群については周辺域に石器分布が広がることが確認視されていたが、安全対策上これを断念した。これ以後、旧石器調査遺跡地の西側に移り、D区でAs-BP直下の礫群を、E区で小型の環状ブロック群を検出した。翌年、遺跡地西端のH区・I区でAs-BP下で礫群を伴う石器ブロックが検出、全調査を終えた。

3 第1文化層

第1文化層の石器群は、D区とI区から出土した。

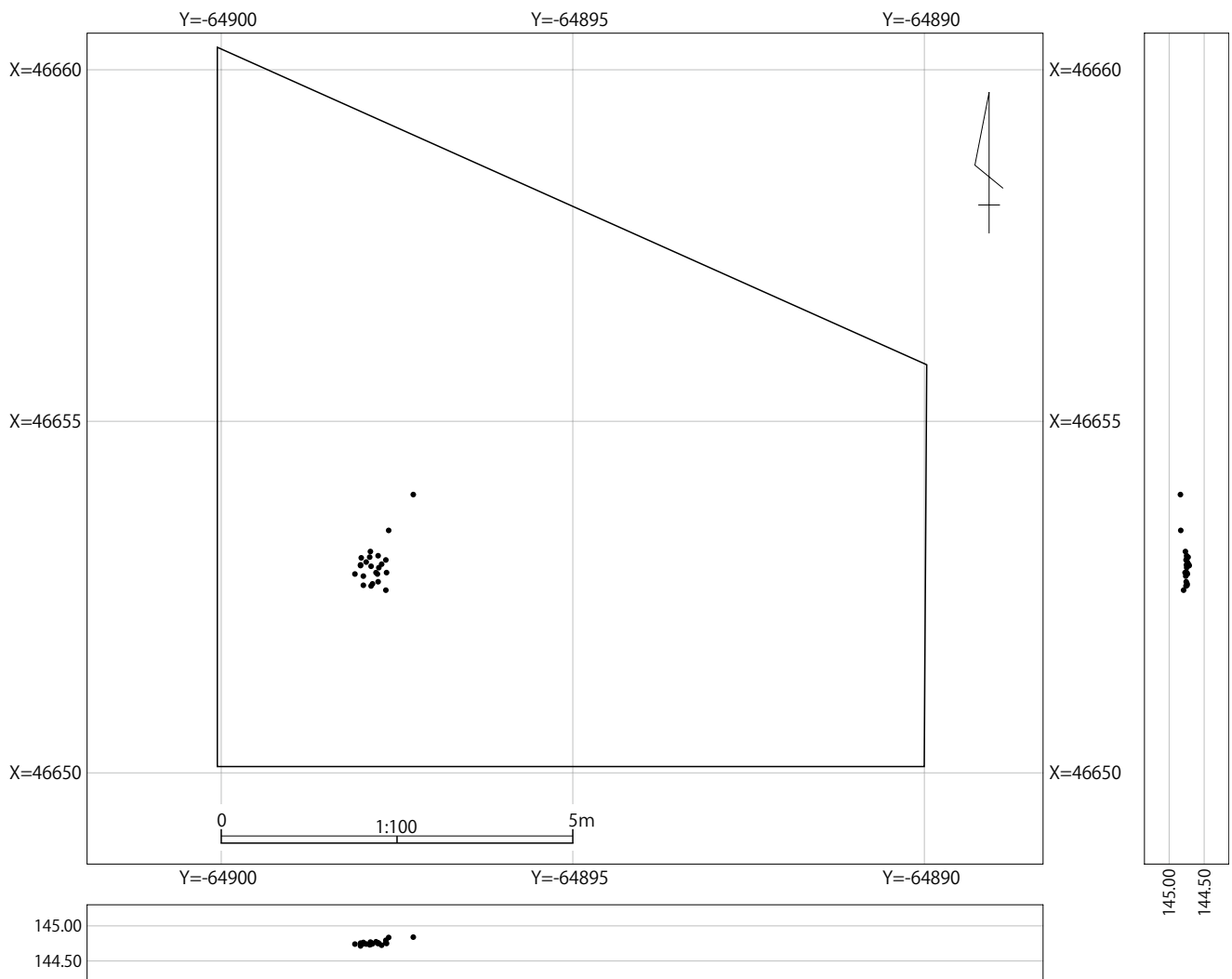
<D区> (第141・145・146図、PL.47—4～7)

(1) 出土層位

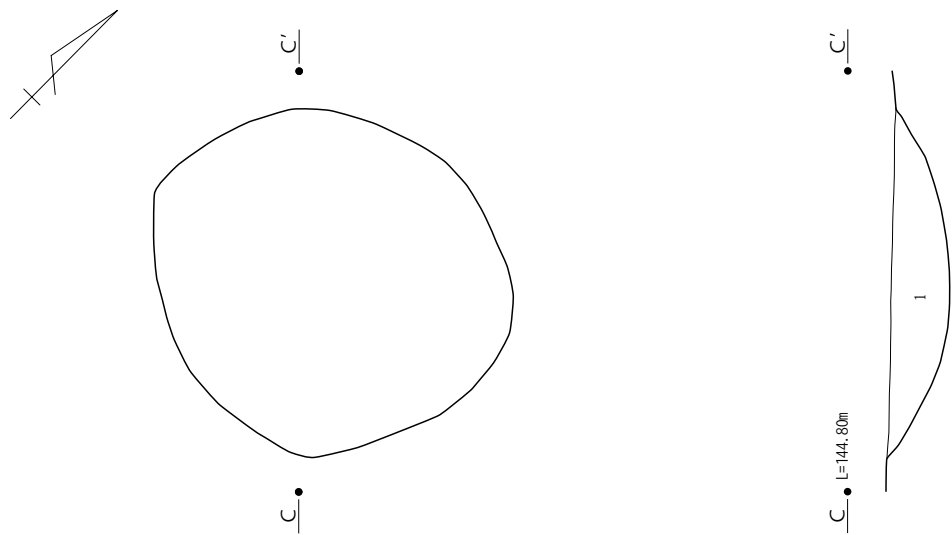
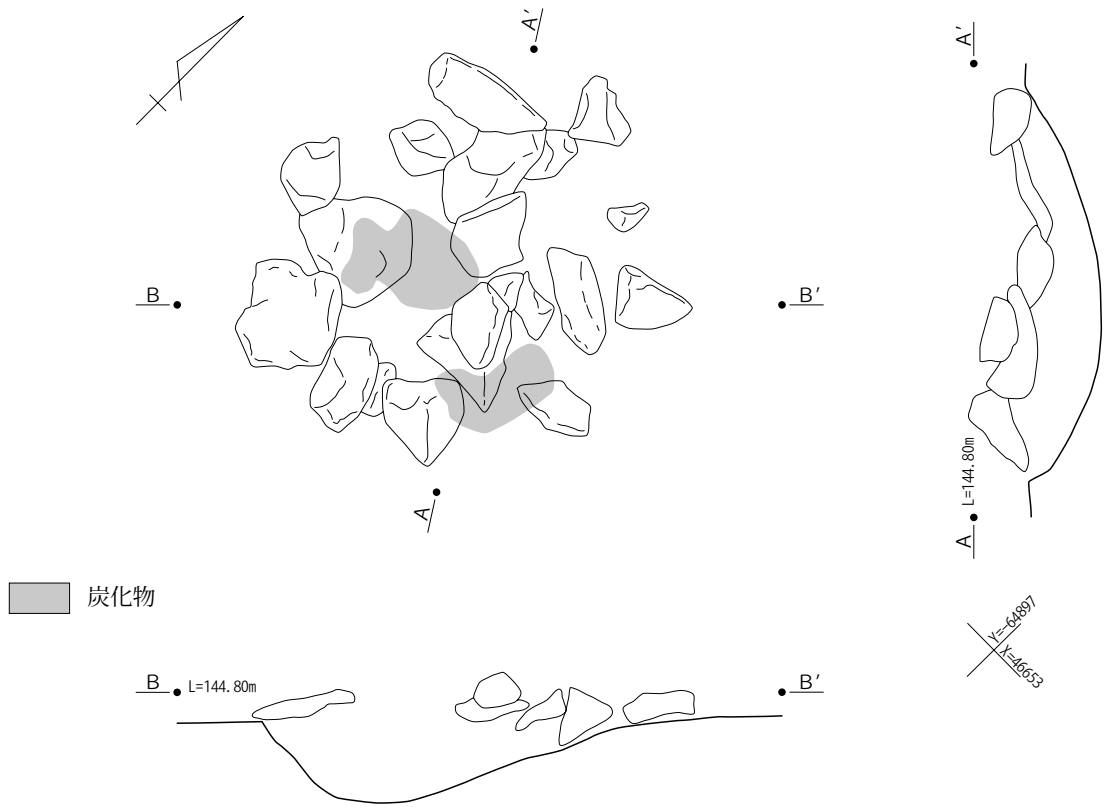
基本土層のV層である、浅間板鼻褐色軽石 (As-BP、約19,000～24,000年前) 直下から出土した (第140図)。

第17表 芳賀東部団地遺跡 第1文化層 D区組成表

| | 礫 | 礫片 | 総計 |
|---------|---|----|----|
| 粗粒輝石安山岩 | 1 | 23 | 24 |
| 総計 | 1 | 23 | 24 |



第145図 芳賀東部団地遺跡 D区 礫分布・垂直分布状況



- 1 黄褐色ローム
 周囲のロームよりも軟らかい。炭化物を多く含む。
 As-BP が一部混入。

0 1:10 50cm

第146図 芳賀東部団地遺跡 D区 集石・集石土坑

(2) 検出遺構

IV層の浅間板鼻褐色軽石直下から礫群1ヶ所が検出された。礫群の集中性は高く、これから離れて北東側に数点の礫が分布しただけである。礫群内に炭化物・焼土を伴い、県内検出の礫群としては希な発見例となった。

礫群構成礫は、ほぼすべてが赤化していた。エレベーション図を作図したのち平面精査したところ、炭化物と焼土を伴う円形プランが確認されたため、これを半截調査した。土坑覆土にはAs-BPが含まれ、周辺より軟質であったとされている。土坑は長軸50cm・短軸44cm・深さ8cmを測り、皿状を呈していた。礫群構成礫は24点(約8kg、平均重量331.3g)があり、板状に剥がれているものが多い。破断面が新鮮であるものが多く、「使い回された」礫が使用されている可能性がある。

(3) 出土遺物

石器などの遺物は1点も認められなかった。

時期は群馬編年のⅡ期である。この礫群については、他の事例と比較した別稿で詳細を論じたい。

<I区> (第141・157～160図、PL.48—4・5)

(1) 出土層位

基本土層のV層を中心にIV層からVI層にかけて出土している。テフラとの関係では浅間板鼻褐色軽石(As-BP、約19,000～24,000年前)の直下に出土したことがテフラ分析の結果明らかになった。

(2) 検出遺構

礫群(第147図)が2ヶ所で検出されている。検出地点はI区の北東側で、北側より南側礫群(X=46795、Y=-65225)の集中性が高い。それぞれの構成礫は北側礫群が5点、南側礫群が14点で、このほか周辺域に3点の礫が散布していた。接合資料3が南側の礫群で確認されている以外、礫群間の接合はない。南北礫群の構成礫は7個体があり、破断面が新鮮であることから、構成礫は他の地点に持ち出されている、あるいは、持ち込まれている可能性が指摘できよう。石材はすべて粗粒輝石安山岩である。検出層位はAs-BPを含むIV層直下とされており、時期は群馬編年Ⅲ期に相当する。接合資料は次の3例7点がある。礫1(I30+I31)、礫2(I32+I33)、礫3(I34+I28+I35)

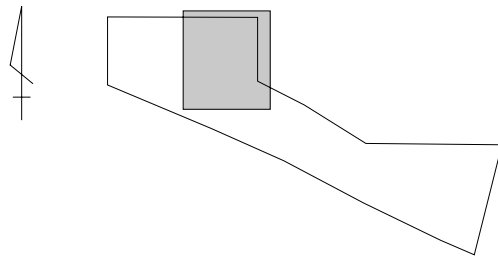
(3) 出土遺物 出土遺物の総点数は98点で、内訳は石器26点(26.5%)、剥片53点(54.1%)、礫・礫片19点(19.4%)である。石器の器種は、ナイフ形石器1点(1.3%)、削器3点(3.8%)、加工痕ある剥片3点(3.8%)、石刃11点(13.9%)、石核7点(8.8%)、台石1点(1.3%)、剥片53点(67.1%)である。石器の石材は、黒色安山岩45点(56.9%)、黒色頁岩32点(40.5%)、玉髓1点(1.3%)、粗粒輝石安山岩1点(1.3%)である。礫・礫片の石材は、19点すべて粗粒輝石安山岩である(第18表参照)。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

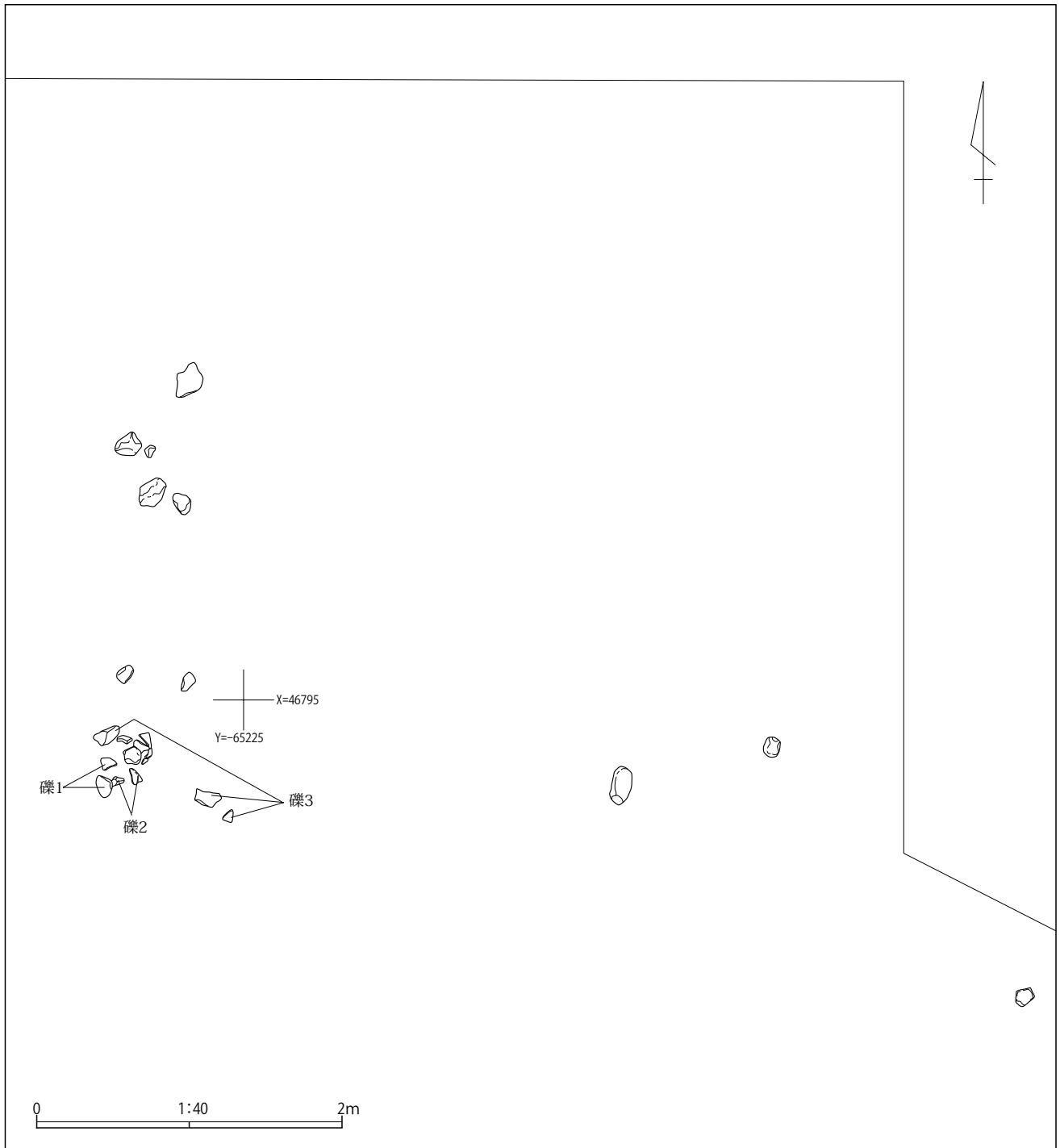
ナイフ形石器(第148図、I38、PL.49) 1点が出土している。一側縁に調整を施している。折断で一端を欠損しているが、あるいは基部と先端部が逆なのかもしれない。石材は黒色頁岩である。

削器(第148図、I42・I61・I102、PL.49) 3点が出土している。I102は表面に原石面を残す大形の分割礫を素材に、打面付近の裏面に5回以上の剥離を加えて、打面及び打瘤を除去している。石材は黒色頁岩である。I61は大形の分割礫を素材に、一側縁の裏面に3回の剥離を加えている。石材は黒色頁岩である。I42は表面の一部に原石面を残す大形の剥片、あるいは分割礫を素材に、一側縁の裏面に3回の剥離を加えている。石材は黒色頁岩である。3点とも削器としては加工が大きく、可能性として2・3枚の小型剥片を剥離しただけの石核とすべきかもしれない。

加工痕ある剥片(第149図、I60・I62・I76、PL.49・50) 3点が出土している。I62は大形の剥片を素材に、一側縁に加工を加えている。石材は黒色頁岩である。I76は原石面を打面とする大形の剥片を素材に、先端部に加工を加えている。石材は黒色安山岩である。I60は側面に原石面を持つ大形の剥片で、打面部分に加工を加えている。石材は黒色安山岩である。



0 1:600 20m



第147図 芳賀東部団地遺跡 I区 礫分布状況

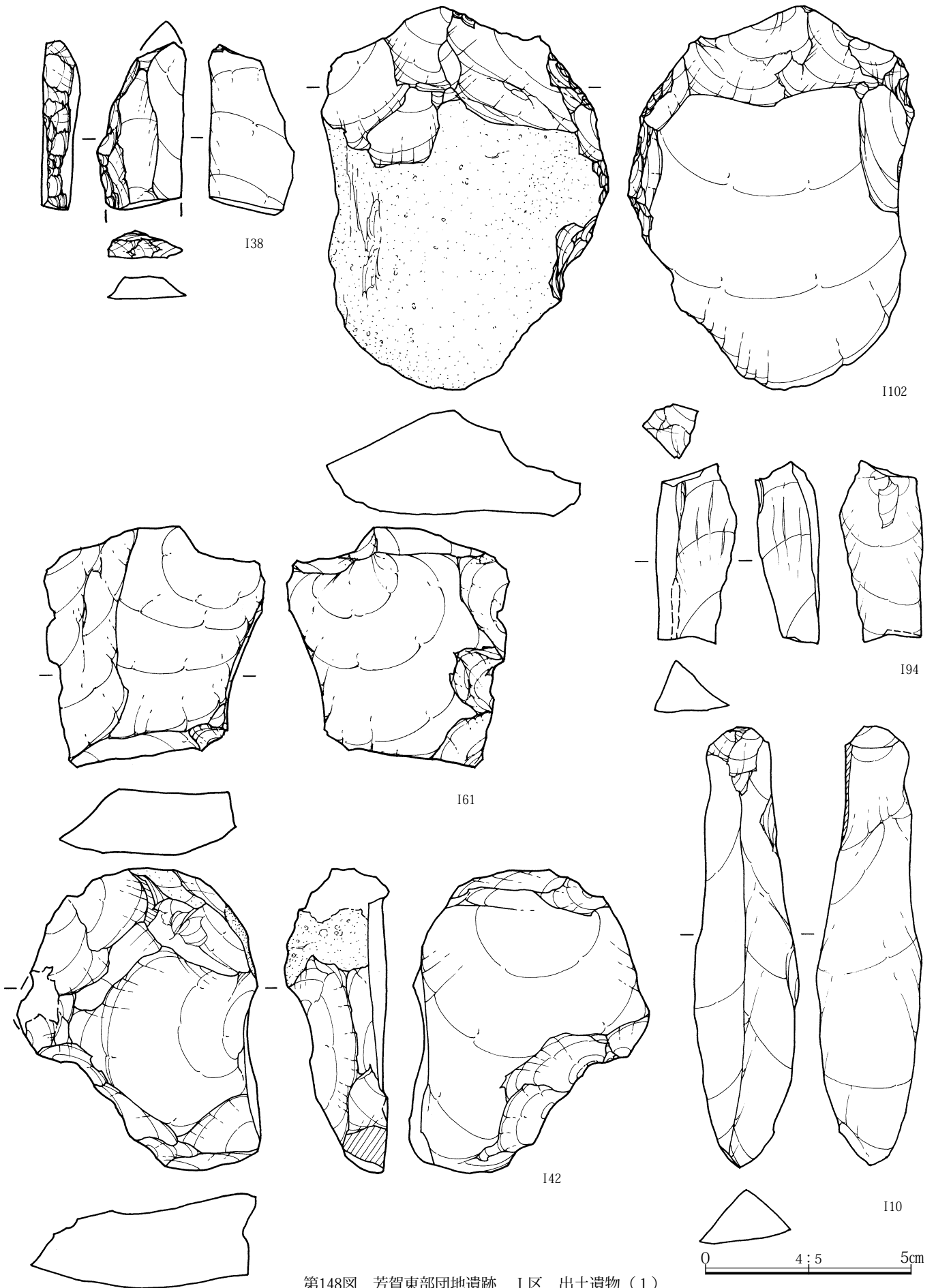
石刃（第148・149・150図、I10・I46・I51・I53・I72・I73・I77・I82・I85・I94・I95、PL.49・50・51）11点が出土している。I94は表面の一面が180° 打面転位の剥離が残っている。先端部を欠損している。石材は黒色頁岩である。I10は左右対称の細長い資料である。石材は黒色頁岩である。I53は表面の片面に原石面を残す、やや幅広の資料である。石材は黒色安山岩である。I77は細長く、一側縁の一部に僅かな使用痕が残されている。石材は黒色安山岩である。I51は打面が大きな幅広の資料で、真ん中で折断され先端側を欠損している。わずかに側縁に原石面が残っており、細かな加工も認められる。石材は黒色頁岩である。I85は幅広の資料で、折断され先端側を欠損している。石材は黒色頁岩である。I72は小さな打面の幅広の資料で、先端部に原石面を残す。表面の一面が180° 打面転位の剥離が残っている。石材は黒色頁岩である。I73は表面の先端部付近に原石面を残す。石材は黒色頁岩である。I82は台形の断面で、石材は黒色頁岩である。I95は小さな打面の幅広の資料で、先端部に原石面を残す。先端部からの180° 打面転位の剥離面が残っている。槌状剥離に似ており、あるいは彫器かもしれない。石材は黒色頁岩である。I46(非実測)は打点が小さく、風化が激しい。

石核（第151・152図、I17・I41・I58・I81・I84・I93・I97、PL.51・52）7点が出土している。I41は原石面が残る板状の剥片の分割面を打面として剥片剥離をして、打面を転位して繰り返す。石材は黒色頁岩である。I17は原石面が残る剥片の原石面や剥離面に打面を転位させて剥片剥離を繰り返す。石材は黒色安山岩である。I81は原石面が残る剥片の原石面や剥離面に打面を転位させて剥片剥離を繰り返す。石材は黒色頁岩である。I93は原石面が半分近く残る長軸8cm前後の楕円礫の一端を打ち欠いて打面を作り出し、縦長の剥片を数枚剥離し、その作業面を打面として90° 転位して剥片剥離を継続する。石材は黒色安山岩である。I97は原石面が2ヶ所に残る長軸5cm前後の分割した楕円礫の分割面を打面として縦長の剥片を数枚剥離し、その作業面を打面に90° 転位して剥片剥離を繰り返す。石材は黒色安山岩である。I84は原石面が半分近く残る長軸10cm前後の楕円礫の一端を打ち欠いて打面を作り出し、石材は黒色頁岩である。I58は板状の剥片の先端寄りの両側縁の表面から剥片を剥離している。石材は黒色頁岩である。

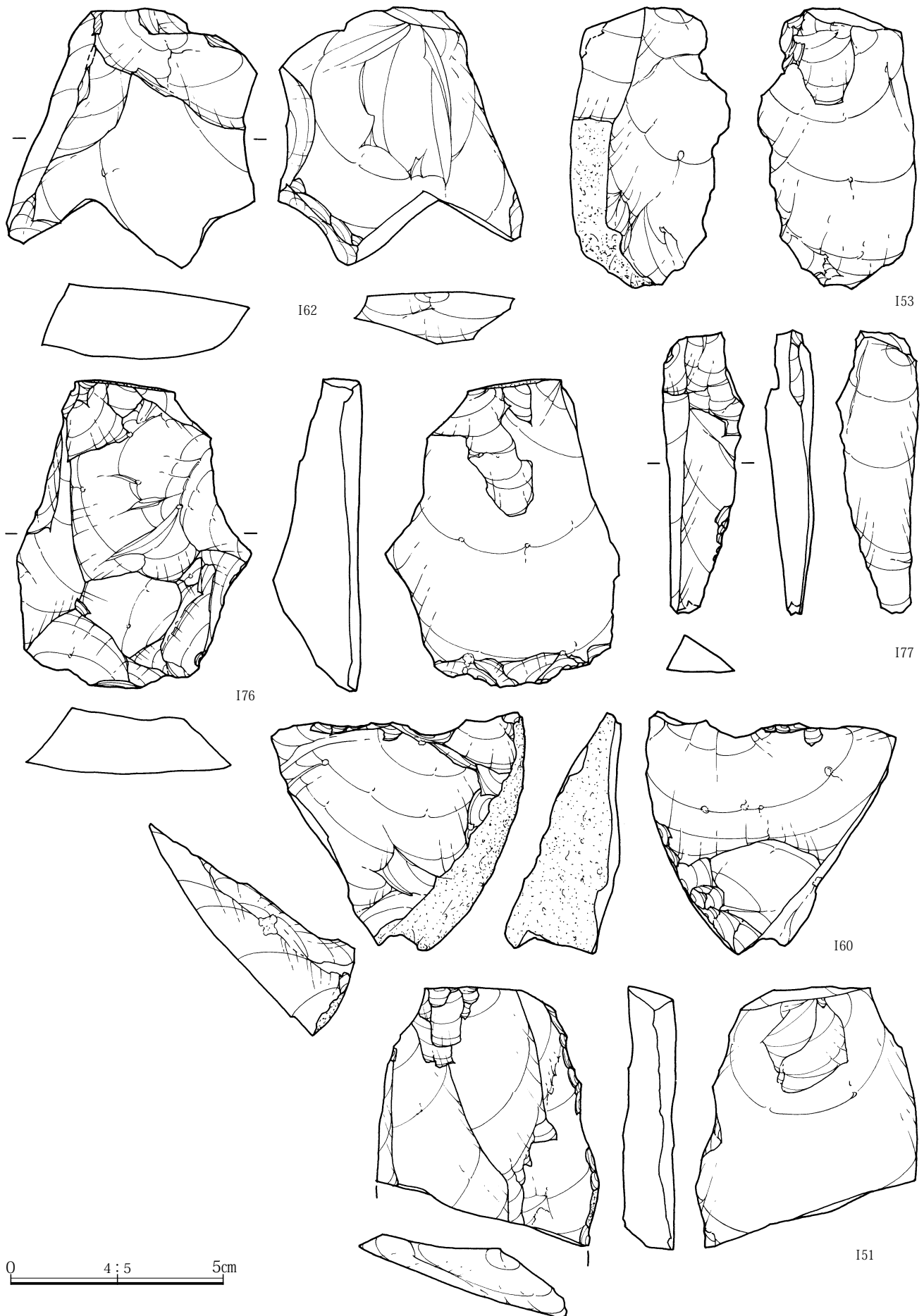
この他に、多数の剥片や碎片が出土しているが、図化・資料化しているのは主に接合資料に含まれる資料だけである。（第153～156図、PL.52・53）

第18表 芳賀東部団地遺跡 第1文化層 I区組成表

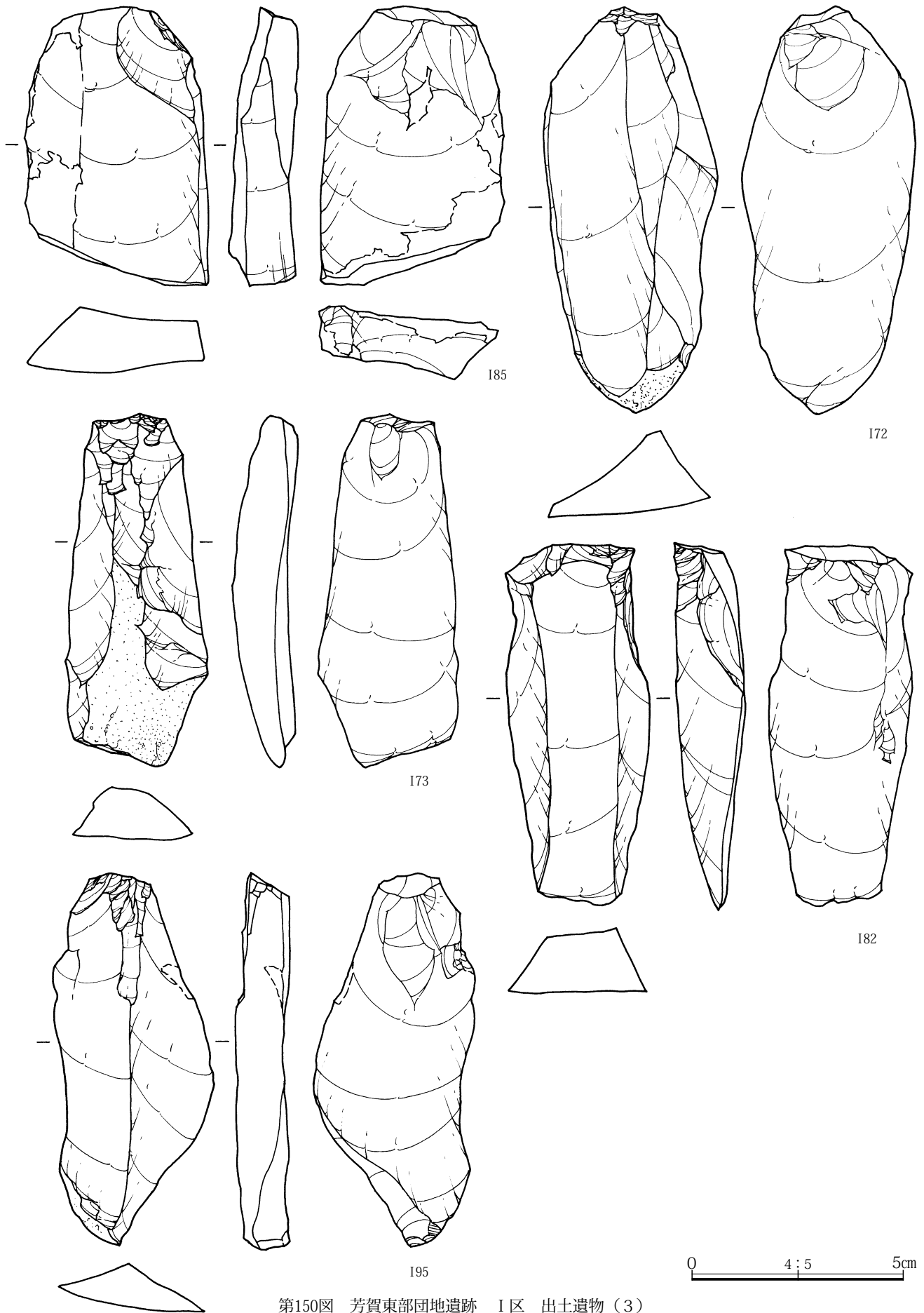
| | ナイフ | 削器 | 加工痕 | 石刃 | 石核 | 台石 | 剥片 | 礫 | 礫片 | 総計 |
|---------|-----|----|-----|----|----|----|----|---|----|----|
| 黒色安山岩 | | | 2 | 2 | 3 | | 38 | | | 45 |
| 黒色頁岩 | 1 | 3 | 1 | 9 | 4 | | 14 | | | 32 |
| 玉髄 | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | 1 | | 3 | 16 | 20 |
| 総計 | 1 | 3 | 3 | 11 | 7 | 1 | 53 | 3 | 16 | 98 |



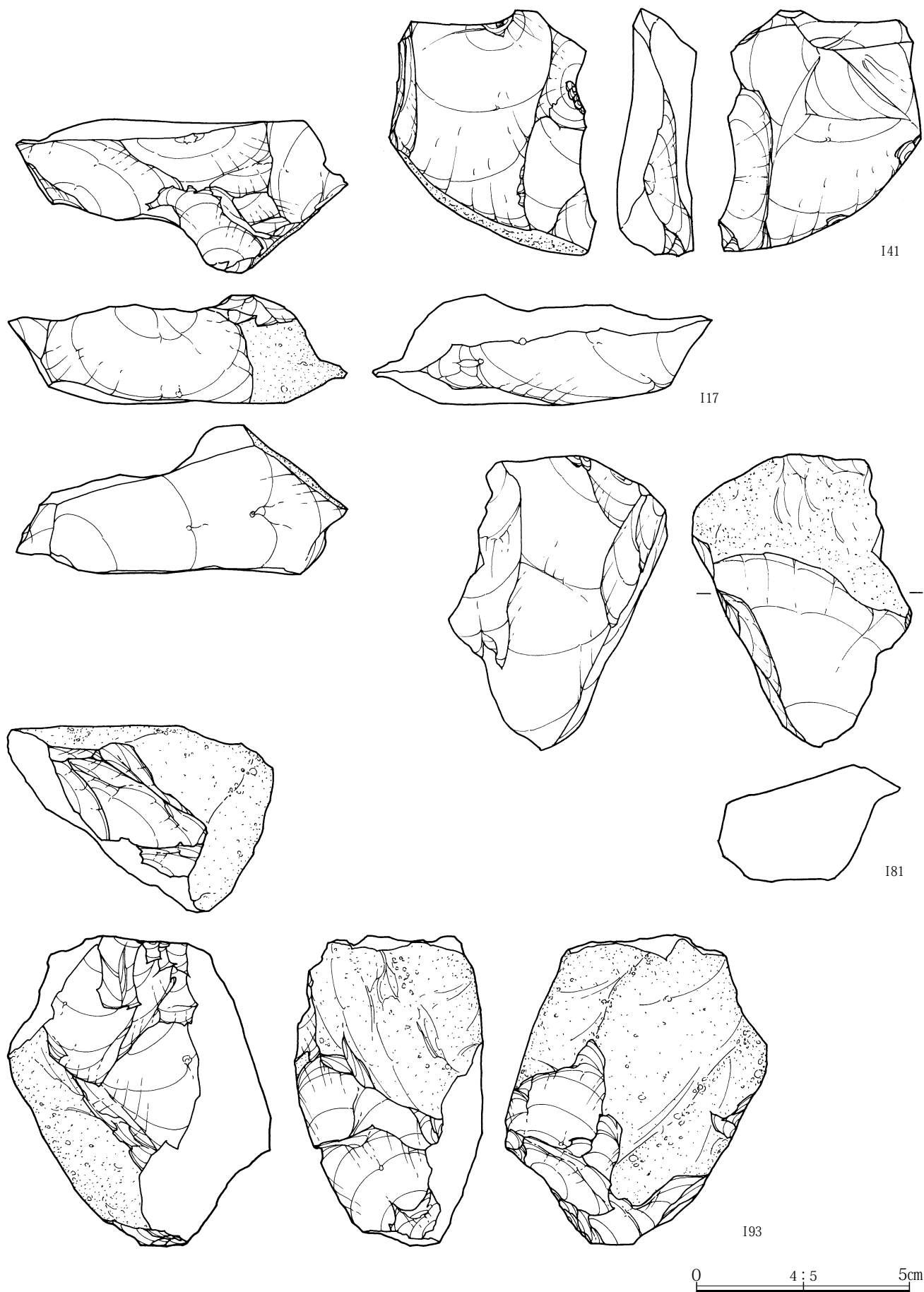
第148図 芳賀東部団地遺跡 I区 出土遺物(1)



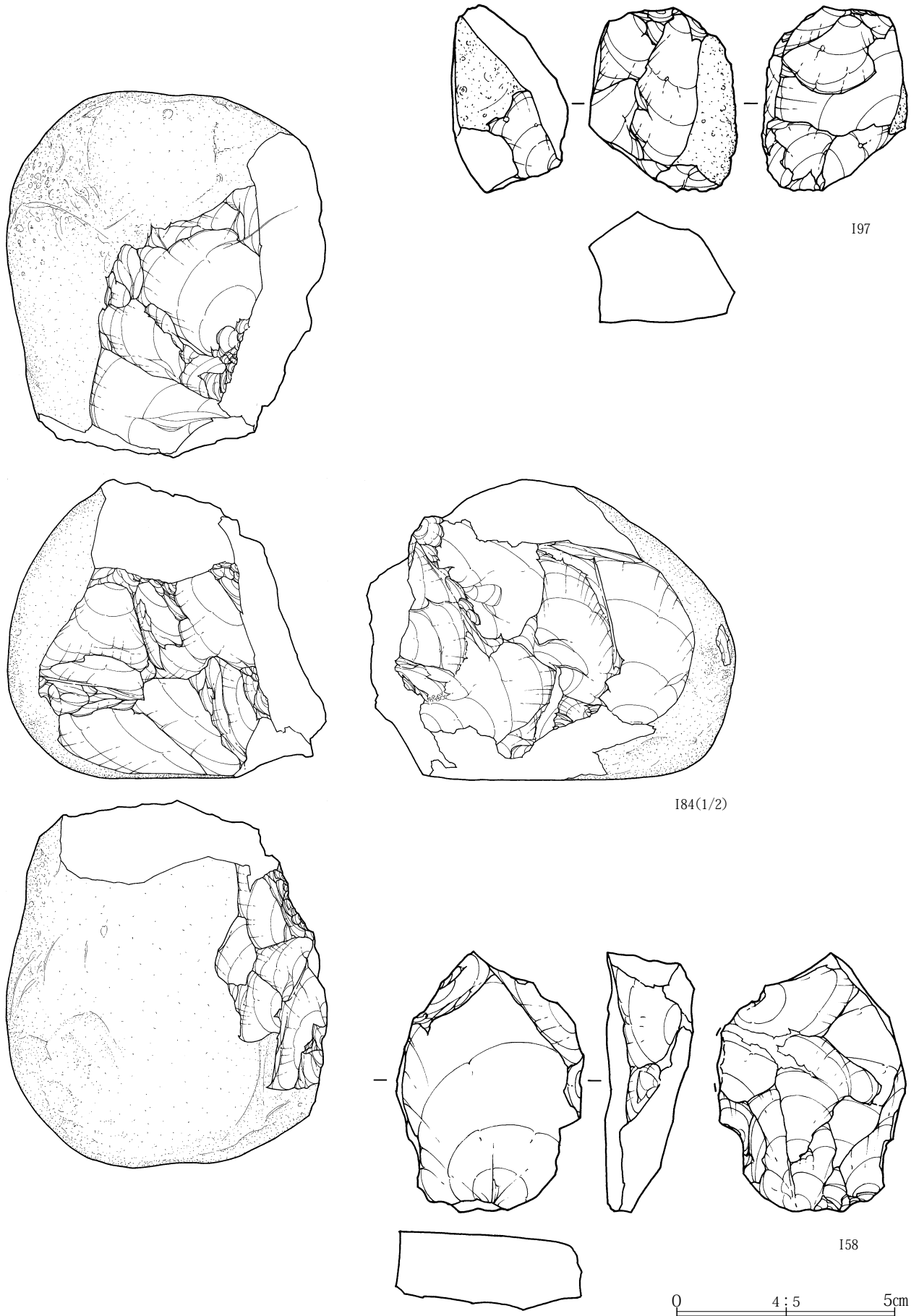
第149図 芳賀東部団地遺跡 I区 出土遺物(2)



第150図 芳賀東部団地遺跡 I区 出土遺物(3)



第151図 芳賀東部団地遺跡 I区 出土遺物(4)



第152図 芳賀東部団地遺跡 I区 出土遺物(5)

(4) 母岩別資料・接合資料(第153～156図、PL.52・53)

黒色安山岩は45点が出土した。このうち、接合資料5例12点を得られた。

黒色安山岩14-①(第153図、PL.52) 石刃1点と剥片1点の接合資料である。I53(石刃)→I56

黒色安山岩14(第149・154図、PL.50・52) 同じ母岩の非接合資料は、加工痕ある剥片2点、剥片6点の計8点がある。

I2、I15、I47、I52、I60(加工痕ある剥片)、I74、I76(加工痕ある剥片)、I80

黒色安山岩15-①(第153図、PL.52) 剥片2点の接合資料である。I18→I19

黒色安山岩15-② 剥片2点の接合資料である。I68→I66 非実測

黒色安山岩15 同じ母岩の非接合資料は、剥片9点がある。I12、I14、I40、I63、I64、I65、I79、I87、I88

黒色安山岩16-①(第153図、PL.52) 3つの折断を含む剥片4点の接合資料。I9→I6+I8+I49

黒色安山岩16-②(第153図、PL.52) 剥片2点の接合資料である。I89→I84

黒色安山岩16(第151・152・154図、PL.51・52) 同じ母岩の非接合資料は、石核2点、剥片8点の計10点がある。I7、

I17(石核)、I57、I59、I92、I96、I97(石核)、I98、I99、I100

黒色安山岩17(第149・154図、PL.50・52) 同じ母岩の非接合資料は、石刃1点、剥片1点がある。I69、I77(石刃)

黒色安山岩には単独母岩として石核1点(第151図、PL.51)がある。I93

黒色安山岩には母岩分類不能な剥片2点がある。I70、I78

黒色頁岩は、32点が出土した。このうち、接合資料は4例8点がある。

黒色頁岩12-①(第155・156図、PL.53) 石核1点と剥片1点の接合資料である。I75→I84(石核)

黒色頁岩13-①(第154図、PL.53) 剥片2点の接合資料である。I54→I55

黒色頁岩13(第148図・PL.49) 同じ母岩の非接合資料は、削器1点がある。I102

黒色頁岩14-①(第154図、PL.52) 剥片の折断資料である。I39+I37

黒色頁岩14(第148・150・155図、PL.49・50・53) 同じ母岩の非接合資料は、削器2点、石刃2点、剥片4点がある。I3、

I4、I5、I42(削器)、I43、I46(石刃)、I61(削器)、I85(石刃)

黒色頁岩15-①(第154図、PL.53) 石核1点と剥片1点の接合資料である。I48→I41(石核)

黒色頁岩15(第150図、PL.51) 同じ母岩の非接合資料は、石刃1点がある。I95

黒色頁岩16(第149～151・155図、PL.49～51・53) 同じ母岩の非接合資料は、石刃1点、加工痕ある剥片1点、石核

1点、剥片1点の計4点がある。I16、I62(加工痕ある剥片)、I72(石刃)、I81(石核)

黒色頁岩17(第148図、PL.49) 同じ母岩の非接合資料は、ナイフ形石器1点、石刃1点の計2点がある。I10(石刃)、I38(ナ

イフ形石器)

黒色頁岩18(第150図、PL.50・51) 同じ母岩の非接合資料は、石刃2点がある。I73、I82

黒色頁岩19 同じ母岩の非接合資料は、剥片2点がある。I11、I13

黒色頁岩単独母岩(第148・149・152・155図、PL.49～51・53) として石核1点、石刃2点、剥片1点の計4点がある。

I1、I51(石刃)、I58(石核)、I94(石刃)

玉髓(第155図、PL.53) 剥片1点のみである。I71

(5) 剥片剥離技術

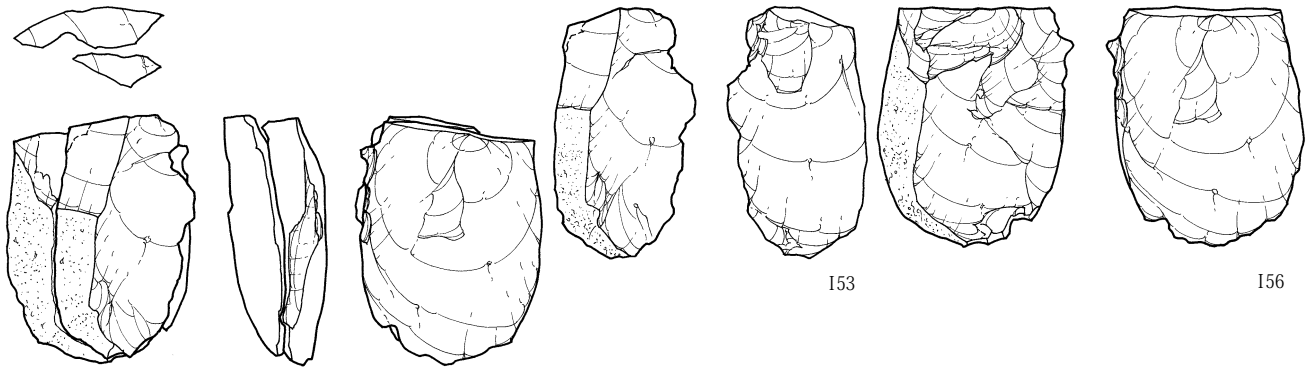
原石面が多く残る礫の一端を打ち欠いて作り出した打面から石刃や縦長剥片を剥離するなどの様子や打面調整されていない石刃の存在などから、群馬Ⅱ期と想定される。

(6) 分布状況(第157・220図)

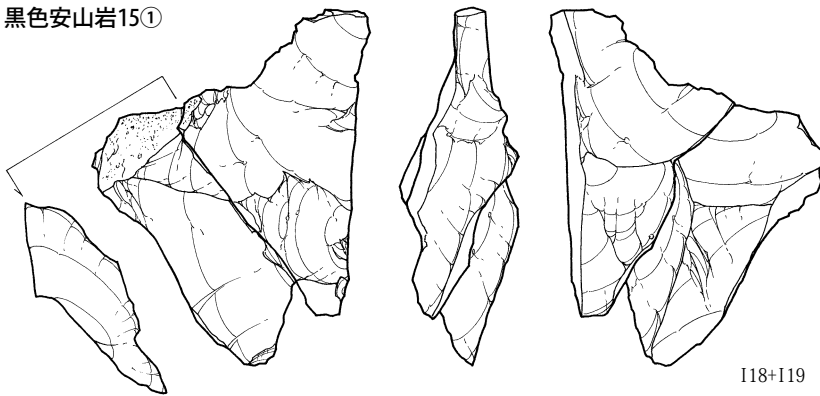
分布は東と西に大きく分かれ、西側で数が多い。石器ブロックとして西側分布域で3ブロック(1～3号)を、東側分布域で3ブロック(4～6号)を認定した。6号ブロックは南側の調査区域外に分布が広がる可能性がある。

(7) 石器の分布(第158図)

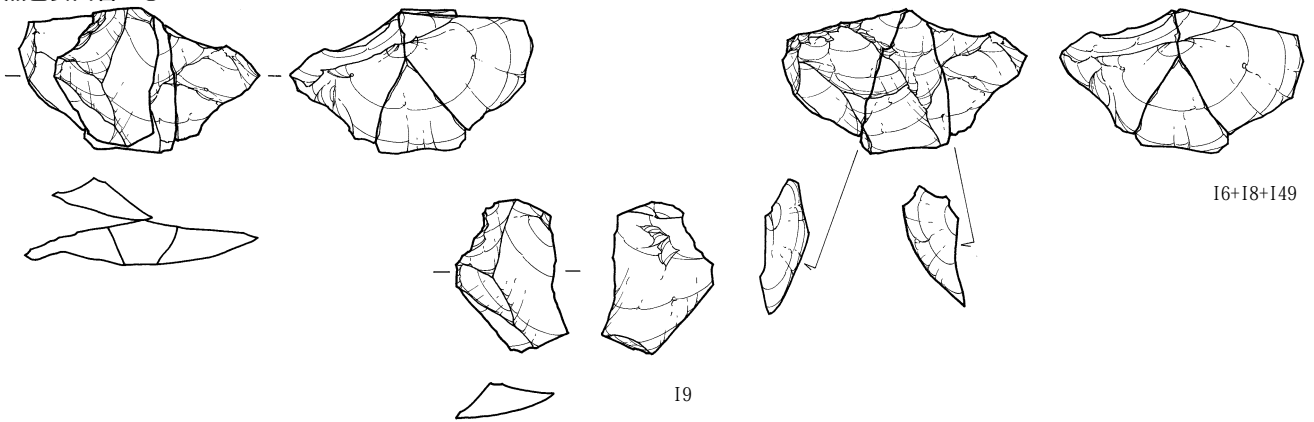
黑色安山岩14①



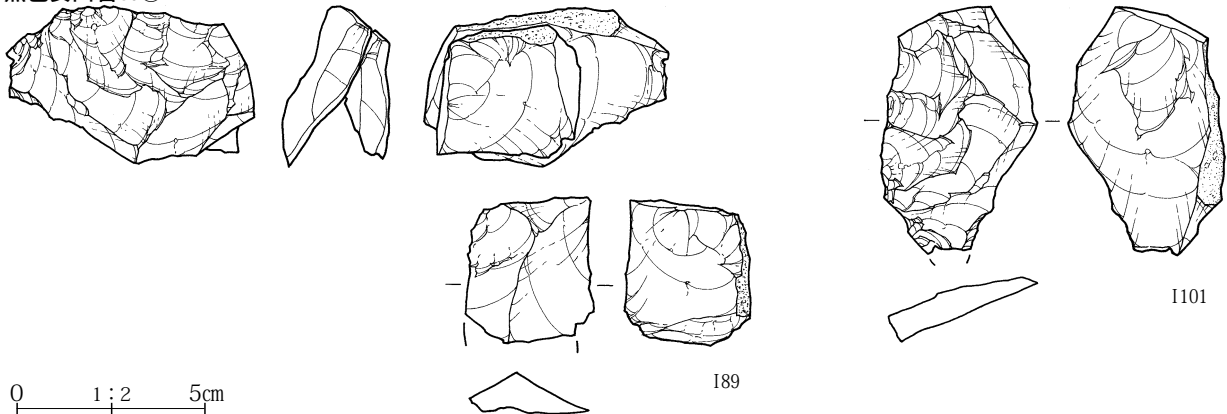
黑色安山岩15①



黑色安山岩16①

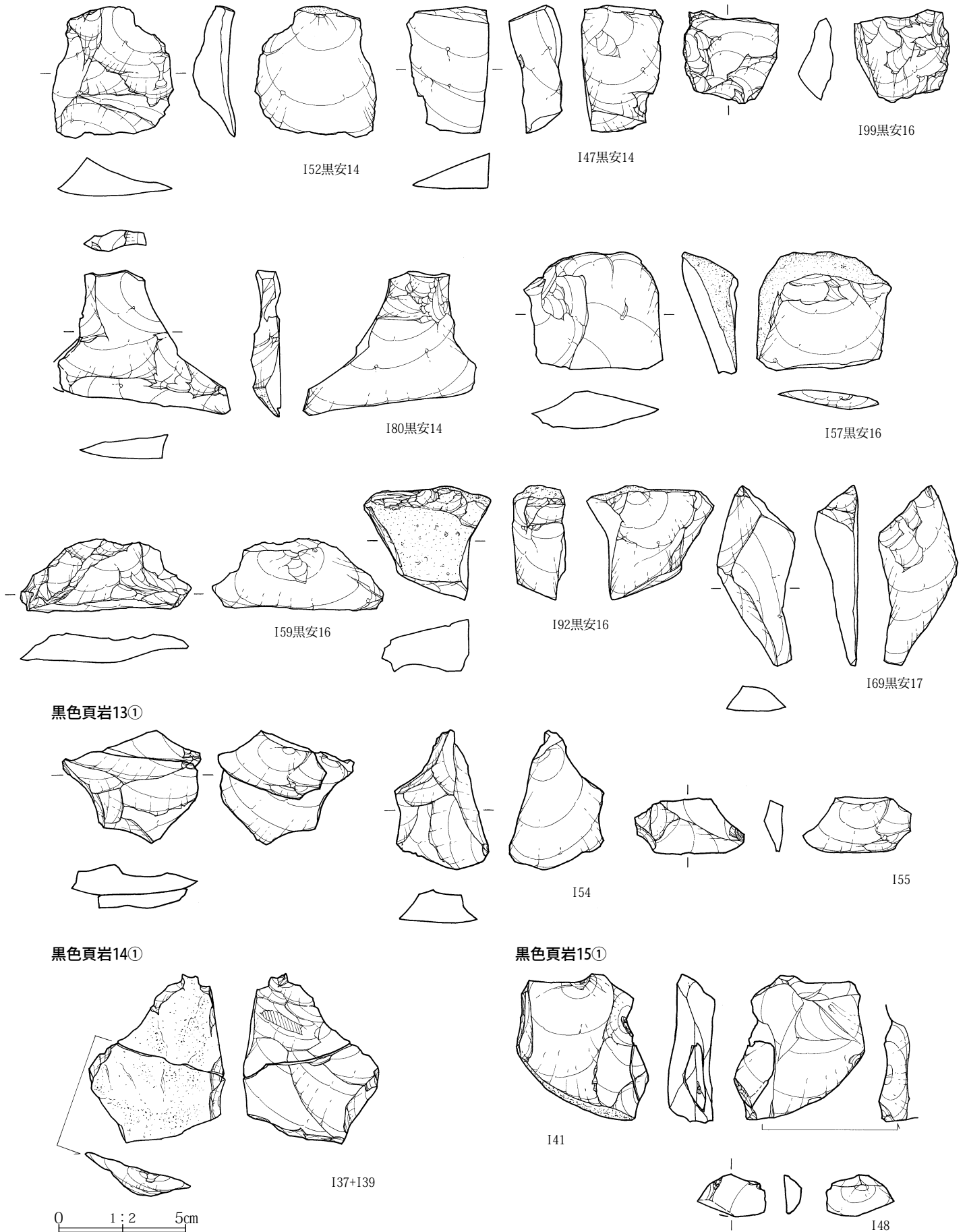


黑色安山岩16②

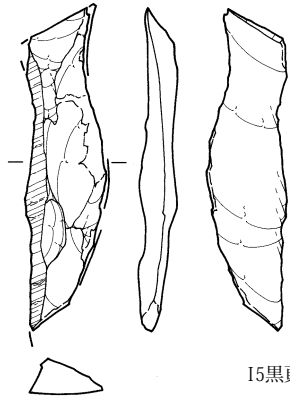


0 1:2 5cm

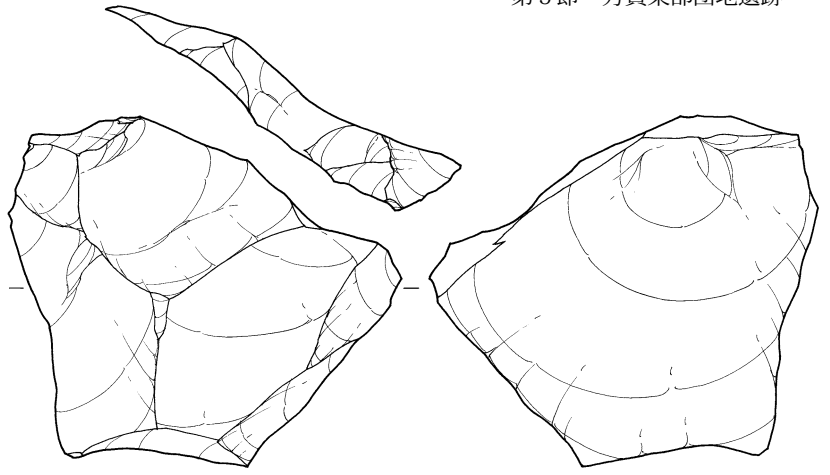
第153図 芳賀東部団地遺跡 I区 母岩別資料・接合資料(1)



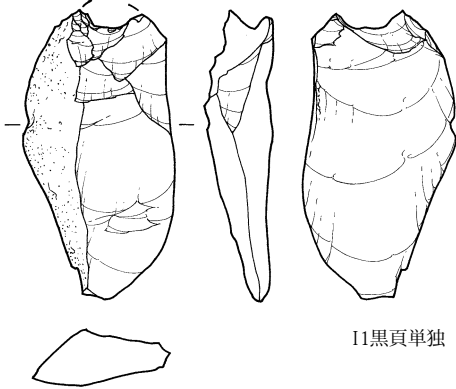
第154図 芳賀東部団地遺跡 I区 母岩別資料・接合資料(2)



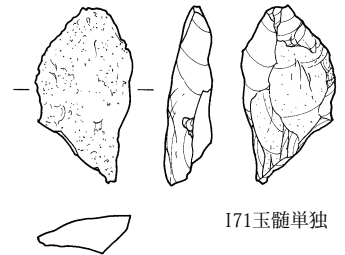
15黒頁14



116黒頁16

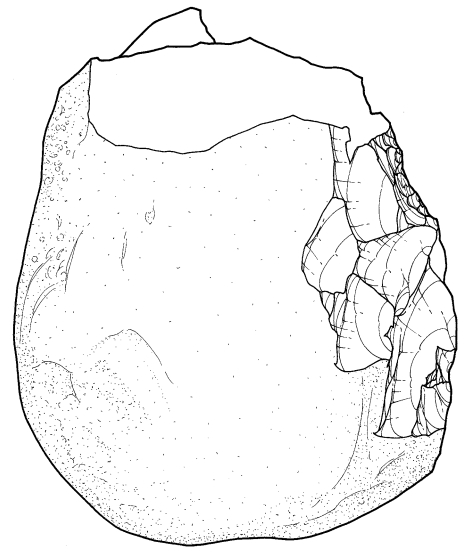
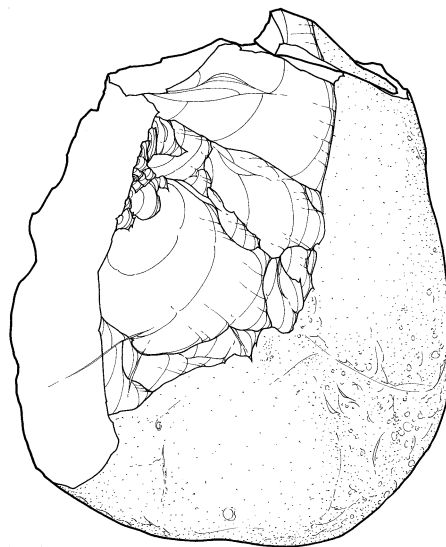
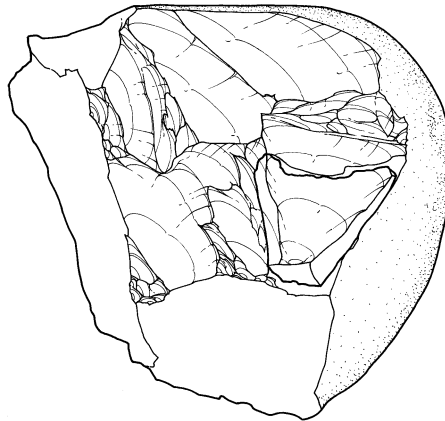


11黒頁単独



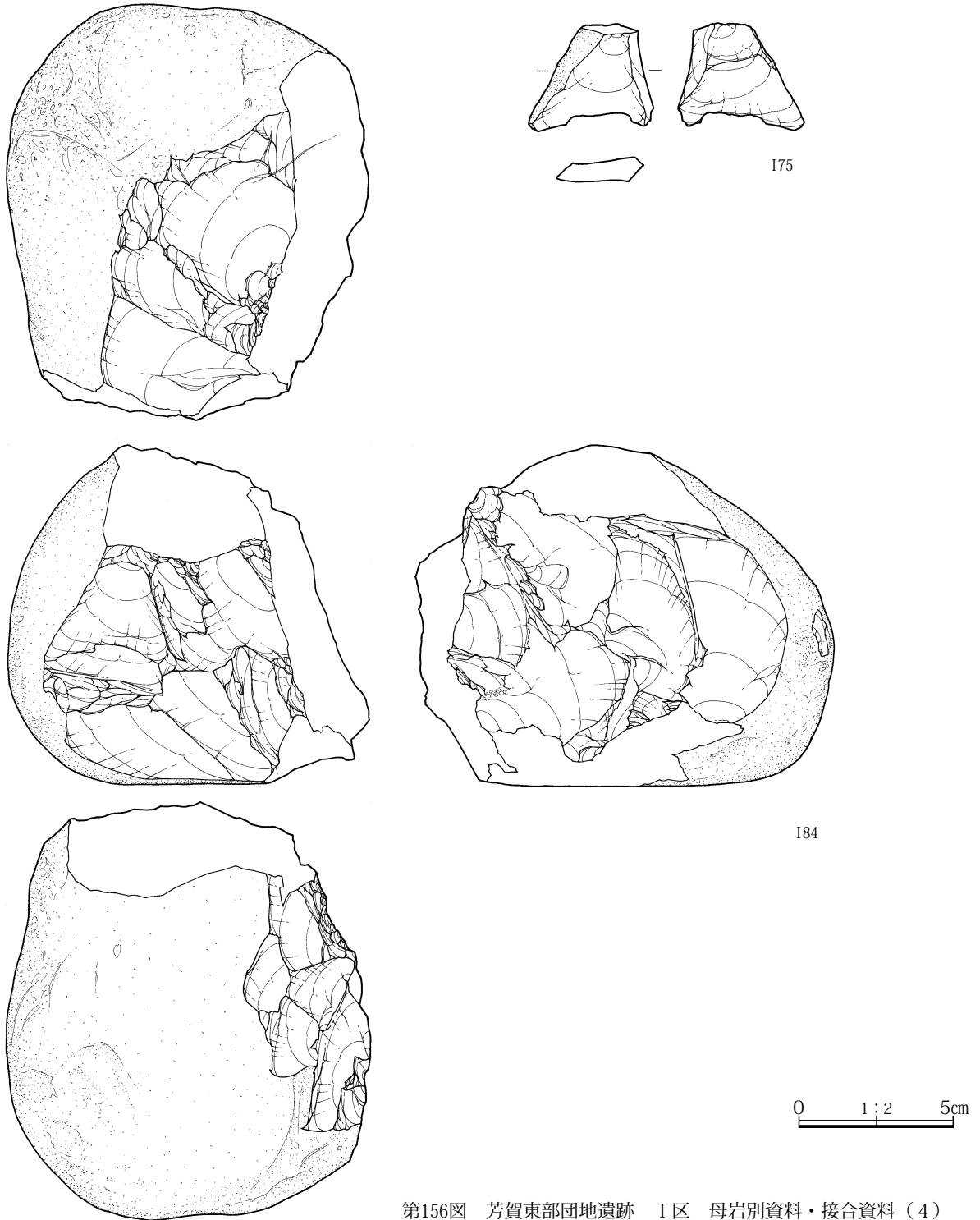
171玉髓単独

黒色頁岩12①



第155図 芳賀東部団地遺跡 I区 母岩別資料・接合資料(3)

0 1:2 5cm



第156図 芳賀東部団地遺跡 I区 母岩別資料・接合資料(4)

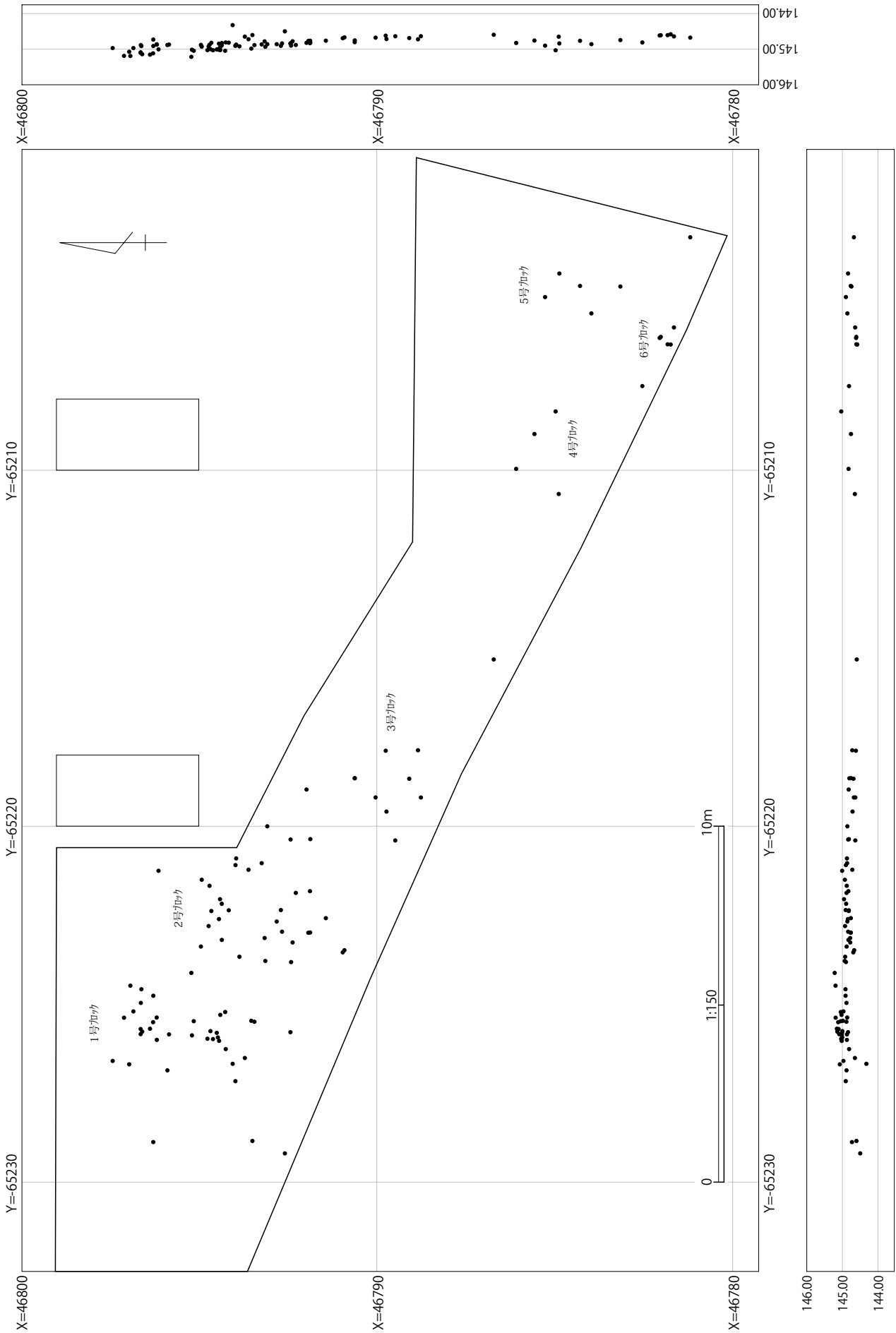
ナイフ形石器や削器、石刃などの主要な石器は西側分布域に集中しており、石器製作に関する台石は西側分布域のほぼ中央にある2号ブロックから出土した。

(8) 石材の分布(第159図)

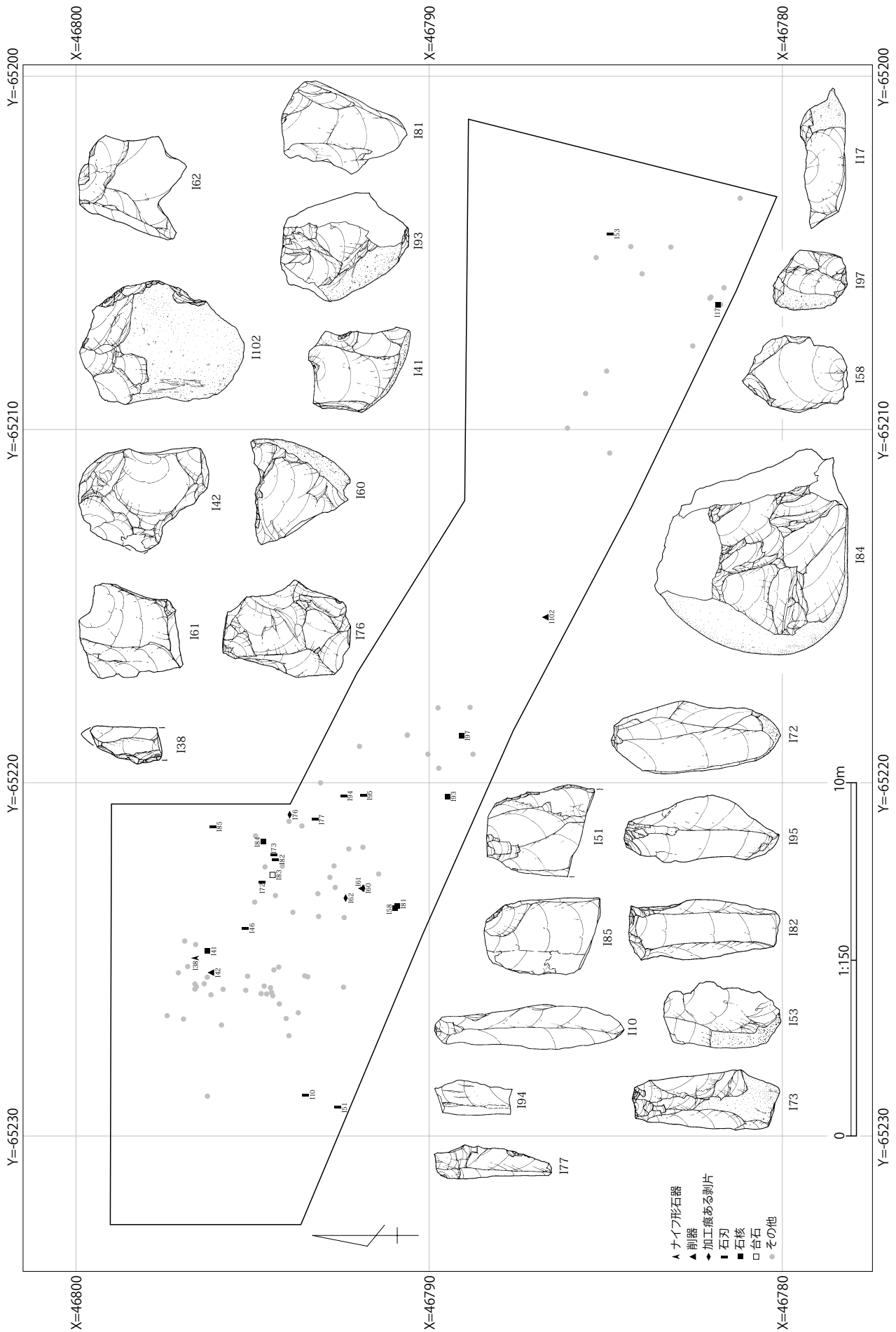
1号ブロックには礫群があり、南側礫群の南に黒色安山岩が、北側礫群周辺に黒色頁岩が分布する。これと同じ傾向が2号ブロックにあり、同ブロック北に黒色頁岩、南に黒色安山岩が分布する。東側分布域は散漫で、少量の剥片生産が行われた程度に見える。

(9) 接合資料の分布(第160図)

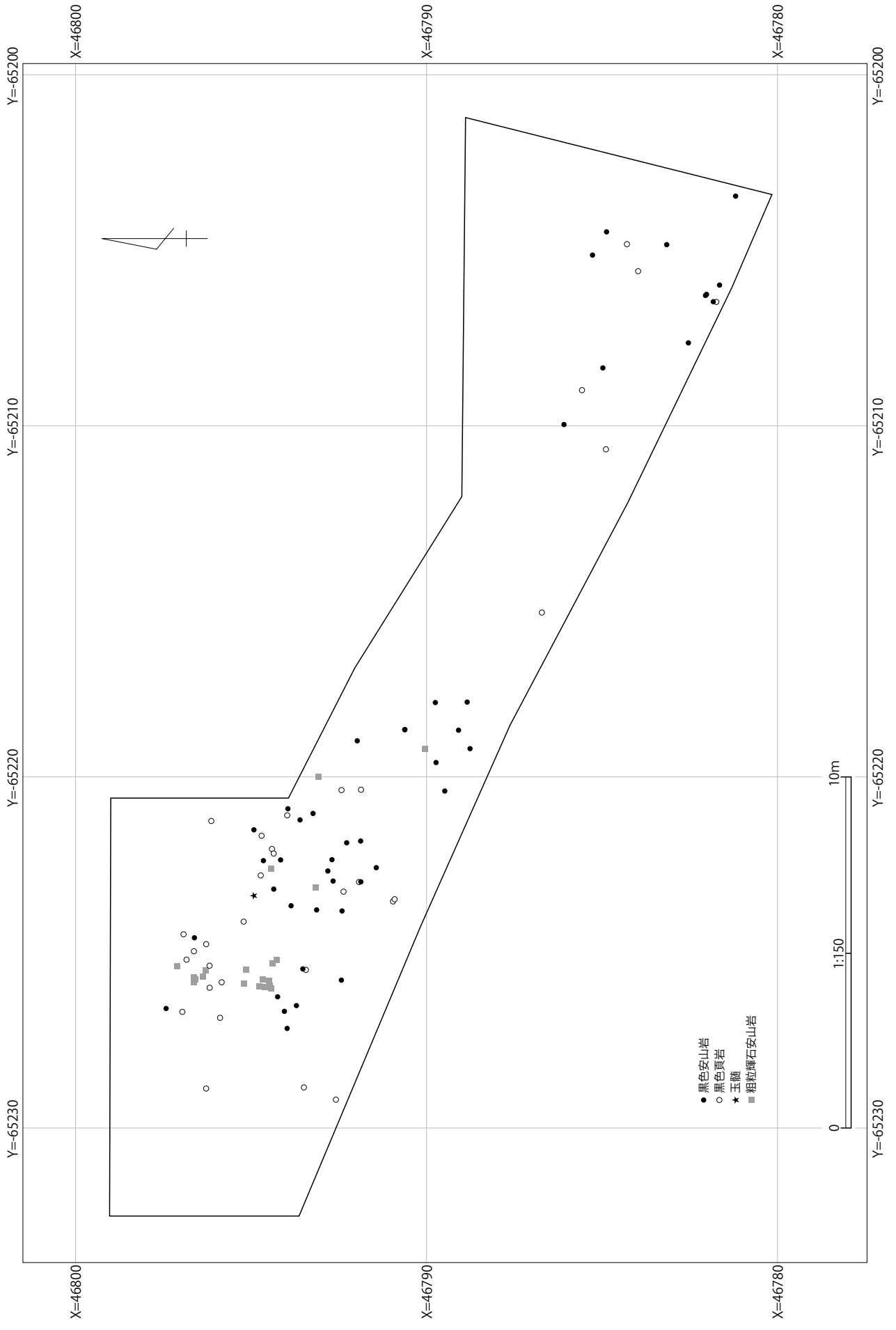
接合資料は黒色安山岩5例・黒色頁岩4例が確認されているが、いずれも部分的な剥片生産に止まる傾向が明らかである。接合資料の分布もブロック内に収まり、東西分布域間で接合するものはない。



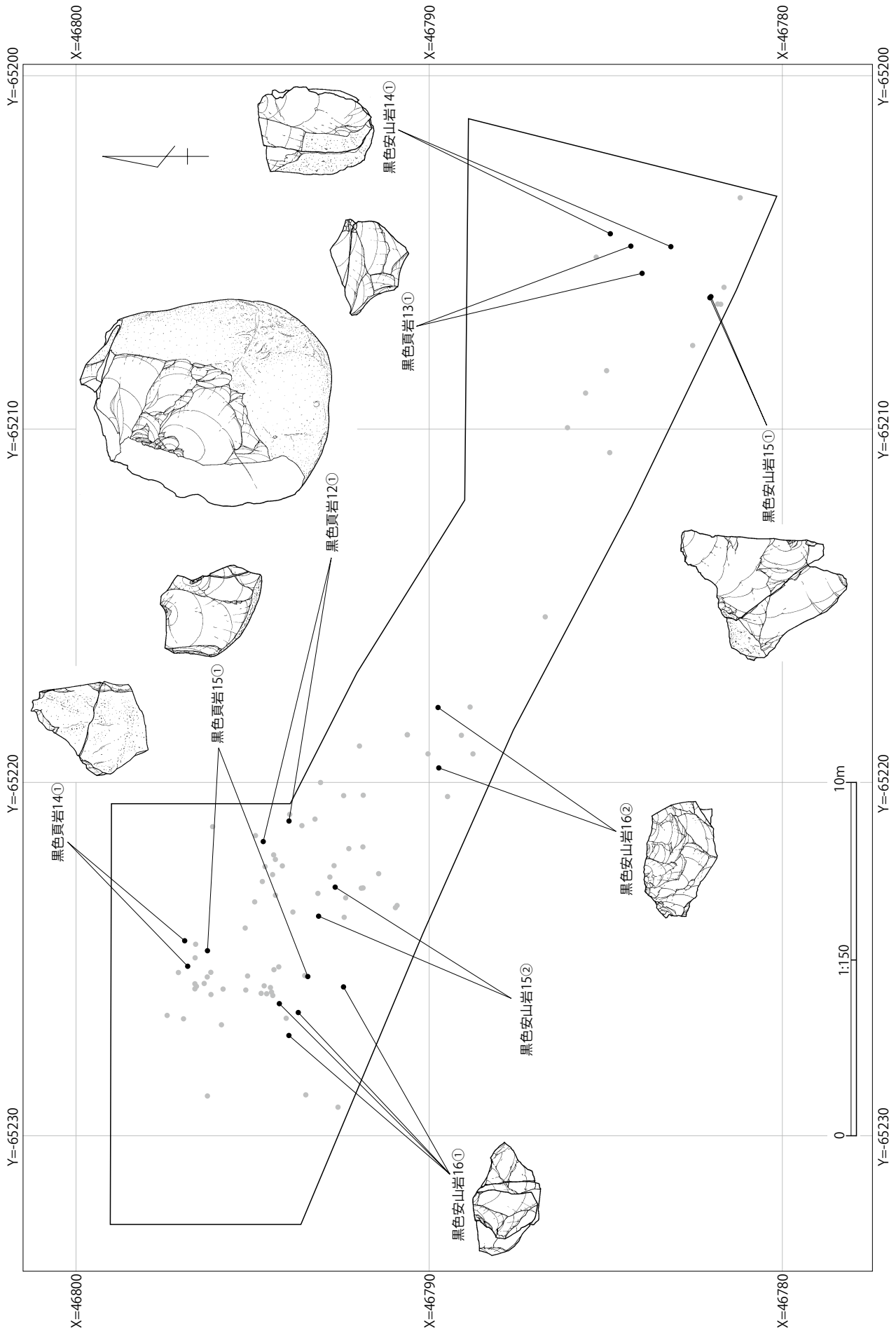
第157図 芳賀東部団地遺跡 I区 石器分布・垂直分布状況



第158図 芳賀東部団地遺跡 I区 器種別分布状況



第159図 芳賀東部団地遺跡 I区 石材別分布状況



第160図 芳賀東部団地遺跡 I区 接合資料の分布状況

4 第2文化層

第2文化層の石器群は、B区とE区から出土した。

<B区> (第141・168～171図、PL.47-8・48-1)

(1) 出土層位

基本土層Ⅵ・Ⅶ層の境界付近をピークとして出土した。石器出土層位からAT下位の石器群と思われる。

(2) 検出遺構

遺構は検出されなかった。

(3) 出土遺物

総点数は213点で、内訳は石器22点(10.3%)、剥片159点(74.7%)、碎片30点(14.1%)、礫・礫類は2点(0.9%)である。石器の器種は、局部磨製石斧1点(0.5%)、ナイフ形石器4点(1.9%)、彫器1点(0.5%)、石刃1点(0.5%)、加工痕ある剥片3点(1.4%)、使用痕ある剥片3点(1.4%)、石核7点(3.3%)、敲石2点(0.9%)、剥片159点(75.4%)、碎片30点(14.2%)である。石器の石材は黒色安山岩が162点(76.8%)と多く、黒色頁岩37点(17.5%)、黒曜石7点(3.3%)、碧玉2点(0.9%)、変玄武岩1点(0.5%)、細粒輝石安山岩2点(1.0%)などである。礫類の石材は粗粒輝石安山岩1点(50%)、雲母石英片岩1点(50%)である(第19表参照)。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

ナイフ形石器(第161図、B114・B129・B135・B171、PL.54) 総数4点が出土している。B114は打面が残る石刃素材で、一側縁に加工を施している。石材は黒色頁岩である。B129は打面が残る石刃素材で、一側縁に加工を施している。石材は碧玉である。B135は打面が残る石刃素材で、二側縁に加工を加えている。石材は黒色頁岩である。B171は打面が残る横長剥片素材で、二側縁に加工を加え、いわゆる台形状である。石材は黒曜石である。

彫器(第161図、B184、PL.53) B184は打面が残る横長の剥片が素材で、一端に数回の槌状剥離を施している。石材は黒曜石である。

加工痕ある剥片(第161図、B66・B115・B131、PL.54) 総数3点が出土している。B131は先端部に原石面を残す小形の剥片の一側縁に加工を加えている。石材は黒曜石である。B66は表面に原石面を残す横長の剥片の一側縁の表裏面に加工を加えている。石材は黒色頁岩である。B115は原石面を打面とする横長の剥片で、一縁に加工を僅かに加えている。石材は黒色頁岩である。

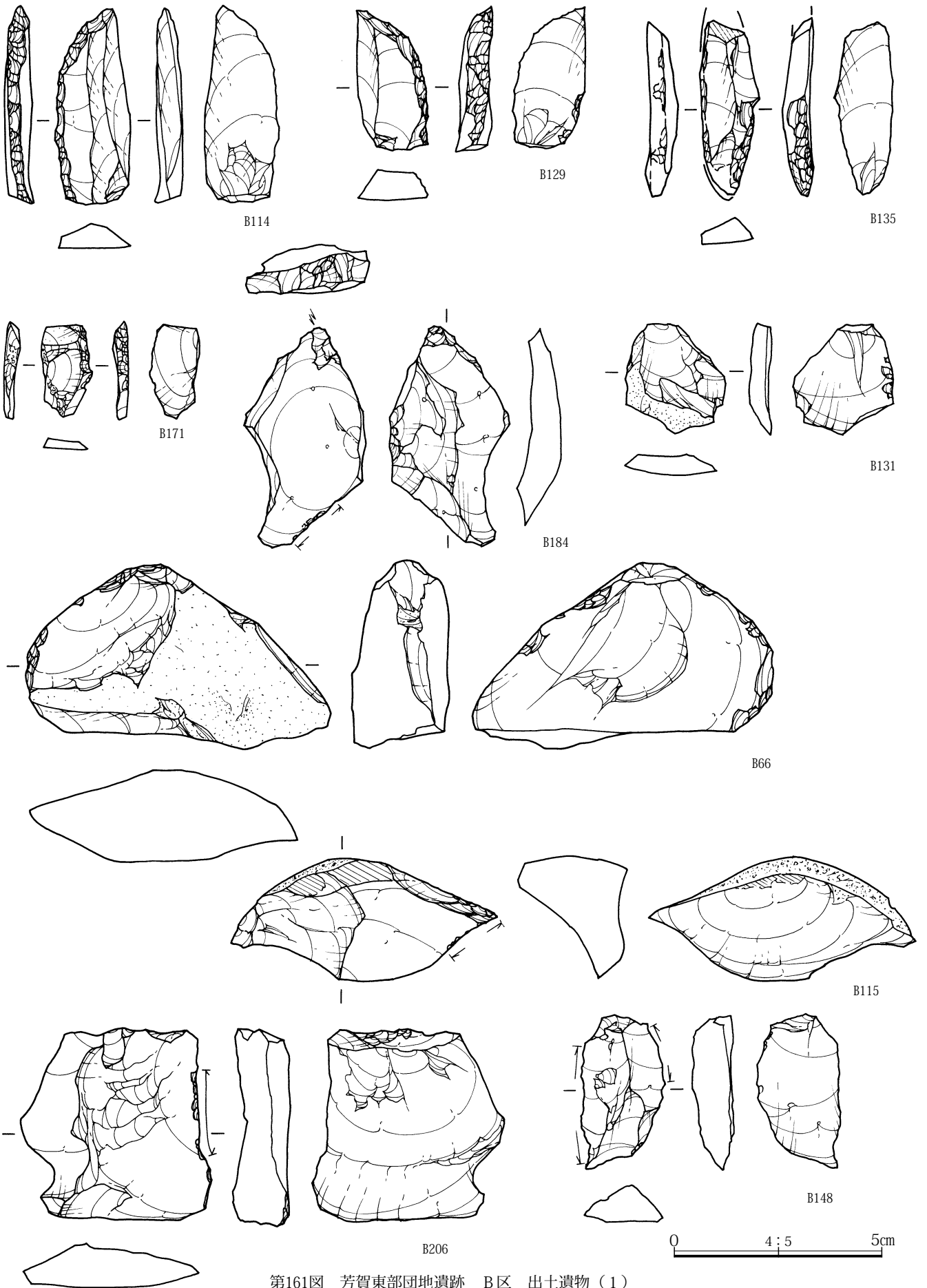
使用痕ある剥片(第161・162図、B116・B148・B206、PL.54) 総数3点が出土している。B206は幅広の剥片で、一側縁に使用痕が認められる。石材は黒色頁岩である。B148は縦長の剥片で、両側縁に使用痕が認められる。石材は黒曜石である。B116は表面の一部に原石面を残す折断された縦長剥片で、一側縁に使用痕が認められる。石材は黒色頁岩である。

石刃(第162図、B2c、PL.54) 1点が出土している。B2cは両側縁がほぼ平行であり、石材は黒色頁岩である。

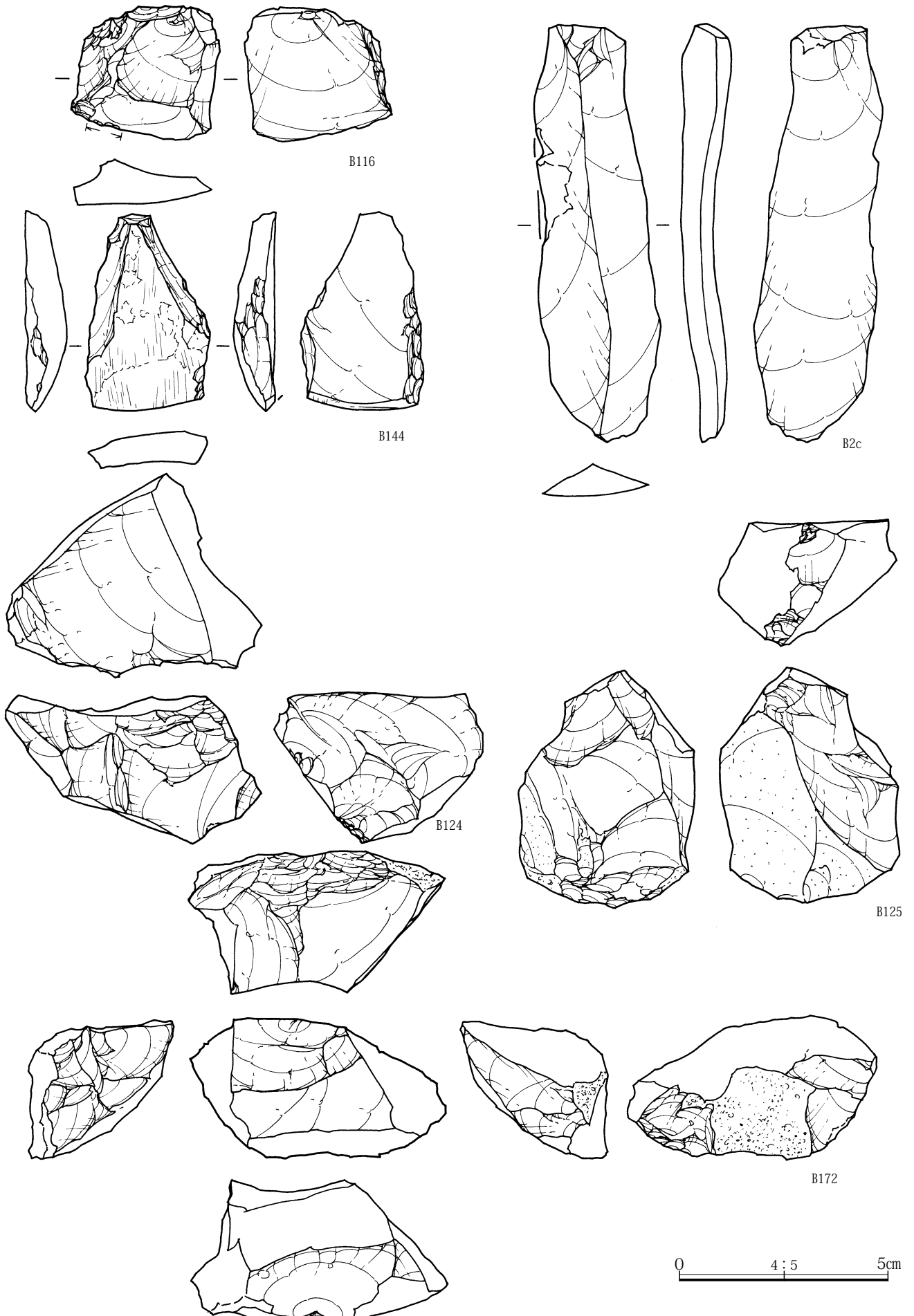
局部磨製石斧(第162図、B144、PL.54) 1点出土している。頭部や側縁の様子、それにサイズなどから、破損後の再生品と考えられる。石材は変玄武岩である。

石核(第162・163図、B65・B110・B124・B125・B140・B172・B177、PL.55) 総数7点が出土している。B124は厚手の板状の剥片の分割面や剥離面に打面を転位させて剥片剥離を繰り返す。石材は黒色頁岩である。B125は厚手の剥片の分割面や剥離面に打面を転位させて剥片剥離を繰り返す。石材は黒色頁岩である。B172は原石面を打面とし、横長の剥片を数枚剥離している。石材は黒色安山岩である。B65+B110は原石面が残る折断した剥片の両端から1、2枚の剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。B140は折断した剥片の一端から1、2枚の剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。B177は分割礫の分割面や剥離面に打面を転位させて剥片剥離を繰り返す。石材は黒色頁岩である。

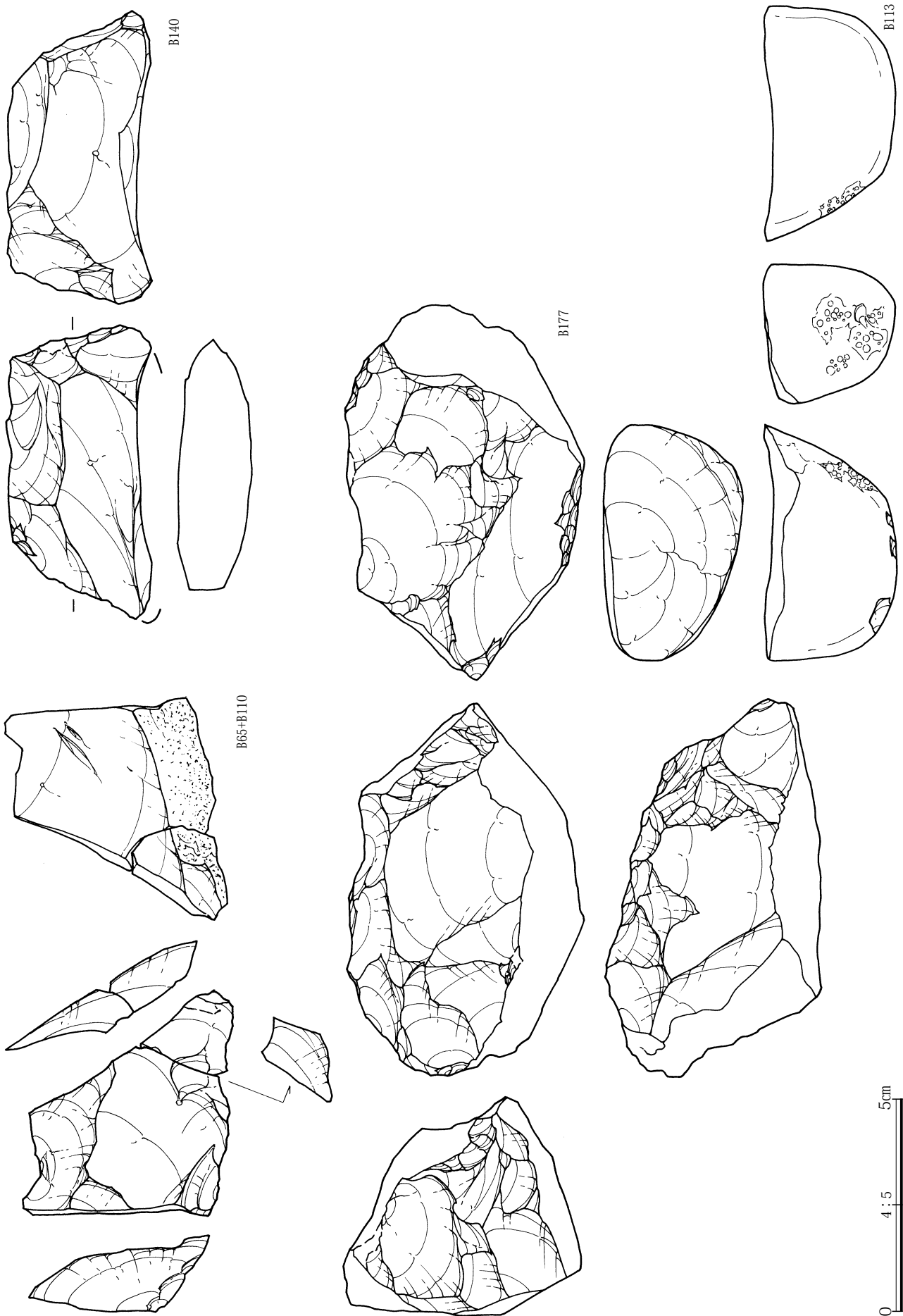
敲石(第163図、B113・B123、PL.55) 2点出土している。欠損により敲打痕が残る一端部分(B113)と中間部分(B123非実測)しか残っていないが、やや扁平な楕円礫と推定される。石材は細粒輝石安山岩である。



第161図 芳賀東部団地遺跡 B区 出土遺物(1)



第162図 芳賀東部団地遺跡 B区 出土遺物(2)



第163図 芳賀東部団地遺跡 B区 出土遺物(3)

第19表 芳賀東部団地遺跡 第2文化層 B区組成表

| | ナイフ | 彫器 | 加工痕 | 使用痕 | 石刃 | 局部磨製石斧 | 石核 | 敲石 | 剥片 | 碎片 | 礫 | 礫類 | 総計 |
|---------|-----|----|-----|-----|----|--------|----|----|-----|----|---|----|-----|
| 黒色安山岩 | | | | | | | 4 | | 128 | 30 | | | 162 |
| 黒色頁岩 | 2 | | 2 | 2 | 1 | | 3 | | 27 | | | | 37 |
| 黒曜石 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | 3 | | | | 7 |
| 碧玉 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| 変玄武岩 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 細粒輝石安山岩 | | | | | | | | 2 | | | | | 2 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 雲母石英片岩 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 総計 | 4 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 7 | 2 | 159 | 30 | 1 | 1 | 213 |

(4) 母岩別資料・接合資料 (第164～167図、PL.56・57)

黒色安山岩は164点があり、うち接合資料は9例62点がある。

黒色安山岩 1 色調は灰6/1 (HuE7.5Y)、10～15cmの楕円礫である。原石面は皺が顕著である。

黒色安山岩 1-① (第164・165図、PL.56) 剥片31点の接合資料。礫を半分に分割後、それぞれ15～10cmの楕円礫を素材として、剥片剥離を繰り返し、さらに分割と折断が顕著である。

B33→B44→B9→B1+B8→B76→B74→B75→B18→B79→B91→B86→B11→B47→B41+B204→B98+B100+B202→B61→B14→B67→B20→B54→B78→B109→B23→B46→B43→B6+B84

黒色安山岩 1-② (第165図、PL.56) 剥片4点の接合資料である。B73→B70→B96+B198

黒色安山岩 1-③ 剥片4点の接合資料である。B60+B80→B10→B5 非実測

黒色安山岩 1-④ 剥片2点の接合資料である。B31+B185 非実測

黒色安山岩 1 非接合資料として、剥片10点がある。B7、B29、B49、B53、B92、B104、B105、B107、B111、B165

黒色安山岩 2 色調は灰5/1 (HuE7.5Y)、原石面は爪条痕が顕著だが、皺がやや少なめである。接合資料3例13点、

黒色安山岩 2-① (第166図、PL.56) 石核2点と剥片7点の接合資料である。B62+B196→B17→B110 (石核) →B72+B58→B15→B87→B65 (石核)

黒色安山岩 2-② 剥片2点の接合資料である。B19→B102 非実測

黒色安山岩 2-③ 剥片2点の折断資料である。B180+B181 非実測

黒色安山岩 2 非接合資料として、剥片11点がある。B3、B40、B88、B93、B154、B155、B157、B159、B162、B183、B191

黒色安山岩 3 風化が激しく、リング・フィッシャーなど剥離面が見づらく、自然面もトロトロしている。

黒色安山岩 3-① (第166図、PL.56) 石核1点と剥片5点の接合資料である。

B142→B143→B168→B173→B169→B172 (石核)

黒色安山岩 3-② 剥片2点の接合資料である。B152→B153 非実測

黒色安山岩 3 (第166図、PL.56) 同じ母岩別資料としての非接合資料は、剥片17点がある。B2a、B13、B26、B37、B50、B69、B95、B97、B122、B138、B139、B145、B146、B149、B170、B186、B205

黒色安山岩 4 (第166図、PL.56) 色調は灰オリーブ6/2 (HuE7.5Y)。剥片2点の非接合資料がある。B150、B179

黒色安山岩 5 (第163図、PL.55) 色調は灰5/1 (HuE10Y) でかなり黒い。自然面はやや平滑で、爪条痕は少ない。非接合資料の敲石2点がある。B113、B123

黒色安山岩単独母岩 (第163図、PL.55) としての非接合資料には石核1点、剥片1点がある。B3a、B140 (石核)

黒色安山岩には分類不能な資料として剥片28点、碎片30点の計58点がある。

黒色頁岩は37点がある。このうち、接合資料は6例18点がある。

黒色頁岩 1-① (第167図、PL.57) 石核2点と剥片2点の接合資料である。B118→B121→B125 (石核) →B124 (石核)

黒色頁岩 2-① (第167図、PL.57) 加工痕ある剥片1点、使用痕ある剥片1点、剥片4点からなるの接合資料である。B119→B130+B117+B115 (加工痕ある剥片) →B116 (使用痕ある剥片) →187

黒色頁岩 2-② 剥片2点の接合資料である。B120+B128 非実測

黒色頁岩2 同じ母岩別資料としての非接合資料に剥片1点がある。B126

黒色頁岩3-① (第167図、PL.57) 剥片の折断資料である。B25+B51

黒色頁岩3-② 剥片の折断資料である。B87+B57 非実測

黒色頁岩3-③ 剥片の折断資料である。B132+B133 非実測

黒色頁岩3 同じ母岩別資料の非接合資料には、加工痕ある剥片1点、剥片6点の計7点がある。B2、B30、B56、B63、B66 (加工痕ある剥片)、B112、B134

黒色頁岩単独母岩 (第161～163・167、PL.54・55・57) の非接合資料として、ナイフ形石器2点、使用痕ある剥片1点、石刃1点、石核1点、剥片3点の計8点がある。B1c (剥片)、B2c (石刃)、B114 (ナイフ形石器)、B135 (ナイフ形石器)、B161 (剥片)、B175 (剥片)、B177 (石核)、B206 (使用痕ある剥片)

黒色頁岩としての分類不能なものに剥片3点がある。B1a、B137、B167

黒曜石1は透明度が高い。斑状・筋状の模様を含む。剥片2点 (第167図、PL.57) の非接合資料がある。B147、B174
黒曜石単独母岩 (第161図、PL.54) として5点の剥片資料がある。B1b、B131、B148、B171、B184

碧玉1 (第161・167、PL.54・57) ナイフ形石器1点と剥片1点がある。B127、B129 (ナイフ形石器)

(5) 剥片剥離技術

他の同時期の遺跡と同様に、主に裏面に原石面を残す分割礫を素材とし、表面の周縁から中心に向かって連続して、縦長、あるいは横長や不定形な剥片の剥離をする技術が中心であり、主要な石材もやはり黒色安山岩である。これは群馬Ⅰ期からⅡ期にかけての特徴的な剥片剥離技術であり、出土層位や石器組成などからみて群馬Ⅰ期に相当すると考えられる。

(6) 分布状況 (第168・221図)

長軸約36m、短軸約24mの範囲に楕円形に分布しており、時計回りに1号ブロックから6号ブロックまで6ヶ所の石器ブロックに分離した。その中で1号ブロックと4号ブロックと5号ブロックは集中が密だが、他の石器ブロックは点数も少なく、分布密度も疎である。その中ではやはり1号ブロックと5号ブロックが質・量ともに秀でているために、中心的な場の位置付けになると考えられる。

(7) 石器の分布 (第169図)

主要な石器のうち、ナイフ形石器は南側の5号ブロックと6号ブロックに分布する一方、台形状をしたナイフ形石器や局部磨製石斧の刃部破片が東側の3号ブロックに分布した。彫器は1号ブロック、石核は1号ブロックと5号ブロックに、石器製作に関わる敲石は5号ブロックに分布することから、1号ブロックと5号ブロックは石器製作と居住、その他は居住に関係する場と考えられる。

全体に出土点数が少なく粗密があるが、石器組成で小形の台形状のナイフ形石器や局部磨製石斧の存在からも、中央部が空白部分となる、いわゆる「環状ブロック群」の範疇に含めたいと考える。

(8) 石材の分布 (第170図)

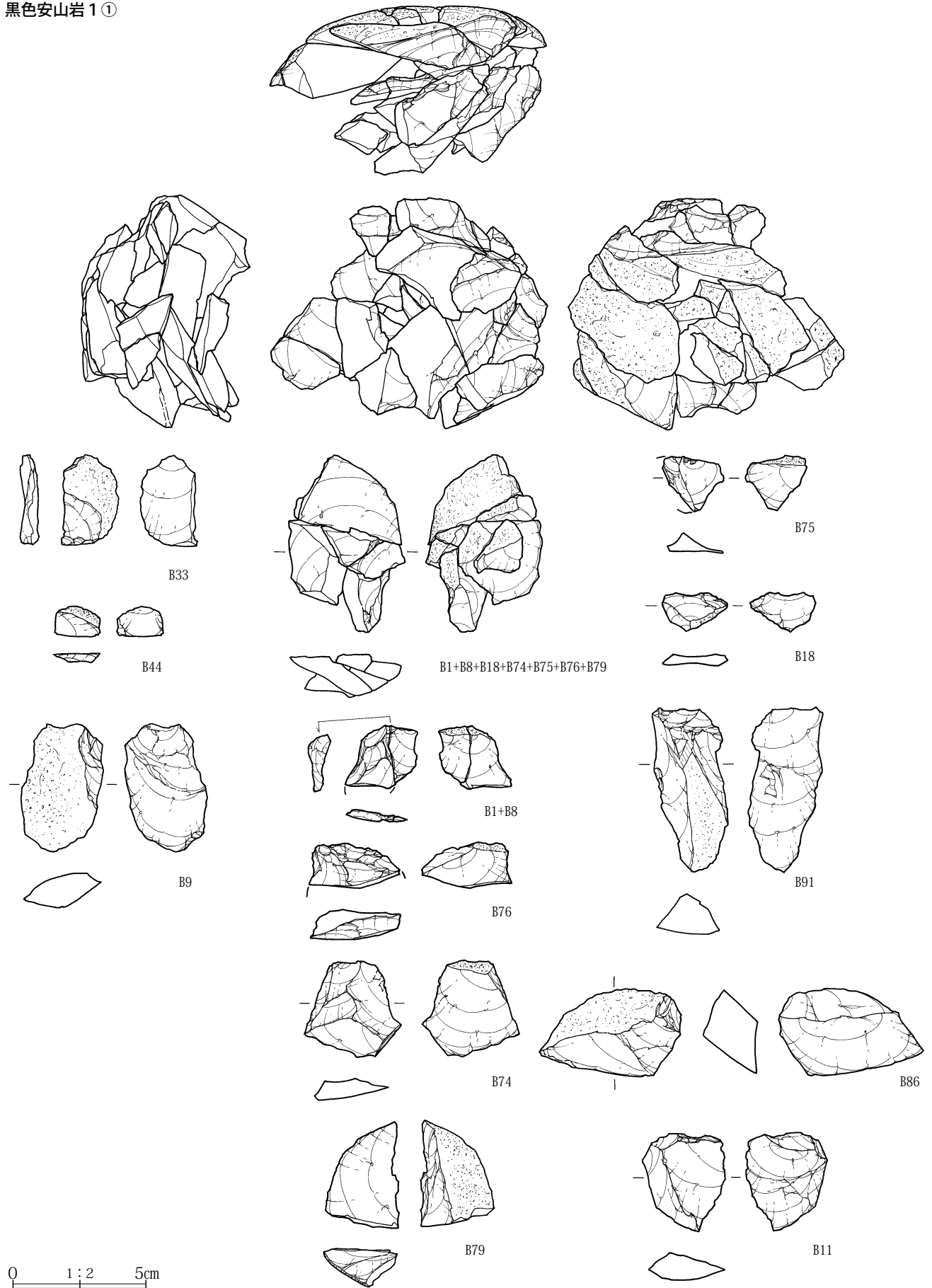
1～4号ブロックは黒色安山岩が主体であるが、5号ブロックと6号ブロックは黒色頁岩が主体である。特に、4号ブロックは黒色安山岩のみ、6号ブロックは黒色頁岩のみと極端である。

(9) 接合資料の分布 (第171図)

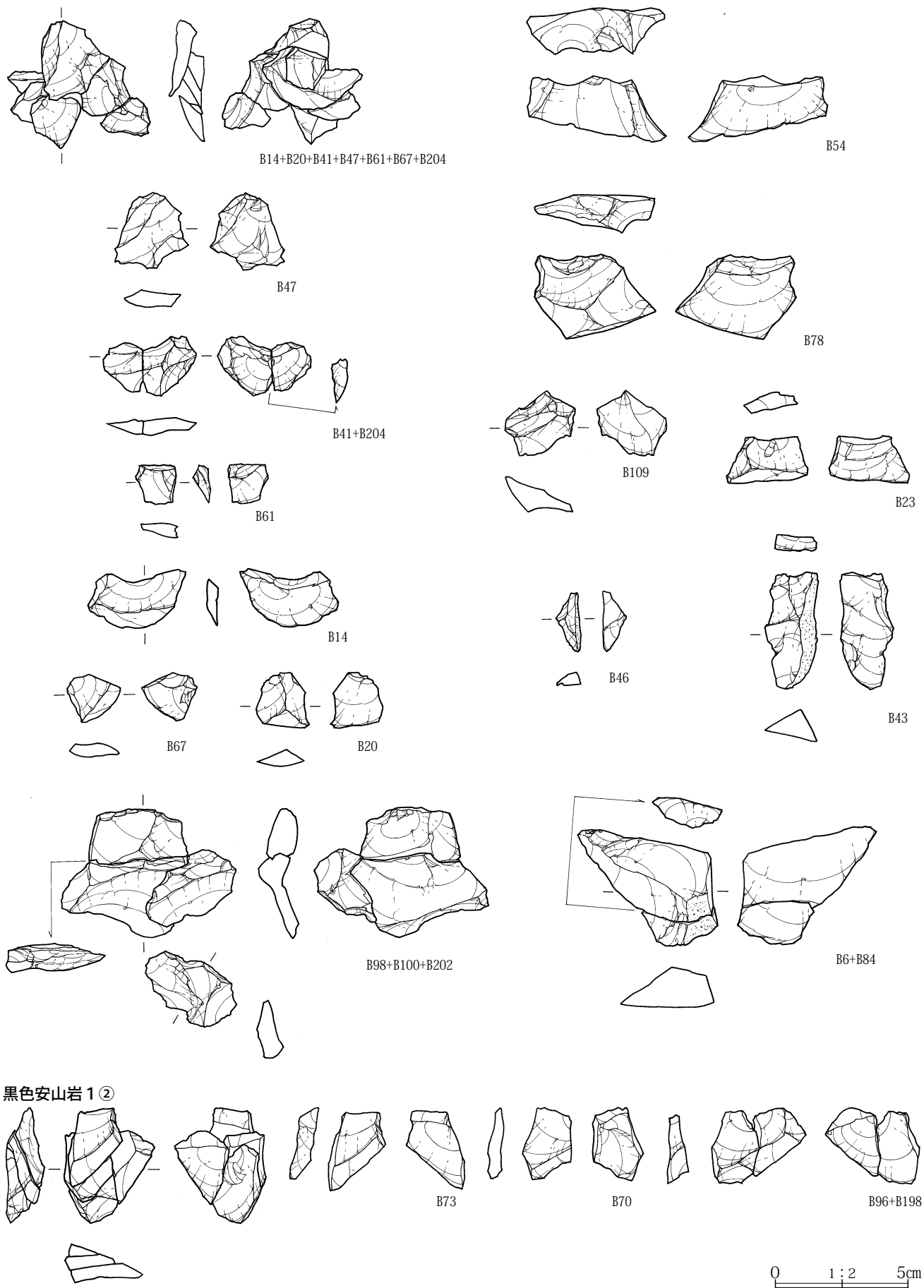
1号ブロック内が9例と最も多く、次に5号ブロックの3例、3号ブロックの2例、4号ブロックと6号ブロックの各1例の順である。さらに、敲石が5号ブロックに分布することから、石器製作の最終段階は5号ブロックであったと考えられる。そこで、1号ブロックとの間に接合関係が1例だけあることから、黒色安山岩と黒色頁岩の剥片剥離の場であった1号ブロックから5号ブロックへの制作の場の移動があり、5号ブロックでの黒色頁岩のみの剥片剥離が最後となったと考えられないだろうか。

なお、出土層位や石器組成、主要な石器の様子から、群馬Ⅰ期の前半期と考えられる。

黑色安山岩 1①

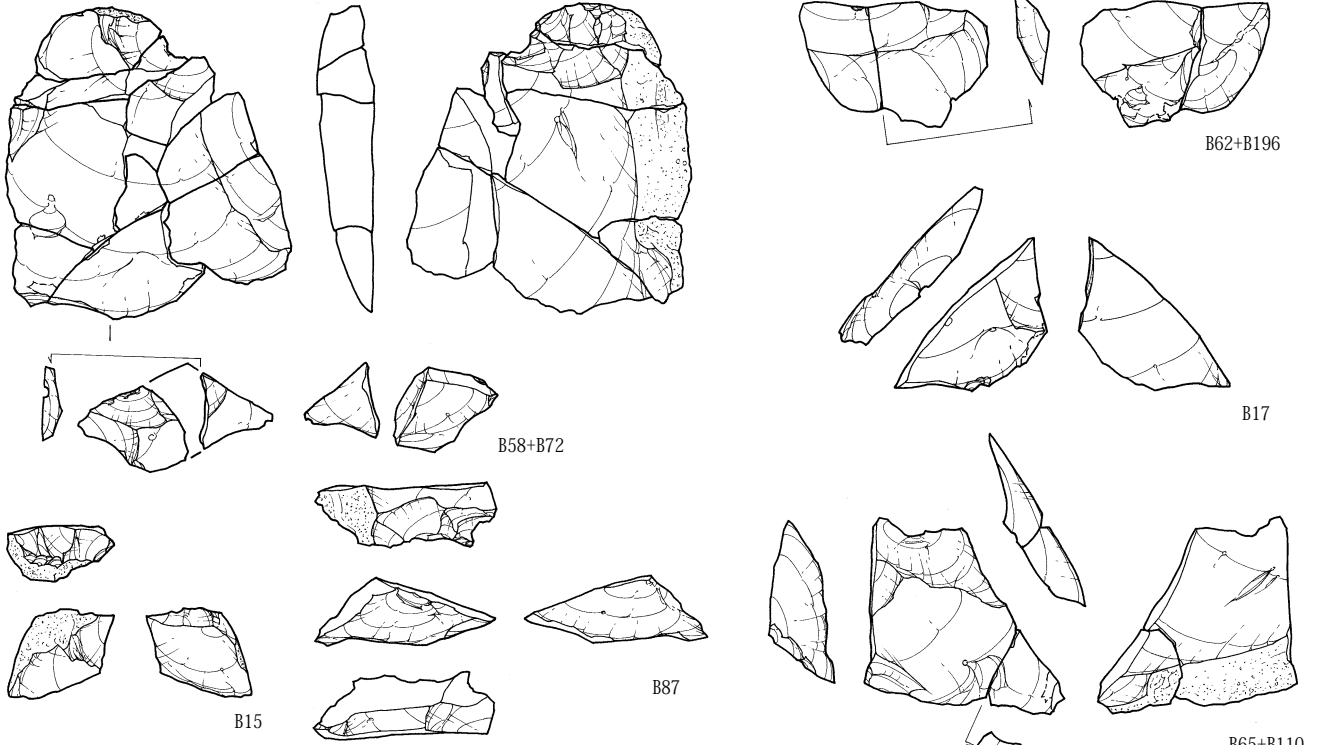


第164図 芳賀東部団地遺跡 B区 母岩別資料・接合資料(1)

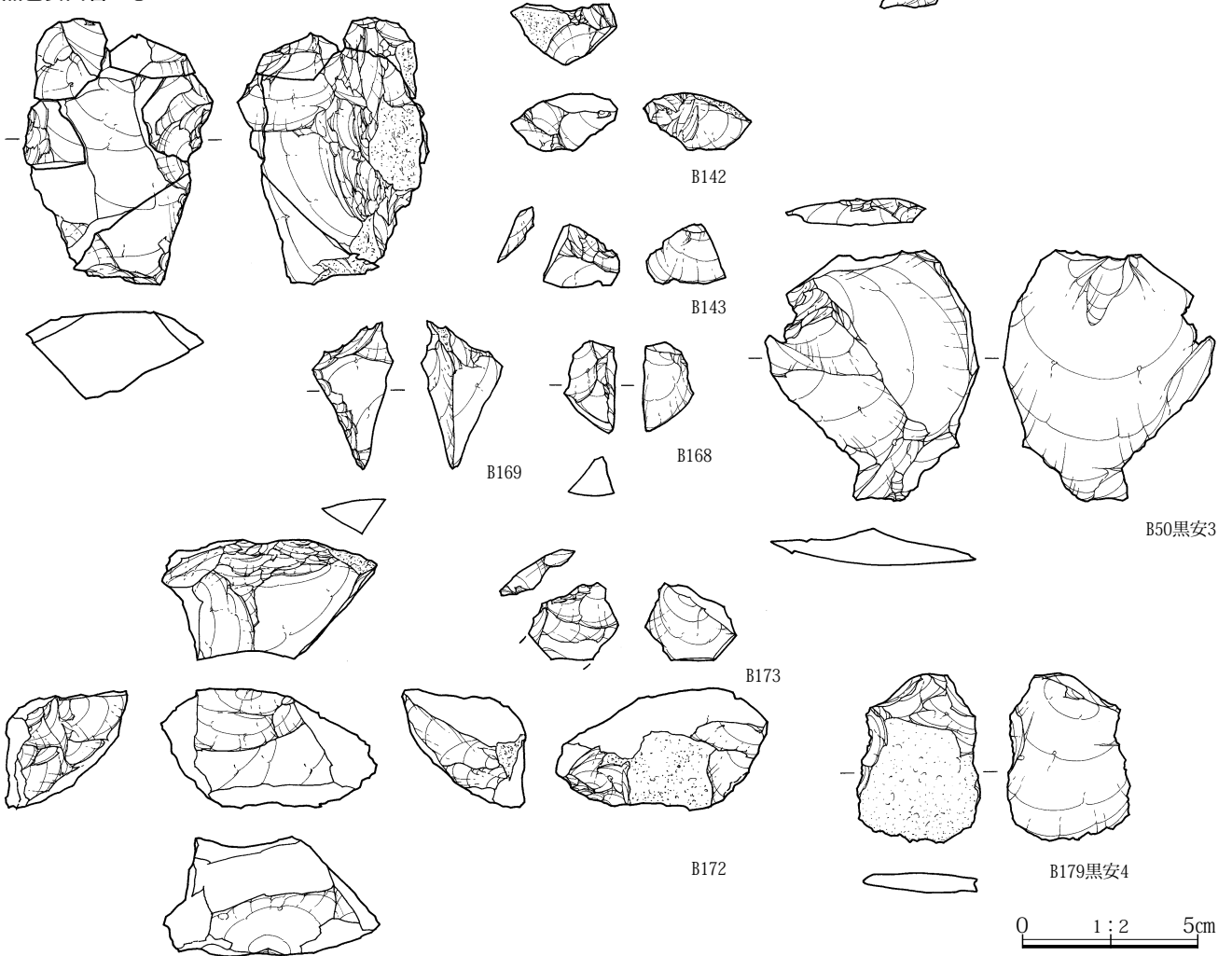


第165図 芳賀東部団地遺跡 B区 母岩別資料・接合資料(2)

黑色安山岩 2①

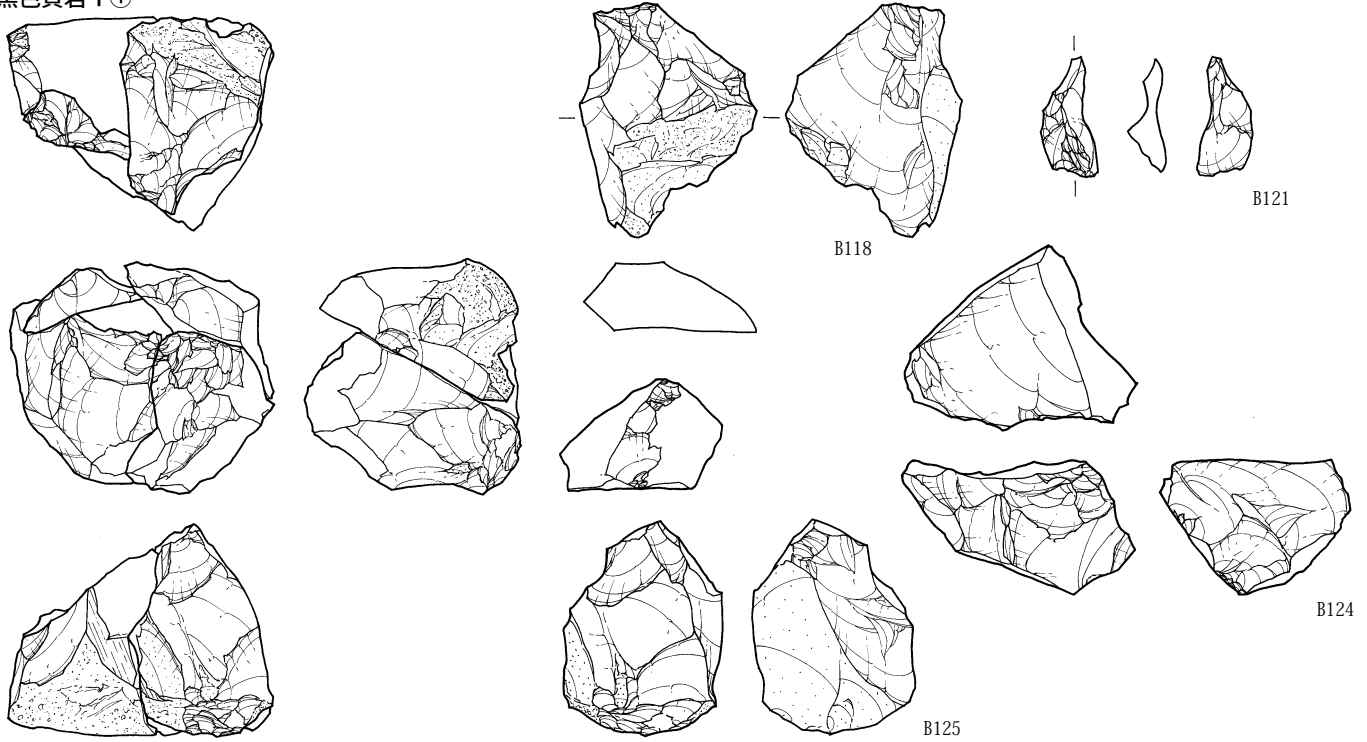


黑色安山岩 3①

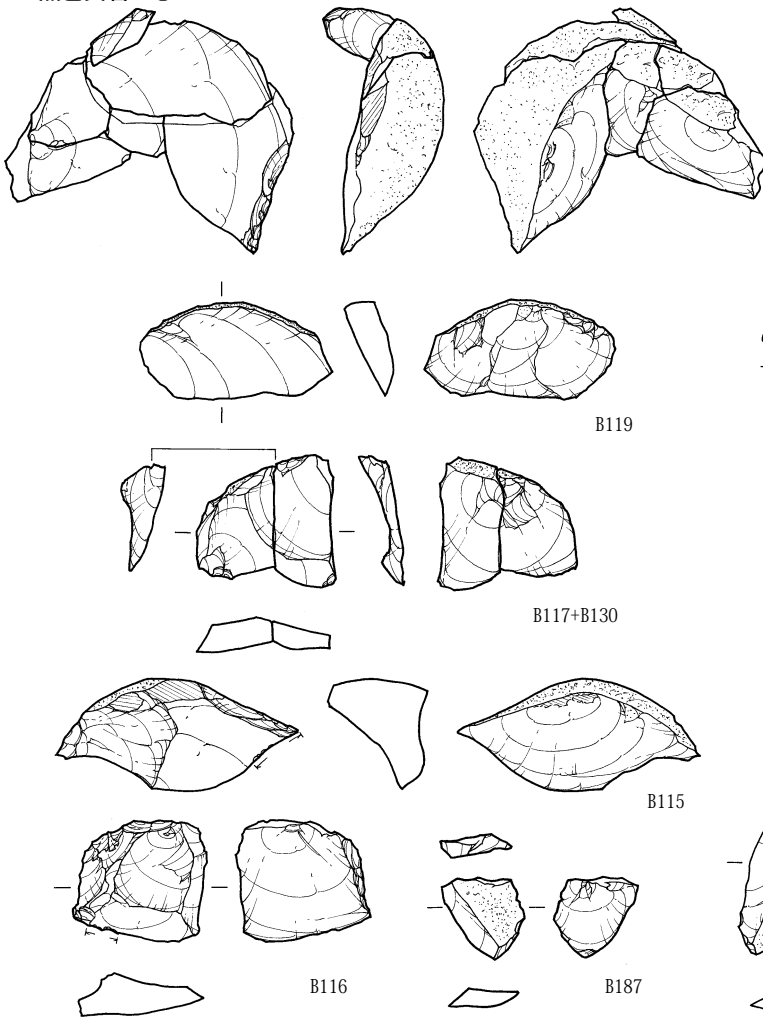


第166図 芳賀東部団地遺跡 B区 母岩別資料・接合資料(3)

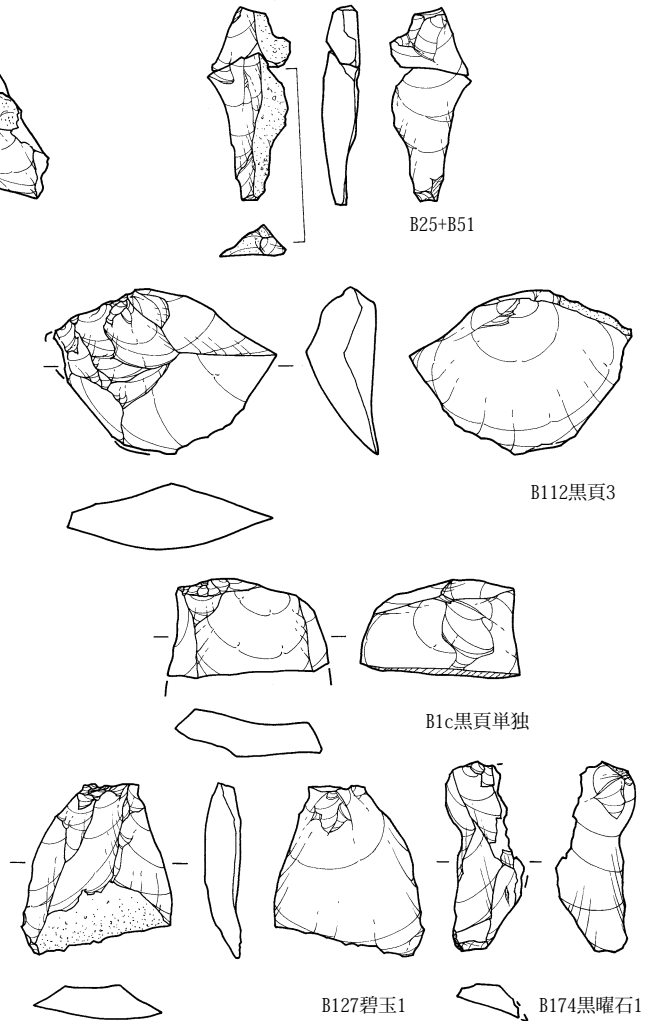
黑色頁岩 1①



黑色頁岩 2①



黑色頁岩 3①



B25+B51

B119

B117+B130

B115

B116

B117

B127碧玉1

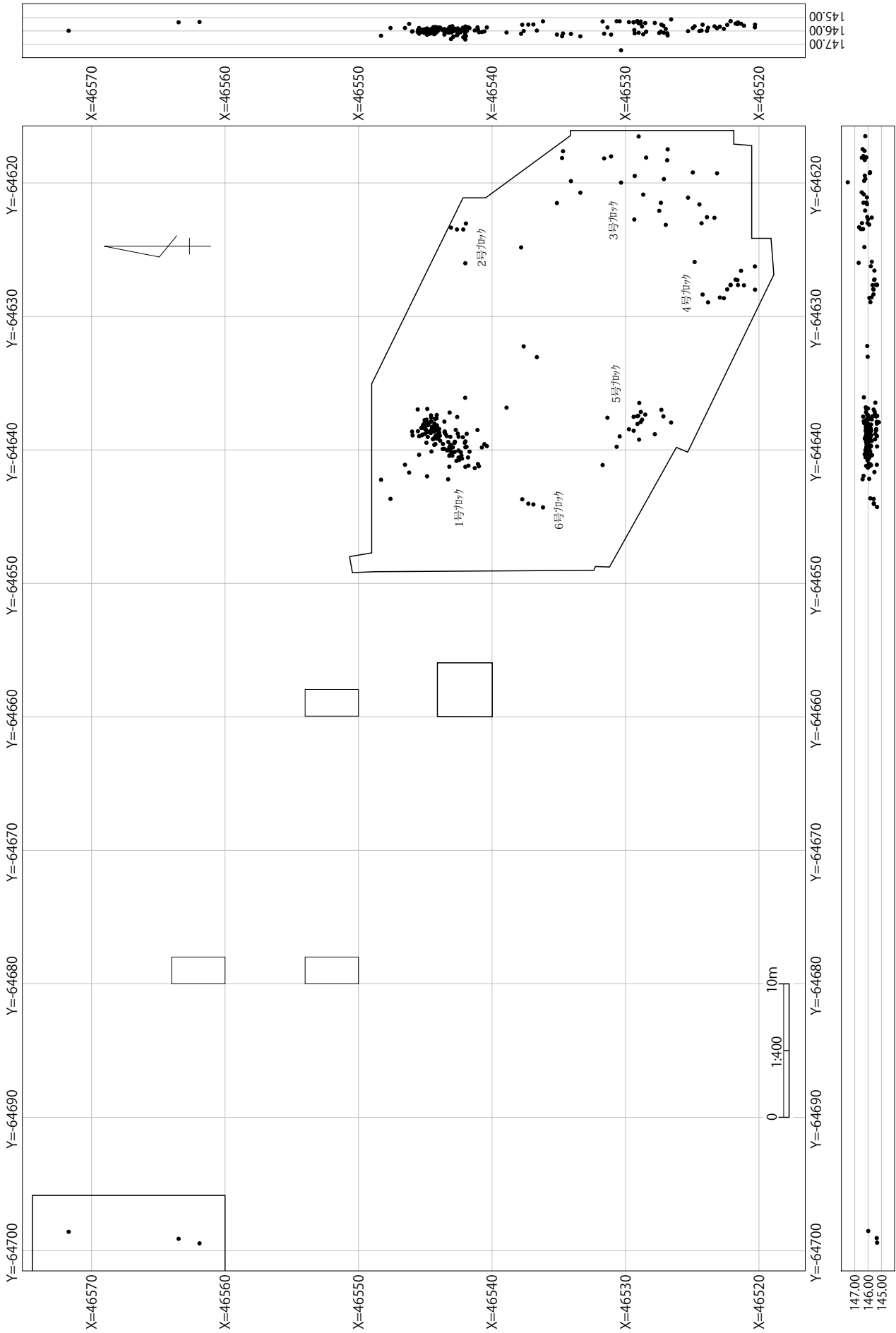
B174黒曜石1

B112黒頁3

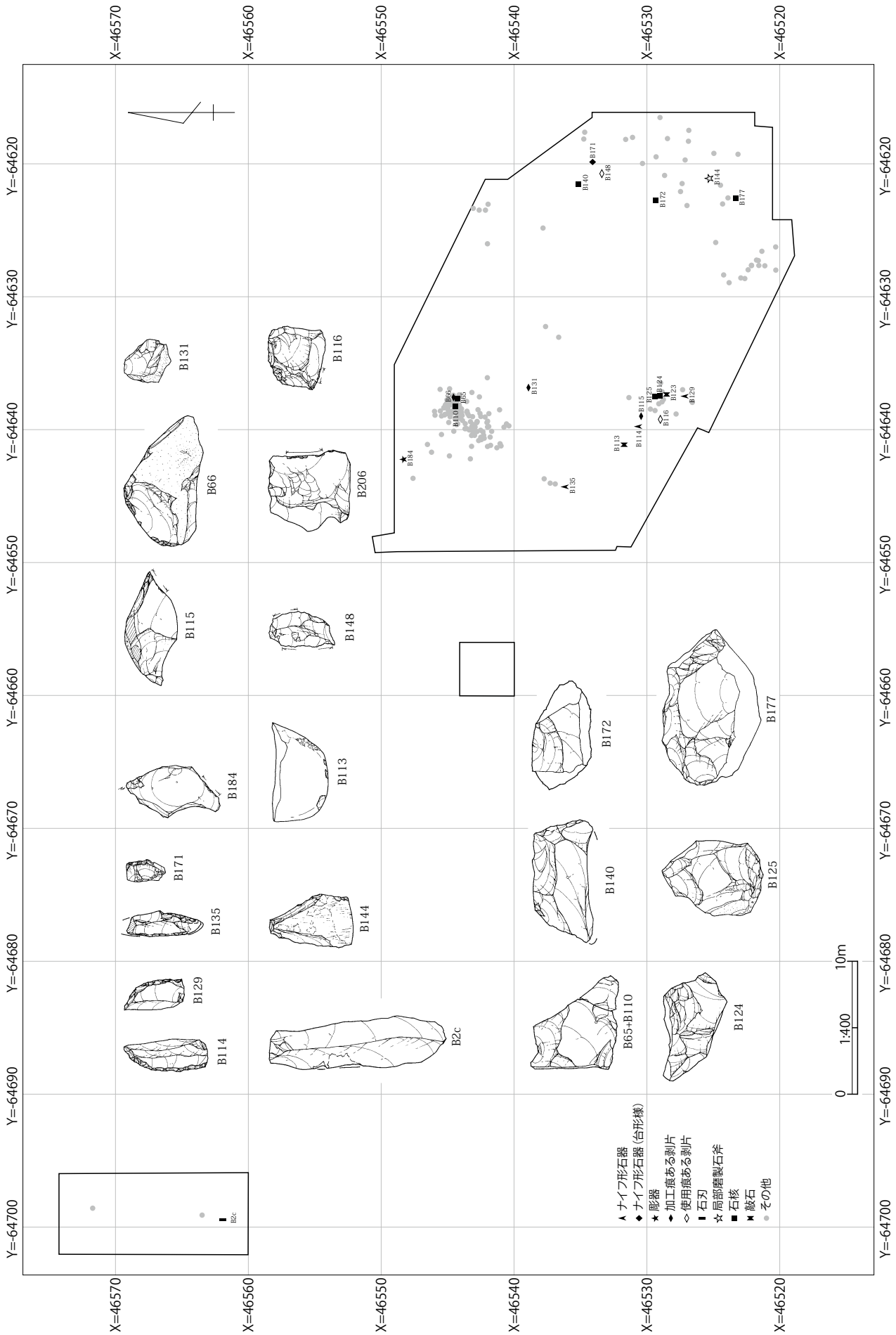
B1c黒頁単独

0 1:2 5cm

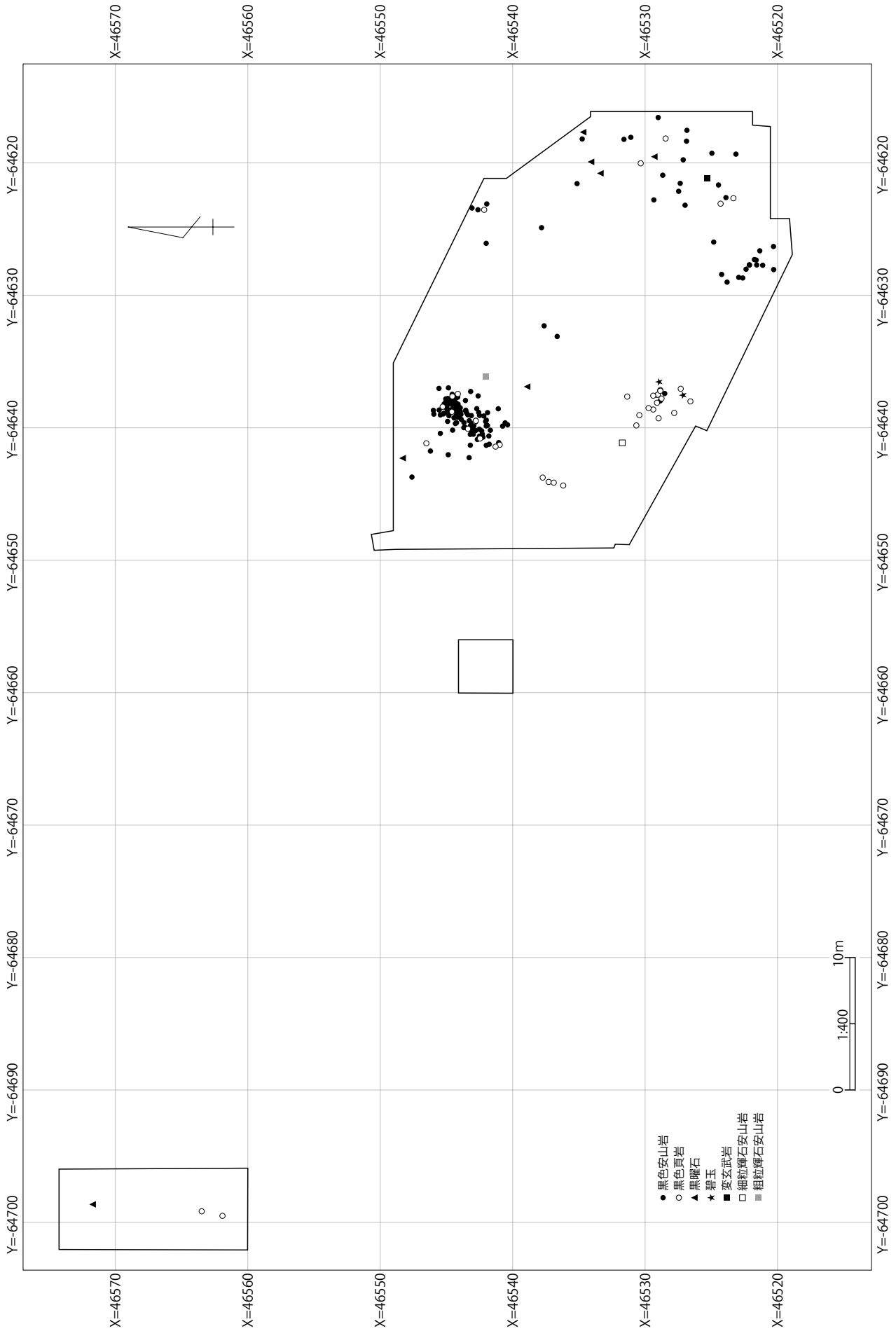
第167図 芳賀東部団地遺跡 B区 母岩別資料・接合資料(4)



第168図 芳賀東部団地遺跡 B区 石器分布・垂直分布状況

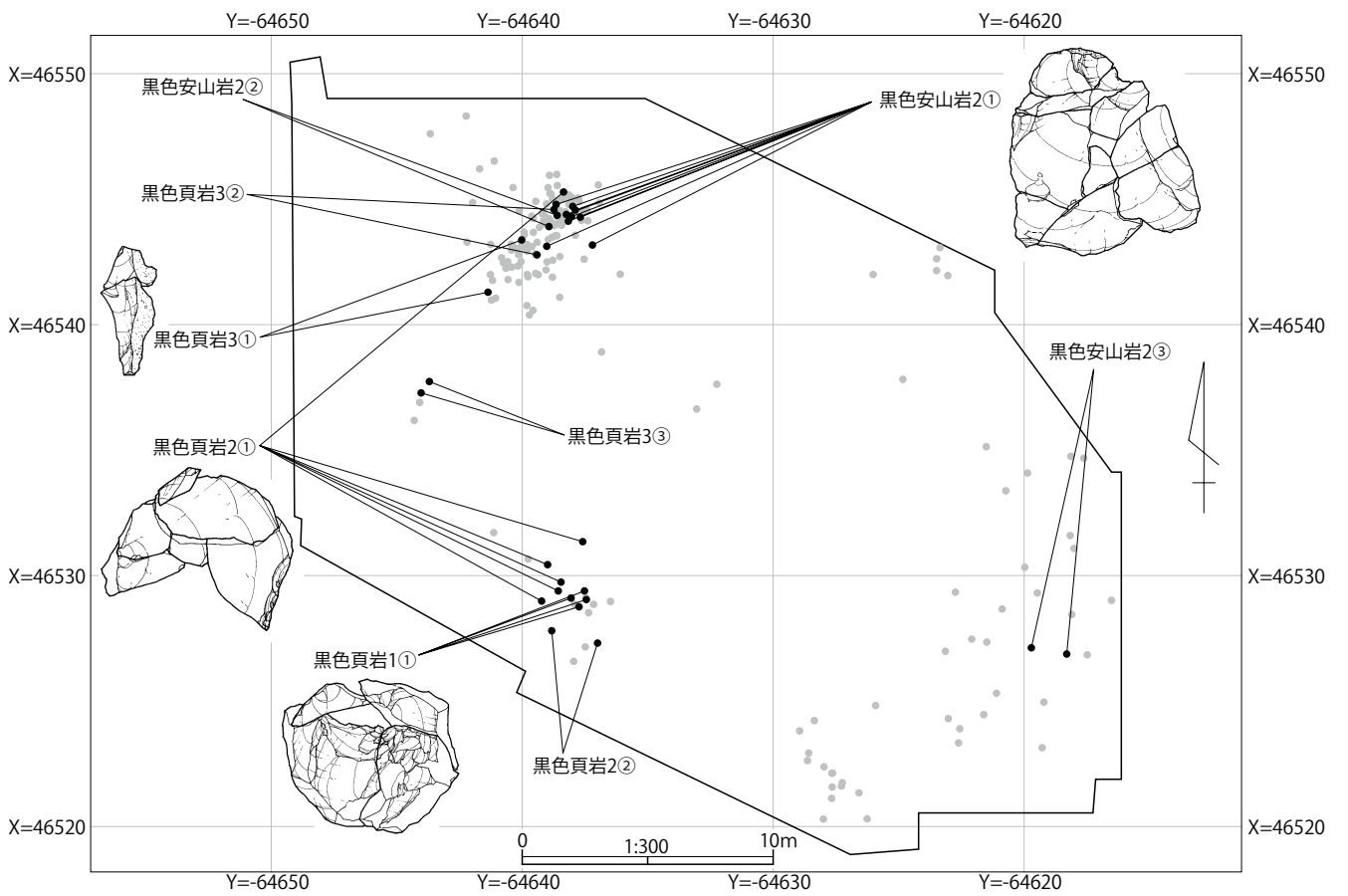
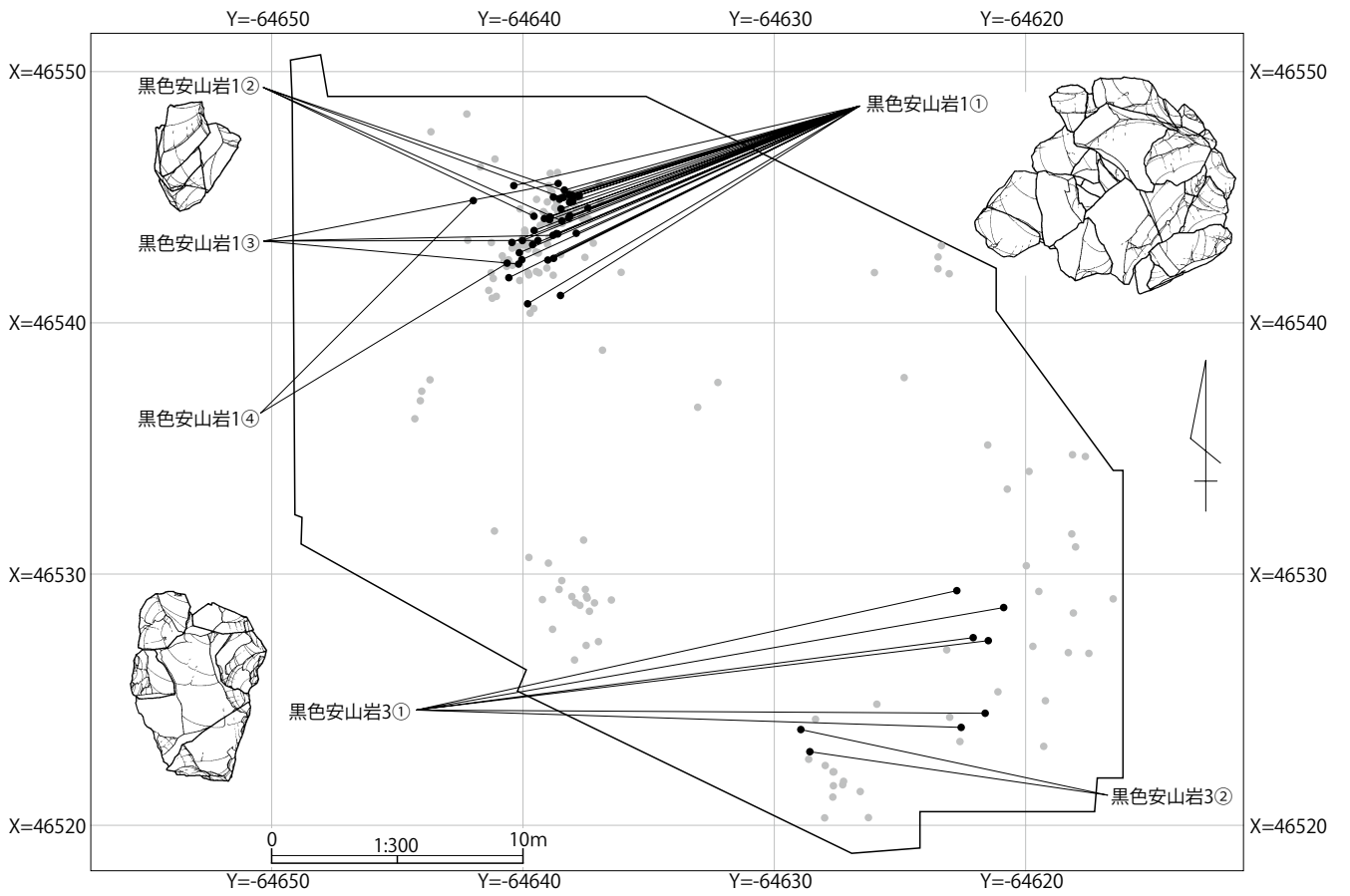


第169図 芳賀東部団地遺跡 B区 器種別分布状況

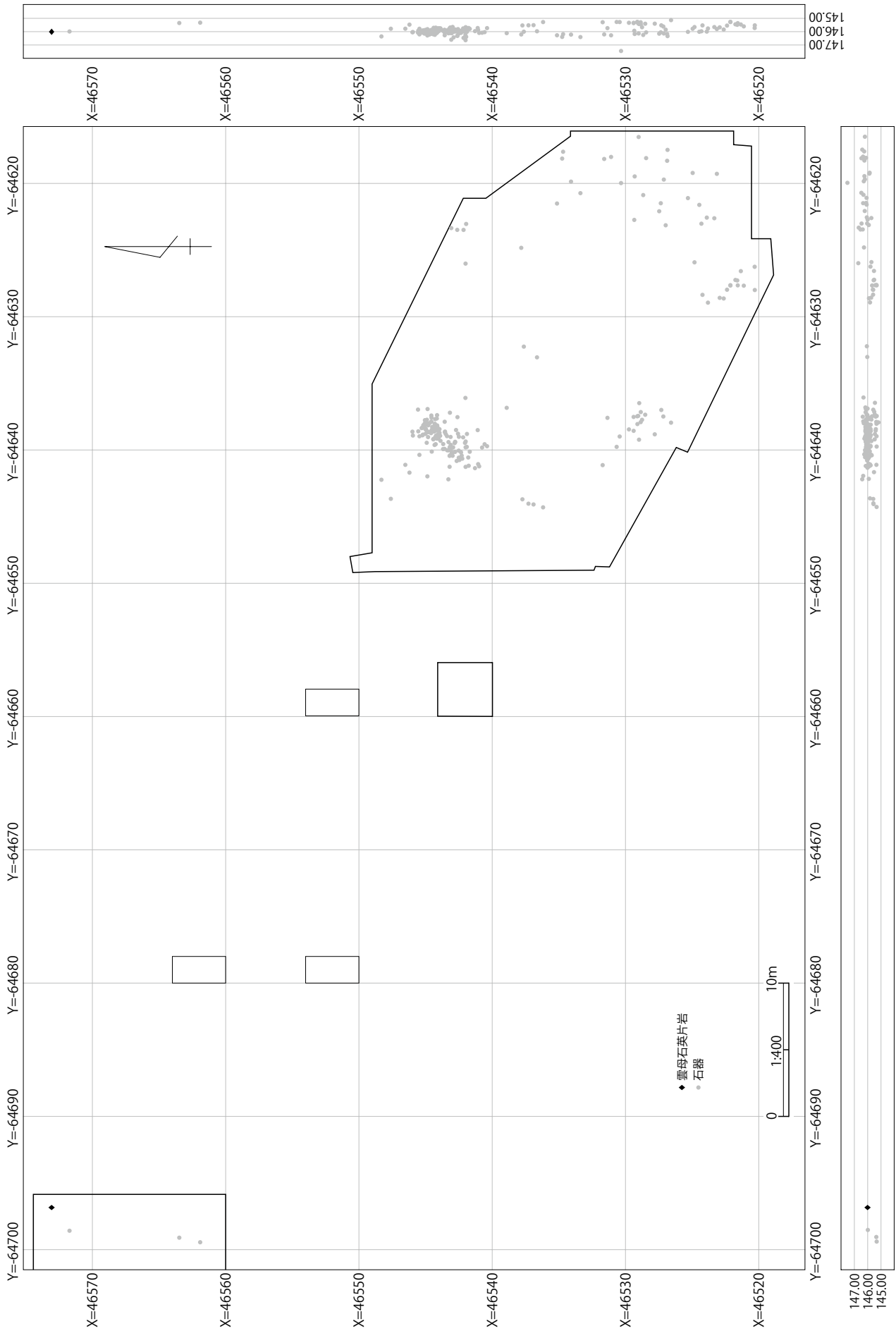


第170図 芳賀東部団地遺跡 B区 石材別分布状況

第3章 各遺跡の遺構・遺物



第171図 芳賀東部団地遺跡 B区 接合資料の分布状況



第172図 芳賀東部団地遺跡 B区 結晶片岩の分布状況

<E区> (第141・193～199図、PL.48-2・3)

(1) 出土層位

基本土層のV層を中心にIV層からVI層にかけて出土した。テフラとの関係では浅間板鼻黄色軽石 (As-YP、約13,000年前) より下位で、浅間大窪沢第1軽石 (As-OP1、約17,000年前) から浅間板鼻褐色軽石 (As-BP、約19,000～24,000年前) までの間である。

(2) 検出遺構

遺構は検出されなかった。

(3) 出土遺物

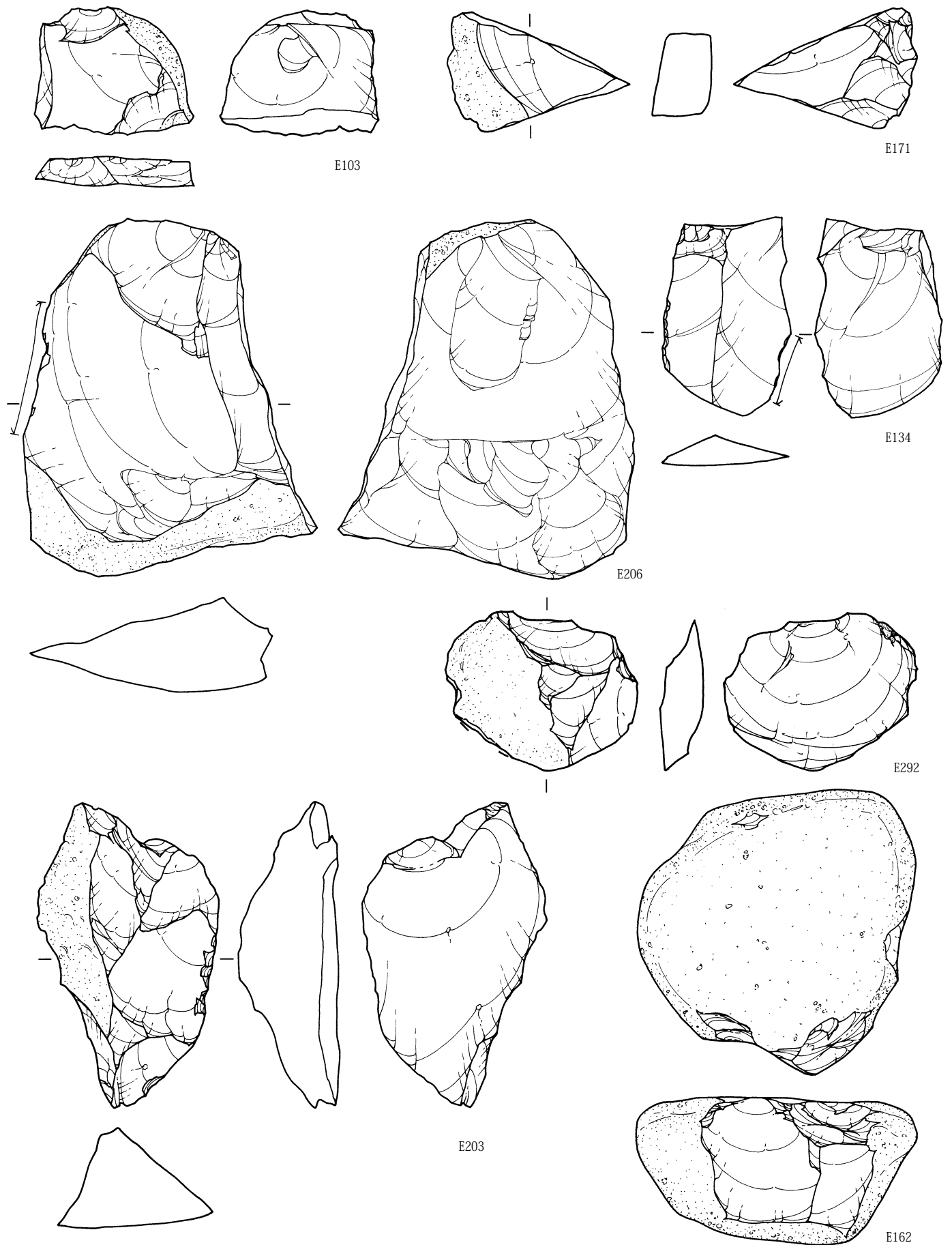
総点数は301点で、内訳は石器28点 (9.3%)、剥片260点 (86.4%)、碎片9点 (3.0%)、礫・礫片4点 (1.3%) である。石器の器種は、加工痕ある剥片5点 (1.7%)、使用痕ある剥片1点 (0.3%)、石核16点 (5.4%)、敲石5点 (1.7%)、台石1点 (0.3%)、剥片260点 (87.5%)、碎片9点 (3.1%) である。石器の石材は黒色安山岩が152点 (51.2%)、黒色頁岩が131点 (44.1%) と多く、珪質頁岩5点 (1.7%)、砂質頁岩3点 (1.0%)、チャート6点 (2.0%) などである。礫・礫片の石材は粗粒輝石安山岩1点 (25.0%)、溶結凝灰岩2点 (50.0%)、凝灰岩1点 (25.0%) などである (第20表参照)。

加工痕ある剥片 (第173図、E103・E134・E171・E203・E292、PL.57・58) 総数5点が出土している。E103は一側縁に原石面を残す折断された縦長の剥片の一側縁の裏面側に僅かに加工が加えられている。石材は黒色頁岩である。E171は一側縁に原石面を残す折断された剥片の一側縁に加工が加えられている。石材は黒色安山岩である。E134は縦長剥片の両側縁に細かな加工が加えられている。石材は黒色頁岩である。E292は表面の一部に原石面が残る横長剥片の一側縁に僅かに加工が加えられている。石材は黒色頁岩である。E203は表面の一部に原石面を残す剥片の一側縁に加工が加えられている。石材は黒色安山岩である。

使用痕ある剥片 (第170図、E206、PL.57) 1点が出土している。E206は原石面を打面とし、先端部に原石面を残す折断された大形の剥片の一側縁全体に細かな使用痕が認められる。石材は黒色頁岩である。

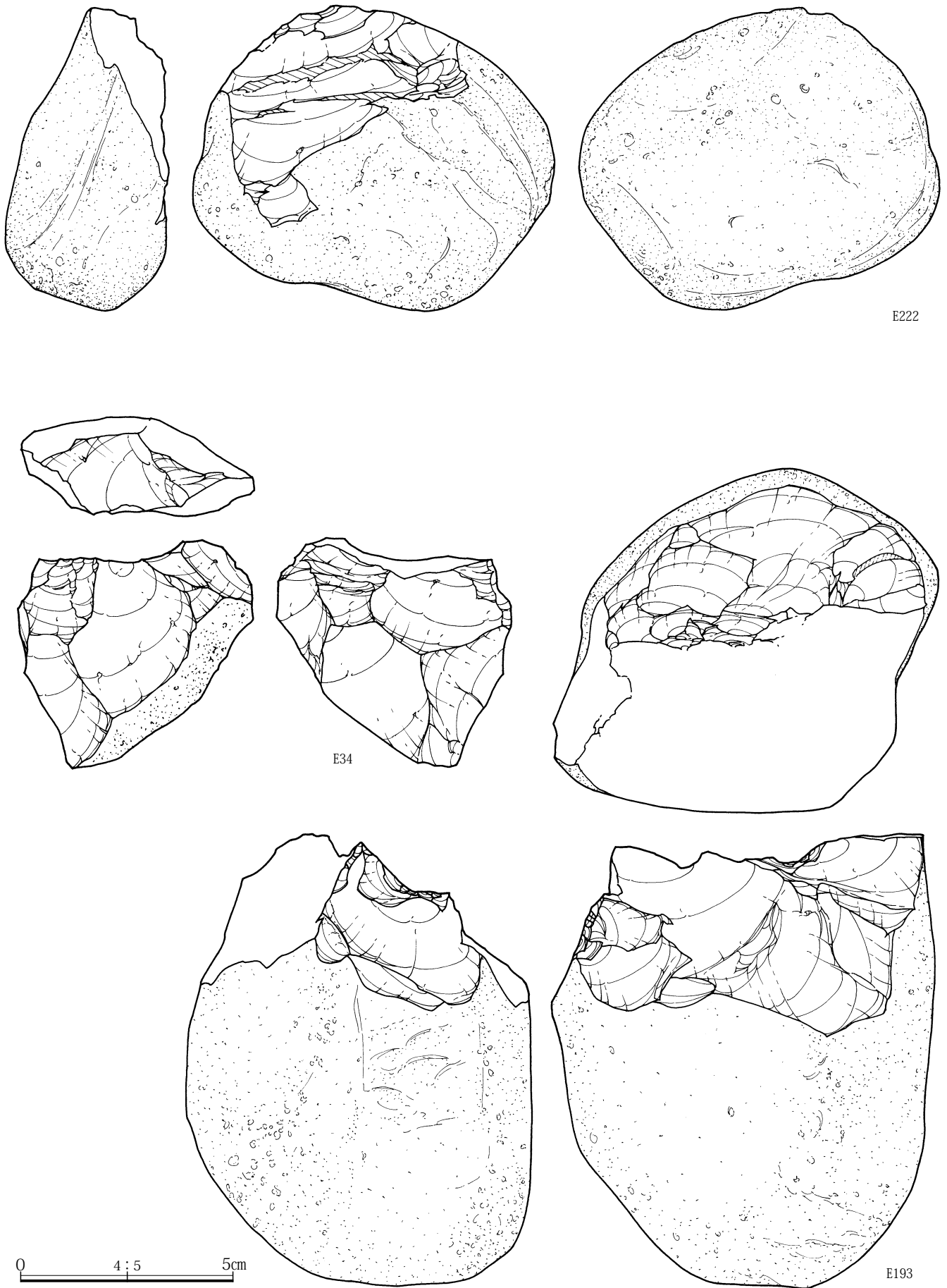
石核 (第173～177図、E34・E36・E50・E71・E89・E132・E157・E158・E162・E170・E193・E194・E222・E245・E247・E302、PL.58～60) 16点が出土している。E162はやや扁平な楕円礫の一端から原石面を打面に2、3枚の剥片を剥離している。石材は黒色頁岩である。E222もやや扁平な楕円礫の一端から原石面を打面に2、3枚の剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。E34は表面の一部に原石面を残す大形の剥片を素材に、同一打面から表裏面で剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。E193は大形の礫の一端を打ち欠いて打面を作り出し、長軸の底部に向かって剥片を剥離し、剥離面に90° 転位して剥離する。石材は黒色頁岩である。E194は原石面が一部に残る分割礫で、原石面や分割面から剥片を剥離する。石材は黒色頁岩である。E157は原石面が裏面の一部に残る分割礫で、周縁から中心に向かって剥片を剥離している。石材はチャートである。E36は原石面が一部に残る分割礫で、打面を何度も転位して剥離している。石材は黒色安山岩である。E245は大形の楕円礫で、一端を打ち欠いて打面を作り出し、縦長の剥片を剥離するが、打面を180° 転位して、もう一端からも剥離している。石材は黒色安山岩である。E71は原石面が一部に残る分割礫で、分割面を打面に剥離している。石材は黒色安山岩である。E50は原石面が裏面に残る分割礫で、周縁から中心に向かって剥片を剥離している。石材は黒色安山岩である。E89は原石面が一部に残る分割礫で、分割面や剥離面を打面に転位している。石材は珪質頁岩である。E158+E170は原石面が側面の一部に残る分割礫で、原石面や分割面を打面に剥離している。石材は黒色安山岩である。E247は原石面が一部に残る分割礫で、分割面や剥離面を打面に何度も転位している。石材は黒色頁岩である。E132は原石面が一部に残る分割礫で、分割面や剥離面を打面に何度も転位している。石材は黒色安山岩である。E302は原石面が底面に残る分割礫で、剥離面を打面に転位している。石材は黒色安山岩である。

台石 1点が出土している (E55、非実測)。断面三角の垂角礫で、平坦な面を上にしたと考えられる。石材は黒色頁岩である。

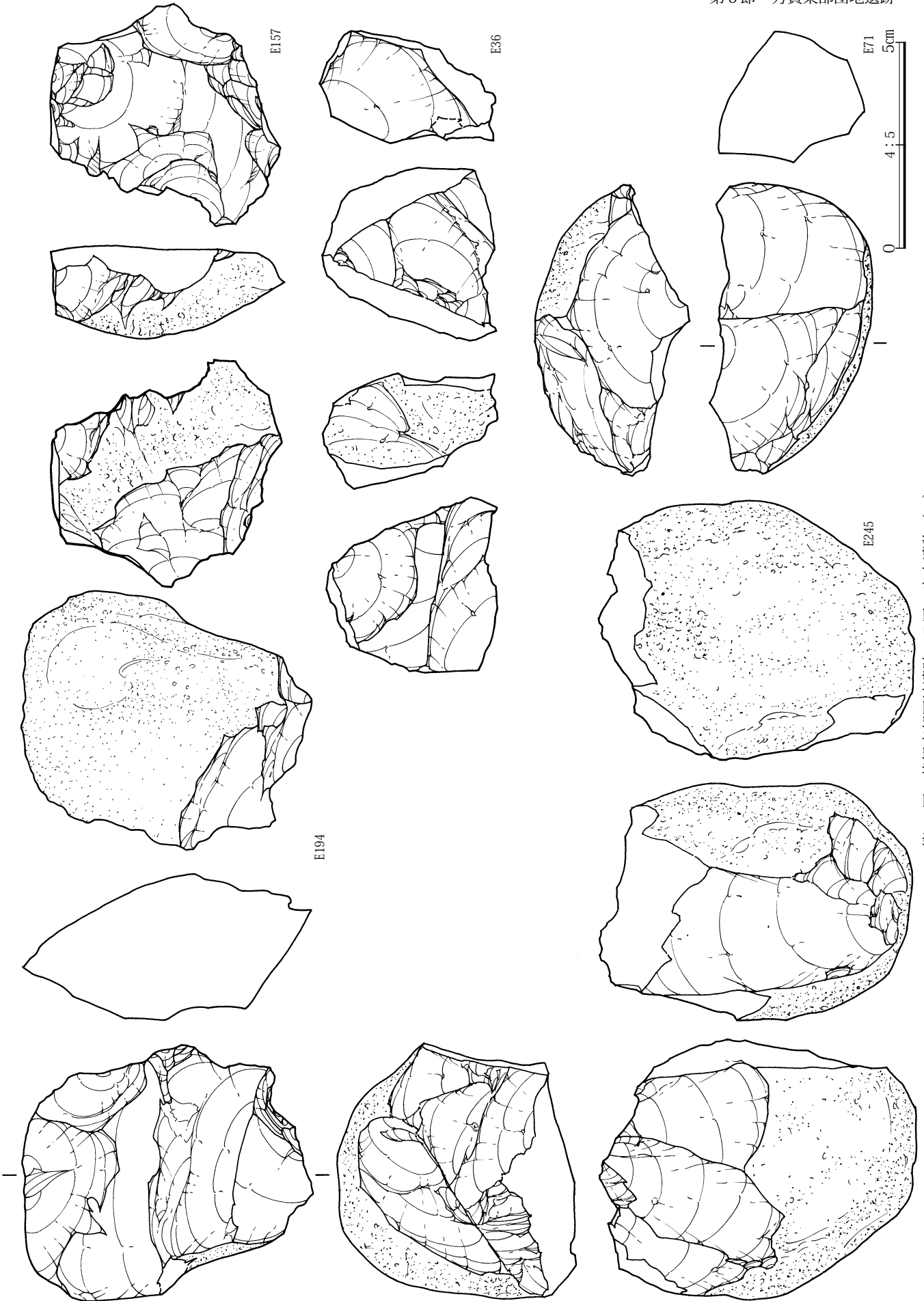


0 4:5 5cm

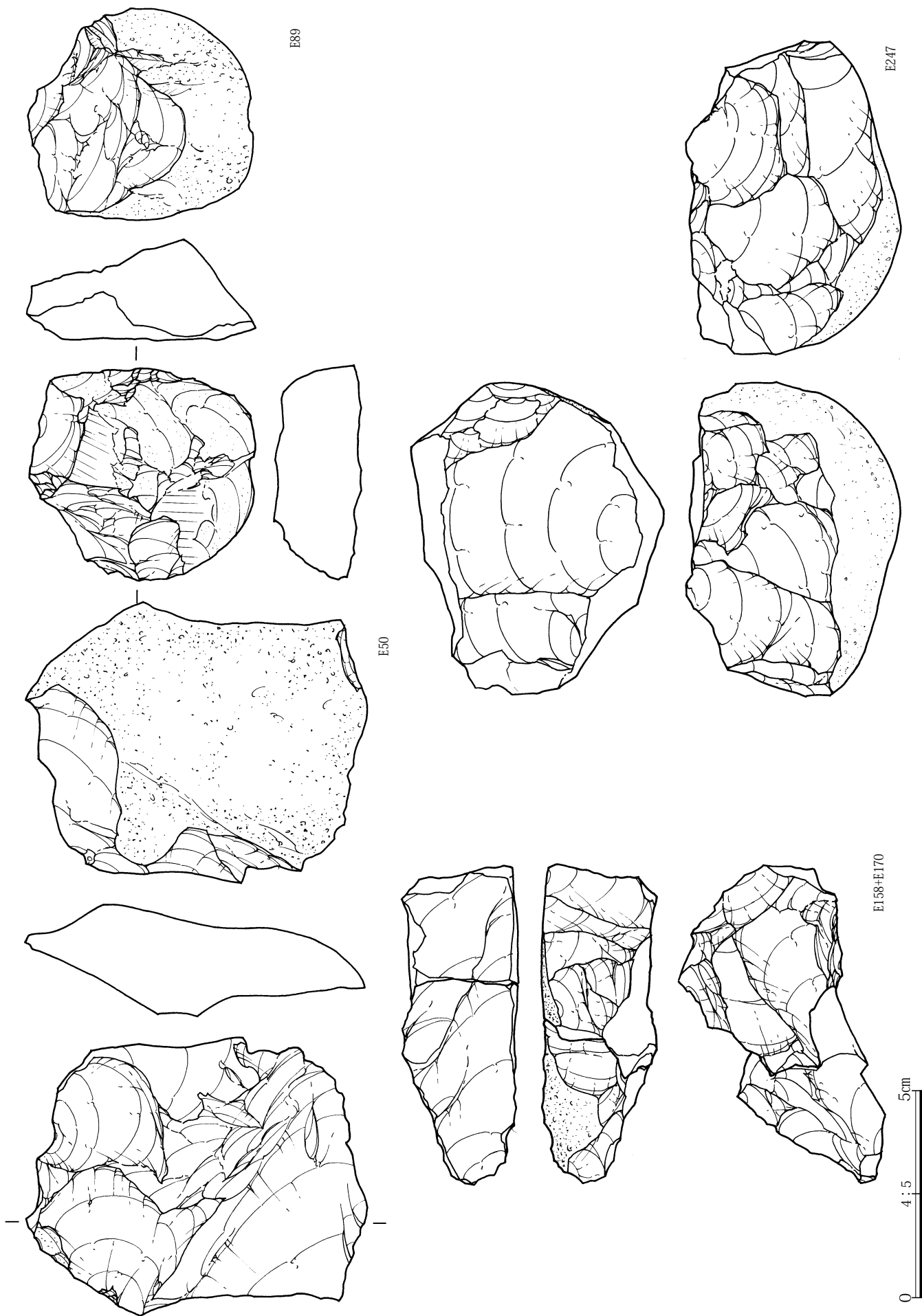
第173図 芳賀東部団地遺跡 E区 出土遺物(1)



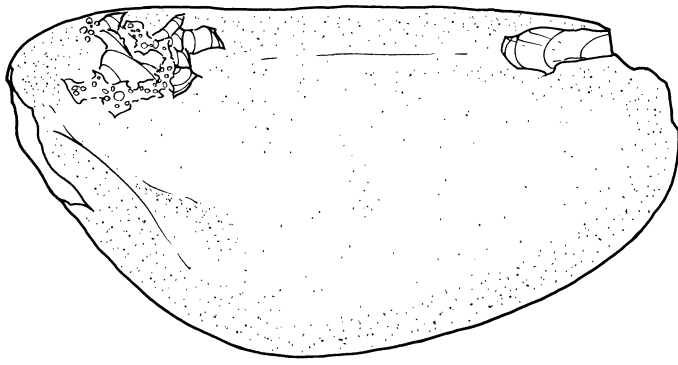
第174図 芳賀東部団地遺跡 E区 出土遺物(2)



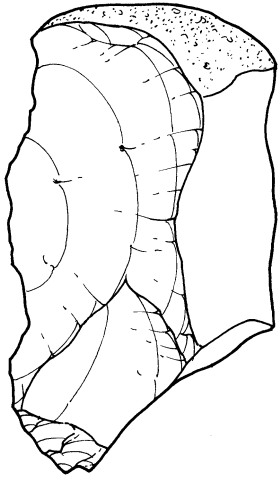
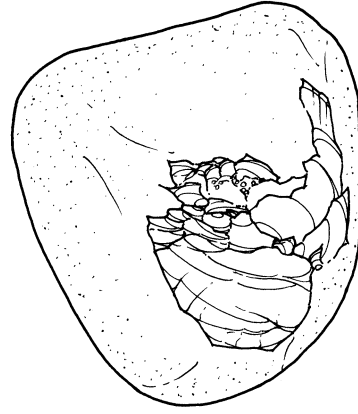
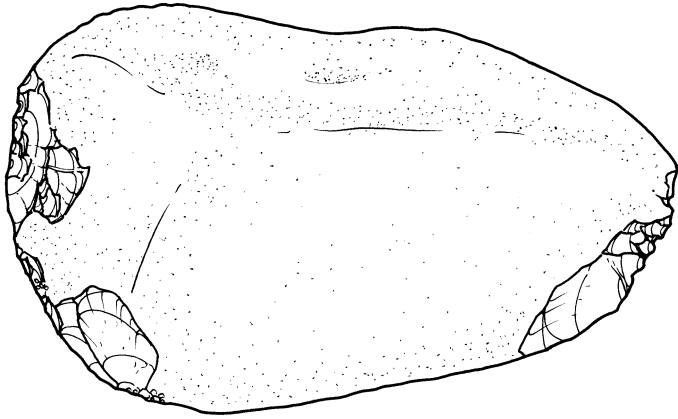
第175図 芳賀東部団地遺跡 E区 出土遺物 (3)



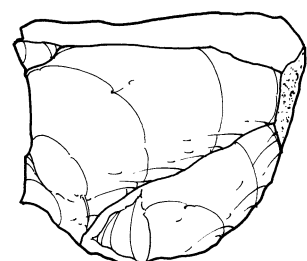
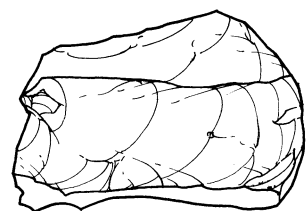
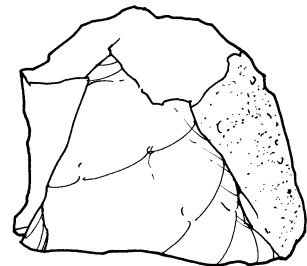
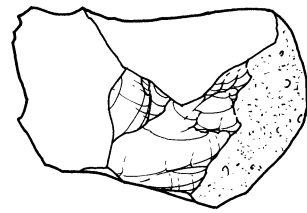
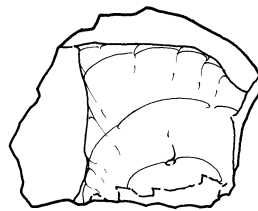
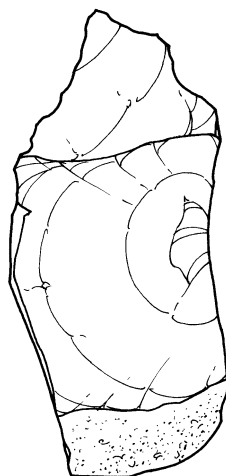
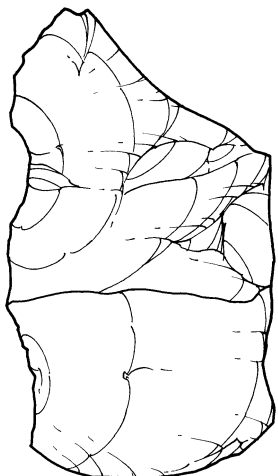
第176図 芳賀東部団地遺跡 E区 出土遺物(4)



E128



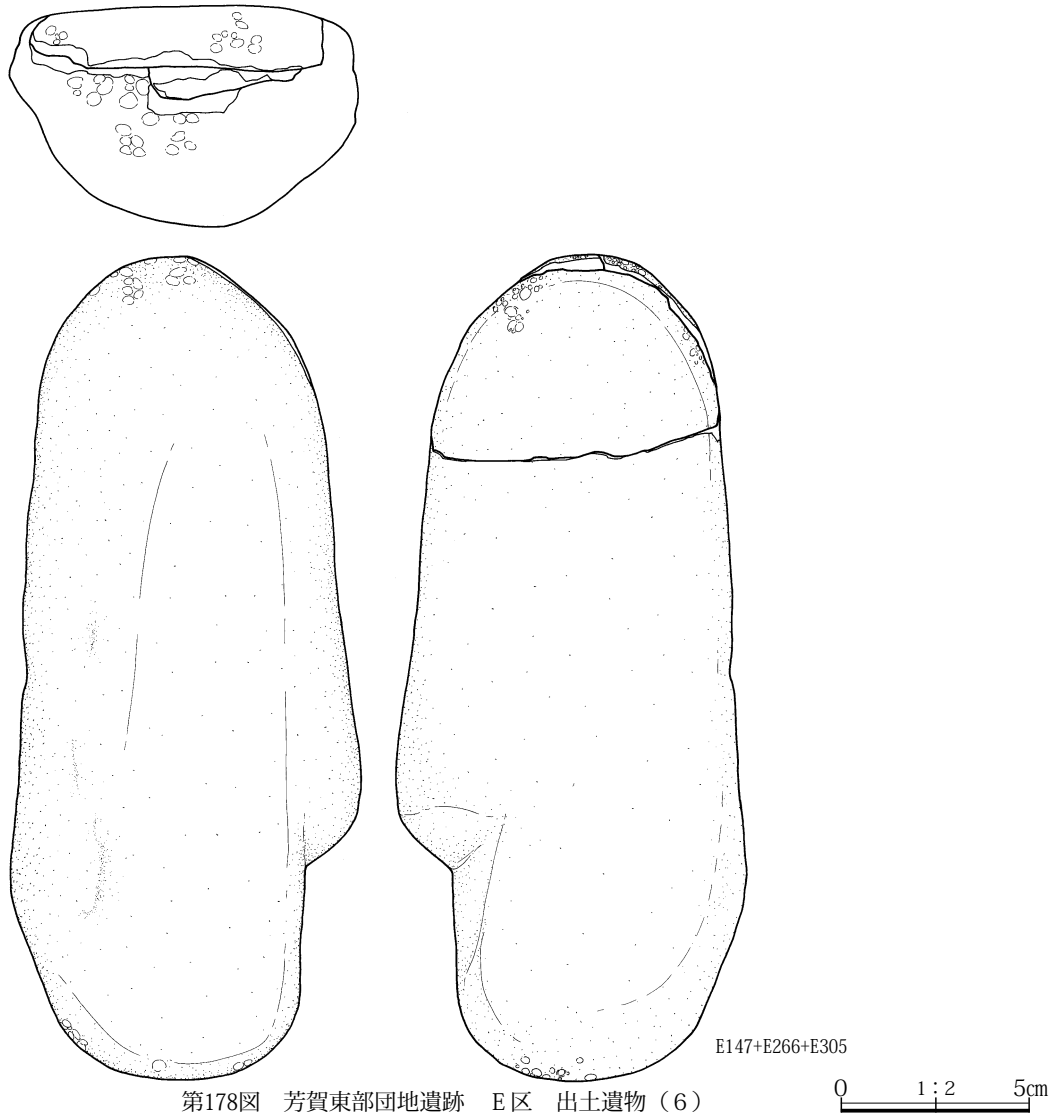
E132



E302



第177図 芳賀東部団地遺跡 E区 出土遺物(5)



第178図 芳賀東部団地遺跡 E区 出土遺物(6)

敲石(第177・178図、E109・E128・E147・E266・E305、PL.60・61) 総数5点がある。E109+E128はやや太めの垂角礫の両端付近に敲打痕や敲打による剥離痕が残されている。石材は黒色頁岩である。E147+E266+E305は棒状礫の一端に敲打痕が少し残ると共に、敲打の衝撃で剥がれた剥片が接合している。石材は砂質頁岩である。

第20表 芳賀東部団地遺跡 第2文化層 E区組成表

| | 加工痕 | 使用痕 | 石核 | 敲石 | 台石 | 剥片 | 碎片 | 礫 | 礫片 | 総計 |
|---------|-----|-----|----|----|----|-----|----|---|----|-----|
| 黒色安山岩 | 2 | | 10 | | | 133 | 7 | | | 152 |
| 黒色頁岩 | 3 | 1 | 4 | 2 | 1 | 119 | 1 | | | 131 |
| 珪質頁岩 | | | 1 | | | 4 | | | | 5 |
| 砂質頁岩 | | | | 3 | | | | | | 3 |
| チャート | | | 1 | | | 4 | 1 | | | 6 |
| 溶結凝灰岩 | | | | | | | | | 2 | 2 |
| 凝灰岩 | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 総計 | 5 | 1 | 16 | 5 | 1 | 260 | 9 | 2 | 2 | 301 |

(4) 母岩別資料・接合資料(第179～192図、PL.61～67)

黒色安山岩は152点が出土した。このうち、接合資料は20例97点がある。

黒色安山岩6(第179～181図、PL.61・62)色調は灰6/1(HuE7.5Y)、自然面は皺が顕著。接合資料8例50点、非接合資料9点の計59点がある。

黒色安山岩6-①(第179図、PL.61)10cm強の原石を二つ以上に分割し、それぞれで分割面や剥離面を打面に何度も転位している。石核3点、折断を含む剥片16点の計19点からなる接合資料である。

E35→E57→ ↓

E47→E32→E246→E37→E39→E25→E33→E50(石核)→E63+E46→E58→E56→E31→E34(石核)→E36(石核)

○E248→ ↑ ← ○E64

黒色安山岩6-②(第180図、PL.62)加工痕ある剥片1点、折断を含む剥片8点からなる接合資料である。

E166→E272→E172+E171(加工痕ある剥片)+E163→E156+E306→E150→E169

黒色安山岩6-③(第180図、PL.62)折断を含む剥片8点の接合資料である。E227+E217→E241+E187→E161+E231→E218+E216

黒色安山岩6-④(第180図、PL.62)剥片3点の接合資料である。E65→E30→E249

黒色安山岩6-⑤(第181図、PL.62)剥片4点の接合資料である。E152→E235+E240→E225

黒色安山岩6-⑥(第181図、PL.62)折断を含む剥片3点の接合資料である。E229→E228+E219

黒色安山岩6-⑦(第181図、PL.62)剥片の折断資料である。E179+E184

黒色安山岩6-⑧(第181図、PL.62)剥片2点の接合資料である。E26→E49

黒色安山岩6 同じ母岩の非接合資料は、剥片9点がある。E27、E52、E59、E96、E149、E159、E164、E226、E273

黒色安山岩7-①(第182図、PL.63)石核1点、剥片14点の計15点からなる接合資料である。

E300→E312→E269→E304→E260→E116+E153→E299→E270→E303→E110→E114→E301→E308→E302(石核)

黒色安山岩7-②(第182図、PL.62)剥片の折断資料である。E190+E189

黒色安山岩8-①(第181図、PL.62)10cm強の亜角礫の一端を剥離して、その剥離面を打面として縦長の剥片を連続して剥離している。石核1点、剥片4点の折断を含む接合資料である。E125→E122→E108+E104→E132(石核)

黒色安山岩9-①(第183図、PL.63)石核2点、剥片2点の計4点からなる接合資料である。E168→E307→E158(石核)→E170(石核)

黒色安山岩9-②(第183図、PL.63)剥片3点の接合資料である。E83→E80→E88

黒色安山岩9-③ 剥片の折断資料である。E175+E180 非実測

黒色安山岩9-④(第183図、PL.63)剥片の折断資料である。E98+E200

黒色安山岩9-⑤(第183図、PL.63)剥片2点の接合資料である。E276→E97

黒色安山岩9(第173・183図、PL.58・63)同じ母岩の非接合資料として加工痕ある剥片1点、剥片12点がある。E5、E70、E74、E79、E90、E91、E174、E176、E178、E183、E198、E203(加工痕ある剥片)、E281

黒色安山岩10-①(第184図、PL.63)石核1点、剥片3点の計4点からなる接合資料である。E67→E72→E78→E71(石核)

黒色安山岩11-①(第184図、PL.64)剥片4点の接合資料である。E197→E192→E199→E213

黒色安山岩11 同じ母岩の非接合資料は、剥片1点がある。E201

黒色安山岩12-①(第184図、PL.64)石核1点、剥片1点の計2点からなる接合資料である。E19→E245(石核)

黒色安山岩13-①(第184図、PL.64)剥片2点の接合資料である。E29→E28

黒色安山岩には単独母岩(第185図、PL.64)として、剥片5点が非接合資料である。E8、E45、E185、E222、E232

黒色安山岩には分類不能な剥片20点、碎片7点の計27点がある。

黒色頁岩(第185～92図、PL.64～67)131点が出土した。このうち、接合資料13例98点がある。

第3章 各遺跡の遺構・遺物

黒色頁岩4-①(第187図、PL.65) 10～15cm強の垂角礫の一端を剥離して、その剥離面を打面として剥片を連続して剥離している。石核2点、剥片10点の折断を含む計12点からなる接合資料である。E194(石核)→E204→E207→E206→E208→E211→E195→E244→E210→E209→E214→E193(石核)

黒色頁岩5-①(第188図、PL.66) 二つに分割された2個体の接合資料で、折断を含む加工痕ある剥片2点と剥片17点の計19点からなる接合資料である。

個体AE259→E130→E107+E103(加工痕ある剥片)+E136→E134(加工痕ある剥片)→E256→E126→E140→E145→E124→E129→E127+E137→

個体BE143→E133+E139+E135→E265

黒色頁岩6-①(第189図、PL.66) 石核1点と剥片10点の計11点が接合した。E6→E3→E18→E23→E2→E24+E53+E38→E1→E13→E247(石核)

黒色頁岩6 同じ母岩の非接合資料として剥片4点がある。E15、E20、E41、E181

黒色頁岩7-①(第185・186図、PL.64・65) 加工痕ある剥片1点、剥片21点の計22点が接合した。E284→E277→E253→E310→E278→E81→E101→E254→E285+E315→E92→E290→E294→E297→E292(加工痕ある剥片)→E283→E313→E279→E280→E291→E293+E282

黒色頁岩8(第190・191図、PL.66・67) 色調は灰6/1(HuE7.5Y)、原石面は皺が顕著。接合資料の6例27点、非接合資料6点の計33点がある。

黒色頁岩8-①(第190図、PL.66) 10cm強の垂角礫の一端から原石面を打面として剥片を連続して剥離している。大型の幅広剥片12点が接合した。E141+E144→E287+E196→E75+E251+E252→E309→E295+E100

黒色頁岩8-②(第190図、PL.67) 折断を含む剥片4点の接合資料である。E148b→E68+E230→E69

黒色頁岩8-③(第191図、PL.67) 折断を含む剥片4点の接合資料である。E131→E111→E117+E142

黒色頁岩8-④(第190図、PL.67) 剥片3点の接合資料である。E119→E257→E148a

黒色頁岩8-⑤ 剥片2点の接合資料である。E115→E263 非実測

黒色頁岩8-⑥ 剥片2点の接合資料である。E121→E123 非実測

黒色頁岩8 同じ母岩の非接合資料として剥片6点がある。E118、E138、E177、E212、E258、E261

黒色頁岩9-①(第191図、PL.67) 剥片3点の接合資料である。E16→E17→E14

黒色頁岩10-①(第192図、PL.67) 敲石の欠損事例である。E109(敲石)→E128(敲石)

黒色頁岩11-①(第192図、PL.67) 剥片の折断資料である。E66+E250

黒色頁岩の単独母岩(第192図、PL.67)には、非接合資料として石核1点、剥片3点の計4点がある。E162(石核)、E191、E224、E262

黒色頁岩には分類不能な剥片17点、碎片1点の計18点がある。

珪質頁岩は、1例3点を含む5点である。

珪質頁岩1-①(第192図、PL.67) 剥片3点の接合資料である。E73→E77→E87

珪質頁岩の単独母岩(第176・192図、PL.60・67)には非接合資料として石核1点、剥片1点がある。E89(石核)、E274

砂質頁岩-①(第178図、PL.61) 敲石の欠損事例である。E147(敲石)→E266(敲石)→E305(敲石)

チャート1-①(第192図、PL.67) 1例3点で、石核1点と剥片2点からなる接合資料である。E154→E167→E157(石核)

(5) 剥片剥離技術

他の遺跡やB区と同様に、主に裏面に原石面を残す分割礫を素材とし、表面の周縁から中心に向かって連続して縦長や横長、それに不定形な剥片の剥離をする技術が中心であり、主要な石材は黒色安山岩である。これは群馬I期からII期にかけての特徴的な剥片剥離技術であり、石器組成などからみてもおそらくは群馬I期に相当すると考えられる。

(6) 分布状況(第193・222図)

石器群は、長軸20m・短軸15mの範囲に分布していた。やや歪んでいるが、いわゆる「環状ブロック群」として捉えることができる。環状部に7ブロックを、その内側に3ブロックを認定した。石器群が出土した地点の西側にはAs-B(浅間B軽石)が堆積する谷頭があり、この谷の西側斜面に石器群が分布したことが明らかである。おおむね、石器の分布は捉えることができたとされるが、もう少し広く周辺域が試掘されていれば、よりの確に分布状況が掴めたというべきで、特に、路線外に近い南側ブロックが路線外に広がる可能性も否定でない。

(7) 石器の分布(第194図)

主要な石器は少ないが、石器製作に関わる器種は2号ブロックと3号ブロック、それに5号ブロックと6号ブロックに多く、分布の中での北東と南西の場所に相対するように位置している。逆に、加工痕ある剥片などは1号ブロックと2号ブロック、5号ブロックと6号ブロックにやや集中している。このことから、分布の範囲の北東と南西が主に石器製作の場であり、北西と南東が居住の場と推定され、北側と南側をそれぞれ占地する形での二つの集団が結合したとも考えられる。

(8) 石材の分布(第195図)

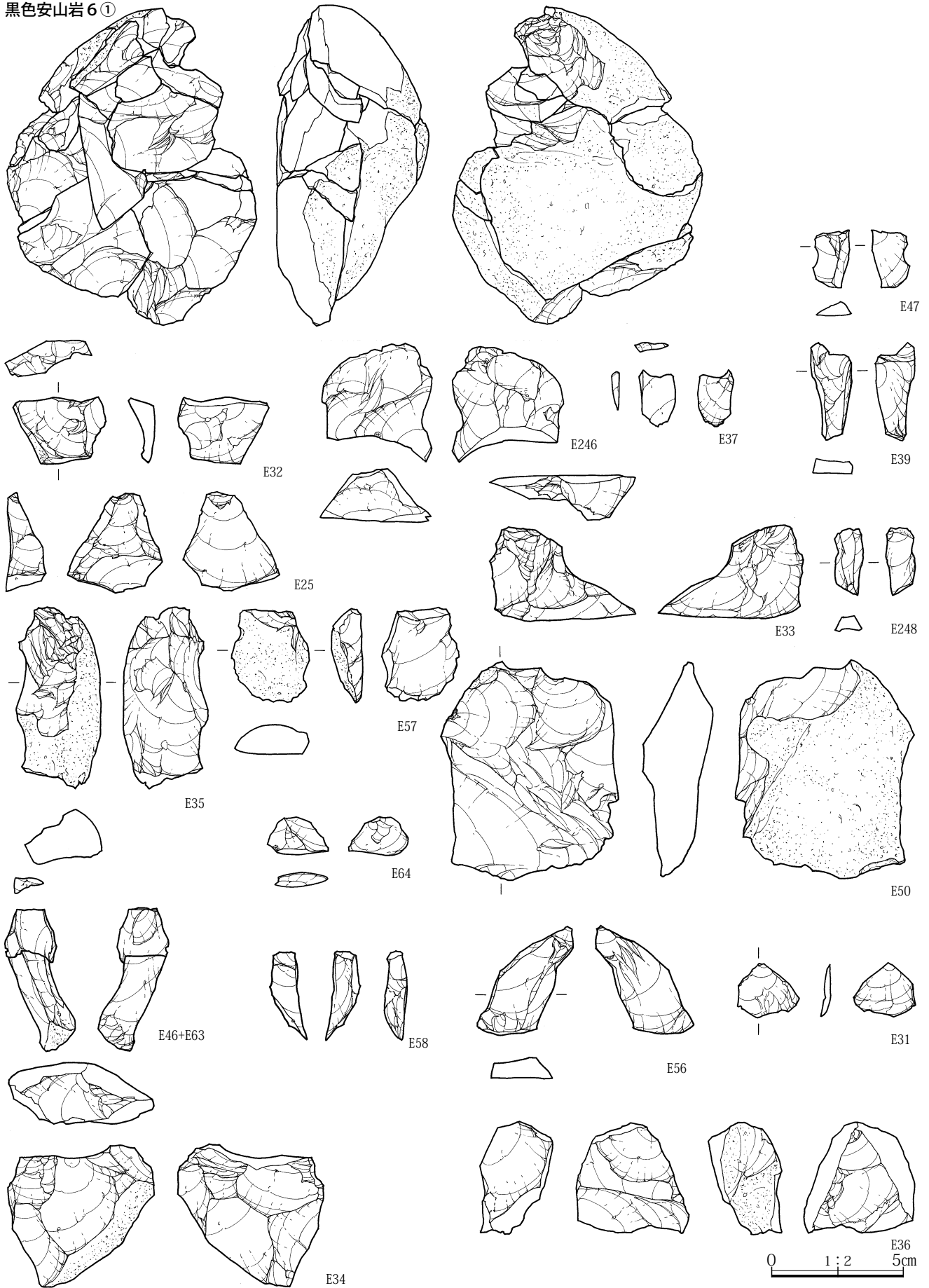
黒色頁岩は1・2・4・5ブロックで分布、接合状態から見て母岩単位で消費したことが確実である。これに対し、黒色安山岩は母岩単位の剥離が1・3・5号ブロック(母岩7・8・10・11・12)に集中した以外、北東側2号ブロック・中央9号ブロック・南西側6号ブロックで母岩6を共有剥離したほか、母岩9を北東側・南西側ブロックで共有している。珪質頁岩やチャートなど少数石材も北東側・南西側ブロックに集中する傾向がある。

(9) 接合資料の分布(第196～199図)

多くは同一ブロック内で接合が完結するが、黒色安山岩では1号ブロックと8号ブロック、1号ブロックと10号ブロック、2号ブロックと3号ブロック、4号ブロックと10号ブロック、6号ブロックと9号ブロックとで、黒色頁岩では1号ブロックと8号ブロック、2号ブロックと5号ブロック、3号ブロックと4号ブロックとでブロック間接合が確認されている。ほぼすべてのブロックで剥片剥離作業が行われているが、中央ブロックの接合資料が礫表皮を大きく残しているものが多く、ブロックの機能を考える際の留意事項として注意しておきたい。

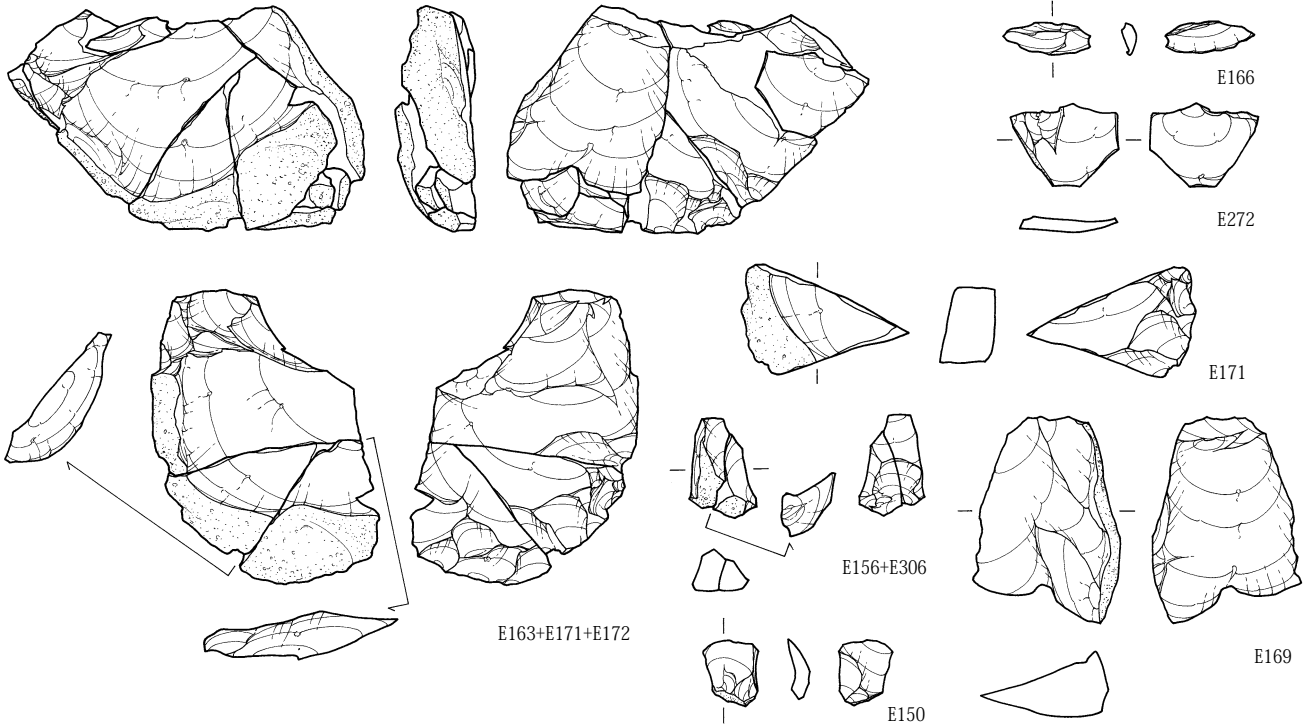
以上の点からB区と同様に、出土層位や石器組成、主要な石器の様子から、群馬I期の前半期と考えられる。また、粗密の差もあるが、E区もB区と同様に、いわゆる「環状ブロック群」の範疇に含めたいと考える。

黑色安山岩6①

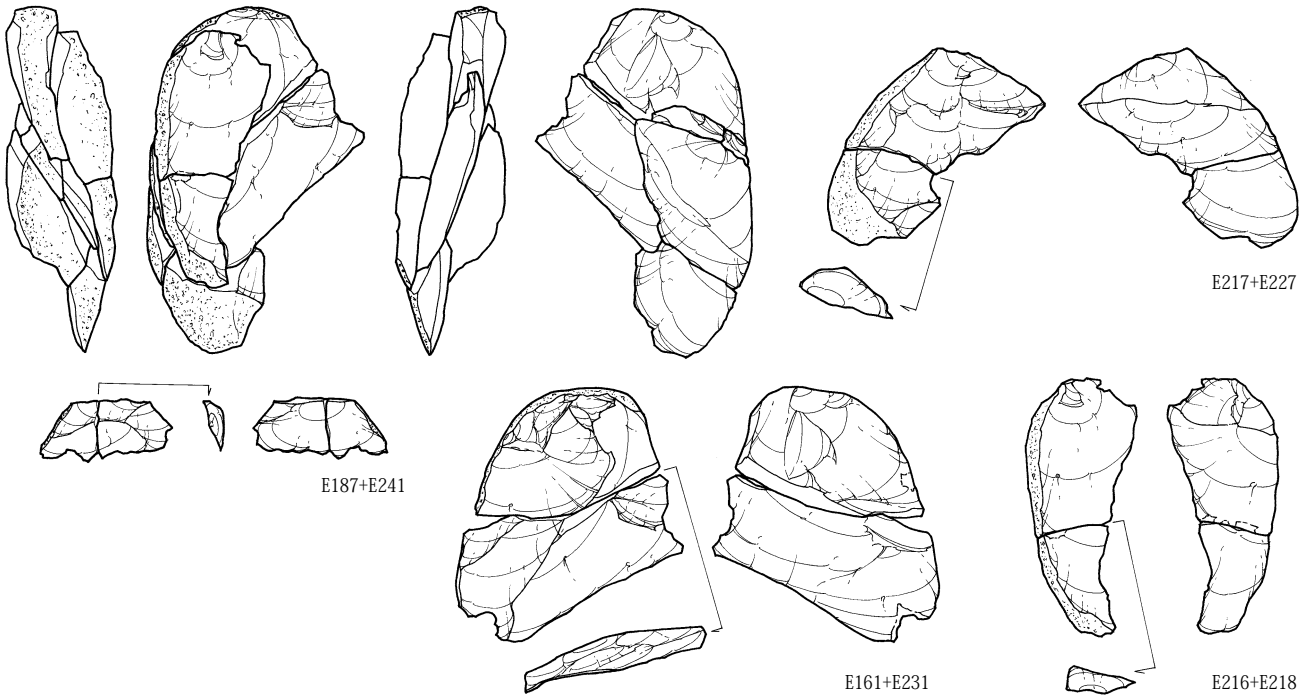


第179図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(1)

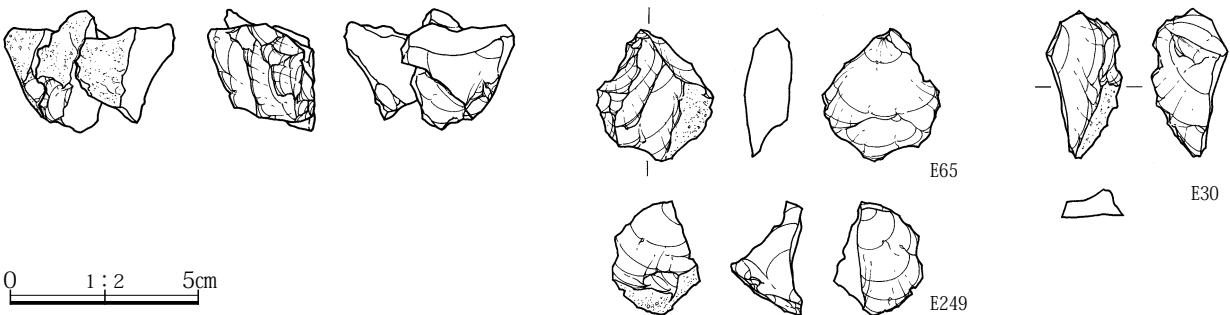
黑色安山岩 6②



黑色安山岩 6③



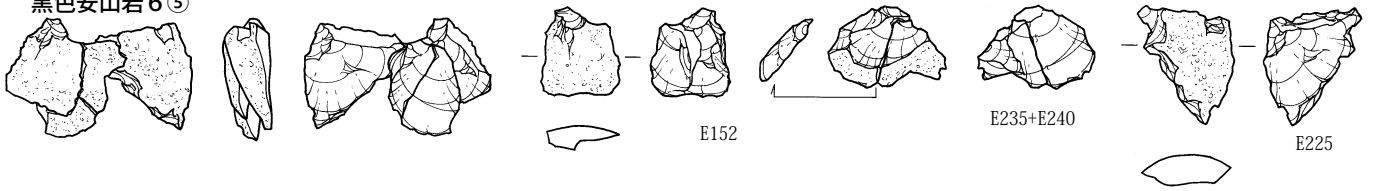
黑色安山岩 6④



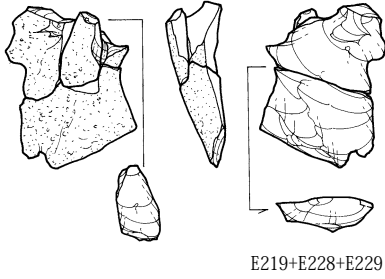
0 1:2 5cm

第180図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(2)

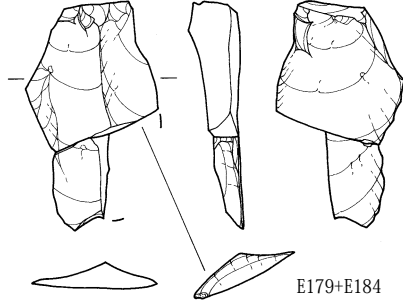
黑色安山岩 6⑤



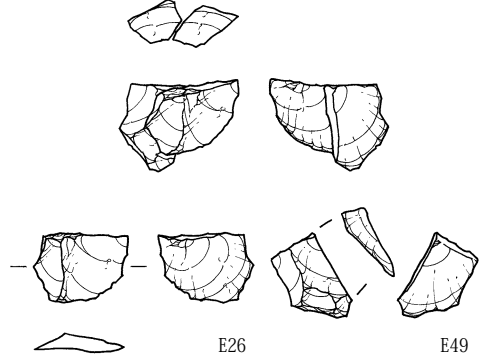
黑色安山岩 6⑥



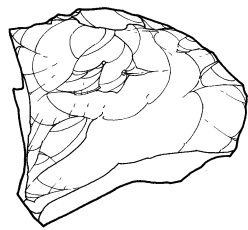
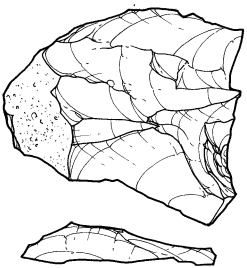
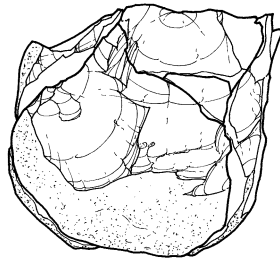
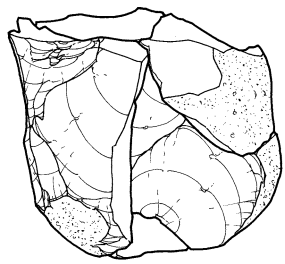
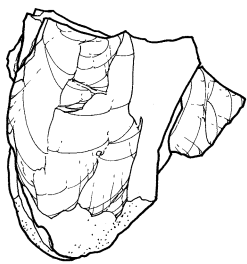
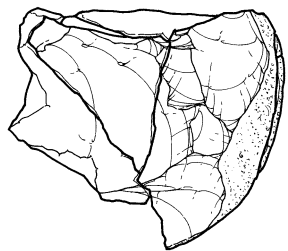
黑色安山岩 6⑦



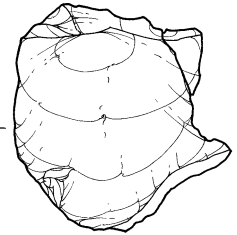
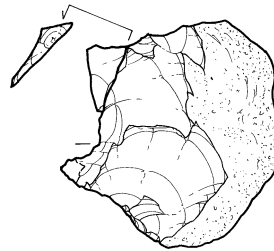
黑色安山岩 6⑧



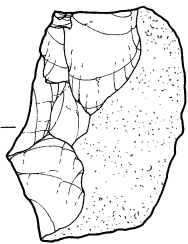
黑色安山岩 8①



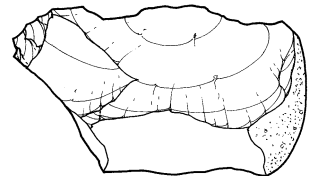
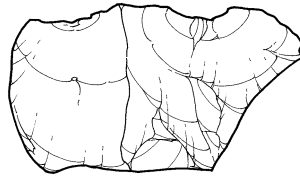
E125



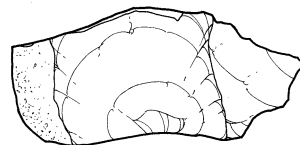
E104+E108



E122



E132

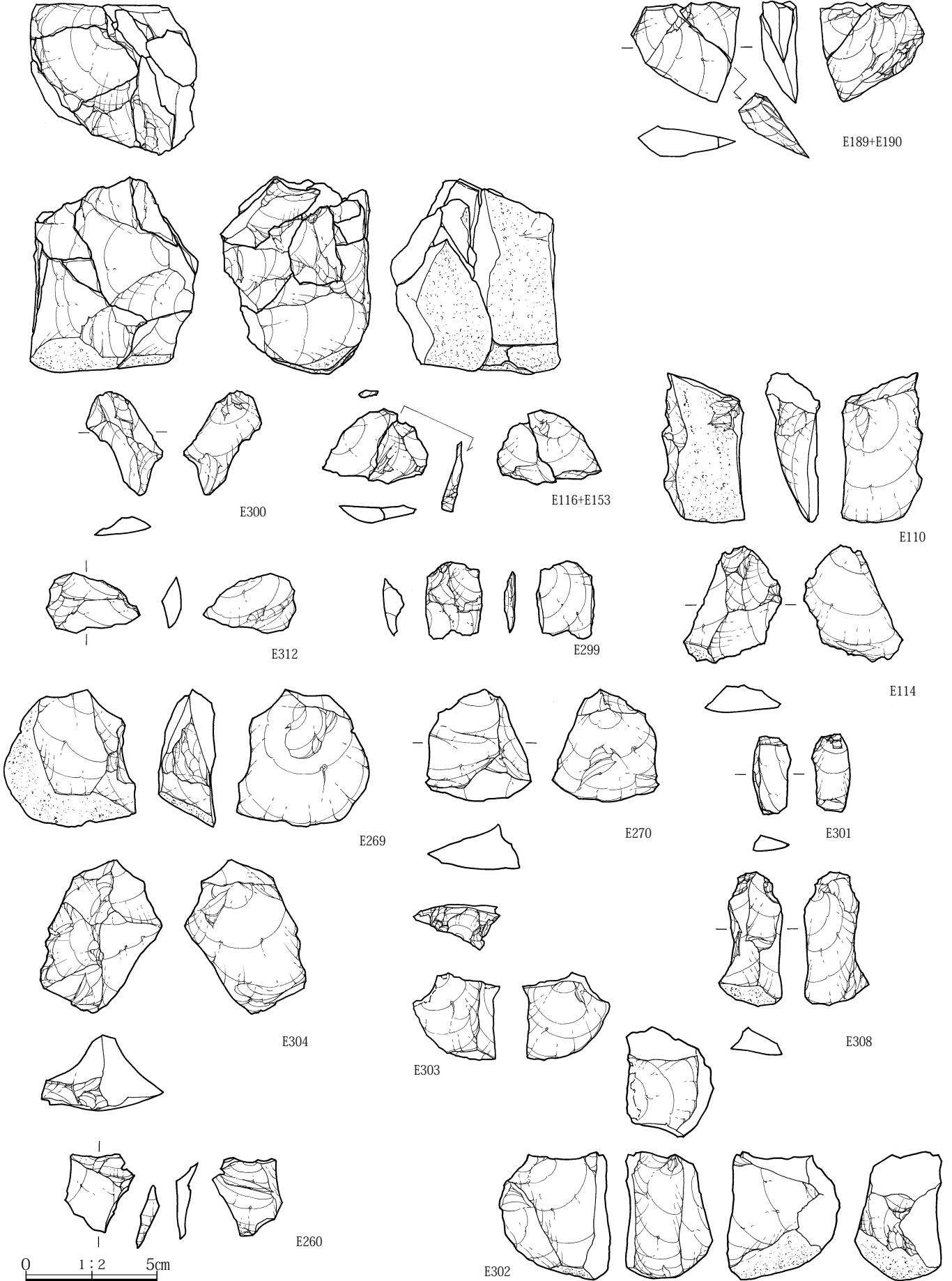


0 1:2 5cm

第181図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(3)

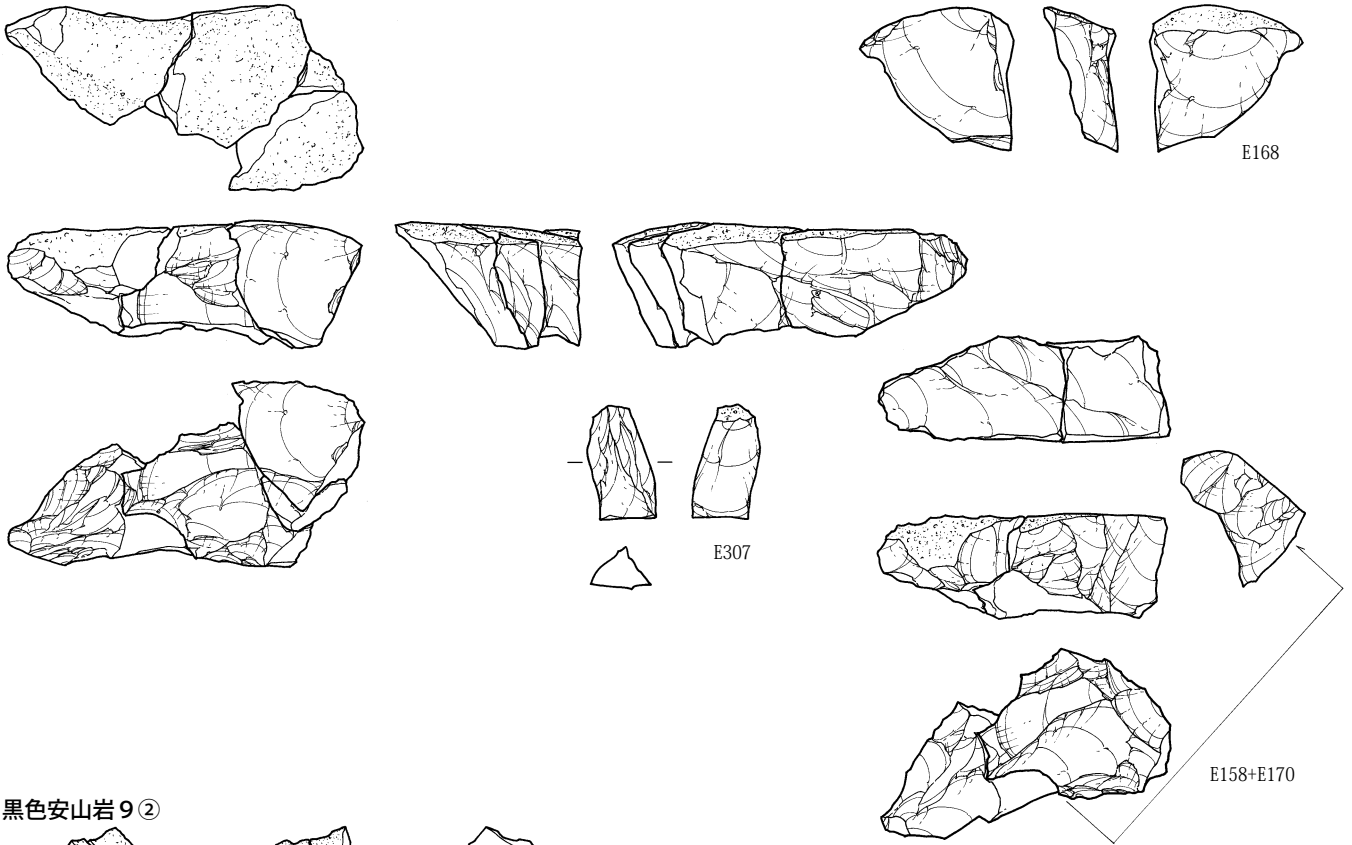
黑色安山岩 7①

黑色安山岩 7②

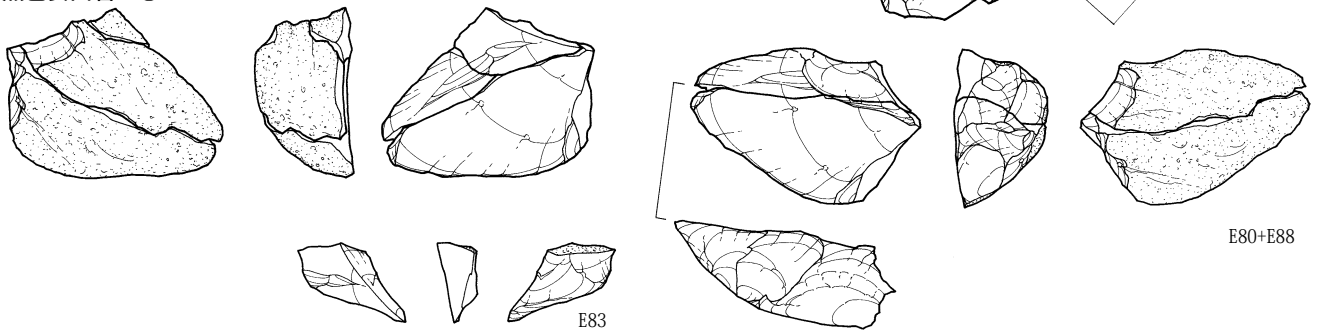


第182図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(4)

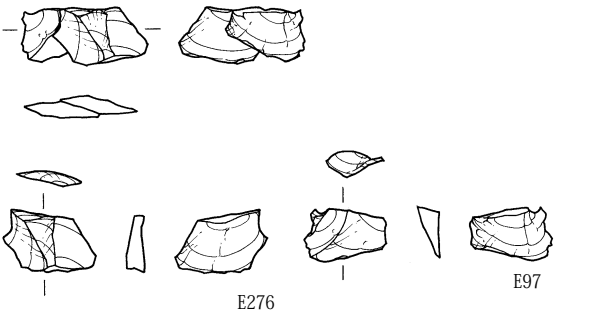
黑色安山岩 9①



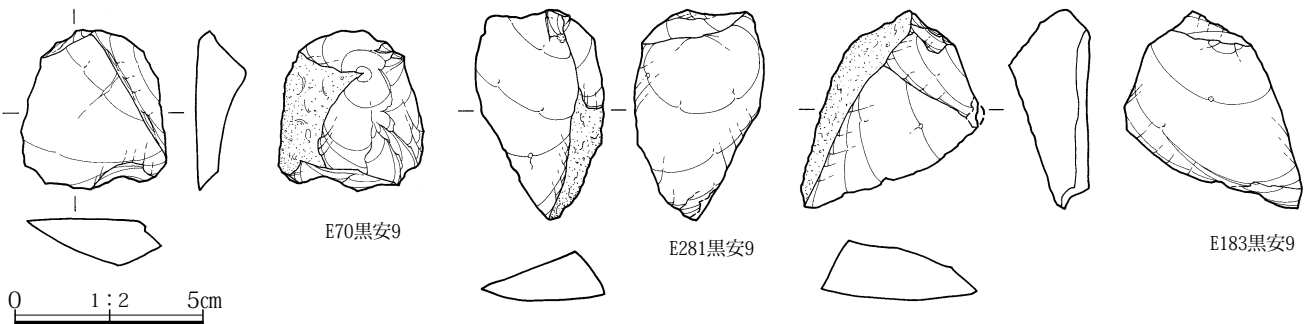
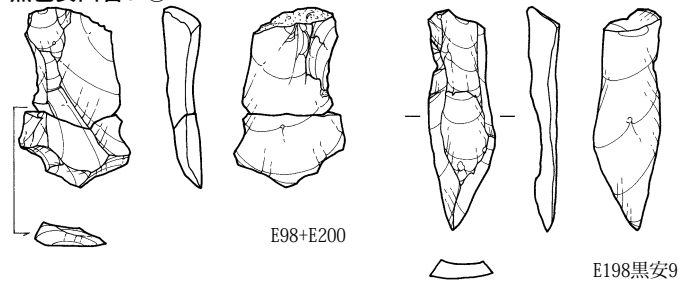
黑色安山岩 9②



黑色安山岩 9⑤



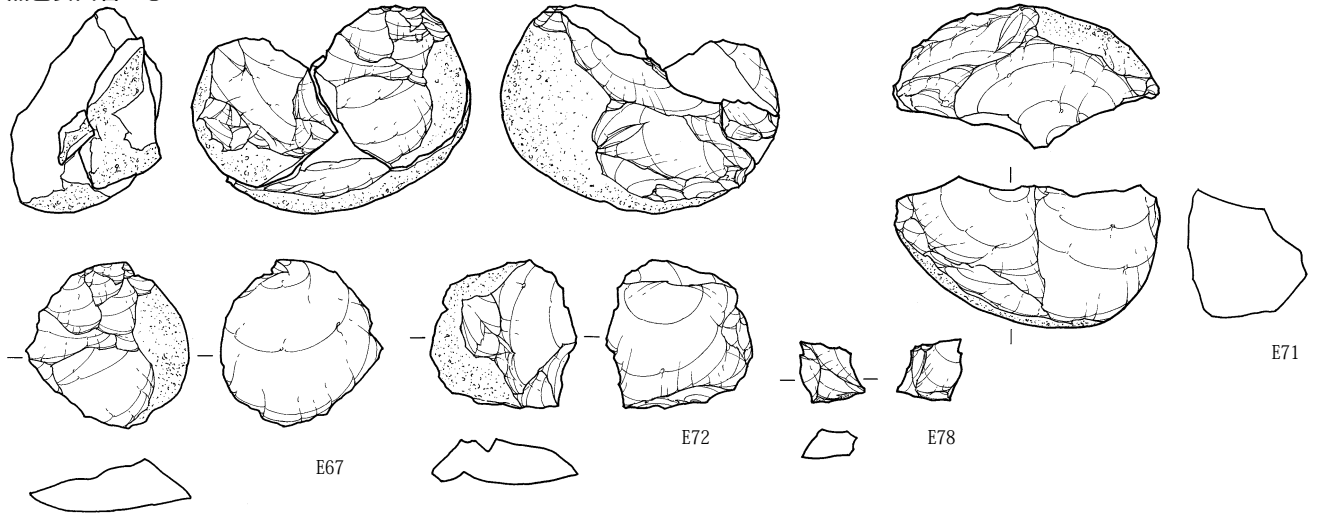
黑色安山岩 9④



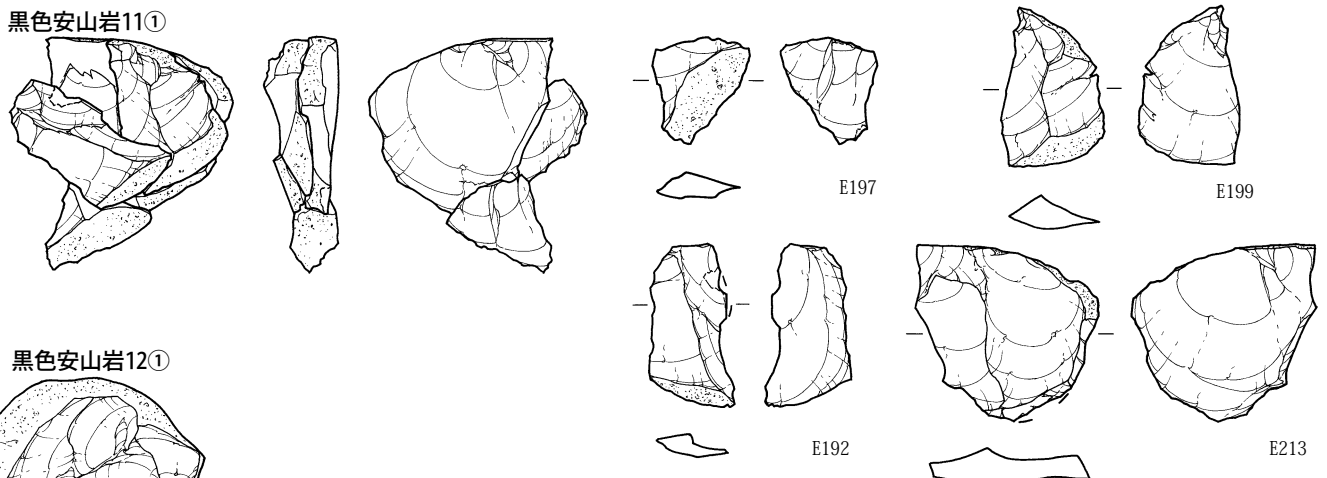
0 1:2 5cm

第183図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(5)

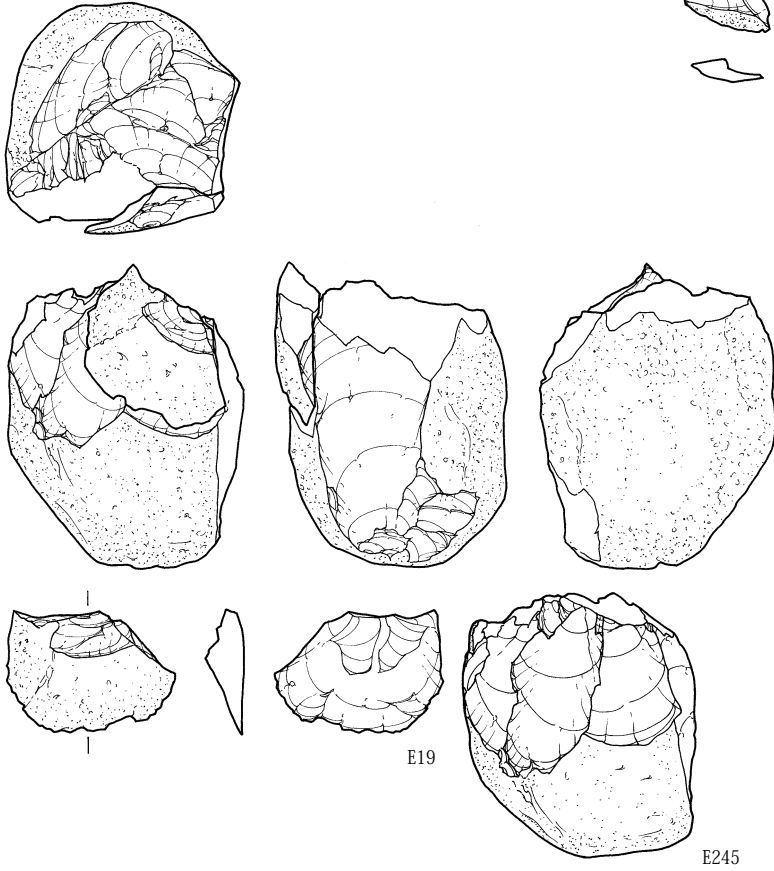
黑色安山岩10①



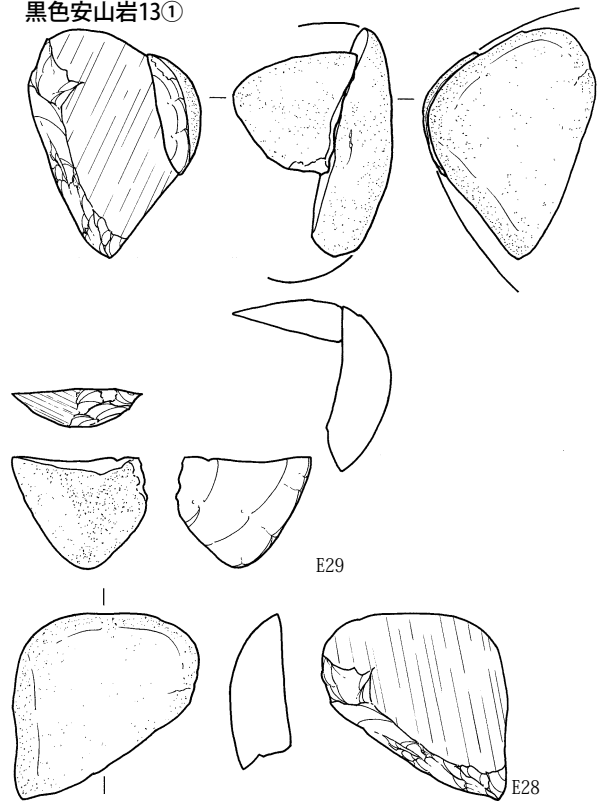
黑色安山岩11①



黑色安山岩12①

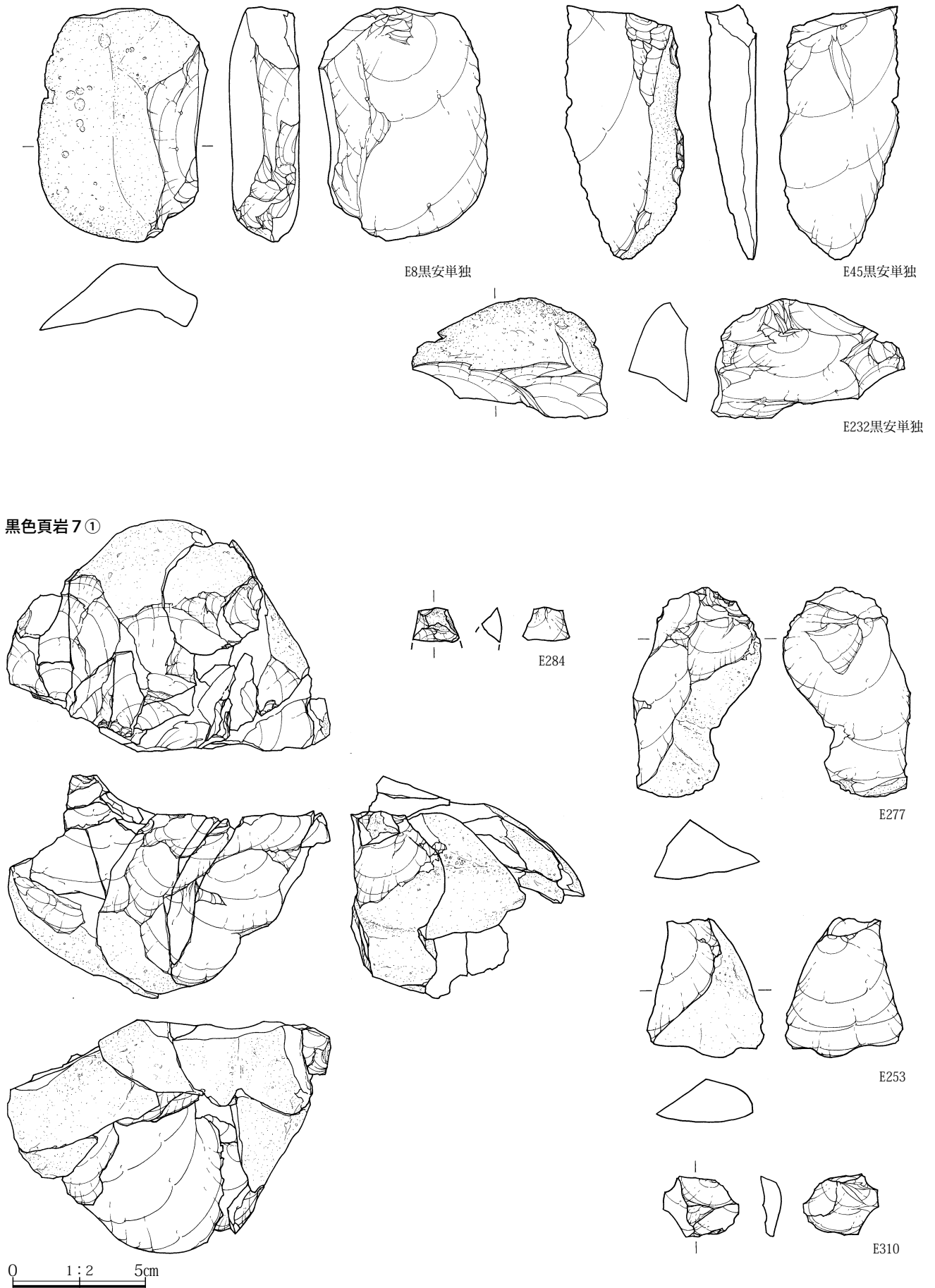


黑色安山岩13①

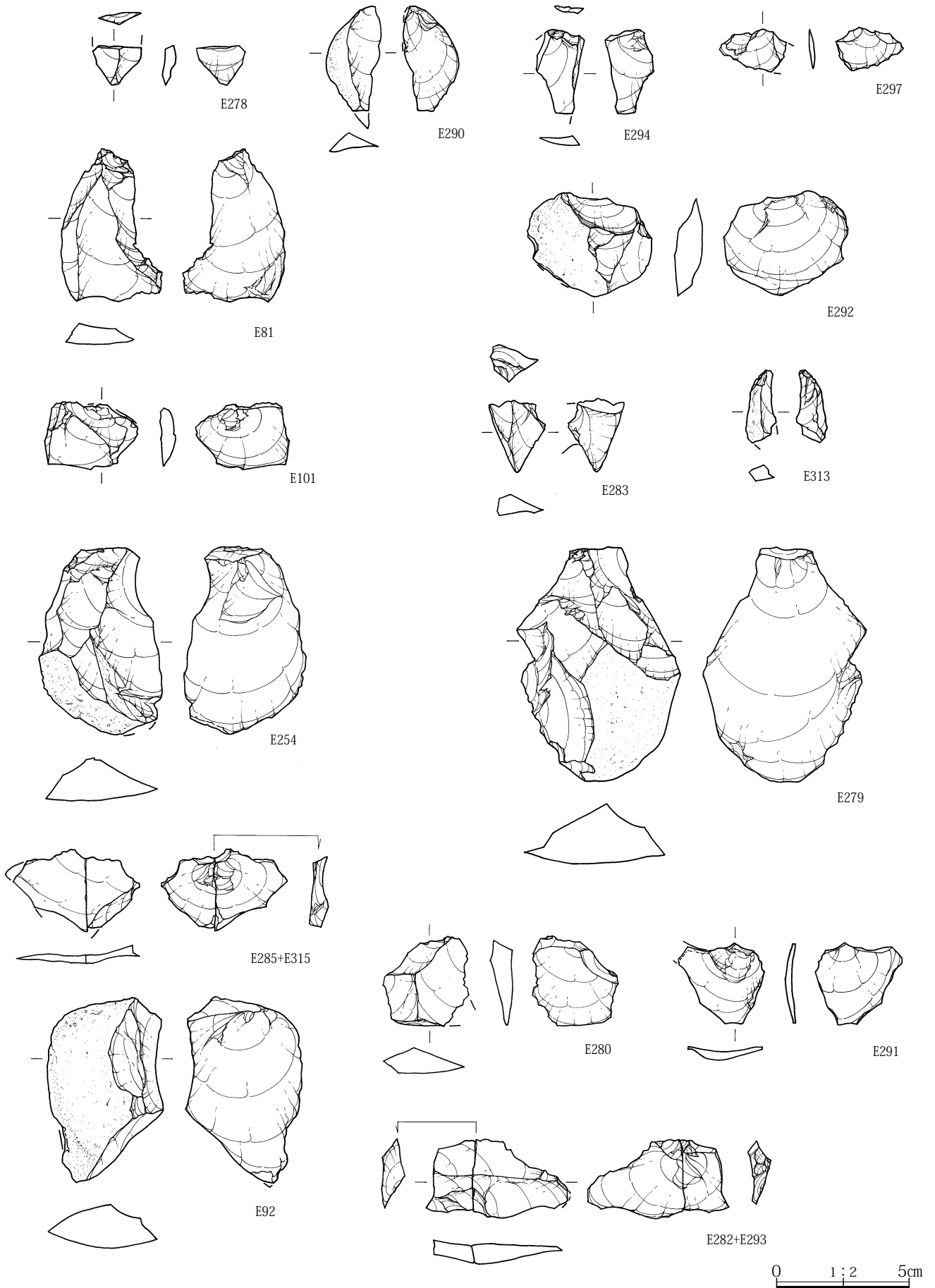


0 1:2 5cm

第184図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(6)

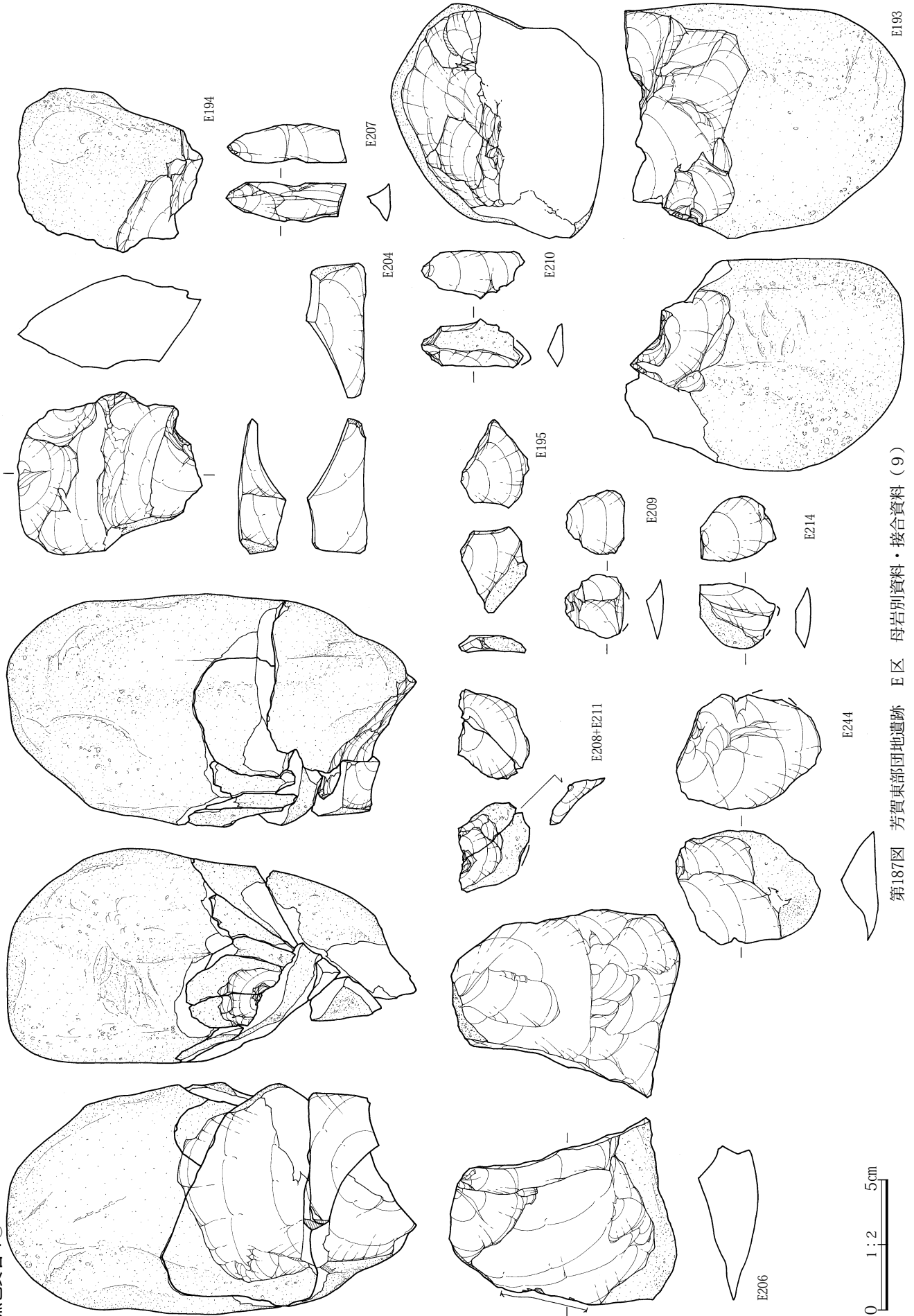


第185図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(7)



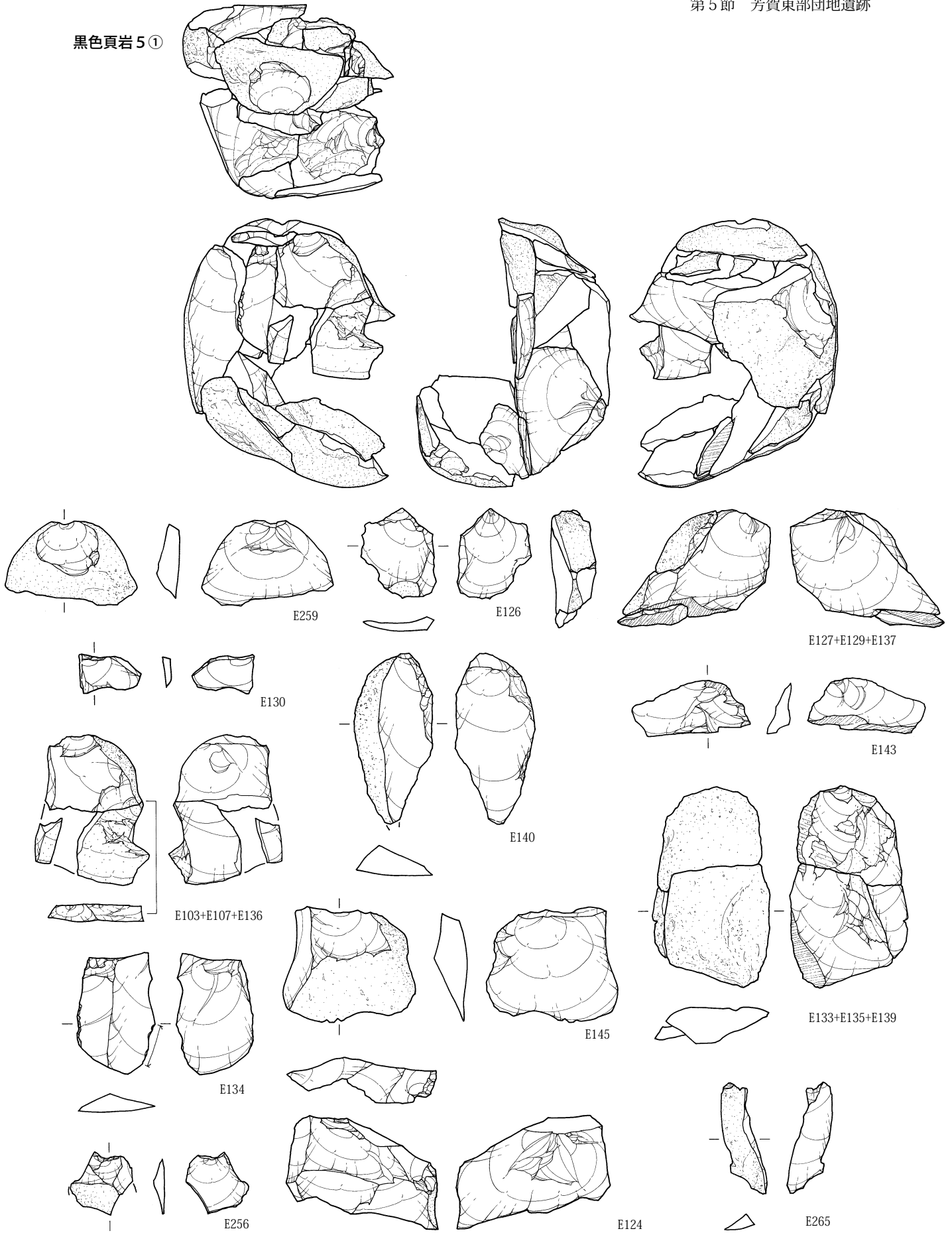
第186図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(8)

黒色頁岩 4①



第187図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料(9)

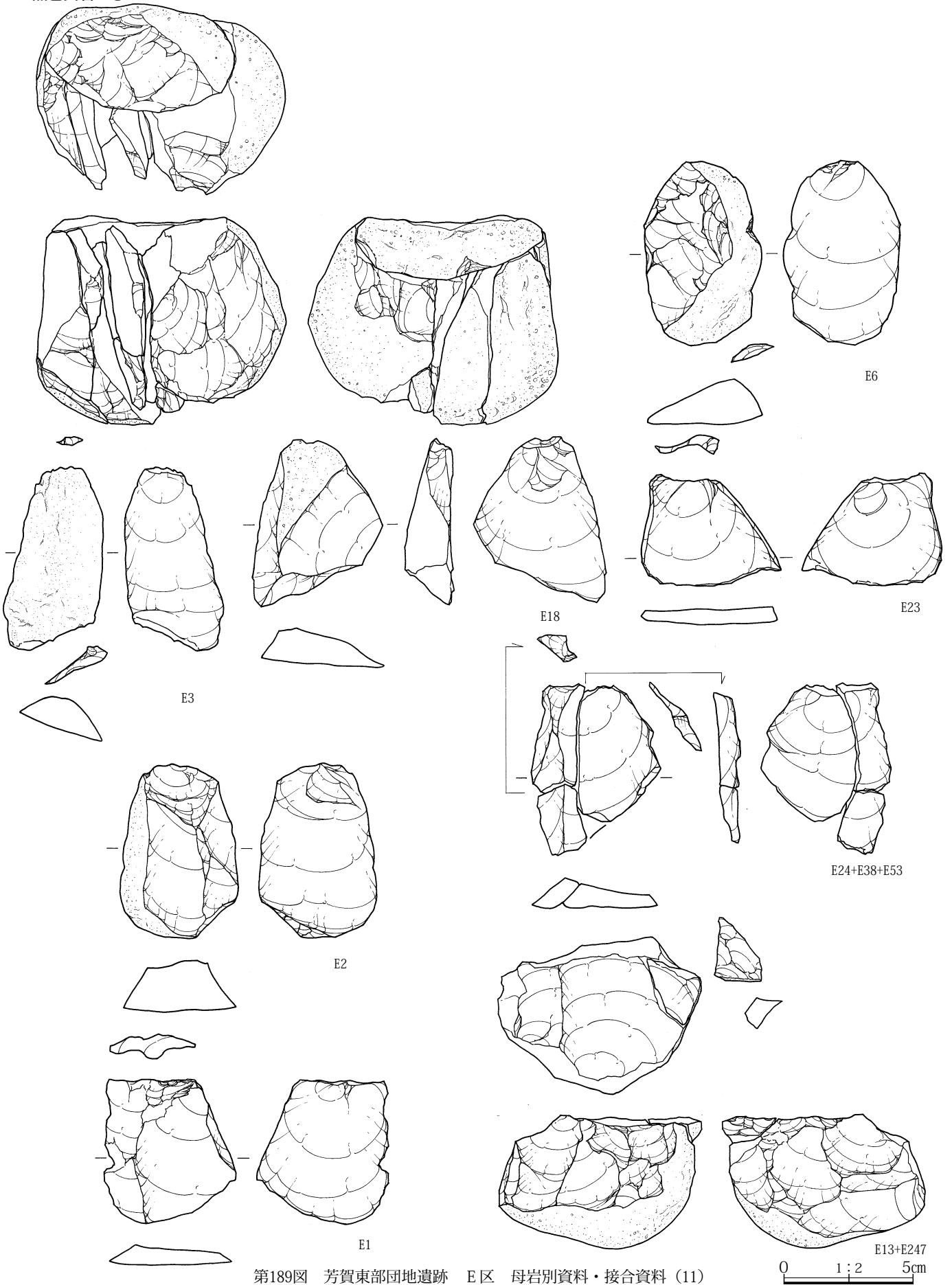
黑色頁岩 5①



第188図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料 (10)

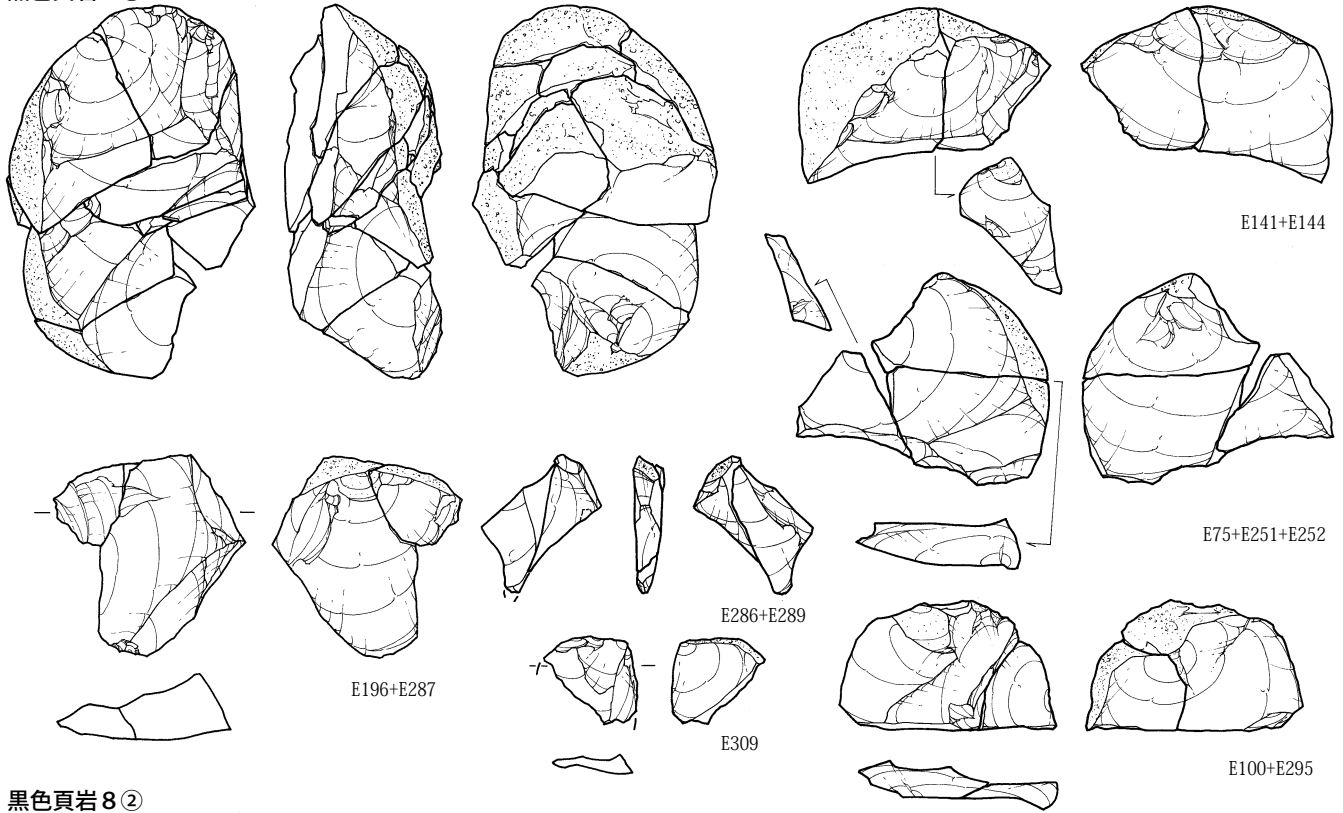
0 1:2 5cm

黒色頁岩6①

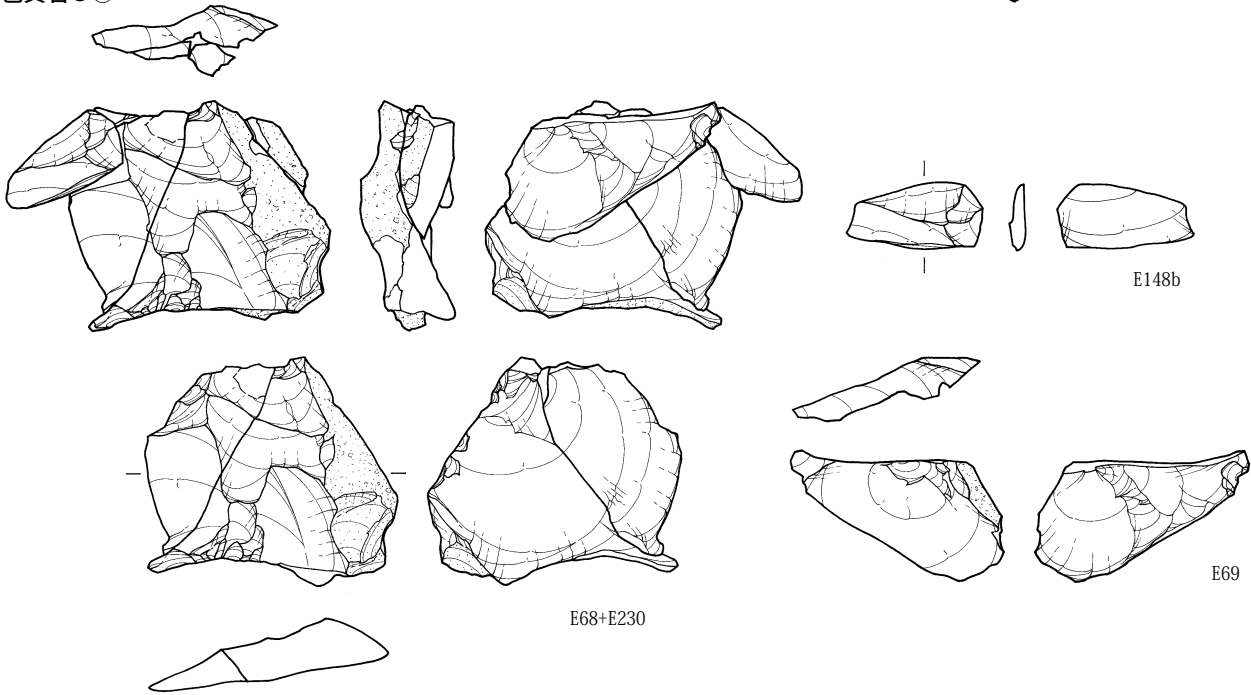


第189図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料 (11)

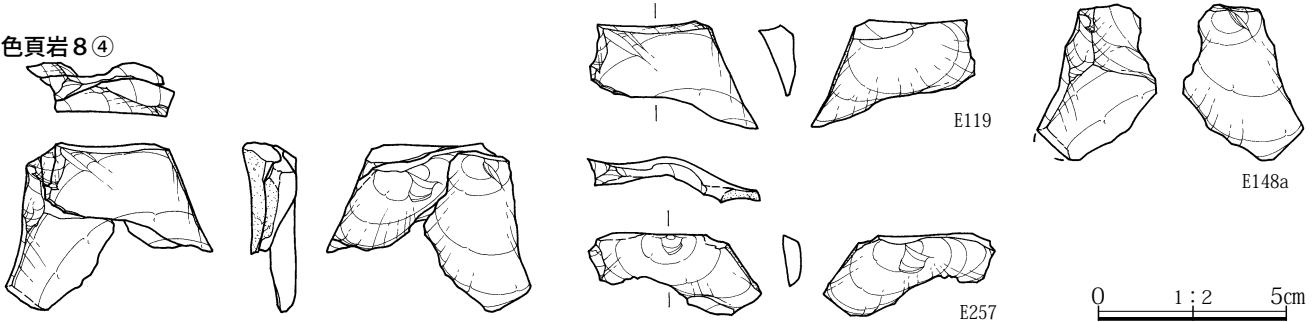
黒色頁岩 8①



黒色頁岩 8②

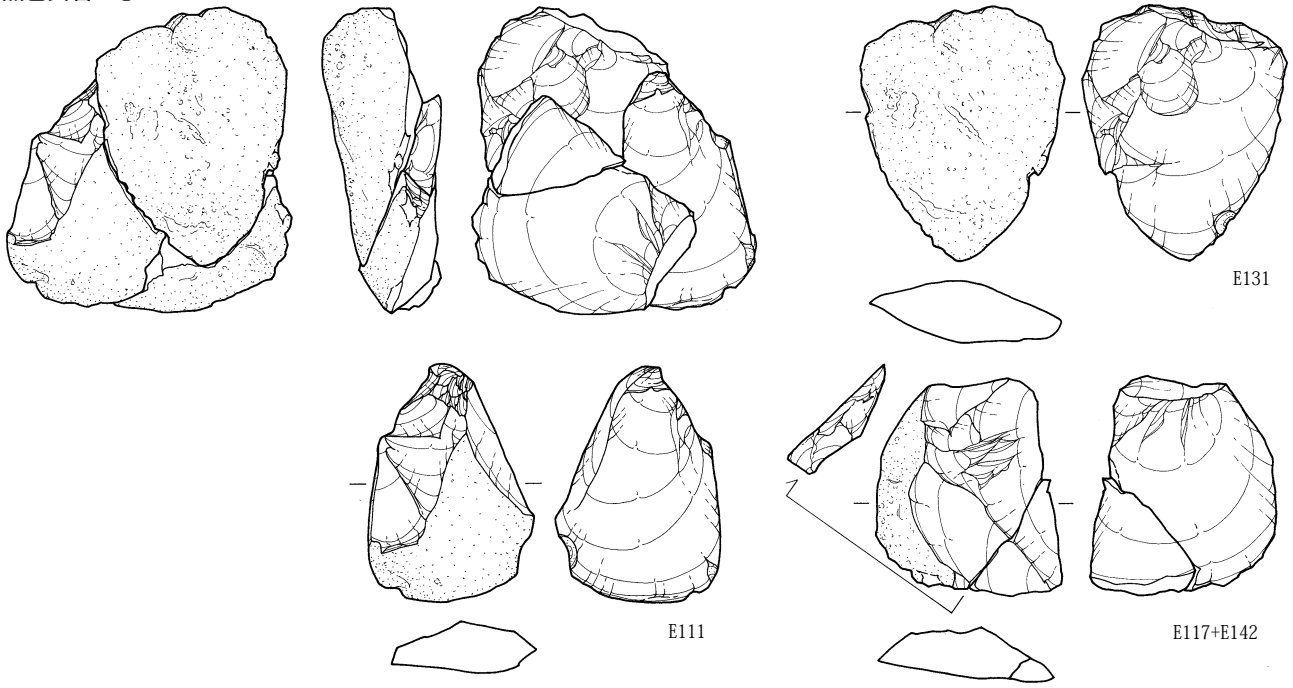


黒色頁岩 8④

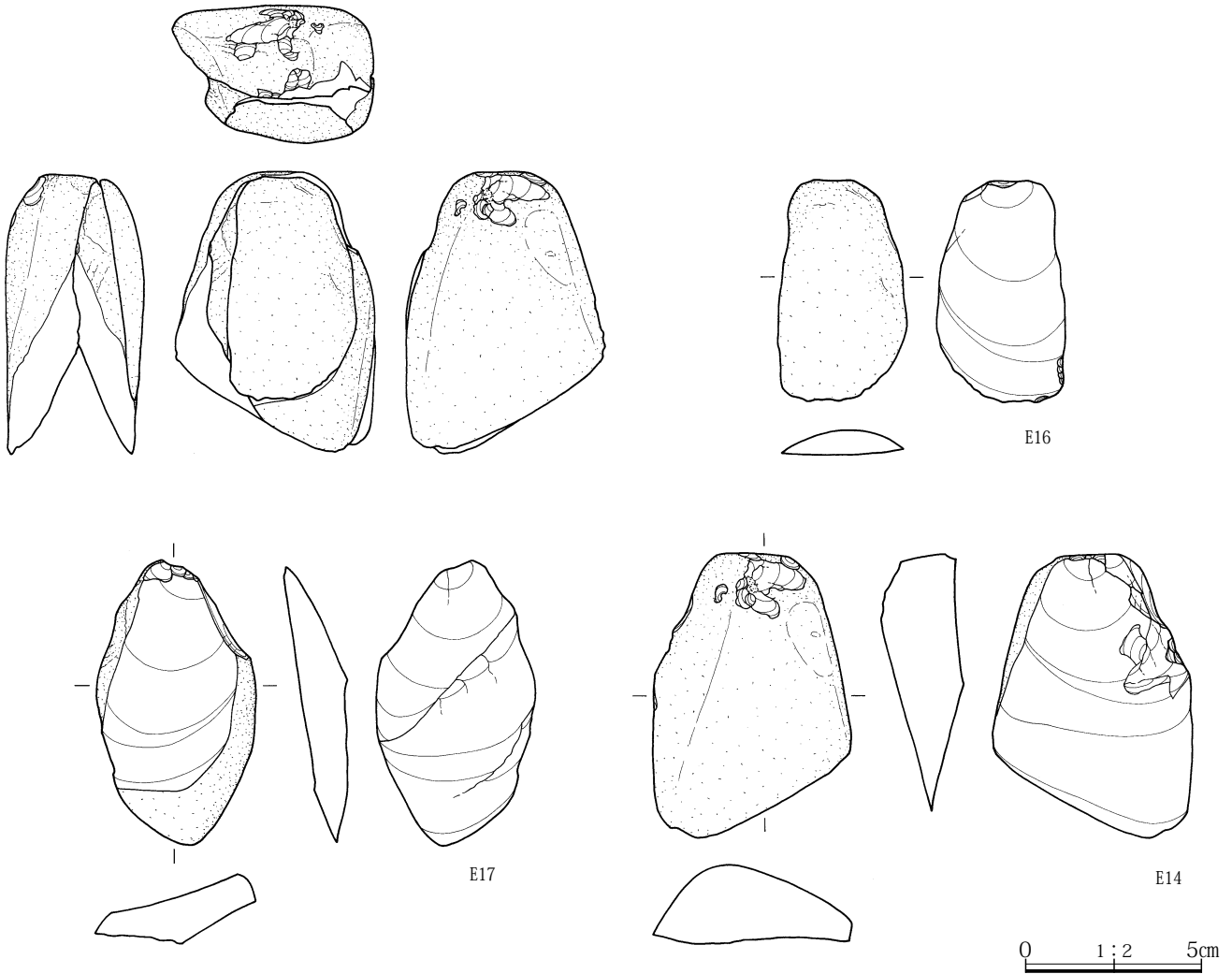


第190図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料 (12)

黒色頁岩 8③

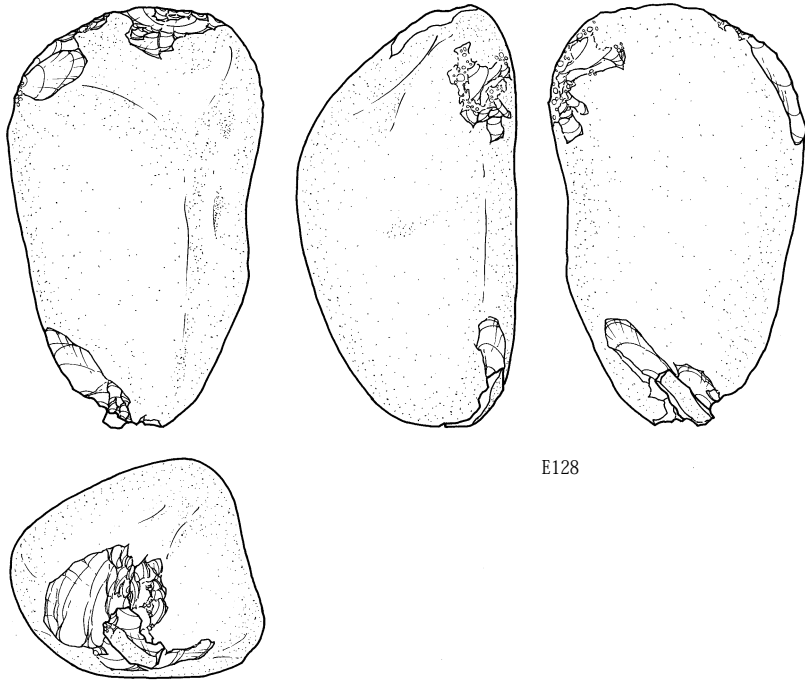


黒色頁岩 9①

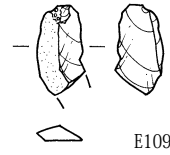


第191図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料 (13)

黒色頁岩10①

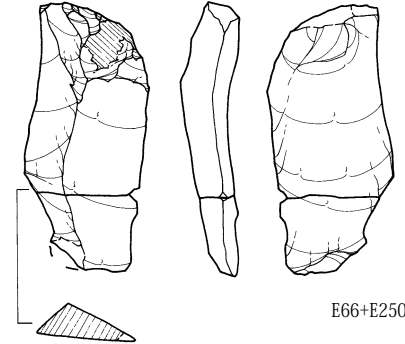


E128

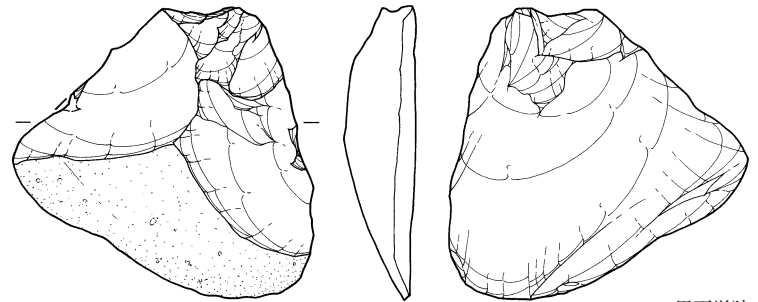


E109

黒色頁岩11①

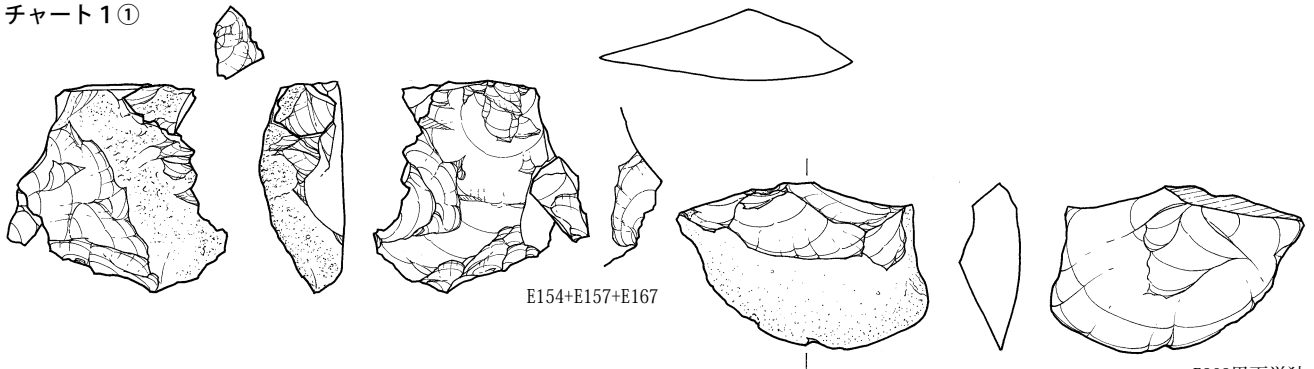


E66+E250



E224黒頁単独

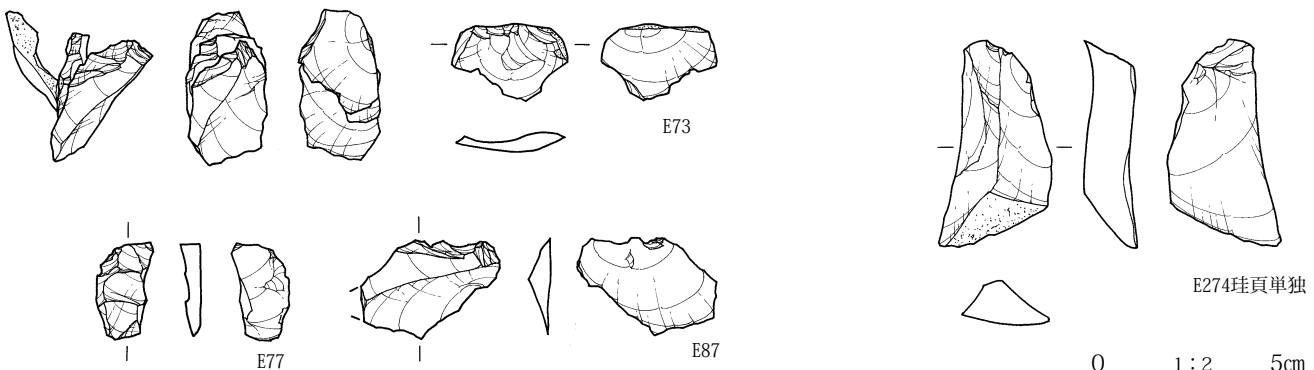
チャート1①



E154+E157+E167

E262黒頁単独

珪質頁岩1①



E73

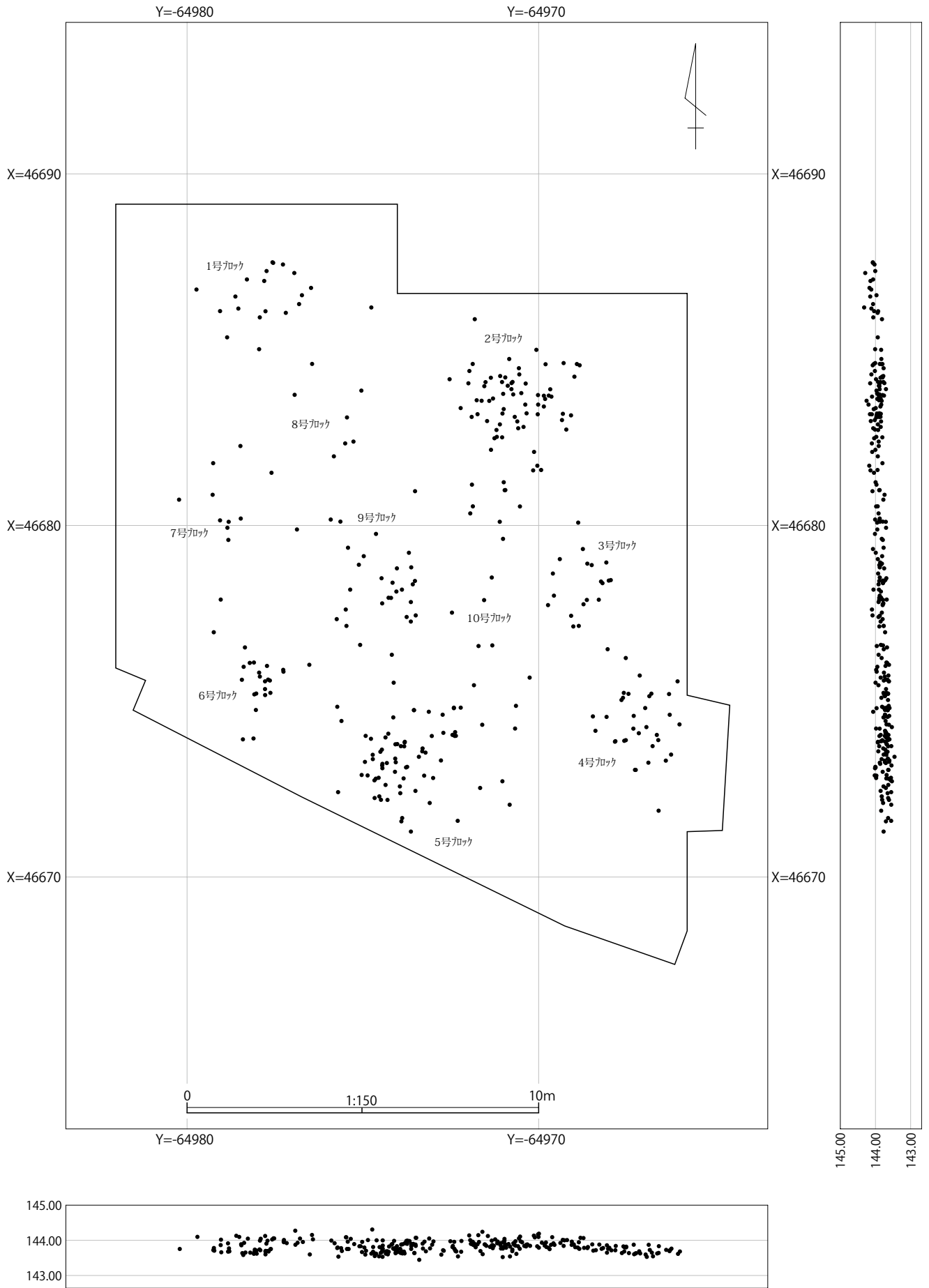
E77

E87

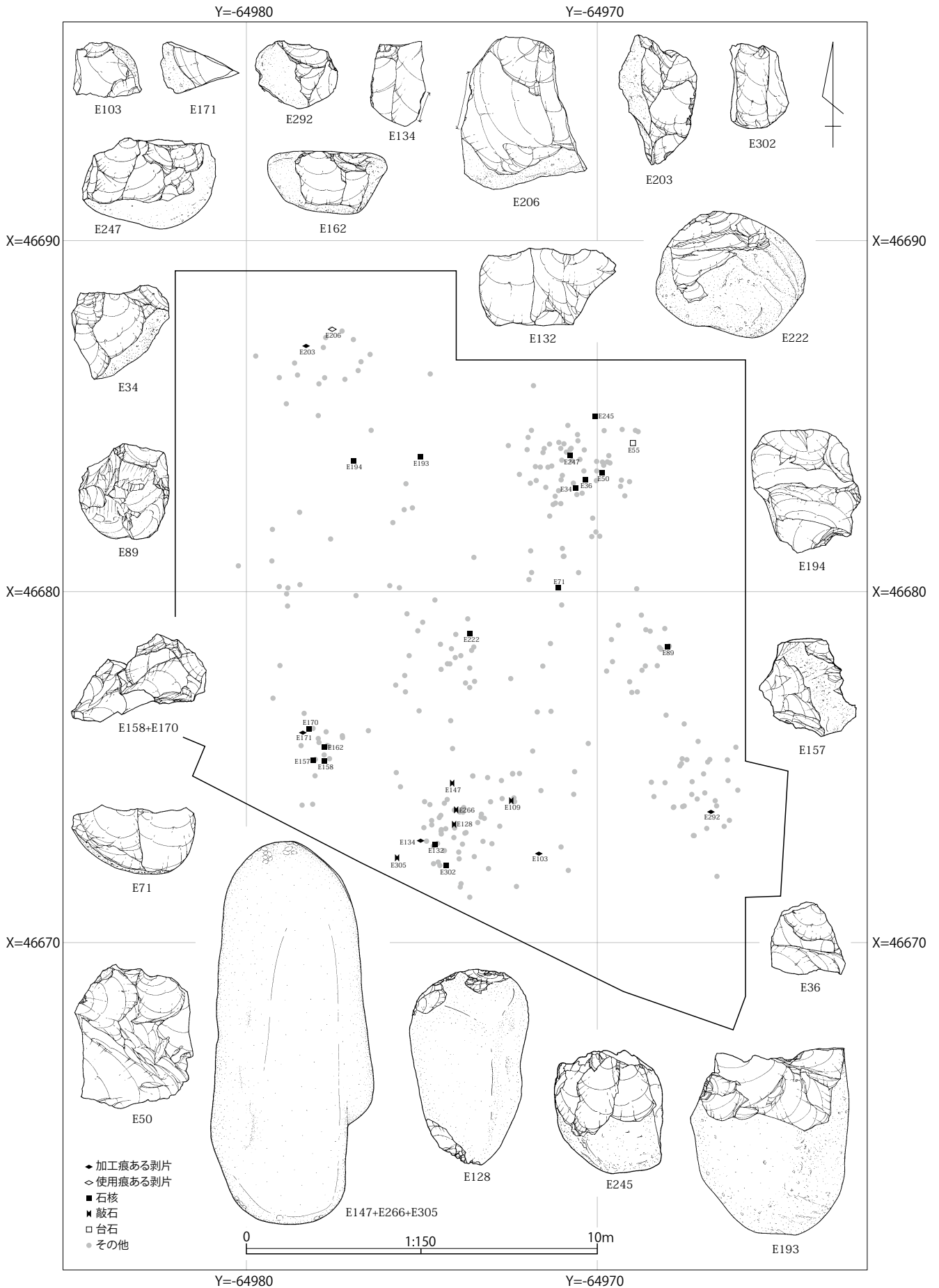
E274珪頁単独

0 1:2 5cm

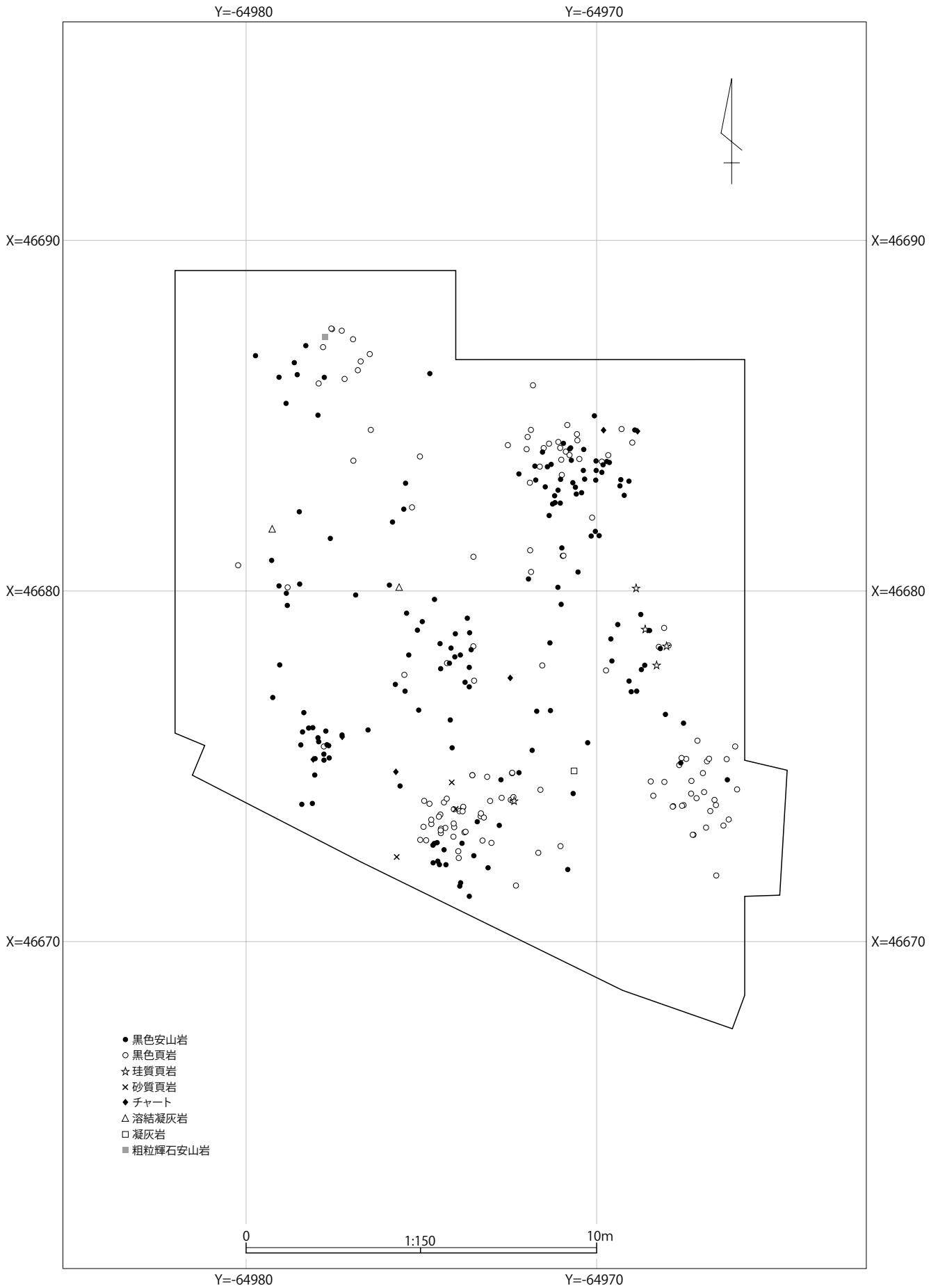
第192図 芳賀東部団地遺跡 E区 母岩別資料・接合資料 (14)



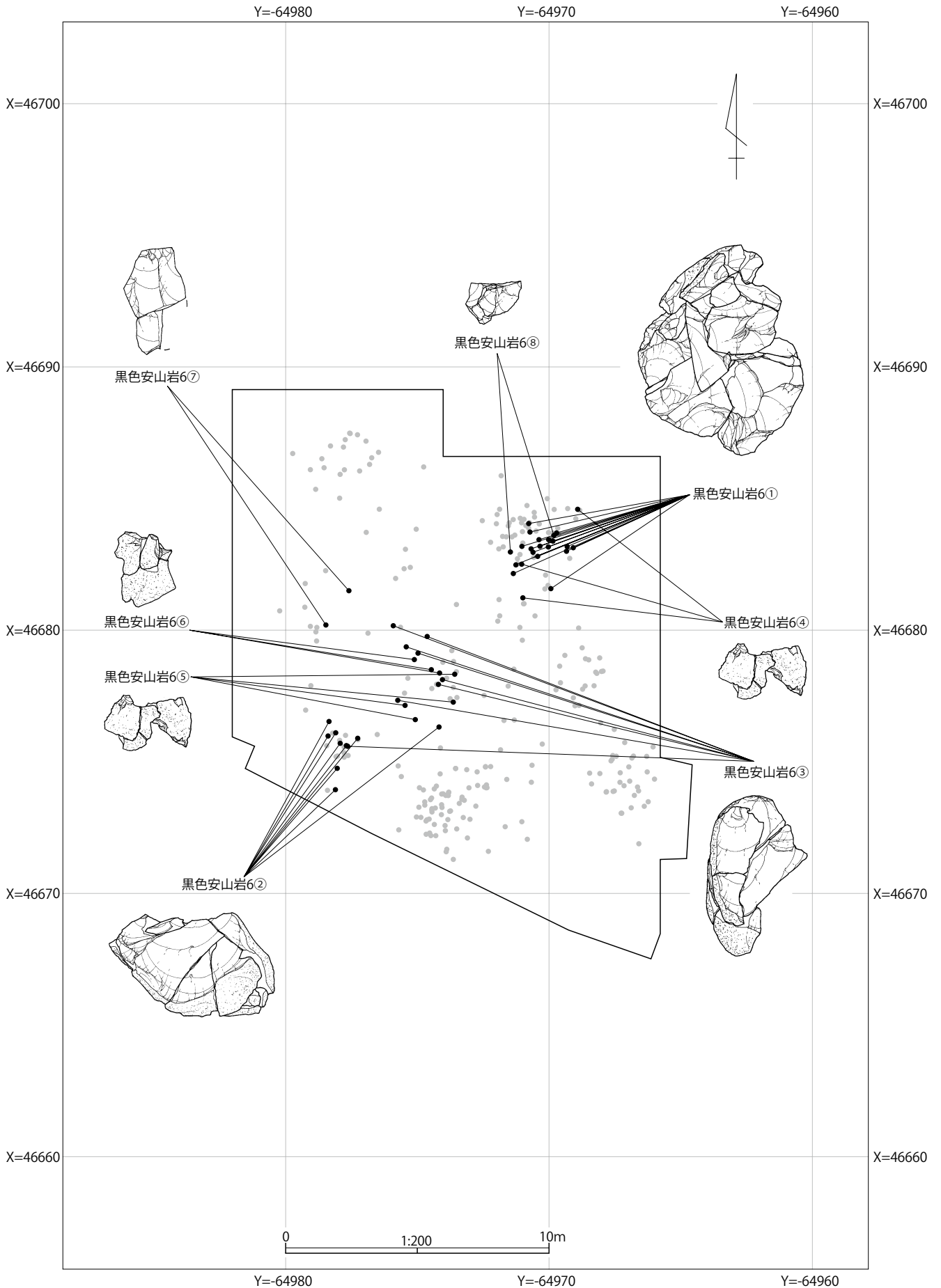
第193図 芳賀東部団地遺跡 E区 石器分布・垂直分布状況



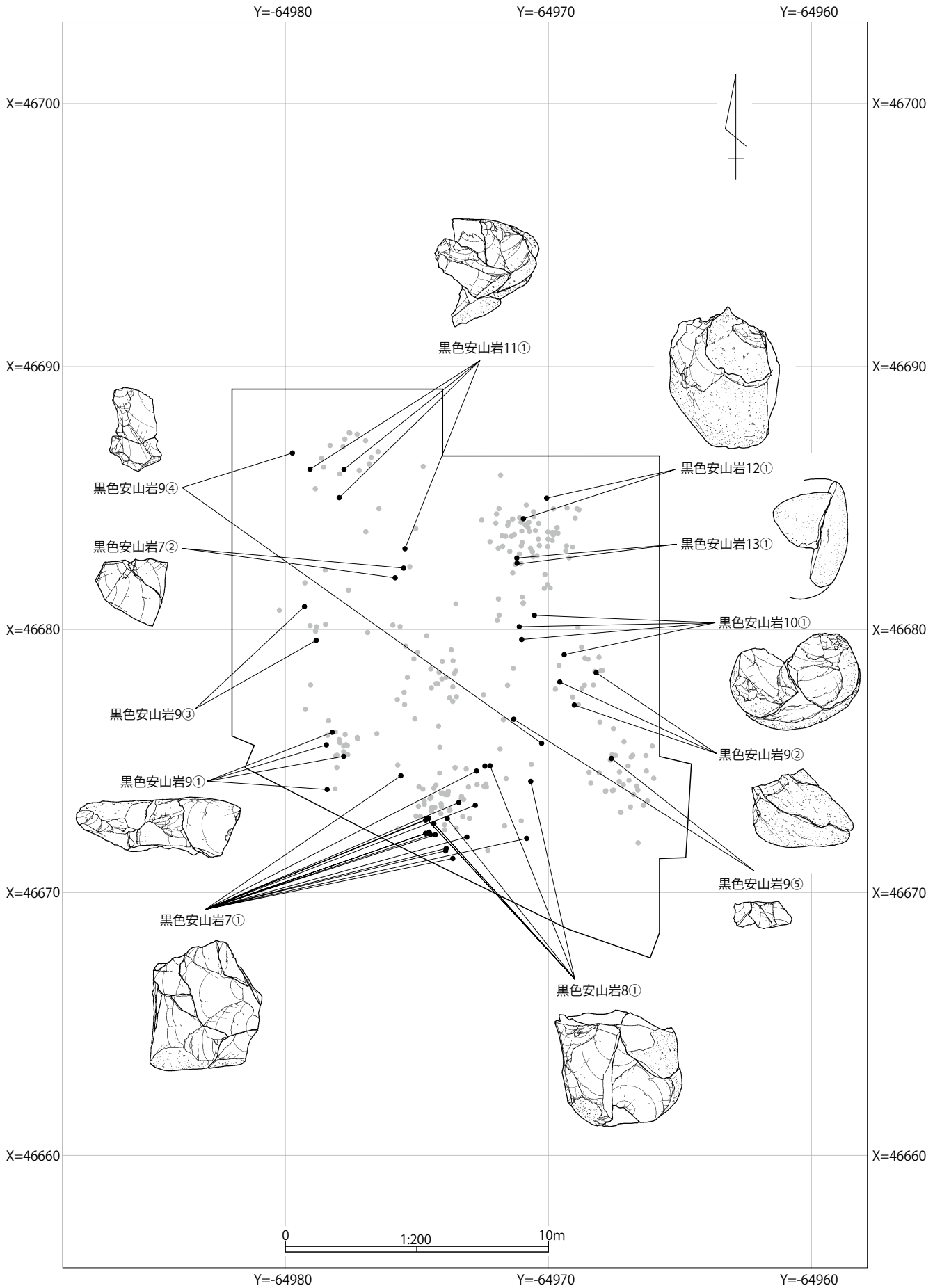
第194図 芳賀東部団地遺跡 E区 器種別分布状況



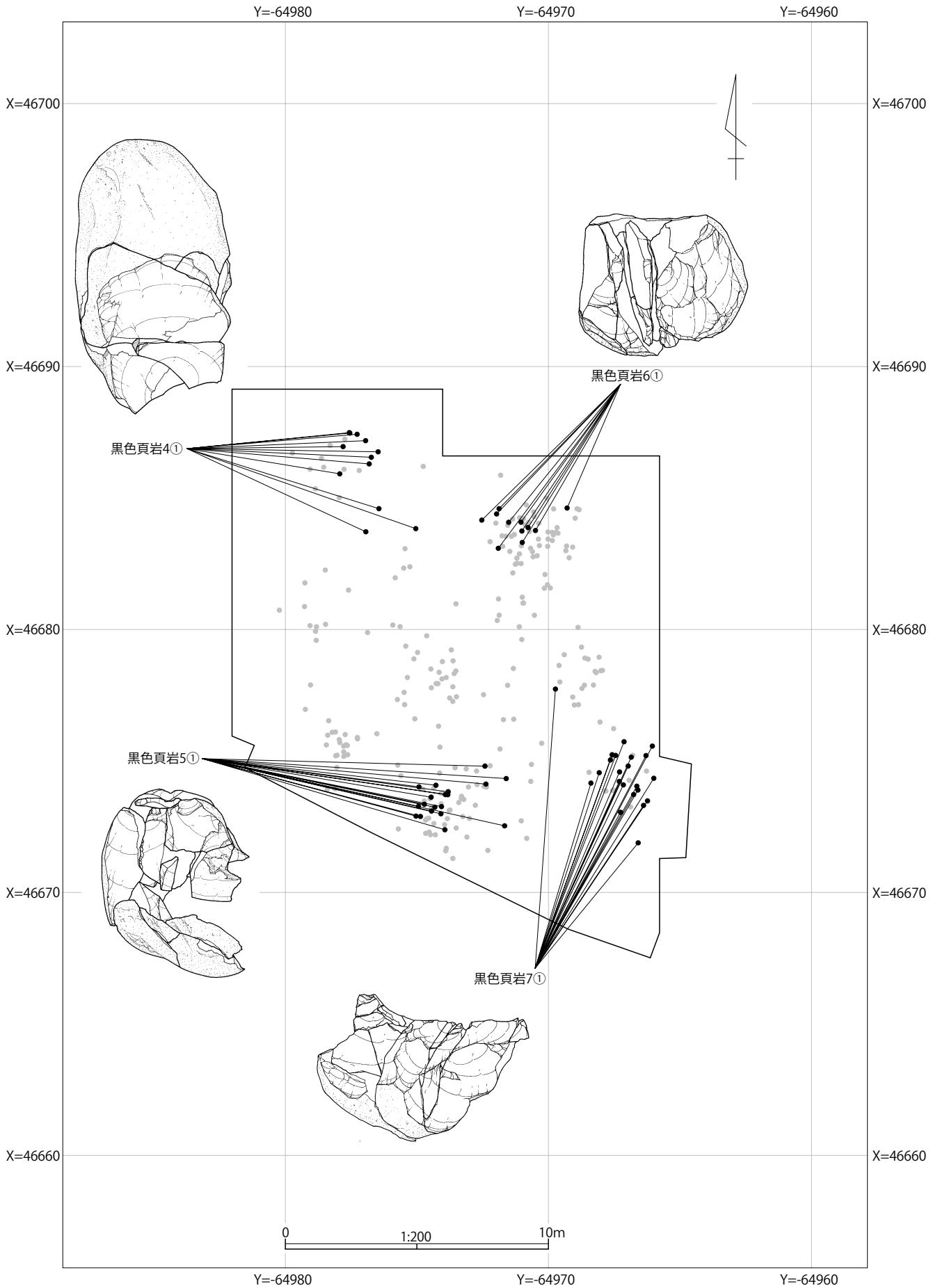
第195図 芳賀東部団地遺跡 E区 石材別分布状況



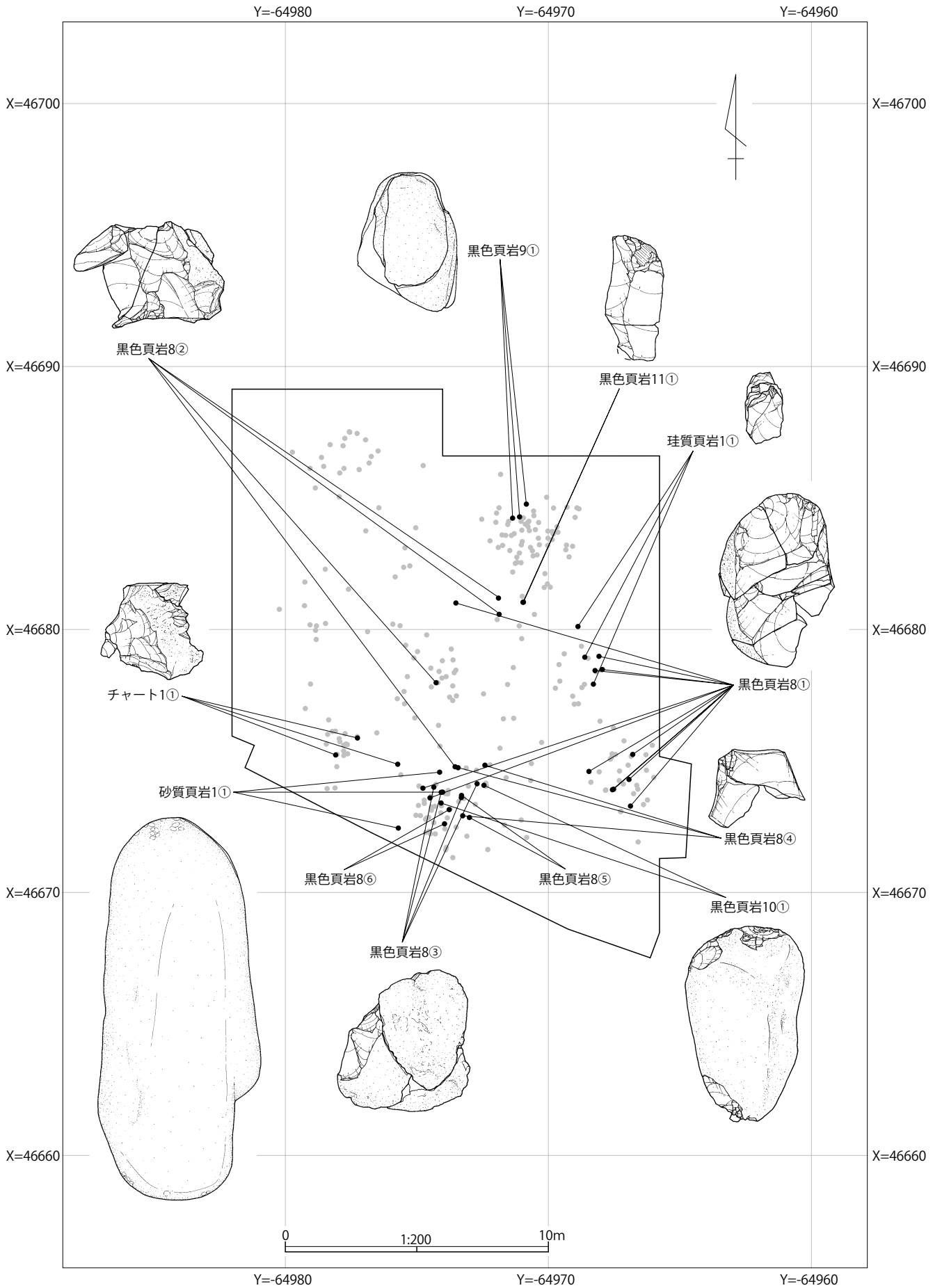
第196図 芳賀東部団地遺跡 E区 接合資料の分布状況(1)



第197図 芳賀東部団地遺跡 E区 接合資料の分布状況(2)



第198図 芳賀東部団地遺跡 E区 接合資料の分布状況(3)



第199図 芳賀東部団地遺跡 E区 接合資料の分布状況(4)

第6節 胴城遺跡

1 遺跡の概要

胴城遺跡(JK57)は赤城山南麓の細長いローム台地上にあり、東を金丸川、西を藤沢川が流れ、標高は約145～147mである。周囲は畑で南東に緩やかに傾斜しており、すぐ北には前橋市立芳賀小学校が位置する。

旧石器石器群の有無を確認するため、調査区内に16ヶ所の試掘トレンチ(2×5m)を設定した。試掘調査の結果、2ヶ所に剥片類が出土したため、これを拡張調査した。それぞれの出土層位はAs-0k1を含む黄褐色硬質ローム層(Ⅲ層)及び暗色帯下部(Ⅶ層)から榛名八崎軽石上位の硬質ローム層(Ⅸ層)までで、前者について第1文化層の石器群として報告、後者については片岩類の出土であり、データのみ記載した。

第1文化層とした石器群は調査地の中央付近(Y=-65410)にあり、約450㎡に分布することが確認されている。石器の出土地点は西側台地縁辺から80mの位置にあり、予想以上に台地の内側にあるというのが率直な印象だが、台地には微妙な地形の凹凸があり、第1文化層とした石器群はY=-65400付近から入り込んだ凹部の南東側緩斜面上に分布することが判明した。出土した石器は約80点で、黒曜石主体の石器群である。主な出土石器としては小形ナイフ形石器がある。県内旧石器遺跡では、これまでこの種の石器は少なく、単位的石器群として石器群の変遷を知る上で貴重な発見となった。

データのみ記載した片岩類の出土地点は、東側台地縁辺に近い地点(Y=-65370)で、地形が弱く南側に傾斜する地点であった。出土層位は先に述べたとおりで、暗色帯下部から榛名八崎軽石上の硬質ローム層で、片岩のみが出土する。出土点数は40点があり、調査時点では第2文化層とされていたが、本報告では参考資料として収録した。その点については、第6章で詳細に検討しており、参照していただきたい。

第200図には、上武道路が通過する赤城山南麓の基本土層を図示した。本遺跡ではⅠ層～Ⅹ層が確認されているが、Ⅱ・Ⅲ層については分離できるような堆積状況になく、Ⅴ層についても堆積が確認できない地点もあった。それより以下のロームについては確認されていない。

2 調査の経過

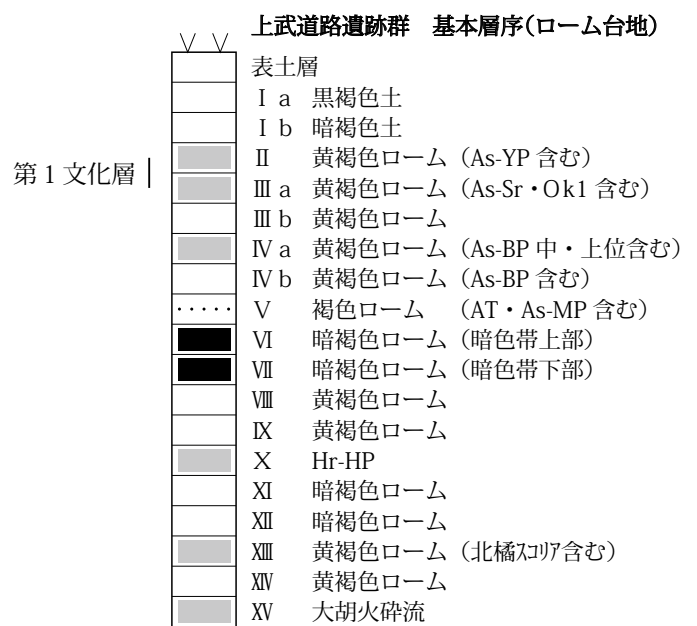
31号住居跡の掘り方調査中に、ソフトローム層(Ⅰ層)中から小形ナイフ形石器が出土した。このため、同住居の調査終了後、石器出土地点の周辺域に試掘トレンチを設定して、石器群の有無を確認した。その結果、Ⅰ層下部からⅢ層にかけて剥片類が出土することが判明、調査範囲を広げ石器分布域の確認に努めた。

石器分布は31号住居を取り囲んでいるように見えるが、住居構築時に石器包含層が壊されているのは明らかであり、発掘で得られたデータは石器群の全貌でないことを踏まえる必要がある。

なお、本遺跡の旧石器時代の遺構・遺物に関する記載は下記に報告されているが、本報告を最終内容とする。

①『年報』27(平成19年度事業概要)2008、28(平成20年度事業概要)2009 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

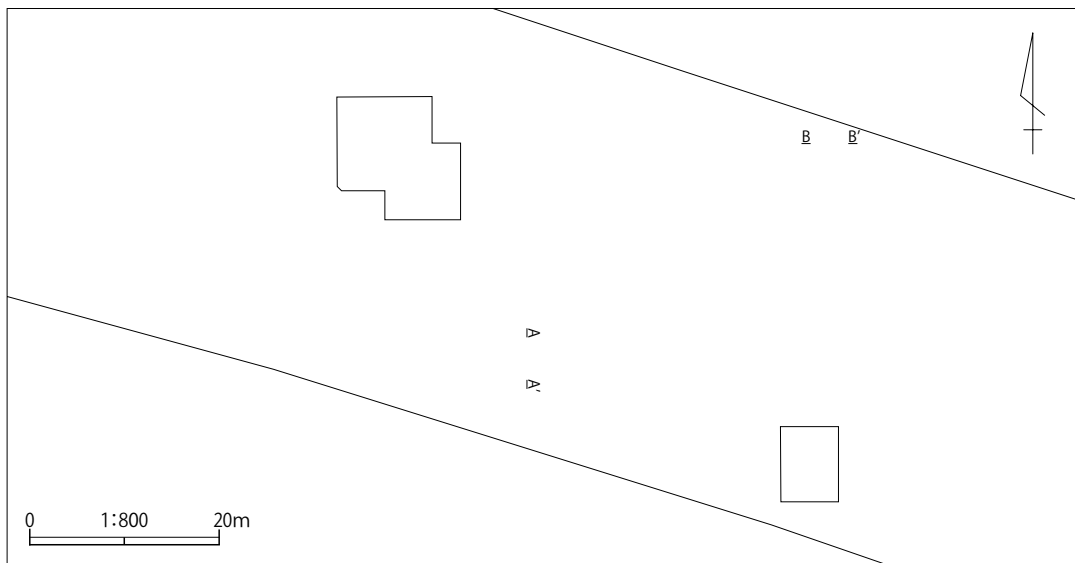
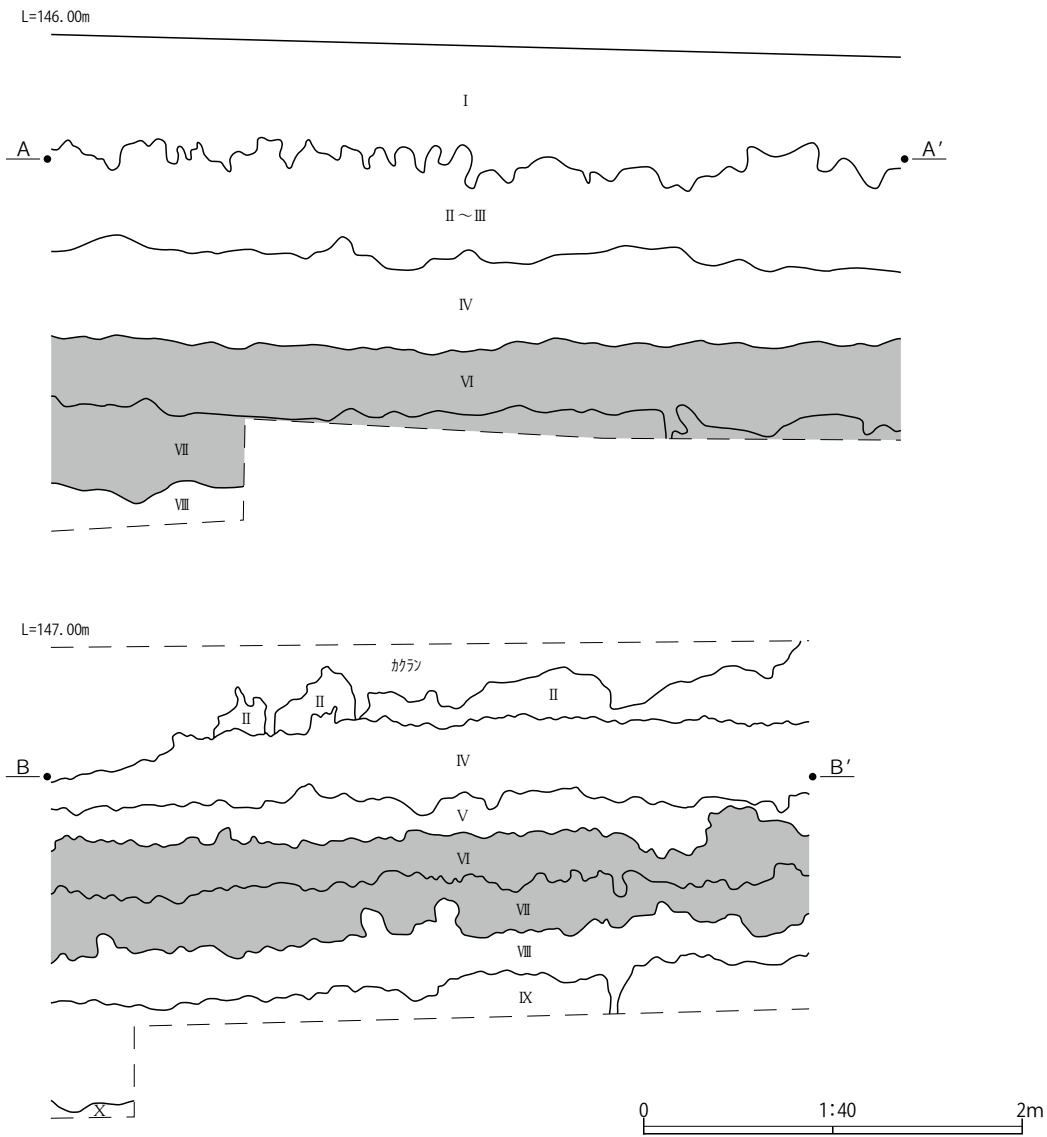
②『財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団』WEB 20年6月



第200図 胴城遺跡の文化層



第201図 洞城遺跡 石器分布状況



第202図 胴城遺跡 土層堆積状況

3 第1文化層

本遺跡で第1文化層とした石器群は、台地縁辺から80mほど内側に入り込んだ台地中央で1ヶ所が確認されている。石器群が出土した地点の地形的要素および組成面の不完全さ等については上述したとおりである。

(1) 出土層位

基本土層のⅢ層を中心にⅡ層からⅣ層にかけて出土している。テフラとの関係では浅間板鼻黄色軽石(As-YP、約13,000年前)より下位で、浅間大窪沢第1軽石(As-OP1、約17,000年前)より上位である。

(2) 検出遺構

石器の出土以外には、明確な遺構は検出されなかった。

(3) 出土遺物

第1文化層とした石器群の総点数は79点で、内訳は石器38点(48.1%)、剥片22点(27.8%)、碎片12点(15.2%)、礫・礫片7点(8.9%)である。主な石器には、ナイフ形石器9点(12.5%)、彫器1点(1.4%)、削器6点(8.3%)、加工痕ある剥片2点(2.8%)、使用痕ある剥片2点(2.8%)、石刃17点(23.6%)、台石1点(1.4%)など器種構成は豊富である。このほか剥片22点(30.5%)、碎片12点(16.7%)が出土した。石器石材は、黒曜石53点(73.6%)が最も多く、チャート9点(12.5%)、黒色安山岩5点(6.9%)、黒色頁岩2点(2.8%)、碧玉2点(2.8%)、粗粒輝石安山岩1点(1.4%)と続く(第21表参照)。出土した黒曜石については36点を原産地分析しているが、すべて小深沢産と同定(第5章 第3節参照)されている。

礫・礫片は7点が出土した。分布域北に4点が、南に3点があり、いずれも粗粒輝石安山岩である。このうち、板状・大型礫(長さ25cm・幅20cm・厚さ11cm・重さ4644g)が北側分布域に、楕円礫(長さ9.2cm・幅6.5cm・厚さ4.0cm・重さ347g)が西側分布域に出土している。

石器群は小形の黒曜石製のナイフ形石器を主体とすることから、群馬編年のⅣ期の前半、いわゆる砂川型石刃技法を多用する時期と考えられる。

次に、出土した石器を種類ごとに見ていくこととする。

ナイフ形石器(第203図、1・12・13・24・26・54・60・71・73、PL.69)9点が出土している。71は縦長剥片を素材とし、一側縁に調整を施しており、剥片剥離の際の打面を残している。石材は黒色安山岩である。73は先端部側に打面が存在した石刃を素材とし、基部及び先端部の調整を施し、さらに裏面の基部寄りの部分に平坦剥離を施している。石材は黒曜石である。12は表面側の一面に原石面を残し、小さな打面を残す石刃を素材とし、基部と先端部に調整を施している。石材は黒曜石である。13は表面側の先端部分の一面に原石面を残し、基部調整により打面を除去した縦長剥片を素材とし、石材は黒色安山岩である。26は小さな打面を残す縦長剥片を素材とし、基部に調整を施している。先端部を欠損している。石材は黒曜石である。54は打面を残す縦長剥片を素材とし、二側縁に調整を施している。先端部を僅かに欠損している。石材は黒曜石である。1は表面側の一面に原石面を残し、小さな打面を残す縦長剥片を素材とし、一側縁に調整を施している。先端部を欠損している。石材は黒曜石である。24は打面を残す縦長剥片を素材とし、一側縁と基部に調整を施している。先端部を僅かに欠損している。石材は黒曜石である。60は石刃を素材に、一側縁の先端部に調整を施し、石材は碧玉である。

彫器(第203図、52、PL.69)1点が出土している。縦長剥片を素材とし、打面側を折り取っている。また、一側縁には細かな調整を施している。石材は黒曜石である。

削器(第203図、28・42・44・55・64・72、PL.69)6点が出土している。55は打面を残す縦長剥片を素材とし、一側縁に抉入状の細かな調整を施している。表面側の片側一面すべてと打面の一部に原石面を残していることから、角柱、あるいはサイコロ状の形状の原石と考えられる。石材は黒曜石である。44は表面側の一面に原石面を残す縦長剥片を素材とし、打面を残して先端部を折り取っている。一側縁に大きな調整を施している。石材は黒曜石である。28は打面を残す

石刃を素材とし、先端部を折り取っている。両側縁の表裏面に調整を施している。石材は黒曜石である。42は先端部に原石面を残し、打面部を折り取って除去した縦長剥片を素材とし、一側縁の表裏面に小さな調整を施している。石材は黒曜石である。72は打面部を折り取って除去した縦長剥片を素材とし、一側縁の一部に小さな調整を施している。

石材は黒曜石である。64は表面側の一面に原石面を残し、打面部を残す縦長剥片を素材とし、一側縁の表裏面に大きな調整を施している。石材は黒曜石である。

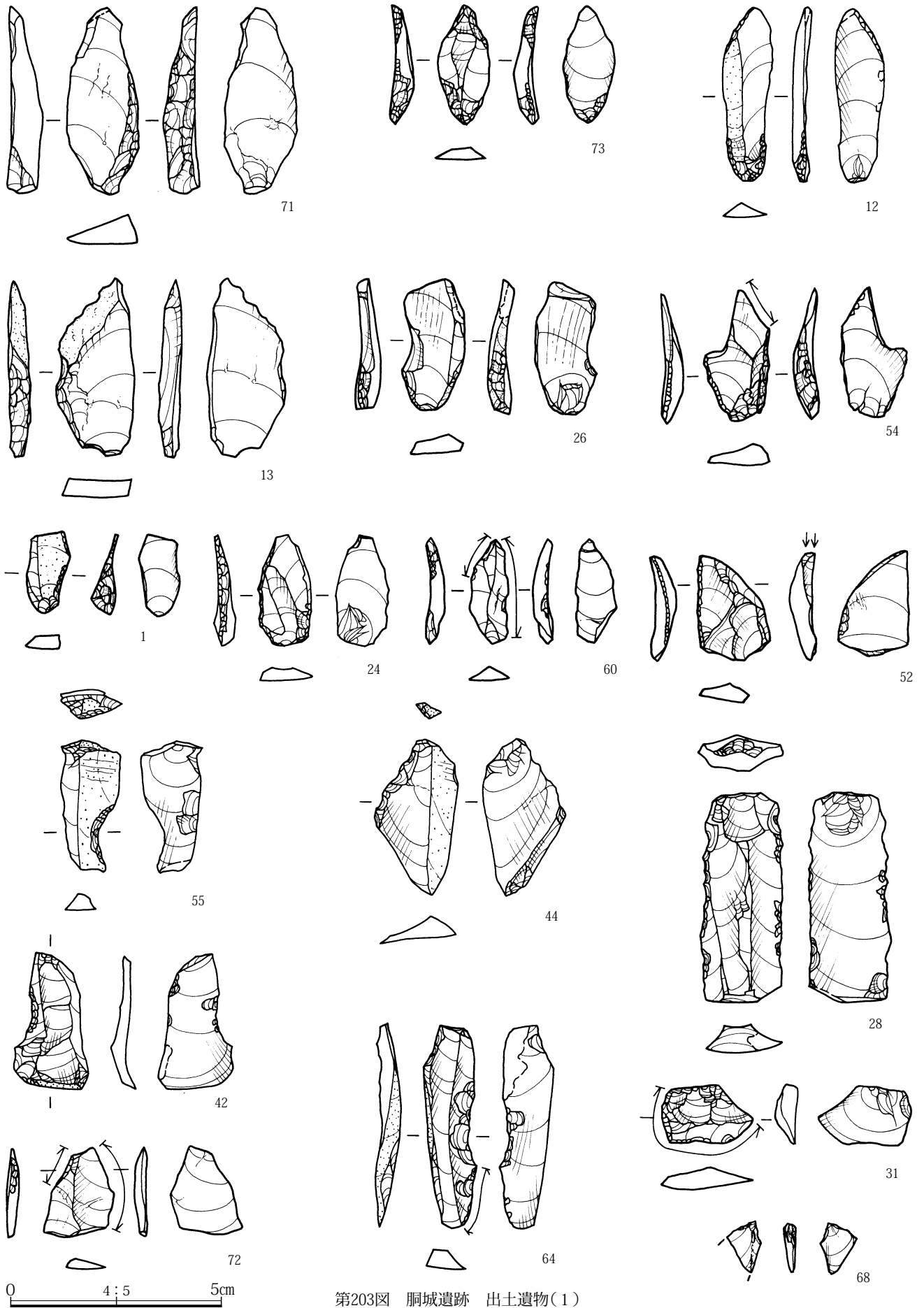
加工痕ある剥片(第203図、31・68、PL.69) 2点が出土している。31は剥離面調整が認められる横長の剥片を素材とし、一側縁と下縁に調整を加えている。石材は黒曜石である。68は小形の剥片を素材とし、基部側の一側縁に調整を加え打面を除去している。石材は黒曜石である。

使用痕ある剥片(第204・205図、58・59、PL.69・70) 2点が出土している。58は小形の剥片で一側縁に使用痕が認められる。石材は黒曜石である。59は表面側の一面が原石面の縦長剥片を素材とし、石材は黒曜石である。

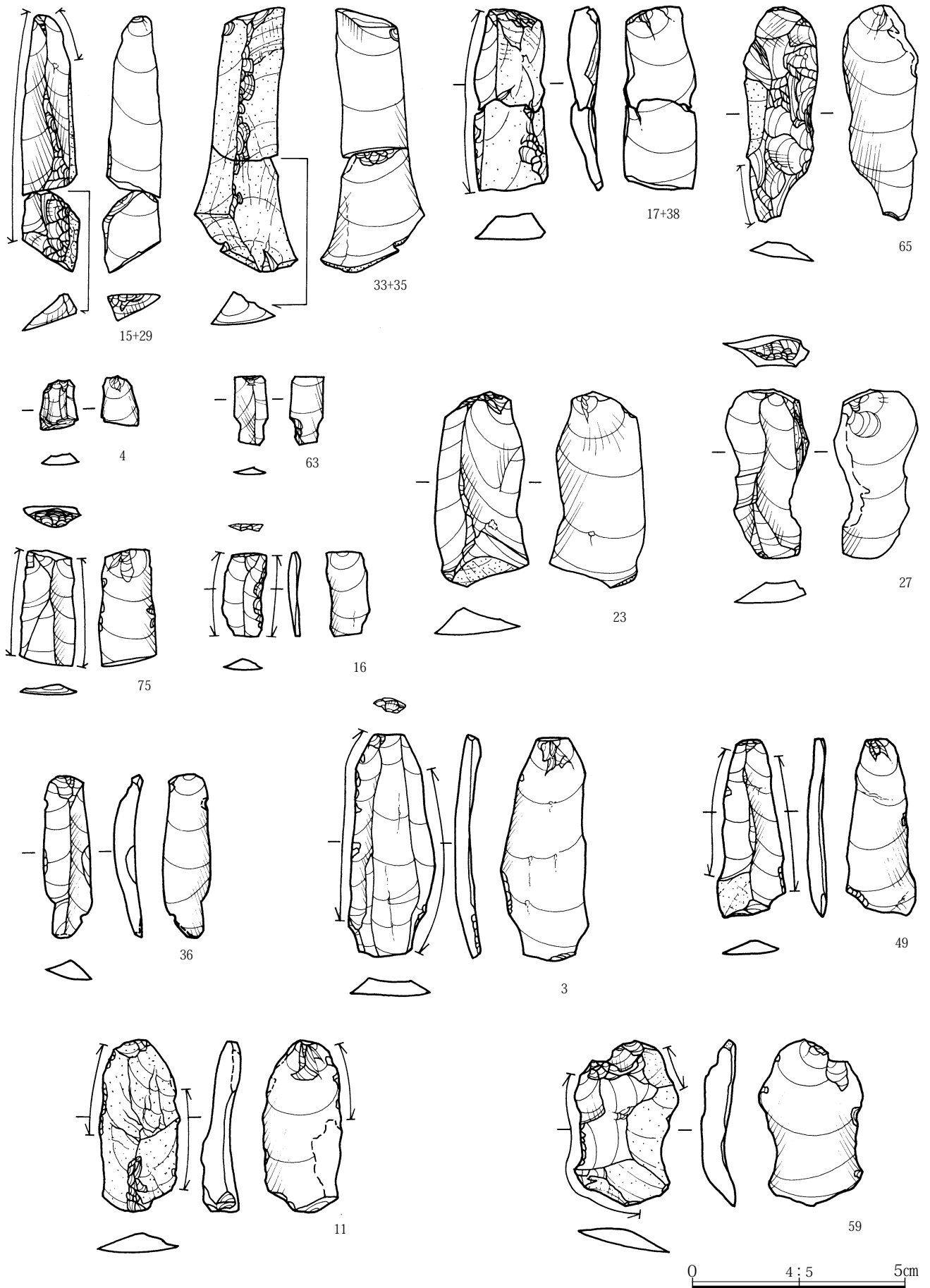
石刃(第204図、3・4・11・15・16・17・23・27・29・33・35・36・38・49・63・65・75、PL.69) 17点が出土している。15+29は表面側の一面が原石面の幅が細い石刃で、小さな打面をもち、一側縁に使用痕が認められる。石材は黒曜石である。33+35は背面側全体に原礫面を残す中形石刃の接合資料である。角礫稜部を取り込んだ原石消費の初期段階で剥離されたもので、打面部が折り取られている。折断されたのち、35の裏面側に細部加工が施されている。石材は黒曜石である。17+38は表面が幅の狭い剥離面一面だけで、残りはすべて原石面の石刃である。石材は黒曜石である。65は剥離面の調整を多数施されている石刃で、小さな打面をもつ。石材は黒曜石である。4は小さな打面をもつ幅が細い石刃で、先端部を欠損している。石材は黒曜石である。63は打面部と先端部を欠損している。石材は黒曜石である。75は表面から折られており、両側縁に使用痕が認められる。石材は黒曜石である。16は小さな打面をもつ幅が細い石刃で、小さな打面をもち、一側縁に加工痕、もう一側縁に使用痕が認められる。先端部を欠損している。石材は黒曜石である。23は小さな打面をもつ石刃で、先端部部分に原石面が残る。石材は黒曜石である。27は打面が残る石刃で、石材は黒曜石である。36は表面側の一面が原石面の幅が細い石刃で、一側縁に使用痕が認められる。石材は黒曜石である。3は小さな打面をもつ石刃で、両側縁に使用痕が認められる。石材は黒曜石である。49は表面側の先端部分の一面が原石面の幅が細い石刃で、小さな打面をもち、両側縁に使用痕が認められる。石材は黒曜石である。11は表面全面に原石面を残し、小さな打面を残す素材であり、一側縁に調整を施している。石材は黒曜石である。接合資料の石刃も石材はすべて黒曜石である。

第21表 胴城遺跡 第1文化層 組成表

| | ナイフ | 彫器 | 削器 | 加工痕 | 使用痕 | 石刃 | 台石 | 剥片 | 碎片 | 礫 | 礫片 | 総計 |
|---------|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|---|----|----|
| 黒色安山岩 | 2 | | | | | | | | 3 | | | 5 |
| 黒色頁岩 | | | | | | | | 2 | | | | 2 |
| 黒曜石 | 6 | 1 | 6 | 2 | 2 | 17 | | 14 | 5 | | | 53 |
| チャート | | | | | | | | 5 | 4 | | | 9 |
| 碧玉 | 1 | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| 粗粒輝石安山岩 | | | | | | | 1 | | | 2 | | 5 |
| 総計 | 9 | 1 | 6 | 2 | 2 | 17 | 1 | 22 | 12 | 2 | 5 | 79 |



第203図 洞城遺跡 出土遺物(1)



第204圖 桐城遺跡 出土遺物(2)

(4)母岩別資料・接合資料(第205・206図、PL.70)

接合資料は、10例29点がある。礫片類を除いた72点が接合対象となり、29点が接合(接合率は40.3%)した。接合資料は黒曜石が圧倒的に多く8例25点があり、集中的に母岩消費したことが分かる。黒曜石以外の接合資料にはチャートの接合例が2例あるのみである。

黒曜石・チャートは母岩レベルでは1個体と見做されることになるが、黒色安山岩・黒色頁岩・碧玉は接合関係がないものの、いずれも不定形剥片類であることが注意されよう。

黒曜石1(第204・205図、PL.69・70)石質はやや半透明ながら、透明度は高い。斑状・筋状の模様を含む。同じ母岩別資料が53点で、そのうち8例25点が接合した。

黒曜石1-①(第205図、PL.70)ナイフ形石器1点と削器1点、石刃2点(うち1点は折断)、剥片3点(うち2点は折断)の計7点からなる接合資料である。剥離は同一の打面から順次行われ、さらに打面転移をしている。24(ナイフ形石器)→打面転移→○→27(石刃)→42(削器)→14(剥片)→30(剥片)+51(剥片:折断)→23(石刃)

黒曜石1-②(第205図、PL.70)削器1点、石刃3点(うち2点は折断)の計4点からなる接合資料である。剥離は同一の打面から順次行われて、さらに打面転移をして、連続して石刃を剥ぎ取っている。65(石刃)→15(石刃)+29(石刃:折断)→○打面転移→○→64(削器)

黒曜石1-③(第205図、PL.70)ナイフ形石器1点と石刃2点(折断)の計3点からなる接合資料である。剥離は同一の打面から順次行われている。33(石刃)+35(石刃:折断)→12(ナイフ形石器)

黒曜石1-④(第205図、PL.70)使用痕ある剥片1点、剥片2点からなる接合資料である。剥離は同一の打面から順次行われ、さらに打面転移をしている。58(使用痕ある剥片)→2(剥片)→打面転移→43(剥片)

黒曜石1-⑤(第205図、PL.70)削器1点、石刃1点の計2点の連続した剥離による接合資料である。剥離は同一の打面から順次行われている。… ○→28(削器:折断)→75(石刃:折断)

黒曜石1-⑥(第204図、PL.69)石刃2点による接合資料である。17(石刃)+38(石刃)

黒曜石1-⑦(第205図、PL.70)削器2点の接合で、剥離は同一の打面から連続して行われている。… ○→44(削器)→55(削器)

黒曜石1-⑧(第205図、PL.70)剥離時に縦位破損した剥片2点の接合資料である。… ○→48(剥片)+66(剥片)

黒曜石1とした母岩別資料には非接合資料28点がある。その内訳はナイフ形石器4点、彫器1点、削器1点、加工痕ある剥片2点、石刃8点、剥片8点、碎片4点である。

チャート1の色調はオリーブ灰(Hue10Y4/2)、自然面は概して平滑である。母岩の形状及び大きさは復元できない。同じ母岩別資料7点があり、そのうち2例4点が接合した。

チャート1-①(第206図、PL.69)2点の接合資料である。74(剥片)→○ … ○→77(剥片)

チャート1-②(第206図、PL.69)剥離時に縦位破損した剥片2点の接合資料である。46(剥片)+21(剥片)

チャート1の母岩別資料には非接合資料として剥片3点がある。

碧石1(第206図、PL.70)色調は暗赤色(Hue7.5R3/4)を呈し、自然面は平滑である。ナイフ形石器(60)と剥片(50)がある。

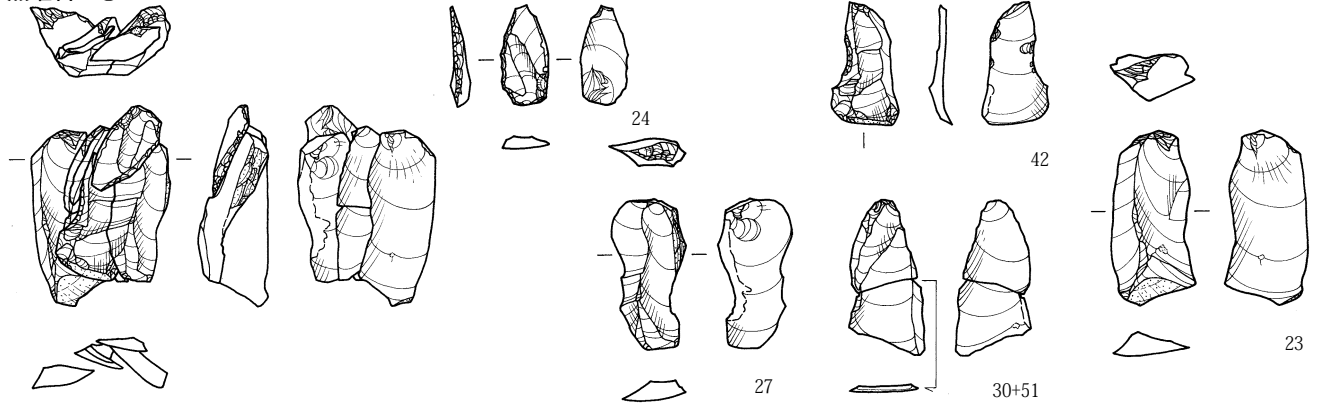
黒色頁岩(第206図、PL.70)非接合資料2点があり、いずれも剥片(22・57)である。

黒色安山岩(第203図、PL.69)非接合資料は、ナイフ形石器2点(13・71)と碎片3点がある。

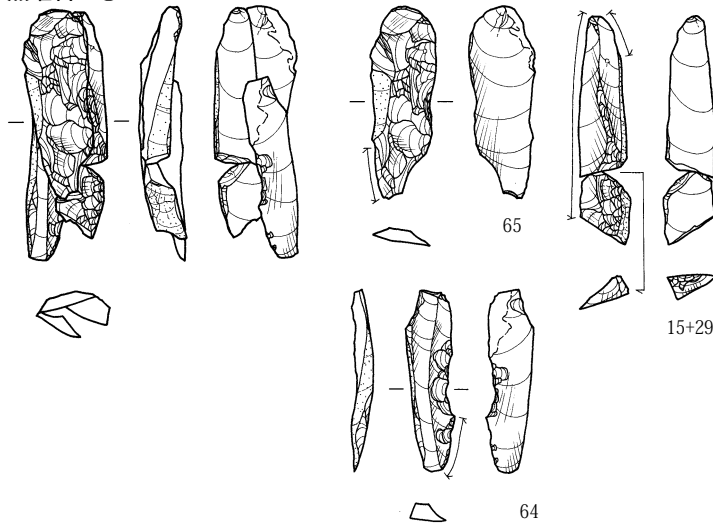
(5)剥片剥離技術

本遺跡での剥片剥離技術は、前述したように砂川型石刃技法、すなわち同一打面からの連続した剥片剥離と、剥離の手詰まりに対処した頻繁な打面転位が特徴である。特に、黒曜石の接合資料から打面再生剥片の剥離による打面再生や、90°の打面転位により剥片剥離方向の変換が図られているのが顕著であるが、剥片に残る背面側・剥離面構成や石核の様子から、打面の位置を180°転位させるような両極打法は用いられていない。これは、黒曜石の小さな原石のサイズに規制されたものなのかもしれない。

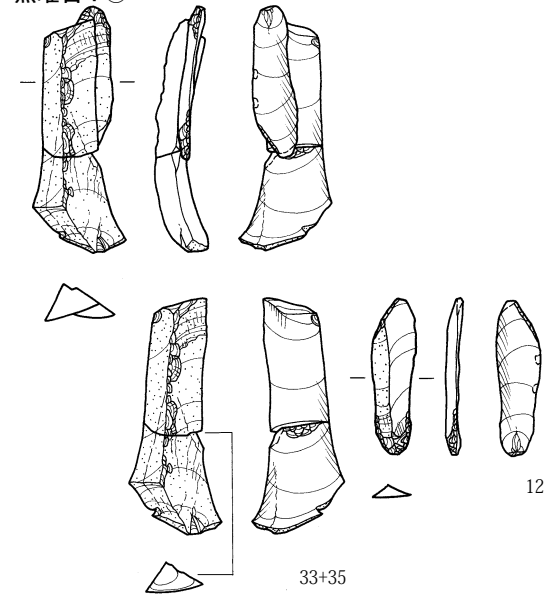
黑曜石 1 ①



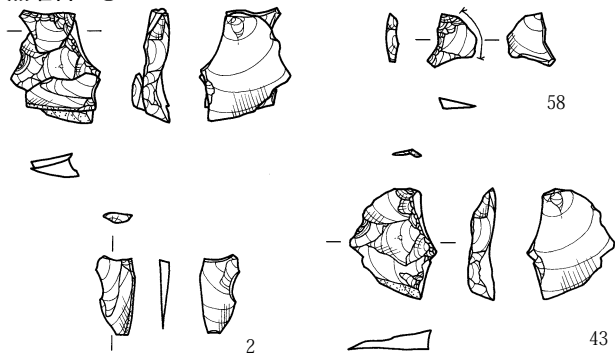
黑曜石 1 ②



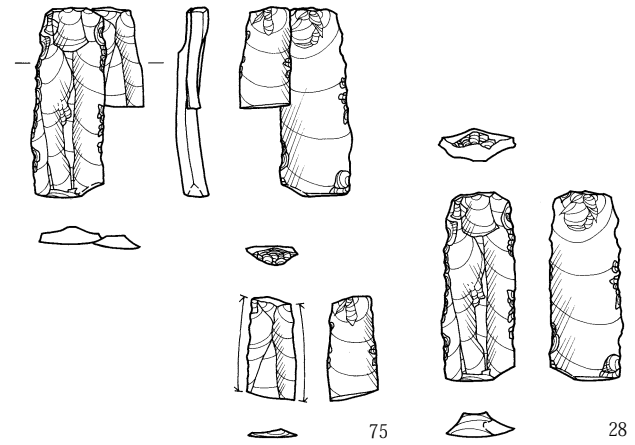
黑曜石 1 ③



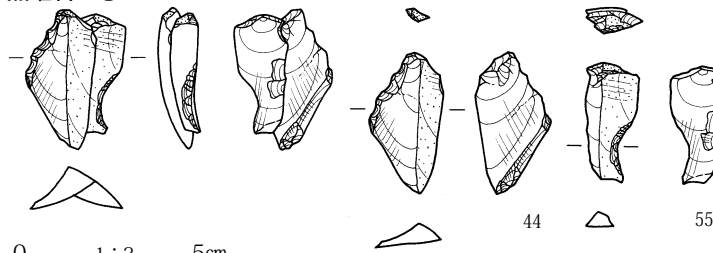
黑曜石 1 ④



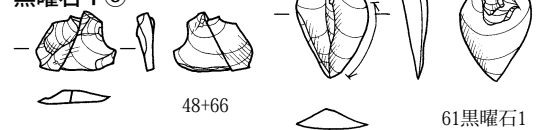
黑曜石 1 ⑤



黑曜石 1 ⑦

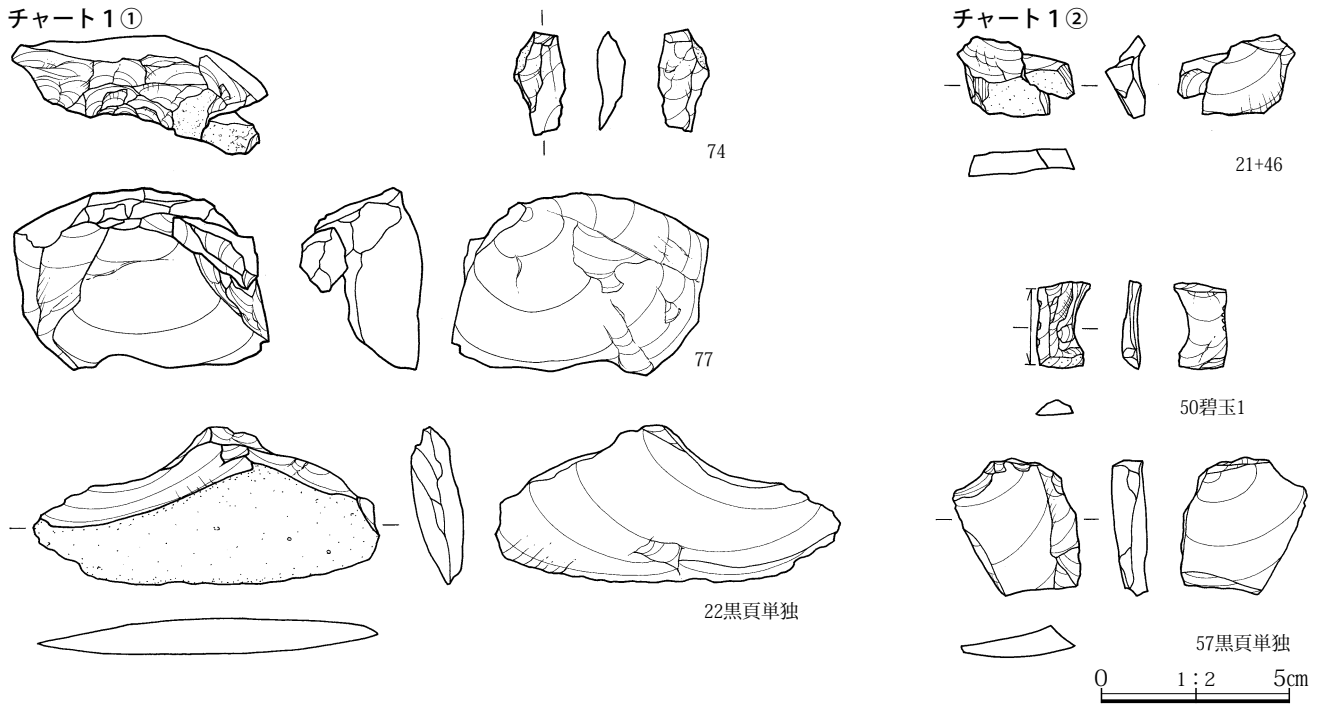


黑曜石 1 ⑧



0 1:2 5cm

第205图 桐城遺跡 母岩別資料・接合資料(1)



第206図 桐城遺跡 母岩別資料・接合資料(2)

(6) 分布状況(第207図、PL.68-2・3)

第1文化層とした石器群の分布域には、その北東側で古代住居2棟が重複しており、石器分布が完全でないことは明らかである。ここではやや空白部のある調査区南西の地点と、それより東の地点に大別して捉えておきたいが、北側の地点にチャートが遍在しており、見た通り3ブロックが認定できるかもしれない。石器群の確認が遅れ、周辺部の拡張が不十分であることを前提に理解する必要がある。

現状で石器群は径10mほどの範囲に分布、北側に粗粒輝石安山岩製の礫(台石様の大型礫を含む)が集中することや、チャート製の剥片類が集中しており、これが場の機能差ということになる可能性がある。

(7) 石器の分布(第208図)

各石器分布域の器種組成は均質であり、とくに大きな差は見られない。各ブロックの差異を指摘するとすれば、北側ブロックに剥片類が多く分布することであり、少なくともこの地点で剥片生産が行われたであろうことが想定される程度である。同地点には、台石様の厚い板状礫(長さ25cm・幅20cm・厚さ11cm・重さ4644g、未掲載、打痕等は見られない)があり、剥片生産の場としての可能性を支持している。南側ブロックについては剥片類が量的に少ないにもかかわらず、接合資料が多い点が気になる場所である。素直に取れば北側ブロックで剥離したものを南側ブロックに持ち出しているということになるだろうが、同ブロックは古代住居2棟と重複しているため、判然としない。西側分布域には敲石様の楕円礫(347g、未掲載、打痕なし)が1点のみ出土した。

(8) 石材の分布(第209図)

剥片系石器としての石材は黒曜石をはじめとする5種類(第21表)ということになる。礫類に多い粗粒輝石安山岩を含め石材分布としての傾向性を指摘するとすれば、チャート・粗粒輝石安山岩が北側ブロックに偏在することが明らかである。その他の石材は各ブロックに特に遍在する傾向はなく、碧玉(南側・西側ブロックに各1点)や黒色頁岩(北側・南側ブロックに各1点)など、出土量の少ない石材がブロック間にあるという傾向がある。

前述したように、本文化層は黒曜石が主体を占める石器群であり、これらの石器は原産地分析の結果、すべてが小深沢産と同定された(第5章第3節参照)。

(9) 接合資料の分布(第210図)

接合資料は10例29点がある。接合資料は各ブロックとも確認されているが、南側ブロックに多く分布する傾向がある。

内訳は、黒曜石8例25点・チャート2例4点であり、黒曜石製剥片類の接合が圧倒的に多い。打面調整剥片の可能性が高い黒曜石1④を除いた黒曜石1(①・②・③・⑤)は石刃剥離関連の接合資料であり、北側ブロックを除く各ブロックに分布、その遍在性が明らかである。チャートには2例の接合資料2例4点があり、4点中3点が南側ブロックに分布した。接合資料は2例とも同一母岩であり、石核作業面を側縁に取り込んだ厚い大型剥片と小片が接合するものであり、これより後の剥離は別地点で行われたということだろう。

本遺跡で出土した黒曜石は縞状の模様が特徴的で、高さ10cm弱の原石1個体を消費しているものと考えているが、先に述べたとおり、黒曜石製剥片類は北側の1号ブロックに多く分布した。このことから、この地点に主たる剥離地点が想定されるのであるが、接合資料は北側ブロックより南側ブロックに多く分布するという事実を踏まえ、場の機能分析は行われるべきであると考えている。常識的には、北側ブロックで剥離された石刃類が周辺ブロックに持ち出されたということになるが、チャート製剥片類のそれは南側ブロックが剥離地点であることを示唆した。石器群は古代集落により包含層が壊されており、条件的に制約されていることを認識する必要がある。

4 その他(第211図、PL.68・73・74)

本遺跡では旧石器時代石器群の有無を確認するため、上面の遺構調査終了後、試掘調査が東側の台地縁辺に近い部分から行われた。試掘調査を開始してまもなく、台地縁辺から20mほど入り込んだ地点(N・0-12・13グリッド)で片岩類が出土することが判明した。当時は、まだローム層中の片岩類が特に問題とされておらず、片岩片のみ出土する場合は拡張調査し、分布域が絞られたところでそれを取り上げる方針が取られた。

この地点で取り上げた礫・礫片類は計61点であり、その出土層位は暗色帯下部(VII層)から榛名八崎軽石層上位の褐色硬質ローム層(IX層)とされている。礫・礫片には片岩類(雲母石英片岩28点・45.9%、黒色片岩10点・16.4%、緑色片岩2点・3.3%、結晶片岩様岩石1点・1.6%)以外に、粗粒輝石安山岩・溶結凝灰岩・チャート・珪質変質岩・砂岩・珪質頁岩・石英があるとされた(第22表を参照)。本遺跡では各種礫片類が網羅的にサンプリングされている確証はないが、おおむねローム層中の礫構成を示しているものと考えている。これについては、第6章で詳述する予定である。片岩類は $X=46860 \cdot Y=-65370$ 付近に集中分布した。片岩類3種(雲母石英片岩・黒色片岩・緑色片岩)の分布は雲母石英片岩の分布が広く、その分布域の中に黒色片岩がスポット的にあり、緑色片岩は調査区南に偏在するように見える。その他の石材についても、概ね分布域は重なりそうである。片岩類の出土状態について垂直方向に10cmに区切り検討したところ、片岩類はレベル的に80cmの幅があり、最上位から50cm下位に出土量のピークがあるようで、このピークの上位より下位の出土量が多く、全体としては下膨れ感のある曲線となることが判明した。これについてこれ以上コメントするデータは得られていないが、榛名八崎軽石層下の片岩類の動向が気になる。今後の課題としておきたい。

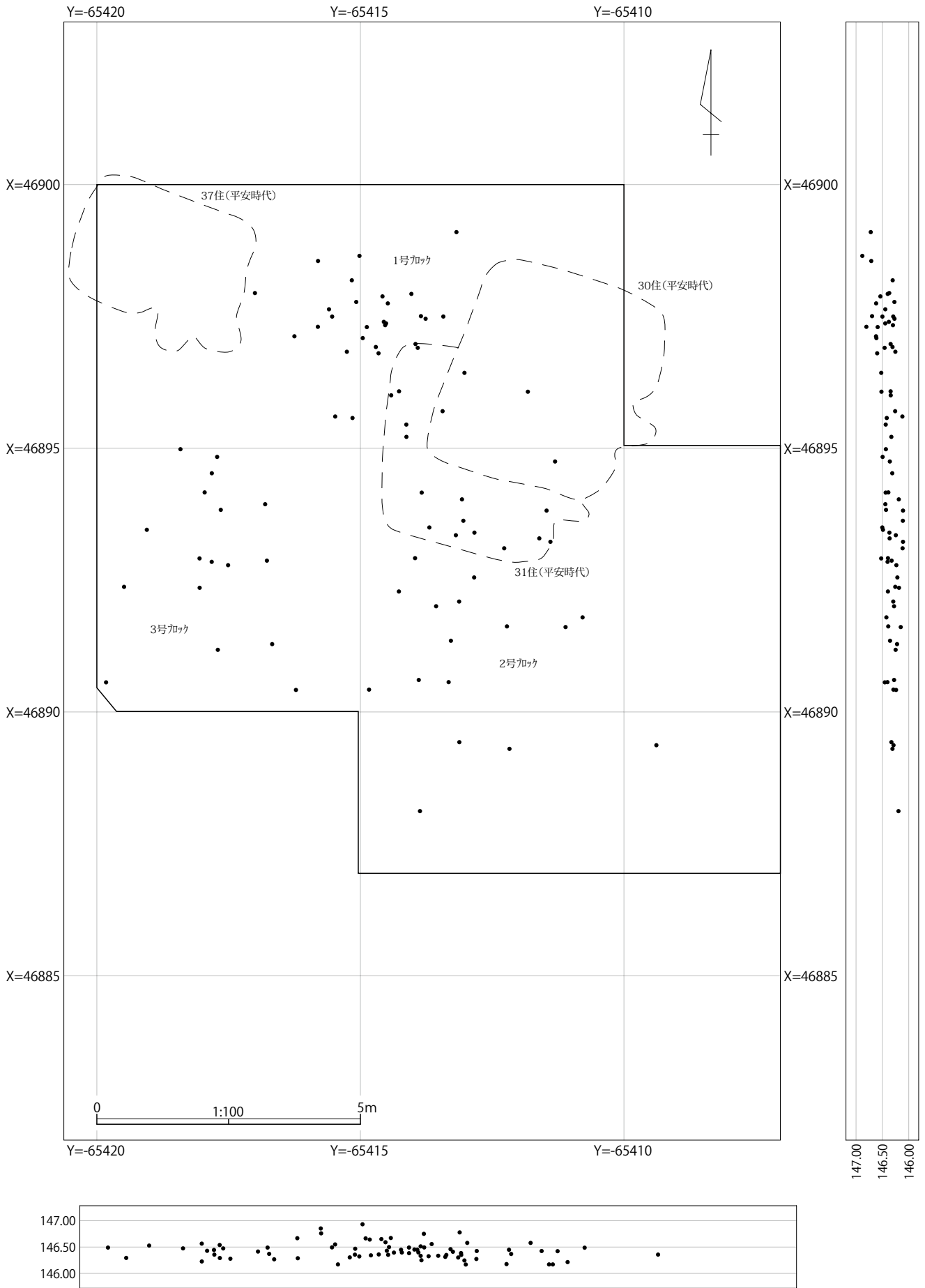
本遺跡の調査面積は50㎡弱であったので、片岩類は㎡あたり1.27点が出土したことになるが、試掘調査は200㎡であるので、正確には㎡あたり0.3点が出土したことになる。この数値は試掘面積が増えるほど下がる性格のものであり、目安となるだけであるが、上武旧石器遺跡群(1)(2)掲載の12遺跡から得られたデータによれば、片岩類が旧石器に

第22表 胴城遺跡 礫類・自然石組成表

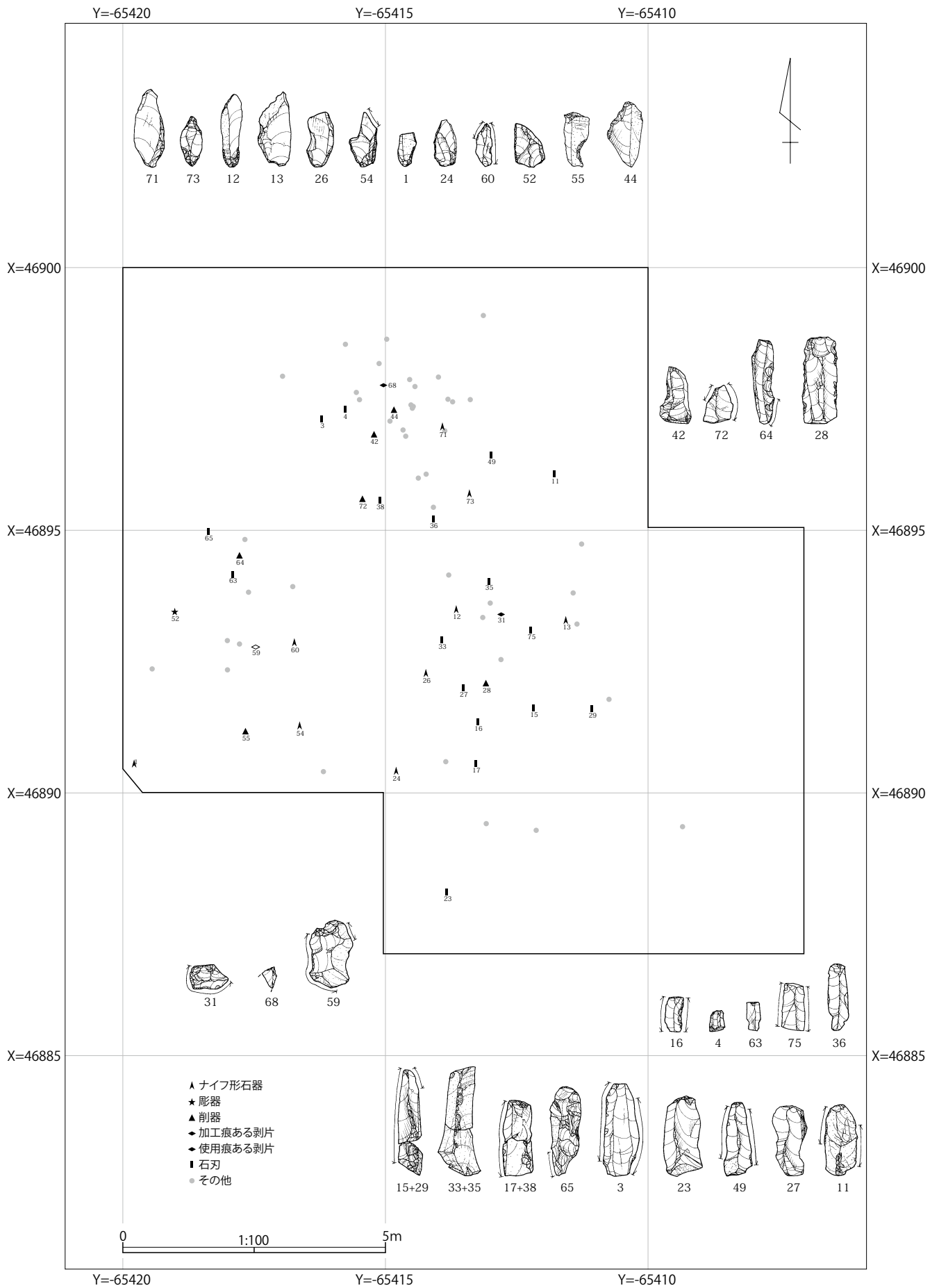
| | 礫類 | 自然石 | 総計 |
|---------|----|-----|----|
| 雲母石英片岩 | 28 | | 28 |
| 黒色片岩 | 10 | | 10 |
| 緑色片岩 | 2 | | 2 |
| 結晶片岩様岩石 | | 1 | 1 |
| チャート | | 2 | 2 |
| 珪質頁岩 | | 1 | 1 |
| 石英 | | 1 | 1 |
| 溶結凝灰岩 | | 4 | 4 |
| 粗粒輝石安山岩 | | 8 | 8 |
| 珪質変質岩 | | 2 | 2 |
| 砂岩 | | 2 | 2 |
| 総計 | 40 | 21 | 61 |

伴う遺跡では片岩密度(点数/面積)は1,000㎡で10点に満たない遺跡が圧倒的に多く、片岩類が集中した富田宮下遺跡が1,000㎡あたり42.8点と突出している。本遺跡の片岩密度は1,000㎡あたり61点となり、富田宮下遺跡に匹敵する数値が得られたことになるが、片岩類の形態的屬性から言えば、石器製作の枠内では理解できないことだけは明らかで、人為的であるとするならば、別の観点から説明されるべきものだろう。

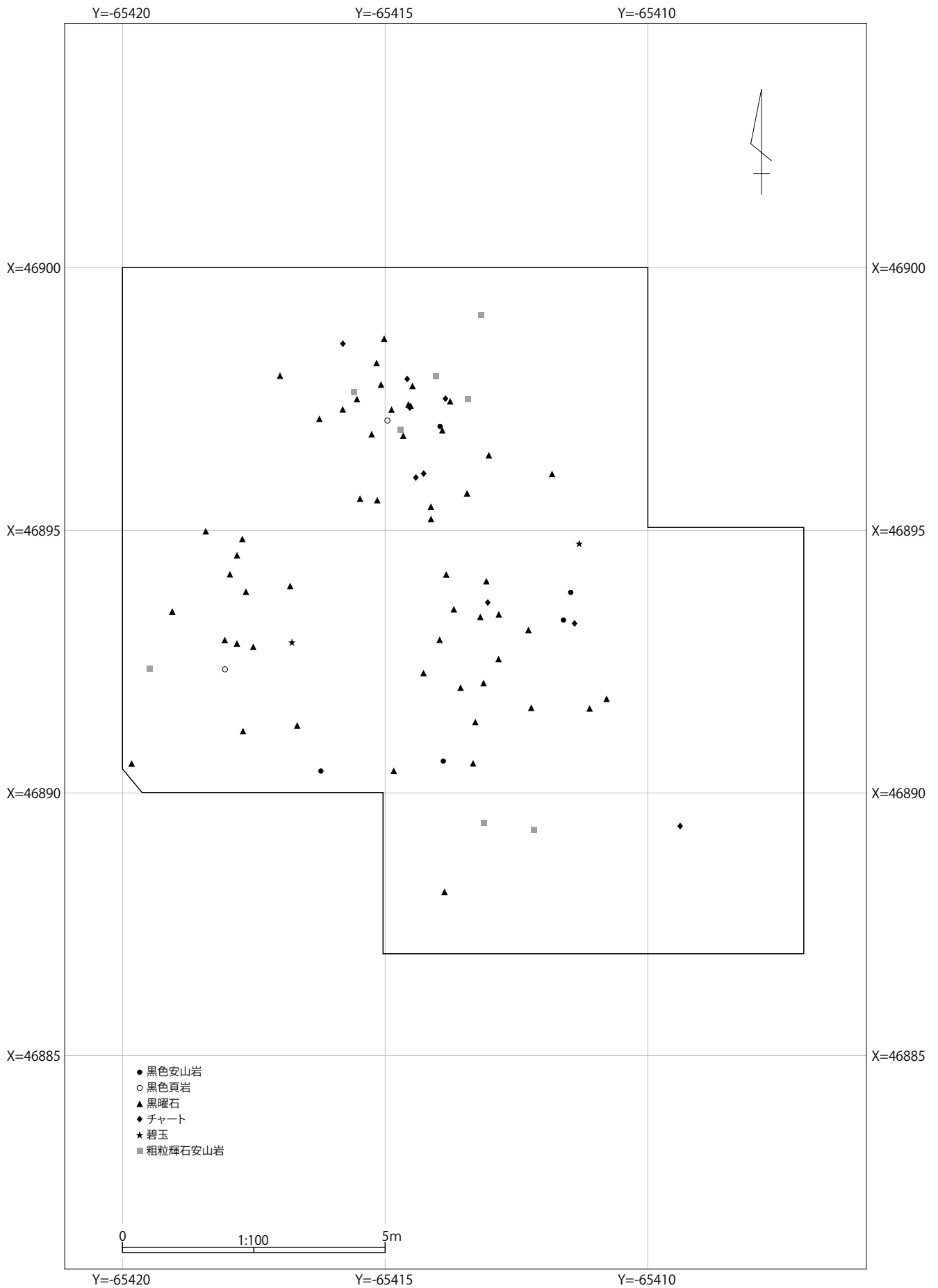
第3章 各遺跡の遺構・遺物



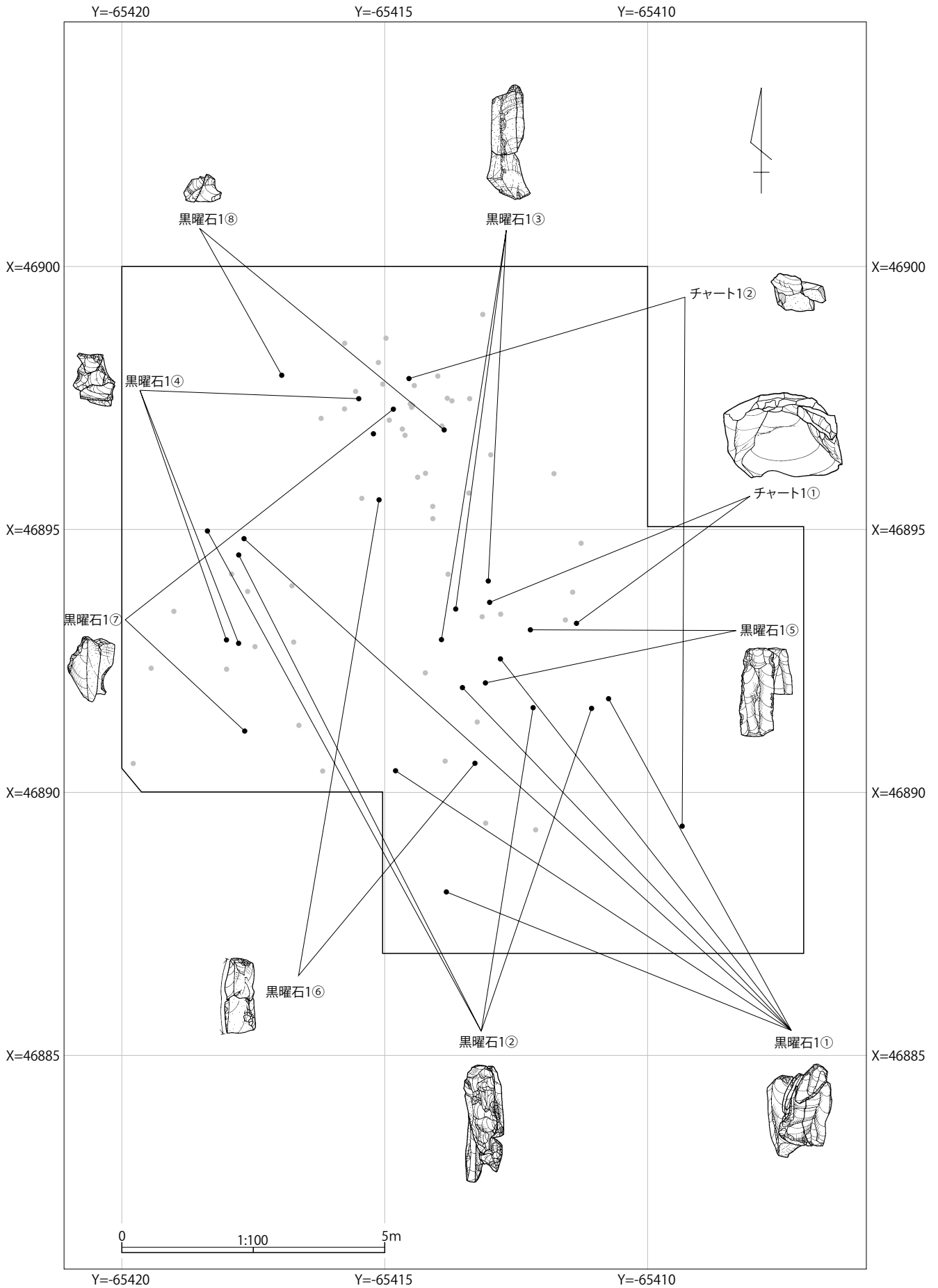
第207図 胴城遺跡 石器分布・垂直分布状況



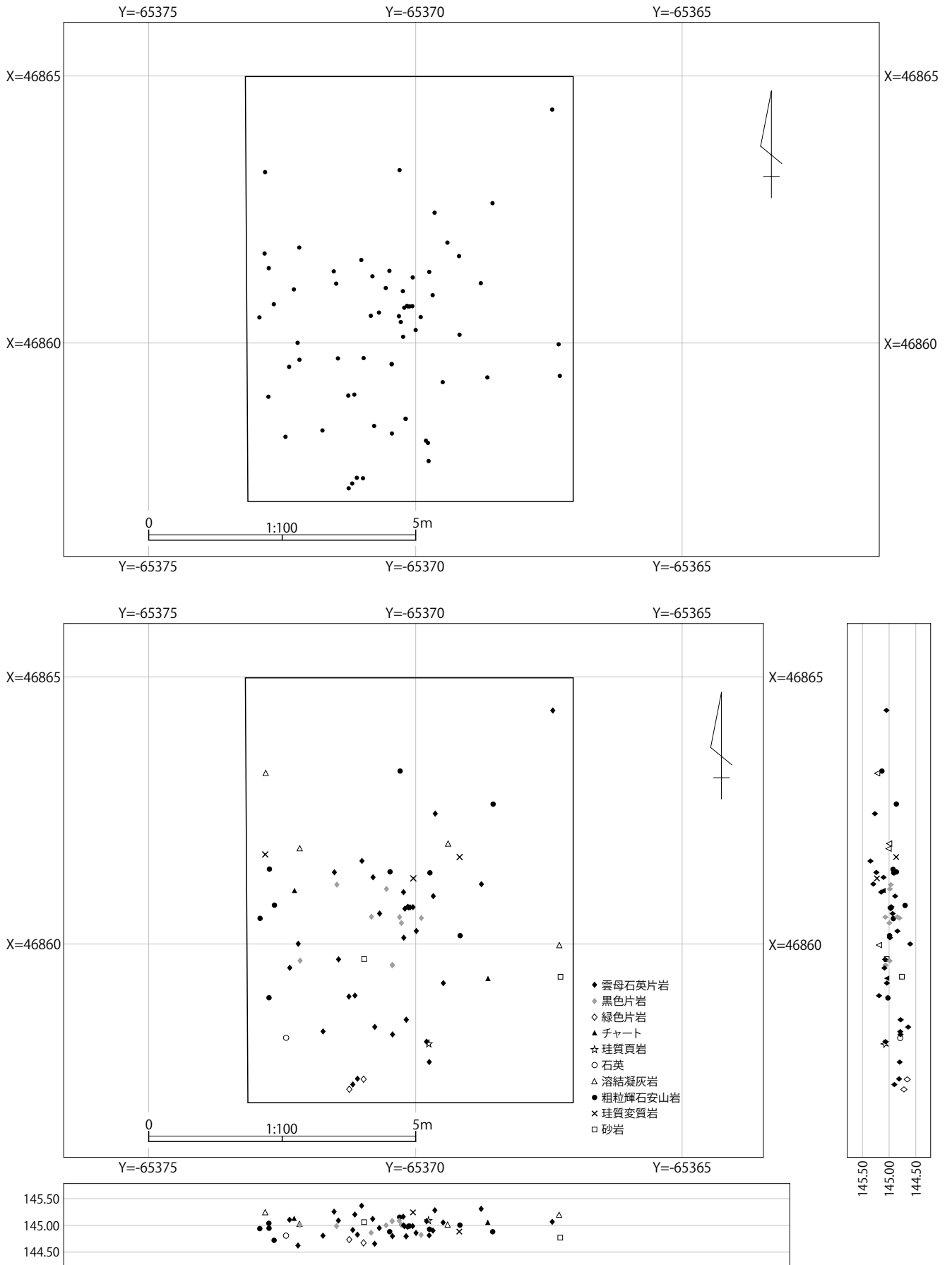
第208図 胴城遺跡 器種別分布状況



第209図 胴城遺跡 石材別分布状況



第210図 胴城遺跡 接合資料の分布状況



第211図 胴城遺跡 礫分布・石材別分布状況

上武道路・旧石器遺跡群 遺物一覧表

凡例

- 1 本一覧表は、上泉唐ノ堀遺跡・上泉新田塚遺跡群・上泉武田遺跡・五代砂留遺跡群・芳賀東部団地遺跡・胴城遺跡の6遺跡の出土遺物の計測一覧である。
- 2 番号は取り上げ番号であり、実際の遺物にも注記されている。
- 3 器種名は分類基準の名称のままである。
- 4 器種名の項目で、自然石、自然石(岩片)、礫、礫片とあるのは下記のことである。
自然石 本来、地層の中に含まれているもの 自然石(岩片) 自然石の欠損品
礫 別の場所から持ち込まれたもの 礫片 礫の欠損
- 5 石材名は、すべて鑑定の名前のままである。
- 6 長さと同幅と厚さは、少数第2位を四捨五入し、mm単位で表した。
- 7 重量は、少数第2位を四捨五入し、g単位で表した。
- 8 備考欄に薄片試料とあるのは、結晶片岩類のプレパラート
- 9 層位は出土時の観察記録であるが、すべての資料が把握されていない。
- 10 文化層の欄が抜けているものは、主にトレンチ内での単独出土で、土層の対比が出来なかったものである。
- 11 図の欄の数値は、掲載図版番号である。
- 12 PLの欄の数値は、掲載写真図版番号である

第23表 出土石器一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | PL |
|-------|-------|--------|---------|-----|----|----|-------|------|-----|-----|------------|-------------|---------|----|----|
| 上泉唐ノ堀 | K1-1 | 局部磨製石斧 | 黒色頁岩 | 111 | 81 | 19 | 59.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.509 | -63,639.162 | 131.141 | 14 | 8 |
| 上泉唐ノ堀 | K1-2 | 局部磨製石斧 | 黒色頁岩 | 52 | 70 | 14 | 226.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.177 | -63,639.447 | 131.082 | 14 | 8 |
| 上泉唐ノ堀 | K1-3 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 37 | 30 | 12 | 8.0 | 自然石? | 暗色帯 | 3 | 45,481.329 | -63,641.216 | 131.406 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-4 | 石刃 | 碧玉 | 65 | 40 | 13 | 25.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.576 | -63,637.799 | 131.266 | 13 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K1-5 | 石刃 | 黒曜石 | 44 | 21 | 4 | 3.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.982 | -63,639.584 | 131.239 | 14 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K1-6 | 剝片 | 碧玉 | 26 | 47 | 6 | 5.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,482.997 | -63,638.221 | 130.982 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K1-7 | 礫片 | 溶結凝灰岩 | 52 | 23 | 11 | 9.0 | 自然石? | 暗色帯 | 3 | 45,484.827 | -63,640.863 | 131.109 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-8 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 21 | 13 | 3 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.141 | -63,642.517 | 131.214 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | K1-9 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 12 | 12 | 5 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.764 | -63,642.009 | 131.074 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-10 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 47 | 31 | 12 | 21.1 | 薄片試料 | 暗色帯 | 3 | 45,481.819 | -63,642.780 | 131.004 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | K1-11 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 31 | 25 | 18 | 9.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,480.112 | -63,636.140 | 131.116 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-12 | 自然石 | 砂岩 | 29 | 25 | 11 | 8.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,481.274 | -63,636.549 | 131.100 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-13 | 自然石 | 珩質変質岩 | 25 | 20 | 12 | 8.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,481.496 | -63,637.024 | 130.828 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-14 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 29 | 22 | 8 | 5.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,482.094 | -63,635.550 | 131.037 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-15 | 自然石 | 珩質変質岩 | 19 | 10 | 6 | 1.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.158 | -63,635.452 | 131.077 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-16 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 16 | 12 | 6 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,482.952 | -63,636.234 | 130.850 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-17 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 14 | 10 | 7 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,482.636 | -63,636.884 | 130.818 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-18 | 自然石 | 珩質変質岩 | 27 | 13 | 11 | 4.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.075 | -63,636.653 | 131.214 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-19 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 40 | 31 | 19 | 16.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.758 | -63,636.561 | 130.813 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-20 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 32 | 25 | 14 | 8.5 | 自然石? | 暗色帯 | 3 | 45,484.810 | -63,636.887 | 130.823 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-21 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 24 | 20 | 18 | 9.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,486.043 | -63,635.245 | 130.973 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-22 | 自然石 | 珩質変質岩 | 42 | 28 | 18 | 21.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,486.760 | -63,636.100 | 130.822 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-23 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 23 | 20 | 11 | 4.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.746 | -63,637.621 | 131.096 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-24 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 68 | 58 | 29 | 88.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.333 | -63,638.408 | 130.961 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-25 | 自然石 | 安山岩凝灰岩 | 36 | 30 | 18 | 24.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.002 | -63,638.775 | 130.848 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-26 | 自然石 | 砂岩 | 23 | 13 | 4 | 70.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.927 | -63,638.986 | 130.866 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-27 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 26 | 22 | 10 | 1.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.844 | -63,637.720 | 131.104 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-28 | 自然石 | ホルンフェルス | 25 | 22 | 9 | 7.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.254 | -63,637.744 | 131.043 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-29 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 25 | 22 | 9 | 5.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,482.001 | -63,637.762 | 131.111 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-30 | 自然石 | 珩質変質岩 | 21 | 14 | 10 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,480.333 | -63,640.787 | 130.862 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-31 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 21 | 16 | 10 | 3.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,481.999 | -63,640.657 | 131.050 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-32 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 24 | 19 | 11 | 3.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.376 | -63,640.440 | 130.909 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-33 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 22 | 16 | 15 | 4.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.517 | -63,639.798 | 130.965 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-34 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 23 | 18 | 9 | 3.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.435 | -63,640.157 | 130.925 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-35 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 14 | 14 | 7 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.144 | -63,639.946 | 130.975 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-36 | 自然石 | 珩質変質岩 | 22 | 21 | 13 | 6.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.028 | -63,640.429 | 131.139 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-37 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 60 | 34 | 14 | 32.7 | 扁平円礫 | 暗色帯 | 3 | 45,485.203 | -63,641.093 | 131.032 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-38 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 21 | 20 | 11 | 3.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.707 | -63,640.927 | 131.046 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-39 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 38 | 20 | 6 | 4.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.596 | -63,640.428 | 131.172 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-40 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 60 | 40 | 14 | 45.2 | 扁平円礫 | 暗色帯 | 3 | 45,485.638 | -63,640.177 | 130.887 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-41 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 13 | 11 | 12 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,487.447 | -63,639.993 | 131.031 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-42 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 24 | 20 | 11 | 7.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,487.562 | -63,641.010 | 131.030 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|-------|-------|---------|---------|----|----|----|------|------|-----|-----|------------|-------------|---------|-------|------|
| 上泉唐ノ堀 | K1-43 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 28 | 17 | 16 | 6.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,487.578 | -63,641.532 | 130.863 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-44 | 自然石 | 珪質変質岩 | 23 | 21 | 8 | 5.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,487.780 | -63,642.793 | 131.059 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-45 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 18 | 12 | 5 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,487.530 | -63,642.824 | 130.980 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-46 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 46 | 15 | 11 | 8.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,486.026 | -63,641.432 | 130.987 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-47 | 自然石 | 珪質変質岩 | 34 | 25 | 28 | 25.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,485.845 | -63,642.171 | 130.906 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-48 | 自然石 | 砂岩 | 37 | 26 | 12 | 14.7 | 円礫 | 暗色帯 | 3 | 45,485.825 | -63,642.598 | 131.103 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-49 | 自然石 | 砂岩 | 47 | 40 | 23 | 60.3 | 円礫 | 暗色帯 | 3 | 45,485.525 | -63,642.409 | 130.878 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-50 | 自然石 | 頁岩 | 29 | 25 | 19 | 20.4 | 円礫 | 暗色帯 | 3 | 45,485.263 | -63,642.549 | 131.117 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-51 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 19 | 17 | 8 | 2.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.938 | -63,641.379 | 131.032 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-52 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 34 | 33 | 29 | 34.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.613 | -63,641.363 | 131.025 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-53 | 自然石 | 砂岩 | 31 | 22 | 13 | 7.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.545 | -63,641.060 | 130.853 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-54 | 自然石 | 珪質頁岩 | 19 | 15 | 9 | 3.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.905 | -63,641.464 | 130.896 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-55 | 自然石 | 珪質変質岩 | 18 | 16 | 8 | 3.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.349 | -63,641.926 | 130.997 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-56 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 19 | 17 | 15 | 3.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.540 | -63,642.532 | 130.933 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-57 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 50 | 36 | 18 | 45.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.779 | -63,642.980 | 130.974 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-58 | 自然石 | 珪質変質岩 | 27 | 17 | 7 | 2.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,484.170 | -63,642.884 | 130.958 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-59 | 自然石 | 珪質変質岩 | 31 | 20 | 8 | 6.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.890 | -63,642.783 | 131.001 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-60 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 25 | 12 | 9 | 2.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,482.458 | -63,642.321 | 131.096 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-61 | 自然石 | 珪質変質岩 | 21 | 14 | 10 | 2.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,481.885 | -63,642.562 | 131.060 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-62 | 自然石 | 珪質変質岩 | 21 | 17 | 5 | 2.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,481.260 | -63,642.877 | 131.030 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-63 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 28 | 25 | 15 | 10.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,480.920 | -63,643.310 | 131.035 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-64 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 32 | 18 | 18 | 13.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,481.738 | -63,644.622 | 130.897 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-65 | 自然石 | 珪質変質岩 | 28 | 22 | 16 | 6.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,482.897 | -63,644.825 | 130.868 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-66 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 30 | 22 | 13 | 6.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,483.614 | -63,643.587 | 130.916 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-67 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 32 | 26 | 19 | 17.5 | | 暗色帯 | 3 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K1-68 | 自然石 | 珪質変質岩 | 51 | 42 | 34 | 86.8 | | 暗色帯 | 3 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-1 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 33 | 16 | 12.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.708 | -63,628.350 | 131.869 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-2 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 25 | 10 | 3.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.992 | -63,628.684 | 131.900 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-3 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-4 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 31 | 12 | 11.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.599 | -63,629.448 | 131.700 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-5 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 20 | 8 | 2.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.455 | -63,629.296 | 131.662 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-6 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 19 | 7 | 2.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.271 | -63,630.257 | 131.720 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-7 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 11 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.866 | -63,630.715 | 131.724 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-8 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 23 | 11 | 3.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.341 | -63,631.120 | 131.863 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-9 | 破片 | 黒色安山岩 | 10 | 13 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.245 | -63,631.464 | 131.731 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-10 | 破片 | 黒色安山岩 | 9 | 12 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.027 | -63,631.238 | 131.699 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-11 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 11 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.230 | -63,632.070 | 131.781 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-12 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 30 | 13 | 7.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.163 | -63,632.311 | 131.648 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-13 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 14 | 8 | 2.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.424 | -63,632.320 | 131.752 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-14 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 45 | 16 | 15.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.672 | -63,632.698 | 131.662 | 13・20 | 7・11 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-15 | 自然石(岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 12 | 9 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.810 | -63,633.519 | 131.742 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-16 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 8 | 6 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.640 | -63,633.289 | 131.674 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-17 | 剥片 | 黒色頁岩 | 33 | 14 | 4 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.767 | -63,632.986 | 131.788 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-18 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 15 | 13 | 6.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.918 | -63,633.229 | 131.691 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-19 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 14 | 7 | 2.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.059 | -63,632.291 | 131.770 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-20 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 25 | 8 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.903 | -63,633.273 | 131.635 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-21 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 20 | 5 | 1.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.446 | -63,634.141 | 131.817 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-22 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 22 | 7 | 3.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.098 | -63,634.215 | 131.598 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-23 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 16 | 4 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.756 | -63,633.953 | 131.555 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-24 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 13 | 5 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.979 | -63,634.333 | 131.697 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-25 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 37 | 40 | 24 | 33.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.045 | -63,635.791 | 131.729 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-26 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 19 | 5 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.696 | -63,637.669 | 131.662 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-27 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 30 | 17 | 8 | 3.2 | ベン先形 | 暗色帯 | 3 | 45,513.137 | -63,637.547 | 131.622 | 13 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-28 | 石刃 | 碧玉 | 86 | 20 | 6 | 8.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.566 | -63,637.300 | 131.553 | 14 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 29 | 7 | 5.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.181 | -63,636.569 | 131.606 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-30 | 剥片 | 黒色安山岩 | 46 | 18 | 12 | 6.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.908 | -63,636.038 | 131.523 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-31 | 剥片 | 黒曜石 | 22 | 16 | 7 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.080 | -63,638.276 | 131.585 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-32 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 41 | 8 | 5.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.568 | -63,638.473 | 131.564 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-33 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 8 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.890 | -63,639.088 | 131.756 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-34 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 15 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.485 | -63,639.430 | 131.641 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-35 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 34 | 10 | 7.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.490 | -63,639.490 | 131.632 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-36 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-37 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 26 | 5 | 5.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.216 | -63,640.162 | 131.769 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-38 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 21 | 3 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.961 | -63,640.394 | 131.844 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-39 | ナイフ形石器 | 黒色安山岩 | 39 | 18 | 9 | 5.2 | ベン先形 | 暗色帯 | 3 | 45,513.586 | -63,640.413 | 131.700 | 13 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-40 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 15 | 4 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.455 | -63,640.125 | 131.693 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-41 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 20 | 7 | 3.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.223 | -63,640.643 | 131.879 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-42 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 12 | 4 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.319 | -63,640.940 | 131.880 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-43 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 23 | 4 | 3.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.514 | -63,641.400 | 131.733 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-44 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 11 | 5 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.673 | -63,641.446 | 131.776 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-45 | ナイフ形石器 | 黒色安山岩 | 35 | 20 | 7 | 4.3 | ベン先形 | 暗色帯 | 3 | 45,514.616 | -63,641.005 | 131.679 | 13 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-46 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 37 | 12 | 15.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.120 | -63,640.800 | 131.675 | 21 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-47 | 剥片 | 黒曜石 | 23 | 10 | 6 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.084 | -63,641.202 | 131.722 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-48 | 破片 | 黒色安山岩 | 10 | 12 | 2 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.369 | -63,641.984 | 131.877 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-49 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 18 | 3 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.214 | -63,642.130 | 131.720 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-50 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 15 | 4 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.763 | -63,642.318 | 131.736 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-51 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 14 | 7 | 2.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.290 | -63,642.320 | 131.769 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-52 | 剥片 | 黒曜石 | 36 | 16 | 10 | 4.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.007 | -63,643.449 | 131.801 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-53 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 22 | 5 | 3.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.004 | -63,643.274 | 131.745 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-54 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 9 | 4 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.711 | -63,643.215 | 131.754 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-55 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 20 | 9 | 5.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.087 | -63,643.373 | 131.841 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|-------|-------|-----|----------|-----|----|----|-------|----|-----|-----|------------|-------------|---------|-------|------|
| 上泉唐ノ堀 | K2-56 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 22 | 8 | 5.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.515 | -63,644.106 | 131.770 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-57 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 10 | 4 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.477 | -63,644.272 | 131.752 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-58 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 8 | 5 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.992 | -63,644.769 | 131.855 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-59 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 24 | 4 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.556 | -63,644.571 | 131.882 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-60 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 21 | 5 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.841 | -63,644.601 | 131.937 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-61 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 30 | 7 | 4.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.545 | -63,644.776 | 131.821 | 20 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-62 | 剥片 | 黒曜石 | 32 | 21 | 13 | 4.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.578 | -63,645.169 | 131.839 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-63 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 15 | 4 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.805 | -63,645.267 | 131.852 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-64 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 41 | 10 | 14.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.309 | -63,645.457 | 131.861 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-65 | 石核 | 黒曜石 | 37 | 30 | 24 | 13.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.680 | -63,647.511 | 131.874 | 17・22 | 9・12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-66 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 25 | 6 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.063 | -63,647.530 | 131.899 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-67 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 19 | 6 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.280 | -63,647.344 | 131.931 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-68 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 16 | 7 | 1.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.568 | -63,647.138 | 131.803 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-69 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 22 | 9 | 5.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.102 | -63,648.066 | 131.847 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-70 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 34 | 4 | 3.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.769 | -63,648.603 | 131.888 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K2-71 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 27 | 5 | 1.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.951 | -63,651.665 | 132.060 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-72 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 32 | 24 | 15 | 11.8 | | なし | 3 | | | | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-73 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 32 | 19 | 8 | 5.0 | | 暗色帯 | 3 | | | | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-74 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 27 | 27 | 14 | 8.6 | | 暗色帯 | 3 | | | | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-75 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 25 | 24 | 15 | 10.4 | | 暗色帯 | 3 | | | | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-76 | 自然石 | 珧質変質岩 | 27 | 18 | 12 | 6.1 | | 暗色帯 | 3 | | | | | |
| 上泉唐ノ堀 | K2-77 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 31 | 28 | 25 | 16.2 | | 暗色帯 | 3 | | | | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-1 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 26 | 11 | 7.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.131 | -63,639.551 | 132.247 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K3-2 | 剥片 | 黒色頁岩 | 28 | 32 | 10 | 6.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.148 | -63,638.609 | 132.193 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-3 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 27 | 15 | 12 | 4.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.931 | -63,637.303 | 132.362 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-4 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 23 | 22 | 12 | 7.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.555 | -63,638.583 | 132.349 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-5 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 20 | 16 | 12 | 5.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.616 | -63,639.452 | 132.441 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-6 | 自然石 | デイスイトガラス | 15 | 12 | 10 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.304 | -63,640.058 | 132.247 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-7 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 13 | 10 | 10 | 1.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.014 | -63,639.786 | 132.366 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-8 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 30 | 15 | 14 | 5.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.682 | -63,640.098 | 132.182 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-9 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 19 | 12 | 7 | 1.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.106 | -63,640.961 | 132.261 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-10 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 13 | 11 | 6 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.890 | -63,640.602 | 132.240 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-11 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 17 | 10 | 7 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.998 | -63,641.955 | 132.275 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-12 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 30 | 28 | 13 | 6.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.673 | -63,640.193 | 132.206 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-13 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 13 | 12 | 9 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.514 | -63,640.882 | 132.193 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-14 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 19 | 17 | 13 | 4.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.034 | -63,640.473 | 132.135 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-15 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 25 | 20 | 19 | 11.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.877 | -63,640.552 | 132.158 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-16 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 13 | 11 | 6 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.506 | -63,636.817 | 132.177 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-17 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 10 | 9 | 6 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.398 | -63,636.915 | 132.180 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-18 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 14 | 11 | 9 | 1.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.202 | -63,637.208 | 132.158 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-19 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 13 | 11 | 11 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.107 | -63,637.106 | 132.158 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-20 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 24 | 15 | 7 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.509 | -63,637.214 | 132.370 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-21 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 20 | 14 | 6 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.904 | -63,636.464 | 132.108 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-22 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 16 | 13 | 9 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.497 | -63,636.163 | 132.132 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-23 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 14 | 10 | 5 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.409 | -63,636.767 | 132.065 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K3-24 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 25 | 22 | 12 | 6.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.394 | -63,637.774 | 132.101 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-1 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 115 | 86 | 65 | 410.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.505 | -63,627.365 | 131.190 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-2 | 碎片 | 黒色安山岩 | 12 | 8 | 6 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.613 | -63,628.112 | 131.328 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-3 | 石刃 | 黒色安山岩 | 54 | 33 | 13 | 19.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.831 | -63,628.939 | 131.395 | 13 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-4 | 石核 | 黒色安山岩 | 69 | 76 | 30 | 154.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.448 | -63,629.043 | 131.466 | 16 | 9 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-5 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 38 | 11 | 12.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.905 | -63,629.318 | 131.541 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-6 | 石核 | 黒色安山岩 | 59 | 51 | 19 | 55.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.169 | -63,629.660 | 131.433 | 16・20 | 9・11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-7 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 23 | 18 | 8 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.136 | -63,630.157 | 131.488 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-8 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 14 | 4 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.225 | -63,630.433 | 131.505 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-9 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 15 | 4 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.670 | -63,632.679 | 131.540 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-10 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 12 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.072 | -63,632.086 | 131.161 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-11 | 石刃 | 黒色頁岩 | 82 | 44 | 13 | 37.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.284 | -63,631.578 | 131.429 | 13 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-12 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 29 | 12 | 10.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.971 | -63,631.718 | 131.291 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-13 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 26 | 10 | 3.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.731 | -63,631.029 | 131.333 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-14 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 41 | 13 | 14.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.276 | -63,631.497 | 131.298 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-15 | 石核 | 黒色安山岩 | 62 | 44 | 20 | 59.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.169 | -63,632.496 | 131.386 | 16 | 9 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-16 | 剥片 | 黒色安山岩 | 61 | 38 | 15 | 24.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.866 | -63,632.390 | 131.438 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-17 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 11 | 1 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.614 | -63,634.289 | 131.529 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-18 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 8 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.970 | -63,633.861 | 131.334 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-19 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 17 | 7 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.924 | -63,634.154 | 131.269 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-20 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 20 | 7 | 2.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.042 | -63,633.219 | 131.435 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-21 | 自然石 | 黒色片岩 | 25 | 19 | 6 | 3.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.100 | -63,635.273 | 131.565 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-22 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 30 | 22 | 20 | 21.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.163 | -63,635.811 | 131.091 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-23 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 15 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.763 | -63,635.272 | 131.471 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-24 | 自然石 | チャート | 26 | 18 | 16 | 9.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.086 | -63,638.032 | 131.447 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-25 | 剥片 | 黒曜石 | 7 | 17 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.825 | -63,637.237 | 131.427 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-26 | 剥片 | 黒曜石 | 15 | 19 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.449 | -63,637.526 | 131.522 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-27 | 剥片 | 黒曜石 | 21 | 36 | 9 | 4.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.162 | -63,636.919 | 131.455 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-28 | 削器 | 黒曜石 | 63 | 43 | 18 | 33.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.075 | -63,637.066 | 131.257 | 13 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 32 | 9 | 7.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.030 | -63,637.935 | 131.392 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-30 | 碎片 | 黒曜石 | 5 | 7 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.650 | -63,637.775 | 131.418 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-31 | 剥片 | 黒曜石 | 20 | 17 | 3 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.617 | -63,636.376 | 131.411 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-32 | 石刃 | 珧質頁岩 | 56 | 19 | 5 | 4.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.601 | -63,636.700 | 131.388 | 14 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-33 | 剥片 | 黒曜石 | 8 | 15 | 4 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.404 | -63,636.829 | 131.444 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-34 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 18 | 4 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.174 | -63,635.786 | 131.262 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-35 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 12 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.866 | -63,636.649 | 131.359 | | |

遺物一覽表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|-------|--------|--------|---------|-----|----|----|-------|------|-----|-----|------------|-------------|---------|-------|------|
| 上泉唐ノ堀 | K4-36 | 碎片 | 黒色安山岩 | 6 | 5 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.773 | -63,637.120 | 131.443 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-37 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 28 | 7 | 3.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.634 | -63,635.869 | 131.473 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-38 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 10 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.497 | -63,635.334 | 131.469 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-39 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 4 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.409 | -63,634.869 | 131.071 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-40 | 石核 | 黒色安山岩 | 82 | 72 | 25 | 145.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.651 | -63,635.646 | 131.282 | 15 | 9 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-41 | 剥片 | 黒曜石 | 16 | 14 | 6 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.713 | -63,635.803 | 131.381 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-42 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 34 | 10 | 13.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.169 | -63,636.724 | 131.344 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-43 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 39 | 9 | 10.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.066 | -63,637.036 | 131.105 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-44 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 8 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.710 | -63,636.414 | 131.392 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-45 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 27 | 22 | 15 | 11.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.582 | -63,636.662 | 131.049 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-46 | 剥片 | 黒曜石 | 16 | 16 | 6 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.254 | -63,636.535 | 131.365 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-47 | 敲石 | 粗粒輝石安山岩 | 65 | 41 | 31 | 95.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,509.904 | -63,637.180 | 131.310 | 17 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-48 | 剥片 | 黒曜石 | 14 | 23 | 7 | 1.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,509.767 | -63,638.306 | 131.128 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-49 | 碎片 | 黒曜石 | 8 | 7 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.636 | -63,637.713 | 131.425 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-50 | 剥片 | 黒曜石 | 11 | 18 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.997 | -63,638.428 | 131.406 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-51 | 自然石 | 黒色片岩 | 16 | 8 | 7 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.931 | -63,639.558 | 131.588 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-52 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 17 | 4 | 1.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.375 | -63,640.488 | 131.468 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-53 | 剥片 | 黒色安山岩 | 59 | 58 | 24 | 51.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.286 | -63,640.592 | 131.539 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-54 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 16 | 8 | 3.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.663 | -63,640.781 | 131.440 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-55 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 11 | 12 | 7 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.458 | -63,638.990 | 131.473 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-56 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 48 | 11 | 23.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.566 | -63,639.543 | 131.508 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-57 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 13 | 3 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.138 | -63,639.592 | 131.455 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-58 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 5 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.278 | -63,639.785 | 131.456 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-59 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 30 | 13 | 7.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.922 | -63,639.839 | 131.424 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-60 | 碎片 | 黒曜石 | 9 | 12 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.966 | -63,640.037 | 131.375 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-61 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 11 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.159 | -63,640.101 | 131.532 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-62 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 5 | 4 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.561 | -63,639.900 | 131.405 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-63 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 7 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.736 | -63,639.981 | 131.487 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-64 | 剥片 | 黒色安山岩 | 51 | 45 | 12 | 21.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.734 | -63,640.308 | 131.521 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-65 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 5 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.025 | -63,640.615 | 131.497 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-66 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 13 | 4 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.069 | -63,640.776 | 131.450 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-67 | 剥片 | 黒色安山岩 | 53 | 65 | 17 | 47.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.820 | -63,640.815 | 131.463 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-68 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 4 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.797 | -63,640.957 | 131.517 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-69 | 剥片 | 黒色安山岩 | 51 | 31 | 12 | 15.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.798 | -63,641.169 | 131.587 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-70 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 19 | 3 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.526 | -63,640.581 | 131.406 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-71 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 4 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.419 | -63,641.010 | 131.498 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-72 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 15 | 5 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.494 | -63,641.206 | 131.590 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-73 | 碎片 | 黒色安山岩 | 14 | 4 | 4 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.553 | -63,641.441 | 131.649 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-74 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 15 | 24 | 5 | 1.5 | 台形様 | 暗色帯 | 3 | 45,513.819 | -63,641.808 | 131.628 | 13 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-75 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 5 | 3 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.382 | -63,641.835 | 131.411 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-76 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 9 | 7 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.194 | -63,641.655 | 131.484 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-77 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 10 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.952 | -63,641.593 | 131.430 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-78 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 13 | 6 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.232 | -63,641.435 | 131.461 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-79 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 6 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.097 | -63,641.258 | 131.534 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-80 | 剥片 | 黒色安山岩 | 78 | 44 | 18 | 50.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.222 | -63,641.080 | 131.484 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-81 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 4 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.175 | -63,641.055 | 131.491 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-82 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 11 | 3 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.797 | -63,641.111 | 131.646 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-83 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 7 | 4 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.626 | -63,640.815 | 131.410 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-84 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 12 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.067 | -63,640.474 | 131.496 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-85 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 2 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.952 | -63,640.317 | 131.474 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-86 | 自然石 | ホルンフェルス | 5 | 6 | 3 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.714 | -63,640.144 | 131.477 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-87 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 13 | 6 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.151 | -63,640.572 | 131.504 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-88 | 敲石 | 粗粒輝石安山岩 | 72 | 64 | 41 | 261.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,508.940 | -63,640.448 | 131.394 | 17 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-89 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 38 | 29 | 22 | 26.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.840 | -63,641.351 | 131.315 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-90 | 局部磨製石斧 | 黒色頁岩 | 142 | 73 | 17 | 224.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.135 | -63,642.348 | 131.502 | 15 | 8 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-91 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 10 | 3 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,511.634 | -63,641.033 | 131.542 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-92 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 43 | 13 | 20.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.418 | -63,641.917 | 131.517 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-93 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 29 | 12 | 5.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.534 | -63,642.303 | 131.681 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-94 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 19 | 5 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.417 | -63,642.593 | 131.765 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-95 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 15 | 6 | 1.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.818 | -63,642.193 | 131.499 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-96 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 7 | 3 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.047 | -63,642.060 | 131.431 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-97 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 6 | 3 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.254 | -63,642.339 | 131.658 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-98 | 自然石 | 黒色片岩 | 15 | 11 | 4 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.407 | -63,642.598 | 131.510 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-99 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 10 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.090 | -63,642.923 | 131.526 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-101 | 剥片 | 黒色安山岩 | 47 | 44 | 21 | 41.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.429 | -63,642.142 | 131.498 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-102 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 24 | 7 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.447 | -63,641.570 | 131.436 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-102 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 43 | 16 | 39.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.421 | -63,641.915 | 131.525 | 21 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-115 | 剥片 | 黒色安山岩 | 62 | 36 | 22 | 47.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.882 | -63,641.320 | 131.493 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-104 | 剥片 | 黒色安山岩 | 52 | 45 | 20 | 38.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.756 | -63,641.514 | 131.589 | 21 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-105 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 24 | 7 | 3.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.165 | -63,641.540 | 131.666 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-100 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 74 | 24 | 85.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.338 | -63,642.448 | 131.517 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-107 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 9 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.648 | -63,642.228 | 131.515 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-108 | 剥片 | 黒色安山岩 | 57 | 40 | 17 | 36.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.310 | -63,642.633 | 131.618 | 21 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-109 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 9 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.005 | -63,642.410 | 131.356 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-110 | 剥片 | 黒色安山岩 | 7 | 16 | 5 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.967 | -63,642.587 | 131.480 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-111 | 石刃 | 黒曜石 | 54 | 26 | 11 | 12.2 | 微細剥離 | 暗色帯 | 3 | 45,516.390 | -63,642.534 | 131.581 | 14 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-112 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 16 | 7 | 1.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.327 | -63,642.403 | 131.494 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-113 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 21 | 3 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.661 | -63,642.230 | 131.632 | 21 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-114 | ナイフ形石器 | 黒色安山岩 | 48 | 21 | 16 | 12.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.618 | -63,642.020 | 131.490 | 13・21 | 7・12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-103 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 49 | 19 | 36.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.476 | -63,641.629 | 131.521 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-116 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 30 | 25 | 20 | 11.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.936 | -63,642.233 | 131.472 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|-------|--------|---------|---------|----|----|----|-------|------|-----|-----|------------|-------------|---------|-------|------|
| 上泉唐ノ堀 | K4-117 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 14 | 6 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.459 | -63,643.189 | 131.643 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-118 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 17 | 4 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.679 | -63,643.755 | 131.732 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-119 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 47 | 10 | 11.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.894 | -63,644.624 | 131.759 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-120 | ナイフ形石器 | 黒色安山岩 | 28 | 19 | 10 | 4.5 | 台形様 | 暗色帯 | 3 | 45,518.531 | -63,644.756 | 131.727 | 13・19 | 7・11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-121 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 7 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.343 | -63,644.796 | 131.765 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-122 | 剥片 | 黒曜石 | 17 | 17 | 6 | 1.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.918 | -63,644.811 | 131.685 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-123 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 13 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.644 | -63,644.904 | 131.726 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-124 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 22 | 5 | 2.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.434 | -63,644.124 | 131.707 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-125 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 16 | 9 | 3.1 | 微細剥離 | 暗色帯 | 3 | 45,516.300 | -63,645.031 | 131.629 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-126 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 17 | 2 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.210 | -63,645.254 | 131.664 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-127 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 13 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.816 | -63,644.548 | 131.751 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-128 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 30 | 5 | 4.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.726 | -63,644.866 | 131.522 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-129 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 12 | 9 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.986 | -63,644.167 | 131.561 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-130 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 33 | 15 | 13.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.038 | -63,645.438 | 131.584 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-131 | 自然石(岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 12 | 8 | 4 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.441 | -63,645.591 | 131.548 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-132 | 剥片 | 黒色安山岩 | 39 | 59 | 21 | 41.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.294 | -63,646.381 | 131.660 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-133 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 13 | 3 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.953 | -63,646.991 | 131.578 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-134 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 5 | 3 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.272 | -63,646.414 | 131.559 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-135 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 39 | 9 | 5.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.612 | -63,645.938 | 131.663 | 19 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-136 | 剥片 | 黒色安山岩 | 46 | 57 | 15 | 24.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.045 | -63,646.842 | 131.670 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-137 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 11 | 5 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.118 | -63,647.034 | 131.722 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-138 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 27 | 10 | 3.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.608 | -63,647.142 | 131.716 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-139 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 14 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.535 | -63,646.892 | 131.535 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-140 | 剥片 | 黒色安山岩 | 75 | 41 | 24 | 50.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.901 | -63,646.299 | 131.672 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-141 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 20 | 5 | 2.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,517.673 | -63,645.612 | 131.533 | 20 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-142 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 13 | 4 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.289 | -63,645.556 | 131.762 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-143 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 14 | 5 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.295 | -63,646.110 | 131.797 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-144 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 20 | 8 | 2.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.168 | -63,646.604 | 131.783 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-145 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 16 | 3 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,518.735 | -63,646.105 | 131.422 | 20 | 11 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-146 | 剥片 | 黒色安山岩 | 7 | 16 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,519.047 | -63,646.351 | 131.526 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-147 | 剥片 | 黒曜石 | 22 | 15 | 5 | 1.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,519.521 | -63,645.583 | 131.376 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-148 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 14 | 2 | 2.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,520.573 | -63,645.060 | 131.794 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-149 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 15 | 3 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,510.998 | -63,643.058 | 131.654 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-150 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 51 | 48 | 27 | 85.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,522.652 | -63,637.718 | 131.416 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-151 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 20 | 19 | 5 | 2.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,526.352 | -63,640.862 | 131.523 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-152 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 19 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,533.890 | -63,642.010 | 131.664 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-153 | 剥片 | 黒曜石 | 31 | 24 | 9 | 4.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,542.427 | -63,639.669 | 132.017 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-154 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 28 | 28 | 6 | 5.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,543.483 | -63,638.874 | 131.872 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-155 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 47 | 43 | 28 | 58.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,538.201 | -63,633.414 | 132.110 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-156 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 97 | 71 | 27 | 205.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,537.411 | -63,633.931 | 131.635 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-157 | 自然石 | 黒色片岩 | 30 | 17 | 9 | 5.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,535.506 | -63,633.424 | 131.614 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-158 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 20 | 7 | 4.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,532.629 | -63,633.545 | 131.769 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-159 | 剥片 | 黒曜石 | 34 | 29 | 7 | 6.5 | 微細剥離 | 暗色帯 | 3 | 45,532.259 | -63,632.596 | 131.958 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-160 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 33 | 15 | 32.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,530.995 | -63,632.779 | 131.886 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-161 | 剥片 | デイサイト | 65 | 35 | 13 | 26.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,531.019 | -63,632.232 | 131.943 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-162 | 礫片 | 溶結凝灰岩 | 61 | 33 | 23 | 36.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,530.855 | -63,631.640 | 131.833 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-163 | 剥片 | デイサイト | 49 | 33 | 9 | 12.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,530.108 | -63,632.084 | 131.778 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-164 | 石核 | 黒色安山岩 | 54 | 48 | 43 | 83.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,528.472 | -63,631.255 | 131.714 | 16・18 | 9・10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-165 | 自然石 | 珪質変質岩 | 38 | 26 | 9 | 9.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,525.241 | -63,636.222 | 131.471 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-166 | 剥片 | 黒色安山岩 | 48 | 62 | 14 | 36.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,525.433 | -63,635.698 | 131.661 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-167 | 剥片 | 黒曜石 | 18 | 21 | 8 | 2.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,525.440 | -63,634.373 | 131.532 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-168 | 石核 | 黒曜石 | 37 | 44 | 14 | 16.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,525.299 | -63,632.125 | 131.653 | 16 | 9 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-169 | 剥片 | 黒色安山岩 | 61 | 54 | 23 | 68.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,526.349 | -63,628.669 | 131.702 | 21 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-170 | 礫片 | 溶結凝灰岩 | 25 | 21 | 9 | 5.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,525.345 | -63,627.711 | 131.633 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-171 | 剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 29 | 11 | 8.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,525.410 | -63,627.394 | 131.770 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-172 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 42 | 14 | 17.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,525.407 | -63,626.894 | 131.793 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-173 | 自然石 | 輝石塊 | 16 | 10 | 4 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,522.391 | -63,628.002 | 131.426 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-174 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 25 | 11 | 2.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,515.277 | -63,630.478 | 131.182 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-175 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 11 | 4 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.695 | -63,632.680 | 131.233 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-176 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 20 | 12 | 5 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.043 | -63,637.059 | 131.251 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-177 | 剥片 | 碧玉 | 59 | 41 | 18 | 42.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.428 | -63,636.900 | 131.331 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-178 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 7 | 6 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.078 | -63,640.362 | 131.213 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-179 | 剥片 | 黒色安山岩 | 45 | 30 | 16 | 15.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.830 | -63,640.920 | 131.490 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-180 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 21 | 4 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.682 | -63,641.200 | 131.472 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-181 | 剥片 | 黒曜石 | 18 | 12 | 5 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.800 | -63,640.978 | 131.399 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-182 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 11 | 3 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.871 | -63,641.088 | 131.426 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-183 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 50 | 16 | 34.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.109 | -63,641.304 | 131.505 | 18 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-184 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 10 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,514.773 | -63,641.706 | 131.377 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-185 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 8 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.402 | -63,641.758 | 131.290 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-186 | 碎片 | 黒色安山岩 | 3 | 8 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,513.036 | -63,642.074 | 131.423 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-187 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 14 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,512.491 | -63,642.654 | 131.507 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-188 | 剥片 | 黒曜石 | 13 | 13 | 5 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,516.189 | -63,645.239 | 131.608 | 22 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K4-189 | 礫 | 溶結凝灰岩 | 67 | 62 | 46 | 281.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,507.879 | -63,639.337 | 131.394 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-190 | 自然石 | 珪質変質岩 | 19 | 14 | 9 | 3.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,507.893 | -63,640.521 | 131.266 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-191 | 自然石 | 珪質変質岩 | 37 | 31 | 14 | 15.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,507.706 | -63,637.045 | 131.129 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-192 | 自然石 | ホルンフェルス | 24 | 19 | 16 | 8.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,507.982 | -63,637.570 | 131.119 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-193 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 40 | 38 | 24 | 45.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,509.594 | -63,636.427 | 131.086 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-194 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 17 | 14 | 5 | 1.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,509.853 | -63,637.101 | 131.164 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-195 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 43 | 14 | 9 | 36.3 | | 暗色帯 | 3 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-196 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 26 | 27 | 18 | 10.2 | | 暗色帯 | 3 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K4-197 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 28 | 9 | 6.4 | | 暗色帯 | 3 | なし | なし | なし | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|-------|---------|----------|------------|-----|----|----|-------|------|--------|-----|------------|-------------|---------|----|-----|
| 上泉唐ノ堀 | K5-1 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 47 | 35 | 23 | 55.4 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,510.218 | -63,634.125 | 130.973 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-2 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 28 | 25 | 17 | 14.4 | | 暗色帯 | | 45,509.845 | -63,634.115 | 130.925 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-3 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 42 | 35 | 25 | 45.5 | | 暗色帯 | | 45,509.648 | -63,634.182 | 130.970 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-4 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 82 | 37 | 21 | 44.0 | 垂円礫 | 暗色帯 | | 45,508.762 | -63,634.122 | 131.037 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-5 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 54 | 38 | 28 | 78.7 | 垂円礫 | 暗色帯 | | 45,509.836 | -63,635.076 | 131.051 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-6 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 45 | 38 | 16 | 60.0 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.349 | -63,634.954 | 131.074 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-7 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 50 | 50 | 22 | 80.4 | | 暗色帯 | | 45,509.006 | -63,634.833 | 130.903 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-8 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 41 | 36 | 25 | 48.0 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.925 | -63,635.659 | 130.924 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-9 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 85 | 47 | 41 | 202.7 | 垂円礫 | 暗色帯 | | 45,509.636 | -63,635.711 | 130.933 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-10 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 43 | 40 | 31 | 59.3 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.444 | -63,635.874 | 130.891 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-11 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 72 | 57 | 32 | 148.5 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.439 | -63,635.750 | 130.976 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-12 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 25 | 25 | 17 | 10.8 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.440 | -63,635.441 | 130.887 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-13 | 自然石 | 珪質変質岩 | 21 | 15 | 13 | 4.6 | | 暗色帯 | | 45,509.341 | -63,635.429 | 130.869 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-14 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 71 | 55 | 27 | 162.3 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.162 | -63,635.507 | 130.999 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-15 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 52 | 30 | 24 | 46.4 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.009 | -63,635.422 | 130.999 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-16 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 57 | 39 | 15 | 44.6 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.023 | -63,635.541 | 130.979 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-17 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 67 | 43 | 36 | 138.5 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,508.675 | -63,635.753 | 131.055 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-18 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 28 | 18 | 14 | 7.2 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.009 | -63,635.962 | 130.888 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-19 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 66 | 59 | 34 | 207.6 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,509.108 | -63,636.154 | 130.915 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-20 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 40 | 30 | 21 | 37.5 | 円礫 | 暗色帯 | | 45,508.746 | -63,636.158 | 131.013 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-21 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 102 | 52 | 35 | 229.0 | 垂円礫 | 暗色帯 | | 45,508.428 | -63,636.728 | 130.936 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-22 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 40 | 30 | 19 | 26.6 | | 暗色帯 | | 45,509.317 | -63,637.487 | 130.913 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-23 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 42 | 34 | 24 | 43.0 | | 暗色帯 | | 45,509.824 | -63,636.248 | 130.989 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-24 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 52 | 43 | 28 | 89.5 | 垂円礫 | 暗色帯 | | 45,509.987 | -63,636.405 | 130.915 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-25 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 55 | 52 | 22 | 96.0 | | 暗色帯 | | 45,510.268 | -63,636.415 | 130.928 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-26 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 53 | 22 | 22 | 20.9 | | 暗色帯 | | 45,510.170 | -63,636.802 | 130.923 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-27 | 剥片 | 碧玉 | 30 | 34 | 13 | 13.8 | | 暗色帯 | | 45,508.440 | -63,635.502 | 131.063 | 23 | 12 |
| 上泉唐ノ堀 | K5-28 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 44 | 32 | 18 | 24.7 | 垂円礫 | 暗色帯 | | 45,509.070 | -63,635.438 | 130.917 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K5-29 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 49 | 37 | 21 | 51.9 | | 暗色帯 | | 45,510.046 | -63,636.396 | 130.841 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-1 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 27 | 4 | 2.8 | | | 1 | 45,561.800 | -63,679.430 | 134.315 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-2 | 自然石 (岩片) | デイスait ガラス | - | - | - | 0.7 | スコリア | | 1 | 45,562.280 | -63,678.830 | 134.270 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-3 | 自然石 (岩片) | デイスait ガラス | 16 | 10 | 7 | 1.1 | スコリア | | 1 | 45,562.830 | -63,679.430 | 134.321 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-4 | 自然石 (岩片) | デイスait ガラス | 5 | 4 | 2 | 0.1 | スコリア | | 1 | 45,560.480 | -63,680.130 | 134.480 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-5 | 自然石 (岩片) | デイスait ガラス | 6 | 4 | 2 | 0.1 | スコリア | | 1 | 45,560.600 | -63,680.410 | 134.460 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-6 | 自然石 (岩片) | デイスait ガラス | 7 | 6 | 4 | 0.2 | スコリア | | 1 | 45,560.720 | -63,680.540 | 134.515 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-7 | 自然石 (岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 3 | 2 | 1 | 計測不可 | スコリア | | 1 | 45,560.620 | -63,681.400 | 134.513 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-8 | 自然石 (岩片) | デイスait ガラス | 5 | 4 | 3 | 0.1 | スコリア | | 1 | 45,561.140 | -63,681.940 | 134.554 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-9 | 剥片 | 黒色頁岩 | 12 | 11 | 3 | 0.4 | | | 1 | 45,561.370 | -63,681.930 | 134.549 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-10 | 自然石 (岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 8 | 4 | 3 | 0.1 | | | 1 | 45,561.960 | -63,680.000 | 134.404 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-11 | 自然石 (岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 9 | 8 | 3 | 0.2 | | | 1 | 45,562.810 | -63,680.540 | 134.513 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-12 | 自然石 (岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 10 | 5 | 4 | 0.2 | | | 1 | 45,562.890 | -63,681.260 | 134.530 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K6-13 | 自然石 (岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 7 | 6 | 3 | 0.1 | | | 1 | 45,563.500 | -63,680.460 | 134.471 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-1 | 自然石 (岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 12 | 11 | 4 | 0.5 | | As-ok1 | 1 | 45,525.100 | -63,676.750 | 133.262 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-2 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 12 | 8 | 3 | 0.3 | | As-ok1 | 1 | 45,525.580 | -63,677.050 | 133.260 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-3 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 9 | 8 | 5 | 0.3 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-4 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 12 | 9 | 2 | 0.1 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-5 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 9 | 6 | 3 | 0.3 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-6 | 自然石 | 安山岩 | 14 | 13 | 5 | 1.0 | | As-ok1 | 1 | 45,528.740 | -63,680.050 | 133.377 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-7 | 砕片 | 黒色安山岩 | 9 | 2 | 2 | 0.1 | | As-ok1 | 1 | 45,528.710 | -63,680.630 | 133.494 | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-8 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 12 | 8 | 5 | 0.3 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-9 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 21 | 16 | 7 | 2.2 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-10 | 自然石 (岩片) | デイスait ガラス | 11 | 10 | 5 | 0.5 | スコリア | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-11 | 自然石 (岩片) | デイスait ガラス | 11 | 9 | 7 | 0.6 | スコリア | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-12 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 15 | 11 | 4 | 0.5 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-13 | 剥片 | チャート | 34 | 28 | 7 | 8.6 | | As-ok1 | 1 | 45,531.710 | -63,679.890 | 133.313 | 11 | 7 |
| 上泉唐ノ堀 | K7-14 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 20 | 12 | 5 | 1.3 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-15 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 12 | 10 | 2 | 0.3 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K7-16 | 自然石 (岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 9 | 7 | 4 | 0.3 | | As-ok1 | 1 | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | K8-1 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 29 | 24 | 6 | 5.2 | 不明 | | | 45,531.070 | -63,675.130 | 132.485 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | K8-2 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 24 | 11 | 5 | 1.4 | 不明 | | | 45,530.990 | -63,675.700 | 132.045 | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | 57L9-1 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 103 | 62 | 40 | 225.0 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57L9-2 | 自然石 | 珪質変質岩 | 64 | 45 | 21 | 56.3 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57M9-3 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 40 | 25 | 13 | 15.9 | 薄片試料 | 不明 | | なし | なし | なし | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | 57M9-4 | 自然石 | 石英頁岩 | 21 | 18 | 13 | 6.5 | | 不明 | | なし | なし | なし | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | 57M9-5 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 9 | 9 | 2 | 0.3 | | 不明 | | なし | なし | なし | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | 57H3-6 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 38 | 32 | 27 | 38.8 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57H4-7 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 35 | 25 | 9 | 15.4 | 薄片試料 | 不明 | | なし | なし | なし | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | 57H4-8 | 自然石 | 黒色片岩 | 36 | 17 | 9 | 6.4 | | 不明 | | なし | なし | なし | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | 57H2-9 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 43 | 35 | 15 | 34.6 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57H2-10 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 39 | 34 | 21 | 33.5 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57H2-11 | 自然石 | チャート | 24 | 18 | 10 | 6.1 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57H6-12 | 自然石 | 珪質変質岩 | 24 | 20 | 6 | 3.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-13 | 自然石 | 珪質変質岩 | 36 | 26 | 11 | 13.4 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-14 | 自然石 | 珪質変質岩 | 20 | 22 | 10 | 4.2 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-15 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 28 | 28 | 18 | 11.3 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-16 | 自然石 | 珪質変質岩 | 28 | 22 | 11 | 7.3 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-17 | 自然石 | 珪質変質岩 | 20 | 15 | 14 | 6.9 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-18 | 自然石 | 黒色片岩 | 20 | 20 | 7 | 4.5 | | 不明 | | なし | なし | なし | | 71 |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-19 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 25 | 21 | 16 | 9.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-20 | 自然石 | 珪質変質岩 | 26 | 23 | 8 | 6.2 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-21 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 20 | 18 | 12 | 4.5 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|-------|----------|---------|------------|----|----|----|-------|---------|--------|-----|------------|-------------|---------|----|-----|
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-22 | 自然石 | 珪質変質岩 | 20 | 18 | 19 | 5.4 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-23 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 21 | 14 | 9 | 2.8 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57C3-24 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 29 | 19 | 17 | 10.6 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57F4-25 | 自然石 | 石英閃緑岩 | 35 | 30 | 29 | 43.1 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57F4-26 | 自然石 | 珪質変質岩 | 25 | 22 | 12 | 7.1 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57I5-27 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 32 | 35 | 16 | 20.1 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57I5-28 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 47 | 32 | 13 | 15.8 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57I5-29 | 自然石 | 珪質変質岩 | 25 | 16 | 17 | 10.2 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57I5-30 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 36 | 33 | 22 | 21.0 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57I5-31 | 自然石 | 珪質変質岩 | 35 | 34 | 11 | 22.0 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57J5-32 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 24 | 5 | 1.8 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57I4-33 | 自然石 | 珪質変質岩 | 37 | 20 | 12 | 12.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57L3-34 | 自然石 | 珪質変質岩 | 20 | 16 | 15 | 4.9 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 57P13-35 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 57 | 48 | 25 | 103.0 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉唐ノ堀 | 5707-36 | 敲石 | 粗粒輝石安山岩 | 72 | 55 | 42 | 235.4 | 57区0-7G | 不明 | | なし | なし | なし | 17 | 10 |
| 上泉唐ノ堀 | 57表-1 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 52 | 33 | 30 | 57.0 | 暗色帯表採 | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K2-1 | 石刃 | 黒曜石 | 49 | 25 | 7 | 5.7 | | ? | 1 | 45,812.190 | -63,808.630 | 138.634 | 33 | 14 |
| 上泉新田塚 | K2-2 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 27 | 4 | 4.1 | | ? | 1 | 45,814.460 | -63,808.630 | 139.390 | | |
| 上泉新田塚 | K2-1a | 自然石(岩片) | デイスaitoガラス | 4 | 3 | 2 | 0.1 | No1とは別 | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K2-21 | 自然石(岩片) | デイスaitoガラス | 7 | 5 | 2 | 0.1 | 21で取り上げ | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K2-31 | 自然石(岩片) | デイスaitoガラス | 8 | 7 | 3 | 0.2 | 31で取り上げ | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K3-1 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉新田塚 | K3-2 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 29 | 4 | 1.7 | | As-ok1 | 2 | 45,771.050 | -63,795.920 | 138.902 | | |
| 上泉新田塚 | K3-3 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 13 | 3 | 0.9 | | As-ok1 | 2 | 45,771.810 | -63,796.030 | 138.710 | | |
| 上泉新田塚 | K3-4 | 剥片 | 黒色頁岩 | 57 | 40 | 12 | 18.3 | | As-ok1 | 2 | 45,771.770 | -63,796.200 | 138.650 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-5 | 剥片 | 黒色頁岩 | 39 | 24 | 7 | 5.0 | | As-ok1 | 2 | 45,771.660 | -63,796.150 | 138.559 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-6 | 使用痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 48 | 26 | 7 | 8.8 | | As-ok1 | 2 | 45,773.150 | -63,797.260 | 138.917 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-7 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 26 | 7 | 4.7 | | As-ok1 | 2 | 45,773.610 | -63,796.610 | 138.750 | | |
| 上泉新田塚 | K3-8 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 40 | 5 | 5.3 | | As-ok1 | 2 | 45,773.430 | -63,796.700 | 138.513 | | |
| 上泉新田塚 | K3-9 | 削器 | 黒色頁岩 | 80 | 53 | 17 | 51.8 | | As-ok1 | 2 | 45,774.420 | -63,796.900 | 138.888 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-10 | 剥片 | 黒色頁岩 | 21 | 15 | 4 | 1.6 | | As-ok1 | 2 | 45,771.910 | -63,794.180 | 138.816 | | |
| 上泉新田塚 | K3-11 | 剥片 | チャート | 29 | 15 | 7 | 2.8 | | As-ok1 | 2 | 45,772.690 | -63,794.300 | 138.741 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-12 | 碎片 | 黒色頁岩 | 10 | 10 | 2 | 0.2 | | As-ok1 | 2 | 45,772.620 | -63,794.400 | 138.785 | | |
| 上泉新田塚 | K3-13 | 剥片 | 黒色頁岩 | 12 | 23 | 7 | 2.0 | | As-ok1 | 2 | 45,773.280 | -63,794.560 | 138.815 | | |
| 上泉新田塚 | K3-14 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 15 | 2 | 0.6 | | As-ok1 | 2 | 45,773.920 | -63,794.380 | 138.852 | | |
| 上泉新田塚 | K3-15 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 20 | 8 | 2.7 | | As-ok1 | 2 | 45,773.920 | -63,794.550 | 138.827 | | |
| 上泉新田塚 | K3-16 | 剥片 | 黒色頁岩 | 46 | 33 | 10 | 13.1 | 磨耗痕あり | As-ok1 | 2 | 45,774.700 | -63,794.580 | 138.925 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-17 | 加工痕ある剥片 | チャート | 19 | 14 | 4 | 0.9 | | As-ok1 | 2 | 45,774.340 | -63,794.800 | 138.867 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-18 | 使用痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 59 | 42 | 10 | 19.4 | | As-ok1 | 2 | 45,774.570 | -63,794.930 | 138.850 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-19 | 剥片 | チャート | 19 | 16 | 4 | 1.3 | 楔形石器? | As-ok1 | 2 | 45,774.980 | -63,794.960 | 138.846 | | |
| 上泉新田塚 | K3-20 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 7 | 1 | 0.1 | | As-ok1 | 2 | 45,776.280 | -63,796.550 | 138.852 | | |
| 上泉新田塚 | K3-21 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉新田塚 | K3-22 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 7 | 2 | 0.1 | | As-ok1 | 2 | 45,777.500 | -63,797.770 | 138.512 | | |
| 上泉新田塚 | K3-23 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉新田塚 | K3-24 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉新田塚 | K3-25 | 剥片 | 黒色頁岩 | 9 | 25 | 2 | 0.5 | | As-ok1 | 2 | 45,782.040 | -63,797.590 | 139.075 | | |
| 上泉新田塚 | K3-26 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 47 | 9 | 10.8 | | As-ok1 | 2 | 45,781.850 | -63,797.890 | 138.704 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-27 | 剥片 | 黒色頁岩 | 33 | 18 | 4 | 2.2 | | As-ok1 | 2 | 45,781.790 | -63,798.390 | 138.858 | | |
| 上泉新田塚 | K3-28 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 41 | 9 | 9.0 | | As-ok1 | 2 | 45,780.950 | -63,799.500 | 138.874 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-29 | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 43 | 8 | 10.8 | | As-ok1 | 2 | 45,782.290 | -63,799.980 | 138.761 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-30 | 剥片 | 黒色頁岩 | 44 | 56 | 6 | 9.1 | 火はね? | As-ok1 | 2 | 45,782.140 | -63,800.400 | 138.637 | | |
| 上泉新田塚 | K3-31 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉新田塚 | K3-32 | 石刃 | 黒色頁岩 | 60 | 35 | 10 | 20.0 | | As-ok1 | 2 | 45,770.680 | -63,796.180 | 138.500 | 36 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-33 | 剥片 | 黒色頁岩 | 19 | 30 | 5 | 2.1 | | As-ok1 | 2 | 45,774.620 | -63,794.900 | 138.680 | | |
| 上泉新田塚 | K3-34 | 剥片 | 黒色頁岩 | 14 | 19 | 6 | 1.2 | | As-ok1 | 2 | 45,772.620 | -63,794.450 | 138.691 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-1 | 剥片 | チャート | 30 | 37 | 9 | 9.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,770.340 | -63,794.790 | 138.027 | 45 | 16 |
| 上泉新田塚 | K3-2-2 | 剥片 | 珪質頁岩 | 51 | 25 | 7 | 7.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,772.600 | -63,796.560 | 138.054 | 45 | 16 |
| 上泉新田塚 | K3-2-3 | 剥片 | チャート | 22 | 15 | 6 | 1.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,772.410 | -63,792.510 | 138.073 | 45 | 16 |
| 上泉新田塚 | K3-2-4 | 削器 | チャート | 31 | 25 | 7 | 5.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,773.380 | -63,791.180 | 138.218 | 40 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-2-5 | 石核 | チャート | 31 | 32 | 12 | 9.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,774.070 | -63,791.690 | 138.149 | 41 | 15 |
| 上泉新田塚 | K3-2-6 | 碎片 | チャート | 7 | 6 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,775.850 | -63,799.980 | 137.997 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-7 | 剥片 | チャート | 6 | 6 | 1 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,775.210 | -63,800.270 | 138.078 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-8 | 剥片 | チャート | 23 | 16 | 7 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,775.190 | -63,801.090 | なし | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-9 | 碎片 | チャート | 7 | 12 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,776.550 | -63,800.710 | 138.097 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-10 | 加工痕ある剥片 | チャート | 35 | 12 | 7 | 2.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,776.740 | -63,800.190 | 138.080 | 40 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-2-11 | 剥片 | チャート | 27 | 17 | 9 | 3.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,776.830 | -63,800.000 | 138.151 | 45 | 16 |
| 上泉新田塚 | K3-2-12 | 剥片 | チャート | 20 | 10 | 3 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,777.020 | -63,801.320 | 137.999 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-13 | 自然石 | 頁岩 | 3 | 4 | 1 | 計測不能 | | 不明 | 3 | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-14 | 自然石 | 頁岩 | 5 | 5 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,777.220 | -63,800.860 | 138.128 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-15 | 剥片 | チャート | 11 | 13 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,777.490 | -63,800.620 | 138.123 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-16 | 剥片 | チャート | 12 | 8 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,777.460 | -63,799.730 | 138.076 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-17 | 剥片 | チャート | 35 | 14 | 8 | 3.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,777.740 | -63,799.800 | 138.190 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-18 | 剥片 | チャート | 17 | 18 | 8 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,778.350 | -63,800.370 | 138.058 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-19 | 自然石(岩片) | 粗粒輝石安山岩 | 8 | 7 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,778.820 | -63,799.010 | 138.142 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-20 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 44 | 39 | 13 | 22.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,775.630 | -63,791.630 | 138.149 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-21 | 剥片 | チャート | 22 | 24 | 6 | 2.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,774.500 | -63,791.010 | 137.998 | 45 | 16 |
| 上泉新田塚 | K3-2-22 | 剥片 | チャート | 40 | 19 | 11 | 7.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,771.140 | -63,798.220 | 138.084 | 45 | 16 |
| 上泉新田塚 | K3-2-23 | 剥片 | チャート | 37 | 38 | 11 | 14.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,770.880 | -63,799.380 | 137.863 | 45 | 16 |
| 上泉新田塚 | K3-2-24 | 礫 | 珪質変質岩 | 58 | 53 | 15 | 47.4 | 自然石? | 暗色帯 | 3 | 45,773.300 | -63,792.530 | 137.884 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-25 | 剥片 | チャート | 25 | 29 | 11 | 5.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,770.220 | -63,797.810 | 137.765 | 45 | 16 |
| 上泉新田塚 | K3-2-26 | 敲石 | 珪質頁岩 | 89 | 51 | 34 | 224.4 | 泥岩? | 暗色帯 | 3 | 45,772.350 | -63,798.160 | 137.717 | 42 | 15 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|-------|---------|---------|-----------|----|----|----|-------|-------|--------|-----|------------|-------------|---------|-------|-------|
| 上泉新田塚 | K3-2-27 | 自然石(岩片) | 珪質変質岩 | 33 | 28 | 21 | 16.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,772.370 | -63,798.320 | 137.656 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-28 | 剥片 | チャート | 25 | 13 | 5 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,774.710 | -63,801.500 | 137.932 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-29 | 加工痕ある剥片 | チャート | 15 | 9 | 5 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,776.220 | -63,800.680 | 137.935 | 40 | 14 |
| 上泉新田塚 | K3-2-30 | 剥片 | 黒色頁岩 | 10 | 22 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,778.260 | -63,802.920 | 138.386 | | |
| 上泉新田塚 | K3-2-31 | 碎片 | 黒色頁岩 | 10 | 8 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,778.940 | -63,801.540 | 138.016 | | |
| 上泉新田塚 | K4-1 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 10 | 9 | 4 | 0.3 | | As-ok1 | 2 | 45,834.270 | -63,802.620 | 139.734 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 23 | 4 | 1.3 | | As-ok1 | 2 | 45,827.390 | -63,796.270 | 140.000 | | |
| 上泉新田塚 | K4-3 | 自然石 | 黒色片岩 | 34 | 16 | 4 | 2.5 | | As-ok1 | 2 | 45,827.840 | -63,795.800 | 140.082 | | 71 |
| 上泉新田塚 | K4-4 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 26 | 3 | 1.6 | | As-ok1 | 2 | 45,829.250 | -63,794.370 | 140.144 | | |
| 上泉新田塚 | K4-5 | 碎片 | 黒色頁岩 | 10 | 10 | 1 | 0.1 | | As-ok1 | 2 | 45,829.710 | -63,794.430 | 140.050 | | |
| 上泉新田塚 | K4-6 | 剥片 | 黒色頁岩 | 16 | 18 | 2 | 0.9 | | As-ok1 | 2 | 45,829.920 | -63,796.830 | 139.920 | | |
| 上泉新田塚 | K4-7 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉新田塚 | K4-8 | 剥片 | 黒色頁岩 | 16 | 16 | 3 | 0.8 | | As-ok1 | 2 | 45,831.810 | -63,793.230 | 139.979 | | |
| 上泉新田塚 | K4-9 | 剥片 | チャート | 21 | 10 | 4 | 1.0 | | As-ok1 | 2 | 45,836.840 | -63,790.360 | 139.975 | | |
| 上泉新田塚 | K4-10 | 雑器 | 黒色頁岩 | 29 | 13 | 6 | 2.4 | 縄文石器? | As-ok1 | 2 | 45,836.690 | -63,791.310 | 139.980 | | |
| 上泉新田塚 | K4-11 | 剥片 | チャート | 13 | 28 | 9 | 3.0 | | As-ok1 | 2 | 45,837.040 | -63,791.980 | 139.965 | | |
| 上泉新田塚 | K4-12 | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 15 | 5 | 1.2 | | As-ok1 | 2 | 45,838.670 | -63,793.190 | 139.904 | | |
| 上泉新田塚 | K4-13 | 自然石(岩片) | デイスaitガラス | 6 | 4 | 2 | 0.1 | | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K4-14 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 11 | 1 | 3 | 0.3 | | As-ok1 | 2 | 45,841.030 | -63,792.010 | 140.207 | | |
| 上泉新田塚 | K4-15 | 剥片 | 黒色頁岩 | 13 | 16 | 2 | 0.4 | | As-ok1 | 2 | 45,846.870 | -63,791.900 | 140.313 | | |
| 上泉新田塚 | K4-16 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 28 | 4 | 3.0 | | As-ok1 | 2 | 45,850.080 | -63,794.820 | 140.142 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-1a | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 20 | 7 | 2.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,828.630 | -63,796.450 | 138.994 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-1b | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 21 | 4 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,828.630 | -63,796.450 | 138.994 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-2 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 47 | 30 | 20 | 33.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,830.540 | -63,795.040 | 139.068 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-3 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 16 | 8 | 3.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,837.980 | -63,792.700 | 139.322 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-4 | 礫 | ホルンフェルス | 67 | 60 | 33 | 150.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,837.610 | -63,791.060 | 139.136 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-5 | 石刃 | 黒色頁岩 | 62 | 30 | 12 | 23.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,838.420 | -63,791.250 | 139.048 | 40 | 15 |
| 上泉新田塚 | K4-2-6 | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 25 | 7 | 7.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,837.770 | -63,791.450 | 139.301 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-7 | 石核 | 黒色頁岩 | 39 | 39 | 17 | 20.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,838.740 | -63,790.720 | 139.364 | 41・44 | 15・16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-8 | 剥片 | 黒色頁岩 | 13 | 15 | 3 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,842.740 | -63,790.580 | 139.225 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-9 | 剥片 | 黒色頁岩 | 49 | 54 | 12 | 24.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,844.350 | -63,793.290 | 139.281 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-10 | 自然石 | 黒色片岩 | 28 | 12 | 7 | 2.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.360 | -63,791.210 | 139.723 | | 71 |
| 上泉新田塚 | K4-2-11 | 石刃 | 黒色頁岩 | 50 | 42 | 16 | 32.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,847.340 | -63,801.250 | 139.416 | 40 | 15 |
| 上泉新田塚 | K4-2-12 | 石核 | 黒色安山岩 | 41 | 45 | 25 | 39.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,847.300 | -63,801.120 | 139.267 | 41・43 | 15・16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-13 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 13 | 8 | 1.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,847.080 | -63,800.470 | 139.322 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-14 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 15 | 3 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,847.520 | -63,800.530 | 139.390 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-15 | 石刃 | 黒色頁岩 | 51 | 43 | 13 | 36.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,847.700 | -63,801.060 | 139.309 | 40 | 15 |
| 上泉新田塚 | K4-2-16 | 石核 | 黒色安山岩 | 43 | 37 | 23 | 31.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,847.880 | -63,801.500 | 139.283 | 41・43 | 15・16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-17 | 剥片 | 黒色頁岩 | 75 | 84 | 26 | 186.0 | 微細剥離 | 暗色帯 | 3 | 45,848.140 | -63,800.820 | 139.305 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-18 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 14 | 5 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,848.500 | -63,800.520 | 139.478 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-19 | 剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 62 | 17 | 39.8 | 微細剥離 | 暗色帯 | 3 | 45,848.770 | -63,800.510 | 139.400 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-20 | 剥片 | 黒色頁岩 | 51 | 24 | 12 | 10.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,849.590 | -63,803.530 | 139.099 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-21 | 剥片 | 黒色安山岩 | 51 | 36 | 9 | 15.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,850.260 | -63,803.260 | 139.185 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-22 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 40 | 9 | 3.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,850.360 | -63,802.580 | 139.341 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-23 | 剥片 | 黒色頁岩 | 16 | 18 | 4 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,850.520 | -63,802.200 | 139.535 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-24 | 剥片 | 黒色安山岩 | 60 | 40 | 21 | 51.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,850.800 | -63,802.200 | 139.289 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-25 | 剥片 | 黒色安山岩 | 45 | 29 | 12 | 13.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,850.420 | -63,796.300 | 139.392 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-26 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 25 | 11 | 7.8 | 楔形石器? | 暗色帯 | 3 | 45,851.200 | -63,796.510 | 139.500 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-27 | 自然石(岩片) | 黒色安山岩 | 4 | 2 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.390 | -63,796.590 | 139.561 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-28 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 27 | 14 | 11.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.530 | -63,796.890 | 139.414 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 44 | 29 | 14 | 15.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.430 | -63,796.140 | 139.761 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-30 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 16 | 4 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.590 | -63,796.500 | 139.455 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-31 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 20 | 10 | 4.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.990 | -63,796.170 | 139.673 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-32 | 剥片 | 黒色頁岩 | 21 | 25 | 6 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.080 | -63,795.840 | 139.584 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-33 | 剥片 | 黒色安山岩 | 54 | 38 | 17 | 36.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.200 | -63,796.060 | 139.539 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-34 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 49 | 15 | 40.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.210 | -63,796.190 | 139.425 | 40 | 14 |
| 上泉新田塚 | K4-2-35 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 29 | 12 | 2.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.450 | -63,796.200 | 139.387 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-36 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 21 | 10 | 2.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.710 | -63,796.220 | 139.642 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-37 | 剥片 | 黒色頁岩 | 20 | 20 | 7 | 4.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,853.000 | -63,796.150 | 139.527 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-38 | 石核 | 黒色安山岩 | 35 | 46 | 16 | 30.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.440 | -63,796.780 | 139.576 | 41・43 | 15・16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-39 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 5 | 5 | 2 | 0.1 | | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-40 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 10 | 2 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.970 | -63,796.580 | 139.498 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-41 | 石核 | 黒色頁岩 | 35 | 75 | 26 | 58.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.840 | -63,796.780 | 139.498 | 41 | 15 |
| 上泉新田塚 | K4-2-42 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 40 | 11 | 12.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.860 | -63,797.220 | 139.712 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-43 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 31 | 11 | 13.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,851.980 | -63,797.440 | 139.584 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-44 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 19 | 8 | 2.2 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.080 | -63,798.140 | 139.711 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-45 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 13 | 7 | 2.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.060 | -63,798.370 | 139.644 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-46 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 6 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.380 | -63,797.220 | 139.562 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-47 | 石核 | 黒色安山岩 | 36 | 36 | 25 | 27.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,853.060 | -63,797.400 | 139.590 | 41・43 | 15・16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-48 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 17 | 10 | 7.5 | | 暗色帯 | 3 | 45,854.000 | -63,796.760 | 139.515 | 41・43 | 15・16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-49 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 19 | 7 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,853.690 | -63,798.000 | 139.469 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-50 | 自然石 | 黒色片岩 | 31 | 12 | 9 | 3.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,854.140 | -63,798.740 | 139.198 | | 71 |
| 上泉新田塚 | K4-2-51 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 41 | 13 | 10.8 | | 暗色帯 | 3 | 45,853.810 | -63,799.130 | 139.484 | 43 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-52 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 45 | 35 | 23 | 31.9 | | 暗色帯 | 3 | 45,854.180 | -63,799.490 | 139.147 | | 71 |
| 上泉新田塚 | K4-2-53 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 36 | 18 | 27.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,854.600 | -63,796.460 | 139.637 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-54 | 石刃 | チャート | 63 | 34 | 10 | 13.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,856.390 | -63,795.360 | 139.468 | 40 | 15 |
| 上泉新田塚 | K4-2-55 | 石刃 | 黒色頁岩 | 58 | 14 | 6 | 4.0 | | 暗色帯 | 3 | 45,857.940 | -63,795.140 | 139.743 | 40 | 14 |
| 上泉新田塚 | K4-2-56 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 38 | 11 | 12.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,858.260 | -63,795.420 | 139.719 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-57 | 剥片 | 黒色頁岩 | 47 | 58 | 14 | 40.3 | | 暗色帯 | 3 | 45,858.610 | -63,795.380 | 139.708 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-58 | 石刃 | 黒色頁岩 | 63 | 18 | 12 | 17.4 | | 暗色帯 | 3 | 45,858.580 | -63,795.790 | 139.660 | 40 | 14 |
| 上泉新田塚 | K4-2-59 | 剥片 | 黒色頁岩 | 14 | 15 | 9 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 45,859.520 | -63,795.270 | 139.582 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|-------|---------|---------|------------|-----|-----|-----|--------|--------|------|-----|------------|-------------|---------|-------|-------|
| 上泉新田塚 | K4-2-60 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 21 | 9 | 3.7 | | 暗色帯 | 3 | 45,858.180 | -63,794.750 | 139.807 | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-61 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 38 | 8 | 9.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,857.570 | -63,794.760 | 139.775 | 44 | 16 |
| 上泉新田塚 | K4-2-62 | 自然石 | 珪質変質岩 | 18 | 15 | 7 | 26.5 | | なし | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-63 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 295 | 215 | 110 | 75.0 | 大型自然石 | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K4-2-64 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 47 | 22 | 9 | 14.1 | | 暗色帯 | 3 | 45,852.920 | -63,793.430 | 139.674 | | 71 |
| 上泉新田塚 | K4-2-65 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 47 | 12 | 19.8 | | 暗色帯 | 3 | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | K5-1 | 自然石(岩片) | デイスaitoガラス | 10 | 8 | 5 | 0.4 | | なし | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | 78C1 | 剥片 | 珪質頁岩 | 26 | 29 | 5 | 5.0 | | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | 78C2 | 碎片 | 珪質頁岩 | 7 | 6 | 1 | 0.1 | | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉新田塚 | 1号道-1 | 槍先形尖頭器 | チャート | 30 | 15 | 5 | 1.8 | 1号道覆土 | Ⅲ層 | 1 | なし | なし | なし | 33 | 14 |
| 上泉武田 | I 1 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 156 | 100 | 82 | 1400.0 | | Ⅲ~Ⅳ層 | 3 | 46,087.466 | -63,940.526 | 144.330 | | |
| 上泉武田 | I 2 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 123 | 106 | 87 | 1400.0 | 赤化 | | 3 | 46,087.601 | -63,940.456 | 144.339 | | |
| 上泉武田 | I 3 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 181 | 130 | 81 | 1950.0 | 赤化 | | 3 | 46,087.686 | -63,940.503 | 144.276 | | |
| 上泉武田 | I 4 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 134 | 85 | 56 | 800.0 | 扁平垂直角礫 | | 3 | 46,087.778 | -63,940.420 | 144.354 | | |
| 上泉武田 | I 5 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 211 | 138 | 101 | 3050.0 | 角礫 | | 3 | 46,087.959 | -63,940.272 | 144.340 | | |
| 上泉武田 | I 6 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉武田 | I 7 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 20 | 7 | 4.2 | | | 3 | 46,111.914 | -63,953.603 | 145.480 | | |
| 上泉武田 | I 8 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 34 | 10 | 12.0 | | | 3 | 46,115.090 | -63,951.816 | 145.576 | | |
| 上泉武田 | I 9 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 29 | 9 | 5.9 | | | 3 | 46,110.887 | -63,955.907 | 145.174 | | |
| 上泉武田 | I 10 | 剥片 | 黒曜石 | 21 | 22 | 3 | 1.4 | | | 3 | 46,082.953 | -63,947.166 | 144.079 | 79 | 29 |
| 上泉武田 | I 11 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 41 | 7 | 4.5 | | | 3 | 46,111.789 | -63,953.455 | 145.302 | | |
| 上泉武田 | I 12 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | - | - | - | 1000.0 | 複数に粉砕 | | 3 | 46,088.039 | -63,940.274 | 144.305 | | |
| 上泉武田 | I 13 | 剥片 | チャート | 18 | 22 | 7 | 1.8 | | | 3 | 46,100.670 | -63,959.809 | 145.523 | | |
| 上泉武田 | I 14 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 10 | 7 | 3 | 0.2 | | | 2 | 46,120.622 | -63,963.406 | 145.966 | | |
| 上泉武田 | I 15 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 6 | 6 | 3 | 0.1 | | | 2 | 46,120.736 | -63,964.676 | 145.994 | | |
| 上泉武田 | I 16 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 11 | 3 | 0.5 | | | 2 | 46,120.088 | -63,964.472 | 145.915 | | |
| 上泉武田 | I 17 | 剥片 | 黒色頁岩 | 9 | 7 | 1 | 0.1 | | | 2 | 46,120.144 | -63,964.837 | 145.954 | | |
| 上泉武田 | I 18 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 19 | 4 | 1.9 | | | 2 | 46,120.165 | -63,965.680 | 145.752 | | |
| 上泉武田 | I 19 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 22 | 4 | 1.8 | | | 2 | 46,120.650 | -63,966.286 | 146.059 | | |
| 上泉武田 | I 20 | 削器 | 黒色安山岩 | 43 | 39 | 6 | 15.2 | | | 2 | 46,121.354 | -63,966.285 | 146.055 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | I 21 | 礫片 | 黒色頁岩 | 71 | 48 | 14 | 49.2 | | | 2 | 46,120.411 | -63,968.156 | 145.894 | | |
| 上泉武田 | I 22 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 9 | 6 | 2 | 0.1 | | | 2 | 46,122.154 | -63,968.512 | 145.973 | | |
| 上泉武田 | I 23 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 6 | 3 | 0.3 | | | 2 | 46,120.411 | -63,968.156 | 145.900 | | |
| 上泉武田 | I 24 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 33 | 7 | 5.6 | | | 2 | 46,118.619 | -63,966.902 | 145.660 | | |
| 上泉武田 | I 25 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 13 | 5 | 1.7 | | | 2 | 46,119.592 | -63,965.847 | 146.020 | | |
| 上泉武田 | I 26 | 剥片 | 黒色頁岩 | 16 | 10 | 6 | 0.6 | | | 2 | 46,119.247 | -63,964.535 | 145.920 | | |
| 上泉武田 | I 27 | 石刃 | 黒色頁岩 | 16 | 7 | 1 | 0.2 | 小形石刃 | | 2 | 46,119.116 | -63,964.295 | 145.930 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | I 28 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 10 | 8 | 5 | 0.5 | | | 2 | 46,118.802 | -63,964.227 | 145.940 | | |
| 上泉武田 | I 29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 25 | 6 | 3.6 | | | 2 | 46,117.872 | -63,964.603 | 145.940 | | |
| 上泉武田 | I 30 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 9 | 5 | 0.6 | | | 2 | 46,118.834 | -63,962.742 | 145.890 | | |
| 上泉武田 | I 31 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 5 | 3 | 0.1 | | | 2 | 46,118.431 | -63,962.596 | 146.000 | | |
| 上泉武田 | I 32 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 9 | 6 | 2 | 0.1 | | | 2 | 46,118.107 | -63,962.852 | 145.990 | | |
| 上泉武田 | I 33 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 15 | 3 | 0.7 | | | 2 | 46,117.574 | -63,963.145 | 146.010 | | |
| 上泉武田 | I 34 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 9 | 6 | 3 | 0.3 | | | 2 | 46,117.559 | -63,961.478 | 145.950 | | |
| 上泉武田 | I 35 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 12 | 10 | 2 | 0.3 | | | 2 | 46,116.747 | -63,961.132 | 146.000 | | |
| 上泉武田 | I 36 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 9 | 2 | 0.2 | | | 3 | 46,115.833 | -63,960.747 | 145.730 | | |
| 上泉武田 | I 37 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 8 | 7 | 3 | 0.1 | | | 2 | 46,116.881 | -63,957.114 | 145.910 | | |
| 上泉武田 | I 38 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 43 | 7 | 8.7 | | | 2 | 46,114.463 | -63,964.630 | 145.800 | | |
| 上泉武田 | I 39 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 14 | 12 | 5 | 1.2 | | | 2 | 46,113.760 | -63,967.715 | 145.750 | | |
| 上泉武田 | I 40 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 34 | 10 | 5.4 | | | 2 | 46,120.988 | -63,965.898 | 145.430 | | |
| 上泉武田 | I 41 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 10 | 4 | 0.9 | | | 2 | 46,115.847 | -63,972.330 | 145.725 | 58 | 20 |
| 上泉武田 | I 42 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 13 | 3 | 0.6 | | | 2 | 46,116.456 | -63,973.273 | 145.800 | | |
| 上泉武田 | I 43 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 10 | 2 | 0.2 | | | 2 | 46,117.537 | -63,973.136 | 145.630 | | |
| 上泉武田 | I 44 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 10 | 1 | 0.2 | | | 2 | 46,117.836 | -63,973.392 | 145.708 | | |
| 上泉武田 | I 45 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 13 | 2 | 0.9 | | | 2 | 46,118.078 | -63,973.537 | 145.710 | 58 | 20 |
| 上泉武田 | I 46 | 石刃 | チャート | 42 | 23 | 8 | 8.6 | | | 2 | 46,118.152 | -63,974.562 | 145.664 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | I 47 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 9 | 8 | 2 | 0.2 | | | 2 | 46,118.643 | -63,974.939 | 145.537 | | |
| 上泉武田 | I 48 | 礫 | 溶結凝灰岩 | 175 | 157 | 96 | 3550.0 | 褐色付着物 | | 2 | 46,119.509 | -63,974.011 | 145.650 | | |
| 上泉武田 | I 49 | 石刃 | 黒曜石 | 41 | 17 | 5 | 2.5 | 微細刻雕 | | 2 | 46,119.646 | -63,973.874 | 145.697 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | I 50 | 自然石 | 安山岩 | 9 | 5 | 2 | 0.1 | | | 2 | 46,120.084 | -63,974.030 | 145.633 | | |
| 上泉武田 | I 51 | 剥片 | 黒曜石 | 15 | 8 | 2 | 0.3 | | | 2 | 46,119.051 | -63,973.207 | 145.619 | | |
| 上泉武田 | I 52 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 6 | 1 | 0.1 | | | 2 | 46,118.367 | -63,973.000 | 145.563 | | |
| 上泉武田 | I 53 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 15 | 1 | 0.4 | | | 2 | 46,118.852 | -63,972.215 | 145.613 | | |
| 上泉武田 | I 54 | 石刃 | 黒色安山岩 | 30 | 18 | 2 | 1.8 | | | 2 | 46,119.592 | -63,972.614 | 145.591 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | I 55 | 剥片 | 黒色安山岩 | 49 | 28 | 8 | 9.4 | | | 2 | 46,119.596 | -63,972.957 | 145.721 | 58 | 20 |
| 上泉武田 | I 56 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 151 | 125 | 41 | 750.0 | | | 2 | 46,119.675 | -63,972.940 | 145.709 | | |
| 上泉武田 | I 57 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 77 | 57 | 34 | 120.0 | | | 2 | 46,119.804 | -63,973.142 | 145.718 | | |
| 上泉武田 | I 58 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 81 | 54 | 27 | 100.7 | | | 2 | 46,119.895 | -63,973.175 | 145.682 | | |
| 上泉武田 | I 59 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 9 | 5 | 4 | 0.3 | | | 2 | 46,120.151 | -63,973.355 | 145.791 | | |
| 上泉武田 | I 60 | 石刃 | 黒色安山岩 | 39 | 27 | 7 | 9.6 | | | 2 | 46,120.322 | -63,972.475 | 145.832 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | I 61 | 石核 | 黒色頁岩 | 98 | 73 | 45 | 520.0 | | | 2 | 46,120.793 | -63,973.150 | 145.761 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | I 62 | 石刃 | 黒色安山岩 | 33 | 30 | 7 | 6.3 | | | 2 | 46,121.218 | -63,974.513 | 145.999 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | I 63 | 石刃 | 黒色安山岩 | 25 | 19 | 2 | 1.3 | | | 2 | 46,119.554 | -63,973.150 | 145.598 | 57 | 20 |
| 上泉武田 | II 1 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 25 | 8 | 6.6 | | | 3 | 46,089.477 | -63,936.402 | 144.197 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 2 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 22 | 3 | 1.5 | | | 3 | 46,089.920 | -63,934.362 | 144.010 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 3 | 石核 | 黒色頁岩 | 29 | 28 | 16 | 12.6 | | | 3 | 46,090.403 | -63,932.229 | 143.852 | 66・75 | 23・28 |
| 上泉武田 | II 4 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 49 | 33 | 18 | 43.4 | 加工痕? | | 3 | 46,089.717 | -63,930.696 | 143.436 | | |
| 上泉武田 | II 5 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 7 | 1 | 0.2 | | | 3 | 46,090.318 | -63,928.672 | 143.157 | | |
| 上泉武田 | II 6 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 23 | 10 | 9.0 | | | 3 | 46,092.450 | -63,929.590 | 143.559 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 7 | 剥片 | 黒色頁岩 | 33 | 45 | 7 | 7.9 | | | 3 | 46,092.139 | -63,931.505 | 143.761 | 76 | 28 |
| 上泉武田 | II 8 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 13 | 7 | 2.9 | | | 3 | 46,091.488 | -63,931.918 | 143.760 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|-------|---------|---------|----|----|----|-------|----------|----|-----|------------|-------------|---------|-------|-------|
| 上泉武田 | II 9 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 16 | 3 | 1.8 | II 11が接合 | | 3 | 46,091.080 | -63,933.161 | 143.935 | | |
| 上泉武田 | II 10 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 7 | 2 | 0.5 | | | 3 | 46,091.266 | -63,933.221 | 143.803 | | |
| 上泉武田 | II 11 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 上泉武田 | II 12 | 自然石 | 珪質変質岩 | 27 | 18 | 9 | 4.1 | | | 3 | 46,091.341 | -63,935.049 | 144.098 | | |
| 上泉武田 | II 13 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 17 | 8 | 4.7 | | | 3 | 46,091.273 | -63,935.672 | 144.068 | | |
| 上泉武田 | II 14 | 剥片 | 黒色頁岩 | 28 | 20 | 7 | 5.0 | | | 3 | 46,090.879 | -63,936.053 | 144.288 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 15 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 20 | 12 | 6.9 | | | 3 | 46,091.687 | -63,935.905 | 144.301 | | |
| 上泉武田 | II 16 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 25 | 9 | 7.9 | | | 3 | 46,091.782 | -63,935.533 | 144.074 | | |
| 上泉武田 | II 17 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 43 | 8 | 13.4 | | | 3 | 46,092.065 | -63,934.929 | 144.071 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 18 | 剥片 | 黒色頁岩 | 21 | 42 | 14 | 14.2 | | | 3 | 46,092.174 | -63,934.648 | 144.195 | | |
| 上泉武田 | II 19 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 16 | 6 | 3.5 | | | 3 | 46,092.190 | -63,934.234 | 144.153 | | |
| 上泉武田 | II 20 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 25 | 11 | 8.5 | | | 3 | 46,092.713 | -63,934.066 | 144.047 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 21 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 51 | 15 | 34.9 | | | 3 | 46,092.860 | -63,934.701 | 144.151 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 22 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 31 | 10 | 13.6 | | | 3 | 46,092.759 | -63,934.847 | 144.107 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 23 | 剥片 | 黒色頁岩 | 45 | 26 | 11 | 11.1 | | | 3 | 46,092.498 | -63,934.834 | 144.157 | 77 | 29 |
| 上泉武田 | II 24 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 13 | 4 | 1.4 | | | 3 | 46,092.367 | -63,934.901 | 144.186 | | |
| 上泉武田 | II 25 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 14 | 8 | 4.2 | | | 3 | 46,092.636 | -63,935.093 | 144.228 | | |
| 上泉武田 | II 26 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 22 | 12 | 7.8 | | | 3 | 46,092.642 | -63,935.415 | 144.258 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 27 | ナイフ形石器 | 黒色頁岩 | 61 | 25 | 6 | 9.9 | | | 3 | 46,092.373 | -63,935.593 | 144.190 | 62・75 | 20・28 |
| 上泉武田 | II 28 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 17 | 11 | 6.5 | | | 3 | 46,092.288 | -63,935.936 | 144.304 | 77 | 29 |
| 上泉武田 | II 29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 47 | 24 | 10 | 11.3 | | | 3 | 46,092.447 | -63,935.854 | 144.248 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 30 | 剥片 | 黒色頁岩 | 33 | 23 | 9 | 5.0 | | | 3 | 46,092.551 | -63,936.090 | 144.263 | 76 | 28 |
| 上泉武田 | II 31 | 剥片 | 黒色頁岩 | 20 | 22 | 5 | 2.6 | | | 3 | 46,092.683 | -63,936.240 | 144.332 | | |
| 上泉武田 | II 32 | 剥片 | 黒色安山岩 | 63 | 37 | 20 | 50.1 | | | 3 | 46,093.137 | -63,936.439 | 144.272 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 33 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 10 | 5 | 0.9 | | | 3 | 46,093.137 | -63,936.264 | 144.266 | | |
| 上泉武田 | II 34 | 石刃 | 黒色頁岩 | 64 | 25 | 7 | 14.7 | | | 3 | 46,093.102 | -63,935.625 | 144.221 | 65 | 22 |
| 上泉武田 | II 35 | 剥片 | 黒色安山岩 | 53 | 34 | 11 | 24.6 | | | 3 | 46,093.057 | -63,935.350 | 144.207 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 36 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 21 | 13 | 12.5 | | | 3 | 46,093.288 | -63,934.927 | 144.251 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 37 | 蔽石 | 粗粒輝石安山岩 | 98 | 51 | 29 | 190.6 | 亜円礫 | | 3 | 46,093.349 | -63,935.295 | 144.222 | 68 | 24 |
| 上泉武田 | II 38 | 石刃 | 黒色頁岩 | 68 | 14 | 7 | 9.6 | | | 3 | 46,093.481 | -63,935.374 | 144.312 | 63・75 | 21・28 |
| 上泉武田 | II 39 | 剥片 | 黒色頁岩 | 21 | 16 | 2 | 1.1 | | | 3 | 46,093.691 | -63,935.253 | 144.119 | | |
| 上泉武田 | II 40 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 13 | 6 | 1.2 | | | 3 | 46,093.609 | -63,936.003 | 144.172 | | |
| 上泉武田 | II 41 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 12 | 2 | 1.2 | | | 3 | 46,093.772 | -63,935.990 | 144.335 | 77 | 29 |
| 上泉武田 | II 42 | 剥片 | 黒色頁岩 | 43 | 32 | 14 | 18.0 | | | 3 | 46,094.015 | -63,936.103 | 144.245 | 77 | 29 |
| 上泉武田 | II 43 | 剥片 | 黒色頁岩 | 7 | 22 | 6 | 1.8 | | | 3 | 46,094.712 | -63,935.871 | 144.397 | | |
| 上泉武田 | II 44 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 23 | 4 | 1.6 | | | 3 | 46,094.961 | -63,935.873 | 144.296 | | |
| 上泉武田 | II 45 | 石刃 | 黒色頁岩 | 52 | 18 | 7 | 5.5 | | | 3 | 46,095.610 | -63,935.721 | 144.348 | 65 | 22 |
| 上泉武田 | II 46 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 18 | 5 | 1.1 | | | 3 | 46,096.212 | -63,935.181 | 144.290 | | |
| 上泉武田 | II 47 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 17 | 3 | 1.8 | | | 3 | 46,095.173 | -63,935.143 | 144.335 | | |
| 上泉武田 | II 48 | 剥片 | 黒色頁岩 | 41 | 35 | 11 | 13.7 | | | 3 | 46,094.415 | -63,935.397 | 144.266 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 49 | 剥片 | 黒色頁岩 | 62 | 40 | 12 | 28.0 | | | 3 | 46,094.664 | -63,935.068 | 144.262 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 50 | 剥片 | 黒色頁岩 | 34 | 35 | 10 | 14.5 | | | 3 | 46,094.222 | -63,934.890 | 144.263 | 76 | 28 |
| 上泉武田 | II 51 | 剥片 | 黒色頁岩 | 56 | 48 | 15 | 35.2 | | | 3 | 46,094.202 | -63,934.694 | 144.220 | 76 | 29 |
| 上泉武田 | II 52 | 自然石 | チャート | 12 | 8 | 8 | 0.9 | | | 3 | 46,094.223 | -63,934.587 | 144.178 | | |
| 上泉武田 | II 53 | 剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 38 | 10 | 13.5 | | | 3 | 46,094.014 | -63,934.590 | 144.140 | 76 | 28 |
| 上泉武田 | II 54 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 14 | 11 | 4.6 | | | 3 | 46,094.092 | -63,934.787 | 144.318 | | |
| 上泉武田 | II 55 | 剥片 | 黒色頁岩 | 47 | 46 | 7 | 17.1 | | | 3 | 46,093.409 | -63,934.448 | 144.162 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 56 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 64 | 12 | 21.6 | | | 3 | 46,093.512 | -63,934.321 | 144.109 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 57 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 47 | 6 | 10.6 | | | 3 | 46,094.073 | -63,934.090 | 144.113 | 76 | 28 |
| 上泉武田 | II 58 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 14 | 6 | 2.9 | | | 3 | 46,093.854 | -63,933.863 | 144.169 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 59 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 38 | 11 | 13.6 | | | 3 | 46,094.177 | -63,933.396 | 144.111 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 60 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 17 | 4 | 3.1 | | | 3 | 46,094.448 | -63,932.659 | 143.981 | | |
| 上泉武田 | II 61 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 10 | 1 | 0.3 | | | 3 | 46,093.558 | -63,933.115 | 143.998 | | |
| 上泉武田 | II 62 | 剥片 | 黒色頁岩 | 45 | 34 | 12 | 19.0 | | | 3 | 46,093.595 | -63,932.907 | 144.006 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 63 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 9 | 7 | 5 | 0.5 | | | 3 | 46,093.457 | -63,932.149 | 143.890 | | |
| 上泉武田 | II 64 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 13 | 9 | 2.5 | | | 3 | 46,092.900 | -63,932.476 | 143.940 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 65 | 剥片 | 黒色頁岩 | 19 | 28 | 4 | 2.9 | | | 3 | 46,093.838 | -63,930.443 | 143.707 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 66 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 22 | 4 | 2.0 | | | 3 | 46,096.541 | -63,928.273 | 143.323 | | |
| 上泉武田 | II 67 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 21 | 12 | 6 | 1.2 | | | 3 | 46,096.330 | -63,929.098 | 143.694 | | |
| 上泉武田 | II 68 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 22 | 6 | 2.8 | | | 3 | 46,096.476 | -63,929.293 | 143.716 | | |
| 上泉武田 | II 69 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 18 | 5 | 1.7 | | | 3 | 46,097.079 | -63,929.413 | 143.635 | | |
| 上泉武田 | II 70 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 23 | 12 | 8 | 2.3 | | | 3 | 46,097.855 | -63,928.488 | 143.674 | | |
| 上泉武田 | II 71 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 45 | 23 | 37.4 | | | 3 | 46,099.036 | -63,928.365 | 143.332 | 62・71 | 20・26 |
| 上泉武田 | II 72 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 10 | 5 | 2.0 | | | 3 | 46,097.983 | -63,929.878 | 143.762 | | |
| 上泉武田 | II 73 | 礫 | 珪質変質岩 | 55 | 41 | 28 | 59.6 | | | 3 | 46,097.104 | -63,931.375 | 143.970 | | |
| 上泉武田 | II 74 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 8 | 1 | 0.1 | | | 3 | 46,096.811 | -63,931.193 | 143.981 | | |
| 上泉武田 | II 75 | 剥片 | 黒色安山岩 | 49 | 24 | 9 | 13.2 | | | 3 | 46,095.930 | -63,930.927 | 143.872 | | |
| 上泉武田 | II 76 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 11 | 5 | 1.1 | | | 3 | 46,095.262 | -63,931.039 | 143.949 | | |
| 上泉武田 | II 77 | 剥片 | チャート | 23 | 11 | 5 | 1.2 | | | 3 | 46,095.381 | -63,931.752 | 143.920 | | |
| 上泉武田 | II 78 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 16 | 9 | 4.3 | | | 3 | 46,095.259 | -63,932.860 | 143.982 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 79 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 15 | 5 | 1.3 | | | 3 | 46,095.525 | -63,932.852 | 144.070 | | |
| 上泉武田 | II 80 | 剥片 | 黒色安山岩 | 59 | 45 | 16 | 43.6 | | | 3 | 46,096.385 | -63,933.048 | 144.163 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 81 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 10 | 2 | 0.4 | | | 3 | 46,096.775 | -63,932.798 | 144.195 | | |
| 上泉武田 | II 82 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 9 | 6 | 0.7 | | | 3 | 46,096.886 | -63,933.175 | 144.180 | | |
| 上泉武田 | II 83 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 16 | 11 | 4.3 | | | 3 | 46,096.732 | -63,933.450 | 144.111 | | |
| 上泉武田 | II 84 | 石刃 | 黒色安山岩 | 70 | 28 | 9 | 23.5 | | | 3 | 46,097.589 | -63,935.094 | 144.322 | 64 | 21 |
| 上泉武田 | II 85 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 18 | 5 | 1.3 | | | 3 | 46,097.732 | -63,934.065 | 144.146 | | |
| 上泉武田 | II 86 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 16 | 3 | 2.4 | | | 3 | 46,098.435 | -63,934.254 | 144.177 | | |
| 上泉武田 | II 87 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 15 | 7 | 1.8 | | | 3 | 46,098.661 | -63,934.215 | 144.190 | | |
| 上泉武田 | II 88 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 13 | 5 | 1.1 | | | 3 | 46,098.780 | -63,934.304 | 144.332 | | |
| 上泉武田 | II 89 | 碎片 | 黒色安山岩 | 13 | 7 | 3 | 0.3 | | | 3 | 46,099.215 | -63,933.851 | 144.298 | | |

遺物一覽表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|---------|-----|---------|-----|----|----|-------|-------|----|-----|------------|-------------|---------|-------|-------|
| 上泉武田 | II 90 | 剥片 | 黒色頁岩 | 58 | 64 | 22 | 66.7 | | | 3 | 46,098.557 | -63,933.764 | 144.333 | 76 | 28 |
| 上泉武田 | II 91 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 15 | 5 | 1.7 | | | 3 | 46,099.215 | -63,932.703 | 144.262 | | |
| 上泉武田 | II 92 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 17 | 6 | 2.5 | | | 3 | 46,098.972 | -63,932.211 | 144.156 | | |
| 上泉武田 | II 93 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 24 | 8 | 6.4 | | | 3 | 46,098.321 | -63,931.940 | 144.163 | | |
| 上泉武田 | II 94 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 19 | 6 | 1.7 | | | 3 | 46,099.002 | -63,931.027 | 144.090 | | |
| 上泉武田 | II 95 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 13 | 8 | 2.0 | | | 3 | 46,099.263 | -63,930.196 | 144.005 | | |
| 上泉武田 | II 96 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 66 | 8 | 12.6 | | | 3 | 46,094.565 | -63,938.177 | 144.446 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 97 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 27 | 12 | 5.2 | | | 3 | 46,094.841 | -63,937.912 | 144.498 | | |
| 上泉武田 | II 98 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 20 | 5 | 3.1 | | | 3 | 46,095.140 | -63,938.305 | 144.531 | | |
| 上泉武田 | II 99 | 剥片 | 黒色頁岩 | 64 | 38 | 14 | 23.1 | | | 3 | 46,093.843 | -63,939.688 | 144.411 | 76 | 28 |
| 上泉武田 | II 100 | 自然石 | 砂岩 | 43 | 27 | 12 | 9.6 | | | 3 | 46,090.816 | -63,940.814 | 144.441 | | |
| 上泉武田 | II 101 | 剥片 | 黒色頁岩 | 10 | 17 | 4 | 0.6 | | | 3 | 46,095.953 | -63,938.697 | 144.531 | | |
| 上泉武田 | II 102 | 石刃 | 黒色安山岩 | 57 | 26 | 8 | 10.3 | | | 3 | 46,095.903 | -63,939.512 | 144.531 | 63・74 | 21・27 |
| 上泉武田 | II 103 | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 23 | 10 | 3.1 | | | 3 | 46,095.956 | -63,939.944 | 144.436 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 104 | 剥片 | 黒色安山岩 | 56 | 65 | 13 | 40.9 | | | 3 | 46,096.182 | -63,940.167 | 144.527 | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 105 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 20 | 8 | 3.4 | | | 3 | 46,098.303 | -63,936.752 | 144.462 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 106 | 石刃 | 黒色頁岩 | 80 | 26 | 13 | 18.2 | | | 3 | 46,096.899 | -63,938.594 | 144.472 | 64・75 | 22・28 |
| 上泉武田 | II 107 | 石刃 | 黒色安山岩 | 76 | 41 | 27 | 93.7 | | | 3 | 46,098.342 | -63,938.663 | 144.546 | 64・72 | 22・26 |
| 上泉武田 | II 108 | 石核 | 黒色頁岩 | 68 | 45 | 42 | 117.9 | | | 3 | 46,097.711 | -63,939.913 | 144.543 | 66 | 23 |
| 上泉武田 | II 109 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 21 | 4 | 3.7 | | | 3 | 46,099.198 | -63,940.515 | 144.694 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 110 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 21 | 10 | 7.5 | | | 3 | 46,098.863 | -63,940.787 | 144.753 | | |
| 上泉武田 | II 111 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 23 | 5 | 4.1 | | | 3 | 46,098.600 | -63,941.688 | 144.760 | | |
| 上泉武田 | II 112 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 48 | 10 | 11.2 | | | 3 | 46,098.058 | -63,942.496 | 144.652 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 113 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 21 | 5 | 3.3 | | | 3 | 46,099.114 | -63,942.477 | 144.815 | | |
| 上泉武田 | II 114 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 14 | 4 | 1.2 | | | 3 | 46,100.229 | -63,932.533 | 144.298 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 115 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 13 | 6 | 1.1 | | | 3 | 46,105.469 | -63,932.522 | 144.334 | | |
| 上泉武田 | II 116 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 81 | 23 | 95.3 | | | 3 | 46,100.146 | -63,940.721 | 144.649 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 117 | 剥片 | 黒色安山岩 | 52 | 53 | 12 | 25.0 | | | 3 | 46,100.370 | -63,940.093 | 144.570 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 118 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 16 | 4 | 1.4 | | | 3 | 46,101.883 | -63,939.541 | 144.631 | | |
| 上泉武田 | II 119 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 13 | 6 | 1.7 | | | 3 | 46,100.955 | -63,939.596 | 144.730 | | |
| 上泉武田 | II 120 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 36 | 10 | 11.5 | | | 3 | 46,100.772 | -63,939.080 | 144.733 | | |
| 上泉武田 | II 121 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 59 | 42 | 13 | 43.9 | | | 3 | 46,100.449 | -63,938.586 | 144.544 | | |
| 上泉武田 | II 122 | 剥片 | 黒色頁岩 | 11 | 14 | 4 | 0.6 | | | 3 | 46,101.396 | -63,937.199 | 144.591 | | |
| 上泉武田 | II 123 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 36 | 7 | 6.8 | | | 3 | 46,101.518 | -63,937.241 | 144.554 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 124 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 10 | 8 | 1.9 | | | 3 | 46,102.182 | -63,936.937 | 144.624 | | |
| 上泉武田 | II 125 | 剥片 | 黒色安山岩 | 54 | 37 | 14 | 24.8 | | | 3 | 46,102.765 | -63,936.431 | 144.645 | | |
| 上泉武田 | II 126 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 14 | 4 | 0.6 | | | 3 | 46,102.960 | -63,936.558 | 144.642 | | |
| 上泉武田 | II 127 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 28 | 9 | 3.0 | | | 3 | 46,103.092 | -63,935.605 | 144.534 | | |
| 上泉武田 | II 128 | 石刃 | 黒色頁岩 | 79 | 32 | 8 | 20.5 | | | 3 | 46,102.557 | -63,937.331 | 144.708 | 64・76 | 21・28 |
| 上泉武田 | II 129 | 石核 | 黒色安山岩 | 36 | 58 | 21 | 37.1 | | | 3 | 46,102.581 | -63,937.596 | 144.656 | 65・73 | 22・27 |
| 上泉武田 | II 130 | 敲石 | 黒色頁岩 | 101 | 47 | 42 | 299.0 | 棒状礫素材 | | 3 | 46,102.792 | -63,937.604 | 144.714 | 68・77 | 24・29 |
| 上泉武田 | II 131 | 石刃 | 黒色頁岩 | 58 | 22 | 6 | 7.3 | | | 3 | 46,102.719 | -63,937.722 | 144.724 | 63・76 | 21・28 |
| 上泉武田 | II 132 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 28 | 5 | 1.7 | | | 3 | 46,102.898 | -63,937.210 | 144.683 | | |
| 上泉武田 | II 133 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 27 | 5 | 2.5 | | | 3 | 46,103.074 | -63,937.192 | 144.579 | | |
| 上泉武田 | II 134 | 石核 | 黒色安山岩 | 41 | 60 | 22 | 53.5 | | | 3 | 46,103.132 | -63,938.112 | 144.712 | 65・73 | 23・27 |
| 上泉武田 | II 135 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 40 | 13 | 16.6 | | | 3 | 46,103.330 | -63,937.738 | 144.693 | | |
| 上泉武田 | II 136 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 33 | 9 | 4.9 | | | 3 | 46,103.562 | -63,937.449 | 144.774 | | |
| 上泉武田 | II 137 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 5 | 1 | 0.1 | | | 3 | 46,103.805 | -63,937.470 | 144.616 | | |
| 上泉武田 | II 138 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 61 | 38 | 17 | 37.1 | | | 3 | 46,103.654 | -63,937.262 | 144.680 | | |
| 上泉武田 | II 139 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 11 | 4 | 0.4 | | | 3 | 46,104.116 | -63,936.824 | 144.735 | | |
| 上泉武田 | II 140 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 25 | 5 | 2.0 | | | 3 | 46,104.015 | -63,936.559 | 144.694 | | |
| 上泉武田 | II 141 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 32 | 4 | 2.0 | | | 3 | 46,103.925 | -63,936.057 | 144.612 | | |
| 上泉武田 | II 142 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 16 | 8 | 3.0 | | | 3 | 46,103.803 | -63,935.908 | 144.608 | | |
| 上泉武田 | II 143 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 20 | 16 | 3.4 | | | 3 | 46,105.220 | -63,936.012 | 144.555 | | |
| 上泉武田 | II 144 | 礫片 | 珩質変質岩 | 39 | 24 | 12 | 16.1 | | | 3 | 46,105.595 | -63,935.689 | 144.516 | | |
| 上泉武田 | II 145 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 53 | 12 | 13.1 | | | 3 | 46,105.582 | -63,935.585 | 144.647 | | |
| 上泉武田 | II 146 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 20 | 12 | 7 | 1.5 | | | 3 | 46,107.032 | -63,934.103 | 144.502 | | |
| 上泉武田 | II 147 | 剥片 | 黒色安山岩 | 52 | 34 | 16 | 28.2 | | | 3 | 46,107.543 | -63,936.094 | 144.635 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 148 | 石刃 | 黒色頁岩 | 100 | 22 | 10 | 20.9 | | | 3 | 46,106.875 | -63,937.021 | 144.640 | 63・76 | 21・28 |
| 上泉武田 | II 149 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 45 | 27 | 17 | 21.6 | | | 3 | 46,105.256 | -63,936.715 | 144.648 | | |
| 上泉武田 | II 150 | 石核 | 黒色安山岩 | 59 | 75 | 20 | 111.8 | | | 3 | 46,105.795 | -63,937.419 | 144.681 | 67 | 23 |
| 上泉武田 | II 151 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 42 | 38 | 37.5 | | | 3 | 46,104.436 | -63,937.836 | 144.729 | | |
| 上泉武田 | II 152 | 剥片 | 黒色頁岩 | 39 | 46 | 10 | 21.6 | | | 3 | 46,103.903 | -63,938.491 | 144.671 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 153 | 剥片 | 黒色頁岩 | 34 | 55 | 11 | 20.0 | | | 3 | 46,103.463 | -63,939.508 | 144.743 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 154 | 剥片 | 黒色頁岩 | 32 | 18 | 13 | 7.0 | | | 3 | 46,104.004 | -63,939.446 | 144.754 | | |
| 上泉武田 | II 155 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 41 | 8 | 7.8 | | | 3 | 46,105.395 | -63,939.768 | 144.806 | | |
| 上泉武田 | II 156 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 20 | 4 | 1.2 | | | 3 | 46,105.734 | -63,939.463 | 144.748 | | |
| 上泉武田 | II 157 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 42 | 15 | 16.0 | | | 3 | 46,106.452 | -63,937.878 | 144.760 | | |
| 上泉武田 | II 158 | 石刃 | 黒色頁岩 | 83 | 23 | 7 | 12.7 | | | 3 | 46,106.913 | -63,938.415 | 144.781 | 64 | 21 |
| 上泉武田 | II 159 | 石刃 | 黒色頁岩 | 81 | 29 | 10 | 20.3 | | | 3 | 46,106.904 | -63,938.266 | 144.736 | 64 | 22 |
| 上泉武田 | II 160 | 剥片 | 黒色頁岩 | 44 | 36 | 19 | 30.7 | | | 3 | 46,107.659 | -63,938.451 | 144.757 | 76 | 29 |
| 上泉武田 | II 161 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 7 | 1 | 0.8 | | | 3 | 46,109.130 | -63,935.823 | 144.724 | | |
| 上泉武田 | II 162 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 29 | 8 | 4.6 | | | 3 | 46,109.263 | -63,936.578 | 144.704 | | |
| 上泉武田 | II 163 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 28 | 27 | 5 | 4.3 | | | 3 | 46,109.740 | -63,937.170 | 144.743 | | |
| 上泉武田 | II 164a | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 28 | 10 | 6.0 | | | 3 | 46,108.923 | -63,936.871 | 144.794 | | |
| 上泉武田 | II 164b | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 21 | 8 | 4.0 | | | 3 | 46,108.923 | -63,936.871 | 144.794 | | |
| 上泉武田 | II 165 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 31 | 6 | 4.6 | | | 3 | 46,108.363 | -63,936.990 | 144.659 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 166 | 石核 | 黒色安山岩 | 29 | 58 | 18 | 27.9 | | | 3 | 46,108.944 | -63,937.334 | 144.501 | | |
| 上泉武田 | II 167 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 14 | 12 | 3 | 0.5 | | | 3 | 46,108.424 | -63,937.572 | 144.682 | | |
| 上泉武田 | II 168 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 41 | 8 | 7.9 | | | 3 | 46,108.989 | -63,938.189 | 144.757 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 169 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 29 | 8 | 4.5 | | | 3 | 46,109.575 | -63,938.654 | 144.715 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|--------|-----|---------|-----|-----|----|--------|----|----|-----|------------|-------------|---------|-------|-------|
| 上泉武田 | II 170 | 剥片 | 黒色安山岩 | 47 | 21 | 9 | 9.3 | | | 3 | 46,103.415 | -63,937.556 | 144.693 | | |
| 上泉武田 | II 171 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 17 | 12 | 4 | 0.8 | | | 3 | 46,103.933 | -63,941.216 | 144.799 | | 72 |
| 上泉武田 | II 172 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 33 | 3 | 2.0 | | | 3 | 46,104.755 | -63,942.296 | 144.670 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 173 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 39 | 26 | 12 | 8.9 | | | 3 | 46,105.123 | -63,942.228 | 144.813 | | |
| 上泉武田 | II 174 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 37 | 6 | 3.6 | | | 3 | 46,105.314 | -63,942.112 | 144.877 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 175 | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 24 | 13 | 9.9 | | | 3 | 46,105.674 | -63,942.528 | 144.875 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 176 | 削器 | 黒色安山岩 | 60 | 78 | 12 | 14.4 | | | 3 | 46,105.981 | -63,941.762 | 144.895 | 62・70 | 21・25 |
| 上泉武田 | II 177 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 33 | 6 | 4.4 | | | 3 | 46,106.905 | -63,941.415 | 144.910 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 178 | 剥片 | 黒色頁岩 | 43 | 35 | 5 | 10.1 | | | 3 | 46,107.108 | -63,941.871 | 144.864 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 179 | 自然石 | 砂岩 | 38 | 20 | 10 | 10.7 | | | 3 | 46,108.330 | -63,940.966 | 144.866 | | |
| 上泉武田 | II 180 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 24 | 5 | 3.8 | | | 3 | 46,108.553 | -63,941.612 | 144.933 | | |
| 上泉武田 | II 181 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 12 | 3 | 0.3 | | | 3 | 46,108.364 | -63,941.589 | 144.890 | | |
| 上泉武田 | II 182 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 23 | 5 | 2.3 | | | 3 | 46,107.565 | -63,942.414 | 144.701 | | |
| 上泉武田 | II 183 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 13 | 3 | 0.6 | | | 3 | 46,107.963 | -63,942.995 | 144.745 | | |
| 上泉武田 | II 184 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 20 | 2 | 0.8 | | | 3 | 46,106.494 | -63,942.821 | 144.998 | | |
| 上泉武田 | II 185 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 20 | 1 | 0.2 | | | 3 | 46,104.632 | -63,943.865 | 144.852 | | |
| 上泉武田 | II 186 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 22 | 4 | 1.5 | | | 3 | 46,104.552 | -63,944.621 | 145.069 | | |
| 上泉武田 | II 187 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 138 | 130 | 88 | 1800.0 | | | 3 | 46,105.944 | -63,943.930 | 144.855 | | |
| 上泉武田 | II 188 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 14 | 2 | 0.5 | | | 3 | 46,106.459 | -63,944.464 | 145.059 | | |
| 上泉武田 | II 189 | 石核 | 珪質頁岩 | 41 | 22 | 17 | 15.6 | | | 3 | 46,106.442 | -63,945.636 | 144.857 | 66 | 23 |
| 上泉武田 | II 190 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 15 | 3 | 0.7 | | | 3 | 46,102.368 | -63,948.112 | 144.947 | | |
| 上泉武田 | II 191 | 剥片 | 黒色安山岩 | 67 | 53 | 15 | 37.8 | | | 3 | 46,108.120 | -63,946.314 | 144.936 | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 192 | 剥片 | 黒色安山岩 | 81 | 75 | 20 | 108.1 | | | 3 | 46,108.621 | -63,946.215 | 144.914 | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 193 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 20 | 11 | 7.2 | | | 3 | 46,108.555 | -63,946.391 | 145.058 | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 194 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 18 | 6 | 3.2 | | | 3 | 46,108.179 | -63,947.287 | 145.107 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 195 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 19 | 4 | 2.2 | | | 3 | 46,108.817 | -63,946.886 | 145.064 | | |
| 上泉武田 | II 196 | 石刃 | 黒色安山岩 | 89 | 41 | 15 | 43.0 | | | 3 | 46,108.991 | -63,946.925 | 144.944 | 65 | 22 |
| 上泉武田 | II 197 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 19 | 4 | 1.0 | | | 3 | 46,108.977 | -63,946.066 | 145.102 | | |
| 上泉武田 | II 198 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 18 | 5 | 2.7 | | | 3 | 46,109.475 | -63,945.870 | 145.065 | | |
| 上泉武田 | II 199 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 19 | 4 | 1.5 | | | 3 | 46,109.805 | -63,945.498 | 145.306 | | |
| 上泉武田 | II 200 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 37 | 13 | 14.8 | | | 3 | 46,110.083 | -63,945.774 | 144.988 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | II 201 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 12 | 7 | 1.3 | | | 3 | 46,109.870 | -63,944.613 | 145.036 | | |
| 上泉武田 | II 202 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 57 | 25 | 45.1 | | | 3 | 46,110.271 | -63,944.847 | 144.904 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | II 203 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 10 | 4 | 0.3 | | | 3 | 46,110.428 | -63,944.864 | 144.936 | | |
| 上泉武田 | II 204 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 19 | 6 | 1.8 | | | 3 | 46,110.881 | -63,943.336 | 145.055 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | II 205 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 12 | 12 | 7 | 1.0 | | | 3 | 46,112.493 | -63,943.510 | 145.013 | | |
| 上泉武田 | II 206 | 石刃 | 黒色安山岩 | 82 | 30 | 14 | 34.7 | | | 3 | 46,113.244 | -63,944.018 | 144.974 | 63・71 | 21・26 |
| 上泉武田 | II 207 | 剥片 | 黒色頁岩 | 39 | 64 | 18 | 44.8 | | | 3 | 46,113.801 | -63,944.314 | 145.073 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 208 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 37 | 10 | 11.1 | | | 3 | 46,114.281 | -63,946.467 | 145.186 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 209 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 39 | 7 | 5.8 | | | 3 | 46,114.253 | -63,946.950 | 145.327 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 210 | 剥片 | 黒色安山岩 | 62 | 48 | 12 | 37.7 | | | 3 | 46,111.997 | -63,946.743 | 145.103 | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 211 | 石核 | 黒色安山岩 | 55 | 75 | 28 | 83.9 | | | 3 | 46,111.207 | -63,946.842 | 145.055 | 68・69 | 23・25 |
| 上泉武田 | II 212 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 22 | 5 | 2.2 | | | 3 | 46,113.141 | -63,951.464 | 145.321 | | |
| 上泉武田 | II 213 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 42 | 11 | 9.1 | | | 3 | 46,113.044 | -63,951.544 | 145.212 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 214 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 16 | 3 | 1.1 | | | 3 | 46,112.578 | -63,951.303 | 145.286 | | |
| 上泉武田 | II 215 | 石核 | 黒色頁岩 | 32 | 34 | 14 | 12.8 | | | 3 | 46,113.660 | -63,952.502 | 145.243 | 67 | 23 |
| 上泉武田 | II 216 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 20 | 9 | 2.5 | | | 3 | 46,112.869 | -63,952.575 | 145.259 | | |
| 上泉武田 | II 217 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 18 | 13 | 4.0 | | | 3 | 46,111.997 | -63,953.007 | 145.224 | | |
| 上泉武田 | II 218 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 8 | 5 | 0.5 | | | 3 | 46,111.206 | -63,953.435 | 145.162 | | |
| 上泉武田 | II 219 | 剥片 | 黒色安山岩 | 50 | 31 | 9 | 10.8 | | | 3 | 46,110.520 | -63,954.188 | 145.263 | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 220 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 10 | 3 | 0.2 | | | 3 | 46,110.609 | -63,954.426 | 145.173 | | |
| 上泉武田 | II 221 | 剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 32 | 6 | 5.7 | | | 3 | 46,111.947 | -63,953.979 | 145.273 | 77 | 29 |
| 上泉武田 | II 222 | 剥片 | 黒色頁岩 | 14 | 28 | 9 | 3.2 | | | 3 | 46,092.175 | -63,934.674 | 144.175 | | |
| 上泉武田 | II 223 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 29 | 9 | 10.9 | | | 3 | 46,092.185 | -63,934.626 | 144.166 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 224 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 7 | 4 | 0.5 | | | 3 | 46,093.239 | -63,934.887 | 144.210 | | |
| 上泉武田 | II 225 | 剥片 | 黒色頁岩 | 43 | 42 | 11 | 16.1 | | | 3 | 46,093.836 | -63,933.857 | 144.060 | 75 | 28 |
| 上泉武田 | II 226 | 剥片 | 黒色頁岩 | 34 | 30 | 9 | 8.7 | | | 3 | なし | なし | なし | 76 | 28 |
| 上泉武田 | II 227 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 35 | 10 | 11.1 | | | 3 | 46,094.709 | -63,935.054 | 144.135 | | |
| 上泉武田 | II 228 | 自然石 | チャート | 16 | 13 | 4 | 0.8 | | | 3 | 46,095.053 | -63,934.808 | 144.091 | | |
| 上泉武田 | II 229 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 11 | 5 | 0.3 | | | 3 | 46,095.179 | -63,935.209 | 144.292 | | |
| 上泉武田 | II 230 | 剥片 | 黒色頁岩 | 6 | 16 | 2 | 0.3 | | | 3 | 46,098.965 | -63,932.194 | 144.152 | | |
| 上泉武田 | II 231 | 剥片 | 黒色頁岩 | 34 | 26 | 5 | 4.4 | | | 3 | 46,099.237 | -63,933.888 | 144.244 | | |
| 上泉武田 | II 232 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 61 | 51 | 39 | 130.1 | | | 3 | 46,099.865 | -63,936.465 | 144.491 | | |
| 上泉武田 | II 233 | 剥片 | 黒色頁岩 | 49 | 58 | 12 | 28.5 | | | 3 | 46,099.944 | -63,936.603 | 144.566 | 76 | 29 |
| 上泉武田 | II 234 | 剥片 | 黒色頁岩 | 34 | 35 | 7 | 7.8 | | | 3 | 46,099.834 | -63,938.139 | 144.564 | 76 | 29 |
| 上泉武田 | II 235 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 10 | 2 | 0.2 | | | 3 | 46,099.696 | -63,939.771 | 144.652 | | |
| 上泉武田 | II 236 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 20 | 2 | 0.3 | | | 3 | 46,099.601 | -63,940.279 | 144.681 | | |
| 上泉武田 | II 237 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 14 | 5 | 0.6 | | | 3 | 46,100.022 | -63,940.260 | 144.576 | | |
| 上泉武田 | II 238 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 37 | 3 | 2.1 | | | 3 | 46,099.822 | -63,940.385 | 144.732 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 239 | 自然石 | 未固結凝灰岩 | 11 | 5 | 4 | 0.2 | | | 3 | 46,099.657 | -63,940.474 | 144.675 | | |
| 上泉武田 | II 240 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 25 | 4 | 1.7 | | | 3 | 46,099.593 | -63,941.348 | 144.706 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 241 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 21 | 5 | 1.4 | | | 3 | 46,099.893 | -63,941.313 | 144.709 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 242 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 35 | 13 | 9.7 | | | 3 | 46,100.994 | -63,939.632 | 144.672 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 243 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 7 | 3 | 0.4 | | | 3 | 46,103.123 | -63,938.150 | 144.659 | | |
| 上泉武田 | II 244 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 15 | 3 | 0.5 | | | 3 | 46,103.228 | -63,937.785 | 144.605 | | |
| 上泉武田 | II 245 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 12 | 1 | 0.1 | | | 3 | 46,103.363 | -63,937.709 | 144.674 | | |
| 上泉武田 | II 246 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 4 | 3 | 0.1 | | | 3 | 46,103.534 | -63,937.433 | 144.781 | | |
| 上泉武田 | II 247 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 12 | 11 | 1.6 | | | 3 | 46,105.857 | -63,937.457 | 144.687 | | |
| 上泉武田 | II 248 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 15 | 18 | 2.1 | | | 3 | 46,106.852 | -63,937.003 | 144.656 | 63・76 | 21・28 |
| 上泉武田 | II 249 | 剥片 | 黒色安山岩 | 67 | 68 | 9 | 24.6 | | | 3 | 46,108.507 | -63,937.512 | 144.504 | | |
| 上泉武田 | II 250 | 石刃 | 黒色頁岩 | 44 | 27 | 8 | 6.9 | | | 3 | 46,108.821 | -63,936.850 | 144.500 | 64 | 22 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|--------|--------|---------|-----|-----|----|--------|-----------|-----|-----|------------|-------------|---------|-------|-------|
| 上泉武田 | II 251 | 剥片 | 黒色安山岩 | 48 | 32 | 12 | 15.7 | | | 3 | 46,109.847 | -63,945.396 | 144.983 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | II 252 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 16 | 4 | 0.9 | | | 3 | 46,109.390 | -63,945.927 | 144.934 | | |
| 上泉武田 | II 253 | 剥片 | 黒色安山岩 | 65 | 27 | 28 | 30.2 | | | 3 | なし | なし | なし | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 254 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 27 | 7 | 6.2 | | | 3 | 46,108.191 | -63,935.000 | 144.326 | | |
| 上泉武田 | II 255 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 17 | 3 | 0.5 | | | 3 | 46,109.452 | -63,936.234 | 144.401 | | |
| 上泉武田 | II 256 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 19 | 4 | 1.5 | | | 3 | 46,110.257 | -63,936.332 | 144.429 | | |
| 上泉武田 | II 257 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 35 | 6 | 4.5 | | | 3 | 46,109.384 | -63,936.771 | 144.472 | | |
| 上泉武田 | II 258 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 54 | 8 | 7.1 | | | 3 | 46,109.382 | -63,937.360 | 144.468 | | |
| 上泉武田 | II 259 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 20 | 2 | 0.7 | | | 3 | 46,113.082 | -63,939.493 | 144.726 | | |
| 上泉武田 | II 260 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 25 | 6 | 2.5 | | | 3 | 46,113.430 | -63,940.216 | 144.715 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 261 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 46 | 9 | 14.4 | | | 3 | 46,115.858 | -63,942.269 | 144.917 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 262 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 16 | 12 | 8.1 | | | 3 | 46,113.690 | -63,942.891 | 144.924 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 263 | 剥片 | 黒色頁岩 | 13 | 24 | 14 | 1.3 | | | 3 | 46,118.872 | -63,948.161 | 145.414 | | |
| 上泉武田 | II 264 | 剥片 | 黒色頁岩 | 46 | 28 | 11 | 14.5 | | | 3 | 46,119.740 | -63,948.312 | 145.348 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 265 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 27 | 12 | 10.7 | | | 3 | 46,119.790 | -63,948.134 | 145.473 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | II 266 | ナイフ形石器 | 黒色安山岩 | 34 | 46 | 10 | 17.0 | | | 3 | 46,120.201 | -63,948.498 | 145.593 | 62 | 20 |
| 上泉武田 | II 267 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 37 | 9 | 4.4 | | | 3 | 46,120.879 | -63,947.651 | 145.538 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 268 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 55 | 14 | 22.1 | II 269が接合 | | 3 | 46,122.856 | -63,947.379 | 145.486 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 269 | ガジリ片 | 除外 | - | - | - | - | II 268接合 | | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | II 270 | 剥片 | 黒色頁岩 | 47 | 31 | 12 | 18.6 | | | 3 | 46,120.742 | -63,949.997 | 145.679 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 271 | 剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 49 | 8 | 23.2 | | | 3 | 46,121.025 | -63,949.876 | 145.416 | | |
| 上泉武田 | II 272 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 10 | 1 | 0.1 | | | 3 | 46,124.818 | -63,950.131 | 145.869 | | |
| 上泉武田 | II 273 | 剥片 | 黒色安山岩 | 44 | 68 | 20 | 64.7 | | | 3 | 46,114.089 | -63,950.848 | 145.179 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 274 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 19 | 5 | 0.9 | | | 3 | 46,111.299 | -63,952.894 | 145.082 | | |
| 上泉武田 | II 275 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 10 | 4 | 1.2 | | | 3 | 46,111.373 | -63,954.291 | 145.051 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 276 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 15 | 15 | 6.7 | | | 3 | 46,111.924 | -63,954.706 | 145.084 | | |
| 上泉武田 | II 277 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 35 | 6 | 8.6 | | | 3 | 46,112.030 | -63,953.487 | 145.051 | | |
| 上泉武田 | II 278 | 剥片 | 黒色頁岩 | 20 | 11 | 4 | 0.9 | | | 3 | 46,113.453 | -63,953.725 | 145.193 | | |
| 上泉武田 | II 279 | 剥片 | 黒色頁岩 | 28 | 37 | 6 | 4.8 | | | 3 | 46,113.562 | -63,953.827 | 145.166 | 77 | 29 |
| 上泉武田 | II 280 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 9 | 1 | 0.1 | | | 3 | 46,114.369 | -63,954.603 | 145.213 | | |
| 上泉武田 | II 281 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 20 | 2 | 1.0 | | | 3 | 46,114.592 | -63,954.784 | 145.208 | | |
| 上泉武田 | II 282 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 17 | 4 | 1.5 | | | 3 | 46,114.682 | -63,953.964 | 145.214 | 77 | 29 |
| 上泉武田 | II 283 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 9 | 2 | 0.1 | | | 3 | 46,115.243 | -63,953.018 | 145.243 | | |
| 上泉武田 | II 284 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 28 | 6 | 4.5 | | | 3 | 46,116.066 | -63,954.805 | 145.180 | | |
| 上泉武田 | II 285 | 剥片 | 黒色頁岩 | 38 | 28 | 6 | 8.6 | | | 3 | 46,115.888 | -63,954.683 | 145.173 | | |
| 上泉武田 | II 286 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 12 | 6 | 1.0 | | | 3 | 46,116.940 | -63,954.170 | 145.375 | | |
| 上泉武田 | II 287 | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 23 | 6 | 7.7 | | | 3 | 46,119.212 | -63,949.292 | 145.309 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 288 | 剥片 | 黒色安山岩 | 5 | 17 | 3 | 0.3 | | | 3 | 46,113.330 | -63,953.703 | 145.103 | | |
| 上泉武田 | II 289 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 15 | 7 | 2.0 | | | 3 | 46,079.187 | -63,942.524 | 143.626 | | |
| 上泉武田 | II 290 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 12 | 2 | 0.2 | | | 3 | 46,079.254 | -63,943.509 | 143.443 | | |
| 上泉武田 | II 291 | 石刃 | 黒色頁岩 | 54 | 16 | 6 | 5.7 | | | 3 | 46,079.010 | -63,945.791 | 143.479 | 65 | 22 |
| 上泉武田 | II 292 | 剥片 | 黒曜石 | 18 | 27 | 10 | 3.1 | | | 3 | 46,079.354 | -63,945.912 | 143.610 | 79 | 29 |
| 上泉武田 | II 293 | 剥片 | 黒曜石 | 24 | 16 | 6 | 1.7 | | | 3 | 46,080.531 | -63,945.756 | 143.545 | 79 | 29 |
| 上泉武田 | II 294 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 16 | 3 | 1.1 | | | 3 | 46,080.636 | -63,944.007 | 143.512 | | |
| 上泉武田 | II 295 | 剥片 | 黒曜石 | 61 | 34 | 13 | 26.5 | | | 3 | 46,080.346 | -63,942.407 | 143.455 | 79 | 29 |
| 上泉武田 | II 296 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 18 | 3 | 0.9 | | | 3 | 46,081.164 | -63,942.478 | 143.702 | | |
| 上泉武田 | II 297 | 石刃 | 黒色頁岩 | 81 | 32 | 12 | 26.3 | | | 3 | 46,083.278 | -63,944.433 | 143.796 | 63 | 21 |
| 上泉武田 | II 298 | 石核 | 黒曜石 | 29 | 48 | 17 | 25.3 | | | 3 | 46,083.942 | -63,947.457 | 143.881 | 66・79 | 23・29 |
| 上泉武田 | II 299 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 113 | 77 | 32 | 240.0 | | | 3 | 46,084.522 | -63,943.874 | 143.752 | | |
| 上泉武田 | II 300 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 160 | 107 | 60 | 1050.0 | | | 3 | 46,084.489 | -63,944.005 | 143.734 | | |
| 上泉武田 | II 301 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 53 | 35 | 15 | 25.1 | | | 3 | 46,084.333 | -63,943.973 | 143.739 | | |
| 上泉武田 | II 302 | 剥片 | 珩質頁岩 | 37 | 46 | 10 | 23.2 | | | 3 | 46,086.918 | -63,940.683 | 143.869 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 303 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 40 | 13 | 14.7 | | | 3 | 46,088.042 | -63,942.268 | 144.134 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 304 | 剥片 | 黒色安山岩 | 44 | 45 | 20 | 29.5 | | | 3 | 46,088.716 | -63,942.625 | 144.086 | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 305 | 石核 | 黒色頁岩 | 53 | 70 | 28 | 105.3 | | | 3 | 46,088.637 | -63,938.943 | 143.996 | 67・75 | 24・28 |
| 上泉武田 | II 306 | 剥片 | 黒色安山岩 | 78 | 74 | 21 | 140.0 | | | 3 | 46,089.959 | -63,939.848 | 144.054 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 307 | 剥片 | 黒色安山岩 | 54 | 39 | 13 | 27.4 | | | 3 | 46,090.272 | -63,943.017 | 144.044 | 74 | 27 |
| 上泉武田 | II 308 | 石刃 | 黒色頁岩 | 82 | 34 | 6 | 20.4 | | | 3 | 46,091.982 | -63,948.626 | 144.098 | 65 | 22 |
| 上泉武田 | II 309 | 剥片 | 黒色安山岩 | 50 | 44 | 12 | 26.0 | | | 3 | 46,092.517 | -63,940.680 | 144.199 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 310 | 剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 50 | 4 | 8.2 | | | 3 | 46,098.449 | -63,945.872 | 144.805 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 311 | 剥片 | 黒色頁岩 | 77 | 40 | 21 | 44.2 | | | 3 | 46,071.531 | -63,944.278 | 143.075 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | II 312 | 剥片 | 黒色安山岩 | 60 | 80 | 16 | 83.6 | | | 3 | 46,073.729 | -63,946.855 | 143.103 | 72 | 26 |
| 上泉武田 | II 313 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 25 | 8 | 5.9 | | | 3 | 46,075.965 | -63,942.663 | 143.497 | 73 | 27 |
| 上泉武田 | II 314 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 20 | 3 | 1.7 | | | 3 | 46,113.169 | -63,956.351 | 145.214 | | |
| 上泉武田 | II 315 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 26 | 3 | 2.3 | | | 3 | 46,113.606 | -63,955.489 | 145.262 | | |
| 上泉武田 | II 316 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 17 | 8 | 4.7 | | | 3 | 46,114.720 | -63,955.939 | 145.303 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | II 317 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 22 | 3 | 4.9 | | | 3 | 46,114.640 | -63,956.576 | 145.223 | 71 | 26 |
| 上泉武田 | II 318 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 9 | 5 | 0.7 | | | 3 | 46,115.034 | -63,957.711 | 145.209 | | |
| 上泉武田 | II 319 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 33 | 7 | 4.8 | | | 3 | 46,115.190 | -63,956.877 | 145.261 | | |
| 上泉武田 | II 320 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 28 | 6 | 5.3 | | | 3 | 46,115.010 | -63,956.361 | 145.262 | | |
| 上泉武田 | II 321 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 22 | 3 | 1.3 | | | 3 | 46,115.298 | -63,956.439 | 145.285 | | |
| 上泉武田 | II 322 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 16 | 8 | 3.4 | | | 3 | 46,115.689 | -63,956.208 | 145.316 | | |
| 上泉武田 | II 323 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 11 | 1 | 0.2 | | | 3 | 46,115.309 | -63,956.105 | 145.253 | | |
| 上泉武田 | II 324 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 16 | 3 | 0.6 | | | 3 | 46,115.746 | -63,955.484 | 145.244 | | |
| 上泉武田 | II 325 | 剥片 | 黒色安山岩 | 5 | 10 | 1 | 0.1 | | | 3 | 46,116.384 | -63,957.299 | 145.309 | | |
| 上泉武田 | II 326 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 25 | 4 | 2.3 | | | 3 | 46,117.491 | -63,960.189 | 145.204 | | |
| 上泉武田 | II 327 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 37 | 15 | 7 | 4.4 | 被熱? | | 3 | 46,121.207 | -63,963.501 | 145.380 | 62 | 20 |
| 上泉武田 | II 328 | ナイフ形石器 | 珩質頁岩 | 44 | 14 | 8 | 5.1 | | | 3 | 46,122.783 | -63,971.863 | 145.252 | 62 | 20 |
| 上泉武田 | III 1 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 100 | 52 | 40 | 200.0 | | BP下 | 3 | 46,086.297 | -63,947.097 | 143.572 | | |
| 上泉武田 | III 2 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 29 | 21 | 8 | 7.5 | | BP下 | 3 | 46,091.717 | -63,944.369 | 143.866 | | 72 |
| 上泉武田 | III 3 | 自然石 | 黒色片岩 | 17 | 8 | 4 | 0.7 | | BP下 | 3 | 46,092.262 | -63,944.828 | 143.781 | | 72 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|-----|-----|--------|-----|----|----|-------|------|-----|-----|------------|-------------|---------|----|-----|
| 上泉武田 | Ⅲ4 | 自然石 | 珪質變質岩 | 29 | 23 | 9 | 7.6 | | BP下 | 3 | 46,092.385 | -63,944.182 | 143.944 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ5 | 自然石 | 黒色片岩 | 21 | 8 | 4 | 1.0 | | BP下 | 3 | 46,092.873 | -63,943.616 | 144.050 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ6 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 40 | 37 | 17 | 27.2 | | BP下 | 3 | 46,092.958 | -63,943.705 | 144.034 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ7 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 68 | 23 | 18 | 46.1 | 薄片試料 | BP下 | 3 | 46,093.106 | -63,943.754 | 144.028 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ8 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 43 | 26 | 28 | 40.1 | | BP下 | 3 | 46,093.353 | -63,943.603 | 144.068 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ9 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 40 | 24 | 11 | 12.9 | | BP下 | 3 | 46,093.008 | -63,944.266 | 143.879 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ10 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 48 | 32 | 10 | 23.2 | | BP下 | 3 | 46,093.262 | -63,944.656 | 144.049 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ11 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 53 | 32 | 10 | 24.6 | | BP下 | 3 | 46,093.445 | -63,944.770 | 144.034 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ12 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 112 | 46 | 15 | 109.3 | 薄片試料 | BP下 | 3 | 46,093.568 | -63,945.010 | 143.993 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ13 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 41 | 21 | 12 | 15.1 | | BP下 | 3 | 46,093.202 | -63,945.353 | 143.973 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ14 | 自然石 | 黒色片岩 | 24 | 7 | 5 | 1.0 | | BP下 | 3 | 46,093.673 | -63,945.551 | 143.948 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ15 | 自然石 | 黒色片岩 | 29 | 11 | 4 | 1.7 | | BP下 | 3 | 46,093.735 | -63,945.555 | 143.955 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ16 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 21 | 10 | 4 | 1.3 | | BP下 | 3 | 46,093.114 | -63,944.595 | 143.877 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ17 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 32 | 12 | 5 | 3.2 | | BP下 | 3 | 46,093.175 | -63,945.337 | 143.898 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ18 | 自然石 | 頁岩 | 13 | 10 | 3 | 0.6 | | BP下 | 3 | 46,113.039 | -63,958.148 | 144.939 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ19 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 9 | 2 | 0.3 | | BP下 | 3 | 46,113.340 | -63,957.587 | 144.986 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ20 | 碎片 | 黒色安山岩 | 4 | 2 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,112.990 | -63,956.912 | 145.030 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ21 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 5 | 3 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,113.612 | -63,956.217 | 145.034 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ22 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 15 | 2 | 0.2 | | BP下 | 3 | 46,113.645 | -63,956.569 | 145.095 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ23 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 10 | 3 | 0.4 | | BP下 | 3 | 46,113.970 | -63,956.767 | 145.074 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ24 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 20 | 5 | 2.7 | | BP下 | 3 | 46,114.227 | -63,957.157 | 145.044 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ25 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 23 | 3 | 1.8 | | BP下 | 3 | 46,114.307 | -63,956.504 | 145.005 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ26 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 6 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.332 | -63,956.178 | 145.054 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ27 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 7 | 2 | 0.3 | | BP下 | 3 | 46,114.163 | -63,956.062 | 144.969 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ28 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 15 | 2 | 0.8 | | BP下 | 3 | 46,114.074 | -63,955.555 | 145.061 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 5 | 7 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.344 | -63,955.662 | 145.186 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ30 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 23 | 8 | 3.3 | | BP下 | 3 | 46,114.537 | -63,956.860 | 145.124 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ31 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 7 | 5 | 0.6 | | BP下 | 3 | 46,114.551 | -63,957.227 | 145.039 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ32 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 15 | 7 | 2.0 | | BP下 | 3 | 46,114.489 | -63,957.431 | 145.092 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ33 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 5 | 2 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.719 | -63,957.718 | 145.098 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ34 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 4 | 2 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.921 | -63,956.818 | 145.198 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ35 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 21 | 4 | 2.0 | | BP下 | 3 | 46,115.422 | -63,956.335 | 145.221 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ36 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 12 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.047 | -63,955.712 | 145.158 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ37 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 4 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.363 | -63,955.825 | 145.169 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ38 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 15 | 4 | 1.3 | | BP下 | 3 | 46,115.213 | -63,955.733 | 145.191 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ39 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 12 | 3 | 0.4 | | BP下 | 3 | 46,115.220 | -63,955.627 | 145.096 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ40 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 4 | 1 | 0.2 | | BP下 | 3 | 46,115.021 | -63,955.181 | 145.205 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ41 | 石刃 | 黒色安山岩 | 67 | 37 | 16 | 38.2 | | BP下 | 3 | 46,115.192 | -63,955.222 | 145.053 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ42 | 剥片 | 黒色安山岩 | 7 | 3 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.450 | -63,955.279 | 145.204 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ43 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 17 | 5 | 2.1 | | BP下 | 3 | 46,116.523 | -63,955.208 | 145.161 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ44 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 23 | 6 | 1.6 | | BP下 | 3 | 46,116.587 | -63,957.274 | 145.141 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ45 | 剥片 | 黒色頁岩 | 48 | 86 | 21 | 68.6 | | BP下 | 3 | 46,124.407 | -63,967.084 | 145.195 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | Ⅲ46 | 剥片 | 黒色頁岩 | 52 | 36 | 11 | 20.2 | | BP下 | 3 | 46,115.512 | -63,970.491 | 144.734 | 78 | 29 |
| 上泉武田 | Ⅲ47 | 剥片 | 黒色安山岩 | 5 | 12 | 2 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.334 | -63,956.440 | 144.984 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ48 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 25 | 3 | 1.1 | | BP下 | 3 | 46,114.598 | -63,956.601 | 145.013 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ49 | 剥片 | 黒色安山岩 | 52 | 34 | 12 | 17.0 | | BP下 | 3 | 46,115.146 | -63,956.285 | 144.994 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ50 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 9 | 7 | 1.2 | | BP下 | 3 | 46,115.612 | -63,956.228 | 145.187 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ51 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 18 | 6 | 0.5 | | BP下 | 3 | 46,115.313 | -63,956.197 | 145.048 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ52 | 剥片 | 黒色安山岩 | 5 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.395 | -63,955.856 | 145.102 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ53 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.342 | -63,955.127 | 145.089 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ54 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 27 | 5 | 1.6 | | BP下 | 3 | 46,115.849 | -63,955.347 | 145.102 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ55 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 8 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,116.004 | -63,954.959 | 145.062 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ56 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 11 | 8 | 5 | 0.4 | | BP下 | 3 | 46,110.941 | -63,959.473 | 144.766 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ57 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 5 | 3 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,112.916 | -63,957.162 | 144.745 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ58 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 15 | 1 | 0.4 | | BP下 | 3 | 46,113.395 | -63,958.093 | 144.828 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ59 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 17 | 3 | 1.7 | | BP下 | 3 | 46,113.539 | -63,958.460 | 144.643 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ60 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 21 | 9 | 1.4 | | BP下 | 3 | 46,113.572 | -63,958.685 | 144.828 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ61 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 12 | 8 | 6 | 0.7 | | BP下 | 3 | 46,113.664 | -63,958.656 | 144.766 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ62 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 13 | 5 | 2.6 | | BP下 | 3 | 46,114.241 | -63,958.067 | 144.910 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ63 | 剥片 | 黒色頁岩 | 21 | 23 | 4 | 2.7 | | BP下 | 3 | 46,114.530 | -63,957.640 | 144.941 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ64 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 6 | 3 | 0.2 | | BP下 | 3 | 46,113.953 | -63,956.956 | 144.925 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ65 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 12 | 5 | 2.2 | | BP下 | 3 | 46,113.767 | -63,956.853 | 144.780 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ66 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 9 | 5 | 0.9 | | BP下 | 3 | 46,113.840 | -63,956.717 | 144.809 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ67 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 7 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.332 | -63,956.910 | 144.696 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ68 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.283 | -63,956.686 | 144.919 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ69 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 15 | 3 | 0.5 | | BP下 | 3 | 46,114.285 | -63,956.393 | 144.928 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ70 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 7 | 2 | 0.2 | | BP下 | 3 | 46,114.357 | -63,956.349 | 144.930 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ71 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 3 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.271 | -63,956.207 | 144.889 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ72 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 19 | 5 | 0.8 | | BP下 | 3 | 46,114.053 | -63,956.516 | 144.634 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ73 | 剥片 | 黒色安山岩 | 4 | 2 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.037 | -63,956.317 | 144.723 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ74 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 9 | 4 | 0.6 | | BP下 | 3 | 46,114.065 | -63,956.209 | 144.742 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ75 | 剥片 | 黒色安山岩 | 3 | 8 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,113.828 | -63,956.385 | 144.927 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ76 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 9 | 2 | 0.4 | | BP下 | 3 | 46,113.701 | -63,956.158 | 144.909 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ77 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 41 | 7 | 6.0 | | BP下 | 3 | 46,113.766 | -63,956.077 | 144.915 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ78 | 剥片 | 黒色安山岩 | 3 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,113.849 | -63,956.032 | 144.931 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ79 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 12 | 11 | 2.6 | | BP下 | 3 | 46,113.910 | -63,955.988 | 144.935 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ80 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 9 | 5 | 0.7 | | BP下 | 3 | 46,113.906 | -63,956.145 | 144.854 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ81 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 11 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.588 | -63,955.244 | 145.006 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ82 | 剥片 | 黒色安山岩 | 1 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,114.679 | -63,955.273 | 144.996 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ83 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 22 | 4 | 3.0 | | BP下 | 3 | 46,114.882 | -63,955.495 | 144.755 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ84 | 剥片 | 黒色安山岩 | 7 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.018 | -63,955.454 | 144.815 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|---------|---------|---------|-----|-----|-----|--------|--------|--------|-----|------------|-------------|---------|-------|-------|
| 上泉武田 | Ⅲ85 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 14 | 4 | 0.6 | | BP下 | 3 | 46,115.002 | -63,955.808 | 144.661 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ86 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 19 | 11 | 5.7 | | BP下 | 3 | 46,114.980 | -63,956.169 | 144.899 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ87 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 8 | 2 | 0.2 | | BP下 | 3 | 46,114.991 | -63,956.346 | 144.732 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ88 | 碎片 | 黒色安山岩 | 3 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.026 | -63,956.582 | 144.976 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ89 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 26 | 6 | 2.3 | | BP下 | 3 | 46,114.818 | -63,956.895 | 144.783 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ90 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 8 | 3 | 0.3 | | BP下 | 3 | 46,114.818 | -63,957.123 | 144.802 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ91 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 3 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.166 | -63,957.276 | 144.711 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ92 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 4 | 2 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.728 | -63,956.899 | 144.817 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ93 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 20 | 9 | 3.3 | | BP下 | 3 | 46,115.544 | -63,956.762 | 145.011 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ94a | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.343 | -63,956.665 | 144.874 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ94b | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 5 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.343 | -63,956.665 | 144.874 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ95 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 6 | 2 | 0.2 | | BP下 | 3 | 46,115.355 | -63,956.322 | 144.865 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ96 | 剥片 | 黒色安山岩 | 77 | 33 | 17 | 34.1 | | BP下 | 3 | 46,115.423 | -63,956.136 | 144.956 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ97 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 4 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.500 | -63,956.078 | 144.800 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ98 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 3 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.432 | -63,955.964 | 144.809 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ99 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 13 | 2 | 0.3 | | BP下 | 3 | 46,115.458 | -63,955.757 | 144.861 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ100 | 碎片 | 黒色安山岩 | 6 | 10 | 2 | 0.2 | | BP下 | 3 | 46,115.628 | -63,955.779 | 144.843 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ101 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 33 | 6 | 5.4 | | BP下 | 3 | 46,115.819 | -63,955.569 | 144.953 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ102 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 4 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.669 | -63,955.324 | 144.863 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ103 | 碎片 | 黒色安山岩 | 6 | 7 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.732 | -63,955.089 | 144.889 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ104 | 碎片 | 黒色安山岩 | 4 | 4 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,115.776 | -63,956.238 | 144.961 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ105 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 30 | 10 | 4.9 | | BP下 | 3 | 46,116.348 | -63,955.216 | 145.012 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ106 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 5 | 4 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,116.150 | -63,955.788 | 144.812 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ107 | 彫器 | 黒色安山岩 | 42 | 35 | 13 | 22.8 | | BP下 | 3 | 46,116.257 | -63,955.950 | 144.962 | 62・69 | 20・25 |
| 上泉武田 | Ⅲ108 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 44 | 15 | 20.4 | | BP下 | 3 | 46,116.432 | -63,956.262 | 144.961 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ109 | 石刃 | 黒色安山岩 | 71 | 44 | 11 | 35.1 | 打面頭部調整 | BP下 | 3 | 46,116.347 | -63,956.378 | 144.932 | 63・69 | 21・25 |
| 上泉武田 | Ⅲ110 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 26 | 9 | 3.8 | | BP下 | 3 | 46,116.136 | -63,956.648 | 144.858 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ111 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 11 | 1 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,116.635 | -63,956.652 | 144.922 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ112 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 17 | 3 | 0.3 | | BP下 | 3 | 46,116.405 | -63,957.358 | 145.096 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ113 | 石刃 | 黒色安山岩 | 72 | 30 | 14 | 30.2 | | BP下 | 3 | 46,116.806 | -63,957.603 | 144.952 | 64・69 | 22・25 |
| 上泉武田 | Ⅲ114 | 剥片 | 黒色安山岩 | 50 | 33 | 11 | 16.6 | | BP下 | 3 | 46,116.637 | -63,955.734 | 145.030 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ115 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 13 | 6 | 1.9 | | BP下 | 3 | 46,116.862 | -63,955.718 | 144.879 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ116 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 27 | 8 | 3.8 | | BP下 | 3 | 46,116.610 | -63,955.527 | 145.073 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ117 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 20 | 7 | 3.1 | | BP下 | 3 | 46,117.356 | -63,955.595 | 144.891 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ118 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 61 | 13 | 24.1 | | BP下 | 3 | 46,117.200 | -63,955.141 | 145.074 | 69 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ119 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 53 | 18 | 37.0 | | BP下 | 3 | 46,117.729 | -63,955.372 | 145.070 | 70 | 25 |
| 上泉武田 | Ⅲ120 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 55 | 11 | 21.8 | | BP下 | 3 | 46,118.814 | -63,961.840 | 145.009 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ121 | 石核 | 黒色頁岩 | 172 | 138 | 137 | 4350.0 | | BP下 | 3 | 46,122.841 | -63,965.540 | 145.077 | 67 | 24 |
| 上泉武田 | Ⅲ122 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 22 | 12 | 5 | 1.8 | | BP下 | 3 | 46,125.620 | -63,971.169 | 144.916 | | 72 |
| 上泉武田 | Ⅲ123 | 彫器 | 黒色頁岩 | 53 | 23 | 12 | 10.5 | | BP下 | 3 | 46,114.016 | -63,957.016 | 144.846 | 62 | 20 |
| 上泉武田 | Ⅲ124 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 13 | 2 | 0.3 | | BP下 | 3 | 46,113.931 | -63,956.173 | 144.699 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ125 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 9 | 2 | 0.1 | | BP下 | 3 | 46,116.344 | -63,956.429 | 144.909 | | |
| 上泉武田 | Ⅲ126 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 12 | 3 | 0.2 | | BP下 | 3 | 46,116.649 | -63,955.745 | 145.002 | | |
| 上泉武田 | H2-127 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 12 | 3 | 0.8 | | なし | 不明 | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | J17-128 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 40 | 24 | 11 | 16.6 | | 不明 | | なし | なし | なし | | 72 |
| 上泉武田 | J19-129 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 32 | 12 | 5 | 3.0 | | 不明 | | なし | なし | なし | | 73 |
| 上泉武田 | J1-130 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 27 | 20 | 13 | 11.3 | | 不明 | | なし | なし | なし | | 73 |
| 上泉武田 | H1-131 | 礫片 | 砂岩 | 38 | 27 | 16 | 13.4 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土140 | 剥片 | 黒色頁岩 | 47 | 84 | 11 | 51.9 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土141 | 剥片 | 黒色頁岩 | 34 | 56 | 7 | 11.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土142 | 剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 31 | 11 | 16.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土143 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 34 | 10 | 10.2 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土144 | 剥片 | ホルンフェルス | 30 | 33 | 12 | 11.5 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土145 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 27 | 7 | 5.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土146 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 30 | 6 | 6.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | 78 | 29 |
| 上泉武田 | 表土147 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 23 | 2 | 1.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土148 | 剥片 | 黒色頁岩 | 11 | 27 | 2 | 1.0 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土149 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 20 | 7 | 1.4 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 表土150 | 剥片 | チャート | 29 | 18 | 6 | 4.3 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | ｶﾝﾌﾞ151 | 石核 | 黒色安山岩 | 41 | 50 | 22 | 45.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | 66 | 23 |
| 上泉武田 | ｶﾝﾌﾞ152 | 石核 | 黒色安山岩 | 51 | 51 | 14 | 44.4 | | 不明 | | なし | なし | なし | 66・70 | 23・25 |
| 上泉武田 | ｶﾝﾌﾞ153 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 49 | 7 | 12.1 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | ｶﾝﾌﾞ154 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 32 | 11 | 9.4 | | 不明 | | なし | なし | なし | 70 | 25 |
| 上泉武田 | ｶﾝﾌﾞ155 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 36 | 7 | 6.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | 70 | 25 |
| 上泉武田 | ｶﾝﾌﾞ156 | 剥片 | 黒色頁岩 | 43 | 18 | 9 | 8.3 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | ｶﾝﾌﾞ157 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 26 | 5 | 2.7 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | ｶﾝﾌﾞ158 | 剥片 | 黒色頁岩 | 43 | 60 | 12 | 32.1 | | 不明 | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 1面2 | 槍先形尖頭器 | 黒曜石 | 27 | 21 | 6 | 3.5 | 下半部 | 不明 | 1 | なし | なし | なし | 56 | 20 |
| 上泉武田 | 1㉙1 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 13 | 3 | 0.5 | | なし | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 1㉙2 | 碎片 | 黒色頁岩 | 6 | 9 | 2 | 0.1 | | なし | | なし | なし | なし | | |
| 上泉武田 | 1㉙3 | 自然石 | 黒色片岩 | 42 | 18 | 9 | 9.3 | | なし | | なし | なし | なし | | 72 |
| 上泉武田 | 1㉙4 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 52 | 27 | 14 | 20.4 | | なし | | なし | なし | なし | | 72 |
| 上泉武田 | 1㉙5 | 自然石 | 黒色片岩 | 44 | 17 | 4 | 3.4 | | なし | | なし | なし | なし | | 73 |
| 上泉武田 | 1㉙6 | 自然石 | 黒色片岩 | 40 | 19 | 11 | 10.8 | | なし | | なし | なし | なし | | 72 |
| 上泉武田 | 1㉙7 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 55 | 31 | 20 | 36.5 | 薄片試料 | なし | | なし | なし | なし | | 72 |
| 上泉武田 | 1㉙8 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 54 | 26 | 14 | 20.9 | | なし | | なし | なし | なし | | 72 |
| 五代砂留 | K3-1 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 20 | 15 | 8 | 2.0 | | As-0k1 | 1 | 46,305.900 | -64,196.330 | 146.418 | | |
| 五代砂留 | K3-2 | 剥片 | 黒曜石 | 34 | 26 | 7 | 4.9 | | As-0k1 | 1 | 46,303.810 | -64,196.230 | 146.756 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-3 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 5 | 3 | 1 | 0.1 | | As-0k1 | 1 | 46,306.710 | -64,197.210 | 146.604 | | |
| 五代砂留 | K3-4 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 13 | 8 | 3 | 0.3 | | As-0k1 | 1 | 46,305.140 | -64,197.090 | 146.395 | | |
| 五代砂留 | K3-5 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 14 | 10 | 5 | 0.7 | | As-0k1 | 1 | 46,304.270 | -64,197.160 | 146.530 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|--------|---------|-------|----|----|----|------|-------|--------|-----|------------|-------------|---------|-----|-----|
| 五代砂留 | K3-6 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 34 | 18 | 8 | 3.1 | | As-0k1 | 1 | 46,303.470 | -64,197.400 | 146.312 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-7 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 27 | 15 | 6 | 2.0 | | As-0k1 | 1 | 46,305.260 | -64,197.490 | 146.382 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-8 | 剥片 | 黒曜石 | 23 | 19 | 5 | 1.5 | | As-0k1 | 1 | 46,304.670 | -64,197.580 | 146.414 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-9 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 11 | 10 | 5 | 0.6 | | As-0k1 | 1 | 46,306.080 | -64,197.860 | 146.605 | | |
| 五代砂留 | K3-10 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 30 | 11 | 12.7 | | As-0k1 | 1 | 46,304.890 | -64,197.860 | 146.330 | | |
| 五代砂留 | K3-11 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 9 | 3 | 0.3 | | As-0k1 | 1 | 46,304.740 | -64,198.260 | 146.415 | | |
| 五代砂留 | K3-12 | 剥片 | 黒曜石 | 26 | 16 | 8 | 3.3 | | As-0k1 | 1 | 46,304.480 | -64,198.260 | 146.555 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-13 | 剥片 | 黒曜石 | 20 | 22 | 3 | 0.8 | | As-0k1 | 1 | 46,306.120 | -64,198.730 | 146.524 | | |
| 五代砂留 | K3-14 | 碎片 | 黒曜石 | 5 | 10 | 1 | 0.1 | | As-0k1 | 1 | 46,305.740 | -64,198.850 | 146.552 | | |
| 五代砂留 | K3-15 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 25 | 10 | 8.6 | | As-0k1 | 1 | 46,305.710 | -64,198.950 | 146.416 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-16 | 剥片 | 黒色安山岩 | 39 | 29 | 17 | 20.8 | | As-0k1 | 1 | 46,305.350 | -64,198.690 | 146.566 | | |
| 五代砂留 | K3-17 | 剥片 | 黒曜石 | 11 | 16 | 6 | 0.6 | | As-0k1 | 1 | 46,304.520 | -64,198.570 | 146.320 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-18 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 18 | 5 | 1.5 | | As-0k1 | 1 | 46,305.010 | -64,199.680 | 146.180 | | |
| 五代砂留 | K3-19 | 石核 | 黒曜石 | 22 | 23 | 10 | 4.6 | | As-0k1 | 1 | 46,308.300 | -64,199.780 | 146.338 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-20 | 剥片 | 黒曜石 | 12 | 15 | 4 | 0.6 | | As-0k1 | 1 | 46,306.190 | -64,200.210 | 146.630 | | |
| 五代砂留 | K3-21 | 剥片 | 黒曜石 | 23 | 10 | 5 | 1.1 | | As-0k1 | 1 | 46,304.730 | -64,200.070 | 146.482 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-22 | 剥片 | 黒曜石 | 16 | 32 | 8 | 3.1 | | As-0k1 | 1 | 46,306.210 | -64,200.750 | 146.514 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-23 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 13 | 3 | 0.6 | 岩片? | As-0k1 | 1 | 46,305.780 | -64,200.820 | 146.765 | | |
| 五代砂留 | K3-24 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 29 | 6 | 2.9 | | As-0k1 | 1 | 46,305.590 | -64,201.020 | 146.698 | | |
| 五代砂留 | K3-25 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 9 | 6 | 0.8 | | As-0k1 | 1 | 46,305.010 | -64,201.550 | 146.090 | | |
| 五代砂留 | K3-26 | 剥片 | 黒曜石 | 23 | 25 | 4 | 2.2 | | As-0k1 | 1 | 46,304.290 | -64,201.560 | 146.504 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-27 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 12 | 10 | 4 | 0.5 | | As-0k1 | 1 | 46,306.580 | -64,202.480 | 146.484 | | |
| 五代砂留 | K3-28 | 楔形石器 | 黒曜石 | 17 | 15 | 6 | 1.6 | | As-0k1 | 1 | 46,305.500 | -64,202.330 | 146.145 | 94 | 32 |
| 五代砂留 | K3-29 | 自然石(岩片) | 安山岩 | 12 | 9 | 5 | 0.6 | | As-0k1 | 1 | 46,304.700 | -64,202.560 | 146.695 | | |
| 五代砂留 | K6-1 | 槍先形尖頭器 | 黒曜石 | 52 | 21 | 5 | 5.6 | | As-0k1 | 1 | 46,390.320 | -64,307.830 | 146.377 | 91 | 32 |
| 五代砂留 | K1-1 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 22 | 4 | 1.1 | | BP～AT | 2 | 46,362.420 | -64,249.300 | 146.410 | | |
| 五代砂留 | K1-2 | 自然石 | チャート | 24 | 39 | 18 | 22.2 | | BP～AT | 2 | 46,361.700 | -64,249.540 | 147.071 | | |
| 五代砂留 | K5-1 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 14 | 4 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,258.625 | -64,089.202 | 143.280 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-2 | 礫片 | 砂岩 | 20 | 18 | 8 | 2.8 | 全面赤化? | 暗色帯 | 3 | 46,257.623 | -64,090.538 | 143.345 | | |
| 五代砂留 | K5-3 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 48 | 13 | 17.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,257.218 | -64,089.265 | 143.280 | | |
| 五代砂留 | K5-4 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 23 | 8 | 7.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.499 | -64,088.236 | 143.320 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-5 | 剥片 | 黒色安山岩 | 39 | 47 | 11 | 14.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.395 | -64,088.705 | 143.175 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-6 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 21 | 6 | 2.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.095 | -64,090.942 | 143.155 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-7 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 15 | 5 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.757 | -64,089.783 | 143.060 | | |
| 五代砂留 | K5-8 | 剥片 | 黒色安山岩 | 47 | 34 | 6 | 9.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.351 | -64,090.478 | 143.100 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-9 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 9 | 7 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.140 | -64,090.455 | 143.010 | | |
| 五代砂留 | K5-10 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 41 | 15 | 17.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.895 | -64,090.312 | 143.305 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-11 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 23 | 4 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.837 | -64,090.414 | 143.200 | | |
| 五代砂留 | K5-12 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 40 | 10 | 7.9 | 二次加工? | 暗色帯 | 3 | 46,254.019 | -64,087.981 | 142.900 | | |
| 五代砂留 | K5-13 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 20 | 17 | 6.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.660 | -64,089.001 | 142.945 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-14 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 19 | 9 | 4.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.776 | -64,089.614 | 143.045 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-15 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 51 | 9 | 15.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.776 | -64,091.005 | 143.045 | | |
| 五代砂留 | K5-16 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 30 | 8 | 7.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.574 | -64,090.877 | 143.015 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-17 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 38 | 5 | 6.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.306 | -64,088.836 | 143.050 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-18 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 17 | 9 | 4.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.260 | -64,088.776 | 142.905 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-19 | 剥片 | 黒色安山岩 | 60 | 45 | 22 | 58.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.182 | -64,089.400 | 143.000 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-20 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 23 | 9 | 5.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.407 | -64,089.650 | 142.955 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-21 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 36 | 10 | 7.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.219 | -64,089.675 | 142.915 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-22 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 15 | 3 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.616 | -64,090.369 | 142.955 | | |
| 五代砂留 | K5-23 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 22 | 5 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.986 | -64,090.013 | 143.075 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-24 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 22 | 12 | 6.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.001 | -64,090.113 | 143.210 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-25 | 剥片 | 黒色安山岩 | 48 | 22 | 17 | 21.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.987 | -64,090.195 | 143.120 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-26 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 15 | 11 | 4.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.956 | -64,090.218 | 143.095 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-27 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 56 | 17 | 38.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.928 | -64,090.009 | 142.885 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-28 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 31 | 5 | 3.3 | 2回折断 | 暗色帯 | 3 | 46,252.890 | -64,090.143 | 142.910 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 25 | 5 | 3.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.037 | -64,090.696 | 143.100 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-30 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 27 | 11 | 9.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.242 | -64,091.300 | 143.300 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-31 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 32 | 8 | 6.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.693 | -64,089.416 | 142.965 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-32 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 20 | 9 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.512 | -64,091.024 | 142.935 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-33 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 13 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.590 | -64,092.375 | 143.085 | | |
| 五代砂留 | K5-34 | 剥片 | 黒色安山岩 | 39 | 24 | 10 | 7.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,251.904 | -64,086.817 | 142.710 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-35 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 21 | 2 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.256 | -64,088.046 | 142.760 | | |
| 五代砂留 | K5-36 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 14 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.366 | -64,088.401 | 142.795 | | |
| 五代砂留 | K5-37 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 25 | 14 | 5.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.284 | -64,090.255 | 143.200 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-38 | 剥片 | 黒色安山岩 | 52 | 40 | 10 | 18.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,251.831 | -64,089.084 | 142.885 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-39 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 23 | 4 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.046 | -64,089.276 | 142.950 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-40 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 32 | 8 | 5.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,251.825 | -64,089.923 | 142.800 | | |
| 五代砂留 | K5-41 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 13 | 6 | 1.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,251.960 | -64,090.650 | 143.155 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-42 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 11 | 4 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,251.804 | -64,091.215 | 143.110 | | |
| 五代砂留 | K5-43 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 13 | 5 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,251.604 | -64,090.362 | 143.115 | | |
| 五代砂留 | K5-44 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 26 | 7 | 3.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,251.041 | -64,087.624 | 142.685 | | |
| 五代砂留 | K5-45a | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 27 | 5 | 2.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,250.555 | -64,087.280 | 142.705 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-45b | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 7 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,250.555 | -64,087.280 | 142.705 | | |
| 五代砂留 | K5-46 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 20 | 7 | 3.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,250.233 | -64,088.835 | 142.925 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-47 | 碎片 | 黒色安山岩 | 6 | 7 | 3 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.246 | -64,088.874 | 142.945 | | |
| 五代砂留 | K5-48 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 29 | 5 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.619 | -64,090.867 | 143.000 | | |
| 五代砂留 | K5-49 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 12 | 4 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.547 | -64,090.863 | 142.995 | | |
| 五代砂留 | K5-50 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 15 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.170 | -64,091.299 | 143.035 | | |
| 五代砂留 | K5-51 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 14 | 4 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.534 | -64,090.365 | 143.005 | | |
| 五代砂留 | K5-52 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 14 | 4 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.134 | -64,090.738 | 143.012 | | |
| 五代砂留 | K5-53 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 30 | 7 | 6.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.097 | -64,090.817 | 142.990 | 102 | 33 |

遺物一覽表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|---------|---------|--------|----|----|----|------|---------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 五代砂留 | K5-54 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 13 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.228 | -64,091.299 | 142.970 | | |
| 五代砂留 | K5-55 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 10 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.715 | -64,090.455 | 142.887 | | |
| 五代砂留 | K5-56 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 9 | 1 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.682 | -64,089.980 | 142.933 | | |
| 五代砂留 | K5-57 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 12 | 3 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.545 | -64,091.380 | 143.123 | | |
| 五代砂留 | K5-58 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 16 | 6 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,251.469 | -64,084.858 | 142.492 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-59 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 18 | 6 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,249.530 | -64,090.360 | 142.593 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-60 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 4 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.705 | -64,090.032 | 142.927 | | |
| 五代砂留 | K5-61 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 18 | 4 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.342 | -64,088.020 | 142.602 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-62 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 23 | 11 | 3.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.155 | -64,088.689 | 142.622 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-63 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 30 | 8 | 3.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.213 | -64,089.149 | 142.654 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-64 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 15 | 7 | 1.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.512 | -64,089.430 | 142.811 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-65 | 剥片 | 黒色安山岩 | 50 | 35 | 15 | 20.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.681 | -64,089.870 | 142.778 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-66 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 9 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.378 | -64,090.324 | 142.794 | | |
| 五代砂留 | K5-67 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 44 | 19 | 22.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.991 | -64,089.935 | 142.775 | | |
| 五代砂留 | K5-68 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 9 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.158 | -64,089.850 | 142.865 | | |
| 五代砂留 | K5-69 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 17 | 6 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.031 | -64,090.051 | 142.615 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-70 | 剥片 | 黒色安山岩 | 55 | 21 | 20 | 20.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.310 | -64,090.003 | 142.885 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-71 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 3 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.155 | -64,090.110 | 142.871 | | |
| 五代砂留 | K5-72 | 剥片 | 黒色安山岩 | 5 | 7 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.096 | -64,090.318 | 142.872 | | |
| 五代砂留 | K5-73 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 7 | 4 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.788 | -64,089.788 | 142.741 | | |
| 五代砂留 | K5-74 | 剥片 | 黒色安山岩 | 7 | 16 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.084 | -64,089.615 | 142.850 | | |
| 五代砂留 | K5-75 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 20 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.054 | -64,089.768 | 142.860 | | |
| 五代砂留 | K5-76 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 19 | 10 | 3.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.948 | -64,090.126 | 142.877 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-77 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 14 | 6 | 1.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.559 | -64,090.327 | 142.885 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-78 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 4 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.499 | -64,090.479 | 142.909 | | |
| 五代砂留 | K5-79 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 20 | 7 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.334 | -64,090.707 | 142.753 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-80 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 14 | 4 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,252.957 | -64,091.362 | 142.728 | | |
| 五代砂留 | K5-81 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 18 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.215 | -64,091.162 | 142.906 | | |
| 五代砂留 | K5-82 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 9 | 10 | 2.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.608 | -64,090.974 | 142.905 | | |
| 五代砂留 | K5-83 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 10 | 1 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.546 | -64,090.738 | 142.892 | | |
| 五代砂留 | K5-84 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 10 | 6 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.844 | -64,090.424 | 142.890 | | |
| 五代砂留 | K5-85 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 50 | 15 | 18.4 | 微細剥離痕 | 暗色帯 | 3 | 46,253.841 | -64,090.637 | 142.824 | | |
| 五代砂留 | K5-86 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 23 | 6 | 2.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.111 | -64,090.573 | 142.864 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-87 | 石核 | 黒色安山岩 | 25 | 41 | 17 | 17.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.034 | -64,090.735 | 142.815 | 100・102 | 32・33 |
| 五代砂留 | K5-88 | 剥片 | 黒色安山岩 | 69 | 20 | 15 | 35.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.133 | -64,090.798 | 142.774 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-89 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 12 | 8 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.139 | -64,090.926 | 142.940 | | |
| 五代砂留 | K5-90 | 剥片 | 黒色安山岩 | 66 | 34 | 13 | 16.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.004 | -64,091.257 | 142.917 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-91 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 25 | 11 | 8.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.202 | -64,091.841 | 142.912 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-92 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 13 | 5 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.249 | -64,091.130 | 142.910 | | |
| 五代砂留 | K5-93 | 石核 | 黒色安山岩 | 51 | 56 | 25 | 78.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.281 | -64,090.759 | 142.846 | 100・101 | 32・33 |
| 五代砂留 | K5-94 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 60 | 45 | 18 | 38.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.342 | -64,090.832 | 142.895 | 100 | 32 |
| 五代砂留 | K5-95 | 剥片 | 黒色安山岩 | 46 | 65 | 16 | 38.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.483 | -64,090.687 | 142.860 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-96 | 石核 | 黒色安山岩 | 52 | 48 | 29 | 60.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.611 | -64,090.688 | 142.956 | 100・103 | 32・34 |
| 五代砂留 | K5-97 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 8 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.400 | -64,090.558 | 142.863 | | |
| 五代砂留 | K5-98 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 13 | 2 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.438 | -64,090.448 | 142.883 | | |
| 五代砂留 | K5-99 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 8 | 3 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.467 | -64,090.270 | 142.792 | | |
| 五代砂留 | K5-100 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 19 | 6 | 1.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.619 | -64,090.307 | 142.925 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-101 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 4 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.781 | -64,090.449 | 142.879 | | |
| 五代砂留 | K5-102 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 18 | 8 | 1.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.866 | -64,090.428 | 142.885 | | |
| 五代砂留 | K5-103 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 9 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.695 | -64,090.965 | 142.713 | | |
| 五代砂留 | K5-104 | 剥片 | 黒色安山岩 | 4 | 5 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.756 | -64,090.987 | 142.818 | | |
| 五代砂留 | K5-105 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 16 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.909 | -64,090.849 | 142.753 | | |
| 五代砂留 | K5-106 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 12 | 5 | 1.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.102 | -64,090.907 | 142.800 | | |
| 五代砂留 | K5-107a | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 8 | 2 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.133 | -64,090.932 | 142.781 | | |
| 五代砂留 | K5-107b | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 4 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.133 | -64,090.932 | 142.781 | | |
| 五代砂留 | K5-108 | 石核 | 黒色安山岩 | 62 | 45 | 24 | 66.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.740 | -64,091.355 | 142.913 | 100・101 | 32・33 |
| 五代砂留 | K5-109 | 剥片 | 黒色安山岩 | 45 | 45 | 9 | 10.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.920 | -64,091.424 | 143.101 | | |
| 五代砂留 | K5-110 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 16 | 9 | 4.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,254.768 | -64,092.061 | 142.872 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-111 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 38 | 12 | 12.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.078 | -64,091.971 | 142.857 | | |
| 五代砂留 | K5-112 | 剥片 | 黒色安山岩 | 49 | 40 | 14 | 24.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.713 | -64,091.556 | 143.040 | 102 | 33 |
| 五代砂留 | K5-113 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 20 | 7 | 3.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.430 | -64,091.113 | 143.019 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-114 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 15 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.475 | -64,090.988 | 142.783 | | |
| 五代砂留 | K5-115 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 16 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.595 | -64,090.993 | 142.895 | | |
| 五代砂留 | K5-116 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 26 | 14 | 5.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.630 | -64,090.606 | 142.889 | | |
| 五代砂留 | K5-117 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 17 | 5 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.791 | -64,090.753 | 142.810 | | |
| 五代砂留 | K5-118 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 10 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.802 | -64,091.171 | 143.053 | | |
| 五代砂留 | K5-119 | 剥片 | 黒色安山岩 | 66 | 67 | 24 | 79.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,255.958 | -64,091.213 | 142.998 | 103 | 34 |
| 五代砂留 | K5-120 | 剥片 | 黒色安山岩 | 44 | 33 | 10 | 10.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,256.704 | -64,089.411 | 142.961 | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K5-121 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 7 | 4 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,253.246 | -64,089.976 | 142.648 | | |
| 五代砂留 | K5-122 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 25 | 8 | 4.6 | | 暗色帯 | 3 | なし | なし | なし | 101 | 33 |
| 五代砂留 | K7-1 | 礫片 | デイスait | 42 | 19 | 12 | 8.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.936 | -64,328.390 | 145.551 | | |
| 五代砂留 | K7-2 | 使用痕ある剥片 | チャート | 64 | 41 | 22 | 55.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.257 | -64,328.566 | 145.487 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-3 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 12 | 6 | 1.3 | 灰色安山岩 | 暗色帯 | 3 | 46,386.639 | -64,328.489 | 145.579 | | |
| 五代砂留 | K7-4 | 彫器 | チャート | 46 | 33 | 15 | 21.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,388.182 | -64,329.133 | 145.639 | 107 | 34 |
| 五代砂留 | K7-5 | 剥片 | 珪質頁岩 | 29 | 23 | 14 | 7.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.909 | -64,328.935 | 145.547 | | |
| 五代砂留 | K7-6 | 剥片 | チャート | 24 | 57 | 10 | 11.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.834 | -64,329.305 | 145.472 | 128 | 46 |
| 五代砂留 | K7-7 | 自然石 | 頁岩 | 21 | 12 | 10 | 1.7 | 礫片? | 暗色帯 | 3 | 46,388.537 | -64,330.017 | 145.499 | | |
| 五代砂留 | K7-8 | 剥片 | チャート | 38 | 40 | 7 | 10.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.570 | -64,329.934 | 145.535 | | |
| 五代砂留 | K7-9 | 剥片 | チャート | 65 | 25 | 18 | 26.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.310 | -64,329.472 | 145.379 | | |
| 五代砂留 | K7-10 | 剥片 | チャート | 61 | 53 | 19 | 60.8 | 微細剥離 | 暗色帯 | 3 | 46,387.298 | -64,329.211 | 145.420 | 128 | 46 |
| 五代砂留 | K7-11 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 17 | 7 | 2.8 | k7-3に同じ | 暗色帯 | 3 | 46,386.801 | -64,329.711 | 145.328 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|-------|---------|---------|-----|-----|----|--------|-------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 五代砂留 | K7-12 | 加工痕ある剥片 | チャート | 57 | 39 | 16 | 30.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.322 | -64,329.937 | 145.419 | 109 | 35 |
| 五代砂留 | K7-13 | 削器 | 黒色安山岩 | 46 | 29 | 12 | 13.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.032 | -64,328.906 | 145.562 | 107 | 34 |
| 五代砂留 | K7-14 | 礫片 | 珪質変質岩 | 43 | 40 | 16 | 35.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.948 | -64,328.778 | 145.358 | | |
| 五代砂留 | K7-15 | 剥片 | チャート | 28 | 22 | 13 | 5.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.251 | -64,328.403 | 145.777 | | |
| 五代砂留 | K7-16 | 剥片 | チャート | 54 | 18 | 9 | 9.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.265 | -64,329.260 | 145.513 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-17 | 剥片 | チャート | 17 | 9 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.151 | -64,330.405 | 145.562 | | |
| 五代砂留 | K7-18 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 16 | 7 | 3 | 17.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.240 | -64,330.132 | 145.479 | | 73 |
| 五代砂留 | K7-19 | 剥片 | チャート | 16 | 15 | 4 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.963 | -64,330.691 | 145.450 | 128 | 45 |
| 五代砂留 | K7-20 | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 27 | 11 | 11.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.985 | -64,331.416 | 145.390 | | |
| 五代砂留 | K7-21 | 剥片 | チャート | 28 | 23 | 8 | 5.6 | 裏面剥離痕 | 暗色帯 | 3 | 46,388.616 | -64,331.349 | 145.381 | | |
| 五代砂留 | K7-22 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 68 | 92 | 28 | 94.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,388.153 | -64,331.028 | 145.415 | 109 | 35 |
| 五代砂留 | K7-23 | 使用痕ある剥片 | 珪質頁岩 | 56 | 34 | 14 | 18.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.184 | -64,331.637 | 145.335 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-24 | 敲石 | ホルンフェルス | 210 | 100 | 57 | 1611.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.072 | -64,332.365 | 145.291 | 121 | 42 |
| 五代砂留 | K7-25 | 剥片 | 珪質頁岩 | 37 | 19 | 9 | 3.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.578 | -64,331.671 | 145.405 | | |
| 五代砂留 | K7-26 | 剥片 | チャート | 23 | 22 | 6 | 2.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,384.951 | -64,332.208 | 145.621 | | |
| 五代砂留 | K7-27 | 剥片 | チャート | 61 | 48 | 22 | 47.3 | 微細剥離痕 | 暗色帯 | 3 | 46,385.508 | -64,332.838 | 145.255 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-28 | 剥片 | 珪質頁岩 | 30 | 32 | 10 | 7.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,384.936 | -64,333.005 | 145.610 | | |
| 五代砂留 | K7-29 | 剥片 | チャート | 16 | 24 | 4 | 1.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,384.610 | -64,333.183 | 145.549 | | |
| 五代砂留 | K7-30 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 27 | 21 | 13 | 6.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,383.471 | -64,334.637 | 145.300 | | 73 |
| 五代砂留 | K7-31 | 剥片 | チャート | 15 | 43 | 13 | 7.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.778 | -64,334.012 | 145.373 | | |
| 五代砂留 | K7-32 | 剥片 | チャート | 61 | 37 | 11 | 30.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.334 | -64,334.585 | 145.332 | | |
| 五代砂留 | K7-33 | 使用痕ある剥片 | チャート | 83 | 27 | 22 | 34.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.988 | -64,334.668 | 145.292 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-34 | 石核 | チャート | 54 | 54 | 18 | 60.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.470 | -64,335.114 | 145.252 | 113・129 | 38・46 |
| 五代砂留 | K7-35 | 礫器 | 砂岩 | 115 | 104 | 42 | 726.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.865 | -64,336.033 | 145.218 | 122 | 43 |
| 五代砂留 | K7-36 | 自然石 | 安山岩 | 27 | 15 | 14 | 8.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.651 | -64,335.805 | 145.301 | | |
| 五代砂留 | K7-37 | 剥片 | チャート | 26 | 36 | 10 | 6.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.696 | -64,335.409 | 145.343 | | |
| 五代砂留 | K7-38 | 使用痕ある剥片 | 珪質頁岩 | 56 | 32 | 18 | 25.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.796 | -64,335.113 | 145.288 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-39 | 敲石 | 黒色頁岩 | 205 | 108 | 51 | 1802.0 | 亜円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,391.920 | -64,335.016 | 145.232 | 120 | 42 |
| 五代砂留 | K7-40 | 剥片 | チャート | 25 | 32 | 14 | 11.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.546 | -64,334.646 | 145.511 | | |
| 五代砂留 | K7-41 | 剥片 | チャート | 22 | 17 | 7 | 1.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.630 | -64,334.360 | 145.467 | 129 | 46 |
| 五代砂留 | K7-42 | 削器 | 黒色安山岩 | 58 | 32 | 18 | 28.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.710 | -64,333.500 | 145.524 | 107 | 34 |
| 五代砂留 | K7-43 | 台石 | ホルンフェルス | 178 | 136 | 49 | 1735.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.020 | -64,334.237 | 145.263 | | |
| 五代砂留 | K7-44 | 加工痕ある剥片 | チャート | 42 | 56 | 16 | 35.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,388.930 | -64,334.106 | 145.274 | 108 | 35 |
| 五代砂留 | K7-45 | 削器 | 珪質頁岩 | 36 | 22 | 11 | 10.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.724 | -64,333.526 | 145.308 | 107 | 34 |
| 五代砂留 | K7-46 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 55 | 40 | 24 | 42.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.405 | -64,335.566 | 145.191 | | |
| 五代砂留 | K7-47 | 石核 | 黒色頁岩 | 82 | 64 | 34 | 155.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.080 | -64,339.092 | 145.158 | 114 | 38 |
| 五代砂留 | K7-48 | 加工痕ある剥片 | チャート | 35 | 65 | 20 | 45.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.991 | -64,339.483 | 145.329 | 109 | 35 |
| 五代砂留 | K7-49 | 石核 | チャート | 36 | 53 | 36 | 62.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.172 | -64,339.887 | 145.161 | 116・127 | 39・45 |
| 五代砂留 | K7-50 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 22 | 22 | 9 | 3.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.720 | -64,341.456 | 145.262 | | |
| 五代砂留 | K7-51 | 礫片 | 輝緑凝灰岩 | 44 | 21 | 17 | 16.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.152 | -64,342.745 | 145.377 | | |
| 五代砂留 | K7-52 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 34 | 10 | 9.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,384.740 | -64,342.505 | 145.275 | | |
| 五代砂留 | K7-53 | 自然石 | 砂岩 | 27 | 20 | 9 | 6.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,381.803 | -64,342.861 | 144.972 | | |
| 五代砂留 | K7-54 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 36 | 30 | 18 | 18.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,381.654 | -64,342.972 | 145.320 | | |
| 五代砂留 | K7-55 | 石核 | チャート | 63 | 43 | 33 | 97.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,381.858 | -64,344.607 | 144.960 | 115・128 | 39・45 |
| 五代砂留 | K7-56 | 石核 | 碧玉 | 39 | 32 | 25 | 28.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,381.461 | -64,344.356 | 144.998 | 113 | 38 |
| 五代砂留 | K7-57 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 28 | 17 | 17.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,381.289 | -64,344.195 | 144.976 | | |
| 五代砂留 | K7-58 | 石核 | チャート | 36 | 27 | 26 | 22.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,381.035 | -64,344.328 | 145.021 | 111・128 | 37・45 |
| 五代砂留 | K7-59 | 敲石 | 溶結凝灰岩 | 86 | 63 | 62 | 457.0 | 亜円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,381.070 | -64,344.644 | 144.868 | 120 | 41 |
| 五代砂留 | K7-60 | 剥片 | 碧玉 | 42 | 37 | 14 | 19.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,380.593 | -64,344.593 | 145.005 | | |
| 五代砂留 | K7-61 | 礫 | ホルンフェルス | 133 | 61 | 52 | 519.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.451 | -64,344.552 | 145.074 | | |
| 五代砂留 | K7-62 | 加工痕ある剥片 | チャート | 53 | 27 | 12 | 12.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.436 | -64,345.881 | 144.993 | 108 | 35 |
| 五代砂留 | K7-63 | 石核 | 黒色安山岩 | 70 | 44 | 16 | 42.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.519 | -64,346.174 | 145.008 | 113 | 37 |
| 五代砂留 | K7-64 | 礫片 | ホルンフェルス | 20 | 7 | 5 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.442 | -64,345.118 | 145.093 | | |
| 五代砂留 | K7-65 | 台石 | ホルンフェルス | 177 | 108 | 43 | 1322.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.485 | -64,345.939 | 144.963 | 120 | 41 |
| 五代砂留 | K7-66 | 自然石 | 石英 | 23 | 17 | 12 | 7.0 | 亜角礫 | 暗色帯 | 3 | 46,382.544 | -64,346.462 | 145.011 | | |
| 五代砂留 | K7-67 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 39 | 12 | 22.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.328 | -64,346.176 | 145.167 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-68 | 礫 | ホルンフェルス | 193 | 90 | 52 | 1197.0 | 台石? | 暗色帯 | 3 | 46,391.886 | -64,347.019 | 145.092 | | |
| 五代砂留 | K7-69 | 剥片 | チャート | 52 | 42 | 14 | 24.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.052 | -64,347.353 | 145.190 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-70 | 剥片 | チャート | 66 | 41 | 11 | 21.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.300 | -64,347.306 | 145.117 | 129 | 46 |
| 五代砂留 | K7-71 | 剥片 | チャート | 47 | 54 | 15 | 41.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.820 | -64,347.011 | 145.107 | 129 | 46 |
| 五代砂留 | K7-72 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 12 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,384.687 | -64,350.740 | 145.156 | | |
| 五代砂留 | K7-73 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 22 | 7 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.171 | -64,351.111 | 144.977 | | |
| 五代砂留 | K7-74 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 23 | 7 | 3.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.358 | -64,351.305 | 144.943 | 124 | 43 |
| 五代砂留 | K7-75 | 楔形石器 | 黒色安山岩 | 41 | 20 | 22 | 18.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.063 | -64,351.772 | 144.978 | 107・124 | 34・44 |
| 五代砂留 | K7-76 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 23 | 14 | 8.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.475 | -64,351.511 | 145.313 | | |
| 五代砂留 | K7-77 | 剥片 | 珪質頁岩 | 28 | 22 | 11 | 8.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.495 | -64,351.688 | 145.092 | | |
| 五代砂留 | K7-78 | 剥片 | 珪質頁岩 | 22 | 20 | 6 | 1.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.385 | -64,351.724 | 144.998 | | |
| 五代砂留 | K7-79 | 石核 | 黒色安山岩 | 28 | 37 | 29 | 32.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.352 | -64,351.837 | 145.024 | 112 | 37 |
| 五代砂留 | K7-80 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 25 | 8 | 6.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.360 | -64,351.911 | 145.033 | | |
| 五代砂留 | K7-81 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 7 | 5 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.395 | -64,351.987 | 145.159 | | |
| 五代砂留 | K7-82 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 7 | 4 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.378 | -64,352.021 | 145.156 | | |
| 五代砂留 | K7-83 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 41 | 13 | 13.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.481 | -64,352.078 | 145.057 | | |
| 五代砂留 | K7-84 | 石核 | 黒色安山岩 | 44 | 30 | 28 | 39.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.143 | -64,352.433 | 144.990 | 111・124 | 37・43 |
| 五代砂留 | K7-85 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 21 | 6 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.622 | -64,352.301 | 145.269 | | |
| 五代砂留 | K7-86 | 礫片 | 珪質頁岩 | 10 | 7 | 5 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.786 | -64,352.977 | 145.179 | | |
| 五代砂留 | K7-87 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 26 | 12 | 7.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.315 | -64,352.290 | 144.953 | | |
| 五代砂留 | K7-88 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 15 | 9 | 2.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.029 | -64,352.094 | 145.023 | | |
| 五代砂留 | K7-89 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 6 | 3 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.824 | -64,352.017 | 145.287 | | |
| 五代砂留 | K7-90 | 台石 | ホルンフェルス | 109 | 88 | 58 | 975.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.793 | -64,351.241 | 144.917 | | |
| 五代砂留 | K7-91 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 9 | 4 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.046 | -64,350.677 | 145.284 | | |
| 五代砂留 | K7-92 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 15 | 7 | 2.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.030 | -64,350.611 | 145.027 | 123 | 43 |

遺物一覽表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|--------|---------|---------|-----|-----|----|--------|-------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 五代砂留 | K7-93 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 31 | 18 | 14.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.059 | -64,351.075 | 145.014 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-94 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 6 | 3 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.131 | -64,351.368 | 145.285 | | |
| 五代砂留 | K7-95 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 21 | 6 | 3.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.176 | -64,351.373 | 145.255 | | |
| 五代砂留 | K7-96 | 剥片 | 珪質頁岩 | 44 | 64 | 24 | 67.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.325 | -64,351.284 | 144.976 | | |
| 五代砂留 | K7-97 | 石核 | 黒色安山岩 | 30 | 26 | 23 | 19.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.445 | -64,350.989 | 145.302 | 112・123 | 37・43 |
| 五代砂留 | K7-98 | 剥片 | 珪質頁岩 | 35 | 23 | 6 | 6.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.404 | -64,350.954 | 145.168 | | |
| 五代砂留 | K7-99 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 26 | 11 | 5.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.370 | -64,350.945 | 145.148 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-100 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 22 | 8 | 4.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.948 | -64,349.809 | 145.125 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-101 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 15 | 10 | 3.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.777 | -64,350.919 | 145.123 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-102 | 剥片 | 黒色安山岩 | 45 | 30 | 12 | 13.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.573 | -64,351.508 | 145.118 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-103 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 11 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.591 | -64,351.608 | 145.138 | | |
| 五代砂留 | K7-104 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 13 | 6 | 1.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.456 | -64,351.601 | 145.108 | | |
| 五代砂留 | K7-105 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 34 | 6 | 3.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.376 | -64,351.630 | 144.967 | 124 | 43 |
| 五代砂留 | K7-106 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 9 | 5 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.312 | -64,351.660 | 144.961 | | |
| 五代砂留 | K7-107 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 10 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.345 | -64,351.866 | 144.943 | | |
| 五代砂留 | K7-108 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 20 | 6 | 1.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.457 | -64,352.266 | 145.143 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-109 | 石核 | 珪質頁岩 | 46 | 49 | 24 | 54.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.327 | -64,352.076 | 145.025 | 112 | 37 |
| 五代砂留 | K7-110 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 31 | 18 | 20.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.302 | -64,351.909 | 145.170 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-111 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 25 | 8 | 3.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.095 | -64,351.830 | 145.183 | 124 | 43 |
| 五代砂留 | K7-112 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 16 | 3 | 0.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.912 | -64,351.926 | 145.105 | | |
| 五代砂留 | K7-113 | 碎片 | 黒色安山岩 | 11 | 9 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.794 | -64,351.934 | 144.947 | | |
| 五代砂留 | K7-114 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 12 | 3 | 0.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.680 | -64,351.981 | 144.941 | | |
| 五代砂留 | K7-115 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 19 | 4 | 4.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.704 | -64,352.090 | 144.943 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-116 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 18 | 4 | 2.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.715 | -64,352.109 | 144.959 | | |
| 五代砂留 | K7-117 | 剥片 | 珪質頁岩 | 27 | 24 | 8 | 6.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.810 | -64,352.327 | 145.186 | | |
| 五代砂留 | K7-118 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 23 | 8 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.942 | -64,352.332 | 144.953 | | |
| 五代砂留 | K7-119 | 台石 | ホルンフェルス | 100 | 114 | 51 | 1232.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.874 | -64,352.600 | 145.020 | | |
| 五代砂留 | K7-120 | 礫片 | ホルンフェルス | - | - | - | 0.9 | 粉碎 | 暗色帯 | 3 | 46,386.853 | -64,352.682 | 145.078 | | |
| 五代砂留 | K7-121 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 11 | 11 | 1.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.753 | -64,352.740 | 145.105 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-122 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 12 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.738 | -64,352.754 | 145.117 | | |
| 五代砂留 | K7-123 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 31 | 11 | 6.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.246 | -64,352.857 | 145.076 | | |
| 五代砂留 | K7-124 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 20 | 12 | 7.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,388.354 | -64,351.117 | 145.113 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-125 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 16 | 7 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.842 | -64,350.621 | 145.139 | | |
| 五代砂留 | K7-126 | 加工痕ある剥片 | 珪質頁岩 | 42 | 25 | 11 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.510 | -64,350.818 | 145.085 | 108 | 35 |
| 五代砂留 | K7-127 | 石核 | 黒色安山岩 | 47 | 62 | 26 | 57.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.300 | -64,351.049 | 144.914 | 116 | 39 |
| 五代砂留 | K7-128 | 石核 | 黒色安山岩 | 47 | 45 | 24 | 49.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.820 | -64,351.313 | 145.169 | 115・123 | 39・43 |
| 五代砂留 | K7-129 | 剥片 | チャート | 28 | 43 | 10 | 10.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.861 | -64,350.672 | 145.180 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-130 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 40 | 14 | 19.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.697 | -64,350.969 | 145.126 | | |
| 五代砂留 | K7-131 | 石核 | 黒色安山岩 | 56 | 47 | 24 | 78.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.684 | -64,350.523 | 145.147 | 115 | 39 |
| 五代砂留 | K7-132 | 剥片 | チャート | 44 | 44 | 13 | 23.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.299 | -64,349.571 | 145.173 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-133 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 34 | 9 | 11.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.449 | -64,350.269 | 145.249 | | |
| 五代砂留 | K7-134 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 30 | 7 | 3.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.429 | -64,350.337 | 145.203 | | |
| 五代砂留 | K7-135 | 石核 | 黒色安山岩 | 71 | 42 | 21 | 51.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.419 | -64,350.637 | 145.183 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-136 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 39 | 18 | 18.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.300 | -64,350.957 | 145.213 | | |
| 五代砂留 | K7-137 | 剥片 | チャート | 31 | 48 | 10 | 16.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.301 | -64,351.333 | 145.158 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-138 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 14 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.340 | -64,351.403 | 145.176 | | |
| 五代砂留 | K7-139 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 18 | 4 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.096 | -64,350.513 | 145.240 | | |
| 五代砂留 | K7-140 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 五代砂留 | K7-141 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 14 | 6 | 1.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.678 | -64,349.544 | 145.086 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-142 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 20 | 8 | 3.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.588 | -64,350.137 | 145.220 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-143 | 剥片 | チャート | 32 | 34 | 8 | 6.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.726 | -64,350.549 | 145.015 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-144 | 剥片 | チャート | 39 | 55 | 13 | 25.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.899 | -64,350.709 | 145.202 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-145 | 石核 | チャート | 63 | 78 | 22 | 107.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.622 | -64,351.234 | 145.087 | 114・127 | 38・45 |
| 五代砂留 | K7-146 | 使用痕ある剥片 | チャート | 33 | 21 | 9 | 5.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.408 | -64,351.379 | 145.281 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-147 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 17 | 23 | 6 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.154 | -64,350.274 | 145.235 | | |
| 五代砂留 | K7-148 | 剥片 | チャート | 43 | 28 | 8 | 9.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.134 | -64,349.768 | 145.063 | | |
| 五代砂留 | K7-149 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 12 | 8 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.563 | -64,349.398 | 145.161 | 108・124 | 34・44 |
| 五代砂留 | K7-150 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 32 | 9 | 3.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.002 | -64,349.577 | 145.397 | | |
| 五代砂留 | K7-151 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 52 | 28 | 11 | 15.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.137 | -64,350.405 | 145.149 | 108・124 | 34・44 |
| 五代砂留 | K7-152 | 礫片 | 珪質変質岩 | 27 | 41 | 11 | 13.4 | 全面赤化？ | 暗色帯 | 3 | 46,390.048 | -64,350.999 | 145.124 | | |
| 五代砂留 | K7-153 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 25 | 9 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.284 | -64,351.211 | 145.170 | | |
| 五代砂留 | K7-154 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 40 | 14 | 21.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,394.327 | -64,350.515 | 145.262 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-155 | 剥片 | 黒色頁岩 | 47 | 22 | 10 | 7.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.360 | -64,352.274 | 145.178 | | |
| 五代砂留 | K7-156 | 剥片 | チャート | 40 | 20 | 11 | 6.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.009 | -64,352.245 | 145.361 | 128 | 45 |
| 五代砂留 | K7-157 | 礫 | ホルンフェルス | 132 | 95 | 50 | 827.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.750 | -64,352.163 | 145.128 | | |
| 五代砂留 | K7-158 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 20 | 10 | 5.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,394.143 | -64,353.874 | 145.307 | | |
| 五代砂留 | K7-159 | 剥片 | 珪質頁岩 | 20 | 17 | 9 | 3.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.943 | -64,353.748 | 145.252 | 126 | 44 |
| 五代砂留 | K7-160 | 剥片 | チャート | 53 | 40 | 6 | 20.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.363 | -64,353.080 | 145.228 | | |
| 五代砂留 | K7-161 | 剥片 | 黒色頁岩 | 24 | 41 | 5 | 5.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.286 | -64,353.453 | 145.159 | | |
| 五代砂留 | K7-162 | 礫片 | 溶結凝灰岩 | 34 | 42 | 14 | 23.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.520 | -64,354.076 | 145.307 | | |
| 五代砂留 | K7-163 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 36 | 13 | 9.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.278 | -64,352.526 | 145.275 | 108 | 35 |
| 五代砂留 | K7-164 | 剥片 | 黒色安山岩 | 59 | 67 | 21 | 66.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.364 | -64,352.939 | 145.197 | | |
| 五代砂留 | K7-165 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 15 | 2 | 0.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.986 | -64,354.454 | 145.227 | | |
| 五代砂留 | K7-166 | 剥片 | チャート | 68 | 66 | 16 | 57.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.574 | -64,354.630 | 145.225 | 127 | 45 |
| 五代砂留 | K7-167 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 20 | 6 | 2.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.206 | -64,355.000 | 145.245 | | |
| 五代砂留 | K7-168 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 54 | 9 | 12.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.595 | -64,355.422 | 144.884 | 125 | 44 |
| 五代砂留 | K7-169 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 81 | 46 | 31 | 104.0 | 全面赤化？ | 暗色帯 | 3 | 46,390.853 | -64,355.704 | 144.923 | | |
| 五代砂留 | K7-170 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 9 | 2 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.064 | -64,356.101 | 145.327 | | |
| 五代砂留 | K7-171 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 41 | 7 | 11.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.866 | -64,356.444 | 145.245 | 125 | 44 |
| 五代砂留 | K7-172 | 石核 | 黒色頁岩 | 90 | 99 | 54 | 386.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.407 | -64,355.705 | 145.169 | 117・126 | 40・44 |
| 五代砂留 | K7-173 | 敲石 | 黒色頁岩 | 197 | 84 | 48 | 1002.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.418 | -64,355.993 | 145.142 | 120 | 42 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|--------|---------|---------|-----|-----|----|--------|--------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 五代砂留 | K7-174 | 剥片 | 黒色頁岩 | 41 | 37 | 15 | 20.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.028 | -64,355.695 | 145.144 | 125 | 44 |
| 五代砂留 | K7-175 | 剥片 | 黒色頁岩 | 48 | 41 | 9 | 17.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.046 | -64,355.935 | 145.275 | | |
| 五代砂留 | K7-176 | 剥片 | 黒色頁岩 | 104 | 51 | 22 | 94.0 | 大型石器 | 暗色帯 | 3 | 46,390.085 | -64,356.300 | 145.187 | 125 | 44 |
| 五代砂留 | K7-177 | 礫 | ホルンフェルス | - | - | - | 414.0 | 粉砕 | 暗色帯 | 3 | 46,389.807 | -64,355.944 | 145.139 | | |
| 五代砂留 | K7-178 | 剥片 | 黒色頁岩 | 133 | 73 | 32 | 314.0 | 大型石器 | 暗色帯 | 3 | 46,389.707 | -64,356.009 | 145.170 | 125 | 44 |
| 五代砂留 | K7-179 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 28 | 9 | 5.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.782 | -64,356.138 | 145.271 | | |
| 五代砂留 | K7-180 | 剥片 | 黒色頁岩 | 54 | 59 | 22 | 58.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.631 | -64,355.905 | 145.170 | 125 | 44 |
| 五代砂留 | K7-181 | 剥片 | 黒色頁岩 | 44 | 41 | 12 | 16.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.404 | -64,355.918 | 145.266 | | |
| 五代砂留 | K7-182 | 使用痕ある剥片 | 珪質頁岩 | 43 | 24 | 6 | 8.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.037 | -64,355.680 | 145.067 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-183 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 22 | 4 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.576 | -64,353.539 | 144.865 | | |
| 五代砂留 | K7-184 | 礫 | ホルンフェルス | - | - | - | 25.8 | 粉砕 | 暗色帯 | 3 | 46,385.740 | -64,353.806 | 145.045 | | |
| 五代砂留 | K7-185 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 41 | 12 | 18.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.549 | -64,354.047 | 145.244 | | |
| 五代砂留 | K7-186 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 22 | 20 | 9.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.430 | -64,354.425 | 145.046 | 124 | 43 |
| 五代砂留 | K7-187 | 石核 | 黒色安山岩 | 44 | 45 | 21 | 39.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.821 | -64,353.960 | 145.027 | 112・124 | 37・43 |
| 五代砂留 | K7-188 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 52 | 10 | 21.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.760 | -64,354.326 | 145.104 | | |
| 五代砂留 | K7-189 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 35 | 17 | 8 | 2.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.959 | -64,354.447 | 145.306 | | |
| 五代砂留 | K7-190 | 石核 | チャート | 30 | 51 | 21 | 32.4 | 赤色チャート | 暗色帯 | 3 | 46,387.119 | -64,354.428 | 145.275 | 111 | 37 |
| 五代砂留 | K7-191 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 29 | 12 | 5.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.813 | -64,355.176 | 145.059 | 124 | 43 |
| 五代砂留 | K7-192 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 23 | 17 | 12 | 5.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.153 | -64,355.123 | 145.277 | | |
| 五代砂留 | K7-193 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 五代砂留 | K7-194 | 石刃 | 黒色頁岩 | 87 | 40 | 21 | 43.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,390.151 | -64,358.153 | 145.261 | 111 | 37 |
| 五代砂留 | K7-195 | 礫 | 砂岩 | 112 | 85 | 64 | 801.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.885 | -64,359.072 | 145.175 | | |
| 五代砂留 | K7-196 | 石刃 | チャート | 53 | 21 | 11 | 8.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.259 | -64,359.763 | 145.245 | 111 | 36 |
| 五代砂留 | K7-197 | 礫片 | 砂岩 | 30 | 14 | 11 | 5.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.194 | -64,360.189 | 145.332 | | |
| 五代砂留 | K7-198 | 礫片 | 砂岩 | 33 | 25 | 16 | 18.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,389.276 | -64,360.434 | 145.175 | | |
| 五代砂留 | K7-199 | 石核 | 黒色安山岩 | 62 | 94 | 68 | 495.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.189 | -64,357.571 | 145.227 | 118 | 40 |
| 五代砂留 | K7-200 | 敲石 | ホルンフェルス | 87 | 71 | 50 | 426.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,391.706 | -64,350.992 | 145.028 | 120 | 41 |
| 五代砂留 | K7-201 | 使用痕ある剥片 | 珪質頁岩 | 23 | 18 | 6 | 3.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,392.569 | -64,356.758 | 145.171 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-202 | 剥片 | 珪質頁岩 | 20 | 30 | 7 | 2.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,394.636 | -64,354.968 | 145.361 | 126 | 44 |
| 五代砂留 | K7-203 | 楔形石器 | 珪質頁岩 | 36 | 30 | 11 | 10.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,395.268 | -64,355.725 | 145.317 | 107 | 34 |
| 五代砂留 | K7-204 | 敲石 | ホルンフェルス | 198 | 95 | 53 | 1253.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,395.512 | -64,355.659 | 145.208 | 120 | 42 |
| 五代砂留 | K7-205 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 58 | 11 | 19.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,395.642 | -64,354.421 | 145.259 | | |
| 五代砂留 | K7-206 | 剥片 | ホルンフェルス | 26 | 54 | 18 | 21.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,396.290 | -64,359.138 | 145.344 | 129 | 46 |
| 五代砂留 | K7-207 | 剥片 | 黒色頁岩 | 56 | 25 | 13 | 21.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,395.275 | -64,361.745 | 145.348 | 126 | 44 |
| 五代砂留 | K7-208 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 98 | 78 | 32 | 260.0 | 亜円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,394.181 | -64,361.919 | 145.296 | | |
| 五代砂留 | K7-209 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 64 | 41 | 18 | 40.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,394.032 | -64,361.834 | 145.328 | | |
| 五代砂留 | K7-210 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 119 | 110 | 39 | 571.0 | 亜円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,394.121 | -64,361.977 | 145.325 | | |
| 五代砂留 | K7-211 | 台石 | 粗粒輝石安山岩 | 138 | 108 | 43 | 945.0 | 磨耗痕? | 暗色帯 | 3 | 46,393.843 | -64,361.925 | 145.303 | 121 | 42 |
| 五代砂留 | K7-212 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 73 | 60 | 23 | 97.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,393.758 | -64,362.071 | 145.334 | | |
| 五代砂留 | K7-213 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 11 | 7 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.363 | -64,366.364 | 145.259 | | |
| 五代砂留 | K7-214 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 80 | 62 | 46 | 279.0 | 完形、円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,400.424 | -64,366.382 | 144.808 | | |
| 五代砂留 | K7-215 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 59 | 55 | 16 | 54.2 | 全面褐色 | 暗色帯 | 3 | 46,400.991 | -64,366.682 | 144.741 | | |
| 五代砂留 | K7-216 | 剥片 | 黒色安山岩 | 47 | 42 | 13 | 18.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.901 | -64,367.226 | 145.073 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-217 | 石核 | チャート | 45 | 49 | 22 | 55.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.152 | -64,367.023 | 144.917 | 113 | 38 |
| 五代砂留 | K7-218 | 砕片 | 黒色安山岩 | 11 | 10 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.405 | -64,366.445 | 144.944 | | |
| 五代砂留 | K7-219 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 22 | 6 | 2.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.828 | -64,366.482 | 145.045 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-220 | 石刃 | 碧玉 | 43 | 21 | 8 | 6.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,402.086 | -64,366.357 | 144.887 | 111 | 36 |
| 五代砂留 | K7-221 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 22 | 10 | 7.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,402.694 | -64,367.505 | 144.918 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-222 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 32 | 10 | 7.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,402.991 | -64,367.383 | 144.793 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-223 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 28 | 6 | 2.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,403.261 | -64,367.316 | 144.810 | | |
| 五代砂留 | K7-224 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 23 | 10 | 2.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,403.534 | -64,365.469 | 144.819 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-225 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 57 | 54 | 33 | 116.6 | 完形、亜円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,401.517 | -64,364.566 | 144.847 | | |
| 五代砂留 | K7-226 | 礫 | 溶結凝灰岩 | 45 | 33 | 27 | 49.0 | 完形、円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,401.543 | -64,364.463 | 144.826 | | |
| 五代砂留 | K7-227 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 29 | 11 | 11.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.086 | -64,365.138 | 145.151 | | |
| 五代砂留 | K7-228 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 17 | 13 | 9.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.696 | -64,365.599 | 144.883 | | |
| 五代砂留 | K7-229 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 22 | 6 | 3.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.511 | -64,365.298 | 145.137 | | |
| 五代砂留 | K7-230 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 15 | 14 | 7.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.775 | -64,365.066 | 145.139 | | |
| 五代砂留 | K7-231 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 35 | 16 | 10 | 7.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.364 | -64,365.030 | 145.260 | | |
| 五代砂留 | K7-232 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 38 | 18 | 15.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.641 | -64,364.641 | 145.159 | | |
| 五代砂留 | K7-233 | 剥片 | 黒色安山岩 | 51 | 43 | 11 | 18.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.818 | -64,364.013 | 145.089 | | |
| 五代砂留 | K7-234 | 石刃 | チャート | 24 | 16 | 5 | 2.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.046 | -64,364.480 | 145.073 | 111 | 36 |
| 五代砂留 | K7-235 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 24 | 6 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.052 | -64,364.694 | 145.083 | | |
| 五代砂留 | K7-236 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 47 | 36 | 14 | 23.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.050 | -64,364.840 | 145.111 | 107 | 34 |
| 五代砂留 | K7-237 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 27 | 12 | 12.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.217 | -64,365.028 | 145.036 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-238 | 砕片 | 黒色安山岩 | 6 | 11 | 3 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.791 | -64,364.630 | 145.081 | | |
| 五代砂留 | K7-239 | 敲石 | ホルンフェルス | 154 | 86 | 56 | 915.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.773 | -64,365.197 | 145.076 | 121 | 42 |
| 五代砂留 | K7-240 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 32 | 14 | 15.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.195 | -64,365.408 | 145.298 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-241 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 18 | 8 | 5.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.235 | -64,365.241 | 145.316 | 123 | 43 |
| 五代砂留 | K7-242 | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 16 | 4 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.505 | -64,364.926 | 145.132 | | |
| 五代砂留 | K7-243 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 14 | 17 | 6 | 1.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.944 | -64,363.740 | 145.280 | | |
| 五代砂留 | K7-244 | 礫 | 珪質頁岩 | 119 | 111 | 57 | 988.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.546 | -64,360.768 | 145.153 | | |
| 五代砂留 | K7-245 | 剥片 | 黒色頁岩 | 60 | 69 | 19 | 52.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.629 | -64,359.777 | 145.229 | 125 | 44 |
| 五代砂留 | K7-246 | 石核 | ホルンフェルス | 52 | 78 | 30 | 115.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.865 | -64,359.582 | 145.190 | 116 | 39 |
| 五代砂留 | K7-247 | 石刃 | チャート | 34 | 17 | 7 | 3.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.209 | -64,359.724 | 144.992 | 111 | 36 |
| 五代砂留 | K7-248 | 石核 | チャート | 80 | 75 | 22 | 112.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.996 | -64,358.960 | 145.219 | 114 | 38 |
| 五代砂留 | K7-249 | 剥片 | ホルンフェルス | 65 | 66 | 19 | 66.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.500 | -64,359.967 | 145.151 | 129 | 46 |
| 五代砂留 | K7-250 | 石核 | ホルンフェルス | 85 | 93 | 74 | 595.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.391 | -64,360.097 | 145.117 | 117・129 | 40・46 |
| 五代砂留 | K7-251 | 石核 | 珪質頁岩 | 128 | 79 | 31 | 540.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.662 | -64,359.693 | 145.042 | 119 | 41 |
| 五代砂留 | K7-252 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 65 | 41 | 19 | 48.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,404.427 | -64,360.660 | 144.672 | | |
| 五代砂留 | K7-253 | 礫 | ホルンフェルス | 78 | 60 | 51 | 298.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,404.227 | -64,358.176 | 144.807 | | |
| 五代砂留 | K7-254 | 削器 | チャート | 46 | 37 | 17 | 33.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,405.799 | -64,358.128 | 144.684 | 107 | 34 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|--------|---------|---------|-----|-----|----|--------|------------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 五代砂留 | K7-255 | 石核 | 珪質頁岩 | 57 | 30 | 24 | 33.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,405.904 | -64,358.106 | 144.691 | 113 | 38 |
| 五代砂留 | K7-256 | 礫片 | 砂岩 | 46 | 19 | 11 | 9.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,405.859 | -64,358.052 | 144.393 | | |
| 五代砂留 | K7-257 | 礫片 | 砂岩 | 44 | 18 | 10 | 6.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,405.852 | -64,358.061 | 144.402 | | |
| 五代砂留 | K7-258 | 剥片 | 碧玉 | 27 | 35 | 7 | 4.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,403.114 | -64,353.255 | 144.876 | | |
| 五代砂留 | K7-259 | 石核 | チャート | 42 | 34 | 14 | 18.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,402.144 | -64,353.426 | 144.957 | 112 | 37 |
| 五代砂留 | K7-260 | 台石 | ホルンフェルス | 79 | 74 | 59 | 461.0 | k 7-261と接合 | 暗色帯 | 3 | 46,400.290 | -64,354.119 | 145.057 | | |
| 五代砂留 | K7-261 | 台石 | ホルンフェルス | 142 | 74 | 56 | 803.0 | k 7-260と接合 | 暗色帯 | 3 | 46,399.951 | -64,354.068 | 145.081 | | |
| 五代砂留 | K7-262 | 台石 | ホルンフェルス | 129 | 105 | 49 | 959.0 | 表面敲打痕 | 暗色帯 | 3 | 46,399.742 | -64,354.083 | 145.073 | 121 | 42 |
| 五代砂留 | K7-263 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 81 | 57 | 25 | 152.8 | 扁平円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,399.395 | -64,354.414 | 144.899 | | |
| 五代砂留 | K7-264 | 剥片 | チャート | 37 | 21 | 14 | 7.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.133 | -64,355.160 | 145.169 | | |
| 五代砂留 | K7-265 | 礫 | 砂岩 | 77 | 56 | 51 | 256.0 | 磨耗痕? | 暗色帯 | 3 | 46,397.891 | -64,355.856 | 145.196 | | |
| 五代砂留 | K7-266 | 自然石 | 黒色片岩 | 46 | 26 | 13 | 18.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,397.836 | -64,355.223 | 145.142 | | 73 |
| 五代砂留 | K7-267 | 剥片 | 碧玉 | 21 | 12 | 6 | 1.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.628 | -64,352.804 | 145.186 | | |
| 五代砂留 | K7-268 | 自然石 | チャート | 26 | 23 | 15 | 10.1 | 亜角礫 | 暗色帯 | 3 | 46,399.164 | -64,352.201 | 145.238 | | |
| 五代砂留 | K7-269 | 使用痕ある剥片 | 碧玉 | 24 | 22 | 8 | 3.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.478 | -64,351.639 | 145.258 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-270 | 剥片 | チャート | 42 | 21 | 11 | 8.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.207 | -64,351.934 | 145.165 | 128 | 46 |
| 五代砂留 | K7-271 | 剥片 | チャート | 31 | 42 | 21 | 22.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,397.614 | -64,352.151 | 145.202 | 128 | 46 |
| 五代砂留 | K7-272 | 石核 | チャート | 29 | 56 | 39 | 53.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,397.965 | -64,351.616 | 145.121 | 112・128 | 37・46 |
| 五代砂留 | K7-273 | 剥片 | チャート | 56 | 33 | 25 | 31.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,397.947 | -64,351.530 | 145.154 | 128 | 46 |
| 五代砂留 | K7-274 | 石核 | チャート | 49 | 54 | 25 | 67.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,397.620 | -64,351.573 | 145.137 | 111・128 | 37・46 |
| 五代砂留 | K7-275 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 20 | 6 | 1.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,395.836 | -64,351.688 | 145.344 | | |
| 五代砂留 | K7-276 | 剥片 | チャート | 24 | 26 | 6 | 3.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,396.474 | -64,350.447 | 145.070 | | |
| 五代砂留 | K7-277 | 剥片 | ホルンフェルス | 29 | 66 | 11 | 19.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,402.625 | -64,346.643 | 144.811 | | |
| 五代砂留 | K7-278 | 剥片 | ホルンフェルス | 36 | 44 | 15 | 14.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.761 | -64,347.095 | 145.265 | | |
| 五代砂留 | K7-279 | 礫片 | ホルンフェルス | 59 | 36 | 23 | 44.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.478 | -64,346.829 | 144.886 | | |
| 五代砂留 | K7-280 | 剥片 | ホルンフェルス | 25 | 38 | 9 | 11.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.801 | -64,347.418 | 144.951 | | |
| 五代砂留 | K7-281 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 37 | 18 | 19.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.537 | -64,347.094 | 145.010 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-282 | 石核 | 黒色安山岩 | 29 | 49 | 48 | 68.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.750 | -64,346.464 | 145.007 | 113・124 | 37・44 |
| 五代砂留 | K7-283 | 加工痕ある剥片 | ホルンフェルス | 82 | 70 | 26 | 165.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.048 | -64,346.882 | 144.953 | 109 | 36 |
| 五代砂留 | K7-284 | 石核 | 黒色安山岩 | 51 | 47 | 35 | 95.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.896 | -64,346.850 | 145.008 | 115 | 39 |
| 五代砂留 | K7-285 | 加工痕ある剥片 | ホルンフェルス | 67 | 47 | 20 | 56.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,399.990 | -64,346.705 | 144.994 | 108 | 35 |
| 五代砂留 | K7-286 | 礫 | 黒色頁岩 | 112 | 53 | 51 | 460.0 | 棒状円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,399.898 | -64,346.608 | 144.958 | | |
| 五代砂留 | K7-287 | 使用痕ある剥片 | チャート | 41 | 55 | 12 | 22.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.185 | -64,346.335 | 144.936 | 110 | 36 |
| 五代砂留 | K7-288 | 加工痕ある剥片 | チャート | 50 | 38 | 14 | 25.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,396.806 | -64,346.730 | 145.103 | 108・128 | 35・46 |
| 五代砂留 | K7-289 | 加工痕ある剥片 | チャート | 43 | 33 | 12 | 17.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,396.188 | -64,347.468 | 145.101 | 108・128 | 35・46 |
| 五代砂留 | K7-290 | 礫 | ホルンフェルス | 162 | 109 | 58 | 1320.0 | 完形、扁平礫 | 暗色帯 | 3 | 46,395.386 | -64,347.318 | 145.113 | | |
| 五代砂留 | K7-291 | 石核 | 珪質頁岩 | 39 | 40 | 20 | 27.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,395.508 | -64,346.556 | 145.097 | 115 | 39 |
| 五代砂留 | K7-292 | 石核 | 黒色安山岩 | 47 | 46 | 15 | 28.8 | | 暗色帯 | 3 | 46,395.357 | -64,346.152 | 145.253 | 116 | 39 |
| 五代砂留 | K7-293 | 礫 | 砂岩 | 112 | 90 | 50 | 460.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.825 | -64,345.440 | 144.797 | | |
| 五代砂留 | K7-294 | 礫 | 砂岩 | - | - | - | 計測不能 | 粉碎 | 暗色帯 | 3 | 46,401.850 | -64,345.368 | 144.815 | | |
| 五代砂留 | K7-295 | 礫 | 砂岩 | - | - | - | 48.1 | 粉碎 | 暗色帯 | 3 | 46,401.798 | -64,345.378 | 144.802 | | |
| 五代砂留 | K7-296 | 礫 | 砂岩 | - | - | - | 10.6 | 粉碎 | 暗色帯 | 3 | 46,401.760 | -64,345.369 | 144.823 | | |
| 五代砂留 | K7-297 | 礫 | 砂岩 | - | - | - | 7.3 | 粉碎 | 暗色帯 | 3 | 46,401.713 | -64,345.363 | 144.834 | | |
| 五代砂留 | K7-298 | 礫 | 砂岩 | - | - | - | 計測不能 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.696 | -64,345.366 | 144.832 | | |
| 五代砂留 | K7-299 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 54 | 42 | 18 | 41.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.136 | -64,345.071 | 144.658 | | |
| 五代砂留 | K7-300 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 53 | 35 | 27 | 58.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,400.851 | -64,343.961 | 144.485 | | 73 |
| 五代砂留 | K7-301 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 42 | 21 | 24 | 32.9 | 自然石? | 暗色帯 | 3 | 46,400.399 | -64,343.955 | 144.503 | | |
| 五代砂留 | K7-302 | 礫 | ホルンフェルス | 156 | 109 | 35 | 906.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,398.577 | -64,343.131 | 145.019 | | |
| 五代砂留 | K7-303 | 剥片 | 珪質頁岩 | 27 | 23 | 12 | 8.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,401.061 | -64,341.843 | 144.663 | | |
| 五代砂留 | K7-304 | 礫 | 珪質頁岩 | 75 | 27 | 22 | 52.8 | 棒状円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,402.071 | -64,338.325 | 144.811 | | |
| 五代砂留 | K7-305 | 剥片 | ホルンフェルス | 31 | 25 | 10 | 10.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,410.693 | -64,352.314 | 143.806 | | |
| 五代砂留 | K7-306 | 礫片 | 珪質頁岩 | 40 | 31 | 15 | 11.8 | 自然石? | 暗色帯 | 3 | 46,412.821 | -64,353.862 | 143.762 | | |
| 五代砂留 | K7-307 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 27 | 14 | 6.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,413.779 | -64,352.901 | 143.668 | | |
| 五代砂留 | K7-308 | 礫片 | 珪質頁岩 | 25 | 12 | 8 | 1.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,415.231 | -64,353.842 | 143.415 | | |
| 五代砂留 | K7-309 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 17 | 6 | 1.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,415.993 | -64,353.049 | 143.251 | | |
| 五代砂留 | K7-310 | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 20 | 22 | 19.0 | 被熟痕? | 暗色帯 | 3 | 46,415.598 | -64,351.769 | 143.165 | | |
| 五代砂留 | K7-311 | 剥片 | 黒色安山岩 | 44 | 38 | 29 | 38.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,414.364 | -64,352.046 | 143.460 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-312 | 剥片 | チャート | 51 | 65 | 22 | 63.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,413.368 | -64,351.435 | 143.535 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-313 | 剥片 | チャート | 28 | 29 | 8 | 5.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,413.997 | -64,350.886 | 143.651 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-314 | 剥片 | チャート | 27 | 19 | 5 | 2.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,414.285 | -64,350.903 | 143.579 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-315 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 36 | 25 | 16 | 11.2 | 自然石? | 暗色帯 | 3 | 46,414.589 | -64,350.891 | 143.576 | | |
| 五代砂留 | K7-316 | 石核 | 珪質頁岩 | 24 | 39 | 25 | 18.6 | 被熟? | 暗色帯 | 3 | 46,415.167 | -64,350.698 | 143.407 | | |
| 五代砂留 | K7-317 | 剥片 | チャート | 37 | 35 | 9 | 9.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,415.540 | -64,350.523 | 143.434 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-318 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 17 | 5 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,415.931 | -64,351.004 | 143.460 | | |
| 五代砂留 | K7-319 | 剥片 | チャート | 15 | 15 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,416.756 | -64,350.905 | 143.398 | | |
| 五代砂留 | K7-320 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 24 | 22 | 12 | 8.7 | 砥石 | 暗色帯 | 3 | 46,418.086 | -64,350.927 | 143.048 | | |
| 五代砂留 | K7-321 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 24 | 12 | 9 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,416.457 | -64,350.082 | 143.378 | | |
| 五代砂留 | K7-322 | 剥片 | チャート | 26 | 15 | 6 | 1.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,416.540 | -64,349.697 | 143.459 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-323 | 剥片 | チャート | 20 | 11 | 4 | 0.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,415.950 | -64,349.858 | 143.348 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-324 | 剥片 | チャート | 23 | 11 | 6 | 1.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,414.587 | -64,350.173 | 143.426 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-325 | 剥片 | チャート | 16 | 21 | 8 | 1.9 | | 暗色帯 | 3 | 46,414.687 | -64,349.565 | 143.678 | | |
| 五代砂留 | K7-326 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 32 | 12 | 3.7 | | 暗色帯 | 3 | 46,414.239 | -64,348.992 | 143.557 | | |
| 五代砂留 | K7-327 | 石核 | チャート | 38 | 72 | 83 | 380.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,413.552 | -64,349.847 | 143.555 | 119・126 | 41・45 |
| 五代砂留 | K7-328 | 台石 | ホルンフェルス | 133 | 123 | 55 | 1106.0 | 扁平円礫 | 暗色帯 | 3 | 46,413.350 | -64,349.757 | 143.557 | 121 | 42 |
| 五代砂留 | K7-329 | 剥片 | チャート | 43 | 22 | 15 | 13.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,413.277 | -64,350.008 | 143.717 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-330 | 剥片 | チャート | 41 | 49 | 12 | 21.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,412.915 | -64,350.088 | 143.604 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-331 | 砕片 | 珪質頁岩 | 7 | 6 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,388.210 | -64,329.099 | 145.656 | | |
| 五代砂留 | K7-332 | 自然石 | 泥岩 | 16 | 16 | 8 | 2.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.482 | -64,351.565 | 145.058 | | |
| 五代砂留 | K7-333 | 自然石 | 泥岩 | 12 | 7 | 5 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,385.462 | -64,351.551 | 145.058 | | |
| 五代砂留 | K7-334 | 砕片 | 黒色安山岩 | 13 | 5 | 3 | 0.2 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.152 | -64,351.386 | 145.018 | | |
| 五代砂留 | K7-335 | 石核 | 黒色安山岩 | 30 | 41 | 19 | 25.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.515 | -64,351.498 | 144.931 | 112 | 37 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|--------|---------|---------|-----|-----|----|--------|------------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 五代砂留 | K7-336 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 12 | 4 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.563 | -64,351.600 | 145.016 | | |
| 五代砂留 | K7-337 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 9 | 3 | 0.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.367 | -64,351.602 | 144.949 | | |
| 五代砂留 | K7-338 | 碎片 | 黒色安山岩 | 6 | 5 | 3 | 0.1 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.327 | -64,351.646 | 144.958 | | |
| 五代砂留 | K7-339 | 自然石 | 砂岩 | 17 | 12 | 10 | 2.5 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.738 | -64,352.046 | 144.930 | | |
| 五代砂留 | K7-340 | 自然石 | 黒色片岩 | 18 | 11 | 6 | 1.6 | | 暗色帯 | 3 | 46,387.860 | -64,356.794 | 145.281 | | 73 |
| 五代砂留 | K7-341 | 自然石 | 珪質頁岩 | 19 | 9 | 6 | 1.3 | 完形、小礫 | 暗色帯 | 3 | 46,395.442 | -64,355.668 | 144.891 | | |
| 五代砂留 | K7-342 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 20 | 17 | 6.0 | | 暗色帯 | 3 | 46,413.747 | -64,352.935 | 143.495 | 124 | 44 |
| 五代砂留 | K7-343 | 剥片 | チャート | 15 | 23 | 8 | 2.3 | | 暗色帯 | 3 | 46,413.548 | -64,349.812 | 143.522 | 126 | 45 |
| 五代砂留 | K7-344 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 13 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 3 | 46,386.152 | -64,351.409 | 144.960 | | |
| 五代砂留 | K7-345 | 自然石 | 珪質頁岩 | 18 | 12 | 6 | 1.2 | | なし | | | | | | |
| 五代砂留 | K7-346 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 9 | 8 | 5 | 0.4 | | なし | | | | | | |
| 五代砂留 | K7-347 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 14 | 7 | 3 | 0.3 | | なし | | | | | | |
| 芳賀東部 | I1 | 剥片 | 黒色頁岩 | 77 | 39 | 17 | 49.2 | | | 1 | 46,796.279 | -65,228.876 | 144.731 | 155 | 53 |
| 芳賀東部 | I2 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 20 | 8 | 5.5 | | | 1 | 46,797.420 | -65,226.596 | 144.970 | | |
| 芳賀東部 | I3 | 剥片 | 黒色頁岩 | 20 | 18 | 5 | 2.7 | | | 1 | 46,796.956 | -65,226.692 | 145.073 | | |
| 芳賀東部 | I4 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 21 | 5 | 2.4 | | | 1 | 46,795.882 | -65,226.861 | 144.883 | | |
| 芳賀東部 | I5 | 剥片 | 黒色頁岩 | 71 | 46 | 10 | 15.7 | | | 1 | 46,796.179 | -65,226.005 | 144.873 | 155 | 53 |
| 芳賀東部 | I6 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 30 | 12 | 11.5 | | | 1 | 46,794.243 | -65,226.263 | 144.811 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I7 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 26 | 10 | 5.4 | | | 1 | 46,794.049 | -65,226.677 | 144.325 | | |
| 芳賀東部 | I8 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 39 | 11 | 8.4 | | | 1 | 46,793.707 | -65,226.514 | 144.648 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I9 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 29 | 9 | 10.7 | | | 1 | 46,793.972 | -65,227.164 | 144.905 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I10 | 石刃 | 黒色頁岩 | 106 | 25 | 15 | 35.7 | | | 1 | 46,793.494 | -65,228.844 | 144.604 | 148 | 49 |
| 芳賀東部 | I11 | 剥片 | 黒色頁岩 | 54 | 35 | 15 | 20.5 | | | 1 | 46,784.888 | -65,210.669 | 144.650 | | |
| 芳賀東部 | I12 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 25 | 6 | 4.0 | | | 1 | 46,786.084 | -65,209.963 | 144.826 | | |
| 芳賀東部 | I13 | 剥片 | 黒色頁岩 | 62 | 36 | 17 | 34.5 | | | 1 | 46,785.571 | -65,208.984 | 144.758 | | |
| 芳賀東部 | I14 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 35 | 8 | 8.7 | | | 1 | 46,784.976 | -65,208.350 | 145.032 | | |
| 芳賀東部 | I15 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 40 | 7 | 9.8 | | | 1 | 46,782.539 | -65,207.637 | 144.813 | | |
| 芳賀東部 | I16 | 剥片 | 黒色頁岩 | 90 | 102 | 24 | 235.0 | | | 1 | 46,781.744 | -65,206.470 | 144.582 | 155 | 53 |
| 芳賀東部 | I17 | 石核 | 黒色安山岩 | 39 | 76 | 25 | 63.4 | | | 1 | 46,781.830 | -65,206.464 | 144.607 | 151 | 51 |
| 芳賀東部 | I18 | 剥片 | 黒色安山岩 | 80 | 52 | 21 | 56.9 | | | 1 | 46,782.052 | -65,206.286 | 144.616 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I19 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 71 | 25 | 66.6 | | | 1 | 46,782.022 | -65,206.255 | 144.609 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I20 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 218 | 167 | 77 | 2274.0 | 亜円礫 | | 1 | 46,797.101 | -65,225.382 | 145.189 | | |
| 芳賀東部 | I21 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 75 | 49 | 23 | 85.6 | 亜円礫 | | 1 | 46,796.634 | -65,225.701 | 145.105 | | |
| 芳賀東部 | I22 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 65 | 41 | 32 | 82.9 | | | 1 | 46,796.590 | -65,225.774 | 145.142 | | |
| 芳賀東部 | I23 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 163 | 144 | 69 | 1615.0 | 亜円礫 | | 1 | 46,796.634 | -65,225.844 | 145.089 | | |
| 芳賀東部 | I24 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 217 | 155 | 58 | 1396.0 | | | 1 | 46,796.371 | -65,225.692 | 145.154 | | |
| 芳賀東部 | I25 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 138 | 129 | 78 | 1470.0 | 亜角礫 | | 1 | 46,796.284 | -65,225.508 | 145.117 | | |
| 芳賀東部 | I26 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 114 | 80 | 41 | 426.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,795.193 | -65,225.878 | 145.016 | | |
| 芳賀東部 | I27 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 125 | 95 | 65 | 799.0 | 完形、全面赤化 | | 1 | 46,795.142 | -65,225.480 | 145.045 | | |
| 芳賀東部 | I28 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 177 | 104 | 56 | 760.0 | 一部赤化 | | 1 | 46,794.758 | -65,225.972 | 145.028 | | |
| 芳賀東部 | I29 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 181 | 172 | 49 | 1256.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,794.673 | -65,225.759 | 145.000 | | |
| 芳賀東部 | I30 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 94 | 78 | 40 | 253.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,794.602 | -65,225.983 | 145.031 | | |
| 芳賀東部 | I31 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 127 | 105 | 44 | 578.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,794.429 | -65,226.032 | 145.018 | | |
| 芳賀東部 | I32 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 86 | 76 | 36 | 197.6 | 全面赤化 | | 1 | 46,794.464 | -65,225.937 | 145.004 | | |
| 芳賀東部 | I33 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 120 | 64 | 48 | 269.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,794.495 | -65,225.807 | 145.009 | | |
| 芳賀東部 | I34 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 171 | 100 | 36 | 249.0 | | | 1 | 46,794.396 | -65,225.302 | 145.025 | | |
| 芳賀東部 | I35 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 74 | 76 | 25 | 103.7 | | | 1 | 46,794.259 | -65,225.222 | 145.045 | | |
| 芳賀東部 | I36 | 自然石 | 石英 | 35 | 31 | 16 | 23.5 | 結晶片岩付着 | | 1 | 46,798.049 | -65,225.684 | 144.669 | | |
| 芳賀東部 | I37 | 剥片 | 黒色頁岩 | 52 | 37 | 12 | 28.9 | | | 1 | 46,796.838 | -65,225.205 | 144.970 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I38 | ナイフ形石器 | 黒色頁岩 | 41 | 20 | 8 | 8.6 | | | 1 | 46,796.628 | -65,224.966 | 144.885 | 148 | 49 |
| 芳賀東部 | I39 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 43 | 11 | 13.6 | | | 1 | 46,796.923 | -65,224.483 | 145.192 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I40 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 31 | 6 | 4.5 | | | 1 | 46,796.613 | -65,224.582 | 144.913 | | |
| 芳賀東部 | I41 | 石核 | 黒色頁岩 | 56 | 45 | 16 | 48.8 | | | 1 | 46,796.278 | -65,224.765 | 144.911 | 151・154 | 51・53 |
| 芳賀東部 | I42 | 削器 | 黒色頁岩 | 75 | 57 | 23 | 99.3 | | | 1 | 46,796.183 | -65,225.377 | 144.864 | 148 | 49 |
| 芳賀東部 | I43 | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 21 | 10 | 3.9 | | | 1 | 46,795.836 | -65,225.850 | 144.872 | | |
| 芳賀東部 | I44 | ガジリ片 | 除外 | - | - | - | - | 146ガジリ片 | | 1 | なし | なし | なし | | |
| 芳賀東部 | I45 | ガジリ片 | 除外 | - | - | - | - | 146ガジリ片 | | 1 | なし | なし | なし | | |
| 芳賀東部 | I46 | 石刃 | 黒色頁岩 | 53 | 32 | 4 | 8.6 | 144・145が接合 | | 1 | 46,795.210 | -65,224.123 | 145.216 | | |
| 芳賀東部 | I47 | 剥片 | 黒色安山岩 | 50 | 31 | 16 | 29.0 | | | 1 | 46,793.525 | -65,225.469 | 144.984 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I48 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 25 | 5 | 1.8 | | | 1 | 46,793.437 | -65,225.496 | 144.886 | 154 | 53 |
| 芳賀東部 | I49 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 32 | 11 | 6.6 | | | 1 | 46,792.426 | -65,225.789 | 144.842 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I50 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 22 | 18 | 7 | 3.3 | | | 1 | 46,792.772 | -65,228.480 | 144.555 | | |
| 芳賀東部 | I51 | 石刃 | 黒色頁岩 | 59 | 51 | 11 | 41.7 | 微細剥離 | | 1 | 46,792.582 | -65,229.193 | 144.499 | 149 | 50 |
| 芳賀東部 | I52 | 剥片 | 黒色安山岩 | 50 | 49 | 12 | 22.7 | | | 1 | 46,785.271 | -65,205.137 | 144.901 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I53 | 石刃 | 黒色安山岩 | 64 | 38 | 10 | 26.1 | | | 1 | 46,784.871 | -65,204.475 | 144.840 | 149・153 | 49・52 |
| 芳賀東部 | I54 | 剥片 | 黒色頁岩 | 47 | 44 | 12 | 19.1 | | | 1 | 46,784.290 | -65,204.825 | 144.765 | 154 | 53 |
| 芳賀東部 | I55 | 剥片 | 黒色頁岩 | 21 | 42 | 6 | 6.8 | | | 1 | 46,783.971 | -65,205.595 | 144.860 | 154 | 53 |
| 芳賀東部 | I56 | 剥片 | 黒色安山岩 | 61 | 50 | 15 | 58.8 | | | 1 | 46,783.157 | -65,204.840 | 144.745 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I57 | 剥片 | 黒色安山岩 | 51 | 49 | 19 | 46.1 | | | 1 | 46,781.652 | -65,205.990 | 144.641 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I58 | 石核 | 黒色頁岩 | 59 | 42 | 18 | 54.6 | | | 1 | 46,790.956 | -65,223.546 | 144.693 | 152 | 51 |
| 芳賀東部 | I59 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 66 | 10 | 23.2 | | | 1 | 46,791.431 | -65,222.585 | 144.762 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I60 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 65 | 57 | 19 | 62.1 | | | 1 | 46,791.872 | -65,222.988 | 144.764 | 149 | 50 |
| 芳賀東部 | I61 | 削器 | 黒色頁岩 | 60 | 53 | 21 | 69.6 | | | 1 | 46,791.923 | -65,222.995 | 144.770 | 148 | 49 |
| 芳賀東部 | I62 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 62 | 65 | 60 | 70.6 | | | 1 | 46,792.365 | -65,223.268 | 144.779 | 149 | 49 |
| 芳賀東部 | I63 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 19 | 5 | 2.8 | | | 1 | 46,792.407 | -65,223.819 | 144.900 | | |
| 芳賀東部 | I64 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 16 | 3 | 1.1 | | | 1 | 46,792.694 | -65,222.358 | 144.907 | | |
| 芳賀東部 | I65 | 剥片 | 黒色安山岩 | 60 | 26 | 8 | 10.3 | | | 1 | 46,792.812 | -65,222.680 | 144.861 | | |
| 芳賀東部 | I66 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 26 | 4 | 3.6 | | | 1 | 46,792.662 | -65,222.966 | 144.839 | | |
| 芳賀東部 | I67 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 32 | 25 | 10 | 10.3 | | | 1 | 46,793.151 | -65,223.143 | 144.782 | | |
| 芳賀東部 | I68 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 17 | 3 | 1.1 | | | 1 | 46,793.131 | -65,223.788 | 144.934 | | |
| 芳賀東部 | I69 | 剥片 | 黒色安山岩 | 71 | 31 | 16 | 22.4 | | | 1 | 46,793.859 | -65,223.670 | 144.921 | 154 | 52 |

遺物一覽表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|------|---------|---------|-----|-----|-----|--------|------|------|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 芳賀東部 | I70 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 18 | 7 | 2.2 | | | 1 | 46,794.353 | -65,223.196 | 144.829 | | |
| 芳賀東部 | I71 | 剥片 | 玉髓 | 45 | 24 | 10 | 11.8 | 玉髓 | | 1 | 46,794.941 | -65,223.383 | 144.880 | 155 | 53 |
| 芳賀東部 | I72 | 石刃 | 黒色頁岩 | 94 | 41 | 18 | 72.9 | | | 1 | 46,794.724 | -65,222.807 | 144.924 | 150 | 50 |
| 芳賀東部 | I73 | 石刃 | 黒色頁岩 | 83 | 33 | 12 | 39.7 | | | 1 | 46,794.404 | -65,222.053 | 144.953 | 150 | 50 |
| 芳賀東部 | I74 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 18 | 6 | 2.7 | | | 1 | 46,794.918 | -65,221.507 | 144.929 | | |
| 芳賀東部 | I75 | 剥片 | 黒色頁岩 | 34 | 39 | 7 | 9.1 | | | 1 | 46,793.969 | -65,221.095 | 144.902 | 156 | 53 |
| 芳賀東部 | I76 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 70 | 54 | 19 | 68.6 | | | 1 | 46,793.950 | -65,220.907 | 144.872 | 149 | 50 |
| 芳賀東部 | I77 | 石刃 | 黒色安山岩 | 66 | 19 | 10 | 10.1 | 微細剥離 | | 1 | 46,793.234 | -65,221.041 | 144.866 | 149 | 50 |
| 芳賀東部 | I78 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 19 | 12 | 2.3 | | | 1 | 46,792.275 | -65,221.876 | 144.883 | | |
| 芳賀東部 | I79 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 17 | 6 | 3.0 | | | 1 | 46,791.877 | -65,221.827 | 144.832 | | |
| 芳賀東部 | I80 | 剥片 | 黒色安山岩 | 51 | 67 | 9 | 27.7 | | | 1 | 46,781.194 | -65,203.457 | 144.676 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I81 | 石核 | 黒色頁岩 | 69 | 54 | 34 | 111.0 | | | 1 | 46,790.909 | -65,223.485 | 144.668 | 151 | 51 |
| 芳賀東部 | I82 | 石刃 | 黒色頁岩 | 85 | 33 | 15 | 52.0 | | | 1 | 46,794.355 | -65,222.181 | 144.894 | 150 | 51 |
| 芳賀東部 | I83 | 台石 | 粗粒輝石安山岩 | 254 | 136 | 101 | 4845.0 | 亜円礫 | | 1 | 46,794.434 | -65,222.611 | 144.846 | | |
| 芳賀東部 | I84 | 石核 | 黒色頁岩 | 116 | 134 | 108 | 2343.0 | | | 1 | 46,794.699 | -65,221.676 | 144.877 | 152・156 | 52・53 |
| 芳賀東部 | I85 | 石刃 | 黒色頁岩 | 65 | 42 | 15 | 61.3 | | | 1 | 46,796.132 | -65,221.255 | 145.006 | 150 | 50 |
| 芳賀東部 | I86 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 12 | 3 | 0.5 | | | 1 | 46,794.158 | -65,222.364 | 144.818 | | |
| 芳賀東部 | I87 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 18 | 6 | 1.7 | | | 1 | 46,794.648 | -65,222.385 | 144.822 | | |
| 芳賀東部 | I88 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 27 | 8 | 4.0 | | | 1 | 46,793.604 | -65,221.225 | 144.721 | | |
| 芳賀東部 | I89 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 33 | 11 | 16.2 | | | 1 | 46,789.728 | -65,219.591 | 144.715 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I90 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 126 | 100 | 67 | 935.0 | 磨耗痕? | | 1 | 46,793.076 | -65,220.005 | 144.860 | | |
| 芳賀東部 | I91 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 208 | 147 | 145 | 5635.0 | 亜角礫 | | 1 | 46,790.034 | -65,219.194 | 144.677 | | |
| 芳賀東部 | I92 | 剥片 | 黒色安山岩 | 44 | 51 | 18 | 40.8 | | | 1 | 46,791.974 | -65,218.972 | 144.823 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I93 | 石核 | 黒色安山岩 | 73 | 62 | 31 | 183.4 | | | 1 | 46,789.480 | -65,220.402 | 144.637 | 151 | 51 |
| 芳賀東部 | I94 | 石刃 | 黒色頁岩 | 42 | 19 | 14 | 11.7 | | | 1 | 46,792.422 | -65,220.376 | 144.837 | 148 | 49 |
| 芳賀東部 | I95 | 石刃 | 黒色頁岩 | 86 | 37 | 11 | 33.2 | | | 1 | 46,791.867 | -65,220.365 | 144.817 | 150 | 51 |
| 芳賀東部 | I96 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 24 | 5 | 2.4 | | | 1 | 46,788.842 | -65,217.869 | 144.723 | | |
| 芳賀東部 | I97 | 石核 | 黒色安山岩 | 33 | 42 | 25 | 39.9 | | | 1 | 46,789.088 | -65,218.669 | 144.688 | 152 | 51 |
| 芳賀東部 | I98 | 剥片 | 黒色安山岩 | 52 | 35 | 25 | 44.5 | | | 1 | 46,790.620 | -65,218.656 | 144.804 | | |
| 芳賀東部 | I99 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 34 | 12 | 19.3 | | | 1 | 46,790.618 | -65,218.652 | 144.754 | 154 | 52 |
| 芳賀東部 | I100 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 35 | 9 | 10.9 | | | 1 | 46,788.760 | -65,219.195 | 144.636 | | |
| 芳賀東部 | I101 | 剥片 | 黒色安山岩 | 61 | 44 | 11 | 30.6 | | | 1 | 46,789.749 | -65,217.882 | 144.621 | 153 | 52 |
| 芳賀東部 | I102 | 削器 | 黒色頁岩 | 92 | 70 | 26 | 170.4 | | | 1 | 46,786.714 | -65,215.317 | 144.596 | 148 | 49 |
| 芳賀東部 | B1b | 剥片 | 黒曜石 | 15 | 18 | 4 | 0.9 | | | 2 | 46,571.717 | -64,698.579 | 145.986 | | |
| 芳賀東部 | B2b | 自然石 | 雲母石英片岩 | 25 | 23 | 15 | 14.4 | | | 2 | 46,573.065 | -64,696.864 | 146.012 | | 73 |
| 芳賀東部 | B1c | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 42 | 10 | 16.8 | | | 2 | 46,563.480 | -64,699.100 | 145.351 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B2c | 石刃 | 黒色頁岩 | 100 | 29 | 11 | 26.9 | | | 2 | 46,561.912 | -64,699.442 | 145.325 | 162 | 54 |
| 芳賀東部 | B1 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 18 | 8 | 2.8 | | V中 | 2 | 46,540.759 | -64,639.815 | 146.078 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B2 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 42 | 5 | 4.1 | | V上 | 2 | 46,540.979 | -64,641.226 | 146.093 | | |
| 芳賀東部 | B3 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 21 | 6 | 1.8 | | V上 | 2 | 46,540.570 | -64,639.569 | 146.037 | | |
| 芳賀東部 | B4 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 19 | 2 | 0.5 | | V中 | 2 | 46,542.509 | -64,640.574 | 146.139 | | |
| 芳賀東部 | B5 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 23 | 10 | 5.7 | | V下 | 2 | 46,542.339 | -64,640.174 | 146.089 | | |
| 芳賀東部 | B6 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 18 | 10 | 3.6 | | V中 | 2 | 46,542.512 | -64,640.047 | 146.141 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B7 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 19 | 7 | 3.7 | | V中 | 2 | 46,543.032 | -64,640.182 | 146.114 | | |
| 芳賀東部 | B8 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 11 | 7 | 1.7 | | V中 | 2 | 46,543.276 | -64,640.024 | 146.119 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B9 | 剥片 | 黒色安山岩 | 47 | 29 | 13 | 17.9 | | V下 | 2 | 46,543.111 | -64,639.615 | 146.056 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B10 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 21 | 6 | 1.7 | | V中 | 2 | 46,543.279 | -64,639.405 | 146.098 | | |
| 芳賀東部 | B11 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 31 | 9 | 10.4 | | V中 | 2 | 46,543.553 | -64,638.667 | 146.096 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B12 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 32 | 26 | 10 | 10.3 | | V上 | 2 | 46,542.010 | -64,636.093 | 146.258 | | |
| 芳賀東部 | B13 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 24 | 8 | 4.5 | | V上 | 2 | 46,542.607 | -64,637.535 | 146.314 | | |
| 芳賀東部 | B14 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 32 | 4 | 3.4 | | V中 | 2 | 46,543.565 | -64,637.881 | 146.271 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B15 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 31 | 14 | 7.8 | | V下 | 2 | 46,544.304 | -64,638.031 | 146.236 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B16 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 17 | 2 | 0.9 | | VI | 2 | 46,544.571 | -64,637.875 | 146.147 | | |
| 芳賀東部 | B17 | 剥片 | 黒色安山岩 | 53 | 25 | 10 | 12.0 | | V下 | 2 | 46,544.710 | -64,637.987 | 146.216 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B18 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 18 | 4 | 1.6 | | VI | 2 | 46,545.081 | -64,638.040 | 146.147 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B19 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 27 | 5 | 3.4 | | VI | 2 | 46,544.357 | -64,638.609 | 146.122 | | |
| 芳賀東部 | B20 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 19 | 5 | 1.7 | | VI | 2 | 46,544.537 | -64,638.487 | 146.106 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B21 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 8 | 5 | 0.7 | | V下 | 2 | 46,544.423 | -64,639.180 | 146.193 | | |
| 芳賀東部 | B22 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 16 | 2 | 0.7 | | VI | 2 | 46,544.812 | -64,639.030 | 146.141 | | |
| 芳賀東部 | B23 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 20 | 6 | 2.8 | | V上 | 2 | 46,545.462 | -64,640.365 | 146.203 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B24 | 碎片 | 黒色安山岩 | 9 | 9 | 2 | 0.2 | | VI | 2 | 46,541.053 | -64,641.061 | 145.887 | | |
| 芳賀東部 | B25 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 20 | 7 | 2.0 | | V下 | 2 | 46,541.292 | -64,641.363 | 145.960 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B26 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 29 | 10 | 8.2 | | VII上 | 2 | 46,541.765 | -64,641.182 | 145.727 | | |
| 芳賀東部 | B27 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 15 | 2 | 0.5 | | VI | 2 | 46,541.996 | -64,641.266 | 145.974 | | |
| 芳賀東部 | B28 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 7 | 1 | 0.1 | | VII上 | 2 | 46,543.197 | -64,641.258 | 145.844 | | |
| 芳賀東部 | B29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 18 | 9 | 3.2 | | VI | 2 | 46,542.665 | -64,640.822 | 145.987 | | |
| 芳賀東部 | B30 | 剥片 | 黒色頁岩 | 44 | 26 | 10 | 11.3 | | VII上 | 2 | 46,542.462 | -64,640.751 | 145.953 | | |
| 芳賀東部 | B31 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 13 | 10 | 5.4 | | V下 | 2 | 46,542.376 | -64,640.630 | 146.022 | | |
| 芳賀東部 | B32 | 碎片 | 黒色安山岩 | 15 | 9 | 3 | 0.4 | | VII上 | 2 | 46,542.246 | -64,640.649 | 145.886 | | |
| 芳賀東部 | B33 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 22 | 5 | 4.7 | | VII上 | 2 | 46,541.797 | -64,640.562 | 145.835 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B34 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 16 | 6 | 1.8 | | VII上 | 2 | 46,541.685 | -64,640.129 | 145.790 | | |
| 芳賀東部 | B35 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 16 | 2 | 0.3 | | VII中 | 2 | 46,541.906 | -64,639.767 | 145.729 | | |
| 芳賀東部 | B36 | 碎片 | 黒色安山岩 | 16 | 11 | 3 | 0.6 | | VII上 | 2 | 46,541.995 | -64,639.798 | 145.849 | | |
| 芳賀東部 | B37 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 55 | 11 | 18.2 | | VI | 2 | 46,542.041 | -64,639.467 | 146.034 | | |
| 芳賀東部 | B38 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 12 | 1 | 0.2 | | VII中 | 2 | 46,542.180 | -64,639.050 | 145.758 | | |
| 芳賀東部 | B39 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 18 | 2 | 0.6 | | VI | 2 | 46,541.895 | -64,638.796 | 146.010 | | |
| 芳賀東部 | B40 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 17 | 5 | 1.4 | | VII上 | 2 | 46,540.386 | -64,639.715 | 145.734 | | |
| 芳賀東部 | B41 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 23 | 5 | 2.8 | | VII中 | 2 | 46,541.089 | -64,638.508 | 145.728 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B42 | 碎片 | 黒色安山岩 | 15 | 12 | 3 | 0.7 | | VII上 | 2 | 46,542.713 | -64,638.500 | 145.894 | | |
| 芳賀東部 | B43 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 21 | 12 | 10.2 | | VII上 | 2 | 46,542.566 | -64,638.781 | 145.809 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B44 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 16 | 3 | 0.9 | | VII上 | 2 | 46,542.500 | -64,639.011 | 145.904 | 164 | 56 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|------|---------|---------|----|----|----|------|---------|------|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 芳賀東部 | B45 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 12 | 2 | 0.7 | | VII上 | 2 | 46,542.290 | -64,640.422 | 145.971 | | |
| 芳賀東部 | B46 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 9 | 4 | 0.7 | | VII中 | 2 | 46,543.199 | -64,640.440 | 145.750 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B47 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 27 | 6 | 4.4 | | VII上 | 2 | 46,542.790 | -64,640.145 | 145.835 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B48 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 10 | 5 | 1.0 | | VII上 | 2 | 46,542.933 | -64,639.803 | 145.937 | | |
| 芳賀東部 | B49 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 27 | 5 | 2.6 | | VII上 | 2 | 46,543.108 | -64,639.984 | 145.901 | | |
| 芳賀東部 | B50 | 剥片 | 黒色安山岩 | 70 | 58 | 10 | 40.5 | | VII上 | 2 | 46,543.191 | -64,639.792 | 145.821 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B51 | 剥片 | 黒色頁岩 | 36 | 19 | 8 | 4.8 | | VI | 2 | 46,543.375 | -64,640.021 | 146.016 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B52 | 碎片 | 黒色安山岩 | 15 | 8 | 3 | 0.4 | | VII上 | 2 | 46,543.578 | -64,639.916 | 145.860 | | |
| 芳賀東部 | B53 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 19 | 8 | 3.3 | | VII上 | 2 | 46,543.689 | -64,639.931 | 145.913 | | |
| 芳賀東部 | B54 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 41 | 12 | 14.4 | | VII上 | 2 | 46,543.676 | -64,639.556 | 145.946 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B55 | 碎片 | 黒色安山岩 | 12 | 6 | 1 | 0.1 | | VII中 | 2 | 46,543.880 | -64,639.313 | 145.754 | | |
| 芳賀東部 | B56 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 30 | 8 | 6.0 | | VII上 | 2 | 46,542.821 | -64,639.483 | 145.996 | | |
| 芳賀東部 | B57 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 16 | 9 | 3.0 | | VII上 | 2 | 46,542.782 | -64,639.418 | 145.923 | | |
| 芳賀東部 | B58 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 20 | 5 | 1.6 | | VII中 | 2 | 46,543.122 | -64,639.022 | 145.820 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B59 | 碎片 | 黒色安山岩 | 4 | 10 | 1 | 0.1 | | VII中 | 2 | 46,543.392 | -64,638.960 | 145.918 | | |
| 芳賀東部 | B60 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 16 | 50 | 1.1 | | VII上 | 2 | 46,543.484 | -64,638.805 | 145.939 | | |
| 芳賀東部 | B61 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 18 | 6 | 1.4 | | VII上 | 2 | 46,543.539 | -64,638.616 | 145.972 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B62 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 34 | 7 | 6.8 | | V下 | 2 | 46,543.173 | -64,637.202 | 146.100 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B63 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 33 | 7 | 4.8 | | VI | 2 | 46,544.137 | -64,637.385 | 146.017 | | |
| 芳賀東部 | B64 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 16 | 3 | 0.4 | | VII上 | 2 | 46,544.157 | -64,637.636 | 145.917 | | |
| 芳賀東部 | B65 | 石核 | 黒色安山岩 | 52 | 40 | 14 | 35.0 | | VII上 | 2 | 46,544.282 | -64,637.684 | 145.951 | 163・166 | 55・56 |
| 芳賀東部 | B66 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 44 | 71 | 20 | 72.3 | | VII上 | 2 | 46,544.555 | -64,637.571 | 145.967 | 161 | 54 |
| 芳賀東部 | B67 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 19 | 4 | 1.7 | | VII上 | 2 | 46,544.567 | -64,637.413 | 145.965 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B68 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 7 | 1 | 0.1 | | VII上 | 2 | 46,544.850 | -64,636.927 | 145.951 | | |
| 芳賀東部 | B69 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 37 | 7 | 6.5 | | VI | 2 | 46,545.567 | -64,636.968 | 146.077 | | |
| 芳賀東部 | B70 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 26 | 5 | 3.6 | | VII上 | 2 | 46,545.049 | -64,637.763 | 146.075 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B71 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 11 | 1 | 0.1 | | VII中 | 2 | 46,544.900 | -64,637.732 | 145.896 | | |
| 芳賀東部 | B72 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 24 | 6 | 3.4 | | VI | 2 | 46,544.562 | -64,637.883 | 146.146 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B73 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 21 | 6 | 3.5 | | VII上 | 2 | 46,544.827 | -64,638.022 | 146.048 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B74 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 35 | 8 | 9.3 | | VII上 | 2 | 46,545.023 | -64,637.962 | 146.043 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B75 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 19 | 9 | 2.2 | | VII上 | 2 | 46,544.970 | -64,638.082 | 145.938 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B76 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 24 | 11 | 6.0 | | VII上 | 2 | 46,544.794 | -64,638.144 | 145.981 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B77 | 碎片 | 黒色安山岩 | 6 | 11 | 6 | 0.7 | | VII中 | 2 | 46,545.171 | -64,638.147 | 145.927 | | |
| 芳賀東部 | B78 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 45 | 12 | 16.3 | | VII上 | 2 | 46,545.282 | -64,638.355 | 146.013 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B79 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 39 | 13 | 13.1 | | VII上 | 2 | 46,545.112 | -64,638.160 | 145.934 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B80 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 17 | 4 | 0.8 | | VII中 | 2 | 46,545.547 | -64,638.599 | 145.928 | | |
| 芳賀東部 | B81 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 9 | 1 | 0.2 | | VII上 | 2 | 46,545.986 | -64,638.626 | 146.045 | | |
| 芳賀東部 | B82 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 8 | 4 | 0.4 | | VII上 | 2 | 46,545.950 | -64,638.914 | 146.028 | | |
| 芳賀東部 | B83 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 7 | 1 | 0.1 | | VII中 | 2 | 46,545.460 | -64,638.971 | 145.782 | | |
| 芳賀東部 | B84 | 剥片 | 黒色安山岩 | 50 | 35 | 16 | 18.7 | | VI | 2 | 46,544.900 | -64,638.392 | 146.021 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B85 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 19 | 1 | 0.5 | | VII中 | 2 | 46,545.010 | -64,638.442 | 145.868 | | |
| 芳賀東部 | B86 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 55 | 17 | 29.2 | | VI | 2 | 46,544.920 | -64,638.544 | 146.024 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B87 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 46 | 12 | 12.1 | | VII上 | 2 | 46,544.791 | -64,638.652 | 145.910 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B88 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 22 | 2 | 0.9 | | VII中 | 2 | 46,544.696 | -64,638.646 | 145.947 | | |
| 芳賀東部 | B89 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 23 | 9 | 4.7 | | VII中 | 2 | 46,544.587 | -64,638.734 | 145.879 | | |
| 芳賀東部 | B90 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 13 | 2 | 0.5 | | VII中 | 2 | 46,544.859 | -64,638.657 | 145.813 | | |
| 芳賀東部 | B91 | 剥片 | 黒色安山岩 | 62 | 26 | 13 | 17.8 | | VI | 2 | 46,545.003 | -64,638.790 | 146.062 | 164 | 56 |
| 芳賀東部 | B92 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 22 | 12 | 5.8 | | VI | 2 | 46,545.233 | -64,638.897 | 146.073 | | |
| 芳賀東部 | B93 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 25 | 4 | 1.8 | | VI | 2 | 46,544.914 | -64,639.459 | 146.066 | | |
| 芳賀東部 | B94 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 10 | 2 | 0.2 | | VII上 | 2 | 46,544.535 | -64,640.120 | 145.871 | | |
| 芳賀東部 | B95 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 10 | 4 | 1.4 | | VII上 | 2 | 46,544.324 | -64,639.622 | 146.023 | | |
| 芳賀東部 | B96 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 19 | 4 | 2.4 | | VII上 | 2 | 46,544.242 | -64,639.563 | 146.028 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B97 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 42 | 7 | 9.9 | | VII上 | 2 | 46,544.301 | -64,639.080 | 146.081 | | |
| 芳賀東部 | B98 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 23 | 9 | 8.3 | | VII上 | 2 | 46,544.154 | -64,639.147 | 145.871 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B99 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 12 | 2 | 0.4 | | VII上 | 2 | 46,544.029 | -64,639.151 | 145.922 | | |
| 芳賀東部 | B100 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 50 | 13 | 13.9 | | VII上 | 2 | 46,544.103 | -64,638.941 | 145.937 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B101 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 15 | 3 | 0.5 | | VII上 | 2 | 46,544.097 | -64,638.849 | 145.897 | | |
| 芳賀東部 | B102 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 16 | 3 | 0.9 | | VII中 | 2 | 46,543.908 | -64,638.935 | 145.850 | | |
| 芳賀東部 | B103 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 22 | 6 | 1.8 | | VII上 | 2 | 46,544.000 | -64,638.667 | 145.957 | | |
| 芳賀東部 | B104 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 28 | 8 | 3.6 | | VI | 2 | 46,544.131 | -64,638.493 | 146.071 | | |
| 芳賀東部 | B105 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 21 | 8 | 3.6 | | VII上 | 2 | 46,544.267 | -64,638.557 | 145.925 | | |
| 芳賀東部 | B106 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 9 | 2 | 0.2 | | VII上 | 2 | 46,544.336 | -64,638.514 | 145.967 | | |
| 芳賀東部 | B107 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 20 | 5 | 1.9 | | VII上 | 2 | 46,544.423 | -64,638.519 | 145.971 | | |
| 芳賀東部 | B108 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 10 | 5 | 0.7 | | VI | 2 | 46,544.189 | -64,638.304 | 146.115 | | |
| 芳賀東部 | B109 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 26 | 9 | 4.6 | | VI | 2 | 46,544.178 | -64,638.184 | 146.022 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B110 | 石核 | 黒色安山岩 | 20 | 22 | 11 | 5.6 | | VII上 | 2 | 46,544.390 | -64,638.241 | 146.032 | 163・166 | 55・56 |
| 芳賀東部 | B111 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 22 | 6 | 2.2 | | VII中 | 2 | 46,544.504 | -64,638.272 | 145.911 | | |
| 芳賀東部 | B112 | 剥片 | 黒色頁岩 | 42 | 57 | 17 | 31.7 | | VII上 | 2 | 46,546.519 | -64,641.114 | 145.778 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B113 | 敲石 | 細粒輝石安山岩 | 34 | 54 | 31 | 73.8 | | VII上 | 2 | 46,531.713 | -64,641.135 | 145.292 | 163 | 55 |
| 芳賀東部 | B114 | ナイフ形石器 | 黒色頁岩 | 47 | 18 | 5 | 5.8 | | VII上 | 2 | 46,530.662 | -64,639.765 | 145.273 | 161 | 54 |
| 芳賀東部 | B115 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 64 | 25 | 34.1 | | VII上 | 2 | 46,530.436 | -64,638.988 | 145.279 | 161・167 | 54・57 |
| 芳賀東部 | B116 | 使用痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 31 | 33 | 11 | 14.7 | | VII上 | 2 | 46,528.984 | -64,639.226 | 145.423 | 162・167 | 54・57 |
| 芳賀東部 | B117 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 17 | 10 | 6.2 | | VII上 | 2 | 46,529.388 | -64,638.563 | 145.347 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B118 | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 60 | 20 | 40.1 | | VII上 | 2 | 46,529.104 | -64,638.054 | 145.283 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B119 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 50 | 12 | 13.0 | | VII上 | 2 | 46,529.740 | -64,638.455 | 145.334 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B120 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 44 | 8 | 8.9 | | V下 | 2 | 46,527.803 | -64,638.823 | 145.401 | | |
| 芳賀東部 | B121 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 20 | 10 | 3.1 | | V上 | 2 | 46,528.757 | -64,637.736 | 145.667 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B122 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 45 | 8 | 8.6 | | VII上 | 2 | 46,528.859 | -64,637.909 | 145.299 | | |
| 芳賀東部 | B123 | 敲石 | 細粒輝石安山岩 | 46 | 40 | 25 | 69.6 | B113の破片 | VII上 | 2 | 46,528.519 | -64,637.355 | 145.406 | | |
| 芳賀東部 | B124 | 石核 | 黒色頁岩 | 50 | 55 | 34 | 81.3 | | VII上 | 2 | 46,529.045 | -64,637.444 | 145.380 | 162・167 | 55・57 |
| 芳賀東部 | B125 | 石核 | 黒色頁岩 | 46 | 50 | 25 | 69.8 | | VII上 | 2 | 46,529.389 | -64,637.519 | 145.348 | 162・167 | 55・57 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|------|---------|-------|----|----|----|-------|-------|------|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 芳賀東部 | B126 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 13 | 6 | 1.7 | | VII上 | 2 | 46,528.853 | -64,637.154 | 145.452 | | |
| 芳賀東部 | B127 | 剥片 | 碧玉 | 45 | 39 | 7 | 13.6 | | VII上 | 2 | 46,528.968 | -64,636.482 | 145.399 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B128 | 剥片 | 黒色頁岩 | 44 | 28 | 12 | 11.1 | | V下 | 2 | 46,527.311 | -64,636.997 | 145.525 | | |
| 芳賀東部 | B129 | ナイフ形石器 | 碧玉 | 35 | 17 | 6 | 4.9 | | V上 | 2 | 46,527.160 | -64,637.487 | 145.614 | 161 | 54 |
| 芳賀東部 | B130 | 剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 21 | 11 | 6.6 | | V上 | 2 | 46,531.352 | -64,637.588 | 145.735 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B131 | 加工痕ある剥片 | 黒曜石 | 25 | 23 | 6 | 2.4 | 微細剥離有 | V上 | 2 | 46,538.912 | -64,636.836 | 146.113 | 161 | 54 |
| 芳賀東部 | B132 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 14 | 4 | 1.0 | | VII上 | 2 | 46,537.733 | -64,643.700 | 145.533 | | |
| 芳賀東部 | B133 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 20 | 5 | 1.7 | | VII上 | 2 | 46,537.280 | -64,644.028 | 145.523 | | |
| 芳賀東部 | B134 | 剥片 | 黒色頁岩 | 31 | 34 | 3 | 3.5 | | VII上 | 2 | 46,536.900 | -64,644.085 | 145.512 | | |
| 芳賀東部 | B135 | ナイフ形石器 | 黒色頁岩 | 41 | 13 | 5 | 3.8 | | VII上 | 2 | 46,536.182 | -64,644.303 | 145.280 | 161 | 54 |
| 芳賀東部 | B136 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 26 | 8 | 4.1 | | V下 | 2 | 46,543.071 | -64,623.350 | 146.603 | | |
| 芳賀東部 | B137 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 14 | 3 | 0.7 | | VI | 2 | 46,542.151 | -64,623.487 | 146.470 | | |
| 芳賀東部 | B138 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 42 | 10 | 16.5 | | VII上 | 2 | 46,541.955 | -64,623.040 | 146.391 | | |
| 芳賀東部 | B139 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 22 | 8 | 3.6 | | VII上 | 2 | 46,542.623 | -64,623.483 | 146.304 | | |
| 芳賀東部 | B140 | 石核 | 黒色安山岩 | 33 | 68 | 18 | 45.7 | | VII上 | 2 | 46,535.137 | -64,621.507 | 146.271 | 163 | 55 |
| 芳賀東部 | B141 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 15 | 2 | 0.4 | | VII上 | 2 | 46,526.983 | -64,623.139 | 145.850 | | |
| 芳賀東部 | B142 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 24 | 13 | 6.7 | | V上 | 2 | 46,527.469 | -64,622.087 | 146.151 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B143 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 21 | 5 | 1.5 | | VI | 2 | 46,527.350 | -64,621.485 | 146.050 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B144 | 局部磨製石斧 | 変玄武岩 | 47 | 29 | 6 | 13.6 | 刃部破片 | VI | 2 | 46,525.313 | -64,621.101 | 146.015 | 162 | 54 |
| 芳賀東部 | B145 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 14 | 7 | 3.4 | | V下 | 2 | 46,542.000 | -64,626.015 | 146.638 | | |
| 芳賀東部 | B146 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 27 | 10 | 4.9 | | VII上 | 2 | 46,534.751 | -64,618.135 | 146.394 | | |
| 芳賀東部 | B147 | 剥片 | 黒曜石 | 18 | 12 | 4 | 0.9 | | VII中 | 2 | 46,534.680 | -64,617.623 | 146.189 | | |
| 芳賀東部 | B148 | 使用痕ある剥片 | 黒曜石 | 37 | 20 | 8 | 5.6 | | V下 | 2 | 46,533.381 | -64,620.729 | 146.405 | 161 | 54 |
| 芳賀東部 | B149 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 35 | 6 | 6.0 | | VI | 2 | 46,536.639 | -64,633.048 | 145.971 | | |
| 芳賀東部 | B150 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 24 | 6 | 7.5 | | VII上 | 2 | 46,524.821 | -64,625.919 | 145.653 | | |
| 芳賀東部 | B151 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 20 | 1 | 0.2 | | VII上 | 2 | 46,524.222 | -64,628.360 | 145.530 | | |
| 芳賀東部 | B152 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 19 | 4 | 1.7 | | VII上 | 2 | 46,523.811 | -64,628.944 | 145.761 | | |
| 芳賀東部 | B153 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 26 | 4 | 1.5 | | V下 | 2 | 46,522.930 | -64,628.585 | 145.675 | | |
| 芳賀東部 | B154 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 21 | 4 | 1.1 | | V上 | 2 | 46,522.629 | -64,628.632 | 145.840 | | |
| 芳賀東部 | B155 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 36 | 8 | 5.7 | | V下 | 2 | 46,522.127 | -64,627.660 | 145.264 | | |
| 芳賀東部 | B156 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 17 | 3 | 0.7 | | VI | 2 | 46,521.750 | -64,627.243 | 145.448 | | |
| 芳賀東部 | B157 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 56 | 10 | 21.5 | 石核? | VI | 2 | 46,521.614 | -64,627.278 | 145.487 | | |
| 芳賀東部 | B158 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 10 | 5 | 0.8 | | VII上 | 2 | 46,521.574 | -64,627.648 | 145.362 | | |
| 芳賀東部 | B159 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 56 | 13 | 22.2 | | VII上 | 2 | 46,521.344 | -64,626.580 | 145.462 | | |
| 芳賀東部 | B160 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 15 | 4 | 0.7 | | V下 | 2 | 46,521.123 | -64,627.672 | 145.604 | | |
| 芳賀東部 | B161 | 剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 36 | 11 | 10.2 | | VII上 | 2 | 46,526.581 | -64,637.949 | 145.136 | | |
| 芳賀東部 | B162 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 25 | 5 | 4.6 | | VII上 | 2 | 46,537.820 | -64,624.832 | 146.210 | | |
| 芳賀東部 | B163 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 10 | 1 | 0.1 | | VI | 2 | 46,522.380 | -64,627.973 | 145.545 | | |
| 芳賀東部 | B164 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 7 | 2 | 0.2 | | VII下 | 2 | 46,522.128 | -64,627.633 | 145.279 | | |
| 芳賀東部 | B165 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 30 | 3 | 1.4 | | VI | 2 | 46,543.288 | -64,642.199 | 145.865 | | |
| 芳賀東部 | B166 | 碎片 | 黒色安山岩 | 7 | 14 | 4 | 0.4 | | V上 | 2 | 46,520.306 | -64,626.254 | 145.727 | | |
| 芳賀東部 | B167 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 14 | 4 | 1.6 | | V上 | 2 | 46,524.302 | -64,623.020 | 145.971 | | |
| 芳賀東部 | B168 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 14 | 11 | 3.5 | | V上 | 2 | 46,523.897 | -64,622.564 | 145.995 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B169 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 23 | 12 | 6.6 | | V下 | 2 | 46,524.460 | -64,621.609 | 146.009 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B170 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 26 | 12 | 6.7 | | V上 | 2 | 46,526.844 | -64,617.483 | 146.334 | | |
| 芳賀東部 | B171 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 21 | 12 | 6 | 0.9 | 台形様 | VII上 | 2 | 46,534.086 | -64,619.863 | 146.221 | 161 | 54 |
| 芳賀東部 | B172 | 石核 | 黒色安山岩 | 43 | 59 | 22 | 64.5 | | VII上 | 2 | 46,529.340 | -64,622.737 | 145.934 | 162・166 | 55・56 |
| 芳賀東部 | B173 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 24 | 6 | 3.0 | | V下 | 2 | 46,528.668 | -64,620.873 | 146.248 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B174 | 剥片 | 黒曜石 | 47 | 24 | 5 | 5.4 | ガジリ有 | VI | 2 | 46,529.309 | -64,619.474 | 146.173 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B175 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 62 | 7 | 20.7 | | VII上 | 2 | 46,528.451 | -64,618.100 | 146.055 | | |
| 芳賀東部 | B176 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 22 | 4 | 1.3 | | VII上 | 2 | 46,529.013 | -64,616.516 | 146.135 | | |
| 芳賀東部 | B177 | 石核 | 黒色頁岩 | 62 | 84 | 40 | 245.0 | | VII上 | 2 | 46,523.334 | -64,622.612 | 145.654 | 163 | 55 |
| 芳賀東部 | B178 | 碎片 | 黒色安山岩 | 14 | 10 | 5 | 0.6 | | VII上 | 2 | 46,524.958 | -64,619.213 | 145.781 | | |
| 芳賀東部 | B179 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 44 | 7 | 12.6 | | VI | 2 | 46,523.143 | -64,619.280 | 145.800 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B180 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 16 | 6 | 2.9 | | V下 | 2 | 46,527.123 | -64,619.711 | 146.138 | | |
| 芳賀東部 | B181 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 25 | 4 | 1.2 | | V下 | 2 | 46,526.874 | -64,618.301 | 146.174 | | |
| 芳賀東部 | B182 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 14 | 1 | 0.2 | | V下 | 2 | 46,520.296 | -64,627.997 | 145.525 | | |
| 芳賀東部 | B183 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 21 | 6 | 2.6 | | VI | 2 | 46,537.627 | -64,632.244 | 146.002 | | |
| 芳賀東部 | B184 | 彫器 | 黒曜石 | 29 | 52 | 8 | 11.3 | | VI | 2 | 46,548.312 | -64,642.234 | 146.358 | 161 | 54 |
| 芳賀東部 | B185 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 17 | 9 | 3.6 | | VI | 2 | 46,544.865 | -64,641.977 | 146.285 | | |
| 芳賀東部 | B186 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 38 | 9 | 8.2 | | VII下 | 2 | 46,547.605 | -64,643.663 | 145.780 | | |
| 芳賀東部 | B187 | 剥片 | 黒色頁岩 | 20 | 21 | 5 | 2.8 | | VII中 | 2 | 46,545.284 | -64,638.352 | 145.992 | 167 | 57 |
| 芳賀東部 | B188 | 碎片 | 黒色安山岩 | 17 | 6 | 4 | 0.4 | | VII中 | 2 | 46,543.146 | -64,640.387 | 145.688 | | |
| 芳賀東部 | B189 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 15 | 3 | 1.0 | | VII上 | 2 | 46,529.115 | -64,637.472 | 145.267 | | |
| 芳賀東部 | B190 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 3 | 1 | 0.1 | | VII上 | 2 | 46,545.198 | -64,638.847 | 145.905 | | |
| 芳賀東部 | B191 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 21 | 11 | 5.7 | | VI | 2 | 46,544.415 | -64,639.200 | 146.107 | | |
| 芳賀東部 | B192 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 10 | 1 | 0.1 | | VI | 2 | 46,543.000 | -64,640.232 | 145.978 | | |
| 芳賀東部 | B193 | 剥片 | 黒色安山岩 | 17 | 8 | 6 | 1.2 | | VII上 | 2 | 46,542.783 | -64,639.386 | 145.853 | | |
| 芳賀東部 | B194 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 8 | 1 | 0.1 | | VII上 | 2 | 46,544.169 | -64,638.313 | 146.015 | | |
| 芳賀東部 | B195 | 碎片 | 黒色安山岩 | 8 | 11 | 3 | 0.3 | | VII下 | 2 | 46,541.991 | -64,639.363 | 145.666 | | |
| 芳賀東部 | B196 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 33 | 8 | 4.4 | | VII中 | 2 | 46,544.125 | -64,638.160 | 145.892 | 166 | 56 |
| 芳賀東部 | B197 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 15 | 2 | 0.3 | | VII下 | 2 | 46,543.953 | -64,638.714 | 145.813 | | |
| 芳賀東部 | B198 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 26 | 7 | 3.9 | | VII下 | 2 | 46,544.056 | -64,638.451 | 145.747 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B199 | 剥片 | 黒色安山岩 | 11 | 18 | 7 | 1.3 | | VII下 | 2 | 46,543.957 | -64,638.435 | 145.747 | | |
| 芳賀東部 | B200 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 14 | 2 | 0.4 | | VII下 | 2 | 46,542.971 | -64,640.431 | 145.645 | | |
| 芳賀東部 | B201 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 13 | 5 | 0.5 | | VII上 | 2 | 46,544.112 | -64,638.282 | 145.969 | | |
| 芳賀東部 | B202 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 36 | 10 | 7.4 | | VII下 | 2 | 46,544.222 | -64,638.924 | 145.708 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B203 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 21 | 6 | 2.1 | | VII下 | 2 | 46,544.393 | -64,638.611 | 145.712 | | |
| 芳賀東部 | B204 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 18 | 6 | 1.5 | | VII下 | 2 | 46,544.261 | -64,638.133 | 145.718 | 165 | 56 |
| 芳賀東部 | B205 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 23 | 5 | 3.7 | | VII下 | 2 | 46,546.209 | -64,641.698 | 145.473 | | |
| 芳賀東部 | B206 | 使用痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 45 | 44 | 11 | 26.7 | | | 2 | なし | なし | なし | 161 | 54 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|-----|-----|---------|-----|-----|----|-------|--------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 芳賀東部 | B1a | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 24 | 4 | 1.3 | | | 2 | 46,530.332 | -64,619.973 | 147.449 | | |
| 芳賀東部 | B2a | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 24 | 7 | 5.2 | | | 2 | 46,531.081 | -64,618.012 | 146.274 | | |
| 芳賀東部 | B3a | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 45 | 13 | 20.1 | | | 2 | 46,531.597 | -64,618.164 | 146.205 | | |
| 芳賀東部 | B1d | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 芳賀東部 | D1 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 99 | 74 | 20 | 208.4 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.830 | -64,898.100 | 144.741 | | |
| 芳賀東部 | D2 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 147 | 129 | 31 | 740.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.800 | -64,897.980 | 144.764 | | |
| 芳賀東部 | D3 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 152 | 138 | 44 | 634.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.670 | -64,897.980 | 144.746 | | |
| 芳賀東部 | D4 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 126 | 69 | 51 | 561.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.660 | -64,897.870 | 144.761 | | |
| 芳賀東部 | D5 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 129 | 85 | 65 | 760.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.720 | -64,897.770 | 144.758 | | |
| 芳賀東部 | D6 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 85 | 62 | 35 | 239.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.690 | -64,897.850 | 144.745 | | |
| 芳賀東部 | D7 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 98 | 82 | 32 | 221.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.850 | -64,897.800 | 144.774 | | |
| 芳賀東部 | D8 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 166 | 121 | 42 | 773.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.830 | -64,897.780 | 144.755 | | |
| 芳賀東部 | D9 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 85 | 70 | 34 | 207.1 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.920 | -64,897.760 | 144.751 | | |
| 芳賀東部 | D10 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 128 | 80 | 68 | 682.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.970 | -64,897.720 | 144.725 | | |
| 芳賀東部 | D11 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 92 | 69 | 31 | 149.2 | 全面赤化 | | 1 | 46,653.030 | -64,897.660 | 144.760 | | |
| 芳賀東部 | D12 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 118 | 77 | 34 | 351.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.850 | -64,897.650 | 144.750 | | |
| 芳賀東部 | D13 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 174 | 87 | 33 | 550.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,653.060 | -64,898.010 | 144.747 | | |
| 芳賀東部 | D14 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 159 | 94 | 29 | 440.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,653.000 | -64,897.940 | 144.742 | | |
| 芳賀東部 | D15 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 106 | 83 | 22 | 179.4 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.960 | -64,898.020 | 144.755 | | |
| 芳賀東部 | D16 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 120 | 85 | 35 | 359.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.940 | -64,897.870 | 144.740 | | |
| 芳賀東部 | D17 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 99 | 55 | 31 | 159.7 | 全面赤化 | | 1 | 46,653.070 | -64,897.890 | 144.731 | | |
| 芳賀東部 | D18 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 92 | 79 | 44 | 325.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,653.150 | -64,897.880 | 144.769 | | |
| 芳賀東部 | D19 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 81 | 69 | 52 | 296.0 | 全面赤化 | | 1 | 46,653.090 | -64,897.770 | 144.752 | | |
| 芳賀東部 | D20 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 18 | 12 | 5 | 1.1 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.600 | -64,897.660 | 144.795 | | |
| 芳賀東部 | D21 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 22 | 21 | 4 | 1.6 | 全面赤化 | | 1 | 46,653.450 | -64,897.620 | 144.835 | | |
| 芳賀東部 | D22 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 25 | 17 | 14 | 7.0 | 赤化なし | | 1 | 46,653.960 | -64,897.270 | 144.840 | | |
| 芳賀東部 | D23 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 65 | 54 | 38 | 109.9 | 全面赤化 | | 1 | 46,652.950 | -64,898.020 | 144.715 | | |
| 芳賀東部 | D24 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 38 | 21 | 7 | 4.6 | | | 1 | なし | なし | なし | | |
| 芳賀東部 | E1 | 剥片 | 黒色頁岩 | 55 | 51 | 11 | 34.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.161 | -64,972.534 | 143.985 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E2 | 剥片 | 黒色頁岩 | 68 | 47 | 19 | 78.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.595 | -64,971.876 | 143.877 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E3 | 剥片 | 黒色頁岩 | 72 | 38 | 13 | 44.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.395 | -64,971.971 | 144.017 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E4 | 剥片 | 黒色頁岩 | 20 | 24 | 5 | 3.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.045 | -64,971.999 | 144.151 | | |
| 芳賀東部 | E5 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 25 | 7 | 5.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.340 | -64,972.219 | 143.993 | | |
| 芳賀東部 | E6 | 剥片 | 黒色頁岩 | 71 | 46 | 16 | 65.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.089 | -64,971.906 | 143.898 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E7 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 14 | 6 | 0.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.166 | -64,971.739 | 144.157 | | |
| 芳賀東部 | E8 | 剥片 | 黒色安山岩 | 88 | 62 | 23 | 151.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.563 | -64,971.763 | 143.899 | 185 | 64 |
| 芳賀東部 | E9 | 剥片 | 黒色頁岩 | 21 | 20 | 7 | 4.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.548 | -64,971.623 | 144.253 | | |
| 芳賀東部 | E10 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 8 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.545 | -64,971.406 | 143.824 | | |
| 芳賀東部 | E11 | 碎片 | 黒色安山岩 | 13 | 14 | 6 | 1.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.612 | -64,971.299 | 143.854 | | |
| 芳賀東部 | E12 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 14 | 4 | 1.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.963 | -64,971.546 | 143.889 | | |
| 芳賀東部 | E13 | 剥片 | 黒色頁岩 | 24 | 18 | 9 | 4.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.078 | -64,971.512 | 143.855 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E14 | 剥片 | 黒色頁岩 | 81 | 58 | 22 | 110.1 | 二次加工有? | 暗色帯 | 2 | 46,684.203 | -64,971.360 | 143.857 | 191 | 67 |
| 芳賀東部 | E15 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 19 | 7 | 2.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,685.868 | -64,971.818 | 143.815 | | |
| 芳賀東部 | E16 | 剥片 | 黒色頁岩 | 63 | 36 | 6 | 17.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.736 | -64,970.838 | 143.833 | 191 | 67 |
| 芳賀東部 | E17 | 剥片 | 黒色頁岩 | 74 | 48 | 14 | 52.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.252 | -64,971.095 | 143.778 | 191 | 67 |
| 芳賀東部 | E18 | 剥片 | 黒色頁岩 | 66 | 48 | 14 | 49.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.081 | -64,971.042 | 143.776 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E19 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 45 | 8 | 10.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.212 | -64,970.950 | 143.799 | 184 | 64 |
| 芳賀東部 | E20 | 剥片 | 黒色頁岩 | 13 | 17 | 4 | 1.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.298 | -64,970.551 | 144.116 | | |
| 芳賀東部 | E21 | 剥片 | 黒色安山岩 | 6 | 15 | 4 | 0.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.083 | -64,970.743 | 143.926 | | |
| 芳賀東部 | E22 | 剥片 | 黒色頁岩 | 19 | 7 | 2 | 0.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.975 | -64,970.880 | 143.904 | | |
| 芳賀東部 | E23 | 剥片 | 黒色頁岩 | 41 | 55 | 7 | 21.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.745 | -64,971.010 | 143.947 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E24 | 剥片 | 黒色頁岩 | 52 | 38 | 9 | 20.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.311 | -64,970.995 | 144.050 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E25 | 剥片 | 黒色安山岩 | 36 | 36 | 11 | 12.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.185 | -64,971.030 | 143.956 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E26 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 26 | 8 | 2.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.971 | -64,971.467 | 144.133 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E27 | 剥片 | 黒色安山岩 | 39 | 50 | 15 | 27.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.876 | -64,971.103 | 143.931 | | |
| 芳賀東部 | E28 | 剥片 | 黒色安山岩 | 48 | 49 | 16 | 46.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.717 | -64,971.200 | 143.926 | 184 | 64 |
| 芳賀東部 | E29 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 35 | 9 | 9.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.482 | -64,971.258 | 144.037 | 184 | 64 |
| 芳賀東部 | E30 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 19 | 8 | 7.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.508 | -64,971.039 | 143.805 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E31 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 23 | 3 | 1.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.153 | -64,971.356 | 144.002 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E32 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 34 | 9 | 7.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.766 | -64,970.582 | 144.064 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E33 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 59 | 12 | 16.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.804 | -64,970.431 | 143.851 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E34 | 石核 | 黒色安山岩 | 47 | 54 | 20 | 62.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.960 | -64,970.608 | 143.841 | 174・179 | 58・61 |
| 芳賀東部 | E35 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 65 | 19 | 44.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.090 | -64,970.681 | 143.858 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E36 | 石核 | 黒色安山岩 | 42 | 48 | 25 | 42.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.191 | -64,970.344 | 143.892 | 175・179 | 59・61 |
| 芳賀東部 | E37 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 21 | 3 | 0.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.439 | -64,970.381 | 143.836 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E38 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 17 | 9 | 4.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.766 | -64,970.494 | 143.953 | 189 | 66 |
| 芳賀東部 | E39 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 34 | 5 | 3.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.729 | -64,970.724 | 143.886 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E40 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 16 | 3 | 0.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.038 | -64,970.370 | 143.886 | | |
| 芳賀東部 | E41 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 35 | 10 | 9.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.474 | -64,970.563 | 143.769 | | |
| 芳賀東部 | E42 | 自然石 | チャート | 10 | 7 | 1 | 0.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.591 | -64,970.120 | 143.812 | | |
| 芳賀東部 | E43 | 碎片 | チャート | 9 | 7 | 1 | 0.2 | 自然石? | 暗色帯 | 2 | 46,684.587 | -64,969.804 | 143.819 | | |
| 芳賀東部 | E44 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 29 | 20 | 8 | 7.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.161 | -64,969.998 | 144.065 | | |
| 芳賀東部 | E45 | 剥片 | 黒色安山岩 | 89 | 60 | 17 | 66.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.710 | -64,970.019 | 143.799 | 185 | 64 |
| 芳賀東部 | E46 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 19 | 10 | 3.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.439 | -64,970.015 | 144.198 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E47 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 21 | 4 | 1.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.163 | -64,970.027 | 144.104 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E48 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 7 | 4 | 0.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.691 | -64,969.853 | 143.902 | | |
| 芳賀東部 | E49 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 14 | 9 | 3.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.600 | -64,969.817 | 143.947 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E50 | 石核 | 黒色安山岩 | 81 | 65 | 23 | 141.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.385 | -64,969.853 | 143.860 | 176・179 | 59・61 |
| 芳賀東部 | E51 | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 46 | 9 | 17.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.875 | -64,969.671 | 143.881 | | |
| 芳賀東部 | E52 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 16 | 6 | 2.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.666 | -64,969.638 | 144.098 | | |
| 芳賀東部 | E53 | 剥片 | 黒色頁岩 | 41 | 20 | 9 | 11.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.620 | -64,969.291 | 144.008 | 189 | 66 |

遺物一覽表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|------|---------|-------|-----|-----|----|--------|------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 芳賀東部 | E54 | 剥片 | チャート | 20 | 19 | 6 | 1.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.558 | -64,968.835 | 144.079 | | |
| 芳賀東部 | E55 | 台石 | 黒色頁岩 | 50 | 22 | 10 | 2872.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.233 | -64,968.984 | 143.813 | | |
| 芳賀東部 | E56 | 剥片 | 黒色安山岩 | 205 | 129 | 98 | 10.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.177 | -64,969.312 | 143.849 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E57 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 29 | 11 | 14.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.999 | -64,969.337 | 144.020 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E58 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 11 | 7 | 2.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.133 | -64,969.080 | 143.970 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E59 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 33 | 5 | 3.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.729 | -64,969.215 | 144.015 | | |
| 芳賀東部 | E60 | 剥片 | 黒色頁岩 | 28 | 20 | 7 | 3.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.093 | -64,970.131 | 144.093 | | |
| 芳賀東部 | E61 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 16 | 7 | 2.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.701 | -64,970.038 | 144.177 | | |
| 芳賀東部 | E62 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 6 | 1 | 0.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.568 | -64,970.157 | 144.142 | | |
| 芳賀東部 | E63 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 19 | 18 | 10.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.579 | -64,969.930 | 143.942 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E64 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 22 | 4 | 1.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.521 | -64,971.190 | 143.977 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E65 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 29 | 14 | 12.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.230 | -64,970.994 | 143.997 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E66 | 剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 36 | 12 | 22.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.004 | -64,970.967 | 143.894 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E67 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 41 | 18 | 18.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.542 | -64,970.533 | 143.981 | 184 | 63 |
| 芳賀東部 | E68 | 剥片 | 黒色頁岩 | 56 | 29 | 9 | 11.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.162 | -64,971.898 | 143.972 | 190 | 67 |
| 芳賀東部 | E69 | 剥片 | 黒色頁岩 | 31 | 57 | 11 | 16.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.545 | -64,971.872 | 143.937 | 190 | 67 |
| 芳賀東部 | E70 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 43 | 14 | 20.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.344 | -64,971.946 | 143.912 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E71 | 石核 | 黒色安山岩 | 45 | 69 | 31 | 88.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.106 | -64,971.107 | 143.876 | 175・184 | 59・63 |
| 芳賀東部 | E72 | 剥片 | 黒色安山岩 | 38 | 38 | 13 | 20.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.620 | -64,971.014 | 143.821 | 184 | 63 |
| 芳賀東部 | E73 | 剥片 | 珪質頁岩 | 20 | 30 | 6 | 2.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.082 | -64,968.876 | 143.953 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E74 | 剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 18 | 6 | 2.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.331 | -64,968.743 | 144.071 | | |
| 芳賀東部 | E75 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 32 | 9 | 6.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.948 | -64,968.076 | 143.865 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E76 | 碎片 | 黒色安山岩 | 12 | 14 | 2 | 0.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.874 | -64,968.492 | 143.891 | | |
| 芳賀東部 | E77 | 剥片 | 珪質頁岩 | 19 | 23 | 4 | 1.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.915 | -64,968.616 | 143.816 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E78 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 15 | 7 | 1.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.044 | -64,969.399 | 143.933 | 184 | 63 |
| 芳賀東部 | E79 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 25 | 5 | 1.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.634 | -64,969.596 | 143.924 | | |
| 芳賀東部 | E80 | 剥片 | 黒色安山岩 | 57 | 29 | 13 | 19.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.006 | -64,969.566 | 143.879 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E81 | 剥片 | 黒色頁岩 | 56 | 42 | 8 | 14.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.736 | -64,969.734 | 143.796 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E82 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 9 | 3 | 0.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.432 | -64,969.077 | 143.878 | | |
| 芳賀東部 | E83 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 18 | 9 | 3.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.129 | -64,969.015 | 143.890 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E84 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 8 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.144 | -64,968.859 | 143.765 | | |
| 芳賀東部 | E85 | 剥片 | 黒色安山岩 | 13 | 9 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.883 | -64,968.630 | 143.786 | | |
| 芳賀東部 | E86 | 碎片 | 黒色安山岩 | 10 | 8 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.760 | -64,968.725 | 143.792 | | |
| 芳賀東部 | E87 | 剥片 | 珪質頁岩 | 26 | 36 | 5 | 4.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.889 | -64,968.290 | 143.886 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E88 | 剥片 | 黒色安山岩 | 60 | 33 | 22 | 40.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.360 | -64,968.185 | 143.788 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E89 | 石核 | 珪質頁岩 | 53 | 55 | 23 | 66.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.433 | -64,968.007 | 143.794 | 176 | 60 |
| 芳賀東部 | E90 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 22 | 4 | 2.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.481 | -64,968.039 | 143.765 | | |
| 芳賀東部 | E91 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 20 | 5 | 1.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.231 | -64,967.523 | 143.825 | | |
| 芳賀東部 | E92 | 剥片 | 黒色頁岩 | 68 | 43 | 13 | 51.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.733 | -64,967.126 | 143.632 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E93 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 11 | 5 | 0.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.521 | -64,971.334 | 143.878 | | |
| 芳賀東部 | E94 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 25 | 4 | 1.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.878 | -64,971.552 | 143.895 | | |
| 芳賀東部 | E95 | 剥片 | チャート | 35 | 32 | 11 | 19.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.522 | -64,972.466 | 143.819 | | |
| 芳賀東部 | E96 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 22 | 14 | 8.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.572 | -64,971.711 | 143.963 | | |
| 芳賀東部 | E97 | 剥片 | 黒色安山岩 | 14 | 20 | 6 | 1.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.590 | -64,971.319 | 143.787 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E98 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 25 | 9 | 7.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.674 | -64,970.257 | 143.852 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E99 | 自然石 | 珪質頁岩 | 11 | 10 | 4 | 0.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.523 | -64,969.065 | 143.714 | | |
| 芳賀東部 | E100 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 50 | 17 | 28.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.570 | -64,968.458 | 143.713 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E101 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 34 | 4 | 4.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.161 | -64,968.385 | 143.727 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E102 | 自然石 | チャート | 8 | 7 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.412 | -64,969.630 | 144.070 | | |
| 芳賀東部 | E103 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 31 | 37 | 12 | 16.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.535 | -64,971.665 | 143.705 | 173・188 | 57・66 |
| 芳賀東部 | E104 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 10 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.225 | -64,970.671 | 143.983 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E105 | 自然石 | 珪質変質岩 | 35 | 22 | 8 | 8.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.098 | -64,970.650 | 143.892 | | |
| 芳賀東部 | E106 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 24 | 3 | 2.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.457 | -64,971.841 | 143.915 | | |
| 芳賀東部 | E107 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 29 | 6 | 7.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.804 | -64,972.413 | 143.969 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E108 | 剥片 | 黒色安山岩 | 60 | 55 | 14 | 48.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.819 | -64,972.217 | 143.687 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E109 | 敲石 | 黒色頁岩 | 23 | 12 | 3 | 1.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.044 | -64,972.451 | 143.852 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E110 | 剥片 | 黒色安山岩 | 54 | 35 | 19 | 33.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.618 | -64,972.731 | 143.731 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E111 | 剥片 | 黒色頁岩 | 62 | 45 | 17 | 38.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.103 | -64,972.711 | 143.716 | 191 | 67 |
| 芳賀東部 | E112 | 碎片 | 黒色頁岩 | 6 | 7 | 3 | 0.1 | ガジリ片 | 暗色帯 | 2 | 46,674.702 | -64,973.125 | 144.065 | | |
| 芳賀東部 | E113 | 剥片 | 黒色頁岩 | 47 | 42 | 7 | 14.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.013 | -64,973.040 | 143.888 | | |
| 芳賀東部 | E114 | 剥片 | 黒色安山岩 | 44 | 35 | 15 | 11.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.317 | -64,972.779 | 143.605 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E115 | 剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 14 | 10 | 3.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.818 | -64,973.002 | 143.981 | | |
| 芳賀東部 | E116 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 30 | 5 | 4.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.108 | -64,973.099 | 143.783 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E117 | 剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 28 | 9 | 7.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.577 | -64,973.311 | 143.919 | 191 | 67 |
| 芳賀東部 | E118 | 剥片 | 黒色頁岩 | 46 | 50 | 11 | 26.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.540 | -64,973.218 | 143.700 | | |
| 芳賀東部 | E119 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 45 | 8 | 7.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.885 | -64,973.257 | 143.974 | 190 | 67 |
| 芳賀東部 | E120 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 39 | 14 | 15.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.451 | -64,973.505 | 143.854 | | |
| 芳賀東部 | E121 | 剥片 | 黒色頁岩 | 31 | 22 | 5 | 3.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.579 | -64,973.948 | 143.772 | | |
| 芳賀東部 | E122 | 剥片 | 黒色安山岩 | 63 | 46 | 12 | 33.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.806 | -64,973.842 | 143.692 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E123 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 32 | 5 | 4.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.119 | -64,973.772 | 143.997 | | |
| 芳賀東部 | E124 | 剥片 | 黒色頁岩 | 41 | 62 | 16 | 39.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.386 | -64,973.936 | 143.655 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E125 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 63 | 22 | 72.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.621 | -64,974.355 | 143.635 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E126 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 30 | 4 | 4.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.994 | -64,974.087 | 143.795 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E127 | 剥片 | 黒色頁岩 | 38 | 66 | 13 | 27.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.266 | -64,974.065 | 143.730 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E128 | 敲石 | 黒色頁岩 | 106 | 64 | 56 | 550.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.370 | -64,974.080 | 143.647 | 177・192 | 60・67 |
| 芳賀東部 | E129 | 剥片 | 黒色頁岩 | 16 | 33 | 6 | 3.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.723 | -64,973.919 | 143.894 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E130 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 25 | 3 | 1.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.828 | -64,973.813 | 143.932 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E131 | 剥片 | 黒色頁岩 | 65 | 53 | 17 | 57.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.777 | -64,974.075 | 143.679 | 191 | 67 |
| 芳賀東部 | E132 | 石核 | 黒色安山岩 | 47 | 77 | 35 | 112.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.799 | -64,974.633 | 143.634 | 177・181 | 60・62 |
| 芳賀東部 | E133 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 14 | 7 | 2.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.891 | -64,974.865 | 144.022 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E134 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 47 | 31 | 12 | 14.4 | 微細剥離 | 暗色帯 | 2 | 46,672.904 | -64,975.035 | 143.683 | 173・188 | 57・66 |

遺物一覽表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|-------|---------|---------|-----|-----|----|-------|------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 芳賀東部 | E135 | 剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 41 | 14 | 39.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.096 | -64,974.445 | 144.013 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E136 | 剥片 | 黒色頁岩 | 20 | 9 | 3 | 0.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.244 | -64,974.318 | 143.705 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E137 | 剥片 | 黒色頁岩 | 16 | 27 | 3 | 1.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.355 | -64,974.717 | 143.825 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E138 | 剥片 | 黒色頁岩 | 42 | 42 | 10 | 20.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.478 | -64,974.720 | 143.690 | | |
| 芳賀東部 | E139 | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 48 | 14 | 28.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.276 | -64,974.941 | 143.610 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E140 | 剥片 | 黒色頁岩 | 66 | 31 | 13 | 22.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.625 | -64,974.459 | 143.721 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E141 | 剥片 | 黒色頁岩 | 52 | 40 | 30 | 47.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.564 | -64,974.502 | 143.657 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E142 | 剥片 | 黒色頁岩 | 58 | 41 | 15 | 40.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.972 | -64,974.357 | 143.698 | 191 | 67 |
| 芳賀東部 | E143 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 47 | 8 | 6.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.078 | -64,974.277 | 143.687 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E144 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 33 | 19 | 28.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.933 | -64,974.770 | 143.637 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E145 | 剥片 | 黒色頁岩 | 45 | 53 | 13 | 30.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.016 | -64,974.921 | 143.718 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E146 | 自然石 | チャート | 15 | 10 | 7 | 1.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.189 | -64,973.981 | 143.582 | | |
| 芳賀東部 | E147 | 敲石 | 砂質頁岩 | 34 | 33 | 5 | 5.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.542 | -64,974.135 | 143.773 | 178 | 61 |
| 芳賀東部 | E148a | 剥片 | 黒色頁岩 | 40 | 31 | 6 | 6.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.748 | -64,973.547 | 143.653 | 190 | 67 |
| 芳賀東部 | E148b | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 37 | 4 | 2.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.748 | -64,973.547 | 143.653 | 190 | 67 |
| 芳賀東部 | E149 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 23 | 5 | 5.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.529 | -64,974.124 | 143.998 | | |
| 芳賀東部 | E150 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 14 | 5 | 1.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.323 | -64,974.177 | 143.911 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E151 | 自然石 | 頁岩 | 9 | 5 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.958 | -64,974.930 | 143.859 | | |
| 芳賀東部 | E152 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 20 | 5 | 2.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.604 | -64,975.078 | 143.847 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E153 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 23 | 4 | 2.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.440 | -64,975.609 | 143.713 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E154 | 剥片 | チャート | 20 | 14 | 9 | 2.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.844 | -64,975.728 | 143.812 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E155 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 20 | 12 | 8 | 1.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.690 | -64,976.905 | 143.776 | | |
| 芳賀東部 | E156 | 剥片 | 黒色安山岩 | 21 | 11 | 8 | 1.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.753 | -64,978.043 | 143.729 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E157 | 石核 | チャート | 50 | 56 | 21 | 60.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.197 | -64,978.087 | 143.755 | 175・192 | 59・67 |
| 芳賀東部 | E158 | 石核 | 黒色安山岩 | 47 | 33 | 25 | 40.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.177 | -64,977.780 | 143.718 | 176・183 | 60・63 |
| 芳賀東部 | E159 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 29 | 6 | 3.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.348 | -64,977.783 | 143.700 | | |
| 芳賀東部 | E160 | 剥片 | 黒色安山岩 | 10 | 14 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.240 | -64,977.630 | 143.772 | | |
| 芳賀東部 | E161 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 48 | 8 | 22.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.591 | -64,977.645 | 143.763 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E162 | 石核 | 黒色頁岩 | 68 | 64 | 34 | 229.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.567 | -64,977.783 | 143.619 | 173 | 58 |
| 芳賀東部 | E163 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 45 | 7 | 15.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.703 | -64,977.930 | 143.737 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E164 | 剥片 | 黒色安山岩 | 33 | 18 | 7 | 4.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.815 | -64,977.951 | 143.759 | | |
| 芳賀東部 | E165 | 碎片 | 黒色安山岩 | 15 | 5 | 2 | 0.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.006 | -64,977.727 | 143.715 | | |
| 芳賀東部 | E166 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 22 | 3 | 0.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.894 | -64,977.265 | 143.980 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E167 | 剥片 | チャート | 22 | 12 | 6 | 2.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.842 | -64,977.259 | 143.966 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E168 | 剥片 | 黒色安山岩 | 39 | 40 | 14 | 18.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.612 | -64,978.441 | 143.655 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E169 | 剥片 | 黒色安山岩 | 52 | 38 | 15 | 26.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.103 | -64,978.099 | 143.688 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E170 | 石核 | 黒色安山岩 | 43 | 45 | 25 | 52.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.092 | -64,978.217 | 143.669 | 176・183 | 60・63 |
| 芳賀東部 | E171 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 27 | 45 | 12 | 16.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.981 | -64,978.391 | 143.947 | 173・180 | 57・62 |
| 芳賀東部 | E172 | 剥片 | 黒色安山岩 | 47 | 54 | 15 | 34.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.532 | -64,978.354 | 143.672 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E173 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 15 | 6 | 1.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.964 | -64,979.241 | 143.726 | | |
| 芳賀東部 | E174 | 剥片 | 黒色安山岩 | 64 | 19 | 12 | 15.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.893 | -64,979.043 | 143.681 | | |
| 芳賀東部 | E175 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 46 | 11 | 10.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.590 | -64,978.826 | 143.791 | | |
| 芳賀東部 | E176 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 34 | 9 | 8.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.936 | -64,978.853 | 143.699 | | |
| 芳賀東部 | E177 | 剥片 | 黒色頁岩 | 54 | 42 | 15 | 31.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.105 | -64,978.817 | 143.707 | | |
| 芳賀東部 | E178 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 28 | 3 | 1.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.146 | -64,979.062 | 143.885 | | |
| 芳賀東部 | E179 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 34 | 12 | 14.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.198 | -64,978.473 | 143.879 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E180 | 剥片 | 黒色安山岩 | 39 | 13 | 5 | 2.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.874 | -64,979.273 | 143.742 | | |
| 芳賀東部 | E181 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 20 | 10 | 5.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.735 | -64,980.228 | 143.776 | | |
| 芳賀東部 | E182 | 礫片 | 溶結凝灰岩 | 35 | 24 | 11 | 7.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.773 | -64,979.258 | 143.802 | | |
| 芳賀東部 | E183 | 剥片 | 黒色安山岩 | 44 | 50 | 20 | 33.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.261 | -64,978.483 | 143.908 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E184 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 17 | 6 | 2.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.500 | -64,977.599 | 144.043 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E185 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 18 | 3 | 2.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.887 | -64,976.875 | 143.948 | | |
| 芳賀東部 | E186 | 自然石 | チャート | 28 | 17 | 12 | 6.4 | 垂角礫 | 暗色帯 | 2 | 46,679.603 | -64,976.693 | 143.947 | | |
| 芳賀東部 | E187 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 15 | 5 | 1.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.170 | -64,975.914 | 144.010 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E188 | 礫片 | 溶結凝灰岩 | 61 | 50 | 29 | 69.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.111 | -64,975.639 | 143.793 | | |
| 芳賀東部 | E189 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 27 | 8 | 2.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.967 | -64,975.825 | 143.934 | 182 | 62 |
| 芳賀東部 | E190 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 43 | 12 | 14.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,682.335 | -64,975.503 | 144.103 | 182 | 62 |
| 芳賀東部 | E191 | 剥片 | 黒色頁岩 | 35 | 44 | 9 | 20.9 | 礫片? | 暗色帯 | 2 | 46,682.387 | -64,975.268 | 143.909 | | |
| 芳賀東部 | E192 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 42 | 5 | 6.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.074 | -64,975.452 | 143.977 | 184 | 64 |
| 芳賀東部 | E193 | 石核 | 黒色頁岩 | 107 | 100 | 78 | 977.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.837 | -64,975.043 | 143.971 | 174・187 | 58・65 |
| 芳賀東部 | E194 | 石核 | 黒色頁岩 | 60 | 69 | 31 | 138.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.717 | -64,976.941 | 143.892 | 175・187 | 59・65 |
| 芳賀東部 | E195 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 34 | 5 | 4.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.596 | -64,976.444 | 144.044 | 187 | 65 |
| 芳賀東部 | E196 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 21 | 10 | 5.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,680.976 | -64,973.516 | 144.086 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E197 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 29 | 7 | 3.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,685.015 | -64,977.951 | 144.010 | 184 | 64 |
| 芳賀東部 | E198 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 18 | 7 | 7.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,685.352 | -64,978.861 | 143.935 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E199 | 剥片 | 黒色安山岩 | 40 | 26 | 13 | 10.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.098 | -64,979.062 | 144.039 | 184 | 64 |
| 芳賀東部 | E200 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 29 | 5 | 3.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.712 | -64,979.733 | 144.120 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E201 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 43 | 5 | 5.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.513 | -64,978.626 | 144.149 | | |
| 芳賀東部 | E202 | 剥片 | 黒色安山岩 | 9 | 16 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.171 | -64,978.542 | 144.116 | | |
| 芳賀東部 | E203 | 加工痕ある剥片 | 黒色安山岩 | 74 | 44 | 22 | 55.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.999 | -64,978.298 | 144.067 | 173 | 58 |
| 芳賀東部 | E204 | 剥片 | 黒色頁岩 | 32 | 51 | 10 | 12.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.956 | -64,977.806 | 144.142 | 187 | 65 |
| 芳賀東部 | E205 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 56 | 48 | 29 | 72.0 | 自然石? | 暗色帯 | 2 | 46,687.238 | -64,977.739 | 144.007 | | |
| 芳賀東部 | E206 | 使用痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 87 | 72 | 22 | 141.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,687.471 | -64,977.551 | 144.073 | 173・187 | 57・65 |
| 芳賀東部 | E207 | 剥片 | 黒色頁岩 | 46 | 15 | 11 | 7.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,687.424 | -64,977.273 | 144.028 | 187 | 65 |
| 芳賀東部 | E208 | 剥片 | 黒色頁岩 | 20 | 35 | 6 | 3.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,687.182 | -64,976.950 | 144.291 | 187 | 65 |
| 芳賀東部 | E209 | 剥片 | 黒色頁岩 | 21 | 24 | 6 | 3.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.758 | -64,976.474 | 144.170 | 187 | 65 |
| 芳賀東部 | E210 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 34 | 5 | 3.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.550 | -64,976.733 | 143.971 | 187 | 65 |
| 芳賀東部 | E211 | 剥片 | 黒色頁岩 | 25 | 19 | 6 | 2.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.298 | -64,976.814 | 144.068 | 187 | 65 |
| 芳賀東部 | E212 | 剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 30 | 12 | 19.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.049 | -64,977.192 | 143.939 | | |
| 芳賀東部 | E213 | 剥片 | 黒色安山岩 | 45 | 48 | 9 | 20.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.094 | -64,977.770 | 143.924 | 184 | 64 |
| 芳賀東部 | E214 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 24 | 6 | 4.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,685.920 | -64,977.932 | 144.063 | 187 | 65 |

遺物一覽表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|------|---------|---------|----|----|----|-------|---------|-----|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 芳賀東部 | E215 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 15 | 2 | 0.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,686.202 | -64,974.760 | 144.322 | | |
| 芳賀東部 | E216 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 19 | 6 | 2.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.761 | -64,974.627 | 144.015 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E217 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 28 | 11 | 8.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.368 | -64,975.423 | 143.769 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E218 | 剥片 | 黒色安山岩 | 41 | 29 | 13 | 13.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.128 | -64,974.975 | 143.811 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E219 | 剥片 | 黒色安山岩 | 24 | 30 | 10 | 7.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.884 | -64,975.114 | 143.847 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E220 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 16 | 2 | 0.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.225 | -64,973.691 | 143.992 | | |
| 芳賀東部 | E221 | 自然石 | 輝緑凝灰岩 | 13 | 9 | 4 | 0.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,679.006 | -64,973.716 | 144.002 | | |
| 芳賀東部 | E222 | 石核 | 黒色安山岩 | 67 | 82 | 36 | 255.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.810 | -64,973.625 | 143.879 | 174 | 58 |
| 芳賀東部 | E223 | 剥片 | 黒色安山岩 | 19 | 10 | 4 | 0.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.781 | -64,974.032 | 143.753 | | |
| 芳賀東部 | E224 | 剥片 | 黒色安山岩 | 73 | 82 | 18 | 89.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.423 | -64,973.519 | 143.893 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E225 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 24 | 8 | 5.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.327 | -64,973.581 | 143.912 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E226 | 剥片 | 黒色安山岩 | 16 | 15 | 3 | 0.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.176 | -64,973.889 | 143.901 | | |
| 芳賀東部 | E227 | 剥片 | 黒色安山岩 | 34 | 42 | 15 | 17.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.122 | -64,974.047 | 143.846 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E228 | 剥片 | 黒色安山岩 | 26 | 29 | 8 | 5.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.373 | -64,974.156 | 143.784 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E229 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 10 | 4 | 1.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.500 | -64,974.469 | 143.691 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E230 | 剥片 | 黒色頁岩 | 59 | 64 | 15 | 40.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.945 | -64,974.270 | 143.838 | 190 | 67 |
| 芳賀東部 | E231 | 剥片 | 黒色安山岩 | 32 | 63 | 9 | 15.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.941 | -64,974.200 | 143.893 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E232 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 75 | 23 | 71.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.785 | -64,974.451 | 143.776 | 185 | 64 |
| 芳賀東部 | E233 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 13 | 7 | 2.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.823 | -64,973.635 | 143.912 | | |
| 芳賀東部 | E234 | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 20 | 5 | 1.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.443 | -64,973.497 | 144.085 | | |
| 芳賀東部 | E235 | 剥片 | 黒色安山岩 | 18 | 19 | 5 | 1.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.268 | -64,973.636 | 143.854 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E236 | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 9 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.398 | -64,973.755 | 143.914 | | |
| 芳賀東部 | E237 | 自然石 | ホルンフェルス | 8 | 7 | 2 | 0.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.024 | -64,974.969 | 143.787 | | |
| 芳賀東部 | E238 | 剥片 | 黒色安山岩 | 12 | 18 | 5 | 0.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.176 | -64,975.361 | 144.057 | | |
| 芳賀東部 | E239 | 剥片 | 黒色頁岩 | 45 | 22 | 11 | 10.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.610 | -64,975.487 | 144.100 | | |
| 芳賀東部 | E240 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 15 | 5 | 2.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.144 | -64,975.467 | 143.769 | 181 | 62 |
| 芳賀東部 | E241 | 剥片 | 黒色安山岩 | 20 | 13 | 5 | 1.2 | E242と接合 | 暗色帯 | 2 | 46,677.337 | -64,975.744 | 143.797 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E242 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 芳賀東部 | E243 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 33 | 20 | 9 | 6.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,677.502 | -64,976.614 | 143.885 | | |
| 芳賀東部 | E244 | 剥片 | 黒色頁岩 | 50 | 48 | 14 | 31.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,687.486 | -64,977.570 | 144.075 | 187 | 65 |
| 芳賀東部 | E245 | 石核 | 黒色安山岩 | 75 | 61 | 55 | 359.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.997 | -64,970.066 | 143.839 | 175・184 | 59・64 |
| 芳賀東部 | E246 | 剥片 | 黒色安山岩 | 43 | 43 | 19 | 28.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.051 | -64,970.772 | 143.747 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E247 | 石核 | 黒色頁岩 | 53 | 75 | 57 | 298.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.879 | -64,970.775 | 143.702 | 176・189 | 60・66 |
| 芳賀東部 | E248 | 剥片 | 黒色安山岩 | 25 | 11 | 6 | 5.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,683.695 | -64,969.713 | 143.758 | 179 | 61 |
| 芳賀東部 | E249 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 23 | 11 | 2.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,684.593 | -64,968.913 | 143.802 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E250 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 26 | 9 | 5.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,681.008 | -64,970.948 | 143.882 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E251 | 剥片 | 黒色頁岩 | 32 | 43 | 17 | 26.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.407 | -64,968.227 | 143.765 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E252 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 46 | 13 | 20.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,678.447 | -64,967.949 | 143.721 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E253 | 剥片 | 黒色頁岩 | 52 | 44 | 20 | 33.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.567 | -64,966.050 | 143.619 | 185 | 65 |
| 芳賀東部 | E254 | 剥片 | 黒色頁岩 | 71 | 48 | 18 | 53.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.556 | -64,968.069 | 143.655 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E255 | 礫 | 凝灰岩 | 41 | 37 | 30 | 38.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.870 | -64,970.646 | 143.624 | | |
| 芳賀東部 | E256 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 24 | 3 | 2.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.332 | -64,971.605 | 143.617 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E257 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 46 | 3 | 6.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.818 | -64,972.411 | 143.772 | 190 | 67 |
| 芳賀東部 | E258 | 剥片 | 黒色頁岩 | 39 | 54 | 16 | 37.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.015 | -64,972.389 | 143.734 | | |
| 芳賀東部 | E259 | 剥片 | 黒色頁岩 | 32 | 52 | 7 | 13.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.123 | -64,972.376 | 143.706 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E260 | 剥片 | 黒色安山岩 | 30 | 25 | 5 | 4.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.058 | -64,970.825 | 143.552 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E261 | 剥片 | 黒色頁岩 | 26 | 35 | 8 | 4.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.725 | -64,971.032 | 143.533 | | |
| 芳賀東部 | E262 | 剥片 | 黒色頁岩 | 46 | 63 | 15 | 43.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,671.600 | -64,972.303 | 143.554 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E263 | 剥片 | 黒色頁岩 | 42 | 33 | 10 | 12.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.659 | -64,973.302 | 143.779 | | |
| 芳賀東部 | E264 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 17 | 2 | 0.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.847 | -64,973.807 | 143.929 | | |
| 芳賀東部 | E265 | 剥片 | 黒色頁岩 | 46 | 14 | 6 | 3.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.719 | -64,973.825 | 143.641 | 188 | 66 |
| 芳賀東部 | E266 | 敲石 | 砂質頁岩 | 76 | 53 | 16 | 83.3 | E305と接合 | 暗色帯 | 2 | 46,673.783 | -64,974.021 | 143.682 | 178 | 61 |
| 芳賀東部 | E267 | 剥片 | 黒色頁岩 | 7 | 16 | 3 | 0.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.135 | -64,973.740 | 144.004 | | |
| 芳賀東部 | E268 | 剥片 | 黒色頁岩 | 19 | 30 | 7 | 3.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.221 | -64,974.444 | 143.866 | | |
| 芳賀東部 | E269 | 剥片 | 黒色安山岩 | 54 | 50 | 18 | 55.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.824 | -64,974.552 | 143.560 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E270 | 剥片 | 黒色安山岩 | 42 | 40 | 18 | 23.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.752 | -64,974.671 | 143.567 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E271 | 剥片 | 黒色安山岩 | 8 | 6 | 1 | 0.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,676.038 | -64,976.523 | 143.616 | | |
| 芳賀東部 | E272 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 29 | 3 | 2.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.617 | -64,977.695 | 143.701 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E273 | 剥片 | 黒色安山岩 | 37 | 33 | 11 | 11.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.220 | -64,978.033 | 143.641 | | |
| 芳賀東部 | E274 | 剥片 | 珪質頁岩 | 54 | 31 | 11 | 15.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.018 | -64,972.355 | 143.696 | 192 | 67 |
| 芳賀東部 | E275 | 剥片 | 黒色頁岩 | 7 | 18 | 1 | 0.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.175 | -64,974.451 | 143.545 | | |
| 芳賀東部 | E276 | 剥片 | 黒色安山岩 | 15 | 25 | 4 | 2.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.099 | -64,967.602 | 143.832 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E277 | 剥片 | 黒色頁岩 | 76 | 54 | 25 | 66.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.212 | -64,967.446 | 143.643 | 185 | 64 |
| 芳賀東部 | E278 | 剥片 | 黒色頁岩 | 15 | 18 | 5 | 0.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.037 | -64,967.645 | 143.644 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E279 | 剥片 | 黒色頁岩 | 88 | 61 | 22 | 97.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.145 | -64,966.853 | 143.730 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E280 | 剥片 | 黒色頁岩 | 31 | 36 | 9 | 7.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.206 | -64,966.292 | 143.696 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E281 | 剥片 | 黒色安山岩 | 54 | 37 | 12 | 21.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.617 | -64,966.273 | 143.726 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E282 | 剥片 | 黒色頁岩 | 37 | 35 | 8 | 6.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.808 | -64,966.970 | 143.601 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E283 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 27 | 11 | 3.6 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.585 | -64,967.297 | 143.610 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E284 | 剥片 | 黒色頁岩 | 17 | 17 | 9 | 2.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.222 | -64,967.307 | 143.881 | 185 | 64 |
| 芳賀東部 | E285 | 剥片 | 黒色頁岩 | 23 | 26 | 6 | 3.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.092 | -64,967.152 | 143.692 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E286 | 剥片 | 黒色頁岩 | 34 | 20 | 5 | 3.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.894 | -64,967.522 | 143.806 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E287 | 剥片 | 黒色頁岩 | 54 | 36 | 15 | 28.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.876 | -64,967.566 | 143.805 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E288 | 剥片 | 黒色頁岩 | 12 | 15 | 2 | 0.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.865 | -64,967.818 | 143.845 | | |
| 芳賀東部 | E289 | 剥片 | 黒色頁岩 | 18 | 30 | 6 | 2.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.266 | -64,966.936 | 143.534 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E290 | 剥片 | 黒色頁岩 | 42 | 20 | 6 | 4.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.043 | -64,966.640 | 143.631 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E291 | 剥片 | 黒色頁岩 | 30 | 32 | 3 | 3.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.896 | -64,966.599 | 143.646 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E292 | 加工痕ある剥片 | 黒色頁岩 | 36 | 47 | 10 | 17.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.725 | -64,966.760 | 143.550 | 173・186 | 57・65 |
| 芳賀東部 | E293 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 18 | 7 | 4.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.484 | -64,966.234 | 143.767 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E294 | 剥片 | 黒色頁岩 | 31 | 17 | 3 | 2.1 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.312 | -64,966.384 | 143.732 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E295 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 31 | 7 | 6.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.254 | -64,966.880 | 143.877 | 190 | 66 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|------|------|---------|---------|-----|----|----|--------|---------|------|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 芳賀東部 | E296 | 剥片 | 黒色頁岩 | 16 | 16 | 4 | 0.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.048 | -64,967.239 | 143.639 | | |
| 芳賀東部 | E297 | 剥片 | 黒色頁岩 | 16 | 25 | 2 | 1.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,671.888 | -64,966.589 | 143.838 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E298 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 16 | 14 | 2 | 0.5 | | 暗色帯 | 2 | 46,669.032 | -64,966.970 | 143.724 | | |
| 芳賀東部 | E299 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 21 | 8 | 4.2 | | 暗色帯 | 2 | 46,671.294 | -64,973.634 | 143.769 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E300 | 剥片 | 黒色安山岩 | 28 | 35 | 6 | 4.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,671.585 | -64,973.905 | 143.703 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E301 | 剥片 | 黒色安山岩 | 29 | 15 | 7 | 3.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,671.679 | -64,973.882 | 143.641 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E302 | 石核 | 黒色安山岩 | 49 | 35 | 32 | 75.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.195 | -64,974.300 | 143.616 | 177・182 | 60・63 |
| 芳賀東部 | E303 | 剥片 | 黒色安山岩 | 35 | 34 | 11 | 13.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.198 | -64,974.486 | 143.810 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E304 | 剥片 | 黒色安山岩 | 58 | 45 | 27 | 49.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.249 | -64,974.666 | 143.639 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E305 | 敲石 | 砂質頁岩 | 218 | 92 | 57 | 1628.0 | E266と接合 | 暗色帯 | 2 | 46,672.416 | -64,975.705 | 143.553 | 178 | 61 |
| 芳賀東部 | E306 | 剥片 | 黒色安山岩 | 23 | 9 | 10 | 2.3 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.942 | -64,978.111 | 143.636 | 180 | 62 |
| 芳賀東部 | E307 | 剥片 | 黒色安山岩 | 31 | 16 | 12 | 6.0 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.917 | -64,978.412 | 143.603 | 183 | 63 |
| 芳賀東部 | E308 | 剥片 | 黒色安山岩 | 50 | 24 | 14 | 13.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.421 | -64,973.407 | 143.459 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E309 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 26 | 5 | 2.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.217 | -64,966.794 | 143.655 | 190 | 66 |
| 芳賀東部 | E310 | 剥片 | 黒色頁岩 | 22 | 28 | 6 | 3.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,675.239 | -64,967.579 | 143.688 | 185 | 65 |
| 芳賀東部 | E311 | 剥片 | 黒色頁岩 | 19 | 15 | 3 | 0.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.851 | -64,967.831 | 143.723 | | |
| 芳賀東部 | E312 | 剥片 | 黒色安山岩 | 22 | 35 | 7 | 5.4 | | 暗色帯 | 2 | 46,672.295 | -64,974.533 | 143.822 | 182 | 63 |
| 芳賀東部 | E313 | 剥片 | 黒色頁岩 | 27 | 10 | 6 | 1.8 | | 暗色帯 | 2 | 46,673.049 | -64,967.261 | 143.630 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | E314 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 27 | 15 | 8 | 3.9 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.152 | -64,967.272 | 143.862 | | |
| 芳賀東部 | E315 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 30 | 6 | 3.7 | | 暗色帯 | 2 | 46,674.343 | -64,965.995 | 143.686 | 186 | 65 |
| 芳賀東部 | F1 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 芳賀東部 | F2 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 68 | 38 | 10 | 33.6 | 試掘No7一括 | | | なし | なし | なし | | |
| 芳賀東部 | F3 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 105 | 92 | 20 | 124.4 | 試掘No7一括 | | | なし | なし | なし | | |
| 芳賀東部 | F4 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 82 | 70 | 26 | 192.8 | 試掘No7一括 | | | なし | なし | なし | | |
| 芳賀東部 | F5 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 74 | 79 | 7 | 63.1 | 試掘No7一括 | | | なし | なし | なし | | |
| 芳賀東部 | G1 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 胴城 | 1 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 19 | 10 | 5 | 0.7 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,890.549 | -65,419.782 | 146.454 | 203 | 69 |
| 胴城 | 2 | 剥片 | 黒曜石 | 20 | 11 | 2 | 0.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.899 | -65,418.009 | 146.523 | 205 | 70 |
| 胴城 | 3 | 石刃 | 黒曜石 | 52 | 21 | 4 | 4.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.111 | -65,416.209 | 146.621 | 204 | 69 |
| 胴城 | 4 | 石刃 | 黒曜石 | 12 | 8 | 2 | 0.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.291 | -65,415.764 | 146.804 | 204 | 69 |
| 胴城 | 5 | 碎片 | チャート | 9 | 7 | 2 | 0.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,898.539 | -65,415.761 | 146.711 | | |
| 胴城 | 6 | 碎片 | 黒曜石 | 9 | 4 | 1 | 0.1 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,898.636 | -65,414.975 | 146.881 | | |
| 胴城 | 7 | 剥片 | 黒曜石 | 17 | 12 | 1 | 0.3 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.735 | -65,414.437 | 146.619 | | |
| 胴城 | 8 | 剥片 | 黒曜石 | 14 | 11 | 1 | 0.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.789 | -65,414.613 | 146.599 | | |
| 胴城 | 9 | 剥片 | チャート | 12 | 22 | 2 | 0.6 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.493 | -65,413.809 | 146.696 | | |
| 胴城 | 10 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 13 | 10 | 1 | 0.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,899.087 | -65,413.135 | 146.721 | | |
| 胴城 | 11 | 石刃 | 黒曜石 | 40 | 19 | 7 | 4.9 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.060 | -65,411.780 | 146.518 | 204 | 69 |
| 胴城 | 12 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 41 | 12 | 3 | 1.5 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.486 | -65,413.649 | 146.502 | 203・205 | 69・70 |
| 胴城 | 13 | ナイフ形石器 | 黒色安山岩 | 42 | 18 | 4 | 4.6 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.279 | -65,411.563 | 146.363 | 203 | 69 |
| 胴城 | 14 | 剥片 | 黒曜石 | 23 | 6 | 1 | 0.2 | 行方不明 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,891.781 | -65,410.742 | 146.424 | | |
| 胴城 | 15 | 石刃 | 黒曜石 | 42 | 13 | 7 | 3.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,891.610 | -65,412.177 | 146.389 | 204・205 | 69・70 |
| 胴城 | 16 | 石刃 | 黒曜石 | 20 | 10 | 2 | 0.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,891.338 | -65,413.240 | 146.355 | 204 | 69 |
| 胴城 | 17 | 石刃 | 黒曜石 | 25 | 17 | 7 | 3.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,890.553 | -65,413.283 | 146.404 | 204 | 69 |
| 胴城 | 18 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 100 | 86 | 60 | 580.0 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,889.415 | -65,413.080 | 146.329 | | |
| 胴城 | 19 | 欠番 | | | | | | | | | | | | | |
| 胴城 | 20 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 62 | 51 | 47 | 178.1 | 完形の円礫 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,889.288 | -65,412.129 | 146.309 | | |
| 胴城 | 21 | 碎片 | チャート | 10 | 16 | 6 | 0.9 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,889.357 | -65,409.342 | 146.289 | 206 | 70 |
| 胴城 | 22 | 剥片 | 黒色頁岩 | 44 | 90 | 11 | 40.5 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.077 | -65,414.913 | 146.614 | 206 | 70 |
| 胴城 | 23 | 石刃 | 黒曜石 | 47 | 22 | 8 | 6.5 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,888.107 | -65,413.827 | 146.195 | 204・205 | 69・70 |
| 胴城 | 24 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 29 | 13 | 3 | 1.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,890.411 | -65,414.793 | 146.291 | 203・205 | 69・70 |
| 胴城 | 25 | 碎片 | 黒色安山岩 | 12 | 10 | 8 | 1.3 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,890.594 | -65,413.850 | 146.278 | | |
| 胴城 | 26 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 32 | 15 | 4 | 2.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.272 | -65,414.227 | 146.395 | 203 | 69 |
| 胴城 | 27 | 石刃 | 黒曜石 | 40 | 20 | 5 | 3.9 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,891.992 | -65,413.521 | 146.279 | 204・205 | 69・70 |
| 胴城 | 28 | 削器 | 黒曜石 | 50 | 19 | 5 | 6.7 | 二次加工 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.081 | -65,413.084 | 146.294 | 203・205 | 69・70 |
| 胴城 | 29 | 石刃 | 黒曜石 | 20 | 14 | 6 | 1.7 | 稜付き石刃 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,891.597 | -65,411.065 | 146.152 | 204・205 | 69・70 |
| 胴城 | 30 | 剥片 | 黒曜石 | 20 | 20 | 2 | 0.9 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.538 | -65,412.799 | 146.216 | 205 | 70 |
| 胴城 | 31 | 加工痕ある剥片 | 黒曜石 | 14 | 21 | 4 | 1.2 | 調整剥片 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.388 | -65,412.794 | 146.367 | 203 | 69 |
| 胴城 | 32 | 碎片 | 黒曜石 | 13 | 10 | 2 | 0.3 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.339 | -65,413.146 | 146.245 | | |
| 胴城 | 33 | 石刃 | 黒曜石 | 37 | 15 | 8 | 5.1 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.904 | -65,413.920 | 146.395 | 204・205 | 69・70 |
| 胴城 | 34 | 剥片 | 黒曜石 | 18 | 14 | 6 | 1.4 | 石刃端部 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,894.147 | -65,413.794 | 146.438 | | |
| 胴城 | 35 | 石刃 | 黒曜石 | 28 | 25 | 8 | 4.9 | 石刃端部 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,894.019 | -65,413.030 | 146.189 | 204・205 | 69・70 |
| 胴城 | 36 | 石刃 | 黒曜石 | 38 | 11 | 3 | 1.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,895.204 | -65,414.084 | 146.330 | 204 | 69 |
| 胴城 | 37 | 剥片 | 黒曜石 | 17 | 15 | 1 | 0.3 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,895.437 | -65,414.086 | 146.437 | | |
| 胴城 | 38 | 石刃 | 黒曜石 | 22 | 17 | 5 | 2.0 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,895.562 | -65,415.107 | 146.417 | 204 | 69 |
| 胴城 | 39 | 剥片 | チャート | 27 | 21 | 6 | 2.7 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,895.992 | -65,414.373 | 146.342 | | |
| 胴城 | 40 | 碎片 | チャート | 8 | 16 | 3 | 0.6 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.067 | -65,414.224 | 146.344 | | |
| 胴城 | 41 | 自然石 | 黒色頁岩 | 34 | 17 | 3 | 2.8 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.499 | -65,415.094 | 146.463 | | |
| 胴城 | 42 | 削器 | 黒曜石 | 32 | 18 | 4 | 2.1 | 挟入 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.818 | -65,415.214 | 146.254 | 203・205 | 69・70 |
| 胴城 | 43 | 剥片 | 黒曜石 | 26 | 25 | 6 | 2.7 | 打面再生剥片 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.485 | -65,415.493 | 146.500 | 205 | 70 |
| 胴城 | 44 | 削器 | 黒曜石 | 32 | 22 | 6 | 3.6 | 鋸歯縁 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.286 | -65,414.835 | 146.590 | 203・205 | 69・70 |
| 胴城 | 45 | 剥片 | 黒曜石 | 15 | 22 | 3 | 0.8 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,898.173 | -65,415.120 | 146.305 | | |
| 胴城 | 46 | 剥片 | チャート | 20 | 26 | 6 | 3.8 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.868 | -65,414.538 | 146.538 | 206 | 70 |
| 胴城 | 47 | 剥片 | 黒曜石 | 26 | 13 | 5 | 1.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.356 | -65,414.470 | 146.446 | | |
| 胴城 | 48 | 碎片 | 黒曜石 | 16 | 9 | 3 | 0.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.892 | -65,413.869 | 146.458 | 205 | 70 |
| 胴城 | 49 | 石刃 | 黒曜石 | 42 | 16 | 4 | 2.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.418 | -65,412.983 | 146.522 | 204 | 69 |
| 胴城 | 50 | 剥片 | 碧玉 | 23 | 14 | 4 | 1.5 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,894.737 | -65,411.264 | 146.359 | 206 | 70 |
| 胴城 | 51 | 剥片 | 黒曜石 | 25 | 18 | 2 | 1.1 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,894.824 | -65,417.675 | 146.496 | 205 | 70 |
| 胴城 | 52 | 彫器 | 黒曜石 | 27 | 17 | 4 | 1.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.442 | -65,419.009 | 146.489 | 203 | 69 |
| 胴城 | 53 | 碎片 | 黒色安山岩 | 5 | 12 | 3 | 0.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,890.405 | -65,416.180 | 146.241 | | |
| 胴城 | 54 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 30 | 16 | 4 | 1.6 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,891.274 | -65,416.631 | 146.222 | 203 | 69 |
| 胴城 | 55 | 削器 | 黒曜石 | 31 | 14 | 6 | 2.1 | 挟入 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,891.166 | -65,417.662 | 146.249 | 203・205 | 69・70 |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|----|------|---------|---------|-----|-----|-----|--------|-------|------|-----|------------|-------------|---------|---------|-------|
| 胴城 | 56 | 礫 | 粗粒輝石安山岩 | 92 | 65 | 40 | 347.0 | 敲石? | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.360 | -65,419.441 | 146.256 | | |
| 胴城 | 57 | 剥片 | 黒色頁岩 | 29 | 40 | 7 | 9.6 | 石材? | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.342 | -65,418.007 | 146.185 | 206 | 70 |
| 胴城 | 58 | 使用痕ある剥片 | 黒曜石 | 13 | 12 | 2 | 0.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.834 | -65,417.778 | 146.402 | 205 | 70 |
| 胴城 | 59 | 使用痕ある剥片 | 黒曜石 | 39 | 24 | 4 | 4.1 | 幅広石刃 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.771 | -65,417.467 | 146.235 | 204 | 69 |
| 胴城 | 60 | ナイフ形石器 | 碧玉 | 24 | 9 | 3 | 1.5 | 鉄石英? | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,892.857 | -65,416.731 | 146.325 | 203 | 69 |
| 胴城 | 61 | 剥片 | 黒曜石 | 27 | 19 | 6 | 2.3 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.820 | -65,417.606 | 146.431 | 205 | 70 |
| 胴城 | 62 | 破片 | 黒曜石 | 12 | 13 | 3 | 0.6 | カジリ痕 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.927 | -65,416.764 | 146.444 | | |
| 胴城 | 63 | 石刃 | 黒曜石 | 15 | 7 | 1 | 0.2 | 小型石刃 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,894.151 | -65,417.912 | 146.387 | 204 | 69 |
| 胴城 | 64 | 削器 | 黒曜石 | 48 | 13 | 4 | 2.6 | 挟入 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,894.514 | -65,417.776 | 146.313 | 203・205 | 69・70 |
| 胴城 | 65 | 石刃 | 黒曜石 | 51 | 17 | 4 | 3.7 | 平坦剥離 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,894.970 | -65,418.371 | 146.434 | 204・205 | 69・70 |
| 胴城 | 66 | 剥片 | 黒曜石 | 15 | 14 | 4 | 0.5 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.931 | -65,416.958 | 146.370 | 205 | 70 |
| 胴城 | 67 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 57 | 51 | 19 | 49.3 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.623 | -65,415.553 | 146.445 | | |
| 胴城 | 68 | 加工痕ある剥片 | 黒曜石 | 11 | 8 | 2 | 0.1 | 72の破片 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.762 | -65,415.036 | 146.272 | 203 | 69 |
| 胴城 | 69 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 66 | 32 | 17 | 24.5 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.915 | -65,413.990 | 146.399 | | |
| 胴城 | 70 | 礫片 | 粗粒輝石安山岩 | 6 | 10 | 4 | 0.4 | 小型礫片 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.486 | -65,413.384 | 146.294 | | |
| 胴城 | 71 | ナイフ形石器 | 黒色安山岩 | 44 | 17 | 6 | 5.6 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.965 | -65,413.912 | 146.344 | 203 | 69 |
| 胴城 | 72 | 削器 | 黒曜石 | 21 | 17 | 2 | 0.7 | 挟入 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,895.590 | -65,415.435 | 146.121 | 203 | 69 |
| 胴城 | 73 | ナイフ形石器 | 黒曜石 | 27 | 12 | 4 | 1.3 | ポイント? | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,895.691 | -65,413.398 | 146.258 | 203 | 69 |
| 胴城 | 74 | 剥片 | チャート | 26 | 13 | 9 | 3.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.613 | -65,413.004 | 146.112 | 206 | 70 |
| 胴城 | 75 | 石刃 | 黒曜石 | 27 | 13 | 4 | 1.4 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.091 | -65,412.229 | 146.117 | 204・205 | 69・70 |
| 胴城 | 76 | 破片 | 黒色安山岩 | 13 | 12 | 6 | 1.1 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.806 | -65,411.425 | 146.109 | | |
| 胴城 | 77 | 剥片 | チャート | 49 | 68 | 19 | 57.0 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,893.214 | -65,411.352 | 146.109 | 206 | 70 |
| 胴城 | 78 | 台石 | 粗粒輝石安山岩 | 250 | 200 | 110 | 4644.0 | 大型礫 | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,896.908 | -65,414.664 | 146.308 | | |
| 胴城 | 79 | 剥片 | 黒曜石 | 14 | 11 | 3 | 0.5 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.385 | -65,414.513 | 146.377 | | |
| 胴城 | 80 | 破片 | チャート | 8 | 7 | 3 | 0.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.322 | -65,414.487 | 146.300 | | |
| 胴城 | 81 | 破片 | 黒曜石 | 12 | 8 | 2 | 0.2 | | Ⅱ～Ⅲ層 | 1 | 46,897.444 | -65,413.720 | 146.271 | | |
| 胴城 | Ⅱ1 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 34 | 28 | 22 | 19.5 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.004 | -65,372.754 | 145.021 | | |
| 胴城 | Ⅱ2 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 53 | 42 | 20 | 51.8 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.564 | -65,372.366 | 145.087 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ3 | 自然石 | 黒色片岩 | 19 | 15 | 12 | 5.1 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.697 | -65,372.172 | 144.990 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ4 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 22 | 12 | 10 | 3.6 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.014 | -65,372.207 | 144.606 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ5 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 45 | 36 | 13 | 16.6 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.490 | -65,372.922 | 144.922 | | |
| 胴城 | Ⅱ6 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 43 | 40 | 17 | 45.1 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.737 | -65,372.653 | 144.703 | | |
| 胴城 | Ⅱ7 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 49 | 31 | 27 | 47.8 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.412 | -65,372.747 | 144.929 | | |
| 胴城 | Ⅱ8 | 自然石 | 不明 | 27 | 17 | 15 | 10.3 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.686 | -65,372.825 | 144.643 | | |
| 胴城 | Ⅱ9 | 自然石 | チャート | 46 | 32 | 23 | 36.5 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.014 | -65,372.277 | 145.117 | | |
| 胴城 | Ⅱ10 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 25 | 18 | 11 | 5.2 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.798 | -65,372.176 | 145.013 | | |
| 胴城 | Ⅱ11 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 32 | 22 | 12 | 11.5 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.352 | -65,371.530 | 145.241 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ12 | 自然石 | 黒色片岩 | 41 | 14 | 11 | 9.6 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.122 | -65,371.484 | 144.971 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ13 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 51 | 26 | 18 | 27.2 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.565 | -65,371.014 | 145.352 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ14 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 51 | 24 | 18 | 23.9 | 薄片試料 | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.259 | -65,370.806 | 145.106 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ15 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 71 | 50 | 17 | 68.9 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.361 | -65,370.488 | 144.867 | | |
| 胴城 | Ⅱ16 | 自然石 | 黒色片岩 | 34 | 18 | 7 | 5.6 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.040 | -65,370.556 | 144.987 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ17 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 18 | 13 | 8 | 2.2 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.580 | -65,370.683 | 144.935 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ18 | 自然石 | 黒色片岩 | 45 | 18 | 10 | 13.3 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.520 | -65,370.836 | 144.848 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ19 | 自然石 | 不明 | 22 | 18 | 12 | 7.9 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.722 | -65,371.452 | 145.074 | | |
| 胴城 | Ⅱ20 | 自然石 | 砂岩 | 29 | 22 | 16 | 9.1 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.728 | -65,370.971 | 145.046 | | |
| 胴城 | Ⅱ21 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 37 | 12 | 7 | 4.7 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.044 | -65,371.145 | 145.187 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ22 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 36 | 28 | 14 | 19.4 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,858.457 | -65,370.774 | 144.641 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ23 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 23 | 13 | 4 | 2.3 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,858.316 | -65,370.441 | 144.784 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ24a | 自然石 | 黒色片岩 | 30 | 15 | 8 | 5.1 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.615 | -65,370.445 | 145.066 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ24b | 自然石 | 黒色片岩 | 15 | 10 | 9 | 1.6 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.615 | -65,370.445 | 145.066 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ25 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 21 | 15 | 2 | 1.2 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.127 | -65,370.231 | 144.986 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ26 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 19 | 11 | 7 | 1.9 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.253 | -65,369.996 | 144.845 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ27 | 自然石 | 黒色片岩 | 34 | 20 | 6 | 5.0 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.496 | -65,369.902 | 144.808 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ28 | 自然石 | 黒色片岩 | 43 | 23 | 8 | 12.4 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.403 | -65,370.275 | 144.996 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ29 | 自然石 | 黒色片岩 | 41 | 19 | 10 | 10.5 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.513 | -65,370.310 | 145.071 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ30 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 33 | 19 | 15 | 14.1 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.671 | -65,370.210 | 144.971 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ31 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 31 | 24 | 17 | 12.8 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.705 | -65,370.158 | 144.960 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ32 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 28 | 17 | 12 | 7.5 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.695 | -65,370.139 | 144.970 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ33 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 12 | 9 | 3 | 0.5 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.696 | -65,370.111 | 144.974 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ34 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 15 | 12 | 5 | 1.2 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.700 | -65,370.059 | 144.973 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ35 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 46 | 34 | 27 | 46.3 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.981 | -65,370.236 | 145.149 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ36 | 自然石 | 珪質変質岩 | 31 | 30 | 15 | 15.5 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.238 | -65,370.052 | 145.230 | | |
| 胴城 | Ⅱ37 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 26 | 18 | 5 | 3.5 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.906 | -65,369.678 | 144.889 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ38 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 23 | 8 | 6 | 1.4 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.341 | -65,369.742 | 144.914 | | |
| 胴城 | Ⅱ39 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 61 | 39 | 30 | 94.4 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,863.247 | -65,370.298 | 145.140 | | |
| 胴城 | Ⅱ40 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 30 | 17 | 9 | 5.7 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,862.450 | -65,369.642 | 145.270 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ41 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 17 | 10 | 5 | 1.2 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.890 | -65,369.402 | 145.002 | | |
| 胴城 | Ⅱ42 | 自然石 | 珪質変質岩 | 24 | 15 | 12 | 5.2 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.637 | -65,369.184 | 144.871 | | |
| 胴城 | Ⅱ43 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 38 | 28 | 10 | 14.3 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,861.130 | -65,368.777 | 145.298 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ44 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 27 | 19 | 8 | 4.2 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,860.165 | -65,369.175 | 144.992 | | |
| 胴城 | Ⅱ45 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 35 | 24 | 10 | 12.0 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.277 | -65,369.490 | 145.041 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ46 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 29 | 20 | 12 | 10.3 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,858.182 | -65,369.804 | 145.067 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ47 | 自然石 | 珪質頁岩 | 25 | 11 | 6 | 2.1 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,858.140 | -65,369.766 | 145.083 | | |
| 胴城 | Ⅱ48 | 自然石 | チャート | 24 | 16 | 5 | 3.7 | 円礫 | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.366 | -65,368.654 | 145.047 | | |
| 胴城 | Ⅱ49 | 自然石 | 砂岩 | 20 | 9 | 8 | 1.6 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.395 | -65,367.297 | 144.760 | | |
| 胴城 | Ⅱ50 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 27 | 20 | 8 | 5.4 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.986 | -65,367.319 | 145.189 | | |
| 胴城 | Ⅱ51 | 自然石 | 粗粒輝石安山岩 | 22 | 13 | 5 | 2.3 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,862.628 | -65,368.557 | 144.869 | | |
| 胴城 | Ⅱ52 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 38 | 15 | 5 | 5.6 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,864.381 | -65,367.440 | 145.057 | | 74 |
| 胴城 | Ⅱ53 | 自然石 | 結晶片岩様岩石 | 29 | 16 | 11 | 8.0 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,859.026 | -65,371.258 | 144.785 | | 73 |
| 胴城 | Ⅱ54 | 自然石 | 溶結凝灰岩 | 20 | 14 | 11 | 3.4 | | Ⅷ～Ⅹ層 | | 46,863.210 | -65,372.816 | 145.229 | | |

遺物一覧表

| 遺跡 | 番号 | 器種名 | 石材名 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 備考 | 層位 | 文化層 | X座標 | Y座標 | Z座標 | 図 | P L |
|----|--------|-----|--------|----|----|----|------|------|---------|-----|------------|-------------|---------|---|-----|
| 胴城 | II 55 | 自然石 | 緑色片岩 | 30 | 12 | 11 | 4.2 | 薄片試料 | VII~IX層 | | 46,857.290 | -65,371.251 | 144.718 | | 73 |
| 胴城 | II 56 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 20 | 10 | 5 | 1.6 | | VII~IX層 | | 46,857.380 | -65,371.185 | 144.898 | | 73 |
| 胴城 | II 57 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 17 | 16 | 6 | 1.9 | | VII~IX層 | | 46,857.487 | -65,371.098 | 144.810 | | 73 |
| 胴城 | II 58 | 自然石 | 緑色片岩 | 23 | 12 | 7 | 2.5 | | VII~IX層 | | 46,857.478 | -65,370.983 | 144.658 | | |
| 胴城 | II 59 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 22 | 20 | 13 | 7.4 | | VII~IX層 | | 46,857.800 | -65,369.754 | 144.799 | | 73 |
| 胴城 | II 60a | 自然石 | 黒色片岩 | 19 | 13 | 7 | 2.5 | | VII~IX層 | | 46,858.592 | -65,370.184 | 144.782 | | 73 |
| 胴城 | II 60b | 自然石 | 雲母石英片岩 | 17 | 13 | 6 | 1.8 | | VII~IX層 | | 46,858.592 | -65,370.184 | 144.782 | | 73 |
| 胴城 | II 61 | 自然石 | 雲母石英片岩 | 60 | 37 | 13 | 36.3 | 薄片試料 | VII~IX層 | | 46,858.373 | -65,371.742 | 144.790 | | 73 |
| 胴城 | II 62 | 自然石 | 石英 | 28 | 17 | 10 | 5.7 | | VII~IX層 | | 46,858.254 | -65,372.434 | 144.790 | | |
| 胴城 | 95K1-2 | 自然石 | 黒色片岩 | 32 | 12 | 6 | 5.5 | | | | なし | なし | なし | | 74 |

第4章 まとめと考察

第1節 各遺跡の様相

上泉唐ノ堀遺跡、上泉新田塚遺跡群、上泉武田遺跡、五代砂留遺跡群、芳賀東部団地遺跡、胴城遺跡の各遺跡からは、群馬編年のⅠ～Ⅴ期の5時期のうち、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期の4つの時期に相当する石器群が出土している。ここではそれぞれについて概要を述べるとともに、「群馬編年」(岩宿フォーラム1994、小菅・大工原・麻生2004、関口2010)との比較を、古い順に行うこととする(第212・213図参照)。特に、関口博幸氏はⅠ期・Ⅱ期・Ⅳ期について、さらに前半期と後半期に細分しており、この違いとも比較してみる。

1 各遺跡の文化層の内容

まず、本報告での上武道路関係の各遺跡での石器群の様相と変遷についてみてみることにする。

上泉唐ノ堀遺跡 上武道路基本土層のⅢ層、Ⅳ層、Ⅶ層中からそれぞれ石器群が検出されており、第1・第2・第3文化層の3つの石器文化層と位置付けた。

第3文化層の石器分布は、環状を呈しており、北側に空白をもつことが大きな特徴である。石器組成は、不定形剥片を素材とした小形ナイフ形石器が主体で、石刃、縦長剥片に局部磨製石斧が加わっている。石器の組成と出土層位から群馬編年のⅠ期に相当するものと考えている。

第2文化層からは、石器は見つかっていないものの、落ち込みが3ヶ所確認されており、その検出した層位から群馬編年のⅡ期に相当すると考えている。また、一部に炭化物を含む落ち込みが1ヶ所確認されており、これについてはⅢ期以降の可能性はある。

第1文化層の石器の数は少なく、石器組成までは言及できないものの、出土層位からⅣ期に相当すると考えている。

上泉新田塚遺跡群 上武道路基本土層のⅢ層、Ⅳ層、Ⅵ層中からそれぞれ石器群が検出されており、第1・第2・第3文化層の3つの石器文化層と位置付けた。

第3文化層の石器組成は、削器と石刃を僅かにもつ剥片を主体として構成された石器群で、ナイフ形石器などの主要石器が少ないのが特徴である。石器組成からの比較は難しいものの、出土層位から群馬編年のⅠ期に相当すると見てよいであろう。

第2文化層の石器組成は、削器の存在は確認できるものの、全体的に出土数が少ない傾向がある。石器群のほかに落ち込みが2ヶ所確認されている。石器組成と検出層位から群馬編年のⅢ期に相当するものと考えている。

第1文化層の石器組成は、槍先形尖頭器と縦長剥片だけが出土したものであり、全体を知ることはできないが、槍先形尖頭器の存在と出土層位から群馬編年のⅣ期に相当すると考えられる。

上泉武田遺跡 上武道路基本土層のⅢ層、Ⅳ層、Ⅵ層中からそれぞれ石器群が検出されており、第1・第2・第3文化層の3つの石器文化層と位置付けた。

第3文化層の石器組成は、石刃や縦長剥片を素材とした大形ナイフ形石器、削器、石刃、石核などで構成された石器群で、石刃を素材とした大形ナイフ形石器の存在と出土層位から群馬編年のⅡ期に相当するものと考えられる。

第2文化層の石器組成は、削器と剥片は確認されるものの、ナイフ形石器は欠落しており、石器構成要素が少ない傾向がある。出土層位から群馬編年Ⅳ期前半に相当すると考えられる。

第1文化層からは、槍先形尖頭器だけしか出土しておらず、石器組成まではわからない。槍先形尖頭器の存在から群馬編年Ⅳ期後半に相当すると考えられる。

五代砂留遺跡群 上武道路基本土層のⅢ層、Ⅳ層、Ⅵ層中からそれぞれ石器群が検出されており、第1・第2・第3文化層の3つの石器文化層と位置付けた。

第4章 まとめと考察

第3文化層の石器組成は、彫器、楔形石器、削器を主体とし、剥片と比較して敲石と石核の出土数が多く、接合資料が少ない傾向がある。石器組成と出土層位から群馬編年Ⅱ期に相当すると考えられる。

第2文化層の石器組成は、横長剥片を素材とした小形ナイフ形石器や削器、楔形石器などで構成されており、横長剥片素材の小形ナイフ形石器の存在から群馬編年のⅢ期に相当すると考えられる。

第1文化層からは、槍先形尖頭器だけしか出土していないため、組成までをとらえることはできないが、その存在から群馬編年のⅣ期に相当すると見てよいであろう。

芳賀東部団地遺跡 上武道路基本土層のⅤ層とⅦ層中からそれぞれ石器群が検出されており、第1・第2文化層の2つの石器文化層と位置付けた。

第2文化層の石器組成は、縦長剥片を素材とした大形ナイフ形石器と剥片素材の小形ナイフ形石器、局部磨製石斧を主体として構成されており、大形ナイフ形石器の割合が多い傾向が見られる。また、環状ブロック群が2ヶ所検出されており、石器組成や石器群の分布から群馬編年Ⅰ期に相当すると考えられる。

第1文化層の石器組成は、石刃素材の大形ナイフ形石器と削器や石刃で構成されており、礫群と土坑を伴う集石が検出されている。石刃素材の大形ナイフ形石器の存在と、出土層位から群馬編年Ⅱ期に相当すると考えられる。

胴城遺跡 上武道路の基本土層のⅢ層中から、小型の黒曜石製のナイフ形石器を含む石器群と、石刃技法の石器群が出土しており、第1文化層として位置付けたが、石刃技法の存在から群馬編年Ⅳ期に相当すると考えた。

2 各文化層の石器組成

第223・224図は、各遺跡の文化層の主要な石器組成について、群馬編年の段階設定に基づいて構成したものである。この図からは、Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅳ期と重層した文化層をもつ遺跡が多いことがわかる。Ⅰ期の遺跡が多いのは、群馬県の旧石器時代の大きな特徴であるが、上武道路関係で調査された遺跡においても、この傾向が追認されている(第1表参照)。Ⅱ期についても、Ⅰ期と同様に遺跡数が比較的多い傾向がある。従来は遺跡数が少ないと見られてきたⅢ期については、上武道路関連の遺跡においてはやや多い傾向が窺える。しかし、石器の点数や石器組成などがⅠ期・Ⅱ期と比較して貧弱であり、充実した内容とは言えない。Ⅳ期の遺跡数もやや多い傾向が窺え、大間々扇状地から赤城山南東麓にかけて、槍先形尖頭器を石器組成とする遺跡が多い傾向と一致している。しかし、本報告書に掲載した遺跡では、3遺跡から槍先形尖頭器がそれぞれ1点しか出土しておらず、狩猟の場で消費されたものであるかもしれない。Ⅴ期は、これまでの上武道路関連の調査ではまったく検出されていない。しかし、赤城山南麓でも鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡(標高150m)、頭無遺跡(標高120m)、柘形遺跡(標高430m)、柏倉芳見沢遺跡(標高360m)、市之関前田遺跡(標高290m)、馬見岡遺跡(標高125m)など、標高にはあまり関係なく小河川寄りの位置からⅤ期に相当する遺跡が発見されており、赤城山から延びる樹枝状の台地を横切るように通過する上武道路において、まったく発見されていないことが不思議である。

3 各ブロック群の様相

次に、各遺跡における石器の分布状況と、場の機能について検討してみる。

上泉唐ノ堀遺跡の1号ブロックの分布状況(第214図)は、北半の石器分布が希薄であり、いわゆる「弧状ブロック群」なのだが、局部磨製石斧などの石器組成や剥片剥離技術などからみれば、群馬Ⅰ期の時期の石器群そのものであり、この時期に特徴的な「環状ブロック群」と見るのが妥当であろう。このような環状ブロックの一端が欠落することについて、小菅将夫氏は環状を形成する複数集団の一つが集結しなかったことによるとしている(小菅2003)。1号ブロックの西半では、ナイフ形石器などの主要石器が出土しているだけでなく、接合資料が多く、敲石や石核も出土していることから、この部分が石器製作の場である可能性が高い。

一方、南側に位置する3号ブロックでは、1号ブロックと異なり接合関係がなく、局部磨製石斧と石刃などの利器が僅かに出土しているだけであることから居住空間の可能性もある。これについては、環状ブロックには、別のブロックが付帯する事例もあることから、1号ブロックと同時存在であるとすると同一集団による場の機能区別が表れている可能性がある。さらに、石材の分布では、黒曜石は1号ブロックの中央部から西半に偏った分布をし、黒色安山岩の原石からの分割も西側でしか確認されていない。これらのことから、西側と東側では場としての何らかの違いがあったこと

がわかる。

上泉新田塚遺跡群では、第3文化層で9ヶ所のブロックを検出したが、この中で2号ブロックと4号ブロックでは石刃と石核が集中しているだけでなく、黒色安山岩の接合資料がほとんどこの2ヶ所に集中しており、接合関係から見ても石器製作の場と考えられる。

上泉武田遺跡の第3文化層では、長さ約60m、幅約16mの範囲で全体に弧状に分布する9ヶ所のブロックを検出し、これを「弧状ブロック」と認識した。このような分布状況は、利根郡みなかみ町の後田遺跡や善上遺跡、渋川市房谷戸遺跡など、群馬Ⅰ期からⅡ期にかけての遺跡で特徴的に認められる(麻生2009)。接合資料の分布では、大部分が同一ブロック内で完結している事例が多く、関口氏はⅠ期の環状ブロック群から弧状ブロック群への変換と捉えているが、上泉武田遺跡でも同様の考えが可能であろう。また、ナイフ形石器や彫器などの主要石器は全体としては少なく、石器製作に関係する敲石は5号ブロックと7号ブロック、石核は3号ブロックを除く各ブロックに存在し、接合資料もほぼ全域に分布することから、上泉武田遺跡のブロックにおいては、石器製作の場としての機能が優先されたものと考えられる。

五代砂留遺跡群の第3文化層では、長軸約43.5m、短軸約10mの範囲から16ヶ所のブロックを検出した。石器が集中するのは第2ブロックと第7ブロックを中心とした西半で、主要な石器であるナイフ形石器や彫器、削器なども同様に西半を中心に分布している。また、点数は少ないものの、碧玉が石器分布域のほぼ中央から石刃・石核とともに出土しており、注目すべき存在である。接合資料は多くはないが、大部分の資料が個々のブロック内で完結する。こうした点から上泉武田遺跡と同様に、群馬Ⅰ期からⅡ期にかけて特徴的にみられる、環状ブロック群から弧状ブロック群への変換の特徴を表していると考えられる。

芳賀東部団地遺跡で注目されるのは、第2文化層のD区の集石とその下部で検出した土坑である。特異な遺構であり、第4章第3節で詳述する。また、Ⅰ区の礫群は、長軸約6.5m、短軸約2.5mの範囲に分布しており、礫群の点数は少ないものの、北西部分から出土した接合関係の見られる礫は、被熱によると思われる破砕が認められた。県内の礫群で同様の事例は無く、貴重な検出例となった。また、第3文化層のB区とE区で環状ブロック群が検出されている。B区では5ヶ所のブロックで構成されており、北西部に1号ブロックの1か所の密集部分、南東部には3号ブロックと4号ブロックの2ヶ所の集中部分があり、北東部の2号ブロックと南西部の5号ブロックの石器分布は希薄で、中央部にはブロックは検出されておらず、全体としてやや楕円形を呈する環状ブロックである。E区では1号ブロックから8号ブロックの8か所が環状に分布し、内側に9号ブロックと10号ブロックの2ヶ所のブロックが存在する。各ブロックの石器の集中度はほとんど同じである。B区とE区のそれぞれの分布範囲は、B区が長軸約36m、短軸約24mの楕円形、E区が長軸約20m、短軸約15mの楕円形である。石器の分布では、ナイフ形石器などの主要な石器は少ないものの、E区はB区よりは全体に出土点数も多く、石材では黒色安山岩と黒色頁岩が全体に分布するが、ブロック別では黒色安山岩を主体とするのが多い。接合資料の多くは、両区とも同一ブロック内で接合が完結し、ほぼすべてのブロックで剥片剥離作業が行われていることが確認できる。したがって、大部分が石器製作の場と考えられる。

桐城遺跡からは黒曜石を主体とする石器群を検出しており、原産地はすべて星ヶ塔との結果が出ている。この黒曜石の状況については、第5章第1節及び第3節で詳述する。

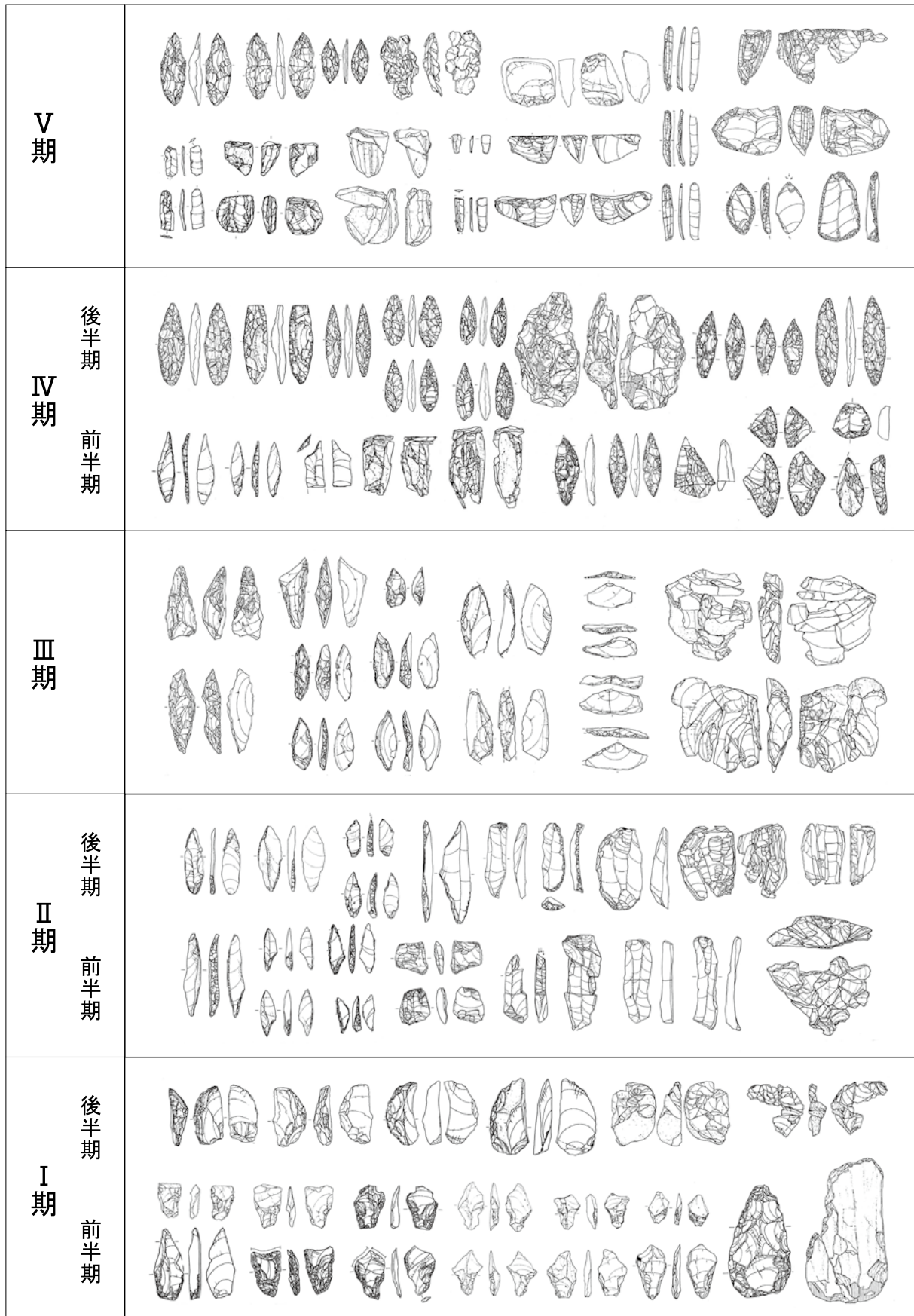
4 各石器群と群馬編年

次に、各遺跡出土の石器群と群馬編年との関係および編年各期について説明することとする。

(1) 群馬Ⅰ期

群馬編年Ⅰ期は、始良Tn火山灰(AT)より下位、Hr-HA上位の暗色帯中の下半部を出土層位としている。この時期は南関東の武蔵野編年のⅩ層からⅨ層下部にかけてで、相模野編年の第Ⅱ期と対比される。

この石器群の時期は、剥片素材の尖刃(いわゆるペン先形)や斜刃・平刃(いわゆる台形様石器)の小形ナイフ形石器を中心とし、石刃あるいは縦長剥片を素材として基部や先端部に調整を施した大形ナイフ形石器を少量に、その他の主要な石器として搔器、削器、打製石斧、局部磨製石斧などが出土している。ナイフ形石器の形状には多種がみられ、石刃素材のものが少なく、ペン先状や台形状の形状が多いが、これについては、それぞれの定義付けをして「ペン先形



第213図 群馬の旧石器時代石器群の変遷(関口2010より引用)

ナイフ形石器」や「台形様石器」などの呼称を使用する研究者もいる。石器石材は群馬県内の在地系の黒色安山岩が多数を占め、同じ在地系である黒色頁岩も利用されている。これ以外では、チャートや遠隔地系である長野県諏訪地方や栃木県高原山の黒曜石が一部用いられている。

また、この時期の石器の分布状況には、20～50mの規模で「環状ブロック群」と呼称される中央部に空間をもちリング状に石器が分布する特異な形態が存在する。最大規模の50mの分布を誇る栃木県佐野市の上林遺跡、伊勢崎市赤堀町の下触牛伏遺跡や長野県信濃町の日向林B遺跡、千葉県四街道市の池花南遺跡などを代表とする特徴的な分布で、全国的に見ても群馬県や千葉県での検出事例が多い(岩宿フォーラム1993、小菅2000、日本旧石器学会2006)。

この時期の代表的遺跡としては、渋川市房谷戸遺跡、同市分郷八崎遺跡、前橋市内堀遺跡、伊勢崎市三和工業団地I遺跡、同市波志江西宿遺跡、同市下触牛伏遺跡、桐生市十二遺跡、みどり市岩宿遺跡、太田市藪塚遺跡、安中市古城遺跡、甘楽町白倉下原遺跡、同町天引狐崎遺跡、藤岡市北山遺跡、高崎市折茂Ⅲ遺跡があげられる。

かつて、麻生と大工原氏は、この時期を3段階に区分した。(岩宿フォーラム1994)そこでは、第1段階は、主として幅広剥片を素材とし、折断調整・平坦剥離・急角度調整・縁辺微調整など多様な調整技術によって整形された小形ナイフ形石器が安定して存在する。一方、大形ナイフ形石器は素材の形状が多様で、打面が残存し微細な基部調整を施した資料が多い傾向があり、搬入品で客体的である。この段階の特徴的な石器である局部磨製石斧は、遺跡ごとの点数は少ないものの、大部分の石器群に普遍的に存在する。

第2段階は、小形ナイフ形石器の折断調整と急角度の調整が主体となり、平坦剥離がほとんど認められない。石刃・縦長剥片系の大形ナイフ形石器は数量が多く、普遍的に存在するが、一方で局部磨製石斧を含む石斧類は減少する。

第3段階は、大形・小形ナイフ形石器共に急角度調整が主体となり、調整自体も丁寧に施され、さらに石刃技法が確立する。局部磨製石斧を含む石斧類は引き続き減少する傾向が認められる。この段階は、さらに武蔵野編年のⅦ層とⅥ層とに細分が可能と想定したが、県内でのⅥ層の資料が当時は少なかった。だが、この段階そのものが、後に新たにⅡ期として分離されることになる。

これに対して、小菅氏は上記の段階をI a前半期とI b後半期とに区分している(小菅2003)。前者は石刃を素材として基部と先端部に加工が施される杉久保系ナイフ形石器と、貝殻状剥片を用いて平坦や斜めの刃部をもつ、あるいは先端部が尖る形態で側縁部に平坦な加工が施された藪塚系ナイフ形石器を主体とし、斧形石器を普遍的に含み、礫器などの大形の石器が多いとしている。後者は、杉久保系ナイフ形石器も含まれるが、石刃を用い対向調整を含む切断技法によって全体形状を整えた茂呂系ナイフ形石器が増加する時期である。藪塚系ナイフ形石器は数が激減し、調整加工もブランディング状の急なものになる。斧形石器を伴うのは稀であるとしている。

この小菅編年と麻生・大工原編年との対比では、第1段階がI a前半期、第2段階がI b後半期に相当するとし、第3段階については後で述べるが、この時期からはずして次の新しい時期としている。これを受けて、小菅氏・大工原氏と共に新編年を組み上げ、従来のI期をI期とⅡ期に細分し、その後はそのまま次の数字の時期に移行する形の、Ⅳ期編年からⅤ期編年に変化することとなった。(小菅・大工原・麻生2004)

さらに、小菅氏はI期を5段階に細分しているが、その段階ごとの内容と推移の解釈にはやや問題があるが、これについては群馬I期の個別の検討課題として、別の機会を設けて考えたいと思う。

一方、関口氏はこの時期を前半期と後半期に区分した。関口氏によると、「前半期はナイフ形石器、ペン先形ナイフ形石器、台形様石器、打製石斧、局部磨製石斧などの石器組成で、環状ブロック群を形成する。武蔵野台地Ⅸ層下・Ⅹ層上段階に相当する。石器石材に黒色安山岩、黒曜石を利用する遺跡が多く、黒色頁岩の割合は低い。黒曜石は信州産と高原山産で、大間々扇状地(桐原面)地域には大上遺跡をはじめ高原山産を利用する遺跡が多く分布している」としている(関口2010)。実際に高原山産の黒曜石の出土が多いのは、大間々扇状地から赤城山南麓を中心とする東毛地域であるが、当該期の遺跡がこの地域からの検出が顕著であることによる可能性がある。また、黒色頁岩の割合も言われるほどは低くはない。

後半期についても関口氏は、「石器組成からペン先形のナイフ形石器や局部磨製石斧が無くなり、環状ブロック群も

次第に姿を消す段階」とし、「ナイフ形石器には弧状の一側縁加工が見られ、石器数量は多いもののツール自体の数は減少し、ナイフ形石器を少量組成する程度で主体は不定形剥片である」としている。このことは、「房谷戸遺跡や堀下八幡遺跡で不定形剥片生産に関連する接合資料が、多数確認された」ことでも立証されている（関口 2010）。

(2) 群馬Ⅱ期

群馬編年Ⅱ期は、始良Tn火山灰(AT)下位から暗色帯上半部が出土層位である。主要な石器である、ナイフ形石器は大形・小形とも急角度調整が主体となり、調整自体も丁寧に施され、その素材となる石刃技法が確立する。石斧は引き続き減少する傾向にある。この段階は、石器群の様相から武蔵野編年のⅦ層とⅥ層とに細分が可能と想定した。

この時期の遺跡は、利根川上流部と赤谷川の合流地点付近から沼田盆地周辺にかけてと、やや下流の赤城山西麓の利根川左岸の急傾斜な崖をもつ上位段丘面の上面、さらに赤城山南麓の丘陵部にかけて分布している。前者は群馬での在地系と称される黒色安山岩（産出地が武尊山北面周辺）や黒色頁岩（産出地が三国山から赤谷湖周辺の赤谷層）の産出地に近接していることから、石器石材の採取拠点と考えられている。後者は獲物となる動物の集まる場所である湧水や沢を見下ろせるという環境であり、さらに関東平野の縁辺部という地形が、山から平野への出入り口、あるいは山に沿って移動する動物の回遊ルートという意味合いがあるのかも知れない（第7図参照）。

代表的な遺跡は、利根郡みなかみ町大竹遺跡、同町小竹A遺跡、同町善上遺跡、同町後田遺跡、渋川市勝保沢中ノ山遺跡、同市見立溜井遺跡、前橋市熊ノ穴Ⅱ遺跡、伊勢崎市堀下八幡遺跡、同市大上遺跡などがあげられる。

関口氏はこの時期を前半期と後半期に区分するなかで、「前半期にはナイフ形石器、楔形石器、彫器、大形石刃を主に組成する」とし、「典型的な石器群として大上遺跡第3文化層や上泉唐ノ堀遺跡第2文化層をあげており、ナイフ形石器は石刃素材で二側縁加工より打面除去して柳葉形に整形したもの、基部を尖頭形に作出し二側縁加工で有肩形に整形したものが特徴である」とした（関口 2010）。また、「ほかに剥片素材の弧状の一側縁形もある。大上遺跡第3文化層では同一規格と考えられる有肩形のナイフ形石器がまとまって出土した。このようにⅡ期前半期のナイフ形石器は形態及び大きさのバリエーションが豊富であると同時に、同一形態・同一規格のものを量産する傾向がある。大形の石刃は平坦打面で単設打面からの剥離痕を持つものが多い。搬入品で遺跡内での石刃生産の痕跡を持たないため、剥離工程を復元できる接合資料に乏しい。大形石刃に関する石刃技法の詳細な技術は判然としないが、Ⅱ期前半期になると石刃生産の頻度が高まったのは確実である。石刃生産には黒色頁岩の利用頻度が高い。大形石刃素材のナイフ形石器や彫器、大形石刃を組成するものの、遺跡内における剥片剥離作業の主体は石刃生産ではなく、黒色安山岩・黒色頁岩製円礫を搬入した大量の不定形剥片生産である。これがⅡ期前半期の特徴の一つ」と述べ、いわゆるⅦ層段階石器群の特徴を指摘している。

なお、関口氏は「Ⅱ期前半期とⅠ期後半期の石器群については、伊勢崎市堀下八幡遺跡や同市塚下遺跡のように、Ⅵ層の特徴をも有するなど編年区分の判断が難しい石器群」とであるとも述べている（関口 2010）。

関口氏は、Ⅱ期前半期の石器分布についても、大上遺跡第3文化層や上泉唐ノ堀遺跡第2文化層、伊勢崎市書上遺跡第3文化層Ⅰ区のように環状ブロック群に匹敵する規模を持つ大規模ブロック群を形成することを指摘した（関口 2010）。これらについては、「弧状ブロック群」と呼称する関口氏が注目するように、「群馬編年のⅠ期後半期からⅡ期前半期にかけての遺跡は、「環状ブロック群」の衰退後の遺跡構造を解明するうえで、また環状ブロック群と比較して遺跡形成過程を解明するうえで重要」であり（関口2010）、後田遺跡や勝保沢中ノ山遺跡での分析を通じて、筆者もその解明を試みている。（麻生2009）

後半期の石器群の特徴として関口氏は、「黒曜石を主体とした石刃石器群と黒色安山岩・黒色頁岩を主体とした石刃石器群の2つのグループがある。前者のグループは、石刃素材のナイフ形石器、石刃、エンドスクレイパーを組成する石器群で、大上遺跡2文化層や堀越甲真木B遺跡が典型例である。ナイフ形石器は二側縁加工により茂呂型に整形したもので有肩形は見られない。大上遺跡2文化層では二側縁加工を施しても微細な大きさで打面を残したナイフ形石器が複数認められる。亀泉坂上遺跡2文化層では、二側縁加工のナイフ形石器はないものの、黒曜石による両設打面石刃石核からの石刃生産を示す接合資料が確認された。一方、後者のグループは、大形のナイフ形石器、幅広石刃素材のエン

ドスクレイパー、石刃を組成する石器群で、波志江西宿遺跡2文化層や書上遺跡3文化層Ⅱ区が典型例である。石刃技法には、黒色安山岩の円礫を分割するとともに、稜形成を施して石刃生産する接合資料が確認されている。遺跡内に原石（主に黒色安山岩）を搬入し石核調整を施して石刃生産を行っており、また剥離された石刃の廃棄率が高いため接合率も高い」と指摘した。通常の石刃剥離とは異なり、黒色安山岩を用いる点で異質であり、注目しておきたい。

(3) 群馬Ⅲ期

群馬編年Ⅲ期は、始良Tn火山灰(AT)上位から浅間板鼻褐色軽石(As-BP)上位までの間の層位から出土する石器群であり、武蔵野編年のⅣ下・Ⅴ層に対比される。主要な石器は、ナイフ形石器と角錐状石器、円形の搔器、削器、楔形石器などである。最近では、関口氏も指摘する通り、渋川市上白井西伊熊遺跡の第2文化層のように、これまで県内でまったく確認されていなかった、黒色安山岩・黒色頁岩を主に利用した瀬戸内技法の一群からなる石器群が、黒曜石を利用したナイフ形石器と角錐状石器の一群と共伴した事例も確認されている(関口2010)。このうちの「黒曜石の一群は武蔵野編年でのⅣ下・Ⅴ層上部段階の石器群の典型的な石器組成である。その出土層位は、前橋泥流堆積物とAs-Srに挟まれたローム層中で、これにより国府系石器群がAs-BPグループ降下の時期に相当すること」が初めて確認された(関口2010)。

関口氏は太田市「峯山遺跡第1文化層では切出形ナイフ形石器、小形ナイフ形石器、角錐状石器、黒曜石を利用した横長剥片剥離を示す接合資料が確認された」としている(関口2010)。

この時期の群馬県内では遺跡数が極端に少なくなる時期で、その理由については多くの研究者が浅間山の頻繁な火山活動に伴う自然環境の急激な変化に伴う動植物の変移などが要因の一つであると考えられており、その意味で赤城山西麓の渋川市諏訪西遺跡などで指摘されている、浅間板鼻褐色軽石下位の土層中からの炭化物の出土が注目される。そして、人間もまた集団の維持のために狩猟に適したよりよい場所に移動したであろうと推察するのが一般的である。一方、この時期に武蔵野台地や相模野台地などの南関東地域で遺跡数が著しく増加する。これらの様々な要因が組み合わさることにより、北関東地域の遺跡数が減少するのに反比例する形で南関東地域での遺跡数が増加する事象との間に、何らかの関係が存在するのではないかという点などについて、小菅氏らの解釈との相互の比較検討が十分必要である。

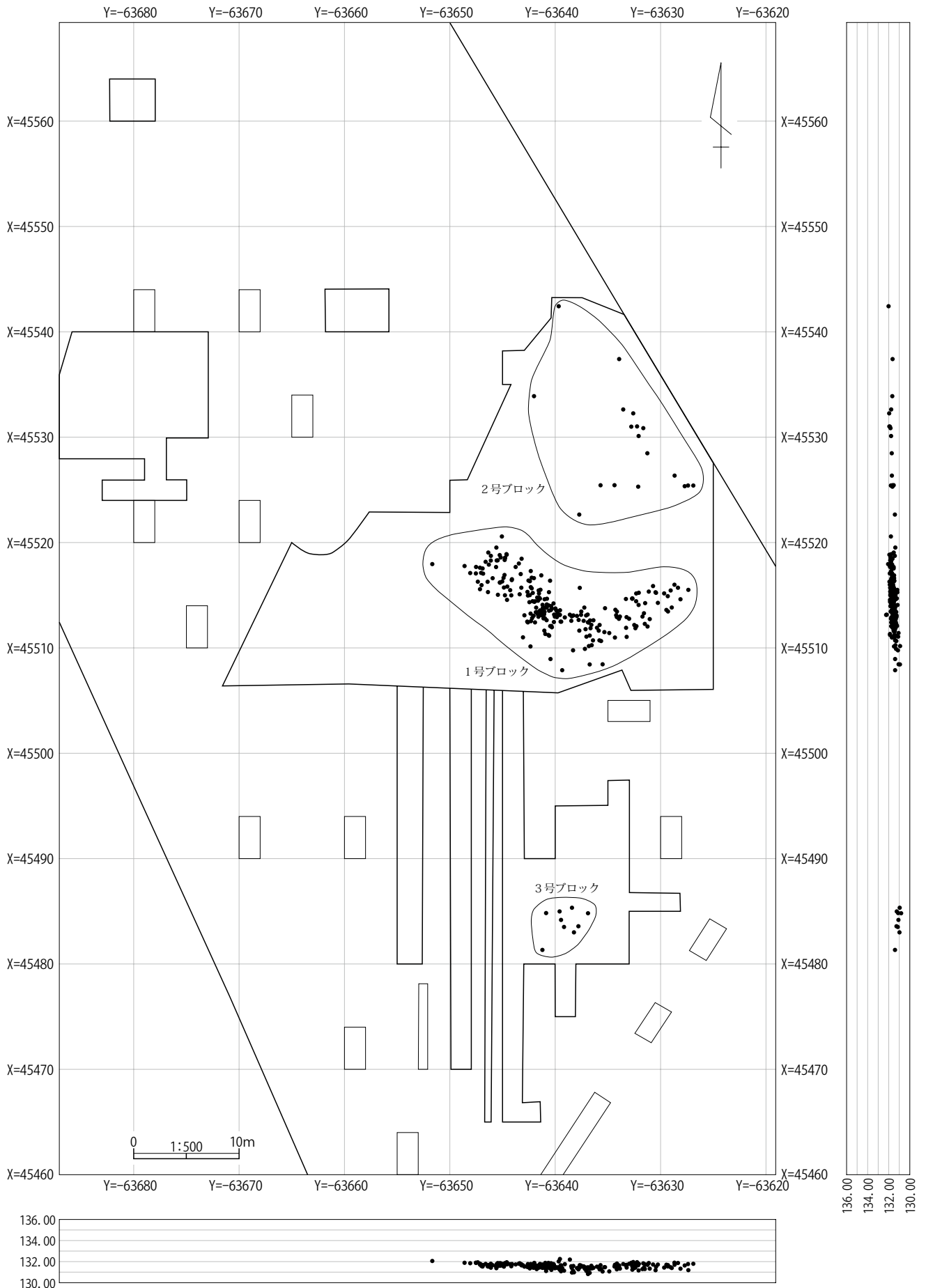
また、時期の遺跡は、遺跡数が少ないために正確かどうかははっきりしないが、前段階のⅠ期からⅡ期にかけてでも述べたように赤城山西麓の利根川左岸の急傾斜な崖をもつ上位段丘面の上面、あるいは赤城山南麓の丘陵部にかけて分布する傾向がある。代表的な遺跡ではみどり市岩宿遺跡、渋川市北町遺跡などがある。注目なのは、先に述べたように上西日本の瀬戸内地域から関西地方にかけての特異な石器製作技術である『瀬戸内技法』を用いた国府型ナイフ形石器が、白井西伊熊遺跡で在地系の黒色安山岩などを用いて多量に製作されており、その内容が本場に匹敵するものである点は、研究の再構築を余儀なくさせると共に、喫緊の課題でもある。また、前橋市富田宮下遺跡からも単品ながら、県内でも数少ない黒曜石の国府型ナイフ形石器が出土している。

関口氏は、「群馬でのこの時期の特徴である遺跡数の減少の状況について、群馬と比べて大宮台地・武蔵野台地で遺跡が多いとし、群馬ではブロック・礫群も小規模な遺跡が多く、大規模な遺跡が多い大宮台地・武蔵野台地とは対照的である」としている。また、「この旧利根川で結ばれた上流域の群馬と下流域の大宮台地・武蔵野台地との間に偏在した遺跡分布がみられることについて、この現象は群馬編年のⅣ期前半にも続くが、この現象の背景には、As-BPグループ降下と前橋泥流の発生・利根川扇状地の埋没が石器石材採取地や狩場の壊滅をもたらしたため、旧石器人の移動範囲が変化し埋没利根川扇状地の周辺地域に遺跡を残す機会が減少した可能性が考えられる」としているが、傾聴に値する意見である。

一方、今回だけでなく、上武道路関係の旧石器遺跡では、石器群の量や内容こそ少ないものの、遺跡数だけではこの時期が多い。これだけを見て考えると、前記した火山活動などの影響があまりなかったのではとの感じも浮かんでくる。

(4) 群馬Ⅳ期

群馬編年のⅣ期は、浅間板鼻褐色軽石と浅間大窪沢第1軽石との間であり、武蔵野編年のⅣ中・上層に対比される。槍先形尖頭器とナイフ形石器、それに彫器と搔器が特徴的な石器群である。

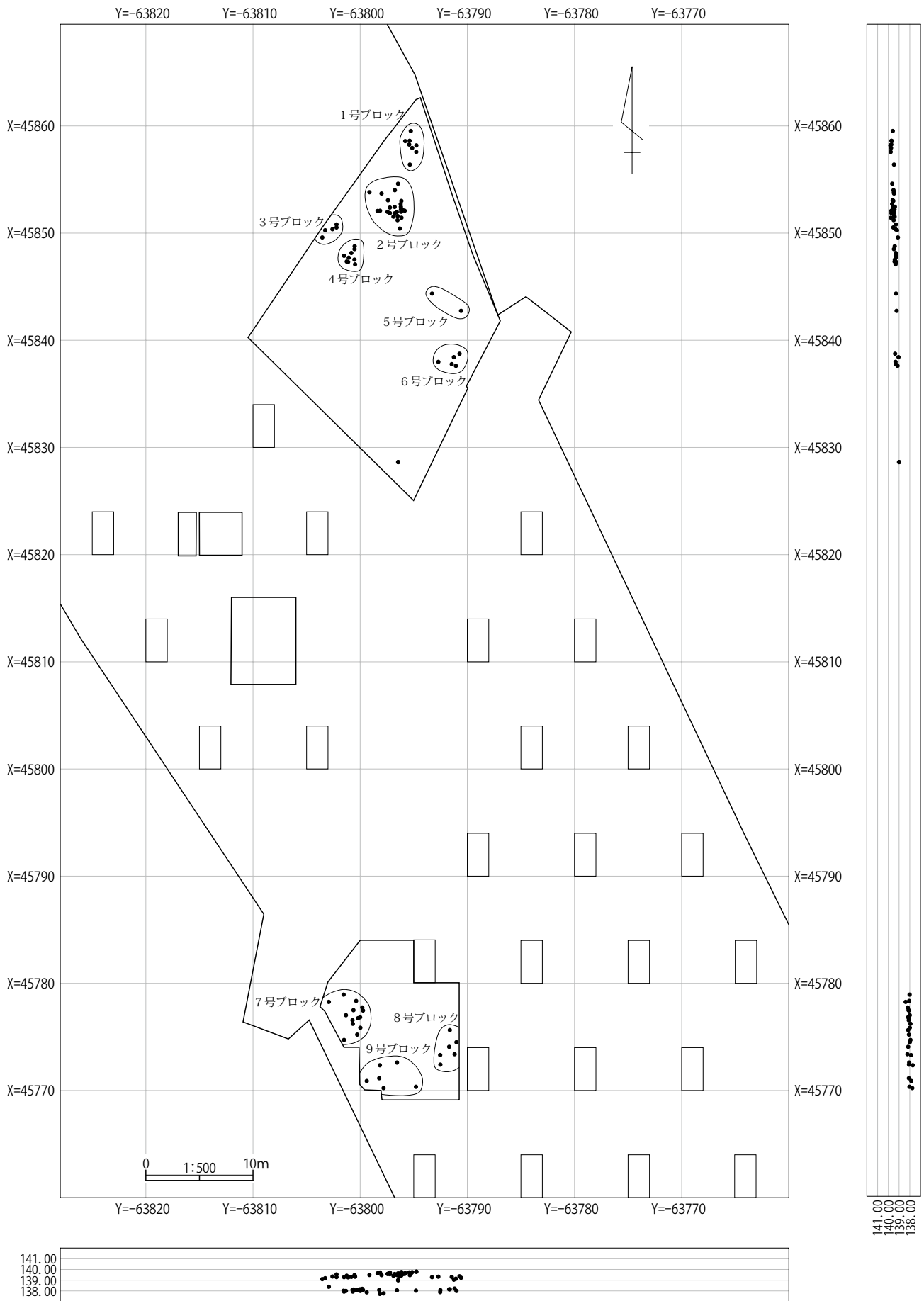


第214図 上泉唐ノ堀遺跡拡張1・5区のブロック別分布図

第4章 まとめと考察



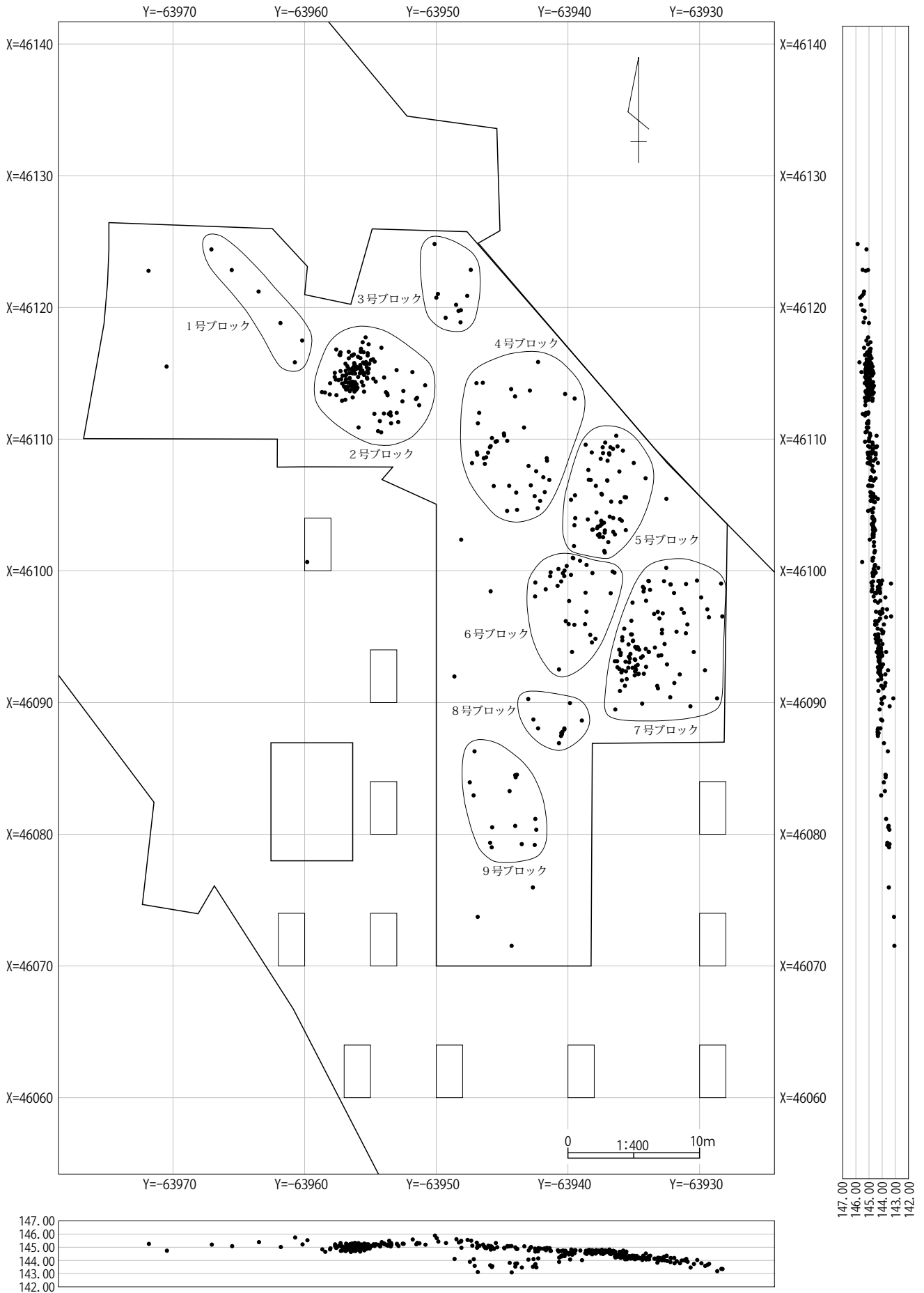
第215図 上泉新田塚遺跡群第2文化層のブロック別分布図



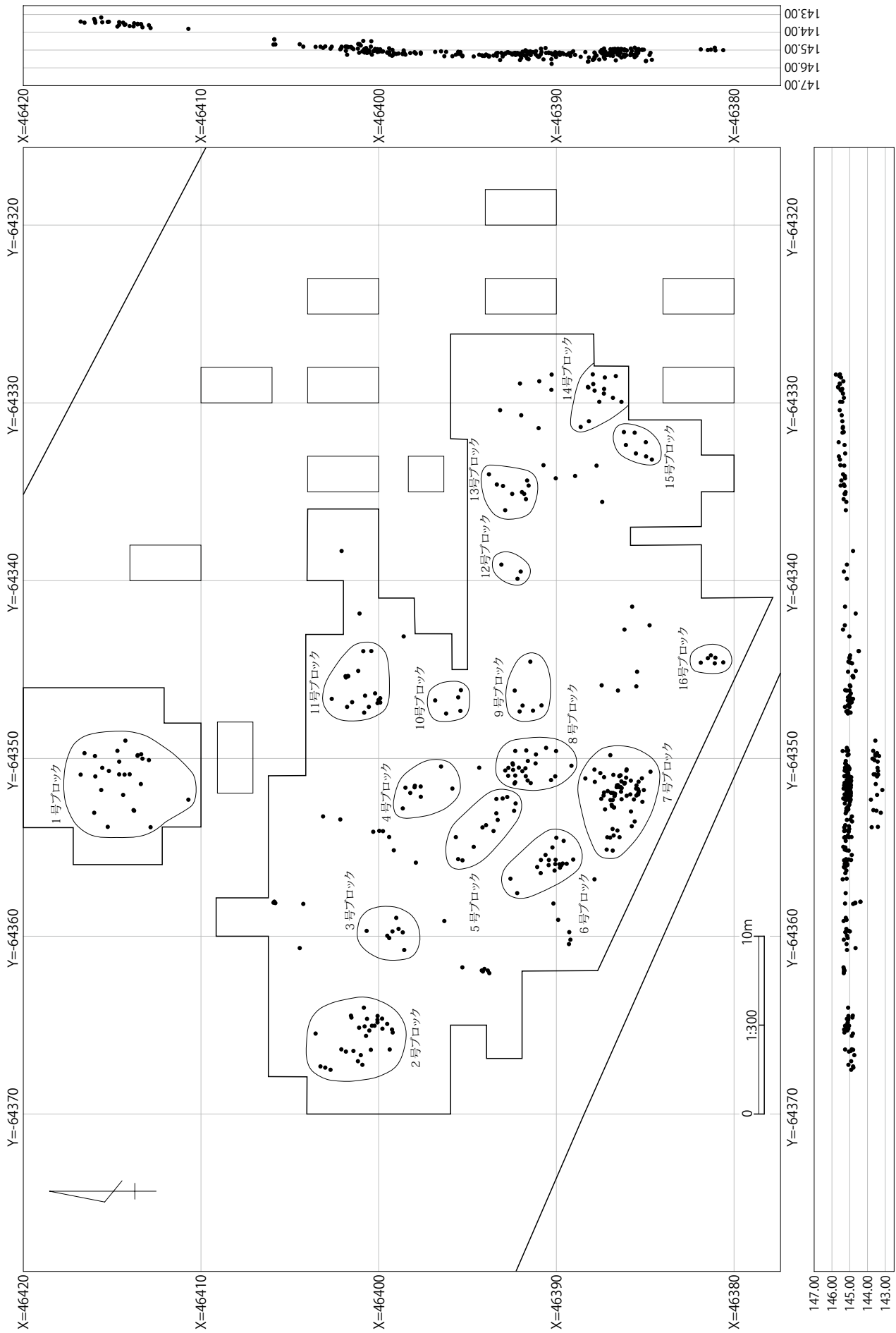
第216図 上泉新田塚遺跡群第3文化層のブロック別分布図



第217図 上泉武田遺跡第2文化層のブロック別分布図



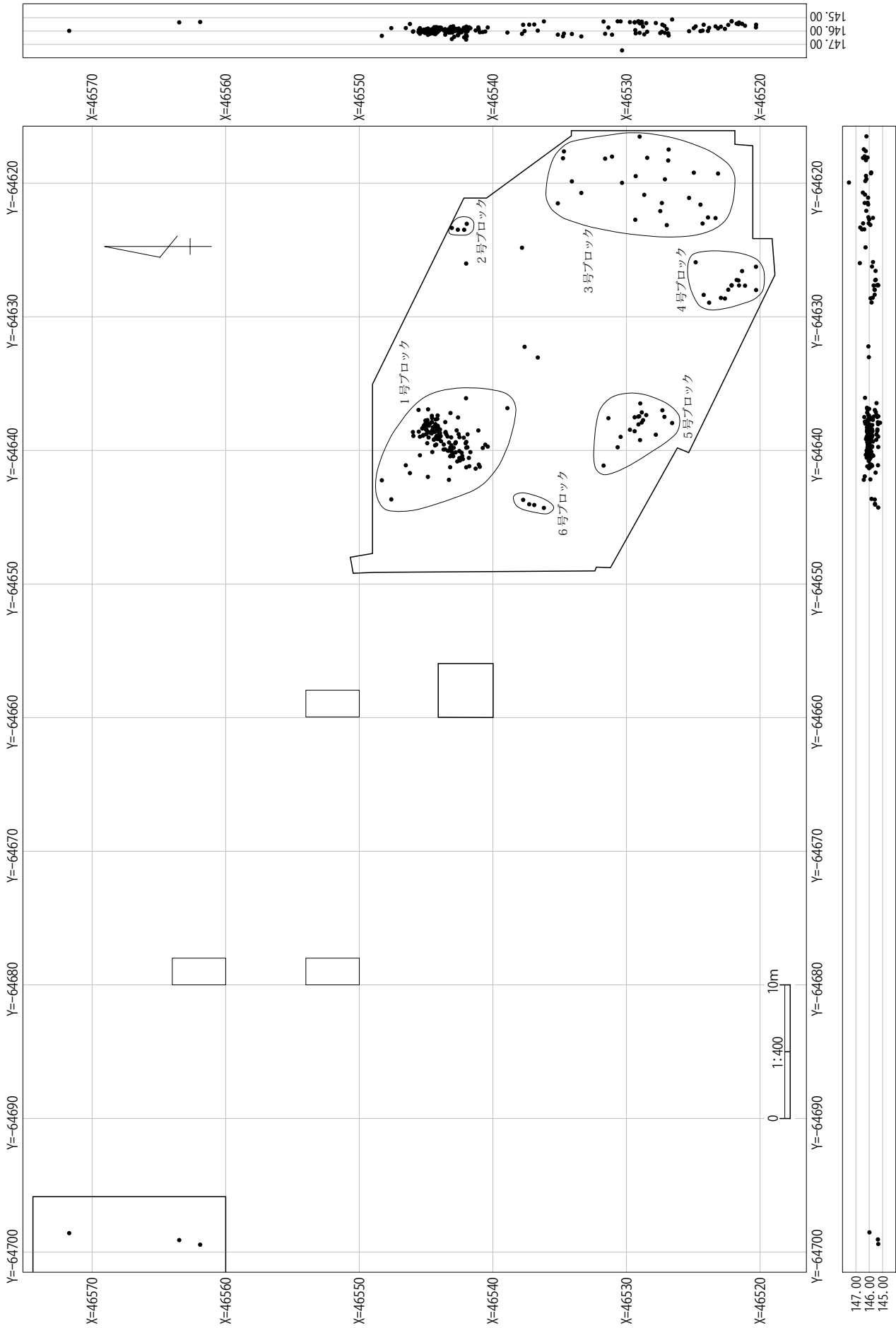
第218図 上泉武田遺跡第3文化層のブロック別分布図



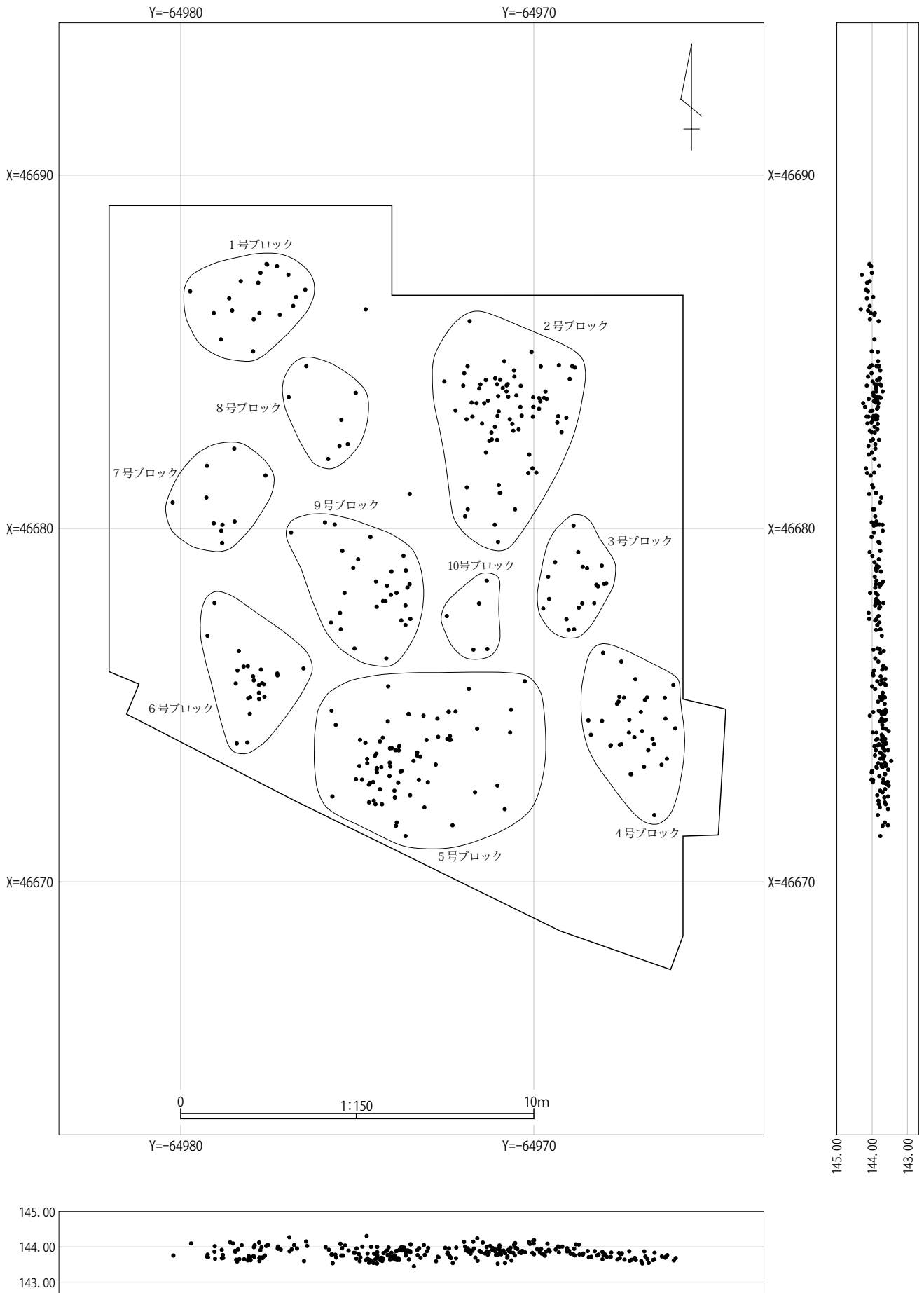
第219図 五代砂留遺跡群拡張7区のブロック別分布図



第220図 芳賀東部団地遺跡I区のブロック別分布図



第221図 芳賀東部団地遺跡B区のブロック別分布図



第222図 芳賀東部団地遺跡E区のブロック別分布図

県内の槍先形尖頭器を含む遺跡群の位置付けについては、県内の研究者の間でも見解が分かれている。軽部達也・中島誠両氏や筆者は大筋では同様に、御正作遺跡を古く、次に下触牛伏遺跡や武井遺跡で、見立溜井遺跡を新しく位置付けるのに対して、小菅氏は、当初は石刃素材のナイフ形石器が多いものの、槌状剥離を有する尖頭器の下触牛伏遺跡が古く、武井遺跡や元宿遺跡、邑楽郡大泉町御正作遺跡、三ッ屋遺跡を新しく位置付けている。さらに、下触牛伏遺跡をⅢaとⅢbの2時期に細分している。

また、槍先形尖頭器そのものも形態などから小菅氏が三ッ屋遺跡を古く、次に元宿遺跡を位置付けるのに対して、軽部氏・中島氏や筆者は三ッ屋遺跡を中頃に、元宿遺跡を新しく位置付けるなど、研究者の中での見解も様々である。

第7図を見ると、Ⅰ期終末からⅢ期にかけての遺跡はいくつもの河川の流域の周辺の丘陵地にまとまって分布している。その中でも武井遺跡の槍先形尖頭器を中心とした武井Ⅱ石器文化は、全国的にみても規模が大きく、ここで製作された石材は渡良瀬川で採集されるチャートの他に、長野県の和田峠・星ヶ塔や栃木県の高原山の黒曜石、東北地方の硬質頁岩(珪質頁岩)などが使用されている(岩宿フォーラム1997)。ここで製作された槍先形尖頭器は、周辺の遺跡へと供給された可能性が小菅氏らにより指摘(笠懸野岩宿文化資料館1992)されており、こうした石材や石器の流れから、人の行動も把握できる可能性が考えられている。

代表的な遺跡は、渋川市見立溜井遺跡、前橋市三ッ屋遺跡、桐生市武井遺跡、同市元宿遺跡、太田市東長岡戸井口遺跡、大泉町御正作遺跡などがある。特に、東長岡戸井口遺跡はⅡ期からⅢ期への変遷過程を考える上で重要な遺跡である。

前半期石器群について関口氏は、「前半期は、武蔵野台地Ⅳ層中・上部の砂川期に相当する。石刃素材のナイフ形石器、エンドスクレイパー、石刃、槍先形尖頭器を組成し、石刃技法が主体となる砂川期石刃石器群である。群馬では東長岡戸井口でチャートを利用したまとまった石刃石器群が出土している程度で、石刃石器群を残す遺跡がとても少ない」とした。

また、同時期には「黒曜石を利用した有槌尖頭器石器群があり、男女倉型有槌尖頭器を伴う一群と東内野型有槌尖頭器を伴う一群の二つグループが認められる。前者には、前橋市富田下大日遺跡第1文化層、伊勢崎市本関町古墳群、藤岡市北山B遺跡、高崎市神保富士塚遺跡がある。いずれも小規模な石器群で砂川期石刃石器群との共伴の事例はない。後者には、前橋市今井三騎堂遺跡第Ⅱ文化層があり、東内野型有槌尖頭器のほかに大量の彫器と搔器とを共伴している。原産地分析の結果、これらの遺跡出土の男女倉型有槌尖頭器と東内野型有槌尖頭器の黒曜石は和田峠産と判明した(関口2010)。また、この段階の特徴的な石器である有槌尖頭器の削片・彫器削片を組成する石器群が波志江西宿遺跡2文化層と書上遺跡2遺跡第1文化層・第2文化層などで出土し、前者では石刃と搔器、後者では小形の石刃素材ナイフ形石器をそれぞれ共伴している。下触牛伏遺跡第Ⅰ文化層では、ナイフ形石器に共伴して彫器とその削片が多数出土している。前半期の石刃石器群と二つの有槌尖頭器石器群を合わせた形での三つの石器群は、層的にAs-Sr降下前後付近からAs-0k1降下前後付近に位置づけられるが、相互の前後関係までは明確にできていない。そこで現状ではⅣ期前半に編年区分した枠内に包括される時間的並行関係にある」と想定した。関口氏は東内野型有槌尖頭器を古く、男女倉型有槌尖頭器を新しく考えているが、上白井西伊熊遺跡での東内野型有槌尖頭器と『瀬戸内技法』を用いた国府型ナイフ形石器が共伴するのであれば、その考えは正しいこととなるが、逆にⅣ期内ではなく、Ⅲ期への位置付けという新たな問題が発生することとなる。

後半期は、「槍先形尖頭器石器群の段階で、槍先形尖頭器の量産に特徴づけられる石器群である。武井遺跡、前道下A遺跡、今井三騎堂遺跡第Ⅱ文化層、梨子ノ木J遺跡などがある。槍先形尖頭器は両面調整を主体とし片面調整、片面調整も見られる。形態は長幅比2:1から4:1の木葉形から柳葉形が主体で、大型から小型まで様々な大きさのものが製作される。多くの遺跡でチャートを利用している。武井遺跡では、千点を超える膨大な槍先形尖頭器が出土し、チャート以上に黒曜石を利用して槍先形尖頭器を製作している。槍先形尖頭器石器群を石器組成とする遺跡は、槍先形尖頭器製作の大規模拠点である武井遺跡を中心として赤城山南麓地域に集中」する傾向が窺えるとした(関口2010)。

これに対して「利根川以西では、鐮川流域の多野郡下仁田町の下鎌田遺跡や子持山南東麓地域の渋川市の吹屋遺跡で小規模な石器群が発見されている程度である。武井遺跡に大量の信州産黒曜石を搬入して槍先形尖頭器が製作している

にも関わらず、赤城山南麓地域と信州黒曜石原産地との中間に相当する利根川以西の地域では、黒曜石を多量に消費する形で槍先形尖頭器を製作する遺跡がとても少ない。この点からも、いかに大量の信州産黒曜石が武井遺跡のみで一極集中して消費されているかが理解できる」と述べた。武井遺跡を中心とする石器の流通と拡散が行われていたことを如実に示している事例と言える。

(5) 群馬V期

群馬編年V期は、浅間大窪沢第1軽石(As-0k1)や浅間大窪沢第2軽石(As-0k2)から浅間板鼻黄色軽石(As-YP)までの時期で、武蔵野編年のⅢ層に対比される。この時期の特徴は、細石核と細石刃からなる細石器石器群を主体とし、彫器や搔器を伴う石器群である。櫻井美枝氏や筆者らは以前に形状や石材から3段階を設定したが、萩谷千秋氏も細石核の形状で細分しており、V a期は「円錐形細石核」で石材は黒曜石が主体であり、V b期は「船底形細石核」で、石材は在地系の黒色頁岩が主体であるとし、V c期は「湧別技法」を中心とした細石刃剥離技術を特徴とする「削片系細石核」で、石材が東北地方の硬質頁岩であることから、大きくは三つの時期差があるとした。

この時期の代表的な遺跡は、渋川市上原遺跡、前橋市市之関前田遺跡、同市榊形遺跡、同市柏倉吉見沢遺跡、同市頭無遺跡、同市鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡、伊勢崎市三和工業団地Ⅳ遺跡、同市舞台遺跡、同市上植木光仙房遺跡、桐生市大雄院前遺跡、みどり市馬見岡遺跡、太田市八ヶ入遺跡があげられる。

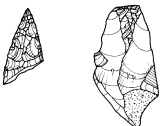
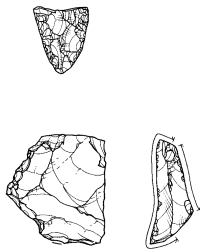
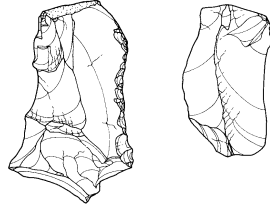
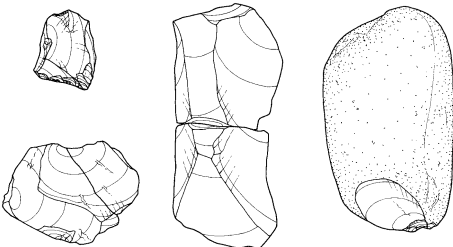
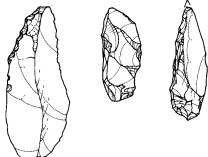
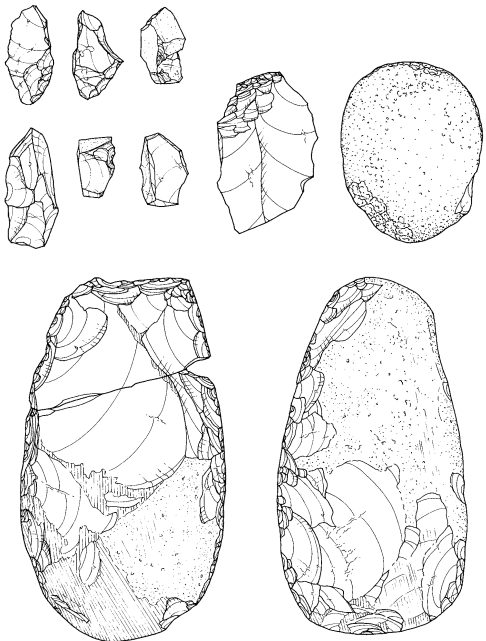
V期の石器群は前記したように細石刃石器群が中心であり、群馬県内では円錐形細石刃核を持つ一群(市之関前田遺跡、三和工業団地Ⅳ遺跡、舞台遺跡)、ホロカ型細石刃核を持つ一群(榊形遺跡、柏倉吉見沢遺跡、上植木光仙房遺跡)、湧別技法による楔形細石刃核を持つ削片系細石刃石器群(八ヶ入遺跡、大雄院前遺跡、頭無遺跡、鳥取福蔵寺Ⅱ遺跡、上原遺跡)の三つのグループの遺跡がそれぞれ分布している。また、馬見岡遺跡では円錐形細石刃核に湧別技法の痕跡を持つ削片が同一ブロックから出土しているが、その評価については意見が分かれる所である。関口氏は、「3グループの石器群はいずれもAs-YP降下以前に位置づけられる。八ヶ入遺跡では一次堆積層のAs-YP直下から削片系細石刃石器群が出土し、As-YP降下以前に石器群が形成されたことが判明した。これは遺跡形成年代がAs-YP降下年代以前であることを明確にしたもので、同じ関東平野の削片系細石刃石器群の編年及び年代を把握していく上で基準となりえる。一方、天ヶ堤遺跡第1文化層ではAs-YP降下付近のローム層からホルンフェルスや溶結凝灰岩など粗粒石材を利用した礫器、石核、大型剥片からなる石器群が出土した。細石刃生産の痕跡はないが、細石刃石器群に伴う大型の礫器製作との関連が想定される石器群である」と述べ、編年指標としての八ヶ入遺跡と、細石刃石器群と同時期の礫器を伴う石器群の存在を指摘した(関口2010)。

As-YP降下後には、細石刃石器群が変わって黒色安山岩や黒色頁岩を利用した大型両面調整の槍先形尖頭器石器群が残される。沼田市下川田平井遺跡や房谷戸遺跡第1文化層や荒砥北三木堂Ⅰ遺跡、伊勢崎市石山遺跡が典型例である。これについては、後期旧石器終末期とも称されている。

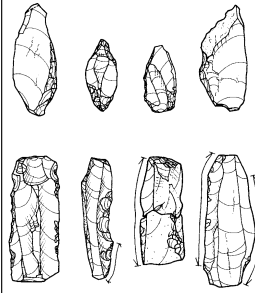
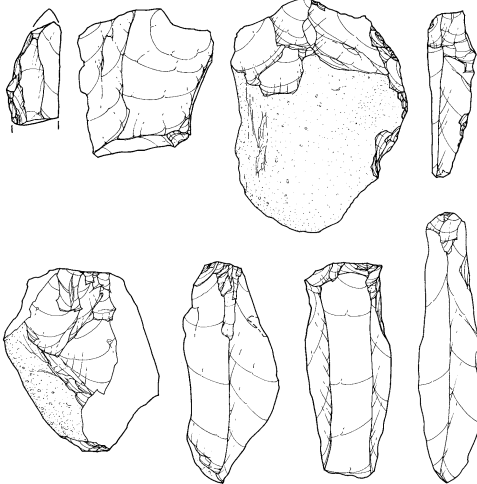
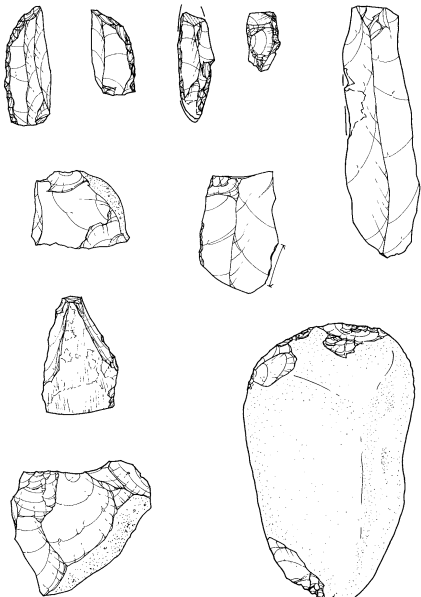
以上、群馬県内の旧石器時代の編年変遷及び内容を記述してきたが、これを通じて上武道路関係のみならず、赤城山南麓から大間々扇状地にかけての地域での旧石器時代の遺跡の概要が理解できたと考える。

参考文献

- 岩宿博物館 2011 『岩宿時代(改訂版)』 常設展示解説図録
- 岩宿フォーラム実行委員会 1993 『環状ブロック群 —岩宿時代の集落の実像にせまる—』 笠懸野岩宿文化資料館
- 岩宿フォーラム実行委員会 1994 『群馬の岩宿時代の変遷と特徴』(麻生・大工原 Ⅰ期、小菅 Ⅱ期、中島・軽部 Ⅲ期、桜井 Ⅳ期) 笠懸野岩宿文化資料館
- 小菅将夫 2000 「環状ブロック群の構造」『考古学ジャーナル』465号 ニュー・サイエンス社
- 小菅将夫 2003 「北関東地域との対比」『第15回長野県旧石器文化研究交流会』 長野県旧石器文化研究交流会
- 小菅将夫・大工原豊・麻生敏隆 2004 『群馬の旧石器』 みやま文庫
- 麻生敏隆 2009 「赤城山西麓・利根川上流域の暗色帯上部段階(後田遺跡・房谷戸遺跡)」『石器文化研究15』 石器文化研究会
- 関口博幸 2010 「群馬における旧石器時代石器群の変遷」『北関東地域の石器文化の特色』 岩宿博物館・岩宿フォーラム実行委員会

| | 上泉唐ノ堀遺跡(8工区) | 上泉新田塚遺跡群 | 上泉武田遺跡 |
|------|---|---|---|
| IV期 | |  |  |
| III期 | |  | |
| II期 | |  |  |
| I期 |  | | |

第223図 遺跡内変遷図(1)

| | 五代砂留遺跡群 | 芳賀東部団地遺跡 | 胴城遺跡 |
|------|--|--|---|
| IV期 |  | |  |
| III期 |  | | |
| II期 |  |  | |
| I期 | |  | |

第224図 遺跡内変遷図(2)

第2節 環状ブロック群の様相

1. はじめに

国道50号線以北の上武道路は、赤城山南麓を南東から北西へ走り抜け、前橋市北部で利根川の低地部に至る。この間約11kmほどであるが、これまで21遺跡中18遺跡で旧石器遺跡が発見されている。赤城山南麓は旧石器遺跡の宝庫であるとされているが、それは上武道路の発掘が証明している。

赤城山麓の端部には典型的な火山麓扇状地が広がり、長い裾野を形成している。そして、この扇状地は大小の河川・湧水により放射状に侵食され、南麓では南北に長い丘陵性の台地が形成されている。これによりこの地域では台地と谷が交互に入り組む起伏に富んだ地形観が展開することになる。国道50号線付近の台地は低台地化しているが、徐々に侵食が深まり、前橋市上泉付近から芳賀地区にかけては台地と低地部の比高差は10m弱になる。本書で報告した6遺跡は侵食が進んだ丘陵性台地の縁辺に立地することが圧倒的である。ここで取り上げた環状ブロック群は上武関連の発掘では3遺跡4地点がある。環状ブロックについてはその発見以来30年が経ち、その分布が全国的に広がることが確認されているが、解釈レベルの研究が先行しており、具体的な資料分析が停滞気味である。

2. 環状ブロック群の特徴と立地

環状ブロック群とは、石器ブロックが空白部を囲んで10～50mの範囲に円形に巡る分布状態を説明したものである。あくまでそれは分布状態を指したものであり、それ以上の意味はない。伊勢崎市下触牛伏遺跡の環状ブロック群が最初の発見とされ、研究史的にも良く知られている。環状ブロック群は発見以来30年が経ち、全国的にも分布が知られるようになり、現在まで102遺跡があるとされている。環状ブロックは後期旧石器時代の初期(今から3万年前)に盛行した集落形態で、これ以後の旧石器遺跡では石器群が環状分布するような遺跡はないとされる。住居などが発見されることが少ない旧石器時代遺跡においては、環状ブロック群は企画性を帯びた遺構(集落)として扱われ注目されている。環状ブロック群の出現背景として集団狩猟説・集団紐帯説・石材交換説などがあるが、近年では定住集落とする見解(出居2005)や季節的集落とする見解(佐藤2006)、異なる集団が残したとする従来の見解に異を唱える単一集団説(稲田2001)など、多様な解釈が示されている。

a. 特徴 環状ブロック群の規模はさまざまで、長軸80m・短軸50mの栃木県神林遺跡のものが最大とされ、径10mほどのもの(岡山県中山西遺跡)が最小とされている。環状ブロック群には台形様石器や局部磨製石斧があり、これに搬入石刃類(石刃ナイフ)が伴う。台形様石器は遺跡内で製作されるのに対し、石刃類は遺跡外から持ち込まれることが多い。接合資料は近接する石器ブロック間で接合するものが大部分であるが、空白部を挟んだ石器ブロック間で接合するものがある。石器ブロックの内側は石器の分布が希薄となり、そこに搬入石器や被熱石器、被熱した礫があることから火処が想定されること、などが早い段階から指摘されていた。このほか、環状ブロック群の外側に弧状ブロック群と呼ばれるものが付帯することも指摘されている。

b. 立地 環状ブロック群には大小があり、さまざまであることは指摘したとおりである。以前、大型のものは低平な台地上にあり、小型のものは丘陵性台地など狭い台地にあることが指摘されたことがあるが、これはいまま変わらない見解としてあるようである。現在、群馬県内には28遺跡31地点で環状ブロック群が確認されているが、上武関連の旧石器遺跡では不確実なものを含め3遺跡4地点に環状ブロック群がある。その立地をしてみると、標高100m弱にある荒砥北三木堂Ⅱ遺跡(第3文化層)は荒砥川右岸の低平な台地上にあるのに対して、上泉唐ノ堀遺跡や芳賀東部団地遺跡は比高差のある台地上にある点で異なる。台地と低地の比高差は侵食が堆積を上まわることにより生じた現象であり、環状ブロック群が残されたときの地形とすることはできないが、荒砥北三木堂Ⅱ遺跡に近い二之宮洗足遺跡の低地では15mほど下層に始良丹沢火山灰があり、今回報告した地域の地形が旧石器的な地形に近い、とすべきかもしれない。また、

上記旧石器遺跡の南には旧利根川の崖線があり、旧石器遺跡の立地を考えるうえで無視できないものがある。現在、崖線は10mほどであるが、新井房夫氏(当時群馬大学教授)の話では、同崖線の露頭に前橋泥流が乗り上げた状態で堆積しているということであり、これが正しいなら現在の崖線は前橋泥流以後形成されたということになる。環状ブロック群が残されたころの地形については不明とせざるを得ないが、旧利根川の流路は重要な移動ルートであり、当時の崖線が現在と変わらないなら、崖線上は狩猟時の絶好の観察ポイントとなるものと見られる。現在まで崖線上の旧石器遺跡については渋川市分郷八崎遺跡が知られているだけであるが、同遺跡の石器群について他の遺跡と異なるという見解は聞いたことがない。上武道路には山麓端部を通過するルートがあり、どのような旧石器遺跡が発見されるだろうか、発掘が期待されている。

3-1. 石器群の構造的理解

上武旧石器遺跡として、荒砥北三木堂Ⅱ遺跡の環状ブロック群が報告されている。本書で報告した3ヶ所の環状ブロック群を加えて3遺跡4地点で環状ブロック群が確認されたことになる。ここでは、今回報告した上泉唐ノ堀遺跡ほか3遺跡の石器製作構造についてまとめようとするものであるが、遺跡の構造性を明らかにしようとする観点から、報告済みの荒砥北三木堂遺跡の環状ブロック群についても取り上げてみたい。

a. 荒砥北三木堂遺跡・第3文化層 この遺跡には第3文化層として3地点があり、近接して南北に並んでいた。それぞれの地点間には接合関係が確認されていないが、相互補完の関係にあることも予想されるため、ここでは地点毎に概要を述べていきたい。

<中央地点> 南北3地点の中央にある石器群で、ここでは便宜的呼称として中央地点と呼んだ。この地点の石器群は東西30m・南北24mの範囲に分布した。石器ブロックは14ヶ所が見込まれ、石器ブロックが環状に巡る中央にも石器ブロック2ヶ所がある。出土石器には局部磨製石斧2点・打製石斧1点・石刃4点があるほか、両極剥片とされたものが特徴的に組成する。石器石材は17種類(礫・礫片を除く)があり、黒色安山岩と黒色頁岩が主体を占め、これ以外数点からなる石材がある。通例、環状ブロック群に伴う台形様石器や石刃ナイフは20mほど南東に離れた石器群に出土しており、環状ブロック群内には発見されていない。石核類は大型剥片を石核としているようであり、遺跡内剥離した剥片類も大型であるものが多い。

接合資料はブロック内や近接ブロック間で接合しているが、南北・東西ブロック間で接合するもの各1例が確認されている。石器ブロックは北東側・南東側ブロックの集中性が高く、西側や南側の分布密度は薄い。北東側・南東側ブロックに接合点数が多く、その他の地点の接合資料は折断剥片同士の接合例が多い。

器種レベルで見ると、石斧類や両極剥片類の分布が特徴的である。石斧類3点は中央ブロックに出土しており、2例の接合関係がある。いずれも刃部再生が行われ、激しく変形していた。両極剥片とされたものは20点があり、南東側のブロックに接合資料2例が分布している。この種の器種に認定されたものは単独で中央ブロックを含む全ブロックにあるように見える。石刃類は3点が北西側に遍在しており、特に記されていないが搬入石器として理解すべきものかもしれない。

石器石材の特徴として、黒色頁岩が北東側・西側・中央ブロックにある。その他の石材としてチャートや珪質頁岩の分布がある。1点のみ出土したチャートが中央ブロックに、珪質頁岩も中央ブロック2点・南側の散漫な分布域に2点があり、少量存在する石材の分布域は遍在するという点で特徴的である。

<南側地点> この地点の石器群は南北2～30m・東西13mの範囲に分布した。石器群は調査区の東に確実に延びる。約150点が出土した。石器ブロックは6ヶ所程度があり、分布密度の高い石器ブロック2ヶ所を挟んで、南北に散漫な石器ブロックがある。石器石材は黒色安山岩が圧倒的多数を占めており、黒色頁岩や珪質頁岩が少量これに加わる。

接合資料は分布密度の高い石器ブロックに集中している。台形様石器や石刃製ナイフは散漫な分布域や周辺部に単独出土している。この地点と中央地点には接合関係が確認されておらず両地点間の関係は不明だが、通常は環状ブロック

群に伴う台形様石器や石刃製ナイフが出土しており、両地点の石器群は同段階のものでありその関係性が問われよう。
 <北側地点> この地点の石器群は南北35m・東西22mの範囲に分布した。中央地点から北西側へ約20m離れており、比較的明瞭な石器集中部7ヶ所があるほか、散漫な分布域が周辺にある。この地点の石器群も調査区西に延びる可能性があり、解釈する際の制約は大きい。約200点が分布し、石器ブロックは南北に並んでいるように見える。接合資料は基本的にブロック内や近接ブロック間で接合するものが主体だが、ブロックを超えて15m・25m離れたブロックと接合するもの2例がある。石器石材は黒色安山岩・黒色頁岩が拮抗した状況で、チャートが少量だが他地点より多く、特徴的である。剥片類主体の石器群だが、原石を完全消費するようなものは1例がある程度で、大部分は石核の部分的消費を示す程度の接合資料が多い。石刃(搬入石器?)が単独出土するほか、二次加工ある剥片1点が出土している。

以上、各地点の分布状況を記した。剥片剥離は良好な剥離面を探し打面転移を繰り返しており、そこで得られた大型剥片を選び、これを石核素材として小型幅広剥片を剥離するというもので、各地点の黒色安山岩に共通した。冒頭で述べたとおり、各地点間に接合関係が確認されないことや、北側地点の全貌も不明であることから、断言することはできないが、少なくとも中央地点と南側地点は同時期の石器群として捉えることができ、南側地点については「非環状集中型」とされるものに近い石器群だろう。

b. 上泉唐ノ堀遺跡8工区・第3文化層 石器群が東西20mに及び弧状分布したほか、やや離れて南北両地点に散漫な石器分布域がある。上泉唐ノ堀遺跡7工区とは同じ台地上の遺跡ということになるが、7工区の石器群とは50mほど離れて8工区の石器群がある。報告書に掲載されている等高線図を見ると、7工区の石器群は尾根上にあり、西側は浅く窪んでいる。これが8工区石器群の分布域(南側分布域)に延びるものと考えている。

約230点が弧状分布したほか、北側に約10m離れて散漫な分布域(約15点)と南側に約25m離れて散漫な南側分布域がある。弧状分布域については本文中で石器ブロックが分離されていないが、6～8ヶ所の石器ブロックが連結しているように見える。出土石器には南側ブロックに局部磨製石斧(上半部破損した2点が接合)と石刃2点が、弧状分布域に台形様石器5点・局部磨製石斧1点の他、石刃類がある。石器石材は8種類(礫・礫片を除く)があり、黒色安山岩が193点(73.9%)を占め、これに黒曜石30点(11.5%)が続く。黒色頁岩は7点と少量だが、局部磨製石斧3点・石刃1点・剥片3点で構成され、客体的存在である。

<弧状分布域> 石器群が弧状分布しており、石器ブロックが近接して連結しているように見える。黒色安山岩5個体・黒曜石3個体が識別されており、それぞれ接合資料が16例52点・3例5点がある。母岩レベルでは黒色安山岩2が全域に分布しているが、東側ブロックの接合資料は部分的で、剥離主体は西側ブロックとするべきである。その他の母岩は両石材とも西側ブロックに偏在する傾向がある。黒色安山岩1・3は北側分布域の剥片類と接合している。通常剥離により幅広剥片を得て、これから選択的に素材を選び、台形様石器を製作している。石核は大型剥片を利用したものはほとんどないようである。本文中で1号ブロックとして報告されている。

<北側分布域> 黒色安山岩6点・黒曜石4点などがあり、散漫な分布状態を示す。黒色安山岩は6点のみだが、うち5点は母岩が異なるものとされた。弧状分布域と接合関係も確認されており、両地点間の同時性は明らかである。本文中では2号ブロックとして報告されている。

<南側分布域> 上半部で破損接合した局部磨製石斧1点・石刃2点・剥片2点からなる。石刃2点は碧玉・黒曜石製で、単独出土している。両石材とも弧状分布域に同質石材があり、搬入石器と断言することはできないが、製品類が集中することは明らかであり、機能的には特殊な場とすることができよう。この地点については本文中で3号ブロックとして報告されている。

以上、各地点の分布状況を記した。弧状分布域と北側分布域の同時性は接合資料の存在から明らかである。南側分布域については接合資料から同時性を検証することはできないが、局部磨製石斧や同質石材の石刃類があり、組成的には同段階のものであることが確実であろう。であるとすれば、上記分布は可能性として環状ブロック群のひとつとすることもできるのではないかと考えている。仮に、これが環状ブロック群であるとすれば、径50m規模となること

が想定されることになるが、石器群が環状分布するとなると、調査区東は調査区外であり、調査区内においても試掘から外れており、分布実態が確定できていない。現状は推測の域を出ない想定というべきであるが、今後これに似た石器分布に注意していきたい。

c. 芳賀東部団地遺跡B区 石器群は、長軸36m・短軸24mに環状分布した。石器ブロックは6ヶ所程度が見込まれ、中心部は空白域となる。総計213点が出土しており、主な石器として台形様石器1点・局部磨製石斧破片1点・石刃製ナイフ3点がある。石器石材は5種類(礫・礫片を除く)があり、黒色安山岩164点(77.0%)が主体を占め、これに黒色頁岩(37点、17.4%)が次ぐ。北東側に石器集中部があり、これ以外は散漫に分布しているが、南西側(5号ブロック)や東側(3号ブロック)に石器類が分布する傾向が明らかである。

接合資料は15例80点があり、いずれもブロック内で接合しているが、1例(黒色頁岩2①)のみブロック間の接合が確認されている。黒色安山岩・黒色頁岩とも3個体がある。黒色安山岩は母岩1・2を北東側集中部で消費しており、剥片(2③)が東側ブロックに持ち出されている。同ブロックには黒色安山岩3としたものがあり、大型剥片素材の石核として小型剥片を剥離しており、小規模だが剥片生産が行われている。これに対して、黒色頁岩の分布域は南西側の地点2ヶ所にある。この地点に黒色頁岩の剥離地点が想定可能だが、接合資料には加工痕や使用痕があり、便宜的に使用されている。

その他の石材には黒曜石・碧玉・変玄武岩があり、東側分布域(3号ブロック)と南西側分布域(5号ブロック)に分布した。黒曜石製の石器類が北東側集中部の周辺に分布しているが、これについての評価は難しい。同地点には黒色安山岩の集中的な剥離地点という性格を与えることができるが、黒曜石製の石器類は剥離作業に付随して用いたということであろうか。

以上、各地点の分布状況について記した。北西側集中部を除き、各分布域には少量の石器類と剥片類が分布することが明らかにされた。後者の分布域は台形様石器その他の石器類があることによりその使用空間とすることができるが、そこでは同時に少量の剥片生産が行われ、それにより得た剥片類が使用されたという構造が抽出できたものと思う。

d. 芳賀東部団地遺跡E区 石器群は、長軸20m・短軸15mに環状分布した。石器ブロックは10ヶ所があり、中心部にも石器分布域がある。計301点が出土した。出土石器に台形様石器その他の主要器種はなく、加工剥片類が少量出土しただけである。石器石材は5種類(礫・礫片を除く)があり、黒色安山岩152点(50.5%)・黒色頁岩130点(43.2%)が多数を占めた。その他の石材には珪質頁岩・チャート・砂質頁岩3石材があり、このうち砂質頁岩は敲石としたもので、剥片生産に係わるその他の石材としては砂質頁岩を除く2石材ということになる。出土した石核には大型剥片を素材に小型剥片を剥離するものは少なく、原石を分割して石核素材とするものが多い。石器分布については比較的均質であるようにみえるが、北西側の分布密度が若干だが低い。

各ブロックには石核や剥片類があり、これにより剥片生産が行われたことが明らかであるが、分布が均質で特徴が見出し難い。このため石材毎の分布状況を踏まえ、接合資料の在り方を見て、場の構造理解を深めていきたい。黒色安山岩は4号ブロックとした南西側分布域を除いて分布、特に2・6・9号ブロックに集中する。接合資料も同様で、前述したブロック3ヶ所に黒色安山岩6①～⑥・⑧が分布、ブロック間で母岩を共有し、原石を消費している。これに似た母岩が黒色安山岩9で、中央分布域を挟んでブロック間(3・4号、6・7号)で母岩消費している。これに対して、個別ブロック内で分布が完結するものが黒色安山岩7・8(5号)・10～13である。

黒色頁岩には13例98点があり、ブロック内で母岩消費するものとして黒色頁岩4～7・9の5個体がある。一方、黒色頁岩8はブロック間で母岩消費したようであり、中央より東のブロック(3～5・9号)に偏在する。この母岩の接合資料は礫表皮を大きく残しており、剥離地点としては5号ブロックが、この過程で得られた分割礫を隣接ブロック(3・4号)で消費したのであろう。

以上、母岩別に接合資料の分布状況を見た。接合資料の分布状況から見る限り、各個体はブロック内で完結する傾向が明らかであり、ブロック間で母岩を共有するものは黒色安山岩1個体(母岩9)、黒色頁岩1個体(母岩8)のみに限ら

れることが判明した。石器群総体として石器ブロックは独立的で、内部の空白域も明瞭ではないことが特徴と言えれば特徴になるだろう。

3-2. 環状ブロック群としての構造的特徴

上記3遺跡にある環状ブロック群は個性的で、構造的類似性を抽出することが難しい。これこそが環状ブロック群の実態であるというべきであるが、類似要素がないわけではない。

まず、荒砥北三木堂Ⅱ遺跡(第3文化層)と芳賀東部団地遺跡B区の環状ブロック群の石器分布に類似性が指摘されよう。両遺跡ともほぼ同サイズの環状ブロック群であり、荒砥北三木堂Ⅱ遺跡の環状ブロック群が北東側および南東側に、芳賀東部団地遺跡B区の環状ブロック群の北東側には集中度の高い石器ブロックがあり、それ以外の石器分布が散漫になるという傾向がある。母岩消費の主体は集中度の高いブロックにあり、その他のブロックでは部分的に剥片生産を行う点で共通する。これは、まさに白倉下原遺跡A区で示された石器製作構造に相似しているといえよう。これに似た石器分布は今井三騎堂遺跡(第Ⅳ文化層B地点)にもあり、分布上の類似性とすることができる。今井三騎堂遺跡では集中性の高い石器ブロック2ヶ所が、剥片類が比較的密集したブロック数ヶ所があり、前者の石器ブロックで母岩を集中剥離したものが放射状に各ブロックに持ち出され、後者では部分的に石核消費され、これが近接ブロックに持ち出されているということが想定されよう。芳賀東部団地遺跡E区の環状ブロックについては原石(石核)消費が各ブロックで完結する傾向が明らかであり、これは渋川市房谷戸遺跡出土の石器群(第Ⅱ文化層)に似た石核消費の在り方といえる。同遺跡石器群については環状ブロック群に後出する編年的位置づけがあり、石器群は二時期に分離できるだろうという指摘がある。房谷戸遺跡の石器群が二時期に分離できることの実態は不明で、未分析でありコメントすることはできないが、母岩消費がブロック単位の行われたことは確実である。これと似た母岩消費が今井見切塚遺跡(第Ⅳ文化層1b地点)に見られる。

これに対して、上泉唐ノ堀遺跡(8工区)出土の石器群は環状ブロック群としてみたが、確証に乏しい点は否めず、今後類例を以て検証していきたいと考える。分布的特徴および器種構成から、環状ブロックが変形したものという評価も可能だろうと考えてみたが、北側分布域が環状ブロック群の環状部であるとすれば、径20m前後の小形環状ブロック群としてその全貌が把握されているといえようが、北側分布域が中央分布域になるとすれば環状部東側は確実に調査区外にあること、また、環状部西側については調査区内にあるものの、この地点で試掘が行われていないなど不確定要素が多く、判断できない。要素的には環状ブロック群とすることもできるが、これについては結論を保留しておきたい。

4. 研究の現状と課題

環状ブロック群に関する研究は、橋本勝雄氏(橋本2010)が詳細に論じている。これによると、初期の集団狩猟説や石材交換説、祭祀場説に変わり、稲田孝司氏による「外部警戒説」や佐藤宏之氏による「紐帯確認説」が注目されるという。後者の説を田村隆氏も支持している。稲田氏によれば環状ブロック群は「よそ者に対する警戒(=身内を守ろうという防衛意識)」の現われであり、また佐藤氏によれば「集団の利害調整=同盟行為の確認」であるという。そう認識する背景としては、領域が形成され固定化されるようになって集団の行動範囲が縮小した結果、集団が集住する必要がなくなり環状ブロック群が消滅したとする理解がある。橋本氏は上述した見解を評価する一方で環状ブロック群が消滅した後、言われるような現象(行動範囲縮小や領域形成)は見られず、気候の寒冷化に伴う集団の分散化や活動範囲の広域化を想定せざるを得ないとしている。

このことについてここで論評する力量はないが、石器群の解釈を巡る研究動向が敏感に報告書の記載・図化法に反映しているということである。砂川遺跡以の方法は石器群を解釈する際の方法的限界が指摘され、それ以後軽視されつつあるように感じる。広域で遺跡が大規模である場合、全体を表現するには個々の石器ブロックを苦心して表現するより、全貌を捉え表現することに傾注しているように見える。隣接する石器ブロック間に接合関係を明らかにしてこれを単位

的石器群と認める手法は砂川以来の方法だが、これも恣意的であるとされてしまうのが現状である。批判は砂川の分析だけで社会や集団が語れるのかということであったはずであるが、記載法としても影響は大きい。果してこれに代わる方法があるのだろうか。本報告においてはこれについてほとんど検討できていないが、環状ブロック群とされるものに大規模環状ブロック群の「均質性」とは異なる構造が見えたように思う。それは集団サイズを反映するものもあれば、段階差を反映するものもあるというべきである。

参考文献

安蒜政雄 1990 「先土器時代の生活空間—先土器時代のムラ」『日本村落史講座二 景観—原始・古代・中世』雄山閣出版

安蒜政雄 2006 「旧石器時代の集落構成と遺跡の連鎖—環状ブロック群研究の一視点」『旧石器研究』2号

出居 博 2006 「環状に分布する石器群に定住性を探る—上林遺跡集落形成論からの視座」『唐澤考古』27号

稲田孝司 2001 『遊動する旧石器人』先史日本を復元する—1 岩波新書

岩宿フォーラム実行委員会編 1993 『環状ブロック群—岩宿時代の集落の実態にせまる—』第1回岩宿フォーラム／シンポジウム資料集 笠懸野岩宿文化資料館

栗島義明 1991 『環状ブロック群—岩宿時代の集落の実態にせまる—』第1回岩宿フォーラム／シンポジウム資料集 笠懸野岩宿文化資料館

小菅将夫 2003 「環状ブロック群研究の現状と課題」『旧石器人たちの活動をさぐる—日本と韓国の旧石器研究から—』講演会・シンポジウム予稿集

大阪市学芸員共同研究「朝鮮半島総合学術調査団」旧石器シンポジウム実行委員会

小菅将夫 2011 「環状ブロック群の消長と局部磨製石斧の変遷」『考古学ジャーナル』618 ニューサイエンス社

佐藤宏之 2005 「環状集落をめぐる地域行動論—環状集落の社会生態学」第3回講演・研究発表シンポジウム予稿集『環状集落—その機能と展開をめぐる—』

須藤隆司 1993 「岩宿時代における「環状集落」の歴史的背景—その視点と課題」『環状ブロック群—岩宿時代の集落の実態にせまる—』第1回岩宿フォーラム／シンポジウム資料集 笠懸野岩宿文化資料館

大工原豊 1990・1991 「AT下位石器群の遺跡構造と分析に関する一試論」『旧石器考古学』41・42 旧石器考古学談話会

谷 和隆 2005 「日向林I石器文化の環状ブロック群」『地域と文化の考古学I』明治大学文学部考古学研究室

津島秀章 2007 「環状ブロック群」『紀要』25 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

日本旧石器学会編 2005 第3回講演・研究発表シンポジウム予稿集『環状集落—その機能と展開をめぐる—』

橋本勝雄 1989 「環状ブロック群」『考古学ジャーナル』 ニューサイエンス社

橋本勝雄 2005 『日本旧石器学会 第3回講演・研究発表 シンポジウム予稿集 環状集落—その機能と展開をめぐる—』日本旧石器学会

橋本勝雄 2010 「— ナイフ形石器文化前半期の居住様式」『講座日本考古学 旧石器時代II』青木書店

第24表 群馬県内「環状ブロック群」検出遺跡一覧

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | 層位 | 地点名 | 文化層 | 規模 | 類型 | 備考 |
|----|--------|----------|------|------|-----|---------|------|------------|
| 1 | 分郷八崎 | 渋川市 | AT下位 | | | 24×21 | II b | |
| 2 | 白倉下原 | 甘楽郡甘楽町 | AT下位 | 1 | II | 20×18 | II a | |
| 3 | 白倉下原 | 甘楽郡甘楽町 | AT下位 | 2 | II | 19×18 | II b | |
| 4 | 天引向原 | 甘楽郡甘楽町 | AT下位 | | II | 36×24 | I a | |
| 5 | 天引狐崎 | 甘楽郡甘楽町 | AT下位 | | | 16×16 | I b | |
| 6 | 古城 | 安中市 | AT下位 | C区 | | 20×18 | II b | |
| 7 | 北山 | 藤岡市 | AT下位 | | | 19×18 | II b | |
| 8 | 北山B | 藤岡市 | AT下位 | | | 19×18 | II b | |
| 9 | 多比良追部野 | 高崎市 | AT下位 | | | 23×13 | II a | 北東に延びる？ |
| 10 | 折茂Ⅲ | 高崎市 | AT下位 | | | 28×22 | I a | |
| 11 | 白川傘松 | 高崎市 | AT下位 | | | 32×20 | I a | |
| 12 | 白岩民部 | 高崎市 | AT下位 | 2 | | 40×35 | I a | |
| 13 | 三ツ子沢中 | 高崎市 | AT下位 | | | 29×17 | I a | |
| 14 | 上泉唐ノ堀 | 前橋市 | AT下位 | 8工区 | Ⅲ | 35×25 | I b | |
| 15 | 芳賀東部団地 | 前橋市 | AT下位 | B区 | 3 | 36×24 | I b | |
| 16 | 芳賀東部団地 | 前橋市 | AT下位 | E区 | 3 | 20×15 | II a | |
| 17 | 北三木堂Ⅱ | 前橋市 | AT下位 | | | 30×30 | I a | |
| 18 | 内堀 | 前橋市 | AT下位 | | | 40×20 | I a | 長軸は推定 |
| 19 | 今井三騎堂 | 前橋市・伊勢崎市 | AT下位 | B地点 | Ⅳ | 40×40 | I a | |
| 20 | 今井三騎堂 | 前橋市・伊勢崎市 | AT下位 | C地点 | Ⅳ | 55×40 | I a | |
| 21 | 今井見切塚 | 前橋市・伊勢崎市 | AT下位 | 1b地点 | Ⅳ | 40×38 | I a | |
| 22 | 下触牛伏 | 伊勢崎市 | AT下位 | | Ⅳ | 50×45 | I a | |
| 23 | 波志江西宿 | 伊勢崎市 | AT下位 | | | 35×20 | I b | |
| 24 | 三和工業団地 | 伊勢崎市 | AT下位 | | | 85×60 | I a | 環状に帯状分布が結合 |
| 25 | 舞台 | 伊勢崎市 | AT下位 | 1群 | | 22×20 | II a | 環状に帯状分布が結合 |
| 26 | 舞台 | 伊勢崎市 | AT下位 | 2群 | | 20×20 | II a | 調査区外 |
| 27 | 大上 | 伊勢崎市 | AT下位 | A地点 | | (24×21) | II a | |
| 28 | 天ヶ堤 | 伊勢崎市 | AT下位 | | 3 | 23×20 | II b | |
| 29 | 武井 | 桐生市 | AT下位 | | | — | II | 詳細不明 |
| 30 | 十二社 | 桐生市 | AT下位 | | | 22×19 | II a | 詳細不明 |
| 31 | 和田 | みどり市 | AT下位 | | | 20×13 | II b | |

第3節 土坑

1. 上武旧石器遺跡群の土坑

旧石器時代の遺構として、芳賀東部団地遺跡D区より礫群下の土坑1基があるほか、上泉唐ノ堀遺跡(8工区)、上泉新田塚遺跡、五代砂留遺跡群3遺跡で「落ち込み」数基が記録されていた。このうち、芳賀東部団地遺跡D区の土坑については次節の礫群を扱う中で取り扱われることになるが、旧石器時代遺跡から発見される土坑について検討する必要上、上記3遺跡の「落ち込み」に含めて検討することにした。

上泉唐ノ堀遺跡以下3遺跡では「落ち込み」とされたもの7基があり、いずれもトレンチ断面で確認されている。概して不整形であり、楕円形状を呈するものから溝状を呈するものまでさまざまだが、全体形状が分かるものは少ない。掘り上げた底面は凹凸が激しいものが圧倒的である。炭化物が含まれるものと含まれないものがあり、唐ノ堀遺跡4号土坑のみ炭化物を含むAs-BPを含むロームが攪拌された状態で堆積、その他は暗色帯が乱れて堆積していた。新田塚遺跡のものはAs-BP上面で確認され、覆土はAs-BPを含むロームとされている。2基とも試掘トレンチで確認され、このうち1基に炭化物が含まれたとある。砂留遺跡例は石器ブロックに近接して発見され、As-BP上面で確認されている。これらについて、その共通項を述べるとすると、確認面がAs-BP上面であること、覆土はAs-BPが攪拌したものであること、平面形は不定形(不整形)で、掘り上げた底面は凹凸が激しい点で似る。石器ブロックの位置関係で言えば、近接して位置することもあれば、石器ブロックとは無関係に検出されることもあるということになる。現状で「落ち込み」から石器が発見されたものはなく、「落ち込み」7基は土壤攪乱等により生じたとするのが妥当と考えている。土壤攪乱の代表的なものに寒冷地特有のクリオターベーションがあり、そうした現象が最寒冷期を迎えた赤城山南麓域にもあるのか問題になるだろうが、利根川右岸の渋川市吹屋中原遺跡では下層前橋泥流中の礫が巻き上がる現象が確認されており、当地域にも現象したであろうことが想定されるものの、クリオターベーションによる土壤攪乱は大規模であり、上泉唐ノ堀遺跡以下の「落ち込み」が深さ30cmと浅い点を踏まえれば、現状では植生などによるものと理解するのが妥当だろう。南関東で言われるような炭化物集中は赤城山南麓の旧石器遺跡にはなく、赤城山西麓ではAs-BPグループの直下に石器群の有無と関係なく見られることから、確証を得ているわけではないが自然現象のひとつとして理解すべきだろうと考えている。西麓のAs-BPは間層を挟んで3層が堆積しており、これを赤城山南麓では確認できていないが、西麓に近い上武道路8工区の旧石器遺跡ではAs-BPの間層が確認できるようになり、同テフラの間層にもAs-BPグループ直下と同じ炭化物(上泉武田遺跡、第229図)のあることが判明しており、人為的な遺構とするには無理がある。

芳賀東部団地遺跡・D区の土坑は上面に礫群を伴い、属性的には縄文期・集石土坑と何ら変わるところがない。礫群を取り上げる前から礫群内部に炭化物が確認されており、また、周辺域には炭化物が分布しないことが確認されている。最終的に、土坑は皿状(長軸50cm・短軸45cm・深さ8cm)を呈することが確認されている。土坑底面は凹凸がないとされており、植生攪乱まで注意して観察されていないが、人為的遺構である可能性が高い。

2. 県内土坑

旧石器時代の遺構として明確なものは概して少ないが、遺構として確実視されるものに落とし穴や貯蔵穴とされるものがある。群馬県内では、渋川市勝保沢中ノ山遺跡に2基、前橋市富田西原遺跡に1基、同市二之宮宮下西遺跡に3基、渋川市箱田遺跡群上原遺跡に2基、みどり市北山遺跡に2基(未報告)がある。

勝保沢中ノ山遺跡では、断面漏斗状を呈する土坑2基が重複して検出されている。暗色帯から出土した石器群の出土層位を明らかにするため、その北側に設けた土層観察用のトレンチに土坑の一部が掛かり確認されたものである。土坑の確認面は暗色帯下の黄褐色硬質ローム層の上面であり、暗色帯が落ち込んでいたことからその存在が判明した。土坑規模は2号土坑とされたものが長軸2.14m・短軸1.86m・深さ1.44m、3号土坑とされたものが長軸2.60m・短軸1.86m・

深さ1.38mを測る。形態的にはいずれも「落し穴」とされるものである。現在、「落し穴」とされるものは間隔を置いて連続的に検出されているが、勝保沢中ノ山遺跡の土坑は重複して1ヶ所のみ確認されたため、当時においては旧石器時代に「落し穴」とされるものは類例がないことから、積極的に「落し穴」として報告するのは難しいだろうと考えた。「落し穴」という土坑の性格を踏まえれば、広く確認範囲を広げるべきであったが、土坑を確認しようとする意識に欠けていたといわざるを得ない。このほか、勝保沢中ノ山遺跡では炭化物集中土坑1・倒木跡3が確認されている。倒木痕には石刃製のナイフが出土していることや覆土中にAs-BPが含まれないことから、いずれもAs-BP降下前のものとする事ができる。

二之宮宮下西遺跡の土坑は3基があり、いずれも円形を基調とするものである。土坑(3号土坑)は旧石器の試掘坑の断面で確認されており、典型的な貯蔵穴タイプの土坑として認知されたのを覚えている。周辺域を精査したところ、黄褐色ロームを覆土とする土坑2基(1・2号土坑)を確認することができ、これを半截調査したところ、土坑は意外に浅く、やや凹凸のある坑底が現れた。最も深い3号土坑は径97cm・深さ30cmを測り、暗色帯を掘り込んでいた。残る2基の土坑も径80cm前後・深さ10cm前後で、坑底が平坦でないことを除けば、3号土坑同様に、人為的遺構として何ら問題はないだろうと考えている。覆土は白色パミス(As-0p1、当時はAs-SPと認識)を含む硬質ロームと記載されている。出土石器等はなく厳密な時期判定は難しいが、IV期を溯る可能性は低い。

富田宮下遺跡の1基は暗色帯石器群を調査中に確認されたもので、覆土中にAs-BPを多く含んでいた。やや不整形(長軸0.96m・短軸0.74m・深さ0.62m)で、断面も歪んでいる。土坑として扱われているが、掘り上げた土坑の写真には根が入り込んだような痕跡があり、形態的にも土坑とするのは難しいかもしれない。

箱田遺跡群(上原遺跡)では、北方系細石刃石器群に伴う土坑2基が確認されている。1号土坑とされたものは径64cm・深さ38cmを測る。2号土坑は断面ナベ底状で、径74cm・深さ24cmを測る。1号土坑の底面は歪んでおり、土坑とするのはやや不安だが、2号土坑とされたものは人為的遺構として間違いはないだろう。

北山遺跡の土坑2基はAs-BPを掘り込んでいる。土坑は明瞭に立ち上がり、楕円形状のものと浅い皿状のものが確認されている。人為的であることは確実で、これに伴う石器類は確認されていないが、層位的には群馬IV期に相当する時期が想定されている。

3. まとめ

群馬県内で人為的遺構とすることができる土坑を瞥見したところ、AT降下期前に溯る土坑(勝保沢中ノ山遺跡)と、IV期段階の土坑(二之宮宮下西遺跡・北山遺跡)およびV期段階の土坑(上原遺跡)を確認することができた。前者は「落し穴」タイプのもので、県外のもののみをみると、静岡県三島市の初音ヶ原遺跡例や同県長泉町の富士石遺跡例、神奈川県打木原遺跡例があり、鹿児島県大津保畑遺跡例がある。初音ヶ原遺跡では60基、富士石遺跡では30基の土坑(深さ1.5～2.0m)が列状に配置されている。いずれも断面漏斗状を呈し、時期的にもAT降下以前のもので、勝保沢中ノ山遺跡例に共通する。この種のタイプの土坑は環状ブロック群が消滅した後に構築されるようになることが層位的に確認されているが、それ以後構築されなくなることから、短期的に出現・消滅する理由や背景が追究されている。本県以外では、神奈川・静岡・鹿児島各県にあり、それらがいずれも比較的温暖な地域にあることが注意すべきことだろう。

後者は、円形を基調とする貯蔵穴タイプのものである。円形タイプのものでサイズの異なるものも多く、縄文期土坑に比べて小型である。このタイプの土坑には出土遺物がなく、簡単に性格づけられないが、IV期以降このタイプの土坑が普及したのであろう。旧石器遺跡の遺構は検出が難しいのが現状だが、検出しようとする調査姿勢に欠ける傾向があり、今後注意すべきことである。桐生市武井遺跡の大規模遺跡や神奈川県田名向原遺跡の大型住居跡の発見に見られるように、IV期に至り居住形態が大きく変わることが予想されている。IV期に至り貯蔵穴タイプの土坑が増加するのも、そうした居住形態の変化を敏感に反映しているのであろう。

第4節 礫群の様相

1. はじめに

芳賀東部団地遺跡のI区から検出された礫群の検出層位は、浅間板鼻褐色軽石の直下(第5章、テフラ分析参照)である。以前、筆者は波志江西宿遺跡の報告の中で、2004年までの県内礫群を一覧表に作成して、その時期や出土層位、形状や構成礫点数を比較検討したことがある。その後2010年の岩宿フォーラム(保坂2010)で礫群が検討されているので、それを参考にして再度県内検出の礫群を整理しておきたい。

2. 段階毎に見た礫群の概要(第25表)

群馬Ⅰ期は、暗色帯下半部から出土する石器群で、南関東・武蔵野台地のX・IX層に相当する時期である。群馬県内では比較的遺跡数の多い時期だが、礫群が検出された遺跡は桐生市武井遺跡(第Ⅲ次調査)・同市十二社遺跡があるほか、高崎市矢田遺跡で礫5点からなる小規模礫群1基があるだけである。武井遺跡例は礫群12基が報告されており、うち10基が環状に配置されていたということであり、質量とも突出している。

群馬Ⅱ期は、暗色帯上半部から出土する石器群で、南関東・武蔵野台地のⅦ・Ⅵ層に相当する時期である。Ⅰ期に比べてⅡ期は遺跡数そのものが少ない時期だが、礫群は増加傾向にあり、みなかみ町後田遺跡・渋川市勝保沢中ノ山遺跡・前橋市今井三騎堂遺跡・伊勢崎市堀下八幡遺跡・桐生市武井遺跡(峰岸地区)・みどり市岩宿遺跡などがある。礫群は小規模礫群とされるものが多く、礫重量は500g前後のものが多い。礫群は石器分布域に重なるもの(勝保沢中ノ山遺跡、今井三騎堂遺跡・第Ⅳ文化層A地点)と、石器分布域から外れるもの(堀下八幡遺跡、台地東南側斜面部に礫群1基が存在)がある。いずれにしても、この段階の礫群はⅠ期に引き続いてその大部分が礫点数の少ない点の特徴として指摘できるだろう。

群馬Ⅲ期は、始良Tn火山灰(AT)上位から浅間板鼻褐色軽石(As-BPグループ)間に出土するもので、南関東武蔵野台地Ⅴ・Ⅳ下層に相当する時期である。群馬県内においては近年この段階の礫群は増加傾向にあり、今井三騎堂遺跡・第Ⅲ文化層(第1・4地点)や武井遺跡(峰岸地区)、岩宿遺跡・第二文化層、伊勢崎市中西原遺跡(2012年度報告予定)がある。本書で報告する芳賀東部団地遺跡D・I区の礫群も、この段階のものとする事ができる。各遺跡の礫群は、今井三騎堂遺跡(第1地点1号礫群4点・同2号礫群10点、第4地点1号礫群4点・同2号礫群24点)、中西原遺跡(礫群1基・13点)、芳賀東部団地遺跡(D区:礫群1基24点、I区:礫群2基、北側礫群5点・南側礫群15点)で、概して小規模である。以下、各遺跡の礫群について、礫重量や接合関係のみをみると、今井三騎堂遺跡の礫群は完形礫や接合礫が1kgを超えるものもあるが平均重量は300g前後であり、拳大程度の比較的軽量の礫であることが分かる。接合関係については礫群内で接合するのみであり、礫群間で接合するものは確認されていない。中西原遺跡の礫群は13点中11点が完形礫、2点が破損礫であり、礫重量は500g前後のものが主体を占めた。同遺跡の礫群はAs-BP直下の出土が確実で、これは現地を確認しているのも間違いでない。芳賀東部団地遺跡の礫群も、記録類を見る限り、As-BP直下の礫群であることは確実である。D期礫群は23点があり、礫重量は500g以下の礫(平均345g)が主体を占めた。これに対して、I区礫群18点は礫重量のバラツキ(平均968g、最大重量2274g・最少10.3g)が大きく、1kgを超えるもの5点がある。分布状態からみて、これ以上調査区内には礫群が分布しないとされているが、礫群構成礫の破断面は新鮮なものも多く、礫が使い回されている(礫の再使用の可能性)ことも考えておく必要がある。このほか、出土層位が確定できない難点もあるが、この段階だろうとされる大規模礫群(構成礫点数2619点、礫重量532.5kg)が伊勢崎市前道下遺跡で検出されている。当事業団の年報では礫群はAs-BP相当層から出土したとされているが、報告者は「写真で見ると、As-BP直下であるように見える」としており、礫群に伴う石器群はⅥ層段階であろうとする指摘が関口博幸氏(岩宿フォーラム2008)によりなされている。石器群は礫群と同レベルに出土していることから、前道下遺跡の礫群は中西原遺跡の礫群と同様に、As-BP直下の出土

ということになるかもしれない。As-BP前後の石器群については上白井西井熊遺跡の瀬戸内系石器群の発見を契機に再考されるであろうが、仮にVI層段階とするならば、群馬Ⅱ期の礫群のイメージは大きく変わるようになる。

群馬Ⅳ期は、浅間板鼻褐色軽石(As-BPグループ)から浅間大窪沢軽石(As-0k1)間の層位から出土するもので、南関東・武蔵野台地Ⅳ中・Ⅳ上に相当する時期である。この段階の遺跡は前代に比べて明らかに増加しており、礫群の数も格段に多い。礫群が確認されている主な遺跡として、武井遺跡、今井三騎堂遺跡・第Ⅱ文化層、下触牛伏遺跡・第Ⅰ文化層、波志江西宿遺跡・第Ⅰ文化層、波志江岡屋敷遺跡、東長岡戸井口遺跡A地点、御正作遺跡などがある。このうち、武井遺跡の礫群は質量とも他を圧倒しており、83基(寄居山地区4基、峰岸地区・二次調査で2基、東内出地区43基、峰岸地区・Ⅴ次調査で34基)がある。石器・剥片類は20万点を超えるとされ、これらのすべてが同時に機能したものでないことは明らかであるが、関東地方では最大規模を誇る。このほか、今井三騎堂遺跡では礫群15があり、第1地点に礫群2基が、第2地点に礫群12基が、第5地点に礫群1基が確認されている。第1地点の礫群は北側礫群と南側礫群の2ヶ所があり、それぞれ344点・92点の礫から構成されていた。礫重量は平均200g前後だが、北側礫群には1kgを超えるもの1点がある。接合資料は両地点で66例がある。礫の接合資料は礫群内に収まり、礫群間で接合するものは1例のみ確認されているだけである。その他の地点の礫群は小規模礫群とされるものであり、10点未満の礫から構成される礫群9ヶ所、20点未満4ヶ所、30点未満4ヶ所がある。各礫群を構成する礫の平均重量は3～500g前後のものが主体だが、平均重量が2000gを超える礫群4基が確認されている。これは礫重量が10kgを超えるような大型礫があるためであるが、そうした大型礫は礫群構成礫としては常識的にはあり得ないものであり説明が難しい。今井三騎堂遺跡・第2地点の礫群は3群ないし4群があり、各群に接合関係が6例ほど確認されているが、各礫群は基本的に石器分布と重複している。下触牛伏遺跡の礫群は7ヶ所があり、それぞれ石器ブロックに重複して分布した。礫群間に頻繁な接合関係がある。石器群には二側縁加工したナイフ形石器と、槌状剥離した東内野型尖頭器があり、これについてその伴出関係が議論されているが、それぞれの石器ブロックに重複する礫群間には接合関係があり、礫群構成礫は使い回された状態にある。御正作遺跡の礫群は石器ブロック2ヶ所に挟まれた状態で検出されている。この段階の礫群は石器ブロックに重複する在り方が主体であり、ブロックに外れているものが客体的であるだろうが、前半期石器群のように大規模遺跡であるのに礫群が少ない言わば、礫群を共有するような状況にはなく、各ブロックに礫群があるという状況に近い。

群馬Ⅴ期は、浅間大窪沢軽石から浅間板鼻黄色軽石(As-YP)間に出土するものであり、武蔵野台地においては軟質ローム層から出土する石器群が相当する。2004年の段階では、群馬Ⅴ期の礫群・集石については確認されないとしたが、箱田遺跡群(上原遺跡)で礫群1基が発見され、また、その後の見直し作業で前橋市榊形遺跡にも被熱した安山岩礫があるという記載を知り、これも礫群とすることができるだろうと考えている。

3. 県内礫群の様相

礫群の構成礫は石材・礫重量・接合関係の有無が記載されている程度で、タール状の物質やスス状の付着物、被熱による破損・礫面の剥落等の観察までデータ化されているものは少ない。これまで確認されている礫群は赤城山南麓に立地する遺跡のものが多く、石材は粗粒輝石安山岩と呼ばれるものが大半を占めている。赤城山南麓に点在する「流れ山」にある同種石材を見ると、表面のみ赤く酸化しているものや、内部まで酸化して焼けたように見えるものがあり、報告に赤化しているという表現があるとすれば、赤化と酸化を誤認している可能性もあるため、個別に確認する必要があるだろうと考えている。粗粒輝石安山岩を用いる礫群の場合、礫群としての認定は礫表皮の赤化より、タール状の物質やスス状の付着物・礫麩の被熱剥落が確実な目安としたほうが確実である。県内出土の礫群についてはここで取り上げた遺跡以外に未報告遺跡が多数あり、特に、Ⅲ・Ⅳ期の礫群が確実に追加されることになる。

前項では、群馬県内の礫群を時期毎に整理してみた。現状で県内礫群の様相について指摘するとすれば、礫群は時期毎に増減があること、礫群は通時的にあることが明らかであると思う。礫群の規模は数点規模のものから300点以上の大型礫群まで大小さまざまであるが、概略を述べるとすると、環状分布したという武井遺跡の礫群を除いて、群馬Ⅰ・Ⅱ

期では10点前後の礫からなる小規模礫群が主体を占めていることが分かる。それらは石器ブロックに重複するものもあるが、石器ブロックが10ヶ所を超えるような比較的規模の大きな遺跡でも1ヶ所～数ヶ所がある程度であり、中央広場に「火処」のある環状ブロック群の伝統を引き継いでいるかのようである。

Ⅲ期の礫群も同様に、全体としては小規模礫群が主体となることは確実だが、前代までとは異なり、礫群が石器ブロックに重複する傾向が強まり、少なくとも石器分布域(=集落内)に礫群が1基というようなことはなくなるように見える。前道下遺跡の礫群についてはその出土層位がAs-BP直下であり、それがVI層段階のものとなれば盛行期礫群の「はしり」となり、また、それが南関東V層段階のものとなれば、盛行期礫群の分布範囲が赤城山南麓まで及んでいたということになるだろう。

これに対して、Ⅳ期礫群は明らかな増加傾向にあることが確実で、石器ブロックに重複する度が高まる。この段階の礫群が多出した遺跡として武井遺跡があり、県内ではどこより大規模な遺跡である。武井遺跡が複数の集団が継続的、ないし、断続的に居住して残された大規模遺跡と推定される集落であるのに対して、5～7ヶ所の石器ブロックがある下触牛伏遺跡は中規模程度の集団が、数ブロックが残されていた波志江西宿遺跡や光仙房遺跡、富田大日塚遺跡などは小規模集団=最小の単位集団が残したキャンプ地とすることも可能で、これらはいずれも石器ブロック内に礫群が重複している点で括られてこよう。東長岡戸井口遺跡(A地点)の上層文化層の礫群は異質であり、ごく簡単に言えば、複数の石器ブロック(=各々のブロックには少量の石刃製作を伴う居住空間という評価が可能)に囲まれた中央に破損率の高い礫群1基があり、この段階の集落としては珍しく構造的な集落構造がイメージされてもくる。群馬県内においてはⅣ期段階に礫群のピークがある。

V期礫群は、その数を減らすことが確実視される。細石刃石器群は縄文時代草創期に似た集落分布が指摘され、多量の石器が発見される遺跡と周辺域の少量の石器類を出す遺跡で遺跡群を形成している。この段階の礫群は九州東・南部や北海道を除いて明らかではないが、相模野台地で30%近い遺跡で礫群とされるものがあり、今後この段階の礫群は確実に増えていくだろう。

4. 周辺域の礫群

群馬周辺域の礫群の様相は、どのようであろうか。保坂康夫氏(保坂2010)によれば、文化層毎に見て半数以上の遺跡で礫群がある場合、これを礫群「多出地域」としている。本県はⅢ期のみ「多出地域」とされ、遺跡数が減少する割に礫群を保有する遺跡は半数以上あるとされている。そして、Ⅳ期には遺跡数が増加する反面で、保有率は3割ほどに減少するという。Ⅲ期礫群において、群馬県周辺域、特に南関東(相模野・武蔵野・下総台地)の旧石器遺跡では礫群の保有率は90%に達し、Ⅳ期礫群の時期にも10～20%減る程度とされている。北関東ではⅢ期礫群50%が、Ⅳ期礫群30%へ減少し、礫群希薄域となるとした。上述した「遺跡数が減少する割に」という言い方は、本県において遺跡数がⅢ期に激減するという従来の評価を踏襲したものであろうが、Ⅳ期礫群は指摘ほど少なくないと思う。

保坂氏は、Ⅲ期礫群多出地域として九州南部から南関東地方に至る太平洋岸の地域に加えて、これに北関東および野尻湖周辺が含まれるとする一方、Ⅲ期礫群希薄地域として中部山岳・北陸・東北・北海道の寒冷地域、中国・近畿があるとしている。多出地域に寒冷な野尻湖が、希薄地域に比較的温暖な中国・近畿があることから、温暖な気候と礫群は関連しないとした。

5. まとめ

本県において、礫群はⅢ期のみ多出地域とされているが、同時期の栃木県内でも保有率が73%に達することが示されている。栃木県下の旧石器遺跡は鬼怒川流域に集中しており、全体の保有率を引き上げている。群馬Ⅳ期でも、赤城山南麓に限れば、礫群保有率は56%に達しており、関東地方以北の礫群希薄地域とは対照的である。こうした在り方を見れば、礫群保有率は気候と関連するという可能性として否定できないのではないかと考えている。上武道路関連

の発掘ではⅢ期の旧石器遺跡が増加傾向にあり、萱野Ⅱ遺跡・第3文化層や亀泉坂上遺跡第2文化層でAs-BP層中に石器群が確認されている。同時期の遺跡は渋川市周辺域にも散見され、As-BPの間層に文化層を持つ石器群が数遺跡で確認されている。Ⅲ期遺跡はテフラの給源に近づくほど増加傾向にあるという現実を踏まえれば、給源から遠く南麓ではⅢ期遺跡とⅣ期遺跡が分離できていないということも考えておく必要があるだろう。

引用参考文献

麻生敏隆 2004 「礫群の様相」『波志江西宿遺跡Ⅱ 縄文時代・旧石器時代編』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

関口博幸 2010 「群馬県における旧石器時代石器群の変遷」『北関東地域の石器文化の特色』予稿集岩宿博物館

保坂康夫 2010 「礫群」『北関東地域の石器文化の特色』予稿集岩宿博物館

※報告書等の文献については指数の関係で割愛させていただいた。

第25表 群馬県内旧石器時代遺跡礫群等一覧表

| 時期 | 遺跡名 | 所在地 | 層位 | 地点 | 文化層 | 礫群数 | 規模 | 備考 |
|-----|------------|----------|---------|-------|-----|-------|--------------|------------------------|
| V期 | 箱田遺跡群 | 渋川市 | As-Sr混 | 第2地点 | IV | 1 | 小型 | 礫30点余 |
| V期 | 榊形 | 前橋市 | As-Sr混 | | | — | — | 被熱礫 |
| IV期 | 御正作 | 邑楽郡大泉町 | As-0k1混 | | | 1 | 小型 | 礫27点 |
| IV期 | 武井 | 桐生市 | As-0k1混 | 寄居山 | II | 4 | 小型 | 礫80点 |
| | | | | 峰岸二次 | | 2 | 小型 | — |
| | | | | 東内出 | | 43 | 小型 | 礫727点 |
| | | | | 峰岸五次 | | 34 | 大型～小型 | — 大規模礫群 |
| IV期 | 東長岡戸井口 | 太田市 | As-0k1混 | A地点 | I | 5 | 中型1・小型1 | 礫166点礫接合37 |
| IV期 | 今井三騎堂 | 伊勢崎市 | As-0k1混 | 第1地点 | II | 2 | 大型1・小型1 | 礫344点礫接合51例、礫92点礫接合15例 |
| | | | As-0k1混 | 第2地点 | II | 12 | 小型 | 礫243点礫接合42例 |
| | | | As-0k1混 | 第5地点 | II | 1 | 小型 | 礫9点 |
| IV期 | 今井見切塚 | 伊勢崎市 | As-0k1混 | 1b地点 | I | — | — | 配石4基 |
| IV期 | 前道下遺跡 | 伊勢崎市 | As-0k1混 | A地点 | I | 3 | 小型 | 礫42点 |
| | | | As-0k1混 | B地点 | I | 1 | 小型 | 礫8点 |
| IV期 | 波志江西宿 | 伊勢崎市 | As-0k1混 | C-1区 | I | 2 | 中型1・小型1 | 礫230点 |
| IV期 | 波志江岡屋敷 | 伊勢崎市 | As-0k1混 | A区 | | 3 | 小型 | 礫210点 |
| IV期 | 光仙房遺跡 | 伊勢崎市 | As-0k1混 | B区 | II | 2 | 小型 | 礫130点礫接合17例 |
| IV期 | 下触牛伏 | 伊勢崎市 | As-0k1混 | | I | 7 | 小型 | 礫736点 |
| IV期 | 富田下大日 | 前橋市 | As-0k1混 | | I | 1 | 小型 | 礫97点、礫接合14例 |
| IV期 | 亀泉坂上 | 前橋市 | As-0k1混 | | | 1 | 小型 | 礫58点、礫接合5例 |
| IV期 | 上泉唐ノ堀(7工区) | 前橋市 | As-0k1混 | A地点 | I | 1 | 小型 | 礫21、大型礫 |
| Ⅲ期 | 花園 | 太田市 | As-BP下 | | | 4 | — | — |
| Ⅲ期 | 武井 | 桐生市 | As-BP下 | 峰岸二次 | II | — | — | — |
| Ⅲ期 | 十二社 | 桐生市 | As-BP下 | | | 1 | 中型1・小型1 | 礫100点以上 |
| Ⅲ期 | 岩宿 | みどり市 | As-BP | | | — | — | — |
| Ⅲ期 | 波志江岡屋敷 | 伊勢崎市 | As-BP混 | C区 | | 1 | 小型 | 礫27点 |
| Ⅲ期? | 前道下遺跡 | 伊勢崎市 | As-BP下? | C地点 | | 1 | 小型 | 礫32点 |
| | | | As-BP下? | D地点 | | 5 | 小型 | 礫50点礫接合1例 |
| | | | As-BP下? | E地点 | | 27 | 大型2・中型6・小型19 | 礫2619点礫接合342例、大規模礫群 |
| Ⅲ期 | 今井三騎堂 | 伊勢崎市 | As-BP下 | 第1地点 | III | 2 | 小型 | 礫14点 |
| Ⅲ期 | 今井三騎堂 | 伊勢崎市 | As-BP下 | 第4地点 | III | 2 | 小型 | 礫29点 |
| Ⅲ期 | 今井見切塚 | 伊勢崎市 | As-BP下 | 1b地点 | III | 7 | 小型 | 礫79点18例 |
| Ⅲ期 | 中西原 | 伊勢崎市 | As-BP下 | I区 | | 1 | 小型 | 礫13点 |
| Ⅲ期 | 芳賀東部団地 | 前橋市 | As-BP下 | D区 | I | 1 | 小型 | 礫24点 |
| | | | | I区 | I | 2 | 小型 | 礫19点 |
| Ⅲ期 | 見立溜井 | 渋川市 | As-BP下 | | III | 2 | 小型 | 礫62点 |
| Ⅱ期 | 後田 | 利根郡みなかみ町 | 暗色帯 | | | — | — | 被熱礫 |
| Ⅱ期 | 今井三騎堂 | 伊勢崎市 | 暗色帯上半 | A地点 | IV | 1 | 小型 | 礫22点礫接合1例、配石3基 |
| Ⅱ期? | 今井見切塚 | 伊勢崎市 | 暗色帯上半 | 第45地点 | IV | 1 | 小型 | 礫27点 |
| Ⅱ期 | 堀下八幡 | 伊勢崎市 | 暗色帯上半 | | | 1 | 小型 | 礫12点 |
| Ⅱ期 | 飯土井中央 | 前橋市 | 暗色帯上半 | | | 1 | 小型 | 礫26点 |
| Ⅱ期 | 武井 | 桐生市 | 暗色帯上半 | 寄居山 | I | 2 | 小型 | 礫30点 |
| Ⅱ期 | 武井 | 桐生市 | 暗色帯上半 | | | 10～12 | 中型 | 礫1861点 |
| Ⅱ期 | 勝保沢中ノ山 | 渋川市 | 暗色帯 | B地点 | | 5? | 小型 | 礫74点 |
| Ⅱ期 | 神社裏 | みどり市 | 暗色帯 | | | — | — | — |
| I期 | 岩宿 | みどり市 | 暗色帯 | | | — | — | — |
| I期 | 下触牛伏 | 伊勢崎市 | 暗色帯 | | II | — | — | 被熱礫、「環状ブロック群」 |
| I期? | 今井見切塚 | 伊勢崎市 | 暗色帯 | 1a地点 | IV | 2 | 小型 | 礫11点 |
| I期 | 矢田 | 高崎市 | 暗色帯 | | | 1 | 小型 | 礫5点 |

第5節 母岩分類

旧石器遺跡の構造や石器の製作構造を理解しようとするとき、母岩別資料や接合資料の分析は基本的な作業のひとつとして認知されている。上武道路関連の旧石器遺跡整理でも上記作業を重視して整理作業を進めた。現状で、母岩分類の重要性について付言することはなく、凡例や本文中で述べる程度のものしかないが、凡例に収まりきらないためここにまとめてみた。

出土石器を母岩毎に括り、母岩毎の石器製作や分布状況を明らかにすることの重要性については、改めていうまでもないことである。肉眼観察に頼る母岩分類には主観が入り込む余地が多分にあり、その分類精度が問題とされている。そうした批判に応えるためにも分類精度を高める必要があり、同一母岩であることの具体的証明となる接合作業には時間を掛けたつもりである。母岩分類と接合作業は相互補完の関係にあることから、時間の許す限り、この二つの作業を反復した。

県内旧石器遺跡から出土する石器に、在地石材である黒色頁岩や黒色安山岩が多用されてことは良く知られている。黒曜石やチャートなどと違い、両石材とも風化の影響が著しく、母岩認定が難しい石材である。黒色安山岩については石器表面の色調で暗色帯から出土したものか、それより上層のローム層から出土したものか、一瞥して判断することができるほどである。石器はローム層中で上下するため、当然の如く色調の異なる剥片同士が接合することになり、このことに母岩分類は悩まされてきた。接合作業に時間を割いたほど成果が得られないのが実態だが、それでも遺跡を構造的に理解するためには欠かせない作業と考えている。

本書では、母岩別資料を以下のように、A：接合資料と非接合資料からなる母岩別資料、B：接合資料からなる母岩別資料、C：非接合資料からなる母岩別資料、に3区分して捉えた。

A～Cの区分は、接合・母岩分類が終了した時点で決定されることになる。接合した2点以上のものに接合番号が付されることになるが、接合資料間に同一母岩だろうことが想定されたものには母岩番号が追記されることになる。その表記法は「母岩番号-接合番号」となる。例えば、黒色安山岩1①・②・③・・・などである。なお、破損して出土した2点が接合した場合も、それが母岩として認定されれば母岩番号を付した。

さらに、接合資料間に接合関係が確認できない場合でも、それが同一母岩であることが明らかになることがある。例えば原石を分割してそれぞれで剥片剥離するものであり、これについては母岩分類の下位に個体レベルの分類を設けた。例えば、黒色安山岩1・①・個体Aと表記した。

非接合資料としたものは、接合関係こそ確認できていないが、同一母岩である可能性があるものである。また、単独としたものは、遺跡内に同一母岩がないもので、基本的に搬入石器がこれにあたる。分類不能としたものは母岩が特定できないものであり、小型であるため分類できないもの、被熱等で分類できないものなどがあり、「石材名+分類不能と表記した。以上の表記法は、それぞれの母岩に接合資料がいくつあるか、その対応関係を把握するのに便利な合理的表記法と考えている。

母岩別資料の認定は視覚的な属性に基づく母岩分類にはじまり、接合作業と母岩分類を繰り返して最終的に母岩認定に至る。接合が確認できれば同一母岩と認定し、また、接合関係が確認できなくても、最終的に属性を同じくすると判断されれば、同一母岩と認定した。このため、母岩別資料とは、同一母岩であることの可能性のある集合体（資料群）ということになる。同一母岩とされたものには、接合関係により同一母岩であることを保証されたもの（接合資料）と、それが保障されない非接合の資料があり、確実性・信頼性に差のあるふたつの資料群からなるわけである。これにより、我々は同一母岩として信頼性の高い接合資料を第一次資料として、接合関係の確認できていない同一母岩として信頼性の低い非接合の資料群を第二次資料として、資料的な限界を踏まえることにより、はじめて妥当な解釈が導けるだろうと理解している。

上述した記載法は砂川遺跡の実践の延長上にある。母岩単位に出土資料を分け、それを石器製作という視点で捉え、そ

の分布を通じ「場」の機能を明らかにしようとするものであり、また、石核消費や石器の搬入・搬出の関係を捉え、これにより旧石器人の行動を語ろうとするものである。現状は出土資料のすべてを母岩単位の分離できないため、次善の策として、同一母岩としたものに接合資料の分布を重ね、あるいは、同一石材の分布に接合資料の分布を重ねて表現し、剥離地点を想定する際の手掛かりとしている。これに剥片類や碎片類がマークされれば、剥離地点がより明確に表現でき、具体的資料からムラの構造や生活を語る際の有効な方法とされてきた。

今回の整理でも、出土層位の異なる文化層の石器群を同一文化層と誤認して母岩分類されていることが分かり、修正を余儀なくされたように、母岩分類は難しい作業である。明らかに異なる文化層のものでも同一母岩として認定される可能性がある、そうした危険性を持つ分類法と言わざるを得ない。こうした母岩分類の限界が明らかになるのに従い、最近では最初から分類や記載を放棄する風潮が生じており、石器ブロックの区分や母岩分類は軽視されているように思えてならない。

砂川遺跡で具体的に示された研究法は、長く旧石器研究の基本とされていたが、90年代に至り方法的限界が指摘されその認識が研究者間に浸透した。石器ブロックの認定ひとつを見ても、以前の慎重な姿勢は影を潜めている。言われるとおり、石器ブロック区分はさまざま個人差があるのは事実で、これに意を注いでどれほど意味があるのか、という批判は当然である。母岩分類についても然り。同一母岩の分布から人の動きを炙り出せるほど、ことは単純でないからだ。しかしながら、どれほど解釈が重視されても、具体的根拠なしにはその解釈を受け入れることはできないであろう。従来手法で旧石器社会のすべてが解明できるはずもないだろうが、上記作業からえられたデータなしにそれを語ろうとすれば、考古学としての基盤を自ら放棄するようなものだからだ。接合資料や非接合資料を含む母岩別資料の分布は通常は母岩分類から外される碎片類の分布を併せることにより、その母岩の剥離地点が見えてくる。これが基本的な考え方である。場の在り方を明らかにしようとする際に、これ以外の方策は現状で思い浮かばないが、いかがであろうか。

「報告書は読まれない」「報告書では評価されない」という近年の風潮も問題で、こうした風潮は決していい状態とはおもえない。報告書の画一化が指摘されているが、報告書にはスタイルがあるべきであり、読者が遺跡なり石器群を知ろうとする際、それは読者の理解を深めるうえで大きな役割を果たすことになる。砂川的方法是記載法として極めて優れているというべきである。

第5章 自然科学分析

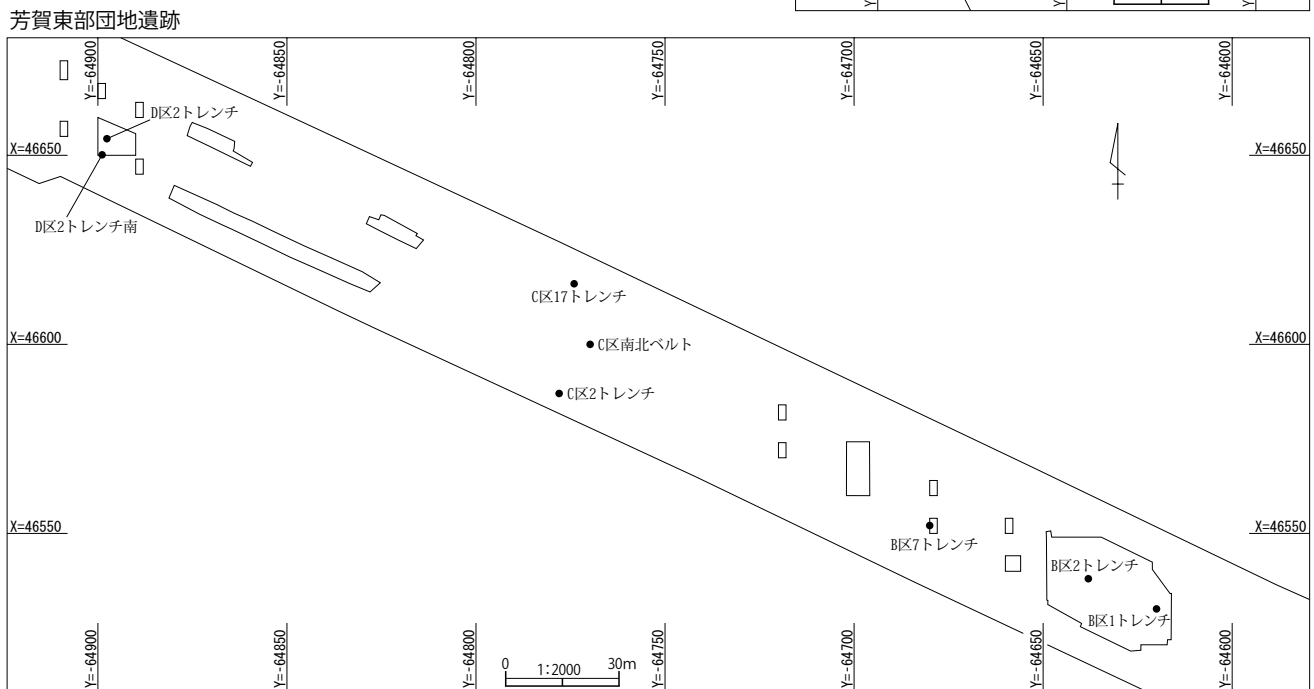
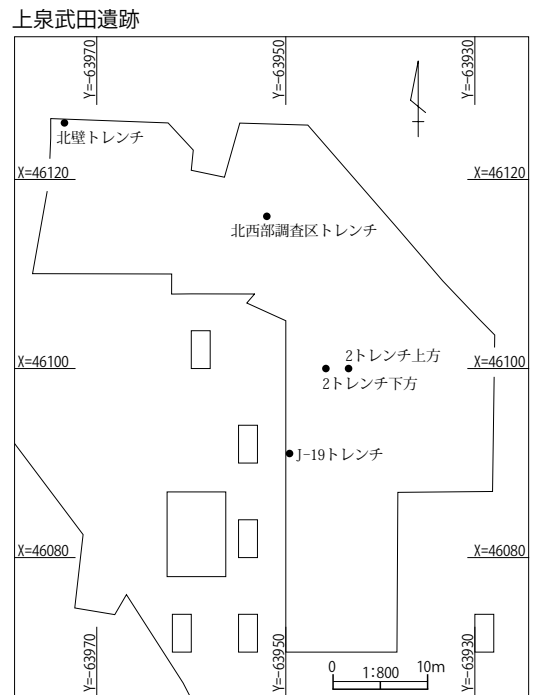
第1節 テフラ分析

旧石器時代調査において、石器出土層位を正確に把握することは他遺跡との比較を行う上でも重要であり、鍵となるAs-YP（浅間板鼻黄色軽石）、As-Sr（浅間白糸軽石）、As-Ok1（浅間大窪沢第1軽石）、As-BP（浅間板鼻褐色軽石）、AT（始良Tn火山灰）などのテフラ同定が必要である。そこで、8工区の東寄りの上泉武田遺跡及び芳賀東部団地遺跡において、地質調査を行い、土層層序やテフラの層相に関する記載、及び採取試料について火山ガラス比分析、テフラ検出分析、屈折率測定による指標テフラの層位把握などのテフラ分析を、株式会社 古環境研究所に委託した結果は以下のとおりである。

分析試料の採取地点については第225図に示したが、上泉武田遺跡では、J-19トレンチ、I区第2トレンチ上方地点、I区第2トレンチ下方地点、プレハブ東調査区北壁、北西部調査区深堀トレンチSPB-B'の5地点、芳賀東部団地遺跡では、B区1・2・7トレンチ、C区南北ベルト、C区2トレンチ南端部、C区17トレンチ、D区2トレンチの7地点である。

1. はじめに

赤城火山南麓に分布する後期更新世以降に形成された地層や土壌の中には、赤城、榛名、浅間など北関東地方とその周辺の火山、中部地方や中国地方、さらには九州地方などの火山に由来するテフラ(火山砕屑物、いわゆる火山灰)が多く認められる。その中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡



第225図 自然科学分析試料採取位置図

で求めることで、遺構や遺物包含層の層位や年代を知ることができる。

そこで、層位や年代が不明な土層が検出された前橋市上泉武田遺跡や芳賀東部団地遺跡において、地質調査を行って土層層序やテフラの層相に関する記載をおこなうとともに、採取された試料について火山ガラス比分析やテフラ検出分析、さらに屈折率測定を行って指標テフラの層位を把握し、土層の層位や年代に関する資料を収集することになった。上泉武田遺跡での調査分析の対象となった地点は、J-19トレンチ、I区第2トレンチ上方地点、I区第2トレンチ下方地点、プレハブ東調査区北壁、北西部調査区深掘トレンチSPB-B'の5地点であり、芳賀東部団地遺跡では、B区1トレンチ、B区2トレンチ、B区7トレンチ、C区南北ベルト、C区2トレンチ南端部、C区17トレンチ、D区2トレンチの7地点である。

2. 土層の層序

(1) 上泉武田遺跡J-19トレンチ

平坦面上に位置するJ-19トレンチでは、下位より灰色がかかった褐色土(層厚3cm以上)、灰褐色土(層厚10cm)、灰色岩片混じり暗灰褐色土(層厚17cm, 石質岩片の最大径8mm)、灰色岩片混じり灰褐色土(層厚13cm, 岩片の最大径9mm)、灰褐色土(層厚8cm)、黄色がかかった褐色土(層厚19cm)、成層したテフラ層を含む橙色軽石混じり褐色土(層厚17cm)、黄色がかかった褐色土(層厚11cm)、最上部に粗粒軽石(最大径11mm)を含む黄色軽石混じり褐色土(層厚21cm, 軽石の最大径6mm)が認められる(第226図)。

これらのうち、暗灰褐色土や灰褐色土中に含まれる灰色岩片については、層位や岩相などから、約3万年前^{*1}に榛名火山から噴出した榛名箱田テフラ(Hr-HA, 早田, 1996, 未公表資料)に由来する可能性が高い。

また、成層したテフラ層は、下位より橙色粗粒軽石層(層厚4cm, 軽石の最大径10mm, 石質岩片の最大径2mm)、黄色がかかった灰色粗粒火山灰層(層厚2cm)、橙色軽石層(層厚3cm, 軽石の最大径2mm)からなる。このテフラ層は、層相から1.9～2.4万年前^{*1}に浅間火山から噴出した浅間板鼻褐色軽石群(As-BP Group, 新井, 1962, 早田, 1996, 未公表資料)の中・上部に同定される。

最上位の土層中に含まれる黄色軽石については、その層位や岩相などから、浅間大窪沢第1軽石(As-0k1, 約1.7万年前^{*1}, 中沢ほか, 1984, 早田, 1996)および浅間大窪沢第2軽石(As-0k2, 約1.6万年前^{*1}, 中沢ほか, 1984, 早田, 1996)からなる大窪沢テフラ群(As-0k Group)に由来すると考えられる。また、最上部の粗粒の黄色軽石は、層位や岩相から、約1.3～1.4万年前^{*1}に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石(As-YP, 新井, 1962, 町田・新井, 1992)に由来すると考えられる。

(2) 上泉武田遺跡I区第2トレンチ上方地点

東向き斜面に近いI区第2トレンチの上方地点では、下位より、褐色土(層厚3cm以上)、粗粒の褐色スコリア層(層厚4cm, スコリアの最大径11mm, 石質岩片のシダ畏敬4mm)、灰色がかかった褐色土(層厚51cm)、褐色土(層厚25cm)、風化した黄白色軽石層(層厚39cm, 軽石の最大径34mm, 石質岩片の最大径18mm)、灰色がかかった褐色土(層厚10cm)が認められる(第227図)。これらの土層は緩く西側に傾斜している。

これらの土層の上位には、斜交関係で覆う火山灰土がさらに認められる。火山灰土は、下位より灰色岩片混じりで若干色調の暗い灰褐色土(層厚17cm, 岩片の最大径4mm)、灰褐色土(層厚9cm)、灰色がかかった褐色土(層厚11cm)、黄色がかかった褐色土(層厚9cm)からなる。

これらのうち、黄白色軽石層は、層相から約5万年前に榛名火山から噴出した榛名八崎軽石(Hr-HP, 新井, 1962, 町田・新井, 2003)に同定される。また、その下位にあるスコリア層は、層位や層相などから北橋スコリア(HkS, 早田, 1990)に同定される。

(3) 上泉武田遺跡 I 区第 2 トレンチ下方地点

東向き斜面に位置する I 区第 2 トレンチ下方地点でも、Hr-HP を斜交関係で覆う火山灰土が認められた(第228図)。火山灰土は、下位より灰色岩片混じりで若干色調の暗い灰褐色土(層厚51cm、岩片の最大径 4 mm)、灰褐色土(層厚 9 cm)、灰色がかかった褐色土(層厚11cm)、黄色がかかった褐色土(層厚20cm)からなる。

(4) 上泉武田遺跡プレハブ東調査区北壁

平坦面上に位置し、旧石器時代の遺物が検出されたプレハブ東調査区北壁では、火山灰土のうち上部を詳細に観察できた(第229図)。ここでは、下位より灰色がかかった褐色土(層厚 4 cm以上)、軽石に富む橙色軽石層(層厚 3 cm、軽石の最大径 8 mm、石質岩片の最大径 2 mm)、橙色軽石混じり灰褐色砂質土(層厚 2 cm)、灰色粗粒火山灰混じり橙色細粒軽石層(層厚 4 cm、軽石の最大径 2 mm)、炭化物混じり暗灰褐色土(層厚 4 cm)、成層したテフラ層(層厚5.2cm)、褐色土(層厚 3 cm以上)が認められる。

これらのうち、成層したテフラ層は、下部の橙褐色細粒火山灰層(層厚1.2cm)と、上部の暗灰色石質岩片を多く含む橙色軽石層(層厚 4 cm、軽石の最大径 5 mm、石質岩片の最大径 2 mm)からなる。このテフラ層を含め、この地点で認められた 3 層のテフラ層は、層相から、いずれも As-BP Group 中・上部と考えられる。

(5) 上泉武田遺跡北西部調査区深掘トレンチ SPB-B'

西向き斜面上に位置する北西部調査区深掘トレンチの SPB-B' では、下位より褐色土(層厚 5 cm以上)、灰色岩片混じり暗灰褐色土(層厚41cm、石質岩片の最大径22mm)、灰褐色土(層厚13cm)、灰色がかかった褐色土(層厚17cm)、軽石に富む橙色軽石層(層厚 3 cm)、灰褐色砂質土(層厚 1 cm)、橙色細粒軽石層(層厚 3 cm、軽石の最大径 4 mm、石質岩片の最大径 2 mm)、暗灰褐色土(層厚 4 cm)、成層したテフラ層(層厚 7 cm)、褐色砂質土(層厚 6 cm)、砂混じり褐色土(層厚11cm)、黄色軽石を多く含む褐色土(層厚36cm、軽石の最大径16mm)が認められる(第230図)。

(6) 芳賀東部団地遺跡 B 区 1 トレンチ

深掘が実施された B 区 1 トレンチでは、下位より若干色調が暗い褐色粘質土(層厚 5 cm以上)、黄色軽石層(層厚49cm、軽石の最大径58mm、石質岩片の最大径19mm、Hg-1)、若干緑灰色がかかった褐色土(層厚18cm)、橙褐色軽石(最大径 3 mm、Hg-2)をごく少量含む褐色土(層厚19cm)、橙褐色軽石(Hg-2)を含む褐色土(層厚27cm、軽石の最大径 9 mm)、灰色岩片や黄白色軽石(Hg-3)を含む灰褐色土(層厚11cm、軽石の最大径11mm、石質岩片の最大径21mm)、灰色岩片や黄白色軽石(Hg-3)を含む暗灰褐色土(層厚14cm、軽石の最大径13mm、石質岩片の最大径14mm)、灰色岩片や黄白色軽石(Hg-3)混じりで若干色調が暗い灰褐色土(層厚16cm、軽石の最大径14mm、石質岩片の最大径17mm)、灰褐色土(層厚 8 cm)、細粒の橙色軽石(Hg-5)混じり灰褐色土(層厚15cm、軽石の最大径 3 mm、Hg-4を混在：後述)、橙色軽石層(層厚 4 cm、軽石の最大径11mm、石質岩片の最大径 2 mm、Hg-6)、橙色軽石混じり褐色土(層厚 2 cm、軽石の最大径 3 mm)、橙色細粒軽石層(層厚 5 cm、軽石の最大径 4 mm、石質岩片の最大径 2 mm、Hg-7)が認められる(第234図)。

その上位には、炭化物混じり暗灰色土(層厚 7 cm)が特徴的に形成されており、さらに上位には、下位より暗灰色石質岩片を多く含む橙色軽石層(層厚 7 cm、軽石の最大径14mm、石質岩片の最大径 3 mm、Hg-8)、褐色砂質土(層厚13cm)、黄色軽石(Hg-10)を少量含む褐色土(層厚15cm、軽石の最大径 4 mm)、黄色軽石(Hg-10)混じり褐色土(層厚36cm、軽石の最大径21mm)、黄白色粗粒軽石(Hg-11)を多く含む灰褐色土(層厚11cm、軽石の最大径 2 mm)が認められる。

これらのうち、Hg-1は層相から約 5 万年前に榛名火山から噴出したと推定されている榛名八崎テフラ(Hr-HP、新井、1962、町田・新井、1992、2003)に同定される。Hg-6からHg-8にかけてのテフラは、層相や軽石の岩相などから、約1.9～2.4万年前^{*1}に浅間火山から噴出した浅間板鼻褐色軽石群(As-BP Group、新井、1962、早田、1996、未公表資料)の中中部と考えられる。そのうち、Hg-5については、層位や岩相などから、As-BP Groupの下部、いわゆる室田軽石(MP、森山、

1972, 早田, 1990)と推定される。さらに、Hg-12については、層位や岩相などから、約1.3～1.4万年前^{*1}に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石(As-YP, 新井, 1962, 町田・新井, 1992)に由来すると考えられる。

(7)芳賀東部団地遺跡B区2トレンチ

B区2トレンチでは、下位より暗灰褐色土(層厚5cm以上)、細粒の橙色軽石(Hg-5)を含む灰褐色土(層厚22cm, 軽石の最大径3mm)、橙色軽石層(層厚4cm, 軽石の最大径11mm, 石質岩片の最大径3mm, Hg-6)、褐色砂質土(層厚2cm)、橙色細粒軽石層(層厚5cm, 軽石の最大径4mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-7)、橙色細粒軽石混じりで褐色がかかった灰色土(層厚4cm, 軽石の最大径2mm)、暗灰色石質岩片を多く含む橙色軽石層(層厚5cm, 軽石の最大径11mm, 石質岩片の最大径3mm, Hg-8)、褐色砂質土(層厚12cm)、橙色軽石層(層厚5cm, 軽石の最大径3mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-9)、黄色軽石(Hg-10)を少量含む褐色土(層厚13cm, 軽石の最大径4mm)、黄色軽石(Hg-10)を多く含む褐色土(層厚36cm, 軽石の最大径7mm)、黄色軽石を多く含む褐色土(層厚14cm, 軽石の最大径7mm, Hg-11, 桃灰色砂質細粒火山灰のブロックを含む)が認められる(第235図)。

(8)芳賀東部団地遺跡B区7トレンチ

B区7トレンチでは、As-BP Group層準の岩相をより詳しく観察できた(第236図)。ここでは、下位より細粒の橙色軽石(Hg-5)を含む灰褐色土(層厚3cm以上, 軽石の最大径3mm)、軽石を多く含む橙色軽石層(層厚3cm, 軽石の最大径9mm, 石質岩片の最大径3mm)および灰色粗粒火山灰層(層厚0.4cm, 以上Hg-6)、橙色軽石混じり灰褐色土(層厚1cm)、橙色細粒軽石層(層厚4cm, 軽石の最大径3mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-7)、橙色軽石混じり暗灰色土(層厚3cm, 軽石の最大径4mm)、橙褐色粗粒火山灰層(層厚1.1cm)、暗灰色石質岩片を多く含む橙色軽石層(層厚5cm, 軽石の最大径7mm, 石質岩片の最大径2mm, 以上Hg-8)、褐色砂質土(層厚5cm以上)が認められる。

(9)芳賀東部団地遺跡C区南北ベルト

C区南北ベルトでは、下位より黒色土(層厚10cm以上)、黄色軽石(Hg-12)混じり黒灰褐色土(層厚5cm, 軽石の最大径3mm)、粗粒の白色軽石(Hg-13)を少量含む黄色軽石(Hg-14)に富む黒灰褐色土(層厚8cm, 白色軽石の最大径63mm, 黄色軽石の最大径12mm)、やや色調が暗い灰褐色土(層厚3cm)、暗灰褐色土(層厚21cm)、やや色調が暗い灰褐色土(層厚5cm)、褐色盛土(層厚32cm)が認められる(第237図)。これらのうち、Hg-12については、層位や岩相などから、4世紀初頭に浅間火山から噴出した浅間C軽石(As-C, 荒牧, 1968, 新井, 1979, 友廣, 1988, 若狭, 2000など)に由来すると考えられる。

(10)芳賀東部団地遺跡C区2トレンチ南端部

C区2トレンチ南端部では、下位より褐色土(層厚32cm)、黄色軽石層(層厚8cm, 軽石の最大径5mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-11)、黄色粗粒火山灰を多く含む灰褐色土(層厚12cm)、黄白色粗粒火山灰を含む暗灰褐色土(層厚39cm)、暗灰褐色土(層厚36cm)、黒灰褐色土(層厚11cm)、黄色軽石(Hg-12)混じり黒灰褐色土(層厚7cm, 軽石の最大径7mm)が認められる(第238図)。

(11)芳賀東部団地遺跡C区17トレンチ

C区17トレンチでは、下位より灰色岩片や灰白色粗粒火山灰(Hg-3)を含む暗灰褐色粘質土(層厚22cm以上, 軽石の最大径3, 石質岩片の最大径6mm)、灰褐色粘質土(層厚12cm, Hg-4を含む:後述)、黄橙色軽石層(層厚4cm, 軽石の最大径4mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-5)、褐色土(層厚15cm)、橙色軽石層(層厚5cm, 軽石の最大径4mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-6)、褐色砂質土(層厚1cm)、橙色細粒軽石層(層厚5cm, 軽石の最大径2mm, Hg-7)、灰色砂質土(層厚6

cm)、暗灰色石質岩片を多く含む橙色軽石層(層厚4cm, 軽石の最大径3mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-8)、砂混じり褐色土(層厚8cm)、橙色軽石(Hg-9)に富む褐色土(層厚6cm, 軽石の最大径4mm)、黄色軽石(Hg-10)を少量含む褐色土(層厚18cm, 軽石の最大径7mm)、黄色軽石(Hg-10)を含む褐色土(層厚18cm, 軽石の最大径12mm)、黄色軽石(Hg-11)を含み若干灰色がかった褐色土(層厚17cm)、黄白色粗粒火山灰を含む灰褐色土(層厚23cm)、暗灰褐色土(層厚16cm)が認められる(第239図)。

(12) 芳賀東部団地遺跡D区2トレンチ東壁

D区2トレンチでは、下位より橙褐色軽石(最大径4mm, Hg-2)混じり褐色土(層厚5cm以上)、灰色岩片や黄白色軽石(Hg-3)を含む暗灰褐色土(層厚31cm, 軽石の最大径2mm, 石質岩片の最大径6mm)、灰褐色土(層厚15cm)、若干色調が明るい灰色土(層厚7cm, Hg-4を含む)、橙色軽石層(層厚18cm, 軽石の最大径5mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-5)、灰褐色土(層厚11cm)、炭化物混じり灰褐色土(層厚8cm)、橙色軽石層(層厚4cm, 軽石の最大径4mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-6)、灰色がかった褐色土(層厚2cm)、暗灰色石質岩片を多く含む橙色軽石層(層厚5cm, 軽石の最大径2mm, Hg-8)、灰褐色砂質土(層厚6cm)、炭化ぶる混じりで若干色調が灰色がかった褐色土(層厚17cm)、橙色軽石層(層厚4cm, 軽石の最大径3mm, 石質岩片の最大径2mm, Hg-9)、褐色土(層厚6cm)、攪乱土(層厚3cm以上)が認められる(第240図)。

ここでは、Hg-7より上位で、Hg-6のすぐ下位に礫群を構成する礫が検出されている。

(13) 芳賀東部団地遺跡D区2トレンチ東壁南部

D区2トレンチ東壁南部では、下位より灰褐色土(層厚2cm以上)、橙色軽石層(層厚4cm, 軽石の最大径4mm, 石質岩片の最大径3mm, Hg-6)、褐色砂質土(層厚1cm)、橙色細粒軽石層(層厚5cm, 軽石の最大径2mm, Hg-7)、暗灰色砂質土(層厚3cm)、橙褐色細粒火山灰層(層厚0.8cm)、暗灰色石質岩片を多く含む橙色軽石層(層厚3cm, 軽石の最大径3mm, Hg-8)、灰色がかった褐色土(層厚2cm以上)が認められる(第241図)。

3. 火山ガラス比分析

(1) 分析試料と分析方法

ここでは、ガラス質テフラの降灰層準を求めるために、各遺跡各地点での可能性がある土層から基本的に厚さ5cmごとに設定採取された試料のうち、各土層最低1点を採取することとした。

上泉武田遺跡のJ-19トレンチ、I区第2トレンチ上方地点、I区第2トレンチ下方地点の3地点で15点、芳賀東部団地遺跡のC区17トレンチの1地点での8点について、火山ガラス比分析を行った。また、芳賀東部団地遺跡のD区2トレンチの試料1(Hg-9)について、火山ガラス比分析と重鉍物組成分析を実施した。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料について10gずつを秤量。
- 2) 超音波洗浄により泥分を除去。
- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 分析篩により1/4-1/8mmの粒子を篩別。
- 5) 偏光顕微鏡下で250粒子を観察し、火山ガラスの色調・形態別比率を把握(火山ガラス比分析)。
- 6) 偏光顕微鏡下で重鉍物250粒子を観察し、重鉍物の組み合わせを調べる(重鉍物組成分析)。

(2) 分析結果

上泉武田遺跡のJ-19トレンチ、I区第2トレンチ上方地点、I区第2トレンチ下方地点における火山ガラス比分析の結果を、ダイヤグラムにして第231図～第233図に、またその内訳を表1に示す。J-19トレンチでは、試料4に火山

ガラスの出現ピークが認められた(14.8%)。この試料に含まれる火山ガラスは、比率が高い順に無色透明のバブル型(12.8%)、スポンジ状に発泡した軽石型(1.6%)、分厚い中間型(0.4%)である。

I区第2トレンチ上方地点では、J-19トレンチほど顕著ではないものの、試料6や試料4で火山ガラスがより多く認められる(6.4%および5.2%)。いずれの試料においても、無色透明のバブル型ガラスの比率が、スポンジ状に発泡した火山ガラスの比率とともに高い(2.0~2.4%)。

I区第2トレンチ下方地点では、さほど顕著な火山ガラスの出現ピークは認められないものの、試料2にスポンジ状に発泡した軽石型ガラスが比較的多く含まれている(2.8%)。試料10および試料8には、より多くの無色透明のバブル型ガラスが含まれている(2.4%)。

芳賀東部団地遺跡のC区17トレンチとD区2トレンチの試料1(Hg-10)の火山ガラス比分析の結果を第242図と第243図に、その内訳を第28表に示す。第243図には、重鉍物組成も合わせて示した。また、D区2トレンチ東壁のHg-10の重鉍物組成の内訳を第29表に示した。C区17トレンチでは、試料18に透明のバブル型ガラスの出現ピーク(8.4%)が認められる。この火山ガラスで特徴づけられ、試料18付近に降灰層準があると考えられるテフラをHg-5とする。

また、全体として、透明のバブル型ガラス以外の火山ガラスは、上方に向かってその比率が増大する傾向にある。土層断面で、細粒あるいは粗粒の黄色軽石が認められた試料14および13では、スポンジ状あるいは繊維束状に発泡した軽石型ガラスや分厚い中間型ガラスがほぼ等量含まれている(Hg-10、後述)。Hg-11が含まれている土層(試料7)やその上位(試料2)では、スポンジ状に発泡した軽石型ガラスの比率が減少するかわりに、中間型ガラスのそれが増大する傾向が伺える。なお、重鉍物の占める比率は、試料18以下で高く、逆に試料14より上位では比較的低い傾向がある。

D区2トレンチ東壁の試料1(Hg-9)には、ほとんど火山ガラスが含まれていない。これは、含まれるテフラ粒子の風化が進んでおり、洗浄処理中に風化物が流失したことによると考えられる。わずかに認められる火山ガラスは、スポンジ状に発泡した軽石型ガラスや、中間型ガラスである。一方、含まれる重鉍物は、比率が高い順に、斜方輝石(53.6%)、単斜輝石(29.2%)、磁鉄鉍(16.8%)で、いわゆる両輝石型のテフラである。

4. 屈折率測定(火山ガラス・鉍物)

(1)測定試料と測定方法

火山ガラス比分析で検出されたガラス質テフラと指標テフラとの同定精度を向上させるために、上泉武田遺跡のJ-19トレンチの試料4に含まれる火山ガラスについて、温度変化型屈折率測定装置(MAIOT)により火山ガラスの屈折率(n)を測定した。屈折率の測定には、ガラス部について古澤地質社製MAIOT、斜方輝石について京都フィッション・トラック社製RIMS2000のいずれも温度変化型屈折率測定装置を使用した。

(2)測定結果

屈折率測定の結果を第27表、第31表に示す。

上泉武田遺跡のJ-19トレンチの試料4に含まれる火山ガラス(26粒子)の屈折率(n)は、いずれも1.499-1.501である。芳賀東部団地遺跡のC区17トレンチの試料14に含まれる火山ガラス(29粒子)の屈折率(n)は、1.501-1.506である。また、試料10に含まれる火山ガラス(29粒子)の屈折率(n)は、1.497-1.503である。そのうち、鉍物に付着してより本質物質の可能性が高い火山ガラス(4粒子)については、1.501-1.503の値が得られた。C区南北ベルトの試料1に含まれる軽石(Hg-14)のガラス部(19粒子)の屈折率(n)は、1.502-1.507である。ただし、この試料に関してはさほど測定に不適で、測定精度はさほど高くない。D区2トレンチの試料1(Hg-9)に含まれる斜方輝石(49粒子)の屈折率(γ)は、1.703-1.708である。

5. 考察

分析測定の対象となった試料のうち、上泉武田遺跡のJ-19トレンチの試料4に含まれるバブル型ガラスについては、色調や形態さらに屈折率などから、約2.4～2.5万年前^{*1}に南九州の始良カルデラから噴出した始良Tn火山灰(AT, 町田・新井, 1976, 2003, 松本ほか, 1987, 村山ほか, 1993, 池田ほか, 1995など)に由来すると考えられる。したがって、I区第2トレンチ上方地点やI区第2トレンチ下方地点を含め、今回検出された無色透明のバブル型ガラスについては、層位も考慮するとそのほとんどがATに由来すると考えられる。

火山ガラスの産状から、J-19トレンチの試料では試料4付近、またI区第2トレンチ上方地点では試料6付近にあると考えられる。I区第2トレンチ下方地点では、AT起源の火山ガラスの明瞭な濃集は認められないものの、試料10付近に降灰層準のある可能性も考えられる。

今回明らかになった火山ガラスの産状は、地点により火山ガラスの濃集の程度が異なること、また土層の色調とAT起源の火山ガラスの含有量にさほど関係がないことも示しているようで非常に興味深い。I区第2トレンチ下方地点の試料2により多く含まれている軽石型ガラスについては、層位や岩相などから、As-BP Groupに由来する可能性が高い。したがって、後者に関しては、ATのすぐ後に浅間火山から噴出したAs-BP Groupの下部の室田軽石(MP, 森山, 1972, 早田, 1996)の降灰の影響の方が大きいのかも知れない。

いずれにしても、I区第2トレンチには、Hr-HP降灰後に火山灰土が形成された後に、現在の東側の谷斜面が発達することで浸食を受けており、その後形成されたAT下位のいわゆる暗色帯との間に斜交関係を生じていると推定される。芳賀東部団地遺跡のC区17トレンチの試料14に含まれる火山ガラスについては、その形態や屈折率などから、浅間大窪沢第1軽石(As-0k1, 約1.7万年前^{*1}, 中沢ほか, 1984, 早田, 1996)および浅間大窪沢第2軽石(As-0k2, 約1.6万年前^{*1}, 中沢ほか, 1984, 早田, 1996)からなる大窪沢テフラ群(As-0k Group)に由来すると考えられる。試料10には火山ガラスの屈折率から、多くのテフラに由来する火山ガラスが混在している可能性が考えられるが、鉱物に付着したより本質的な火山ガラスについては、As-0k Groupと考えられる。この火山ガラスで特徴づけられるテフラをHg-10とする。

なお、試料14に含まれる火山ガラスのうち、屈折率(n)が1.506に近いものについては、約1.9万年前^{*1}の浅間白糸テフラ(As-Sr, 町田ほか, 1984, 町田・新井, 1992, 2003)に由来する可能性もあろう。また試料10で検出された火山ガラスのうち、屈折率が低いものの中には、ATのほか約2.0万年前^{*1}に浅間火山から噴出した可能性のある雲場火砕流堆積物(早川, 1995)に関係するらしい、浅間萩生テフラ(As-Hg, 早田, 1995, 1996)に由来する火山ガラスが検出された可能性もある。

この地点における火山ガラス比分析で、試料18付近に降灰層準があると推定されるテフラは、その層位と透明のバブル型ガラスで特徴づけられることから、約2.4～2.5万年前^{*1}に南九州の始良カルデラから噴出した始良Tn火山灰(AT, 町田・新井, 1976, 2003, 松本ほか, 1987, 村山ほか, 1993, 池田ほか, 1995など)と考えられる。

C区南北ベルトの試料1(Hg-14)の軽石粒子は、岩相や重鉱物の組み合わせから、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA, 新井, 1979, 坂口, 1986, 早田, 1989, 町田・新井, 1992)、または6世紀中葉に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳伊香保テフラ(Hr-FP, 新井, 1962, 坂口, 1986, 早田, 1989, 町田・新井, 1992)に由来すると考えられる。現段階において、前者には粗粒の軽石の存在が周辺で確かめられているものの、Hr-FAの一次堆積層の上にHr-FPの一次堆積層が認められた例は知られてない。したがって、現段階においては、前者の可能性がより高いように思われる。今回の軽石の屈折率の測定値については、精度が高くないことから詳しく言及できないが、Hr-FPなどには、縞状軽石があり、部位によっては、火山ガラスの屈折率が従来記載されている値と異なる可能性がある。そこで、縞状軽石について、部位ごとに屈折率を測定して、高精度の同定のための資料を収集する必要があるのかも知れない。さらに、遺跡周辺での調査分析も行う必要があるだろう。

D区2トレンチの試料1のテフラ層(Hg-9)については、今回測定された斜方輝石の屈折率と、テフラ・カタログのデー

タを比較するとAs-HgあるいはAs-Srの可能性が考えられる。しかしながら、前者については、角閃石や黒雲母が認められず、典型的な層相とかなり異なり、可能性は非常に低い。一方、後者についてもわずかに含まれるとされる角閃石は認められず、軽石の岩相などは、As-BP Groupのそれによく似ている。また、As-BP Group中部に含まれる斜方輝石の屈折率(γ : 1.700-1.709)に比較的似ており、As-BP Group中部を構成する個々のテフラによっては今回の値をもつテフラ層があることも考えられる。今後、火山ガラスの屈折率測定などを実施してさらに同定精度を向上させる必要がある。

なお、今回の斜方輝石の屈折率の値は、同定の可能性が考えられた故新井房夫群馬大学名誉教授測定によるAs-BP Group上部の斜方輝石の値(γ : 1.704-1.714, 町田・新井, 2003)とは異なる傾向にある。今後、後期旧石器のより詳細な編年のために、さらに調査分析を行って、その岩相や分布を把握する必要がある。

6. まとめ

上泉武田遺跡において、地質調査、火山ガラス比分析、テフラ検出分析、火山ガラスと鉱物の屈折率測定を行った。その結果、下位より榛名八崎軽石(Hr-HP, 約5万年前)、榛名箱田テフラ(Hr-HA, 約3万年前^{*1})、始良Tn火山灰(AT, 約2.4~2.5万年前^{*1})、浅間板鼻褐色軽石群(As-BP Group, 約1.9~2.4万年前^{*1})、浅間大窪沢テフラ群(As-Ok Group, 約1.6~1.7万年前^{*1})、浅間板鼻黄色軽石(As-YP, 約1.3~1.4万年前^{*1})、榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA, 6世紀初頭)など多くのテフラ層やテフラ粒子を検出することができた。

芳賀東部団地遺跡において、地質調査、火山ガラス比分析、テフラ検出分析、屈折率測定を行った。その結果、下位より榛名八崎軽石(Hr-HP, 約5万年前, Hg-1)、年代および給源が不明の軽石(Hg-2)、榛名箱田テフラ(Hr-HA, 約3万年前^{*1})に由来すると考えられる粒子(Hg-3)、始良Tn火山灰(AT, 約2.4~2.5万年前^{*1}, Hg-4)、浅間板鼻褐色軽石群(As-BP Group, 約1.9~2.4万年前^{*1})のうちの4層(Hg-5~Hg-8)、現段階では浅間白糸軽石(As-Sr, 約1.9万年前^{*1})の可能性が高いと考えられるテフラ層(Hg-9)、浅間大窪沢テフラ群(As-Ok Group, 約1.6~1.7万年前^{*1})に由来する粒子(Hg-10)、浅間板鼻黄色軽石(As-YP, 約1.3~1.4万年前^{*1}, Hg-11)、浅間C軽石(As-C, 4世紀中葉, Hg-12)、榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA, 6世紀初頭, Hg-13)など多くのテフラ層やテフラ粒子を検出することができた。

本遺跡群で検出された礫群の層位は、このうちAs-BP Group層準(Hg-5とHg-6の間)にある。また、Hg-7とHg-8の間に特徴的に炭化物が多く含まれていることが明らかになった。

*1 放射性炭素(¹⁴C)年代。ATおよびAs-YPの較正年代については、各々約2.6~2.9万年前と約1.5~1.65万年前と考えられている(町田・新井, 2003)。

文献

- 新井房夫(1962)関東盆地北西部地域の第四紀編年。群馬大学紀要自然科学編, 10, p.1-79.
- 新井房夫(1972)斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフロクロロジーの基礎的研究。第四紀研究, 11, p.254-269.
- 新井房夫(1979)関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, no.53, p.41-52.
- 新井房夫(1993)温度一定型屈折率測定法。日本第四紀学会編「第四紀試料分析法—研究対象別分析法」, p.138-148.
- 荒牧重雄(1968)浅間火山の地質。地団研専報, no.45, 65p.
- 早川由紀夫(1995)浅間火山の地質見学案内。地学雑, 104, p.561-571.
- 池田晃子・奥野 充・中村俊夫・小林哲夫(1995)南九州, 始良カルデラ起源の大隅降下軽石と入戸火砕流中の炭化樹木の加速器¹⁴C年代。第四紀研究, 34, p.377-379.
- 町田 洋・新井房夫(1976)広域に分布する火山灰—始良Tn火山灰の発見とその意義—。科学, 46, p.339-347.
- 町田 洋・新井房夫(1992)火山灰アトラス。東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井房夫・小田静夫・遠藤邦彦・杉原重夫(1984)テフラと日本考古学—考古学研究と関係するテフラのカタログ—。古文化財編集委員会編「古

第5章 自然科学分析

文化財に関する保存科学と人文・自然科学」, p.865-928.

松本英二・前田保夫・竹村恵二・西田史朗(1987)始良Tn火山灰(AT)の¹⁴C年代. 第四紀研究, 26, p.79-83.

森山昭雄(1972)榛名火山東・南麓の地形—とくに軽石流の地形について—. 愛知教育大学地理学報告, 36-37, p.107-116.

中沢英俊・新井房夫・遠藤邦彦(1984)浅間火山, 黒班〜前掛期のテフラ層序. 日本第四紀学会講演要旨集, no.14, p.69-70.

坂口 一(1986)榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器. 群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」, p.103-119.

早田 勉(1989)6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害. 第四紀研究, 27, p.297-312.

早田 勉(1996)関東地方〜東北地方南部の示標テフラの諸特徴—とくに御岳第1テフラより上位のテフラについて—. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, 7, p.256-267.

友廣哲也(1988)古式土師器出現期の様相と浅間山C軽石. 群馬県埋蔵文化財調査事業団編「群馬の考古学」, p.325-336.

若狭 徹(2000)群馬の弥生土器が終わるとき. かみつけの里博物館編「人が動く・土器も動く—古墳が成立する頃の土器の交流」, p.41-43.

第26表 上泉武田遺跡火山ガラス比分析結果

| 地点 | 試料 | bw(cl) | bw (pb) | bw(br) | md | pm(sp) | pm(fb) | その他 | 合計 |
|--------------|----|--------|---------|--------|----|--------|--------|-----|-----|
| J-19トレンチ | 2 | 12 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 233 | 250 |
| | 4 | 32 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 213 | 250 |
| | 6 | 7 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 239 | 250 |
| | 8 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 243 | 250 |
| | 10 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 241 | 250 |
| I区第2トレンチ上方地点 | 2 | 3 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 242 | 250 |
| | 4 | 5 | 0 | 0 | 1 | 6 | 1 | 237 | 250 |
| | 6 | 6 | 0 | 0 | 3 | 6 | 1 | 234 | 250 |
| | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 248 | 250 |
| I区第2トレンチ上方地点 | 2 | 4 | 0 | 0 | 1 | 7 | 2 | 236 | 250 |
| | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 244 | 250 |
| | 6 | 5 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 239 | 250 |
| | 8 | 6 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 238 | 250 |
| | 10 | 6 | 0 | 0 | 2 | 4 | 0 | 238 | 250 |
| | 12 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 244 | 250 |

数字は粒子数. bw:バブル型, md:中間型, pm:軽石型, cl:透明, pb:淡褐色, br:褐色, sp:スポンジ状, fb:繊維束状.

第27表 上泉武田遺跡屈折率測定結果

| 地点 | 試料 | 火山ガラス | | 斜方輝石 | |
|----------|----|-------------|-------|-------------|-------|
| | | 屈折率(n) | 測定粒子数 | 屈折率(γ) | 測定粒子数 |
| J-19トレンチ | 4 | 1.498-1.501 | 26 | | |
| 1号住居址 | 軽石 | 1.501-1.504 | 30 | 1.706-1.710 | 41 |

測定は温度変化型屈折率測定装置(火山ガラス:MAIOT, 斜方輝石:RIMS2000)による.

第28表 芳賀東部団地遺跡火山ガラス比分析結果

| 地点 | 試料 | bw(cl) | bw(pb) | bw(br) | md | pm(sp) | pm(fb) | 重鉱物 | その他 | 合計 |
|----------|----|--------|--------|--------|----|--------|--------|-----|-----|-----|
| C区17トレンチ | 2 | 0 | 0 | 0 | 32 | 6 | 12 | 50 | 150 | 250 |
| | 7 | 0 | 0 | 0 | 20 | 6 | 7 | 54 | 163 | 250 |
| | 10 | 0 | 0 | 0 | 11 | 10 | 7 | 52 | 170 | 250 |
| | 14 | 3 | 0 | 0 | 8 | 11 | 7 | 74 | 147 | 250 |
| | 18 | 21 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 126 | 98 | 250 |
| | 19 | 7 | 0 | 0 | 3 | 4 | 0 | 124 | 112 | 250 |
| | 20 | 6 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 129 | 109 | 250 |
| | 22 | 3 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 124 | 119 | 250 |
| D区2トレンチ | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 0 | 79 | 164 | 250 |

数字は粒子数. bw:バブル型, md:中間型, pm:軽石型, cl:透明, pb:淡褐色, br:褐色, sp:スポンジ状, fb:繊維束状.

第29表 芳賀東部団地遺跡重鉱物組成分析結果

| 地点 | 試料 | ol | opx | cpx | ho | bi | mt | その他 | 合計 |
|---------|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| D区2トレンチ | 1 | 0 | 134 | 73 | 0 | 0 | 42 | 1 | 250 |

数字は粒子数. ol:カンラン石, cpx:単斜輝石, ho:角閃石, bi:黒雲母, mt:磁鉄鉱.

第30表 芳賀東部団地遺跡テフラ検出分析結果

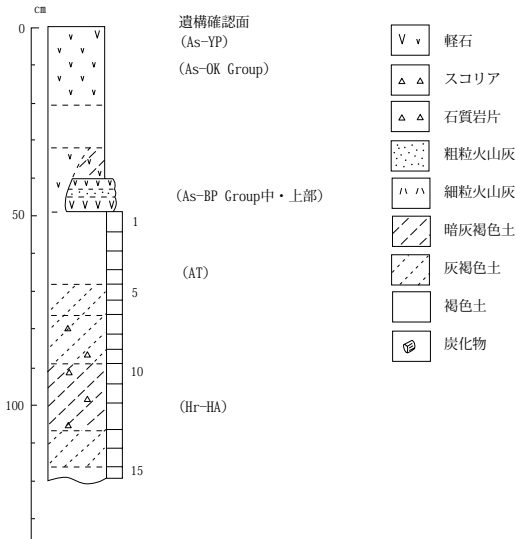
| 地点 | 試料 | 軽石の発泡形態 | 鉱物の量 | 重鉱物 |
|---------|----|---------|------|-----------|
| C区南北ベルト | 1 | sp | ++ | opx,ho,mt |

sp:スポンジ状, fb:繊維束状. +++:とくに多い, ++:多い, ++:中程度, +:少ない, -:認められない. ol:カンラン石, cpx:単斜輝石, ho:角閃石, bi:黒雲母, mt:磁鉄鉱

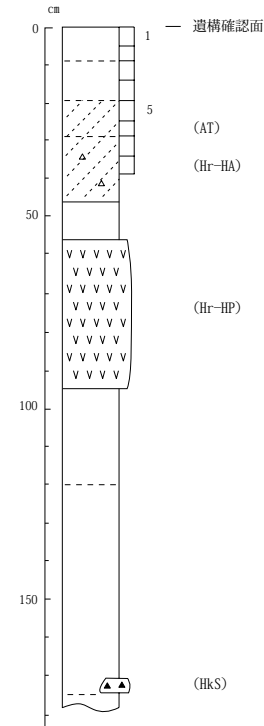
第31表 芳賀東部団地遺跡屈折率測定結果

| 地点 | 試料 | 火山ガラス(n) | 斜方輝石(γ) | 測定粒子数 |
|----------|----|-------------|------------------|-------|
| C区17トレンチ | 10 | 1.497-1.503 | - | 29 |
| C区17トレンチ | 14 | 1.501-1.506 | - | 29 |
| C区南北ベルト | 1 | 1.502-1.507 | - | 19 |
| D区2トレンチ | 1 | - | 1.703-1.708 | 29 |

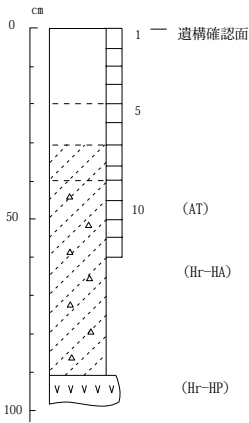
屈折率の測定は、温度変化型屈折率測定装置(RIMS2000)



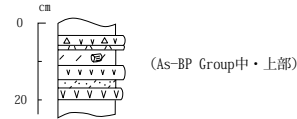
第226図 J-19トレンチの土層柱状図



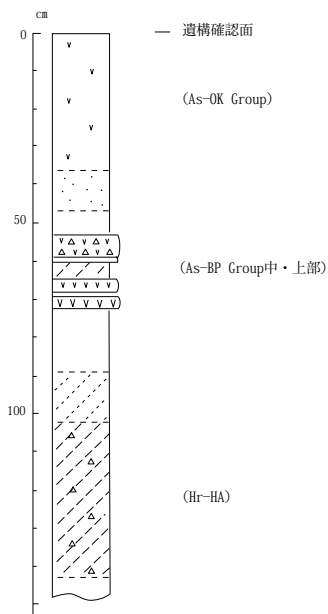
第227図 I区第2トレンチ上方地点の土層柱状図



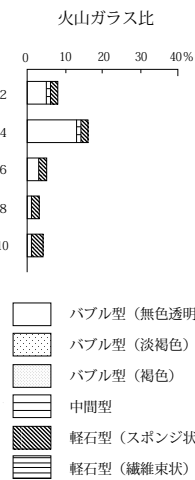
第228図 I区第2トレンチ下方地点の土層柱状図



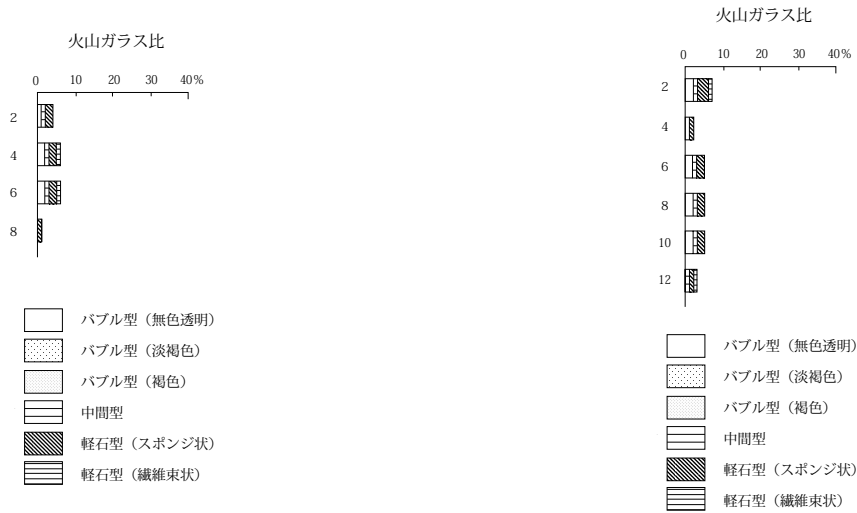
第229図 プレハブ東調査区北壁の土層柱状図



第230図 北西部調査区深堀トレンチの土層柱状図

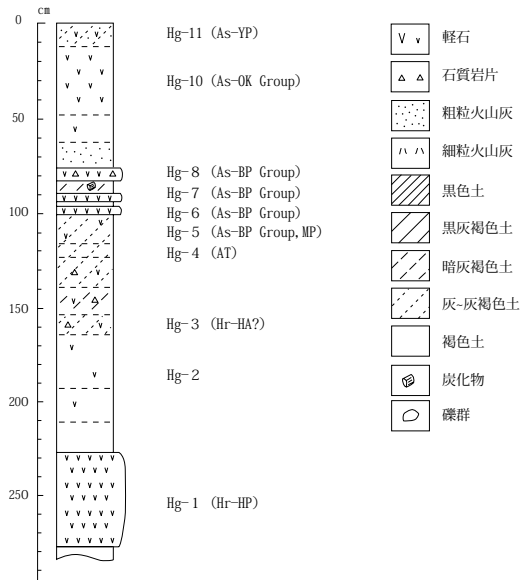


第231図 J-19トレンチの火山ガラス比ダイヤグラム

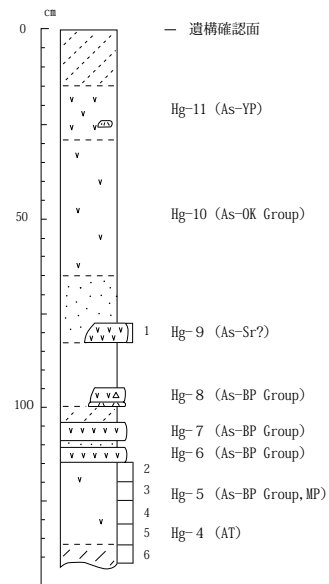


第232図 I区第2トレンチ上方地点の火山ガラス比ダイアグラム

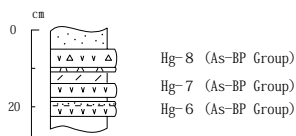
第233図 I区第2トレンチ下方地点の火山ガラス比ダイアグラム



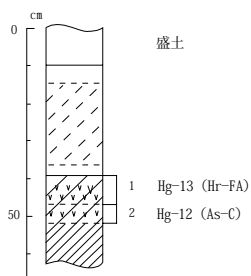
第234図 B区1トレンチの土層柱状図



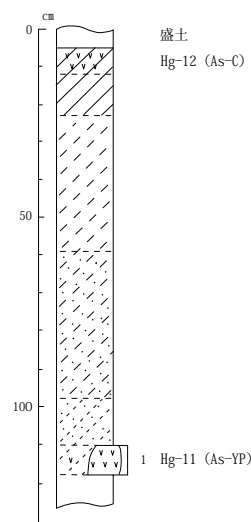
第235図 B区2トレンチの土層柱状図



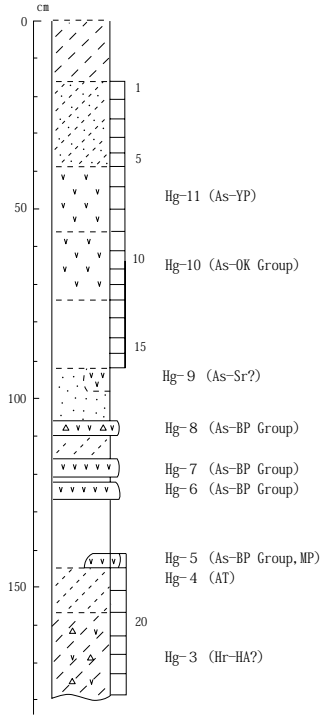
第236図 B区7トレンチの土層柱状図



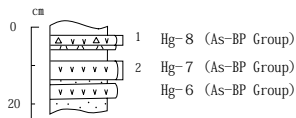
第237図 C区南北ベルトの土層柱状図



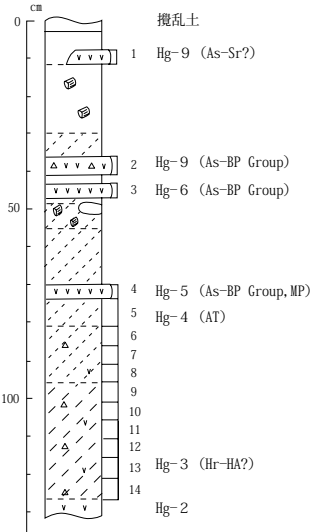
第238図 C区2トレンチ南壁の土層柱状図



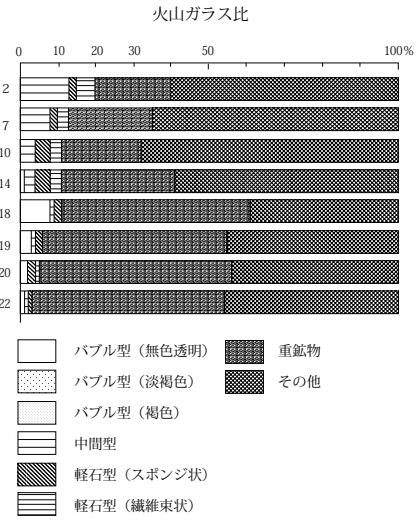
第239図 C区17トレンチ南壁の土層柱状図



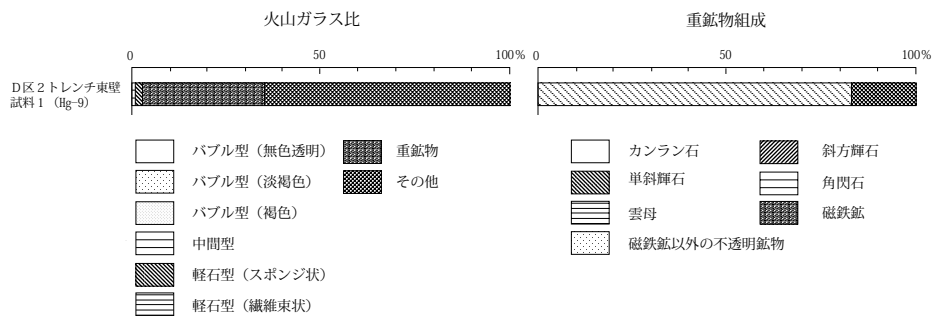
第241図 D区2トレンチ東壁南部の土層柱状図



第240図 D区2トレンチ東壁の土層柱状図



第242図 C区17トレンチの火山ガラス比ダイアグラム



第243図 D区2トレンチ東壁試料1 (Hg-9)の火山ガラス比ダイアグラム(重鉱物組成を含む)

第2節 群馬県上武道路関連遺跡出土旧石器時代黒曜石資料の産地分析

黒曜石分析は、北関東自動車道や上武道路関連の遺跡でも行われており、黒曜石産地からの搬入の大まかな傾向が把握できるようになってきた。しかし、各遺跡において分析対象としているのは出土資料の一部であることが多いため、遺跡ごとの詳細な傾向は捉えきれていない。そこで、より全点に近いデータが得られるように上泉唐ノ堀遺跡、上泉新田塚遺跡群、上泉武田遺跡、五代砂留遺跡群、芳賀東部団地遺跡、胴城遺跡から出土した旧石器時代の黒曜石について、同一母岩と判断されたるものであっても非接合資料の場合はすべて分析対象として、蛍光X線分析による産地分析を三浦麻衣子(東京学芸大学大学院)、建石 徹(文化庁)、二宮修治(東京学芸大学)の三氏に委託した結果は以下のとおりである。

1.はじめに

群馬県前橋市内の上武道路建設工事に係る、上泉唐ノ堀遺跡、上泉新田塚遺跡群、上泉武田遺跡、五代砂留遺跡群、芳賀東部団地遺跡、胴城遺跡より出土した旧石器時代黒曜石資料について、蛍光X線分析による産地分析をおこなったので報告する。なお、上武道路建設工事に関連する旧石器時代黒曜石資料の産地分析についての報告は過去にもなされている(竹原2008・2010)。

2.資料(試料)

産地分析に供した資料は、上武道路関連遺跡より出土した黒曜石資料計86点である。遺跡ごとの点数の内訳は、上泉唐ノ堀遺跡26点、上泉新田塚遺跡群1点、上泉武田遺跡7点、五代砂留遺跡群9点、芳賀東部団地遺跡7点、胴城遺跡36点である。対象資料の帰属時期は、上泉唐ノ堀遺跡・五代砂留遺跡群・芳賀東部団地遺跡が群馬Ⅰ期、上泉武田遺跡・胴城遺跡が群馬Ⅳ期である。上泉新田塚遺跡群の時期は不明である。

資料の選定、帰属時期や器種の検討等にあたっては群馬県埋蔵文化財調査事業団麻生敏隆氏の全面的なご協力を頂いた。

3.産地分析の方法

黒曜石資料中の各元素の測定には、エネルギー分散型蛍光X線分析(非破壊法)を用いた。本研究に用いた装置は、SIIナノテクノロジー社製蛍光X線分析装置SEA-5120Sである。本法の測定条件を第32表に示した。

黒曜石の主成分元素であるケイ素(Si)、チタン(Ti)、アルミニウム(Al)、鉄(Fe)、マグネシウム(Mg)、カルシウム(Ca)、ナトリウム(Na)、カリウム(K)の8元素のうち、Fe、Ca、Kの3元素は、黒曜石の産地間の識別・分類に特に有効であり、産地分析の指標元素となる。筆者らはこれら3元素と、これらと挙動に相関性のある微量成分元素であるマンガン(Mn)、ストロンチウム(Sr)、ルビジウム(Rb)を加えた6元素による検討が産地分析に有効であることを示してきた(建石・坂上・柳田・二宮2008他)。本研究においても、はじめにこの6元素の測定を行った。

産地分析のための基準資料として、北海道白滝、置戸、十勝三股、赤井川、青森県小泊、出来島、鶴ヶ坂、深浦、岩手県雫石、折居、花泉、秋田県金ヶ崎、脇本、宮城県湯の倉、色麻、秋保、山形県月山、新潟県板山、栃木県高原山、日光、長野県小深沢、男女倉、星ヶ塔、麦草峠、神奈川県畑宿、静岡県上多賀、柏峠、東京都神津島の各産地黒曜石を使用した。各産地黒曜石の分析値(岩石学の慣例に従い酸化物の形で表記し、その総和を100とした百分率で示した)を第33表に示した。

産地分析は先の6元素の測定(測定1)の結果をもとに、最遠距離法によるクラスター分析を実施し、産地黒曜石との

類似性(非類似性)を検討した。クラスター分析だけでは産地を絞り込むことが困難であった資料については、個々の資料と産地群とのクラスター分析による併合関係やその距離等の検討に加え、主成分8元素の測定(測定2)により推定する産地を絞り込んだ。なお、クラスター分析には、SPSS社製SPSS (Ver.14.0J)を用いた。

4.産地分析の結果と考察

第34表に測定1による遺跡出土黒曜石の6元素組成と推定される産地等を示した。産地分析をおこなう際に用いたクラスター分析の結果(デンドログラム)を第245図に示した。また、個々の分析資料と産地資料群の分析値をクラスター分析した結果、最も類似性の高い(非類似性の低い)産地資料との併合距離(以下、産地資料との併合距離をいう)も第34表に示した。

第245図と産地資料と併合距離を合わせて検討し、第245図でグループ化された産地資料との併合距離が比較的小さく(0.5未満)、個々の分析値にも矛盾がない場合は、それを推定産地とした。これにより、分析No.上泉武田7、五代砂留4を除く84点の産地が推定された。

分析No.上泉武田7、五代砂留4については、Rb20とSr0の相関による検討をおこなった。その結果、五代砂留4は産地資料との併合距離が0.5以上ではあるが、小深沢産が妥当であると判断した。上泉武田7は、産地資料との併合距離が大きいこと(1.0以上)、Rb20とSr0の相関等においても明確な産地が求められなかったことから、不明とした。

本研究により得られた遺跡ごとの産地構成は、上泉唐ノ堀遺跡(小深沢5、星ヶ塔18、柏峠3)、上泉新田塚遺跡群(小深沢1)、上泉武田遺跡(小深沢3、星ヶ塔3、不明1)、五代砂留遺跡群(小深沢8、星ヶ塔1)、芳賀東部団地遺跡(小深沢1、星ヶ塔4、高原山2)、胴城遺跡(星ヶ塔36)であった。

群馬県内における旧石器時代黒曜石資料のこれまでの産地分析結果の傾向は、概ね、小深沢、星ヶ塔等の長野県産が多いことが知られている(勢藤・村田2010他)。今回の産地分析でも86点中80点が長野県産という結果が得られ、この傾向と整合する。長野県産以外の資料としては、芳賀東部団地遺跡の高原山産2点と、上泉唐ノ堀遺跡の柏峠産3点が確認された。これらはいずれも群馬I期に帰属する。群馬I期の群馬県内黒曜石資料の産地分析結果は、特に県東部において高原山産が卓越することが知られているが(勢藤・村田2010他)、芳賀東部団地遺跡の事例はその延長上にあるものと考えられる。また、群馬県内における当該期の黒曜石産地分析の結果では、柏峠産とされた事例は確認されていないが、同時期の南関東地域では柏峠産黒曜石は比較的良好に利用されていたことが知られている(日本考古学協会栃木大会実行委員会編2011他)。今後、周辺地域において同様の分析事例をさらに蓄積する必要がある。

謝辞

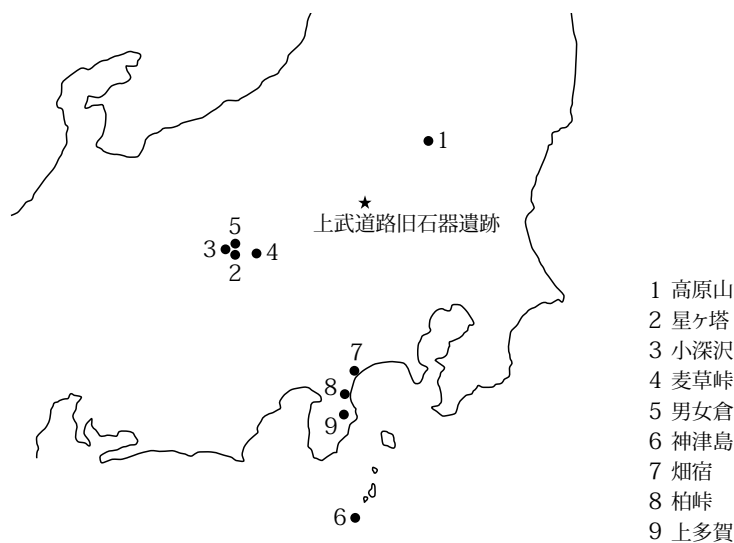
本研究を実施するにあたり、麻生敏隆氏には全般にわたる多くのご協力・ご教示を賜りました。産地分析を実施するにあたり、東京学芸大学文化財科学研究室が所有する各産地黒曜石とともに、國學院大學研究開発推進機構考古学資料館所有の「吉谷昭彦博士寄贈黒曜岩資料」(國學院大學研究開発推進機構考古学資料館編2008)のうち北海道・東北地域の産地黒曜石を基準資料として利用させていただきました。吉谷昭彦博士および、吉田恵二館長・内川隆志准教授をはじめとする國學院大學の皆様には多くのご協力・ご教示をいただきました。また、大工原豊氏、小菅将夫氏、芹澤清八氏、国武貞克氏には日頃より本研究にも関わる多くのご教示をいただいております。皆様方に厚く御礼申し上げます。

第32表 蛍光X線分析の測定条件

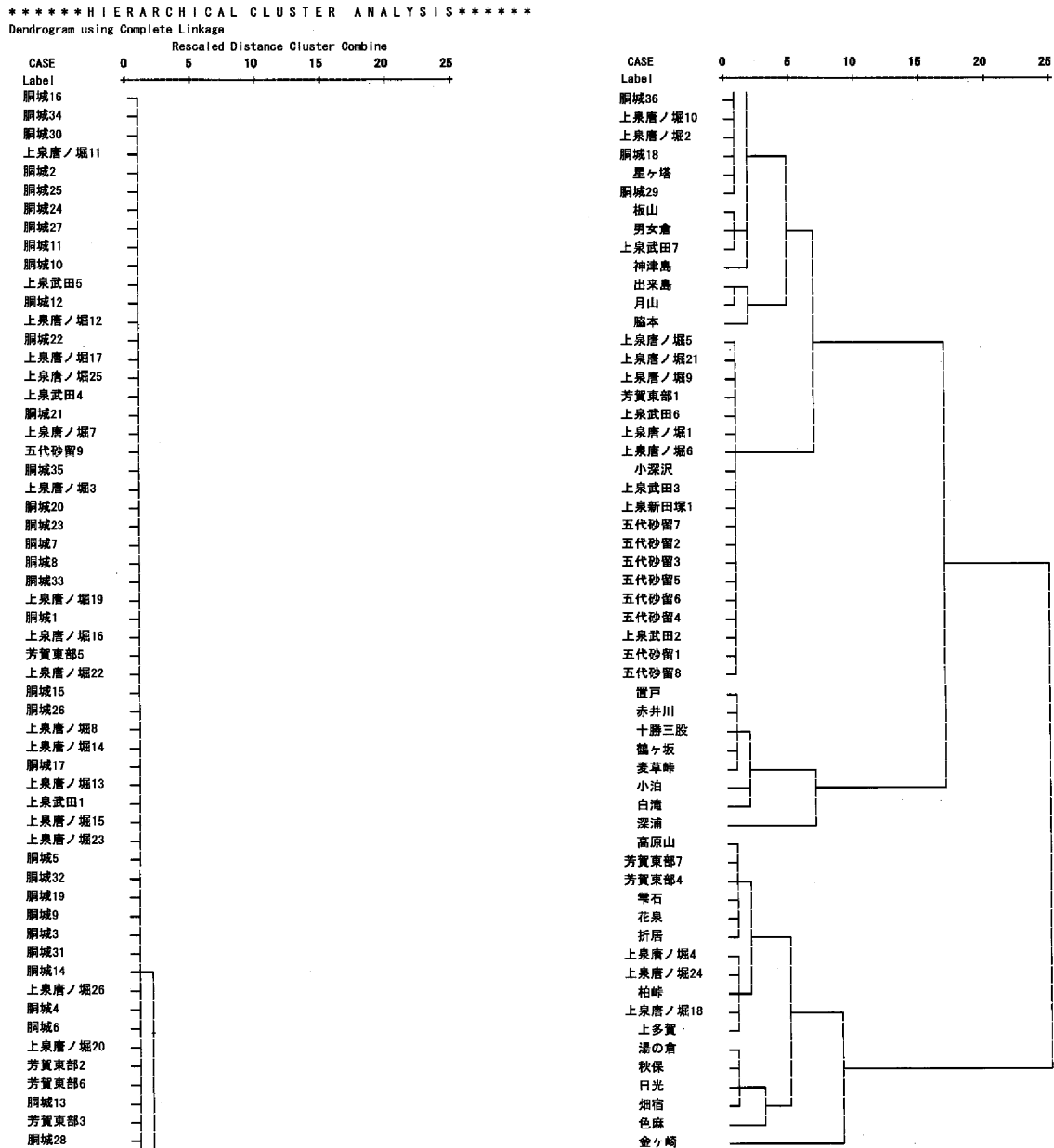
| 装置 | SIIナノテクノロジー社製エネルギー分散型 蛍光X線分析装置(SEA-5120S) | |
|------|--|------------------------|
| | 測定 1 | 測定 2 |
| 線源 | ターゲット | モリブデン(Mo)管球 |
| | 電圧 | 45 kV 15 kV、45 kV |
| 測定 | 照射径 | 1.8 mm φ |
| | 雰囲気 | 大気 真空 |
| | 測定時間 | 100 秒 180 秒 |
| 定量分析 | 計算法 | ファンダメンタルパラメータ法 |
| | 標準試料 | なし なし |

第33表 東日本の主な産地黒曜石の6元素組成 (6元素の酸化物の総和を100とした百分率)

| 都道府県 | 産地 | MnO | FeO | SrO | CaO | Rb2O | K2O |
|------|------|-----|------|-----|------|------|------|
| 北海道 | 白滝 | 1.5 | 38.9 | 0.2 | 11.8 | 1.0 | 46.7 |
| | 置戸 | 1.3 | 37.6 | 0.4 | 18.2 | 0.9 | 41.7 |
| | 十勝三股 | 1.6 | 36.1 | 0.3 | 16.6 | 1.0 | 44.4 |
| | 赤井川 | 1.5 | 36.2 | 0.3 | 18.0 | 0.8 | 43.1 |
| 青森 | 小泊 | 0.9 | 38.4 | 0.4 | 20.8 | 0.9 | 38.7 |
| | 出来島 | 4.9 | 32.7 | 0.7 | 19.6 | 0.6 | 41.4 |
| | 鶴ヶ坂 | 1.7 | 36.6 | 0.4 | 15.1 | 1.0 | 45.2 |
| | 深浦 | 1.4 | 55.9 | 0.0 | 4.1 | 0.6 | 37.9 |
| 岩手 | 雫石 | 2.0 | 44.9 | 0.6 | 23.1 | 0.5 | 28.8 |
| | 折居 | 2.0 | 45.7 | 0.6 | 20.6 | 0.6 | 30.5 |
| | 花泉 | 2.1 | 45.7 | 0.6 | 22.3 | 0.5 | 28.7 |
| 秋田 | 金ヶ崎 | 1.9 | 39.1 | 2.1 | 26.9 | 0.6 | 29.4 |
| | 脇本 | 5.4 | 24.1 | 0.5 | 22.3 | 1.1 | 46.6 |
| 宮城 | 湯の倉 | 1.9 | 56.0 | 1.0 | 27.3 | 0.2 | 13.6 |
| | 色麻 | 3.8 | 55.3 | 1.1 | 24.3 | 0.2 | 15.2 |
| | 秋保 | 2.3 | 58.4 | 0.9 | 29.0 | 0.2 | 9.3 |
| 山形 | 月山 | 4.3 | 30.0 | 0.6 | 17.4 | 0.8 | 46.8 |
| 新潟 | 板山 | 3.3 | 29.0 | 0.4 | 17.7 | 1.1 | 48.5 |
| 栃木 | 高原山 | 1.4 | 48.5 | 0.6 | 20.7 | 0.6 | 28.2 |
| | 日光 | 1.7 | 62.1 | 0.8 | 27.5 | 0.1 | 7.8 |
| 長野 | 小深沢 | 3.7 | 28.2 | 0.1 | 14.7 | 1.8 | 51.5 |
| | 男女倉 | 2.5 | 32.0 | 0.4 | 16.1 | 1.0 | 48.0 |
| | 星ヶ塔 | 3.1 | 27.3 | 0.2 | 13.8 | 0.9 | 54.6 |
| | 麦草峠 | 1.6 | 33.8 | 0.7 | 17.2 | 0.6 | 46.0 |
| 神奈川 | 畑宿 | 2.4 | 61.4 | 1.0 | 23.9 | 0.1 | 11.3 |
| 静岡 | 上多賀 | 1.7 | 53.1 | 0.9 | 24.2 | 0.2 | 19.9 |
| | 柏峠 | 1.4 | 51.1 | 0.6 | 24.0 | 0.3 | 22.7 |
| 東京 | 神津島 | 3.2 | 33.8 | 0.5 | 19.1 | 0.6 | 42.8 |



第244図 関東周辺の黒曜石原産地位置図



第245図 クラスター分析の結果(平方ユークリッド距離・最遠距離法)

引用・参考文献

麻生敏隆 2004 「群馬県内の黒曜石の自然科学分析の現状と課題」『山下秀樹氏追悼考古論集』 pp1-8 同論集刊行会
 小菅将夫・大工原豊・麻生敏隆 2004 『群馬の旧石器』みやま文庫
 勢藤力・村田学史 2010 「群馬県における黒曜石の産地分析とその利用」『岩宿フォーラム2010 / シンポジウム 北関東地方の石器文化の特色 予稿集』 pp.41-50 岩宿博物館・岩宿フォーラム実行委員会
 竹原弘展 2008 「上武道路・旧石器時代遺跡群の黒曜石産地推定分析」『上武道路・旧石器時代遺跡群(1)』 pp.391-394 群馬県埋蔵文化財調査事業団
 竹原弘展 2010 「萱野Ⅱ遺跡他出土黒曜石製石器の産地推定」『上武道路・旧石器時代遺跡群(2)』 pp.427-435 群馬県埋蔵文化財調査事業団
 建石徹・坂上恵梨・柳田明進・二宮修治 2008 「縄文時代草創期遺跡出土黒曜石の産地推定—新潟県内資料を中心として—」『津南学叢書第8輯 縄文時代の胎動』 pp.43-48 新潟県・津南町教育委員会 信濃川火焔街道連携協議会
 建石徹・三浦麻衣子・二宮修治 2010 「群馬県内出土旧石器時代黒曜石資料の産地分析」『岩宿フォーラム2010 / シンポジウム 北関東地方の石器文化の特色 予稿集』 pp.35-40 岩宿博物館・岩宿フォーラム実行委員会
 日本考古学協会2011年度栃木大会実行委員会編 2011 「旧石器時代遺跡出土黒曜石の原産地分析結果一覧」『一般社団法人日本考古学協会2011年度栃木大会 研究発表資料集』 pp241-250 日本考古学協会2011年度栃木大会実行委員会

第34表 産地分析の結果 (分析値は、6元素の酸化物の総和を100とした百分率)

| 分析No. | 遺跡・遺跡群名 | 文化層 | 帰属層位 | 群馬編年 | 注記 | 器種 | MnO | FeO | SrO | CaO | Rb2O | K2O | 併合産地 | 併合距離 |
|---------|---------|-----|----------------|------|--------|---------|-----|------|-----|------|------|------|------|-------|
| 上泉唐ノ堀1 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K1-5 | 石刃 | 4.1 | 26.7 | 0.0 | 14.2 | 2.0 | 53.1 | 小深沢 | 0.399 |
| 上泉唐ノ堀2 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K2-27 | ナイフ形石器 | 3.3 | 25.9 | 0.1 | 14.4 | 0.9 | 55.4 | 星ヶ塔 | 0.136 |
| 上泉唐ノ堀3 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K2-31 | 剥片 | 3.0 | 25.9 | 0.3 | 14.6 | 1.0 | 55.2 | 星ヶ塔 | 0.208 |
| 上泉唐ノ堀4 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K2-47 | 剥片 | 1.2 | 49.0 | 0.7 | 24.2 | 0.4 | 24.6 | 柏 峠 | 0.188 |
| 上泉唐ノ堀5 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K2-62 | 剥片 | 4.0 | 27.2 | 0.0 | 12.5 | 1.9 | 54.3 | 小深沢 | 0.424 |
| 上泉唐ノ堀6 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K2-65 | 石核 | 4.2 | 26.0 | 0.0 | 13.8 | 1.8 | 54.2 | 小深沢 | 0.360 |
| 上泉唐ノ堀7 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-25 | 剥片 | 3.2 | 25.9 | 0.2 | 13.6 | 1.1 | 56.1 | 星ヶ塔 | 0.246 |
| 上泉唐ノ堀8 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-27 | 剥片 | 3.0 | 25.5 | 0.3 | 14.5 | 1.1 | 55.7 | 星ヶ塔 | 0.314 |
| 上泉唐ノ堀9 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-28 | スクレイパー | 4.1 | 25.6 | 0.0 | 14.8 | 1.9 | 53.5 | 小深沢 | 0.287 |
| 上泉唐ノ堀10 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-30 | 碎片 | 3.1 | 26.8 | 0.1 | 16.3 | 0.9 | 52.9 | 星ヶ塔 | 0.334 |
| 上泉唐ノ堀11 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-31 | 剥片 | 2.9 | 26.0 | 0.2 | 15.1 | 1.0 | 54.9 | 星ヶ塔 | 0.183 |
| 上泉唐ノ堀12 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-33 | 剥片 | 3.4 | 26.2 | 0.3 | 15.3 | 1.0 | 53.8 | 星ヶ塔 | 0.321 |
| 上泉唐ノ堀13 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-41 | 剥片 | 3.1 | 26.8 | 0.2 | 12.4 | 1.1 | 56.3 | 星ヶ塔 | 0.441 |
| 上泉唐ノ堀14 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-46 | 剥片 | 3.2 | 25.5 | 0.3 | 14.4 | 1.1 | 55.6 | 星ヶ塔 | 0.358 |
| 上泉唐ノ堀15 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-48 | 剥片 | 3.4 | 25.7 | 0.2 | 13.5 | 1.1 | 56.1 | 星ヶ塔 | 0.253 |
| 上泉唐ノ堀16 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-49 | 碎片 | 3.1 | 26.0 | 0.3 | 14.1 | 1.0 | 55.4 | 星ヶ塔 | 0.163 |
| 上泉唐ノ堀17 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-50 | 剥片 | 3.2 | 25.0 | 0.3 | 15.8 | 1.1 | 54.7 | 星ヶ塔 | 0.433 |
| 上泉唐ノ堀18 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-60 | 碎片 | 1.6 | 50.0 | 0.7 | 24.2 | 0.3 | 23.2 | 柏 峠 | 0.164 |
| 上泉唐ノ堀19 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-74 | ナイフ形石器 | 3.3 | 25.3 | 0.3 | 14.5 | 1.0 | 55.6 | 星ヶ塔 | 0.251 |
| 上泉唐ノ堀20 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-111 | 石刃 | 3.4 | 26.7 | 0.3 | 13.8 | 1.0 | 54.8 | 星ヶ塔 | 0.159 |
| 上泉唐ノ堀21 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-122 | 剥片 | 3.9 | 28.9 | 0.0 | 12.6 | 1.9 | 52.7 | 小深沢 | 0.296 |
| 上泉唐ノ堀22 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-153 | 剥片 | 3.1 | 26.0 | 0.4 | 14.4 | 1.1 | 55.1 | 星ヶ塔 | 0.336 |
| 上泉唐ノ堀23 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-159 | 剥片 | 3.4 | 25.6 | 0.4 | 13.4 | 1.1 | 56.1 | 星ヶ塔 | 0.470 |
| 上泉唐ノ堀24 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-167 | 剥片 | 1.2 | 49.2 | 0.7 | 25.4 | 0.4 | 23.2 | 柏 峠 | 0.205 |
| 上泉唐ノ堀25 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-168 | 石核 | 3.2 | 25.4 | 0.3 | 13.5 | 1.1 | 56.6 | 星ヶ塔 | 0.268 |
| 上泉唐ノ堀26 | 上泉唐ノ堀 | 3 | 暗色帯 | I | K4-181 | 剥片 | 3.6 | 25.2 | 0.2 | 14.1 | 1.0 | 55.8 | 星ヶ塔 | 0.312 |
| 上泉新田塚1 | 上泉新田塚 | | ? | | K2-1 | 石刃 | 3.5 | 28.1 | 0.1 | 14.2 | 1.6 | 52.6 | 小深沢 | 0.404 |
| 上泉武田1 | 上泉武田 | 2 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | I 10 | 剥片 | 3.0 | 25.4 | 0.3 | 13.0 | 1.1 | 57.3 | 星ヶ塔 | 0.270 |
| 上泉武田2 | 上泉武田 | 2 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | I 49 | 石刃 | 3.1 | 27.7 | 0.1 | 15.3 | 1.6 | 52.1 | 小深沢 | 0.404 |
| 上泉武田3 | 上泉武田 | 2 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | I 51 | 剥片 | 3.5 | 27.3 | 0.1 | 14.7 | 1.8 | 52.6 | 小深沢 | 0.048 |
| 上泉武田4 | 上泉武田 | 3 | As-BP下 | II | II 293 | 剥片 | 3.1 | 25.6 | 0.3 | 13.7 | 1.0 | 56.4 | 星ヶ塔 | 0.176 |
| 上泉武田5 | 上泉武田 | 3 | As-BP下 | II | II 295 | 剥片 | 3.2 | 25.6 | 0.3 | 15.1 | 1.0 | 54.8 | 星ヶ塔 | 0.209 |
| 上泉武田6 | 上泉武田 | 3 | As-BP下 | II | II 327 | ナイフ形石器 | 4.2 | 24.4 | 0.0 | 15.6 | 1.9 | 53.9 | 小深沢 | 0.433 |
| 上泉武田7 | 上泉武田 | 1 | 不明 | IV | I面2 | 槍先形尖頭器 | 2.9 | 28.7 | 0.2 | 16.2 | 1.3 | 50.7 | 不明 | — |
| 五代砂留1 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K3-2 | 剥片 | 3.2 | 27.7 | 0.1 | 16.3 | 1.6 | 51.1 | 小深沢 | 0.478 |
| 五代砂留2 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K3-6 | ナイフ形石器 | 3.8 | 27.8 | 0.0 | 13.6 | 1.7 | 53.2 | 小深沢 | 0.154 |
| 五代砂留3 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K3-7 | ナイフ形石器 | 3.4 | 27.7 | 0.0 | 13.7 | 1.6 | 53.6 | 小深沢 | 0.375 |
| 五代砂留4 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K3-8 | 剥片 | 3.3 | 27.8 | 0.0 | 14.5 | 1.6 | 52.9 | 小深沢 | 0.553 |
| 五代砂留5 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K3-13 | 剥片 | 3.3 | 27.9 | 0.1 | 13.7 | 1.7 | 53.3 | 小深沢 | 0.270 |
| 五代砂留6 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K3-14 | 碎片 | 3.1 | 28.4 | 0.0 | 13.6 | 1.7 | 53.2 | 小深沢 | 0.459 |
| 五代砂留7 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K3-19 | 石核 | 3.6 | 27.8 | 0.1 | 14.3 | 1.6 | 52.6 | 小深沢 | 0.185 |
| 五代砂留8 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K3-20 | 剥片 | 3.2 | 28.4 | 0.2 | 14.7 | 1.7 | 51.8 | 小深沢 | 0.234 |
| 五代砂留9 | 五代砂留 | 1 | As-Ok1 | IV | K6-1 | 槍先形尖頭器 | 3.2 | 25.3 | 0.3 | 14.8 | 1.1 | 55.4 | 星ヶ塔 | 0.279 |
| 芳賀東部1 | 芳賀東部団地 | 2 | 暗色帯 | I | B1b | 剥片 | 4.0 | 25.2 | 0.0 | 15.2 | 1.9 | 53.7 | 小深沢 | 0.317 |
| 芳賀東部2 | 芳賀東部団地 | 2 | 暗色帯 | I | B131 | 加工痕ある剥片 | 3.3 | 26.8 | 0.3 | 13.9 | 0.9 | 54.8 | 星ヶ塔 | 0.073 |
| 芳賀東部3 | 芳賀東部団地 | 2 | 暗色帯 | I | B147 | 剥片 | 3.4 | 25.3 | 0.3 | 15.2 | 0.9 | 54.9 | 星ヶ塔 | 0.275 |
| 芳賀東部4 | 芳賀東部団地 | 2 | 暗色帯 | I | B148 | 使用痕ある剥片 | 1.5 | 46.2 | 0.7 | 22.3 | 0.7 | 28.7 | 高原山 | 0.199 |
| 芳賀東部5 | 芳賀東部団地 | 2 | 暗色帯 | I | B171 | ナイフ形石器 | 3.2 | 26.1 | 0.4 | 13.7 | 1.0 | 55.6 | 星ヶ塔 | 0.245 |
| 芳賀東部6 | 芳賀東部団地 | 2 | 暗色帯 | I | B174 | 剥片 | 3.4 | 25.1 | 0.3 | 15.1 | 1.0 | 55.1 | 星ヶ塔 | 0.236 |
| 芳賀東部7 | 芳賀東部団地 | 2 | 暗色帯 | I | B184 | 彫刻刀形石器 | 1.5 | 47.2 | 0.6 | 21.1 | 0.6 | 29.0 | 高原山 | 0.042 |
| 胴城1 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 1 | ナイフ形石器 | 3.3 | 25.8 | 0.4 | 14.6 | 1.1 | 55.0 | 星ヶ塔 | 0.353 |
| 胴城2 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 3 | 石刃 | 3.1 | 24.9 | 0.4 | 15.6 | 1.0 | 55.0 | 星ヶ塔 | 0.400 |
| 胴城3 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 4 | 石刃 | 3.2 | 26.6 | 0.2 | 15.4 | 1.0 | 53.6 | 星ヶ塔 | 0.131 |
| 胴城4 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 6 | 碎片 | 3.7 | 26.2 | 0.3 | 13.5 | 0.9 | 55.4 | 星ヶ塔 | 0.332 |
| 胴城5 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 7 | 剥片 | 3.7 | 25.4 | 0.2 | 15.6 | 1.0 | 54.1 | 星ヶ塔 | 0.427 |
| 胴城6 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 8 | 剥片 | 3.6 | 27.4 | 0.2 | 13.3 | 0.9 | 54.6 | 星ヶ塔 | 0.195 |
| 胴城7 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 11 | 石刃 | 3.1 | 25.5 | 0.3 | 13.8 | 0.9 | 56.4 | 星ヶ塔 | 0.102 |
| 胴城8 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 16 | 石刃 | 3.2 | 24.8 | 0.3 | 14.3 | 0.9 | 56.5 | 星ヶ塔 | 0.191 |
| 胴城9 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 17 | 石刃 | 3.6 | 24.8 | 0.3 | 14.7 | 1.1 | 55.7 | 星ヶ塔 | 0.429 |
| 胴城10 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 23 | 石刃 | 3.2 | 24.5 | 0.3 | 15.8 | 1.0 | 55.2 | 星ヶ塔 | 0.273 |
| 胴城11 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 26 | ナイフ形石器 | 3.1 | 25.0 | 0.2 | 15.8 | 1.0 | 54.9 | 星ヶ塔 | 0.265 |
| 胴城12 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 28 | スクレイパー | 3.2 | 25.1 | 0.3 | 15.3 | 1.0 | 55.0 | 星ヶ塔 | 0.326 |
| 胴城13 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 31 | 加工痕ある剥片 | 3.4 | 25.5 | 0.3 | 14.7 | 0.9 | 55.2 | 星ヶ塔 | 0.154 |
| 胴城14 | 胴城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 32 | 碎片 | 3.5 | 25.3 | 0.2 | 16.3 | 0.9 | 53.8 | 星ヶ塔 | 0.382 |

第5章 自然科学分析

| 分析No. | 遺跡・遺跡群名 | 文化層 | 帰属層位 | 群馬編年 | 注記 | 器種 | MnO | FeO | SrO | CaO | Rb2O | K2O | 併合産地 | 併合距離 |
|-------|---------|-----|----------------|------|----|---------|-----|------|-----|------|------|------|------|-------|
| 洞城15 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 33 | 石刃 | 3.1 | 25.5 | 0.3 | 14.3 | 1.1 | 55.8 | 星ヶ塔 | 0.301 |
| 洞城16 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 34 | 剥片 | 3.0 | 25.4 | 0.3 | 15.7 | 1.1 | 54.6 | 星ヶ塔 | 0.359 |
| 洞城17 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 36 | 石刃 | 3.2 | 25.4 | 0.3 | 14.3 | 1.1 | 55.7 | 星ヶ塔 | 0.427 |
| 洞城18 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 37 | 剥片 | 3.3 | 27.1 | 0.2 | 14.2 | 1.0 | 54.3 | 星ヶ塔 | 0.085 |
| 洞城19 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 43 | 剥片 | 3.6 | 25.7 | 0.2 | 14.5 | 1.0 | 55.0 | 星ヶ塔 | 0.357 |
| 洞城20 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 44 | スクレイパー | 3.1 | 26.2 | 0.3 | 14.7 | 1.1 | 54.7 | 星ヶ塔 | 0.292 |
| 洞城21 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 45 | 剥片 | 3.2 | 25.1 | 0.3 | 13.9 | 1.0 | 56.5 | 星ヶ塔 | 0.149 |
| 洞城22 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 47 | 剥片 | 3.3 | 25.4 | 0.3 | 15.4 | 1.0 | 54.6 | 星ヶ塔 | 0.271 |
| 洞城23 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 49 | 石刃 | 3.1 | 26.1 | 0.2 | 14.4 | 1.0 | 55.2 | 星ヶ塔 | 0.080 |
| 洞城24 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 52 | 彫刻刀形石器 | 3.1 | 25.3 | 0.3 | 16.2 | 1.0 | 54.0 | 星ヶ塔 | 0.371 |
| 洞城25 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 54 | ナイフ形石器 | 3.1 | 25.8 | 0.3 | 15.6 | 1.1 | 54.2 | 星ヶ塔 | 0.400 |
| 洞城26 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 59 | 石刃 | 3.0 | 25.1 | 0.3 | 14.1 | 1.1 | 56.3 | 星ヶ塔 | 0.326 |
| 洞城27 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 61 | 剥片 | 3.2 | 25.4 | 0.3 | 15.8 | 1.0 | 54.3 | 星ヶ塔 | 0.317 |
| 洞城28 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 62 | 碎片 | 3.1 | 25.3 | 0.2 | 15.8 | 1.0 | 54.6 | 星ヶ塔 | 0.219 |
| 洞城29 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 63 | 石刃 | 3.2 | 25.5 | 0.0 | 14.2 | 0.8 | 56.3 | 星ヶ塔 | 0.308 |
| 洞城30 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 65 | 石刃 | 2.9 | 25.5 | 0.3 | 15.5 | 1.1 | 54.9 | 星ヶ塔 | 0.474 |
| 洞城31 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 66 | 剥片 | 3.4 | 25.8 | 0.2 | 15.4 | 0.9 | 54.3 | 星ヶ塔 | 0.175 |
| 洞城32 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 68 | 加工痕ある剥片 | 3.8 | 26.1 | 0.3 | 14.9 | 1.0 | 54.0 | 星ヶ塔 | 0.454 |
| 洞城33 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 72 | スクレイパー | 3.0 | 26.2 | 0.4 | 13.8 | 1.0 | 55.7 | 星ヶ塔 | 0.199 |
| 洞城34 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 73 | ナイフ形石器 | 3.0 | 25.4 | 0.3 | 15.7 | 1.0 | 54.6 | 星ヶ塔 | 0.334 |
| 洞城35 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 79 | 剥片 | 3.1 | 25.6 | 0.3 | 15.0 | 1.1 | 55.0 | 星ヶ塔 | 0.259 |
| 洞城36 | 洞城 | 1 | As-YP ~ As-Ok1 | IV | 81 | 碎片 | 3.2 | 24.4 | 0.2 | 16.9 | 1.0 | 54.4 | 星ヶ塔 | 0.478 |

第35表 上武道路旧石器時代遺跡群黒曜石原産地一覧表

| 層位 | 編年 | 遺跡 | 文化層 | 高原山 | 和田 | 諏訪 | 蓼科 | 柏峠 | 不明 | 計 | |
|--------|------|------------|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|-------------|
| IIIa | IV期 | 富田下大日 | 1 | | 14 | 2 | | | 2 | 18 | ★ ★ ★ |
| | | 堤沼上 | 1 | | 1 | | | | | 1 | |
| | | 亀泉坂上 | 1 | | 1 | | | | | 1 | |
| | | 上泉唐ノ堀(7工区) | 1 | 2 | 11 | 1 | 85 | | | 99 | |
| | | 上泉武田 | 1・2 | | 2 | | | | 1 | 3 | |
| | | 五代砂留 | 1 | | 8 | 1 | | | | 9 | |
| | | 洞城 | 1 | | 36 | | | | | 36 | |
| | | 計 | | 2 | 73 | 4 | 85 | 0 | 3 | 167 | |
| IVa | III期 | 荒砥北三木堂II | 2 | | 6 | | | | | 6 | |
| | | 富田宮下 | 1 | | 1 | | | | | 1 | |
| | | 萱野II | 2 | | 1 | | | | | 1 | |
| | | 計 | | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | |
| IVb~V | II期 | 江木下大日 | | | | | 1 | | | 1 | |
| | | 亀泉坂上 | 2 | | 16 | | | | | 16 | |
| | | 萱野II | 3 | | | | 1 | | | 1 | |
| | | 上泉武田 | 3 | | 1 | 3 | | | | 4 | |
| | | 計 | | 0 | 17 | 3 | 2 | 0 | 0 | 22 | |
| VI~VII | I期 | 荒砥北三木堂II | 3 | | | 1 | | | | 1 | ★ ★ ★ |
| | | 富田西原 | | | 12 | | | | | 12 | |
| | | 富田宮下 | 2 | | | 1 | | | | 1 | |
| | | 富田下大日 | 2 | | 8 | | 1 | | | 9 | |
| | | 萱野II | 4 | | 3 | 2 | | | | 5 | |
| | | 上泉唐ノ堀(7工区) | 2 | 17 | 14 | | 7 | | | 38 | |
| | | 上泉唐ノ堀(8工区) | 1 | | 5 | 18 | | 3 | | 26 | |
| | | 芳賀東部団地 | 2 | 2 | 1 | 4 | | | | 7 | |
| 計 | | 19 | 43 | 26 | 8 | 3 | 0 | 99 | | | |
| 不明 | | 上泉新田塚 | 1 | | 1 | | | | | 1 | ★ |
| | | 計 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 合計 | | 21 | 142 | 33 | 95 | 3 | 3 | 297 | |

★本報告分析遺跡

第6章 結晶片岩について

第1節 考古学からみた結晶片岩

1. はじめに

上武道路関連の旧石器遺跡ではローム層中から片岩類が出土し、これを遺物として捉えるのか否か先の「前期旧石器ねつ造事件」との兼ね合いもあり問題となっている。片岩製礫片類については『上武道路・旧石器時代遺跡(1)(2)』の報告があり、本報告でも上泉唐ノ堀遺跡(8工区)以下8遺跡71点の片岩類を『上武道路・旧石器時代遺跡(3)』としてあつかうことになるが、(1)(2)の報告で認定した石器としての結論が妥当であるのかどうか、再検証する必要があると判断し、検証作業をおこなうこととした。

本章では、旧石器遺跡から出土した片岩類について形状・サイズ等の属性、出土状況、器種：石材レベルで見た片岩類と石器の関係などについて検討し、ローム層中から出土する片岩類について考古学的立場から見解を述べていきたい。これとともに、次節に結晶片岩について中島啓治(群馬大学非常勤講師)・中村庄八(群馬県立渋川青翠高校非常勤講師)・保科裕(埼玉県立初雁高校教諭)の三氏により、下記の①～③に留意して地質学的・岩石学的な立場から南麓旧石器遺跡から出土する片岩類について検討していただいた。

- ① 当該結晶片岩類は群馬県南西部の三波川帯や北部の上越帯のみに存在するものか否か
- ② 赤城山麓に片岩類が自然に散在する可能性について、
- ③ 赤城山・榛名山の基盤に三波川帯・上越変成帯が潜り込む可能性について

2. 再検討に至る経過

ローム層中から片岩類が出土することについては、県内で旧石器調査が本格化した昭和57・58年ころからすでにその存在が知られていた。渋川市房戸遺跡や伊勢崎市下触牛伏遺跡の片岩類がそれである。房戸遺跡例(1911事業団第11集)は榛名八崎火山灰―榛名八崎軽石層間のローム層中から出土した片岩製礫片3点で、そのうち2点に接合関係があることや石英脈のない良質石材であるという石材性状が積極的に評価され、第3文化層の石器として報告されている。牛伏遺跡例(1986 事業団第11集)は暗色帯中から出土した緑色片岩製の局部磨製石斧で、これまで人工品であるという見解に異論はない。牛伏遺跡の石斧は約2,000点の石器・石片類に伴い暗色帯から出土したものであるが、雲母石英片岩や珪質準片岩などが礫片として出土した。通常、旧石器遺跡では石器類に混じり、粗粒輝石安山岩やチャートその他の礫片類が出土、自然礫とされている。牛伏遺跡の片岩類(石斧を除く)は小片で石英脈が入り込んでおり、これを用いた旧石器がないことや出土状態も規則性がないことから自然礫と判断した。いまなおこの判断基準は生きており、常識化している。二之宮谷地遺跡の発掘(昭和61年)では、小規模だがローム層中から出土する礫片類が全量抽出されている。抽出された自然礫の石材種については報告されていないが、こうした作業が行われていること自体がローム層中の自然礫を確認しておこうという当時の問題意識の現われである。これより以後、県内旧石器遺跡の発掘は上信越自動車道や北陸新幹線関連の発掘に移る。甘楽町白倉下原遺跡や高崎市三ツ子沢中遺跡(旧榛名町)で片岩類が発見されているが、両遺跡とも片岩類については特に注意されていないようである。

平成10年を前後するころから再び赤城山南麓で旧石器遺跡が発掘されるようになるが、国道50号線以北の上武道路関連の16遺跡で片岩類(250点)が確認されており、初期の暗色帯から出土するものに加え暗色帯下の硬質ローム層から発見される片岩類の存在が明らかにされた。片岩類について、上武道路・旧石器時代遺跡(1)では加工痕や剥離痕の認定が難しい石材であること、粗粒・軟質で剥片石器には適さないこと、明確な加工痕がなく礫・礫片とすべきであろうと

いう見解が示されるとともに、地質学的には赤城火山の基盤に三波川帯が入り込む余地がないことから「人の手を経た遺物」であり、暗色帯下層のローム層中から出土する片岩類は後期旧石器時代を溯るものであり、片岩類に伴う石器群を探るべきであろうとされた。また、上武道路・旧石器時代遺跡(2)では上泉唐ノ堀遺跡の片岩製扁平礫が記載、使用痕観察により河床礫の礫麩に似た摩耗痕が観察されたとある。同遺跡の片岩製扁平礫は平成11年ころ発見されたものであろうが、それほど騒がれたという記憶はない。この片岩製扁平礫は報告書刊行後ホームページ上に紹介され、人の手を介して遺跡に持ち込まれたものであろうとされたが、これについて外部から厳しい批判があり、今後の調査方針にも係わるため事業団として再評価することになった。

3-1. 旧石器遺跡出土の片岩類

片岩類は、本報告分を除く上武道路関係の旧石器遺跡で339点、その他の赤城山南麓旧石器遺跡で62点、榛名山麓の三ツ子沢中遺跡・三峰山麓の後田遺跡に各3点がある(津島2008)とされている。

a. 礫形状 上武道路・旧石器遺跡(3)として報告予定の片岩類の平均サイズは長さ33mm・幅19mm・重さ12.44gで、最大重量は109gである。内訳は10g未満56点・20g未満21点・30g未満8点・40g未満3点・50g未満3点・60g未満2点・100～110g1点となり、10g未満の礫が主体を占める。礫片は角礫の稜が取れ丸味を帯びた垂角礫様で、稜の新鮮な破断面を有するものも少量ある。片岩類には緑色片岩がないことも特徴的であるが、各遺跡とも雲母石英片岩(上泉唐ノ堀11.8g・上泉新田塚23.0g・上泉武田22.2g・五代砂留27.4g・胴城11.6g)より黒色片岩(上泉唐ノ堀3.6g・上泉新田塚3.0g・上泉武田4.0g・五代砂留10.2g・胴城6.4g)が軽い傾向は明らかである。これに見合う片岩製の加工石器は確認されていない。

上武旧石器遺跡(1)(2)の片岩類の平均サイズは、上武旧石器(1)の片岩類は長さ25.5mm・幅15.7mm・重さ5.2g(雲母石英片岩:10g未満123点・20g未満13点・30g未満6点・40g未満1点、黒色片岩:10g未満45点・20g未満7点・30g未満2点・40g未満1点、緑色片岩10g未満6点)、上武旧石器(2)のそれは長さ33.1mm・幅20.3mm・重さ10.5g(雲母石英片岩:10g未満30点・20g未満9点・30g未満1点・40g未満1点・80g未満1点、緑色片岩:10g未満1点・20g未満1点・60g未満1点・70g未満1点、黒色片岩なし)を計り、上武旧石器遺跡(1)で報告した遺跡の片岩類が小形であることが分かる。

b. 石材構成 片岩類には雲母石英片岩・黒色片岩・緑色片岩(飯島静男氏による分類)がある。上武旧石器遺跡(1)(2)では雲母石英片岩が182点(72.8%)と多数を占め、これに黒色片岩59点(23.6%)が続く。片岩類の出土量が多い富田宮下遺跡・第2文化層では黒色片岩は1/3ほどであるが、北三木堂Ⅱ遺跡第4文化層や富田高石遺跡では黒色片岩が逆に主体を占めている。緑色片岩は9点(3.6%)と概して少ない。本報告分の上泉唐ノ堀遺跡以下8遺跡の片岩類(雲母石英片岩52点・黒色片岩14点・緑色片岩2点)を加えてなお上記石材構成は変わるものではない。

c. 石材性状 片岩類の大半が雲母石英片岩であり、石英脈が入り込んだものが多い。石器製作にはこの石英脈が邪魔して利用されないことが予想されるものばかりである。

d. 分布傾向 旧石器遺跡の石器分布は石器集中部と散漫な分布域からなり、器種レベルでは遺跡内製作の石器と別の地点で作られた石器からなるという特徴がある。旧石器遺跡から出土した片岩類は石器集中部にも散漫な分布域にも発見されることが多く、片岩類の分布のみ見るとランダムであることが圧倒的である。これに対し、富田宮下遺跡や胴城遺跡では片岩類のみ集中分布することが確認されており、これについて検討した。富田宮下遺跡の片岩類(第2文化層)は調査区北側が削平され暗色帯が露出し、HR-HP前後の旧石器調査に力が注がれた。暗色帯中の石器群はチャートを主体とするもので、片岩類は調査区南西側に集中分布し、周辺域にも散漫に分布(第246図)した。片岩類は集中性が高く、3m×5mの範囲に分布したほか、周辺域にも散漫に分布した。分布状況を見る限り、他の石器ブロックと何ら変わるころはないが、同遺跡では噴砂がHR-HP下部で発生していることや、荒砥川右岸にあるという遺跡の立地条件を考慮して、下層の片岩類が移動した可能性について検討(第246図)した。この垂直分布図を見る限り、下層から片岩類が巻

第36表 上武旧石器(1)(2)、片岩類総括表

<旧石器分布域に片岩が共存した遺跡>1

| 遺跡名 | 今井道上II遺跡 | | | | 北三木堂II遺跡 | | | | 富田宮下遺跡 | | | | 富田西原遺跡 | | | | 富田高石遺跡 | | | | 富田漆田遺跡 | | | | 富田下大日遺跡 | | | | 江木下大日遺跡 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---|---|---|----------|---|---|----|--------|---|---|---|--------|----|----|---|--------|----|----|---|--------|----|---|---|---------|---|---|------|---------|---|---|---|------|----|---|---|-----|---|---|---|-----|---|--|---|
| 文化層 | 第1文化層 | | | | 第2文化層 | | | | 第3文化層 | | | | 第1文化層 | | | | 第2文化層 | | | | | | | | 第2文化層 | | | | 第3文化層 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分布 | B | | | | B | | | | B | | | | A+B | | | | B | | | | B | | | | B | | | | B | | | | | | | | | | | | | | | |
| 層位 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | | | | |
| II層 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| III層 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IVa層 | | | | | | | | 17 | | | | | ※9 | ※1 | ※2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IVb層 | 1 | | | | 20 | | 1 | | 141 | 1 | | | | | | | 3 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | 23 | | | | | | | |
| V層 | 12 | | 1 | | 124 | | | | 87 | 1 | | | | | | | 6 | 3 | | | 107 | 2 | | | 79 | 2 | 1 | ※125 | ※4 | | | | | | | | 141 | 1 | | 2 | | | | |
| VI層 | 1 | | | | 217 | 1 | | | 297 | 2 | 2 | | | | | | 34 | 21 | 4 | | 791 | 7 | 1 | | 208 | 4 | 3 | 1 | | | | | ※173 | ※2 | | | 9 | 1 | | | | | | |
| VII層 | | | | | 47 | | | | 153 | 4 | | | | | | | 102 | 45 | 22 | | 41 | 4 | 2 | | 29 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| VIII層 | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | 6 | 20 | 6 | 1 | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IX層 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総計 | 14 | | 1 | | 410 | 1 | 1 | | 696 | 8 | 2 | | | | | | 149 | 89 | 32 | 1 | 942 | 13 | 3 | | 318 | 5 | 7 | 2 | 125 | 4 | | | | | | | 173 | 2 | | | 173 | 2 | | 2 |

<旧石器分布域に片岩が共存した遺跡>2

| 遺跡名 | 萱野II遺跡 | | | | | | | | 堤沼上遺跡 | | | | | | | |
|-------|--------|---|---|---|----------|---|---|---|----------|---|---|---|-------|---|---|---|
| 文化層 | 第3文化層 | | | | 第4文化層B地点 | | | | 第4文化層C地点 | | | | 第2文化層 | | | |
| 分布 | B | | | | B | | | | B | | | | B | | | |
| 層位 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 |
| II層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| III層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IVa層 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| IVb層 | 3 | 4 | | | 0 | | | | 0 | | | | 22 | 1 | | |
| V層 | 1 | | | | 49 | | | | | | | | 10 | | | |
| VI層 | | | | | 213 | | | | 1 | | | | 52 | 1 | | 1 |
| VII層 | | | | | 137 | 1 | | | 0 | 2 | | | 19 | 1 | | 2 |
| VIII層 | | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | |
| IX層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | | | | | 6 | | | | | | | | | | | |
| 総計 | 4 | 4 | | | 406 | 1 | | | 1 | 2 | | | 107 | 3 | | 3 |

<片岩のみ分布した遺跡>

| 遺跡名 | 今井道上II遺跡 | | | | 北三木堂II遺跡 | | | | 亀泉坂上遺跡 | | | | 上泉唐ノ堀遺跡 | | | |
|-------|----------|---|---|---|----------|---|---|---|--------|---|---|---|---------|---|---|---|
| 文化層 | 第3文化層 | | | | 第4文化層 | | | | 第3文化層 | | | | 第3文化層 | | | |
| 分布 | C | | | | C | | | | D | | | | C | | | |
| 層位 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 | 石器 | 雲 | 黒 | 緑 |
| II層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| III層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IVa層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IVb層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| V層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| VI層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| VII層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| VIII層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IX層 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総計 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | |

<分布パターン>

- A: 片岩が石器分布域内に集中分布
- B: 片岩が石器分布域内に散漫に分布
- C: 片岩のみ集中分布
- D: 片岩のみ散漫に分布

- 雲片: 雲母石英片岩
- 黒片: 黒色片岩
- 緑片: 緑色片岩

き上がるような状況はないだろうというのが結論である。上泉唐ノ堀遺跡(第2文化層)には南北2ヶ所に分布域があり、片岩類は南北両地点にある。片岩類は石器ブロックに完全に重なるわけではなく、集中度も乏しい。片岩製扁平礫は集中性を欠いた北東側の分布域にある。ここではその出土位置より、片岩それ自体が完形の扁平礫(河床礫)であるという点が注意され、人が意図的に持ち込んだとする形態的要素を備えている。

e. 出土層位 片岩類は暗色帯中に出土、高低差を以て出土する場合も出土量のピークは暗色帯にあることが圧倒的である。これに外れるのが、今井道上遺跡(第3文化層)と北三木堂II遺跡(第4文化層)とされるもので、暗色帯下層の黄褐色ローム層に出土量のピークが一群である。この2遺跡では文化層毎の片岩類全体の礫サイズの比較が可能で、その傾向を礫重量で見ると、今井道上II遺跡では第1文化層:5.8g、第2文化層:9.2g、第3文化層5.8g、北三木堂II遺跡では第3文化層:9.1g、第4文化層:3.6gとなり、下層文化層より上層文化層の礫重量が大きくなることが判明した。傾向を述べるには資料的に不足しているかもしれないが、下層より上層文化層の礫重量が大きくなる点は注意されよう。

3-2. 暗色帯出土の礫片類

片岩類が暗色帯中に含まれるものか判断することはデータ的に難しい。それは、旧石器遺跡の調査で出土する自然礫(礫片類)についてはその場で廃棄されてしまい報告されることがないためである。下触牛伏遺跡では、ローム層中の礫片類818点(片岩類を含む)がサンプル保管されており、参考資料としてデータを示しておく。

礫片類は石材19種があり、粗粒輝石安山岩473点(57.8%)・珪質変質岩97点(11.9%)・チャート92点(11.2%)・砂岩32点(3.9%)・ホルンフェルス32点(3.9%)・安山岩ガラス23点(2.8%)・溶結凝灰岩13点(1.6%)・変玄武岩12点(1.5%)・

デイサイト凝灰岩11点(1.3%)・雲母石英片岩5点(0.6%)、そのほか少数石材として凝灰質砂岩・頁岩・流紋岩が各4点、石英・変輝緑岩が各3点、珪質頁岩2点、安山岩凝灰岩・珪質準片岩・変珪岩・未固結凝灰岩各1点がある。サンプルには雲母石英片岩5点が含まれており、1点がⅧ層からの出土で、残る4点が出土層位不明であり、いずれも小片であり石器素材となりうるものではないことが明らかであった。礫重量については粗粒輝石安山岩が平均6.1g(礫片には大小があり、グリッド毎の上位3点の平均重量は19.2g)、珪質変質岩3.4g(上位3点の平均6.7g)、チャート6.1g(八崎直上のローム層から円礫217.7g1点、層位不明の礫68.4g1点があり、平均重量を押し上げている。この2点を除いた平均重量は2.8gとなる)、砂岩5.3g(7.3g)、ホルンフェルス5.2g(7.0g)変玄武岩1.4gであった。礫サイズについてはほぼ均質であり、Q・R-33グリッド(5m×10m)でサンプリングされていた①粗粒輝石安山岩と②珪質変質岩のみデータ化したところ、①②とも長さ・幅1～4cmの枠内に収まる亜角礫であることが判明した。

以上がサンプリングされていた牛伏遺跡の礫の内訳だが、注記を見るとⅣ～Ⅶ層とされているものが圧倒的で、全点が意識的にサンプリングされているわけではないが、ローム層中の礫種についてその傾向性を示しているといえるだろうと考えている。安山岩ガラスや珪質準片岩はⅣ・Ⅴ層のみ出土、層位的に限定されていた。安山岩ガラスはAs-YPに伴う黒曜石様の火山ガラスと見られ、その降下層準に近いⅣ・Ⅴ層としてサンプリングされていたであろう。同層準でサンプリングされている珪質準片岩の偏在理由は現状では明らかでない。

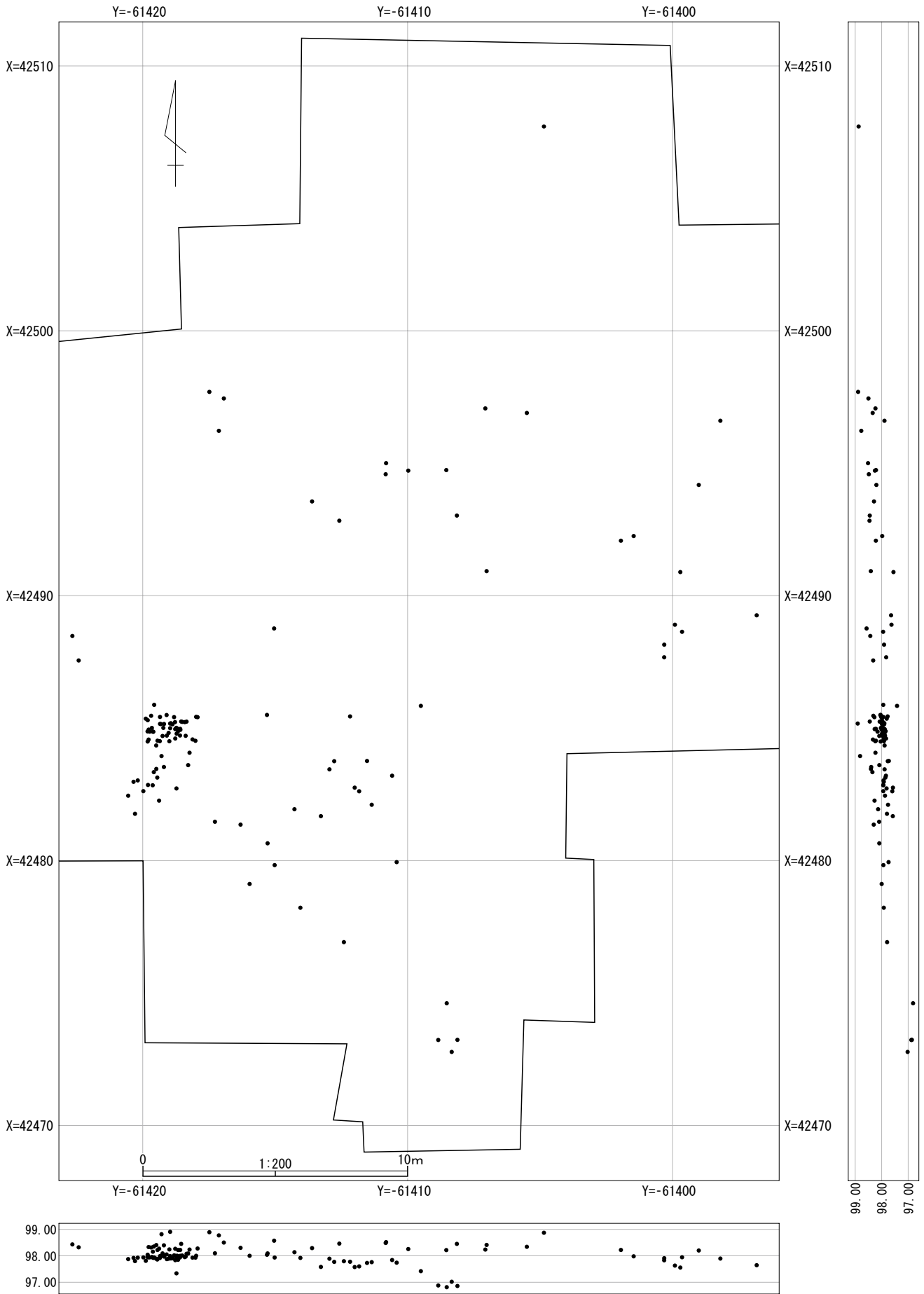
3-3. 石器としての片岩類

県内旧石器遺跡から出土した片岩製石器類は、赤城山南麓1遺跡、西毛域5遺跡の事例がある。下触牛伏遺跡から出土した局部磨製石斧は刃部が研磨され、破損後の再生加工も明らかで人工品であることは明らかである。同様に、西毛域の高崎市折茂Ⅲ遺跡から出土した片岩製石斧は端部を粗く打ち欠いただけのものだが、図から見る限り、加工石器であることは明らかである。甘楽町白倉下原遺跡・天引向原遺跡・天引狐崎遺跡や藤岡市北山B遺跡から出土した片岩製敲石は、剥片類とともに石器ブロック内で出土し、礫の小口部に敲打痕があるほか打撃に伴う衝撃剥離痕(狐崎例)や接合関係(下原例)があり、これらについても人工品とすることができる。礫サイズは11～14cm・重量は350gほどである。上武・旧石器時代遺跡(1)で片岩製スクレイパーとされたものは報告では変玄武岩とされており、誤認か誤植がある。以上の傾向から、片岩類は剥片系石器には適さないということが分かる。

甘楽町の旧石器3遺跡は、鐮川右岸の上位段丘上に立地する。遺跡は谷に分断され、狐崎一向原両遺跡間には丘陵側から三途川が流れ、深く浸食されている。3遺跡とも基本土層は同様で、暗色帯下層に礫層と青灰色粘土層の互層が堆積している。いずれも石器類に混じり礫類が出土しているが、回収されている礫は大型であるものが多い。下原A区で5点(片岩1・安山岩2・砂岩2)、下原B区で2点(片岩1・硬質泥岩1)、向原A区1点(安山岩1)、狐崎53点(片岩29・砂岩4・泥岩7・安山岩9・チャート4)が出土している。片岩類は下原A区が165.3g、下原B区が191.9g、狐崎が最大1531.0g・最少158.2g・平均734.2gを計り、狐崎が突出している。この突出理由が暗色帯下の堆積状態(礫層)の相違によるものか分からないが、片岩以外の礫の平均重量も砂岩649.8g・泥岩146.4g・安山岩1233.2g・チャート957.5gと大型であることは明らかである。下原・向原遺跡の報告では台地中央で暗色帯下層に青灰色粘土層が厚く堆積(その下位に礫層と粘土層が互層堆積)し、台地縁辺では直接礫層を覆い暗色帯が堆積したとされている。礫類には打痕等がないため分布図・数値データのみ提示されているだけであるが、礫類は石器ブロックに重複分布しており、出土した大型礫は持ち込んだものとして捉えているようである。片岩類が上記遺跡で敲石として用いる例があるのは、それが周辺域に豊富であるということになる。現状では、片岩製石器は牛伏遺跡の局部磨製石斧と西毛域の敲石類を除いてないが、これは縄文期石器にも通じる器種-石材関係とすることができる。

4. 旧石器遺物としての片岩類の可能性

旧石器としての認定条件をあげるとすれば、明らかな加工(使用痕)があるということに尽きるだろうが、分布が石



第246図 富田宮下遺跡の結晶片岩分布・垂直分布状況 (座標は日本測地系)

器ブロックと重なるか、あるいは偏在するなど考古学的な有意性がなければならない。これに対して、上武旧石器遺跡から出土した片岩類、特に雲母石英片岩とされるものは石英脈が入り、旧石器的な剥片系石器の素材には適していないとするのが常識的な見方である。

以上の要件を前提とするなら、片岩製礫片類は考古学的に人工物として認定することは難しいということになるが、上泉唐ノ堀遺跡（第2文化層）から出土した片岩製扁平礫は、その形状から意図的に持ち込んだものという可能性を残している。これについても使用痕はなく河床礫（転石）を遺跡に持ち込んでいるというだけであり、同文化層から出土したこれ以外の片岩類とはどのように係わるのか、現状で解釈する手掛かりはない。暗色帯中石器群と同一レベルで片岩類が集中分布した富田宮下遺跡や上泉武田遺跡、石器類を伴わず片岩類のみ集中分布した北三木堂Ⅱ遺跡（第4文化層）や胴城遺跡など、分布論的には考古学的な脈絡において有意性があるとせざるを得ない。ここでも片岩類とともにあるはずの礫片類がデータ化されていないが、富田宮下遺跡では接合資料があり、人工物としての可能性を考える必要がある。接合資料については意図的な打撃によるものか判断が難しく、偶発的な剥落の可能性を含め、剥離実験等を行い検証すべき必要を感じている。

5. 課題

牛伏遺跡や房谷戸遺跡の発掘当時、片岩を含む礫片類は遺物から除外された。自然礫とした礫片類はクリオターベーションされ下層の礫が混じり込んだものとされたが、房谷戸遺跡の片岩類は石英脈がなく良質であり、接合関係もあるということで遺物として取り扱われた。当時、赤城火山の基盤に第三紀の基盤が潜り込む可能性について、地質学にはこれを否定するだけのデータはなく、考古学では人工物とは見なせない片岩類については赤城火山の基盤に潜り込んでいるであろうという推定の下に解釈するのが合理的、説得的であった。その後、赤城火山の基盤に関するデータが集積され、地質学的には赤城火山の基盤に片岩類が混じる可能性はない（次節参照、中島・中村・保科）というのが今日の解釈であるようである。考古学的には片岩類について遺物として積極的に認定されるような要素は見当たらないというのが現状で、言わばその解釈基盤を否定されたかのような状況にある。

当該地域のローム層中にある片岩類についてそれを自然礫とするには、それら礫片類が下層から巻き上がる状態を示す必要がある。通常、旧石器遺跡では石器が出なくなるまでローム層を掘り下げていくが、片岩類は数が少なく調査中その存在に気づくことは稀である。また、気づいてもそれだけが注意され、それが自然礫としての可能性が検討できるようなデータ化はしていないため、検討することができないことも多い。人が持ち込んだとされた白倉下原遺跡や向原遺跡でも下層に片岩を含む礫層があるにもかかわらず、礫層から巻き上がる礫という視点ではデータ化されていない。第一義的には、赤城山中で片岩の露頭なり、河川で片岩を確認することができれば解決する問題だが、片岩類とともに礫片類が基盤層から浮き上がる状態をデータ化することが急がれよう。『上武道路・旧石器時代遺跡(1)』では、大間々扇状地の旧石器遺跡においては下層ほど礫片類が大きく量も増えるとされているが、HR-HP下層についても片岩類の有無を含めてそのデータ化が必要となるだろう。こうしたデータ化は「人が持ち込んだ」とする立場でも欠かせないが、意図的な剥離であることを示す必要がある。知る限り従来の剥離実験では剥片系石器の素材一例えば黒曜石やサヌカイトなどのデータはあるが、片岩類を対象にした剥離実験はない。剥離実験では剥片形状やバルブ、打点の在り方などが観察項目となるだろうが、これと接合資料を含む発掘品と比較する必要があるだろう。

問題視されている片岩類は暗色帯から出土するほか、暗色帯下層にもあるとされている。群馬県を除く関東各県では最初期の石器群が発見されているが、本県では暗色帯下層ローム層とHR-HP層間に列島最初期の後期旧石器が出土するものと見られる。今後の発掘調査では、最初期の石器群の確認を念頭に、片岩を含む礫片類に注意を払い、暗色帯下層を含む調査メニューが再検討・再構築されるべきだろう。

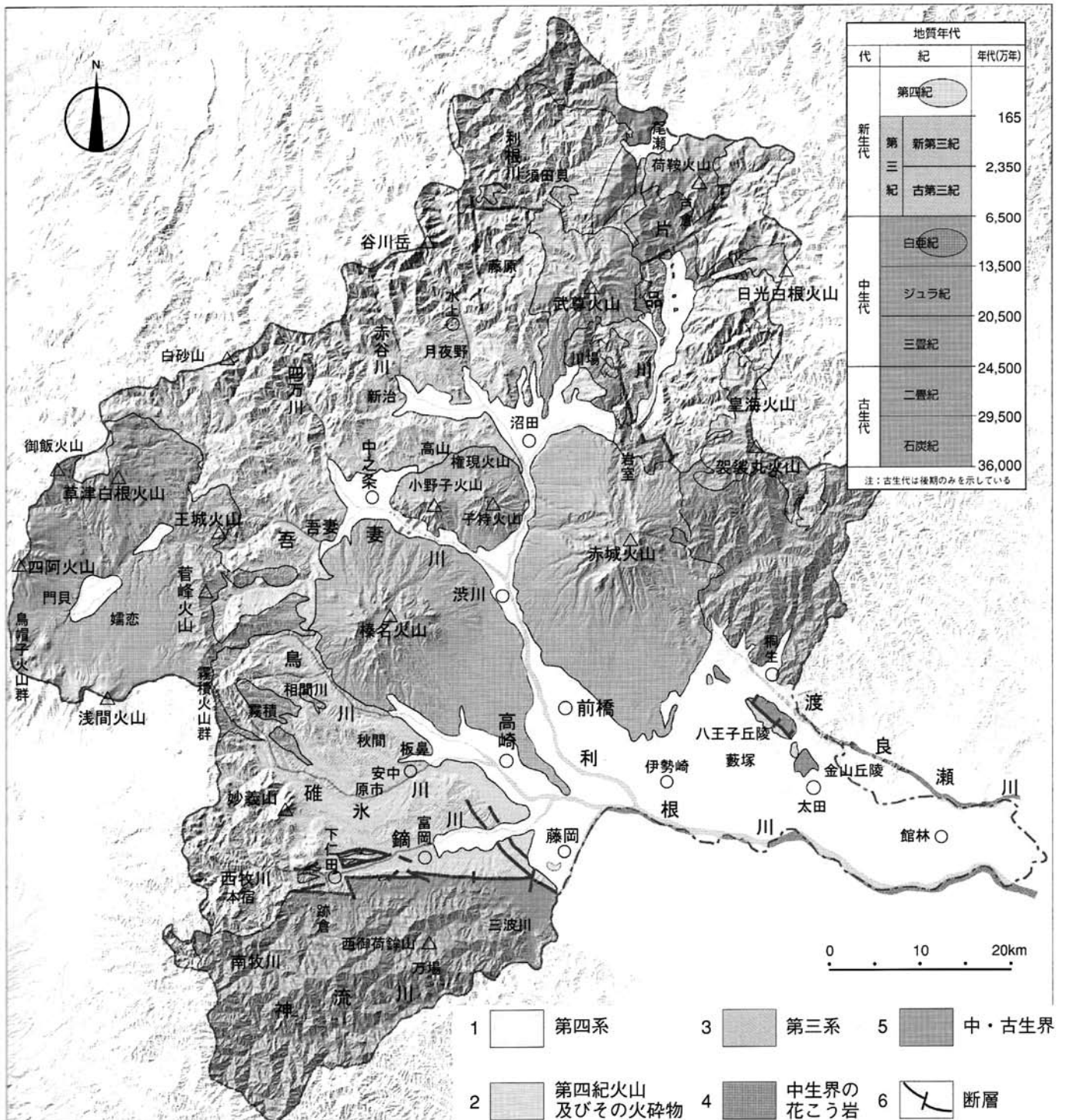
第2節 地質からみた結晶片岩

第1項 赤城山南麓の旧石器時代遺跡の結晶片岩礫

1 群馬県の地質(第247図)

群馬県は関東平野の北西部に位置する。第247図のとおり群馬県の地質を大きく分けると、古い方から中・古生界(中・古生代の地層)、中生代の花こう岩(火成岩)、第三系(第三紀の地層)、第四紀火山及びその火山噴出物、火山噴出物を除く第四系(第四紀の地層)の5つに区分できる。

県中央部や北東部は、第四紀火山及びその噴出物に覆われ、その周囲は第三紀の地質が分布している。

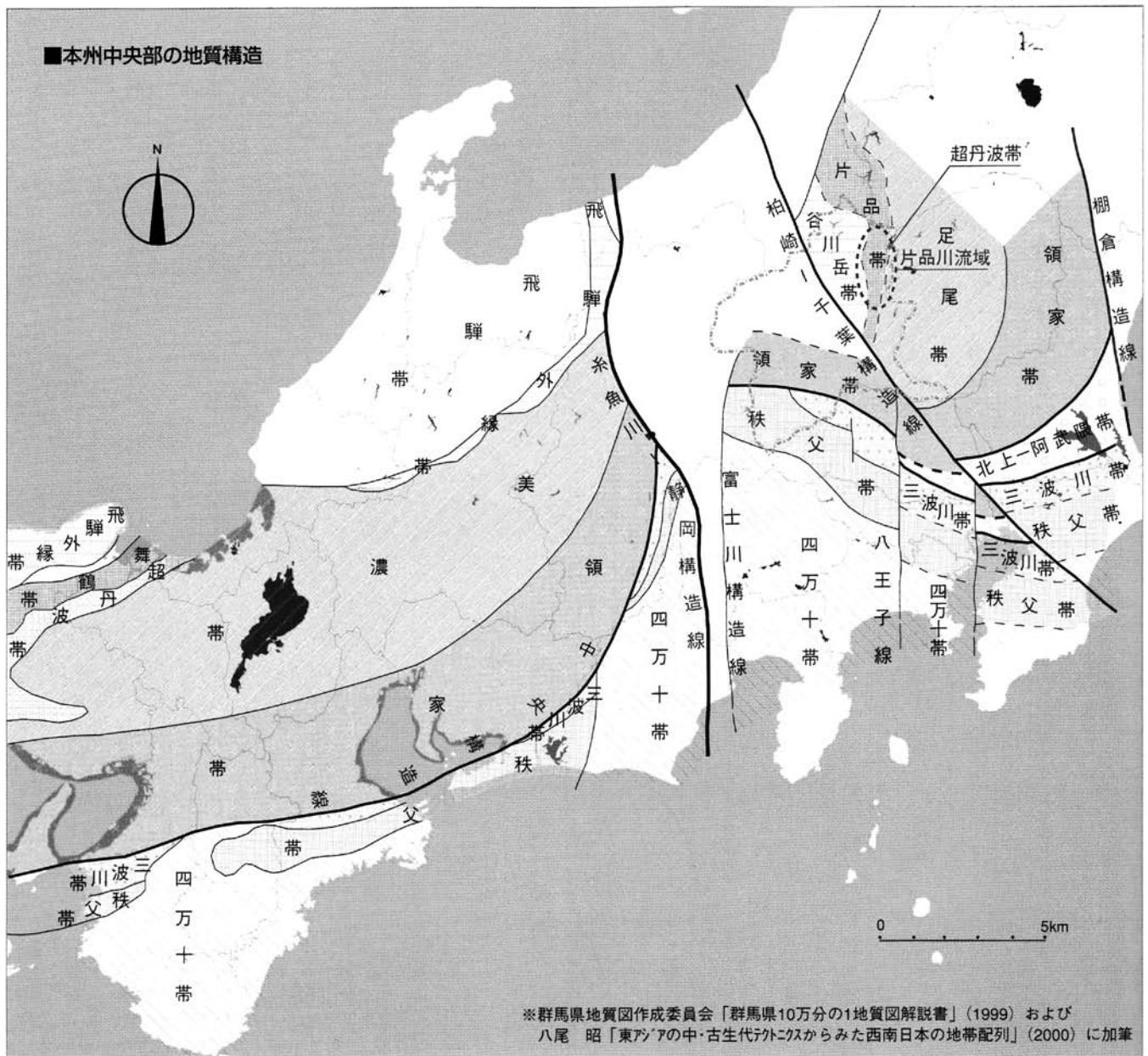


第247図 群馬県の地質概図 *群馬県地図作成委員会(1999)「群馬県10万分の1地質図解説書」に加筆

2 日本列島中央部および群馬の地帯構造(第248図)

地質の特徴が似ている地域を地質区といい、日本列島はいくつかの地質区に分けられる。本州は中央部のフォッサマグナで東北日本と西南日本に分けられ、西南日本はさらに中央構造線で内帯(日本海側)と外帯(太平洋側)に分けられる。帯は同じ時代にできた岩石が帯状に分布している地質区となる。内帯では北から南へ飛騨帯、飛騨外縁帯、舞鶴帯、超丹波帯、美濃帯(丹波帯)、領家帯の帯状構造。それぞれがある時期の付加体を反映していると考えられている。一方で外帯は、三波川帯、御荷鈴帯、秩父帯、四万十帯の帯状構造からなる。

中央構造線の北側の内帯は領家帯、南側は三波川帯からなり、共に変成作用を受けた岩石が分布する。三波川帯には、結晶片岩や緑色岩が、領家帯には片麻岩、花崗岩や酸性凝灰岩などが分布する。三波川帯の南側は秩父帯で、チャート、砂岩、泥岩、火山岩など中生代や古生代の岩石が分布する。これらの岩石は、九州から四国、紀伊半島をへて長野県諏訪まで細長く帯状に分布する。関東山地には、西南日本に連続するような帯状構造が見られ、三波川帯や秩父帯の岩石が分布する。①帯状構造の方向が、西南日本がほぼ東西方向であるのに対し、関東山地では90°折れ曲がって、北西—



第248図 本州中央部の地質構造図

南東方向になっていること②関東山地では、中央構造線とその北側の領家帯の岩石は、大部分が新しい時代の地層に覆われていて、西南日本に比べはつきりしないことである。関東山地の中央構造線は、長野県内山から群馬県下仁田町、さらに埼玉県寄居町を通り、小川町に続くと考えられている。

下仁田構造体の南限の断層は、西南日本の中央構造線の延長に相当する。関東山地の北方から谷川岳に至る地域については、地質区の区分がまだ十分には確立していない。関東山地の北側には領家帯が存在することがほぼ確実である。これは、下仁田構造体の数種類の岩石にも認められるし、また、秩父盆地の中期岩層中の礫からも推定される。中央構造線が続くと考えられている埼玉県小川町の奈良梨(ならなし)断層より北側の嵐山町越畑(おっばた)には、小規模ながら領家帯の花崗岩や片麻岩が見られる。

以下、これらの地質区の特徴を述べる。

(1)内帯

飛騨帯を構成する基本的な岩石は第一に飛騨変成岩類で、第二に船津花崗岩類である。

飛騨変成岩類の代表的な岩石は飛騨片麻岩である。この岩石は、20億年前の原生代に始まり、繰り返し変成作用を受けた。最終的には1.8億年のジュラ紀初期に船津花崗岩類の貫入を受けて、広い範囲で接触変成作用を受け、同時に強い変成作用も受けた。

飛騨外縁帯のメランジュと呼ばれる複雑な地層が広がっている。飛騨外縁帯は、飛騨帯と美濃帯の間に存在する。

美濃帯主要な岩石は砂岩・泥岩で、ほかに多量のチャートと多少の石灰岩および少量の火山噴出物がある。砂岩・泥岩の大部分はジュラ紀に堆積し、多くはメランジュである。メランジュの中のチャート岩塊は大部分が三畳紀である。フズリナを含む古生代の石灰岩も異質岩塊である。

谷川岳帯、片品帯、超丹波帯、足尾帯が群馬県北東部にほぼ南北に並んでいる。これらは、糸魚川―静岡構造線より西の、飛騨外縁帯、舞鶴帯、美濃帯に続くことされる。谷川岳帯と片品帯は、まとめて上越帯と呼ばれる。

上越帯と足尾帯の境界の位置や性格は明確でない。また、上越帯は、中生代後期～新生代初期の花崗岩に貫かれたり、あるいは中期岩層(新第三紀以降、2500万年前～70万年前)に広く覆われているため、相互の関係は不明なところが多い。しかし、ここには西南日本の飛騨外縁帯、舞鶴帯を構成する岩層の主要なものが存在する。すなわち、谷川岳や至仏山をはじめとして、各地に蛇紋岩が存在し、谷川岳ではその中に結晶片岩が含まれる。

さらに飛騨外縁帯の来馬層に相当する岩室層、手取層に相当する戸倉沢層が片品川上流に分布し、岩質だけでなく、化石も飛騨外縁帯のものと共通する。川場村には谷川岳帯が存在し、谷川岳帯構成岩である二畳紀とされる蛇紋岩メランジュが分布する。

谷川岳山頂部には、粗粒の結晶片岩が産出する。黒色片岩および緑色片岩で曹長石の点紋がある。緑色片岩は緑簾石を伴ったり伴わなかったりするが、いずれもガーネット角閃石片岩である。黒色片岩はガーネット白雲母片岩である。上越帯は、蛇紋岩・結晶片岩(蛇紋岩メランジュ)を主体とする谷川岳帯と変成オフィオライトを主体とする片品帯に大別される。上越地方の結晶片岩は、群馬県では谷川岳周辺と川場村に産出するが、川場村の結晶片岩は接触変成作用によりホルンフェルス化が著しいのに対し、谷川岳の結晶片岩は接触変成の影響が少なく、結晶片岩としての原型をとどめている。上越地方の結晶片岩は、川場地区から木村(1952)によって最初の発見がなされた。彼は、黒雲母片岩・緑色片岩・角閃石片岩・ザクロ石―チタン石片岩・透輝石―ザクロ石片岩そして普通角閃石―透輝石片岩の産出を報告している。

水上町周辺の粟沢礫岩層の礫岩中に、石墨石英片岩および緑色片岩等の結晶片岩礫が新井・木崎(1958)により発見された。粟沢礫岩層の結晶片岩礫は完全に再結晶した藍閃石片岩、大部分再結晶したザクロ石―雲母片岩および片理はそれほど発達していない点紋緑色片岩であることも吉村・市橋(1966)により示された。また、谷川岳の山頂の結晶片岩類の岩石の型は、緑泥石・絹雲母・石英片岩、ザクロ石・絹雲母・緑泥石片岩そして透輝石・緑泥石片岩等である。これ

らは、鉱物の特長、特に粒度の粗いこと等から飛騨片麻岩類の外側に発達する岩石と比較され、西南日本の三郡変成岩類に所属すると前田(1962)はみなした。他に結晶片岩は川場村の蛇紋岩メランジュ中のブロックに確認されている。また、沼田市白沢町岩室付近に露出する超塩基性岩中に結晶片岩類の捕獲岩が発見されている。岩室地区の地下に結晶片岩が存在する可能性が大きいと木村(1952)は指摘している。

足尾帯は、中・古生代の足尾層群、白亜紀～古第三紀の花崗岩類・酸性火山岩類などから構成されるジュラ紀の付加帯である。

領家帯は変成岩と花こう岩からできているので、その変成岩の原岩は美濃帯と同じものであった。領家帯は美濃帯の一部が後に変成されただけの地帯である。領家帯は、第一には領家変成岩類であり、代表的には片麻岩とホルンフェルである。領家帯は美濃帯の南縁部が変成作用を受けた部分である。第二は大量の花崗岩類である。

(2)外帯

三波川帯は、美濃帯や領家帯に比べると幅が狭い。四国中央部で最大の30km、赤石山地で4～0kmである。構成するのはさまざまな結晶片岩類であり、大別して黒色片岩と緑色片岩がある。黒色片岩の原岩は砂岩や泥岩である。緑色片岩の緑色は緑泥石と緑れん石によるもので、原岩はたいていは火山噴出物である。三波川帯の結晶片岩類は、温度より圧力の効果が顕著な変成岩である。それは地下20kmの深さに相当する高圧下で形成された。原岩はジュラ紀、したがって秩父帯と同じであり、変成作用は白亜紀であった。

秩父帯は、美濃帯のものほとんど同じで、本体はジュラ紀層であり、その中に三畳紀のチャート層と古生代の石灰岩層が、メランジュなかの異物として含まれる。

関東山地は、東西80km、南北70km、ほぼ正方形に近い古期岩層の山地である。古期岩層は基本的には西南日本外帯のそれと同じで、北(内)から南(外)へ、三波川帯、秩父帯、四万十帯が並ぶ。

下仁田構造体は、関東山地の北縁、幅数kmである。多数の断層が発達し複雑な地帯である。岩層は西南日本の領家帯のものに相当する。それに接してすぐ南側にはほぼ水平な跡倉押し被せ断層があり、根なしの山(クリッペ)がある。三波川帯の南縁には斑れい岩～玄武岩を原岩とする変成岩があり、御荷鉾岩類と総称される。

(3)中央構造線

中央構造線は、日本最大の断層であり一般的には直線的である。中央構造線は西南日本本州区中軸部を縦断し、花崗岩類や高温低圧型変成岩類で特徴づけられる領家帯と低温高圧型変成岩類の発達する三波川帯との境界をなす。この構造線は四国から紀伊半島にかけて西南西―東北東方向にのび、中部地方にはいと漸次転進して南西―東北、さらには南南西―北北東方向になり、諏訪湖南方において糸魚川―静岡構造線で切られる。中央構造線は糸魚川―静岡構造線に切られて北方に転位し、フォッサ・マグナにおいて大きく方向を変え下仁田構造帯の南縁に延び、その後関東平野に入る。

(4)結晶片岩礫の由来のまとめ

群馬県での結晶片岩は、神流川流域と上越地方に見られる。

しかし、今回の対象である遺跡からのものは点紋片岩が多く、その岩石の特徴から上越地方に分布が少ない結晶片岩ではなく、神流川流域の分布が広い三波川結晶片岩であると結論づけられる。

用語説明

メランジュ：フランス語の混合または混合物を意味する。普通の場合、泥質のマトリックス（充填物質）の中に、大小の不揃いの礫（岩塊）が雑然と含まれ、そのマトリックスは不規則に変形している。礫は正常な礫岩の水磨された円礫とは異なって、いくらか角ばっている。本来は、いくらか壊されたマトリックス（礫状物の間を埋めているもの）の中に大小さまざまな岩塊を含む岩体に対して用いられた術語である。それに似た構造をもつもので、マトリックスが蛇紋岩であるものを蛇紋岩メランジュと呼んでいる。それが堆積した地層よりも古い年代の岩帯を含んでいて、正常な層序や連続性をもたない地層である。メランジ形成の原因としては、付加体に伴う作用が考えられる。

オフィオライト：フランス語で蛇紋岩の意味である。海洋地殻起源の何種類かの岩石からなる。太平洋の海底は、上からチャート（堆積岩の仲間）、斑れい岩・玄武岩の岩脈や枕状溶岩、かんらん岩（オフィオライトでは蛇紋岩になっていることが多い）が層状に重なる。このような岩石が順番に重なっているのではなく、あちこちが断層で切られている。このような層状の構造を残した岩石である。片品川流域の戸倉オフィオライトは、2億数千万年以上前の古生代二畳紀の付加体にあたり、蛇紋岩・斑れい岩・玄武岩が分布する。

上越変成帯：結晶片岩と蛇紋岩からなる蛇紋岩メランジュ帯と考え、また片品構造帯は、閃緑岩・変成した斑れい岩と玄武岩の複合岩体からなるオフィオライト帯と考え、それぞれを谷川岳帯・片品帯とよんだ。

付加体：海洋プレートの移動が続いて、プレートが海溝で大陸プレートの下へと沈みこみはじめると、チャート・砕屑岩などの海洋プレートの上の堆積物やプレートの一部がはぎとられ、陸側に押し付けられ付加し陸地の一部となったもの。

三郡変成帯：九州北部から中国地方東部にかけて点在する低変成度の変成岩。東方延長は飛騨外縁帯に沿って点々と分布し、さらにフォッサマグナをこえて、上越変成帯にのびると考えられている。

舞鶴帯：近畿地方北部から中国地方東部へかけてのびる地質構造帯。

超丹波帯：北陸地方で、美濃帯と舞鶴帯の間にあるに二畳紀の付加体。

使用図：利根村の自然 平川・栗原川の記録(水資源開発公団 栗原川ダム調査書 平成15年3月) p.20本州中央部の地質構造 p.21群馬県の地質図

参考文献：

新井房夫・木崎喜雄 (1958) 上越、地方谷川岳南部のグリーンタフ第三系について(その1) 藤本治義教授還暦記念論文集 p.213-219
 群馬県10万分の1地質図(1999) 群馬県地質図作成委員会 内外地図株式会社
 HAYAMA, Y., KIZAKI, Y., KOBAYASHI, S., TOYA, K., and YAMASHITA, N. (1969) THE JOETSU METAMORPHIC BELT AND ITS BEARING ON THE JAPANES ISLANDS 地質学論集4 p.61-82
 上毛三山の成り立ち(2009) 上毛三山 安中市ふるさと学習館 p.1-3,63-71
 片品川上流の自然(2006) 独立行政法人 水資源機構 戸倉ダム建設所 p.1-151
 木村達明(1952) 岩室累層の地質学的研究(1)(付. 岩室累層周辺の一般地質)地質学雑誌58 p.457-468
 前田四郎 (1962) 群馬・新潟県境の結晶片岩について(演旨) 地質学雑誌68 p.407
 久保誠二(2006)川場村の温泉地質 学術調査研究調査報告 p.1-19
 大森昌衛他 (1986) 日本の地質3 関東地方 共立出版株式会社 p.1-336
 須藤定久(1976) 群馬県片品地域の地質 地質学論集13 p.229-240
 利根村の自然(2003) 平川・栗原川の記録 水資源開発公団 栗原川ダム調査所 p.1-87
 山下 昇(1995) フォッサマグナ 東海大学出版会 p.1-310
 吉村尚久・市橋紘一 (1966) 群馬県水上町に分布する粟沢層(新第三系)中の変成岩類 新潟大学理学部地質教室研究報告1 p.97-104

第2項 赤城火山形成史とその地下構造

本稿では、上武道路建設に先行して発掘調査された前橋地区での遺跡から出土した結晶片岩礫について論じることとする。ここでは、結晶片岩礫を産出する全ての地点が赤城山麓西斜面～南斜面に限定されており、赤城火山噴出物と緊密な関係にあると見られている(第249図)。そこで、赤城火山を理解するために、その誕生から現在までの活動史を概説する。次に、火山体の基盤が誕生直前にどのような形状で当時の地表部に露出していたかを野外こと実やボーリングデータなどから検討し、火山誕生直前の古地理を復元する。その一方では、赤城火山噴出物中に含まれる基盤礫が具体的に記載された研究論文や報告書の文献学的調査も行った。

(1) 赤城火山の形成史

赤城火山は、守屋(1993)によると中期更新世の約50万年前に活動を開始し、中心噴火を繰り返し2500mほどの円錐火山体に成長した。それ以降、火山体の浸食、崩壊、陥没を繰り返し、約3ないし4万年ほど前に、山頂カルデラ内に地蔵岳や小沼の中央火口丘を形成した。2万数千年前にも噴火したとする記載がある(佐藤、2002)。いずれにしても、2万年以前に火山活動を休止したと考えられる。

赤城火山の形成史は守屋(1968)により構築され、その後、守屋自身(1983, 1986, 1993)により修正等も加えられてきている。その間、またはそれ以降、Koga (1984)、竹本(1998, 1999)、群馬県企業局(1999)、中島・中村(2009)などによって一部変更ないし修正を加えた火山体形成史も発表されている。

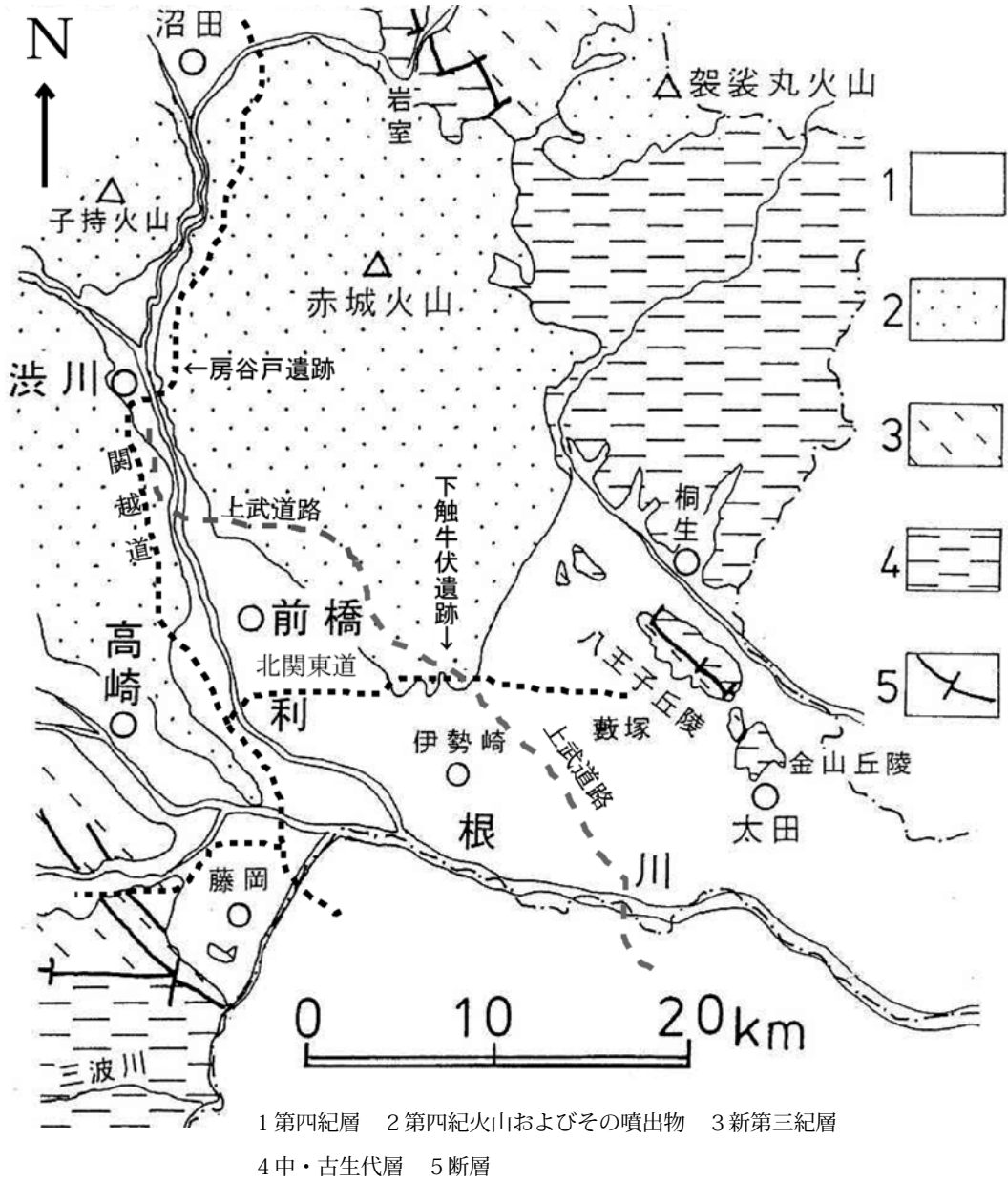
(2) 火山誕生前の古地形の復元と基盤岩類の地下分布

赤城火山の直接の基盤岩は、山頂域を中心にして山麓に至る広範囲で数100m以上の厚さの火山噴出物に覆われている。このため、赤城火山形成の直前に地表部に露出していた基盤を、火山体内で直接観察できる地点は、その分布標高が高いとされる山頂域より東側に限定されている。たとえば、粕川上流の標高800m付近の右岸で足尾帯のチャート岩塊(群馬県企業局1999; 矢島祐介・野村哲2009)、砂川上流域の標高1300m付近に分布する南郷凝灰角礫岩(守屋1968)などである。ところで、1980年代後半以降になると、群馬県、各市町村、企業・個人などによる温泉掘削が盛んになり、赤城山の火口および周辺の山麓域でも掘削によるボーリングコアや資料から基盤の情報が直接得られるようになってきた。

※たとえば、渋川市北橘町真壁(中村2005)、前橋市荻窪町・富士見町石井など。

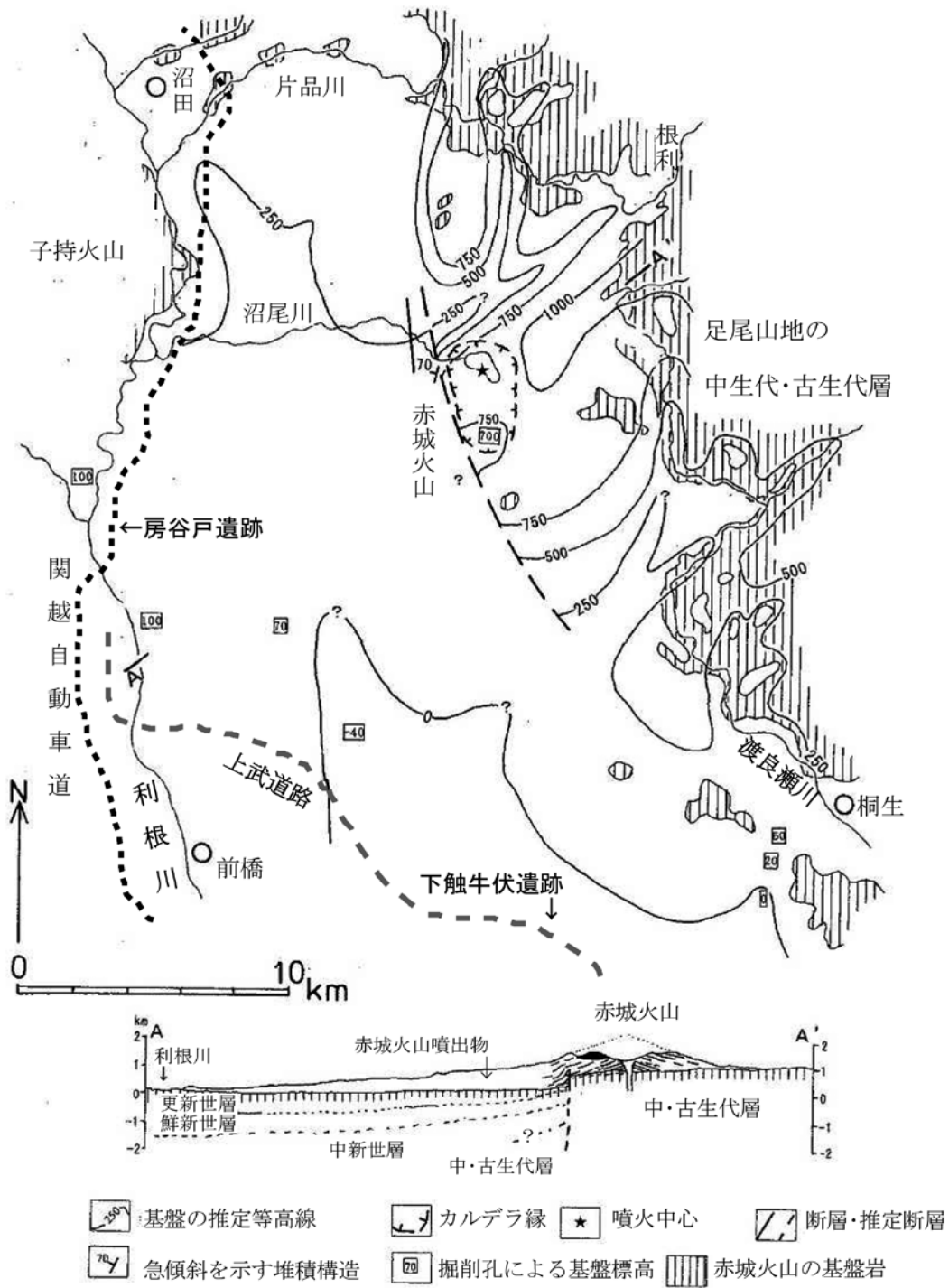
上記の論文・報告書やボーリング資料などから赤城火山活動直前の古地形を復元したのが第250図である。この図から、噴火中心域には何本もの平行する断層が当時の地表に出現していて、これらの断層を境にして相対的に西側が次々と沈降し、それらの落差を合計すると1000m以上となっていたことがわかる。また、当時の古地形高度から判断して、現在は山腹～山麓となっている赤城山の西側には、古利根川や古片品川の流路が存在していたことになる(第251図)。

第250図の地質断面図に示したように、赤城山の西麓では約100mの、山頂直下の断層の西側では1000m以上の火山噴出物が堆積している。赤城山の西麓に位置する房谷戸遺跡の下には約100mの、南麓に位置する下触牛伏遺跡の下には数十m以上の火山噴出物等が堆積していることも読み取れる。これら火山噴出物等の下に、前述した古河川の円礫や足尾帯の基盤岩類は分布している。ところで、地下数km以深の高圧条件下のもとで形成される結晶片岩類は、地質断面図に示される足尾帯の中・古生代層の基盤岩類よりも、さらに深い場所に存在していたことになるはずである。仮にマグマ活動に関連して結晶片岩類が地表にもたらされて発見されるときには、その地表面からは足尾帯の中・古生代層の礫が確率的に多数発見されるはずである。実際はどうであろうか、次項で記述する。



第249図 赤城火山周辺域の地質概図

群馬県10万分の1地質図(群馬県地質図作成委員会1999)より作成



第250図 赤城火山直下の基盤面等高線と地質断面図

中村庄八 (2004) を修正し作成



第251図 赤城火山発生直後の復元鳥瞰図
中島・中村(2009)の一部を使用

(3)まとめ

数多くの公表論文・報告書(本報では文献は省略)の中で、次の2例が基盤礫を記載している。

守屋(1968)は、赤城のカルデラ壁の内側で、山頂域から東麓に分布する鹿沼降下軽石層(Ag-KP, 約4.5万年前)のほぼ直上に約3mの厚さの水沼石質降下火砕岩層が重なり、この構成礫に泥岩やチャートの数～5cm大の角礫を含むと記載している。これらの異質礫は、山頂域で発生した水蒸気爆発のときに地下深部の足尾帯からもたらされたとしている。竹本(1998, 1999)は、渡良瀬川に近い地域で梨木岩屑なだれ堆積物(約22万年前)中にホルンフェルスや花こう岩の円礫を記載している。これらの円礫は赤城火山活動前に堆積した渡良瀬川の段丘礫や河床礫が流下中の梨木岩屑なだれ堆積物に取り込まれた異質礫としている。

なお、赤城火山に関する文献中に結晶片岩礫の記載は皆無である。筆者らも結晶片岩礫の存在を知り得ていない。唯一、赤城山の小沼付近で赤城火山噴出物中に結晶片岩礫を確認したという久保誠二氏の私信があるが、礫そのものが採集されておらず、その後の検証もなされていない。前項の「日本列島中央部および群馬の地帯構造」で記述されているように、赤城山の北方、沼田市椎坂峠付近では上越帯の蛇紋岩メランジェ中に結晶片岩塊が取り込まれている。地質学的には、地帯構造の配列分布や古片品川の河床礫由来を考慮すると、上越帯の結晶片岩塊の一部が赤城火山の基盤として分布する可能性を否定できない。しかし、三波川結晶片岩が地帯構造を異にする内帯から、また、赤城火山形成以前の河川流路に逆行して上流域から運搬されてくることは、群馬県全域の地帯構造の形成史から考えても不可能である。

参考文献

- 群馬県地質図作成委員会(1999)群馬県10万分の1地質図解説書。新井房夫監修, 内外地図, 114p.
- 群馬県企業局(1999)赤城山頂カルデラ内南縁の地質並びに温泉調査, 62p.
- Koga, S. (1984) Geology and petrology of Akagi Volcano, Gunma Prefecture, Japan. Sci. Rep., Inst. Geosci., Univ. Tsukuba, Sec. B, 5, 1-67.
- 久保誠二(2006)片品川上流の自然—地形・地質, 水資源開発機構戸倉ダム建設所, 22-63.
- 水資源協会(2003)利根川の自然—ひら川・栗原川流域の記録, 水資源開発公団栗原川ダム調査所, 群馬県自然保護連名監修.
- 守屋以智雄(1993)赤城火山の生い立ちと将来の噴火, 新井房夫編「火山灰考古学」, 古今書院, 173-193.
- 守屋以智雄(1986)赤城火山, 日本の地質3「関東地方」共立出版, 225-227.
- 守屋以智雄(1983)日本の火山地形, 東京大学出版会, 135p.
- 守屋以智雄(1968)赤城火山の地形及び地質, 前橋営林局, 65p.
- 中島啓治・中村庄八(2009)上毛三山の成りたち, 安中市ふるさと学習館, 16-17.
- 中村庄八(2005)群馬県吾妻川流域に分布する浸食された火山の内部と基盤構造, 地球科学, 59, 5-24.
- 佐藤成人(2002)最後の赤城山噴火, 群馬評論, 90, 38.
- 竹本弘幸(1999)北関東北西部地域における第四紀古環境変遷と火山活動, 茨城大学大学院学位論文, 130p.
- 竹本弘幸(1998)赤城火山, 関東・甲信越の火山I, 築地書館, 52-73.
- 矢島祐介・野村哲(2009)粕川の砂礫, ぐんまの大地, 上毛新聞社, 16-17.

第3項 旧石器時代遺跡にみいだされる結晶片岩礫の供給源

群馬県の赤城山南西麓には、旧石器時代遺跡が多く分布する。その遺跡には、明らかに旧石器人がつくった打痕のある石器とともに、手の加えられていない結晶片岩の礫が多く見いだされる。この結晶片岩は旧石器人が何かの意図でもたらされたものなのか、自然の営みの中で旧石器時代時代の遺跡に存在するのか。その礫の岩石学的な特徴から、その結晶片岩礫の供給地はどこなのかを考察する。

ー結晶片岩礫の供給源はどこか？ー

結晶片岩礫の供給地については諸説あるが、ここでは、有力な以下の3点を取り上げて考察する。

- ①利根川上流に分布する上越帯の結晶片岩
- ②赤城山の地下の基盤岩類
- ③関東山地北縁の三波川帯結晶片岩

①利根川上流に分布する上越帯の結晶片岩

上越帯は端山ほか(1969英)で提唱された変成帯で、上越地方に点在する結晶片岩などの存在から、藍閃石型の広域変成帯が存在したと推定した。上越帯の結晶片岩は谷川岳トマの耳付近および戸倉に小分布がある。また水上付近の新生代新第三系の栗沢礫岩の礫としてみられる。のちに茅原・小松(1982)などによって詳しく研究された。これらの研究によって、上越帯は西南日本の飛騨外縁帯の延長と考えられ、結晶片岩や変ハンレイ岩などを含む蛇紋岩の構造性メランジュであることがわかってきた。

上越帯の結晶片岩は蛇紋岩メランジュに含まれる構造性岩塊のため、たいへん圧砕や変形をうけている。今回、旧石器時代遺跡に見いだされる結晶片岩と比較するために、谷川岳トマの耳の結晶片岩の薄片を作成して検討した。この薄片をみると全体に圧砕構造が著しく、結晶が粉碎されていたり、結晶が壊れて角張っていたりすることが観察される。また、旧石器時代遺跡に見られる結晶片岩より変成度がやや低い。曹長石点紋は存在するものの、黒雲母はまったく見つからず石墨と白雲母主体の鉱物組み合わせの結晶片岩である。この点で、谷川岳のものは千枚岩に近い。上越帯の変成度の高い変成岩では熱の影響を受けた片状ホルンフェルスであるが、旧石器時代遺跡の礫にはない。

利根川の上流から上越帯の結晶片岩が運ばれてとしても、赤城山の南西麓斜面に利根川からの河川が存在して堆積した可能性は、地形上から考えられない。また、旧石器時代遺跡での結晶片岩の出土状況は、河川堆積物の形態ではない。したがって、上越帯の結晶片岩の可能性は低いと考えられる。

②赤城山の地下の基盤岩類

火山は、時としてその山体の基盤岩をマグマに取り込んで、異質礫として火口から噴出することがあり、その火山体地下の基盤岩の推定に役立てることができる。赤城火山のこういった火山活動の過程で、噴出した結晶片岩礫が赤城山南西麓に分布したとの考えがある。赤城火山の基盤岩中に結晶片岩はあるのだろうか。

上越帯結晶片岩存在の可能性

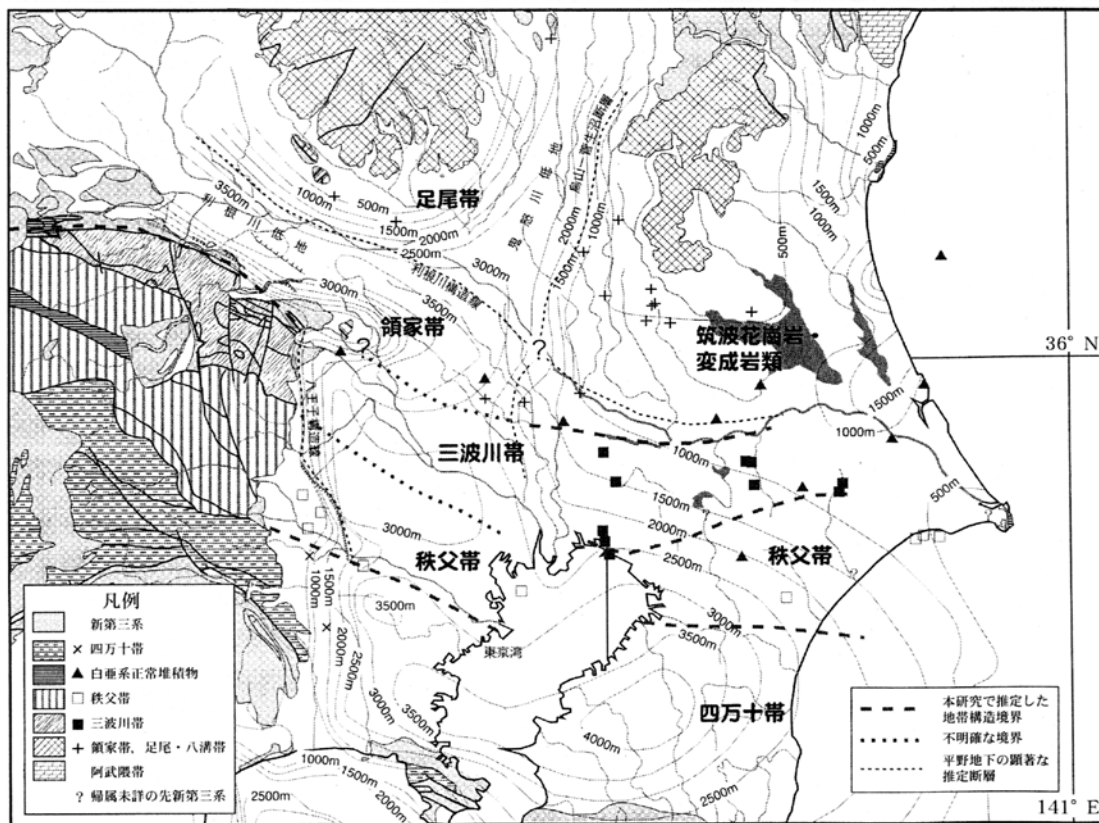
須藤定(1981)の地帯構造区分では、赤城山の北西半分は上越帯の範囲である。しかし、上記のように、たとえ上越帯に結晶片岩があったとしても、岩石学的特徴から旧石器時代遺跡の礫とは異なる。また、茅原・小松(1982)の地帯構造区分で赤城山は美濃一足尾帯で、古生代末から中生代ジュラ紀のいわゆる付加体堆積物で結晶片岩は存在しない。

最近では、ボーリングによる関東平野地下の新生界堆積盆地の研究が進むなか、ボーリングでその堆積盆の基盤岩に

達したものがあり関東平野地下の地帯構造が明らかになってきている。林・笠原・木村(2006)は関東平野地下の先新第三系の基盤についての論文を公表した。それによると、坂川ほか(2004)の太田温泉ボーリングでは、地下600mからチャート粘板岩互層が確認されて足尾帯の岩石としている。また、鈴木・小村(1999)の館林観測ボーリングでは、地下576mで砂岩頁岩チャート互層および花崗岩が確認され、やはり足尾帯としている。太田や館林の地下が足尾帯であったことから、林・笠原・木村(2006)は赤城山の地下も足尾帯と推定している。これらのことから、赤城山地下の基盤岩は足尾帯を構成する古生代末から中生代ジュラ紀のいわゆる付加体堆積物で、上越帯に所属する結晶片岩存在の可能性は低い。(第252図)

三波川帯結晶片岩存在の可能性

三波川帯は日本列島の地質構造の中で、中央構造線南の隣接する変成帯である。中央構造線の北側は領家帯の変成岩



第252図 ボーリングおよび物理探査データにより暫定的に推定された関東平野地下における先新第三系地帯構造区分

で、一般に高温低圧型の変成岩と花崗岩類からなり、三波川帯の低温高圧型の変成岩との区別は容易である。

関東地方における中央構造線は、関東山地北縁に沿って群馬県下仁田町から埼玉県寄居付近から武蔵嵐山をへて、南東方向へ関東平野に続く構造線である。関東山地北部には中央構造線の南に隣接して、三波川帯の結晶片岩や御荷鉾緑色岩類が分布している。また、その北側には断片的ではあるが、下仁田町付近の平滑花崗岩類や寄居町南西の小川町奈良梨付近には越畑花崗岩類や片麻岩などの領家帯の花崗岩や変成岩が分布する。したがって、これより北方の赤城山地下の基盤岩に、三波川帯の結晶片岩類が分布する可能性は低い。

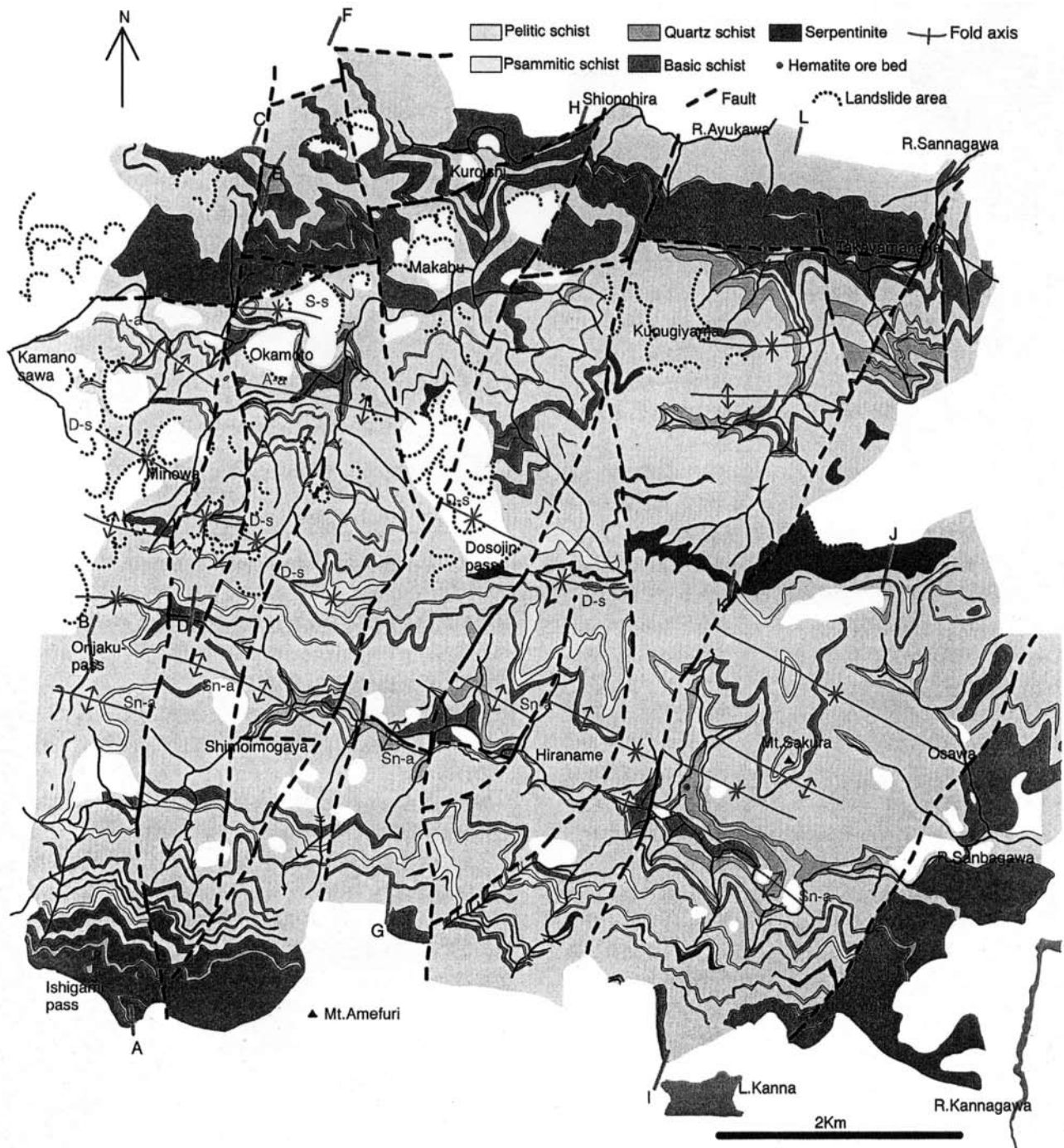
③ 関東山地北縁の三波川帯結晶片岩

関東平野北縁の三波川帯には鐮川の支流である鮎川や神流川の支流である三波川が流れ、削られた三波川帯の結晶片

岩は礫として利根川に入る。このため、これらの河川が合流する高崎南部・玉村地区より下流の利根川の河原には、結晶片岩礫が見られる。

矢野・田切(1998)は、この関東山地北縁の三波川-鮎川地域の研究をおこなった。この研究は砂岩や泥岩起源の結晶片岩の石墨化度をもちいて変成分帯をおこない、北部の高変成度地域を黒雲母帯、中部の中変成度地域をザクロ石帯、南部の低変成度地域を緑泥石帯として変成分帯をおこなった。(第253図)

この論文に記載された結晶片岩と旧石器時代遺跡に見られる結晶片岩の顕微鏡観察を比較検討した。



第253図 Geological map of the Ayukawa-Sanbagawa area. S-s;Shibadaira synform.A-a;Ayukawa antiform.4 D-s;Dosojin synform.Sn-a;Sanbagawa antifom. 矢野・田切 1998のFig2を引用

旧石器時代遺跡に見られる結晶片岩は、そのほとんどが砂岩を源岩とする白雲母片岩である。矢野・田切(1998)によると、砂泥質片岩中の変成鉱物出現の特徴は、低変成度から高変成度になるにつれて、以下の4種類の鉱物組み合わせとしている。

緑泥石+白雲母

緑泥石+白雲母+ザクロ石

緑泥石+白雲母+ザクロ石+黒雲母

緑泥石+白雲母+黒雲母

旧石器時代遺跡に見られる結晶片岩は、試料が少ないにもかかわらず、“緑泥石+白雲母+黒雲母”をのぞいてそのほか3種類の変成鉱物組み合わせが観察できる。赤城山南西麓の旧石器時代遺跡から出土した結晶片岩の変成鉱物組み合わせとの対応は、以下のようになる。

緑泥石+白雲母

上泉唐ノ堀遺跡(JK52b 57M9-3)

緑泥石+白雲母+ザクロ石

上泉唐ノ堀遺跡(JK52b 57H4-7、JK52b K1-10)

芳賀東部団地遺跡(JK57 385Ⅲ12)

胴城遺跡(JK58 Ⅱ14)

緑泥石+白雲母+ザクロ石+黒雲母

上泉武田遺跡(JK54 I-3、JK54 380Ⅲ-7)

胴城遺跡(JK58 141Ⅱ61)

緑泥石+白雲母+黒雲母

なし

このように、三波川-鮎川地域の三波川帯結晶片岩と赤城山南西麓の旧石器時代遺跡からの結晶片岩の変成鉱物組み合わせの対応が見られることから、少なくとも両者の結晶片岩は同様な変成作用を受けていると考えられる。したがって、隣接した地域ということを検討すると、旧石器時代遺跡に見られる結晶片岩礫の供給地は、この関東山地北縁の三波川帯の結晶片岩が分布する地域の可能性が高い。

引用文献

Hayama, Kizaki, K., Kobayashi, S., Toya, K., Yamashita, N. (1969) The Joetsu metamorphic belt and its bearing on the geologic structure of the Japanese Islands. Mem. Geol. Soc. Japan, 4, 61-82.

茅原一也・小松正幸(1982)飛騨外縁帯(特に青海蓮華帯)及び上越帯に関する諸問題. 地質学論集, 21, 101-116.

須藤定久(1981)北関東とその周辺地域の地質構造に関する一試論. 地質学論集, 21, 207-222.

林広樹・笠原敬司・木村尚紀(2006)関東平野の地下に分布する先新第三系基盤岩類. 地質雑, 112, 2-13.

坂川幸洋・梅田浩司・鈴木元孝・梶原竜哉・内田洋平(2004)日本の坑井温度プロフィールデータベース. 地震2, 57, 63-67.

鈴木宏芳・小村健太郎(1999)関東地域の坑井データ資料集. 防災科学研究資料, 191, 1-80.

矢野徳也・田切美智雄(1998)関東山地三波川-鮎川地域, 三波川変成帯の地質構造と温度構造. 地質雑, 104, 442-453.

付記 ◆◆群馬県旧石器時代遺跡に発見された変成岩礫◆◆

旧石器時代遺跡から見いだされた結晶片岩礫の岩石記載

ー結晶片岩礫試料ー

上泉唐ノ堀遺跡

①試料番号；JK52b、57H4-7

岩石名；曹長石点紋 ザクロ石白雲母片岩

源 岩；砂岩

岩石記載

斑状変晶は長径2mmほどの曹長石で、塵状の石墨が線状に包有され波打つことがある。その他の包有物は、0.03mm径のザクロ石、アメーバ状の石英および淡緑色の電気石がみられる。

基質は石英がモザイク状となり、その粒間に白雲母とザクロ石が多く観察される。白雲母は無色から淡茶褐色をして、定向配列をしたレピドブラスティック組織を示す。ザクロ石は径が0.1mm前後で、白雲母結晶の並びに沿って存在する。その他の鉱物として、少量の緑泥石、アパタイト、電気石がみられる。

②試料番号；JK52b、K1-10

岩石名；曹長石点紋 ザクロ石白雲母石英片岩

源 岩；チャートや石英質砂岩などの珪質岩

岩石記載

曹長石の点紋はあるが、圧倒的に石英が多くモザイク状の集合体となっている。モザイク石英の径は最大0.3mmで、波動消光することが多い。曹長石は径1.0mmほどで、線状の塵状石墨やザクロ石およびアメーバ状の石英を包有する。白雲母は直線上に石英の粒間に細く連続し、そのうち30%ほどの結晶は緑泥石に変質している。基質のザクロ石は径が最大0.3mmで、白雲母結晶の並びに沿って存在するが、全体の数は少ない。このザクロ石の一部には、累帯構造の観察できるものがある。一部に極小さく長径が0.05mmの紅レン石が存在する。

③試料番号；JK52b、57M9-3

岩石名；千枚岩（または 弱変成の無点紋白雲母片岩）

源 岩；砂岩シルト岩の細互層

岩石記載

石英のモザイク状の集合体で、粗粒部(石英径0.3～0.4mm)と細粒部(石英径0.1mm以下)がある。粗粒部の源岩は砂岩で、石英の粒間に白雲母が見られることがある。一部には、源岩の砂粒組織の残っているところがある。細粒部の源岩は泥岩で、石英粒間を白雲母が直線上に配列している。その他の鉱物として、少量の緑泥石や細粒白雲母の並びに沿った塵状石墨がみられる。

上泉武田遺跡

④試料番号；JK54、1 サン7

岩石名；曹長石点紋 黒雲母ザクロ石白雲母片岩

源 岩；シルト岩

岩石記載

斑状変晶の曹長石は、径が0.6mm前後で大きさがそろい、直線上に配列した塵状石墨やアメーバ状石英を包有している。ザクロ石を包有する曹長石は少ないが、包有されるザクロ石は径が0.1mmで大きい。基質部のモザイク状石英の粒間にもザクロ石が存在するが、径は0.01mm以下でたいへん小さい。白雲母は石英粒間に定向配列するレピドブラスティック組織で、ところどころに束状に平行連晶している。白雲母結晶の一部が変質し、茶褐色となっている部分があり赤鉄鉱が見られる。少量ではあるが黒雲母が観察され、淡褐色から茶褐色の多色性がある。その他の鉱物として、淡緑色で自形の電気石、粒間や白雲母を置換する緑泥石、柱状のアパタイトが少量みられる。

⑤試料番号；JK54、Ⅲ7

岩石名；黒雲母ザクロ石白雲母石英片岩

源 岩；石英質砂岩またはチャート

岩石記載

90%以上が石英で、モザイク状のグラノブラスティック組織を示す。石英結晶の径は0.15mmほどである。石英結晶粒間に、白雲母、黒雲母、曹長石、ザクロ石が存在する。雲母類は散在する場合と線状に配列する場合があり、線状のところには曹長石やザクロ石が多く観察できる。曹長石は少量含まれ、最大径が0.7mm前後で塵状石墨やザクロ石が包有されている。白雲母の多くが変質し、緑泥石に置換されている。少量で径0.02mmの電気石が少量みられる。

⑥試料番号；JK54、Ⅲ12

岩石名；曹長石点紋 ザクロ石白雲母片岩

源 岩；砂岩

岩石記載

片状斑晶の曹長石は径が1.5mmとたいへん大きく、量的にも多い。この曹長石には線状の塵状石墨が多く包有しているため、点紋の曹長石は肉眼的に黒く見える。自形のザクロ石やアメーバ状の石英を包有する。一部には、電気石も包有される。基質の石英はモザイク状であるが、0.2mmとやや小さく、その粒間には束状になった白雲母が多量に存在する。定向配列してレピドブラスティック組織を示し、石英粒子を白雲母の束が取り巻いていることがある。その他では、径0.2mmでやや大きなザクロ石や電気石、白雲母を置換する緑泥石が見られる。

洞城遺跡

⑦試料番号；JK58、Ⅱ14

岩石名；白雲母ザクロ石石英片岩

源 岩；石英質砂岩

岩石記載

石英結晶がたいへん多く、モザイク状になる。その粒間を白雲母、ザクロ石、曹長石の集合体が線状に連続する。白雲母はやや少なく、70%近くが緑泥石に変質している。ザクロ石は径が0.02mmと小さいが、線状に配列した白雲母に沿う部分に集中して存在する。曹長石はごく少量であるが、小さなザクロ石や白雲母を包有し、アメーバ状の石英も見られる。一部に、赤鉄鉱が観察される。

⑧試料番号；JK58、Ⅱ55

岩石名；緑レン石アクチノ閃石片岩（緑泥片岩）

源 岩；玄武岩質凝灰岩

岩石記載

全体に細粒で、アクチノ閃石および緑レン石、曹長石、石英などからなる。アクチノ閃石は長径が0.3mmで繊維状、束状および扇状の集合体を形成する。緑泥石に変質した結晶は、褐緑色の多色性をもつ。緑レン石は異常干渉色を示すユウレン石とやや干渉色の高い斜ユウレン石があり、中心がユウレン石で周辺が斜ユウレン石に累帯している結晶も見られる。石英や曹長石は、アクチノ閃石と緑レン石の粒間を埋めている。その他では、少量に白雲母がアクチノ閃石集合体の間に存在する。また、アクチノ閃石の結晶粒間に緑泥石が見られる。

⑨試料番号；JK58、II 61

岩石名；黒雲母白雲母ザクロ石石英片岩

源 岩；チャート

岩石記載

石英とザクロ石からなる岩石で、石英のモザイク結晶中にザクロ石の密集する組織を持つ。ザクロ石の帯状部分は肉眼的にもうすいピンク色が確認できる。鏡下では径0.1mmほどの自形から半自形の結晶が、多量に集中して帯を形成している。ザクロ石はこの帯以外にはたいへん少なく、散在する程度である。白雲母はザクロ石の帯状部に単結晶が散在し、そのほとんどが緑泥石に置換している。ザクロ石の帯状部境界の白雲母は線状に並び、一部に黒雲母と平行連晶するものが観察される。

—比較試料—

谷川岳（上越変成帯の結晶片岩）

⑩試料番号；800622

岩石名；曹長石点紋 白雲母片岩

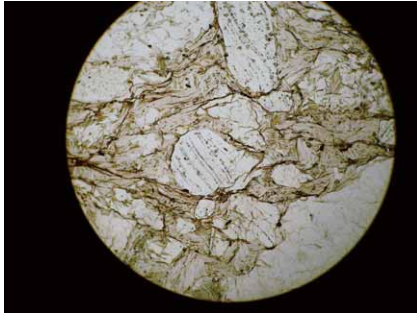
源 岩；シルト岩

岩石記載

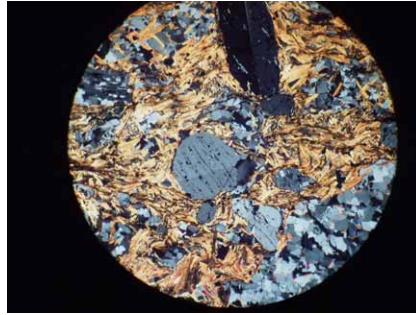
全体に結晶が壊された圧碎組織を示す。

斑状変晶の曹長石は長径が1.5mmで、線状の塵状石墨、無色の電気石、小さな白雲母を包有する。一部の曹長石は変質し、石英、緑レン石（ゾイサイト）、緑泥石、白雲母の集合体に分解している。基質の石英は径の大きさがまちまちで、しかも角張った長四角形をして、接触部では結晶が破壊されている。破壊された結晶間は、緑泥石や小さな白雲母が埋めている。緑レン石は多く観察され、異常干渉色を示すユウレン石である。白雲母は結晶粒間に並び、レピドプラスティック組織を示す。

①上泉唐ノ堀遺跡 JK52b 57H4-7 曹長石点紋 ザクロ石白雲母片岩



- 1. 開放ニコル, 視野直径 5 mm

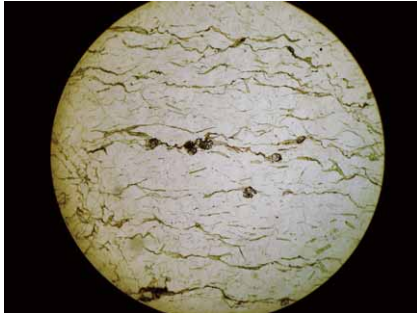


- 2. 直交ニコル

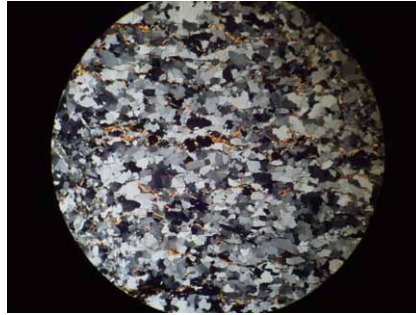


- 3. 曹長石包有物,
開放ニコル, 視野直径 2 mm

②上泉唐ノ堀遺跡 JK52b K1-10 曹長石点紋 ザクロ石白雲母片岩



- 1. 開放ニコル, 視野直径 5 mm

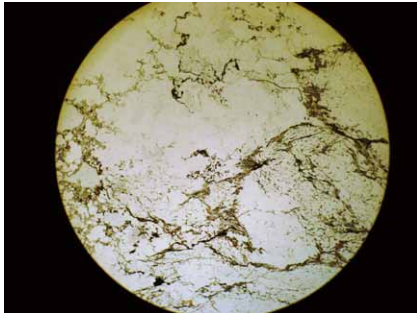


- 2. 直交ニコル

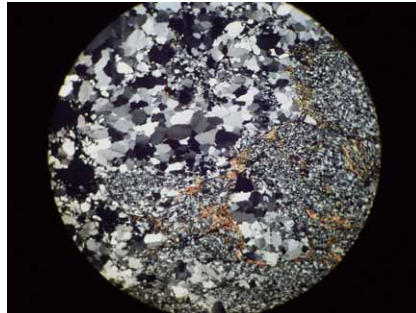


- 3. ザクロ石と紅廉石,
開放ニコル, 視野直径 0.5 mm

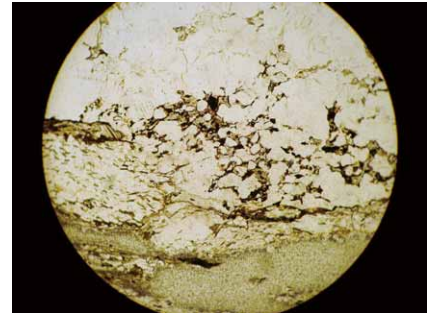
③上泉唐ノ堀遺跡 JK52b 57M9-3 千枚岩(または弱変成の無点紋白雲母片岩)



- 1. 開放ニコル, 視野直径 5 mm



- 2. 直交ニコル

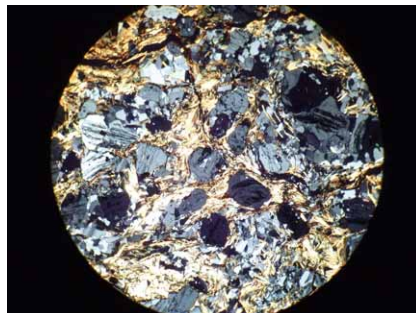


- 3. 残存砂岩粒子と源岩組織,
開放ニコル, 視野直径 2 mm

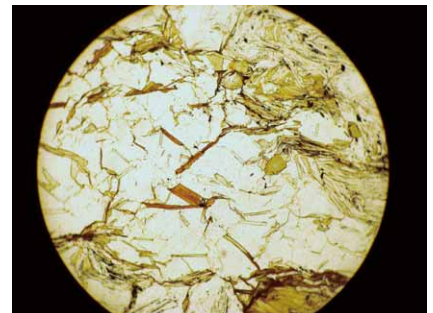
④上泉武田遺跡 JK52 I-3 曹長石点紋 黒雲母ザクロ石白雲母片岩



- 1. 開放ニコル, 視野直径 5 mm

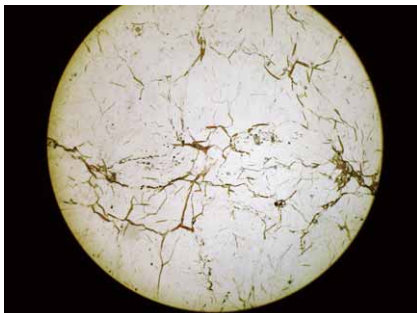


- 2. 直交ニコル

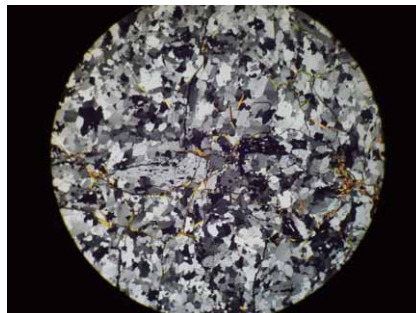


- 3. 黒雲母と電気石,
開放ニコル, 視野直径 2 mm

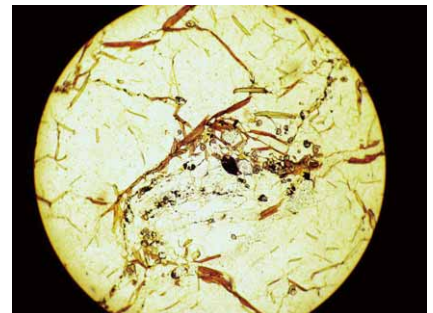
⑤上泉武田遺跡 JK54-380 Ⅲ7 黒雲母ザクロ石白雲母石英片岩



- 1. 開放ニコル, 視野直径 5 mm

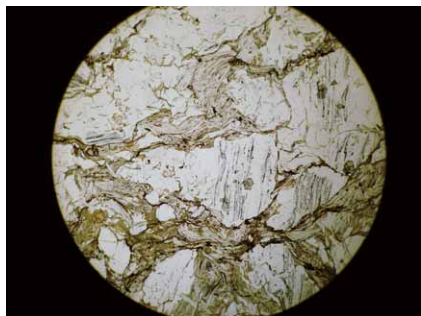


- 2. 直交ニコル

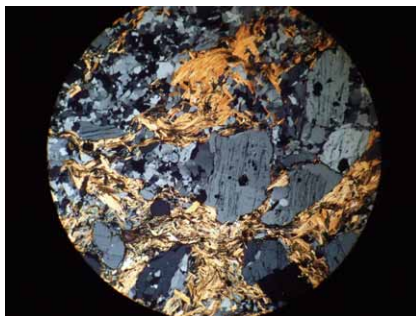


- 3. 黒雲母とザクロ石,
開放ニコル, 視野直径 2 mm

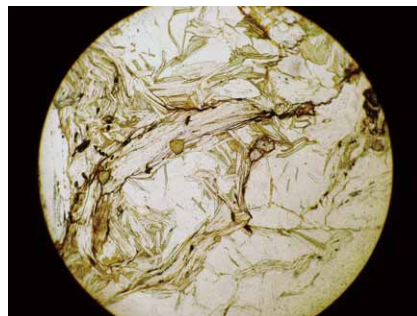
⑥芳賀東部団地遺跡 JK57 385 III 12 曹長石点紋 ザクロ石白雲母片岩



- 1. 開放ニコル, 視野直径5mm

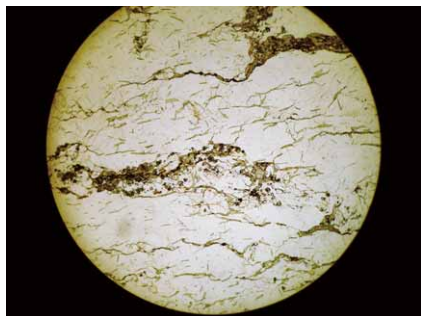


- 2. 直交ニコル

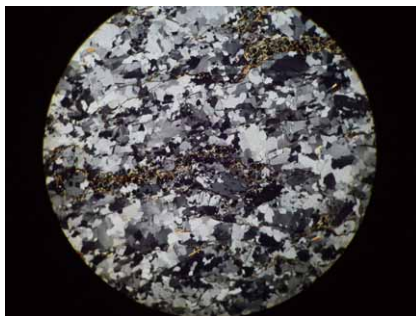


3. 電気石とザクロ石,
開放ニコル, 視野直径2mm

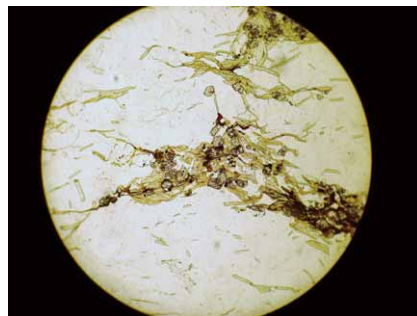
⑦胴城遺跡 JK58 II 14 白雲母ザクロ石石英片岩



- 1. 開放ニコル, 視野直径5mm

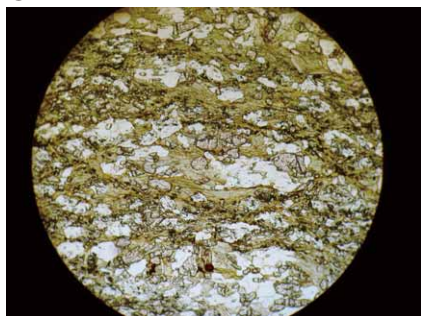


- 2. 直交ニコル

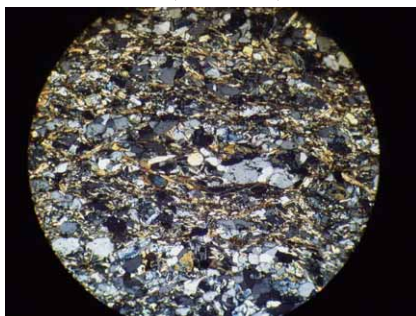


- 3. 白雲母とザクロ石と曹長石,
開放ニコル, 視野直径2mm

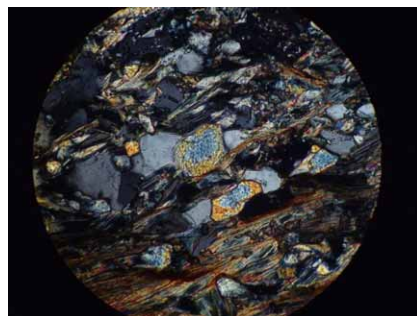
⑧胴城遺跡 JK58 II 55 緑レン石アクチノ閃石片岩(緑泥片岩)



- 1. 開放ニコル, 視野直径2mm

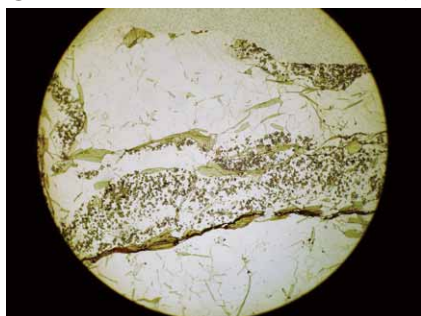


- 2. 直交ニコル



- 3. 緑廉石の累帯組織,
直交ニコル, 視野直径0.5mm

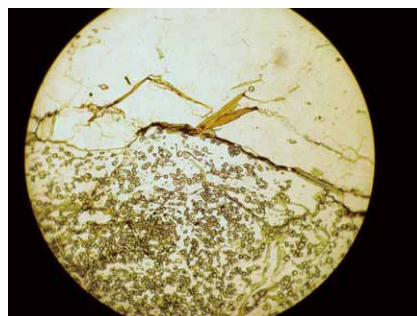
⑨胴城遺跡 JK58 141 II 61 黒雲母白雲母ザクロ石石英片岩



- 1. 開放ニコル, 視野直径5mm



- 2. 直交ニコル

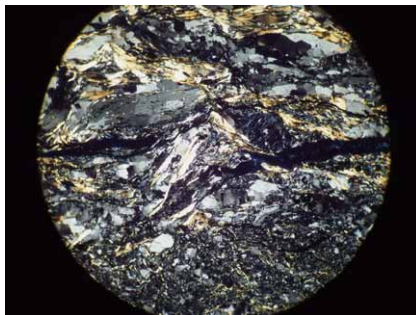


- 3. 黒雲母とザクロ石,
開放ニコル, 視野直径2mm

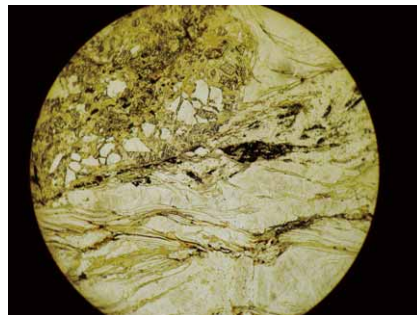
⑩谷川岳(参考資料) 800622 曹長石点紋 白雲母片岩



- 1. 開放ニコル, 視野直径5mm



- 2. 直交ニコル



- 3. 破壊された結晶,
開放ニコル, 視野直径2mm

写真図版



芳賀東部団地遺跡現況（東から榛名山を臨む。平成 23 年 12 月撮影）



1 遺跡群遠景西側（南から）



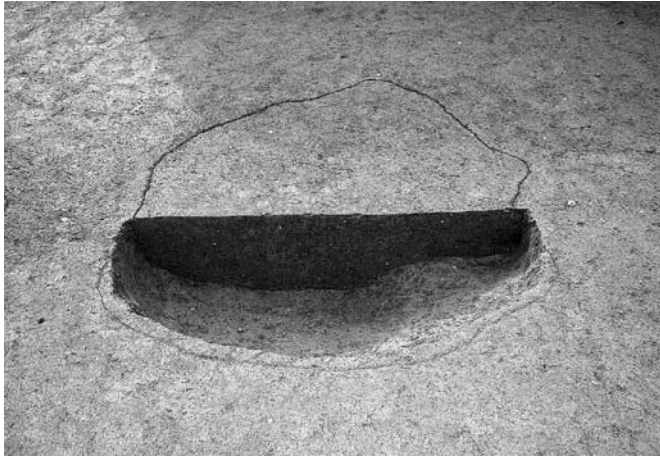
1 遺跡群遠景（西から）



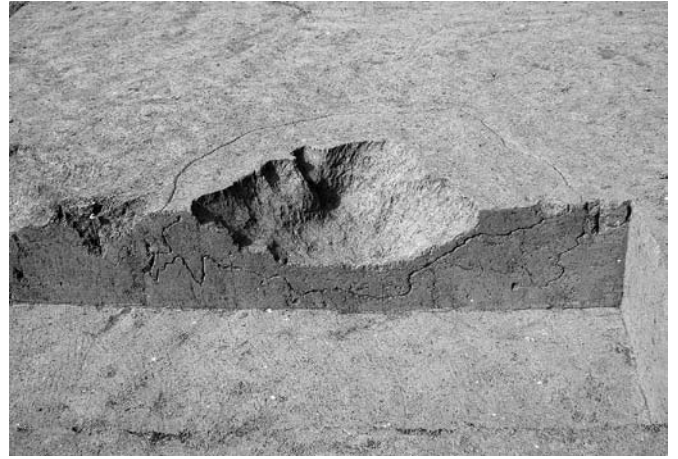
1 遺跡群遠景東側（南から）



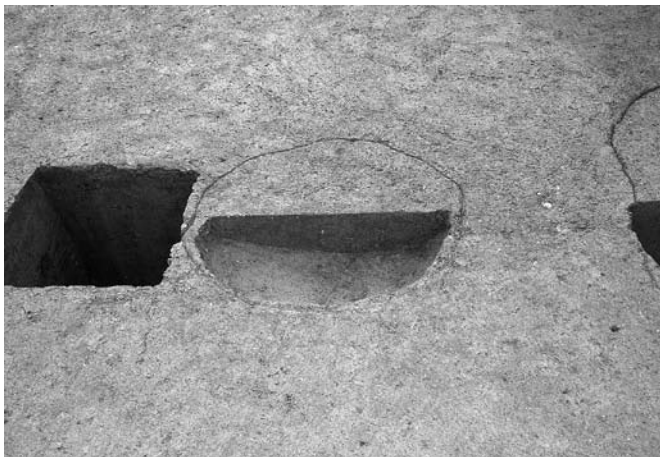
2 遺跡群遠景（東から）



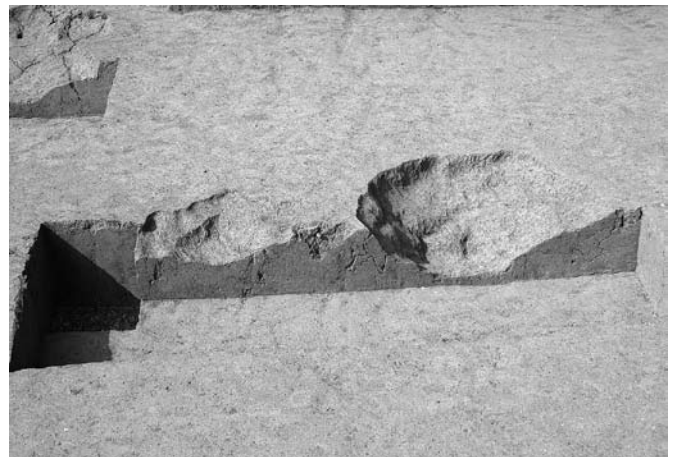
1 1号落ち込みセクション (東から)



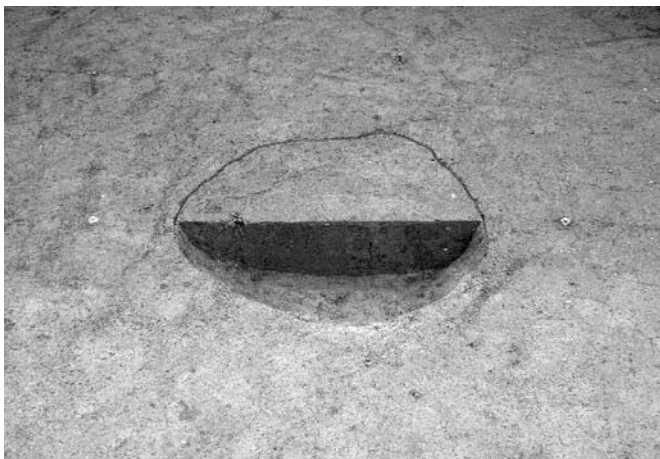
2 1号落ち込み調査状況 (東から)



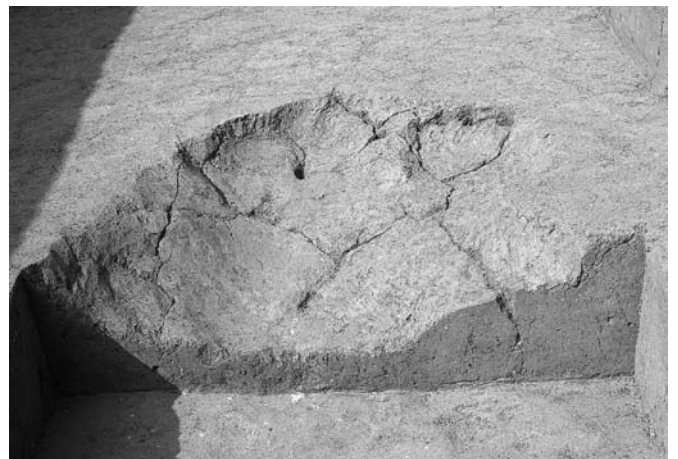
3 2号落ち込みセクション (東から)



4 1号・2号落ち込み調査状況 (東から)



5 3号落ち込みセクション (東から)



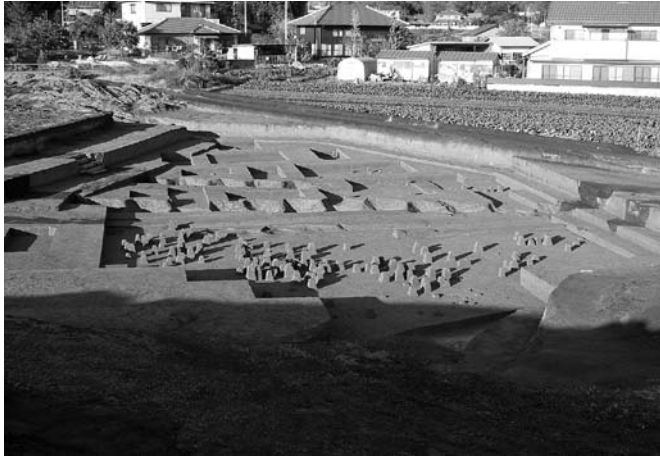
6 3号落ち込み調査状況 (東から)



7 4号落ち込み全景 (西から)



8 第1文化層遺物出土状況 (北から)



1 遺物出土状況（南から）



2 遺物出土状況（西から）



3 遺物出土状況（南東から）



4 遺物出土状況（東から）



5 遺物出土状況（北東から）



6 遺物出土状況（東から）



7 局部磨製石斧出土状況（北から）



8 結晶片岩類出土状況（北から）



K7-13 チャート単独



K2-39



K2-45



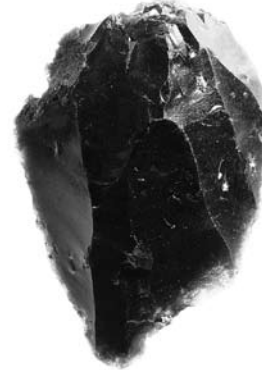
K2-27



K4-120



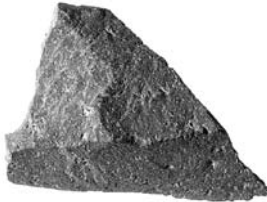
K4-114



K4-28



K4-74



K2-14



K4-3



K1-4



K4-11



K4-111



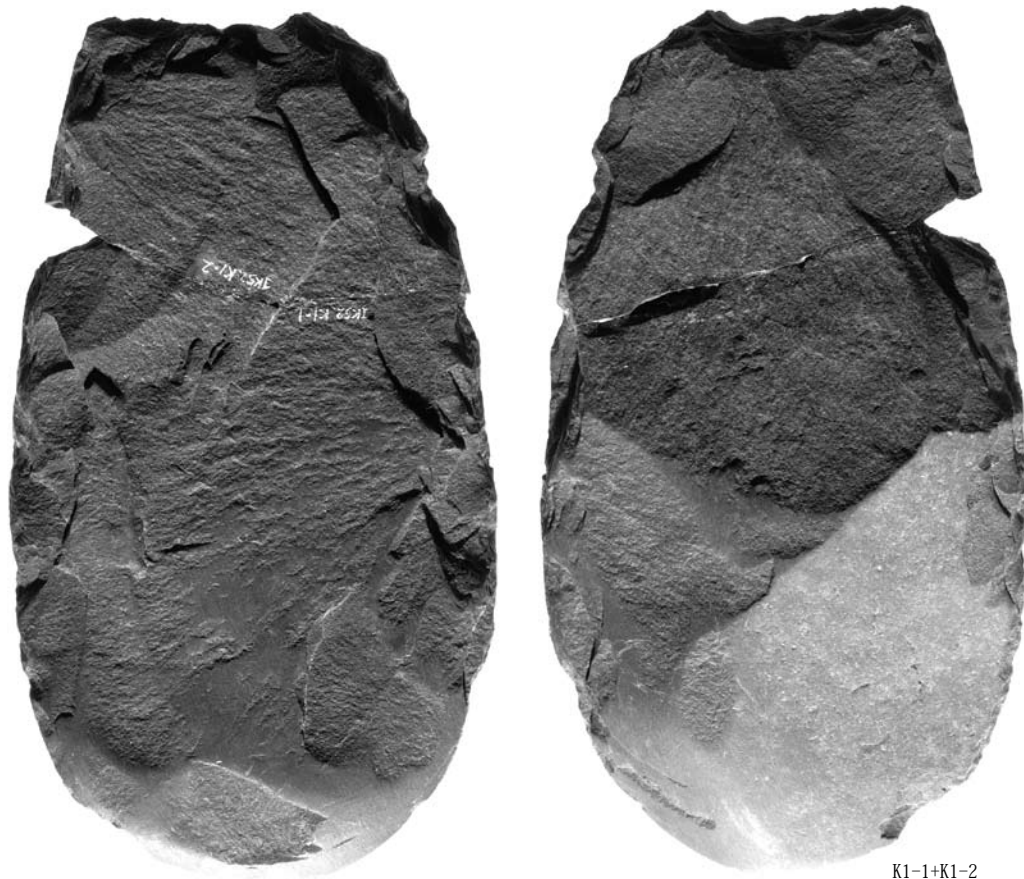
K2-28



K1-5



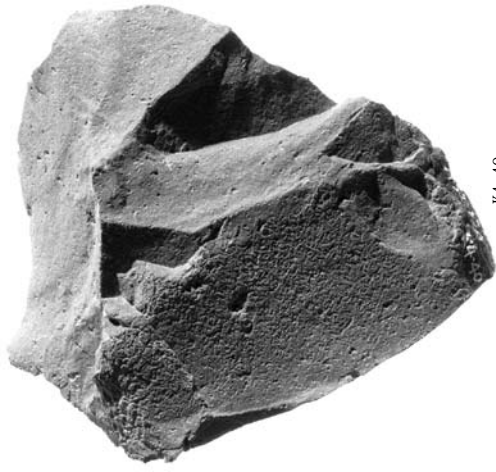
K4-32



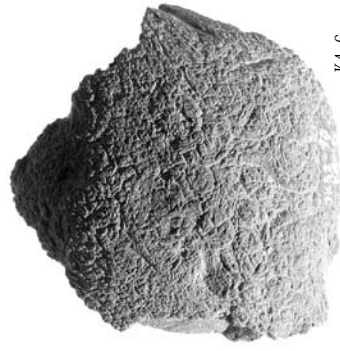
K1-1+K1-2



K4-90



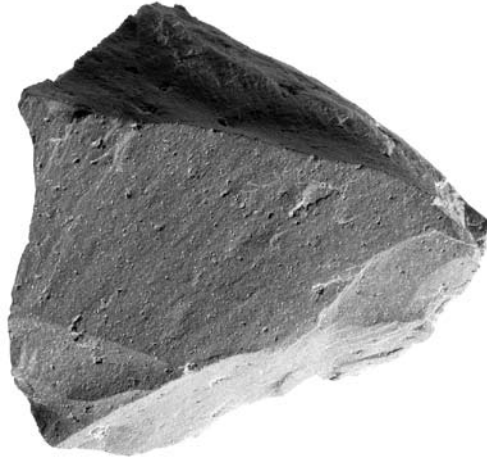
K4-40



K4-6



K2-65



K4-168



K4-164



K4-15



K4-4



出土遺物 (3)



K4-47



57-07-36



JK52-166
K4-88



K4-88

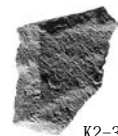
黒色安山岩 1 ①



K2-32



K4-56



K2-37



K2-29



K4-29



K4-93



K4-59+K4-69+K4-92



K4-53

黒色安山岩 1 ②



K4-67



K4-183

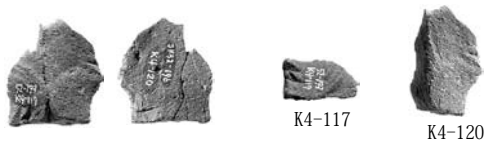


K4-64



K4-164

黑色安山岩 1 ③



黑色安山岩 1 ④



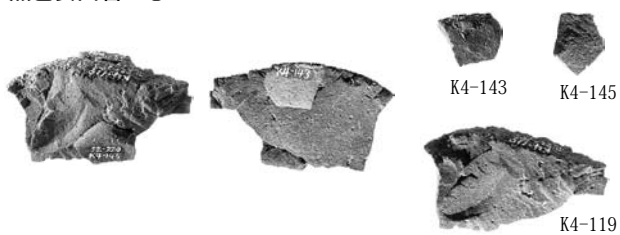
黑色安山岩 2 ①



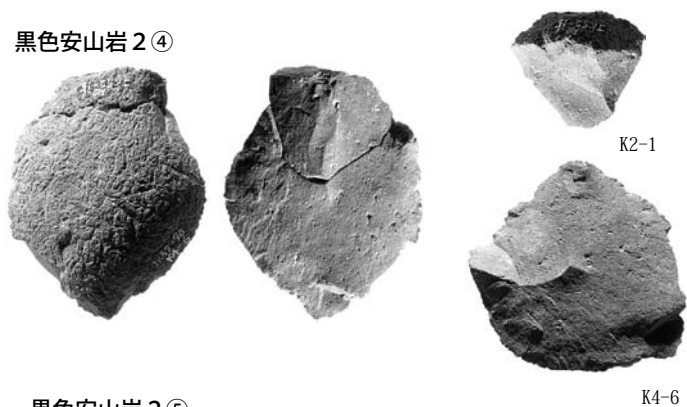
黑色安山岩 2 ②



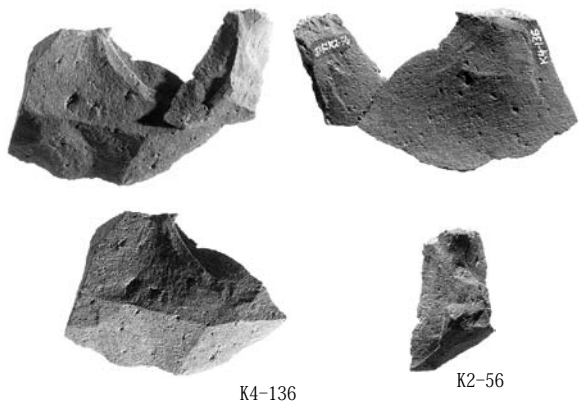
黑色安山岩 2 ③



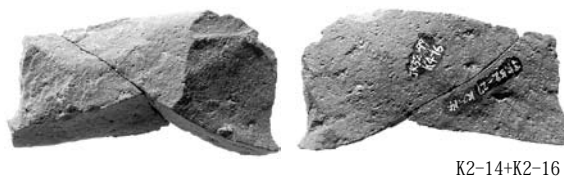
黑色安山岩 2 ④



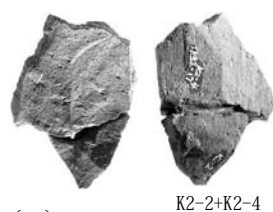
黑色安山岩 2 ⑥



黑色安山岩 2 ⑤



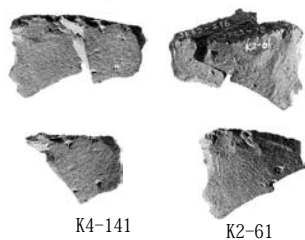
黑色安山岩 2 ⑦



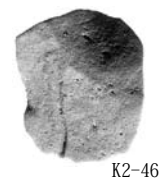
黑色安山岩 2 ⑨



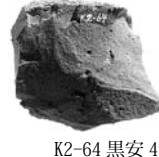
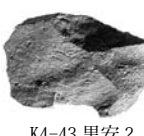
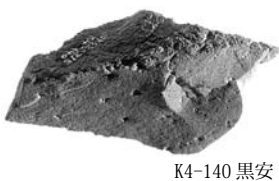
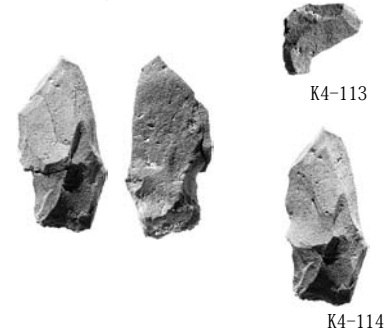
黒色安山岩 2 ⑧



黒色安山岩 3 ①



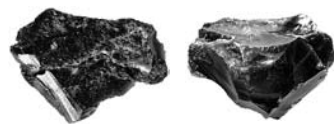
黒色安山岩 4 ①



K4-160 黒安 4

K4-172 黒安 5

黒曜石 1 ①



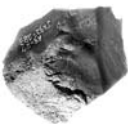
黒曜石 2 ①



黒曜石 1 ②

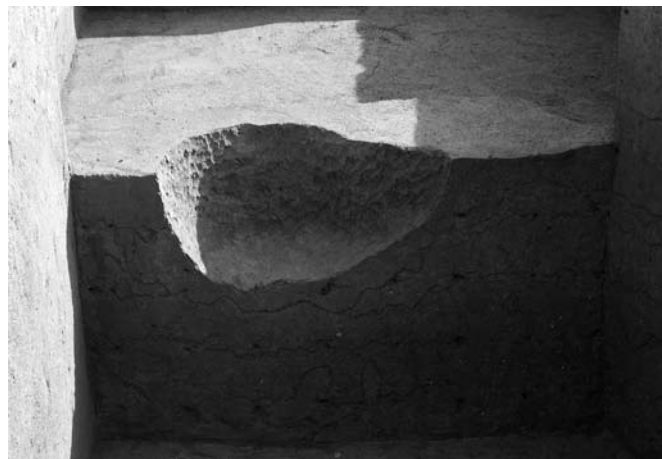


デイサイト 1 ①

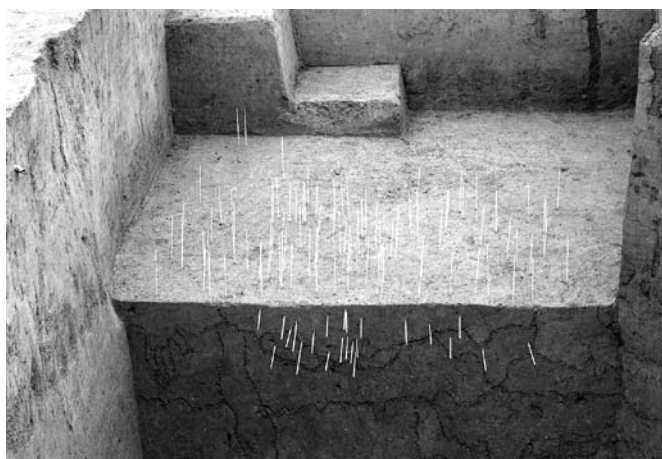




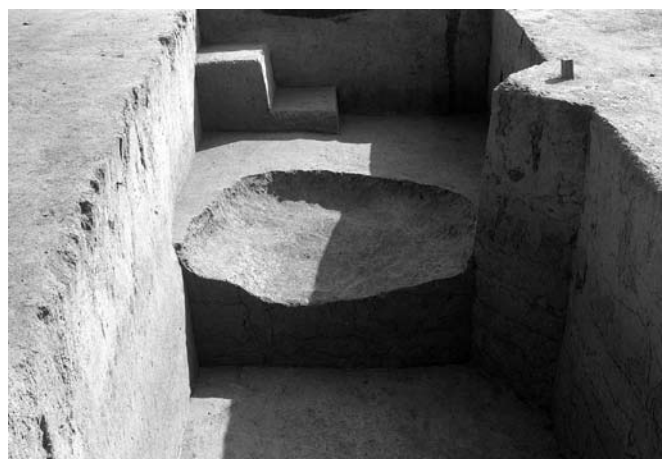
1 試掘トレンチ68-G-4南壁セクション（北から）



2 2号落ち込み（北から）



3 1号落ち込み炭化物検出状況（北から）



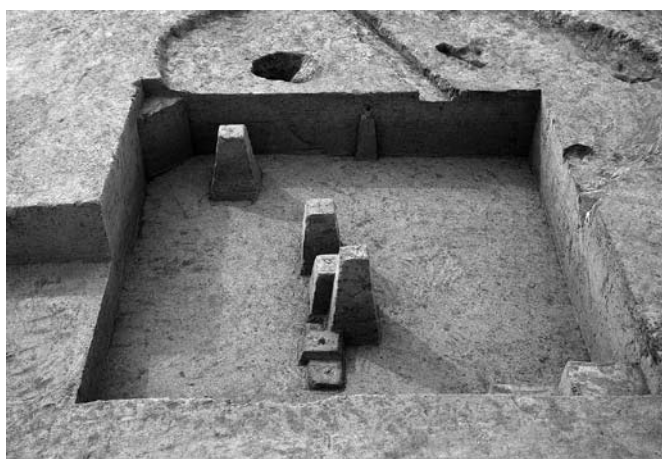
4 1号落ち込み（北から）



5 拡張3区第2文化層遺物出土状況（北西から）



6 拡張3区第3文化層遺物出土状況（北西から）



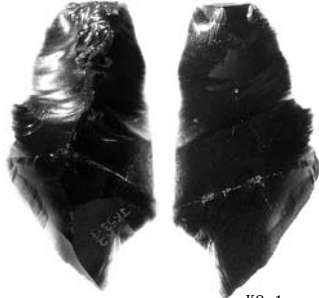
7 78-T-17遺物出土状況（東から）



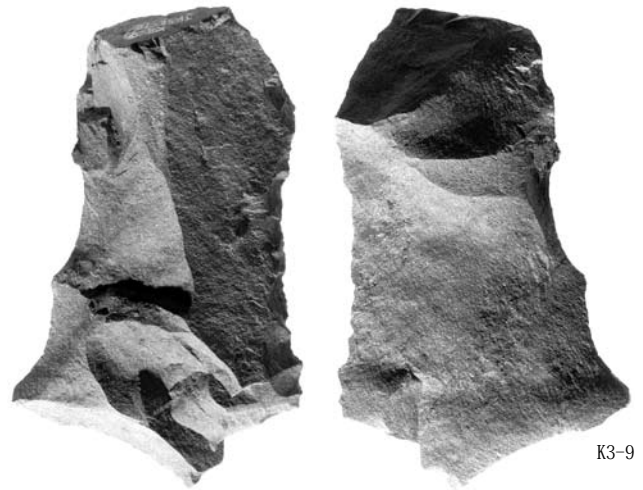
8 拡張4区遺物出土状況（南から）



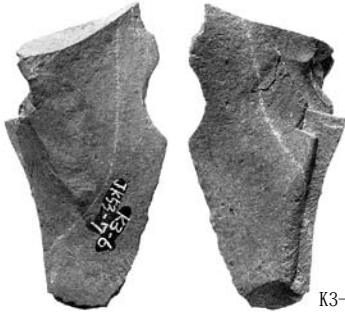
1号道-1



K2-1



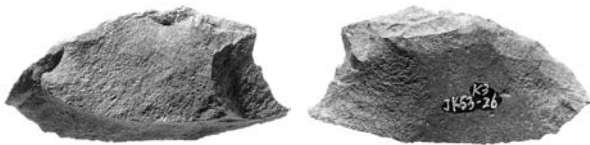
K3-9



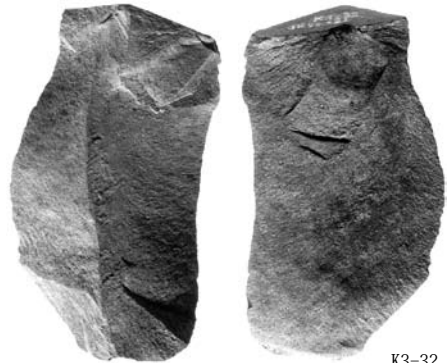
K3-6



K3-17



K3-26



K3-32



K3-18



K3-29 黒頁 7



K3-5 黒頁 8



K3-4 黒頁単独



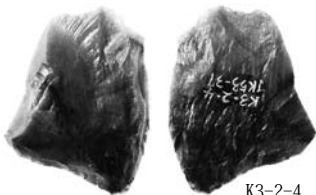
K3-16 黒頁単独



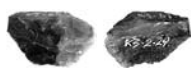
K3-28 黒頁単独



K3-11 チャート単独



K3-2-4



K3-2-29



K4-2-34



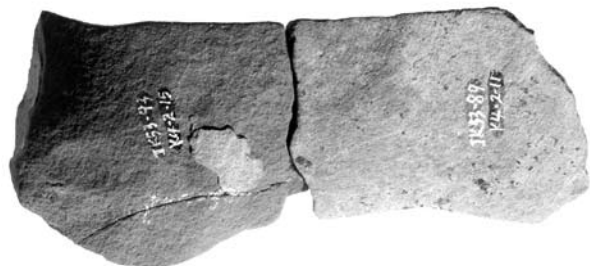
K4-2-55



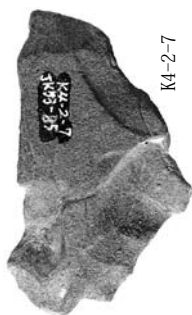
K4-2-58



K3-2-10



K4-2-11+K4-2-15



K4-2-7



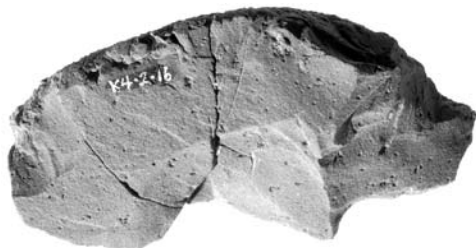
K4-2-38+K4-2-48



K4-2-41



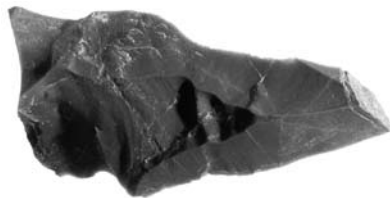
K4-2-12+K4-2-16



K4-2-47



K4-2-54



K4-2-5



K3-2-5

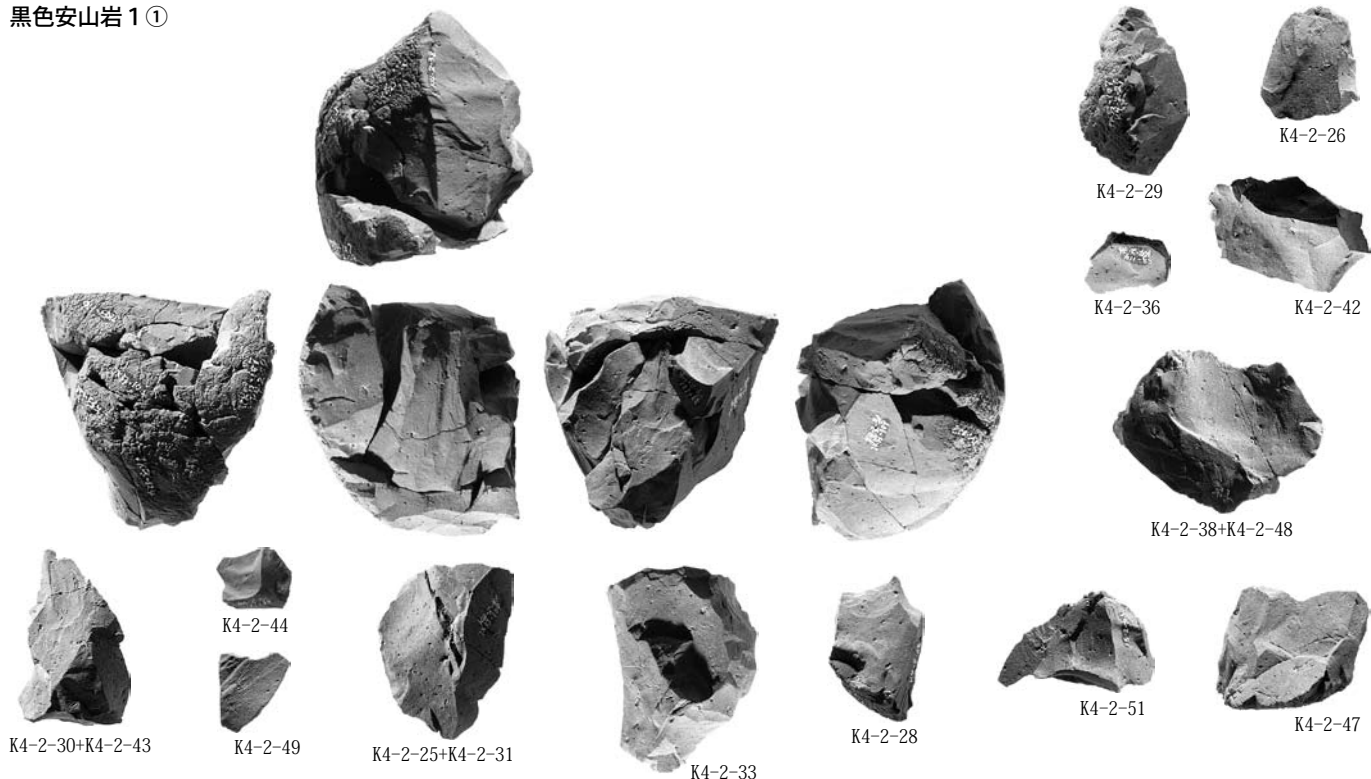


K3-2-26

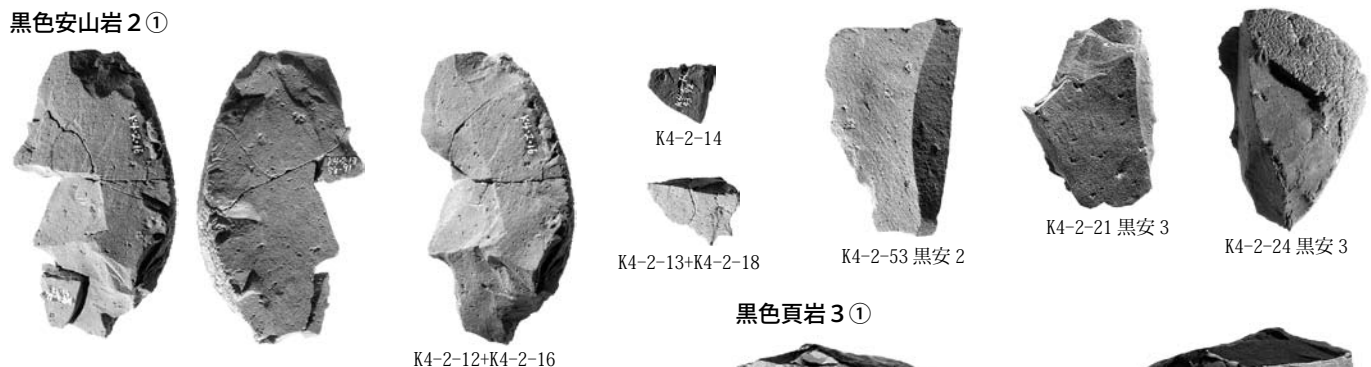


出土遺物 (2)

黒色安山岩 1 ①



黒色安山岩 2 ①



黒色頁岩 3 ①



黒色頁岩 1 ①

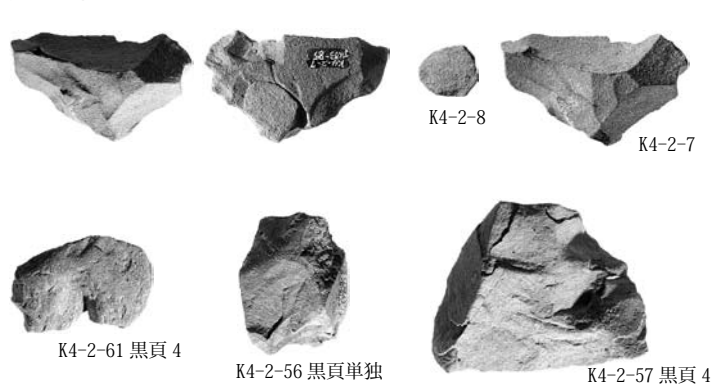


チャート 1 ①

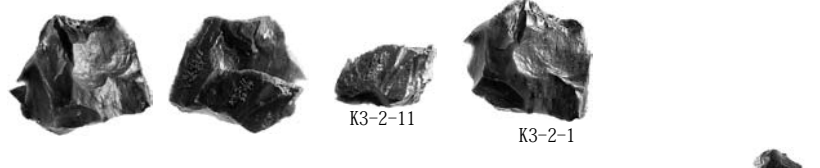


チャート 1 ②





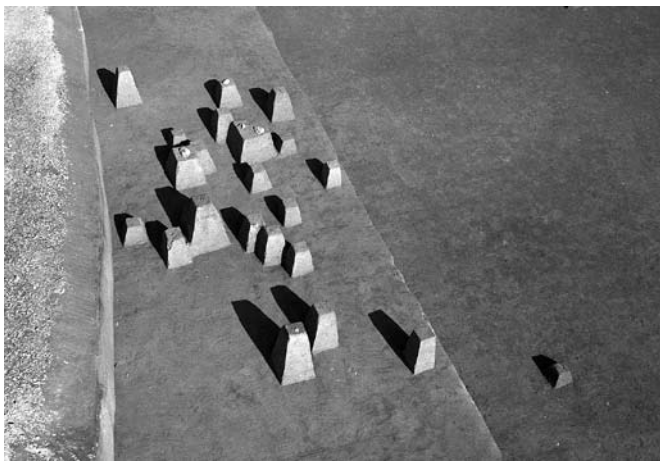
1 遺跡遠景（南から）



2 遺跡遠景（南東から）



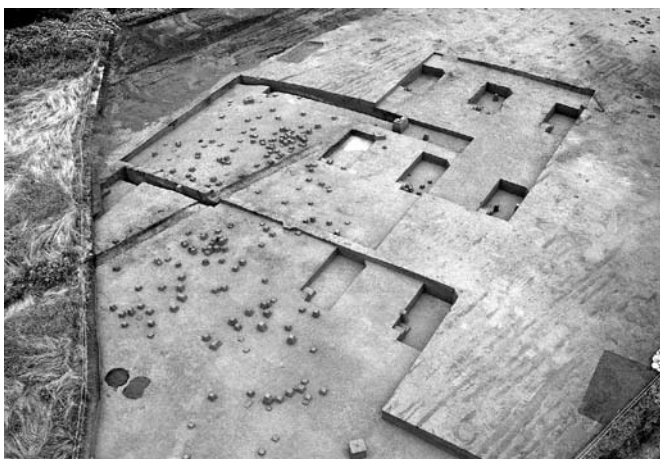
1 2区西壁セクション（東から）



2 第2文化層遺物出土状況（南から）



3 第2文化層遺物出土状況（西から）



4 第3文化層遺物出土状況（北西から）



5 第3文化層遺物出土状況（北西から）



1 試掘トレンチ全景（北西から）



2 第3文化層G19遺物出土状況（南から）



3 第3文化層H1遺物出土状況（南から）



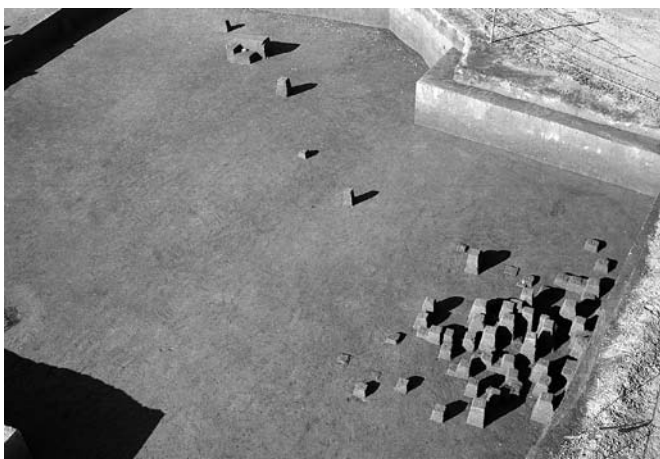
4 第3文化層I1遺物出土状況（南から）



5 第3文化層遺物出土状況（南から）



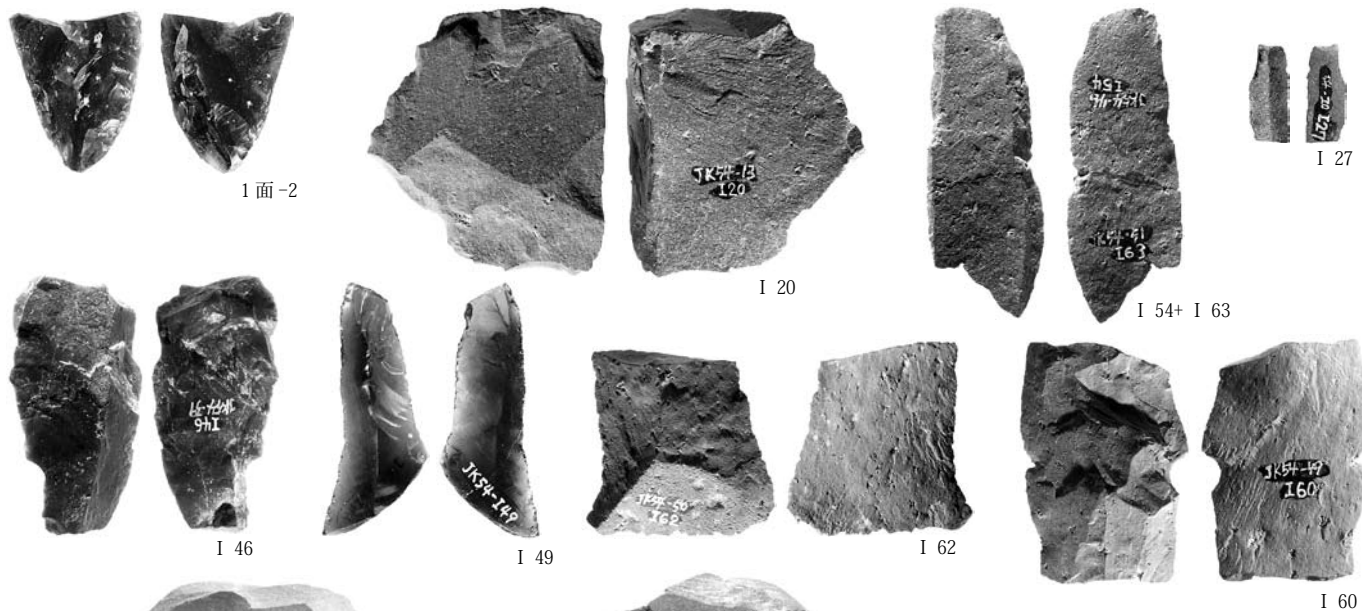
6 第3文化層遺物出土状況（南西から）



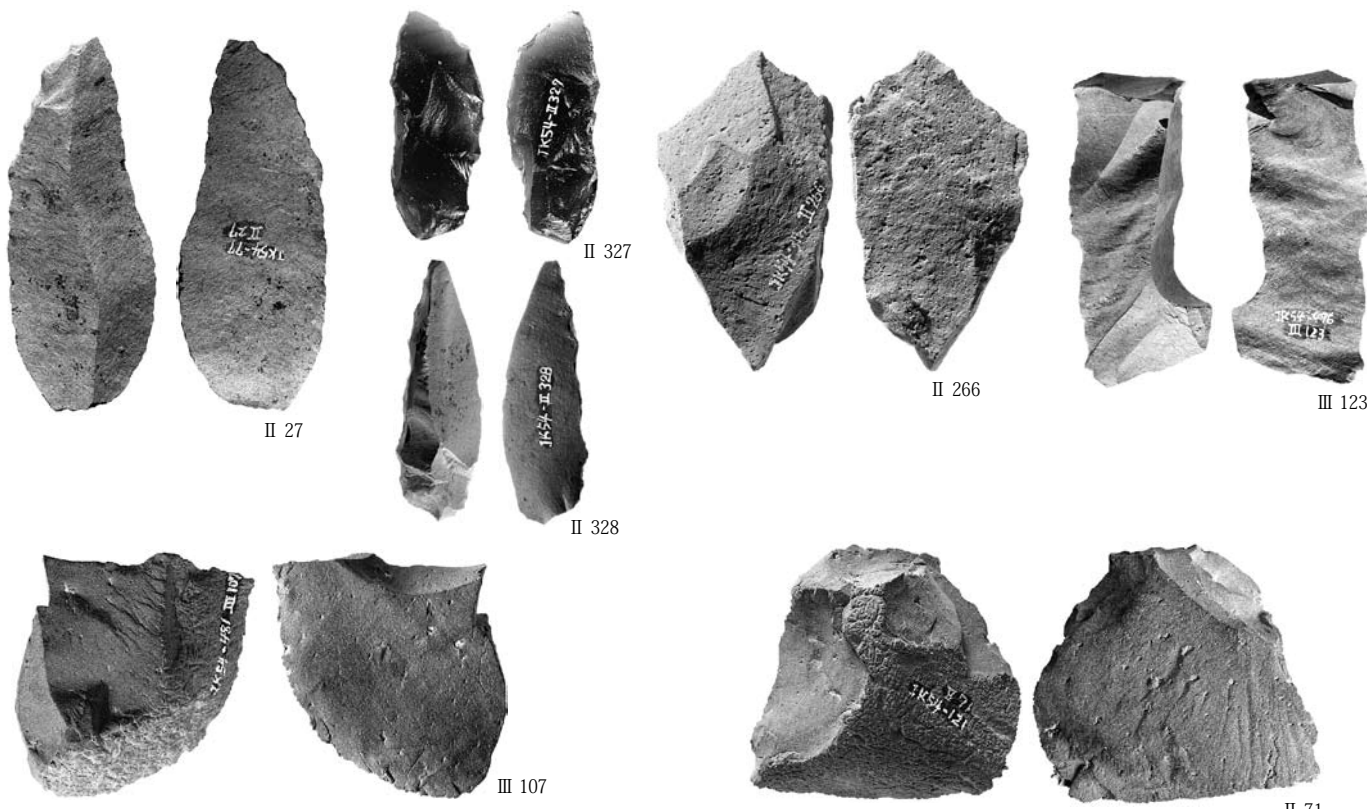
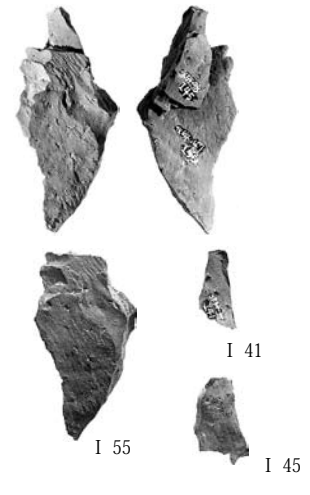
7 第3文化層遺物出土状況（南から）



8 作業風景（南から）



黒色安山岩6①





II 176

II 38



II 131



II 102



III 109



II 206



II 148+ II 248



II 297



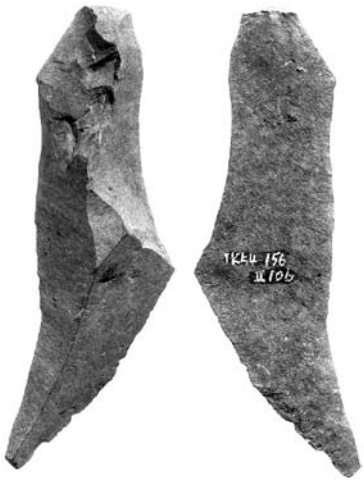
II 158



II 84

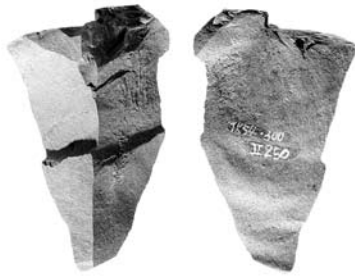


II 128



TK54-156
II106b

II 106



TK54-100
II250

II 250

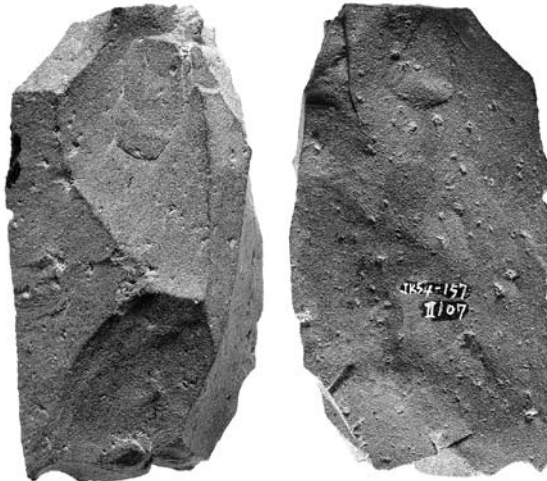


TK54-208
II159

II 159



III 113



TK54-157
II107

II 107



TK54-84
II34

II 34



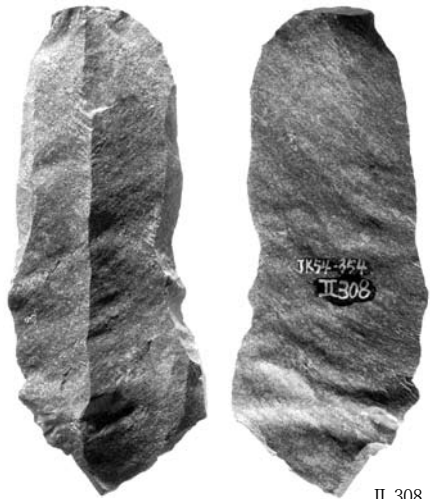
TK54-155
II291

II 291



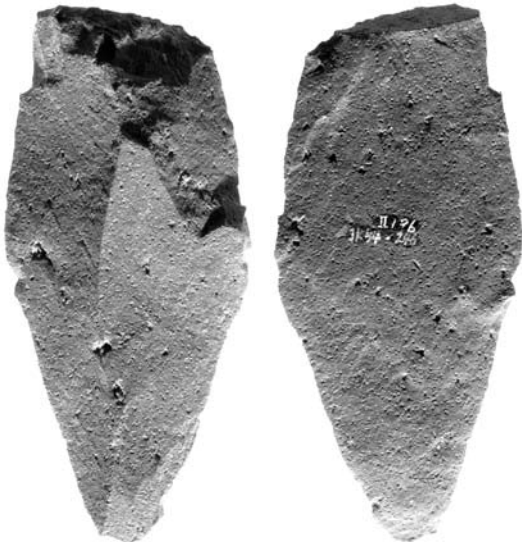
TK54-149
II45

II 45



TK54-254
II308

II 308



TK54-243
II196

II 196



TK54-123

II 129



II 134



II 108



II 215



II 189



II 298



II 211



II 3



II 150



II 152



II 151



II 152



II 151



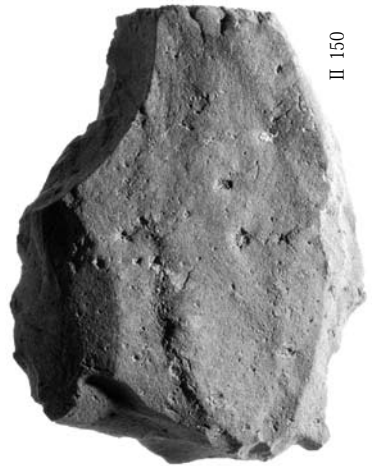
II 152



II 151



II 152



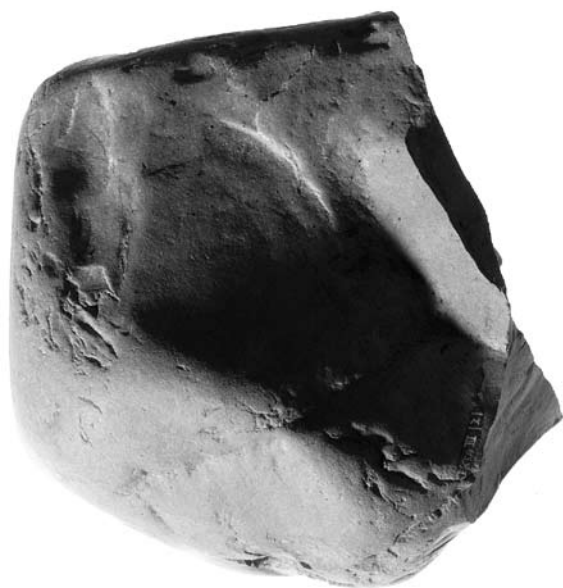
II 150



II 150



II 305



III 121(1/2)

出土遺物 (5)



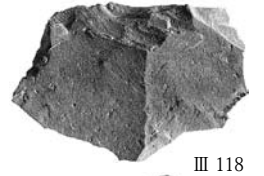
II 130



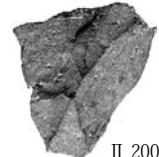
II 37



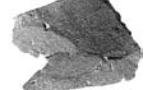
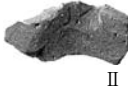
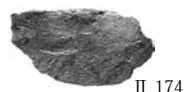
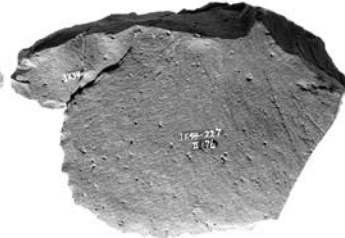
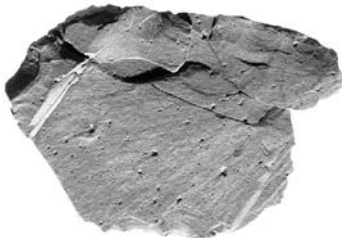
黒色安山岩 1 ①



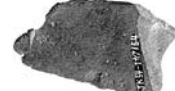
黒色安山岩 1 ②



黒色安山岩 1 ③



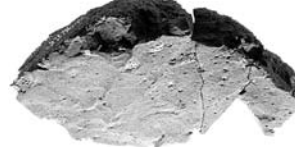
黒色安山岩 1 ⑥



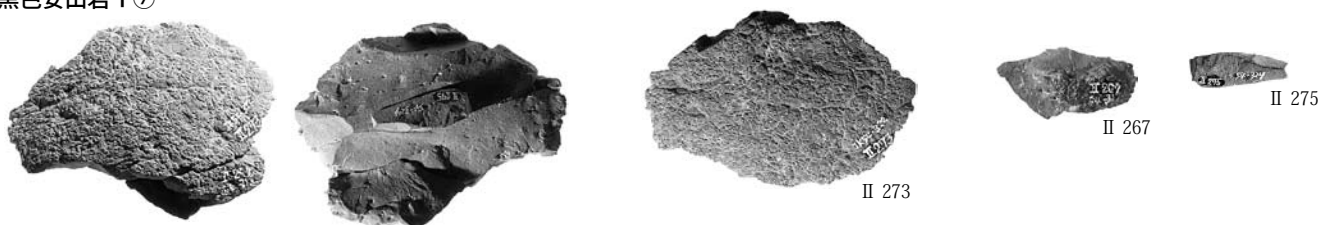
黒色安山岩 1 ④



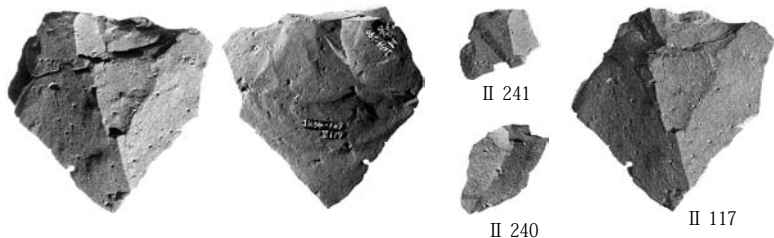
黒色安山岩 1 ⑤



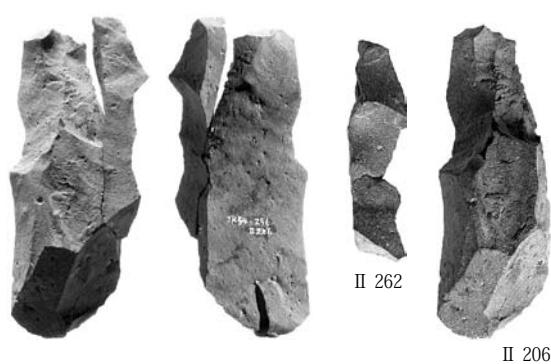
黑色安山岩 1 ㉚



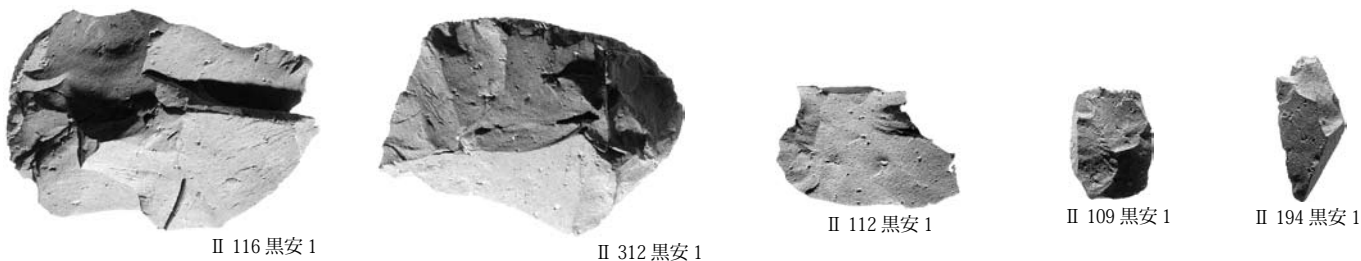
黑色安山岩 1 ㉛



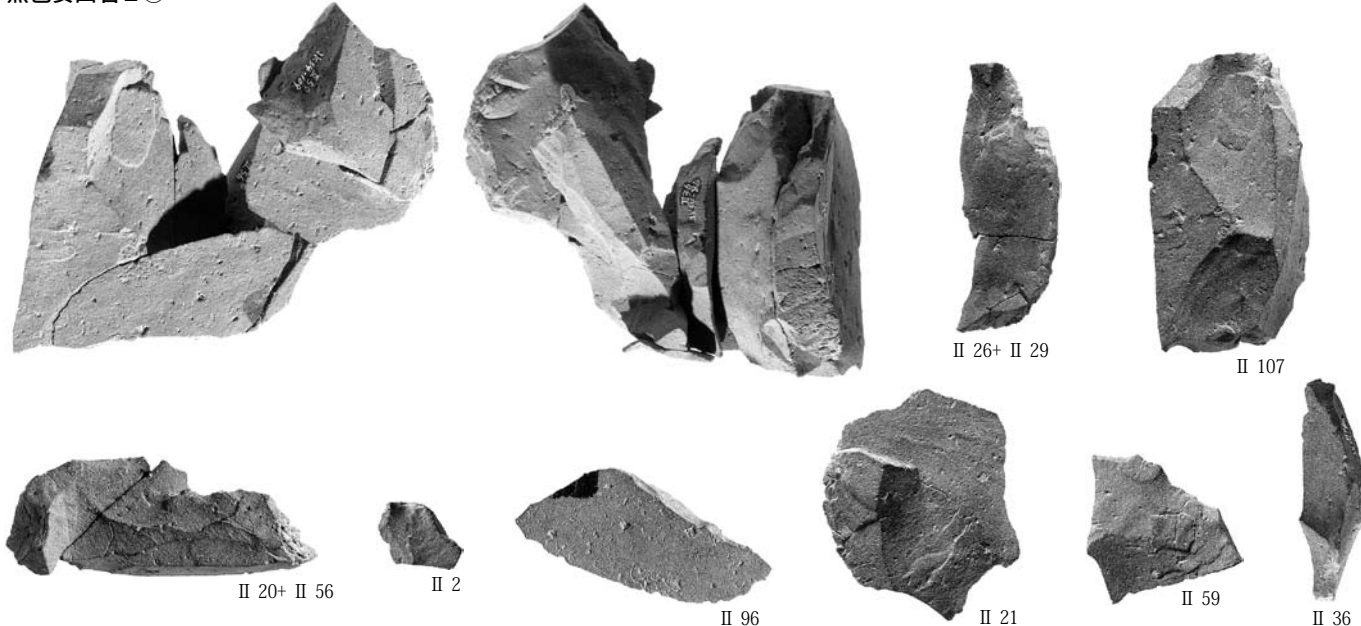
黑色安山岩 1 ㉜



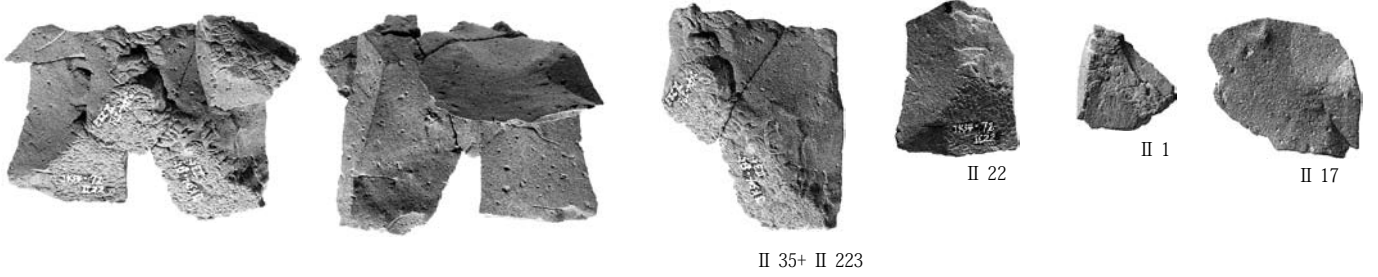
黑色安山岩 1 ㉝



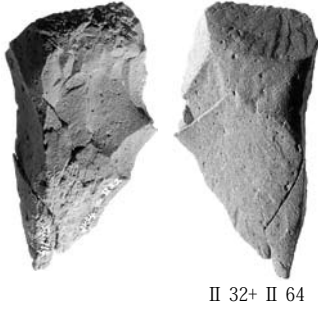
黑色安山岩 2 ㉞



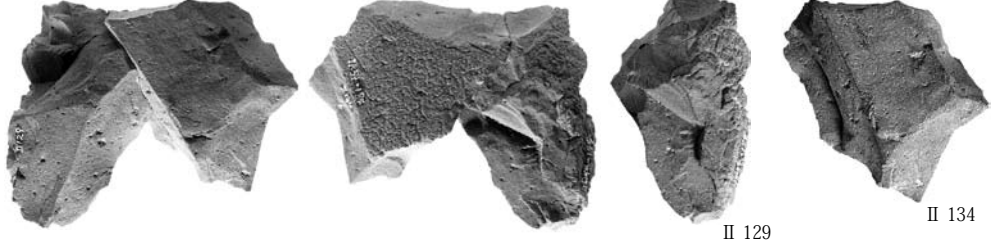
黑色安山岩 2 ②



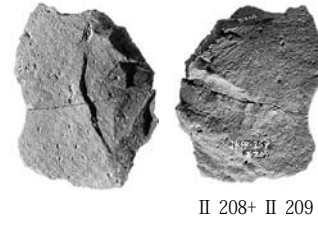
黑色安山岩 2 ③



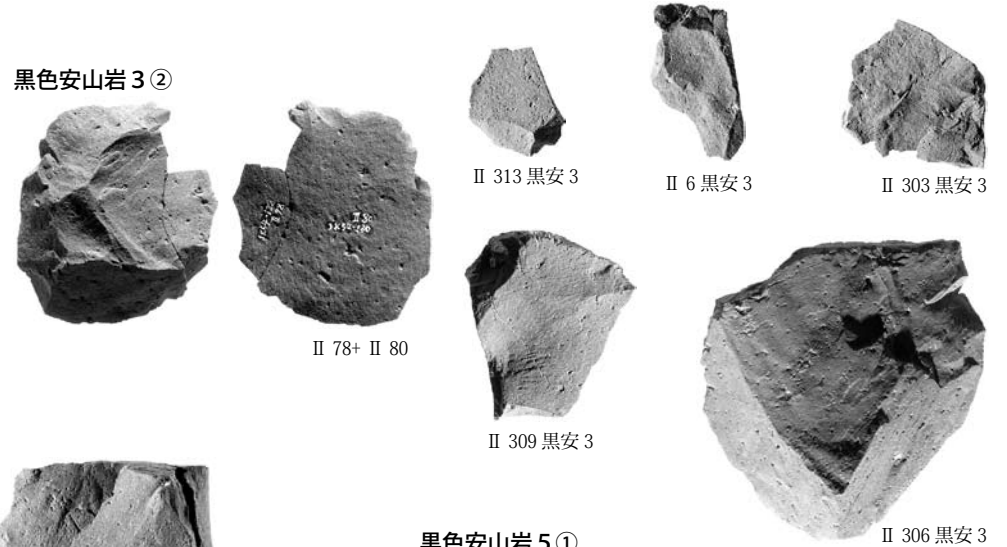
黑色安山岩 3 ①



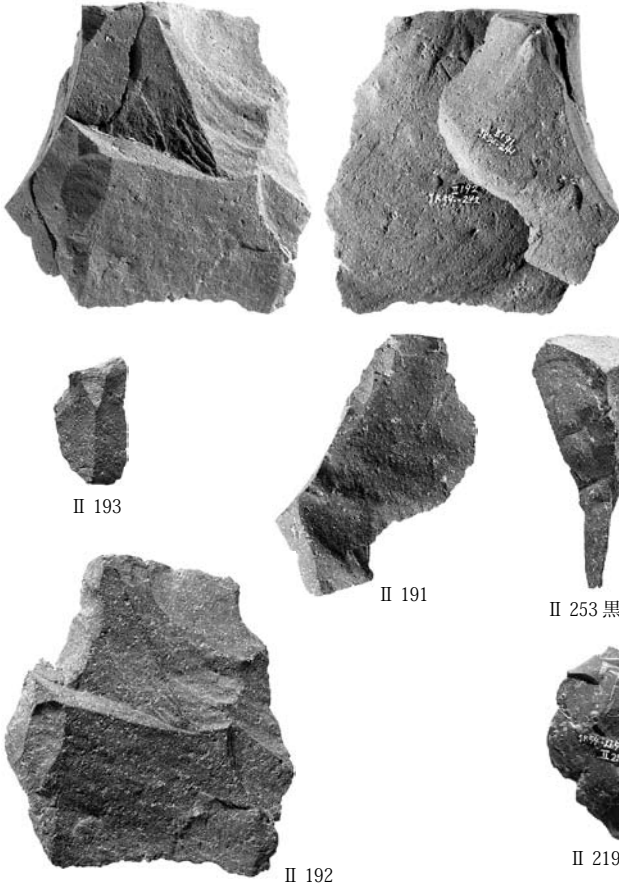
黑色安山岩 3 ④



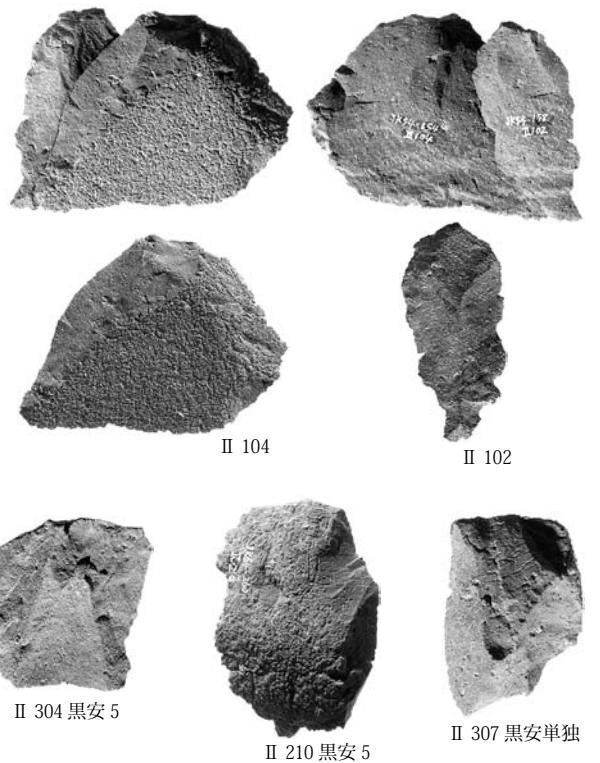
黑色安山岩 3 ②



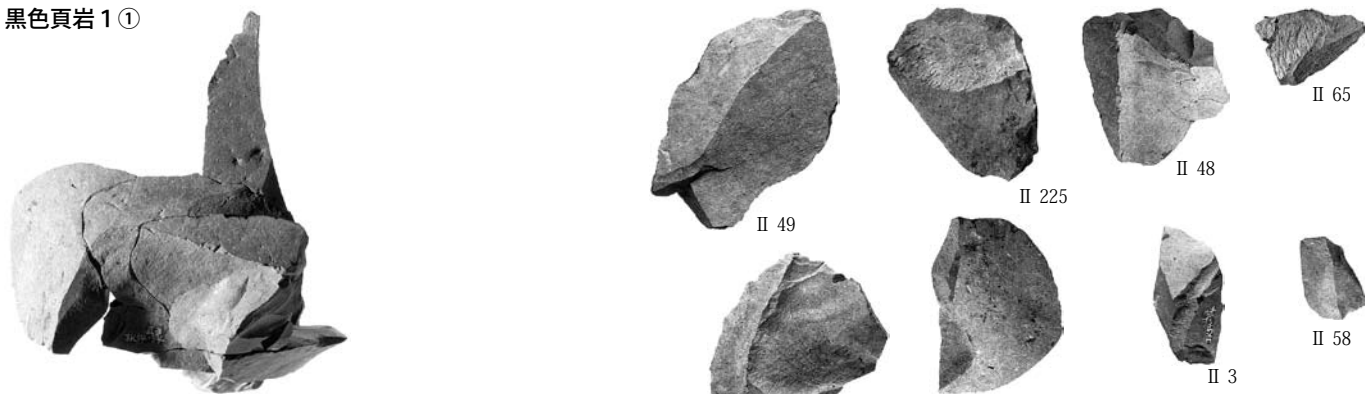
黑色安山岩 4 ①



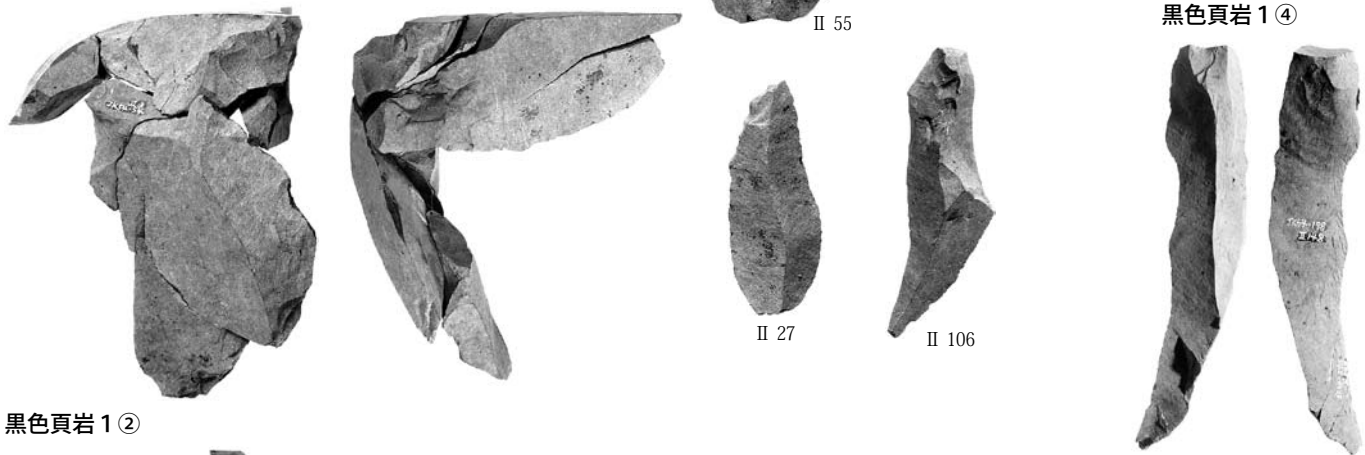
黑色安山岩 5 ①



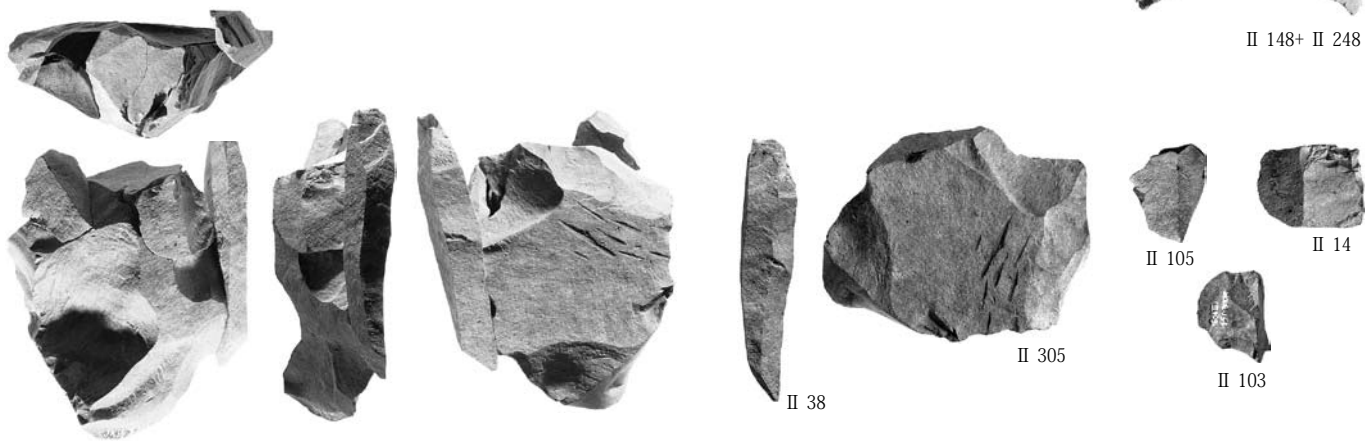
黒色頁岩 1①



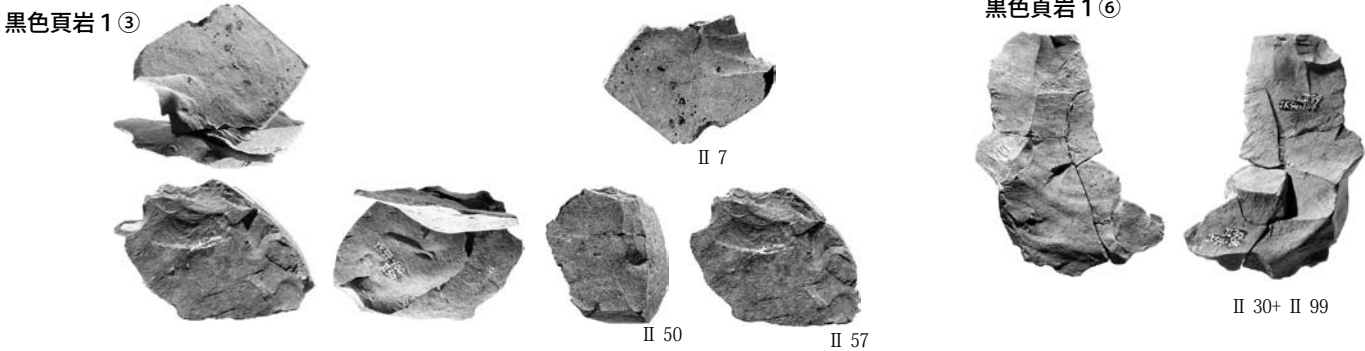
黒色頁岩 1④



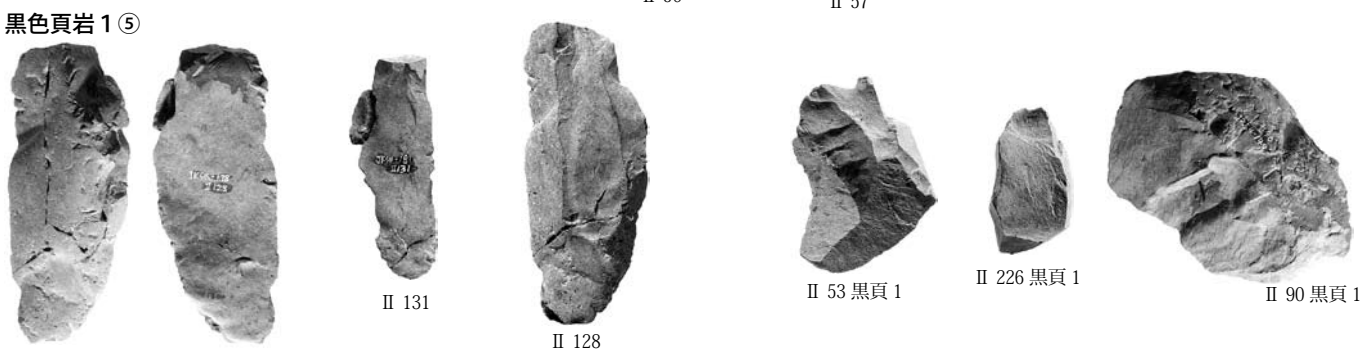
黒色頁岩 1②

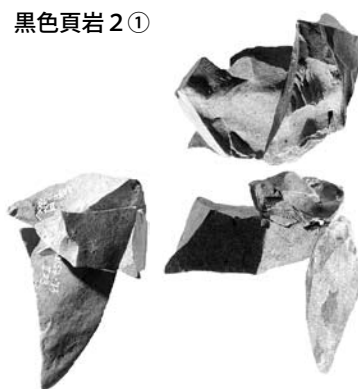


黒色頁岩 1③

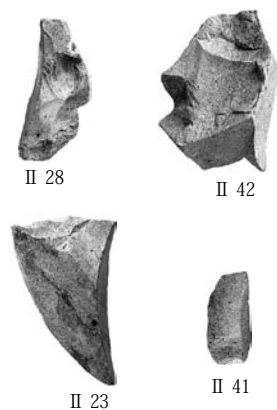
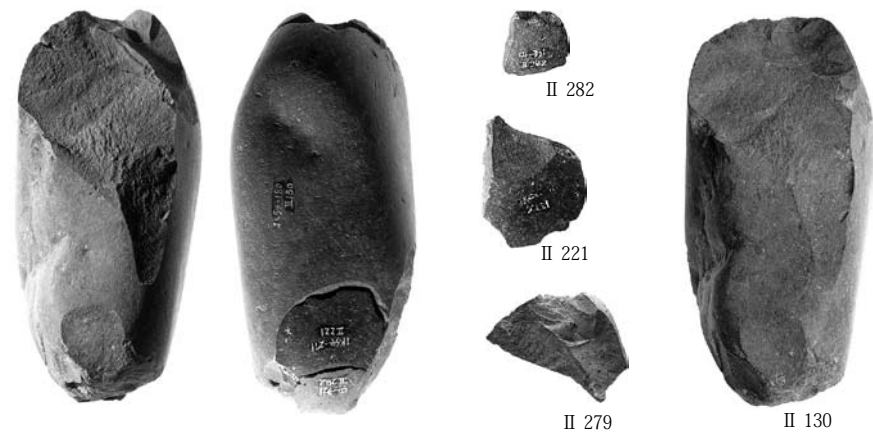


黒色頁岩 1⑥

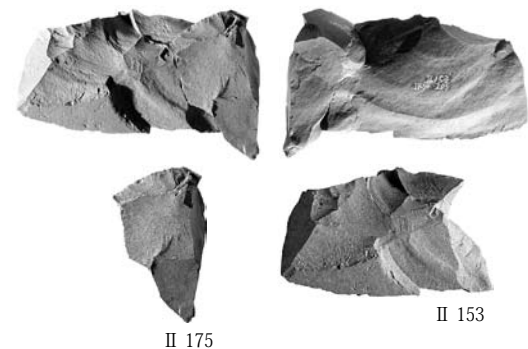




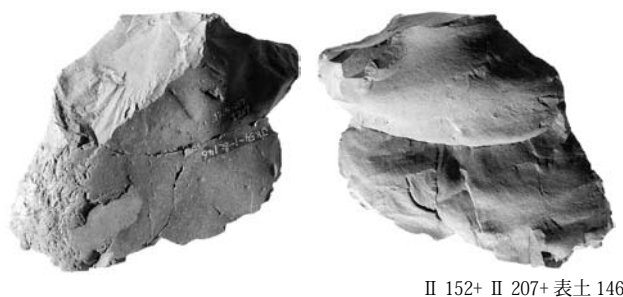
黒色頁岩 3 ①



黒色頁岩 4 ②



黒色頁岩 4 ①

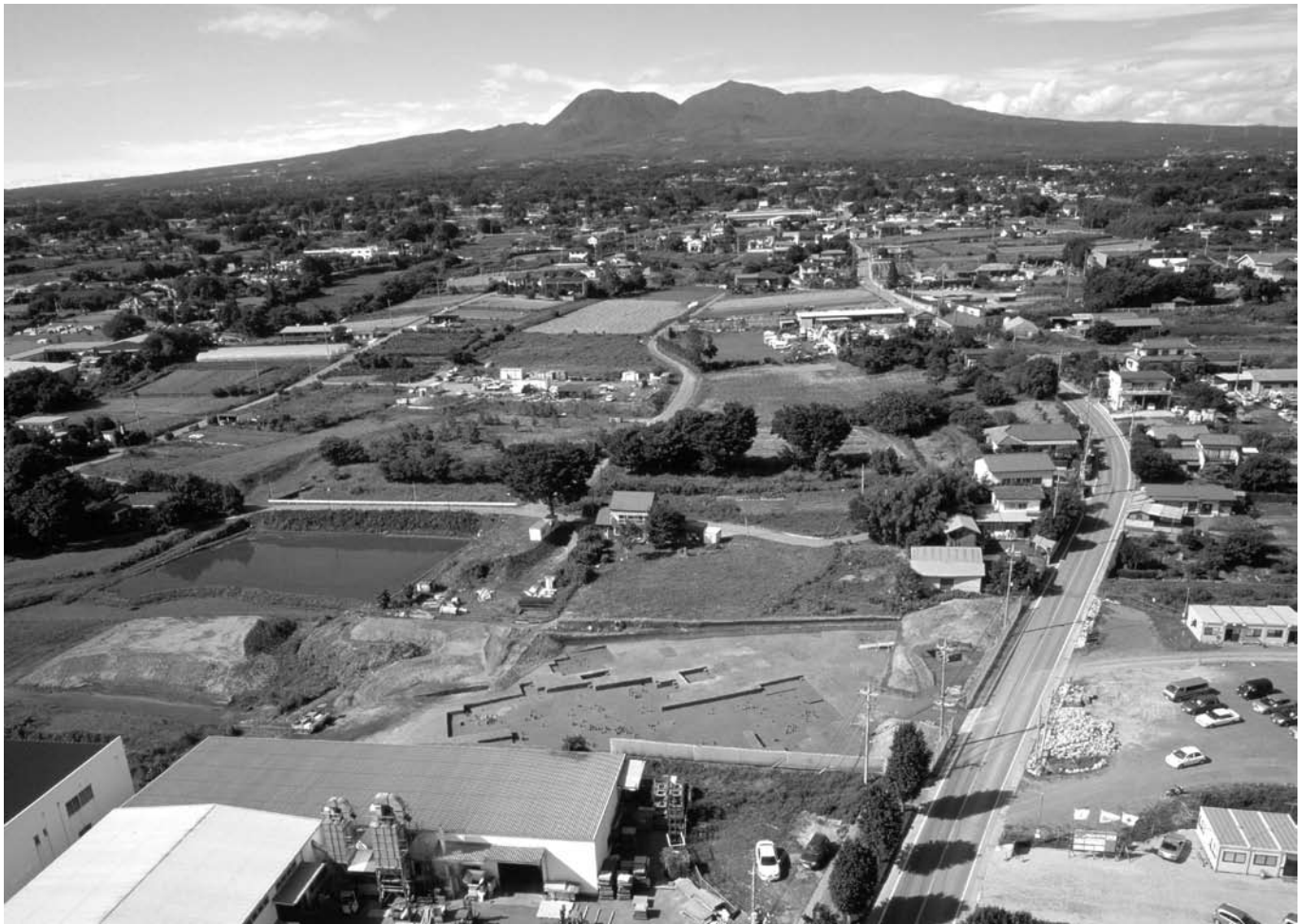


黒色頁岩 5 ①

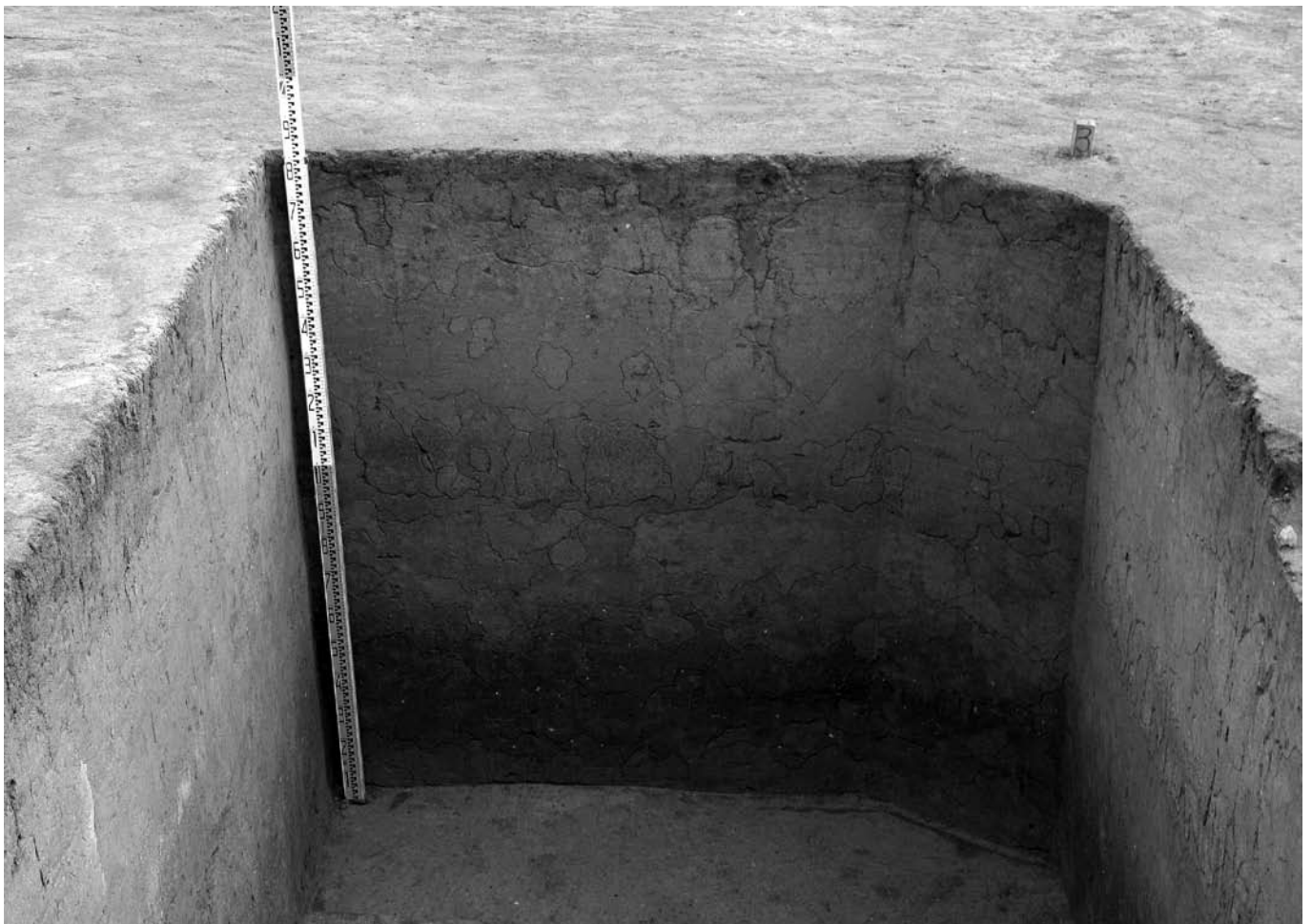


黒曜石 1 ①





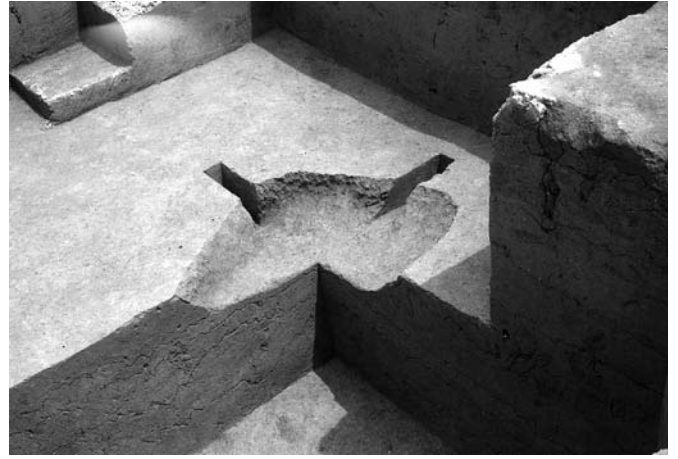
1 遺跡遠景（南から）



2 試掘トレンチ33-M-15南壁セクション（北から）



1 拡張6区炭化物検出状況 (北から)



2 拡張6区落ち込み (北から)



3 拡張3区落ち込み (北から)



4 拡張3区遺物出土状況 (北から)



5 拡張5区1面遺物出土状況 (北東から)



6 拡張5区2面遺物出土状況 (北東から)



7 拡張7区遺物出土状況 (東から)



8 拡張7区遺物出土状況 (南東から)



K6-1



K3-7



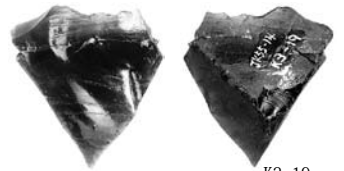
K3-6



K3-15



K3-28



K3-19

黒曜石 1 ①



K3-28

黒曜石 1 ②



K3-2+K3-12



K3-17+K3-22

K3-19

K3-26

黒曜石 1 ③



K3-21

K3-8



K5-94



K5-93



K5-108

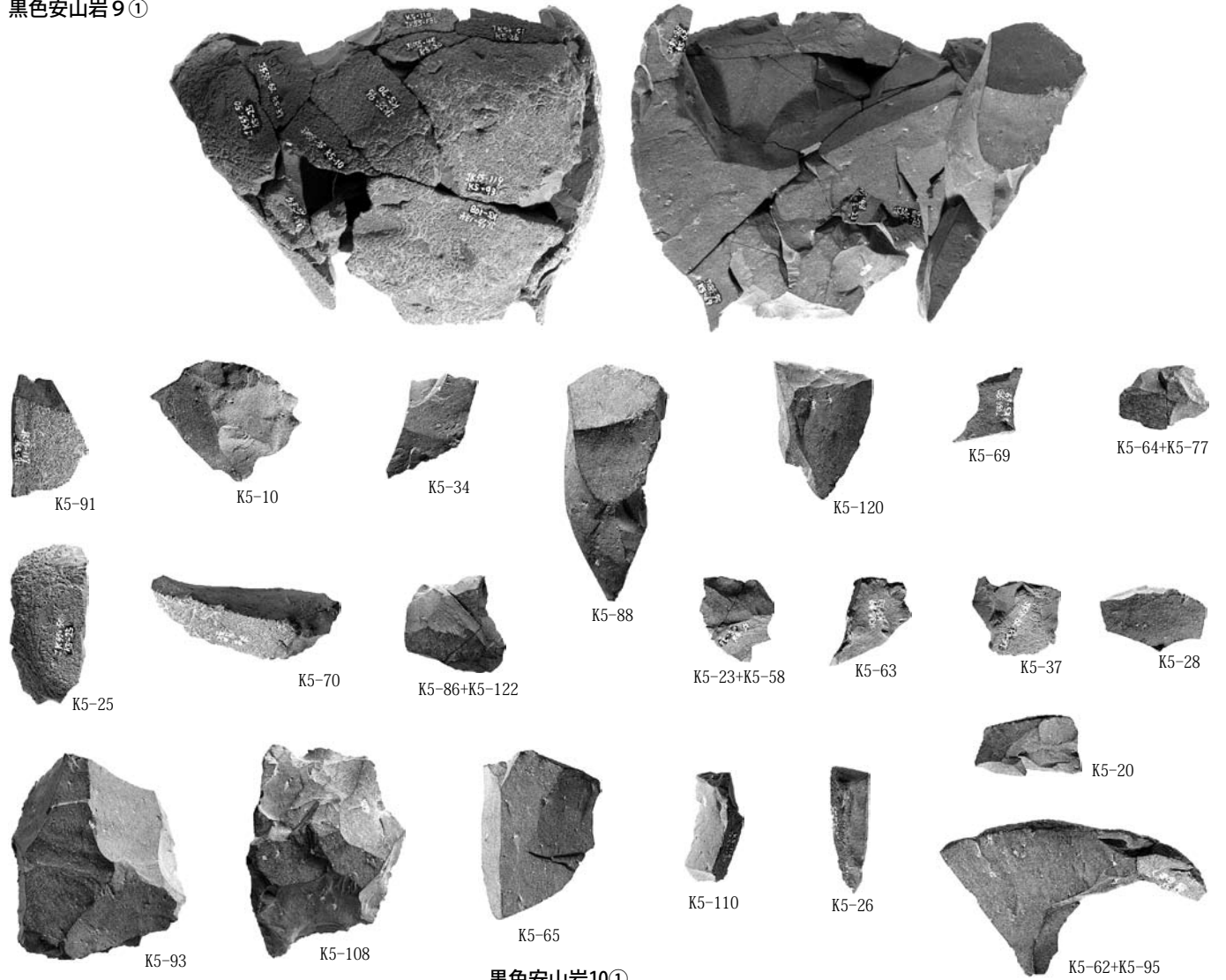


K5-96

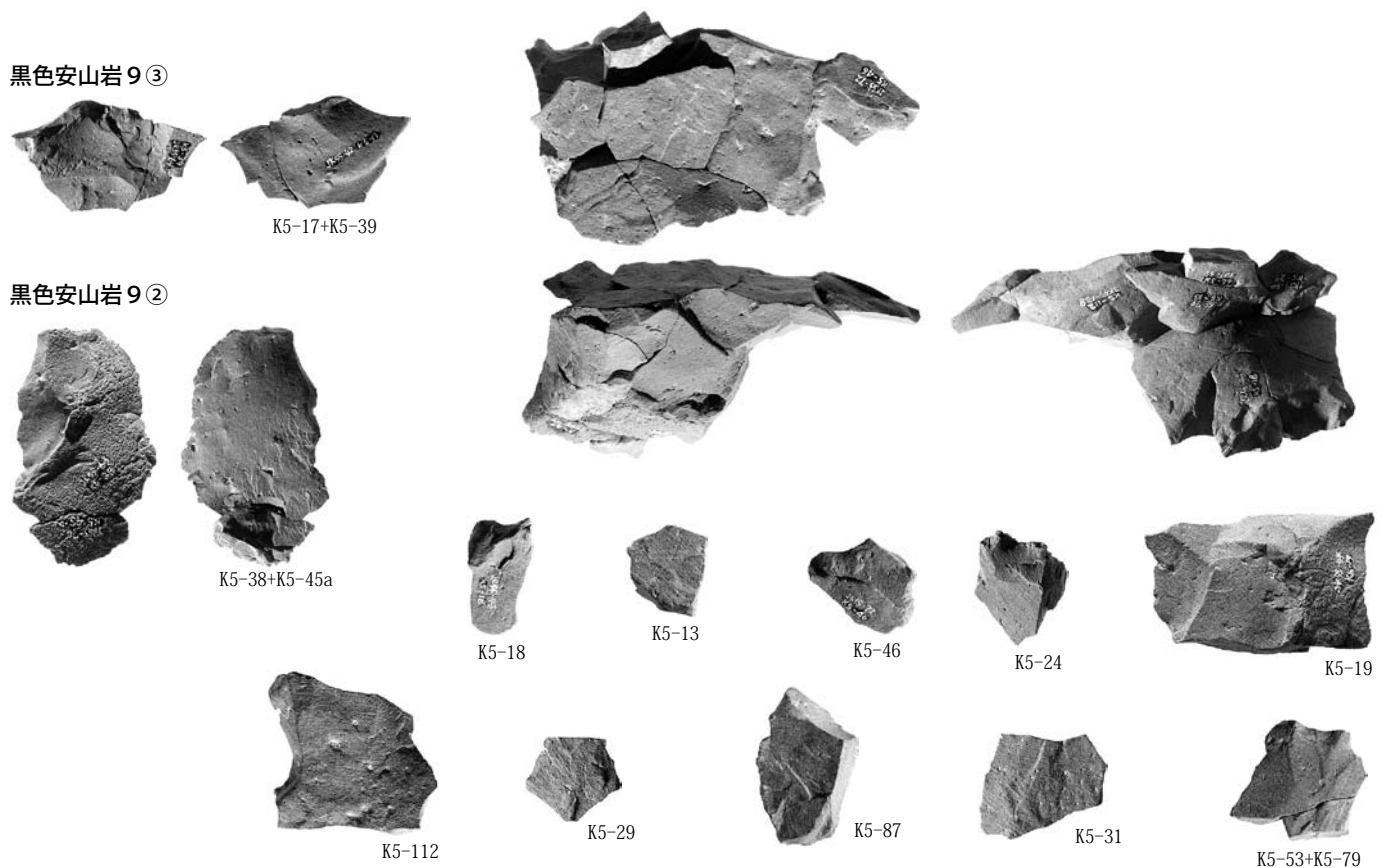


K5-87

黑色安山岩 9 ①



黑色安山岩 10 ①

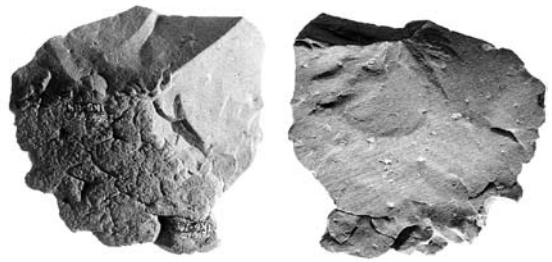


黑色安山岩10②



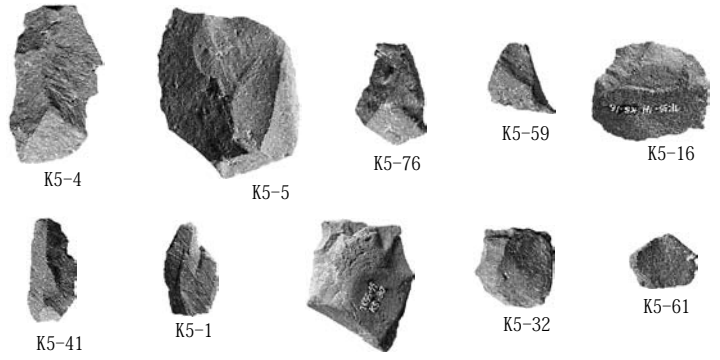
K5-6+K5-8+K5-90

黑色安山岩10③



K5-100+K5-119

黑色安山岩11①



K5-4

K5-5

K5-76

K5-59

K5-16

K5-41

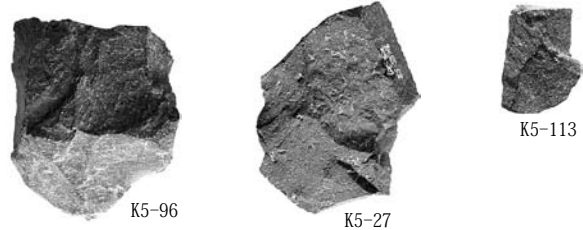
K5-1

K5-32

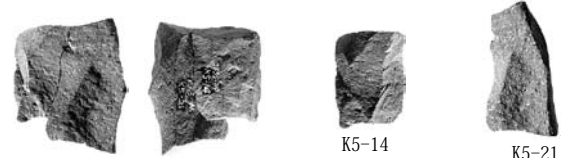
K5-61

K5-30

黑色安山岩11②



K5-113



K5-96

K5-27

K5-14

K5-21



K7-4

K7-254

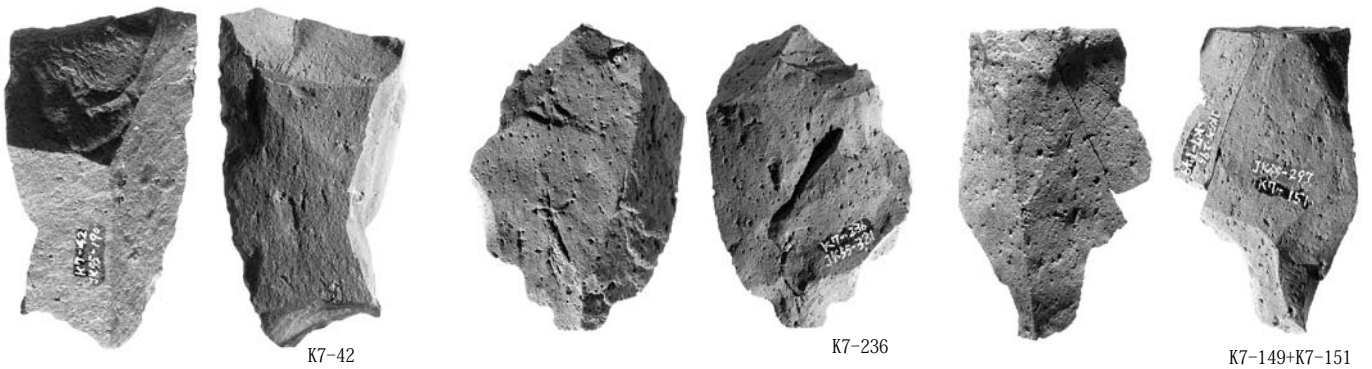
K7-45



K7-203

K7-13

K7-75



K7-42

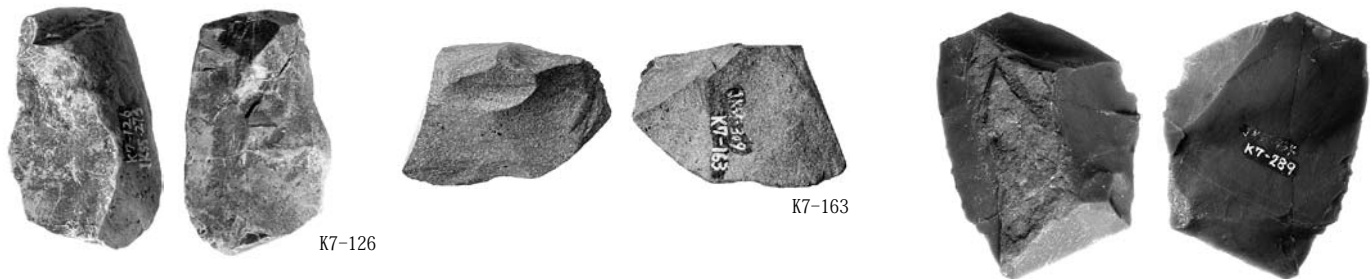
K7-236

K7-149+K7-151



K7-44

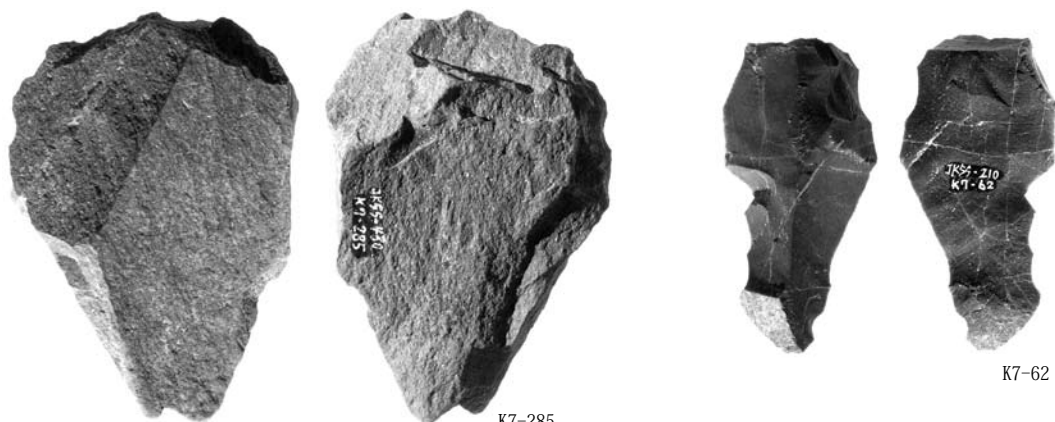
K7-288



K7-126

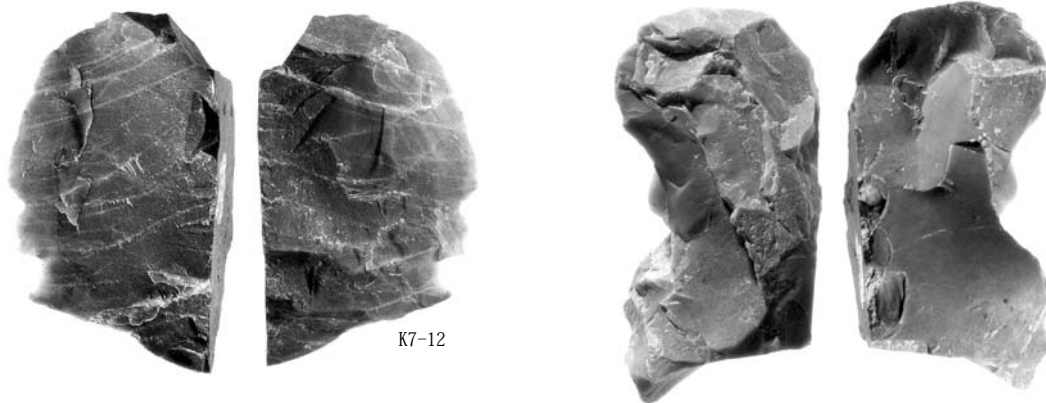
K7-163

K7-289



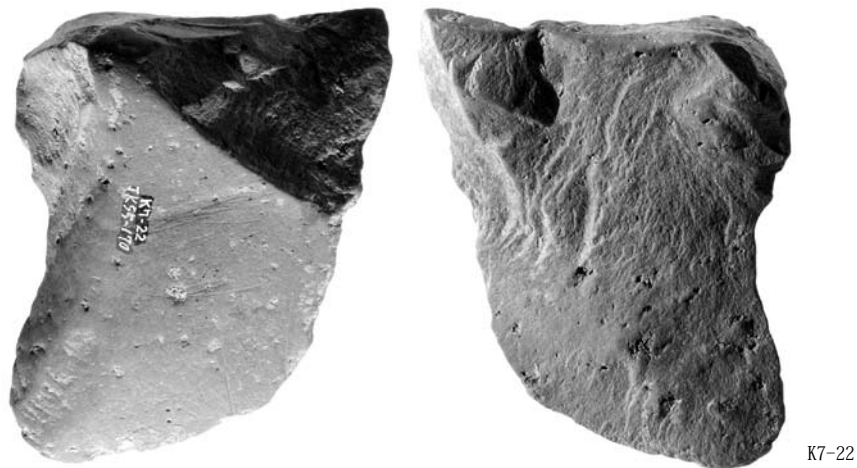
K7-285

K7-62



K7-12

K7-48

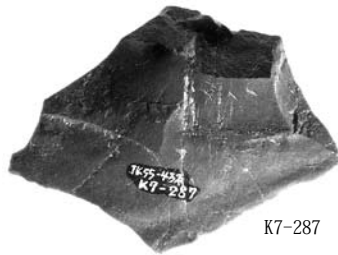


K7-22
JKS-110

K7-22



K7-283



K7-287



K7-2



K7-146



K7-182+K7-201



K7-23



K7-269



K7-38



K7-220



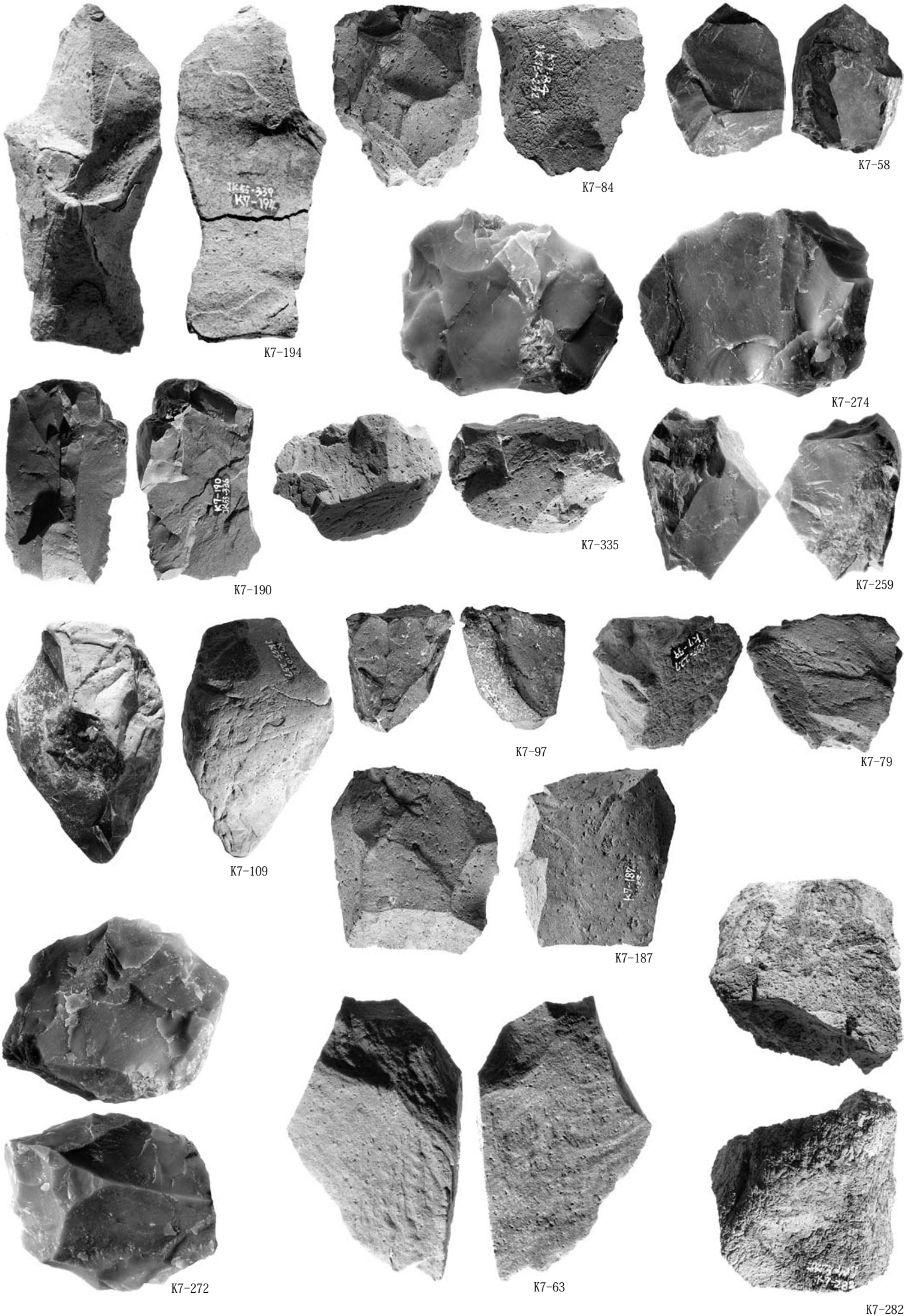
K7-33



K7-234+K7-247

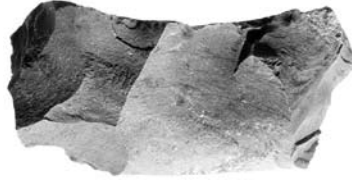


K7-196

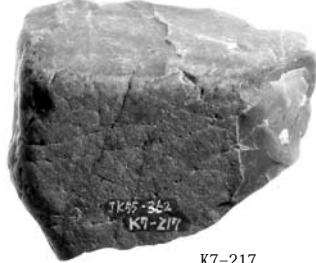




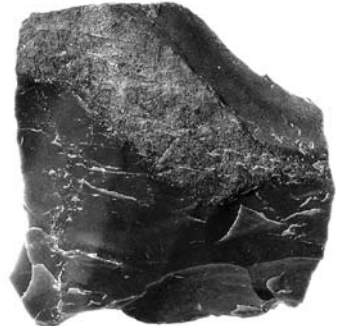
K7-56



K7-255



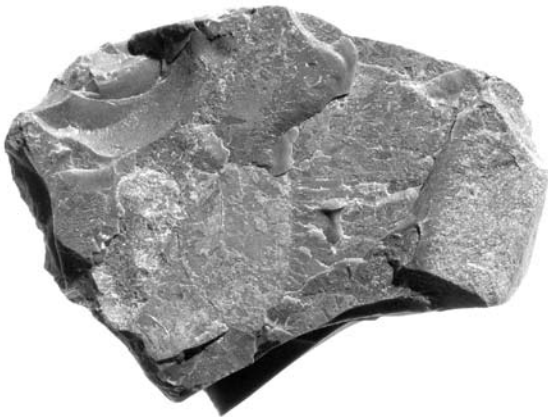
K7-217



K7-34



K7-145



K7-248



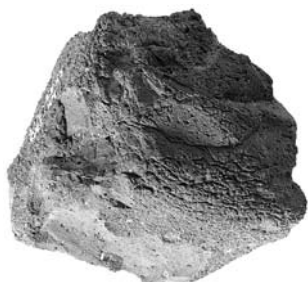
K7-47



K7-131



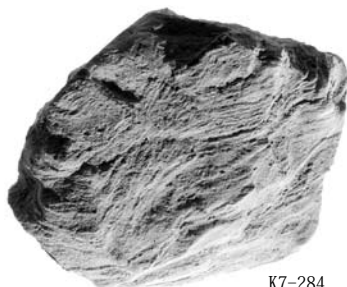
K7-55



K7-128



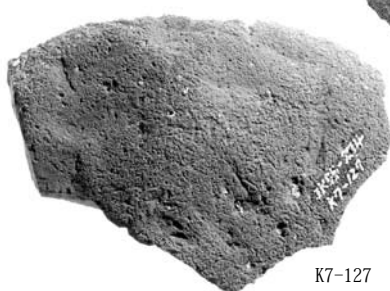
K7-291



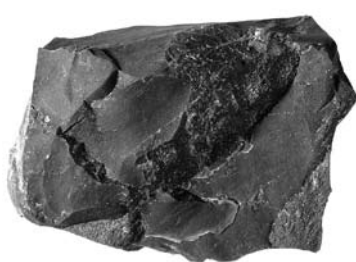
K7-284



K7-246



K7-127



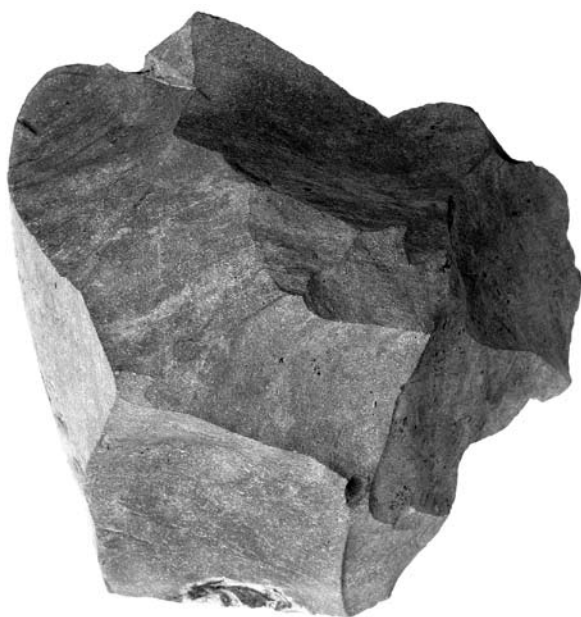
K7-49



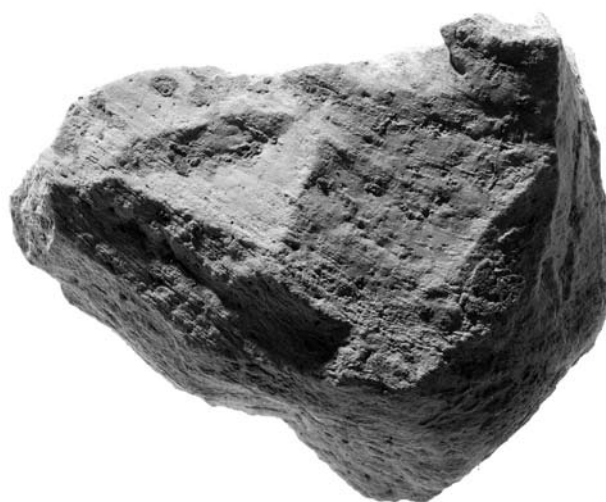
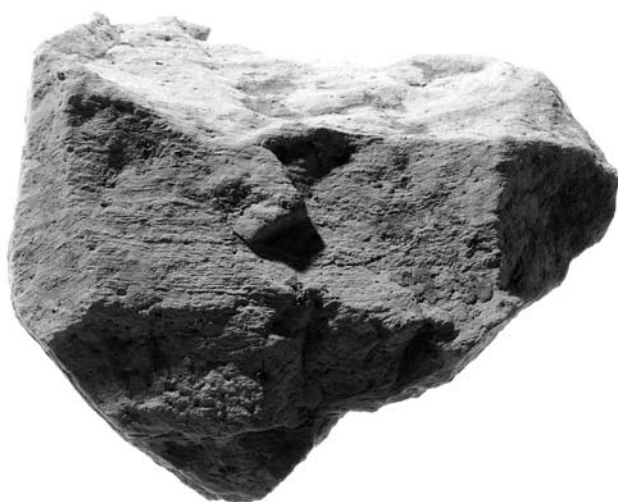
K7-292



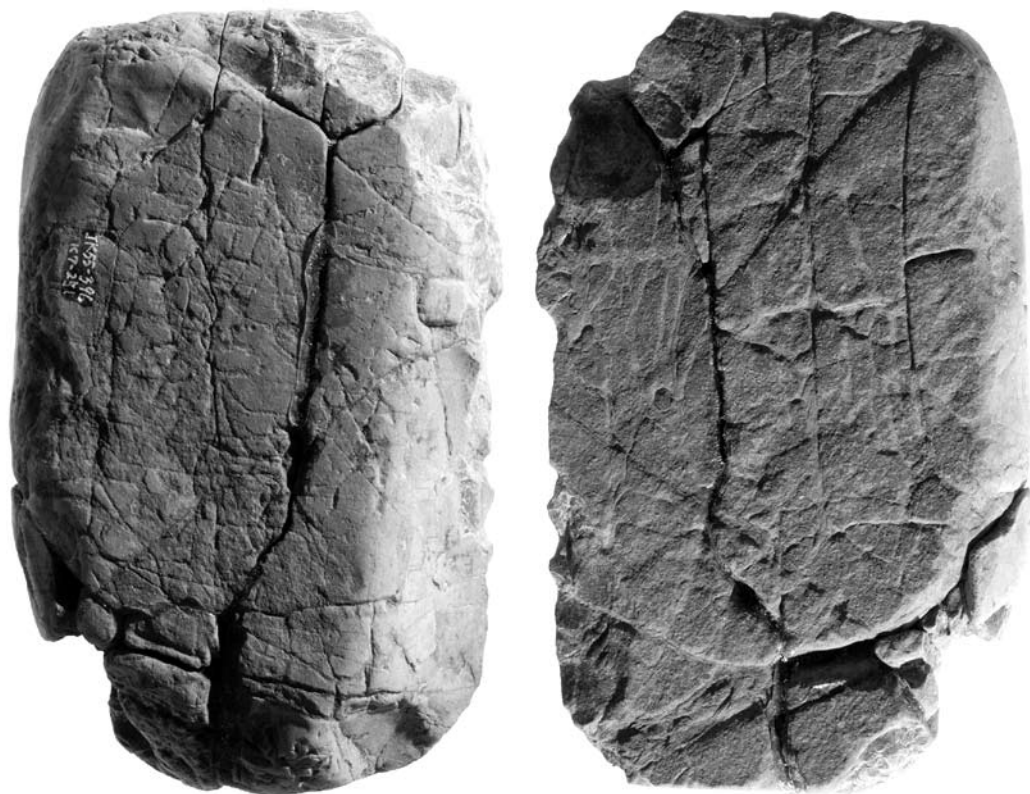
K7-250



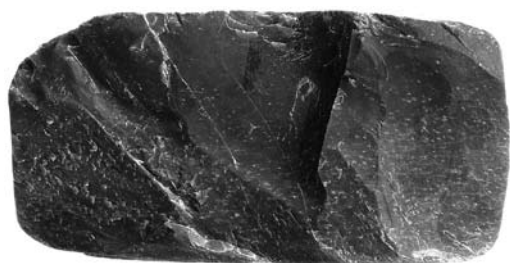
K7-172



K7-199



K7-251



K7-200



K7-327



K7-59



K7-65



K7-204



K7-39



K7-173



K7-239



K7-211



K7-24



K7-262

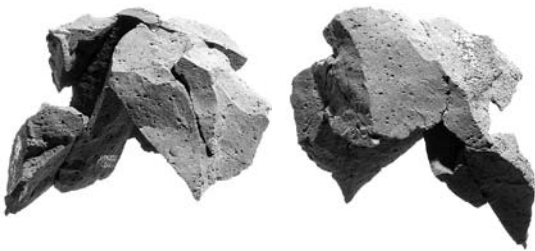


K7-328



K7-35

黑色安山岩 1 ①



K7-219



K7-237+K7-241



K7-240



K7-222



K7-216



K7-224



K7-221

黑色安山岩 1 ②



K7-110



K7-100



K7-92



K7-124

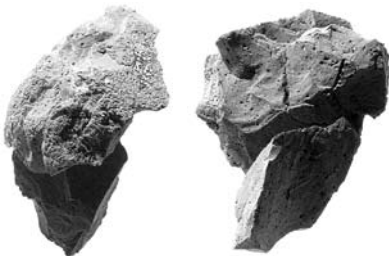


K7-93



K7-97

黑色安山岩 1 ③



黑色安山岩 1 ④



K7-191



K7-186



K7-187

黑色安山岩 1 ⑤

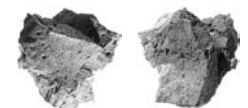


K7-105



K7-84

黑色安山岩 1 ⑦



K7-74



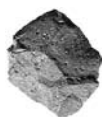
K7-111



K7-102



K7-108



K7-99



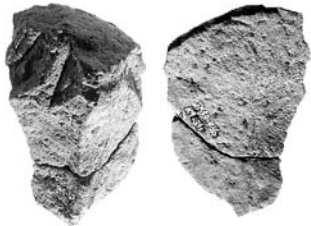
K7-128

黑色安山岩 1 ⑥



K7-149+K7-151

黑色安山岩 3 ②



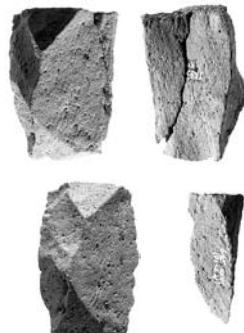
K7-311+K7-342

黑色安山岩 2 ①



K7-67+K7-154

黑色安山岩 2 ②



K7-75

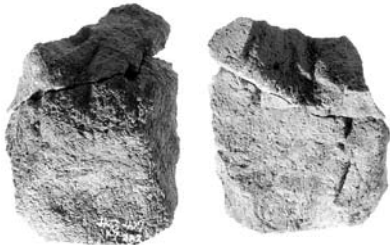
K7-101

黑色安山岩 1 ⑧



K7-115+K7-121

黑色安山岩 3 ①



K7-281+K7-282

黑色安山岩 4 ①

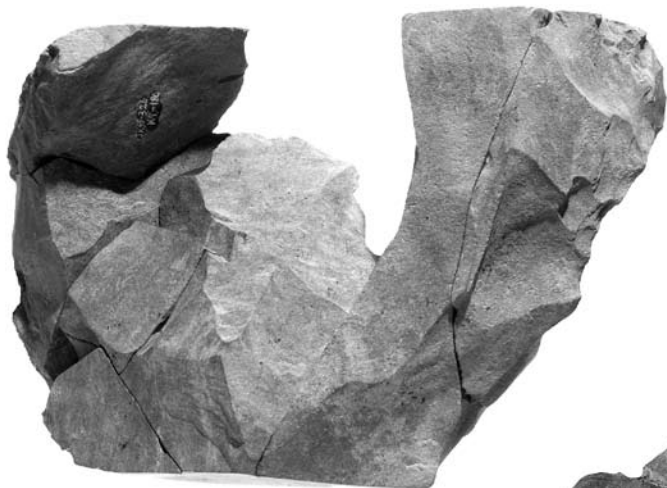


K7-135+K7-141+K7-142

黑色頁岩 1 ①



K7-178



K7-168+K7-245



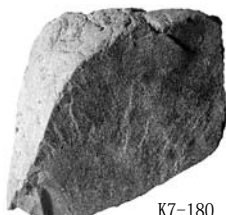
K7-176



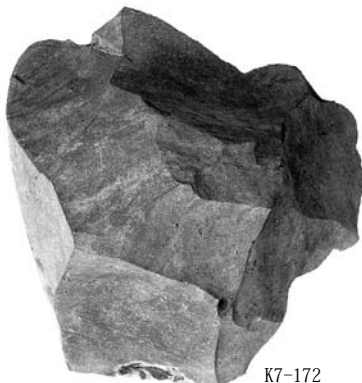
K7-171



K7-174



K7-180



K7-172



K7-207黒頁单独



K7-159



K7-202

珪質頁岩 2 ①

チャート1①

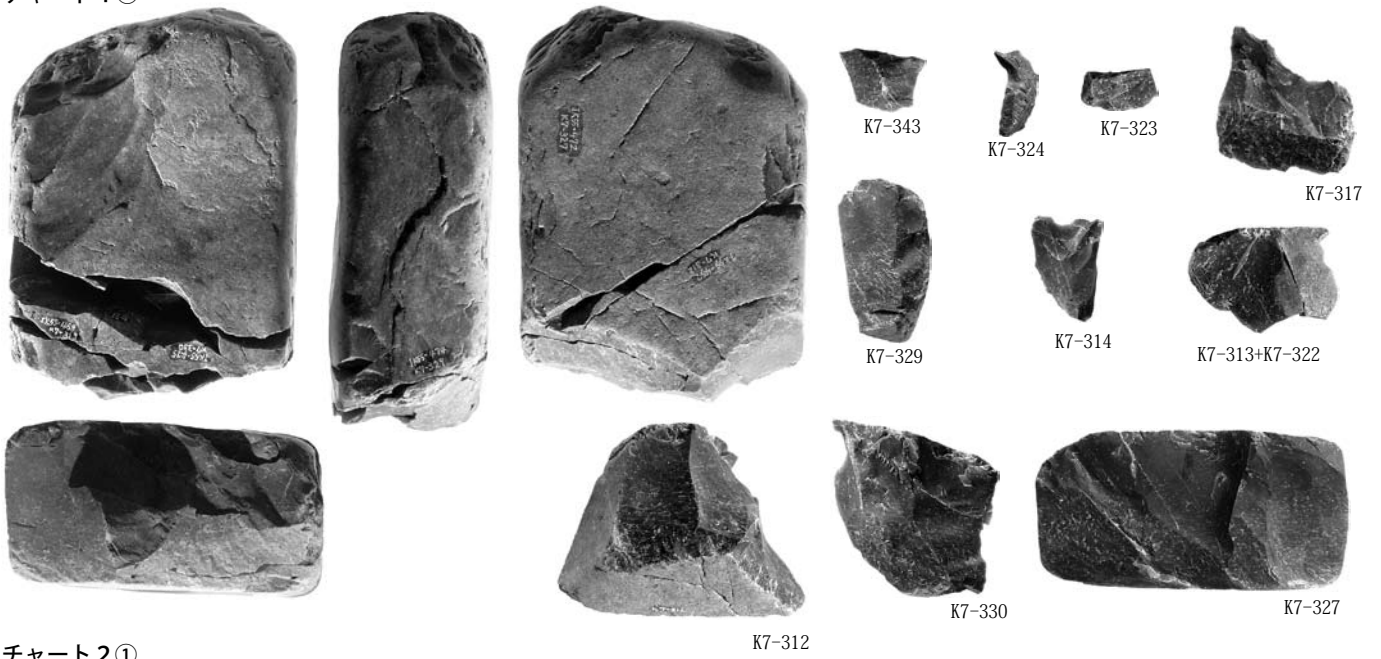


チャート2①

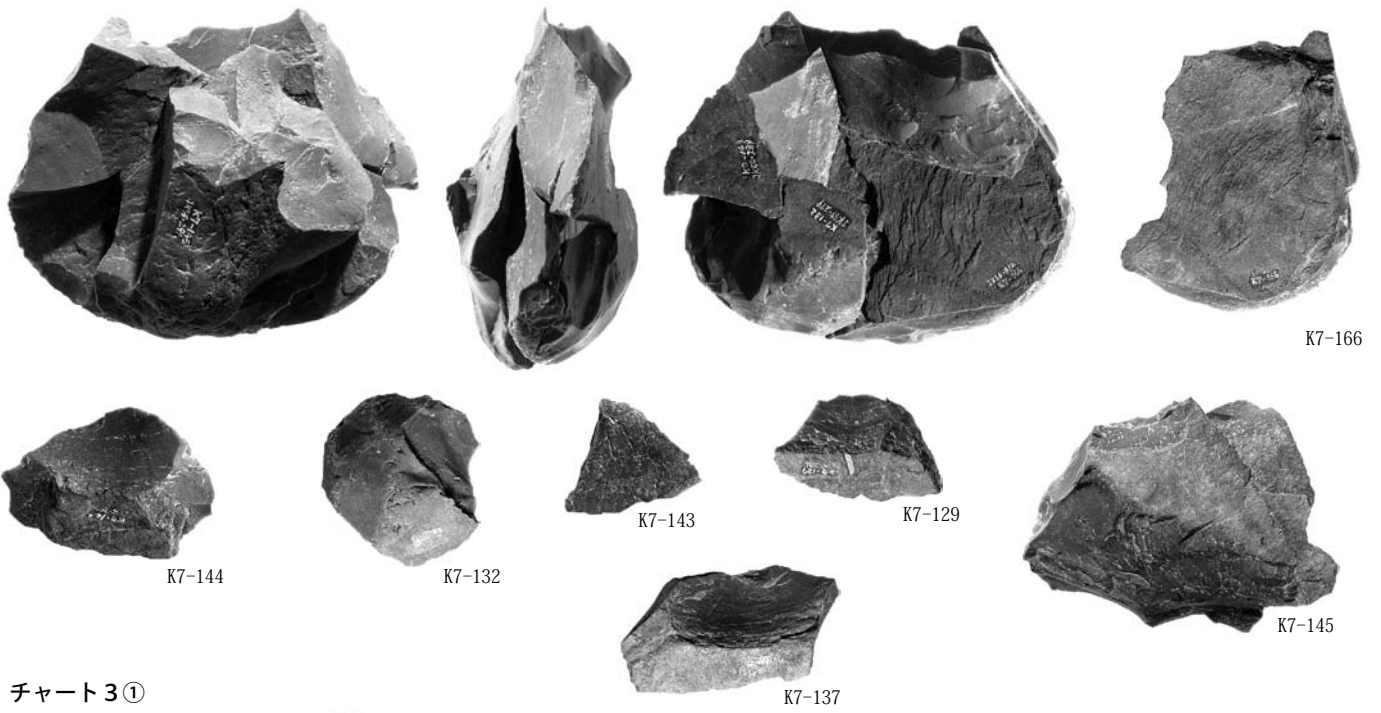


チャート3①

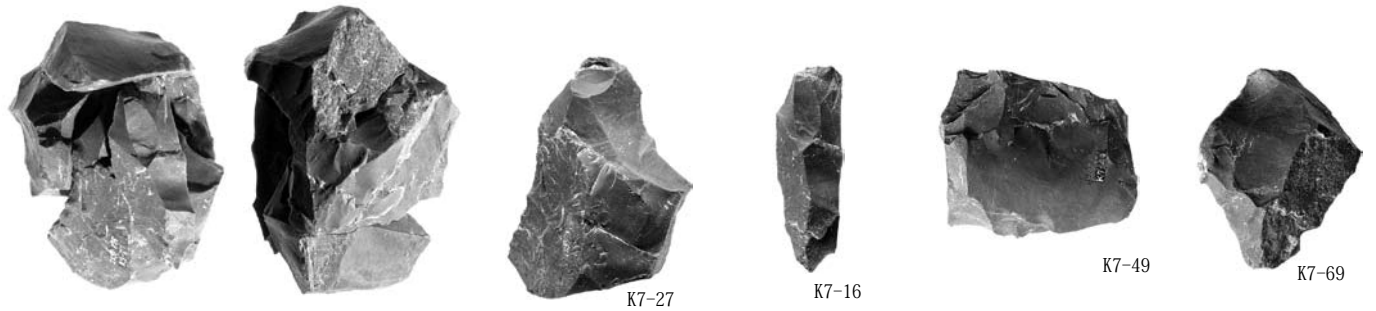


チャート3②

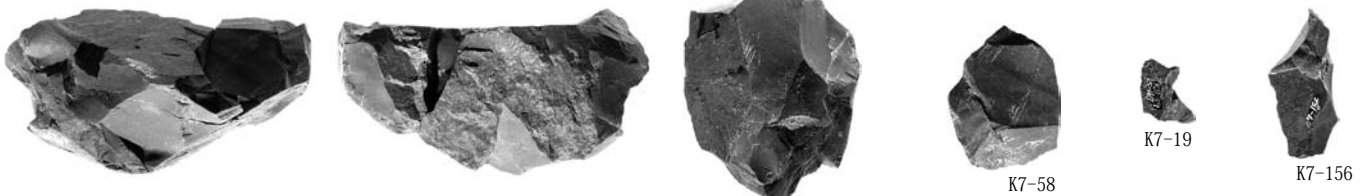


チャート4①



チャート5①



チャート6①



K7-70+K7-71



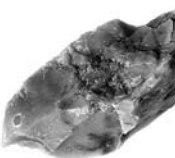
ホルンフェルス1①



K7-270



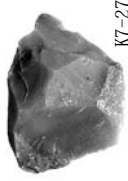
K7-273



K7-274



K7-271



K7-272



チャート7①



K7-34+K7-41



チャート8①



K7-10



K7-6



K7-206



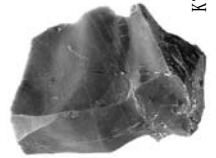
K7-249



K7-250



K7-288



K7-289





1 B区試掘トレンチ5西壁セクション (東から)



2 E区南壁セクション (東から)



3 I区試掘トレンチ6南壁セクション (北から)



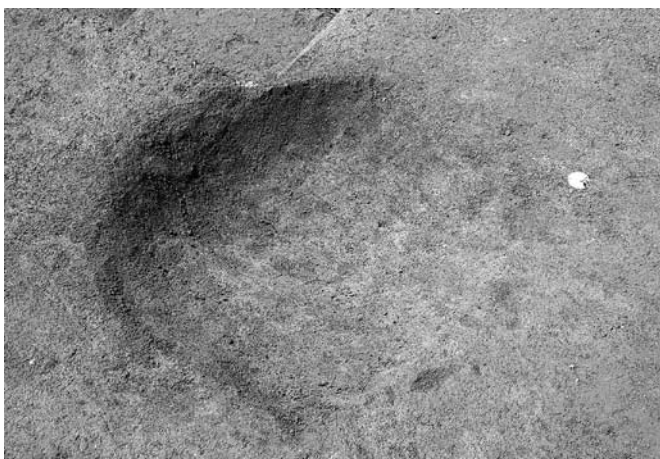
4 D区集石確認状況 (西から)



5 D区集石検出状況 (南東から)



6 D区炭化物検出状況 (北から)



7 D区集石土坑 (北から)



8 B区南壁遺物出土状況 (東から)



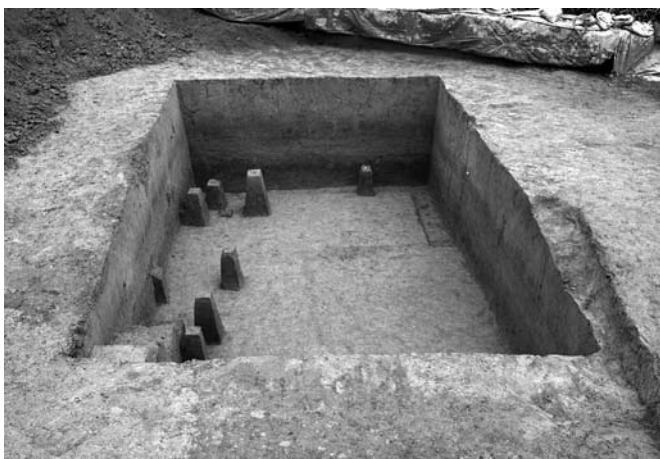
1 B区全景 (西から)



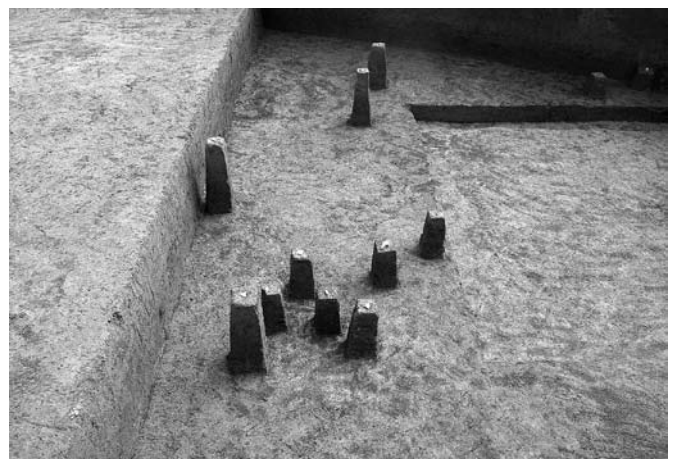
2 E区遺物出土状況 (北から)



3 E区全景遺物出土状況 (北から)



4 I区試掘トレンチ6拡張遺物出土状況 (北から)



5 I区試掘トレンチ6再拡張遺物出土状況 (北から)



138



194



101



1102



161



110



142



162

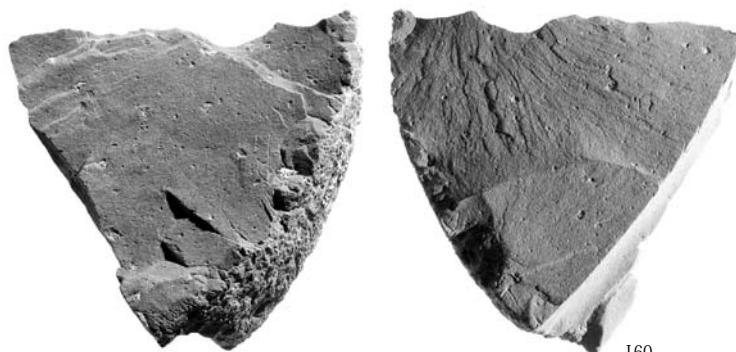


153



177

176

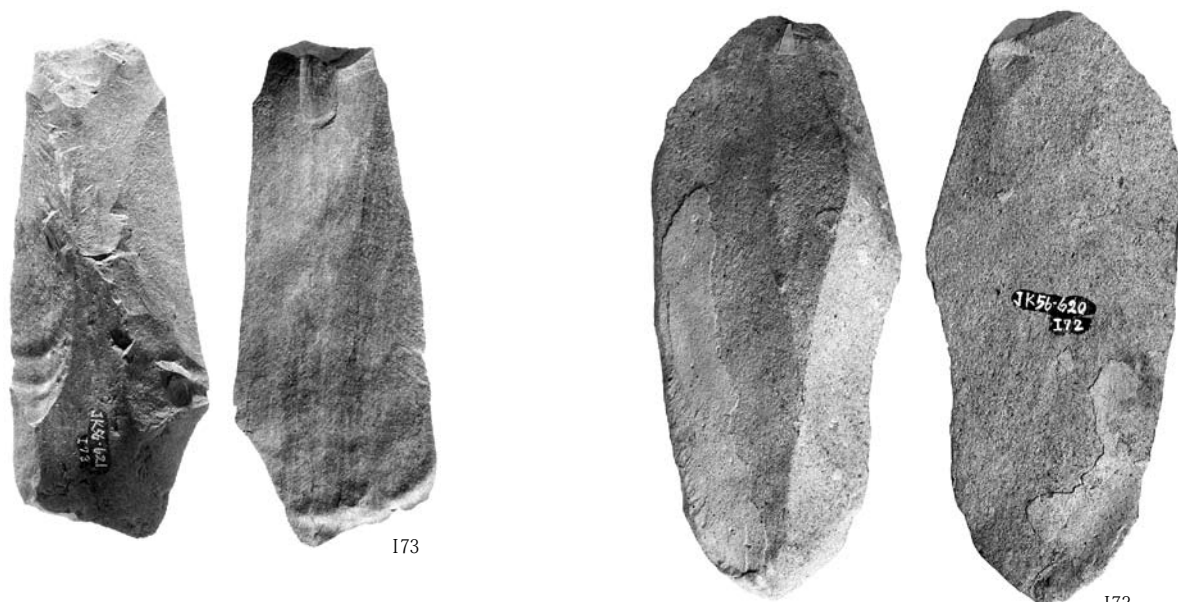


160



185

151



173

172



182



195



117



141



197



181



193

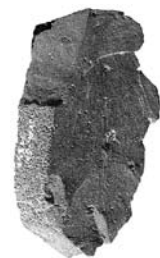


158



184(1/2)

黑色安山岩14①



153

156



黑色安山岩16①



19

16+18+149

黑色安山岩15①



118+119

黑色安山岩16②



189

1101



152黒安14



147黒安14



199黒安16



180黒安14



157黒安16



159黒安16



192黒安16

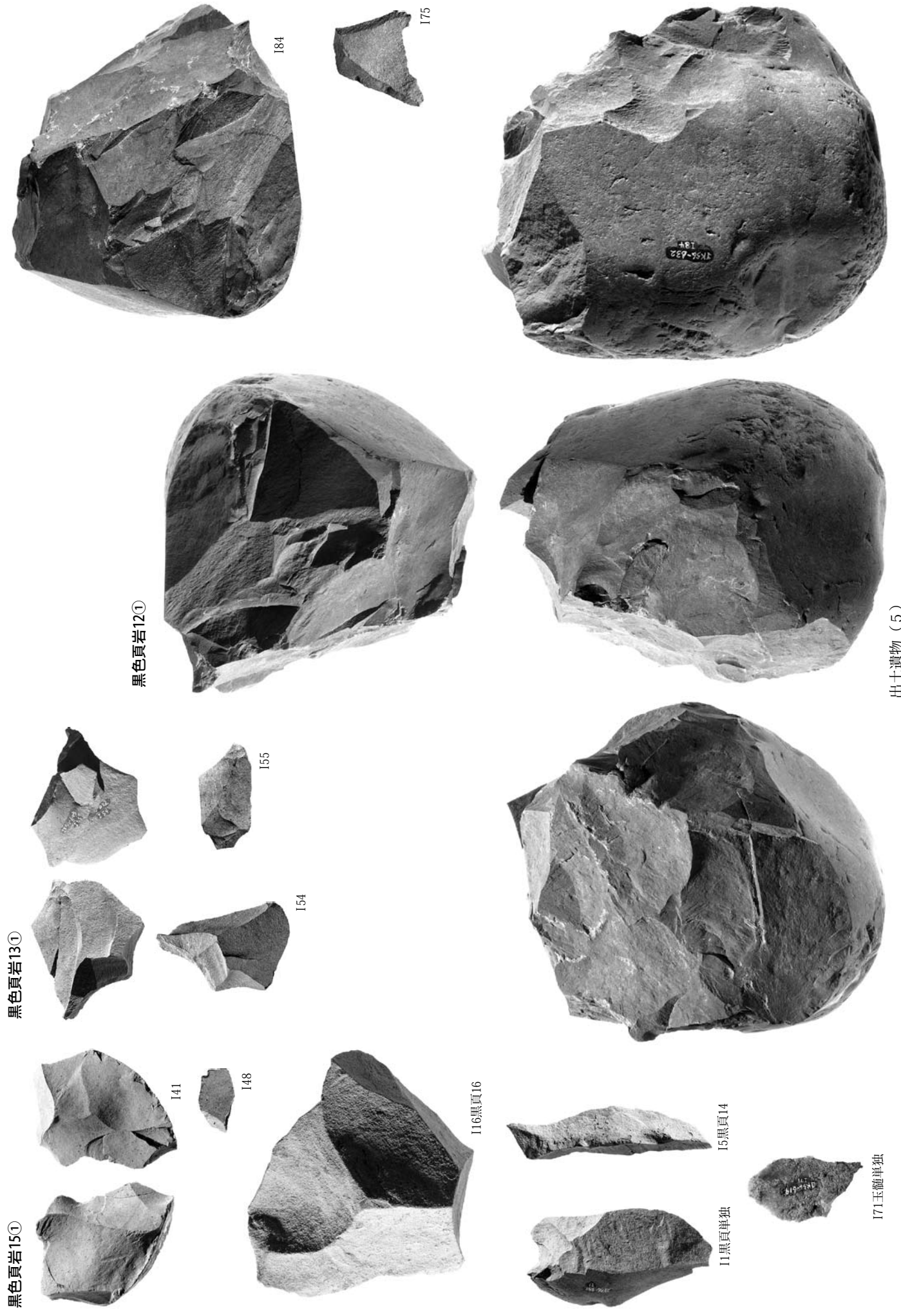


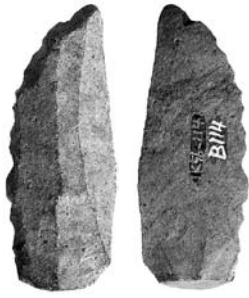
169黒安17

黑色頁岩14①



137+139





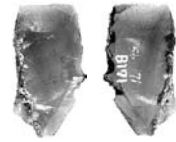
B114



B129



B135



B171



B66



B184



B131



B148



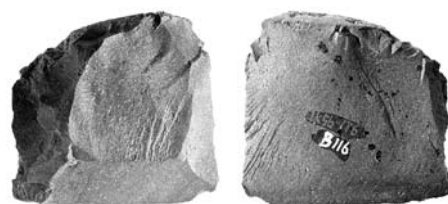
B115



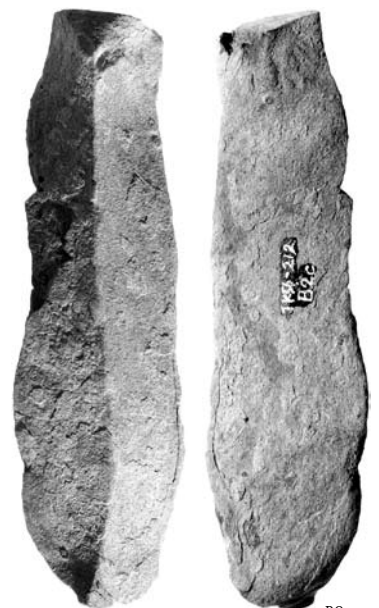
B206



B144



B116



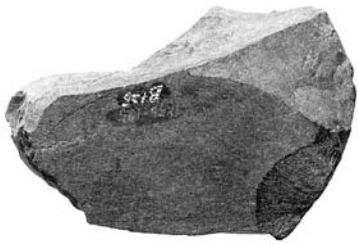
B2c



B172



B113



B125



B140



B177



B124

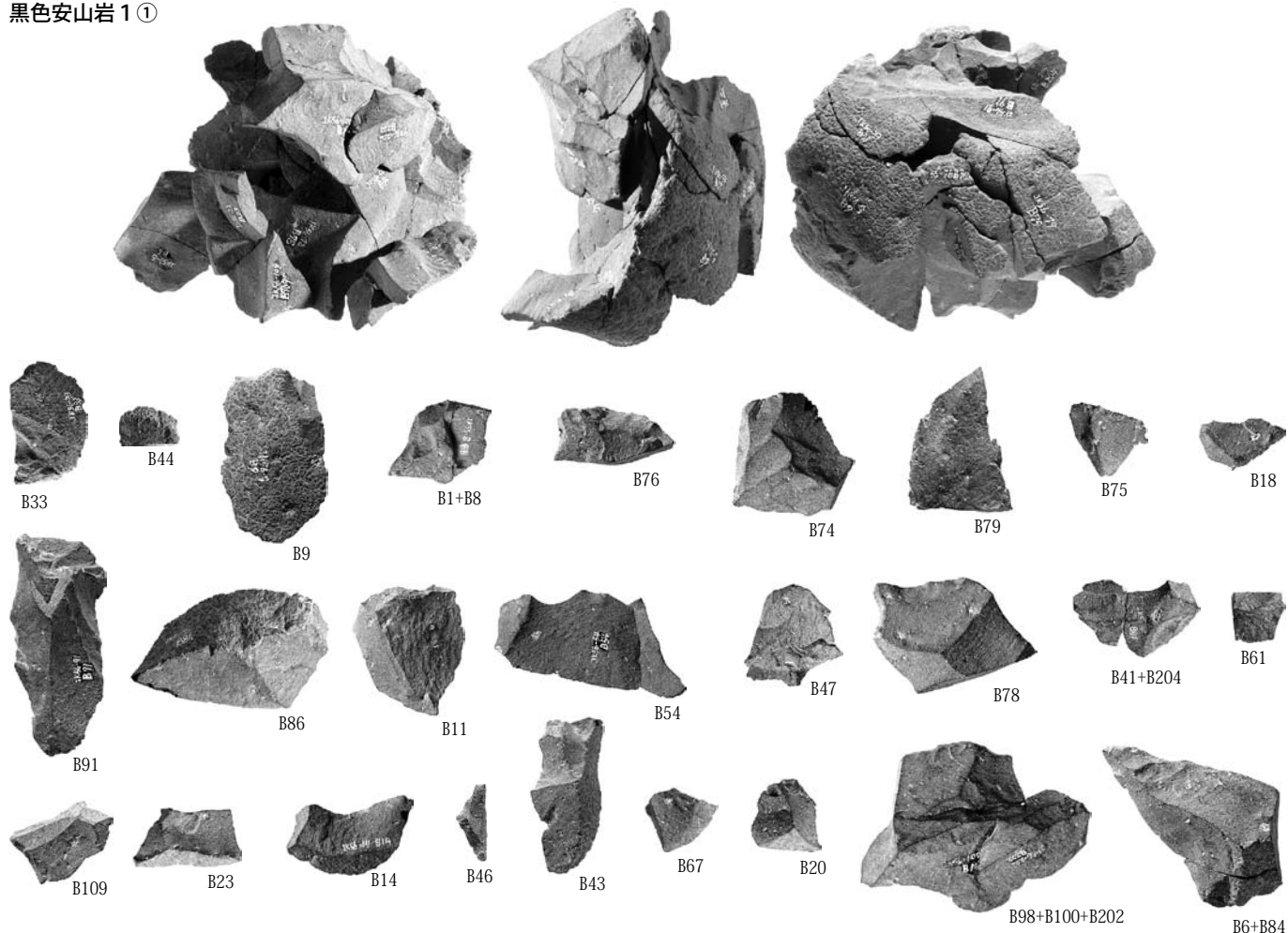


B65+B110

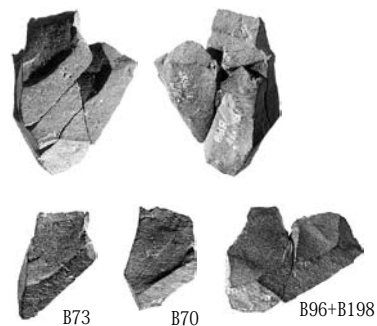


出土遺物 (7)

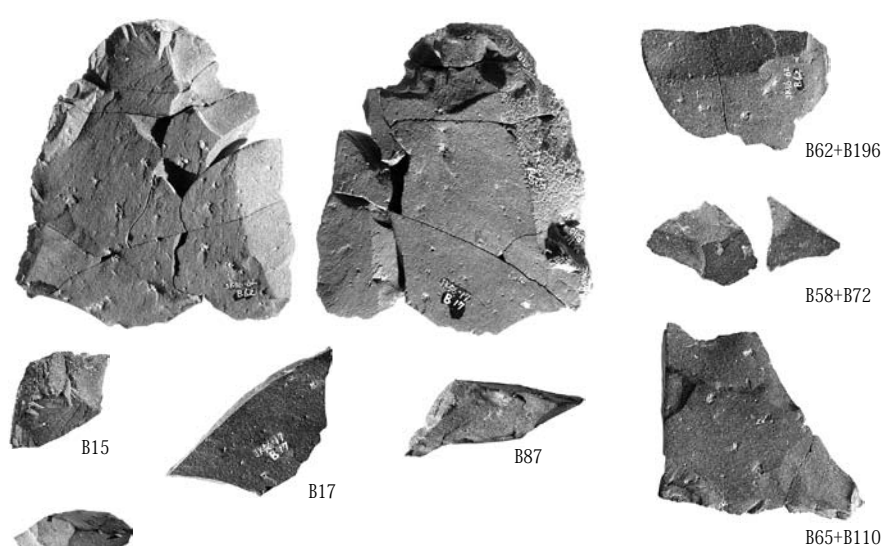
黑色安山岩 1 ①



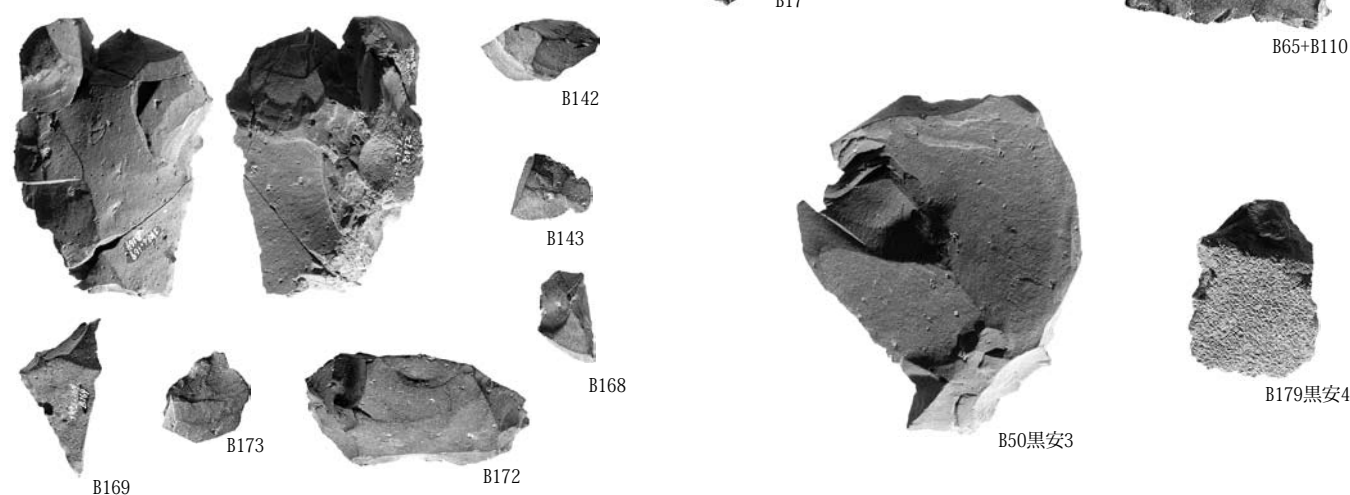
黑色安山岩 1 ②



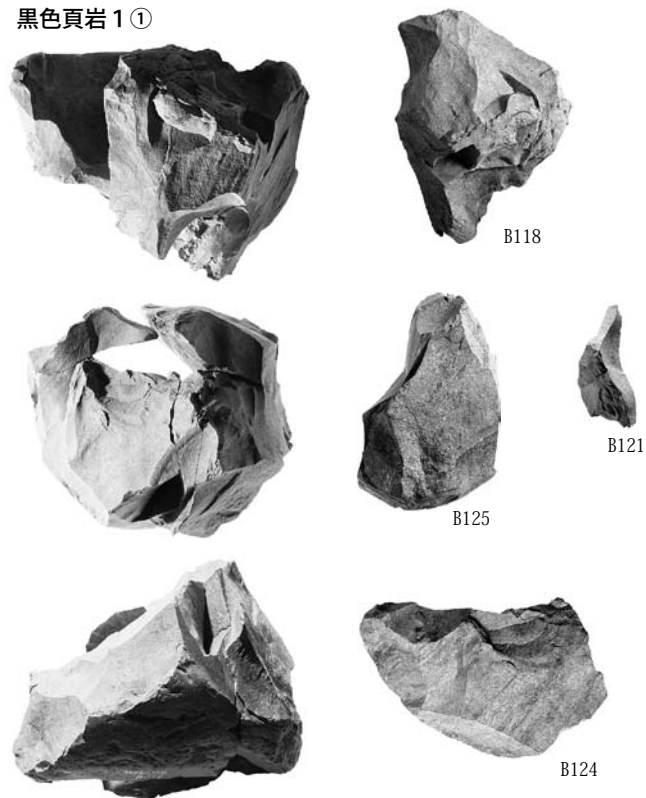
黑色安山岩 2 ①



黑色安山岩 3 ①



黒色頁岩 1 ①



B118

B121

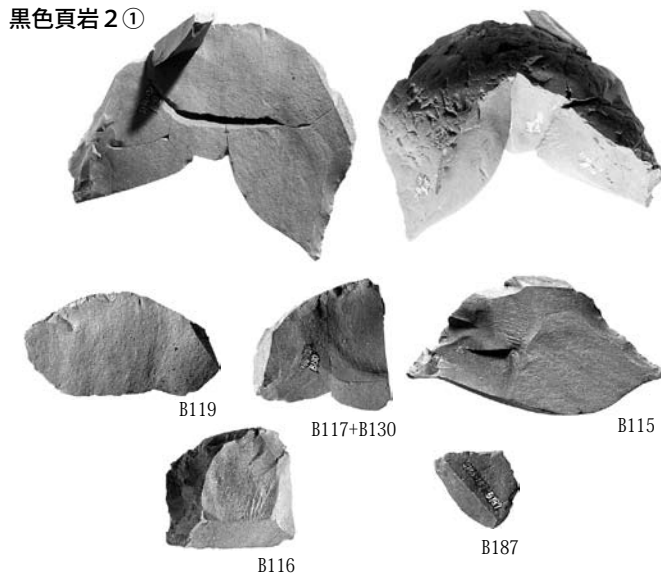
B125

B124

E103

E171

黒色頁岩 2 ①



B119

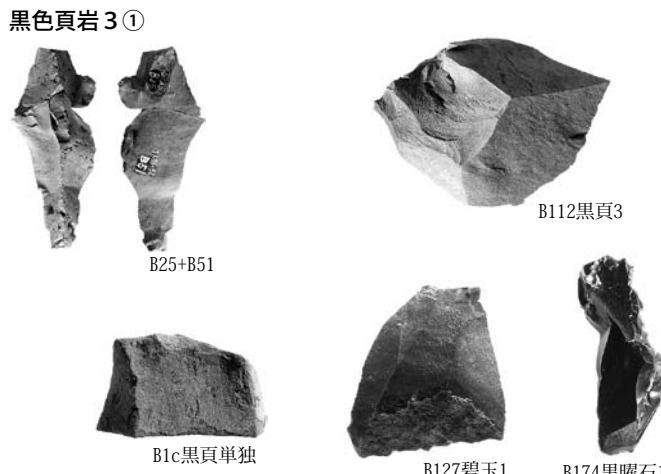
B117+B130

B115

B116

B187

黒色頁岩 3 ①



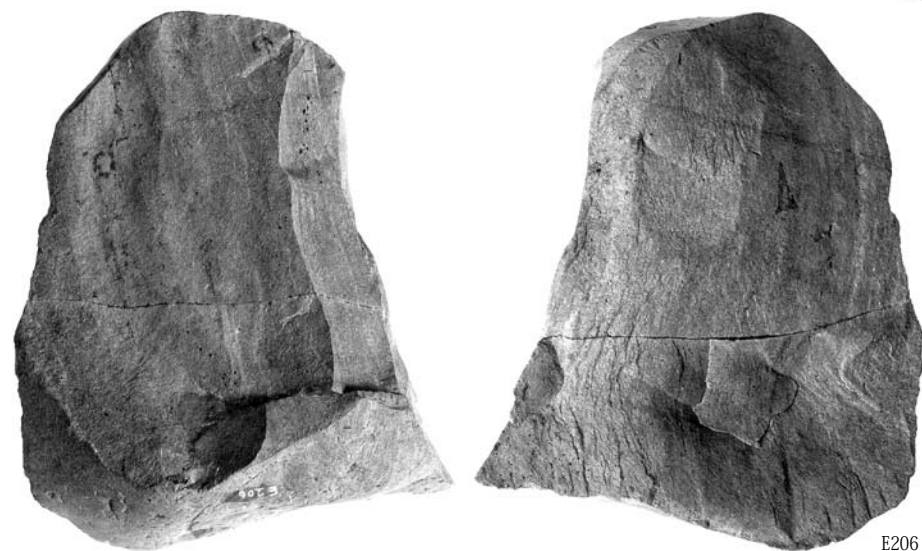
B25+B51

B112黒頁3

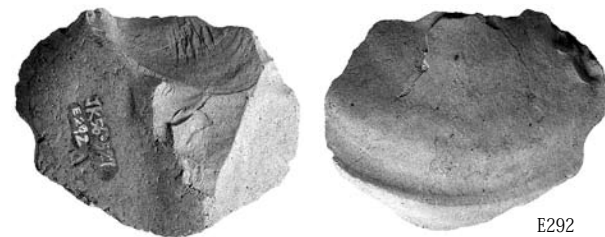
B1c黒頁单独

B127碧玉1

B174黒曜石1



E206



E292



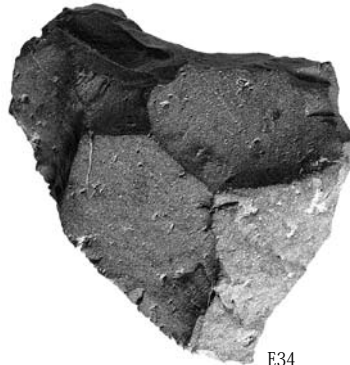
E134



E203



E162



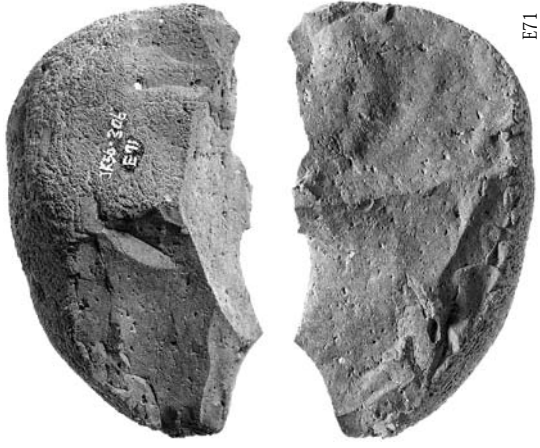
E34



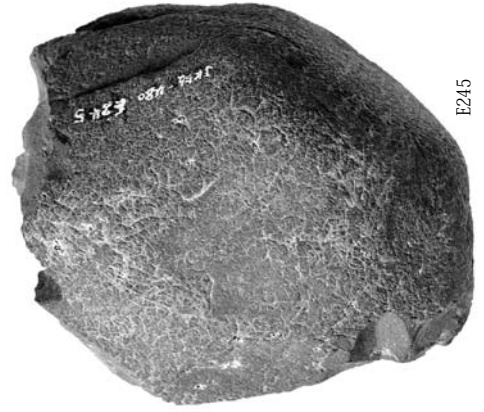
E222



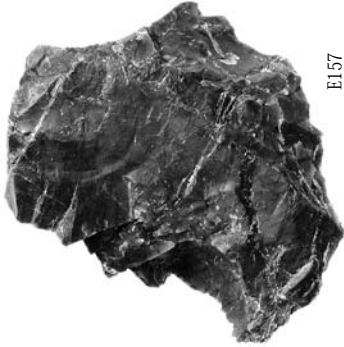
E193



E71



E245



E157



E36

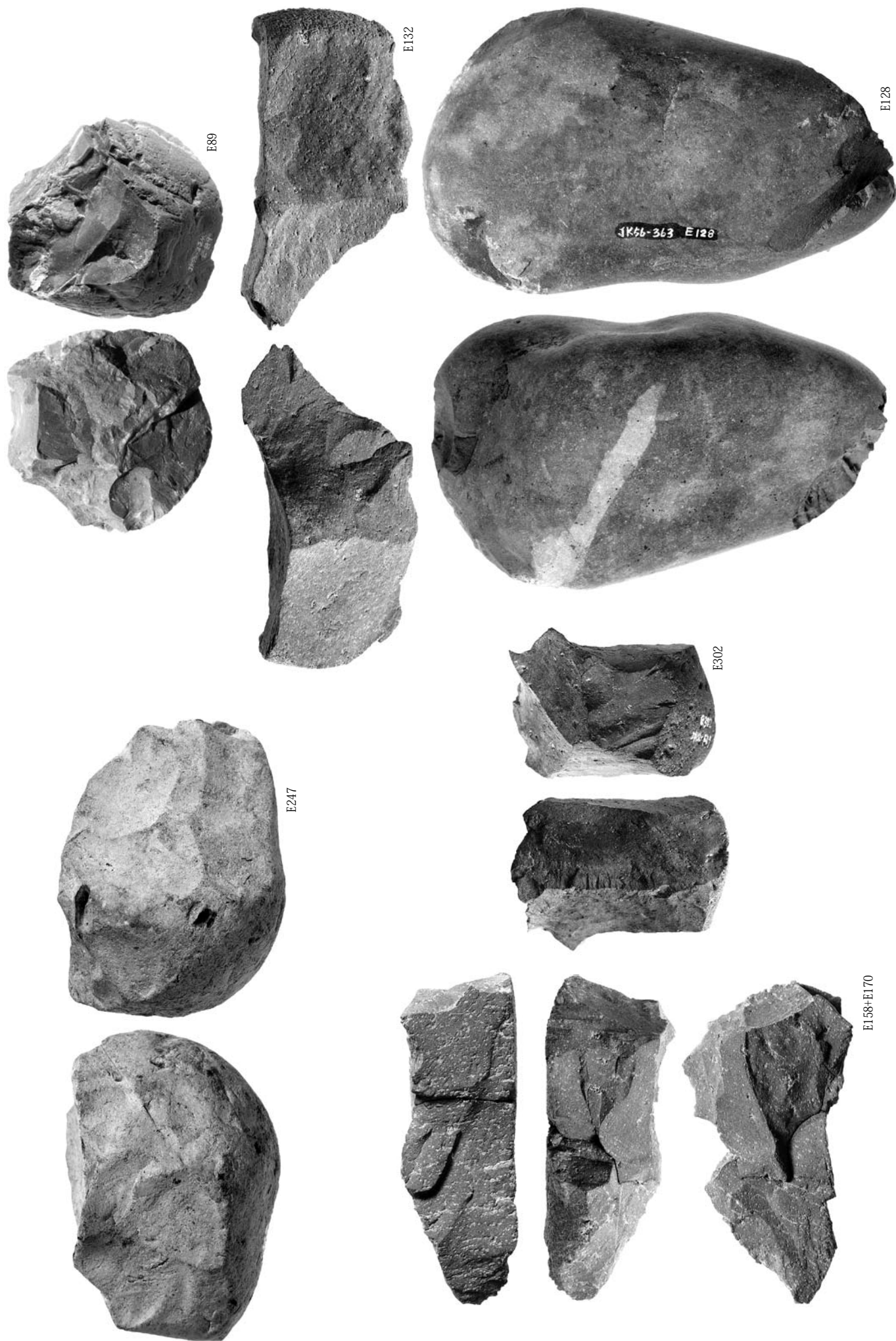


E194



E50



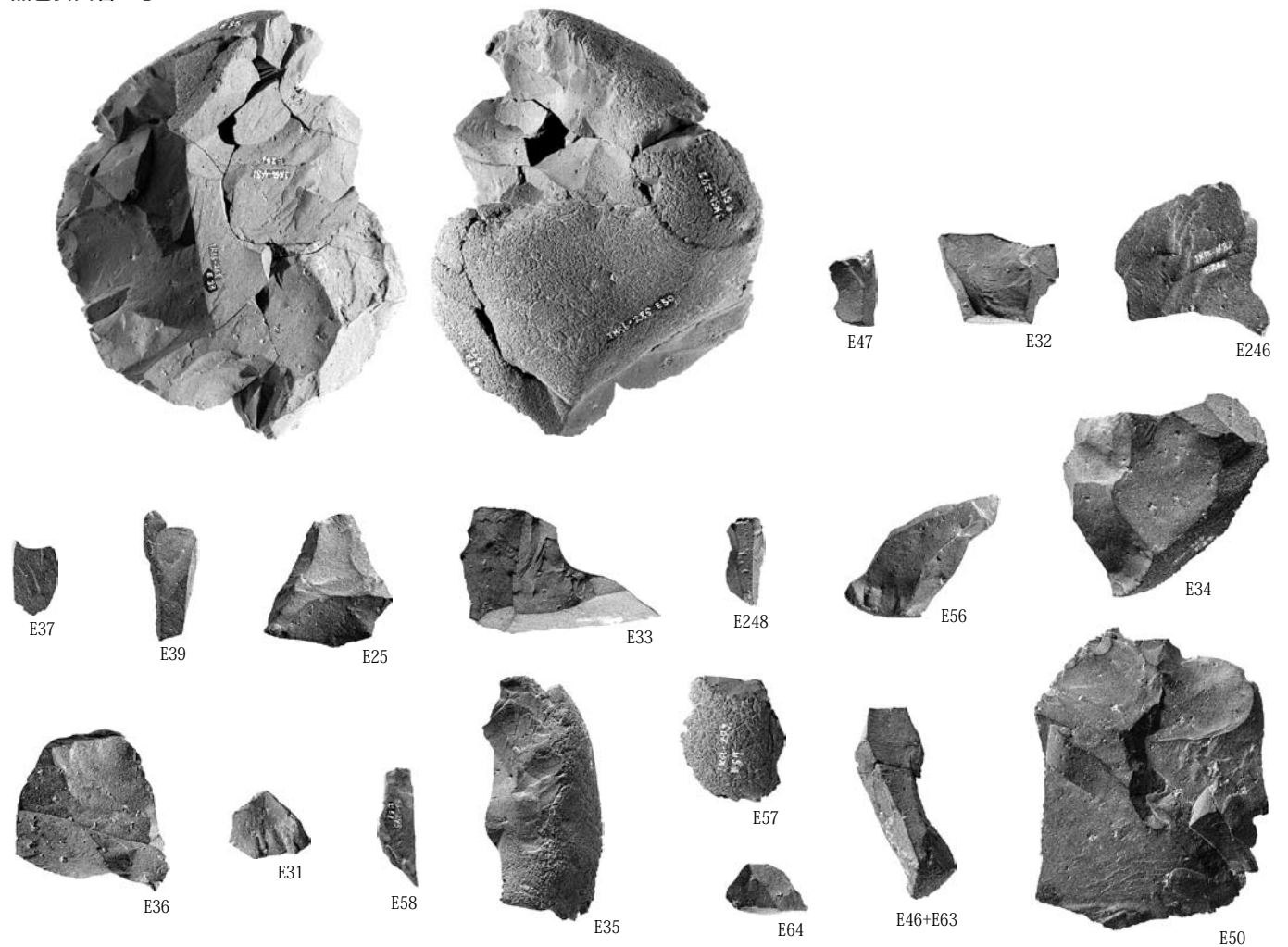


出土遺物 (12)



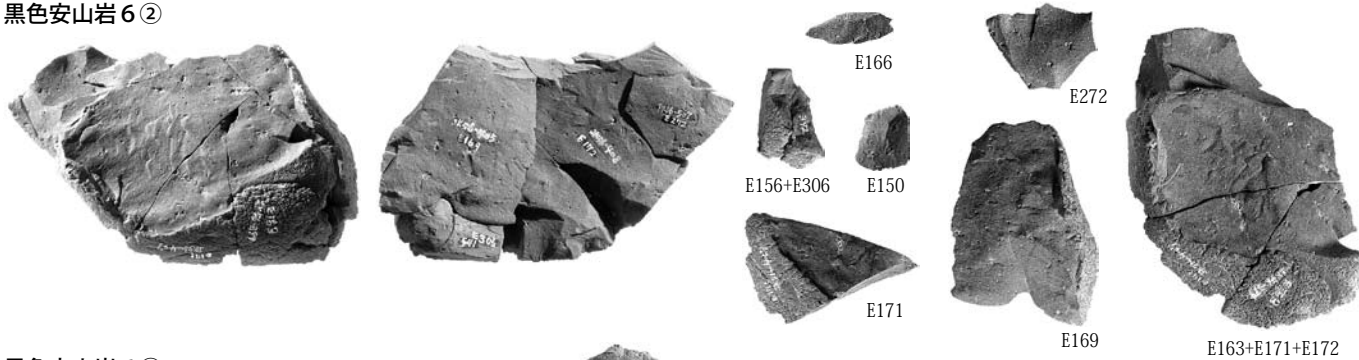
E147+E266+E305

黒色安山岩 6 ①



出土遺物 (13)

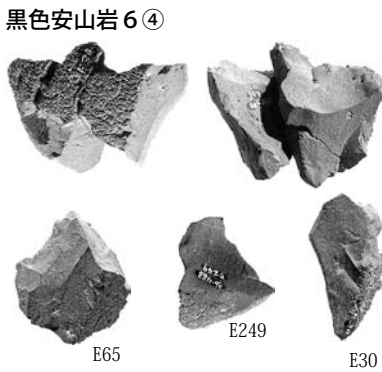
黒色安山岩 6②



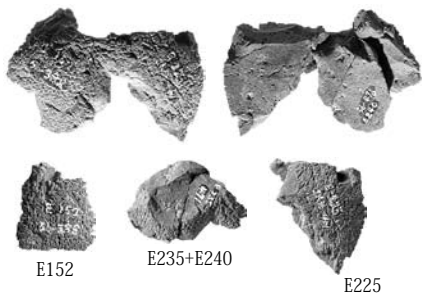
黒色安山岩 6③



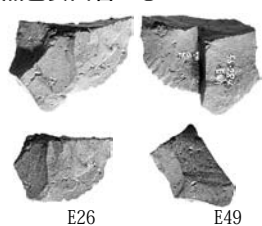
黒色安山岩 6④



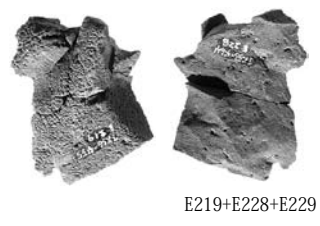
黒色安山岩 6⑤



黒色安山岩 6⑧



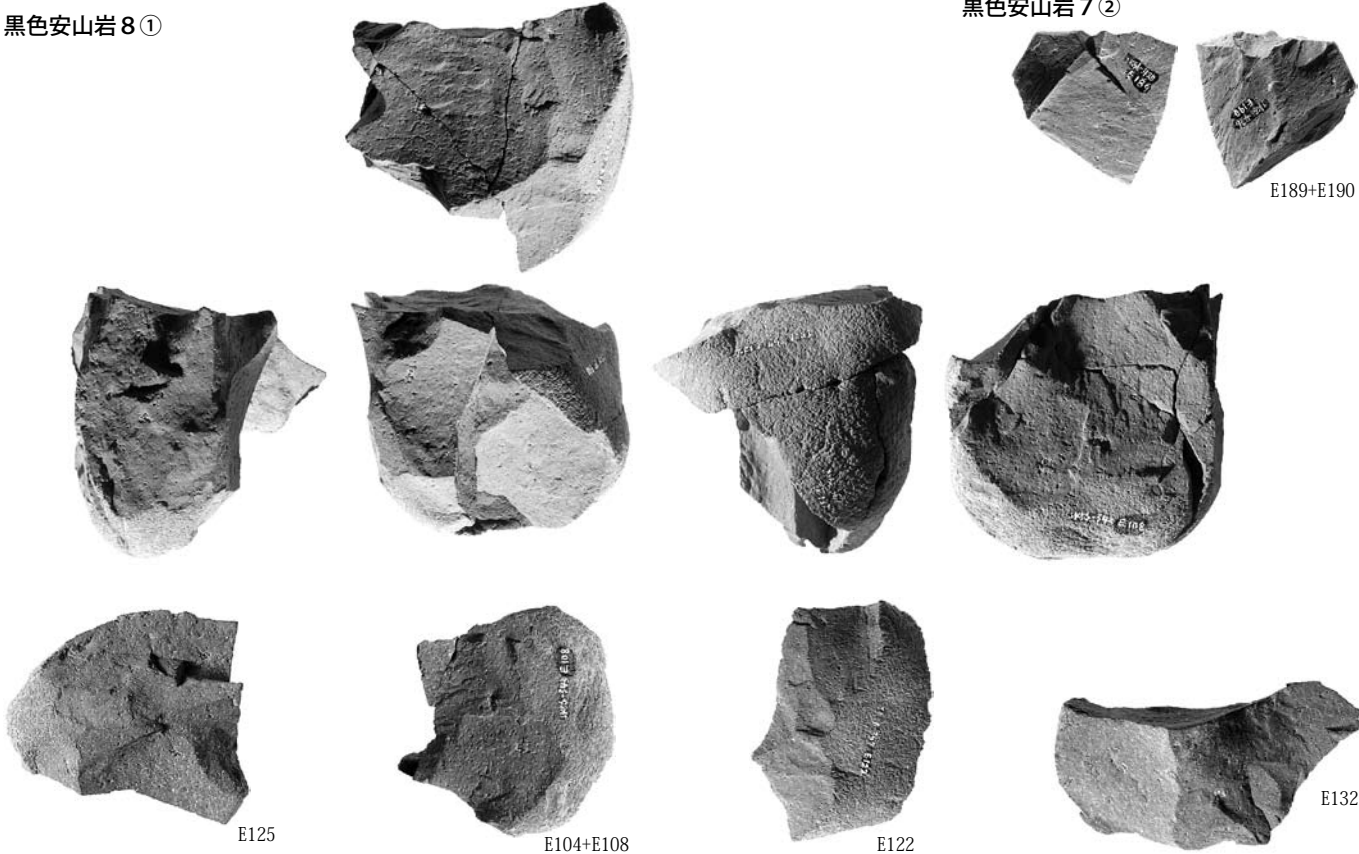
黒色安山岩 6⑥



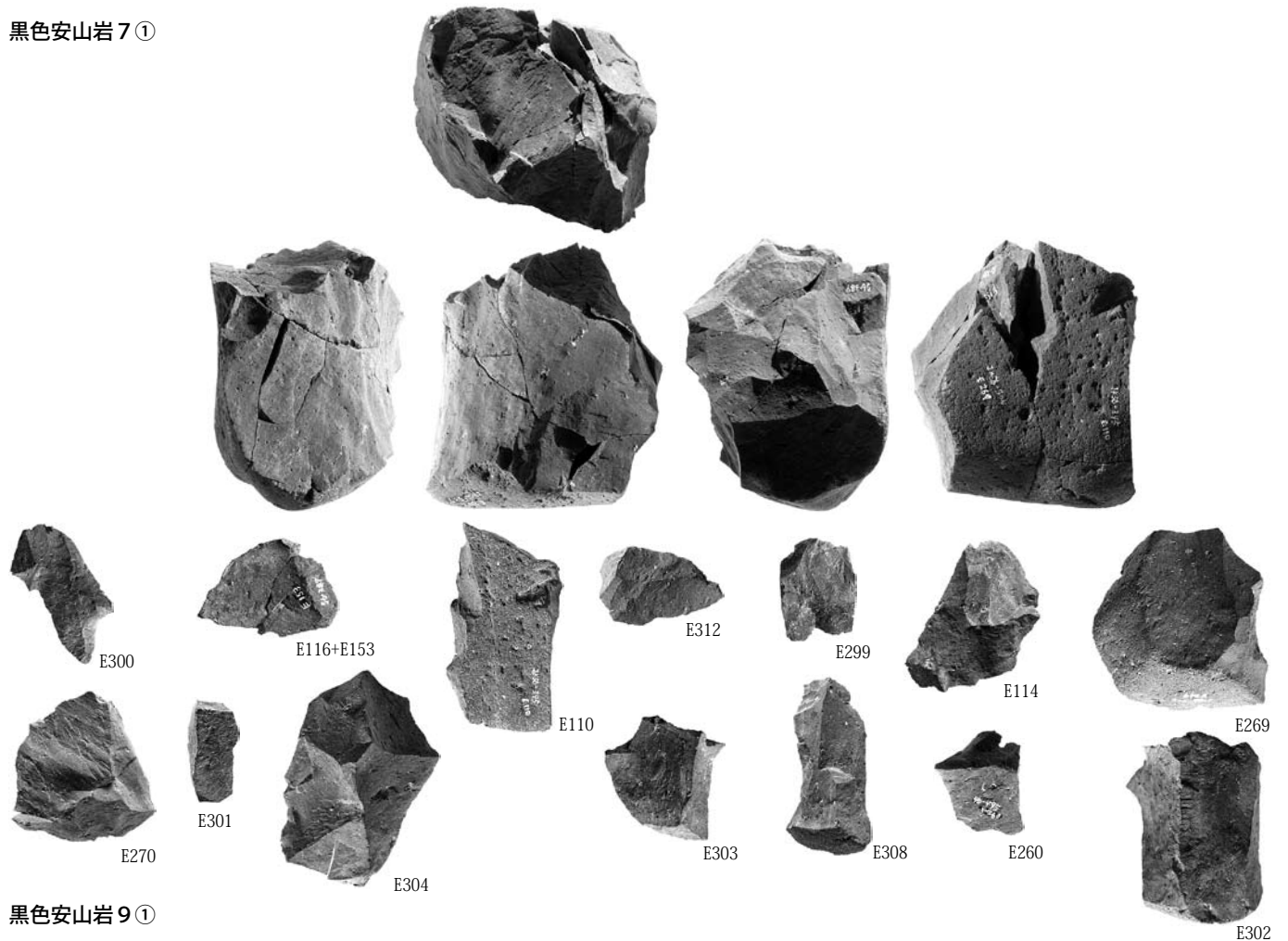
黒色安山岩 6⑦



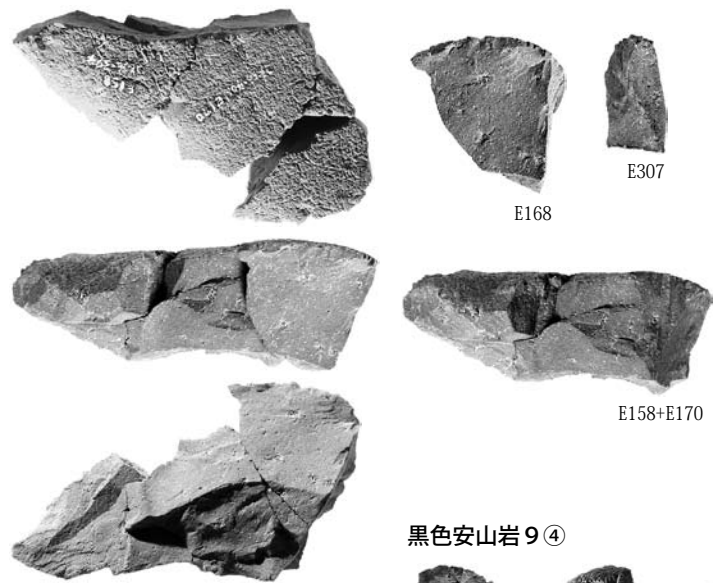
黒色安山岩 8①



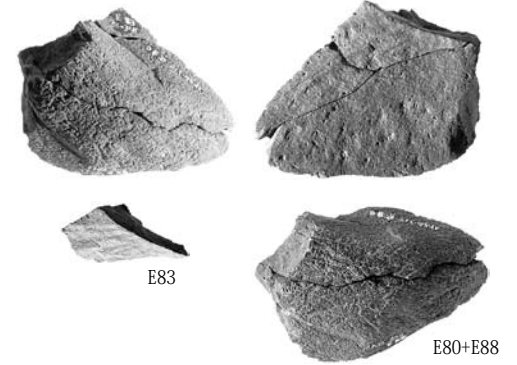
黒色安山岩 7 ①



黒色安山岩 9 ①



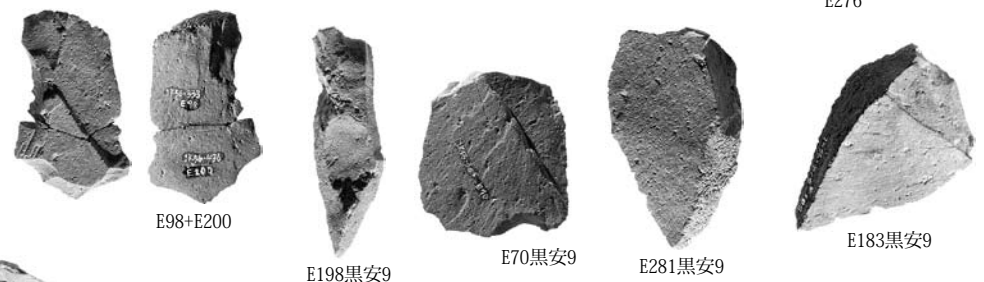
黒色安山岩 9 ②



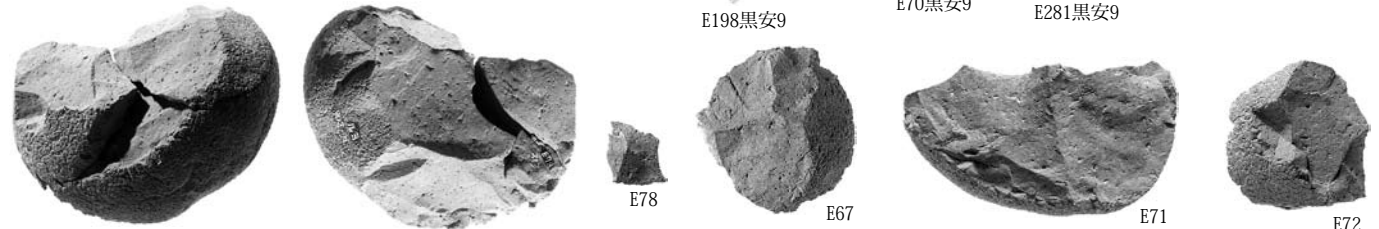
黒色安山岩 9 ⑤



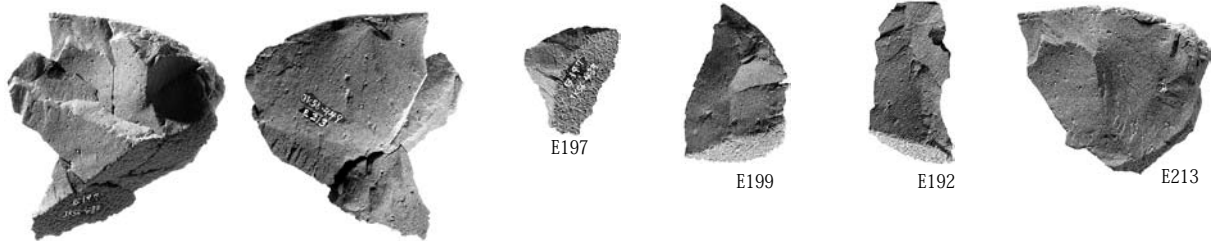
黒色安山岩 9 ④



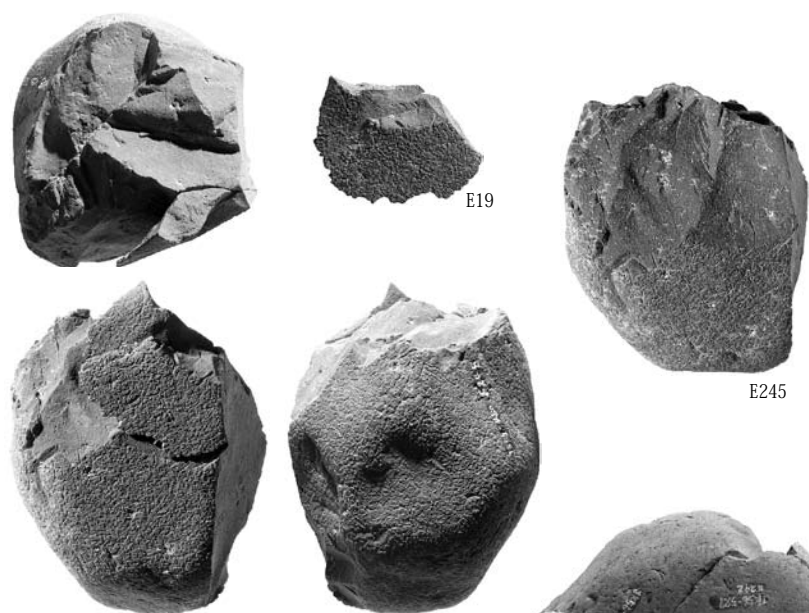
黒色安山岩10①



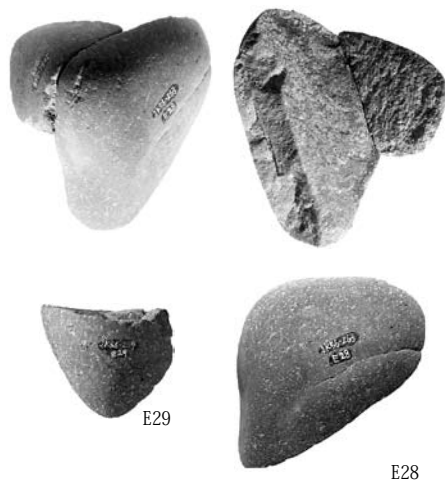
黒色安山岩11①



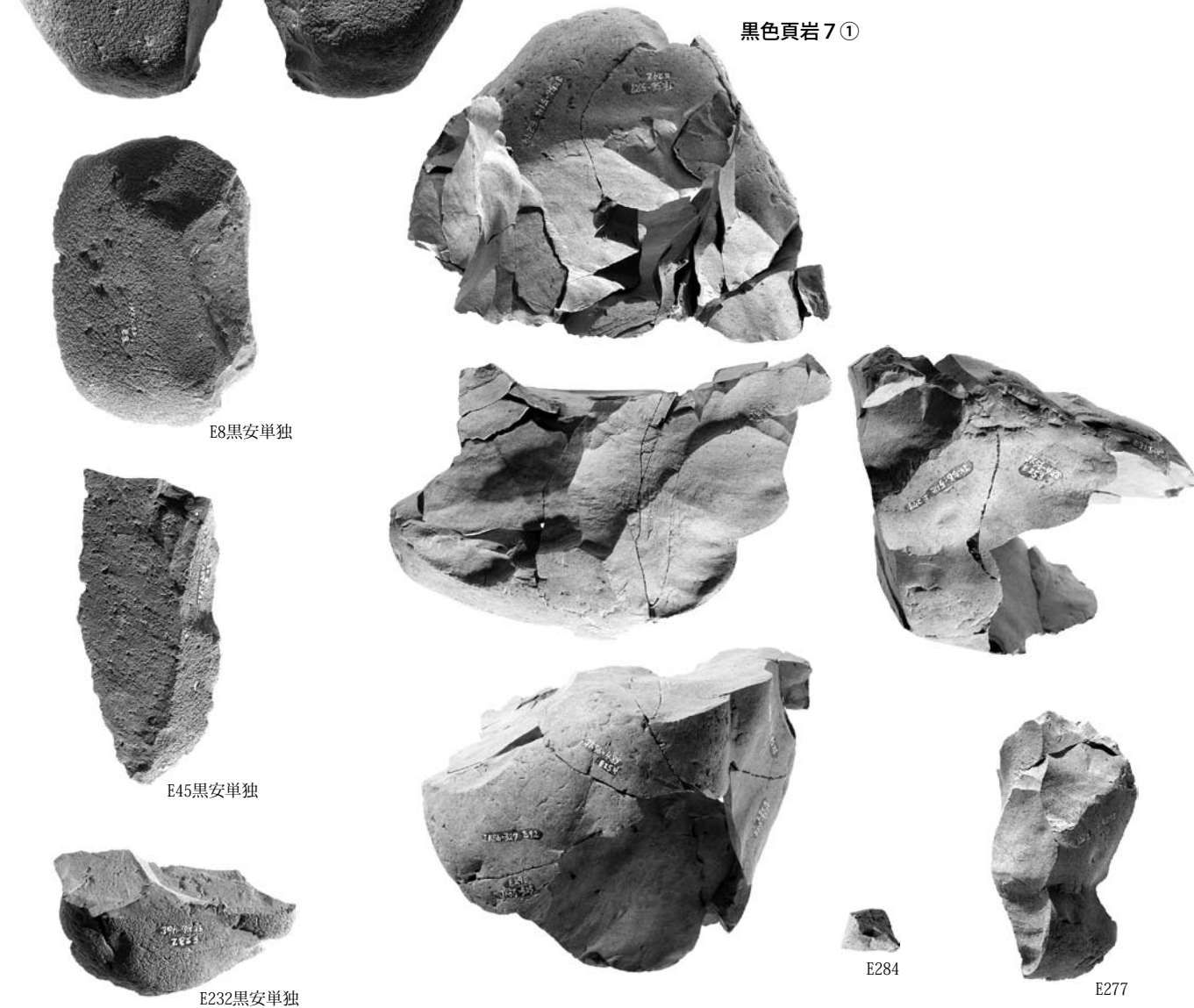
黒色安山岩12①

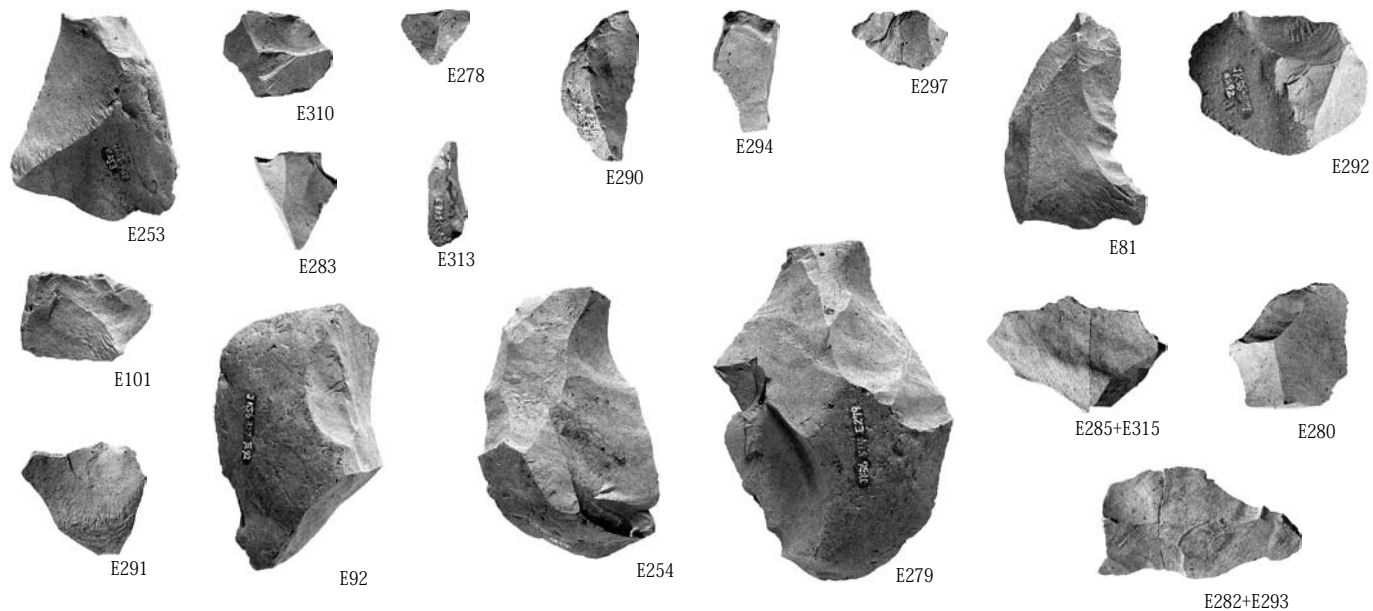


黒色安山岩13①

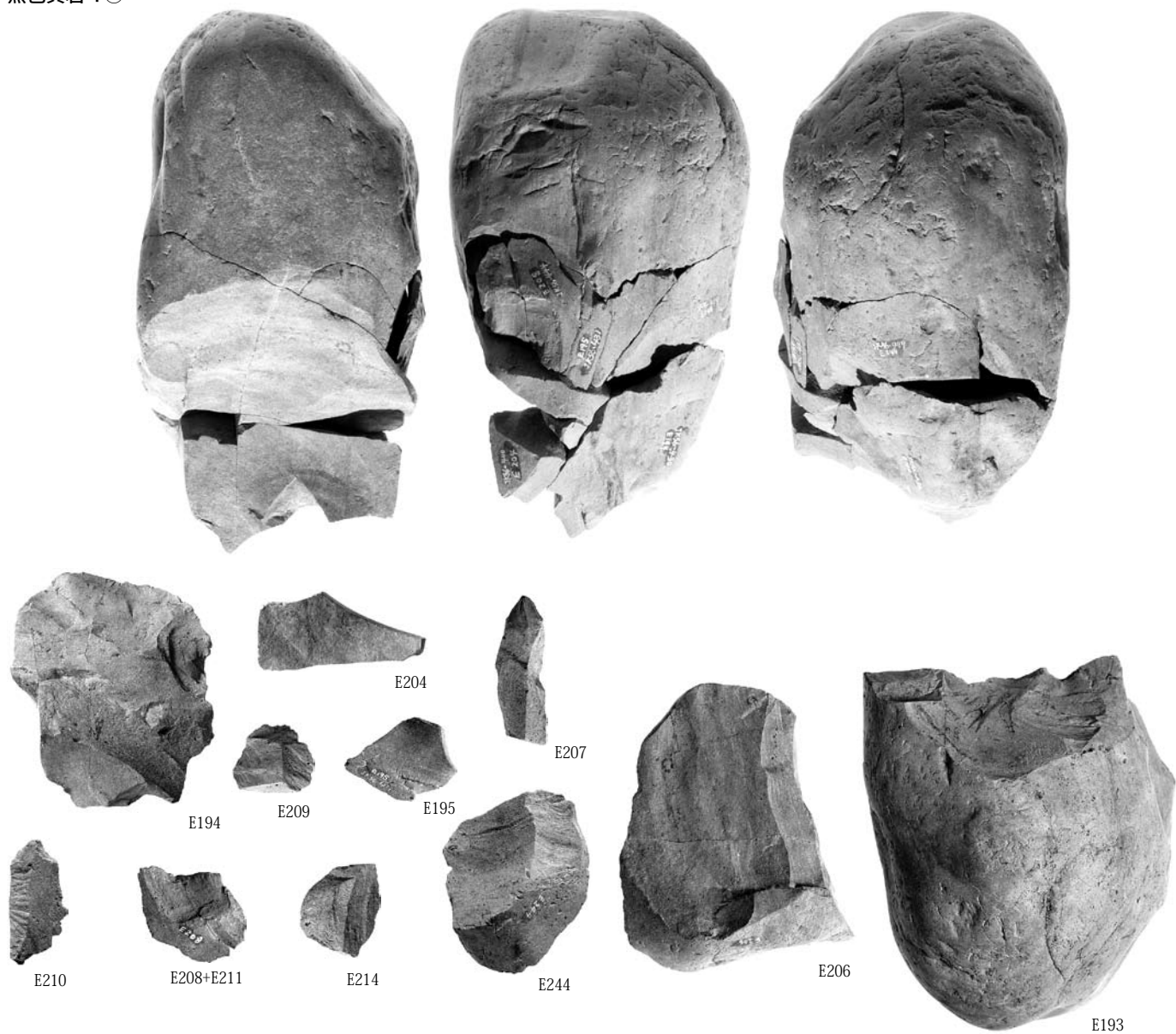


黒色頁岩7①

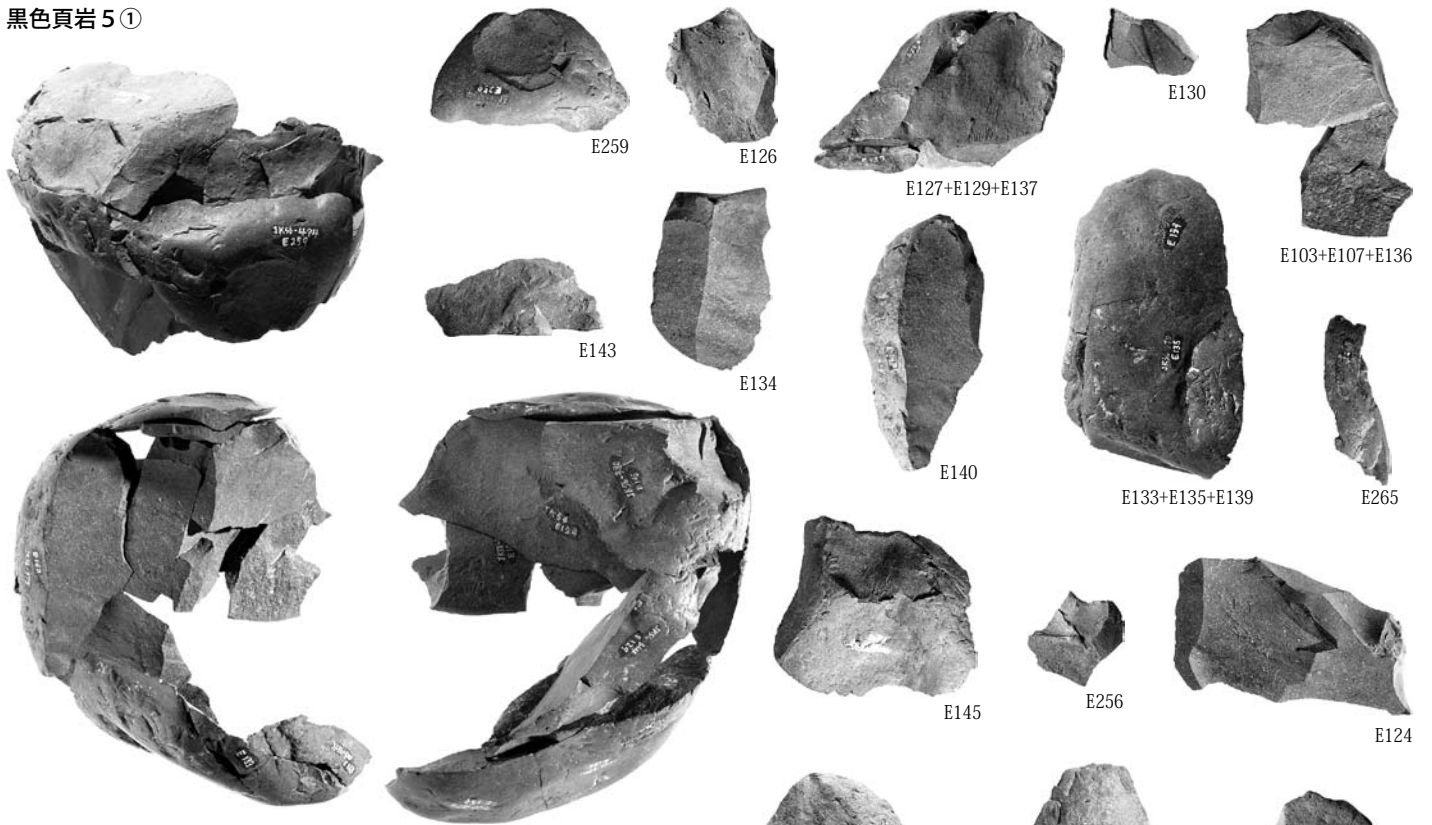




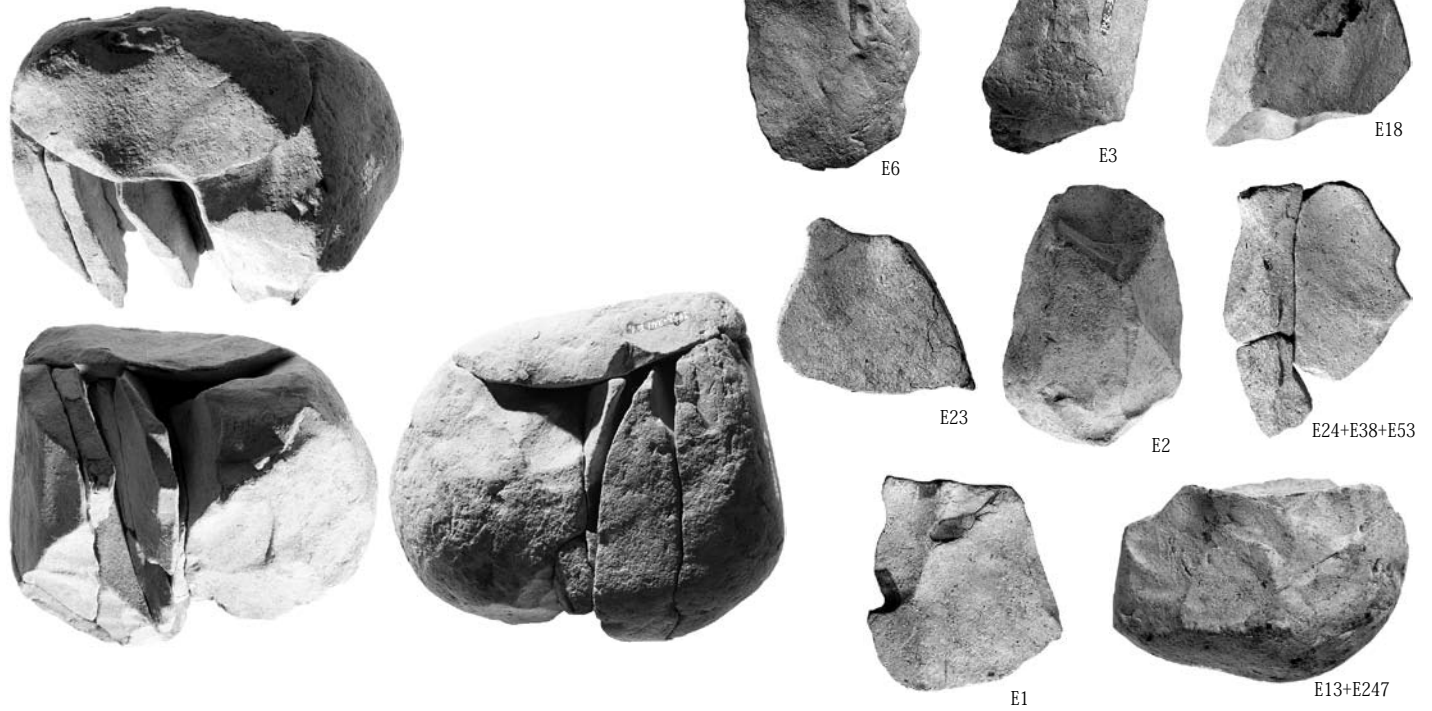
黒色頁岩 4①



黒色頁岩 5 ①



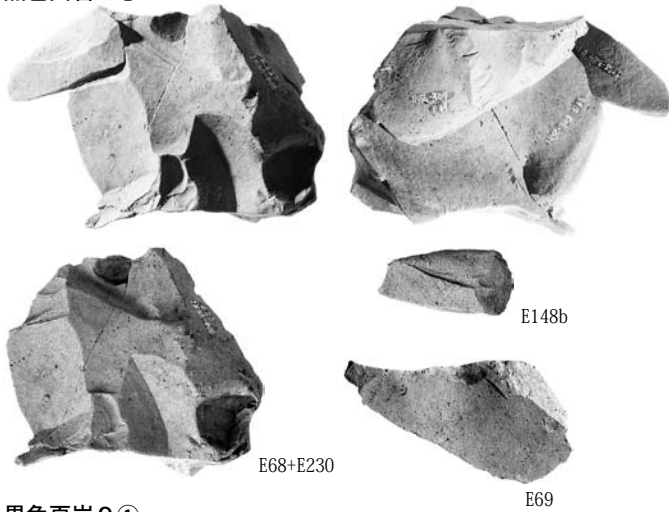
黒色頁岩 6 ①



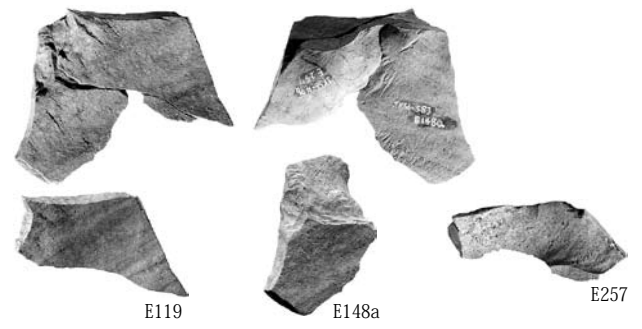
黒色頁岩 8 ①



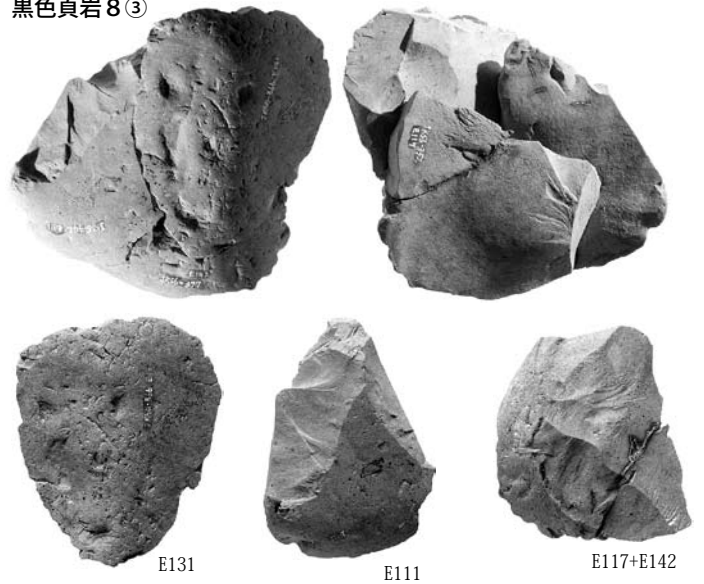
黒色頁岩 8②



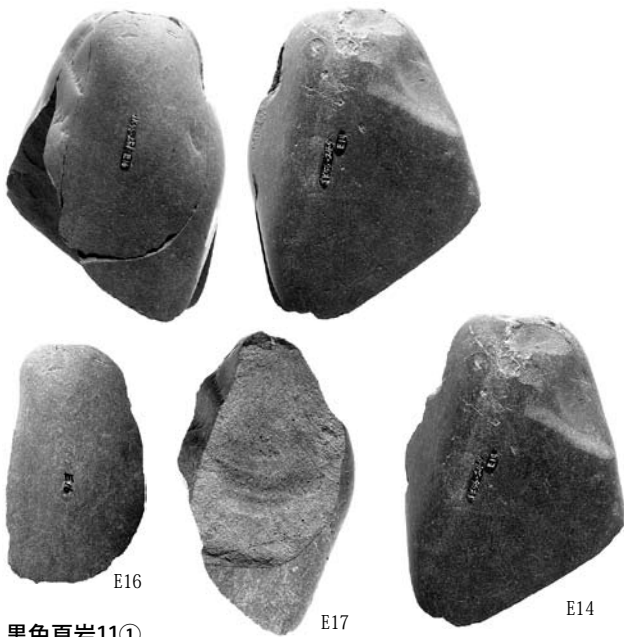
黒色頁岩 8④



黒色頁岩 8③



黒色頁岩 9①



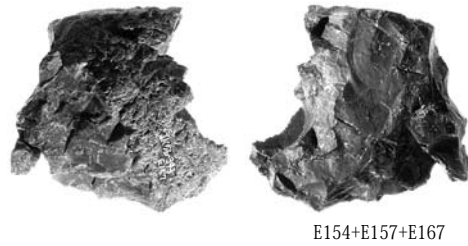
黒色頁岩 10①



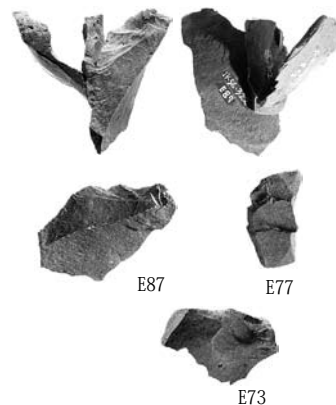
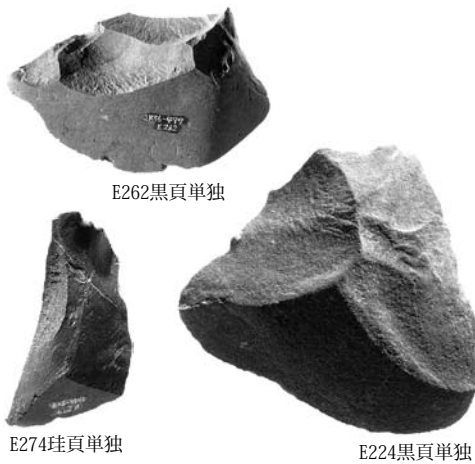
黒色頁岩 11①



チャート 1①

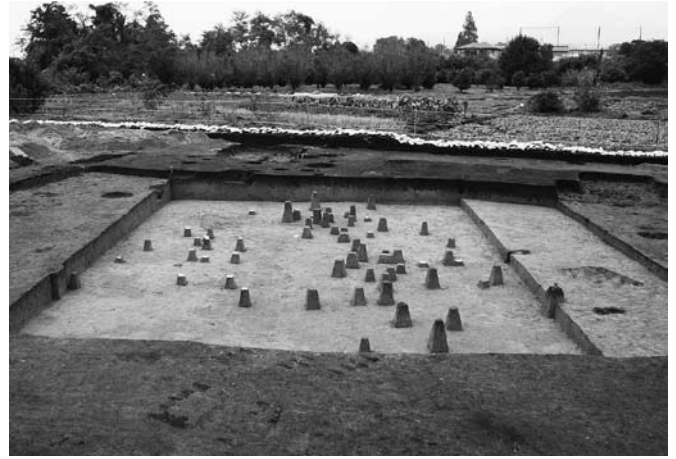


珪質頁岩 1①





1 試掘トレンチ84-O-13北壁セクション (南から)



2 遺物出土状況 (南から)



3 遺物出土状況 (南東から)

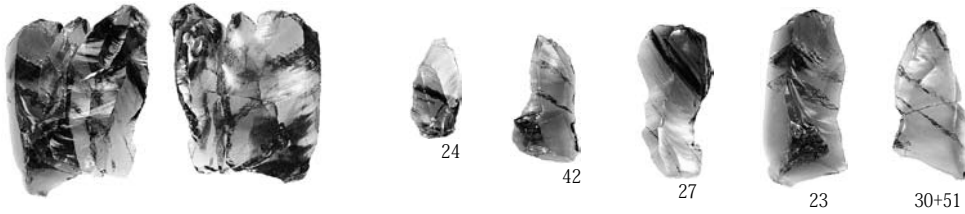


4 結晶片岩類出土状況 (北から)

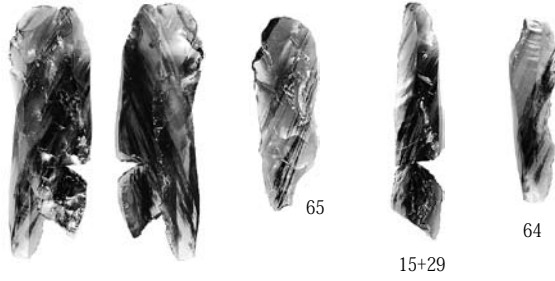


出土遺物 (1)

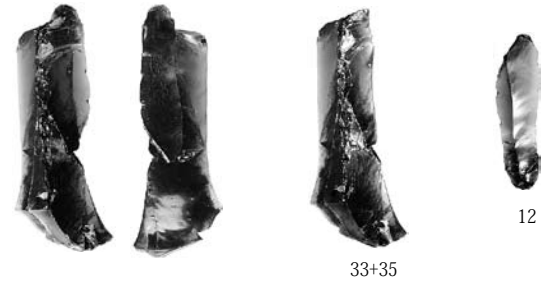
黒曜石 1 ①



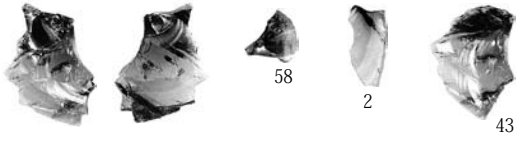
黒曜石 1 ②



黒曜石 1 ③



黒曜石 1 ④



黒曜石 1 ⑤



黒曜石 1 ⑦



黒曜石 1 ⑧



チャート 1 ①

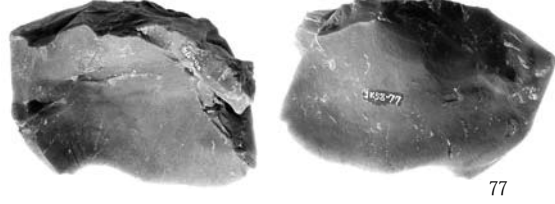


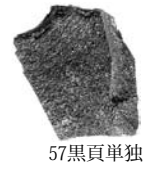
チャート 1 ②



50碧玉1

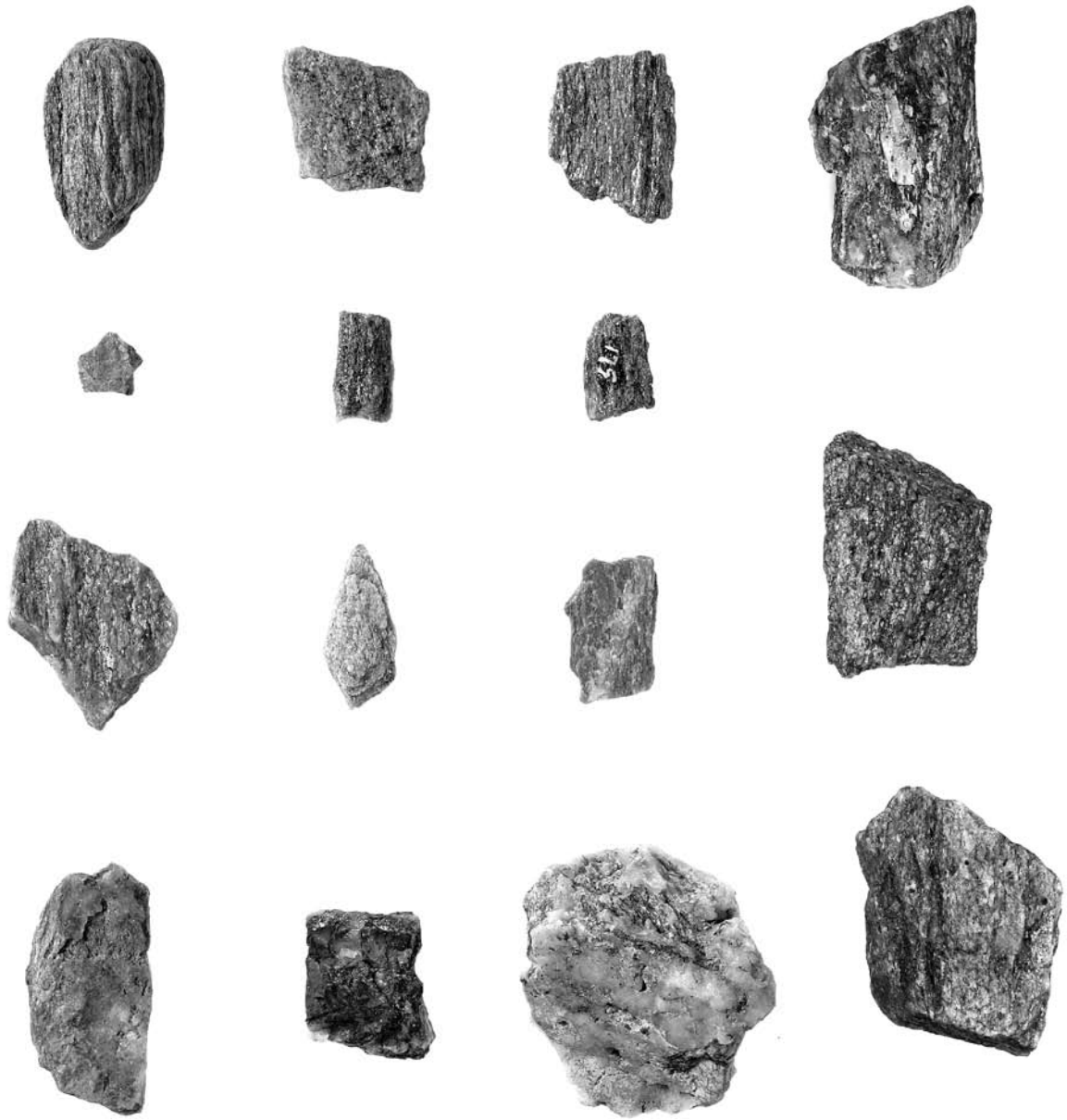


22黒頁単独

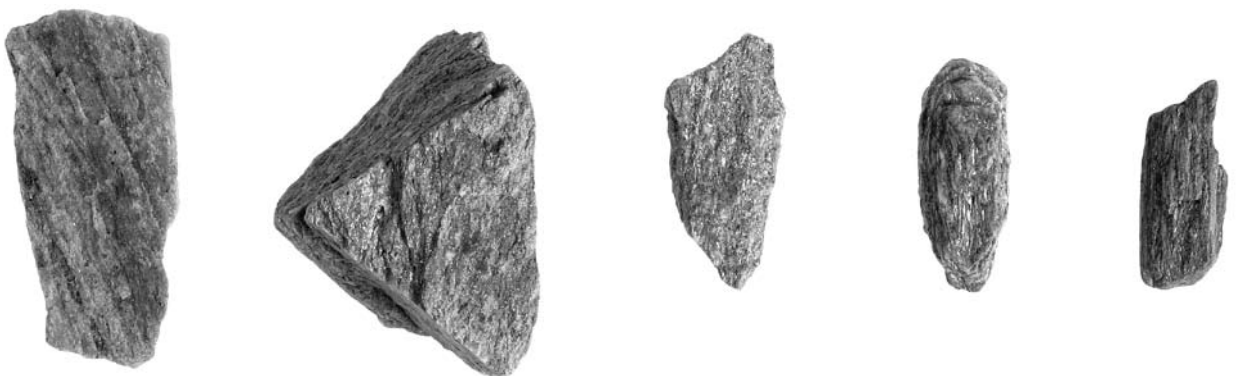


57黒頁単独

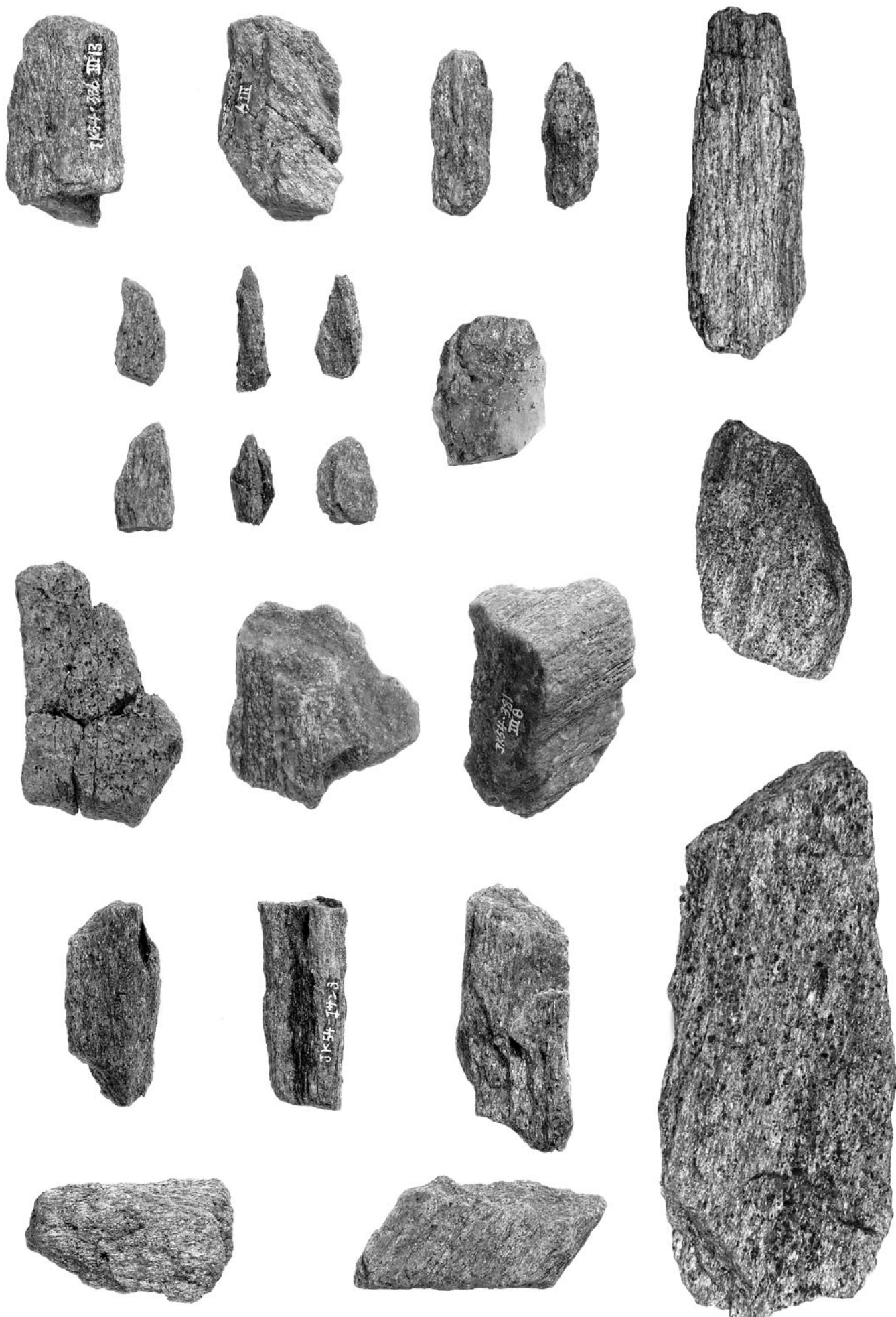
上泉唐ノ堀遺跡



上泉新田塚遺跡群



結晶片岩（1） 上泉唐ノ堀遺跡・上泉新田塚遺跡群



結晶片岩（2） 上泉武田遺跡

上泉武田遺跡

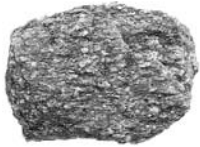
芳賀東部団地遺跡

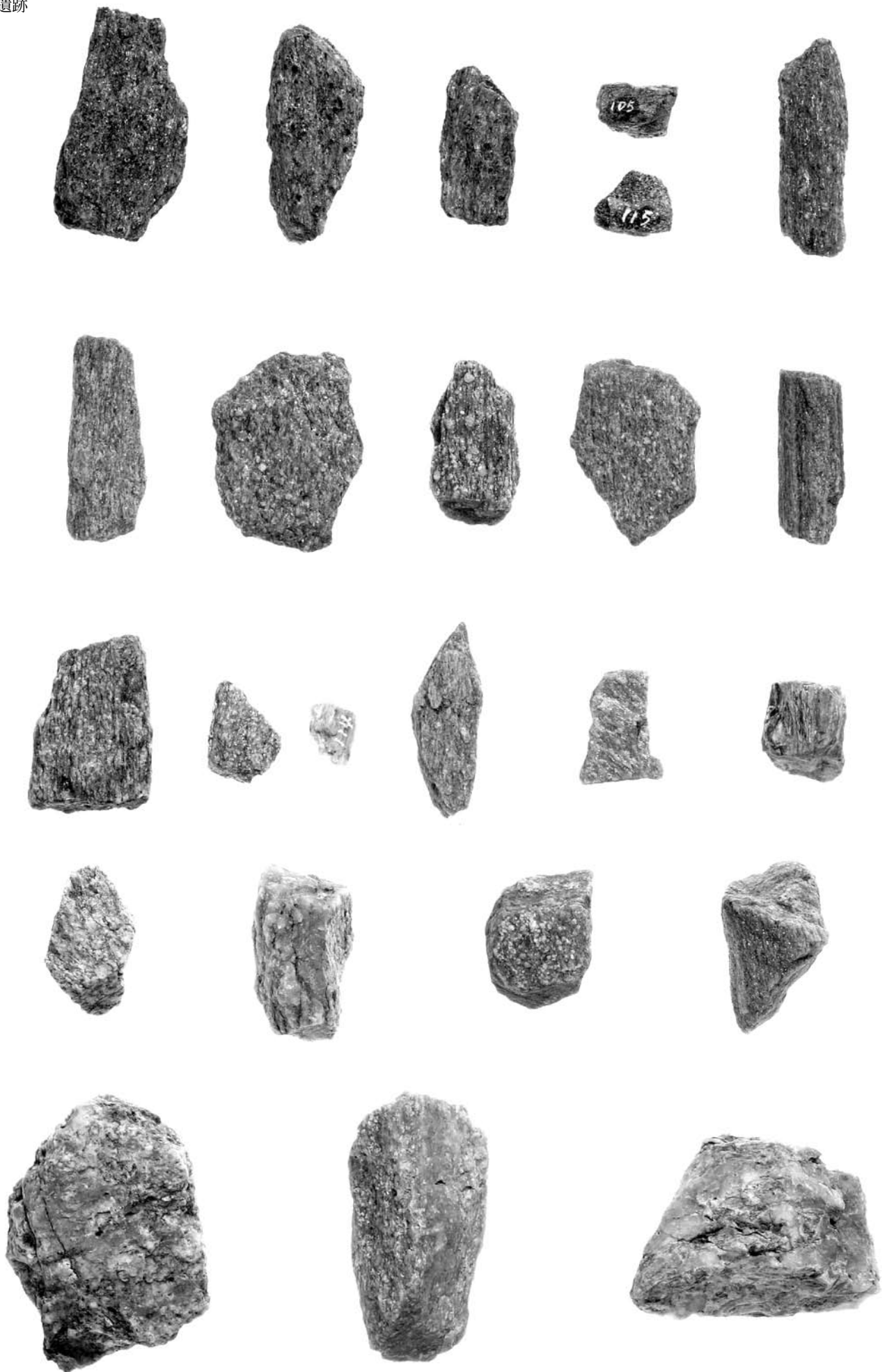


五代砂留遺跡群



胴城遺跡





結晶片岩（4） 桐城遺跡

報告書抄録

| | |
|--------|--|
| 書名ふりがな | じょうぶどうろ・きゅうせつきじだいせいせきぐん |
| 書名 | 上武道路・旧石器時代遺跡群(3) 上泉唐ノ堀遺跡・上泉新田塚遺跡群・上泉武田遺跡・五代砂留遺跡群・芳賀東部団地遺跡・胴城遺跡 |
| 副書名 | 一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(その3) 報告書 |
| 巻次 | 3 |
| シリーズ名 | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 |
| シリーズ番号 | 535 |
| 編著者名 | 麻生敏隆・関口博幸・岩崎泰一 |
| 編集機関 | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 |
| 発行機関 | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 |
| 発行年月日 | 20120316 |
| 作成法人ID | 21005 |
| 郵便番号 | 377-8555 |
| 電話番号 | 0279-52-2511 |
| 住所 | 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2 |

| | |
|-----------|---|
| 遺跡名ふりがな | かみいずみからのほりいせき |
| 遺跡名 | 上泉唐ノ堀遺跡 |
| 所在地ふりがな | ぐんまけんまえばししかみいずみまち |
| 遺跡所在地 | 群馬県前橋市上泉町 |
| 市町村コード | 10201 |
| 遺跡番号 | 774 |
| 北緯(世界測地系) | 362428 |
| 東経(世界測地系) | 1390725 |
| 調査期間 | 20060701-20070331/20070401-20070531/20080401-20080630 |
| 調査面積 | 6,808.40 |
| 調査原因 | 道路建設工事(一般国道17号・上武道路) |
| 種別 | その他 |
| 主な時代 | 旧石器時代 |
| 遺跡概要 | その他・旧石器・石器 |
| 特記事項 | 赤城山南麓地域の旧石器時代遺跡群 |
| 要約 | 旧石器時代の3つの文化層が確認された。第3文化層として石器群は255点があり、主な石器にナイフ形石器や刃部磨製石斧がある。石器は弧状分布しており、「環状ブロック群」のひとつとして捉えることができる。 |

| | |
|-----------|--|
| 遺跡名ふりがな | かみいずみにったづかいせきぐん |
| 遺跡名 | 上泉新田塚遺跡群 |
| 所在地ふりがな | ぐんまけんまえばししかみいずみまち |
| 遺跡所在地 | 群馬県前橋市上泉町 |
| 市町村コード | 10201 |
| 遺跡番号 | 775 |
| 北緯(世界測地系) | 362438 |
| 東経(世界測地系) | 1390719 |
| 調査期間 | 20060701-20070331/20070401-20070531/20080401-20080630 |
| 調査面積 | 14,578.42 |
| 調査原因 | 道路建設工事(一般国道17号・上武道路) |
| 種別 | その他 |
| 主な時代 | 旧石器時代 |
| 遺跡概要 | その他・旧石器・石器 |
| 特記事項 | 赤城山南麓地域の旧石器時代遺跡群 |
| 要約 | 旧石器時代の3つの文化層が確認された。第1文化層として石器2点、第2文化層は2地点から石器40点、第3文化層として89点が出土した。 |

| | |
|-----------|---|
| 遺跡名ふりがな | かみいずみただいせき |
| 遺跡名 | 上泉武田遺跡 |
| 所在地ふりがな | ぐんまけんまえばししかみいずみまち |
| 遺跡所在地 | 群馬県前橋市上泉町 |
| 市町村コード | 10201 |
| 遺跡番号 | 773 |
| 北緯(世界測地系) | 362451 |
| 東経(世界測地系) | 1390710 |
| 調査期間 | 20070601-20071231 |
| 調査面積 | 8,832.56 |
| 調査原因 | 道路建設工事(一般国道17号・上武道路) |
| 種別 | その他 |
| 主な時代 | 旧石器時代 |
| 遺跡概要 | その他・旧石器・石器 |
| 特記事項 | 赤城山南麓地域の旧石器時代遺跡群 |
| 要約 | 旧石器時代の3つの文化層が確認された。第3文化層として457点があり、台地東側縁辺に弧状分布した。 |

| | |
|-----------|--|
| 遺跡名ふりがな | ごだいすなどめいせき |
| 遺 跡 名 | 五代砂留遺跡群 |
| 所在地ふりがな | ぐんまけんまえばししごだいまち |
| 遺跡所在地 | 群馬県前橋市五代町 |
| 市町村コード | 10201 |
| 遺跡番号 | 772 |
| 北緯（世界測地系） | 362457 |
| 東経（世界測地系） | 1390657 |
| 調査期間 | 20070201-20070331/20070501-20080331 |
| 調査面積 | 19,528.77 |
| 調査原因 | 道路建設工事(一般国道17号・上武道路) |
| 種別 | その他 |
| 主な時代 | 旧石器時代 |
| 遺跡概要 | その他・旧石器・石器 |
| 特記事項 | 赤城山南麓地域の旧石器時代遺跡群 |
| 要 約 | 旧石器時代の3つの文化層が確認された。第1文化層として黒曜石製の小形ナイフ形石器を含む石器群が、第3文化層として453点が2地点から出土した。台地西側縁辺い出土した石器群には接合資料が多数確認されている。 |

| | |
|-----------|--|
| 遺跡名ふりがな | はがとうぶだんちいせき |
| 遺 跡 名 | 芳賀東部団地遺跡 |
| 所在地ふりがな | ぐんまけんまえばししごだいまち・とっとりまち |
| 遺跡所在地 | 群馬県前橋市五代町・鳥取町 |
| 市町村コード | 10201 |
| 遺跡番号 | 357 |
| 北緯（世界測地系） | 362505 |
| 東経（世界測地系） | 1390654 |
| 調査期間 | 20070522-20080331 |
| 調査面積 | 28,943.18 |
| 調査原因 | 道路建設工事(一般国道17号・上武道路) |
| 種別 | その他 |
| 主な時代 | 旧石器時代 |
| 遺跡概要 | その他・旧石器・石器 |
| 特記事項 | 赤城山南麓地域の旧石器時代遺跡群 |
| 要 約 | 旧石器時代の2つの文化層が確認された。第1・2文化層としたものは2地点あり、第1文化層には礫群が伴う。第2文化層とした石器群は「環状ブロック群」とされるものである。 |

| | |
|-----------|--|
| 遺跡名ふりがな | どうじょういせき |
| 遺 跡 名 | 胴城遺跡 |
| 所在地ふりがな | ぐんまけんまえばししとっとりまち |
| 遺跡所在地 | 群馬県前橋市鳥取町 |
| 市町村コード | 10201 |
| 遺跡番号 | 41 |
| 北緯（世界測地系） | 362457 |
| 東経（世界測地系） | 1390614 |
| 調査期間 | 20080201-20080331/20080401-20080911 |
| 調査面積 | 6,130.78 |
| 調査原因 | 道路建設工事(一般国道17号・上武道路) |
| 種別 | その他 |
| 主な時代 | 旧石器時代 |
| 遺跡概要 | その他・旧石器・石器 |
| 特記事項 | 赤城山南麓地域の旧石器時代遺跡群 |
| 要 約 | 旧石器時代の1つの文化層が確認された。第1文化層は、出土層位がAs-YPからAs-0K1の間の黒曜石を主体とする石器群で、ナイフ形石器や多数の接合資料が検出された。 |

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第535集

上武道路・旧石器時代遺跡群（3）

一般国道17号（上武道路）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（その3）報告書

平成24（2012）年3月9日 印刷

平成24（2012）年3月16日 発行

編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話（0279）52-2511（代表）

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／株式会社開文社印刷所
